山梨県埋蔵文化財センター調査報告　第24集

姥塚遺跡
姥塚無名墳

山梨県中央自動車道
埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書

1987. 3.

山梨県教育委員会
日本道路公団

姥塚遺跡
姥塚無名墳

山梨県中央自動車道
埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書

1987. 3.

序

本報告書は、中央自動車道建設に先立ち発掘調査された一連の遺跡のうち、山梨県東八代郡御坂町井之上・二之宮地内に所在する姥塚遺跡と姥塚古墳周辺の無名墳について、その成果をまとめたものであります。

御坂町は、隣接する一宮町とともに後期古墳の密集地域で、当遺跡のすぐ北側には東日本最大規模の横穴式石室をもつ県指定史跡姥塚古墳があり、周辺には中小古墳が濃厚に分布しております。律令時代にも政治・文化の中心地として繁栄し、北西には平安時代の国府跡といわれる国衙の地があり、東方金川の対岸一宮町には国分寺・国分尼寺が置かれております。『和名抄』所載の郷が最も濃密に分布するのも、この地方であります。

姥塚遺跡は、金川扇状地の末端に位置し、国道137号線を挟んで西側の二之宮遺跡と連なっており、調査の結果、両遺跡は1つの遺跡として把握すべきものであることが判明いたしました。両遺跡合わせて550軒に近い住居址が発見されましたが、古墳時代から奈良・平安時代に至る集落遺跡としては、もちろん県下最大の規模であります。

このうち姥塚遺跡は、1980年6月から翌81年8月にかけて調査され、その結果、古墳時代前期住居19軒、同中期8軒、同後期88軒、奈良時代6軒、平安時代17軒、年代不明3軒の計141軒の住居址が検出されたほか、古墳時代の周溝遺構4基・土壙・堀立柱柱穴群・溝・水路などの遺構が発見されました。各住居址や遺構からは各種の遺物が大量に出土いたしましたが、特に土師器・須恵器・灰釉陶器・土師質土器等について編年研究上の貴重な資料が得られました。また圧倒的に住居数の多いのは古墳時代後期ですが、たまたま姥塚古墳が築造された時代であり、これらの住居に住んだ人たちがその築造に関与した可能性も考えられます。その後、奈良時代には住居数が減少しますが、甲斐国府が国衙の地に置かれたと推定される平安時代には再び増加しており、集落の変遷過程を究明する重要な資料を提供しております。なおここは『和名抄』にいう山梨郡井上郷に属したと思われますが、この付近の郷の配置はかなり複雑であり、異説も存在しております。

次に無名墳は姥塚遺跡の東側に存在する4基が発掘されました。いずれも古墳時代後期に属しますが、このうち横穴式石室の残っていたのは2号・3号墳の2基で、1号墳はほとんど削平されて周溝だけが残り、4号墳は墳丘と周溝は残ったものの、主体部は撹乱を受けて不明となっております。古墳からは人骨のほか、土師器・須恵器・金環・玉類・鉄製品等が出土いたしました。石室の構造や出土遺物の比較から、一宮町国分の四ツ塚古墳群と類似していることが知られ、姥塚古墳に葬られた首長を盟主とする在地勢力の存在を推定する好資料が得られました。

以上、本報告書の概要を述べましたが、姥塚遺跡は隣接する二之宮遺跡と一体をなしておりますので、別冊で刊行されます同遺跡の報告書と併せてご利用いただければ幸甚です。

末筆ながら、種々ご協力を賜わった関係機関各位、地元の方々並びに直接調査に従事していただいた方々に厚く御礼申し上げます。

1987年3月

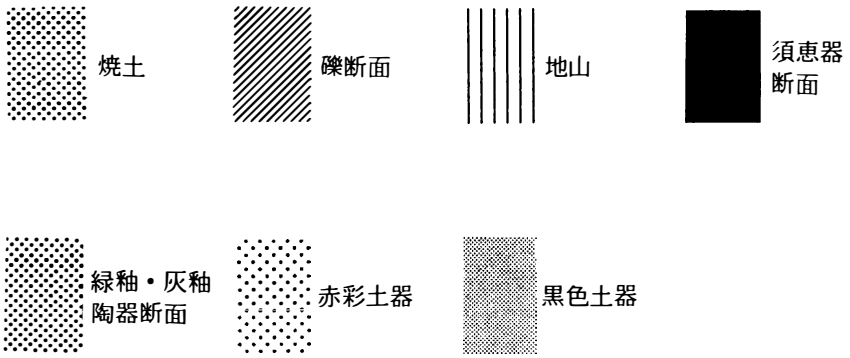
山梨県埋蔵文化財センター
所長　磯　貝　正　義

例　　言

1. 本書は1980年度、1981年度に日本道路公団から受託した姥塚遺跡の発掘調査報告書である。
2. 整理作業は1981年度～1986年度の間日本道路公団より受託事業として実施した。
3. 発掘調査は山梨県教育庁文化課が実施し、整理作業は1982年度より山梨県埋蔵文化財センターで行った。整理担当者は文化財主事末木健、保坂康夫、坂本美夫、米田明訓である。
4. 整理作業は1981年～1983年度まで土器洗注記、復元作業を中心に行い、1984～1986年には遺物実測、遺構トレース、図版作成、執筆作業を行った。執筆者は末木である。
5. 写真撮影は遺構を末木、保坂が行い、遺物は塚原明生（日本写真家協会会員）が行った。なお、写真焼付は(株)ムコヤマである。
6. 本遺跡の石材鑑定は山梨文化財研究所第6研究室長河西学氏に依頼した。
   姥塚遺跡及び無名墳出土鉄製品の実測は、保坂康夫が行った。
   無名墳の図面整理は宮沢公雄（現山梨文化財研究所第1研究室長）による。
7. 本書にかかる出土品及び記録図面、写真等は一括して山梨県埋蔵文化財センターに保管してある。

凡　　例

1. 挿図中のスクリーン・トーンは次のような内容を示している。



2. 挿図遺構平面図内のPoを冠した数字は、各遺構より出土した土器No.で、挿図出土遺物図中のNo.と一致する。

目　　次

第Ⅰ章　調査の実施と経過 …… 1
　第 1 節 調査経過 …… 1
　　1. 発掘調査事務経過 …… 1
　　2. 調査組織 …… 1
　第 2 節　調査方法 …… 2

第Ⅱ章　遺跡周辺地域の状況 …… 4
　第 1 節　遺跡の位置と立地 …… 4
　第 2 節　周辺の歴史的環境 …… 4

第Ⅲ章　遺構・遺物 …… 5
　第 1 節　住居址 …… 5
　第 2 節　周溝遺構 …… 43
　第 3 節　溝・水路・柱穴群 …… 44
　第 4 節　土壙 …… 45
　第 5 節　出土遺物 …… 46

第Ⅳ章　古墳 …… 47
　第 1 節　姥塚無名 1 号墳 …… 47
　第 2 節　姥塚無名 2 号墳 …… 47
　第 3 節　姥塚無名 3 号墳 …… 48
　第 4 節　姥塚無名 4 号墳 …… 48

第Ⅴ章　まとめ …… 49
　第 1 節　集落の変遷 …… 49
　第 2 節　出土遺物について …… 51

おわりに …… 52

表　目　次

第１表　住居址他出土土器観察表 …… 53
第２表　紡錘車、玉、土錘他観察表 …… 149
第３表　住居址出土鉄製品観察表 …… 150
第４表　石器類観察表 …… 151
第５表　住居址出土遺物数一覧表 …… 152
第６表　古墳出土土器観察表 …… 157
第７表　姥塚無名２、３、４号墳出土金環・玉類観察表 …… 161
第８表　姥塚無名１、２、３号墳出土鉄製品観察表 …… 162
第９表　姥塚無名２号墳出土玉類観察表 …… 163
第10表　住居址時期一覧表 …… 168

挿　図　目　次

第 1 図　遺跡位置図…… 3
第 2 図　二の宮、姥塚遺跡地形図…171～172
第 3 図　姥塚遺跡全体図……173～174
第 4 図　1号住居址平面図…… 175
第 5 図　2号住居址平面図、
　　2号住居址カマド実測図…… 176
第 6 図　3号住居址平面図、
　　3号住居址カマド実測図…… 177
第 7 図　4、5号住居址平面図…… 178
第 8 図　6、15号住居址平面図…… 179
第 9 図　7号住居址平面図、
　　7号住居址カマド実測図…… 180
第 10 図　8号住居址平面図、
　　8号住居址カマド実測図…… 181
第 11 図　9、10号住居址平面図…… 182
第 12 図　11、12号住居址平面図…… 183
第 13 図　13号住居址平面図、
　　13号住居址カマド実測図…… 184
第 14 図　14、17号住居址平面図…… 185
第 15 図　14、17号住居址カマド実測図… 186
第 16 図　16号住居址平面図、
　　16号住居址カマド実測図…… 187
第 17 図　18、20号住居址平面図、
　　20号住居址カマド実測図…… 188
第 18 図　19号住居址平面図…… 189
第 19 図　21、22号住居址平面図…… 190
第 20 図　23号住居址平面図、
　　23号住居址カマド実測図…… 191
第 21 図　24号住居址平面図…… 192
第 22 図　24号住居址カマド実測図…… 193
第 23 図　25、26号住居址平面図…… 194
第 24 図　27、28号住居址平面図、
　　27、28号住居址カマド実測図… 195
第 25 図　29号住居址平面図、
　　29号住居址カマド実測図…… 196
第 26 図　30、31号住居址平面図…… 197
第 27 図　32号住居址平面図…… 198
第 28 図　33号住居址平面図、
　　33号住居址カマド実測図…… 199
第 29 図　34号住居址平面図、
　　34号住居址カマド実測図…… 200
第 30 図　35号住居址平面図、
　　35号住居址カマド実測図…… 201
第 31 図　36号住居址平面図…… 202
第 32 図　37、38号住居址平面図…… 203
第 33 図　39号住居址平面図、
　　39号住居址カマド実測図…… 204
第 34 図　40号住居址平面図、
　　40号住居址カマド実測図…… 205
第 35 図　41、42号住居址平面図…… 206
第 36 図　43、44号住居址平面図…… 207
第 37 図　45、46、47号住居址平面図…… 208
第 38 図　48号住居址平面図…… 209
第 39 図　48号住居址カマド実測図…… 210
第 40 図　49号住居址平面図…… 211
第 41 図　50、55号住居址平面図…… 212
第 42 図　51、52号住居址平面図、
　　51号住居址カマド実測図…… 213
第 43 図　54号住居址平面図、
　　54号住居址カマド実測図…… 214
第 44 図　56号住居址平面図、
　　56号住居址カマド実測図…… 215
第 45 図　57、58、61号住居址平面図…… 216
第 46 図　57、58、61号住居址
　　カマド実測図…… 217
第 47 図　59号住居址平面図、

62号住居址カマド実測図…… 218
第 48 図　60号住居址平面図、
60号住居址カマド実測図…… 219
第 49 図　62号住居址平面図…… 220
第 50 図　63号住居址平面図、
63号住居址カマド実測図…… 221
第 51 図　64、68号住居址平面図…… 222
第 52 図　65号住居址平面図、
64号住居址カマド実測図…… 223
第 53 図　66号住居址平面図…… 224
第 54 図　67、69号住居址平面図…… 225
第 55 図　70号住居址平面図…… 226
第 56 図　71号住居址平面図…… 227
第 57 図　72号住居址平面図…… 228
第 58 図　73号住居址平面図、
72、73号住居址カマド実測図… 229
第 59 図　74号住居址平面図、
74号住居址カマド実測図…… 230
第 60 図　75号住居址平面図、
75号住居址カマド実測図…… 231
第 61 図　76号住居址平面図、
76号住居址カマド実測図…… 232
第 62 図　77、78号住居址平面図、
78号住居址カマド実測図…… 233
第 63 図　79号住居址平面図、
79号住居址カマド実測図…… 234
第 64 図　80号住居址平面図、
80号住居址カマド実測図…… 235
第 65 図　81号住居址平面図…… 236
第 66 図　82号住居址平面図、
82号住居址カマド実測図…… 237
第 67 図　83、84号住居址平面図…… 238
第 68 図　85号住居址平面図…… 239
第 69 図　86、88号住居址平面図…… 240
第 70 図　87号住居址平面図、
87号住居址カマド実測図…… 241
第 71 図　89号住居址平面図…… 242
第 72 図　90、91号住居址平面図…… 243
第 73 図　92号住居址平面図、
92号住居址カマド実測図…… 244
第 74 図　93号住居址平面図…… 245
第 75 図　94号住居址平面図、
93号住居址カマド実測図…… 246
第 76 図　95、96号住居址平面図…… 247
第 77 図　97号住居址平面図…… 248
第 78 図　98号住居址平面図、
98号住居址カマド実測図…… 249
第 79 図　99号住居址平面図、
99号住居址カマド実測図…… 250
第 80 図　100号住居址平面図、
100号住居址カマド実測図 …… 251
第 81 図　101号住居址平面図、
101号住居址カマド実測図 …… 252
第 82 図　102号住居址平面図 …… 253
第 83 図　103号住居址平面図、
102号住居址カマド実測図 …… 254
第 84 図　104号住居址平面図、
104号住居址カマド実測図 …… 255
第 85 図　105、106号住居址平面図、
106号住居址カマド実測図 …… 256
第 86 図　107、109号住居址平面図、
109号住居址カマド実測図 …… 257
第 87 図　110、112号住居址平面図 …… 258
第 88 図　111号住居址平面図、
111号住居址カマド実測図 …… 259
第 89 図　113、115号住居址平面図、
113号住居址カマド実測図 …… 260
第 90 図　114号住居址平面図、
114号住居址カマド実測図 …… 261
第 91 図　116号住居址平面図、カマド実
測図、貯蔵穴セクション図 …… 262
第 92 図　117、118号住居址平面図 …… 263

第 93 図　119、120号住居址平面図…… 264
第 94 図　121、122号住居址平面図…… 265
第 95 図　123、124、125、126号
住居址平面図…… 266
第 96 図　127、128、129号住居址平面図 267
第 97 図　108、130号住居址平面図、
130号住居址カマド実測図 …… 268
第 98 図　131号住居址平面図、
131号住居址カマド実測図 …… 269
第 99 図　132、136号住居址平面図、
132号住居址カマド実測図 …… 270
第100図　133、134、135号住居址平面図、
135号住居址カマド実測図 …… 271
第101図　137、138号住居址平面図、
137号住居址カマド実測図 …… 272
第102図　139、140、141号住居址
平面図…… 273
第103図　142号住居址平面図 …… 274
第104図　１号周溝遺構平面図…… 275
第105図　２号周溝遺構平面図…… 276
第106図　３号周溝遺構平面図…… 277
第107図　４号周溝遺構平面図…… 278
第108図　１、２号溝平面図…… 279
第109図　３、４、５号溝平面図…… 280
第110図　６号溝、１号水路平面図…… 281
第111図　１、２号土壙STA522+35S1区
ピット群、２号掘立柱建物址
平面図…… 282
第112図　６、７、10、11号土壙、
６号住居址内配石土壙平面図… 283
第113図　３号掘立柱建物址STA522+40S
４区ピット群、STA521+30N2区
ピット群平面図…… 284
第114図　４号掘立柱建物址STA522+55S
７区ピット群平面図…… 285
第115図　STA521+70N4G、STA521+60
S1区、STA521+35S1区ピット
群平面図…… 286
第116図　１、２号住居址出土土器…… 287
第117図　２、３号住居址出土土器…… 288
第118図　３号住居址出土土器(２)…… 289
第119図　３号住居址出土土器(３)…… 290
第120図　３号住居址出土土器(４)…… 291
第121図　３号住居址出土土器(５)…… 292
第122図　３号住居址出土土器(６)…… 293
第123図　３号住居址出土土器(７)…… 294
第124図　３号住居址出土土器(８)…… 295
第125図　５、６、７号住居址出土土器… 296
第126図　７号住居址出土土器(２)…… 297
第127図　８号住居址出土土器(１)…… 298
第128図　８号住居址出土土器(２)…… 299
第129図　８、９号住居址出土土器…… 300
第130図　10号住居址出土土器…… 301
第131図　12、13号住居址出土土器…… 302
第132図　13号住居址出土土器(２)…… 303
第133図　14号住居址出土土器(１)…… 304
第134図　14、15号住居址出土土器…… 305
第135図　16、17号住居址出土土器…… 306
第136図　17、18号住居址出土土器…… 307
第137図　19号住居址出土土器(１)…… 308
第138図　19号住居址出土土器(２)…… 309
第139図　20、21、22号住居址出土土器… 310
第140図　23号住居址出土土器(１)…… 311
第141図　23、24号住居址出土土器…… 312
第142図　24号住居址出土土器(２)…… 313
第143図　25号住居址出土土器…… 314
第144図　26号住居址出土土器…… 315
第145図　27号住居址出土土器…… 316
第146図　28、29号住居址出土土器…… 317
第147図　29号住居址出土土器(２)…… 318
第148図　30号住居址出土土器(１)…… 319
第149図　30号住居址出土土器(２)…… 320

第150図　31、32号住居址出土土器…… 321
第151図　32号住居址出土土器(２)…… 322
第152図　33号住居址出土土器…… 323
第153図　34号住居址出土土器(１)…… 324
第154図　34号住居址出土土器(２)…… 325
第155図　34号住居址出土土器(３)…… 326
第156図　34号住居址出土土器(４)…… 327
第157図　35号住居址出土土器(１)…… 328
第158図　35号住居址出土土器(２)…… 329
第159図　35号住居址出土土器(３)…… 330
第160図　35号住居址出土土器(４)…… 331
第161図　36号住居址出土土器(１)…… 332
第162図　36、37、38号住居址出土土器… 333
第163図　38号住居址出土土器(２)…… 334
第164図　39号住居址出土土器…… 335
第165図　40号住居址出土土器(１)…… 336
第166図　40号住居址出土土器(２)…… 337
第167図　40、41号住居址出土土器…… 338
第168図　41号住居址出土土器(２)…… 339
第169図　42、43号住居址出土土器…… 340
第170図　44号住居址出土土器…… 341
第171図　45、46、47号住居址出土土器… 342
第172図　47、48号住居址出土土器…… 343
第173図　48号住居址出土土器(２)…… 344
第174図　48号住居址出土土器(３)…… 345
第175図　49号住居址出土土器(１)…… 346
第176図　49、50、51号住居址出土土器… 347
第177図　51号住居址出土土器(２)…… 348
第178図　51、52号住居址出土土器…… 349
第179図　52、54号住居址出土土器…… 350
第180図　54、55号住居址出土土器…… 351
第181図　56号住居址出土土器(１)…… 352
第182図　56、57号住居址出土土器…… 353
第183図　58号住居址出土土器…… 354
第184図　59号住居址出土土器…… 355
第185図　60号住居址出土土器…… 356
第186図　61号住居址出土土器(１)…… 357
第187図　61号住居址出土土器(２)…… 358
第188図　61、62号住居址出土土器…… 359
第189図　62号住居址出土土器(２)…… 360
第190図　62号住居址出土土器(３)…… 361
第191図　63号住居址出土土器(１)…… 362
第192図　63号住居址出土土器(２)…… 363
第193図　64号住居址出土土器(１)…… 364
第194図　64号住居址出土土器(２)…… 365
第195図　64号住居址出土土器(３)…… 366
第196図　64号住居址出土土器(４)…… 367
第197図　65、66号住居址出土土器…… 368
第198図　68、69、70号住居址出土土器… 369
第199図　70、71、72号住居址出土土器… 370
第200図　72号住居址出土土器(２)…… 371
第201図　73号住居址出土土器…… 372
第202図　74号住居址出土土器(１)…… 373
第203図　74号住居址出土土器(２)…… 374
第204図　75号住居址出土土器(１)…… 375
第205図　75号住居址出土土器(２)…… 376
第206図　75、76号住居址出土土器…… 377
第207図　76、77号住居址出土土器…… 378
第208図　78号住居址出土土器(１)…… 379
第209図　78号住居址出土土器(２)…… 380
第210図　78号住居址出土土器(３)…… 381
第211図　79、80号住居址出土土器…… 382
第212図　80号住居址出土土器(２)…… 383
第213図　80、81号住居址出土土器…… 384
第214図　81号住居址出土土器(１)…… 385
第215図　81、82号住居址出土土器…… 386
第216図　82、83号住居址出土土器…… 387
第217図　83号住居址出土土器(２)…… 388
第218図　84号住居址出土土器(１)…… 389
第219図　84、85、86号住居址出土土器… 390
第220図　86号住居址出土土器(２)…… 391
第221図　87、88号住居址出土土器…… 392

第222図　88、89号住居出土土器…… 393
第223図　89、90、91号住居址出土土器… 394
第224図　92号住居址出土土器(１)…… 395
第225図　92号住居址出土土器(２)…… 396
第226図　92号住居址出土土器(３)…… 397
第227図　93号住居址出土土器(１)…… 398
第228図　93号住居址出土土器(２)…… 399
第229図　94、95、96号住居址出土土器… 400
第230図　96、97号住居址出土土器…… 401
第231図　98号住居址出土土器(１)…… 402
第232図　98、99号住居址出土土器…… 403
第233図　99号住居址出土土器(２)…… 404
第234図　99号住居址出土土器(３)…… 405
第235図　100号住居址出土土器(１)…… 406
第236図　100、101号住居址出土土器…… 407
第237図　101、102号住居址出土土器…… 408
第238図　102号住居址出土土器(２)…… 409
第239図　102号住居址出土土器(３)…… 410
第240図　102号住居址出土土器(４)…… 411
第241図　103、104号住居址出土土器…… 412
第242図　104、105、106号住居址
出土土器…… 413
第243図　106号住居址出土土器(２)…… 414
第244図　107号住居址出土土器…… 415
第245図　108号住居址出土土器(１)…… 416
第246図　108号住居址出土土器(２)…… 417
第247図　109号住居址出土土器…… 418
第248図　110、111号住居址出土土器…… 419
第249図　111号住居址出土土器(２)…… 420
第250図　112、113号住居址出土土器…… 421
第251図　113号住居址出土土器(２)…… 422
第252図　114号住居址出土土器(１)…… 423
第253図　114号住居址出土土器(２)…… 424
第254図　114号住居址出土土器(３)…… 425
第255図　115、116号住居址出土土器…… 426
第256図　116、117号住居址出土土器…… 427
第257図　117号住居址出土土器(２)　428
第258図　118、119、120号住居址
出土土器…… 429
第259図　121、122号住居址出土土器…… 430
第260図　122、123号住居址出土土器…… 431
第261図　123、124、125、126号住居址
出土土器…… 432
第262図　127、128、129号住居址出土土器　433
第263図　130号住居址出土土器…… 434
第264図　131号住居址出土土器(１)…… 435
第265図　131号住居址出土土器(２)…… 436
第266図　132、133号住居址出土土器…… 437
第267図　133、134号住居址出土土器…… 438
第268図　134、135号住居址出土土器…… 439
第269図　136、137号住居址出土土器…… 440
第270図　138、139号住居址出土土器…… 441
第271図　139、140、141号住居址
出土土器…… 442
第272図　141、142号住居址出土土器…… 443
第273図　１号周溝遺構出土土器(１)…… 444
第274図　１、２号周溝遺構出土土器…… 445
第275図　２号周溝遺構出土土器(２)…… 446
第276図　４号周溝遺構、
１、３、５号溝出土土器…… 447
第277図　５号溝出土土器(２)…… 448
第278図　５号溝出土土器(３)…… 449
第279図　５、６号溝出土土器…… 450
第280図　６号溝、１号水路出土土器…… 451
第281図　１号水路出土土器(２)…… 452
第282図　土壙出土土器…… 453
第283図　グリット出土須恵器…… 454
第284図　グリット出土須恵器、灰釉陶器　455
第285図　その他出土土器(１)…… 456
第286図　その他出土土器(２)…… 457
第287図　その他出土土器(３)…… 458
第288図　その他出土土器(４)…… 459

第289図　その他出土土器(５)…… 460
第290図　その他出土土器(６)…… 461
第291図　遺跡内出土紡錘車、玉、土錘、
　　他…… 462
第292図　住居出土鉄製品(１)…… 463
第293図　住居出土鉄製品(２)…… 464
第294図　打製石斧、石鏃、砥石(１)…… 465
第295図　砥石(２)…… 466
第296図　竈内出土石製支脚(１)…… 467
第297図　竈内出土石製支脚(２)…… 468
第298図　住居内出土編物用石錘(１)…… 469
第299図　住居内出土編物用石錘(２)…… 470
第300図　住居内出土編物用石錘(３)…… 471
第301図　住居内出土編物用石錘(４)…… 472
第302図　１号墳平面図…… 473
第303図　１号墳内１号石組遺構、１号墳
　　丘２号石組遺構、３号石組遺構
　　平面図…… 474
第304図　２号墳平面図…… 475
第305図　２号墳石室展開図…… 476
第306図　２号墳、鉄製品、玉類、土器、
　　人骨出土位置図…… 477
第307図　３号墳平面図…… 478
第308図　３号墳石室展開図、
　　遺物出土位置図…… 479
第309図　４号墳平面図…… 480
第310図　４号墳内、１、２号墓壙平面図 481
第311図　１、２号墳出土土器…… 482
第312図　２号墳出土土器…… 483
第313図　３号墳出土土器…… 484
第314図　４号墳出土土器…… 485
第315図　１、２号墳出土鉄製品(１)…… 486
第316図　２号墳出土鉄製品(２)…… 487
第317図　２、３号墳出土鉄製品(３)…… 488
第318図　３号墳出土鉄製品(４)…… 489
第319図　２号墳出土金環・玉類(１)、
　　３、４号墳出土金環…… 490
第320図　２号墳出土玉類(２)…… 491
第321図　２号墳出土玉類(３)…… 492
第322図　姥塚遺跡集落変遷図(１)…… 493
第323図　姥塚遺跡集落変遷図(２)…… 494
第324図　姥塚遺跡集落変遷図(３)…… 495
第325図　姥塚遺跡集落変遷図(４)…… 496
第326図　姥塚遺跡集落変遷図(５)…… 497

図 版 目 次

図版１　◦遺跡全景
図版２　◦１号周溝遺構及び周辺住居群全景
　　◦全景
図版３　◦１号住居址
　　◦２号住居址
図版４　◦２号住居址
図版５　◦３号住居址
図版６　◦４号住居址
　　◦５号住居址
図版７　◦６号住居址
　　◦７号住居址
図版８　◦８号住居址
図版９　◦10号住居址
　　◦12号住居址
図版10　◦13号住居址
図版11　◦14・17号住居址
　　◦15号住居址
図版12　◦16号住居址
図版13　◦14・17号住居址
　　◦18号住居址
図版14　◦19号住居址
図版15　◦20号住居址
　　◦21号住居址
図版16　◦23号住居址
図版17　◦24号住居址
図版18　◦25号住居址
　　◦26号住居址
図版19　◦27号住居址
図版20　◦28号住居址
　　◦29号住居址
図版21　◦30号住居址
　　◦32号住居址
図版22　◦33号住居址
図版22　◦34号住居址
図版23　◦34号住居址
図版24　◦35号住居址
図版25　◦36号住居址
図版26　◦37号住居址
　　◦38号住居址
図版27　◦39号住居址
図版28　◦40号住居址
図版29　◦41号住居址
図版30　◦43号住居址
　　◦44号住居址
図版31　◦46号住居址
　　◦47号住居址
　　◦１号墳
図版32　◦48号住居址
図版33　◦49号住居址
　　◦50号住居址
図版34　◦51号住居址
　　◦52号住居址
　　◦54号住居址
図版35　◦55号住居址
　　◦56号住居址
図版36　◦57号住居址
　　◦58号住居址
　　◦59号住居址
　　◦61号住居址
図版37　◦59号住居址
　　◦60号住居址
図版38　◦60号住居址
　　◦61号住居址
図版39　◦62号住居址
図版40　◦63号住居址
　　◦64号住居址

◦71号住居址
図版41 ◦64号住居址
図版42 ◦65号住居址
◦66号住居址
◦68号住居址
図版43 ◦69号住居址
◦70号住居址
図版44 ◦72号住居址
◦73号住居址
図版45 ◦73号住居址
◦74号住居址
図版46 ◦74号住居址
◦75号住居址
図版47 ◦76号住居址
◦77号住居址
◦78号住居址
◦79号住居址
図版48 ◦80号住居址
◦81号住居址
図版49 ◦82号住居址
◦83号住居址
図版50 ◦84号住居址
◦85号住居址
◦86号住居址
図版51 ◦87号住居址
◦88号住居址
図版52 ◦89号住居址
◦92号住居址
図版53 ◦92号住居址
◦93号住居址
図版54 ◦93号住居址
◦96号住居址
図版55 ◦94号住居址
◦97号住居址
◦98号住居址
図版56 ◦98号住居址
図版57 ◦99号住居址
図版58 ◦100号住居址
図版59 ◦101号住居址
◦102号住居址
図版60 ◦103号住居址
◦104号住居址
図版61 ◦105号住居址
◦106号住居址
図版62 ◦107号住居址
◦108号住居址
図版63 ◦109号住居址
◦110号住居址
図版64 ◦111号住居址
◦112号住居址
図版65 ◦113号住居址
図版66 ◦114号住居址
図版67 ◦115号住居址
図版68 ◦116号住居址
図版69 ◦117号住居址
図版70 ◦118号住居址
◦119号住居址
◦121号住居址
図版71 ◦122号住居址
◦123号住居址
◦124号住居址
◦125号住居址
図版72 ◦126号住居址
◦127号住居址
◦128号住居址
図版73 ◦129号住居址
◦130号住居址
図版74 ◦131号住居址
図版75 ◦132号住居址
◦133号住居址
図版76 ◦134号住居址
図版77 ◦135号住居址

	◦136号住居址
	◦137号住居址
図版78	◦138号住居址
	◦139号住居址
図版79	◦140号住居址
	◦141号住居址
	◦142号住居址
図版80	◦ 1号周溝遺構
図版81	◦ 2号周溝遺構
図版82	◦ 4号周溝遺構
図版83	◦ 1号溝
	◦ 2号溝
	◦ 3号溝
図版84	◦ 5号溝
	◦ 6号溝
図版85	◦ 1号水路
図版86	◦ 2号配石土壙
	◦11号土壙
	◦STA521+30N2
	◦ 4号掘立柱群
図版87	◦ 2号住居址遺物
	◦ 3号住居址遺物
図版88	◦ 3号住居址遺物
図版89	◦ 7号住居址遺物
	◦ 8号住居址遺物
	◦ 9号住居址遺物
図版90	◦10号住居址遺物
	◦13号住居址遺物
	◦14号住居址遺物
図版91	◦16号住居址遺物
	◦17号住居址遺物
	◦18号住居址遺物
図版92	◦19号住居址遺物
	◦20号住居址遺物
	◦23号住居址遺物
図版93	◦24号住居址遺物
	◦25号住居址遺物
	◦26号住居址遺物
	◦27号住居址遺物
図版94	◦29号住居址遺物
	◦30号住居址遺物
	◦31号住居址遺物
図版95	◦31号住居址遺物
	◦33号住居址遺物
	◦34号住居址遺物
図版96	◦34号住居址遺物
図版97	◦34号住居址遺物
	◦35号住居址遺物
図版98	◦35号住居址遺物
	◦38号住居址遺物
図版99	◦39号住居址遺物
	◦40号住居址遺物
図版100	◦40号住居址遺物
	◦41号住居址遺物
	◦43号住居址遺物
	◦44号住居址遺物
	◦46号住居址遺物
	◦47号住居址遺物
図版101	◦48号住居址遺物
	◦49号住居址遺物
図版102	◦51号住居址遺物
	◦52号住居址遺物
	◦54号住居址遺物
図版103	◦54号住居址遺物
	◦55号住居址遺物
	◦56号住居址遺物
	◦57号住居址遺物
図版104	◦58号住居址遺物
	◦59号住居址遺物
	◦60号住居址遺物
	◦61号住居址遺物
図版105	◦61号住居址遺物

◦62号住居址遺物
図版106 ◦62号住居址遺物
◦63号住居址遺物
◦64号住居址遺物
図版107 ◦64号住居址遺物
◦65号住居址遺物
◦66号住居址遺物
◦69号住居址遺物
図版108 ◦71号住居址遺物
◦72号住居址遺物
◦73号住居址遺物
◦74号住居址遺物
図版109 ◦74号住居址遺物
◦75号住居址遺物
◦76号住居址遺物
図版110 ◦76号住居址遺物
◦78号住居址遺物
図版111 ◦80号住居址遺物
◦81号住居址遺物
◦82号住居址遺物
◦83号住居址遺物
図版112 ◦85号住居址遺物
◦86号住居址遺物
◦87号住居址遺物
◦88号住居址遺物
図版113 ◦92号住居址遺物
◦93号住居址遺物
図版114 ◦93号住居址遺物
◦97号住居址遺物
◦98号住居址遺物
図版115 ◦99号住居址遺物
◦100号住居址遺物
◦101号住居址遺物
図版116 ◦102号住居址遺物
◦103号住居址遺物
図版117 ◦104号住居址遺物
◦106号住居址遺物
◦107号住居址遺物
◦108号住居址遺物
図版118 ◦108号住居址遺物
◦109号住居址遺物
◦111号住居址遺物
◦112号住居址遺物
◦113号住居址遺物
◦114号住居址遺物
図版119 ◦114号住居址遺物
◦116号住居址遺物
◦117号住居址遺物
図版120 ◦119号住居址遺物
◦122号住居址遺物
◦123号住居址遺物
◦126号住居址遺物
◦129号住居址遺物
◦130号住居址遺物
図版121 ◦131号住居址遺物
◦133号住居址遺物
◦134号住居址遺物
図版122 ◦134号住居址遺物
◦135号住居址遺物
◦136号住居址遺物
◦138号住居址遺物
◦139号住居址遺物
◦140号住居址遺物
◦141号住居址遺物
図版123 ◦29号住居址遺物
◦41号住居址遺物
◦44号住居址遺物
◦88号住居址遺物
◦47号住居址遺物
図版124 ◦グリッド他出土遺物
図版125 ◦34号出土土師器底部糸切
◦36号出土土師器底部糸切

◦69号短冊形鉄斧
図版126　◦姥塚遺跡出土紡錘車
◦遺跡内出土臼玉
◦土玉
◦棒状土製品
◦勾玉
図版127　◦姥塚遺跡無名１号墳
図版128　◦姥塚遺跡無名１号墳
図版129　◦姥塚遺跡無名２号墳
図版130　◦姥塚遺跡無名２号墳
図版131　◦姥塚遺跡無名２号墳
図版132　◦姥塚遺跡無名３号墳
図版133　◦姥塚遺跡無名３号墳
図版134　◦姥塚遺跡無名４号墳
図版135　◦姥塚遺跡無名２号墳出土遺物
図版136　◦姥塚遺跡無名２、３号墳出土遺物

第 Ⅰ 章　　調査の実施と経過

第１節　調査経過

1.　発掘調査事務経過

昭和　55年４月１日　日本道路公団と山梨県教育委員会とで発掘調査委託契約を締結する。

昭和　55年５月20日　文化庁に発掘届を提出する。

昭和　55年６月16日　発掘調査を開始する。

昭和　56年８月１日　発掘調査を終了する。

昭和　56年11月17日　遺物発見通知を提出する。

昭和　57年４月15日　道路公団に精算報告書を提出する。

2.　調査組織

調査主体　山梨県教育委員会

調査機関　山梨県教育庁文化課

調査担当　文化財主事　末木　健

〃　　保坂康夫

整理調査員　塚原明生（日本写真家協会会員）・宮沢公雄

調査補助員　渡辺儀訓　金沢道篤　黒済和彦　羽沢義英　戸内豊（明治大学学生）

作業員・整理員

作 業 員

福島正幸　花田保夫　鈴木経夫　大沢孝行　鈴木幸子　石原常子　清野さか江　渡辺君子
緒方木水　関本ひで美　高橋周子　土屋春美　荒川たかえ　岩間千尋　能登すみこ
寺戸綾子　渡辺昭子　大鷹よし子　天川紀子　石原辰子　大沢たけ子　飯島澄子　天川初子
三沢静江　天川文江　渡辺とめ子　原しず江　渡辺松子　河野春子　鈴木節子　伊藤とく子
小宮山梅子　和泉幸代　和知広野　篠原輝子　橘田さつ起　渡辺久路　土屋アツ子　雨宮薫
深田竹子　梶原君子　石原静江　芦沢なが子　鈴木米子　江波戸比沙恵　鈴木春恵　杉本勉
田中富江　小島記美子　飯島きみ江　松本強　飯島きく子　広瀬広美　保坂よし子
古屋幸子　深沢幸子　小松義彦　長谷川正彦　伊藤修二　村田一夫　関本利恵　緒方民子
和泉けさ代　田中光江　立川静子　清水春雄　福島房子　鈴木まき　佐藤當俊　松野正士
坂本初江　早川和子　山田康雄　上野信夫　金塚清隆　佐野三男　広瀬徳昭　長谷部剛
後藤まさの　大野節子　三沢広哉　三枝浩一　神宮寺年一　鈴木英子　川井正夫　小沢和樹
鷹野英樹　小沢かつじ　玄間みつ子　古屋かずえ　伊藤朗子　松野緑子　向山省吾
三沢さなえ　望月たか乃　小笠原睦子　梶原ふじ乃　古屋ひとみ　弦間千鶴

整理作業員

若尾澄子　石川操　土肥正治　若尾悦子　松野和美　広瀬勝子　後藤良美　弦間千鶴
内藤真千子　小笠原睦子　和田宏美　河西学　弦間文代　名取洋子　古屋満喜子　強矢明子
深味義博　平出千恵子　岡田まき子　佐野真美（順不同）

第２節　調査方法

中央道建設用の中心杭ＳＴＡ 522＋00とＳＴＡ 522＋40の中心点を結んだラインを発掘調査の中心線とし、ＳＴＡ 522＋00を基準として５ｍグリッドを設定した。各グリッドのＮＯは道路杭の数を利用して呼び、中心線よりも北側ではＮ１、Ｎ２～、南ではＳ１、Ｓ２～というように呼称することとした。従って、各グリッドは例えばＳＴＡ 522＋00Ｎ２とか、ＳＴＡ 523＋65Ｓ４とか呼ぶことになった。又、国道137号線よりも東側を姥塚遺跡、西側を二之宮遺跡として分けて発掘調査したが、発掘調査の結果、国道下まで遺構が連なり　同一の遺跡であることが判明している。しかしここでは便宜上分けて取り扱うことにした。

発掘調査は、耕作の関係で全面にとりかかることができず、最初にＳＴＡ 522＋00～ 522＋60の間で、国立神社境内及び宅地を除く畑から始めた。表土は重機によって除去し、この後、作業員によって遺構確認作業を始めた。次にＳＴＡ 521＋80～ 522＋00の間の畑を調査し、ＳＴＡ 522＋60～ 524＋00の中心線よりも南側の調査を実施した。この後、国立神社境内を調査し、プレハブの移転後に 522＋60～ 524＋00の北側を調査した。国道137号線沿は住宅が２軒あったが，移転の為に最後の調査地区となった。なお、古墳のうち、無名墳は当初２基を予想していたが、表土を除去したり、地元の方々の話から、最終的には４基の存在が確認された。１号墳はＳＴＡ 523＋10Ｓ２杭をほぼ中心にする位置にあり、２号墳はＳＴＡ 525＋10Ｎ２を中心点にもつ。３号墳はＳＴＡ 524+80Ｎ6をほぼ中心にもつ位置である。4号墳は１号墳の南東で、ＳＴＡ 524＋35Ｓ７が中心となる。

調査は、遺構確認が出来た段階で、他の遺構との重複関係を調べ、前後関係の分かるものは新しい住居から掘り下げることとした。住居は原則的にセクションベルトを主軸方向に設定したが、竈等の焼土が不明のものは南北方向で、住居の壁と平行になるように設定した。住居内の遺物は一括土器を残し、小破片は覆土一括として取り上げた。土層実測後、土層の写真撮影を行いベルトを除去し、一括遺物等の残存状態を写真撮影した後に、平板による遺物の出土位置やレベルを実測した。この後、遺物ＮＯをつけて取り上げたが、竈内の土器は竈の図に記述した。

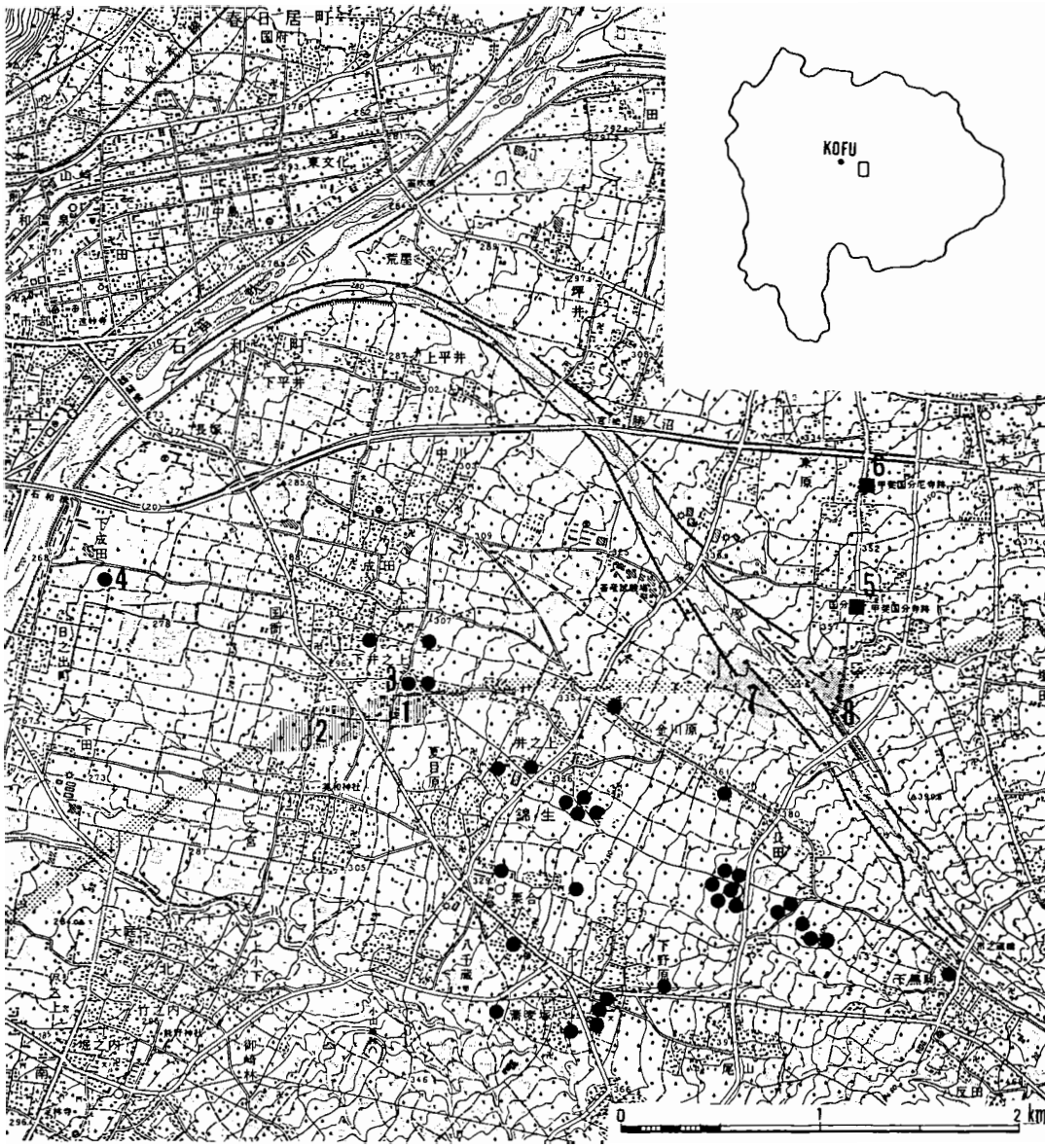
住居のエレベーションは原則として十字にかけ、貯蔵穴・竈・柱穴等が含まれるようポイントを置いた。竈は平面図と断面図を作成し、掘り上げ後の状態は残存状態の良いものに限定した。又、竈側面及び正面図も良好なものに限って作成した。

貯蔵穴で遺物の豊富なものは微細図を作成したが、他は平面図ですませた。

住居関係での作図は、平面図20分の１、竈実測図10分の１である。

なお、遺跡の西側は黒色粘土層中に住居址が埋没しており、住居の切り合いを確認することが困難であった。従って、面的に遺物を残し、遺物各々の時代や、柱穴位置から住居の規模を出した場合もある。

古墳の調査は、当初から分っていた１号墳と２号墳は石室の位置を求めることから始めたが1･4号墳は集落遺構と近接していたので、表土を面的に除去した後にセクションベルトを残して調査した。又、２号墳・３号墳は、集落址から独立していたので、この部分を作業員によって掘り下げ、遺構の確認を行った。調査経過については第Ⅳ章第１節以降で示す。



１.姥塚遺跡　２.二之宮遺跡　３.姥塚古墳　４.亀甲塚　５.甲斐国分寺　６国分尼寺　７.四ッ塚古墳群

第１図　遺跡位置図

第 II 章　　遺跡周辺地域の状況

第１節　遺跡の位置と立地

本遺跡は、山梨県東八代郡御坂町井之上・二之宮に位置し、その規模は東西800ｍ、南北も同じ位の範囲があると思われる。甲府盆地東部の金川扇状地先端に近い、標高307ｍあたりの西面緩傾斜地で、北西側２㎞には甲府盆地東縁の大河である笛吹川が流れている。このあたりは、金川の形成した小河川と自然提防状の微高地が交互に並び、扇を広げた様な状態である。遺跡もこうした微高地上に発達したものと思われ、東西800ｍの姥塚、二之宮遺跡であっても、完全に連続しているのではなく、小河川で幾つかに区切られている。しかし、ＳＴＡ 522＋00より東側の地山は黄色砂質土を住居が掘り込んでいるため、住居の確認が容易であったが、西側は褐色粘土層中に造られており、かつて水分の多い所に推積した粘土層上に集落が拡大していったことがうかがえる。なお、この下層はすぐに礫層となってしまい、これより下に古い時代の遺跡は存在しないと思われる。

第２節　周辺の歴史的環境

本遺跡は、県指定史跡として有名な姥塚古墳のすぐ南にあって、一部同一小字名も含まれることから、この遺跡名が付けられたものであるが、この古墳と関係がある、同時期の大規模な集落跡の存在、及び周辺の群集墳の一端が解明できた訳である。この姥塚古墳は６世紀末～７世紀初頭に築造されたものと考えられているが、これ以前の古墳には、御坂町下成田の亀甲塚古墳がある。亀甲塚は鏡、管玉が出土しており、５世紀前半頃の築造とされている。又、６～７世紀の群集墳は、金川両岸に極めて数多く築造されていたと思われるが、今日では、四ツ塚古墳群・錦生古墳群・塩田古墳群など一部の古墳が、かろうじて残っているにすぎない。奈良時代では一宮町国分及び東原に甲斐国分寺と甲斐国分尼寺が建立されており、現在は国史跡として礎石が残っている。平安時代の集落は近辺に数多くあるが、遺跡範囲が不明確なほど、広大な面積をもつものが多い。又、御坂町国衙は、平安時代頃の国庁の跡と伝えられる所であるが、遺構・遺物でそれを証明するようなものは、今のところ出土していない。

このように、本遺跡を取り巻く周辺の歴史環境はすぐれており、甲斐古代史上欠くべからざる地位を占めている。従って、本遺跡からの出土品、遺構も注目すべきものと思う。なお、この詳細については、二之宮遺跡の報告書等も参照されたい。

第 Ⅲ 章　遺 構・遺 物

第１節　住居址（第３図）

本遺跡から発見された住居は総数１４１軒である。これらはいづれも古墳時代以降の住居址群で、耕作によって削平されたものや、お互いに重複しているものが多く、その為に住居のプランや構造の不明なものも多い。又、一部は道路・水路等の為に未調査地区として残さざるを得なかったものもあるので、完全とは言えない。

なお住居説明の記述にあたっては、グリッド位置・規模・主軸方位・プラン・壁高・床面状態・炉又は竈の位置・規模・構造・柱穴・貯蔵穴等について述べる。この他の施設についても、その都度書き加えるつもりである。又、出土遺物は平面図上に記載したが総てではない。遺物分布図が掲載できない為、住居構造を見る上で煩雑とならない程度に出土位置を示している。又、カマドは良好なものだけ図示したので、焼土だけのものは表現していない場合もある。なお、出土遺物の説明及び点数は第５表を参照されたい。

１号住居址（第４・１１６図）

ＳＴＡ 522＋35Ｓ５に位置し、他の住居址との重複はない。東西5.61ｍ、南北6.12ｍの方形プランを呈し、主軸はＮ－29°－Ｗを示す。壁は北西で3.13㎝、南西3.7㎝で、他は認められない。壁面はやや外傾斜している。竈は北辺中央に位置するが、焼土が80㎝×80㎝の範囲に広がっているだけで、構造については不明である。床面には地山の礫が露出しており、凹凸がある。出土遺物は覆土中より甕・鉢などが出土している。時期は古墳時代後期に属するであろう。

２号住居址（第５・１１６～１１７図）

ＳＴＡ 522＋30Ｓ１に位置し、他の住居との重複はない。東西7.88ｍ、南北7.96ｍの方形を呈し、主軸はＮ－47－Ｅを示す。壁は南東16.2㎝、北西20.6㎝、北20.2㎝の高さがあり、壁面はやや外傾している。床面は、中央部はしまっているが、周辺部は軟弱である。竈は北壁中央部に位置し、東西1.31ｍ、南北1.27ｍの規模である。粘土による構築と思われ、石は無いが、壁寄り両側に甕が直立して置かれていた。柱穴は主柱穴４本で、ピット１は深さ36.3㎝、短径20㎝、ピット２は深さ51.5㎝、長径32㎝、短径28㎝、ピット３は深さ45.7㎝、長径32㎝、短径31㎝、ピット４は深さ54.5㎝、長径31㎝、短径29㎝である。補助柱穴と思われるピット５は深さ14㎝、直径37㎝、ピット６は深さ19.5㎝、直径44～48㎝である。貯蔵穴は竈と反対の南西壁中央に接して位置し、東西1.12ｍ、南北1.13ｍの方形を呈する。穴は２段に掘られ、上段は２～３㎝の深さで、下段は20㎝の深さがある。内部から、坏や甕破片が出土した。遺物は竈内部及び貯蔵穴が多く、時代は古墳時代後期に属する。

３号住居址（第６・１１７～１２４図）

ＳＴＡ 522＋40ＳＨ１に位置し、41号住居址などと重複する。東西4.99ｍ、南北5.2ｍの方形プランを呈し、Ｎ－56°－Ｅの主軸をもつ。壁は東36㎝、西27㎝、南31㎝、北37㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部より南側が良好であるが、北側は41号住居を埋め立てている為に軟弱である。竈は、東北辺壁中央部に位置し、巾73㎝、長さ67㎝の大きさで、正面袖部には長細い石を立て、袖石中央には長胴甕が横たわっている。おそらく袖石の上に架けたものが土圧で落ちたのであろう。竈中央部には支脚に使用された長方形礫があり、甕などが置かれていた。使用中に放棄された様な状態を示している。柱穴は４本で、ピット１は深さ23㎝直径36㎝、ピット２は深さ19㎝、直径34㎝、ピット３は深さ17㎝、直径29㎝、ピット４は深さ20㎝、直径29㎝である。周溝は北西から南西にかけてＬ字形に掘られ、幅は15㎝である。出土遺物は前述したように、竈内部及び周辺に集中する群と、住居中央部に投棄されたように纏っているものとがある。土器の時代は古墳時代後期に属する。出土遺物量の多い住居のひとつである。

４号住居址（第７図）

ＳＴＡ22＋30Ｓ５に位置し、他の住居址とは重複しない。東西4.9ｍ、南北4.9ｍの台形を呈し、壁高は東４㎝、西６㎝、南4.6㎝、北6.5㎝を測る。主軸は竈が無い為に不明であり、柱穴・貯蔵穴等の施設は無い。又、遺物も無いので時期も不明である。

５号住居址（第７・１２５図）

ＳＴＡ 522＋00Ｓ７に位置し、他の住居址との重複はない。東西3.27ｍ、南北3.12ｍのほぼ正方形を呈し、主軸はＮ－5°－Ｗを示す。壁は東5.7㎝、南5.9㎝で他は確認面と等しく、壁面はやや外傾している。床面は中央部がやや良好な他は、荒れている。柱穴は無く、貯蔵穴も無い。竈は北辺壁中央に位置し、袖石粘土造りで、東西48㎝、南北53㎝の範囲に焼土が分布する、覆土中より古墳時代後期の坏が出土している。

６号住居址（第８・１２５図）

ＳＴＡ 521＋95Ｓ７に位置し、南側は一部地区外となっている。現存する規模は東西4.6ｍ南北3.9ｍの方形で、主軸はＮ－10°－Ｅを示す。壁は東13㎝、西15㎝、北10.5㎝で、壁面はやや外傾する。床面の状態はあまり良好ではない。竈は北辺壁中央に位置し、粘土造り、東西66㎝、南北10.9㎝の範囲に焼土が広がっている。東壁中央付近に半島状の張り出し部を有する壁があり、それに接して集石土壙がある。遺物は住居内全体に散布しており、原位置を保つものはない。又住居内には柱穴、貯蔵穴等の施設は認められない。本住居の年代は出土土器から、古墳時代後期に属する。

７号住居址（第９・１２５～１２６図）

ＳＴＡ 522＋00Ｓ５に位置し、他の住居址との重複はない。東西4.34ｍ、南北4.90ｍの方形

プランを呈し、主軸はＮ－7°－Ｅを示す。壁は東23㎝、西19㎝、北27.8㎝で、壁面はやや外傾している。床面は中央部を除いて軟弱である。なお、南壁中央部が巾1.1ｍ、長さ30㎝の規模で南に張り出している。入口部の施設であろうか。竈は北壁中央に位置し、東西60㎝、南北76㎝の範囲に焼土が広がっている。袖西側には長方体の袖石が直立しており、石を芯にした粘土構築の竈である。柱穴は主軸より東側の２本しか検出されておらず、ピット１は深さ21㎝、長径24㎝、短径20㎝、ピット２は深さ24㎝、直径20㎝である。出土遺物は古墳時代後期の坏・甕等であり、住居内に分散する。

８号住居址（第10・１２７～１２９図）

ＳＴＡ 522＋05Ｓ３に位置し，他の住居址とは重複していない。東西6.3ｍ，南北6.28ｍのほぼ正方形プランを呈し、主軸はＮ－37°－Ｗを示す。壁は東７㎝、西10㎝、南10.2㎝、北11.5㎝で壁面はやや外傾する。床面は地山の礫が露出してゴツゴツしている。竈は西北辺の中央に位置し、焼土中央に支脚に使用されたと思われる長方形の石柱が残る。竈の範囲は東西81㎝である。焚口部左側に石が残っているが袖石であろう。柱穴は４本で、ピット１は深さ26㎝、直径25㎝、ピット２は深さ31㎝、直径22㎝、ピット３は深さ35.7㎝、直径24㎝、ピット４は深さ42㎝、直径19㎝である。出土遺物は住居址内全体から出土しているが、この中で須恵器の坏が時代の決め手となっており、坏・甕・甑等から本住居の時代は、古墳時代後期に属している。

９号住居址（第11・１２９図）

ＳＴＡ 521＋85Ｎ２に位置し、13号住居等と重複している。東西4.63ｍ、南北4.02ｍの台形プランを呈し、壁は東14.8㎝、南25㎝、北13㎝の高さがある。出土遺物は住居内に散乱した状態で、土師器坏は平安時代後期に属する。竈・柱穴等は不明である。

10号住居址（第11・１３０図）

ＳＴＡ21＋70Ｓ２に位置し、12号住居址等と重複する。東西4.65ｍ、南北5.36ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－10°－Ｅを示す。壁は東26㎝、西26㎝、南33㎝、北19.6㎝の高さが残り、壁面はやや外傾している。竈は北壁中央部に位置し、東西43㎝、南北71㎝の範囲に焼土が分布する。焼土中には支脚に使用されたのであろうか、石柱が残っている。竈東側には甕などが破損して残り、住居内にも礫や土師器片が散布する。床面の状態は中央部で若干良好な他は軟弱で凹凸がある。柱穴・貯蔵穴は無い。出土遺物には坏、甕などがあり、これから古墳時代後期の住居と思われる。

本住居址から出土した遺物は、前述したように土師器では坏と甕がある。第130図１は内外面赤彩色された坏で、口縁が直立し、体部は浅い皿状を呈する。２はやや大振りの碗といえる坏で、厳密に区別はできないが、供膳形態の組成を担う器種であろう。３・４は高坏であろうか。甕は箆磨き整形と刷毛目整形の２種が見られるが、共伴するものである。

11号住居址（第12図）

ＳＴＡ 521＋70Ｓ３に位置し、他の住居址等とは重複しない。住居には壁がなく、遺物の分布状態からおよそ方形と推定している。床面状況は悪く、柱穴・貯蔵穴・竈は不明である。

12号住居址（第12・１３１図）

ＳＴＡ 521＋75Ｓ２に位置し、21号住居址等と重複する。小形の方形プランをもつ住居である。東西3.28ｍ、南北3.14ｍの規模で、主軸はＮ－13°－Ｅを示す。壁は東26㎝、西30㎝、南26㎝、北31㎝の高さがあり、竈は北壁中央部に位置し、南北1.15ｍ、東西0.54ｍの範囲に焼土が広がる。焚口部には礫があるが、袖を礫で構築したかどうか不明。柱穴・貯蔵穴等は検出されず、床面上には焼土塊が散布する。出土遺物は高坏・甕などがあり、これから古墳時代後期に属すると言えよう。

13号住居址（第13図・１３１図）

ＳＴＡ 521＋80ＮＳ１に位置し、９号住居址等と重複する。東西5.04ｍ、南北4.91ｍのほぼ正方形を呈し、主軸はＮ－31°－Ｗを示す。壁の高さは西７㎝、南13㎝、北16.5㎝で、竈は北西壁中央部に在り、東西90㎝、南北90㎝の範囲に焼土が広がる。竈は粘土で構築されていたと思われ、掘り込みの上に20㎝程の焼土ブロックが混入し、黒褐色土が推積している。柱穴・貯蔵穴等の施設はないが、遺物量は多く、住居内全体に散布しており、坏・高坏・甕等が出土している。遺物から古墳時代後期に属する。

14号住居址（第14～15・１３３～１３４図）

ＳＴＡ 521＋60Ｓ３に位置し、17号住居址と重複する。又南側半分は未調査地区に含まれている為に、全体の構造は把握できないが、本遺跡中でも規模の大きな住居のひとつである。発掘された住居は、東西8.28ｍ、南北5.97ｍで、本来は正方形プランを呈すると思われる。主軸はＮ－31°－Ｅを示し、壁は東14㎝、西25㎝、北17㎝の高さがある。壁面はやや外傾している。床面は竈正面部が良好の他はやや軟弱である。竈は北壁中央に位置しており、南北1.７ｍ、東西1.１ｍの範囲に焼土がある。底面には皿状の掘り込みがあり、袖は粘土で構築されている。支脚は石柱を使用し、支脚上には甕の破片が散乱している。柱穴は１本しか確認されていない。深さ14.5㎝、直径35㎝の円形プランである。出土遺物には坏・甕などがあり、住居内全体に分布している。本住居の時期は古墳時代後期に属する。

15号住居址（第８・１３４図）

ＳＴＡ 521＋75Ｎ２に位置し、18号住居址等と重複している。東西3.78ｍ、南北3.77ｍの方形プランを呈し、主軸はＮ－34°－Ｅを示す。壁は東21㎝、西21㎝、北17㎝で壁面はやや外傾する。床面は中央南側がやや良好の他、全体は軟弱である。柱穴は不明。竈は良好ではないが、住居中央部から北壁中央部にかけて焼土が広がっている。南北2.３ｍ、東西約１ｍの範囲であ

る。住居中央には礫が２～３個並んでいるが、あるいはこれが竈の袖石であろうか。そうであるとすれば、住居は全体に南へ移る可能性がある。本住居の時期は古墳時代後期終末から奈良時代初めであろうか。

16号住居址（第16・１３５図）

ＳＴＡ 521＋80Ｎ２に位置し、他の住居址と重複はしていない。東西2.72ｍ、南北2.6ｍのほぼ正方形をしており、主軸はＮ－28°－Ｅを示す。壁は東18㎝、西６㎝、南14㎝、北10㎝で、壁面はやや外傾する。床面は水平であるが、あまり良好ではない。竈は石組竈で、袖石、及び天井石が良好に残っている。右袖は長方体の石を４本縦に使用し、左袖は長方体の石４本を縦に使用している。天井に架けた石は３本あったが、このうち２本は竈内部に落ち込んでいた。規模は東西1.1ｍ、南北1.5ｍである。出土遺物は灰釉陶器坏や土師質土器坏・羽釜があり、平安時代後期に属する。

17号住居址（第14～15・１３５～１３６図）

ＳＴＡ 522＋60Ｓ３南側に位置し、14号・20号住居址と重複している。又、南側は地区外となっているので、住居址全体は調査できなかった。現存する規模は、東西4.15ｍ、南北5.37ｍで、ほぼ正方形を呈しているものと思われる。主軸はＮ－31°－Ｅを示し、壁は東16㎝、西7㎝、北12.2㎝で壁面はやや外傾する。床面はほぼ良好であるが、床面上には上屋の火災にあって崩壊した炭化材が相当残っており、垂木、板状の材などが見られる。竈周辺には炭化材が無いところから、竈から失火して焼失したものであろう。住居内に残存した遺物も、北西コーナーには、完形品が４点程まとまってあったが、１軒の食器量とすれば少ないので、他は搬出したのであろうか。柱穴・貯蔵穴等は無い。竈は北壁中央部に位置し、煙道は住居外へ長く伸びている。焼土の範囲は南北2.1ｍ、東西70㎝程であり、住居外の部分は70㎝である。住居内の竈部は90㎝程で、粘土によって構築されている。出土遺物は、坏・甕・甑などで古墳時代後期に属する。

18号住居址（第17・１３６図）

ＳＴＡ 521＋75Ｎ２に位置し、15・16・42号住居址等と重複しているので、住居は南東コーナー部分が僅かに残っているだけである。住居の規模、方位は不明で、残存する壁高は東6.4㎝、南5.5㎝でやや外傾している。出土遺物は、甕と甑で、これらは古墳時代後期に属するものである。

19号住居址（第18・１３７～１３８図）

ＳＴＡ 521＋85Ｎ３に位置し、22・26号住居址等と重複する。東西6.27ｍ、南北6.54ｍで、方形プランを呈し、主軸はＮ－18°－Ｅを示す。壁は東20.8㎝、西32㎝、南13㎝、北20㎝の高さで壁面はやや外傾している。床面はあまり良好ではなく、柱穴・貯蔵穴等は不明である。竈は

東西60㎝、南北50㎝で袖石及び支脚の一部が焼土中に残っている。遺物は竈周辺と住居南側に分かれて散布しており、坏・甕等がある。この遺物から本住居の時代は古墳時代後期に属している。

20号住居址（第17・１３９図）

ＳＴＡ 521＋55Ｓ３に位置し、17号住居址と重複する。東西2.41ｍ、南北2.92ｍの規模で全体は横長の長方形であったと推定できる。壁高は西４㎝、南８㎝、北9.7㎝で、壁面はやや外傾する。床面は中央部がやや良好であるが、柱穴・貯蔵穴等はない。竈は北壁に位置している。住居外へ煙道部が60㎝程張り出し、住居内は東西60㎝の規模である。袖石が焚口部両側に立てられ、焚口前には天井に架けられた長方体の石が横たわっている。本住居の出土遺物は、住居南壁に並んでおり、坏・甕が出土する。時代は古墳時代後期に属している。

21号住居址（第19・１３９図）

ＳＴＡ 521＋70Ｓ２に位置し、12号住居址と重複する。東西2.97ｍ、南北2.65ｍの規模をもち、方形プランを呈する。主軸はＮ－35°－Ｅを示し、壁は東20㎝、西３㎝、南17.5㎝、北3.3㎝で、壁面はやや外傾している。床面は軟弱で、柱穴・貯蔵穴等は認められない。竈は東西65㎝南北80㎝の範囲に焼土が散布しているだけで、石組等は見られない。遺物は、須恵器坏・土師器甕が出土している。時期は平安時代前半になろう。

22号住居址（第19・１３９図）

ＳＴＡ 521＋85Ｎ３に位置し、19号住居址と重複している。東西5.31ｍ、南北5.26ｍの方形プランを呈していると思われ、主軸はＮ－35°－Ｅを示す。壁は東14.6㎝、南15.4㎝で、他は削平されている。床面は軟弱で柱穴等の施設は不明。炉等は19号住居に削平されて消失している。柱穴・貯蔵穴は不明、出土遺物は古墳時代前期の器台、台付甕等が出土している。

23号住居址（第20・１４０～１４１図）

ＳＴＡ 521＋80Ｎ２に位置し、他の柱居址とは重複しない。東西3.06ｍ、南北3.18ｍの方形プランを呈し、主軸はＮ－54°－Ｗを示す。壁は東40㎝、西26㎝、南33㎝、北28㎝で、壁面はやや外傾している。竈は北西壁中央に位置し、東西86㎝、南北54㎝で、焚口両袖入口部には、石柱を使用し、竈本体は粘土で構築されている。竈中央には石製支脚があり、内部には坏・鉢等がほぼ完形で出土している。床面は竈正面あたりが良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴・貯蔵穴は無い。遺物は竈周辺と住居内全体に散布しており、坏・甕・鉢等がある。これから本住居の時代は、古墳時代後期と思われる。

24号住居址（第21～22・１４１～１４２図）

ＳＴＡ 521＋55ＮＳ１に位置し、29号住居址と重複する。東西7.1ｍ、南北6.61ｍの方形プ

ランを呈し、主軸はＮ－12°－Ｅを示す。壁は東40.8㎝、西22㎝、南34㎝、北47㎝で、壁面はやや外傾斜している。竈は北壁中央に位置し、東西１ｍ、南北1.3ｍで、住居外へ40㎝程伸びている。竈は両側に袖石を立て、右袖石は６個の長方体礫を使用し、左袖石は４個の長方体礫を使用している。礫の間には粘土が詰められているので、石組を芯とした粘土覆の竈である。床面は比較的良好で、中央部は堅い。柱穴は４本あり、ピット１は深さ44.5㎝、短径75㎝、長径90㎝、ピット２は、深さ26㎝、短径52㎝、長径67㎝、ピット３は深さ44.8㎝、直径69㎝、ピット４は深さ36㎝、短径60㎝、長径67㎝である。遺物は竈周辺にあるが、坏・甕・甑等は、古墳時代後期の時期に属する。

25号住居址（第23・１４３図）

ＳＴＡ 521＋75Ｎ４に位置し、28号住居址と重複する。東西3.98ｍ、南北3.85ｍの方形プランを呈し、主軸はＮ－15°－Ｅを示し、壁は東13㎝、西７㎝、南12㎝、北9.7㎝で壁面はやや外傾する。柱穴は不明で、竈・貯蔵穴等も無い。遺物は南壁寄から、集中して出土し、坏・甕・鉢等が出土している。時期は古墳時代後期である。

26号住居址（第23・１４４図）

ＳＴＡ 521＋80Ｎ３に位置し、19・28・38号住居址と重複する。東西5.04ｍ、南北5.67ｍの方形プランを呈し、主軸はＮ－28°－Ｅを示す。壁は東７㎝、西17㎝、南９㎝、北11㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。住居中央に炉端に使用された枕石があり、焼土は少ないが、枕石の北側が炉であると考える。炉は東西30㎝、南北30㎝である。遺物は住居全体から出土するが器台・高坏・壷・台付甕等が出土しており、これから古墳時代前期に属する。

27号住居址（第24・１４５図）

ＳＴＡ 521＋65Ｎ４に位置し、37号住居址と重複する。西側が水路によって削り取られているので、全体規模は不明であるが、現存する規模は3.5ｍ、南北3.42ｍで方形を呈すると思われる。主軸はＮ－86°－Ｅで、壁は東2.2㎝、南11㎝、北10㎝の高さがあり、壁面はやや外傾している。竈は東壁中央に位置し、巾60㎝、長さ65㎝の規模で、焚口袖石は南側部分が完全に残っていたが、北側の袖は倒れている。石製の支脚が中央部より出土している。柱穴・貯蔵穴は不明で、遺物は住居内より坏・甕・甑・鉢等が出土しており、古墳時代後期に属する。

28号住居址（第24・１４６図）

ＳＴＡ 521＋75Ｎ４に位置し、25・26・38号住居址と重複している。東西3.87ｍ、南北3.43ｍのほぼ方形をしており、主軸はＮ－28°－Ｅを示す。壁は東17.5㎝、西27.5㎝、南20㎝、北20㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部及び竈前面が良好であるが他は軟弱である。竈は東壁南側にあって南東隅に位置する。巾88㎝、長さ1.27ｍで、半分は住居外に張り出しているが、これは煙道部であろう。竈は石芯粘土覆の構造であろうが、石組は崩れている。

竈の前、南壁に接して長方形の貯蔵穴がある。巾35cm，長さ80cmである。出土遺物は住居の壁に近い部分にあり、灰釉陶器・土師器・甕などが出土している。本住居は、平安時代後期に属する。

29号住居址（第25・１４６～１４７図）

ＳＴＡ 521＋55Ｎ２に位置し、１３０号住居址と重複する。東西4.38ｍ、南北3.67ｍの方形プランを呈し、主軸はＮ－19.5°－Ｅを示す。壁は西33cm、南36cmの高さで他は重複によって不明である。床面は全体に明瞭でなく、柱穴・貯蔵穴等は無い。竈は北壁東寄りに位置し、東西1.46ｍ、南北0.84ｍの範囲に焼土がある。粘土造りの竈である。遺物は住居全体に散布するが、西壁には甕が完形で残っていた。坏・甕等から奈良時代の住居と考えられよう。

30号住居址（第26・１４８～１４９図）

ＳＴＡ 521＋55Ｎ２に位置し、24号住居址と重複する。東西3.48ｍ、南北3.91ｍの方形プランを呈し、主軸はＮ－34°－Ｗを示す。壁は東29cm、西17cm、南22cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。柱穴は不明であるが、南隅に方形の特殊な遺構がある。70cm×30cmの皿状ピットの周辺に４～５cmの周提がめぐっている。貯蔵穴というよりは入口部の施設であろうか。又、コーナーには柱穴状のピットがあるが、他のコーナーには存在しないので、入口部施設に伴うものかもしれない。このピットは直径20cm、深さ15cmである。住居の中央西側に焼土があり、これが地床炉であろうか。出土遺物は覆土中に多く含まれ、器台・坩・甕等が出土している。古墳時代前期の住居である。

31号住居址（第26・１５０図）

ＳＴＡ 521＋70Ｎ４に位置し、37号住居址等と重複する。東西４ｍ、南北3.72ｍの方形プランを呈すると思われ、主軸はＮ－14.5°－Ｅを示す。壁は東10cm、北10cmで、他の辺は確認面と同じである。床面は竈周辺で、良好であるが、全体は軟弱である。竈は東壁中央に位置し、東西42cm、南北47cmの範囲に焼土が残り、竈中より皿・坏などが出ている。出土土器は平安時代中頃のものである。

32号住居址（第27・１５０～１５１図）

ＳＴＡ 522＋30Ｎ４に位置し、他の住居との切り合いはないが、北側を水路によって切り取られている。現存する規模は東西4.24ｍ、南北3.72ｍで方形プランをもつと思われる。主軸はＮ－27°－Ｅを示し、壁は東23.8cm、西16.5cm、南22cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。竈は北壁中央に存在したと考えられるが、切り取られているので不明である。柱穴は主柱穴４本、壁柱穴１本で、ピット１は深さ11.2cm、短径46cm、長径52cm、ピット２は深さ12.7cm、短径48cm、長径56cm、ピット３は深さ30cm、短径48cm、長径55cm、ピット４は深さ20cm、直径45cmである。壁柱穴は東壁南寄りに位置し、深さ16.8cm、短径51cm、長径55cmである。貯蔵穴と思わ

れるピットは、西壁南寄りにあって、２段に落ち込んでいるが、東西94cmの楕円形の中に、長径65cm、短径40cmのピットがある。この下のピットは、東壁にある壁柱穴と同じ性格のものかもしれない。覆土中には多量の礫が投げ込まれており、この間に土器も含まれていた。出土遺物は、坏・高坏・甕等であり、古墳時代後期のものである。

33号住居址（第28・１５２図）

ＳＴＡ 522＋20Ｎ２に位置し、他の住居址とは重複していない。東西4.8ｍ、南北4.86ｍの方形プランを呈し、主軸はＮ－68°－Ｅを示す。壁は東30.5cm、西29cm、南28cm、北32cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺はやや軟弱である。柱穴は４本で、住居の対角線上に位置し、ピット１は深さ41cm、短径34cm、長径38cm、ピット２は深さ32.4cm、短径26cm、長径34cm、ピット３は深さ50.4cm、短径31cm、長径41cm、ピット４は深さ41.6cm、直径23cmである。貯蔵穴は、西壁中央部に馬蹄形の周堤があり、その内部に深さ70cm、東西75cm、南北80cmの土壙がある。竈は東壁中央に位置し、東西1.45ｍ、南北1.36ｍの範囲に焼土及び石組が存在する。この竈は袖部を粘土で構築し、天井部を石で架けたもので、例は少ない。竈中央に石製の支脚が直立して残っていた。出土遺物は、坏・甕・長頸壷などがあり、古墳時代後期のものである。

34号住居址（第29・１５３～１５６図）

ＳＴＡ 522＋30Ｎ３に位置し、50号住居址と重複する。東西4.3ｍ、南北5.32ｍの方形プランを呈する住居で、主軸はＮ－16.5°－Ｅを示す。壁は東33cm、西38.8cm、南34.5cm、北33.8cmの高さがあり、壁面はやや外傾斜する。柱穴は４本で、ピット１は深さ44.1cm、直径55cm、長径61cm、ピット３は深さ41cm、直径52cm、ピット４は深さ31cm、直径49cmである。周溝は西壁から北壁及び、南壁の一部に見られるが全周はしない。特に竈両側は深さ60cm、直径50～60cmの柱穴が各１本づつ伴い、特殊な住居構造が見られる。又入口部も若干突出している。周溝の巾は21cmである。竈は北壁中央に位置し、東西81cm、南北11.6cmの規模がある。煙道部40cmが住居外へ突き出し、竈本体は両袖に長方体の石を使用する以外は粘土による構築がされる。竈内には甕が残り、その下から土製の支脚が出土している。住居内の遺物は東北隅に集中しており、坏・甕・鉢・甑などがあり、これらは古墳時代後期の遺物である。

35号住居址（第30・１５７～１６０図）

ＳＴＡ 522＋30Ｎ３に位置し、36・50号住居址と重複している。東西4.91ｍ、南北5.38ｍの方形プランを呈し、主軸はＮ－19°－Ｅを示す。壁は東38cm、西26cm、南28.5cm、北31.8cmで、壁面はやや外傾している。床面は中央部が良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴は４本で、ピット１は深さ26.7cm、直径31cm、ピット２は深さ28.5cm、直径30cm、ピット３は深さ30cm、直径30cm、ピット４は深さ32cm、直径30cmである。貯蔵穴は南壁中央に位置し、住居壁より若干南に張り出す。東西75cm、南北65cmの不整形で、断面も皿状を呈する。竈は北壁中央に位置

し、東西87㎝、南北62㎝の範囲で、袖には長方体の礫を使用する他は粘土で構築されている。竈内には甕が破損しており、その下に支脚に使用されたと思われる高坏の脚部が存在した。遺物は竈の前に集中しており、礫なども含まれている。出土遺物には、坏・大坏・甕等があり、これから古墳時代後期に属する。

36号住居址（第31・１６１・１６２図）

ＳＴＡ 522＋35Ｎ３に位置し、35号住居址と重複し、北側を水路によって切られている。東西6.62ｍ、南北5.97ｍが現存する規模で、プランは不定形をしている。壁は東31㎝、西44㎝、南36㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好のほか、周囲は軟弱である。柱穴は不明で、住居内南壁中央近くに深さ10.7㎝、直径45㎝位のピットが存在するだけである。住居の南に接して礫を多く含んだ土壙があり、これはこの住居によって切られているので、同時代か、それ以前であろう。住居内の遺物は覆土中のものが多く、断面図にも示した通りである。坏・高坏・甕等が出土しており、これから古墳時代後期に属す。

37号住居址（第32・１６２図）

ＳＴＡ 521＋65Ｎ４に位置し、27号住居址と重複する。東西4.24ｍ、南北5.37ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－19.5°－Ｗを示す。壁は東22㎝、西10㎝、南６㎝、北17㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。炉は住居中央より若干北側に寄っており、東西36㎝，南北42㎝の皿状のピットの南側に枕石が置かれる。柱穴・貯蔵穴は見られず、遺物も住居中央部に僅かに見られる。高坏・坏・台付甕等から、古墳時代前期に含まれる住居である。

38号住居址（第32・１６２～１６３図）

ＳＴＡ 521＋80Ｎ５に位置し、28号住居址と重複する。東西4.03ｍ、南北3.81ｍの方形プランを呈し、壁は東８㎝、西25㎝、南26.7㎝、北33㎝の高さをもち、壁面はやや外傾する。床面は中央部を除き軟弱である。住居内の諸施設は無く、遺物は住居内全体に散布する。本住居からは土師器高台付坏・坏・甕等が出土しており、平安時代後期のものである。竈は28号住居によって削平されている。

39号住居址（第33・１６４図）

ＳＴＡ 521＋70Ｎ６に位置し、他の住居址とは重複しない。東西4.78ｍ、南北4.65ｍのほぼ正方形プランを呈し、主軸はＮ－40°－Ｅを示す。壁は東25.7㎝、西46㎝、南17㎝、北33㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部がやや良好である。柱穴・貯蔵穴等はない。竈は東壁中央よりも僅か南に寄っており、東西77㎝、南北66㎝の規模がある。竈は両袖を石で組んだ、石組粘土覆の構造で、右袖は４個の長方体礫、左袖には３個の長方体礫が組まれている。遺物は竈北側で東壁寄りに土師器坏・皿等があり、須恵器甕破片も出土している。出土遺物か

ら、平安時代後期に含まれる。

40号住居址（第33・１６４図）

ＳＴＡ 522＋15Ｎ４に位置し、45・49号住居址と重複する。東西5.32ｍ、南北5.48ｍのほぼ正方形で、主軸はＮ－57.5°－Ｅを示す。壁は東52㎝、南40.8㎝、北54.8㎝の高さがあり、壁面はやや外傾している。床面は中央部が良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴は４本で、住居の対線上に位置し、ピット１は深さ40㎝、直径40㎝、ピット２は深さ41.5㎝、短径43㎝、長径47㎝、ピット３は深さ53.2㎝、直径40㎝、ピット４は深さ34.9㎝、直径47㎝である。貯蔵穴は南西壁中央にあり、楕円形（東西70㎝、南北56㎝）を呈し、深さ10㎝である。竈は北東壁中央に位置し、南北１ｍ、東西88㎝の規模で、40㎝程壁よりも外に煙道部が出ている。竈の両袖焚口部は長方体の礫が使用され、竈本体は粘土で構築されたものと思われる。遺物は竈前面東側に多く、貯蔵穴中にも、高坏・大碗などが出土した。竈前面西側には、礫が多量に投棄されており、このあたりの住居の特徴と思われる。出土遺物は坏・高坏・碗・甕・筒形土器等があり、古墳時代後期に属する。

41号住居址（第35・１６７～１６８図）

ＳＴＡ 522＋45Ｓ２に位置し、３号住居址等と重複する。東西5.42ｍ、南北5.12ｍの方形プランを呈し、主軸はＮ－11.5°－Ｗを示す。壁は東35.5 ㎝、西39.4㎝、南41㎝、北48㎝の高さがあり、壁面はやや外傾している。床面は中央が良好であるが、周辺は軟弱である、炉は住居中央北寄りに位置し、東西52㎝、南北52㎝の円形をしており、南側炉端に円礫３個が並べられている。炉は皿状の断面をもつ。柱穴は４本柱であったと思われるが、１本は水路によって切られており不明。各柱穴は住居の対角線上に位置しており、ピット１は深さ28.5㎝、直径32㎝、ピット２は深さ15㎝、短径23㎝、長径26㎝、ピット３は深さ40.5㎝、直径30㎝である。貯蔵穴は南西コーナーにあり、直径78㎝の円形で、30㎝の深さがある。内部より土器片及び長方体の礫が出土する。遺物は住居西側に多く分布し、器台・坩・壷・台付甕・蓋等が出土しており、これから古墳時代前期に属する。

42号住居址（第35・１６９図）

ＳＴＡ 521＋75Ｎ２に位置し、15号住居址と重複する。東西3.51ｍ、南北3.25ｍの台形プランを呈し、主軸はＮ－17°－Ｅを示す。壁は東20㎝、西13㎝、南14㎝の高さがあり、壁面はやや外傾している。床面は軟弱で凹凸が激しい。柱穴・貯蔵穴は無い。竈は北壁東寄りに位置し、南北1.12ｍ、東西89㎝で、焼土範囲に礫が散乱しており、石組竈であった事が知られる。出土遺物は、土師器坏・蓋・甕等の破片があり、この遺物から平安時代前半に含まれる住居と考えられる。

43号住居址（第36・１６９図）

ＳＴＡ 521＋60Ｎ３に位置し、他の住居址と重複しない。一部が水路で破壊されているので、旧規模は不明であるが、現存するのは、東西2.16ｍ、南北3.01ｍの長方形を呈する。壁は東17.2㎝、南22.5㎝、北22.6㎝で、壁面はやや外傾している。床面は軟弱で明確に捉えられず、南側には盛り上った部分が存在する。柱穴・貯蔵穴及び炉・竈等は無い。遺物は遺構内より全体的に出土し、奈良時代末～平安時代初期と思われる。

44号住居址（第36・１７０図）

ＳＴＡ 522＋00NS1に位置し、１号水路沿いに立地する。東西3.95ｍ、南北4.33ｍの方形プランを呈し、主軸はＮ－37°－Ｗを示す。壁は東15㎝、西13㎝、南20.8㎝、北13㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、火災を受けており、屋根材の炭化材が中央部に残っている。炉は住居北側に位置するが、明確ではない。貯蔵穴は南東コーナーに位置し、東西53㎝、南北50㎝のコップ状を呈するピットで、その外側には巾30㎝、長さ1.6ｍの周堤がある。出土遺物は周堤と貯蔵穴の間に台付甕等がある。住居の時間は古墳時代前期に属する。

45号住居址（第37・１７１図）

ＳＴＡ 522＋15Ｎ４に位置し、40・49号住居址などと重複する。住居の規模は、東西4.02ｍ、南北2.4ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－29°－Ｅを示す。壁は東18㎝、西23㎝、北22㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は削平されて不明である。遺物は住居の東壁に集中して出土し、遺物には坏・高坏などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

46号住居址（第37・１７１図）

ＳＴＡ 523＋10Ｓ３に位置し、他の住居等とは重複しない。住居の規模は東西3.61ｍ、南北3.02ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－40°－Ｗを示す。壁は東18㎝、西7.8㎝、南11㎝、北15㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部の竈前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炉は住居中央西寄りに位置し、東西0.4ｍ、南北0.4ｍ、南北0.4ｍの規模で、地床炉である。遺物は住居覆土全体から出土しており、遺物には坏・壷・甕・台付甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

47号住居址（第37・１７１～１７２図）

ＳＴＡ 523＋15Ｓ４に位置し、１号周溝遺構などと重複する。現在する住居の規模は、東西2.72ｍ、南北5.13ｍの長方形を呈しているが、本来は方形であったと思われる。主軸はＮ－10°－Ｅを示す。壁は東20.5㎝、南27㎝、北16㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。貯蔵穴は住居南東隅に位置し、その規模は深さ15㎝、東西98㎝、南北1.03ｍの方形プランを呈し、断面は皿形である。貯蔵穴内には直径50㎝、深さ

40cmの円形ピットがある。炉・柱穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居の南東隅の貯蔵穴に集中して出土し、遺物には高坏・壷などがある。これらの遺物から本住居は古墳時代前期に置かれる。

48号住居址（第38・39・１７２～１７４図）

ＳＴＡ 523＋00Ｓ６に位置し、１号周溝遺構などと重複する。住居の規模は、東西5.77ｍ、南北6.12ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－10°－Ｗを示す。壁は東56cm、西38cm、南40cm、北49cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部の竈前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は４本主柱で、ピット１は深さ50cm、短径32cm、長径35cm、ピット２は深さ48cm、短径32cm、長径33cm、ピット３は深さ50cm、短径29cm、長径31cm、ピット４は深さ56cm、短径28cm、長径33cmである。貯蔵穴は住居南壁中央に位置し、一部住居外に張り出す。規模は深さ20cm、東西1.02ｍ、南北1.23ｍの凸形プランを呈し、断面は平担である。貯蔵穴の周辺は住居の壁が張り出している。なお貯蔵穴凸部にはピットがあり、深さ50cm、直径30cmの大きさであるが、入口施設なのか、屋根構造に伴うものか不明である。竈は北壁中央よりやや西寄りに位置し、東西１ｍ、南北1.9ｍの規模で、煙道は住居外に１ｍ張り出す。竈は焚口を長方体の石でコの字形に組み、竈本体は粘土で築く石組粘土覆の構造をしているが、天井の石は熱のため３個に割れて落ちている。又、竈内には甕３個体が残っていた。支脚は石柱を使用している。遺物は住居の壁寄りに分散して出土しており、遺物には須恵器坏・土師器坏・高坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

49号住居址（第40・１７５～１７６図）

ＳＴＡ 522＋15Ｎ４に位置し、40号住居址などと重複する。住居の規模は、東西5.6ｍ、南北5.5ｍの方形を呈し、主軸はＮ－5°－Ｅを示す。壁は東45cm、西36cm、南50cm、北70cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は４本主柱で、支柱穴が３本あり、ピット１は深さ72.3cm、短径73cm、長径85cm、ピット２は深さ66.4cm、短径58cm、長径63cm、ピット３は深さ76cm、短径49cm、長径56cm、ピット４は深さ51cm、短径58cm、長径63cm、ピット５は深さ30cm、短径42cm、長径60cm、ピット６は深さ45cm、直径30cm、ピット７は深さ20cm、直径44cmである。周溝は住居北壁を除き東から南・西にかけて幅20～30cm、深さ10cmのものが見られる。竈・貯蔵穴は検出されなかった。遺物は住居の北側に集中して出土しており、遺物には坏・高坏・甕・甑などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

50号住居址（第41・１７６図）

ＳＴＡ 522＋30Ｎ２に位置し、34・35号住居址などと重複する。住居の規模は、東西4.75ｍの方形を呈し、主軸はＮ－5°－Ｅを示す。壁は西14.8cm、北16.8cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は削平されほとんどなく、残存部は軟弱である。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検

出されなかった。遺物は住居覆土から出土しており、遺物には坏・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

51号住居址（第42・１７６～１７８図）

ＳＴＡ 523＋00Ｓ４に位置し、52号住居址などと重複する。住居の規模は、東西3.92ｍ、南北4.38ｍの方形を呈し、主軸はＮ－32°－Ｗを示す。壁は東20㎝、西38.5㎝、南37㎝、北40.7㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は西壁中央に位置し、東西0.８ｍ、南北0.６ｍの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口両袖に長方体の石を立て、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居の西側に集中して出土し、遺物には坏・高坏・甕・甑・円筒土器などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

52号住居址（第42・１７８～１７９図）

ＳＴＡ 523＋00Ｓ４に位置し、51号住居址などと重複する。住居の規模は、東西4.３ｍ、南北4.45ｍの方形を呈し、主軸はＮ－15°－Ｅを示す。壁は東33㎝、西22㎝、南32㎝、北34㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居の残存部に集中して出土し、甕などがある。遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

54号住居址（第43・１７９～１８０図）

ＳＴＡ 522＋90Ｓ７に位置し、１号周溝遺構、54号住居址などと重複し、南半分は調査地区外となっている。現存する住居の規模は、東西3.５ｍ、南北4.９ｍの三方形を呈し、主軸はＮ－38°－Ｅを示す。壁は西21㎝、北53㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は竈前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴の現存するものは１本で、深さ37㎝、短径22㎝、長径29㎝である。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東壁中央に位置し、東西0.86ｍ、南北0.78ｍの規模である。竈は焚口両袖に長方体の石を立てて築き、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。竈内より、甕が３個体出土し、石製の支脚が存在した。遺物は住居の竈前面に集中して出土しており、遺物には坏・高坏・甕・甑などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

55号住居址（第41・１８０図）

ＳＴＡ 522＋90Ｓ７に位置し、１号周溝遺構、54号住居址などと重複する。現存する住居の規模は、東西５ｍ、南北4.４ｍの台形を呈し、主軸はＮ－52°－Ｗを示す。壁は西17.2㎝、北17.3㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部の炉の周辺が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴の現存するものは１本で、深さ52㎝、短径27㎝、長径31㎝である。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炉は住居中央北西側柱穴間に位置し、枕石をもつ地床炉である。遺物

は住居覆土全体から出土しており、坏・高坏・甕・甑などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

56号住居址（第44・１８１～１８２図）

ＳＴＡ 522＋95Ｓ２に位置し、１号古墳と重複する。住居の規模は、東西3.76ｍ、南北3.58ｍの方形を呈し、主軸はＮ－7.5°－Ｗを示す。壁は東43.5㎝、西45㎝、南36㎝、北44㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部から竈前面が良好であるが、周辺は軟弱である。貯蔵穴は住居東壁中央南寄りに位置し、その規模は深さ20㎝、東西43㎝、南北57㎝の長方形プランを呈し、断面は舟底形である。柱穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁東北隅に位置し、東西78㎝、南北58㎝の規模で、煙道は住居外に張り出してはいない。竈は焚口を長方体の石でコの字形に組み、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。内部より甕が２個体出土した。遺物は住居の北側から出土しており、遺物には坏・甕などがある。遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

57号住居址（第45～46・１８２図）

ＳＴＡ 522＋95Ｓ４に位置し、58・61号住居址などと重複する。住居の規模は、東西4.75ｍ、南北５ｍの方形を呈し、主軸はＮ－12°－Ｅを示す。現存する壁は東52.6㎝、西43.4㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は残存している中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は東壁中央に位置し、東西0.９ｍ、南北1.12ｍの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口両袖前面に長方体の石を立て、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。内部より甕が１個体出土した。遺物は住居覆土全体から出土しており、坏・高坏・甕・甑などがある。これから、本住居は古墳時代後期に置かれる。

58号住居址（第45～46・１８３図）

ＳＴＡ 522＋95Ｓ３に位置し、57・61号住居址などと重複する。現存する住居の規模は、東西4.03ｍ、南北1.１ｍで、主軸はＮ－12°－Ｅを示す。壁は東38㎝、西41.6㎝、北35.2㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は前面が良好であるが周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央東寄りに位置し、東西1.05ｍ、南北0.77ｍの規模で、煙道は住居外にわずかに張り出す。竈は焚口両袖部を長方体の石で組み、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は竈の前面に集中して出土し、坏・甕などがある。これから、本住居は古墳時代後期に置かれる。

59号住居址（第47・１８４図）

ＳＴＡ 522＋85Ｓ４に位置し、２号周溝遺構、61号住居址などと重複する。現存する住居の規模は、東西4.33ｍ、南北4.13ｍの台形を呈し、主軸はＮ－13°－Ｗを示す。壁は西19.6㎝、南21.5㎝、北13㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部炉の周辺が良好であるが、

周辺は軟弱である。貯蔵穴は住居南西隅に位置し、その規模は深さ25cm、東西0.93m、南北1.04mの方形プランを呈し、断面は台形である。貯蔵穴の東には高さ3cm、幅15cm、長さ1.1mの周堤がある。柱穴・周溝は検出されなかった。炉は住居中央北寄りに位置し、東西1m、南北0.6mの規模で焼土が残る。遺物は住居の北側に集中して出土し、高坏・甕・台付甕などがある。これから、本住居は古墳時代前期に置かれる。

60号住居址（第48・185図）

ＳＴＡ 522＋85Ｓ２に位置し、75号住居址などと重複する。住居の規模は、東西5.61m、南北5.64mの正方形を呈し、主軸はＮ－33°－Ｅを示す。壁は東52cm、西40cm、南58.4cm、北46.5cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱で、ピット1は深さ41.3cm、短径37cm、長径38cm、ピット2は深さ52cm、短径25cm、長径25cm、長径26cm、ピット3は深さ45.2cm、短径46cm、長径50cm、ピット4は深さ31.2cm、短径31cm、長径35cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西1.12m、南北0.67mの規模で、煙道は住居外に甕破片を並べて張り出す。竈は焚口を長方体の石でコの字形に組み、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居の全面に分布しており、坏・甕・甑などがある。これから、本住居は古墳時代後期に置かれる。

61号住居址（第45～46・186～188図）

ＳＴＡ 522＋30Ｓ５に位置し、２号周溝遺構、57・58号住居址などと重複する。住居の規模は、東西4.58m、南北4.77mの正方形を呈し、主軸はＮ－69°－Ｗを示す。壁は西41cm、南24.6cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは3本で、ピット1は深さ23.5cm、短径37cm、長径38cm、ピット2は深さ21cm、直径36cm、ピット3は深さ29.3cm、直径41cm。ピット3の位置は中心線に近いので、本住居に伴うものであれば支柱であろう。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は西壁中央に位置し、東西0.9mの規模で、煙道は住居外に若干張り出す。竈は焚口両袖に長方体の石を立て、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。中央部には石製支脚が立てられ、甕が1個体出土した。遺物は住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・鉢・甑などがある。これから、本住居は古墳時代後期に置かれる。

62号住居址（第49・188～190図）

ＳＴＡ 522＋75Ｓ３に位置し、79号住居址などと重複する。２号周溝遺構は本住居を避けて造られているので、遺構の前後関係を知る上で重要な遺構である。住居の規模は、東西5.45mの正方形を呈し、主軸はＮ－23°－Ｅを示す。壁は東41cm、西47cm、南40cm、北40cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。南壁中央部がやや、くの字状に南に広がっており、ここが入口部であろうか。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱で、ピット1は深さ27.4cm、短径38cm、長径42cm、ピット2は深さ18.5cm、短径24cm、長径31cm、ピット3は

深さ19.8㎝、短径31㎝、長径32㎝、ピット４は深さ48.5㎝、短径21㎝、長径33㎝である。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西0.９ｍ、南北1.92ｍの規模で、煙道は住居外に巾20㎝、長さ1.２ｍ張り出す。竈は焚口両袖部に長方体の石を立て、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・円筒土器などがある。これから、本住居は古墳時代後期に置かれる。

63号住居址（第50・１９１～１９２図）

ＳＴＡ 522＋75Ｓ４に位置し、71・79・84・86号住居址などと重複する。住居の規模は、東西6.33ｍ、南北5.73ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－54°－Ｗを示す。壁は東32㎝、西51.5㎝、南17㎝、北53㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東壁中央に位置し、東西1.２ｍ、南北1.35ｍの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口両袖に長方体の石を立て、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・鉢・甑などがある。これらの遺物から本住居は古墳時代後期に置かれる。

64号住居址（第51～52・１９３～１９６図）

ＳＴＡ 522＋75Ｓ６に位置し、68・91号住居址などと重複する。住居の規模は、東西5.88ｍ南北6.21ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－42°－Ｅを示す。壁は東49㎝、西34㎝、南35㎝、北40.6㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。南壁中央部が半円状に突出しており、入口部施設と思われる。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は４本主柱で、ピット１は深さ27.5㎝、短径33㎝、長径42㎝、ピット２は深さ32㎝、短径36㎝、長径37㎝、ピット３は深さ27㎝、短径30㎝、長径31㎝、ピット４は深さ34㎝、短径31㎝、長径32㎝である。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東壁中央に位置し、東西1.15ｍ、南北1.32ｍの規模で、煙道は住居外に30㎝張り出す。竈は焚口両袖に長方体の石を立て、天井には甕を使用している。竈本体は粘土で築く、土器石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・鉢・坏・円筒土器・甑などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

65号住居址（第52・１９７図）

ＳＴＡ 522＋70Ｓ６に位置し、他の住居等とは重複しない。住居の規模は、東西3.08ｍ、南北3.93ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－52°－Ｗを示す。壁は東９㎝、西8.９㎝、南16㎝、北11㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北西壁中央西寄りに位置し、東西0.８ｍの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口を長方体の石で袖の一部を造り、竈本体は粘土で築く石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居の竈周辺に集中して出土しており、甕・鉢などがある。これから、本住居は古墳時代後期に置かれる。

66号住居址（第53・１９７図）

ＳＴＡ 522＋65Ｓ６に位置し、84号住居址などと重複する。住居の規模は、東西5.71ｍ、南北5.23ｍの方形を呈し、主軸はＮ－137.5°－Ｅを示す。壁は西20㎝、南８㎝、北17㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部炉の周辺が良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴は４本主柱で、支柱穴が２本あり、ピット１は深さ29㎝、短径42㎝、長径43㎝、ピット２は深さ30㎝、短径50㎝、長径66㎝、ピット３は深さ35.5㎝、短径36㎝、長径40㎝、ピット４は深さ24.8㎝、短径43㎝、長径51㎝、ピット５は深さ25.5㎝、短径27㎝、長径35㎝、ピット６は深さ27.7㎝、直径58㎝である。貯蔵穴は住居南隅に位置しているピット６かもしれない。周溝は北から西にかけて幅90㎝、深さ８㎝の幅広のものが見られる。炉は住居中央南東寄りに位置し、深さ27㎝、東西0.5ｍ、南北0.6ｍの規模である。遺物は住居覆土全体から出土しており、坏・高坏・甕・台付甕等である。これから、本住居は古墳時代前期に置かれる。

67号住居址（第54図）

ＳＴＡ 522＋95Ｓ６に位置し、１号周溝遺構と重複する。現存する住居の規模は、東西3.38ｍ、南北3.71ｍの台形を呈し、主軸はＮ－51°－Ｗを示す。壁は西４㎝、南9.5㎝、北８㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炉は西北壁寄りに位置し、東西0.4ｍ、南北0.6ｍの規模で焼土が広がる。遺物は住居覆土全体からはほとんど出土していない。

本住居は遺構から古墳時代前期に置かれると推定される。

68号住居址（第51・１９８図）

ＳＴＡ 522＋75Ｓ６に位置し、64号住居址などと重複する。住居の規模は、東西3.36ｍ、南北3.59ｍの方形を呈し、主軸はＮ－42°－Ｅを示す。壁は東26.2㎝、西25.6㎝、南26㎝、北26㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。周溝は西壁から南壁にかけて巾20㎝、深さ10㎝のものが見られる。柱穴・貯蔵穴は検出されなかった。炉は64号住居に削られて位置が不明である。遺物は住居の壁寄りに出土しており、坏・高坏・壷などがある。これから、本住居は古墳時代前期に置かれる。

69号住居址（第54・１９８図）

ＳＴＡ 522＋90Ｓ６に位置し、１号周溝遺構と重複する。現存する住居の規模は、東西3.17ｍ、南北5.41ｍの方形を呈し、主軸はＮ－６－Ｗを示す。壁は東14㎝、南６㎝、北４㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。現存する柱穴は２本で、ピット１は深さ29.5㎝、短径25㎝、長径26㎝、ピット２は深さ28.4㎝、短径27㎝長径29㎝である。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炉は住居中央北寄りに位置し、東西0.4ｍ、南北0.5ｍの規模で地床炉である。遺物は住居全体から出土しており、壷・甕がある。これから、本住居は古墳時代前期に置かれる。

70号住居址（第55・１９８～１９９図）

ＳＴＡ 522＋60Ｓ７に位置し、他の住居等とは重複しない。住居の規模は東西5.2ｍ、南北5.09ｍの方形を呈し、主軸はＮ－113°－Ｗを示す。壁は東59㎝、西47㎝、南51㎝、北34㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部炉の周辺が良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴は４本主柱で、ピット１は深さ22㎝、短径34㎝、長径40㎝、ピット２は深さ25.7㎝、短径42㎝、長径44㎝、ピット３は深さ50㎝、短径37㎝、長径45㎝、ピット４は深さ17㎝、短径37㎝長径41㎝である。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炉は住居中央西寄りに位置し、東西65㎝、南北60㎝の範囲に焼土が広がり深さ10㎝の皿状を呈する。遺物は住居覆土から出土しており、坏・壷・甕などがある。これから本住居は古墳時代前期に置かれる。

71号住居址（第56・１９９図）

ＳＴＡ 522＋75Ｓ５に位置し、63号住居址などと重複する。住居の規模は東西4.7ｍ、南北5.38ｍの方形を呈しているが、東壁中央に巾２ｍ、長さ1.6ｍの方形突出部があり入口部であろうか。主軸はＮ－35°－Ｗを示す。壁は西10.2㎝、南32㎝の高さがあって、壁面はやや外傾する。床面は中央部が削除されている為不明であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁か西壁であるが、削平されて不明。遺物は住居覆土から出土しており、坏・高坏などがある。これから本住居は古墳時代後期に置かれる。

72号住居址（第57～58・１９９～２００図）

ＳＴＡ 522＋75Ｓ７に位置し、64・73・78・91号住居址などと重複する。住居の規模は重複が多くて不明であるが、およそ東西8.4ｍ、南北7.5ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－50－Ｗを示す。壁は東37㎝、北34㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は竈前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は４本主柱のうち３本が検出されピット１は深さ46.5㎝、直径28㎝、ピット２は深さ45.6㎝、短径25㎝、ピット３は深さ45.3㎝、短径30㎝、長径31㎝である。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北西壁中央に位置し、東西0.9ｍ、南北0.8ｍの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口を長方体の石でコの字形に組み、竈本体は粘土で築石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居全体から出土しており、坏・甕などがある。これから、本住居は古墳時代後期に置かれる。

73号住居址（第58・２０１図）

ＳＴＡ 522＋80Ｓ７に位置し、72・91・号住居址などと重複する。住居の規模は東西3.77ｍ南北3.78ｍの正方形を呈し、主軸はＮ－30°－Ｅを示す。壁は東36㎝、西22㎝、南27㎝、北32.7㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。現存する柱穴は２本で、ピット１は深さ39㎝、短径28㎝、長径32㎝、ピット２は深さ26㎝、短径28㎝、長径35㎝である。貯蔵穴・周溝等は検出されなかった。竈は北壁中央東寄りに位置し、東西88㎝、南北1.3ｍの規模で煙道は住居外に若干張り出す。竈本体は粘土で築く構造をして

いる。遺物は住居の北東側に集中して出土しており、坏・高坏・甕などがある。これから、本住居は古墳時代後期に置かれる。

74号住居址（第64・２１１～２１３図）

ＳＴＡ 522＋75Ｓ１に位置し、75号住居址などと重複する。住居の規模は東西4.76ｍ、南北5.42ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－35°－Ｅを示す。壁高は東42cm、西45cm、南37cm、北48cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は４本主柱で、ピット１は深さ43cm、短径21cm、長径23cm、ピット３は深さ53.5cm、短径21cm、長径25cm、ピット４は深さ42cm、短径22cm、長径24cmである。貯蔵穴は住居の南壁中央に位置し、その規模は深さ40cm、東西86cm、南北72cmの円形プランを呈し、断面は舟底形である。周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西84cm、南北82cmの規模で煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口を長方体の石でコの字形に組まれていたと思われ、焚口天井石は竈前面に落ちている。又袖には３個づつ石が使用され、その上を粘土で覆う構造をしている。遺物は住居の北側に集中して出土しており、坏・高坏・甕・鉢などがある。これから、本住居は古墳時代後期に置かれる。

75号住居址（第60・２０４～２０６図）

ＳＴＡ 522＋80Ｓ２に位置し、60・74号住居址などと重複する。住居の規模は東西4.93ｍ、南北4.92ｍの正方形を呈し、主軸はＮ－15°－Ｅを示す。壁は東52cm、西41cm、南45cm、北49cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが周辺は軟弱である。柱穴は４本主柱で、ピット１は深さ27.4cm、短径33cm、長径38cm、ピット２は深さ19.6cm、短径36cm長径39cm、ピット３は深さ26cm、直径42cm、ピット４は深さ33.5cm、短径39cm、長径41cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西79cm、南北60cmの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口両袖に長方体の石を立て竈本体は粘土で築く石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居の中央から東に集中して出土しており、坏・高坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

76号住居址（第61・２０６～２０７図）

ＳＴＡ 522＋60Ｓ４に位置し、77号住居址などと重複する。住居の規模は東西7.26cm、南北5.21ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－17°－Ｗを示す。壁は30cm、西16cm、南33cm、北21cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが周辺は軟弱である。柱穴は４本主柱で支柱穴が１本あり、ピット１は深さ24.5cm、短径30cm、長径35cm、ピット２は深さ30cm、短径26cm、長径27cm、ピット３は深さ21cm、短径29cm、長径33cm、ピット４は深さ19cm、短径24cm、長径27cm、ピット５は深さ35cm、短径37cm、長径42cmである。ピット３は支柱穴か又は棟柱持であろう。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西80cm、南北80cmの規模で煙道は住居外に張り出さない。竈本体は粘土で築き、支脚は石製である。遺物は

住居の北東側に集中しており、坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

77号住居址（第62・２０７図）

ＳＴＡ 522＋65Ｓ４に位置し、76号体居址と重複する。住居の規模は東西5.15ｍ、南北4.74ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－27°－Ｗを示す。壁は東23cm、南28cm、北21cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は４本主柱で支柱穴が１本あり、ピット１は深さ35.8cm、直径36cm、ピット２は深さ24.3cm、短径26cm、長径28cm、ピット３は深さ11.5cm、短径27cm、長径28cm、ピット４は深さ26cm、長径29cm、ピット５は深さ34cm、短径26cm、長径28cmである。ピット３が支柱穴であろうか、炉は不明である。遺物は住居覆土から出土しており、高坏・台付甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

78号住居址（第62・２０８～２１０図）

ＳＴＡ 522＋70Ｓ７に位置し、78・87号住居址などと重複する。住居南側はほとんど地区外となっている。現存する住居の規模は、東西4.2ｍ、南北2.8ｍの台形を呈し、主軸はＮ－18°－Ｅを示す。壁は西36.8cm、北36cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は竈前面が良好であるが、周辺は軟弱である。竈は壁中央に位置し、東西90cm、南北50cmの規模で煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口袖部に長方体の石を立て、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は竈の前面に集中して出土し、高坏・甕・鉢・甑・円筒土器などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

79号住居址（第63・２１１図）

ＳＴＡ 522＋70Ｓ３に位置し、62・63・86・92・94号住居址などと重複する。住居の規模は東西4.72ｍ、南北5.07ｍの方形を呈し、主軸はＮ－14.5°－Ｅを示す。壁は東12.5cm、西38cm、南51cm、北38cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は４本主柱で、ピット１は深さ20cm、短径24.5cm、長径30cm、ピット２は深さ35cm、短径34cm、長径38cm、ピット３は深さ30cm、短径31cm、長径35cm、ピット４は深さ37cm短径26cm、長径31cmである。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。住居は火災を受けたと思われ、住居内に炭化材が残る。竈は北壁中央に位置し、東西1.36ｍ、南北1.08ｍの規模で煙道は住居外に若干張り出す。竈本体は粘土で構築されている。遺物は住居覆土全体から出土しており、坏・高坏・甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

80号住居址（第64・２１１～２１３図）

ＳＴＡ 522＋50Ｎ３に位置し、95号住居址等と重複する。住居東側は道路の為に未調査であった。現存する住居の規模は、東西7.5ｍ、南北3.87ｍの台形を呈し、主軸はＮ－38°－Ｗを示

す。壁は東28cm、西42cm、北48cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは１本で、深さ29cm、短径28cm、長径39cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北西壁中央に位置し、東西63cm、南北90cmの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈本体は粘土で構築されている。遺物は、住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・鉢・甑等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

81号住居址（第65～66・２１３～２１５図）

ＳＴＡ 522＋45Ｎ４に位置し、82号住居址等と重複する。住居の規模は、東西7.07ｍ、南北7.9ｍの方形を呈し、主軸はＮ－35°－Ｅを示す。壁は東24cm、西32cm、南６cm、北18cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は４本主柱で、支柱穴が１本あり、ピットは深さ36cm、短径30cm、ピット２は深さ39cm、短径31cm、長径32cm、ピット３は深さ23cm、短径33cm、長径36cm、ピット４は深さ35cm、短径26cm、長径29cm、ピット５は深さ20cm、直径28cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西1.02ｍ、南北1.17ｍの規模で、煙道は住居外に若干張り出す。竈は焚口両袖前面に長方体の石を立て、天井部に甕を使用して築き、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居の北側に集中して出土しており、遺物には坏・高坏・甕・鉢・円筒土器等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

82号住居址（第66・２１５・２１６図）

ＳＴＡ 522＋40Ｎ４に位置し、81，85号住居址等と重複する。住居の規模は、東西4.83ｍ、南北4.42ｍの方形を呈し、主軸はＮ－40°－Ｅを示す。壁は東14cm、西17cm、南26cm、北34cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は４本主柱で、支柱穴が１本あり、ピットは深さ33cm、短径34cm、長径37cm、ピット２は深さ43cm、短径28cm、長径31cm、ピット３は深さ34cm、短径22cm、長径33cm、ピット４は深さ41cm、短径31cm、長径31cm、長径39cm、ピット５は深さ30cm、短径24cm、長径29cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置していたと思われるが、撹乱を受けて現存しない。遺物は住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・鉢・甑等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

83号住居址（第67・２１６・２１７図）

ＳＴＡ 522＋20Ｎ６に位置し、49号住居址等と重複する。住居の規模は、東西8.08ｍ、南北7.24ｍの方形を呈し、主軸はＮ－55°－Ｗを示す。壁は東38.5cm、西33cm、北36cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。住居南側は溝によって撹乱を受けて不明瞭である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は西壁中央に位置し、東西97cm、南北85cmの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈本体は粘土で構築している。遺物は住居覆土全体から出土しており、坏・高

坏・甕・鉢・円筒土器等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

84号住居址（第67・２１８・２１９図）

ＳＴＡ 522＋70Ｓ５に位置し、66、71号住居址等と重複する。住居の規模は、東西4.65ｍ、南北2.84ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－38°－Ｅを示す。壁は東８㎝、南17㎝、北18㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は、４本主柱でピット１は深さ42㎝、短径24㎝、長径25㎝、ピット２は深さ32㎝、短径21㎝、長径25㎝、ピット３は深さ44㎝、短径24㎝、長径25㎝、ピット４は深さ39㎝、短径26㎝、長径32㎝である。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炉は北西側柱穴間に位置し、東西40㎝、南北40㎝の規模で、３個の枕石をもつ。遺物は住居全体から出土しており、壷・高坏・甕・鉢等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

85号住居址（第68・２１９図）

ＳＴＡ 522＋35Ｎ５に位置し、82号住居址と重複する。住居の規模は、東西6.72ｍ、南北7.02ｍの台形を呈し、主軸はＮ－40°－Ｅを示す。壁は東16.5㎝、西27㎝、南17㎝、北49㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は軟弱である。柱穴で現存するものは６本で、ピット１は深さ53㎝、短径33㎝、長径48㎝、ピット２は深さ32㎝、短径34㎝、長径35㎝、ピット３は深さ46㎝、短径63㎝、長径65㎝、ピット４は深さ41㎝、短径66㎝、長径72㎝、ピット５は深さ61㎝、短径71㎝、長径73㎝、ピット６は深さ47㎝、短径46㎝、長径48㎝である。この柱穴全てが、本住居に伴うものか不明である。貯蔵穴・周溝・炉は検出されなかった。遺物は住居覆土全体から出土しており、遺物には特殊器台、高坏・甕・台付甕等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

86号住居址（第69・２１９・２２０図）

ＳＴＡ 522＋70Ｓ３に位置し、63、79、92号住居址等と重複する。住居の規模は、東西5.86ｍ、南北5.66ｍの台形を呈し、主軸はＮ－４－Ｅを示す。壁高は東53㎝、西32㎝、南45㎝、北4.5㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は４本主柱で、支柱穴が２本あり、ピット１は深さ26㎝、短径29㎝、長径33㎝、ピット２は深さ51㎝、短径18㎝、長径24㎝、ピット３は深さ49㎝、短径21㎝、長径27㎝、ピット４は深さ58㎝、短径21㎝、長径25㎝、ピット５は深さ28㎝、短径32㎝、長径34㎝、ピット６は深さ21.5短径22㎝、長径26㎝である。１と５が支柱穴であろうか。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈の位置は不明である。遺物は、住居覆土全体から出土しており坏・高坏・甕・鉢・甑等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

87号住居址（第70・２２１図）

ＳＴＡ 522＋70Ｓ７に位置し、78号住居址等と重複し、現存する住居の規模は，東西3.5ｍ、

南北1.6ｍで、主軸はＮ－20°－Ｅを示す。壁は西21㎝、北25㎝の高さがあり、壁面は、やや外傾する。床面は竈周辺が良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置していると思われ、東西56㎝、南北70㎝の規模で、煙道は住居外に30㎝張り出す。竈東半分は78号住居址によって切り取られている。竈西袖は長方体の石を芯にして、竈本体は粘土で築く石組粘土覆の構造をし、内部より甕が出土している。遺物は竈周辺に集中して出土しており、遺物には坏・甕・鉢等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

88号住居址（第69・２２１・２２２図）

ＳＴＡ 522＋50Ｎ５に位置し、81号住居址等と重複する。現存する住居の規模は、東西1.72ｍ、南北3.74ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－25°－Ｗを示す。壁は東12.7㎝、南16.6㎝、北19㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は１本で、ピット１は深さ23㎝、短径30㎝、長径31㎝である。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炉は81号住居址に切り取られて不明である。遺物は住居全体から出土しており、坏・高坏・壷・甕・台付甕等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

89号住居址（第71・２２２・２２３図）

ＳＴＡ 522＋55Ｓ６に位置し、他の住居址等とは重複しないが、北西側を道路によって切られている。住居の規模は、東西4.56ｍ、南北4.6ｍの正方形を呈し、主軸はＮ－115°－Ｗを示す。壁は東32㎝、西37.5㎝、南27㎝、北31㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部の炉の周辺が良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴で現存するものは３本主柱で、ピット１は深さ35㎝、短径33㎝、長径36㎝、ピット２は深さ43㎝、短径37㎝、長径38㎝、ピット３は深さ33㎝、短径38㎝、長径52㎝である。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炉は、住居中央西寄りに位置し、東西32㎝、南北42㎝の規模である。遺物は、住居覆土全体から出土しており、遺物には、坏・高坏・甕・台付甕等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

90号住居址（第72・２３３図）

ＳＴＡ 522＋55Ｓ７に位置し、他の住居址等とは重複しないが、南側の大半は調査区域外となっている。現存する住居址の規模は、東西３ｍ、南北1.5ｍである。壁は東11㎝、北13㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は軟弱である。柱穴は１本で、深さ59㎝、短径36㎝、長径50㎝である。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈位置は不明である。遺物は、住居覆土全体から出土しており、高坏・鉢等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

91号住居址（第72・２２３図）

ＳＴＡ 522＋75Ｓ７に位置し、64、72、73号住居址等と重複する。住居の規模は、東西6.12ｍ、南北6.83ｍの方形を呈し、主軸はＮ－48°－Ｗを示す。壁は東34㎝、西28㎝、北36㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは６本あり、ピット１は深さ85㎝、短径35㎝、長径47㎝、ピット２は短径25㎝、長径27㎝、ピット３は深さ43㎝、短径27㎝、長径28㎝、ピット４は、短径33㎝、長径35㎝、ピット５は深さ47㎝、短径33㎝、長径35㎝、ピット６は深さ21㎝、短径43㎝、長径58㎝である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炉の位置は不明である。遺物は、住居覆土から出土しており、遺物には坏・高坏・甕・台付甕等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

92号住居址（第73・２２４～２２６図）

ＳＴＡ 522＋70Ｓ２に位置し、79、86、93、94、97号住居址等と重複する。住居の規模は、東西5.25ｍ、南北6.1ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－70°－Ｗを示す。壁は東26㎝、西65.4㎝、南57㎝、北32㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。住居北壁側は巾80㎝の段があり、別住居と重複している可能性もある。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は４本主柱で、ピットは深さ32㎝、直径24㎝、ピット２は深さ33㎝、短径23㎝、長径29㎝、ピット３は深さ25㎝、知径22㎝、長径25㎝、ピット４は深さ33㎝、短径21㎝、長径26㎝である。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北西壁中央に位置し、東西82㎝、南北96㎝の規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口両袖に長方体の石を立て、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居全体から出土しており、遺物には坏・高坏・甕・鉢等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

93号住居址（第74・75・２２７・２２８図）

ＳＴＡ 522＋65Ｓ３に位置し、92号住居址などと重複する。住居の規模は、東西5.82ｍ、南北6.04ｍの方形を呈し、主軸はＮ－17°－Ｗを示す。壁は東57㎝、西40㎝、南40㎝、北46㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。南壁中央部が巾60㎝、長さ40㎝の方形に突出しており、入口部施設であろうか。床面は、中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は４本主柱でピット１は深さ54㎝、短径31㎝、長径32㎝、ピット２は深さ44㎝、短径30㎝、長径36㎝、ピット３は深さ47㎝、短径22㎝、長径23㎝、ピット４は深さ31㎝、短径24㎝、長径28㎝である。貯蔵穴は住居南壁中央に位置し、その規模は深さ22㎝、東西52㎝、南北51㎝の円形プランを呈し、断面は舟底形である。この貯蔵穴内には、甕・高坏等の遺物が破片で投げ込まれており（第75図）入口部の埋甕なのか、梯子受穴なのか、検討すべき遺構である。周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西62㎝，76㎝の規模で、煙道は住居外に張り出していない。竈は焚口両袖部に長方体の石を立て、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居の北側に集中して出土しており、坏・高坏・甕・鉢・甑等がある。これらの遺物から、本住

居は古墳時代後期に置かれる。

94号住居址（第75・２２９図）

ＳＴＡ 522＋70Ｓ２に位置し、79、92、97号住居址などと重複する。現存する住居址の規模は、東西3.2ｍ、南北２ｍで、主軸は不明。壁は東28cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は軟弱である。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は、住居覆土から出土しており、甑などがある。この遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

95号住居址（第76・２２９図）

ＳＴＡ 522＋Ｎ４に位置し、80号住居址と重複する。現存する住居址の規模は、東西3.9ｍ、南北2.2ｍで主軸は不明。壁は西25ｍ、北23cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は軟弱である。柱穴は１本で、深さ40cm、短径26cm、長径27cmである。炉・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は、住居全体から出土しており、坏・壷・台付甕等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

96号住居址（第76・２２９・２３０図）

ＳＴＡ 522＋50Ｎ３に位置し、81号住居址などと重複する。住居の規模は、東西5.38ｍ、南北5.5ｍの方形を呈し、主軸はＮ－19°－Ｗを示す。壁は東40cm、南32cm、北31cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は３本で、ピット１は深さ27cm、短径27cm、長径31cm、ピット２は深さ36cm、短径27cm、長径31cm、ピット３は深さ43cm、短径23cm、長径26cmである。ピット１の位置が中央に寄りすぎている。炉・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は、住居覆土から出土しており、高坏・台付甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

97号住居址（第77・２３０図）

ＳＴＡ 522＋70ＮＳ１に位置し、92、94、104号住居址など重複する。住居の規模は東西７ｍ、南北6.18ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－50°－Ｅを示す。壁は東16cm、西31cm、南33cm、北38cmの高さがあり、良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炉は住居中央北東寄りに位置し、東西40cm、南北40cmの規模で、南西側に枕石をもつ。遺物は、住居全体から出土しており、坏・高坏・台付甕・壷等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

98号住居（第78・２３１・２３２図）

ＳＴＡ 522＋95Ｎ３に位置し、４号周溝遺構と重複する。住居の規模は、東西4.81ｍ、南北5.27ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－13°－Ｗを示す。壁は東43cm、西36cm、南41cm、北45.7ｍの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は

４本主柱で、ピット１は深さ36㎝、短径29㎝、長径33㎝、ピット２は深さ42㎝、短径31㎝、長径37㎝、ピット３は深さ33㎝、直径33㎝、ピット４は深さ33㎝、短径26㎝、長径27㎝である。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西1.12ｍ、南北1.1ｍの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口両袖を長方体の石で組み、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。甕が１個体遺存しており、底部下には石製支脚が立てられている。この位置から、竈は２穴となっていたと思われる。遺物は，住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・鉢・甑等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

99号住居址（第79・２３２・２３４図）

ＳＴＡ 522＋85Ｎ２に位置し、103号住居址等と重複する。住居の規模は、東西4.28ｍ、南北4.79ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－44°－Ｅを示す。壁は東53㎝、西47㎝、南39㎝、北50㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は４本主柱で、支柱穴が１本あり、ピット１は深さ30.4㎝、短径27㎝、長径35㎝、ピット２は深20㎝、短径22㎝、長径28㎝、ピット３は深さ8.9㎝、短径23㎝、長径24㎝、ピット４は深さ29㎝、短径22㎝、長径24㎝、ピット５は深さ15㎝、短径21㎝、長径24㎝である。ピット２が支住穴であろうか。住居東壁に沿って炭化材が残っている。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東壁中央に位置し、東西1.18㎝、南北1.05ｍの規模で、煙道は住居外に40㎝程張り出す。竈は焚口片側を長方体の石で組み、竈本体は粘土で築く石組粘土覆をしている。遺物は住居の南壁側に集中して出土しており、坏・高坏・甕・鉢等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

100号住居址（第80・２３５・２３６図）

ＳＴＡ 522＋75Ｎ２に位置し、103号住居址、４号溝等と重複する。住居の規模は、東西4.55ｍ、南北4.23ｍの方形を呈し、主軸はＮ－50°－Ｅを示す。壁は東49㎝、西48㎝、南42㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は４本主柱でピット１は深さ31㎝、短径22㎝、長径37㎝、ピット２は深さ32㎝、短径20㎝、長径26㎝、ピット３は深さ26㎝、短径22㎝、長径24㎝、ピット４は深さ18㎝、短径20㎝、長径24㎝である。炭化材が住居西側に多く残っており、火災を受けた可能性がある。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東壁中央に位置し、東西72㎝、南北83㎝の規模で、煙道は住居外に張り出してはいない。竈は両袖全体と焚口を長方体の石で、焚口天井部の石は前に落ちている。竈本体は粘土で築く石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・鉢・甑等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

101号住居址（第81・２３６・２３７図）

ＳＴＡ 521＋60Ｎ６に位置し、102、119号住居址等と重複する。住居の規模は東西4.55ｍ、南北4.09ｍの方形を呈し、主軸はＮ－128°－Ｅを示す。壁は東16㎝、西16㎝、南10㎝、北23㎝

の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は前面が良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴は２本で、ピット１は深さ35㎝、短径26㎝、長径29㎝、ピット２は深さ38㎝、短径21㎝、長径27㎝である。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は東壁南寄りに位置し、東西77㎝、南北1.31ｍの規模で、煙道は住居外に張り出してはいない。竈は全体を長方体の石でコの字形に組み、竈本体は粘土で築く石組粘土覆の構造をしている。遺物は竈の周辺に集中して出土しており、遺物には、灰釉陶器坏・土師質土器坏等がある。これらの遺物から、本住居は平安時代後期に置かれる。

102号住居址（第82・83・２３７～２４０図）

ＳＴＡ 521＋60Ｎ５に位置し、101、119号住居址等と重複する。住居の規模は、東西6.93ｍ、南北7.05ｍの方形を呈し、主軸はＮ－62°－Ｗを示す。壁は東20㎝、西13㎝、南16㎝、北３㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部から前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は４本主柱で、ピット１は深さ44㎝、短径35㎝、長径38㎝、ピット２は深さ38㎝、短径23㎝、長径26㎝、ピット３は深さ40㎝、短径24㎝、長径26㎝、ピット４は深さ26㎝、短径28㎝、長径32㎝である。貯蔵穴は住居南壁中央に位置し、その規模は深さ55㎝、東西1.1ｍ、南北78㎝の円形のプランを呈し、断面は逆台形である。周溝は検出されなかった。竈は北西壁中央に位置し、東西1.29ｍ、南北1.02ｍの規模で、煙道は住居外に張り出していない。竈本体は粘土で築き、支脚は石製のものが残っている。遺物は住居の南と北に集中して出土し、坏・高坏・甕・鉢・甑などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

103号住居址（第83・２４１図）

ＳＴＡ 522＋80Ｎ２に位置し、99、100号住居址等と重複する。住居の規模は、東西5.14ｍ、南北5.09ｍの方形を呈し、主軸はＮ－55°－Ｅを示す。壁は東39㎝、西28㎝、南29㎝、北30㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は４本主柱で、支柱穴が１本あり、ピット１は深さ33㎝、短径23㎝、長径30㎝、ピット２は深さ47㎝、短径27㎝、長径31㎝、ピット３は深さ43㎝、短径25㎝、長径29㎝、ピット４は深さ32㎝、短径23㎝、長径26㎝、ピット５は深さ19㎝、短径29㎝、長径34㎝である。ピット５が主柱穴であろうか。貯蔵穴は住居南隅に位置し、その規模は深さ43㎝、東西66㎝、南北70㎝の円形プランを呈し、断面は舟底形である。周溝は検出されなかった。炉は北東側柱穴中央に位置し、東西55㎝、南北45㎝の規模で焼土が残る。遺物は住居の北側に集中して出土しており、遺物には、坏・高坏・台付甕等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

104号住居址（第84・２４１・２４２図）

ＳＴＡ 522＋70Ｎ２に位置し、97、105号住居址等と重複する。住居の規模は、東西5.26ｍ、南北4.76㎝の方形を呈し、主軸はＮ－34°－Ｅを示す。壁は東43㎝、西13㎝、南33㎝、北33㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は

4本主柱であるが、調査地区外に1本がある。ピット1は深さ23㎝、短径24㎝、長径25㎝、ピット2は深さ37㎝、直径25㎝、ピット3は深さ29㎝、短径24㎝、長径26㎝である。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東中央に位置し、東西1.12ｍ、南北86㎝の規模で、煙道は住居外に若干張り出す。竈は、円筒土器を使用して築き、竈本体は粘土で構築している。支脚は小円筒土器を使用している。遺物は住居の北側に集中して出土しており、坏・甕・鉢・甑等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

105号住居址（第85・２４２図）

ＳＴＡ 522＋75Ｎ２に位置し、104号住居址等と重複する。住居の規模は東西2.72ｍ、南北3.17ｍの方形を呈し、主軸はＮ－2°－Ｗを示す。壁は東27㎝、南20㎝、北17㎝の高さがあり、竈・炉・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は、住居覆土から出土しており、甕等がある。この遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれるであろう。

106号住居址（第85・２４２・２４３図）

ＳＴＡ 521＋45Ｓ２に位置し、111号住居址等と重複する。住居の規模は、東西4.06㎝、南北3.43ｍの方形を呈し、主軸はＮ－2.5°－Ｗを示す。壁は西8.3㎝、北18㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部の前面が良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央寄りに位置し、東西71㎝、南北89㎝の規模で、煙道は住居外に25㎝張り出す。竈は焚口両袖を長方体の石で組み、天井は甕を使用して築いていたと思われる。竈本体は粘土で築く石組み粘土覆の構造をしている。支脚は円住形土製品を使用している。遺物は住居の北東側に集中して出土しており、坏・甕・鉢・甑等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

107号住居址（第86・２４４図）

ＳＴＡ 251＋50Ｎ６に位置し、120号住居址等と重複する。現存する住居の規模は、東西6.24ｍ、南北4.62ｍの三角形を呈し、主軸はＮ－21°－Ｅを示す。壁は東27㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは1本で深さ28㎝、短径29㎝、長径30㎝である。竈・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居の南側に集中して出土しており、須恵器坏蓋・坏・甕・鉢・壷等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

108号住居址（第97・２４５・２４６図）

ＳＴＡ 521＋50Ｎ２に位置し、113、114、130号住居址等と重複する。現存する住居の規模は、東西6.83ｍ、南北8.85ｍの方形を呈し、主軸はＮ－3°－Ｅを示す。壁は東20㎝、西9.2㎝、南6.5㎝、北9㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは1本で、深さ35㎝、短径31㎝、長径32㎝である。貯蔵

穴は住居南東に位置し、その規模は深さ42cm、東西94cm、南北1.24mの楕円プランを呈し、断面は舟底形である。遺物は住居の南東側に集中して出土しており、遺物には坏・高坏・甕・鉢・甑などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代に置かれる。

109号住居址（第86・247図）

ＳＴＡ521+45Ｎ1に位置し、116号住居址等と重複する。住居の規模は東西4.08m、南北4.4mの長方形を呈し、主軸はＮ－33°－Ｅを示す。壁は東13cm、西5cm、南4.5cm、北7cmの高さがあり、壁面やや外傾する。尚、南壁中央部が一部分外側に張り出しており、入口部施設と関係するものと思われる。床面は、中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。貯蔵穴と思われる浅いピットが住居南壁中央に位置し、その規模は深さ4cm、東西1.07m、南北92cmの円形プランを呈し、断面は皿形である。これを貯蔵穴とするか、あるいは入口部の何かの施設とするかは今後の検討材料である。柱穴・周溝は検出されなかった。竈は北東壁中央に位置し、東西87cm、南北96cmの規模で、煙道は住居外に若干張り出す。竈本体は粘土で構築され、支脚には石を使用している。遺物は住居の北側に多く出土しており、坏・甕・甑等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

110号住居址（第87・248図）

ＳＴＡ521+35Ｎ2に位置し、123、124、139号住居址等と重複する。現存する住居の規模は、東西4.61m、南北4.5mの台形を呈し、主軸はＮ－30°－Ｅを示す。壁は東9cm、西3cm、南4cm、北9cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東壁中央に位置し、東西78cm、南北82cmの規模で、煙道は住居外に張り出していない。竈本体は粘土で築いている。遺物は、住居覆土から出土しており、坏・高坏等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

111号住居址（第88・248・249図）

ＳＴＡ521+50Ｓ2に位置し、106号住居址等と重複する。現存する住居の規模は、東西7.52m、南北5.72mの方形を呈し、主軸はＮ－29°－Ｅを示す。壁は東18cm、西12cm、北27cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部から前面が良好であるが周辺は軟弱である。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東壁中央に位置し、東西1.18m、南北1.6mの規模で、煙道は住居外に張り出していない。竈は破損して旧状をとどめていないが、本来は焚口を長方体の石でコの字形に組み竈本体は粘土で築く石組粘土覆の構造をしていたものと思われる。遺物は住居の北側に集中して出土しており、坏・高坏・甕・鉢・甑等がある。これらの遺物から、本住居は、古墳時代中期に置かれる。

112号住居址（第87・250図）

ＳＴＡ 521＋35Ｓ２に位置し、123、125号住居址などと重複する。現存する住居の規模は東西4.98ｍ、南北3.16ｍの方形を呈し、主軸はＮ－8°－Ｗを示す。壁は東5㎝、北2.5㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部から前面が良好であるが周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは1本で深さ46㎝、短径87㎝、長径1.05ｍである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置していると思われ、東西54㎝、南北0.67ｍの規模で、煙道は住居外に張り出していない。竈本体は粘土で構築されている。遺物は住居覆土及び柱穴内から出土しており、遺物には坏・高坏・甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

113号住居址（第89・２５０・２５１図）

ＳＴＡ 521＋50Ｎ３に位置し、108号住居址などと重複する。住居の規模は、東西3.81ｍ、南北3.46ｍの方形を呈し、主軸はＮ－18°－Ｅを示す。壁は東16㎝、西18㎝、南15㎝、北36㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部から前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西1ｍ、南北1.5ｍの規模で煙道は住居外に70㎝張り出す。竈は両袖を長方体の石で組み竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしていたと思われる。遺物は住居の北側に集中して出土し、住居覆土全体から出土しており、遺物には坏・高坏・甕・鉢・甑などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代末期～奈良時代に置かれる。

114号住居址（第90・２５２・２５４図）

ＳＴＡ 521＋55Ｎ３に位置し、108、130、141、142号住居址などと重複する。住居の規模は東西6.92ｍの正方形を呈し、主軸はＮ－45°－Ｗを示す。壁は東30㎝、南47㎝、北20㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。南壁の中央やや西寄りが若干半円状に膨らんでおり、入口部に相当するであろうか。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北西壁中央に位置し、東西1ｍ、南北90㎝の規模で、煙道は住居外に25㎝張り出す。竈は両袖を長方体の石で組み、竈本体は粘土で築く石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居全体から出土しており、遺物には坏・高坏・甕・壷・鉢・甑などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

115住居址（第89・２５５図）

ＳＴＡ 521＋30Ｎ５に位置し、127号住居址などと重複する。

住居の規模は東西5.7ｍ、南北5.26ｍの方形を呈し、主軸はＮ－18－Ｗを示す。壁は東4㎝、西2㎝、南3㎝、北2㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは2本で、ピット1は深さ39㎝、短径20㎝、長径22㎝、ピット2は深さ46㎝、短径21㎝、長径27㎝である。貯蔵穴は住居南西隅に位置し、その規模は深さ16㎝、東西99㎝、南北90㎝の円形プランを呈し、断面は皿形である。周溝は検出されなか

った。炉は住居中央北寄りに位置し、東西35㎝、南北38㎝の規模で南に枕石をもつ。遺物は住居の東側と貯蔵穴内から出土しており、坏・高坏・壷・甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

116号住居址（第91・２５５・２５６図）

ＳＴＡ 521＋40Ｎ２に位置し、 109、 110、 132、 133、 135、 137～ 139号住居址などと重複する。住居の規模は、東西 7.62ｍ南北 7.87ｍの方形を呈し、主軸はＮ－26°－Ｅを示す。壁は東 6.7 ㎝、西 5.8 ㎝、南２㎝、北２㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は竈前面が良好であるが周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは３本で、ピット１は深さ66㎝、短径42㎝、長径45㎝、ピット２は深さ55㎝、直径38㎝、ピット３は深さ31㎝、短径31㎝、長径35㎝である。貯蔵穴は住居南壁中央に位置し、その規模は深さ55㎝、東西 1.4 ｍ、南北 1.2 ｍの方形プランを呈し、断面は中心に向って３段の階段状に落ち込む状態である。周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西 0.75ｍ、南北 1.5 ｍの規模で、煙道は住居外に張り出していない。竈本体は粘土で構築されている。遺物は住居の全体及び貯蔵穴から出土しており、坏・高坏・甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代中期に置かれる。

117号住居址（第92・２５６・２５７図）

ＳＴＡ 521＋50Ｎ１に位置し、 135、 140号住居址などと重複する。住居の規模は、東西4.46ｍ、南北 5.09ｍの方形を呈し、主軸はＮ－20°－Ｗを示す。壁は東13㎝、西16㎝、南15㎝、北６㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は４本柱で、ピット１は深さ30.6㎝、短径32㎝、長径33㎝、ピット２は深さ39㎝、短径32㎝、長径35㎝、ピット３は深さ24㎝、短径35㎝、長径36㎝、ピット４は深さ32㎝、短径38㎝、長径39㎝である、貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西 0.63ｍ、南北96㎝の規模で、煙道は住居外に若干張り出す。竈は焚口両袖を長方体の石で組み竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から本住居は古墳時代後期に置かれる。

118号住居址（第92・２５８図）

ＳＴＡ 521＋50Ｎ５に位置し、 126号住居址などと重複する。住居の規模は、東西 3.46ｍ、南北 3.52ｍの方形を呈し、主軸はＮ－ 114°－Ｅを示す。壁は東９㎝、南 9.7 ㎝、北15㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は東壁中央南寄りに位置し、東西35㎝、南北30㎝の規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈は燃焼部奥に石を立て竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居全体から若干出土しており、遺物には坏・甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

119号住居址（第93・２５８図）

ＳＴＡ 521＋60Ｎ６に位置し、 101、 102号住居址などと重複する。北側は調査地区外となっている。現存する住居の規模は、東西6.88ｍ、南北5.65ｍの方形を呈し、主軸はＮ－８°－Ｅを示す。壁は東9.5㎝、西14.5㎝、南18㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは３本で、ピット１は深さ21㎝、短径17㎝、長径22㎝、ピット２は深さ23㎝、短径20㎝、長径22㎝、ピット３は深さ21㎝、短径19㎝、長径21㎝である。竈・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

120号住居址（第93・２５８図）

ＳＴＡ 521＋45Ｎ６に位置し、 107号住居址などと重複する。現存する住居の規模は不明、主軸も明確ではない。壁は東12㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。炉・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居覆土から出土しており、壷・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

121号住居址（第94・２５９図）

ＳＴＡ 521＋30Ｎ４に位置し、 122、 128号住居址などと重複する。住居の規模は、東西4.68ｍ、南北4.63ｍの方形を呈し、主軸はＮ－11°－Ｅを示す。壁は東12㎝、西7.3㎝、南６㎝、北15㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西53㎝、南北60㎝の規模で、煙道は住居外に張り出していない。竈本体は粘土で構築している。遺物は住居の東側に集中して出土しており、坏・甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

122号住居址（第94・２５９・２６０図）

ＳＴＡ 521＋55Ｎ４に位置し、 121号住居址などと重複する。住居の規模は、東西3.4ｍ、南北3.97ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－12°－Ｗを示す。壁は東８㎝、西４㎝、南５㎝、北４㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴、貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東隅に位置し、東西47㎝、南北37㎝の規模で、煙道は住居外に張り出してはいない。竈本体は粘土で構築している。遺物は住居全体から出土しており、坏・坏蓋・甕・羽釜・瓶子などがある。これらの遺物から、本住居は平安時代後期に置かれる。

123号住居址（第95・２６０・２６１図）

ＳＴＡ 521＋30Ｎ２に位置し、 110、 112、 124、 125号住居址などと重複する。現存する住居の規模は,東西3.46ｍ、南北5.72ｍで、主軸は不明。南壁は5.6㎝の高さがあり、壁面はや

や外傾する。他は計測できない。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは１本で、深さ８㎝、直径45㎝である。貯蔵穴は住居北東隅に位置し、その規模は深さ40㎝、東西86㎝、南北92㎝の円形プランを呈し、断面は三角形である。竈・炉・周溝は検出されなかった。遺物は貯蔵穴から集中して出土しており、坏・高坏・甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

124号住居址（第95・２６１図）

ＳＴＡ 521＋30Ｎ２に位置し、 123号住居址などと重複する。なお、西側は道路下となって未調査である。住居の規模、主軸は不明。壁高もない。床面は軟弱である。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居覆土から若干出土しており、坏などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

125号住居址（第95・２６１図）

ＳＴＡ 521＋30ＮＳ１に位置し、 112、 123、124号住居址などと重複する。大部分が調査地区外となっており、住居の規模は東西１ｍ、南北5.1ｍが現存する。壁は東9.8㎝、南8.2㎝、北８㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面の周辺は軟弱である。炉・竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居覆土から出土しており、坏・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

126号住居址（第95・２６１図）

ＳＴＡ 521＋50Ｎ５に位置し、118号住居址などと重複する。現存する住居の規模は、東西5.09ｍ、南北6.24ｍの方形を呈し、主軸は不明である。壁は東西南北ともに高さがない。床面は中央部が若干良好であるが、周辺は軟弱である。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居覆土から出土しており、坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

127号住居址（第96図）

ＳＴＡ 521＋30Ｎ５に位置し、 115号住居址などと重複する。住居の規模は、東西2.82ｍ、南北3.06ｍの方形を呈し、主軸はＮ－16°－Ｅを示す。壁は東4.4㎝、西７㎝、南２㎝、北6.3㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物はほとんど出土していない。本住居は平安時代後期に置かれる。

128号住居址（第96・２６２図）

ＳＴＡ 521＋30Ｎ６に位置し、 121号住居址などと重複する。住居の規模は、東西3.32ｍ、南北4.53ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－20°－Ｅを示す。壁は東９ｍ、南４ｍ、北4.6ｍの高さ

があり、壁面はや外傾する。床面は中央部がやや良好であるが、周辺は軟弱である。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は覆土から若干出土しており、甕がある。この遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

129号住居址（第96・２６２図）

ＳＴＡ 521＋30Ｎ６に位置し、 134号住居址などと重複する。住居の規模は、東西4.25ｍ、南北3.45ｍの方形を呈し、主軸はＮ－29°－Ｗを示す。壁は東９㎝、西８㎝、南８㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。なお、住居北側は地区外となっている。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居の南側に集中して出土しており、坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は平安時代後期に置かれる。

130号住居址（第97・２６３図）

ＳＴＡ 521＋55Ｎ３に位置し、29、 108、 114号住居址などと重複する。住居の規模は、東西2.65ｍ、南北3.01ｍの方形を呈し、主軸はＮ－ 110°－Ｅを示す。壁は東6.3㎝、西4.8㎝、南６㎝、北８㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東隅に位置し、東西0.83ｍ、南北0.81ｍの規模で、煙道は住居外に若干張り出す。竈本体は粘土で構築している。遺物は住居の南側に集中して出土しており、遺物には坏・甕・甑などがある。これらの遺物から、本住居は奈良時代に置かれる。

131号住居址（第98・２６４・２６５図）

ＳＴＡ 522＋40Ｎ５に位置し、 126号住居址と重複する。住居の規模は東西5.61ｍ､南北5.45ｍの方形を呈し、主軸はＮ－11°－Ｅを示す。壁は東３㎝、南４㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部から前面が良好であるが、周辺は軟弱である。貯蔵穴は住居南壁中央西寄りに位置し、その規模は深さ50㎝、東西1.2ｍ、南北１ｍの長方形プランを呈し、断面は逆台形である。柱穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西1.08ｍ、南北1.48ｍの規模で、煙道は住居外に若干張り出す。竈本体は粘土で構築している。遺物は住居の竈部と貯蔵穴から集中して出土しており、坏・坏蓋・高坏・甕・鉢・甑などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代中期に置かれる。

132号住居址（第99・２６６図）

ＳＴＡ 521＋45Ｎ３に位置し、 116、 137号住居址などと重複する。住居の規模は東西5.5ｍ、南北3.54ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－ 2°－Ｅを示す。壁は東６㎝、西５㎝、南９㎝、北10㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部の竈前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西1.8ｍ、南北

1.24ｍの規模で、煙道は住居外に40㎝張り出す。竈本体は粘土で構築され、支脚は長方体の石が使用されている。遺物は住居全体から出土しており、坏・甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

133号住居址（第100・２６６・２６７図）

ＳＴＡ 521＋40Ｎ２に位置し、116、139号住居址などと重複する。東西の規模は、東西4.71ｍ、南北3.38ｍの長方形を呈し、主軸はＮ－19°－Ｅを示す。壁は東16㎝、西15㎝、南23㎝、北14㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西1.84ｍ、南北1.06ｍの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈本体は粘土で構築されている。遺物は住居の南側に集中して出土しており、遺物には坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は平安時代に置かれる。

134号住居址（第100・２６７・２６８図）

ＳＴＡ 521＋30Ｎ６に位置し、129号住居址と重複する。住居の北側は地区外となっている。現存する住居の規模は、東西2.21ｍ、南北3.76ｍの方形を呈し、主軸はＮ－91°－Ｅを示す。壁は東７㎝、南４㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は竈前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は東壁南寄りに位置し、東西58㎝、南北60㎝の規模で、煙道は住居外に張り出していない。竈本体は粘土で構築されている。遺物は住居の竈内及び北側に集中して出土しており、遺物には坏・甕などがある。これらの遺物から、本住居は平安時代後期に置かれる。

135号住居址（第100・２６８図）

ＳＴＡ 521＋45Ｎ２に位置し、116、117号住居址などと重複する。現存住居の規模は、東西1.12ｍ、南北2.67㎝の方形を呈し、主軸はＮ－19°－Ｅを示す。壁は東11㎝、南７㎝、北７㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は竈前面がやや良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央東寄りに位置し、東西63㎝、南北71㎝の規模で、煙道は住居外に張り出していない。竈本体は粘土で構築されている。遺物は住居覆土から出土しており、坏・坏蓋・甕などがある。これらの遺物から、本住居は奈良時代に置かれる。

136号住居址（第99・２６９図）

ＳＴＡ 521＋40Ｎ３に位置し、131号住居址と重複する。住居の規模、主軸は不明である。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居の中央部に集中して出土しており、坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は平安時代後期に置かれる。

137号住居址（第101・269図）

ＳＴＡ 521＋40Ｎ２に位置し、116、132、138号住居址などと重複する。住居の規模は、東西3.5ｍ、南北3.3ｍの方形を呈し、主軸はＮ－13°－Ｅを示す。壁は東10㎝、西８㎝、南16㎝、北10㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部から竈前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西72㎝、南北82㎝の規模で、煙道は住居外に若干張り出す。竈は両袖を長方体の石で組み、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居の北側に集中して出土しており、坏・坏蓋・甕などがある。これらの遺物から、本住居は平安時代前期に置かれる。

138号住居址（第101・270図）

ＳＴＡ 521＋40Ｎ２に位置し、137号住居址と重複する。現存する住居の規模は、東西３ｍ、南北3.3ｍの方形を呈す。壁は東19㎝、南10㎝、北７㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部がやや良好である。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居の北側から出土しており、遺物には坏・鉢・甑などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

139号住居址（第102・270・271図）

ＳＴＡ 521＋35Ｎ２に位置し、110、116、133号住居址などと重複する。住居の規模は、東西3.39ｍ、南北3.78ｍの方形を呈し、主軸はＮ－22°－Ｅを示す。壁高は東23㎝、西26㎝、南４㎝、北22㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは１本で、深さ20㎝、短径36㎝、長径38㎝である。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西69㎝、南北69㎝の規模で、煙道は住居外に若干張り出す。竈本体は粘土で構築されている。遺物は住居の北側に多く出土しており、遺物には甕・置竈などがある。これらの遺物から、本住居は平安時代に置かれる。

140号住居址（第102・271図）

ＳＴＡ 521＋50Ｎ２に位置し、29、108、117号住居址などと重複する。住居の規模は不明であり、主軸も不明。東壁は14㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居覆土から出土しており、坏・高坏・甑などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

141号住居址（第102・271・272図）

ＳＴＡ 521＋55Ｎ３に位置し、114、142号住居址などと重複する。住居の規模は、東西3.13ｍ、南北2.6㎝の方形を呈し、主軸はＮ－35°－Ｅを示す。壁は東5.7㎝、西３㎝、南６㎝、北10㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。

柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西91㎝、南北75㎝の規模で、煙道は住居外に40㎝張り出す。竈本体は粘土で構築し、石製の支脚が立てられている。遺物は住居の北側から出土しており、これらの遺物から本住居は平安時代前期に置かれる。

142号住居址（第103・272図）

ＳＴＡ 521＋55Ｎ４に位置し、 141号住居址と重複する。住居の規模は、東西2.86ｍ、南北2.91ｍの方形を呈し、主軸はＮ－25°－Ｅを示す。壁は東13㎝、西８㎝、南10㎝、北40㎝の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西62㎝、南北1.47ｍの規模で、煙道は住居外に60㎝張り出し、その先端両側には長方体の石が並べられる。竈本体は粘土で構築されている。遺物は竈内に集中して出土し、坏・高坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は平安時代に置かれる。

第２節　周溝遺構

１号周溝遺構（第104・２７３・２７４図）

ＳＴＡ522+90S5、S6、ＳＴＡ522+95S5、S6杭を中心部に取り込んで位置し、54・55・48・67・69号住居址と重複する。東西約10ｍ、南北10.5ｍの不整円形台状部を取り囲んで、巾1.2ｍ～2.5ｍの溝が全周する遺構である。周溝はレンズ状の堆積があるが、内部には多量の礫と遺物が投げ込まれており、南側は一部溝が浅くなっている。しかし、方形周溝墓のような土橋ではなく、一応溝は全周すると理解できる。台状部には主体部と思われる遺構は見られない。周溝部から出土した遺物には古墳時代後期の土師器坏・皿・須恵器・甕・手づくね土器・鉢・甑等がある。

又、古墳時代前期の住居址が台状部に残り、古墳時代後期の住居に切られているから、本遺構は古墳時代中頃から後期初頭の間に位置付けられよう。

２号周溝遺構（第105・２７５図）

ＳＴＡ522+80S4付近に位置し、１号周溝遺構の北西に接する。しかし、１号周溝とは溝を共有せず、溝の巾を減じていることから、１号が古く、２号が新しいと推定できる。中央の台状部は南北10ｍ、東西9.7ｍの円形を呈し、ほぼ中央に南北1.1ｍ、東西0.8ｍ、深さ25㎝の土壙がある。この土壙が本周溝に伴うものかどうかは不明であり、出土遺物はない。溝は北部で巾1.8ｍ、深さ0.5ｍ、西部で巾２ｍ、深さ0.6ｍ、南部で巾2.1ｍ、深さ0.65ｍ、東部で巾1.2ｍ、深さ0.5ｍであり、レンズ状の堆積が見られる。

本遺構の溝からは須恵器坏蓋・坏・甕・壷・台付甕などが出土しているが、最も古い遺物は古墳時代前期五領式で、新しいものには同時代後期がある。住居の切り合いでは１号と同様に古墳時代前期の住居を切り、後期の住居に切られているので、築造時期は１号遺構とあまり変らないであろう。

３号周溝遺構（第106図）

ＳＴＡ522+25N6に位置し、北側の大部分が地区外となっている。他の周溝遺構と異なるかもしれないが、方形に溝が巡る可能性があるので、この項に含めた。出土遺物で取り上げるべきものはない。

現存する溝長は、南北3.5ｍ、東西７ｍで、巾は1.2ｍ～1.5ｍ、深さは20㎝～50㎝である。

４号周溝遺（第107・２７６図）

ＳＴＡ522+90N3に位置している方形周溝墓である。規模は１辺8.5ｍのほぼ方形で、土橋は北隅と西隅の２ケ所にある。各辺の長さは、北東辺7.6ｍ、南東辺7.6ｍ、南西辺6.5ｍ、北西辺3.8ｍで、各辺の溝の巾及び深さは、北東で1.6ｍ、深さ50㎝、南東1.6ｍ、深さ95㎝、南西1.3ｍ、深さ70㎝、北西１ｍ、深さ30㎝である。溝中からは須恵器高坏脚部及び土師器碗

が出土している。主体部はN―42°―Eを示し、長軸1.1ｍ、短軸0.6ｍ、深さ32㎝で、断面形は舟底形である。本遺構の時期は土師器碗から古墳時代中頃と考えられよう。

第3節　溝・水路・柱穴群

1.　1号溝（第108・276図）

4号墳の墳丘裾部西側に位置している。溝はN―50°　Wの方向に伸びており、南端部は巾4.1ｍ、奥行1.8ｍの張り出しがあるが、溝中は1.5ｍ、長さ10ｍ、深さ30～40㎝である。溝中の遺物には、古墳時代中頃の土師器碗と平安時代後期の土師器坏があり、遺構の時期はどちらとも言えない。

2.　2号溝（第108図）

4号墳の北側に位置しているＬ字形の溝である。長辺7ｍ、短辺4.7ｍで、溝巾は70㎝～1.45ｍ、深さ30～40㎝である。遺物は無く、時期不明であるが、恐らく近現代に掘られたものであろう。

3.　3号溝（第109・276図）

4号墳の東側の溝で、ほぼ南北の方向に掘られている。溝の南北の続きは調査地区外、及び未調査地区に含まれ、全体の長さは不明であるが、調査した長さは30ｍ、巾3ｍ、深さ50㎝で、溝中には礫が多量に含まれている。出土遺物には古墳時代前期の五領式土器と、平安時代末～中世の土師質土器がある。

4.　4号溝（第109図）

100号住居址の西側で、ＳＴＡ522＋N3に位置する。溝の北西側は道路下に入ってしまうので全長は不明であるが、現存長は5.5ｍ、巾1.3ｍ、深さ35㎝である。溝中からは時期判定が可能な土器片は出土しなかった。

5.　5号溝（第109・276～279図）

ＳＴＡ521＋75S7・S8に位置している溝で、一部しか調査ができなかった。溝巾は2～2.5ｍ、深さ20～40㎝有り、北側が深くなる。溝中には多量の礫と遺物が含まれており、溝中心部には土器が一列に並んで残っている。出土遺物には古墳時代前期から中期～後期、平安時代末の土師質土器等もあるが、主体は古墳時代前期後半から中頃で、特に土師器甕は特殊なものである。出土遺物には坏・高坏・器台・甕・台付甕・壷などがある。

6.　6号溝（第110～280図）

5号溝の西側にあって、ＳＴＡ521+70S7付近に位置する。溝と言うには不定形なプランを呈しているが、長軸5.3ｍ、巾1.5～2ｍである。出土遺物には須恵器甕・古墳時代土師器・有孔土器・高坏・平安時代土師器坏等が出土している。

7.　1号水路（第100・280～281図）

ＳＴＡ522+15Ｎ・S1に位置し、ほぼ南北に水路跡がある。姥塚遺跡で最も大規模な水路で、しかも長期間流水があったものである。溝巾は8～15ｍもあり、深さ20～50㎝である。溝中央部が最も深く、当初は巾10～30㎝の砂礫層の流路があり、後に巾が広がったようである。水路中には礫が多いが礫に混って土師器が多量に投棄されており、洗場又は祭祀場的要素が考えられよう。出土遺物には古墳時代中頃の碗・壷・坏・後期の坏・甕・須恵器坏・手づくね土器などが多量に出土している。

8.　1号柱穴群（第111図）

ＳＴＡ522+35S1に位置する柱穴群で規則性はない。1号土壙、2号土壙と重複している。

9.　2号堀立柱（第111図）

ＳＴＡ522+35S3に位置しているが、柱穴は7本あり、西側には柱痕が存在しない。遺物址であるか、小屋状の施設であろうか。東西辺は2ｍ、南北辺4ｍで、1間×3間の建物である。

第4節　土　　壙

1.　1号土壙（第111図）

ＳＴＡ522+35S1に位置しており、直径1.5ｍ、深さ35㎝の長円形土壙である。土壙中央部に長さ40㎝、巾15㎝の偏平な石が底面に置かれているが、遺物は無い。

2.　2号土壙（第111図）

ＳＴＡ522+35S1に位置し、1号土壙の東に近接する。長軸80㎝、短軸55㎝の長円形で深さ25㎝。遺物は無い。

3.　6号土壙（第112図）

ＳＴＡ522+25S3に位置し、東西方向の長軸2.7ｍ、巾0.85ｍ、深さ35㎝である。出土遺物は無い。

4.　7号土壙（第112図）

ＳＴＡ522+30S7に位置し、直径1.25ｍの円形を呈する。深さ30㎝で出土遺物は無い。

5. 10号土壙（第112図）

ＳＴＡ521+25 N2に位置し、直径70㎝、深さ20㎝の隅丸方形土壙で、古墳時代後期の坏及び甕が内部より出土している。

6. 11号土壙（第112図）

ＳＴＡ521+40 N2に位置し、137号住居址と重複する。東西1.5ｍ、南北1.2ｍの長方形土壙で、深さは10㎝である。土壙中央部に坏及び広口の壷がある。壷は頸部に突帯のある特異なもので、古墳時代中頃に置かれようか。

第5節　出土遺物

各住居及び遺構からの出土土師器及び須恵器、灰釉陶器、土師質土器についての説明は第1表にまとめてあるので、その観察表を参考にしてほしい。又、その他の出土遺物も第5表の住居址出土遺物数一覧表を参考にして、各々の遺物の覧察表をあたれば、法量、材質等が分かるようになっている。又、土師器等の編年については後述するが、すでに発表されている編年案を基準として分類したものであり、本遺跡の住居群の重複関係から導き出したものではないので、同一住居に現在含まれているものでも、将来は切り合う別住居に入るのもあるかもしれない。

なお、ここでは特筆すべき遺物について若干述べておきたい。

第291図の紡錘車のうち、4・5は滑石製で刻文が付けられている。4の側面の文様は鳥か木葉のようであり、5は鋸歯状文がある。47～49の棒状土製品は甑底部の一部であろうか。第292図19は刀の柄に使用された目釘であろうか、本質部が一部残っている。第293図23は短冊形鉄斧で、古墳時代前期の69号住居址から出土したものである。第298図～301図の編物用石錘は民俗学で『コモ石』と呼ばれるムシロ編の縄を巻く石と考えられる。塩山市西田遺跡をはじめ、二之宮遺跡や本遺跡でも多く出土しており、古墳時代には一般的に使われるようになったものと思われる。

第Ⅳ章　古　　墳

本遺跡範囲及び遺跡の東側に合計４基の古墳が存在する。発掘調査前は２基であると思われたが、結果的に４基となったのは、表土除去結果及び地元の人々の話からである。集落址と古墳群は一部重複するが、ＳＴＡ522+40杭あたりから東にはほとんど住居が存在しないことから、古墳時代中頃から墓域として線引きがされていた可能性がある。

第１節　姥塚無名１号墳(第127図)

ＳＴＡ523+00～523+20、N1～S4の範囲に位置する古墳で、墳丘直径16ｍの周囲に周溝が巡り、その巾は北側で3.6ｍ、東側４ｍ、南側1.4ｍ、西側3.4ｍである。南東側には周溝と接して直径2.6ｍの円形土壙があるが、集水用の土壙として古墳に伴うものであろうか。墳丘は削平されており、ほとんど残っていないが、周溝の墳丘側に多数の礫が残存しており、墳丘を覆っていた葺石が一部残っているものであろう。

主体部の位置は不明であるが、残存墳丘上に礫が集中している地区が北西部にある。長さ８ｍ、巾4.8ｍの長方形範囲に人頭大礫及び若干の須恵器等があるので、ここが横穴式石室の位置であったかもしれない。入口方位は、N―60°―Wを示しているが、この方向は地区外にある県史跡姥塚古墳の入口方向と対面することになり、他の２・３号墳が南又は南西に開口するのに比べ、特異な入口方向を特つものである。このことから、本墳は姥塚古墳を盟主墳とした、関係の強い古墳と言えよう。

本古墳の墳丘上及び周溝部に近世と思われる石組遺構が２基存在する。１号石組遺構は長さ1.1ｍ、巾0.7ｍの長方形に石を組み、その中に横位屈葬の人骨が１体埋葬されている。２号石組遺構は周溝部南西側にあり、周溝底面より25㎝程浮いている。石組は1.4ｍ×１ｍの長方形に組まれており、石も平面的に敷かれている。

１号墳出土遺物（第311図）には、須恵器坏・坏蓋・土師器坏・碗・高坏及び鎌・刀子等が出土している。これより、本墳は古墳時代後期中頃に位置するのではなかろうか。

第２節　姥塚無名２号墳(第304～306・311・312図)

ＳＴＡ525+5N2あたりが古墳の中心となる。工事や道路の関係で周溝部まで全面発掘することができず、石室部だけの調査となった。この古墳は墳丘の上面が開墾によって削平されていたが、石室下面は残っており、遺存状態の最も良い古墳である。

石室は両袖型横穴式石室で、石室の規模は全長4.55ｍ、玄室長３ｍ、同巾1.7ｍ、袖の出は東側22㎝、西側20㎝である。羨道は巾1.15ｍ、長さ1.45ｍで、羨道部全体に閉塞石が詰められている。

石室は地山を20～40㎝程掘り下げ、側壁は横口積で、奥壁寄が大型の石を使用し、羨道部側

は比較的小さな石を使用している。奥壁は広口積にして３個の石を横に並べている。羨道部の側壁のうち、西壁は石積が小口積であるが乱雑に積まれている。水管理設の為、破壊されて残存していない。閉塞石の内外面は小口積にしてあり、良好な残存状態を示している。石室の床面は２枚検出されている。上面は20～30㎝の礫が玄室西側にだけ敷かれていたが、下面は20～30㎝の偏平礫が全面に敷かれている。

遺物は鉄製品、玉類は奥壁側に集中して出土し、これと重複するように人骨も分布している。須恵器や土師器は玄室入口側に多く分布しており、副葬品の置く場所が規制されていたことがうかがえる。なお、古墳前庭部には坏・瓿・甕破片などがあり、墓前祭の実施が想定されよう。

出土品には須恵器坏・瓿・甕・土師器坏などがあり、金環６個、勾玉10個、管玉６個、棗玉１個、切子玉５個、ガラス玉316個が出土している。鉄製品は直刀３、刀子４、鉄鏃22等が出土している。

第３節　姥塚無名３号墳(第307・308・313・317～319図)

ＳＴＡ524+80Ｎ6の杭が墳丘中心部に位置するが、この古墳も南側を道路に切られ、西側と北側は畑の区画の為に墳丘裾を切り取られている為、古墳の全体を調査することはできなかった。

墳丘は直径約15～16ｍの規模であるが、周溝が存在するかどうか不明である。墳丘の裾には葺石が巡り、墓道は特に葺石の残りが良好である。なお、残存している墳丘中段にも部分的に列石が配されているので、かつては全周していたものであろう。墳丘の盛土は50～60㎝の厚さで残っており、版築状態が見られる。

石室は奥壁部と東壁が残っているだけで、西壁及び羨道部、袖部は壁石が抜き取られている。石室で特筆すべき点は、奥壁手前に仕切石が並べられており、棺座として使用されたのか、いづれにしても二次的に造られた遺構がある。こうした例は中巨摩郡竜王町竜王新田竜王３号墳や、北巨摩郡双葉町上今井のきつね塚古墳等に見られる。奥壁は３個の石の広口面を並べたもので、東側壁は大小の石を横口に使用し、乱石積にしている。敷石は20～30㎝の礫を全面に敷きつめているが、西壁側は一部撹乱を受けている。主軸はＮ―45°―Ｅを示している。

出土遺物には土師器赤彩高坏・須恵器瓿・提瓶・甕などがあり、特殊なものには鳥形土製品がある。祭祀に使用されたものであろうか。鉄製品は直刀・鍔・刀子・鉄鏃などがあり、それらは石室中央部に分布する。又、金環４個が棺座周辺に分布している。

これらの出土品から本墳は、古墳時代後期中頃に造られたものと思われる。

第４節　姥塚無名４号墳(第309・310・314図)

ＳＴＡ523+35S7が墳丘中央にあたる。墳丘は２段に残っており、１ｍの高さがある。墳丘は直径20.5ｍの円形で、上段は方形に近い状態で残っている。墳丘中には長さ５ｍ、巾1.8ｍ

の土壙があるが、古墳に伴うものではなく、撹乱坑であると考えている。周溝は北側で５ｍ、東側で５ｍ、西側で５ｍとほぼ均一な巾をもち、深さは50㎝程度である。周溝中に１号墓壙があり、墳丘上に２号墓壙がある。どちらも近世墓である。周溝内より出土した遺物には須恵器高坏・土師器坏・壷・甕・灰釉陶器があるが、このうち最も古手には古墳時代前期の壷があり、須恵器坏も６世紀前半に含まれるものである。新しい土師質土器も含まれているが、古代の土師器が本墳の年代を決めるものであろう。

横穴式石室を持たないことから本墳は古墳時代中頃より以前に築造されたものであろう。

第Ⅴ章　ま　と　め

第１節　集落の変遷

次節の土器分類によって第10表住居址時期一覧表（Ｐ 168）を作成した。これを時期別に図示したのが、第 322図～ 326図である。この図を参考にしながら各時代の集落の在り方を概観していきたい。

古墳時代

◦前期前半

ほとんどが１号水路より東側と西側に分布しており、水路東側には４軒、西側には３軒である。東群住居中２軒が重複しているので、同時存在は２軒及至３軒と考えられる。従って水路をはさんで、ほぼ同数の住居が存在したのではなかろうか。

◦前期後半

水路西側には２軒、東側には10軒となり、東側の住居群が急増する。

◦中期前半

水路西側２軒、東側４軒であり、相変らず東側のグループの勢力が強いことがうかがえよう。

◦中期後半

水路の西側で各１軒づつとなり、どちらも小型の住居である。本地区から中心区が移動したのであろう。

◦後期第１期

水路東側では２軒が分散して存在するだけで、集落の主体は、水路西側に移ってしまう。

水路が流路として利用されていた時代はこのころまでで以降はほとんど埋没して小水路となってしまった。

◦後期第２期

水路西側では10軒、東側で３軒があり、前時期の主体部が継続している。

◦後期第３期

水路西側で７軒、東側で６軒である。西グループは大型住居と中型住居が混在しているが、

東グループは中型、小型住居が多く、グループの差がありそうである。1号、2号周溝遺構は住居との重複関係から、恐らくこの時期になる前に造られていたものであろう。

◦後期第4期

水路西側3軒、東側6軒で、再び東西の数のバランスが崩れ、東グループが勢力を持つ。

◦末期第1期

水路西側7軒、東側21軒と急増する。西グループは大型、中型、小型の住居が重複せずに存在するのに対して、東側は大型、中型住居が重複するものが多い。従って、本時期は更に分けられるべきであろうが、東グループの隆盛は頂点に達する。

◦末期第2期

水路西側2軒、東側5軒と約4分の1になる。各住居は重複せず、10m以上の間隔をあけて分散している。

◦末期第3期

水路西側4軒、東側1軒となり、再び東西の住居数が逆転する。

奈良・平安時代

◦Ⅰ期　水路西側は1軒、東側は0で、東部地域から集落中心が完全に出てしまう。

◦Ⅱ期　住居は1軒も見られない。

◦Ⅲ期　西側に4軒があるが、小型住居でしかも2軒が重複しているので、2時期に分けられる。

◦Ⅳ期　西側に1軒のみである。

◦Ⅴ期　西側に1軒のみである。

◦Ⅵ期　西側に1軒のみである。

◦Ⅶ期　住居はない。

◦Ⅷ期　水路西側に3軒あるが、西側の国道137号線沿いに2軒があり、2軒で一単位か。

◦Ⅸ期　西側に1軒のみである。

◦Ⅹ期　西側に3軒あり、10～20mの間隔が空いて造られている。

◦Ⅺ期　西側国道寄りに1軒ある。

◦Ⅻ期　住居はない。

◦XIV期　西側に2軒がある。

◦XV期　西側に4軒があり、4軒が5～10m間隔で存在している。恐らく同一時期の集団で、一単位か二単位に分かれるであろう。

◦XVI期　西側に1軒がみられる。

◦XVII期以降　住居址の存在は認められない。

このように時期別の住居群の動きを見てくると、水路の東と西で大きくグルーピングができるが、水路東側は、古墳時代末期第1期以降急激に居住地としては利用されなくなる。このことは、1・2・4周溝遺構が造られた時代よりも、後の時代まで住居地として、利用されたものが、この時期以降墓域として規制を受けるようになったものと思われる。

又、奈良・平安時代は水路より西側にだけ住居が見られるが、これらの住居群は二之宮遺跡の住居群変遷とあわせて考える必要があろう。

第2節　出土遺物について

本遺跡の時期分類には、次の文献によった。

① 末木、坂本　1984『古墳時代土師器の研究―山梨県』（古墳時代土師器研究会）

② 坂本、末木、堀内　1983『奈良・平安時代土器の諸問題―甲斐地域』（神奈川考古第14号）

③ 坂本　1986『古代末期―中世における在地系土器の諸問題―甲斐国』（神奈川考古第21号）

特にこの中で、奈良・平安時代の土器編年と古代末期の土器編年の接続は、奈良・平安時代XII期（10世紀第4四半期）の次には古代末I期（10世紀第4四半期）以降を接続させて、時期もXIII～XX期とした。現在のところ次のように推定しておきたい。

古墳時代

前期前半　（4世紀前半）
前期後半　（4世紀後半）
中期前半　（5世紀前半）
中期後半　（5世紀後半）
後期1期　（5世紀末～6世紀初）
後期2期　（6世紀第1四半期）
後期3期　（6世紀第2、3四半期）
後期4期　（6世紀第4四半期）
末期I期　（7世紀第1四半期）
末期II期　（7世紀第2四半期）
末期III期　（7世紀第3、4四半期）

奈良・平安時代

I期　（8世紀第1四半期）
II期　（8世紀第2四半期）
III期　（8世紀第3四半期）
IV期　（8世紀第4四半期）
V期　（8世紀第4四半期後半～9世紀第1四半期前半）
VI期　（9世紀第2四半期）
VII期　（9世紀第3四半期）
VIII期　（9世紀第4四半期）
IX期　（10世紀第1四半期）

Ⅹ期　　（10世紀第２四半期）
Ⅺ期　　（10世紀第３四半期）
Ⅻ期　　（10世紀第４四半期前半）
ⅩⅢ期　　（10世紀第４四半期後半）
ⅩⅣ期　　（11世紀第１四半期）
ⅩⅤ期　　（11世紀第２四半期）
ⅩⅥ期　　（11世紀第３四半期）
ⅩⅦ期　　（11世紀第４四半期）

各時代の資料は県下各地の出土品を対象として分類、編年したものであるので、本遺跡と整合するかどうか分らないが、大過ないと思われる。

お　わ　り　に

発掘調査を行ってからすでに６年の歳月が過ぎた。それ程に大規模な遺跡を１年半程の日程で調査したことへの反省もあるが、それ以上に長時間をかけて整理、報告書作成作業ができたことは大きな喜びである。

中央道に関係する遺跡の発掘調査は1965年の大月市宮谷遺跡に始まるが、本格的には1972年の小渕沢町中原遺跡であり、以後1981年の調査終了まで数多くの遺跡を発掘し、報告することができた。特に1979年から1981年までの間の本遺跡を始めとし二之宮遺跡・釈迦堂遺跡などは、全国的にも注目される成果をあげることが出来たことは、本県の原始・古代文化を知る上で大変な成果と言わなければならない。

これらの報告書は調査された事実と、若干の考察を記述してあるだけなので、一般には分りにくいと思われるが、今後はこの報告書を基に、原始・古代の甲斐の様相を歴史叙述できるよう深めていきたいし、更に、関東中部の文化的特徴を結びつけて、広域的に活用できるよう、資料的価値を高めるのも仕事であろう。

姥塚遺跡は、全国的にも巨大な石室を姥塚古墳築造に関係した集落というだけでなく、奈良、平安時代の国衙とも近接していることで注目されている遺跡である。墨書土器が少ない点や、銙帯具などが少ないこと、又、古墳からは馬具が出土しないなど、幾つかの問題点が明らかになったので、今から地域研究が始まるのだと思う。

本発掘調査及び整理作業については委託者である道路公団東京第二建設局をはじめ、県土木部用地課、道路建設課、御坂町教育委員会並びに地元井之上・二之宮区には御世話になった。深甚なる謝意を表します。

第1表　住居址他出土土器観察表

番　号	器　種	法　量 (cm)	調　整		胎土・焼成・色調	備　考
			器　体　部	底　部		
2　号 住居址 1	土師 坏	(口)13.1 (高)3.6 (底)6.5	(外)ヘラケズリ (内)	(外) (内)	(胎)緻密赤色粒子含む (焼)良好 (色)茶色	P-6
2	土師 坏	12.3 4.7	ヘラケズリ後ミガキ ミガキ		緻密赤色粒子含む 良好 茶褐色	P-2
3	土師 坏	12.3 4.65	ヘラケズリ後ミガキ ミガキ		緻密赤色粒子含む 良好 茶褐色	P-4
4	土師 坏	12.6 4.2	ヘラケズリ後ミガキ ミガキ		緻密赤色粒子含む 良好 茶褐色	P-2
5	土師 壺	15.1 24 7.3	ハケ目 ハケ目	ヘラケズリ	砂粒子含む 良好 茶色	P-10
6	土師 甕	22.8	ハケ目 ハケ目		緻密赤色粒子含む 良好	P-1、カマド内
7	土師 甕	13	ヘラケズリ		雲母少量含む 良好 暗褐色	P-19、カマド内
8	土師 甕	19.8	ケズリ ハケ目		石英赤色粒子含む 良好 暗褐色	P-15
3　号 住居址 1	土師 坏	12 3.6	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-63
2	土師 坏	12.3 4.5	ヘラミガキ、ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色(底部黒色)	P-93
3	土師 坏	12.2 3.9	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色　焼むらあり	P-111
4	土師 坏	14.2	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密(赤色粒子、雲母少量含む) 良好 黄褐色(内面黒色)	P-103
5	土師 坏	10.8	ヘラミガキ ヘラミガキ		暗褐色	P-11
6	土師 坏	14	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 赤褐色(焼むらあり)	P-99
7	土師 坏	13.7	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色(焼むらあり)	P-74
8	土師 坏	12 3.6	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	P-119
9	土師 坏	11.7 3.6	ヘラケズリ後ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 暗褐色	P-97
10	土師 宛	15 6.1	ヘラケズリ		粗い 良好 茶色	P-113

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
11	土師 高坏	(口)15.6 (高)11.8 (底)11.8	(外)ヘラケズリ後ヘラミガキ (内)指頭痕跡	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)黒色	P-78
12	土師 坏	11.5	ヘラミガキ 全面ヘラミガキ		緻密 良好 褐色(焼むらあり)	P-25
13	土師 高坏		ヘラケズリ、ヨコハケ 指頭痕跡、ヨコハケ		緻密赤色粒子含む 良好 茶色	P-110
14	土師 高坏	10.8 7.5 8.5	ヘラケズリ 指頭痕		緻密 良好 暗褐色黒色	P-104
15	土師 壺	13.9 21 7.6	ヘラケズリ		粗い砂粒含む 良好焼むらあり 赤褐色	P-126
16	土師 甕	22.2	ヘラケズリ		粗い 良好 暗褐色焼むらあり	P-57
17	土師 甕	17.8	ヘラケズリ		良好 茶色	P-85
18	土師 甕底部	7.5	ヘラケズリ ヘラケズリ	全ヘラケズリ	密 良好 赤褐色焼むらあり	P-80
19	土師 甕底部	9.3	ヘラケズリ	ヘラケズリ	粗い 良好 赤褐色	P-114
20	土師	8.3	ヘラケズリ		粗い部分的に剥落している 良好 赤褐色	P-102
21	土師 小鉢	4.7	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	P-22
22	土師 甕底部	8.5	ヘラケズリ ハケ目	全ヘラケズリ	やや粗い 良好 外面、暗褐色、内面、褐色	P-100
23	土師 甕	9.5	ヘラケズリ ハケ目	ヘラケズリ	粗い 良好	P-121
24	土師 甕	30.9 29.9 7.8	ハケ目 ハケ目		長石、石英粒を少量含む 良好 茶色	P-106
25	土師 甕	35.4	ハケ目 ヘラナデ不鮮明		粗い 良好 赤褐色内面黒い焼むら	P-122
26	土師 甕	18.4 30 5.5	ヘラケズリ		粗い 良好 赤褐色	P-128
27	土師 甕	19.6 28.4 5.8	ミガキ、ケズリ	全手持ちヘラケズリ ヘラケズリ	やや粗い(白色粒子含む) 良好 茶褐色焼むらあり	P-121
28	土師 甕	16	ヘラケズリ		赤色粒子雲母少量含む 良好 暗褐色	P-129
29	土師 甕底部	6.5	ヘラケズリ ハケ目	木葉痕 ヘラケズリ	やや粗い 良好 赤褐色	P-70

番　号	器　種	法　量 (cm)	調　整 器　体　部	調　整 底　部	胎土・焼成・色調	備　考
30	土師 甕	(口)18.6 (高) (底)	(外)ハケ目 (内)ヘラケズリ	(外) (内)	(胎)粗い (焼)良好 (色)赤褐色	P-120
31	土師 甕	7.5	ヘラケズリ ヘラケズリ		粗い 良好 褐色	P-88
32	土師 甕底部		ヘラケズリ不鮮明 ヘラケズリ不鮮明	木葉痕	緻密 良好 茶褐色スス付着	P-118
33	土師	7.2	ヘラケズリ	ヘラケズリ	粗い 良好 赤褐色	P-105
34	土師 甕	16.8 29.3 6	ハケ目 ハケ目	木葉痕	粗い 良好 茶褐色	P-123
35	土師 甕	19 33.8 5.2	ハケ目、ヘラケズリ ハケ目		粗い 良好 褐色(焼むらあり)	P-102
36	土師 甕	20.7 27 8	ハケ目 ハケ目		緻密 良好 褐色	P-88
37	土師 甕	17.8	ハケ目 ハケ目		赤色粒子含む 良好 褐色	P-37
38	土師 甕底部	6.4	ハケ目	木葉痕	粗い 良好 赤褐色	P-107
39	土師 甑	19.6 21.9 10.2	ハケ目、ヘラケズリ ハケ目		緻密 良好 赤褐色	P-130
40	土師 甕	19.2	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い(赤色粒子含む) 良好 赤褐色	P-95
41	土師 小型甕	13.5 13	ヘラケズリ ヘラケズリ		白色粒子含む 良好 赤褐色	P-83
42	土師 小型甕	14 12.5 6.7	ヘラケズリ不鮮明	全ヘラケズリ	粗い 良好 赤褐色(焼むらあり)	P-112
43	土師 小鉢	9.4	横ハケ目、ヘラケズリ後ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	P-22
44	はじ 台付鉢	11.5 15.5 10.7	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 褐色	P-120
5　号 住居址 1	土師 坏	12.2 5.1 6.8	ヘラケズリ		やや粗い 良好 褐色	
6　号 住居址 1	土師 坏	12,6	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 黒褐色	P-21
2	土師 坏	12.6	ヘラケズリ後ナデ ヘラミガキ		緻密(赤色粒子含む) 良好 黒褐色	P-11

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
3	土師 坏	(口)13.8 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)内、外面丹塗り	P-60
4	土師 坏	15.85	ヘラケズリ不鮮明		緻密(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	P-27
5	土師 坏	13.2			緻密 良好 赤褐色	P-53
6	土師 小型壺	8.4	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-8
7号住居址 1	土師 坏	11.2 3.7	ヘラミガキ、ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密(赤色粒子含む) 良好 暗褐色(内面黒色)	P-151
2	土師 坏	14 3.2	ヘラミガキ、ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密(赤色粒子含む) 良好 暗褐色(焼むらあり)	P-127
3	土師 坏	10.7 3.1	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 白褐色(内面黒彩)	P-141
4	土師 坏	13.2 3.4	ヘラミガキ、ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	P-148
5	土師 坏	12.8 3.2	ヘラミガキ、ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密(赤色粒子含む) 良好 黒褐色	P-96
6	土師 甕	21.8	ハケ目 ハケ目		良好 暗褐色(焼むらあり)	P-110
7	土師 甕	28	ハケ目 ハケ目		やや粗い(石英含む) 良好 黄褐色	P-15
8	土師 甕	8.8 10.2 6.2	ハケ目 ハケ目	木葉痕	粗い 良好 暗褐色	P-150
9	土師 甕	14 16.8 6.5	ヘラケズリ		粗い(砂粒子、石英含む) 良好 赤褐色	P-152
10	土師 甑	25.8	ハケ目		密 良好 黄褐色(焼むらあり)	P-149
8号住居址 1	須恵器 坏	11 4.9	ロクロ水引き ロクロ水引き	回転ヘラケズリ	緻密 良好 灰色	P-94
2	土師 坏	13.2 4.6	ヘラケズリ ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密(砂粒少量含む) 良好 丹塗り	P-95
3	土師 坏	13.4 4.8	ヘラケズリ 暗紋状のミガキ		緻密 良好 明赤褐色	P-88
4	土師 坏	13 44	ヘラケズリ ミガキ		緻密 良好 明褐色	P-89
5	土師 坏	12.3 4.6	ヘラによる横方向のミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 外面、褐色、内面、黒色	P-127

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
6	土師 坏	(口)13.4 (高)4.2 (底)	(外)ヘラケズリ (内)ヘラミガキ	(外)ヘラケズリ (内)	(胎)緻密(砂粒を含まず) (焼)良好 (色)黄色褐色	P-109
7	土師 坏	14 4.65	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 明赤褐色	P-105
8	土師 坏	13.8	ヘラケズリ後ヘラミガキ ヘラミガキ		密(砂粒含む) 良好 褐色	P-14 内、外面朱彩
9	土師 坏	13.5	ヘラケズリ後ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	P-118
10	土師 坏	12	ヘラミガキ、ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密(砂粒を含まず) 良好 内外面とも黄褐色	P-116
11	土師 坏	12.5 4.5	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラミガキ	緻密(砂粒を含まず) 良好 内外面とも黄褐色	P-93
12	土師 坏	10 3.45 4.4		複数の葉痕	緻密(砂粒を少量含む) 良好 茶褐色	P-91
13	土師 甕	20.1	ヘラケズリ ヘラケズリ、ヘラミガキ		緻密(金雲母、赤色粒子含む) 良好 黄褐色	P-101
14	土師 甕	15.7	ヘラケズリ ヘラケズリ		緻密(石英、長石粒を多く含む) 良好 暗褐色(焼むら)	P-99
15	土師 甕	18.0	ハケ目 ハケ目		緻密(石英、長石粒を少量含む) 良好 黄褐色	P-103
16	土師 甕	14.4	ヘラケズリ		緻密(金雲母含む) 良好 黄褐色	P-101
17	土師 甕	18.9 32.3	ハケ目 ハケ目	ハケ目後、ヘラケズリ	緻密(金雲母、長石を含む)	P-100
18	土師 甕	15.9	ハケ目 ハケ目		緻密(金雲母、長石を含む) 良好 茶褐色	P-99
19	土師 甕	18	ハケ目 ハケ目		緻密 良好 茶褐色	P-48
20	土師 甕	6.0	ハケ目 ハケ目	ハケ目 ヘラケズリ	茶褐色	P-36
21	土師 小型甕	12.2			緻密(砂粒子、雲母少量含む) 良好 黄褐色	P-119
22	土師 甕	18.4	ハケ目 ハケ目		緻密 良好 茶褐色	P-110
23	土師 甕	7.8	ヘラケズリ		緻密(全体に雲母含む) やや粗い 茶褐色	P-101
24	土師 甑	16.6	ヘラケズリ	ヘラケズリ	石英長石粒を多く含み軟弱	P-96

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
25	土師 甑	(口) (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)ヘラナデ	(外) (内)	(胎)緻密(内外面1～2㎜大粒石含む) (焼)良好 (色)黄褐色	P-93
26	土師 壺				緻密 良好 明茶褐色	P-90
27	土師 手涅	3.6		指頭痕	緻密 良好 茶褐色	P-104
9号住居址 1	土師 坏	11.1 3.25 5.6	ロクロ水引き	回転糸切り	緻密 良好 赤褐色	P-6
2	土師 坏	10.6 2.6 4.8	ロクロ水引き	回転糸切り	緻密 良好 赤褐色	P-9
3	土師 坏	12.3 3.2 5.4		回転糸切り		
4	土師 高台台坏	11.0 5.0 6.3				P-91
10号住居址 1	土師 坏	12.2 4	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密(赤色粒子含む) 良好 丹塗り	P-4
2	土師 坏	13.6 4.85	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラミガキ ヘラミガキ	緻密 良好 茶褐色	フク土
3	土師 坏	13.4	ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	
4	土師 高坏上部	12.8	ヘラケズリ不鮮明 ヘラミガキ		緻密(赤色粒子少量含む) 良好 茶褐色	フク土
5	土師 甕	16.7 30.6 7.7	ハケ後ヘラケズリ ハケ目		やや粗い 良好 暗褐色(焼むらあり)	P-5
6	土師 甕の口縁	15.4			赤色粒子含む 良好 褐色	フク土
7	土師 甕	16.2			赤色粒子、白色粒子含む 良好 赤褐色	フク土
8	土師 甕	19.6	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色(焼むらあり)	
9	須恵器 小型壺				長石か、石英か、白色粒子混合 良好 灰色	P-2
12号住居址 1	土師 器台	10.7	ヘラケズリ 放射状ヘラミガキ	ハケ目	密 良好 褐色	
2	土師 甕	9.5	ハケ目	木葉痕	やや粗い 良好 暗褐色	P-4

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
13号住居址 1	土師 坏	(口)13.5 (高)3.5 (底)	(外)ヘラミガキ (内)ヘラミガキ	(外)ヘラケズリ (内)	(胎)緻密(砂粒子、赤色粒子含む) (焼)良好 (色)暗褐色	P-1
2	土師 坏	13.5	ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-123
3	土師 坏	13.3	ヘラミガキ		緻密 良好 丹塗り	P-159
4	土師 坏	12.8 3.55	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 丹塗り	P-4
5	土師 坏	12.0	ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 丹塗り	P-35
6	土師 坏	14.2	ヘラミガキ		緻密 良好 丹塗り	P-105
7	土師 坏	12.8	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 丹塗り	P-85
8	土師 坏	11.6	ヘラミガキ		緻密 良好 丹塗り	フク土
9	土師 坏	12.6	ヘラミガキ	ヘラミガキ	緻密 良好 暗褐色	P-2
10	土師 坏	13.4	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色(赤色粒子少量含む)	P-80
11	土師 坏	12.2 3.5	ヘラミガキ	ヘラケズリ後、 ヘラミガキ	緻密 良好 黄褐色	P-3
12	土師 坏	11.6	ヘラケズリ		緻密(赤色粒子含む) 良好 褐色	P-84
13	土師 高坏	9.4	ヘラミガキ		緻密(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	P-4
14	高坏	23.6				P-48
15	壺					
16	土師 小型甕	16 6.5	ヘラケズリ ミガキ	ヘラケズリ ヘラケズリ	粗い(1.5m/n粒子含む) 良好 茶褐色	P-21
17						
18	土師 甕の口縁	14.8	ハケ目 ハケ目		やや粗い 良好 赤褐色	P-94
19	土師 甕の底部	5.8	ハケ目	木葉痕 ハケ目	粗い(赤色粒子、石英含む) 良好 茶褐色	P-110

番号	器種	法量(cm)	調整 器体部	調整 底部	胎土・焼成・色調	備考
20	甕	(口)31.0 (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)	(外) (内)	(胎) (焼) (色)	P-9
21	甑	14.6	ヘラケズリ			P-16
14 号 住居址 1	土師 坏	12.6 4			緻密(赤色粒子含む) 良好 赤褐色	P-5
2	土師 手涅	3.1 3	指頭痕		緻密 良好 茶褐色	P-25
3	土師 手涅	8.3 4.6 4.4	ハケ目		緻密 良好 赤褐色(焼むらあり)	P-7
4	土師 壺	17.2			緻密(赤色粒子含む) 良好 黄褐色	P-16
5	土師 甕		ケズリ後ナデ不鮮明 横ヘラナデ	縦ハケ不鮮明	やや粗い 良好 茶褐色	P-5
6	土師 壺	12.6	ヘラケズリ ヘラナデ		緻密(赤色褐色、石英雲母含む) 良好 暗褐色(焼むら)	P-22
7	土師 甕の底部	8.6			粗い 良好 黄褐色	P-28
8	土師 壺	7.6	ヘラケズリ ヘラケズリ	ヘラケズリ後ナデ	緻密 良好 黄褐色	P-10
15 号 住居址 1	土師 坏	14	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	P-5
2	土師 坏	18.7	放射状のヘラミガキ 放射状のヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-4
3	土師 甕の口縁	15.2	ハケ目		やや粗い 良好 褐色	
4	土師 甕の口縁	20.4				
5	土師 甕の底部	6.2	ハケ目	木葉痕	粗い 良好 茶褐色	P-3
6	土師 甕の底部	11.2		ヘラケズリ ハケ目	粗い 良好 赤褐色	
16 号 住居址 1	灰釉 高台付埦	15.2 6.7 7.5			緻密 良好 灰白色	P-3
2	土師 坏	12.5 3.5 5.6		回転糸切り未調整	やや粗い 良好 褐色	
3	土師 釜	14.0	ヨコナデ ヘラケズリ		粗い 良好 茶褐色	P-1

番号	器種	法量(cm)	調整 器体部	調整 底部	胎土・焼成・色調	備考
17号 住居址 1	土師 坏	(口)12.2 (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)	(外) (内)	(胎)赤色粒子含む (焼)良好 (色)明茶褐色	P-28
2	土師 坏	13			緻密(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	P-41
3	土師 坏	12.3 3.3 6	ヘラケズリ		緻密(赤色粒子含む) 良好 暗褐色(焼むらあり)	P-21
4	土師 坏	12.2	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	P-22
5	土師 壺	14.6	ヘラケズリ		緻密 良好 明茶褐色	P-33
6	土師 壺	19.7 21 7.5	ハケ目、ヘラケズリ ヘラケズリ、輪積み		緻密(赤色粒子含む) 良好 茶褐色(焼むらあり)	P-1
7	土師 壺	14.3 15.6 6.7	ハケ目、ヘラケズリ	木葉痕	白色粒子含む 良好 褐色	P-2
8	土師 甑	15.3 14 3.5	ヘラケズリ	ヘラケズリ	密 良好 内外面とも黄褐色	P-3
18号 住居址 1	土師 甕	14.4 15.9 5.2		ヘラケズリ	やや粗い 良好 褐色	P-36 521+75N2
2	土師 甕	23.2 22.9 8.6	ハケメ、ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-35 521+75N2
19号 住居址 1	土師 須恵 坏	12	回転ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	P-5
2	土師 坏	13.4		ヘラケズリ	緻密 良好 丹塗り	
3	土師 坏	11.9	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 明赤褐色	P-27
4	土師 坏	10.1 4.4	ミガキ後、ヘラケズリ		緻密 良好 黒色	P-52
5	土師 坏	11.9 4.6	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色	P-56
6	土師 坏	12.7		ヘラケズリ 指頭押え後ナデ	緻密 良好 明褐色	P-57
7	土師 坏	14	ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 褐色	P-41
8	土師 坏	14.1	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 明褐色	
9	土師 坏	13.6	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密(砂粒子、赤色粒子含む) 良好 明褐色	

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
10	土師 坏	(口)12 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)暗褐色	
11	土師 坏	12.2 4.8	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-51
12	土師 坏	12.1 4.8	ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-1
13	土師 坏	12.1 3.6	ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 赤褐色	P-49
14	土師 坏	12.8	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 明茶褐色	P-10
15	土師 皿	12.7	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-19
16	土師 坏	19.1	ヘラケズリ後ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-35
17	土師 高付の坏	19.1	ヘラケズリ		緻密 緻密 密	P-23
18	土師 甕	16.5	ヘラケズリ不鮮明		良好 暗褐色	P-43
19	土師 甕	15.5	ヘラケズリ ハケ目不鮮明		やや粗い(赤色粒子含む) 良好	P-58
20	土師 甕の底部	7.8	ヘラケズリ		やや粗い(赤色粒子、砂粒子含む) 良好 褐色	P-58
21	土師 甕	15.2	ヘラケズリ ハケ目		緻密 良好 茶褐色	P-27
22	土師 甕	18.6	ハケ目 ハケ目		緻密 良好 暗褐色	
23	土師 壺の底部	8	ヘラケズリ ハケ目		やや粗い(砂粒子含む) 良好 褐色	P-18
24	土師 甕	18	ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-13
25	土師 甕	17.1	ヘラケズリ		やや粗い 良好 黄褐色(スス付着)	P-58
26	土師 甕の底部	6	ヘラケズリ ハケ目		やや粗い 良好 黄褐色	P-36

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
20号住居址 1	土師 坏	(口)14.1 (高)4.4 (底)6	(外)ヘラミガキ (内)ヘラミガキ	(外)ヘラケズリ (内)	(胎)緻密(赤色粒子含む) (焼)良好 (色)暗褐色(焼むらあり)	P-2
2	土師 坏	12.5 4.1 3.5	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密(赤色粒子含む) 良好 褐色(焼むらあり)	P-1
3	土師 坏	13 3.6 5	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	
4	土師 埦	16.4 8.9	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 黒褐色	P-6
5	土師 甕の口縁	19.4	ヘラケズリ不鮮明		白色、赤色粒子含む 良好 茶褐色(焼むらあり)	P-3
6	土師 甕の底部	5.15	ヘラケズリ		赤色粒子含む 良好 赤褐色	P-5
21号住居址 1	須恵器 坏	15.3			緻密 良好 灰白色	
2	土師 甕の口縁	24.3	ハケ目 ハケ目		やや粗い(砂粒子、石英、黒色粒子含む) 良好 暗赤褐色	P-1
22号住居址 1	土師 高坏	9	ヘラケズリ		緻密 良好 黄褐色	
2	土師 甕の口縁		ハケ目 ハケ目		緻密 良好 茶褐色	
3	土師 台付甕の台	9.5	ハケ目 ハケ目		緻密 良好 黄褐色	
4	土師 台付甕	9.3	ハケ目 ハケ目		緻密 良好 暗褐色	
23号住居址 1	土師 坏	12.8	ヘラケズリ		密 良好 丹塗り	
2	土師 坏	14.4	ヘラミガキ、ヘラケズリ ヘラミガキ		密 良好 暗褐色	
3	土師 坏	11.8 3.9	ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 黄褐色	P-10
4	土師 坏	13	ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色(焼むらあり)	P-12
5	土師 坏	15	ヘラミガキ後、ヘラケズリ ヘラミガキ		密 良好 黄褐色	
6	土師 坏	10	ヘラミガキ後、ヘラケズリ ヘラミガキ		密 良好 黄褐色	
7	土師 鉢	24	ヘラミガキ後、ヘラケズリ ヘラミガキ		密 良好 黄褐色(焼むらあり)	P-11

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
8	土師 甕	(口)20 (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)ハケ目	(外) (内)	(胎)粗い(砂粒子含む) (焼) (色)	P-4
9	土師 甕	17.3			やや粗い 良好 赤褐色(焼むらあり)	
10	土師 甕	15	ヘラケズリ ハケ目		やや粗い(砂粒子含む) 良好 黄褐色(焼むらあり)	P-8
11	土師 甕の底部	9.2	指頭痕		赤褐色	P-9
12	土師 甕	19.2	ヘラケズリ ヘラケズリ		粗い(砂粒子含む) 良好 黄褐色	P-7
13	土師 壺	9.3	ハケ目 ハケ目	木葉痕		P-13
14	土師 鉢	12.4 9.9 6.5	ヘラケズリ 部分的にススト付着	木葉痕	白色粒子、小礫を多量に含み粗い 褐色	P-1
24号 住居址 1	土師 坏	15.2 4.2	ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密(砂粒子含む) 良好 丹塗り	P-1
2	土師 坏	14.5	ヘラケズリ		緻密(砂粒子含む) 良好 丹塗り	
3	土師 坏	17			緻密 良好 明赤褐色	
4	土師 坏	17.8	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 丹塗り	
5	土師 坏	18.7	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 丹塗り	
6	土師 坏	12.4	ヘラケズリ		緻密 良好 赤茶褐色	
7	土師 坏	16.8	ヘラケズリ		緻密 良好 丹塗り	
8	土師 坏	16.3	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 丹塗り	P-4
9	土師 坏	15.3			緻密 良好 茶褐色	
10	土師 甕の口縁	16.9	ヘラケズリ ハケ目		やや粗い 良好 暗褐色	
11	土師 甕の口縁	24.6	ヘラケズリ不鮮明 ハケ目不鮮明		緻密(砂粒子、石英含む) 良好 褐色	
12	土師 甑の底部	10.6	ヘラケズリ不鮮明		緻密 良好 黄褐色	

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
13	土師 甕の口部	(口)23.7 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)茶褐色	
25号住居址 1	土師 坏				丹塗り	P-4
2	土師 坏	11.7 4	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 茶褐色	P-8
3	土師 坏	12.1 4.7	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 茶褐色	P-9
4	土師 坏	12 4.7		ヘラケズリ	緻密(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	P-10
5	土師 坏	12.1 4.3	ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	P-26
6	土師 坏	11 4.4	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	P-17
7	土師 埦	13.2 7.6 5.1	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	P-7
8	土師	25			やや粗い(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	
9	土師 壺		ヘラケズリ ヘラナデ		やや粗い 良好 褐色	P-2
10	土師 甕		ハケ目、不鮮明	木葉痕	粗い 良好 茶褐色(赤色粒子含む)	P-1
11	土師 甕	19.2	ヘラケズリ不鮮明 ヘラケズリ		粗い(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	P-4
26号住居址 1	土師 器台	8.6	ハケ後、ミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-2
2	土師 器台	16.0	脚部に孔があり		良好 褐色	
3	土師 坩	15.45	ヘラミガキ		良好 褐色	P-1
4	壺の口縁	24.8	口唇部に刻み文様あり		良好 丹塗り	P-54
5	土師 壺	18	ハケ後ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-1
6	土師 小型壺	9.2	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色	P-11
7	土師 小型壺	9.6	ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	P-4

番　号	器　種	法　量 (cm)	調　　整		胎土・焼成・色調	備　考
			器　体　部	底　部		
8	土師 台付甕	(口)11.8 (高) (底)	(外)ハケ目 (内)ハケ目	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)暗褐色	
9	甕	20.4	ハケ目		茶褐色	
10	甕	18.0	ハケ目		茶褐色	
11	甕	20.4	ハケ目		茶褐色	
12		12.4	ハケ目		茶褐色	
13		10.6	ハケ目		茶褐色	
27　号 住居址 1	土師 坏	12.9 4.3 4	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	赤色粒子含む 良好 黒褐色	P-1
2	土師 坏	13.2 4.25 6		ヘラケズリ	緻密(赤色粒子含む) 良好 褐色	P-9
3	土師 坏	12.65 3.75 4		ヘラケズリ	緻密(赤色粒子含む) 良好 黒褐色	P-5
4	土師 壺	13	ヘラナデ		小石を多量に含みザラツキ 良好 褐色	P-19
5	土師 甕	15.6	ヘラケズリ不鮮明		赤色粒子含む 良好 褐色	
6	土師 壺	7.5	ハケ目	ハケ目	白色粒子含む 良好 褐色	P-20
7	土師 甕		ハケ目、ヘラケズリ ハケ目		良好 褐色	P-16
8	土師 小鉢	8.8 6.5 6.7	ハケ目 ヘラナデ	ヘラナデ 指頭かヘラ場痕	緻密 良好 茶褐色	P-3
9	土師 甕底部		ハケ目	ハケ目	緻密 良好 褐色	P-4
10	土師 甑	15.75 10.9	ヘラケズリ ヘラケズリ		赤色粒子含む 良好 褐色(焼むらあり)	P-7
28　号 住居址 1	灰釉 台付坏	7.4			緻密 良好	
2	土師 台付坏	11.2 3.9 5.8			やや粗い(透明な石含む) 良好	P-5
3	土師 台付坏	8.6			やや粗い 良好 褐色	P-1

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
4	土師 坏	(口)12.6 (高)4.3 (底)5.6	(外) (内)	(外)回転糸切り (内)	(胎)やや粗い(赤色粒子含む) (焼)良好 (色)	P-2
5	土師 坏	13.7 3.6 5.5		回転糸切り	密 良好 (外)茶褐色、(内)黒色	
6	土師 甕	10.8	ヘラケズリ		やや粗い(白色粒子含む) 良好 暗褐色	P-4
7	土師	29.6	ハケ目		やや粗い 良好 褐色	
29号住居址 1	須恵器 坏	14.1 3.5.	水びき	糸切り、回転ヘラケズリ	白色鉱物微粒子若干含む 良好 青灰色	P-1
2	須恵器 坏	14.6 4.0 8.4	ロクロ横ナデ		良好 青灰色	P-8
3	須恵器 坏	17.2 6.5 9.	ロクロ横ナデ ロクロ横ナデ	うず巻状の凸凹がみられる	白色粒子若干含む 良好 青灰色	P-2
4	須恵器 坏	18.1 6.6	ロクロ横ナデ ロクロ横ナデ	回転横ナデ	白色粒子若干含む 良好 灰褐色	P-15
5	土師 坏	19.1			緻密 良好 茶褐色	
6	土師 坏	11.65	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 茶褐色	P-11
7	土師 坏	12.4 3.9	ロクロ横ナデ ロクロ横ナデ後、ヘラミガキ	手持ちヘラケズリ	良好 茶褐色	P-10
8	土師 甕	25.4 29.7 7.5	ハケ目 ハケ目、ヘラケズリ	木葉痕	白色鉱物粒多量に含む 良好 暗褐色	P-1
30号住居址 1	土師 高坏	9.4 8.1 12.9			やや粗い(赤色粒子含む) 良好 黄褐色	P-1
2	土師 高坏	19.8 11.6	ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色	P-27
3	土師 高坏の台	12			緻密 良好 黄褐色	P-19
4	土師 高坏の脚	11.5	ハケ目 ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-7
5	土師 坩	10	ヘラミガキ ヘラケズリ	ヘラミガキ	緻密 良好 黄褐色	P-1
6	土師 坏	15.5			やや粗い 良好 赤褐色	
7	土師 壺	15.5	ヘラミガキ 指頭押え		緻密 良好 黄褐色	P-38

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
8	土師 壺	(口) (高) (底)7.4	(外)ケズリ後ミガキ不鮮明 (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)茶褐色	P-4
9	土師 壺		ヘラケズリ、ハケ目		やや粗い 良好 赤褐色	P-10
10	土師 甕	17.8	ハケ目		緻密(全体に黒雲母含む) 良好 茶褐色	P-37
11	土師 壺口縁	14	ハケ目 ヘラケズリ		赤色粒子含む 良好 赤褐色	P-36
12	土師 台付甕	14.5	ハケ目 ハケ目		金雲母含む 良好 暗褐色	P-2
13	土師 台付甕	13.1	ハケ目		やや粗い(金雲母含む) 良好 黒褐色	P-24
14	土師 甕の口縁	13	ハケ目 ハケ目		やや粗い(砂粒子含む) 良好 黄褐色(焼むらあり)	P-4
15	土師 甕の口縁	16.6	ハケ目		赤色粒子含む 良好 茶褐色	P-28
16	土師 甕の口縁	14	ハケ目 ヘラケズリ		赤色粒子含む 良好 暗褐色	P-27
17	土師 甕の口縁	13.2	ハケ目 ハケ目		やや粗い(砂粒子、石英含む) 良好 赤黄褐色	P- 36
18	土師 甕の口縁	13.6	ハケ目 ハケ目		やや粗い(砂粒子、石英含む) 良好 白赤褐色	P-13
19	土師 甕の口縁	11.8	ハケ目 ヘラケズリ		緻密 良好 赤褐色	P-4
20	土師 甕の口縁	12.3	ハケ目		やや粗い 良好 暗茶褐色	P-4、P-43、P-27
21	土師 台付甕の台	8.4	ハケ目	ハケ目	やや粗い 良好 赤黄褐色	P-25
22	土師 台付甕の台	7.8			やや粗い(砂粒子、石英含む) 良好 黄褐色	P-27
23	土師 台付甕の台	10	ハケ目		粗い 良好 暗褐色	P-39
24	土師 台付甕の台	8.6	ハケ目		やや粗い 良好 白褐色	P-27

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
31号住居址 1	土師 皿	(口)15.5 (高)2.2 (底)6	(外)回転ヘラケズリ (内)ヘラミガキ	(外)回転ヘラケズリ (内)	(胎)緻密(赤色粒子含む) (焼)良好 (色)褐色	P-5
2	土師 坏	5.2	ヘラケズリ不鮮明	ヘラケズリ不鮮明	緻密 良好 (外)褐色(内)暗褐色	P-5
3	土師 皿	7	ヘラケズリ 放射状の暗文	ヘラケズリ	緻密 良好 褐色	P-5
32号住居址 1	土師 杯	12.6 4.2 6	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-16
2	土師 坏	12.8	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 内、外面黒色	P-17
3	土師 坏	12	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色(焼むらあり)	P-4
4	土師 高坏の脚部	11.5	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラケズリ		緻密 良好 内、外面黒	P-10
5	土師 埦	11.2 7.2 7.5	ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ後 ヘラミガキ	密 良好 褐色	P-11
6	土師 甕	17.7 31.8 5.1	ハケ目、ヘラケズリ ハケ目、ヘラケズリ		白色粒子含む 良好 茶褐色	P-1
7	土師 鉢	13.1	ハケ目、ヘラケズリ ハケ目		緻密 良好 黒褐色	P-3
8	土師	19.2	ハケ目 ハケ目		やや粗い(砂粒子含む) 良好 黒褐色	
9	土師 甕底部	5.8	ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 褐色	P-12
10	土師 甕	9	ハケ目、ヘラケズリ ハケ目		密 良好 褐色	P-6
33号住居址 1	土師 杯	14.3	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-1
2	土師 坏	14 5.4	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 赤褐色	P-13
3	土師 坏	16	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-15
4	土師 坏	13.8 5.8	ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	
5	土師 坩	9.8 17.3			緻密 良好 暗褐色	P-10
6	土師 壺	18 27.5 8.4	ヘラケズリ不鮮明		やや粗い(砂粒子含む) 良好 赤褐色	P-12

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
7	土師 壺	(口)17.7 (高) (底)	(外)ハケ目 (内)ハケ目	(外) (内)	(胎)粗い(砂粒子含む) (焼)良好 (色)黄褐色	
8	土師 鉢	6.2			粗い(石英含む) 良好 赤褐色	P-8
9	土師 甑	22.6	ハケ目		やや粗い(石英含む) 良好 暗褐色	
34号 住居址 1	土師 杯	11.9 3.65	ヘラミガキ	ヘラケズリ	良好 褐色	P-16
2	土師 坏	12.2 3.65	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ		P-15
3	土師 坏	11.5 3.8	ヘラミガキ、ヘラケズリ ヘラミガキ	糸切り	赤色粒子を含む	P-22
4	土師 坏	12.6 3.9	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	暗褐色	P-15
5	土師 坏	12.4 3.9	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	良好 暗褐色	
6	土師 坏	12.2 3.95	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ後、 ヘラミガキ	緻密(礫粒含まず) 良好 暗褐色	P-22
7	土師 坏	12.1 3.75	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	良好 暗褐色	P-21
8	土師 坏	12.4 3.8	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	褐色	P-23
9	土師 坏	12.9 3.65	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ後、 ヘラミガキ	良好 暗褐色	P-16
10	土師 坏	12.4 4	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	良好 暗褐色	P-16
11	土師 坏	12.3 4.2	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	褐色	P-21
12	土師 坏	12.5 3.65	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ後、 ヘラミガキ	茶褐色	P-3
13	土師 坏	12.35 4	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ後、 ヘラミガキ	黒色	P-15
14	土師 坏		ヘラミガキ	ヘラケズリ	黒色	P-10
15	土師 坏		ヘラミガキ	ヘラケズリ		
16	土師 坏	12.3 3.9	ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラミガキ		良好 黄褐色	P-16

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
17	土師 高坏	(口)15.4 (高) (底)	(外)ヘラミガキ (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)丹塗り	
18	土師 高坏		ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密(礫粒含まず) 良好 黄褐色	P-7
19	土師 坏	16.1 6.55	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	粒子細かい 良好 暗褐色	P-18
20	土師 坏	15.5 6.3	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密(砂粒子含まず)	P-9
21	土師 埦	18.3 9.3	ヘラミガキ		緻密 良好 (外)暗褐色(内)茶褐色	P-20
22						P-2
23	土師 壺	18.1 26.5 8.9	ハケ目	木葉痕 ハケ目	やや粗い 良好 黄褐色(焼むらあり)	
24	土師 小型甕	13.8 17.3 5.9	ハケ目不鮮明		やや粗い 良好 茶褐色	P-12
25	土師 甕	15.7 17 5.8	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	P-13
26	土師 甕		ハケ目		粒子細かい 良好 暗褐色	P-5
27	甕		ハケ目	木葉痕	良好 茶褐色	
28	甕				良好 茶褐色	
29	土師 壺	19.6 25.6 11.1	ヘラケズリ	ヘラケズリ	やや粗い 良好 茶褐色	P-4
30	土師 小型壺		ハケ目、指頭痕 ハケ目	木葉痕 指頭痕	砂粒子、雲母含む 赤褐色	P-11
31	土師 甕	6	ハケ目、ヘラケズリ ハケ目		やや粗い 良好 茶褐色	P-20
32	土師 甕	15.1 25.1 5.2	ハケ後、ヘラケズリ	木葉痕	やや粗い 良好 暗褐色	
33	土師 甑	18.2 13.5	ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色(焼むらあり)	P-9
34	土師 支柱	5.3	指頭痕		緻密 良好 茶褐色	P-28

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
35号住居址 1	須恵器 坏	(口)10.8 (高)3.4 (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)白褐色	P-21
2	土師 坏	12 3.7 2	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 褐色	P-5
3	土師 坏	12.3 4 2	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密(赤色粒子含む) 良好 (外)茶褐色(内)黒色	P-9
4	土師 坏	13 3.5	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 明茶褐色	P-32
5	土師 坏	12.45 3.8 9.7	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 明茶褐色	P-43
6	土師 坏	13.2 3.1 11.2	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 丹塗り	
7	土師 坏	12.9		ヘラケズリ	赤色粒子含む 良好 褐色	P-8
8	土師 坏	13.2 3.6 10.5		ヘラケズリ	緻密 良好 明茶褐色	
9	土師 坏	12.4 3.3 5	ヘラミガキ	ヘラミガキ	緻密 良好 褐色	P-15
10	土師 坏	12.2 3.4	ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 明茶褐色	P-29
11	土師 坏	12.8 4.15	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 明茶褐色	P-52
12	土師 坏	12.4	ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 明茶褐色	P-12
13	土師 坏	11.8 3.75 4	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密(赤色粒子含む) 良好 (外)褐色(内)黒色	P-34
14	土師 坏	12 3.9 3	ヘラミガキ、ヘラケズリ		緻密 良好 (外)褐色(内)黒色	P-11
15	土師 坏	12.2 3.75	ヘラケズリ		緻密 良好 明茶褐色	P-37
16	土師 坏	12.1 4.6 3	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-32
17	土師 坏	13.6			緻密 良好 丹塗り	
18	土師 高坏	12.2	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 明茶褐色	P-16
19	土師 埦	18.4 7.3 6	ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラミガキ		赤色粒子含む 良好 丹塗り	P-2

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
20	土師 鉢	(口) (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)ヘラミガキ	(外) (内)	(胎) (焼) (色)	P-30
21	土師 高坏	10.1	ヘラミガキ ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	P-40
22	土師 高坏	15.3 16 13.3	ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 丹塗り	P-42
23	土師 高坏	14.9	ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 (外)暗褐色(内)黒色	P-50
24	土師 円筒	6.2	ヘラケズリ後、ヘラミガキ		白色粒子含む 良好 明茶褐色	P-14
25	土師 高坏	14	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-9
26	土師 甕	17	ヘラケズリ		白色粒子含む 良好 黒い褐色	P-28
27	土師 甕	6.5	ハケ目 ハケ目	木葉痕	粗い 良好 赤褐色	
28	土師 甕	6.3			密 良好 褐色	P-6
29	土師 甕	17	ヘラケズリ	指頭痕	赤色粒子含む 良好 茶褐色	P-2
30	土師 甕	8.3	ヘラケズリ ハケ目		密 良好 暗褐色	P-6
31	土師 甕	5.4	ヘラケズリ	ヘラケズリ	粗い(白色粒子含む) 良好 茶褐色	
32	土師 甕	8.8		ヘラケズリ	やや粗い 良好 茶褐色	P-40
33	土師 甕	15.8 16.75 6.8	ヘラケズリ ヘラケズリ		赤褐色	P45
34	土師 甕	16	ハケ後ヘラケズリ ハケ目		白色粒子含む 良好 茶褐色	P-4
35	土師 甕	18.1 32.4 5	ヘラケズリ		粗い(白色粒子含む) 良好 茶褐色	P-36
36	土師 鉢	16.7	ヘラケズリ		白色粒子含む 良好 明茶褐色	
37	土師 埦	16.6	ヘラケズリ		赤色粒子含む 良好 褐色	P-20
38	土師 甑	13.5 8.9 7.5	ヘラケズリ ハケ目		粗い(白色粒子含む) 良好 茶褐色	P-42

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
39	土師 円筒	(口) (高) (底)	(外) (内)輪積み	(外) (内)	(胎)粗い (焼)良好 (色)明茶褐色	P-1
40	土師 円筒	10	ヘラケズリ 輪積み		粗い(白色粒子含む) 良好	P-47
41	円筒	6.2	ヘラケズリ 輪積み		粗い 良好 明茶褐色	P-44
36号住居址 1	土師 坏	12.8 3.4	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 丹塗り	P-44
2	土師 坏	13.4 3.2		ヘラケズリ	緻密(赤色粒子含む) 良好 褐色	P-9
3	土師 坏	13.8			緻密 良好 黄褐色	
4	土師 坏	11.6	ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密(赤色粒子含む) 良好 褐色	P-37
5	土師 坏	12.2	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密(赤色粒子含む) 良好 褐色	P-60
6	土師 坏	11	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密(赤色粒子含む) 良好 褐色	P-30
7	土師 埦	11.3	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	
8	土師 高坏	13.4 7.5 7.6	ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密(赤色粒子含む) 良好 丹塗り	P-2
9	土師 高坏	13.8 10.4	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密(赤色粒子含む) 良好 褐色	P-53
10	土師 高坏	14.6	ヘラケズリ 輪積み		緻密 良好 丹塗り	P-12
11	土師 高坏	7.6	ヘラケズリ		緻密(黄雲母含む) 良好 丹塗り	P-54
12	土師 高坏	8.2			粗い(砂粒子含む) 良好 褐色	P-59
13	土師 高坏	7	ヘラケズリ後、ヘラミガキ		緻密 良好 丹塗り	P-16
14	土師 高坏	8	ヘラケズリ後、ヘラミガキ		緻密 良好 (外)黒色(内)褐色	P-26
15	土師 手捏				緻密 良好 暗褐色	
16	土師 埦	9.6	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-11

番号	器種	法量(cm)	調整 器体部	調整 底部	胎土・焼成・色調	備考
17	土師 壺	(口) (高) (底)	(外)ヘラケズリ後、ヘラミガキ (内)	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)褐色	P-4
18	土師 甕	16.6	ハケ目		緻密 良好 黄褐色	P-57
19	土師 小型甕	13.6	ハケ目 ハケ目		粗い(砂粒子含む) 良好 茶褐色	P-3
20	土師 甕	5.8	ヘラケズリ		やや粗い 良好 黒褐色	P-59
21	土師	5	ヘラケズリ	木葉痕	やや粗い 良好 茶褐色	P-38
22	土師 甕	6.1		ヘラケズリ	密 良好 褐色	P-56
23	土師 手捏	2.2			緻密 良好 茶褐色	
37号 住居址 1	土師 高坏		指頭痕		緻密 良好 赤褐色	
2	土師				緻密 良好 赤褐色	
3	土師 坏	16.2	ヘラケズリ ヘラケズリ後、ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-4
4	土師 高坏		ヘラケズリ 指頭痕		やや粗い(雲母含む) 良好 暗褐色	P-5
38号 住居址 1	土師 高台坏	15.7 5.5 7.6			やや粗い(石英含む) 良好 褐色	P-14
2	土師 高台坏	14.6 6.5 7.8			密 良好 (外)褐色(内)黒色	P-2
3	土師 高台坏	10.5 3.7 5.4			密 良好 茶褐色	P-13
4	土師 高台坏				やや粗い(金雲母含む) 良好 赤褐色	P-3
5	土師 高台坏	11.3 4.4 5.5			やや粗い 良好 褐色	P16
6	土師 高台坏	10.4 3.8 5.2			密 良好 暗褐色	P-9
7	土師 坏	13.7 4.1 6.2			やや粗い(砂粒含む) 良好 褐色	P-12
8	土師 坏	13.8 3.3 5.8			やや粗い(砂粒含む) 良好 暗褐色	P-7

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
9	土師 坏	(口)13.6 (高)3.4 (底)5.8	(外) (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い(石英含む) (焼)良好 (色)暗褐色	P-10
10	土師 坏	10.8 2.9 4.8			やや粗い(石英含む) 良好 赤褐色	P-8
11	土師 坏	10.6 3 5.4			やや粗い(石英含む) 良好 褐色	P-17
12	土師 坏	11.4 2.9 5.6			粗い(石英含む) 良好 褐色	
13	土師 坏				やや粗い(砂粒含む) 良好 (外)褐色(内)黒色	P-6
14	土師 坏	11.2 2.2 4.6			やや粗い(石英含む) 良好 赤褐色	P-5
15	土師 坏	11.4			やや粗い(石英含む) 良好 赤褐色	
16	土師 坏	5.6			やや粗い(赤色粒子含む) 良好 褐色	
17	土師 坏				やや粗い(石英含む) 良好 褐色(焼むらあり)	P-4
18	土師 坏				やや粗い(石英含む) 良好 暗褐色	
19	土師 坏	15.4	ヘラミガキ		密(金雲母含む) 良好 (外)褐色(外)黒色	P-1
20	土師 坏				やや粗い(金雲母,赤色粒子含む) 良好 赤褐色	
21	土師 甕	30	ハケ目		やや粗い 良好 暗褐色	
39号 住居址 1	土師 坏	10.9 3 4.5		糸切り	やや粗い 良好 暗褐色	P-1
2	土師 坏	10.8 3.2 4.4				P-1
3	土師 坏	11.1 4.3 4.8			緻密 良好 暗褐色	P-1
4	土師 坏	17 3.8. 5.3			緻密 良好 茶褐色	P-4
5	土師 坏	10.7 3.3 5.1		糸切り	良好 茶褐色	P-2
6	土師 坏	11.1 3.25 5.4		糸切り	白色粒含む 良好 茶褐色	P-3

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
7	土師 坏	(口)10.6 (高)3.8 (底)5.3	(外) (内)	(外)回転糸切り (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)茶褐色	P-5
8	土師 坏	11.6			やや粗い 良好 茶褐色	
9	須恵器				良好 青灰色	P-9
40号住居址 1	土師 坏	12.8	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 黒色	P-14
2	土師 坏	13.4	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 褐色	
3	土師 坏	12.2	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 暗褐色	P-6
4	土師 埦	12.8 5.2		ヘラケズリ	緻密 良好 褐色	
5	土師 埦	8 4.9	ヘラケズリ		緻密(赤色粒子含む) 良好 黄褐色	P-21
6	土師 坏	17.2	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 暗褐色	P-16
7	土師 坏	11.8 3.3	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 暗褐色	
8	土師 坏	12.2 3.2	ヘラケズリ		緻密(赤色粒子多量含む) 良好 茶	P-8
9	土師	15.3 7	ヘラミガキ、ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密(赤色粒子含む) 良好 暗褐色	P-3
10	土師 高台付埦	12 11 7.7			緻密 良好 茶褐色	P-4
11	土師 高坏	11.8	ヘラミガキ、ケズリ不鮮明		緻密 良好 茶褐色	P-1
12	土師 高坏		ヘラケズリ		緻密 良好 丹塗り	P-19
13	土師 高坏		ヘラミガキ ヘラミガキ		良好 褐色	P-16
14	土師 高坏				緻密(赤色粒含む) 良好 黄褐色(焼むらあり)	P-15
15	土師 高坏	11.7	ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色(焼むらあり)	P-8
16	土師 甕	8.6	ヘラケズリ	木葉痕	密 良好 褐色	

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
17	土師 甕	(口) (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)ヘラケズリ	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)茶褐色	
18	土師 甕	17.1 31.2	ハケ後ヘラケズリ ハケメ		白色粒子を含む 良好 褐色	P-20
19	土師 甕	19.4 36 6.3	ハケ後ヘラケズリ ハケメ		やや粗い 良好 茶褐色	P-22
20	土師 甕	17.7	ハケ後ヘラケズリ ハケメ		白色粒子少量含む 良好 褐色	P-12
21	土師 甕	7	ヘラケズリ		粗い 良好 褐色	P-7
22	土師 甕	14.1 25.1 7	ハケ後ヘラケズリ ハケメ		白色粒子少量含む 良好 茶褐色	P-19
23	土師 円筒		ヘラケズリ 輪積み	木葉痕	粗い 良好 茶褐色	P-18
41 号 住居址 1	土師 高坏		ヘラケズリ ヘラミガキ		鉱物粒を多少含む 良好 赤褐色	P-6
2	土師 高坏		指頭痕、ハケ目 ヘラケズリ		良好 赤褐色	
3	土師 坩		ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色	P-6
4	土師 壺		ヘラミガキ、ヘラケズリ		白色鉱物微粒を多く含む 良好 黄褐色	P-3
5	土師 台付甕	12.6	ハケ目		やや粗い(金雲母含む) 良好 茶褐色	P-11, P-12 P-13, P-14
6	土師 台付甕	13	ハケ目		やや粗い 良好 茶褐色	P-1
7	土師 台付甕	13 22.1 8.4	ハケ後-ナデ 指頭痕の後、ハケ目		良好 茶褐色	P-9
8	土師 台付甕	12.4	ハケ目 ハケ目		やや粗い(金雲母含む) 良好 茶褐色(焼むら)	P-1
9	土師 台付甕	17	ハケ目		やや粗い 良好 赤褐色	P-5
10	土師 台付甕	9.1	ハケ目 ハケ目		蜜 良好 茶褐色	P-11, P-12, P-13, P-14

番　号	器　種	法　量 (cm)	調　整		胎土・焼成・色調	備　考
			器　体　部	底　部		
42　号 住居址 1	土師 坏	(口) (高) (底) 8	(外) (内)暗文	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)褐色	P-4
2	須恵器 蓋	22	ヘラケズリ		密 良好 灰白色	
3	土師 壺	12.4			密(赤色粒子含む) 良好 灰茶褐色	P-6
43　号 住居址 1	土師 埦	13.4			やや粗い(砂粒子含む) 良好 茶褐色(焼むらあり)	P-2
2	土師 甕	9.1		線刻あり	密 良好 茶褐色	P-3
3	土師	4.3	暗文		緻密 良好 赤褐色	P-4
4	土師 坏	12.4			密 良好 暗褐色	
5	土師 手捏	4.3 3.7 5.2	指頭痕 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	P-1
44　号 住居址 1	土師 高坏	9.6			緻密(赤褐色粒子含む) 良好 茶褐色	反転
2	土師 高坏				金雲母を含む 良好 暗褐色	P-14
3	土師 高坏	18	暗文		緻密 良好 茶褐色	P-17
4	土師 埦	14.6	暗文.ヘラケズリ 暗文		粗い 良好 茶褐色	P-24
5	土師 小型壺	3.2	ヘラケズリ ハケ目		緻密(白色粒子を含む) 良好 暗褐色	
6	土師 壺	7.8	ヘラミガキ ハケ目		緻密 良好 黒褐色	P-28
7	土師 手捏	5	ヘラケズリ 指頭痕		白色粒子を含む 良好 褐色(焼むらあり)	P-9
8	土師 小型壺	6.2 8.2 5	ハケ後、ヘラミガキ 指頭痕ハケ目	ハケ目	緻密(白色粒子含む) 良好 茶褐色	P-27
9	土師 小型壺	5	ハケ目		白色粒子含む 良好 暗褐色	P-5
10	土師 台付甕	9	ハケ目 指頭痕		密 良好 茶褐色	P-8
11	土師 台付甕	17.2	ハケ目		白色粒子、金雲母含む 良好 茶褐色	P-26

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
12	土師 台付甕	(口) (高) (底)	(外)ハケ目 (内)指頭痕	(外) (内)	(胎)緻密(金雲母含む) (焼)良好 (色)茶褐色	P-23
45号 住居址 1	土師 坏	10.8			緻密 良好 丹塗り	
2	土師 坏	13			緻密 良好 茶褐色	
3	土師 高坏	12	ヘラケズリ		緻密 良好 丹塗り	P-3
46号 住居 1	土師 坏	14.4 5.8	ヘラケズリ ヘラミガキ		微粒子含む 良好 内、外面赤褐色	P-2
2	土師 壺	20.2	ヘラミガキ		密 良好 黒褐色	
3	土師 壺		ヘラミガキ		密 良好 褐色(焼むら)	P-1
4	土師 小型壺	6.8 8 4.4	ヘラケズリ		やや粗い(赤色粒子含む) 良好 褐色	P-8
5	土師 台付甕	13.2	ハケ目 指頭痕		やや粗い(金雲母含む) 良好 褐色	P-12
6	土師 台付甕	9.9	ヘラケズリ 指頭痕		やや粗い 良好 暗褐色(焼むらあり)	
47号 住居 1	土師 高坏		ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色	
2	土師 小型壺	4.1			やや粗い 良好 茶褐色	P-8
3	土師 甕					
4	土師 手捏	3.5 3.7	指頭痕 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	P-5
5	土師 手捏	3.7			粗い 良好 茶褐色	P-6
6	土師 壺				やや粗い 良好 赤褐色	P-9
7	土師 台付甕	8.7	ヘラケズリ		緻密 良好 赤褐色	

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
48号住居址 1	須恵器 坏	(口)17 (高)3.8 (底)	(外)回転ヘラケズリ (内)ヘラケズリ	(外) (内)	(胎)粗い(砂粒を含む) (焼)良好 (色)灰白色	P-1
2	土師 坏	12.4 4	ヘラミガキ後、ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密(砂粒を含む) 良好 内、外面赤黄褐色	P-6
3	土師 坏	12.6 3.3	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	P-17
4	土師 坏	12.5 3.9	ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	P-2
5	土師 坏	13.2	ヘラケズリ		緻密 良好 (外)暗褐色(内)黒色	
6	土師 坏	13	ヘラケズリ		密 良好 (外)褐色(内)黒色	
7	土師 坏	12.3 3.7	ヘラミガキ後、ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-2
8	土師 坏	14	ヘラケズリ		緻密 良好 (外)暗褐色(内)黒色	
9	土師 坏	17 3.95	ヘラケズリ		良好 黒色	
10	土師 坏	12.9 4.5	ヘラミガキ後、ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密(砂粒を少量含む) 良好 内外面赤褐色	P-8
11	土師 坏	14	ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	
12	土師 埦	13 6.1	ハケ後、ヘラケズリ		緻密(砂粒を少量含む) 良好 暗赤褐色	P-3
13	土師 坏	11.2 4.5 5.7	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	
14	土師 高坏	11.7 7.5 9.3	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 内外面とも黒採	P-7
15	土師 高坏	15.6	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	P-26
16	土師 高坏		ヘラケズリ ヘラケズリ		良好 褐色	P-27
17	土師 坏	17.2	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	
18	土師 鉢	20	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	P-7
19	土師 甕	16 24.8 8.4	ヘラケズリ	ヘラケズリ	やや粗い 良好 暗褐色	P-4

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
20	土師 甕	(口)10.8 (高)14.2 (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)粗い (焼)良好 (色)褐色(焼むらあり)	
21	土師 壺	13.4			密 良好 暗褐色	
22	土師 壺	18	ハケ目		緻密 良好 丹塗り	
23	土師 甕	15.4	ハケ目、ヘラケズリ ハケ目		粗い 良好 褐色	
24	土師 甕	14	ハケ目 ハケ目		密 良好 褐色	P-26
25	土師 甕	19 35.8 3.95	ハケ目	ハケ目	粗い(白色粒子含む) 良好 茶褐色	P-3
26	土師 甕	18.4 33.8 4.7	ハケ目、ヘラケズリ ハケ目	木葉痕	粗い 良好 茶褐色(焼むらあり)	P-25
27	土師 小鉢	12 5.8 7			密 良好	
28	土師 小鉢	12 9.8	ヘラミガキ後、ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密(金雲母含む) 良好 褐色	P-5
29	土師 甕	16.9				
30	土師	9.3		木葉痕	密 良好 赤褐色	P-15
31	土師 手捏	3.8 4.8	指頭痕		やや粗い 良好 赤褐色	P-28
49号 住居址 1	土師 坏	14.3 4.3	ヘラケズリ 暗紋		密(赤色粒子含む) 良好 丹塗り	P-1
2	土師 高坏	13	ヘラケズリ		密(赤色粒子含む) 良好 暗褐色	
3	土師 高坏	13	ヘラケズリ後ナデ		密(赤色粒子含む) 良好 褐色	
4	土師 坏		ヘラケズリ後ナデ		密(赤色粒子含む) 良好 暗褐色	
5	土師 高坏		ヘラケズリ		粗い 良好 褐色	
6	土師 高坏	14.4			密(赤色粒子含む) 良好 褐色	
7	土師 高坏	14.5	ヘラケズリ ヘラミガキ		やや粗い 良好 暗褐色	

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
8	土師 甕	(口)20.7 (高)34.5 (底)5.3	(外)ヘラケズリ (内)ヘラケズリ	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)暗褐色	P-5
9	土師 壺	16	ハケ目 ハケ目		やや粗い(赤色粒子含む) 良好 褐色	
10	土師 壺	16.1			やや粗い 良好 赤褐色	
11	土師 壺	6.8		ハケ目	粗い 良好 褐色(焼むらあり)	
12	土師 甕	24.6			密 良好 赤褐色	反転
13	土師 甑	16.4 12 5.1	ヘラケズリ		密(赤色粒子含む) 良好 褐色(焼むらあり)	
14	土師 円筒	7	ハケ目	指頭痕	やや粗い 良好 褐色	
15	須恵器 甕	26			やや粗い 良好 青灰色	P-10
50号住居址 1	土師 高坏	16			緻密(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	
2	土師	7.5			密 良好 暗褐色	
3	土師 甕	25	ハケ目 ハケ目		密(大粒砂粒子含む) 良好 褐色	
4	土師 甕	7.6			やや粗い(砂粒子含む) 良好 暗褐色	
51号住居址 1	須恵器 坏	10 3.6		ヘラケズリ	緻密 良好 灰白色	P-12
2	土師 坏	11.9 3.4	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	
3	土師 坏	13.4 3.4	横ナデ後、ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-2
4			ヘラケズリ後、ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	P-5
5	土師 坏	12	横ナデ後、ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-4
6	土師 坏		横ナデ後、ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 暗褐色	P-23
7	土師 高坏	10			緻密 良好 茶褐色	P-7

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
8	土師 甕	(口)17 (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)ハケ目	(外) (内)	(胎)砂粒子含む (焼)良好 (色)褐色	P-20
9	土師 甕	19.1	ヘラケズリ ハケ目		砂粒多量に含む 良好 茶褐色	P-19
10	土師 円筒	10.7 51.6 10.5	ヘラケズリ 輪積み	木葉痕	やや粗い(砂粒子含む) 良好 赤褐色	P-14
11	土師 甕	30	ハケ目		砂粒を少量含む 良好 褐色	P-8
12	土師 甕	5.6		木葉痕	砂粒を含む 良好 褐色	P-9
13	土師 甕	9	ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-12
14	土師 甕	7	ヘラケズリ ハケ目		粗い(砂粒を多量に含む) 良好 褐色	P-10
15	土師 小鉢	9.3 9.2	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-22
52号住居址 1	土師 坏	13.6	ヘラケズリ後、ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	P-9
2	土師 鉢	18.7 7	ヘラケズリ後、ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色	P-10
3	土師 甕	24.1	ハケ目 ハケ目		良好 茶褐色	
4	土師 甕	23	ハケ目、ヘラミガキ ハケ目		やや粗い 良好 茶褐色	P-8
5	土師 甑		ヘラミガキ		やや粗い 良好 茶褐色(焼むらあり)	P-17
6	土師 手捏	3.7	指頭痕 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	P-3
7	土師 甕	21.4	横ナデ 横ナデ		やや粗い 良好 茶褐色	P-8
8	土師 甕	7.1			粗い 良好 茶褐色	P-5
54号住居址 1	土師 坏	11 3.4 9.8			緻密 良好 暗茶褐色	P-8
2	土師 坏	12.9 3.5 10.3	ヘラミガキ		緻密 良好 黒色	P-7
3	土師 坏	12.4 4.4 10.8			緻密 良好 黒色	P-7

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
4	土師 坏	(口)11.5 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)密(砂粒を含む) (焼)良好 (色)黄褐色	
5	土師 壺	15.6 20.2 7.9	ハケ目 ハケ目		密(砂粒子含む) 良好 赤褐色	P-3
6	土師 壺	17.2	ハケ目 ハケ目		やや粗い(金雲母含む) 良好 暗褐色	P-1
7	土師 小型壺	10.7 13.1 7.1	ヘラケズリ ハケ目		やや粗い(砂粒子、金雲母含む) 良好 暗褐色	P-2
8	土師 甕	18.8 34.6 4.5	ヘラケズリ ハケ目		密(砂粒子含む) 良好 茶褐色(焼むらあり)	P-1
9	土師 甕	16.6	ハケ目 ハケ目		やや粗い 良好 茶褐色	P-6
55号 住居址 1	土師 坏	11.4	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	
2	土師 高坏		ヘラミガキ ヘラミガキ	ハケ目	緻密 良好 茶褐色	P-1
3	土師 甕	16	ハケ目、ヘラケズリ 横ナデ		やや粗い 良好 茶褐色	P-2
4	土師 甕	6.4		木葉痕 ハケ目	やや粗い 良好 褐色	
5	土師 甑				やや粗い 良好 褐色	P-3
56号 住居址 1	土師 坏	12 3.8	ヘラミガキ 横ナデ	ヘラケズリ	緻密 良好 茶褐色	P-9
2	土師 埦	16	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	
3	土師 小型甕	12.4 14.1 6.5	ヘラケズリ		粗い 良好 茶褐色	P-8
4	土師 甕	19 35.4 5.4	ハケ目 ハケ目	木葉痕	粗い 良好 茶褐色	P-2
5	土師 甕	32.9 4.8	ヘラケズリ ハケ目	木葉痕	粗い 良好 茶褐色	P-1
6	土師 甕	17.2	ハケ目、ヘラケズリ ハケ目		やや粗い 良好 暗褐色	P-5

番　号	器　種	法　量 (cm)	調　整		胎土・焼成・色調	備　考
			器　体　部	底　部		
57　号 住居址 1	土師 坏	(口)12.1 (高)3.75 (底)	(外)ヘラミガキ (内)	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)茶褐色	P-18
2	土師 坏	13.4			密 良好 暗褐色	
3	土師 埦	11.8	ヘラケズリ		密 良好 褐色	P-33
4	土師 埦	10.8	ヘラケズリ		密(赤色粒子含む) 良好 黄褐色	P-19
5	土師 小鉢	14.0			密 良好 褐色	
6	土師 坏	17.2	ヘラケズリ		密 良好 黄褐色	
7	土師 高坏	10.2			密 良好 暗褐色	
8	土師 壺	15.1 22.6 7.8	ハケ目 ハケ目		やや粗い 良好 褐色	P-1
9	土師 甕	17	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い(砂粒子含む) 良好 茶褐色	
58　号 住居址 1	土師 坏	12.5	ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	P-28
2	土師	13	ヘラケズリ ヘラミガキ		密(金雲母含む) 良好 暗褐色	P-30
3	土師 壺		ハケ後、ケズリ不鮮明 ヘラケズリ		やや粗い 良好 褐色	P-2P
4	土師 小型甕	17	ハケ目		やや粗い(石英含む) 良好 茶褐色	
5	土師 甕	18.4	ハケ目		やや粗い(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	
6	土師 小型甕	16.4	ハケ目		やや粗い(赤色粒子含む) 良好 褐色	P-2P
59　号 住居址 1	土師 高坏	8	全面ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-5
2	土師 高坏	15	ヘラミガキ ハケ目		緻密 良好 赤褐色	
3	土師 高坏			ヘラケズリ	緻密 良好 暗褐色	P-8
4	土師 壺	15.4	ヘラケズリ		やや粗い 良好 黄褐色	P-7

番号	器種	法量 (cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
5	土師 台付甕	(口)12.2 (高)15 (底) 7	(外)ハケ目 (内)ヘラケズリ後、ハケ目	(外)指頭痕 (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)褐色	P-1、P-2
6	土師 台付甕	17.2	ハケ目 ハケ目		やや粗い 良好 褐色	P-4
7	土師 台付甕		ハケ目 ハケ目			P-11
8	土師 台付甕	7	ハケ目 ハケ目	指頭痕	やや粗い 良好 褐色	P-1
9	土師 台付甕		ハケ目	指頭痕	やや粗い(金雲母含む) 良好 暗褐色	P-13
10	土師 台付甕	21	ハケ目		やや粗い 良好 褐色	
11	土師 台付甕		ハケ目		密 良好 暗褐色	P-14
12	土師 壺	26			密(金雲母含む) 良好 暗褐色	
13	土師 甑	3.15	ヘラケズリ		良好 褐色	P-12
60号住居址 1	土師 坏	13.1 3.1	ヘラケズリ		密(赤色粒子含む) 良好 褐色	P-4
2	土師 坏	12.8 3.8	ヘラケズリ、ヘラミガキ		やや粗い 良好 (外)暗褐色(内)黒色	
3	土師 坏	12.6 3.3	ヘラケズリ		密(赤色粒子含む) 良好 暗褐色	P-7
4	土師 坏	12.1 3.3	ヘラケズリ後、ヘラミガキ		密 良好 暗褐色	P-9
5	土師 坏	14.4 4	ヘラケズリ		密(赤色粒子含む) 良好 暗褐色	P-6
6	土師 鉢	16.2 7.5	ヘラケズリ		緻密(赤色粒子含む) 良好 暗褐色	P-13
7	土師 甕	18 31	ヘラケズリ ハケ目		粗い 良好 黄褐色	
8	土師 甑	15.2	ハケ目 ハケ目		やや粗い 良好 褐色	P-16
9	土師 甑	10.2	ハケ目		緻密 良好 黄褐色	P-4

番号	器種	法量(cm)	調整 器体部	調整 底部	胎土・焼成・色調	備考
61号住居址 1	土師 坏	(口)12.7 (高)4.1 (底)10.8	(外)ヘラケズリ (内)	(外) (内)	(胎)緻密、赤色粒子含む (焼)良好 (色)黒褐色	P-7
2	土師 坏	12.4 4.0 10.2	ヘラケズリ		緻密 良好 赤褐色	P-11
3	土師 坏	12.8 3.85	ヘラケズリ		蜜、赤色粒子含む 良好 焼むら 赤褐色	P-6
4	土師 坏	12.8 10.6 3.35	ヘラケズリ		緻密 焼むら 良好 茶褐色	カマドP-2
5	土師 坏	12.9 3.8 11.6	ヘラケズリ		緻密 焼むら 良好 茶褐色 内面、黒色	P-12
6	土師 坏	12.7 3.5 10.8	ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	P-1
7	土師 坏	13.7	ヘラケズリ		緻密 良好 黄褐色	P-10
8	土師 坏	13.3 4.6 12.4			緻密 良好 褐色	P-14
9	土師 坏	12.7 9.9			緻密 良好 黄褐色	P-8
10	土師 坏	11.5 4.6	ヘラケズリ		緻密 良好 (内、外)丹塗り	P-15
11	土師 高坏	14.3	ハケメ、ヘラケズリ		緻密 良好 明褐色	P-27
12	土師 高坏	12.0 7.35 9.2	ヘラケズリ、ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 (内、外)黒彩	P-2
13	土師 高坏	11.9	ヘラケズリ		緻密 良好 赤褐色	P-11
14	土師 高坏	15.4	ヘラケズリ、ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 暗褐色	
15	土師 高坏	13.1	ヘラケズリ	輪積み(脚部)	緻密 良好	
16	土師 高坏	18.5	ヘラケズリ		密、赤色粒子含む 焼むら 良好 赤褐色	P-4
17	土師 壺	15.5	ハケメ ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	P-34
18	土師 甑	16.8	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	P-26
19	土師 壺	9.6	ハケメ、ヘラケズリ ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	P-5

番号	器種	法量 (cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
20	土師 甕	(口)17.0 (高)24.2 (底)8.0	(外)ヘラケズリ (内)ヘラケズリ	(外)木葉痕 (内)	(胎)やや粗い、金雲母含む (焼)良好 (色)茶褐色	カマドP-1
21	土師 甕	20.0	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	P-17
22	土師 甑の把手		ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-20
23	土師 甑	13.4 10.1 5.4			やや粗い 良好 赤褐色	P-25
24	土師 甕	19.8	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	P-36
62号 住居址 1	須恵器 埦	7.9	ヘラケズリ		緻密 良好 灰白色	P-31
2	土師 坏	12.4 3.8	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラミガキ ヘラミガキ	良好	P-29
3	土師 坏	12.5 4.0	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラミガキ ヘラミガキ	密 良好 褐色	P-3
4	土師 坏	10.3 5.4	ヘラケズリ		密　赤色粒子含む 良好 褐色	P-41
5	土師 埦	10.3 8.0	ヘラケズリ 横ヘラミガキ		密 良好 褐色(内)黒色	P-39
6	土師	16.4	ヘラケズリ後ヘラミガキ 横ヘラミガキ		やや粗い 良好 褐色	P-18
7	土師 高坏	12.4	ヘラミガキ	(内)ヘラケズリ(脚部)	密 良好 褐色	
8	土師 甕	25.0	ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	P-10.25.16.36
9	土師 甕	21.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 黄褐色	P-13.14
10	土師 甕	21.6	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	P-40
11	土師 甕	12.4			良い 良好 赤褐色	P-11
12	土師 円筒	10.5 51.6 9.1	ヘラケズリ 輪積み		やや粗い 良好 赤褐色	P-33
13	土師 甕	17.8 32.7 8.6	ヘラケズリ	木葉痕	粗い 良好 茶褐色	カマド内
14	土師 甕	9.1	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-12

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
15	土師 甕	(口)18.8 (高) (底)	(外)ヘラケズリ、ハケメ (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)黄褐色	P-5
16	土師 甕	21.1	ハケメ ハケメ		良好	P-17
17	土師 小形甕	6.9 8.2 5.0	ヘラケズリ	ヘラケズリ	密 良好 褐色	
18	土師 埦	21.0 11.8	ヘラケズリ後ヘラミガキ 横ヘラミガキ		密 良好 褐色	
63 号住居址 1	須恵器 坏	12.0			緻密 良好 灰色	P-3
2	須恵器	13.0 3.7			緻密 良好 灰色	P-12
3	土師 坏	13.0 3.6	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	
4	土師 坏	14.0 4.6	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	P-10
5	土師 坏	14.0 4.2	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-10
6	土師 坏	9.6	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	
7	土師 鉢	11.0			密 良好 暗褐色	P-24
8	土師 坏	12.0	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-12
9	土師 高坏	10.4	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-4
10	土師 高坏	16.3	ヘラケズリ		良好 褐色	
11	土師 高坏		ヘラケズリ、ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	P-29
12	土師 高坏	7.3	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-20
13	土師 高坏	13.7	(外)ヘラケズリとハケ目 (脚部の内側)ハケ目		緻密 良好 暗褐色	P-17
14	土師 鉢	15.0			緻密 良好 赤褐色	
15	土師 埦	20.0	ハケメ、ヘラミガキ ハケメ		緻密 良好 暗褐色	

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
16	土師 鉢	(口)21.4 (高)10.3 (底)	(外)ヘラケズリ (内)ハケメ	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)暗褐色	P-34
17	土師 甕	5.8	ヘラケズリ ヘラケズリ	木葉痕		P-23
18	土師 鉢	9.5 5.0	ハケメ、ヘラケズリ	木葉痕	やや粗い 良好 暗褐色	P-1
19	土師 鉢	10.0 9.3 6.8	ヘラケズリ ヘラケズリ	木葉痕	やや粗い 良好 赤褐色	P-9
20	土師	6.0	ヘラケズリ ヘラケズリ	木葉痕	緻密 良好 暗赤褐色	P-11
21	土師 甑	6.0	ヘラケズリ		やや粗い、砂粒含む 良好 暗褐色	P-16
22	土師 甑	4.5	ヘラケズリ ヘラケズリ	木葉痕	良好 褐色	
64号住居址 1	須恵器 坏	10.6 4.75	回転ヘラケズリ		緻密 良好 灰褐色	1/3残 P-5
2	須恵器 坏	11.2 3.35			緻密 良好 青灰色	
3	土師 坏	12.4 3.5	ヘラケズリ		密 良好 黄褐色	P-1
4	土師 坏	11.6 3.8	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	静止糸切り	緻密、赤色粒含む 良好 褐色	P-1
5	土師 坏	11.4 3.85	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色(内)黒色	P-2
6	土師 坏	12.2 3.8	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-8
7	土師 坏	11.4 3.9			やや粗い 良好 暗褐色	P-53
8	土師 坏	11.8 4.0	ヘラケズリ ヘラによる沈線		緻密 良好 黄褐色	P-17
9	土師 坏	13.3 3.5	ヘラケズリ		密、赤色粒含む 良好 黒褐色	P-13
10	土師 坏	12.2 3.7	ヘラケズリ ヘラミガキ		密 良好 暗褐色	
11	土師 坏	14.2	ヘラケズリ		緻密 良好 黒褐色	P-31
12	土師 坏	12.4 3.8	ヘラケズリ		密、赤色粒含む 良好 褐色	P-30

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
13	土師 坏	(口)13.9 (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)	(外) (内)	(胎)密、赤色粒含む (焼)良好 (色)褐色	
14	土師 坏	11.6 3.4	ヘラミガキ		緻密 良好 黒色	
15	土師 坏	14.0 3.7	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色(内)黒色	P-33
16	土師 坏	13.8	ヘラケズリ		密 良好 褐色	P-41
17	土師 高坏	17.4	ヘラケズリ、ヘラミガキ		密 良好 黄褐色(内)黒色	P-38
18	土師 埦	9.4 6.85	ヘラケズリ		密、赤色粒含む 良好 黄褐色	P-34
19	土師 埦	12.2	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密、赤色粒含む 良好 黒色	P-10
20	土師 埦	12.0			やや粗い 良好 黄褐色	P-36
21	土師 高坏	12.6	ヘラケズリ	ヘラケズリ (脚部の内面)	密 良好 丹塗り	P-34
22	土師 高坏	9.0	ヘラケズリ	ヘラケズリ (脚部の内面)	密 良好 茶褐色	P-18
23	須恵器 甕		回転ヘラケズリ 櫛歯状工具による押引文		緻密 良好	P-3
24	土師 甕	10.6	ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色	P-49
25	土師 甕	15.6			やや粗い 良好 赤褐色	P-48
26	土師 甕	10.8 13.9 6.1	ハケメ、ヘラケズリ ヘラケズリ	木葉痕	やや粗い、小石含む 良好 褐色	P-26
27	土師 甕	20.0 27.1 8.7		木葉痕	やや粗い、焼きむら 良好 褐色	P-1
28	土師 甕	19.0	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	P-23
29	土師 甕	8.4	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 褐色	P-21
30	土師 甕	19.0	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好、焼きむら 茶褐色	P-46
31	土師 甑	18.0			やや粗い 良好 黄褐色	P-45

番　号	器　種	法　量 (cm)	調　整 器　体　部	調　整 底　部	胎土・焼成・色調	備　考
32	土師 甑	(口)23.0 (高)27.4 (底)10.4	(外)ヘラケズリ後ナデ (内)ヘラケズリ後ナデ	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)褐色	P-1
33	土師 円筒	9.6 45.0 10.6	ヘラケズリ 輪積み	木葉痕	やや粗い 良好 茶褐色	P-3
65 号 **住居址** 1	土師 埦	12.9 8.3	ヘラミガキ		緻密　焼きむら 良好 茶褐色	P-3
2	土師 甕	19.4	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	P-4
3	土師 甕	8.3	輪積み	木葉痕	やや粗い 良好 黄褐色	P-2
4	土師	5.0	ハケメ		粗い 良好 黄褐色	
66 号 **住居址** 1	土師 鉢	19.4	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色	P-4
2	土師 高坏	16.0	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色	
3	土師 高坏	10.0			緻密 良好 黄褐色	フク土
4	土師 壺	11.8			緻密 良好 褐色	P-7
5	土師 壺	11.2			緻密 良好 黄褐色	フク土
6	土師 手捏	3.8	ヘラケズリ		密 良好 黄褐色	
7	土師 台付甕	13.8	ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	
8	土師 台付甕	10.5	ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	
9	土師 台付甕	7.9	ハケメ		やや粗い 良好 褐色	P-2
10	土師 台付甕	17.8	ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	フク土
68 号 **住居址** 1	土師 坏	14.0		暗文	緻密 良好 暗褐色(内)黒色	フク土
2	土師 台付甕	13.2			密 良好 暗褐色	フク土
3	土師 器台	9.0	ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	フク土

番　号	器　種	法　量 (cm)	調　整		胎土・焼成・色調	備　考
			器　体　部	底　部		
4	土師 坏	(口) (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)赤褐色	フク土
5	土師 壺				密 良好 赤褐色	
6	土師				緻密 良好 赤褐色(外)丹塗り(内)黒色	
7	土師				密 良好 暗褐色	フク土
69 号 住居址 1	土師 台付甕	11.2	ハケメ ヘラケズリ		密、金雲母含む 良好 暗褐色	P-1
2	土師 壺	19.0	ハケメ		やや粗い 良好 褐色	焼きむらP-3
70 号 住居址 1	土師 器台		ヘラケズリ		やや粗い 良好 褐色	
2	土師 壺	22.6	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 赤褐色	
3	土師 壺	16.4	ヘラミガキ ヘラミガキ		やや粗い 良好 赤褐色	
4	土師 壺	11.3	ヘラケズリ		やや粗い、焼きむら 良好 暗褐色	
5	土師 台付甕				やや粗い 良好 褐色	
6	土師 台付甕	15.6	ハケメ		密 良好 黒褐色	
7	土師 台付甕	6.7	ハケメ		密 良好 褐色	
71 号 住居址 1	須恵器 坏	12.4 3.5			緻密 良好 灰白色	P-2
2	土師 坏	13.8			密 良好 暗褐色	フク土
3	土師 坏	11.0 2.8	ヘラケズリ		密 良好、焼きむら 褐色	フク土
4	土師 坏	12.0			緻密 良好 赤褐色	フク土
5	土師 高坏	13.8	ヘラミガキ		緻密 良好 黒褐色	
6	土師 高坏	6.4	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	フク土

番号	器種	法量 (cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
72号 住居址 1	土師 坏	(口)12.0 (高)3.9 (底)	(外)ヘラケズリ (内)ヘラミガキ	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)暗褐色	P-3
2	土師 坏	12.4 3.7	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-7
3	土師 坏	13.0 3.5	ヘラケズリ		密 良好 黒褐色	P-6
4	土師 坏	12.5 4.1	ヘラケズリ		密、赤色粒含む 良好 褐色	P-10
5	土師 坏	12.0 3.4			緻密 良好 黒褐色	P-12
6	土師 埦	11.2 6.1	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色(内)黒色	
7	土師 鉢	20.0	ヘラケズリ		緻密 良好，スス付着 黄褐色	P-1
8	土師 甕	8.1	ヘラミガキ	木葉痕	密 良好 暗褐色	P-2
9	土師 甕					P-9
10	土師 甕	15.8 14.8 8.1	ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	P-13
11	土師 甕	12.6	ハケメ		粗い 良好 赤褐色	P-4,8
73号 住居址 1	土師 坏	11.7 4.8	ヘラケズリ		緻密 良好 黄褐色	P-7
2	土師 坏	11.8			緻密 良好 暗褐色	P -11
3	土師 坏	11.9	ヘラミガキ,ヘラケズリ		緻密 良好 黄褐色	
4	土師 高坏	13.5 15.3 12.2	ヘラミガキ,ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	密 良好 暗褐色	P-1
5	土師 甕	19.2	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 茶褐色	P-8
6	土師 甕	19.1 31.7 7.0	ハケメ ハケメ		粗い 良好 茶褐色	P-4
7	土師 甕	7.5	ハケメ	木葉痕の上に ヘラケズリ	粗い 良好 暗褐色	
8	土師 甕	8.0	ハケメ,ヘラケズリ ハケメ	木葉痕	粗い 良好 茶褐色	P-3

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
74号住居址 1	須恵器 蓋	(口)13.5 (高)4.0 (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)灰褐色	P-13
2	須恵器 坏	11.0 3.75			緻密 良好 灰褐色 胴部外面に½程自然釉	P-15
3	土師 坏	12.5 4.0	ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 (内外)黒彩？	P-9
4	土師 坏	12.5 3.5	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-1
5	土師 坏	10.1 3.3	ヘラケズリ		緻密 良好 黒色	P-16
6	土師 坏	12.8 3.4	ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	密 良好 黒褐色	P-14
7	土師 坏	13.0	ヘラケズリ		緻密 良好 黒色	
8	土師 坏	11.9			良好 褐色	
9	土師 坏	12.0	ヘラケズリ		緻密 良好 黒褐色	
10	土師 坏	12.0	ヘラケズリ		緻密 良好 黒褐色	
11	土師 坏	11.3 4.6	ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 暗褐色	P-10
12	土師 高坏	15.0	ヘラケズリ		緻密 良好 黒褐色	
13	土師 坏	13.4	ヘラケズリ		密，赤色粒含む 良好 暗褐色(内面)黒色	
14	土師 高坏	13.0			褐色	四方二段窓あり
15	土師 手涅	2.4	ヘラケズリ		密 良好 褐色	
16	土師 甕	21.0	ヘラケズリ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	フク土
17	土師 甕	23.7	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 褐色	フク土
18	土師 甕	23.0	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-2
19	土師 甕	7.5	ハケメ	木葉痕	やや粗い 良好 茶褐色	

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
20	土師 甕	(口)18.0 (高)31.6 (底)7.2	(外)ハケメ (内)ハケメ	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)褐色	P-6
21	土師 甕	18.2 34.8 8.4	ハケメ ハケメ	木葉痕	やや粗い，砂粒含む 良好 褐色	P-11
22	土師 甕	13.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色	フク土
75号住居址 1	土師 坏	11.6 4.0	ヘラケズリ,ヘラミガキ	ヘラケズリ	密 良好 褐色	P-12
2	土師 高坏	15.1	ヘラケズリ	ヘラケズリ	密 良好 暗褐色	P-6
3	土師 高坏		ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ	密 良好 暗褐色	P-30
4	土師 高坏		ヘラケズリ	ヘラケズリ	やや粗い,赤色粒含む 良好 褐色	P-22
5	土師 甕	25.2 24.0 10.6	ハケメ,ヘラケズリ ハケメ		密 良好 褐色	P-5
6	土師 甕	12.2	ヘラケズリ後ナデ ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-27
7	土師 甕	 7.2	 ハケメ		粗い 良好 褐色	P-4
8	土師 甕	 7.2	ヘラケズリ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	P-9
9	土師 甕	 5.0	ヘラケズリ ハケメ	木葉痕	やや粗い 良好 褐色	カマド
10	土師 甕	19.0			密，赤色粒含む 良好 赤褐色	P-2
11	土師 甕	19.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 褐色	P-4
12	土師 甕	 11.0	ヘラケズリ ハケメ		やや粗い 良好 褐色	P-21
13	土師 甕	13.3 11.1 3.5			やや粗い，砂粒含む 良好 赤褐色	P-24
14	土師 甕	 8.8	ハケメ,ヘラケズリ ハケメ		やや粗い 良好 褐色	P-7
15	土師 甕	 10.5			やや粗い,赤色粒含む 良好 褐色	P-29
16	土師 鉢	14.0 14.0 8.3			粗い 良好 褐色	P-10

番　号	器　種	法　量 (cm)	調　整		胎土・焼成・色調	備　考
			器　体　部	底　部		
76　号 住居址 1	須恵器 坏	(口)13.2 (高)4.0 (底)6.8	(外) (内)	(外)回転ヘラケズリ (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)青灰色	P-11
2	須恵器 坏	9.0 4.4		回転ヘラケズリ	密 良好 青灰色	P-2
3	土師 坏	13.8			密，赤色粒含む 良好 (内，外)丹塗り	
4	土師 坏	13.0 4.4			密 良好 (内，外)丹塗り	P-2
5	土師 坏	13.5	ヘラケズリ		密 良好 褐色	P-9
6	土師 坏		ヘラケズリ		密 良好 黒褐色	
7	土師 甕	19.8	ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	P-9
8	土師 甕				密，砂粒含む 良好 赤褐色	P-8
9	土師 甕	7.4	ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-83
10	土師 甕	9.4			粗い 良好 明褐色	P-8
11	土師 甕	15.3	ハケメ,ヘラケズリ ハケメ,ヘラケズリ		やや粗い 良好 黄褐色	P-8
77　号 住居址 1	土師 高坏	9.4			緻密 良好 赤褐色	
2	土師 高坏	12.8	ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	
3	土師 甕	16.0	ハケメ ヘラミガキ		密 良好 赤褐色	
4	土師 台付甕	12.4	ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	
5	土師 台付甕	14.0			やや粗い 良好 暗褐色	
78　号 住居址 1	須恵器	15.0			緻密 良好 青灰色	P-8
2	土師 坏	12.0 4.1	ヘラケズリ		密 良好 (内外面)黒色	P　12
3	土師 坏	11.6 4.8	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-15

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
4	土師 高坏	(口)13.1 (高)15.5 (底)12.0	(外)ヘラケズリ,ヘラミガキ (内)	(外)ハケメ (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)(内外)丹塗り	P-9
5	土師 高坏	9.4	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 褐色	P-9
6	土師 高坏	10.6	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 黄褐色	P-16
7	土師 高坏	9.8	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 赤褐色	
8	土師 高坏	8.0	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 暗褐色	P-3
9	土師 甕	13.0 17.5 8.0	ハケメ,ヘラケズリ 輪積み		やや粗い 良好 赤褐色	P-19
10	土師 甕	20.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-13
11	土師 甕	18.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 褐色	P-10
12	土師 甕		ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色	P-1
13	土師 甕	16.0 29.3 8.5	ヘラケズリ,ハケメ ハケメ		密 良好 赤褐色	P-20
14	土師 甕	7.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色	P-4
15	土師 甕	6.5	ハケメ,ヘラケズリ	木葉痕	やや粗い 良好 赤褐色	P-6
16	土師 甕	11.0	ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P21
17	土師 甕	22.0	ヘラケズリ ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	
18	土師 甕	23.0			やや粗い 良好 暗褐色	P-20
19	土師 甕	9.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-4
20	土師 甕	7.8	ヘラケズリ		粗い 良好 暗褐色(内)黒色	P-6
21	土師 甕	23.0 31.0 6.0	ハケメ,ヘラケズリ ハケメ	木葉痕	やや粗い 良好 赤褐色	P-3
22	土師 甑	24.8 27.0 10.5	ハケメ,ヘラケズリ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
23	土師 円筒	(口) (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)輪積み	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)赤褐色	
79号 住居址 1	土師 坏	13.0			緻密 良好 (内外)黒色	
2	土師 坏	9.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 (内外)黒色	
3	土師 坏	13.6			密 良好 (内外)黒色	
4	土師 坏	16.2	ヘラケズリ		緻密 良好 (内外)黒色	
5	土師 蓋	14.4	ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	
6	土師 坏	14.4	ヘラケズリ		緻密 良好 (内外)黒色	
7	土師 甕	20.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	
80号 住居址 1	土師 坏	12.2 4.4	ヘラケズリ		緻密 良好 赤褐色(内)丹塗り	P-21
2	土師 坏	11.5 3.9	ヘラケズリ		緻密 良好 (内外)黒色	P-22
3	土師 坏	13.6 3.9	ヘラケズリ		緻密赤色粒含む 良好 (内外)黒色	P-21
4	土師 坏	13.5 11.1	ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラミガキ	緻密 良好 (内外)黒色	P-8
5	土師 坏	12.0 4.1	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	緻密 良好 (内外)黒色	P-1
6	土師 坏	13.3	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラミガキ	密,赤色粒含む 良好 黄褐色	
7	土師 坏	12.3	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 明褐色	
8	土師 坏	11.2	ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	P-29
9	土師 坏	11.8 4.05	ヘラミガキ		密 良好 黄褐色	P-12
10	土師 坏	12.0 4.1	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラミガキ	緻密 良好 黄褐色	P-1
11	土師 台付埦	8.5 11.35 9.6	ヘラケズリ ハケメ,ヘラケズリ,ヘラミガキ	ヘラケズリ,ハケメ ヘラケズリ, ヘラミガキ	緻密 良好 (内外)黒色	P-25

番　号	器　種	法　量 (cm)	調　整		胎土・焼成・色調	備　考
			器　体　部	底　部		
12	土師 甕	(口)12.1 (高) (底)	(外)ハケメ (内)ヘラケズリ	(外) (内)	(胎)粗い,砂粒含む (焼)良好 (色)黄褐色	P-20
13	土師 甕	5.0	ハケメ ハケメ	木葉痕	やや粗い 良好 黄褐色	フク土
14	土師 甕	25.4	ヘラケズリ ヘラケズリ		密，砂粒含む 良好 赤褐色	フク土
15	土師 甕	20.5	ヘラケズリ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	P-19
16	土師 甕	16.2	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	P-14
17	土師 甕	15.8	ヘラケズリ		緻密，砂粒含む 良好 黄褐色	P-17
18	土師 甕	16.2	ヘラケズリ ハケメ		密，砂粒小石含む 良好 赤褐色	
19	土師 甕	17.9	ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-15
20	土師 甕	5.3	ヘラケズリ	木葉痕	やや粗い 良好 赤褐色	
21	土師 甕	23.8	ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	P-29
22	土師 甑		ヘラケズリ		やや粗い 良好 黄褐色	P-11
81　号 住居址 1	土師 坏	13.0 4.3	ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	P-1
2	土師 坏	12.0	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 (内外)黒色	フク土
3	土師 坏	13.0			緻密 良好 (内外)黒色	
4	土師 坏	14.2			緻密 良好、焼きむら (内外)黄褐色	フク土
5	土師 坏	12.0	ヘラケズリ		良好	
6	土師 高坏	10.0	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 (内外)黒彩	
7	土師 高坏	15.0	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 (内外)丹塗り	
8	土師 埦	18.0 7.4	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	P-9

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
9	土師 高坏	(口)15.0 (高)17.9 (底)13.6	(外)ヘラケズリ,ハケメ (内)	(外)ヘラケズリ (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)(内外)丹塗り	
10	土師 高坏	16.8 13.2 12.7	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 暗褐色	フク土
11	土師 甕	20.6 36.1 6.8	ヘラケズリ		粗い、焼土付着 良好 茶褐色	
12	土師 甕	21.2 32.3 8.5	ハケメ ハケメ	木葉痕	良い 良好 茶褐色	P-15
13	土師 甕	20.1			粗い 良好 茶褐色	カマド
14	土師 甕	6.4	ヘラケズリ	木葉痕	粗い 良好、焼土付着 茶褐色	P-5
15	土師 甕	6.2	ヘラケズリ ヘラケズリ	ヘラケズリ	やや粗い 良好 茶褐色	P-1
16	土師 甕	9.4	ヘラケズリ		粗い 良好 暗褐色	
17	須恵器 坏	5.8			緻密 良好 灰色	P-7
18	土師 円筒	9.8	ヘラケズリ,輪積み		粗い 良好 茶褐色	
82号住居址 1	須恵器 坏	9.4 3.9	ヘラケズリ		密 良好 灰白色	P-22
2	土師 坏	12.8	ヘラケズリ		密 良好 褐色	
3	土師 坏	14.1			密 良好 (内外)黒色	
4	土師 坏	15.7 5.9	ヘラケズリ ヘラミガキ	指頭痕	密 良好 (内外)黒色	P-20
5	土師 甕	15.0	ハケメ ハケメ		密 良好 褐色	
6	土師 甕	16.0	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	
7	土師 甕	21.6	ヘラケズリ		密,赤色粒含む 良好 褐色	
8	土師 甕	12.4	ヘラケズリ		密 良好 (内外)黒色	
9	土師 甑	18.4 13.8 5.2	ヘラケズリ 指頭痕		やや粗い 良好 (内外)黒色	P-21

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
10	土師 甑	(口) (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い,赤色粒含む (焼)良好 (色)褐色	
11	土師 甑	5.4			緻密 良好 褐色	
12	土師 甕	11.7 7.7 6.6	ヘラケズリ ヘラナデ		やや粗い 良好 褐色	P-4
13	須恵器 壺	26.0	ハケメ		緻密 良好 灰白色	P-12
83 号 住居址 1	須恵器 坏	10.3 4.0			緻密 良好 灰褐色	P-3
2	土師 坏	11.8 3.7 10.5		ヘラケズリ	緻密 良好 黒褐色	P-1
3	土師 坏	11.9 3.8	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 (内外)黒色	P-1
4	土師 坏	10.8 3.8	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 (内外)黒色	P-12
5	土師 坏	11.8	ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	
6	土師 坏	10.4	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-5
7	土師 坏	13.4	ヘラケズリ		緻密 良好 黄褐色	
8	土師 坏	12.6	ヘラミガキ、ヘラケズリ		緻密 良好 (内外)黒色	
9	土師 坏	13.2	ヘラミガキ、ヘラケズリ		緻密 良好 (内外)黒色	
10	土師 坏	9.2			緻密 良好 黄褐色	
11	土師 坏	9.2			密 良好 暗褐色(内)黒色	
12	土師 坏	9.8	ヘラミガキ		緻密 良好 (内外)黒色	
13	土師 坏	10.2			緻密 良好 黄褐色、焼きむら	
14	土師 高坏	25.8	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 (内外)丹塗り	P-9
15	土師 高坏	19.4	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色、焼きむら	P-17

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
16	土師 高坏	(口) (高) (底) 12.4	(外)ヘラケズリ (内)	(外)ヘラケズリ (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)暗褐色	
17	土師 高坏		ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 (内外)丹塗り	P-11
18	土師 高坏	15.3	ヘラケズリ	ヘラケズリ		
19	土師 埦	12.6	ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	
20	須恵器 壺	17.6			緻密 良好 灰色	
21	土師 甕	8.8			やや粗い 良好 暗褐色	
22	土師 甕	20.1			粗い 良好 茶褐色	P-10
23	土師 甕	12.2	ハケメ ハケメ		粗い 良好 茶褐色	
24	土師 甕	5.8	ハケメ ハケメ	木葉痕	やや粗い 良好 茶褐色	P-18
25	土師 円筒	5.6	ハケメ、指頭痕 指頭痕、輪積み		粗い 良好 茶褐色	P-4
26	土師 小鉢	9.8 5.1 6.5		木葉痕	やや粗い 良好 暗褐色	
27	紡錘車	2.8 2.2 4.2			やや粗い 良好 茶褐色	
84号 住居址 1	土師 高坏		ヘラケズリ、ヘラミガキ	ヘラケズリ	密 良好 茶褐色	
2	土師 壺		ハケメ ヘラミガキ、ハケメ		緻密 良好 褐色	P-6
3	土師 甕	14.0			緻密 良好 丹塗り	P-4
4	土師 甕	14.4	ハケメ ハケメ		緻密 良好 暗褐色	P-5
5	土師 甕	8.6 8.35 4.4	ハケメ ハケメ		密 良好 暗褐色	P-20
6	土師 甕	15.0	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色	P-9
7	土師 甕	16.4	ハケメ ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-2

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
8	土師 甕	(口)14.0 (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)暗褐色	
9	土師 甕	22.0	ハケメ ハケメ		緻密 良好 暗褐色	P-18
10	土師 甕	15.9	ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	P-21
11	土師 甕	20.0	ハケメ ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-24
12	土師 台付甕の脚部	10.0		ヘラケズリ	粗い 良好 赤褐色	P-16
13	土師 台付甕の脚部	7.6	ヘラケズリ		粗い 良好 暗褐色	P-8
14	土師 台付甕	14.0	ハケメ		密、金雲母含む 良好 暗褐色	P-20
15	土師 台付甕	19.0	ハケメ		密 良好 暗褐色	P-10
16	土師 甕	7.0	ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	P-21
85号住居址 1	特殊器		ヘラミガキ		密 良好 褐色	フク土
2	土師 高坏	13.0	ヘラケズリ、ヘラミガキ		緻密、3孔 良好 褐色	P-8
3	土師	6.3			密 良好 褐色	P-7
4	土師 台付甕	7.0	ハケメ	ヘラケズリ	密 良好 褐色	
5	高台台坏				やや密 良好 褐色	
6	土師 台付甕	16.8	ハケメ 指頭痕		やや粗い 良好 褐色	
86号住居址 1	須恵器 蓋	14.4 4.0			緻密 良好 灰茶褐色	
2	土師 坏	11.4	ヘラケズリ		密 良好 (内外)丹塗り	
3	土師 坏	12.9	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 (内外)黒色	
4	土師 高坏	12.7	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	P-12

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
5	土師 坏	(口)15.3 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)密 (焼) (色)(内)黒色	
6	土師 埦	16.6			緻密 良好 赤褐色	
7	土師 埦	9.1 8.9	ヘラケズリ		密、赤色粒含む 良好 明赤褐色	P-8
8	土師 甕	16.1	ハケメ ハケメ		やや粗い、砂粒含む 良好 赤褐色	
9	土師 甕	17.8	ヘラケズリ		やや粗い、砂粒含む 良好 赤褐色	P-3
10	土師 甕	6.8	ヘラケズリ ハケメ		密、砂粒含む 良好 黄褐色	P-1
11	土師 甕	8.4			やや粗い、砂粒含む 良好 赤褐色	P-2
12	土師 鉢	17.2	ハケメ		やや粗い、砂粒含む 良好、焼きむら 赤褐色	
13	土師 甕	9.4			やや粗い 良好 赤褐色	
14	土師 甕	7.2		木葉痕	やや粗い、砂粒含む 良好 赤褐色	P-13
87号住居址 1	土師 坏	13.8 3.8	ヘラケズリ ヘラミガキ		密 良好 (内外面)黒色	P-1
2	土師 坏	15.3 6.5	ヘラケズリ		密 良好 褐色	3/4片P-2
3	土師 甕	20.3 32.8 7.35	ヘラケズリ ヘラケズリ		粗い 良好 褐色	P-1
88号住居址 1	土師 坏	16.6 5.15	ヘラケズリ ヘラミガキ、ハケメ	ヘラケズリ ヘラミガキ	緻密 良好 赤褐色	P-4
2	土師 高坏	16.0	ヘラミガキ、ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 赤褐色	P-2
3	土師 坏	12.0 4.8	ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-8
4	土師 壺	3.6	ヘラミガキ ヘラケズリ、ハケメ、ヘラミガキ	ヘラミガキ ヘラミガキ	緻密、白色粒含む 良好 黄褐色	P-8
5	土師	16.0	ヘラミガキ		緻密、金雲母含む 良好 赤褐色	P-1
6	土師 壺	8.0	ヘラミガキ、ヘラケズリ ハケメ		粗い、雲母、白色粒含む やや不良 赤褐色	P-6

番　号	器　種	法　量 (cm)	調　整		胎土・焼成・色調	備　考
			器　体　部	底　部		
7	土師 台付甕	(口)14.0 (高) (底)	(外)ハケメ (内)ヘラケズリ、ハケメ	(外) (内)	(胎)やや粗い、金雲母含む (焼)良好 (色)黒褐色	P-10
8	土師 台付甕	14.9 29.7 9.6	ハケメ、指頭痕 ハケメ	ヘラケズリ	やや粗い 良好 黒褐色	P-7
89 号 住居址 1	土師 高坏	15.4	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-2
2	土師 高坏	21.6	ヘラミガキ ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	P-6
3	土師 高坏				密 良好 茶褐色	P-3
4	土師 台付甕	14.2	ハケメ ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-5
5	土師 台付甕	14.8	ハケメ ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	P-3,5
6	土師 台付甕	12.2	ハケメ ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色	
7	土師 台付甕		ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	フク土
90 号 住居址 1	土師 高坏				密 良好 暗赤褐色	土壙2
2	土師 台付埦	15.0 7.4	ヘラケズリ		緻密 良好 暗赤褐色	土壙1
91 号 住居址 1	土師 坏	12.6 4.0	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	
2	土師	20.4	暗文 暗文		やや粗い 良好 赤褐色	
3	土師	4.4	暗文 暗文		密 良好 焼きむら 褐色	
4	土師 甕	16.0	ハケメ		密 良好 暗褐色	
5	土師 台付甕	12.0	ハケメ		やや粗い、金雲母含む 良好 暗褐色	
6	土師 台付甕	10.0	ヘラケズリ、ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
92号住居址 1	須恵器 坏	(口)8.6 (高) (底)3.5	(外) (内)	(外)線刻 (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)青灰色	P-29
2	土師 坏	12.6 3.0	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-11
3	土師 坏	12.4 3.7	ヘラケズリ		密 良好 褐色	
4	土師 坏	14.0	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	フク土
5	土師 坏	12.5 3.7	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	密 良好 (内外)黒色	P-16
6	土師 坏	12.6 3.7	ヘラケズリ		緻密 良好 (内外)黒色	P-27
7	土師 坏	12.0	ヘラミガキ			
8	土師 坏	16.3 6.4	ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	密 良好 黄褐色(内)焼きむらあり	P-15
9	土師 高坏	14.5	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密、雲母含む 良好 赤褐色	P-28
10	土師 高坏	12.0	ヘラケズリ	ヘラケズリ、ハケメ (脚部内面)	緻密 良好 赤褐色	P-21
11	土師 高坏	14.6	ヘラケズリ ヘラミガキ	指頭かき上げ ヘラミガキ	密 良好 茶褐色	脚部四方に口穴 P-6
12	土師 埦	8.8 5.15	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	密 良好 (内)黒彩	内面にコールタール状のものが付着 P-31
13	土師 埦	11.2 6.1	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	密 良好 赤褐色(内)黒褐色	P-20
14	土師 鉢	13.4	ヘラケズリ		緻密 良好 赤褐色	P-18
15	土師	11.0			やや粗い 良好 赤褐色	
16	土師 甕	12.6 12.5 10.0			粗い 良好 褐色	P-25
17	土師 高台付鉢	9.2			やや粗い 良好 赤褐色	P-4
18	土師 甕	17.5 32.0 5.9	ハケメ、ヘラケズリ ハケメ	木葉痕	やや粗い、雲母、白色粒含む 良好 赤褐色	P-12
19	土師 甕	20.0 32.3 7.15	ヘラケズリ		密 良好 暗赤褐色	P-7

番　号	器　種	法　量 (cm)	調　整		胎土・焼成・色調	備　考
			器　体　部	底　部		
20	土師 甕	(口)12.2 (高) (底)	(外) (内)ヘラケズリ	(外) (内)	(胎)粗い (焼)やや不良 (色)赤褐色	P-25
21	土師 甕	20.4	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-7
22	土師 鉢	13.0			粗い 良好 暗赤褐色	P-17
23	土師 甕	20.0	ヘラケズリ		粗い 良好 赤褐色	P-10
24	土師 甕	8.4	ヘラケズリ		密 良好 褐色	P-19
25	土師 甕	12.8 10.6 5.8	ヘラケズリ、指頭痕	木葉痕	粗い 良好 赤褐色(内)黒褐色	P-30
26	土師 甕	22.0	ヘラケズリ、輪積み		粗い 良好 赤褐色	フク土
93　号 住居址 1	須恵器 蓋	13.8 3.95			緻密 良好 灰色	P-1
2	須恵器 蓋	13.6	線釉あり		緻密 良好 青灰色	
3	土師 坏	13.0 3.4			緻密 良好 (内外)丹塗り	P-21-B
4	土師 坏	13.0	ヘラケズリ		密、赤色粒含む 良好 (内外)丹塗り	P-14
5	土師 坏	13.2 3.7			密 良好 暗褐色	
6	土師 坏	13.7 3.6	ヘラケズリ		密、赤色粒含む 良好 黄褐色	P-10
7	土師 坏	12.8 3.6	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラケズリ、ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-17
8	土師 坏	13.6 3.7	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 黒褐色	P-16
9	土師 坏	12.1	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-13
10	土師 坏	14.0 3.7	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 黒褐色	P-2
11	土師 坏	13.6 3.9			やや粗い 良好 (内外)黒褐色	P-9
12	土師 坏	14.2	ヘラミガキ ヘラミガキ		密、赤色粒含む 良好 (内外)黒褐色	

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
13	土師 坏	(口)14.2 (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)ヘラミガキ	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)丹塗り(内)黒色	フク土、南壁土壙
14	土師 坏	13.6	ヘラケズリ		密、赤色粒含む 良好 暗褐色、(内外)黒彩	
15	土師 坏	13.8	ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 (内外)黒彩	P-15
16	土師 高坏	19.3 19.6 17.0	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密、白色粒含む 良好 黄褐色	P-20
17	土師 高坏	12.5 9.5 11.0	ヘラケズリ	ハケメ	緻密、雲母含む 良好 (内外)黒彩	P-4
18	土師 高坏	13.5 10.2 11.0	ヘラケズリ	ヘラケズリ	密、赤色粒含む 良好 (内外)丹塗り	P-21-A 南壁土壙
19	土師 鉢	16.0 7.0	ヘラケズリ		密、赤色粒含む 良好 暗褐色(内外)黒色	P-8
20	土師 鉢	19.0	ヘラケズリ		密、赤色粒含む 良好 暗褐色	P-8
21	土師 甕	8.5	ハケメ ハケメ		やや粗い、赤色粒含む 良好 褐色	P-21-C
22	土師 甕	16.0 13.7	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	
23	土師 甑	17.6 14.3 6.5	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 茶褐色	P-21
94号 住居址 1	土師 甑	11.0	ヘラケズリ ヘラケズリ、ハケメ		緻密 良好 褐色	P-4
95号 住居址 1	土師		ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラケズリ、ヘラナデ		良好	P-2
2	土師 甕	15.4	ヘラケズリ		良好	
3	土師 台付甕	10.8	ハケメ ヘラケズリ		良好	
4	土師 台付甕		ハケメ ヘラケズリ		良好	P-1

番　号	器　種	法　量 (cm)	調　整		胎土・焼成・色調	備　考
			器　体　部	底　部		
96　号 住居址 1	土師 高坏	(口)12.0 (高) (底)	(外) (内)ヘラミガキ	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)褐色	P-3
2	土師 壺	25.7	ヘラミガキ		密 良好 (内外)丹塗り	P-1
3	土師 高坏			ヘラケズリ、 ハケメ	密 良好 丹塗り	P-3
4	土師 甕	13.8	ハケメ ヘラケズリ、ハケメ		密 良好 褐色	
5	土師 坩？		ハケメ ヘラケズリ		やや粗い 良好 褐色	P-2
6	土師 台付甕	12.3	ハケメ ヘラケズリ		密 良好 褐色	P-1
7	土師 甕	14.5			密 良好 暗褐色	
97　号 住居址 1	土師 高坏	11.7	ヘラケズリ 暗文		やや粗い、赤色粒含む 良好 褐色	P-1
2	土師 坏	12.4	ヘラケズリ 暗文		密 良好 赤褐色	
3	土師 甕	21.0	ヘラケズリ、ハケメ ヘラミガキ		密 良好 褐色	P-4
4	土師 甕	8.6	ヘラケズリ、ハケメ ハケメ		密、赤色粒含む 良好 褐色	P-6
5	土師 台付甕	14.9 29.7 10.8	ハケメ ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-5
98　号 住居址 1	土師 坏	12.0 4.1	ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	緻密 良好 明褐色	P-12
2	土師 坏	13.1 4.5	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	密、石英含む 良好 黒褐色	P-15
3	土師 坏	12.6 4.7	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	緻密 良好 暗褐色	P-5
4	土師 坏	12.4 3.9	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	緻密 良好 (内外面)黒色	P-2
5	土師 坏	11.5 4.05	ヘラケズリ、ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密、焼きむら 良好 (内外面)黒色	
6	土師 坏	13.4	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 (内外面)黒色	
7	土師 坏	12.3	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 (内外面)黒色	

番号	器種	法量 (cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
8	土師 坏	(口)12.0 (高) (底)	(外)ヘラミガキ (内)ヘラミガキ	(外) (内)	(胎)緻密、赤色粒含む (焼)良好 (色)内外面黒色	
9	土師 坏	12.75 4.8	ヘラケズリ		密、砂粒含む 良好 内外面黒色、焼きむら	P-1
10	土師 坏	12.6 4.3	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	緻密 良好 赤褐色、(内)黒褐色	P-7
11	土師 坏	10.2 4.4	ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 黄褐色	P-4
12	土師 鉢	15.6 6.5	ヘラケズリ、ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 (内外面)黒色	P-10
13	土師 鉢	18.2 8.8	ヘラケズリ、ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 明褐色(内)暗褐色	P-6
14	土師 埦	11.15 6.6	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラミガキ	緻密 良好 茶褐色	P-3
15	土師 高坏	14.2 17.1 13.0	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	輪積み ヘラミガキ	緻密 良好 (内外)黒彩	P-9B
16	土師 高坏	13.0 15.4 11.7	ヘラケズリ、ヘラミガキ、ハケメ ヘラミガキ	ヘラケズリ、ハケメ ヘラミガキ	緻密 良好 茶褐色	P-9A
17	土師 高坏	14.6	ヘラケズリ		密 良好 丹塗り(内)黄褐色	P-8
18	土師 高坏	13.8 8.7 10.05	ヘラケズリ		緻密 良好 明褐色	P-18
19	土師 甕	15.8 34.6 8.1	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色　焼きむら	P-13 焼土付着
20	土師 甕	16.0			密、小石含む 良好 赤褐色	スス付着
21	土師 甕	14.8	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	カマドP-1
22	土師 甕	 6.5	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い、砂粒含む 良好 暗褐色	P-16
23	土師 甕	11.1 10.5 5.6	ヘラケズリ ハケメ	ヘラケズリ	やや粗い、砂粒含む 良好 赤褐色	P-13
24	土師 甑	 3.6	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 赤褐色	

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
99号住居址 1	須恵器 坏	(口) (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)青灰色	緑釉あり
2	須恵器 蓋				緻密 良好 灰白色	緑釉あり
3	土師 坏	14.0			密 良好 (内外)丹塗り	
4	土師 坏	12.2	ヘラケズリ		密 良好 (内外)丹塗り	
5	土師 坏	13.7	ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 (内外)黒色	
6	土師 坏	12.8	ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 内外黒色	
7	土師 坏	12.7	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 (内外)黒色	P-28
8	土師 坏	13.2	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 (内外)黒色	P-17
9	土師 坏	11.4	ヘラケズリ		密 良好 (内外)黒褐色	P-8
10	土師 坏	13.6 5.8 3.2	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 内外黒色	P-2
11	土師 高坏	10.4	ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	
12	土師 鉢	20.1 8.2	ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 褐色	P-27
13	土師 甕	14.8	ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	
14	土師 甕	18.3	ヘラケズリ		やや粗い 良好 褐色	P-24
15	土師 甕	18.0	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-30
16	土師 甕	18.0	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-35
17	土師 手捏	3.1	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色、焼きむら	P-7
18	土師 甕	11.4	ハケメ ハケメ		緻密 良好 暗褐色	P-10
19	土師 甕	15.1	ハケメ		やや粗い 良好 褐色、焼きむら	P-42

番号	器種	法量(cm)	調整 器体部	調整 底部	胎土・焼成・色調	備考
20	土師 甕	(口)14.5 (高)34.4 (底)6.2	(外)ハケメ (内)ハケメ	(外)木葉痕 (木葉痕のまわりをヘラケズリしている)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)褐色	P-10
21	土師 甕	6.8	ハケメ		粗い、2m/mの砂粒含む 良好 褐色	P-37
22	土師 甕	10.9	ハケメ	木葉痕	粗い 良好 赤褐色	P-1
23	土師 鉢	20.8			やや粗い 良好 暗褐色	焼むら
100号住居址 1	土師 坏	12.4 3.6	ヘラケズリ	ヘラケズリ	密 良好 (内外)丹塗り	P-1
2	土師 坏	11.7	ヘラケズリ、ヘラナデ ヘラミガキ		緻密、石英含む 良好 暗褐色	P-1
3	土師 坏	11.9 3.0	ヘラミガキ	ヘラミガキ	密、赤色粒子含む 良好 暗褐色	P-14,17
4	土師 坏	12.45 3.5	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	緻密 良好 赤褐色	P-1
5	土師 坏	12.3 3.5	ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	緻密 良好 赤褐色	P-2
6	土師 坏	12.8 3.7	ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	緻密、スス付着 良好 赤褐色	P-3
7	土師 坏	11.9 3.3	ヘラケズリ、ヘラミガキ		密 良好 赤黄褐色	P-5
8	土師 坏	15.4	ヘラケズリ		密 良好 明褐色	
9	土師 坏	12.3 3.65	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ (内)ヘラミガキ	緻密 良好 暗褐色	P-7
10	土師 甕	16.7 29.4 7.1	ハケメ ハケメ	木葉痕	やや粗い 良好 赤褐色	P-13
11	土師 甕	17.2	ハケメ		緻密、小石含む 良好 明褐色	P-8
12	土師 甕	18.9			密、砂粒含む 良好 暗褐色	P-24
13	土師 甕	8.9	ハケメ ハケメ	木葉痕	やや粗い、砂粒含む 良好 茶褐色	P-25
14	土師 甑	21.8 26.0 8.9	ヘラケズリ、ハケメ		緻密 良好 茶褐色	P-12
15	土師 甑	16.0 13.15 5.7	ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	P-16

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
101号住居址 1	灰釉 台付埦	(口)14.5 (高)6.7 (底)6.6	(外) (内)	(外)回転糸切り (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)灰白色	底部に重ね焼き痕が残る P-4
2	灰釉	16.2			緻密 良好 灰白色	P-14
3	灰釉 皿	16.4			緻密 良好 灰白色	内面は緑釉
4	土師 坏	10.8 3.0 4.8	横ナデ	回転糸切り	粗い 良好 赤褐色	P-1
5	土師 坏	11.0 3.05 5.6	横ナデ	回転糸切り	やや粗い 良好 赤褐色	P-23
6	土師 坏	11.0			やや粗い 良好 赤褐色	P-12
7	土師 坏	8.4			密 良好 褐色	フク土
8	土師 坏	10.0			密 良好 赤褐色	
9	土師 坏	18.0			粗い 良好 暗褐色	P-15
10	土師 甕	28.0	(内)ハケメ		粗い 良好 黒褐色	P-11
11	土師 甕	14.5			粗い 良好 暗褐色	
12	土師 甕	14.6			緻密 良好 黒褐色	
102号住居址 1	須恵器 坏				良好	P-48
2	須恵器 高坏					
3	土師 坏	13.15 4.3	ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	緻密 良好 (内外)丹塗り	P-16
4	土師 坏	15.0 3.45	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ、ヘラミガキ	緻密 良好 (内外)丹塗り	P-25
5	土師 坏	12.8	ヘラケズリ		密、赤色粒子含む 良好 黄褐色	P-12
6	土師 坏	12.2 3.6	ヘラケズリ		やや粗い、赤色粒子含む 良好 暗褐色	P-14
7	土師 坏	12.8 5.3 4.5	ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	P-44

番号	器種	法量 (cm)	調整 器体部	調整 底部	胎土・焼成・色調	備考
8	土師 坏	(口)13.3 (高)4.9 (底)	(外)ヘラケズリ (内)	(外)ヘラケズリ (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)黄褐色	P-2
9	土師 坏	11.6	ヘラケズリ ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	P-18 (Pd)
10	土師 坏	12.6 5.7			密、赤色粒子含む 良好 褐色	P-39
11	土師 坏	14.4	ヘラケズリ ヘラミガキ		密 良好 褐色	P-33
12	土師 坏	5.2		線刻	やや粗い、赤色粒子含む 良好 褐色	P-34
13	土師 坏	4.4	ヘラケズリ		密 良好 赤褐色、焼きむら	P-29
14	土師 坏	13.2	ヘラケズリ		密 良好 赤褐色 焼むら	P-31
15	土師 坏	14.3			密、赤色粒子含む 良好 褐色	P-32
16	土師 坏	14.8			密、赤色粒子含む 良好 褐色	P-32
17	土師 坏	11.4 5.6	ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色	P-17
18	土師 高坏	14.3 7.75 11.4	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 赤褐色	P-41
19	土師 高坏	10.6	ヘラケズリ		密 良好 褐色	P-47
20	土師 高坏	14.8	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 赤黄褐色	P-5
21	土師 埦	10.6 8.0	ヘラケズリ 爪状の痕跡		緻密 良好 赤黄褐色	P-48
22	土師 鉢	13.2			密 良好 茶褐色	P-29
23	土師 坏	16.8			やや粗い 良好 褐色	フク土
24	土師 甕	10.5	ヘラケズリ		やや粗い、小石含む 良好 褐色	P-18
25	土師 甕	19.0 28.6 9.0		ヘラナデ	やや粗い、金黄雲母含む 良好 茶褐色	P-17-2カマド
26	土師 甕	17.2 27.9 8.6	ヘラケズリ 輪積み		やや粗い、小石含む 良好 褐色、焼きむら	P-8

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
27	土師 甕	(口)16.2 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い、赤色粒子含む (焼)良好 (色)黄褐色	P-49カマド
28	土師 甕	16.6			やや粗い、小石含む 良好 褐色	P-28
29	土師 甕	15.6			やや粗い、砂粒含む 良好 黄褐色	P-8
30	土師 甕	18.0			やや粗い、小石含む 良好 褐色	フク土
31	土師 甕	16.6	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い、小石含む 良好 暗褐色	フク土
32	土師 甕	17.7 28.4 8.5	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 茶褐色	P-40
33	土師 甑	25.9	ヘラケズリ		やや粗い、小石含む 良好 褐色	34番甑底部と同一体か？ P-17-2
34	土師 甑	7.6			やや粗い、小石含む 良好 褐色	
35	土師 甕	34.6	ハケメ		やや粗い、小石含む 良好 黄褐色 焼むら	フク土
103号住居址 1	土師 坏	16.0	ハケメ ハケメ、暗文		緻密 良好 赤褐色	
2	土師 高坏	18.4			良好	
3	土師 坩	16.0	暗文		緻密 良好 赤褐色	
4	土師 台付甕	13.0	ハケメ ヘラケズリ		やや粗い、焼むら 良好 褐色	P-1
104号住居址 1	土師 坏	14.1 4.2	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 (内外面)黒色	P-16
2	土師 坏	11.8 4.3	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラミガキ	緻密 良好 (内外面)黒色	P-18
3	土師 甕	21.6	ハケメ ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	P-2,7
4	土師 甕	12.8 13.0 7.0	ヘラケズリ		やや粗い、砂粒含む 良好 暗褐色	
5	土師 甕	15.9	ヘラケズリ		やや粗い、砂粒含む 良好 暗褐色	
6	土師 甕	6.8			良好	カマドP-3

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
7	土師 甕	(口)21.2 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)黄褐色	
8	土師 甕	22.2			やや粗い 良好 赤褐色	
9	土師 甕	22.6			緻密 良好 赤褐色	P-1
10	土師 円筒	9.0 16.7	ハケメ、ヘラケズリ 輪積み、指頭痕		やや粗い 良好 赤褐色	P-9
11	土師 円筒	7.5 16.1 5.5	ヘラケズリ 輪積み			カマドP-2
105号住居址 1	土師 壺	17.0			緻密 良好 赤褐色	P-1
106号住居址 1	土師 坏	14.0 4.65	ヘラケズリ		やや粗い、砂粒含む 良好 明赤褐色	
2	土師 坏	14.6	ヘラケズリ		緻密 良好 黄褐色	P-1
3	土師 坏	13.0			密 良好 赤褐色	
4	土師 坏	7.0 4.0			粗い 良好 赤褐色	
5	土師 坏	12.6 3.9	ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	
6	土師 坏	13.0	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	
7	土師 坏	12.0	ヘラケズリ		緻密 良好 赤褐色	
8	土師 埦	12:8 6.4	ヘラケズリ ヘラナデ		粗い やや不良 赤黄褐色	P-3
9	土師 埦	12.6 6.5	ヘラケズリ		粗い 良好 赤褐色	
10	土師 鉢	10.0	ヘラケズリ ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	
11	土師 甕	12.0 10.7 7.7	ヘラケズリ ヘラナデ、ハケメ		やや粗い 良好 明赤褐色	
12	土師 甕	5.2	ハケメ、ヘラケズリ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	P-1

番号	器種	法量 (cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
13	土師 甕	(口)21.3 (高)30.5 (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)褐色	
14	土師 甑	17.6 13.3	ヘラケズリ (内)ヘラケズリ、ヘラナデ		緻密 良好 黄褐色	P-4
15	土師 支柱	4.6 18.5 5.0			やや粗い 良好 赤褐色	
16	土師 手捏	3.8			やや粗い 良好 褐色	
107号 住居址 1	須恵器 蓋	12.8			良好	
2	土師 短首壺	12.0			良好	
3	土師 坏	14.2	ヘラケズリ		緻密 良好 (内外)丹塗り	フク土
4	土師 坏	12.6			やや粗い 良好 (内外)丹塗り	P-8
5	土師 坏	16.0			緻密、赤色粒子含む 良好 (内外)丹塗り	
6	土師 坏	12.4			緻密 良好 (内外)丹塗り	
7	土師 坏	12.4			緻密 良好 赤褐色	P-1
8	土師 坏	12.2 3.7	ヘラケズリ	底部に線刻あり ヘラミガキ	粗い 良好 (内外面)黒色	P-2
9	土師 坏	9.0 5.1	ヘラケズリ		緻密 良好 (内外面)黒色	P-12
10	土師 坏	10.8	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-1
11	土師 埦	13.0 8.4	ヘラケズリ、ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色、一部焼むらあり	P-13
12	土師 埦	10.0			密 良好 黄褐色	
13	土師 甕	7.0		木葉痕	粗い 良好 赤褐色	
14	土師 壺	19.6			粗い、小石含む 良好 黄褐色	P-4,5,7
15	土師 甕	20.6	ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	フク土

番号	器種	法量 (cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
16	土師 甕	(口)20.0 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)黄褐色	P-10
108号住居址 1	須恵器 蓋	12.8			緻密 良好 灰白色	P-8
2	土師 坏	13.4 3.5			緻密 良好 (内外)丹塗り	P-25
3	土師 坏	14.6 3.8			緻密 良好 (内外)丹塗り	P-2
4	土師 坏	13.9			緻密 良好 (内外)丹塗り	P-12
5	土師 坏	14.0 4.5	ヘラケズリ		やや粗い 良好 丹塗り(内)黒色	P-13
6	土師 坏	14.8 3.9			緻密 良好 丹塗り(内)黒色	
7	土師 坏	12.7 4.8			やや粗い 良好 (内)黒色	P-2
8	土師 坏	12.7 4.5	ヘラケズリ		やや粗い 良好 褐色	P-4
9	土師 坏	12.8			緻密 良好 黄褐色	
10	土師 坏	15.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 黄褐色	
11	土師 高坏	14.4	ヘラケズリ		密 良好 (内)黒色	P19,20,27
12	土師 坏	13.8 6.8 4.7	ヘラケズリ		密 良好 (外)丹塗り(内)黒色	P-9
13	土師 高坏	11.0			密 良好 黄褐色	
14	土師 高坏	19.2			密 良好 丹塗り、(内)黒色	P-22
15	土師 高坏	14.3 9.8 12.5	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 丹塗り、(内)黒色	P-19,30
16	土師 高坏	15.6			緻密 良好 丹塗り、(内)黒色	P-10
17	土師 高坏	13.4 10.4 11.0		ヘラケズリ	密、赤色粒子含む 良好 黄褐色	P-24
18	土師 鉢	21.6			密 良好 (内外)丹塗り	P-6,7

番号	器種	法量 (cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
19	土師 甕	(口)19.4 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密、赤色粒子含む (焼)良好 (色)茶褐色	P-29
20	土師 甕	11.9			粗い、赤色粒石英含む 良好 黄褐色	P-1
21	土師 甕	15.8	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	P-14
22	土師 甕	24.8	ハケメ ハケメ		粗い 良好 暗褐色	P-21
23	土師 甕	14.0	ハケメ		密 良好 褐色	炭素吸着
24	土師 甕	14.6 12.6 5.0			良好	P-28
25	土師 甕	26.0	ヘラケズリ		粗い、石英、小石含む 良好 黄褐色	P-3
109 号 住居址 1	土師 坏	12.4			緻密 良好 赤褐色	P-1
2	土師 坏	13.6			密 良好 茶褐色	
3	土師 鉢	14.0			密 良好 赤褐色	
4	土師 甕	28.0 7.3	ヘラケズリ、ハケメ ヘラケズリ、ハケメ		粗い 良好 黄褐色	P-13
5	土師 甕	17.0			やや粗い 良好 褐色	P-6
6	土師 壺	8.3			粗い 良好 暗褐色	P-11
7	土師 鉢				緻密 良好 赤褐色	P-5
110 号 住居址 1	土師 坏	15.4	線刻		密、赤色粒子含む 良好 黒色	
2	土師 坏	12.4			密、赤色粒子含む 良好 赤褐色	
3	土師 高坏	9.6	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 黄褐色	
4	土師 坏	17.8	ヘラケズリ		良好	P-2

番号	器種	法量 (cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
111号 住居址 1	土師 坏	(口)14.0 (高)5.0 (底)4.0	(外)ヘラミガキ (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)(外)丹塗り	P-27
2	土師 坏	14.0 5.8 2.9			密 良好 黄褐色	P-26
3	土師 坏	13.8 5.7	ヘラケズリ ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	P-6
4	土師 坏	14.0	ヘラミガキ		密 良好 褐色	フク土
5	土師 坏	11.0		ヘラケズリ	密 良好 褐色	フク土
6	土師 坏	16.0			内外丹塗り	
7	土師 甕	18.0	ヘラケズリ ヘラケズリ		粗い 良好 黄褐色	P-3
8	土師 甕	18.0	ヘラケズリ ヘラケズリ		粗い 良好 明褐色	P-25
9	土師 甕	20.0	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	P-10,12
10	土師 甕	19.8			やや粗い 良好 茶褐色	P-33
11	土師 甑	8.0			密 良好 黄褐色	P-4
12	土師 甕	16.5 29.5 7.8	ヘラケズリ、指頭痕 ハケメ		粗い 良好 茶褐色	P-34
13	土師 甕	19.0			粗い 良好 黄褐色	P-13
14	土師 甕	8.0	ヘラケズリ		粗い、砂粒含む 良好 茶褐色	P-31
15	土師 甕	8.2			粗い、砂粒含む 良好 茶褐色	P-5
16	土師 甕	8.0	ロクロ		やや粗い 良好 茶褐色	
17	土師 甕				粗い 良好 茶褐色	P-22
18	土師 鉢	31.8			粗い 良好 茶褐色	P-23

番号	器種	法量 (cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
112号 住居址 1	土師 坏	(口) (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)(内外面)黒色	
2	土師 坏	7.6		糸切り	緻密 良好 赤褐色	P-2
3	土師 坏	13.2			緻密 良好 (内外)黒彩	
4	土師 高坏	12.0 6.9 8.8	ヘラケズリ		密 良好 (内外)丹塗り	
5	土師 甕	9.4	ハケメ	木葉痕	粗い 良好 黄褐色	
6	土師 甕	21.4	ハケメ		粗い 良好 黄褐色	
113号 住居址 1	須恵器 坏	12.0	ロクロ		緻密 良好 灰色	
2	土師 坏	11.0			良好 褐色	
3	土師 坏	13.4	ヘラケズリ		良好 (外)丹塗り	P-12
4	土師 坏	22.0	ヘラケズリ		良好 暗褐色	
5	土師 坏	14.0			良好 暗褐色	
6	土師 坏	13.4	ヘラケズリ		良好 茶褐色	
7	土師 坏	13.4	ヘラケズリ		良好 (内外面)黒色	P-3
8	土師 坏	13.9 4.3 9.2	ヘラケズリ		良好	P-9
9	土師 坏	13.2	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	
10	土師 埦	6.0	ヘラケズリ (内)ヘラケズリ		密 良好 黄褐色(内)黒色	P-2
11	土師 甕	10.2			良好 黄褐色(内)黒色	
12	土師 甑	16.6	ハケメ ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	P-4
13	土師 甕	26.6 33.3 10.2	ハケメ、ヘラケズリ (内)ハケメ	木葉痕	やや粗い 良好 茶褐色	

番号	器種	法量 (cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
14	土師 甕	(口)19.2 (高) (底)	(外) (内)ハケメ	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)茶褐色	P-4
15	土師 甕	8.2	ヘラケズリ,ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	P-8
16	土師 甕	26.2	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	P-14
114号住居址 1	須恵器 蓋	12.2			緻密 良好 灰白色	P-28
2	土師 蓋	12.8 4.25			やや粗い 良好 暗褐色	
3	土師 坏	11.8			密 良好 丹塗り	P-30
4	土師 坏	13.4			密 良好 丹塗り	
5	土師 坏	12.6			密 良好 丹塗り	
6	土師 坏	12.0 4.25	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-63
7	土師 坏	11.2		ヘラケズリ	密 良好 茶褐色	P-25
8	土師 坏	13.6			密 良好 暗褐色	P-6
9	土師 坏	13.6			密 良好 黒色	P-54
10	土師 坏	14.0 3.7 6.3			密 良好 暗褐色	
11	土師 坏				密 良好 褐色	P-48
12	土師 坏	12.9			密 良好 黒色	
13	土師 坏	13.2			密，砂粒含む 良好 褐色	
14	土師 高坏	10.2	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-28
15	土師 高坏	12.4	ヘラケズリ		密 良好 (外)丹塗り(内)黒色	P-2
16	土師 小型甕		ヘラミガキ		密 良好 明褐色	P-48

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
17	土師 埦	(口)12.8 (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)茶褐色(内)黒色	
18	土師 壺	14.4	ハケメ ハケメ		密 良好 赤褐色	
19	土師 甕	15.6			良好 茶褐色	P-50
20	土師 甕	15.8	ハケメ ハケメ		良好 茶褐色	P-65
21	土師 甕	14.8			密 良好 (外)丹塗り(内)褐色	P-9
22	土師 甕	18.5 32.5 6.5	ヘラケズリ,指頭痕 ヘラケズリ	木葉痕	粗い 良好 黄褐色	P-52 P-53
23	土師 甕	17.0 30.0 5.8	ヘラケズリ		粗い 良好	P-52
24	土師 甕	21.8	ハケメ ハケメ		密 良好 茶褐色	P-47
25	土師 甕	5.7			粗い 良好 暗褐色	P-57
26	土師 甕	8.0	ハケメ ハケメ,指頭痕		砂粒,雲母含む 良好 茶褐色	P-36
27	土師 甕	18.4 34.8 5.4	ハケメ ハケメ	木葉痕	石英、長石含む 良好 茶褐色	P-20
28	土師 甕	19.2 33.0 7.1	ハケメ ハケメ		砂粒含む 良好 茶褐色	P-18
29	土師 甕	6.3	ハケメ		粗い 良好 褐色	P-26,28
30	土師 甑	5.2			粗い 良好 茶褐色	P-13
31	須恵器 壺	13.8			緻密 良好	
32	須恵器 長頸壺	10.0			緻密 良好	
115号住居址 1	土師 高坏	16.0			緻密 良好 茶褐色	
2	土師 高坏	17.2			緻密 良好 茶褐色	
3	土師 高坏	8.0			やや粗い 良好 黄褐色	P-5

番号	器種	法量(cm)	調整 器体部	調整 底部	胎土・焼成・色調	備考
4	土師 甕	(口)13.0 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)褐色	P-3
5	土師 甕	15.2	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	P-6
6	土師 台付甕	19.2	ハケメ		やや粗い 良好 褐色	P-4
7	土師 台付甕	17.0	ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	P-2
116号住居址 1	土師 坏	13.4 5.6 3.4	ヘラケズリ,ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	P-27
2	土師 坏	14.0	ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 丹塗り	P-11
3	土師 坏	13.0			緻密 良好 茶褐色	
4	土師 坏	16.0	ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	P-35
5	土師 坏	15.6	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-3
6	土師 高坏	17.4			密 良好 暗褐色	P-14
7	土師 甕	16.0	ハケメ		粗い 良好 茶褐色	
8	土師 手捏	5.1 4.3	指頭痕 指頭痕		密 良好 茶褐色	P-17
9	土師 甕	8.0	ヘラケズリ		粗い 良好 茶褐色	P-23
10	土師 甕	18.8			密 良好 茶褐色	P-22
11	土師 甕	23.8	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-10
117号住居址 1	土師 坏	10.3 4.6	ヘラケズリ		密 良好	P-11
2	土師 坏	12.8 3.8				P-12
3	土師 高坏	9.4	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-13
4	土師 甕	20.0	(内)ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	P-8

番　号	器　種	法　量 (cm)	調　整		胎土・焼成・色調	備　考
			器　体　部	底　部		
5	土師 甑	(口)18.0 (高) (底)	(外)ハケメ (内)ハケメ	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)	P-1
6	土師 甕	18.3 23.8 8.0	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P -10
7	土師 甕	19.8 37.1 5.6	ハケメ ハケメ	木葉痕	やや粗い 良好 茶褐色	P-2
118 号 住居址 1	須恵器 坏				緻密 良好 青灰色	
2	土師 坏	11.0			やや粗い 良好 褐色	
3	土師 甕	9.2			粗い、金雲母含む 良好 茶褐色	
119 号 住居址 1	須恵器 坏	11.5			緻密 良好 灰色	P-7
2	須恵器 高坏	14.8			緻密 良好 灰色	P-6
3	土師 高坏	11.0 7.6 9.8	ヘラケズリ	ヘラケズリ,ハケメ	緻密 良好 褐色	P-16
4	土師 壺				密 良好 黄褐色	P -12, P -13
5	土師 甕	15.2			やや粗い 良好 茶褐色	P-12
120 号 住居址 1	土師 壺				粗い 良好 褐色	
2	土師 小型甕	9.0	ヘラミガキ,線刻		緻密 良好 茶褐色	
121 号 住居址 1	土師 坏	13.0			緻密 良好 褐色	P-2
2	土師 坏	13.3			緻密 良好 黄褐色	P-6
3	土師 甕	6.6	ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色	P-14
4	土師 手捏	3.4	ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 黄褐色(焼きむらあり)	P-20

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
122号住居址 1	土師 坏	(口)11.7 (高)4.0 (底)5.5	(外)横ナデ (内)	(外)回転糸切り (内)	(胎)密,赤色粒含む (焼)良好 (色)黄褐色	P-21
2	土師 坏	11.9 4.1 5.6			緻密，赤色粒含む 良好 茶褐色	P-21
3	土師 坏	14.2 4.2 6.0	横ナデ	回転糸切り	緻密，赤色粒含む 良好 茶褐色	P-12
4	土師 坏	10.8 4.2 5.0	横ナデ 暗文	回転糸切り	緻密 良好 茶褐色	P-20
5	土師 坏	11.0	ヘラケズリ 暗文	ヘラケズリ	緻密 良好 茶褐色	P-17
6	土師 台付坏	10.9 4.5 6.6			緻密 良好 茶褐色	P-5
7	土師 台付坏	7.0			粗い，赤色粒含む 良好 茶褐色	P-15
8	土師 坏	14.4			緻密，赤色粒含む 良好 茶褐色	P-23
9	土師 坏	14.1 2.3 5.0			緻密，赤色粒含む 良好 茶褐色	P-10
10	土師 坏	14.6	ヘラケズリ		緻密 良好 黄褐色	
11	土師 坏	13.4 2.8 5.5			緻密 良好 茶褐色	P-16
12	土師 蓋				緻密，赤色粒含む 良好 茶褐色	P-22
13	土師 蓋	19.0			緻密 良好 茶褐色	P-17
14	土師 甕	14.2	ハケメ		粗い 良好 褐色	P-13
15	土師 甕	11.6	ハケメ		粗い 良好 暗褐色	P-21
16	土師 羽釜	27.2			粗い 良好 暗褐色	P-3
17	灰釉 壺				緻密 良好 緑灰色	P-19

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
123号 住居址 1	土師 坏	(口)11.4 (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)	(外) (内)	(胎)密,赤色粒含む (焼)良好 (色)茶褐色	P-1
2	土師 高坏			ハケメ	密 良好 暗褐色	
3	土師 甕	13.0	ハケメ		粗い,砂粒,赤色粒含む 良好 褐色	
4	土師 甕	17.0 24.0 7.5	ヘラケズリ		粗い,砂粒,赤色粒含む 良好 褐色	P-1
5	土師 甕	15.0	ハケメ		密 良好 赤褐色	P-2
6	土師 甕	7.5	ヘラケズリ ヘラケズリ,輪積み		やや粗い 良好 褐色	
124号 住居址 1	土師 坏	13.8			密 良好 褐色	フク土
2	土師 甕	6.6	ヘラケズリ		やや粗い, 砂粒含む 良好 黄褐色	フク土
125号 住居址 1	土師 坏	14.8			密 良好 赤褐色	
2	土師 甕	14.0			やや粗い 良好 赤褐色	
126号 住居址 1	土師 坏	13.0	ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	P-2
2	土師 坏	12.6	ヘラケズリ		密 良好 黄褐色	
3	土師 埦	13.2 7.0	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	
4	土師 甕	10.4	ハケメ ハケメ		粗い,金雲母含む 良好 暗褐色	
5	土師 甕	8.0			やや粗い 良好 茶褐色	
127号 住居址 1	土師 台付埦	8.1			やや粗い,赤色粒含む 良好 褐色	P-1
128号 住居址 1	土師 甕	18.4			やや粗い,砂粒含む 良好 黄褐色	P-1

番　号	器　種	法　量 (cm)	調　整 器　体　部	調　整 底　部	胎土・焼成・色調	備　考
129 号 住居址 1	土師 坏	(口) (高) (底)4.6	(外)ヘラケズリ (内)暗文	(外) (内)	(胎)密,赤色粒含む (焼)良好 (色)赤褐色,(内)黒色	
2	土師 坏	6.2	横ナデ	回転糸切り	粗い 良好 赤褐色	P-5
3	土師 高台付坏		ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 茶褐色(内)黒色	P-10
4	土師 坏	14.2			粗い 良好 褐色	
5	土師 高坏	12.0			やや粗い,赤色粒含む 良好 茶褐色	
6	土師 坏	10.2 1.9 5.5	横ナデ	回転糸切り	粗い 良好	P-7
7	土師 坏	17.0			密 良好 褐色(内)黒色	
8	土師 甕	7.6	ハケメ		やや粗い 良好 褐色	P-9
9	土師 甕	8.0	ハケメ ハケメ		密,金雲母含む 良好 暗褐色	P-2
10	土師 甕	24.0	ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	
130 号 住居址 1	土師 坏	16.0 6.1	ヘラケズリ ヘラミガキ(格子を呈する)	ヘラケズリ	緻密 良好 黄褐色	P-1
2	土師 坏	13.1	ヘラケズリ		密 良好 黄褐色	P-11
3	土師 手捏	5.8 3.4 6.0	指頭痕 指頭痕		密 良好 黄褐色	
4	土師 甕	35.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	P-3
5	土師 甑	22.0	ハケメ		緻密 良好 黄褐色	P-7
6	土師 甑	15.6 13.9 7.4	ハケメ ハケメ		やや粗い,砂粒含む 良好 黄褐色	P-3,9
7	須恵器				良好 青灰色	P-2

番号	器種	法量 (cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
131号 住居址 1	須恵器 蓋	(口)12.0 (高) (底)	(外)ロクロ (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)青灰色,自然釉あり	P-7
2	土師 坏	13.0 5.9	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ	良好 赤褐色	P-13
3	土師 高坏	14.2			密 良好 赤褐色	P-10
4	土師 坏	13.4 5.0		線刻	密 良好 黄褐色	P-13
5	土師 坏	13.0 6.0	ヘラケズリ ヘラミガキ		良好 暗褐色	P-1
6	土師 坏	10.9 5.3	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ		良好 赤褐色	P-9
7	土師 坏	13.9 6.6	ヘラケズリ ヘラケズリ		緻密 良好 赤褐色	P-32
8	土師 坏	12.9	ヘラケズリ		良好 赤褐色	P-8
9	土師 坏	14.0 6.5			密 良好 褐色	P-32
10	土師 坏	12.4 6.0	ヘラミガキ ヘラミガキ		良好 赤褐色	P-5
11	土師 坏	14.8	ヘラミガキ		密 良好 褐色	
12	土師 坏	11.9 5.9 4.0	ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-14
13	土師 坏	10.15 5.5	ヘラミガキ ヘラミガキ		良好 茶褐色	P-9
14	土師 高坏	19.0 12.7 16.4			緻密 良好 黄褐色	P-7,10
15	土師 高坏	10.5		ヘラミガキ	緻密 良好 茶褐色	P-3
16	土師 高坏	10.9		ヘラミガキ	緻密 良好 茶褐色	P-6
17	土師 高坏	9.2	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	緻密 良好 褐色	P-4
18	土師 高坏		ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 茶褐色	P-11
19	土師 高坏	10.2	ヘラケズリ ヘラミガキ		やや粗い 良好 黄褐色	

番号	器種	法量(cm)	調整 器体部	調整 底部	胎土・焼成・色調	備考
20	土師 甕	(口)18.3 (高)27.7 (底)6.7	(外) (内)ヘラケズリ	(外) (内)	(胎)粗い (焼)良好 (色)茶褐色,口縁部赤彩	P-2
21	土師 甕	18.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 黄褐色	
22	土師 甕	22.2	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い,砂粒含む 良好 褐色(焼きむらあり)	P-3
23	土師 甕	8.5	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い，小石含む 良好 暗褐色	P-12
24	土師 甕	27.4	ハケメ ハケメ		密 良好 黄褐色	P-30
25	土師 甑	18.8	ハケメ ハケメ		密,砂粒含む 良好 黄褐色	P-17
26	土師 甑	25.8	ハケメ,ヘラケズリ ハケメ		密 良好 褐色	P-12
27	土師 無頸壺		ヘラケズリ		良好 暗褐色	P-22
132号住居址 1	土師 坏	10.7			緻密 良好 黄褐色	
2	土師 手捏	3.8 3.3 4.7	指頭なであげ 指頭痕		密，砂粒含む 良好 茶褐色	
3	土師 甕	15.6			やや粗い，砂粒含む 良好 黄褐色	P-5
4	土師 甕	20.2	ハケメ ハケメ		粗い,砂粒含む 良好 茶褐色	P-9
5	土師 甕	16.0	ハケメ ヘラケズリ,指頭痕		密 良好 明褐色	P-6
6	土師 甕	5.0			やや粗い 良好 茶褐色	P-1
7	土師 甕	9.0		木葉痕	粗い，砂粒含む 良好 暗褐色	フク土
133号住居址 1	須恵器 坏	13.3 3.9 7.4	横ナデ	回転糸切り	良好 灰白色	P-20
2	須恵器 坏	13.4			良好 灰白色	
3	須恵器 坏	14.9			良好 灰白色	P-22
4	土師 坏	11.4 4.1 7.0			密,赤色粒含む 良好 黄褐色	P-16

番　号	器　種	法　量 (cm)	調　整 器　体　部	調　整 底　部	胎土・焼成・色調	備　考
5	土師 坏	(口)12.4 (高)4.5 (底)9.2	(外) (内)	(外)ヘラケズリ (内)	(胎)緻密,赤色粒含む (焼)良好 (色)褐色	P-24
6	土師 手捏	2.9 2.8 2.0			やや粗い 良好 暗褐色	
7	土師 甕	21.8	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	
8	土師 甕	8.0	ヘラケズリ ヘラケズリ		粗い 良好 暗褐色	
9	土師 甕	25.1	ヘラケズリ		やや粗い,赤色粒含む 良好 赤褐色	P-11
10	土師 鉢	17.1 8.9 9.8			緻密 良好 褐色	P-2
134 号 住居址 1	土師 坏	12.0 4.6	暗文		密，赤色粒含む 良好 (外)茶褐色(内)黒色	P-11
2	土師 坏	16.1	暗文		密,赤色粒含む 良好 茶褐色	
3	土師 坏	14.6 5.5 5.4	ヘラケズリ		密,赤色粒含む 良好 茶褐色	P-22
4	土師 坏	13.0	ヘラケズリ		密，赤色粒含む 良好 暗褐色	P-22
5	土師 坏	11.7	ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	
6	土師 坏	12.0 11.8 4.1	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-12
7	土師 坏	11.7 4.3 4.5	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-28
8	土師 坏	10.5 4.3 4.8	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-29
9	土師 坏	14.2 4.8 4.6	ヘラケズリ		密 良好 黄褐色	P-19
10	土師 坏	10.8 5.1	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-25
11	土師 坏	13.0			やや粗い 良好 茶褐色	P-15
12	土師 坏	12.0			密 良好 茶褐色	
13	土師 坏	11.0 1.5 4.7			密 良好 茶褐色	P-20

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
14	土師 甕	(口)27.0 (高) (底)	(外)ハケメ (内)ハケメ	(外) (内)	(胎)粗い,金雲母含む (焼)良好 (色)暗褐色	P-23
15	土師 甕		ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	
135号住居址 1	須恵器 蓋	15.6			緻密 良好 灰褐色	
2	土師 坏	14.9 3.4 10.7			緻密 良好 黄褐色	P-1
3	須恵器	26.0			緻密 良好 灰褐色	
4	須恵器					
136号住居址 1	土師 坏	10.2 4.4	ヘラケズリ	回転糸切り周囲ヘラケズリ	緻密 良好 茶褐色	P-8
2	土師 坏	12.0 2.3 6.3		回転糸切り	緻密 良好 茶褐色	P-6
3	土師 台付埦	18.8			緻密 良好 暗褐色	
4	土師 高台付 坏				やや粗い 良好 暗褐色	P-2
5	土師 甕	9.2	ハケメ ハケメ	木葉痕	粗い 良好 暗褐色	P-5
6	土師 甕	30.2	ハケメ ハケメ		粗い 良好 暗褐色	P-1
137号住居址 1	須恵器 蓋	16.0			緻密 良好 灰色	
2	土師 坏	12.6			緻密 良好 茶褐色	
3	土師 坏	11.0	ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	
4	土師 坏	11.4 5.2 10.8	ヘラケズリ 暗文		緻密 良好 茶褐色	
5	土師 甕	15.4	ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	P-7
6	土師 甕	31.8	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 茶褐色	

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
138号住居址 1	土師	(口)12.4 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)赤褐色	P-11
2	土師 埦		ヘラケズリ		密 良好 丹塗り	P-9
3	土師 甑	19.0 11.2 8.4	ヘラケズリ ヘラケズリ	ヘラケズリ	やや粗い 良好 褐色	P-9
139号住居址 1	土師 甕	22.0	ハケメ,ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い,雲母含む 良好 赤褐色	P-1
2	土師 甕	21.1	ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-12
3	土師 甕	28.8	ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	P-6
4	土師 羽釜	32.8	ハケメ ハケメ		やや粗い,赤色粒含む 良好 赤褐色	
140号住居址 1	土師 坏	13.0			緻密 良好 茶褐色	
2	土師 高坏			ヘラケズリ	緻密 良好 茶褐色	P-4
3	土師 甑	23.6 27.0 8.9	ハケメ,ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色	
141号住居址 1	須恵器 坏	14.0			緻密 良好 青灰色	
2	須恵器 蓋	16.0			緻密 良好 灰色	
3	土師 坏	5.2	ヘラケズリ,線刻 暗文	回転糸切り	緻密 良好 茶褐色	P-6
4	土師 坏	12.0 7.0	ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	P-3
5	土師 坏	13.0	ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	
6	土師 坏	15.0	暗文		緻密 良好 茶褐色	
142号住居址 1	土師 坏	18.0	線刻		密 良好 赤褐色	
2	土師 坏	12.0			密，赤色粒含む 良好 赤褐色	
3	土師 手捏	2.6			密 良好 褐色	

番号	器種	法量 (cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
4	土師 甕	(口)20.9 (高)37.7 (底)11.2	(外)ハケメ,ヘラケズリ (内)ハケメ	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)暗褐色	
5	土師 甕	15.3 10.4	ハケメ,ヘラケズリ ハケメ		粗い 良好 赤褐色	
6	土師 甕	23.0	ハケメ ハケメ		粗い 良好 赤褐色	カマド
7	土師 甕	23.0			粗い、2mm位の小石含む 良好 赤褐色	P-5
1号周溝遺構 1	土師 坏	12.4 4.1			緻密 良好 黄褐色	P-13,7
2	土師 坏	12.0 3.8		ヘラケズリ	緻密 良好 丹塗り	P-4
3	土師 坏	12.8	ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	P-1
4	土師 坏	11.8	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 暗褐色	
5	土師 皿	9.8 2.7			密 良好 丹塗り	P-17
6	土師 坏	13.2 2.8 5.5		渦巻状の暗文	緻密 良好 暗褐色	
7	土師 坏	13.4 2.5 5.6	ロクロ ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	
8	土師 皿	5.0		渦巻状の暗文	緻密,砂粒含む 良好 茶褐色	
9	須恵器 坏	7.0		回転糸切り	緻密 良好 青灰色	
10	土師 手捏	3.9 6.0		木葉痕	やや粗い,砂粒含む 良好 褐色	
11	土師 甕	12.0 13.8 5.6	ハケメ,ヘラケズリ		粗い 良好 赤褐色	
12	土師 甕	15.2	ヘラケズリ ハケメ		粗い、砂粒含む 良好 茶褐色	
13	土師 甕	14.5 17.3 7.6	ハケメ ハケメ、ヘラケズリ	木葉痕	粗い 良好 茶褐色	P-6
14	土師 甕	7.4 8.0		木葉痕	緻密 良好 茶褐色	P-11
15	土師 甕	20.0	ハケメ、ヘラミガキ ハケメ		粗い 良好 茶褐色	

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
16	土師 甕	(口)24.0 (高) (底)	(外)ハケメ (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い、砂粒含む (焼)良好 (色)褐色	P-10
17	土師 甕	13.9 10.8 8.4	ヘラケズリ		粗い 良好 黄褐色	P-19
18	土師 甑	21.8	ヘラケズリ ヘラミガキ		密 良好	P-2
2号周溝遺構 1	須恵器 蓋	14.8 3.8			密 良好 青灰色	P-12
2	土師 坏	12.8 3.5	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	P-1
3	土師 坏	9.6 3.0	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色(内)黒色	P-3
4	土師 坏	12.4 3.65	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-5
5	土師 坏	13.4 3.3	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-14
6	土師 坏	12.0 3.5	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	
7	土師 坏	12.6 3.7	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	
8	土師 坏	12.8	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	
9	土師 坏	12.8	ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	P-1
10	土師 坏	10.8	ヘラケズリ、ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	P-11
11	土師	13.75 4.4 4.7	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-13
12	土師 埦	9.8	ヘラケズリ、ヘラミガキ 暗文		密 良好 茶褐色	
13	土師 埦	9.8	ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	
14	土師 壺	17.2	ヘラケズリ、ヘラミガキ		密 良好 黄褐色	
15	土師 甕		ハケメ		密 良好 褐色	
16	土師 台付甕	13.6	ハケメ ハケメ、指頭痕		やや粗い 良好 暗褐色	

番号	器種	法量 (cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
4号周溝遺構 1	須恵器 高坏	(口) (高) (底)14.6	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)青灰色	P-4
2	土師 坏	13.0 6.0	ヘラケズリ		良好 茶褐色	
1号溝 1	土師 坏	14.7 5.5 5.6	ヘラケズリ 暗文	線刻	緻密 良好 茶褐色	P-2
2	土師 坏	12.0 4.5 5.0	ヘラケズリ	墨書あり	緻密 良好 赤褐色	P-1
3号溝 1	土師 坏	9.5 2.6 5.4			緻密 良好 暗褐色	P-1
2	土師 台付甕	14.2	ハケメ		良好 褐色	
5号溝 1	土師 坏	11.9 4.6	ヘラケズリ		緻密 良好	
2	土師 坏	13.0	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-28
3	土師 器台	11.2			密 良好 赤褐色	
4	土師 高坏	18.8 13.0 5.0	ヘラミガキ、ハケメ ヘラミガキ	ヘラミガキ 脚部に3孔 ヘラミガキ	やや粗い 良好 黄褐色	P-40
5	土師 高坏	13.8 10.8 14.5	ハケメ	ハケメ、ヘラケズリ 脚部に3孔	緻密 良好 茶褐色	P-41
6	土師 高坏			ヘラケズリ	密 良好 茶褐色	P-26
7	土師 高坏	9.9	ヘラミガキ	ハケメ 脚部に4孔	緻密 良好 丹塗り	P-4
8	土師 高坏	16.0	ハケメ ハケメ、ヘラケズリ		粗い、長石含む 良好 茶褐色	P-39
9	土師 高坏	26.0		ハケメ	やや粗い 良好 茶褐色	P-5
10	土師 高坏	22.0	ハケメ ヘラミガキ		密 良好 丹塗り	P-14、10
11	土師 鼎	11.6 10.7 3.6	ハケメ、ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 明黄褐色	P-32
12	土師 壺				密 良好 茶褐色	P-26
13	土師 坏	12.2 2.8 5.2	横ナデ	回転糸切り	密 良好 茶褐色	

番号	器種	法量 (cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
14	土師 甕	(口)17.0 (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)ヘラケズリ	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)茶褐色	P-6
15	土師 台付甕	17.6	ハケメ 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	P-13
16	土師 台付甕	12.0	ハケメ 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	P15
17	土師 台付甕		ハケメ ハケメ		粗い 良好 茶褐色	P-13
18	土師 台付甕		ハケメ	指頭痕	粗い 良好 茶褐色	P-2
19	土師 台付甕	15.8	ハケメ 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	
20	土師 台付甕	13.0	ハケメ 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	
21	土師 台付甕		ハケメ		やや粗い 良好 茶褐色	P-6、34
22	土師 台付甕	13.8	ハケメ 指頭痕		やや粗い 良好 褐色	P-20
23	土師 台付甕	8.1	ハケメ	ヘラケズリ	やや粗い 良好 茶褐色	P-22
24	土師 台付甕	8.0	ハケメ	ヘラケズリ	やや粗い 良好 茶褐色	P-22
25	土師 甕	14.0			やや粗い 良好 茶褐色	P-1
26	土師 甕	12.9	ハケメ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-8
27	土師 甕	16.8	ハケメ ハケメ、ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	P-21
28	土師 甕	12.8	ハケメ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-8
29	土師 甕	6.2	ヘラケズリ ヘラケズリ	木葉痕	密 良好 茶褐色	P-24
30	土師 甕	14.8	ヘラケズリ ヘラケズリ、指頭痕		粗い 良好 赤褐色	P-12
31	土師 甕	13.5	ヘラケズリ		粗い 良好 赤褐色	P-7

番号	器種	法量 (cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
6号溝 1	須恵器 壺	(口)20.0 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)灰白色	P-2
2	有孔土器					
3	土師 高坏	10.2	ヘラケズリ		緻密、砂粒含む 良好 茶褐色	P-7
4	土師 坏	10.8 4.3 4.3	ヘラケズリ		密、砂粒、長石含む 良好 茶褐色	P-1
1号水路 1	須恵器 坏	8.0 3.6 3.4			緻密 良好 灰色	P-1 522+10S1
2	土師 坏	11.4 4.9 4.6	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 赤褐色	P-37
3	土師 坏	12.8 4.8 6.0	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 赤褐色	P-50 下
4	土師 坏	11.8			緻密 良好 褐色	P-50 下C
5	土師 坏	13.0	ヘラケズリ		粗い 良好 褐色	下 522+10N1
6	土師 坏	11.6	ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P 35 下C
7	土師 坏	12.9	ヘラケズリ		密 良好 褐色	P-23 下C
8	土師 坏	13.1 3.8	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	P-48 下C
9	土師 坏	11.3			密 良好 茶褐色	P-23 下C
10	土師 坏	12.0 4.85 5.7	ヘラケズリ、ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-50 下C
11	土師 坏	13.0 4.0 5.0				P-25 下
12	土師 坏	12.6 4.3 3.0	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-1
13	土師 坏	12.5 5.0 5.6			密 良好 茶褐色	P-30 下C
14	土師 坏	13.4 4.5 5.6		ヘラケズリ	緻密 良好 黄褐色	P-1 522+10N1
15	土師 坏	12.7			緻密 良好 赤褐色	P-19 522+10N1

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
16	土師 坏	(口)11.0 (高)4.7 (底)	(外)ヘラケズリ、ヘラミヘガキ (内)ヘラミガキ	(外) (内)	(胎)蜜、5mm位の小石含む (焼)良好 (色)暗褐色	P-16 522+10N1
17	土師 坏	4.65 5.5	指頭痕 ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-43 ドC
18	土師 小鉢	12.0 6.3 6.1	ヘラケズリ	木葉痕周囲を ヘラケズリ	緻密 良好 暗褐色	P 3 522+15NS1
19	土師 坏	14.8 3.8			密 良好 褐色	P 38 ドC
20	須恵器 坏	11.6 4.1 5.8		墨書	緻密 良好 褐色	522+10N1
21	土師 甕	10.0 7.7 2.7	ヘラミガキ ハケメ		密 良好 黄褐色	P-13 522+15S1
22	土師 手捏	4.3 4.2 3.7	指頭痕 指頭痕		密 良好 褐色	S7 P-2
23	土師 手捏	2.2 2.9 3.0	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	S4,P1,13
24	須恵器 壺	27.6	自然釉あり		緻密 良好 灰白色	S5,P-15
25	土師 甕	23.8	ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	S6、P-2
土壙 1	土師 坏					9号土壙
2	土師 坏	15.8			緻密 良好 赤褐色	9号土壙、P-1
3	土師 甕	10.8	ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	9号土壙、P-3
4	土師 坏	12.2 3.7	ヘラケズリ、ヘラミガキ		密 良好 内外黒色	10号土壙
5	土師 坏	12.4 4.4	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	11号土壙、P-1
6	土師 甕	17.8	ヘラケズリ		粗い 良好 黄褐色	10号土壙
7	土師 壺	21.6	ヘラケズリ ハケメ		密 良好 褐色	11号土壙

番号	器種	法量 (cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
グリット 1	須恵器 坏	(口)14.4 (高)5.05 (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)青灰色	P 33 521+70N1
2	須恵器 坏	12.4 4.5			緻密 良好 灰白色	521+65N2
3	須恵器 坏	9.8			緻密 良好 灰白色	P-6 522+05N1
4	須恵器 坏	9.4			緻密 良好 青灰色	522+85N4
5	須恵器 蓋	11.2			緻密 良好 灰白色	521+50N3
6	須恵器 蓋	10.4			緻密 良好 灰白色	P-1 522+15S2
7	須恵器 蓋	10.6			緻密 良好 青灰色	523+00S3
8	須恵器 蓋	11.4			緻密 良好 灰白色	P-9 521+70S1
9	須恵器 坏	14.0 4.0			緻密 良好 灰白色	521+70N
10	須恵器 高坏	10.4			緻密 良好 青灰色	522+15S7
11	須恵器 蓋	11.6			緻密 良好 灰白色	522+85N5
12	須恵器 蓋				緻密 良好 青灰色	521+90N4
13	須恵器 蓋	14.0 4.0			緻密 良好 灰白色	522+85N4
14	須恵器 蓋	13.8			緻密 良好 灰白色	522+85N4
15	須恵器 蓋	11.6			緻密 良好 灰白色	522+80S5
16	須恵器 蓋	14.0			緻密 良好	521+65N3
17	須恵器 蓋				緻密 良好 灰白色	521+85N4
18	須恵器 蓋	15.6			緻密 良好 灰白色	522+20S5
19	須恵器 蓋	23.5			密 良好 青灰色	P-38 521+70N2

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
20	須恵器 蓋	(口)13.8 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)青灰色	521+85N5
21	須恵器 坏	11.8			緻密 良好 灰白色	522+15
22	須恵器 長頸壺	8.2			緻密 良好 青灰色	P-1 522+15S7
23	須恵器 長頸壺				緻密 良好 灰白色	P-4 522+55S1
24	灰釉 台付埦	9.2			緻密 良好 灰白色	522+85N5
25	灰釉 台付埦	9.2			緻密 良好 灰白色	P-4 522+10S6
26	須恵器 短頸壺	10.0			緻密 良好 青灰色	521+10N
27	灰釉 台付埦	11.8			緻密 良好 灰白色	522+85N4
28	須恵器 壺	21.8			緻密 良好 灰白色	522+15S4
29	須恵器 壺	20.0			緻密 良好 灰白色	P-7 522+10S7
30	須恵器 壺	12.2			緻密 良好 灰白色	522+15S4
31	須恵器 甕	39.0	波状沈線あり		緻密 良好 青灰色	522+85N5
32	須恵器 壺	21.0			緻密 良好 灰白色	521+35N2
33	灰釉 台付坏	10.6 2.1 5.6			緻密 良好 灰白色	521+90N5
34	灰釉 台付坏	5.0			緻密 良好 灰白色	521+90N5
その他 出土土器 1	土師 埦	16.4	ヘラケズリ ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	523+00S3
2	土師 埦	15.2 6.2 4.0	ヘラケズリ ヘラケズリ		緻密 良好 赤褐色	521+85N5
3	土師 坏	11.5 4.55			密 良好 赤褐色	521+35N5
4	土師 高坏	21.8			密 良好 茶褐色	521+70S2

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
5	土師 特殊器台	(口) (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)茶褐色	522+70S2
6	土師 高坏	24.6			密 良好 茶褐色	P-3 521+70S1
7	土師 壺	26.2			粗い 良好 茶褐色	521+95S1
8	土師 壺	18.0			やや粗い 良好 明褐色	522+95J2
9	土師 台付甕	11.6	ハケメ ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	521+60N5
10	土師 台付甕	14.4	ハケメ 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	P-4 521+70N1
11	土師 台付甕	11.0	ハケメ ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	521+70N1
12	土師 台付甕	14.0	ハケメ 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	P-15 522+15N1
13	土師 台付甕	15.0	ハケメ		やや粗い 良好 黄茶褐色	521+75N4
14	土師 台付甕	21.2	ハケメ 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	P-1 522+15N1
15	土師 台付甕	15.0	ハケメ ヘラケズリ		密、金雲母含む 良好 暗褐色	522+605-7
16	土師 台付甕	16.0	ハケメ ヘラケズリ		密、金雲母含む 良好 暗褐色	522+605-7
17	土師 壺	27.4			粗い 良好 黄褐色	522+70S2
18	土師 坏	11.8	ヘラケズリ ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	P-22 522+20S6
19	土師 坏	13.0	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-20 522+20S6
20	土師 坏	11.6 3.95	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	521+80N2
21	土師 坏	12.4 4.45	ヘラケズリ ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	521+70N2
22	土師 坏	10.7	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	522+85S3
23	土師 坏	11.7 4.0	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	521+40N3

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
24	土師 坏	(口)13.4 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)茶褐色	521+95S1
25	土師 坏	13.8 3.4	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	521+5N5
26	土師 坏	11.8 3.65	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	522+95S2
27	土師 坏	14.4	ヘラケズリ		粗い 良好 茶褐色	520+80
29	土師 坏	10.8	ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	521+65N2
30	土師 坏	12.8	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色(内)丹塗り	521+5N5
31	土師 坏	13.0 3.5 5.2			密 良好 灰白色	522+10N2
32	土師 坏	13.0			密 良好 茶褐色	521+20N1
33	土師 高坏	13.7			密 良好 暗褐色	523+00N3
34	土師 坏	8.4			密 良好 茶褐色	521+95S1
35	土師 高坏		ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	521+70S2
36	土師 埦	8.8	ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色(内)黒色	522+95S2
37	土師 鉢	18.0	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	522+95S2
38	土師 甕	17.2			粗い 良好 黄褐色	522+85S4
39	土師 手捏	5.3 3.9 5.2	指頭痕 指頭痕	木葉痕	やや粗い 良好 茶褐色	P.6 521+70S1
40	土師 手捏	4.8 4.3 4.2	ヘラケズリ 指頭痕		粗い 良好 茶褐色	522+10N2
41	土師 手捏	3.2 2.2 2.9	指頭痕		粗い 良好 茶褐色	521+85N5
42	土師 手捏		ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	521+60N1

番号	器種	法量 (cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
43	土師 手捏	(口) (高) (底)4.0	(外)指頭痕 (内)ハケメ	(外) (内)	(胎)粗い (焼)良好 (色)暗褐色	521+60N1
44	土師 手捏	3.4	指頭痕		密 良好 暗褐色	521+85N5
45	土師 手捏	2.8 2.1	ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	521+10N4
46	土師 手捏	2.9 3.1	指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	521+90N3
47	土師 手捏	4.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	521+90N4
48	土師 手捏	4.2 3.1 3.4	ヘラケズリ 指頭痕		粗い 良好 茶褐色	521+90N3
49	土師 手捏	4.2 2.9 3.1			やや粗い 良好 茶褐色	521+90N3
50	土師 手捏	2.9	ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	521+90N4
51	土師 手捏	3.3 2.45 2.8	ヘラケズリ 指頭痕		密 良好 茶褐色	521+80N5
52	土師 手捏	4.8	指頭痕		粗い 良好 茶褐色	523+00S3
53	土師	5.5	ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	522+55
54	土師 小型甕	10.0 9.1 2.6	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	521+70N4
55	土師 甕	16.0	ハケメ ヘラケズリ		粗い 良好 茶褐色	P-54 521+75N2
56	土師 甕	26.8 27.4	ハケメ、ヘラケズリ ハケメ、ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色	522+15S2
57	土師 甕	16.0	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	521+70N4
58	土師 甕	17.8 28.6 8.0	ヘラケズリ		粗い 良好 茶褐色	
59	土師 甕	19.3	ハケメ		粗い 良好 茶褐色	523+5S3
60	須恵器 甕	19.8	タタキ目 ヘラケズリ		密 良好 黄褐色	521+90N4
61	須恵器 壺	9.0			緻密 良好 青灰色	522+15S7

番号	器種	法量 (cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
62	須恵器 甕	(口)22.0 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)灰白色	522+10N1 P-2
63	土師 甕	17.2	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	521+85N52
64	土師 甕	16.8	ハケメ ハケメ、ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	
65	土師 坏	13.2 3.4			緻密 良好 茶褐色	520+45S3
66	土師 坏	15.0 3.4 10.2		ヘラケズリ	密 良好 茶褐色	P-32 521+75N2
67	土師 坏	14.0 2.4 9.6		ヘラケズリ	密 良好 茶褐色	P-29 521+75N
68	土師 坏	14.6			緻密 良好 茶褐色	521+90N4
69	土師 坏	16.8 6.6 10.6	暗文		緻密 良好 茶褐色	521+90N4
70	土師 坏	9.8			緻密 良好 茶褐色	521+90N4
71	土師 坏	13.9			緻密 良好 黄褐色	520+90N4
72	土師 坏	11.0			密 良好 丹塗り	521+75S2
73	土師 坏	12.8 3.9 6.8			緻密 良好 茶褐色	521+9N4
74	土師 坏	11.6 4.1 5.8			密 良好 赤褐色	521+5N5
75	土師 坏	3.9		ヘラケズリ	緻密 良好 茶褐色	521+90N4
76	土師 坏	13.2 3.4			緻密 良好 茶褐色	520+45S3
77	土師 坏	11.6 2.7 5.6	横ナデ	回転糸切り	密 良好 茶褐色	P-8 521+75S1
78	土師 坏	10.8 3.1 4.8	横ナデ	回転糸切り	密 良好 茶褐色	520+24S4
79	土師 坏	11.0 2.9 5.2	横ナデ	回転糸切り	密 良好 茶褐色	P-1 521+75S1
80	土師 坏	10.8 3.4 4.6	横ナデ	回転糸切り	密 良好 茶褐色	521+90N5

番号	器種	法量 (cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
81	土師 坏	(口)8.8 (高)2.5 (底)4.4	(外)横ナデ (内)	(外)回転糸切り (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)暗褐色	517+20フク土
82	土師 高坏		ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	521+90N4
83	土師 鉢	38.0	ハケメ ハケメ		粗い 良好 茶褐色	522+15S7

第2表　紡錘車、玉、土錘、他観察表（第291図）

No.	品名	出土地点	法量 縦	法量 横	法量 厚	重量	材質
1	紡錘車	33住居	3.4	3.4	1.6	7.2g	土製品
2	〃	78住居	3.3	3.2	2.2	29.3	〃
3	〃	82住居	3.6	4.1	3.5	55.0	〃
4	〃	86住居	4.3	4.3	1.7	56.3	緑色片岩
5	〃	110住居	3.4	3.5	1.6	33.6	滑石片岩
6	〃	114住居	3.3	3.5	1.6	10.8	土製品
7	〃	131住居	—	4.0	2.3	20.3	〃
8	〃	139住居	5.9	5.7	3.3	144.5	〃
9	〃	521+35 N 2	—	4.6	1.6	17.8	〃
10	臼玉	49住居	1.2	1.2	0.2	0.5	滑石
11	〃	49住居	1.2	1.2	0.3	0.5	〃
12	〃	114住居	1.1	1.1	0.4	0.9	〃
13	〃	522+20 N 3	0.7	0.7	0.5	0.4	〃
14	土玉	521+65	0.9	0.9	0.9	0.6	土製品
15	〃	8住居	0.8	0.8	0.8	0.5	〃
16	〃	118住居	0.9	0.8	0.8	0.4	〃
17	〃	114住居	0.6	0.6	1.0	0.4	〃
18	〃	〃	1.0	1.0	0.9	0.7	〃
19	〃	521+45	0.8	0.8	0.7	0.3	〃
20	〃	522+20	0.8	0.8	0.8	0.5	〃
21	〃	522+10	1.0	1.0	0.9	0.9	〃
22	〃	522+05	0.8	0.9	0.8	0.5	〃
23	〃	108住居	1.1	1.4	1.0	1.3	〃
24	〃	133住居	1.1	1.2	1.0	1.3	〃
25	〃	19住居	1.5	1.5	1.5	2.8	〃
26	〃	〃	1.6	1.6	1.4	2.8	〃
27	〃	83住居	1.9	1.7	1.6	4.0	〃
28	〃	522 + 10	1.5	1.6	1.5	3.2	〃
29	土玉	522+05	1.9	2.0	1.5	4.5g	土製品
30	〃	40住居	1.8	1.9	1.7	3.0	〃
31	〃	〃	1.9	2.2	1.9	6.2	〃
32	〃	〃	2.1	2.0	2.0	6.2	〃
33	〃	49住居	1.8	1.8	1.8	5.0	〃
34	〃	〃	1.9	2.3	1.8	6.6	〃
35	〃	522+05 N 2	1.8	1.8	1.6	3.8	〃
36	〃	522+00 N 1	1.6	1.7	1.5	3.7	〃
37	〃	522+00	2.2	—	1.9	4.5	〃
38	〃	521+95 S 1	1.1	1.1	1.0	1.1	〃
39	〃	118住居	1.7	—	1.3	2.4	〃
40	〃	136住居	1.4	1.4	1.3	2.1	〃
41	〃	522+05	1.6	1.5	1.5	3.0	〃
42	土鈴	41住居	約3.5	2.9	—	21.6	〃
43	土玉	40住居	—		—	3.2	〃
44	管玉	26住居	2.9	～	1.0	2.9	ヒスイ
45	〃	25住居	2.7	～	1.2	3.5	〃
46	〃	26住居	2.2	～	0.7	0.9	〃
47	棒状土製品	122住屈	6.0	～	1.8	17.4	土製品
48	〃	114住居	3.7	～	1.5	5.1	〃
49	〃	122住居	4.4	～	2.4	25.9	〃
50	勾玉	111住居	4.0	2.7	0.6	10.5	滑石
51	〃	表採	2.2	1.55	0.6	2.8	〃

第3表　住居出土鉄製品観察表（第292・293図）

No.	出土遺構	種　類	長　さ	摘　要	No.	出土遺構	種　類	長　さ	摘　要
1	2住居	鎌	9.1		24	73住居	刀　子	6.6	
2	3住居	工　具	9.0		25	78住居	鋲	3.3	
3	〃	刀　子	6.6		26	80住居	刀　子	4.4	
4	〃	工　具	2.6		27	81住居	工　具	14.1	
5	4住居	刀　子	4.4		28	93住居	刀　子	7.9	
6	〃	工　具	8.6		29	99住居	鎌	7.8	
7	25住居	〃	4.1		30	101住居	刀　子	14.6	
8	27住居	く　ぎ	13.5		31	〃	〃	11.3	
9	〃	工　具	4.8		32	114住居	扁平鉄製品	3.1	
10	〃	く　ぎ	1.9		33	129住居	刀　子	15.8	
11	29住居	鉄　鏃	12.1		34	〃	〃	5.6	
12	〃	工　具	3.5		35	〃	〃	6.5	
13	28住居	〃	7.9		36	〃 F2	工　具	4.0	
14	36住居	刀　子	7.3		37	〃 F3		2.8	
15	42住居	〃	5.2		38	522+30	く　ぎ	7.6	
16	48住居	〃	6.8		39	131住居	工　具	7.6	
17	49住居	鎌	5.9		40	〃	扁平鉄製品	2.6	
18	〃	〃	1.6		41	〃	〃	1.9	
19	56住居	しめ具	3.3		42	〃	〃	1.9	
20	60住居	鎌	7.2		43	63住居	鉄　鏃	7.7	
21	〃	刀　子	5.8		44	〃	刃　子	5.3	
22	63住居	工　具	9.8		45	80住居	鎌	11.2	
23	69住居	お　の	15.0						

第4表　石器類観察表（第294図～第301図）

番号 図	番号 No.	遺構	器種	法量 (cm) 長	法量 (cm) 巾	法量 (cm) 厚	材質	摘要（重さ）
1	1	14住	打製石斧	4.9	4.5	0.9	点紋粘板岩	
	2	14住	打製石斧	9.3	4.8	1.1	〃	
	3	49住	打製石斧	7.6	4.9	1.5	〃	
	4	71住	打製石斧	9.4	3.35	1.0	粘板岩	
	5	72住フク土	打製石斧	7.6	3.5	1.1	点紋粘板岩	
	6	101住	打製石斧	10.2	5.9	1.5	〃	
	7	126住	打製石斧	9.6	6.2	1.9	粘板岩	
	8	30住	打製石鏃	5.3	3.2	0.7	チャート	
	9	521＋40N4	打製石鏃	2.0	1.9	0.4	黒曜石	
	10	522＋10N1	打製石鏃	2.0	1.0	0.3	〃	
	11	17住	砥石	10.8	8.9	4.6	細粒砂岩	
	12	36住	砥石	5.7	3.0	2.6	凝灰岩	
	13	62住	砥石	4.5	1.9	2.0	〃	
	14	74住	砥石	7.3	3.2	1.5	〃	
	15	72住	砥石	4.5	5.1	3.4	〃	
	16	55住	砥石	4.4	2.0	1.6	シルト岩	
	17	96住	砥石	3.8	2.5	2.0	凝灰岩	
2	18	61住	砥石	23.4	9.7	6.7	砂岩	3面砥石
	19	63住	砥石	13.3	10.1	3.3	〃	
	20	92住カマド内	すり石	10.7	8.6	3.8	閃緑岩	
	21	70住	砥石	11.0	4.5	4.5	凝灰岩	
	22	142住	砥石	2.6	2.6	2.6	砂岩	
3	1	48住	かまど支脚	22.0	7.6	7.2	花崗岩類	1.5 kg
	2	54住	かまど支脚	22.0	7.3	7.0	〃	1.7 kg
	3	56住	かまど支脚	23.1	7.5	6.2	〃	1.48 kg
	4	61住	かまど支脚	23.6	6.7	8.6	〃	2.1 kg
	5	62住	かまど支脚	22.3	7.2	6.0	〃	1.57 kg
	6	63住	かまど支脚	20.3	9.1	5.5	〃	1.48 kg
4	7	72住	かまど支脚	24.0	7.6	6.1	〃	1.54 kg
	8	76住	かまど支脚	28.1	12.5	7.7	〃	3.5 kg
	9	114住	カマド支脚(I)	33.3	9.95	8.0	〃	4.26 kg
	10	114住	カマド支脚(II)	30.8	9.9	9.75	〃	3.35 kg
5	1	64住S—1	編石	15.4	8.6	5.1	花崗岩類	7.55 g
	2	64住S—2	編石	15.2	9.6	4.3	〃	890 g
	3	64住S—3	編石	15.1	8.2	5.5	〃	955 g
	4	64住S—4	編石	14.9	6.4	6.4	〃	760 g
	5	64住S—5	編石	14.1	8.2	5.2	〃	750 g
	6	64住S—6	編石	12.5	8.0	4.8	〃	610 g
	7	64住S—7	編石	14.1	6.5	6.9	〃	1,030 g
	8	60住S—7	編石	11.65	10.0	7.9	〃	1,310 g
	9	64住S—8	編石	12.4	9.5	4.8	〃	710 g
6	10	64住S—9	編石	12.7	7.9	4.9	〃	750 g
	11	64住S—10	編石	14.0	7.0	5.8	〃	630 g
	12	64住S—12	編石	15.0	8.7	5.3	〃	1,110 g
	13	64住S—13	編石	13.4	11.4	4.6	〃	1,050 g
	14	64住S—14	編石	12.7	10.1	4.9	〃	750 g
	15	64住S—17	編石	14.8	9.5	5.75	〃	960 g
	16	64住S—16	編石	13.0	6.6	8.2	〃	950 g
7	17	64住S—18	編石	13.2	9.25	6.3	〃	1.08 kg
	18	64住S—19	編石	12.5	7.3	5.4	〃	980 g
	19	64住S—20	編石	13.5	10.0	6.65	〃	1,100 g
	20	64住S—21	編石	11.7	8.35	7.0	〃	730 g
	21	64住S—11	編石	14.8	8.0	7.0	〃	1,000 g
	22	64住S—24	編石	14.4	7.8	5.5	〃	850 g
	23	30住S—2	編石	16.1	7.4	7.7	〃	1,150 g
	24	72住S—1	編石	14.3	6.1	3.8	〃	450 g
	25	102住	編石	17.4	5.0	5.1	〃	710 g
8	26	60住	編石	11.9	11.95	7.85	〃	1,450 g
	27	60住S—2	編石	12.0	6.1	4.95	〃	550 g
	28	60住S—3	編石	16.0	7.0	6.95	〃	1,220 g
	29	60住S—6	すり石	15.3	9.1	8.0	〃	1,550 g
	30	60住S—8	編石	12.0	7.55	4.0	〃	450 g
	31	60住S—5	編石	15.2	7.55	5.55	〃	750 g
	32	37住S—1	台石	24.1	20.3	7.4	閃緑岩	6.85 kg

第5表　住居地出土遺物数一覧

住居No.	土師器								須恵器						灰釉			鉄製品			紡錘車	玉	銙帯	その他特殊遺構
	坏	高坏	碗	鉢	甕	甑	羽釜	その他カマド	坏	蓋	高坏	壷	甕	その他	坏	甕	その他	カマ	刀子	その他				
2	4				3			ツボ1										1						
3	10	3		3	23	1		ツボ1											2	工具1				
4																			1	工具1				
5	1																							
6	5							ツボ1																
7	5				4	1																		
8	12				11	2		手捏1，ツボ1														土玉2		
9	2																							
10	3	1			4							1												骨
12					1			器台1																
13	8	1			3																			
14	1				2			ツボ3，手捏2																打製石斧2　骨
15	2				4																			
16	1																高台付碗						1	
17	4					1		ツボ3																砥石1
18					2																			
19	15	1			8			ツボ1，皿1														土玉2		
20	3		1		2																			
21					1				1															
22		1			3																			
23	6			2	5			ツボ1																
24	9				3			ツボ1																骨
25	5		1		2			ツボ1											1		1	管玉1		
26					1			ツボ1，器台1 坩1														管玉2		
27	3				3	1		ツボ2，小鉢1												工具1，くぎ2				
28	2							台付2，1												工具1				
29	2				1				4											鉄鏃1，工具1				骨

30	1	4			8			台付ガメ6 坩1，ツボ4																打製石鏃1　編石1
31	1							皿2																
32	3	1	1	1	3			1																
33	4			1		1		ツボ2，坩1												1				骨（歯）
34	15	2	1		5	1		ツボ3，支柱1																
35	16	5	2	2	10	1		円筒1，1	1															
36	6	7	2		4			ツボ1，1 手捏2											1					砥石1
37	1	2						1																台石1
38	18				1			2																
39	8																							砥石1
40	6	5	2		7			1，高台付碗1 円筒1														土玉4		
41		2						ツボ5，坩1，台付ガメ2																土鈴1
42	1							ツボ1		1									1					
43	1		1		1			手捏1，1																
44		1	1					2，ツボ4 台付ガメ2																
45	2	1																						
46	1							ツボ3，台付ガメ2																
47		1			1			ツボ2，手捏2， 台付ガメ1																
48	13	3	1	3	7			1，ツボ2，手捏1											1					かまど支脚1
49	3	3			3	1		ツボ3，円筒1										1		1		土玉4		打製石斧1，骨
50		1						3																
51	5	1		1	6			円筒1																
52	1			1	3	1		ツボ1，手捏1																
54	4				2			ツボ3																かまど支脚1
55	1	1			2	1																		砥石1
56	1		1		4															しめ具1				かまど支脚1
57	3	1	2	1	1			ツボ1																
58	1				3			ツボ1																
59		3				1		台付ガメ6 ツボ3																
60	5			1		2		1										1	1					編石6　すり石1

住居No.	土師器								須恵器						灰釉			鉄製品			紡錘車	玉	銙帯	その他特殊遺物
	坏	高坏	碗	鉢	甕	甑	羽釜	その他カマド	坏	蓋	高坏	壷	甕	その他	坏	甕	その他	カマ	刀子	その他				
61	10	6			3	3		ツボ2																砥石1　かまど支脚1
62	3	1	1	1	8			ツボ1,円筒1,1																砥石1　かまど支脚1
63	6	5	1	4		2		2	2											工具1				
64	4	3	3		7	2		円筒1	2					鏃1										編石21
65			1		2			1																
66		2		1				台付ガメ4 ツボ3,手捏1																
68	2							台付ガメ1,2,ツボ1,器台1																
69								ツボ1,台付メガ1												おの1				
70								ツボ3,器台1,台付ガメ3																砥石1
71	3	2													1									打製石斧1
72	5		1	1	4																			打製石斧1　編石1
73	3	1			4														1					砥石1　かまど支脚1
74	10	2			7			手捏1	1	1														砥石1
75	1	3			12																			
76	4				5				2															かまど支脚
77		2			1			台付ガメ2																
78	2	5			13	1		円筒1						1						鋲1				
79	5				1			蓋1																
80	10				10	1		台付埦											1					骨
81	5	4	1		6			円筒1	1											工具1				
82	3				5	3			1					ツボ1							1			
83	12	5	1	1	4			円筒1						ツボ1							1	土玉1		
84		1			10			2,台付ガメ2 ツボ1																
85		1						台付ガメ2,3																
86	3	1	2	1	6					1											1			
87	2	1			1																1			
88	2	1						台付ガメ2 ツボ1																
89		3						台付ガメ4																

90							台付土宛 1, 1																	
91	1						3,台付ガメ 2																	
92	6	3	2	2	9		2	1																すり石 1
93	13	3		2	2	1			2															
94						1																		
95					1		3																	
96		1			2		台付ガメ 1, ツボ1, 坩 1, 1																	砥石 1
97	1	1			2		台付ガメ 1																	
98	11	4	1	2	5	1																		骨
99	8	1		2	9		手捏 1	1	1								1							
100	9				4	2																		
101	6				3											皿 1, 台付塊 1		2						打製石斧 1
102	15	3	1	1	10	2	2																	編石 1
103	1						1, 坩 1 台付ガメ 1																	
104	2				7		円筒 2																	
105							ツボ 1																	
106	7		2	1	3	1	支脚 1, 手捏 1																	
107	8		2		3		ツボ 1, 2																	
108	9	6			1	6	1		1													土玉 1		
109	2			2	2		ツボ 1																	骨
110	3	1																			1			
111	4	1		1	10	1	1															勾玉 1		骨
112	3	1			2																			
113	8		1		5	1		1																骨
114	11	2	1		12	1	ツボ 1		1		1		長頸 ツボ1						平ペイ鉄1	1	土玉 3	3		棒状土製品 1, カマド支脚 2 骨
115		3			2		台付ガメ 2																	
116	5	1			4		手捏 1																	
117	2	1			3	1																		
118	1				1			1													土玉 1			骨（馬の歯）
119					1		ツボ 1	1								高坏 1								

住居No.	土師器								須恵器						灰釉			鉄製品			紡錘車	玉	銙帯	その他特殊遺物
	坏	高坏	碗	鉢	甕	甑	羽釜	その他カマド	坏	蓋	高坏	壷	甕	その他	坏	甕	その他	カマ	刀子	その他				
120					1			ツボ1																
121	2				1			手捏1																骨
122	9				2		1	蓋2																棒状土製品1, 馬の歯
123	1	1			4			台付坏2									緑釉1							
124	1				1																			
125	1				1																			
126	2		1		2																			打製石斧1　骨(馬の歯)
127								台付土宛1																
128	1																							
129	5	1			3			高台付坏											3	工具1 その他1				
130	2				1	2		手捏1						1										
131	10	7			5	2		無頸ツボ1												工具1 扁平鉄3	1			
132	1				5			手捏1																
133	2			1	3			手捏1	3															骨
134	13				2																			
135	1									1				2										
136	2				2			台付土埦1 高台付坏1														土玉1		
137	3				2					1														
138			1			1		1																
139					3		1														1			
140	1	1					1																	
141	4								1	1														
142	2				4			手捏1																砥石1

第6表　古墳出土土器観察表

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
1号墳 1	須恵器 坏	(口) 11.3 (高) 4.1 (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎) 密 (焼) 良好 (色) 青灰色	P－9
2	須恵器 蓋	14.0			緻密 良好 青灰色	P－18
3	土師 坏	10.8 3.85	ヘラケズリ、ヘラミガキ	ヘラミガキ	密 良好 茶褐色	P－27
4	土師 坏	11.8 3.1 5.4	ヘラミガキ	ヘラミガキ	密 良好 茶褐色	523＋15 S 2
5	土師 坏	13.6	ヘラケズリ		密 良好 (内外)丹塗り	523＋15 S 2
6	土師 坏	11.9 3.95 3.8	ヘラケズリ、横ナデ	回転糸切,周囲 ヘラケズリ	緻密 良好 暗褐色	
7	土師 鉢	16.0 6.3	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラミガキ ヘラミガキ	緻密 良好 茶褐色	
8	土師 鉢	16.8		ヘラケズリ ヘラミガキ	密 良好 暗褐色) 黒色	522＋15 S 2
9	土師 碗	11.6	ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	
10	土師 高坏	21.0	ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	
11	土師 手捏	3.3	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 茶褐色	P－5
2号墳 1	土師 坏	10.0			密 良好 茶褐色	
2	土師 坏	11.8	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	
3	土師 坏	12.6 4.2	横ナデ	回転糸切り	密 良好 茶褐色	
4	土師 坏	12.4 4.3	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い、砂粒含む 良好 茶褐色	P－1
5	須恵器 壷	16.0			緻密 良好 青灰色	P－22
6	須恵器 甕	10.8			緻密 良好 青灰色	P－20
7	須恵器 壷				緻密 良好 青灰色	P-18, 9, 7, 23 12 P-15, 27, 8

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
8	須恵器 坏	(口) 9.6 (高) 4.0 (底) 4.5	(外) ヘラケズリ (内)	(外)線刻あり (内)	(胎) 緻密 (焼) 良好 (色) 青灰色	P—19
9	須恵器 壷				緻密 良好 灰白色	P-3, 5, 21, 25
3号墳 1	土師 高坏	11.0 5.9 8.5	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	
2	須恵器				緻密 良好 灰白色	
3	土師				密 良好 褐色	
4	須恵器				密 良好 青灰色	
5	須恵器 壷				緻密 良好 灰白色	
6	土師 坏	11.4 3.4	ヘラケズリ		密 良好 褐色	
7	土師 坏	7.4 1.7 4.4			やや粗い 良好 褐色	
8	鉄釉	5.4 5.0 3.6			緻密 良好 茶色	
9	鉄釉 坏	7.3 1.6 3.7			緻密 良好 茶色	
10	鉄釉 坏	10.2 2.0 5.0			緻密 良好 茶色	
11	鉄釉	4.0			緻密 良好 茶色	
4号墳 1	須恵器 坏		ヘラケズリ、波状文あり		緻密 良好 青灰色	
2	土師 坏	10.8	ハケメ		やや粗い 良好 茶褐色	523+40 S 5
3	土師 甕	10.0			粗い 良好 暗褐色	P—14
4	土師 高台付坏	8.2			やや粗い 良好 茶褐色	
5	土師				密 良好 茶褐色	P—18
6	土師 坏	6.8		回転糸切り	やや粗い 良好 茶褐色	523+35 S 3

番号	器種	法量(cm)	調整		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
7	土師 壷	(口) (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎) やや粗い (焼) 良好 (色) 茶褐色	P－17
8	土師 壷	18.4	ヘラケズリ		やや粗い 良好 黄褐色	P－15
9	土師 壷	27.1			密 良好 黄褐色	P－7
10	灰釉 平瓶				緻密 良好 灰釉	

第7表　姥塚無名2・3・4号墳出土金環・玉類観察表

（単位 cm）

No.	品名	出土地点	法量			重量	材質
			縦	横	厚		
1	金環3	無名墳2	2.7	3.1	0.7	22.7 g	金属製
2	〃 1	〃	2.7	3.1	0.8	23.6 g	〃
3	〃 5	〃	3.1	3.4	1.0	34.0 g	〃
4	〃 4	〃	1.4	1.5	0.4	2.4 g	〃
5	〃 2	〃	1.4	1.5	0.4	2.2 g	〃
6	〃 6	〃	2.0	2.1	0.5	8.6 g	〃
7	〃 7	〃	2.0	2.1	0.4	8.1 g	〃
8	勾玉	〃	3.7	2.0	1.0		メノー
9	〃 4	〃	2.9	1.5	0.7		〃
10	〃	〃 床下	3.3	1.6	0.7		〃
11	〃	〃 床下	3.3	1.7	0.8		〃
12	〃 6	〃	2.8	1.7	0.7		〃
13	〃	〃 床下	3.0	1.7	0.7	5.7 g	〃
14	〃	〃	2.4	1.5	0.5		〃
15	〃	〃 床下	—	2.3	0.8	8.0 g	〃
16	〃 5	〃	1.8	1.3	0.7	2.28 g	〃
17	〃	〃	—	—	0.8	2.1 g	〃
18	管玉	〃	2.7	—	0.9		〃
19	〃	〃	2.5	—	0.9		〃
20	〃	〃	2.2	—	0.6		〃
21	〃	〃	2.1	—	0.8	2.6 g	ヒスイ
22	〃	〃	2.1	—	0.6	1.4 g	〃
23	〃	〃	1.4	—	0.5		〃
24	棗玉	〃 床下	1.6	—	1.4		水晶
25	切子玉	無名墳2	2.0	—	1.6		〃
26	〃	〃	1.6	—	1.5		〃
27	〃	〃	1.5	—	1.3		〃
28	〃	〃	1.6	—	1.3	2.93 g	〃
29	〃	〃	1.5	—	1.2	2.23 g	〃
30	金環13	無名墳3	3.1	3.4	0.9	32.7 g	金属製
31	〃 7	〃	3.0	3.3	0.9	26.7 g	〃
32	〃 11	〃	2.8	2.9	0.5	3.4 g	〃
33	〃 10	〃	1.3	1.4	0.3	2.3 g	〃
34	〃 1	無名墳4	2.2	2.3	0.5	11.2 g	〃

第8表　姥塚無名1・2・3号墳出土鉄製品観察表

No.	出土遺構	種　類	長さcm	備　考	No.	出土遺構	種　類	長さcm	備　考	No.	出土遺構	種　類	長さcm	備　考
1	無名墳1	錘	7.0		26	無名墳2	鉄　鏃	7.9		51	無名墳3	鉄　鏃	7.6	
2	〃	刀　子	7.6		27	〃	〃	11.4		52	〃	〃	7.4	
3	無名墳2	直　刀	28.7		28	〃	〃	4.8		53	〃	〃	5.9	
4	無名墳3	〃	25.7		29	〃	〃	5.7		54	〃	〃	15.7	
5	〃	〃	30.5		30	〃	〃	8.6		55	〃	〃	11.9	
6	無名墳2	刀　子	17.4		31	〃	〃	5.2		56	〃	〃	9.2	
7	〃	〃	13.6		32	〃	環状鉄製品	3.4		57	〃	〃	7.2	
8	〃	〃	6.9		33	〃	〃	3.1		58	〃	〃	11.5	
9	〃	〃	4.6		34	〃	楕円形鍔	4.2		59	〃	〃	9.0	
10	〃	鉄　鏃	14.0		35	〃	ヨロイ金具	4.2		60	〃	〃	11.6	
11	〃	〃	12.0		36	〃	〃	2.8		61	〃	〃	11.1	
12	〃	〃	13.8		37	〃	と　め　具	1.5		62	〃	〃	9.6	
13	〃	〃	8.4		38	〃	〃	1.8		63	〃	〃	14.4	
14	〃	〃	12.8		39	無名墳3	〃	8.0		64	〃	〃	14.4	
15	〃	〃	11.4		40	〃	刀　子	4.1		65	〃	〃	9.0	
16	〃	〃	13.3		41	〃	鉄　鏃	4.1		66	〃	〃	4.2	
17	〃	〃	11.3		42	〃	〃	11.2		67	〃	〃	4.2	
18	〃	〃	13.2		43	〃	〃	7.8		68	〃	〃	9.1	
19	〃	〃	11.1		44	〃	〃	4.8		69	〃	〃	11.0	
20	〃	〃	11.1		45	〃	〃	11.0		70	〃	〃	10.0	
21	〃	〃	10.6		46	〃	〃	7.7		71	〃	〃	10.1	
22	〃	〃	12.6		47	〃	〃	2.5		72	〃	〃	6.5	
23	〃	〃	14.2		48	〃	〃	3.2		73	〃	〃	8.0	
24	〃	〃	11.5		49	〃	〃	4.8		74	〃	〃	5.7	
25	〃	〃	7.3		50	〃	〃	4.3						

第9表　姥塚無名2号墳出土玉類観察表

（単位 mm）

No.	質	色	径	厚	重(g)	No.	質	色	径	厚	重(g)
1	ガラス	青	7.2	5.5	0.47	33	ガラス	青	4.0	2.0	0.03
2	〃	〃	8.0	6.0	0.59	34	〃	〃	4.0	2.0	0.03
3	〃	〃	7.0	4.5	0.35	35	〃	〃	4.0	2.0	0.04
4	〃	〃	7.5	5.0	0.37	36	〃	〃	3.8	2.0	0.03
5	〃	〃	6.5	3.5	0.21	37	〃	〃	4.0	2.8	0.04
6	〃	〃	6.9	5.2	0.12	38	〃	〃	3.5	3.5	0.04
7	〃	黒	7.0	4.2	0.18	39	〃	黄	4.0	2.0	0.04
8	〃	青	7.3	4.9	0.23	40	〃	〃	4.0	2.5	0.04
9	〃	〃	8.0	3.2	0.25	41	〃	青	4.0	3.0	0.05
10	〃	〃	6.9	4.3	0.14	42	〃	黄	4.1	2.2	0.05
11	〃	〃	6.9	4.2	0.14	43	〃	青	4.2	1.5	0.03
12	〃	〃	6.3	5.0	0.15	44	〃	〃	4.2	3.0	0.05
13	〃	〃	7.2	4.5	0.12	45	〃	黄	3.5	2.1	0.04
14	〃	〃	6.1	4.2	0.09	46	〃	青	4.5	2.9	0.06
15	〃	〃	4.2	3.7	0.05	47	〃	〃	4.0	3.5	0.05
16	〃	〃	4.1	2.9	0.03	48	〃	〃	4.0	3.0	0.07
17	〃	〃	3.5	2.6	0.03	49	〃	〃	4.8	3.3	0.04
18	〃	〃	3.2	1.8	0.03	50	〃	〃	4.2	2.7	0.05
19	〃	〃	3.8	2.2	0.04	51	〃	〃	4.4	2.9	0.05
20	〃	〃	4.5	3.5	0.07	52	〃	〃	4.4	2.8	0.04
21	〃	〃	4.5	2.9	0.07	53	〃	〃	4.1	3.3	0.04
22	〃	〃	3.9	3.0	0.08	54	〃	〃	4.2	2.9	0.04
23	〃	黄	4.2	2.5	0.05	55	〃	〃	4.1	2.8	0.04
24	〃	青	4.5	4.0	0.06	56	〃	〃	4.0	2.6	0.04
25	〃	〃	5.0	2.0	0.08	57	〃	〃	4.0	2.9	0.03
26	〃	〃	5.0	1.2	0.07	58	〃	〃	3.8	2.6	0.03
27	〃	黄	4.8	2.5	0.04	59	〃	〃	4.8	2.1	0.03
28	〃	青	5.0	2.0	0.06	60	〃	〃	4.2	3.0	0.06
29	〃	〃	5.0	2.8	0.06	61	〃	〃	4.1	3.2	0.06
30	〃	〃	5.0	3.0	0.09	62	〃	〃	5.0	3.0	0.05
31	〃	緑	4.1	2.2	0.10	63	〃	黄	4.1	2.2	0.03
32	〃	青	4.0	2.8	0.03	64	〃	青	4.3	2.9	0.05

No.	質	色	径	厚	重(g)	No.	質	色	径	厚	重(g)
65	ガラス	青	4.2	2.0	0.04	98	ガラス	青	4.5	2.5	0.06
66	〃	〃	3.8	2.0	0.03	99	〃	〃	4.0	2.3	0.05
67	〃	〃	3.8	2.0	0.03	100	〃	〃	4.5	2.5	0.06
68	〃	〃	4.2	2.2	0.04	101	〃	〃	4.5	2.3	0.05
69	〃	〃	4.0	2.0	0.02	102	〃	〃	4.0	2.3	0.05
70	〃	〃	4.0	3.0	0.04	103	〃	〃	4.0	2.5	0.05
71	〃	黄	3.8	3.0	0.03	104	〃	〃	4.0	2.5	0.05
72	〃	青	3.5	3.2	0.04	105	〃	〃	4.1	2.0	0.05
73	〃	〃	3.2	3.0	0.02	106	〃	〃	3.8	3.2	0.06
74	〃	〃	3.5	3.2	0.02	107	〃	〃	4.0	2.5	0.05
75	〃	黄	3.4	1.8	0.02	108	〃	〃	3.8	2.5	0.05
76	〃	青	3.5	2.0	0.02	109	〃	〃	4.2	2.3	0.06
77	〃	〃	3.2	2.0	0.02	110	〃	〃	4.0	2.0	0.05
78	〃	〃	3.1	2.0	0.02	111	〃	〃	4.2	2.2	0.05
79	〃	〃	3.0	2.0	0.02	112	〃	〃	4.2	2.3	0.05
80	〃	〃	4.0	2.0	0.04	113	〃	〃	4.0	2.0	0.04
81	〃	緑	4.0	1.8	0.03	114	〃	〃	4.0	2.0	0.04
82	〃	青	4.5	3.0	0.06	115	〃	〃	3.8	2.0	0.05
83	〃	〃	6.5	5.0	0.23	116	〃	〃	3.8	2.0	0.04
84	〃	黒	7.3	3.0	0.13	117	〃	〃	4.0	2.3	0.04
85	〃	青	6.2	4.2	0.19	118	〃	〃	3.8	2.3	0.04
86	〃	〃	6.0	3.5	0.18	119	〃	〃	3.7	2.2	0.03
87	〃	〃	5.0	3.0	0.08	120	〃	〃	3.7	2.0	0.03
88	〃	〃	5.0	3.2	0.06	121	〃	〃	3.8	2.2	0.03
89	〃	〃	4.5	3.0	0.06	122	〃	〃	4.0	2.0	0.03
90	〃	〃	4.8	3.2	0.08	123	〃	〃	3.8	2.0	0.03
91	〃	〃	4.5	3.0	0.06	124	〃	〃	3.6	1.8	0.02
92	〃	〃	4.2	2.3	0.05	125	〃	〃	3.8	1.8	0.02
93	〃	〃	4.5	3.2	0.05	126	〃	〃	3.5	1.7	0.02
94	〃	〃	4.5	3.0	0.06	127	〃	〃	3.5	1.7	0.02
95	〃	〃	4.9	2.5	0.05	128	〃	〃	3.3	1.8	0.02
96	〃	〃	5.0	2.7	0.06	129	〃	〃	3.5	1.8	0.02
97	〃	〃	4.5	2.8	0.06	130	〃	〃	3.2	2.0	0.02

No.	質	色	径	厚	重(g)	No.	質	色	径	厚	重(g)
131	ガラス	青	3.5	2.0	0.03	164	ガラス	青	4.0	2.3	0.02
132	〃	〃	3.5	1.9	0.03	165	〃	〃	4.0	2.4	0.03
133	〃	〃	5.2	3.1	0.07	166	〃	黒	12.0	9.0	2.15
134	〃	〃	5.0	3.2	0.07	167	〃	青	7.3	4.0	0.18
135	〃	〃	4.1	3.3	0.07	168	〃	〃	6.3	6.0	0.26
136	〃	〃	4.8	3.2	0.06	169	〃	〃	6.5	5.5	0.25
137	〃	〃	4.5	2.9	0.06	170	〃	〃	6.0	6.0	0.27
138	〃	〃	4.8	3.3	0.05	171	〃	〃	6.2	5.4	0.22
139	〃	〃	5.0	2.9	0.06	172	〃	〃	6.5	3.2	0.18
140	〃	〃	5.1	3.0	0.05	173	〃	〃	6.1	3.0	0.18
141	〃	〃	4.1	3.4	0.05	174	〃	〃	6.0	4.5	0.18
142	〃	〃	4.8	3.8	0.05	175	〃	〃	6.2	3.0	0.15
143	〃	〃	4.9	3.3	0.06	176	〃	〃	5.6	4.0	0.19
144	〃	〃	5.0	3.0	0.05	177	〃	〃	6.0	4.3	0.18
145	〃	〃	4.1	3.3	0.04	178	〃	〃	5.5	2.9	0.13
146	〃	〃	4.8	3.2	0.05	179	〃	〃	5.6	3.1	0.16
147	〃	〃	4.2	3.1	0.05	180	〃	〃	6.0	3.1	0.15
148	〃	〃	4.8	3.4	0.05	181	〃	〃	4.5	3.0	0.08
149	〃	〃	4.5	3.3	0.05	182	〃	〃	5.0	3.0	0.08
150	〃	〃	4.8	3.0	0.05	183	〃	〃	4.5	2.5	0.07
151	〃	〃	4.5	2.3	0.04	184	〃	〃	4.6	2.8	0.07
152	〃	〃	4.3	3.5	0.05	185	〃	〃	4.2	3.0	0.06
153	〃	〃	4.5	2.8	0.05	186	〃	〃	4.1	3.0	0.06
154	〃	〃	4.5	2.8	0.05	187	〃	〃	4.2	3.1	0.06
155	〃	〃	4.2	3.0	0.05	188	〃	〃	4.3	2.2	0.06
156	〃	〃	5.0	3.0	0.06	189	〃	〃	4.2	3.0	0.06
157	〃	〃	3.9	2.8	0.03	190	〃	〃	4.0	3.0	0.06
158	〃	〃	3.3	2.8	0.04	191	〃	〃	4.5	3.0	0.07
159	〃	〃	3.8	2.6	0.04	192	〃	〃	4.0	3.0	0.07
160	〃	〃	3.8	2.3	0.02	193	〃	〃	4.3	2.9	0.06
161	〃	〃	3.3	2.0	0.02	194	〃	〃	4.5	3.0	0.06
162	〃	〃	3.8	1.9	0.02	195	〃	〃	4.0	3.0	0.06
163	〃	〃	3.5	2.0	0.03	196	〃	〃	4.5	3.0	0.06

No.	質	色	径	厚	重(g)	No.	質	色	径	厚	重(g)
197	ガラス	青	4.5	2.5	0.06	230	ガラス	青	4.5	2.3	0.05
198	〃	〃	4.0	3.0	0.06	231	〃	〃	4.7	2.7	0.05
199	〃	〃	4.2	2.5	0.06	232	〃	〃	4.3	2.8	0.05
200	〃	〃	4.0	2.5	0.06	233	〃	〃			
201	〃	〃	4.0	2.5	0.06	234	〃	〃	4.3	3.0	0.05
202	〃	〃	4.0	2.5	0.07	235	〃	〃	4.3	2.7	0.05
203	〃	〃	4.0	2.4	0.05	236	〃	〃	4.0	2.5	0.05
204	〃	〃	4.2	2.1	0.06	237	〃	〃	4.1	2.3	0.05
205	〃	〃	4.0	2.0	0.06	238	〃	〃	4.2	2.5	0.06
206	〃	〃	4.0	2.5	0.06	239	〃	〃	4.0	2.3	0.05
207	〃	〃	4.0	2.1	0.05	240	〃	〃	3.8	2.0	0.05
208	〃	〃	3.8	2.2	0.05	241	〃	〃	4.0	2.7	0.05
209	〃	〃	4.5	2.0	0.05	242	〃	〃	4.0	3.2	0.05
210	〃	〃	4.0	2.5	0.06	243	〃	〃	4.2	2.1	0.05
211	〃	〃	3.5	3.0	0.05	244	〃	〃	4.1	2.8	0.05
212	〃	〃	3.5	2.2	0.05	245	〃	〃	4.0	2.8	0.05
213	〃	〃	3.1	2.0	0.04	246	〃	〃	4.0	2.8	0.05
214	〃	〃	3.1	2.0	0.03	247	〃	〃	4.0	3.0	0.05
215	〃	〃	3.8	2.2	0.02	248	〃	〃	4.0	2.8	0.06
216	〃	〃	3.9	2.4	0.02	249	〃	〃	4.0	2.8	0.05
217	〃	〃	6.3	5.5	0.20	250	〃	〃	4.0	2.8	0.05
218	〃	〃	6.5	4.3	0.20	251	〃	〃	4.0	2.5	0.05
219	〃	〃	5.8	4.2	0.17	252	〃	〃	4.0	2.5	0.05
220	〃	〃	6.2	4.3	0.21	253	〃	〃	4.0	2.0	0.04
221	〃	〃	5.5	4.2	0.13	254	〃	〃	3.5	2.3	0.03
222	〃	〃	4.7	3.0	0.08	255	〃	〃	3.7	2.3	0.04
223	〃	〃	4.8	3.2	0.08	256	〃	〃	3.8	4.0	0.03
224	〃	〃	5.0	2.5	0.06	257	〃	〃	3.5	2.3	0.03
225	〃	〃	4.7	2.5	0.05	258	〃	〃	3.8	2.0	0.02
226	〃	〃	4.5	3.0	0.06	259	〃	〃	3.8	2.5	0.03
227	〃	〃	4.8	3.3	0.08	260	〃	〃	3.5	2.2	0.03
228	〃	〃	4.8	2.8	0.06	261	〃	〃	3.5	2.3	0.03
229	〃	〃	4.3	2.2	0.04	262	〃	〃	3.5	2.0	0.03

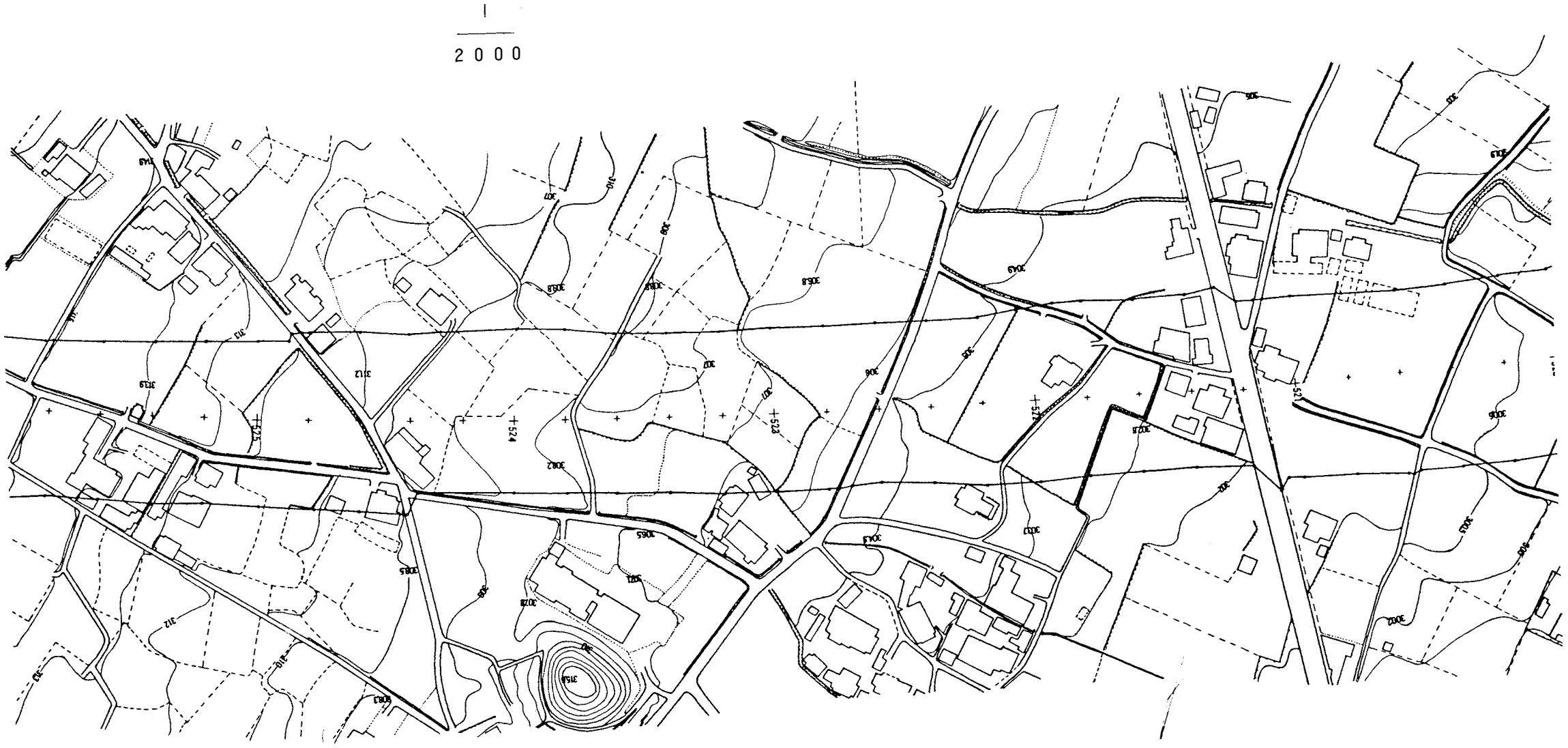
No.	質	色	径	厚	重(g)	No.	質	色	径	厚	重(g)
263	ガラス	青	3.3	2.0	0.03	290	ガラス	青	4.0	2.8	0.07
264	〃	〃	3.5	1.8	0.03	291	〃	〃	4.5	3.0	0.07
265	〃	〃	3.5	2.0	0.03	292	〃	〃	5.0	2.8	0.06
266	〃	〃	3.3	1.8	0.02	293	〃	〃	4.0	2.5	0.06
267	〃	〃	4.0	4.5	0.27	294	〃	〃	4.0	3.0	0.07
268	〃	〃	6.5	4.2	0.20	295	〃	〃	4.0	2.9	0.06
269	〃	〃	6.0	4.0	0.19	296	〃	〃	4.0	2.9	0.06
270	〃	〃	5.0	2.8	0.08	297	〃	〃	4.0	2.0	0.06
271	〃	〃	4.3	3.0	0.06	298	〃	〃	3.8	2.5	0.07
272	〃	〃	4.5	2.5	0.06	299	〃	〃	4.2	2.9	0.05
273	〃	〃	4.0	3.2	0.07	300	〃	〃	4.0	2.0	0.04
274	〃	〃	4.5	2.7	0.06	301	〃	〃	4.5	3.0	0.06
275	〃	〃	4.5	3.0	0.06	302	〃	〃	4.5	2.5	0.05
276	〃	〃	4.5	3.0	0.06	303	〃	〃	4.0	2.7	0.04
277	〃	〃	4.0	3.0	0.06	304	〃	〃	4.3	2.7	0.05
278	〃	〃	4.5	2.5	0.07	305	〃	〃	4.0	2.5	0.05
279	〃	〃	4.5	2.8	0.07	306	〃	〃	4.0	2.3	0.05
280	〃	〃	4.7	3.0	0.07	307	〃	〃	3.8	2.0	0.03
281	〃	〃	4.5	3.0	0.07	308	〃	〃	3.5	2.0	0.02
282	〃	〃	4.0	2.8	0.07	309	〃	〃	3.8	2.0	0.03
283	〃	〃	4.5	3.0	0.07	310	〃	〃	3.2	2.0	0.03
284	〃	〃	4.5	2.3	0.06	311	〃	〃	3.5	2.2	0.03
285	〃	〃	4.5	2.5	0.06	312	〃	〃	3.7	2.2	0.03
286	〃	〃	4.0	3.0	0.07	313	〃	〃	3.8	2.0	0.03
287	〃	〃	4.0	2.2	0.06	314	〃	〃	3.3	2.0	0.02
288	〃	〃	4.3	3.0	0.07	315	〃	〃	3.5	2.0	0.03
289	〃	〃	4.0	2.8	0.07	316	〃	〃	3.5	2.5	0.03

第10表　姥塚遺跡住居時期一覧

住居址番号	時期	住居址番号	時期
1	古墳時代末期Ⅲ	33	古墳時代後期1
2	〃　後期2	34	〃　末期Ⅰ
3	〃　末期Ⅰ	35	〃　末期Ⅰ
4	不明	36	〃　末期1
5	〃　末期Ⅲ	37	古墳時代中期前半
6	〃　末期Ⅱ	38	奈良・平安時代XIV
7	〃　末期Ⅰ	39	〃　XV
8	〃　後期2	40	古墳時代末期Ⅰ
9	奈良・平安時代XVI	41	〃　前期後半
10	古墳時代後期2	42	奈良・平安時代VI
11	不明	43	〃　Ⅲ
12	古墳時代	44	古墳時代前期前半
13	古墳時代後期3	45	〃　後期3
14	〃　後期3	46	〃　前期後半
15	奈良・平安時代Ⅰ	47	〃
16	〃　XV	48	〃　末期Ⅱ
17	古墳時代後期3	49	〃　末期Ⅰ
18	〃　〃　4	50	〃
19	〃　〃　2	51	〃　末期Ⅰ
20	〃　末期Ⅱ	52	〃　後期2
21	奈良・平安時代IX	53	欠番
22	古墳時代中期前半	54	〃　後期4
23	〃　後期2	55	〃　末期Ⅰ
24	〃　後期3	56	〃　後期4
25	〃　後期1	57	〃　末期Ⅰ
26	〃　前期前半	58	〃　後期1
27	〃　末期Ⅰ	59	〃　前期前半
28	奈良・平安時代XV	60	〃　後期3
29	〃　Ⅳ	61	〃　末期1
30	古墳時代前期後半	62	〃　末期1
31	奈良・平安時代Ⅷ	63	〃　末期Ⅰ
32	古墳時代後期3	64	〃　末期Ⅰ

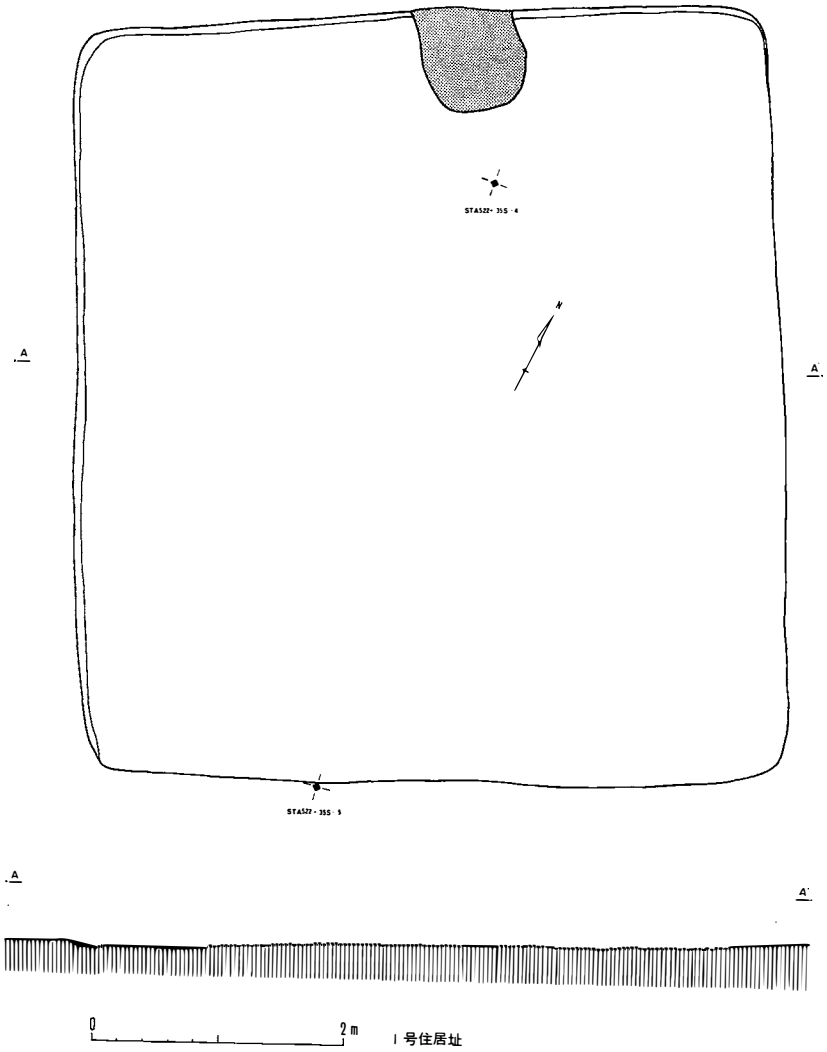
住居址番号	時期	住居址番号	時期
65	古墳時代末期 I	98	古墳時代末期 1
66	〃 前期前半	99	〃 後期 3
67	不明	100	〃 後期 3
68	〃 前期後半	101	奈良・平安時代 XV
69	〃 中期前半	102	古墳時代後期 1
70	〃 前期後半	103	〃 中期前半
71	〃 末期 II	104	〃 末期 II
72	〃 末期 I	105	〃 中期後半
73	〃 後期 3	106	〃 後期 2
74	〃 末期 1	107	〃 後期 2
75	〃 末期 1	108	〃 後期 3
76	〃 末期 1	109	〃 後期 1
77	〃 前期後半	110	〃 後期 3
78	〃 後期 3	111	〃 後期 1
79	〃 末期 1	112	〃 後期 3
80	〃 末期 1	113	〃 末期 I
81	〃 後期 4	114	〃 末期 I
82	〃 末期 II	115	〃 前期後半
83	〃 末期 II	116	〃 中期後半
84	〃 前期前半	117	〃 後期 4
85	〃 前期前半	118	〃 後期 2
86	〃 後期 4	119	〃
87	〃 末期 1	120	〃 前期前半
88	〃 前期後半	121	〃 末期 I
89	〃 前期後半	122	奈良・平安時代 VIII
90	〃 後期 2	123	古墳時代末期 I
91	〃 前期後半	124	〃 後期 4
92	〃 後期 4	125	〃 末期 3
93	〃 後期 4	126	〃
94	〃 後期	127	奈良・平安時代 VIII
95	〃 前期後半	128	古墳時代後期 4
96	〃 中期前半	129	奈良・平安時代 X
97	〃 中期前半	130	〃 III

住居址番号	時　　期	住居址番号	時　　期
131	古墳時代後期 I	137	奈良・平安時代 X
132	〃 II	138	古墳時代末期 I
133	奈良・平安時代 III	139	奈良・平安時代 X
134	〃 XI	140	古墳時代後期 2
135	〃 III	141	奈良・平安時代 X
136	〃 XIV	142	古墳時代末期 III

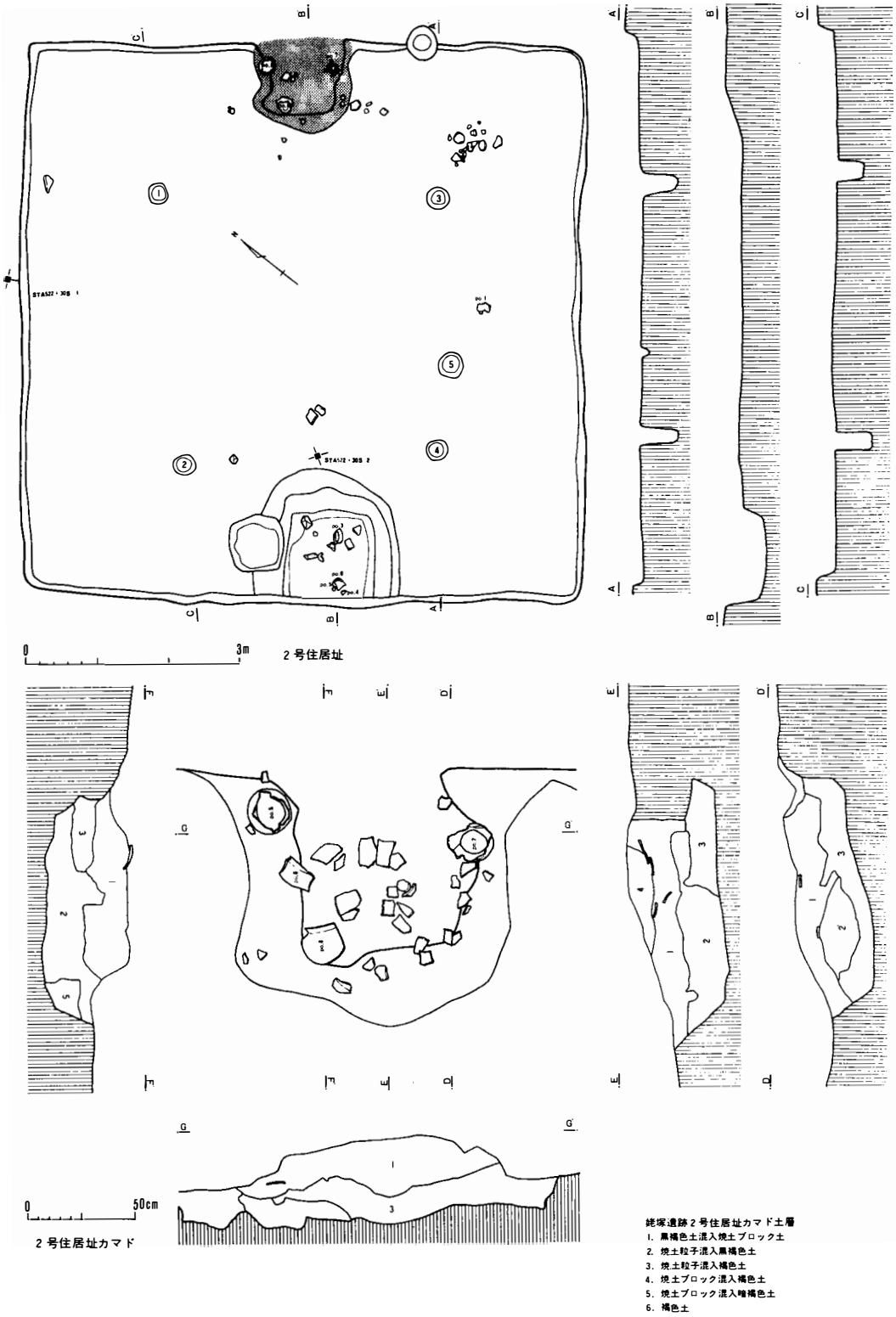


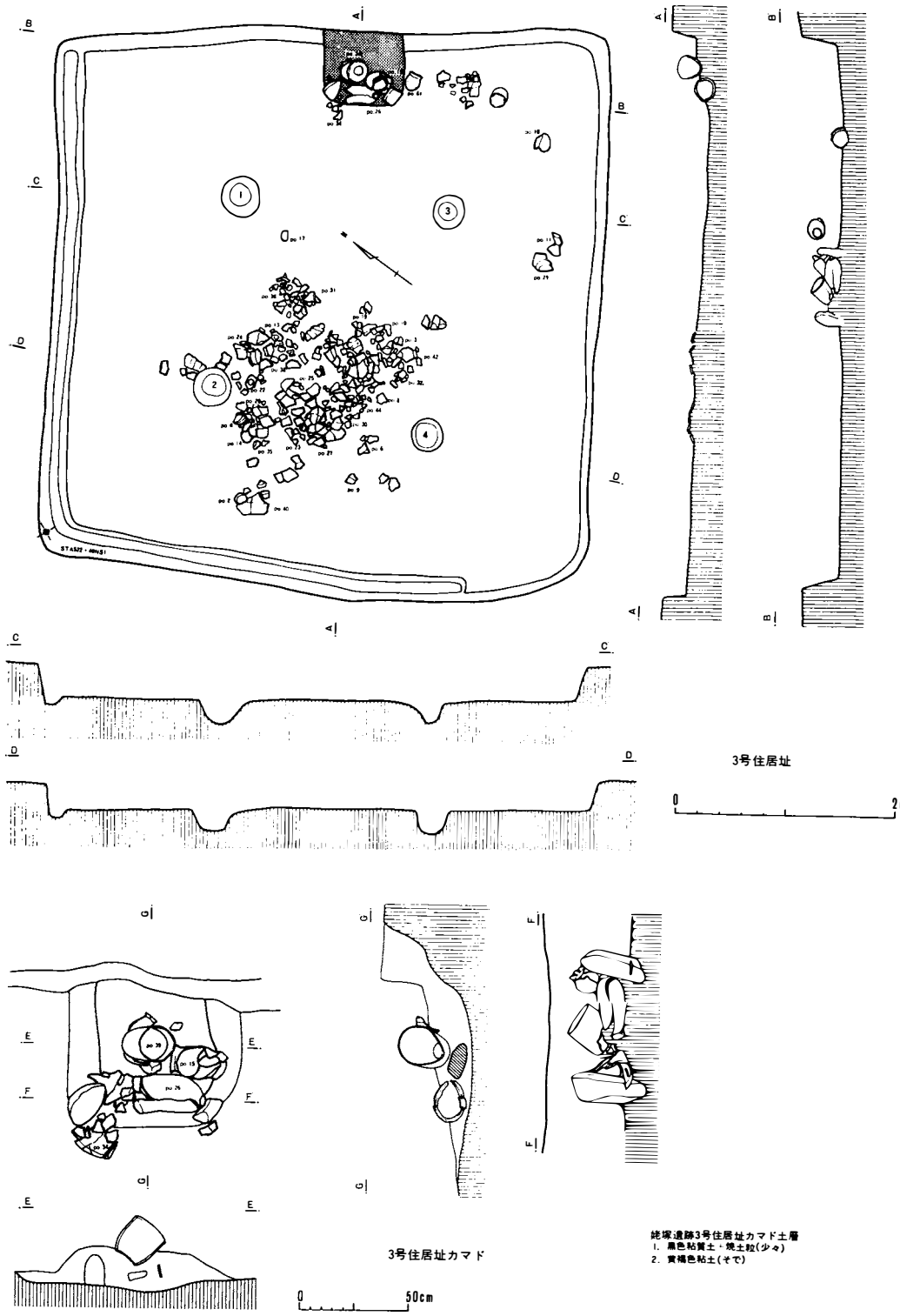
第2図　二之宮、姥塚遺跡地形図

第3図　姥塚遺跡全体図

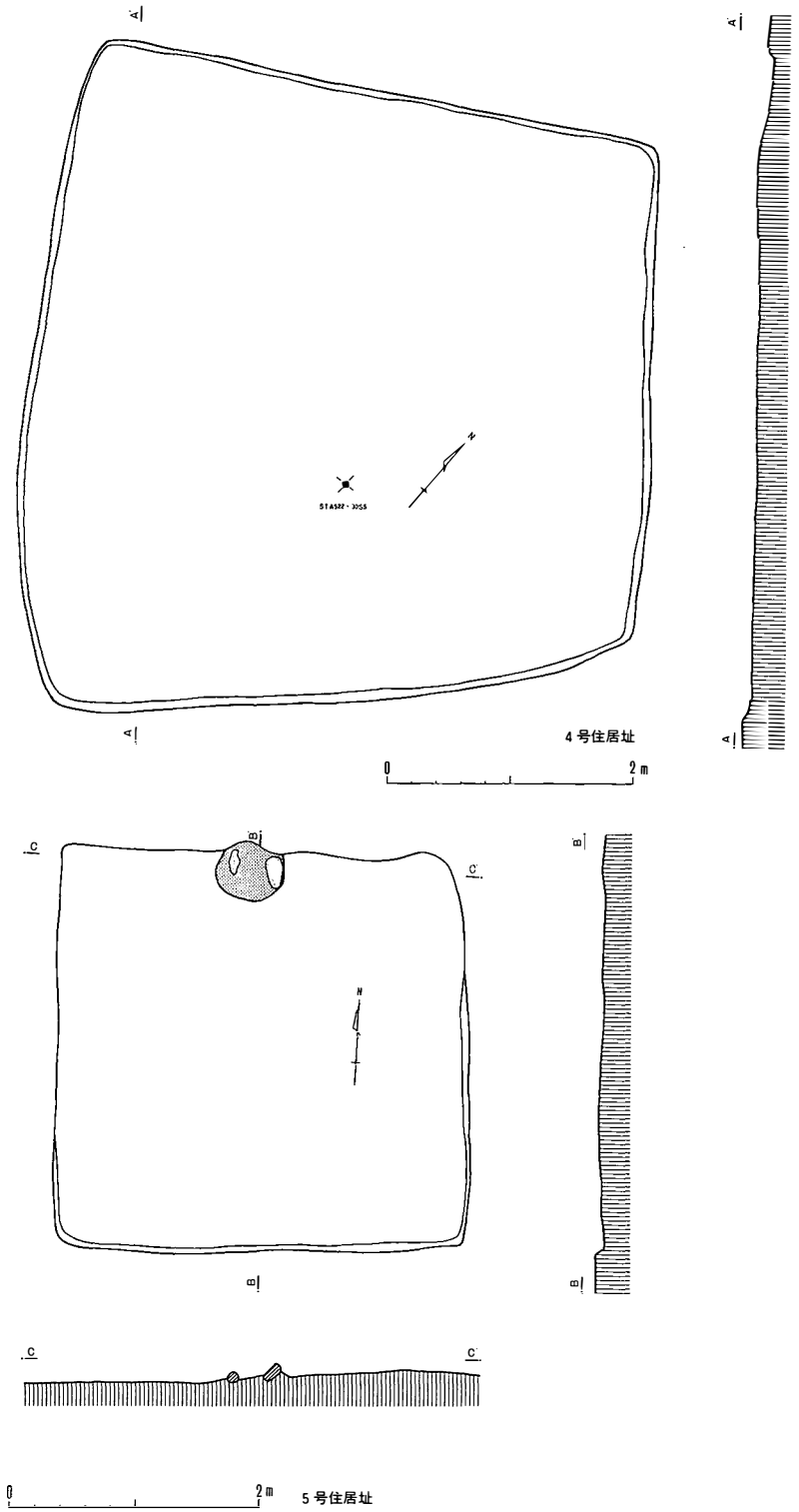


第4図　1号住居址平面図


0
3m
2号住居址
0
50cm
2号住居址カマド
A
A'
B
B'
C
C'
D
D'
E
E'
G
G'
STA.12・30S 1
STA.12・30S 2
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40

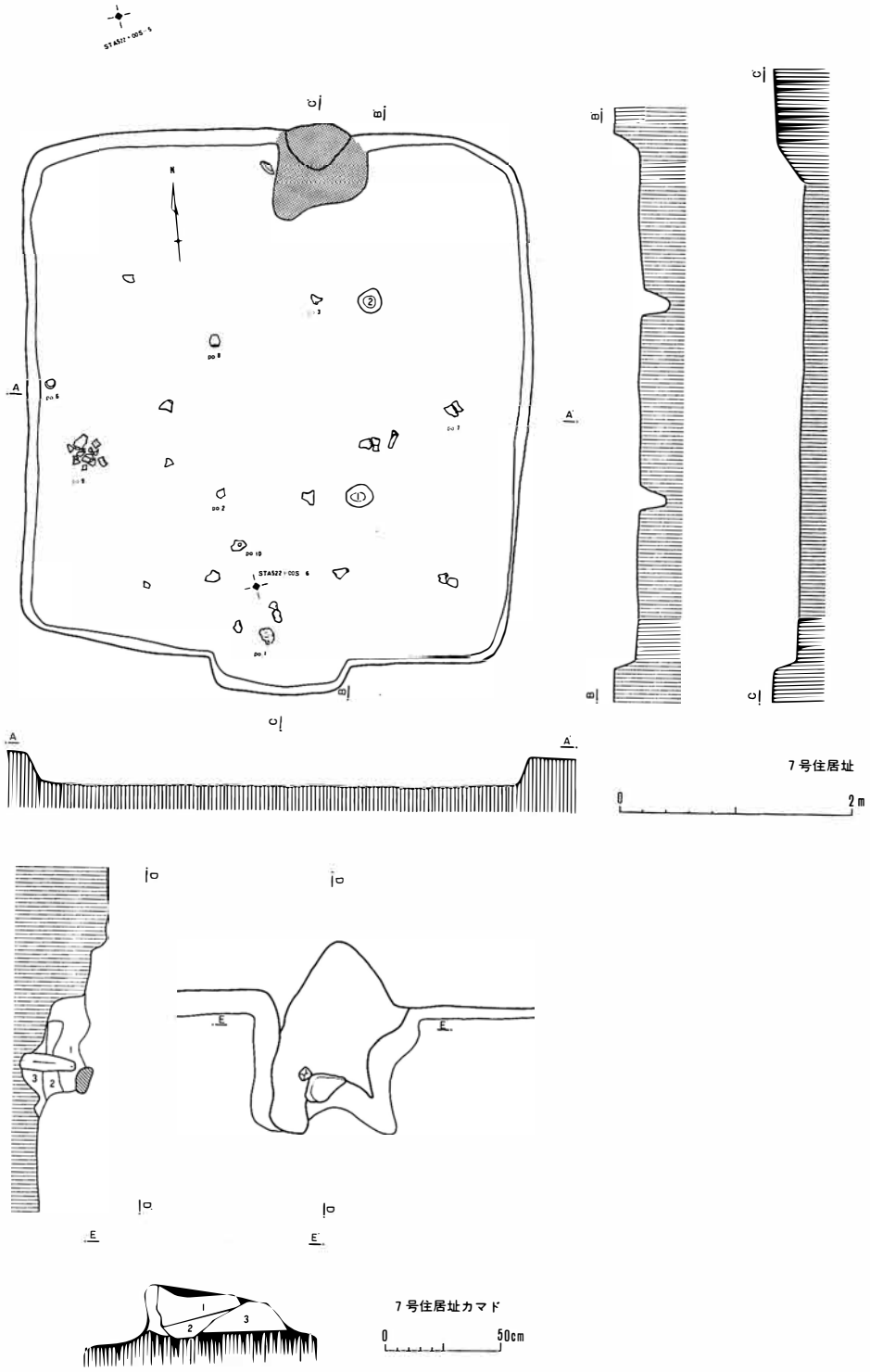


第6図　3号住居址平面図、3号住居址カマド実測図

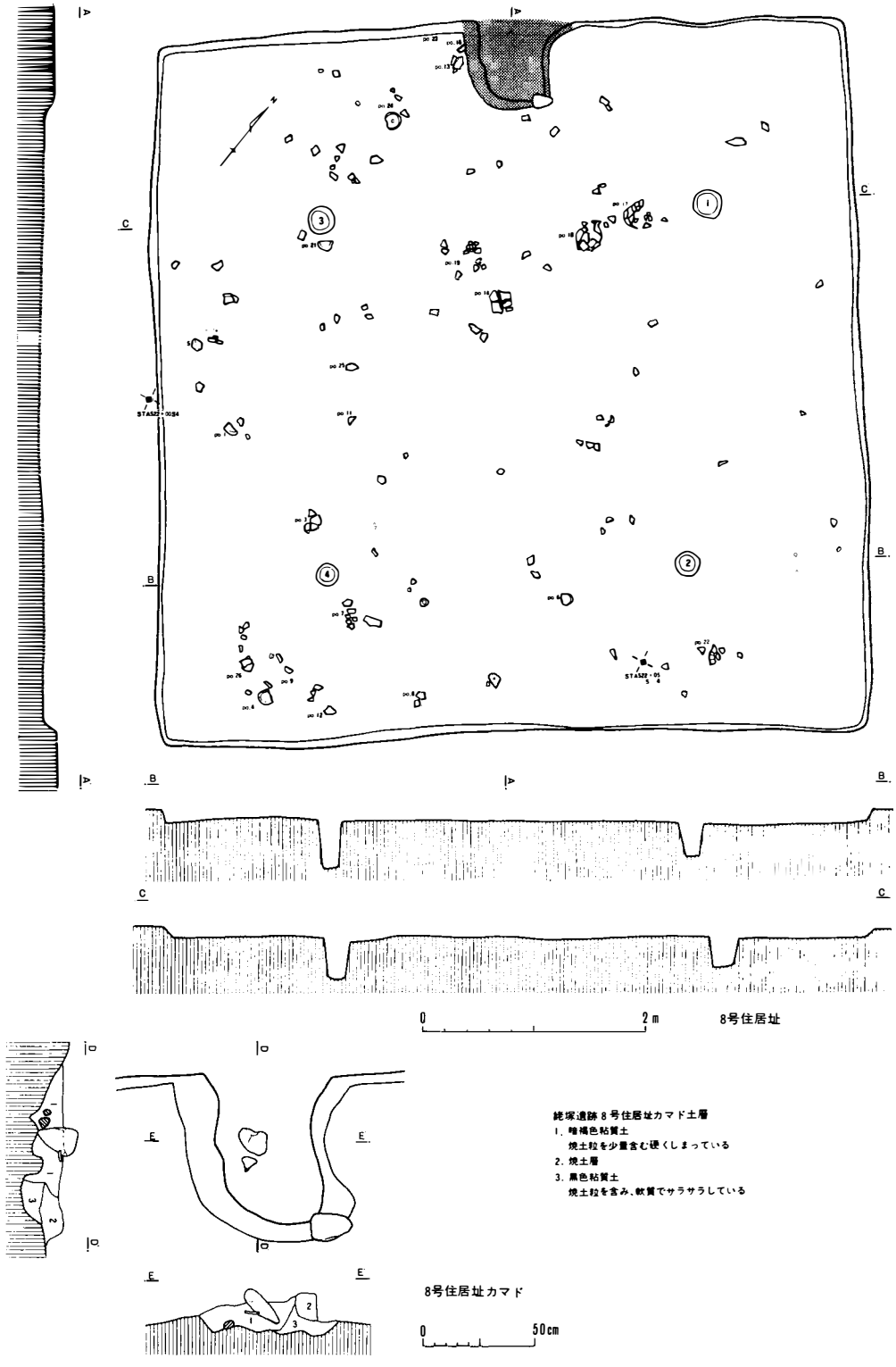


第7図　4、5号住居址平面図

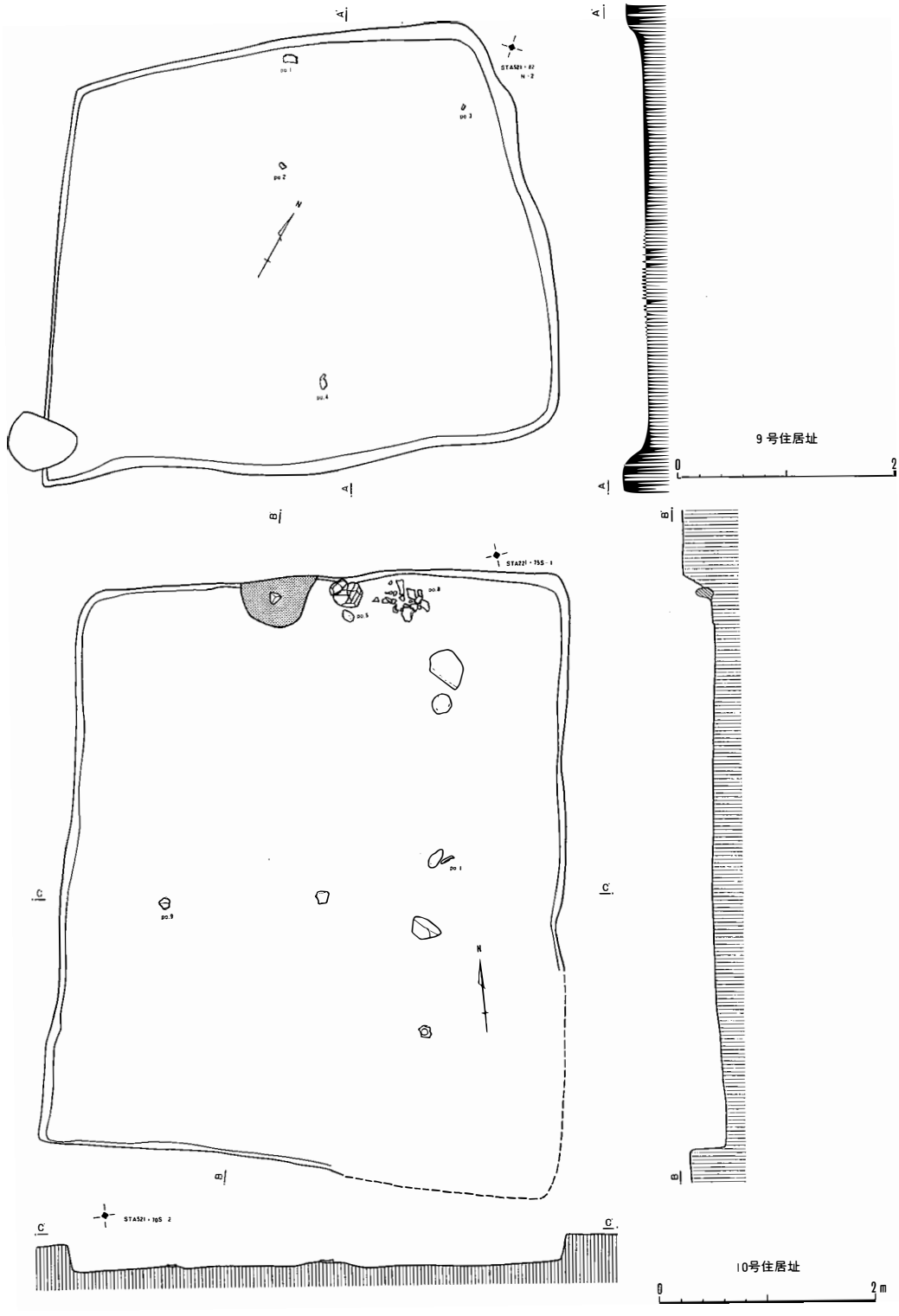
第8図　6、15号住居址平面図



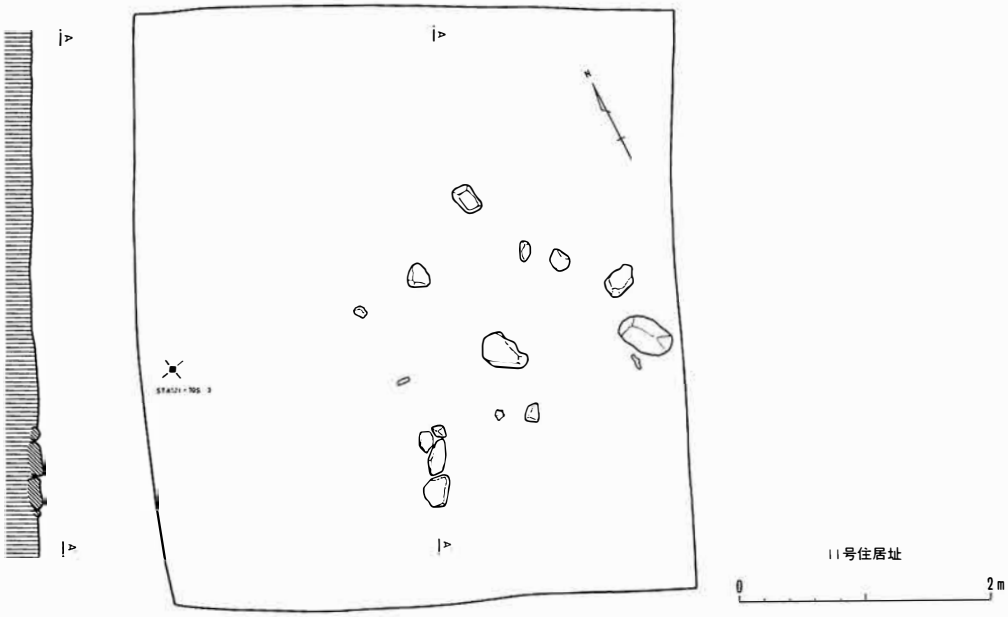
第9図　7号住居址平面図、7号住居址カマド実測図

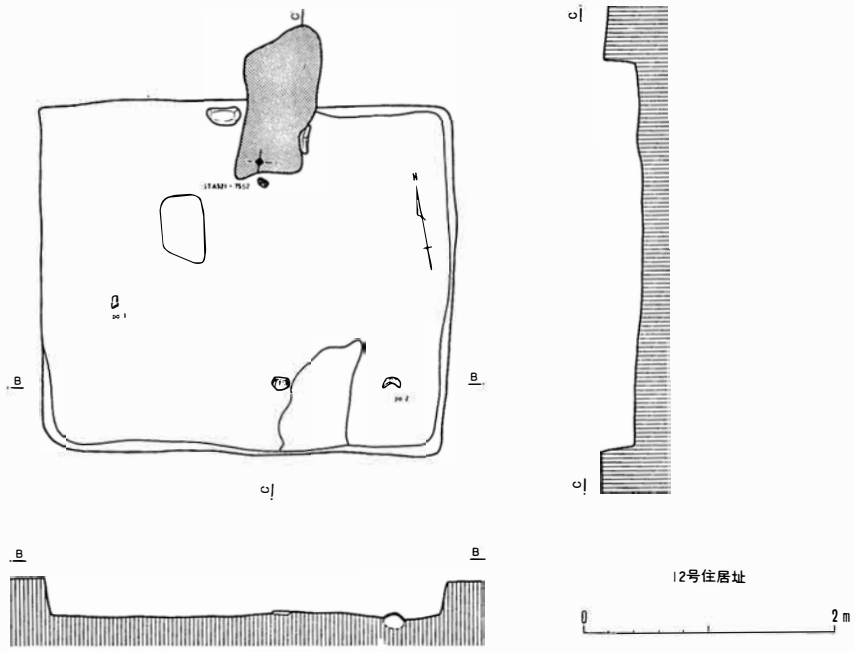


第10図　8号住居址平面図、8号住居址カマド実測図

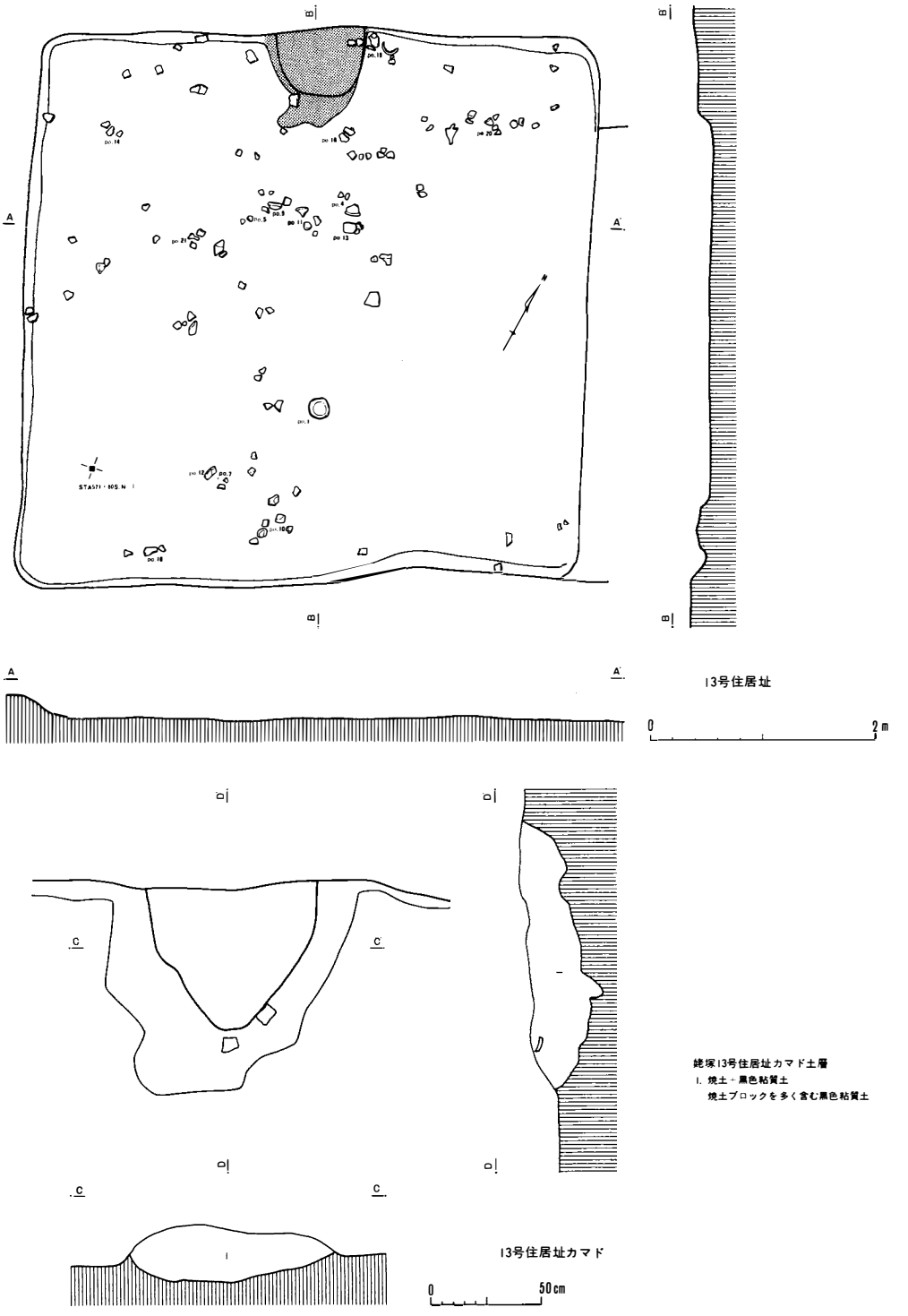


第11図　9、10号住居址平面図

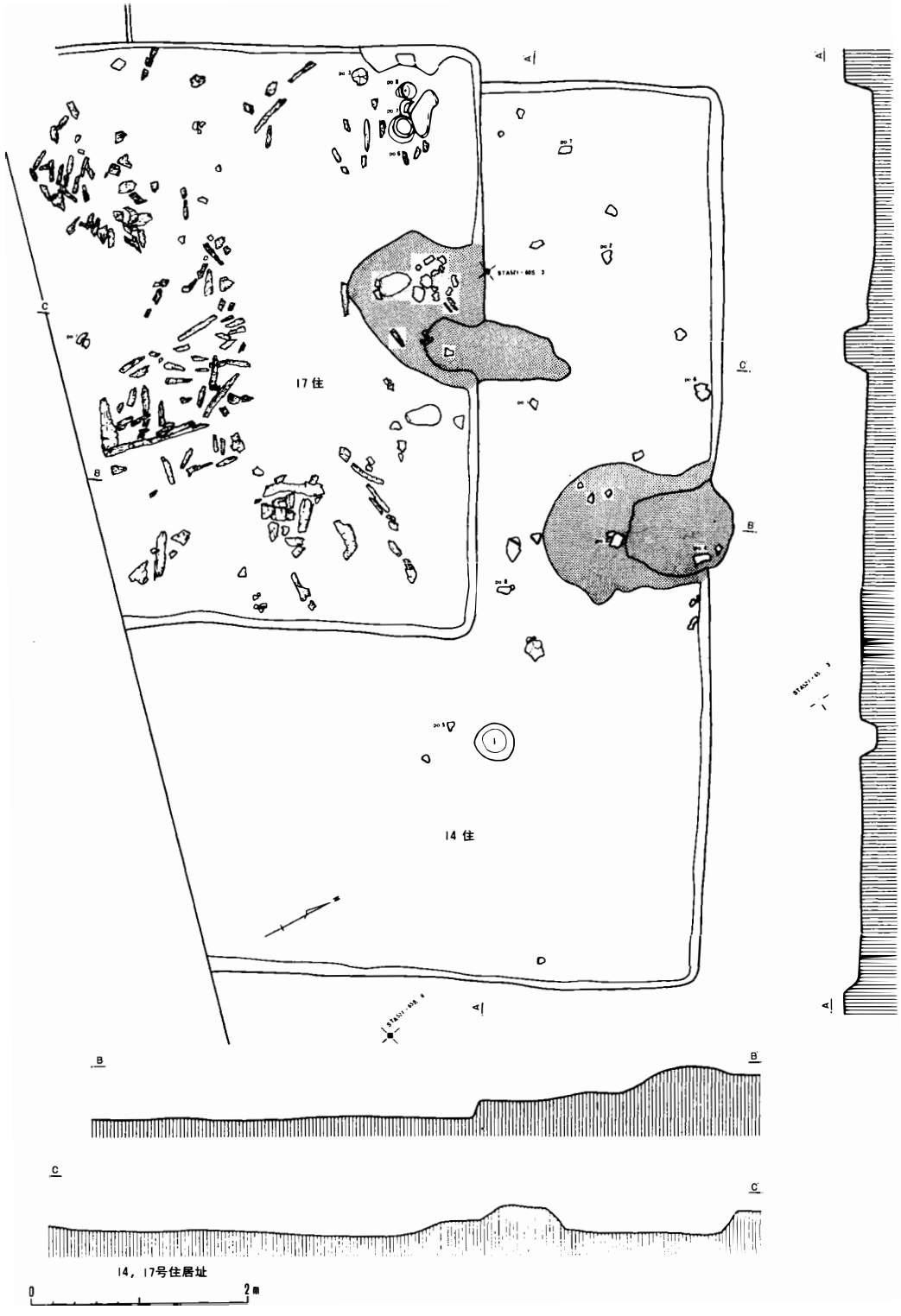




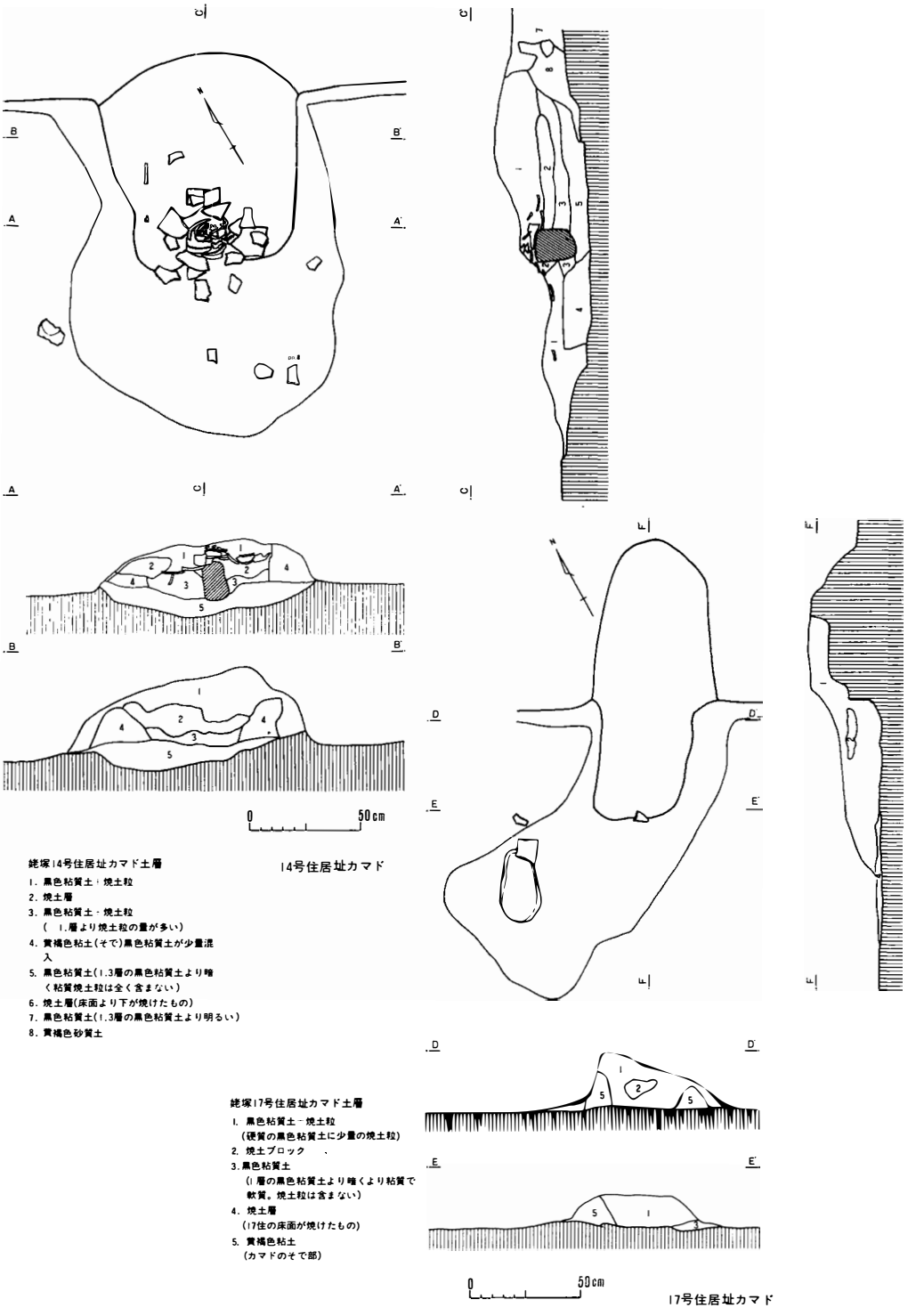
第12図　11、12号住居址平面図



第13図　13号住居址平面図、13号住居址カマド実測図



第14図　14、17号住居址平面図



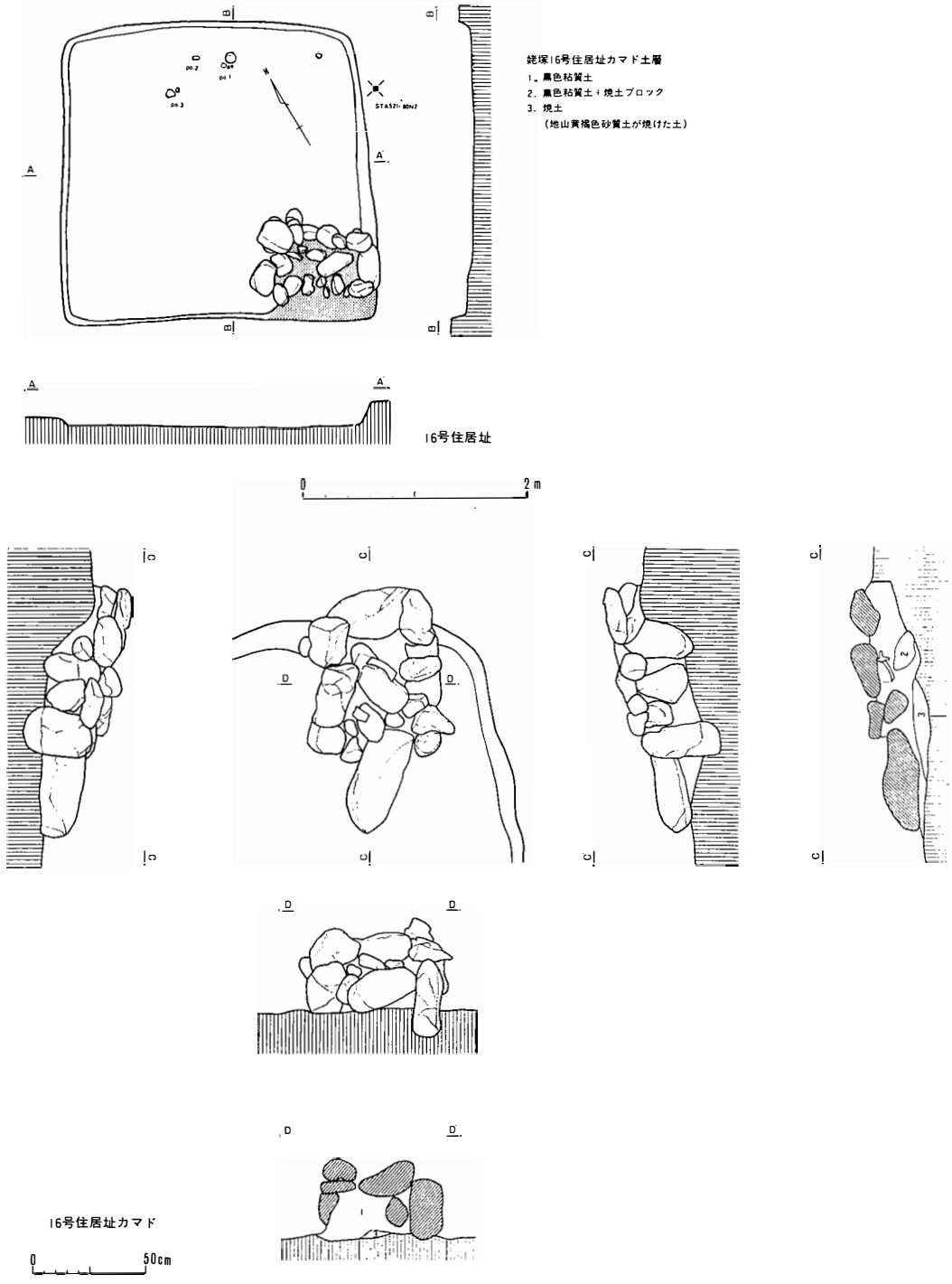
絶塚14号住居址カマド土層

1. 黒色粘質土・焼土粒
2. 焼土層
3. 黒色粘質土・焼土粒
   (1.層より焼土粒の量が多い)
4. 黄褐色粘土(そで)黒色粘質土が少量混入
5. 黒色粘質土(1.3層の黒色粘質土より暗く粘質焼土粒は全く含まない)
6. 焼土層(床面より下が焼けたもの)
7. 黒色粘質土(1.3層の黒色粘質土より明るい)
8. 黄褐色砂質土

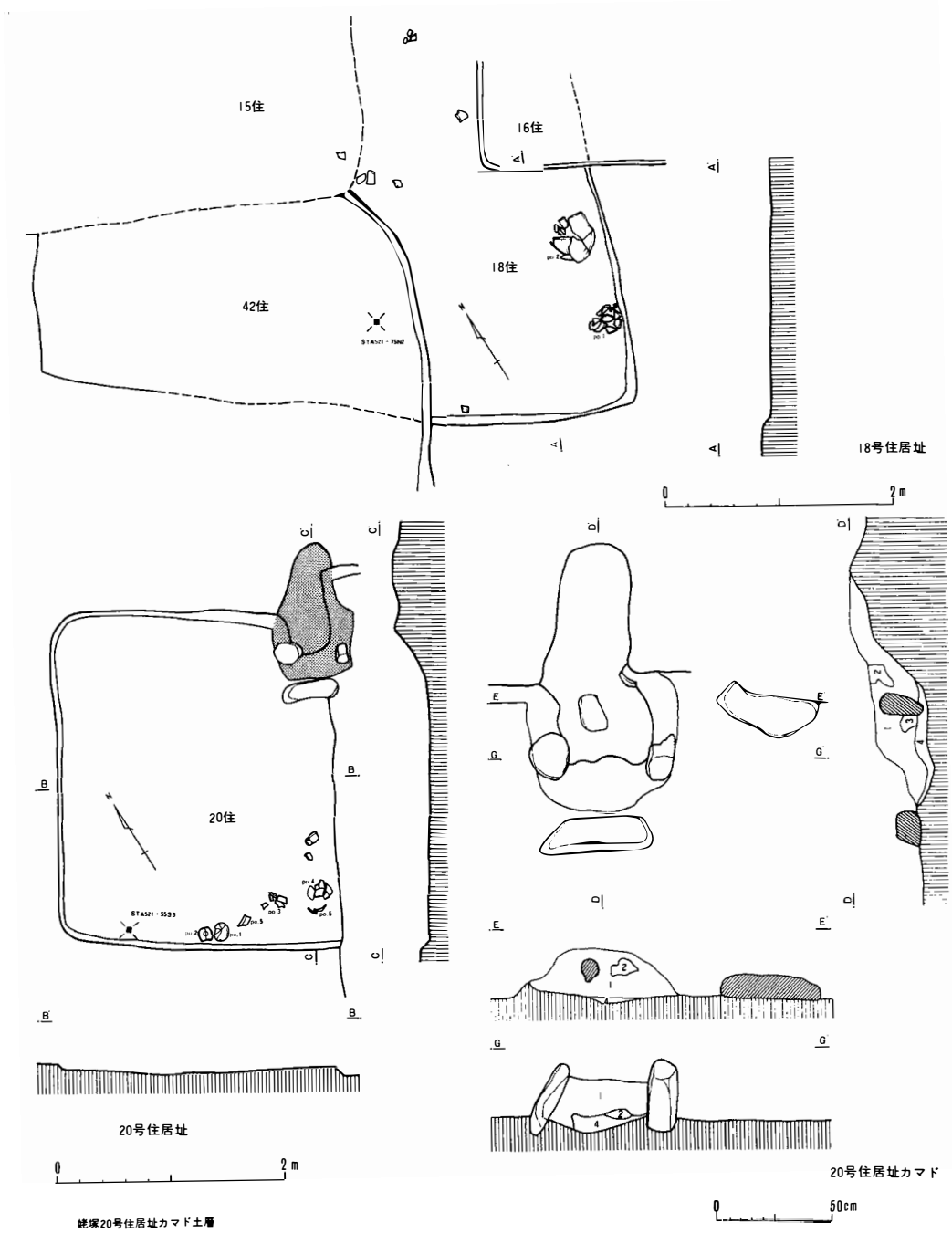
絶塚17号住居址カマド土層

1. 黒色粘質土・焼土粒
   (硬質の黒色粘質土に少量の焼土粒)
2. 焼土ブロック
3. 黒色粘質土
   (1層の黒色粘質土より暗くより粘質で軟質。焼土粒は含まない)
4. 焼土層
   (17住の床面が焼けたもの)
5. 黄褐色粘土
   (カマドのそで部)

第15図　14、17号住居址カマド実測図

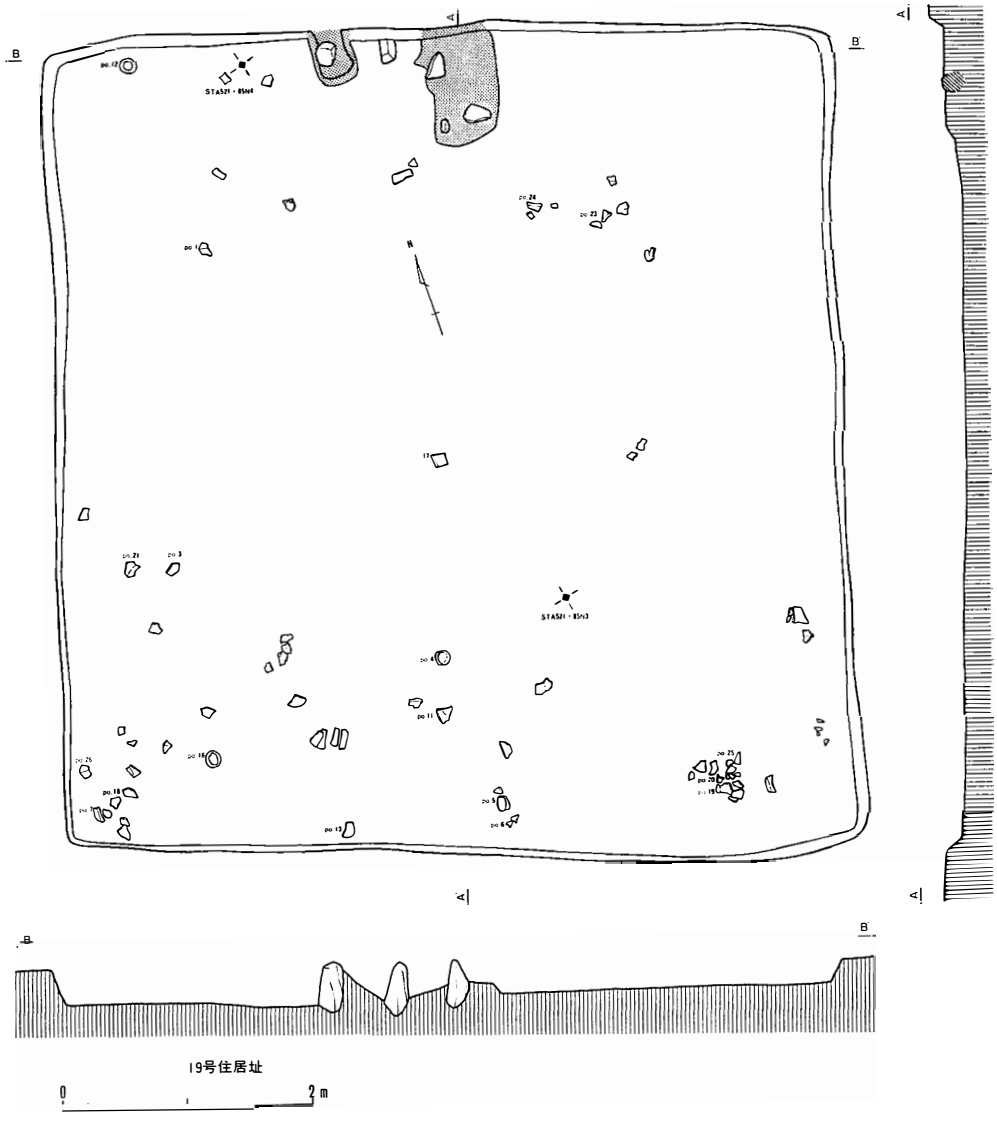


第16図　16号住居址平面図、16号住居址カマド実測図

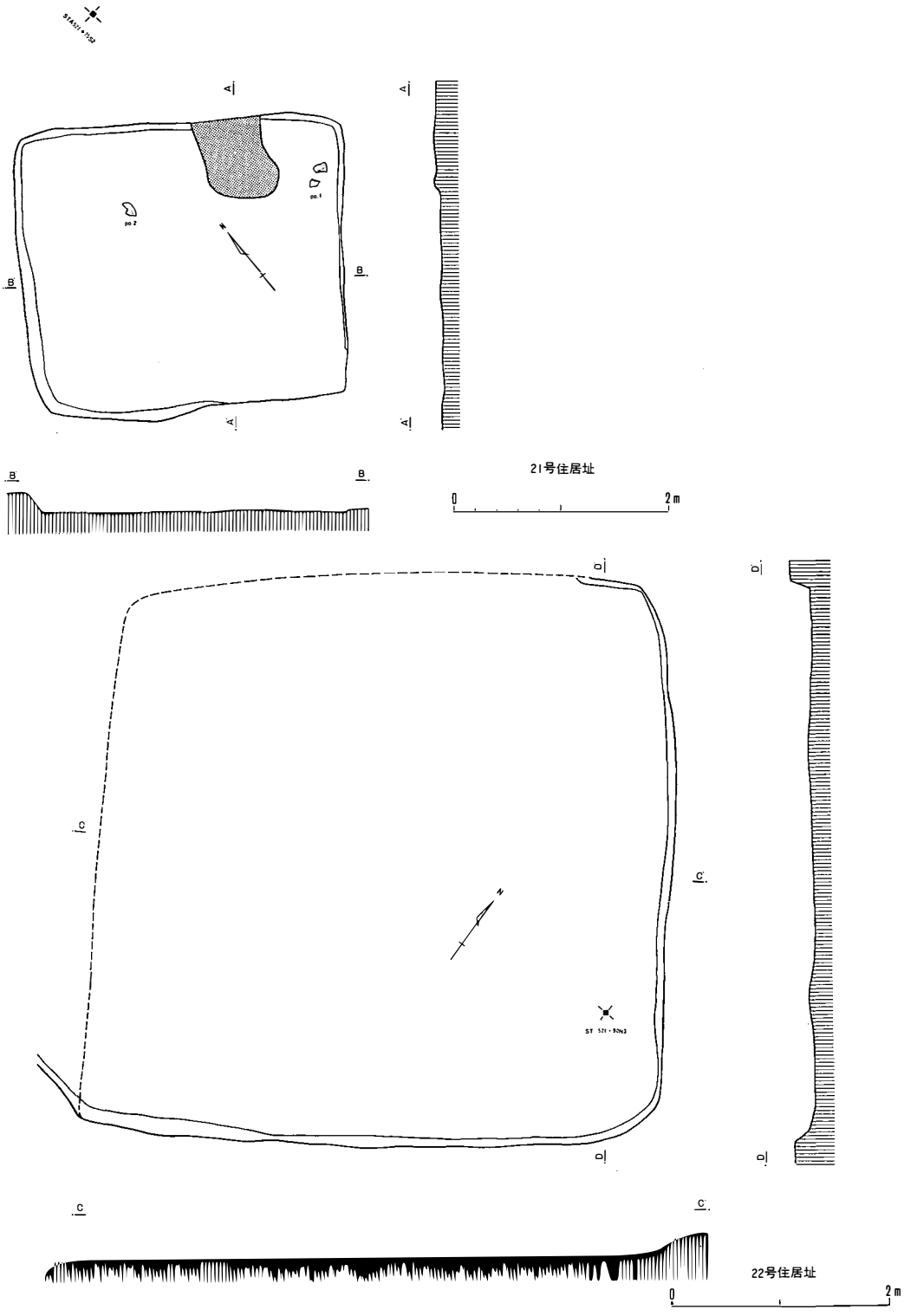


絶塚20号住居址カマド土層
1. 黒色粘質土＋焼土粒
絶塚20号住居跡カマド土層図
1. 黒色粘質土＋焼土粒
2. 焼土ブロック
3. 黄橋色砂質土(そでの崩れたもの)
4. 暗橋色粘質土(焼土を含まない)

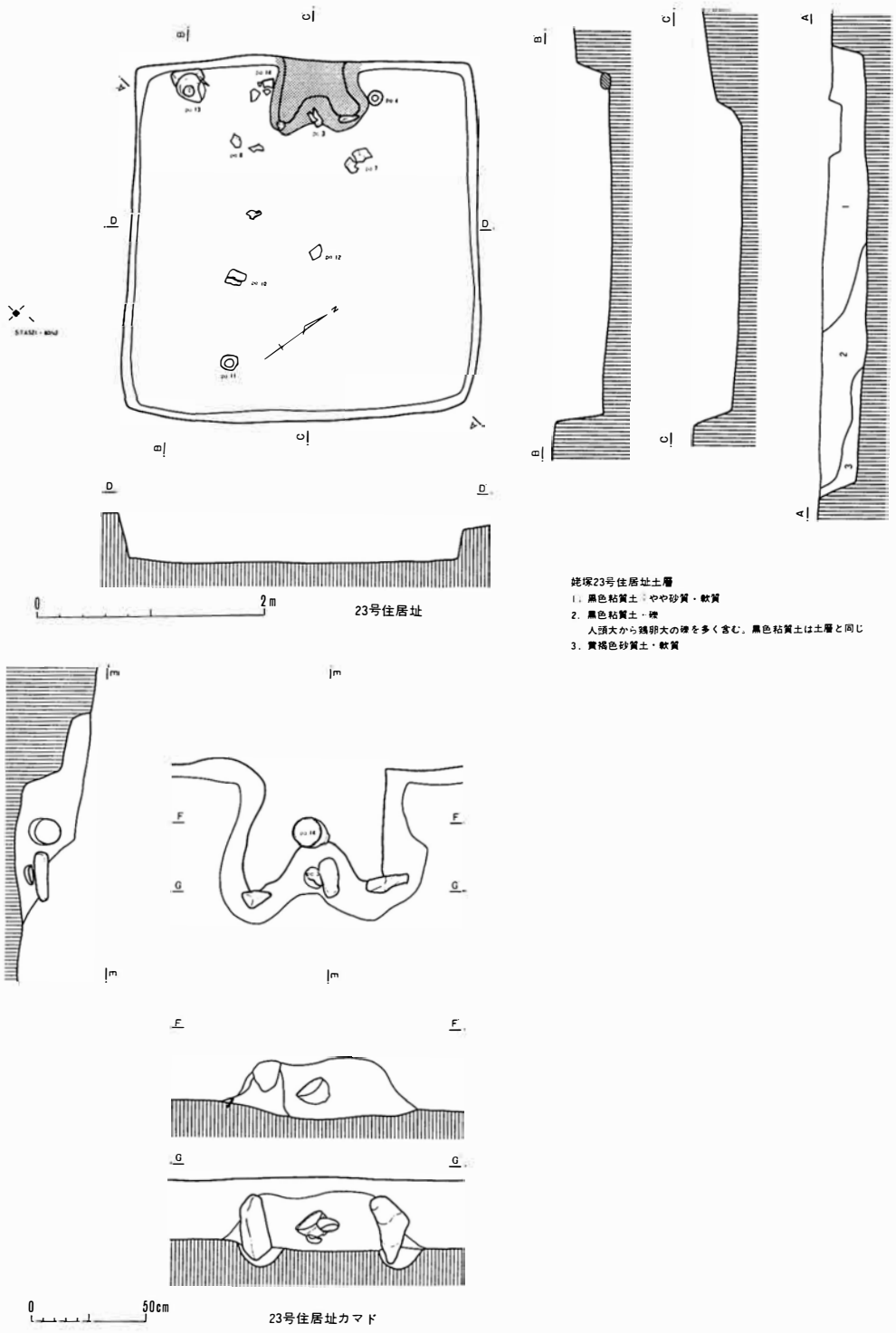
第17図　18、20号住居址平面図、20号住居址カマド実測図



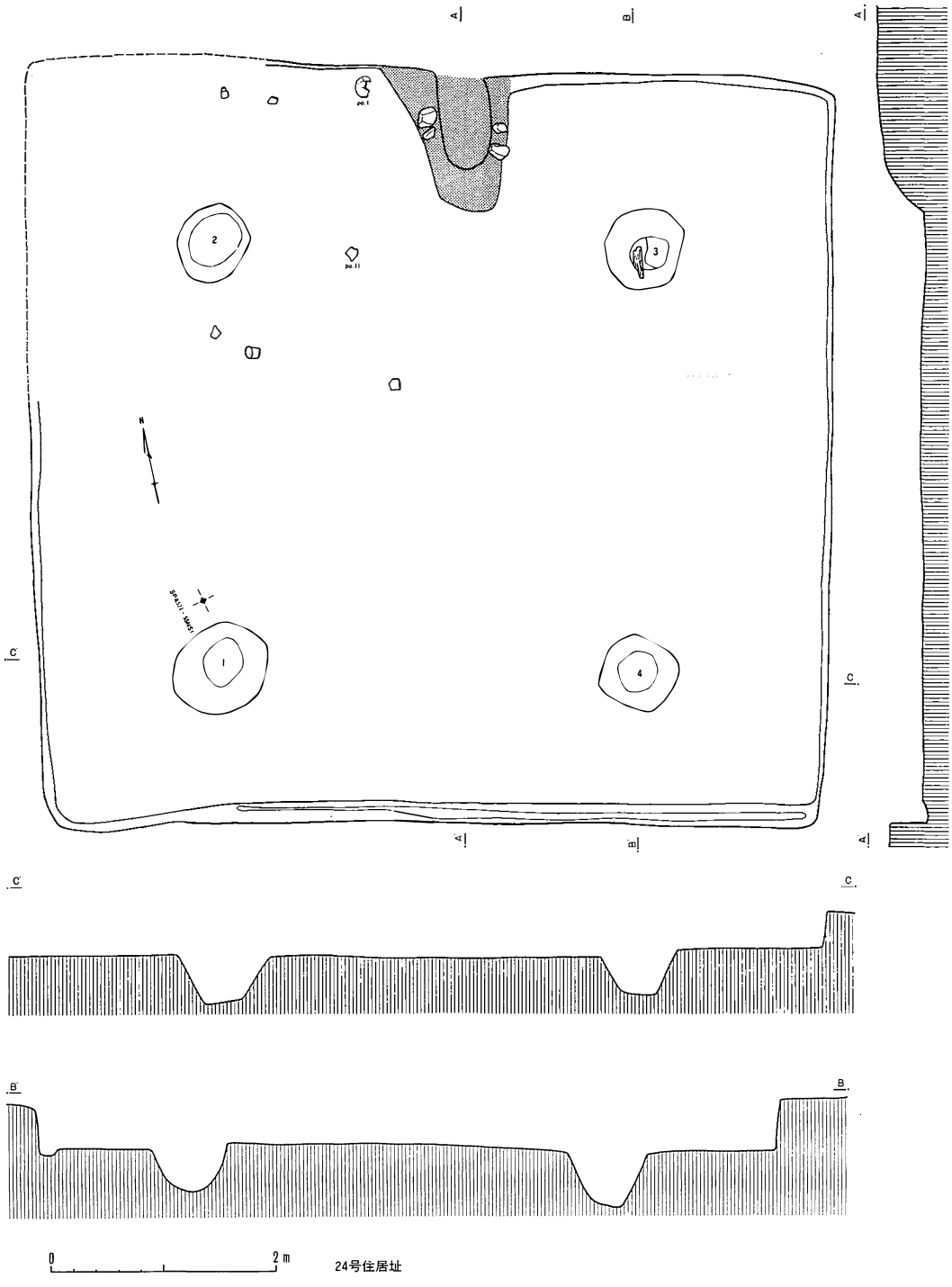
第18図　19号住居址平面図



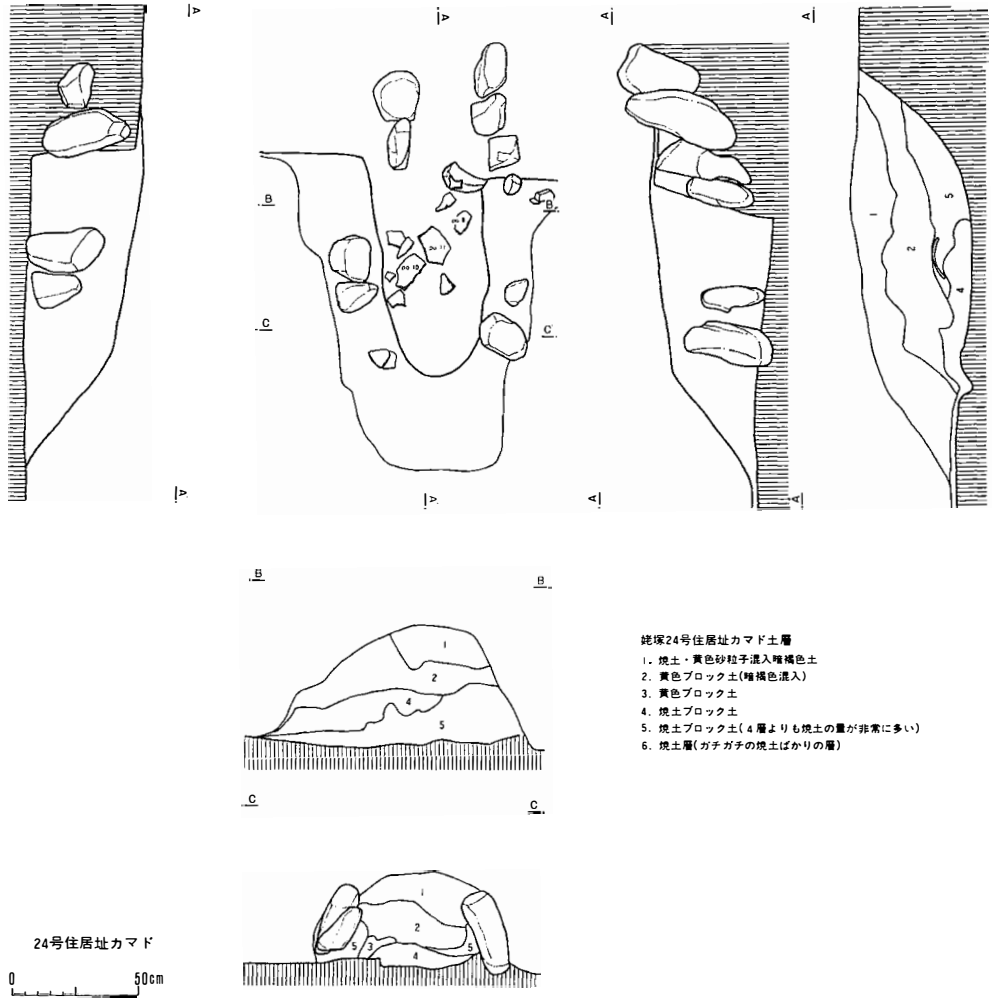
第19図　21、22号住居址平面図



第20図　23号住居址平面図、23号住居址カマド実測図



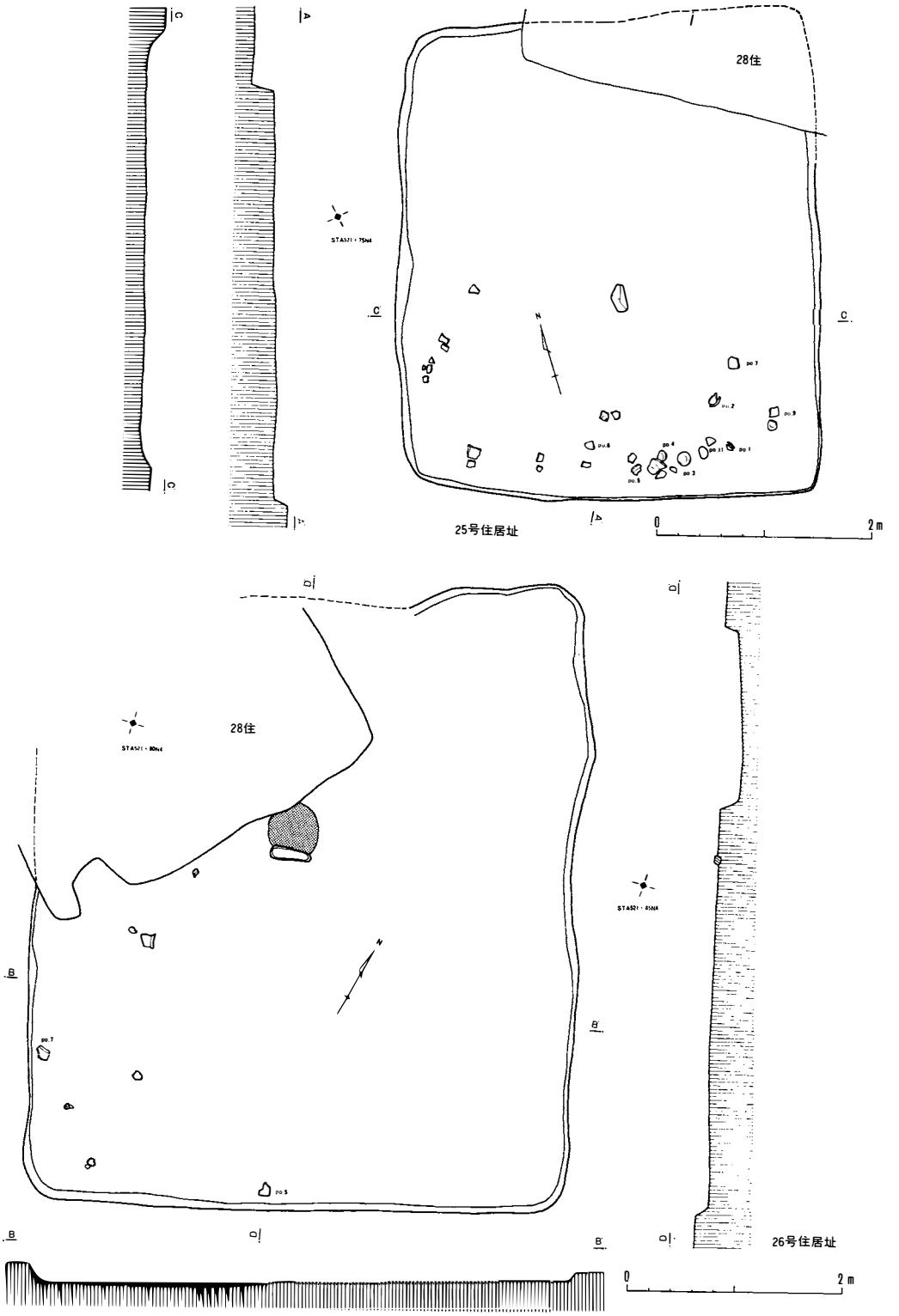
第21図　24号住居址平面図



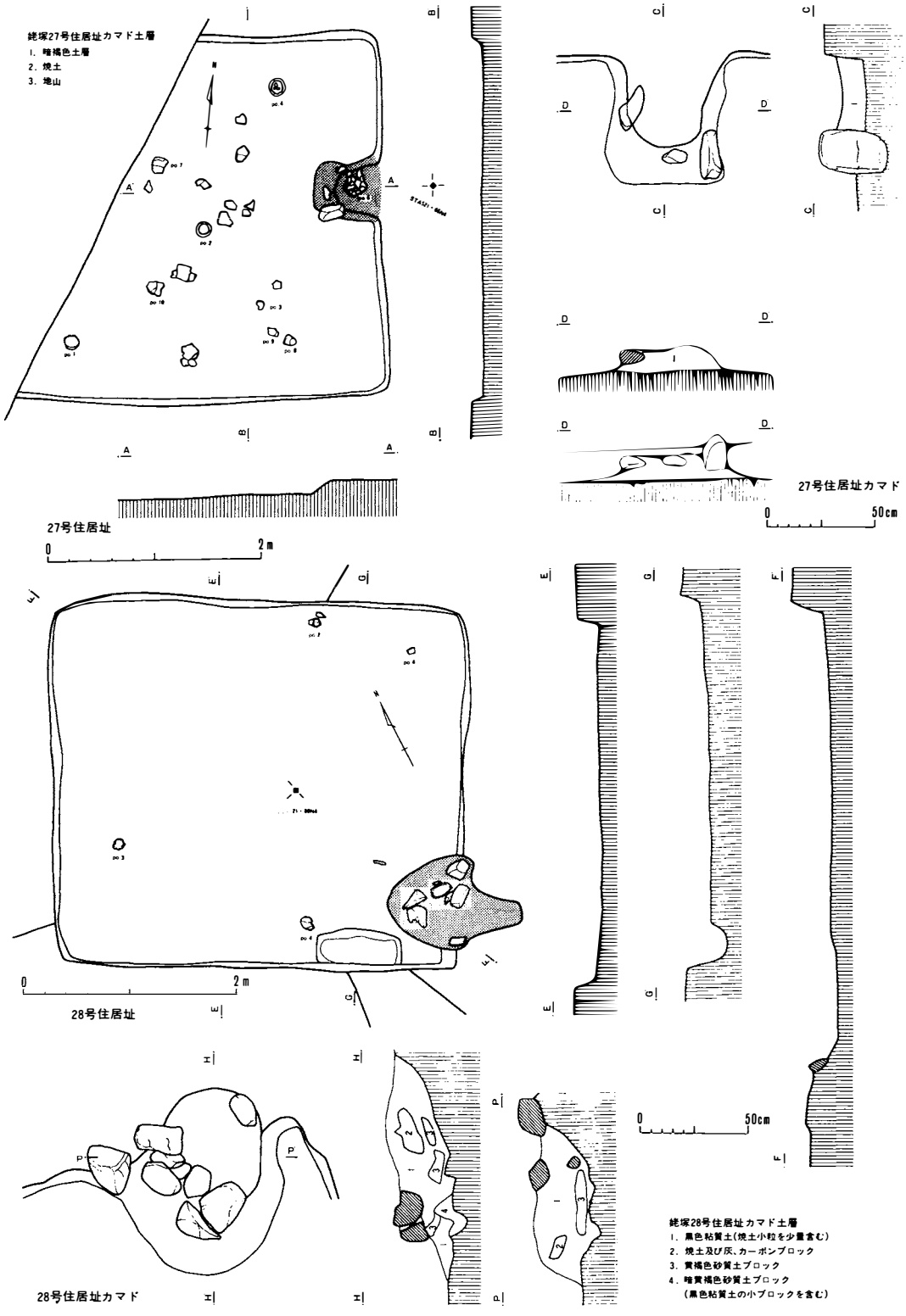
銚塚24号住居址カマド土層

1. 焼土・黄色砂粒子混入暗褐色土
2. 黄色ブロック土(暗褐色混入)
3. 黄色ブロック土
4. 焼土ブロック土
5. 焼土ブロック土(4層よりも焼土の量が非常に多い)
6. 焼土層(ガチガチの焼土ばかりの層)

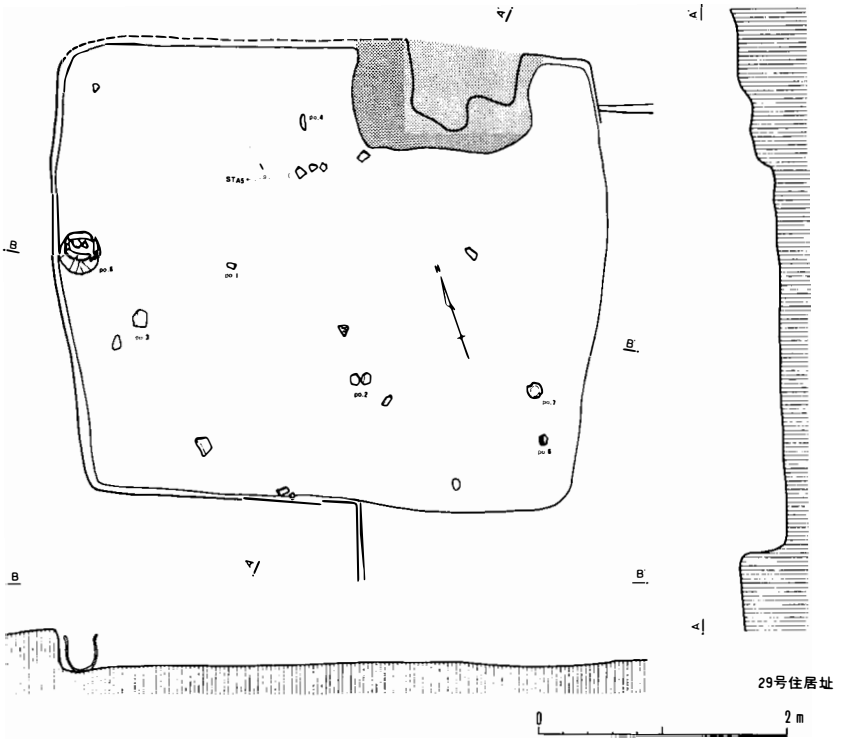
第22図　24号住居址カマド実測図

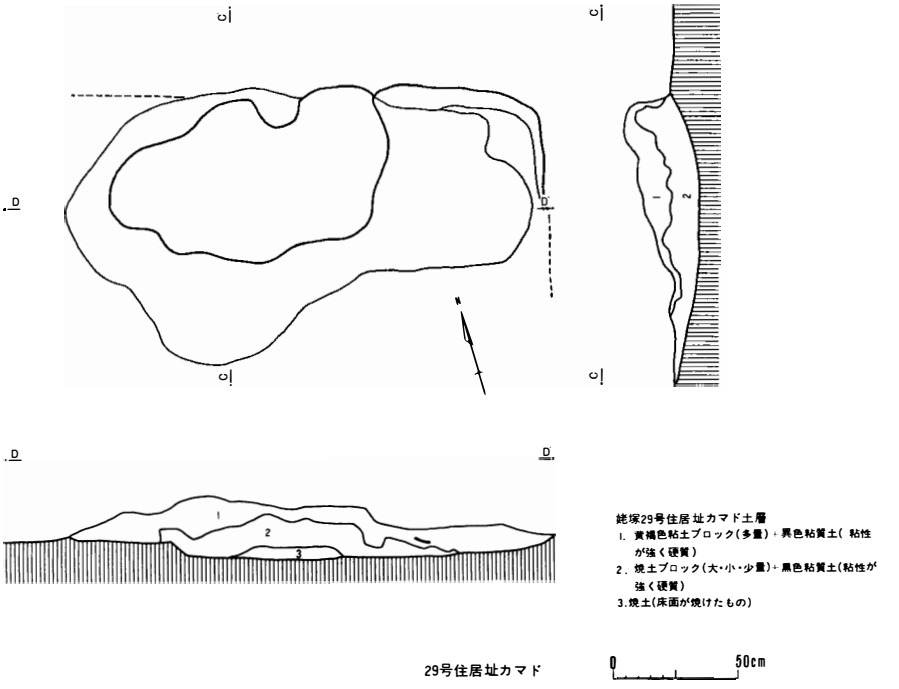


第23図　25、26号住居址平面図

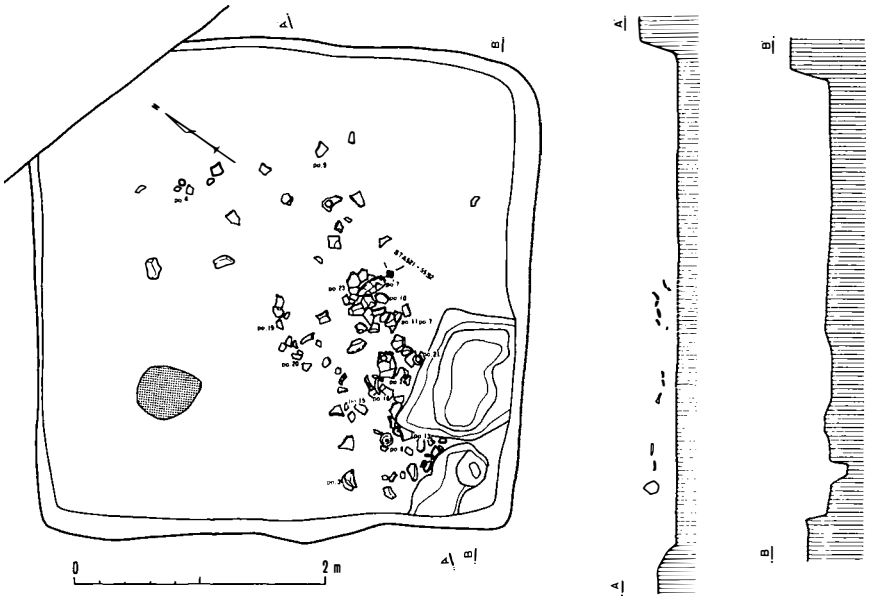


第24図　27、28号住居址平面図、27、28号住居址カマド実測図

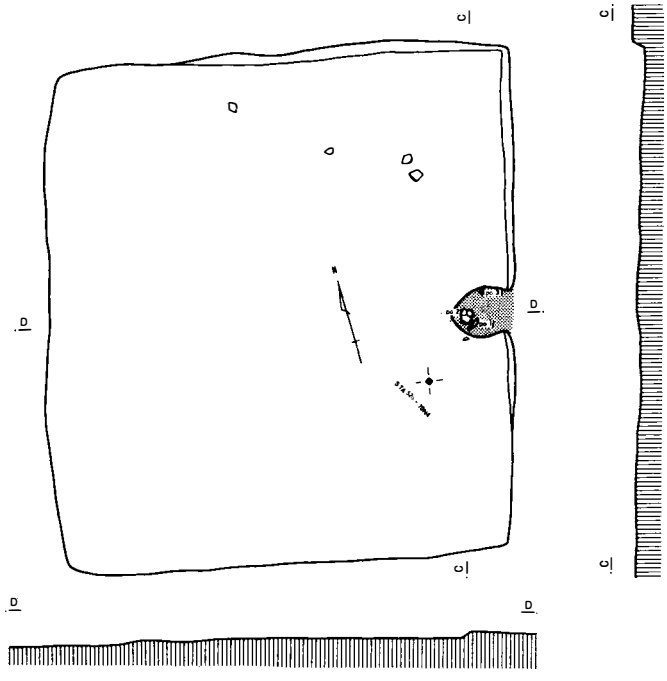




第25図　29号住居址平面図、29号住居址カマド実測図



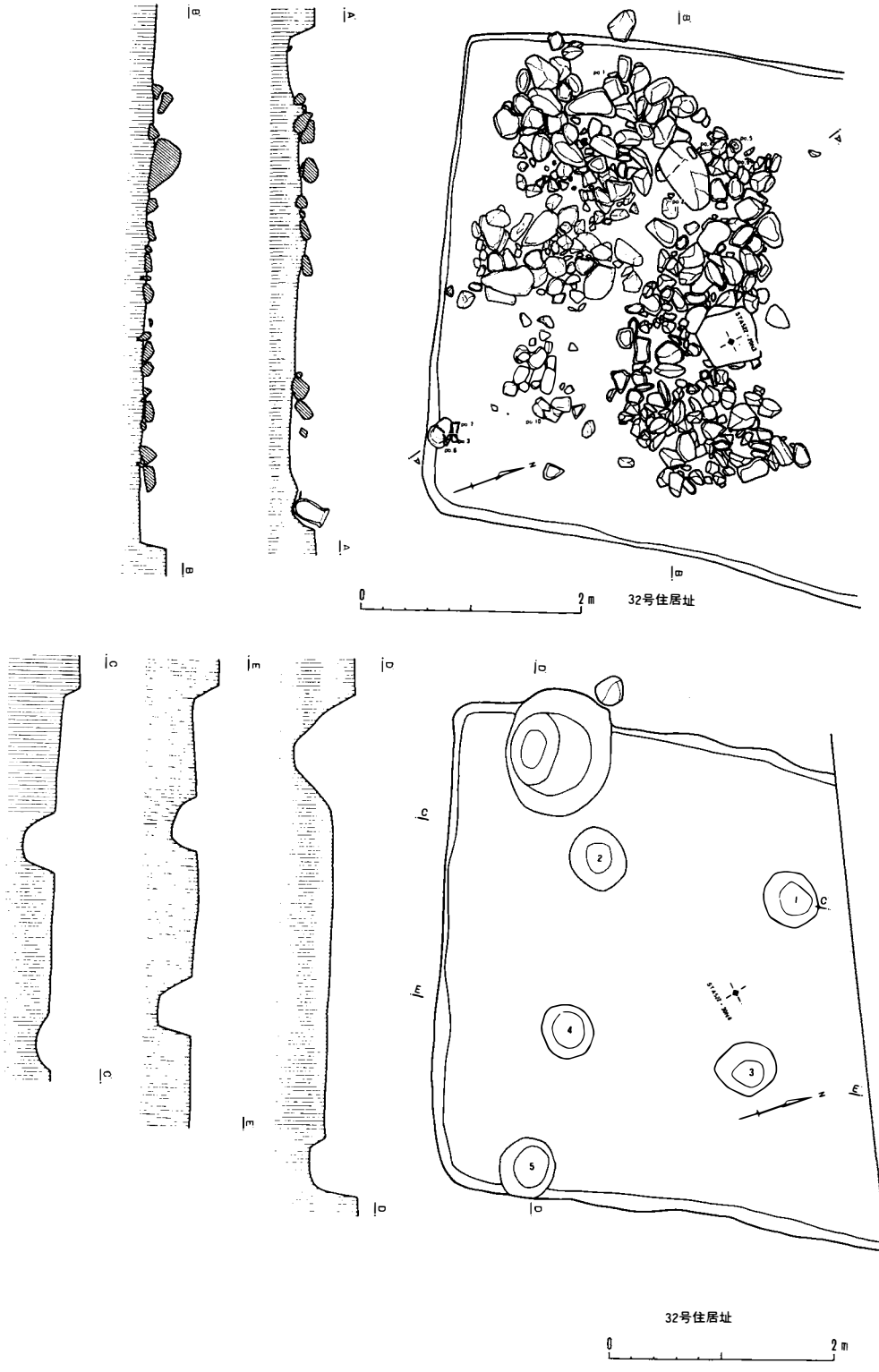
30号住居址



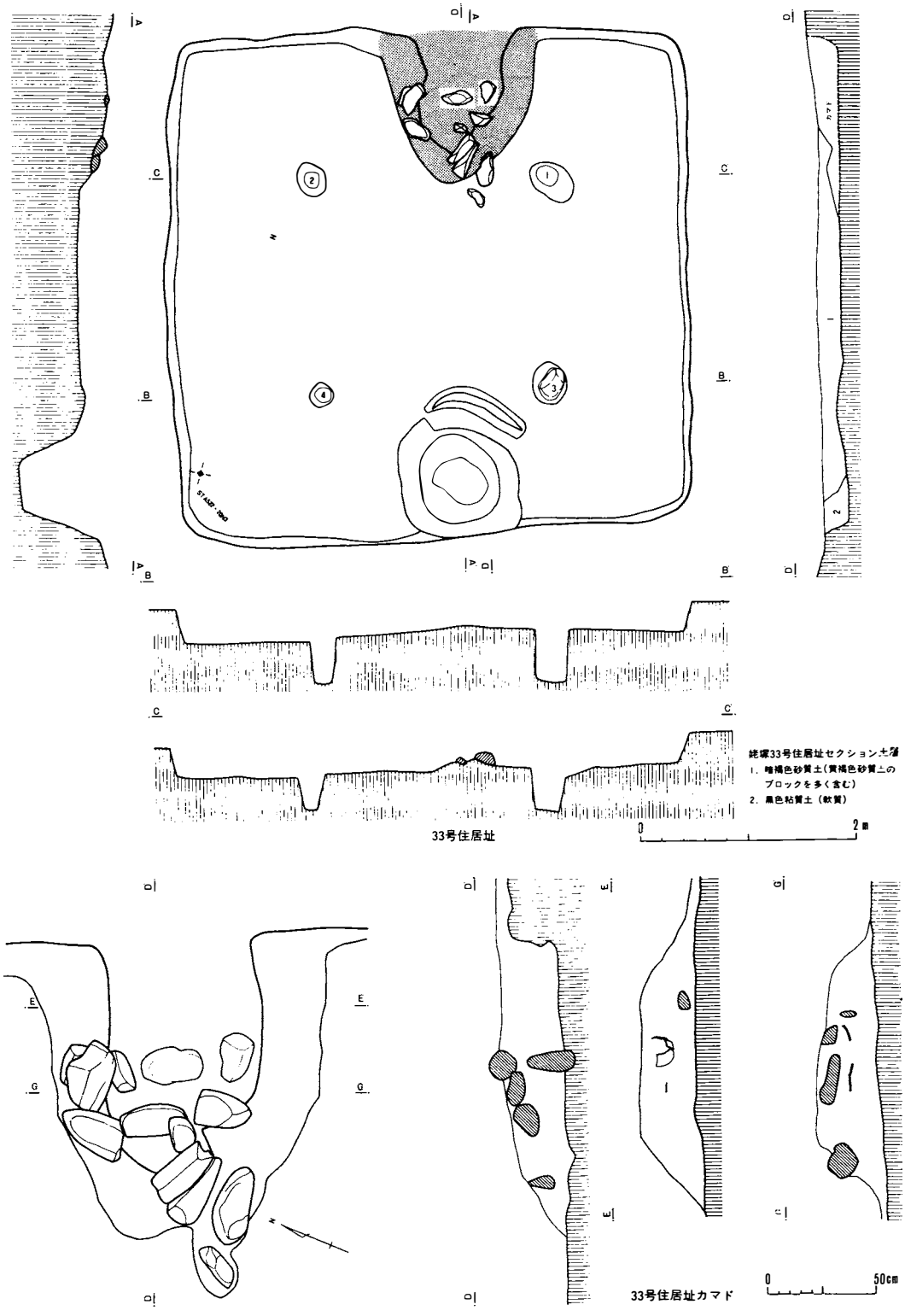
31号住居址

0 2m

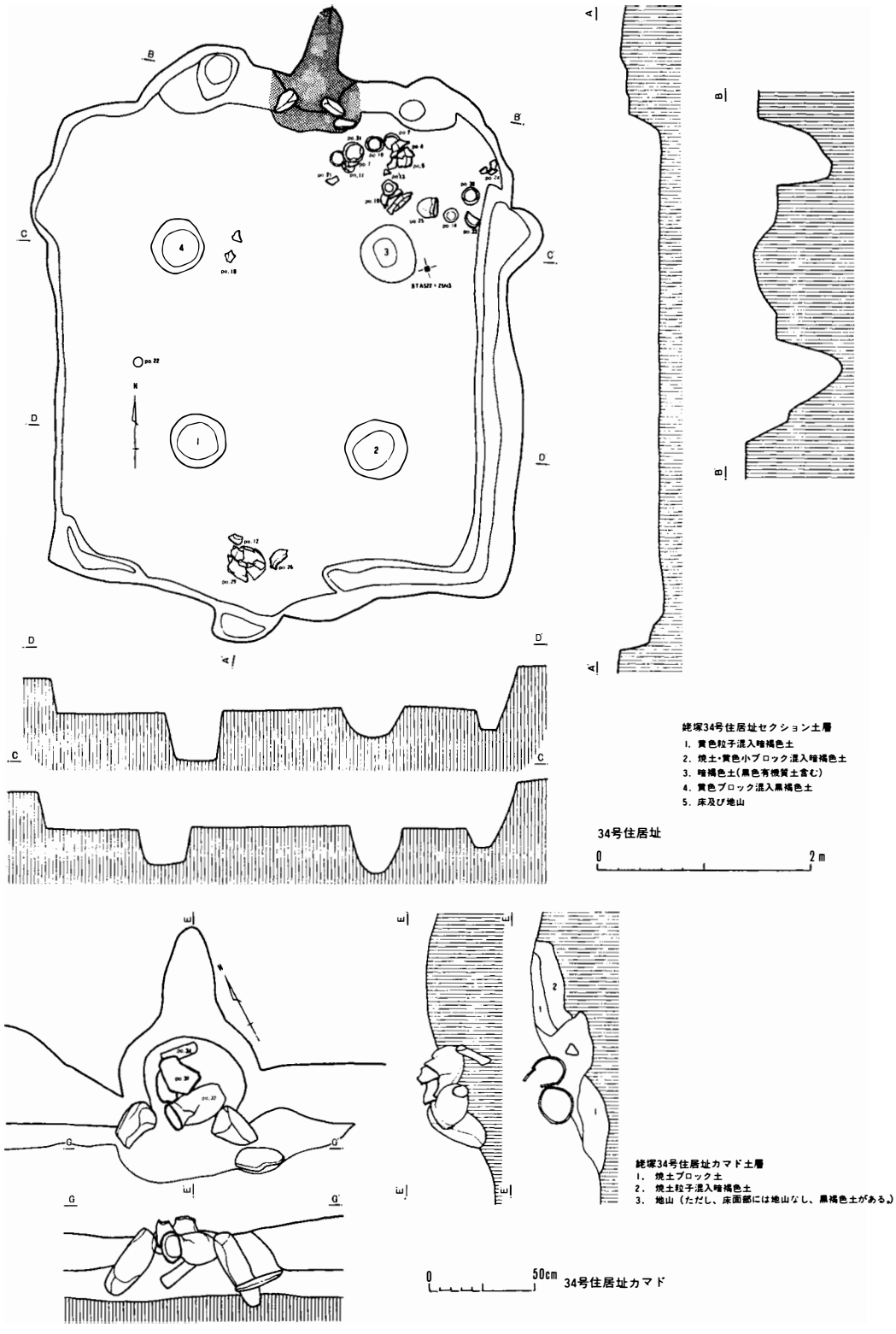
第26図　30、31号住居址平面図



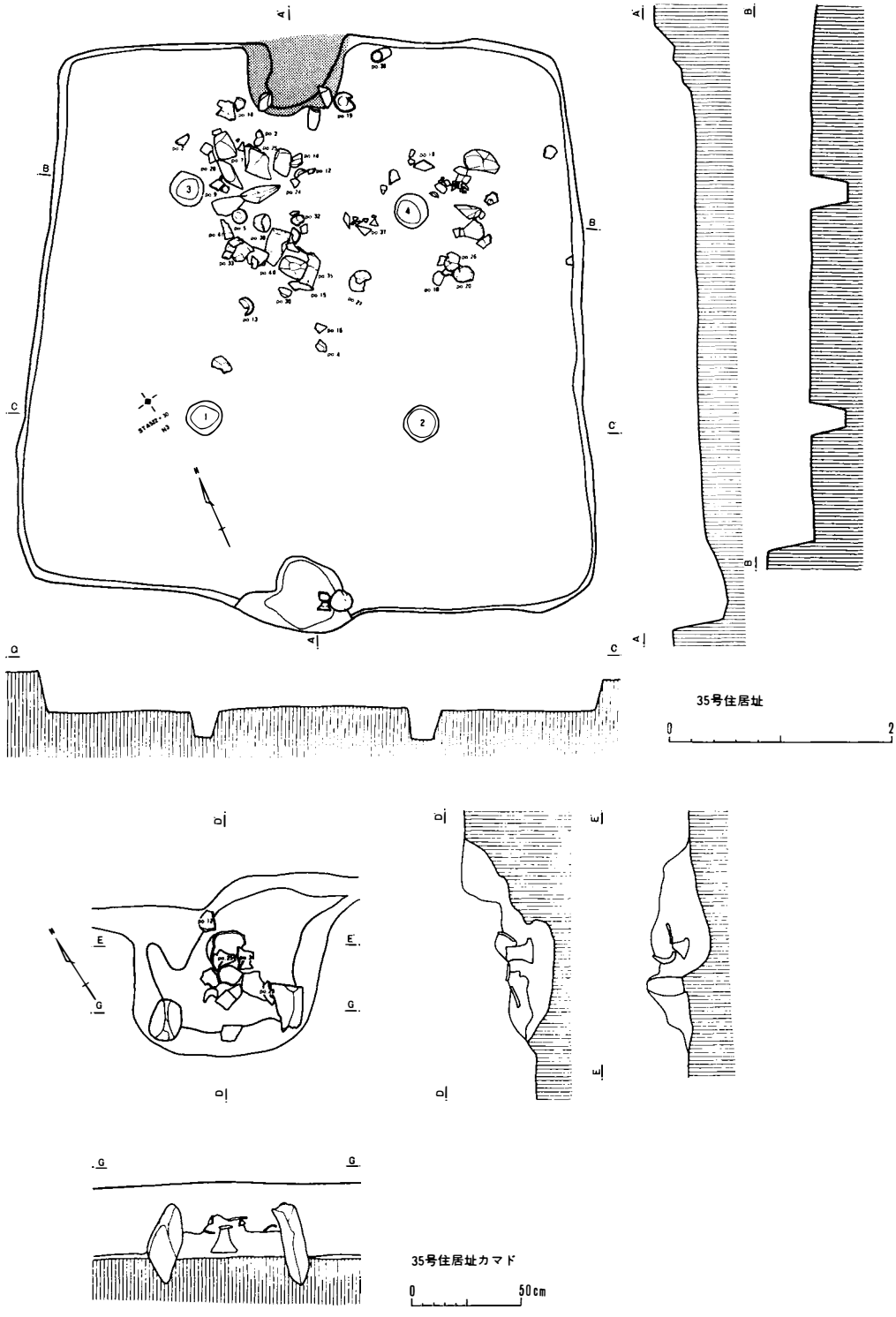
第27図　32号住居址平面図



第28図　33号住居址平面図、33号住居址カマド実測図

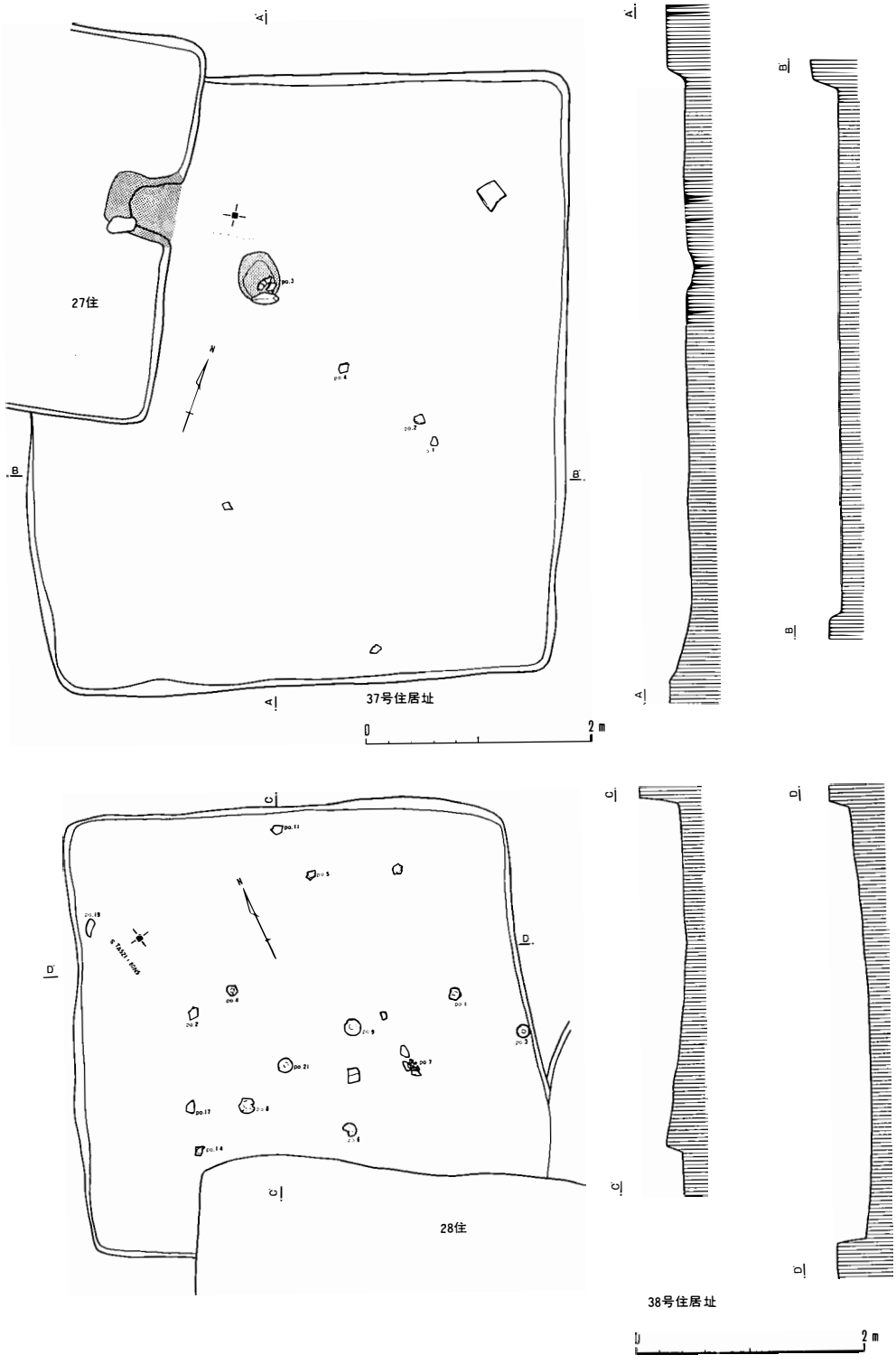


第29図　34号住居址平面図、34号住居址カマド実測図

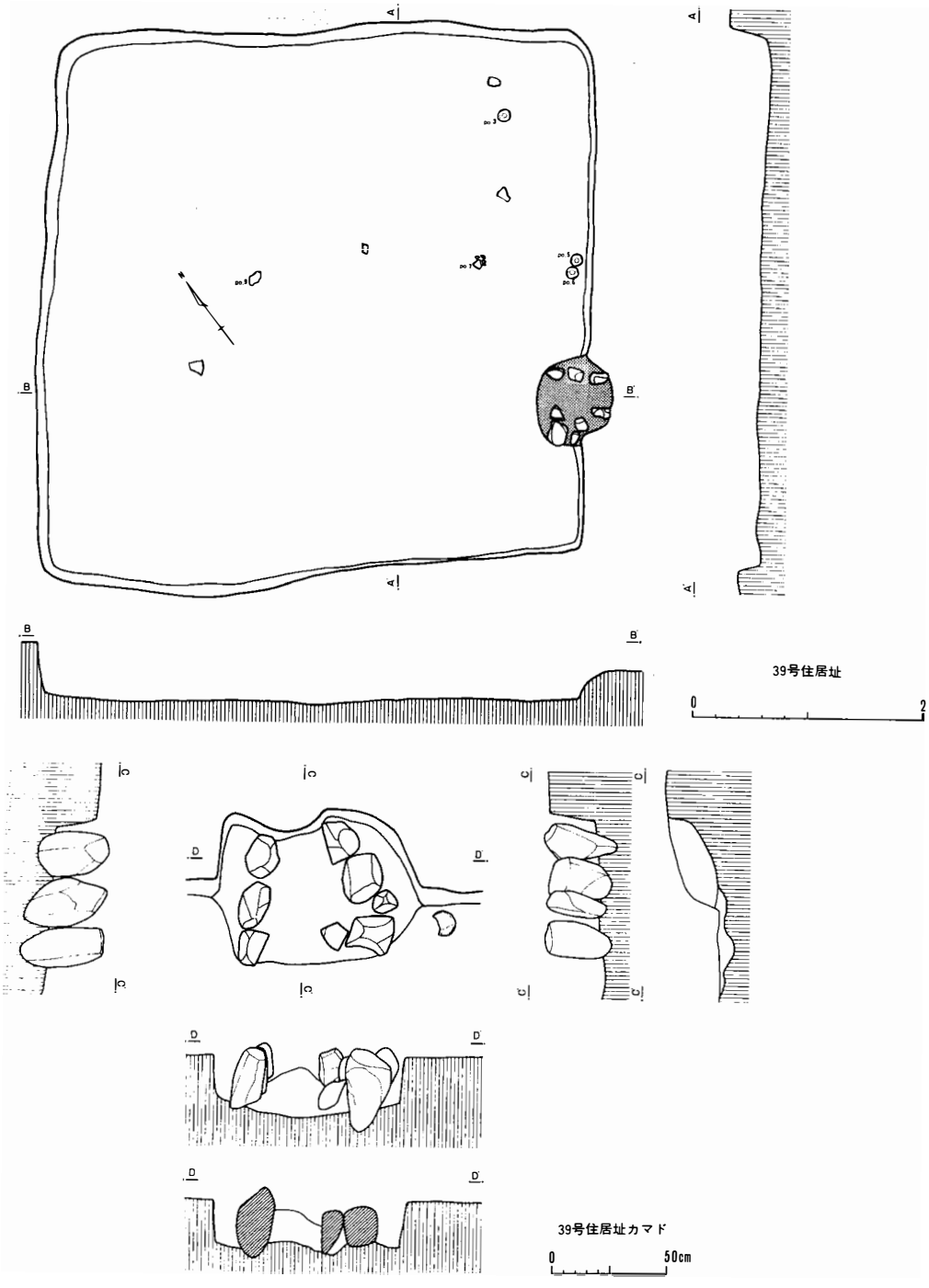


第30図　35号住居址平面図、35号住居址カマド実測図

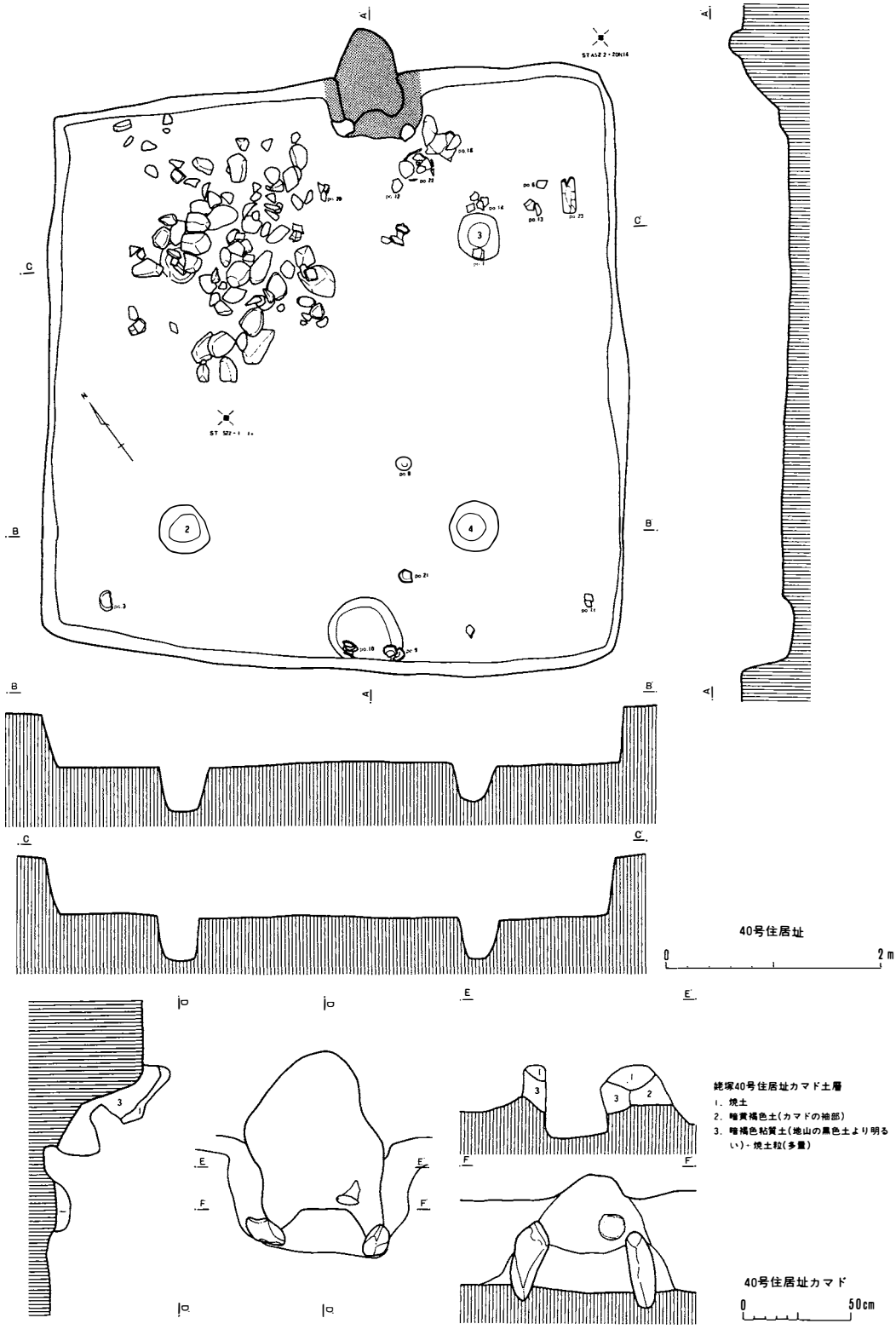
第31図　36号住居址平面図



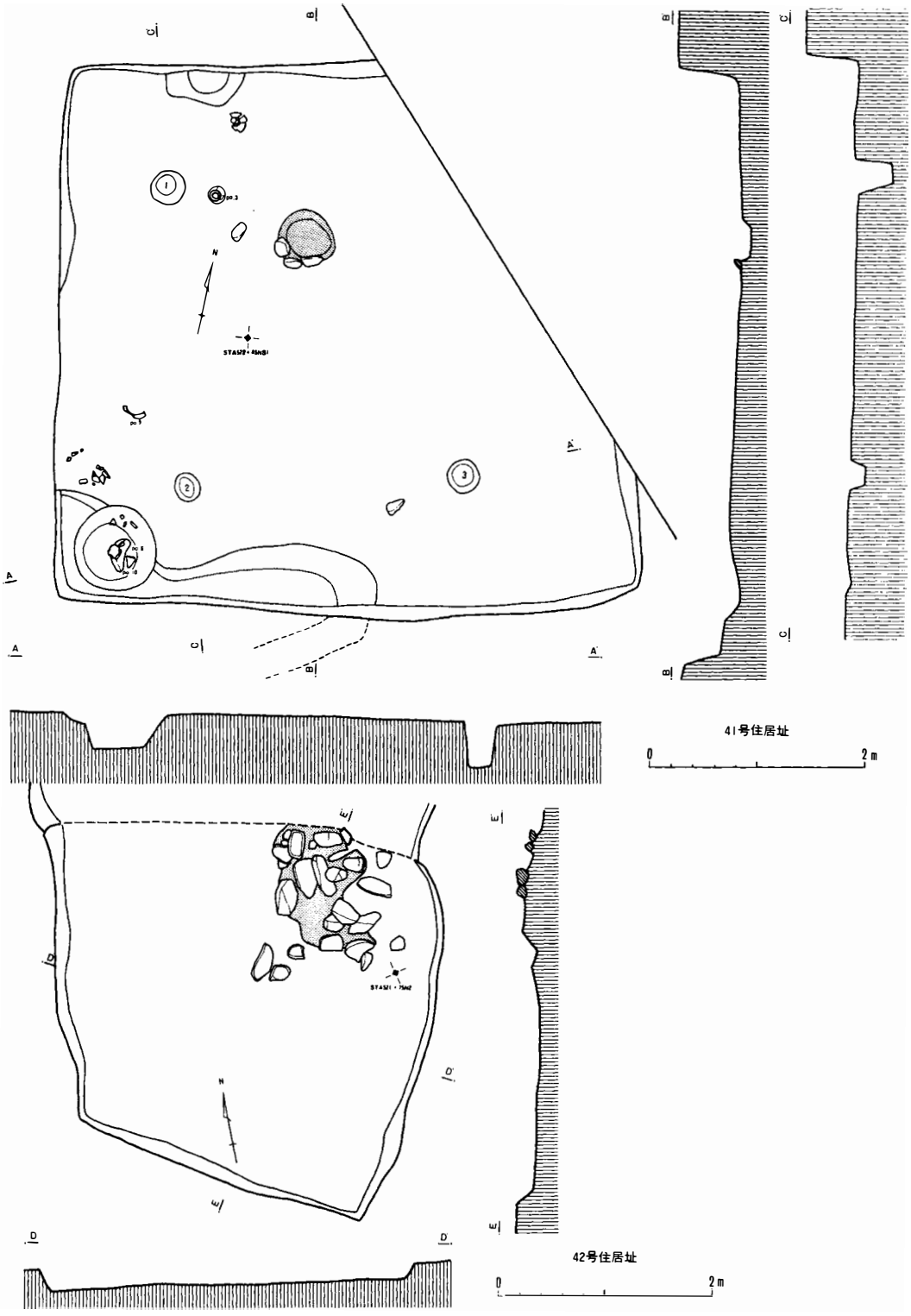
第32図　37、38号住居址平面図



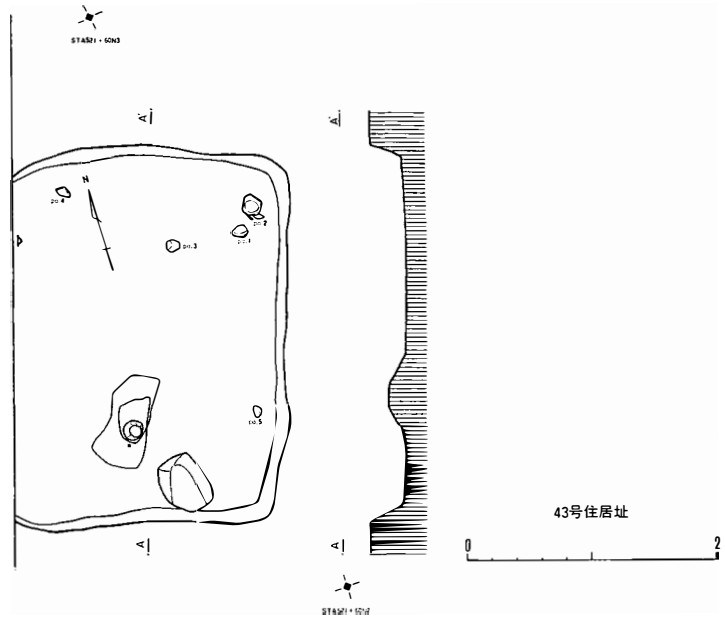
第33図　39号住居址平面図、39号住居址カマド実測図

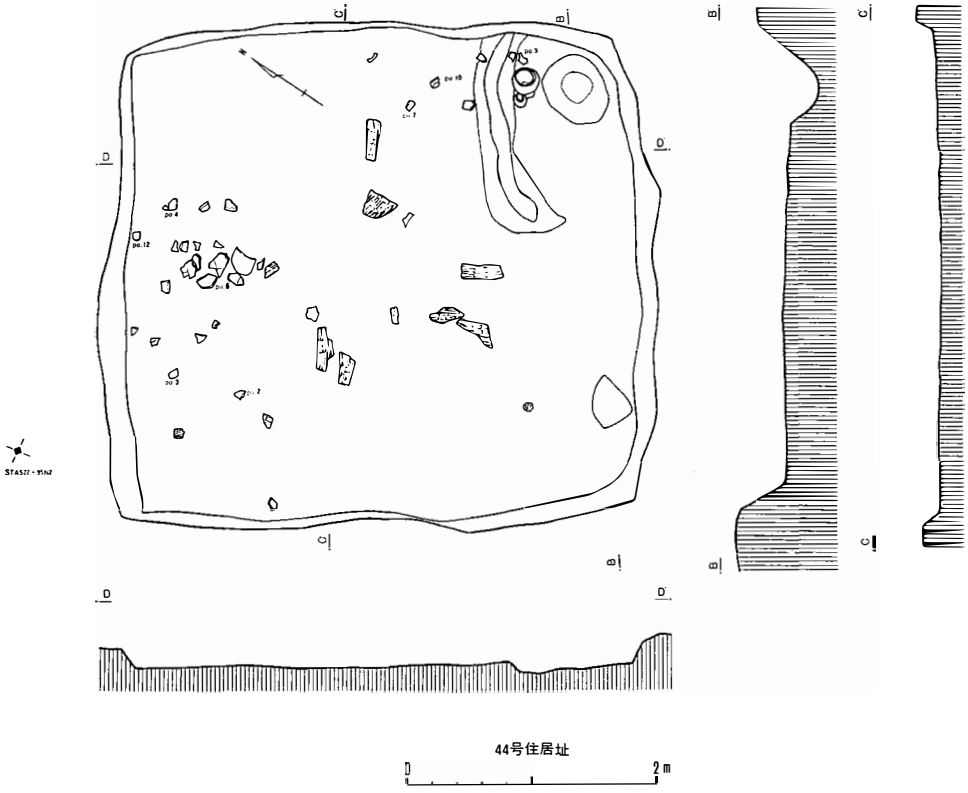


第34図　40号住居址平面図、40号住居址ナマド実測図

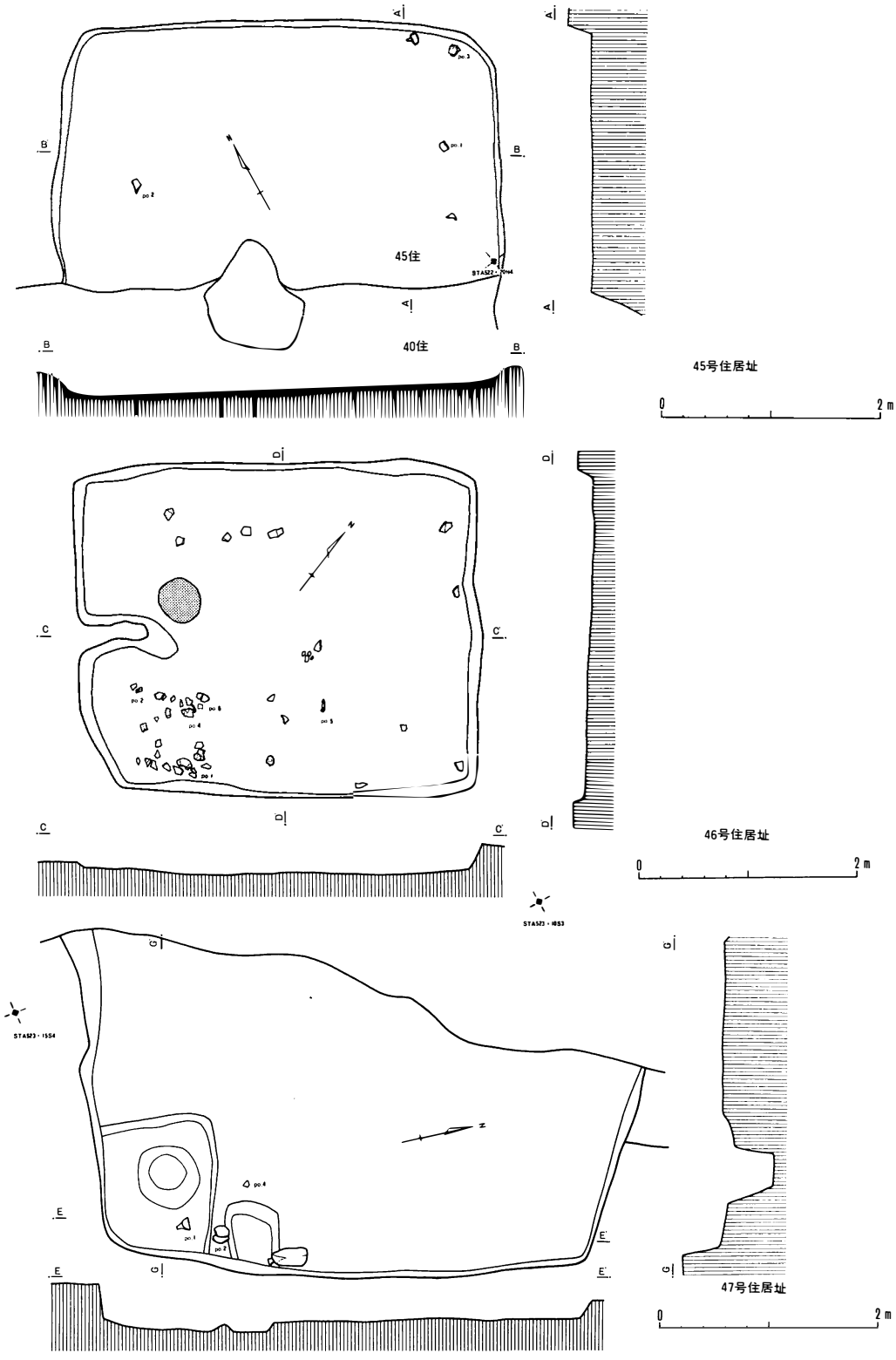


第35図　41、42号住居址平面図

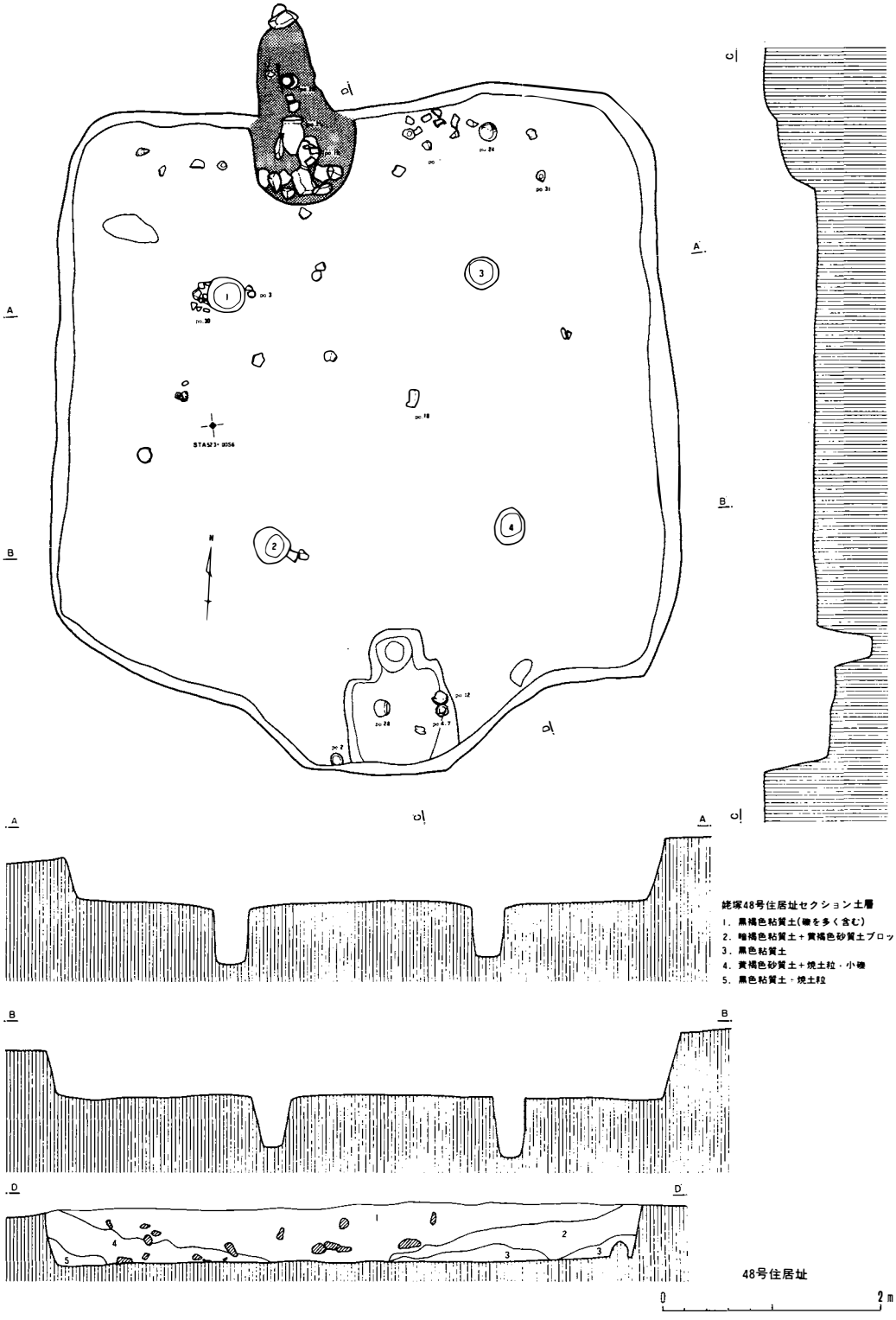




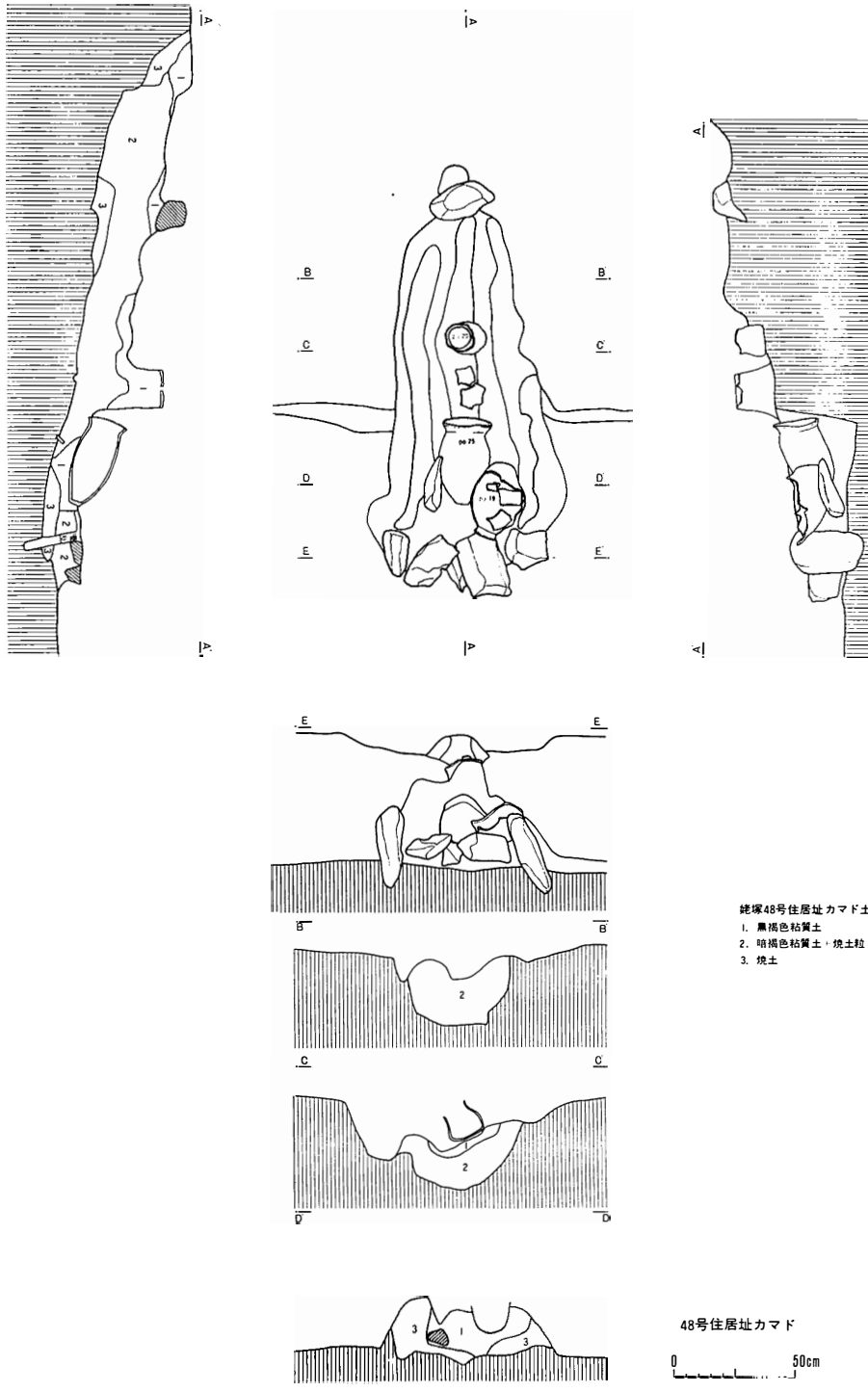
第36図　43、44号住居址平面図



第37図　45、46、47号住居址平面図

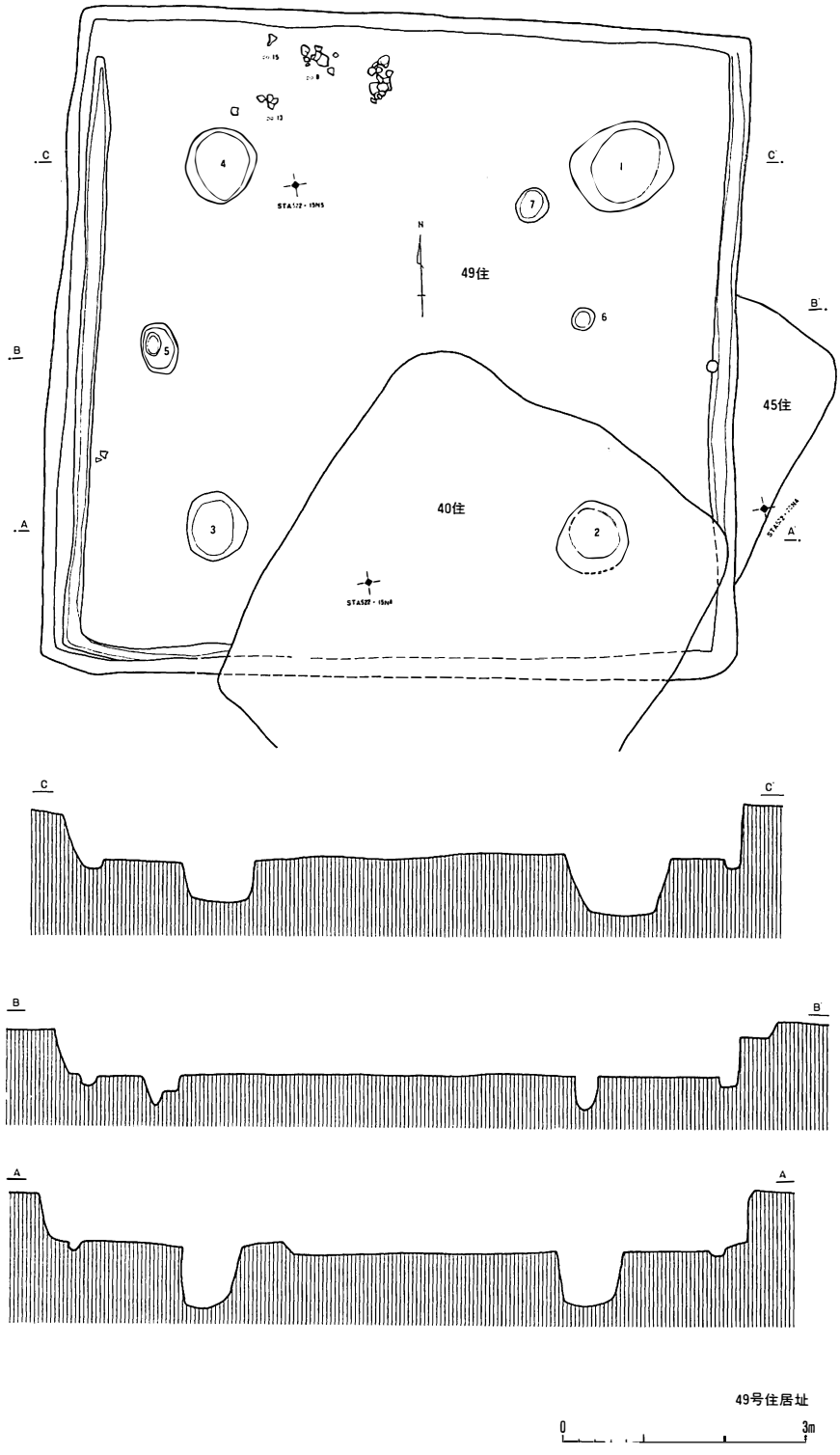


第38図　48号住居址平面図

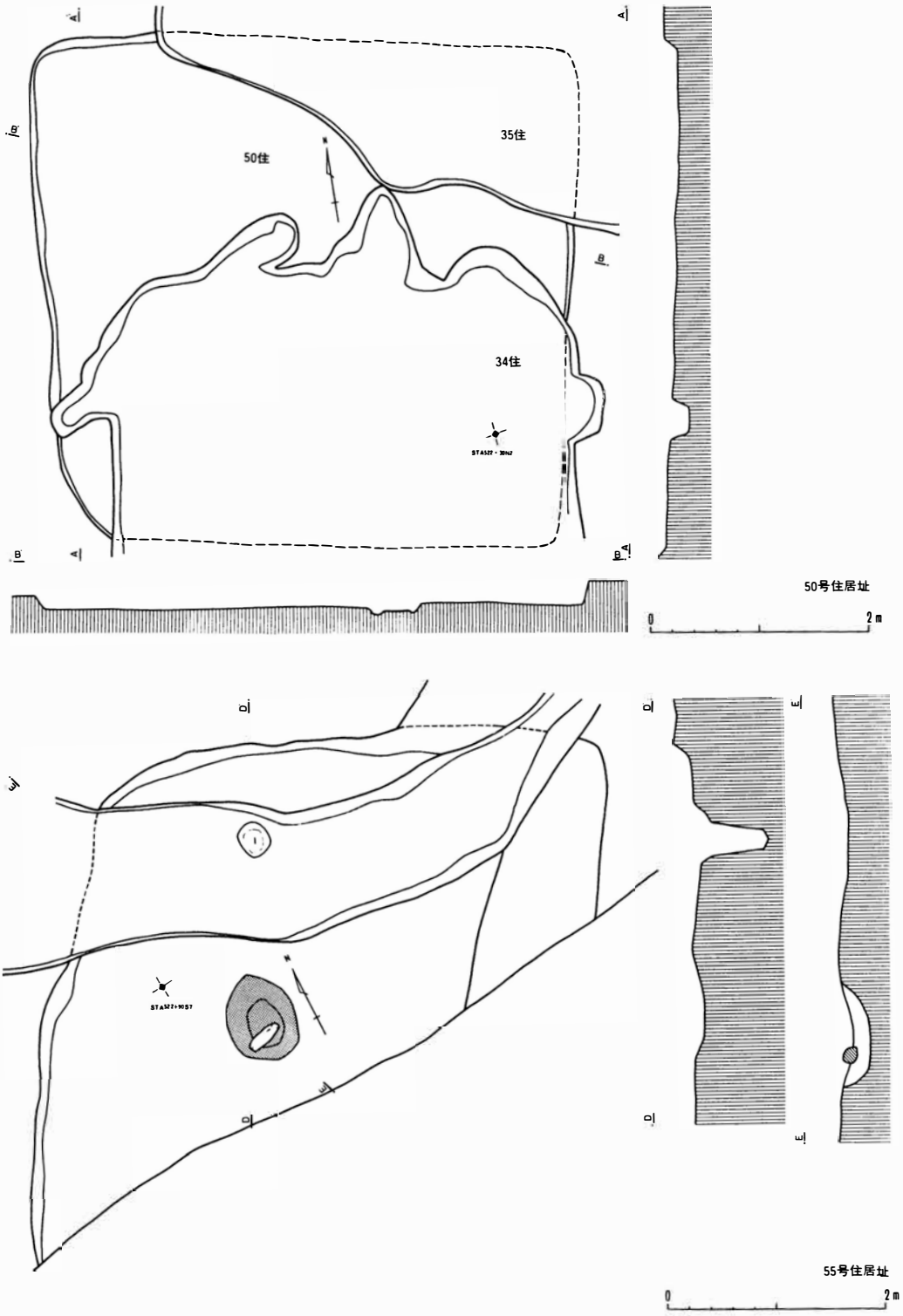


絶塚48号住居址カマド土層
1. 黒褐色粘質土
2. 暗褐色粘質土・焼土粒
3. 焼土

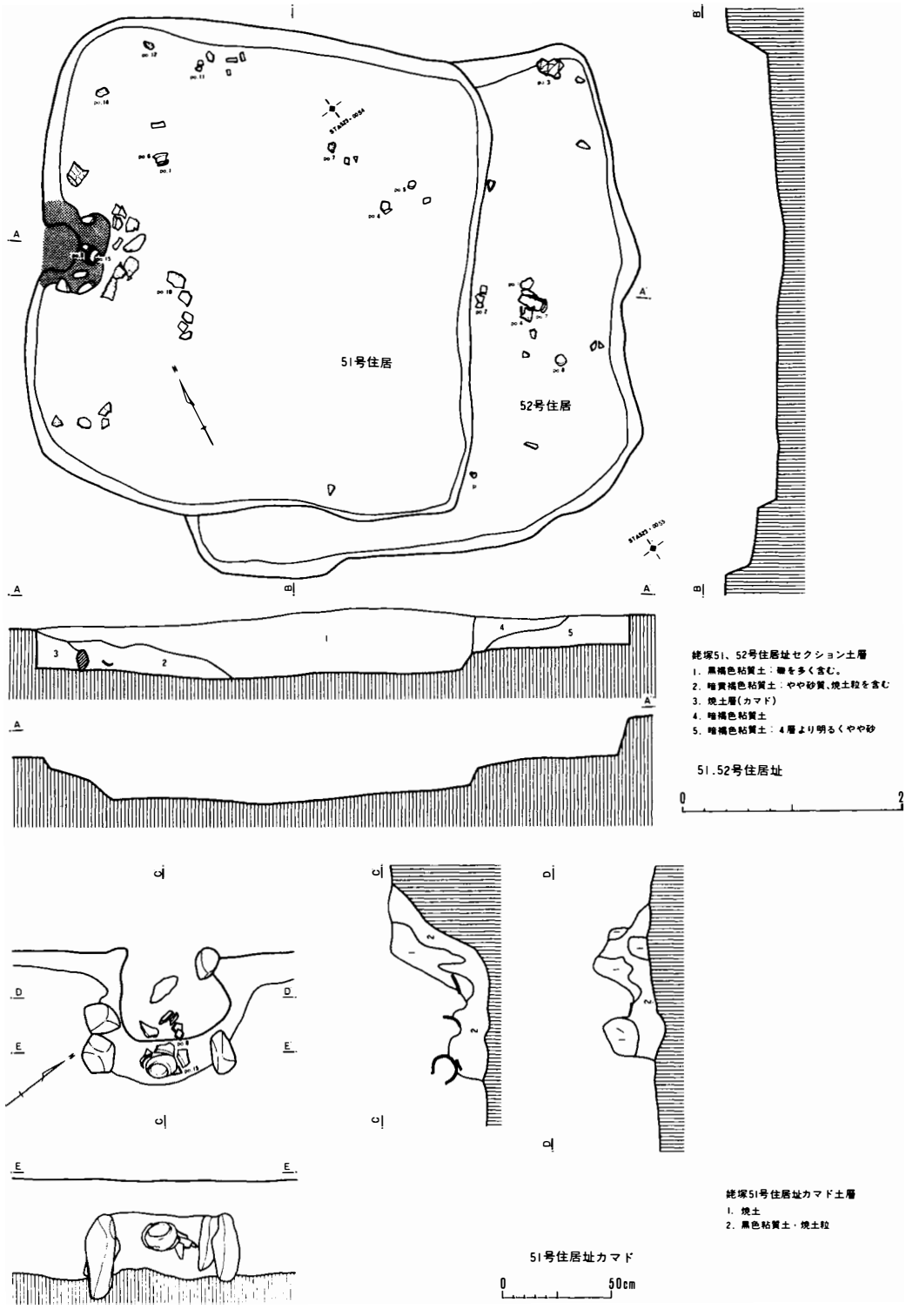
第39図　48号住居址カマド実測図



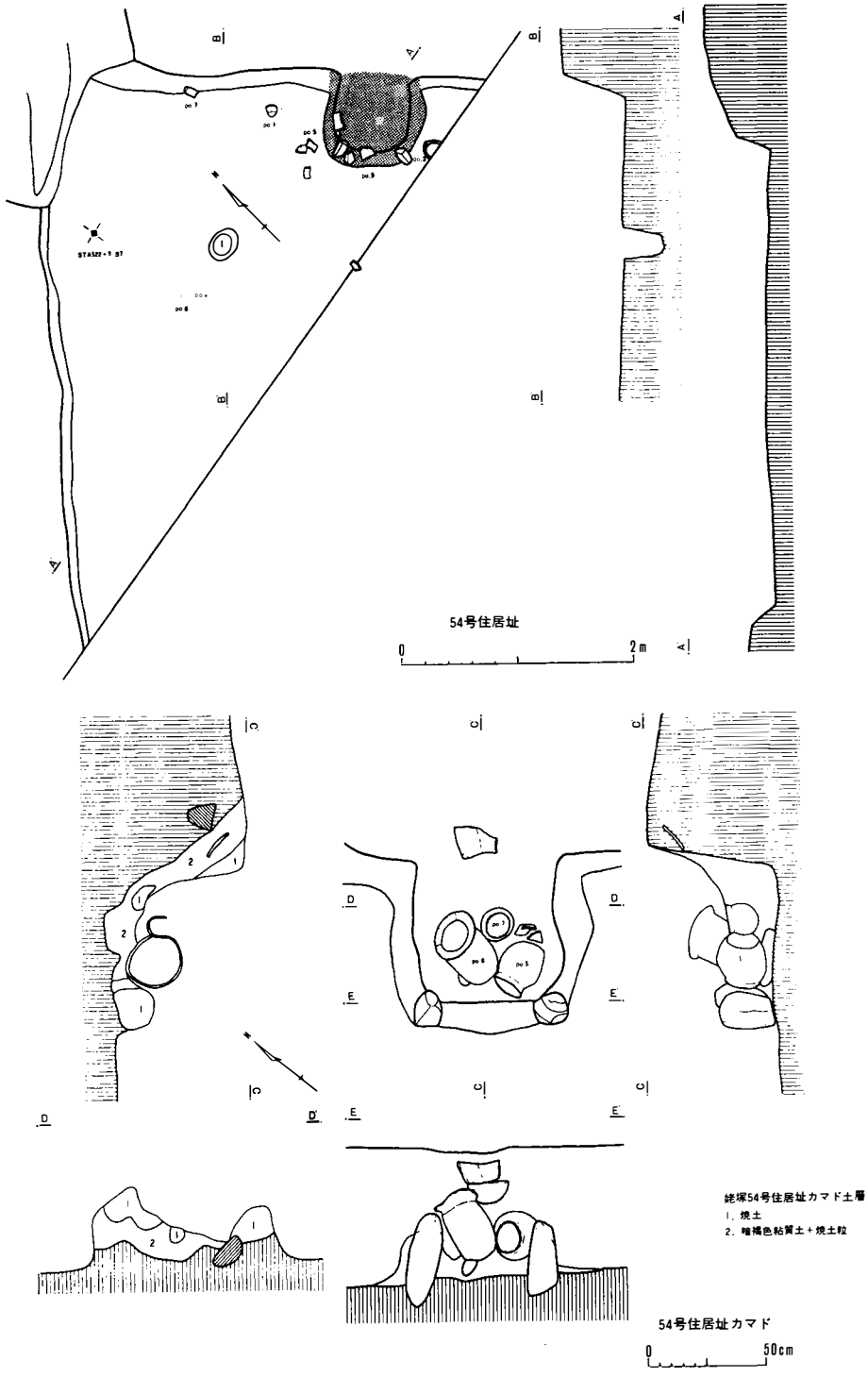
第40図　49号住居址平面図



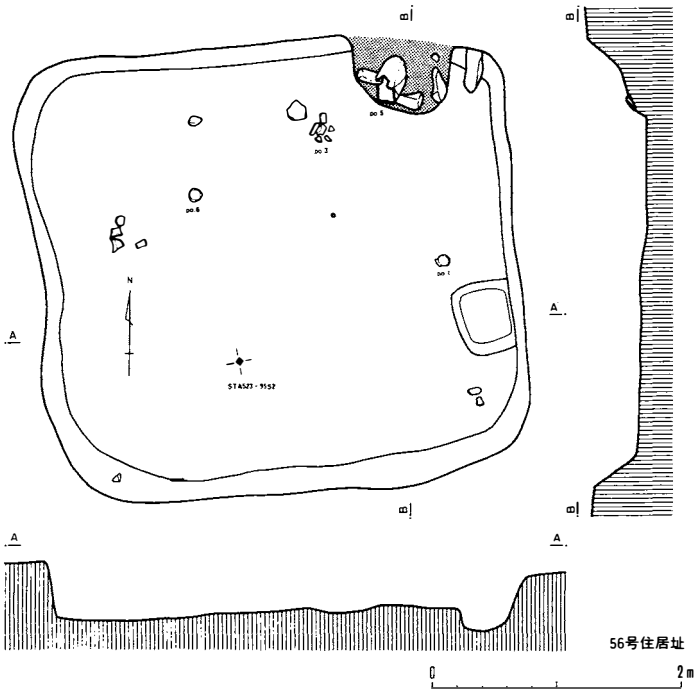
第41図　50、55号住居址平面図



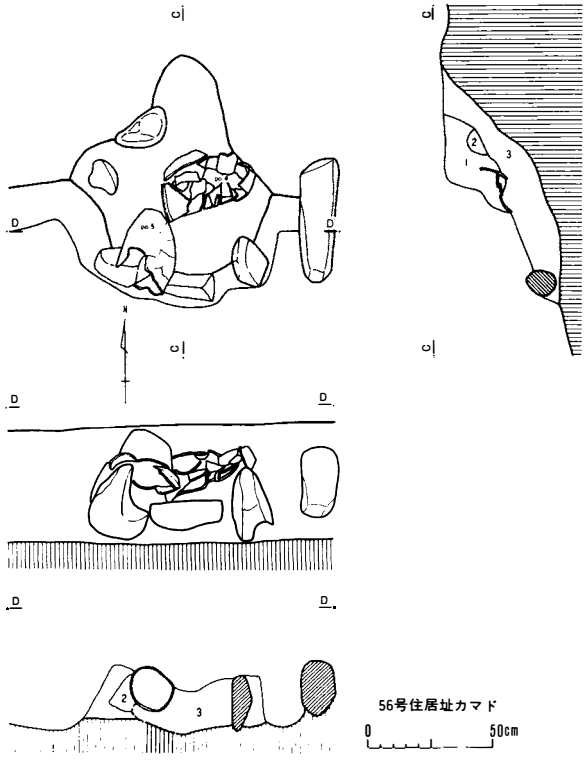
第42図　51、52号住居址平面図、51号住居址カマド実測図



第43図　54号住居址平面図、54号住居址カマド実測図

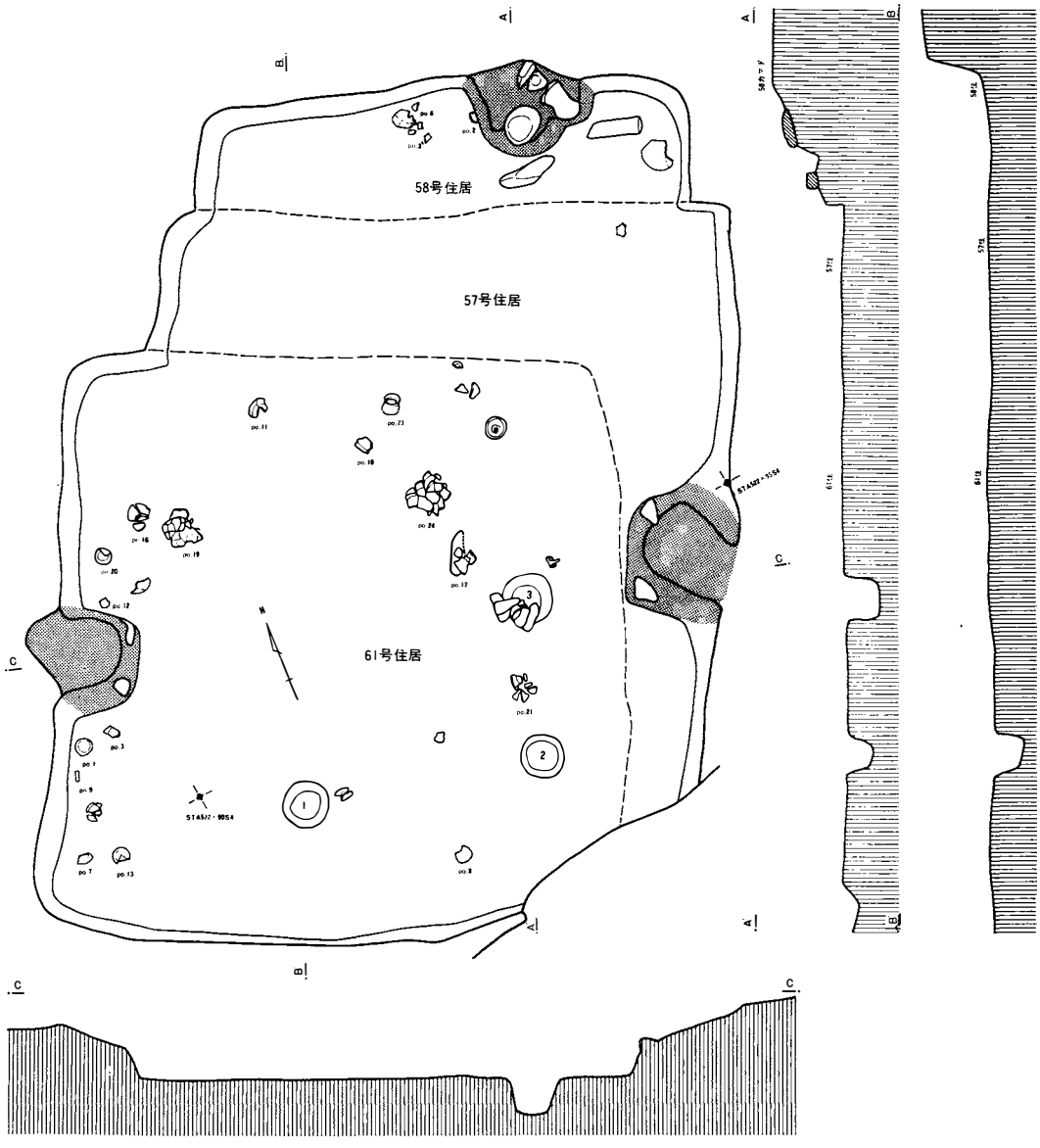


能塚56号住居址セクション土層
1. 耕作土
2. 暗褐色粘質土
3. 黒色粘質土
4. 暗黄褐色粘質土(砂を多く含み、やや砂質 2層より明るい)
5. 暗黄褐色砂質土
6. 暗褐色粘質土(2層より明るくやや砂質)



能塚56号住居址カマド土層
1. 暗褐色砂質土
2. 粘土塊
3. 焼土層

第44図　56号住居址平面図、56号住居址カマド実測図



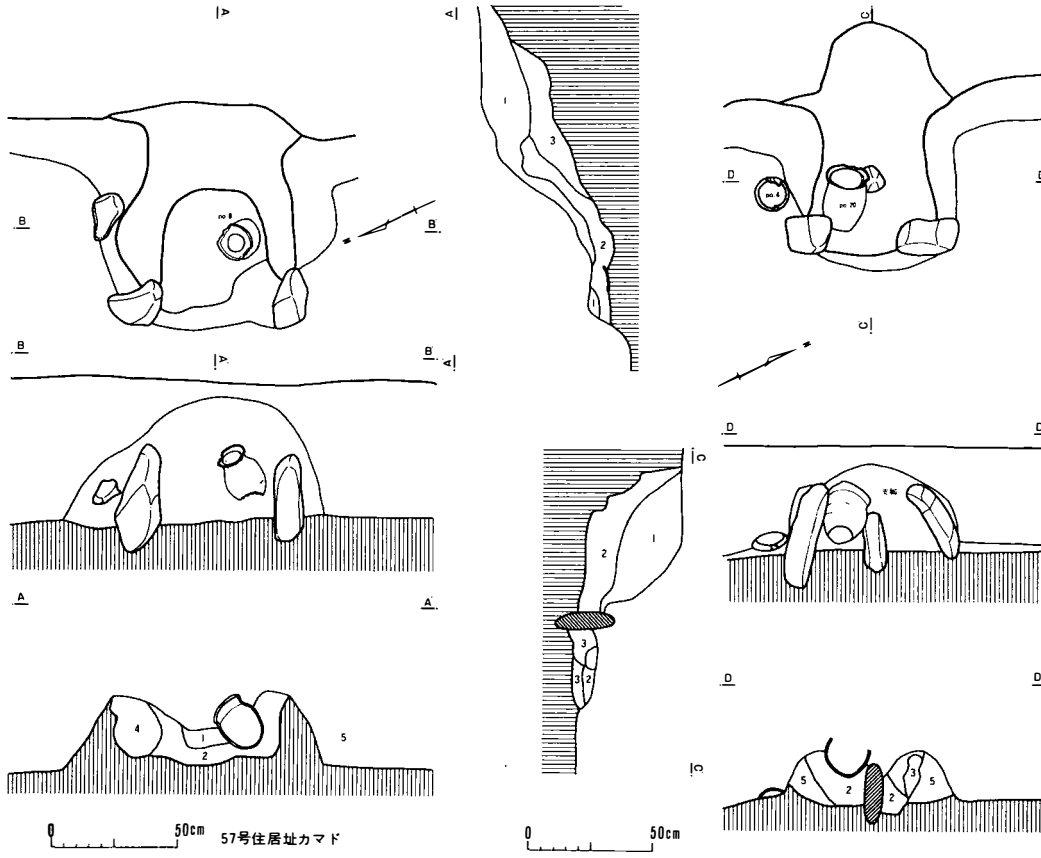
57.58.61号住居址

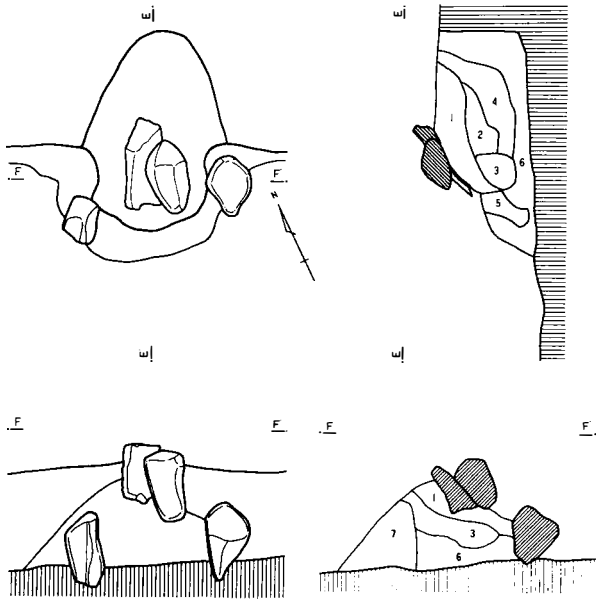
0　2m

姥塚58・61号住居址セクション土層

1. 暗褐色土
2. 褐色土混入暗褐色土
3. 暗褐色土(1層より明るい)
4. 褐色ブロック混入暗褐色土
5. 黄色ブロック混入褐色土
6. 黒色ブロック混入暗褐色土
7. 黒褐色土
8. 黄色砂質ブロック混入暗褐色土
9. 黄色砂質土
10. 黄色砂礫土

第45図　57、58、61号住居址平面図





能塚57号住居址カマド土層

1. 暗褐色土層．焼土粒子を含まない。粘性なし
2. 赤褐色土層．焼土を多量に含む
3. 褐色土層．焼土の量は2層より多くない
   2層より暗い
4. 褐色土層．焼土はブロック状に含む
   3層より暗い
5. 暗褐色土層．1層と酷似する。1層より暗い
   焼土粒子は若干含む

能塚58号住居址カマド土層

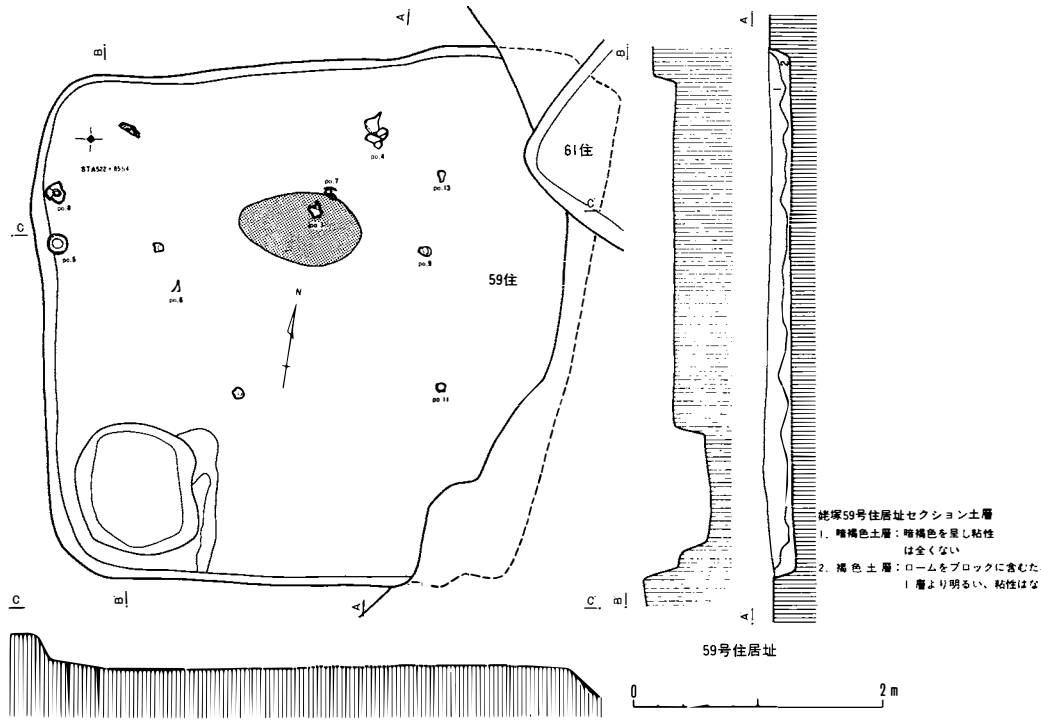
1. 褐色土層．焼土ブロック状に若干含む
   粘性なし
2. 褐色土層．1層に酷似するが焼土は含まない
   色調は1層より暗い
   粘性なし、砂質層
3. 明褐色土層　焼土を多量に含む砂質で粘性なし
4. 黒褐色土層．2層と比較して色調が暗い
   やはり砂質で粘性なし
   焼土は含まず
5. 暗褐色土層．6層に比べ暗い
   粘性なし、焼土粒子含まない
6. 暗褐色土層．焼土粒子を含むため5層より明
   るい。粘性なし

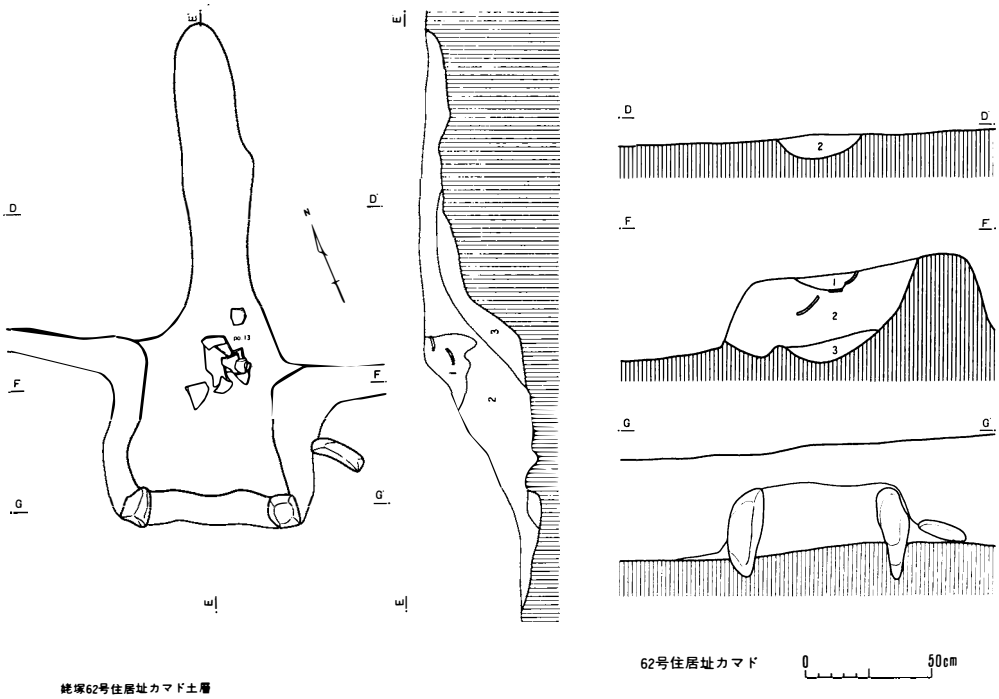
能塚61号住居址カマド土層

1. 暗褐色粘質土(やや砂質)・焼土粒(多量)
2. 黒色粘質土＋焼土粒(少量)
3. 焼土
4. 黒色粘質土
5. 暗褐色粘質土(1層より暗い)

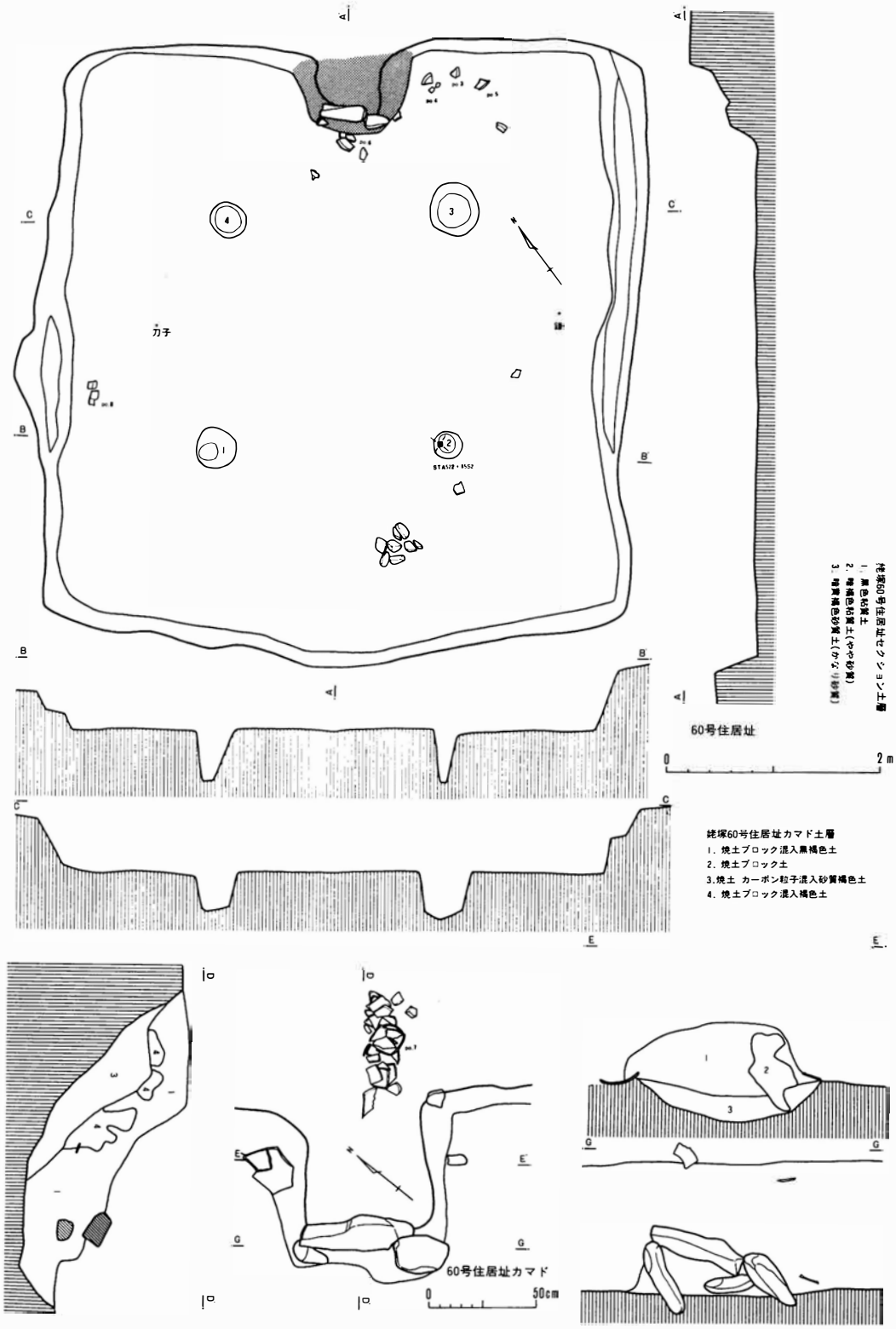
0 50cm

第46図　57、58、61号住居址カマド実測図

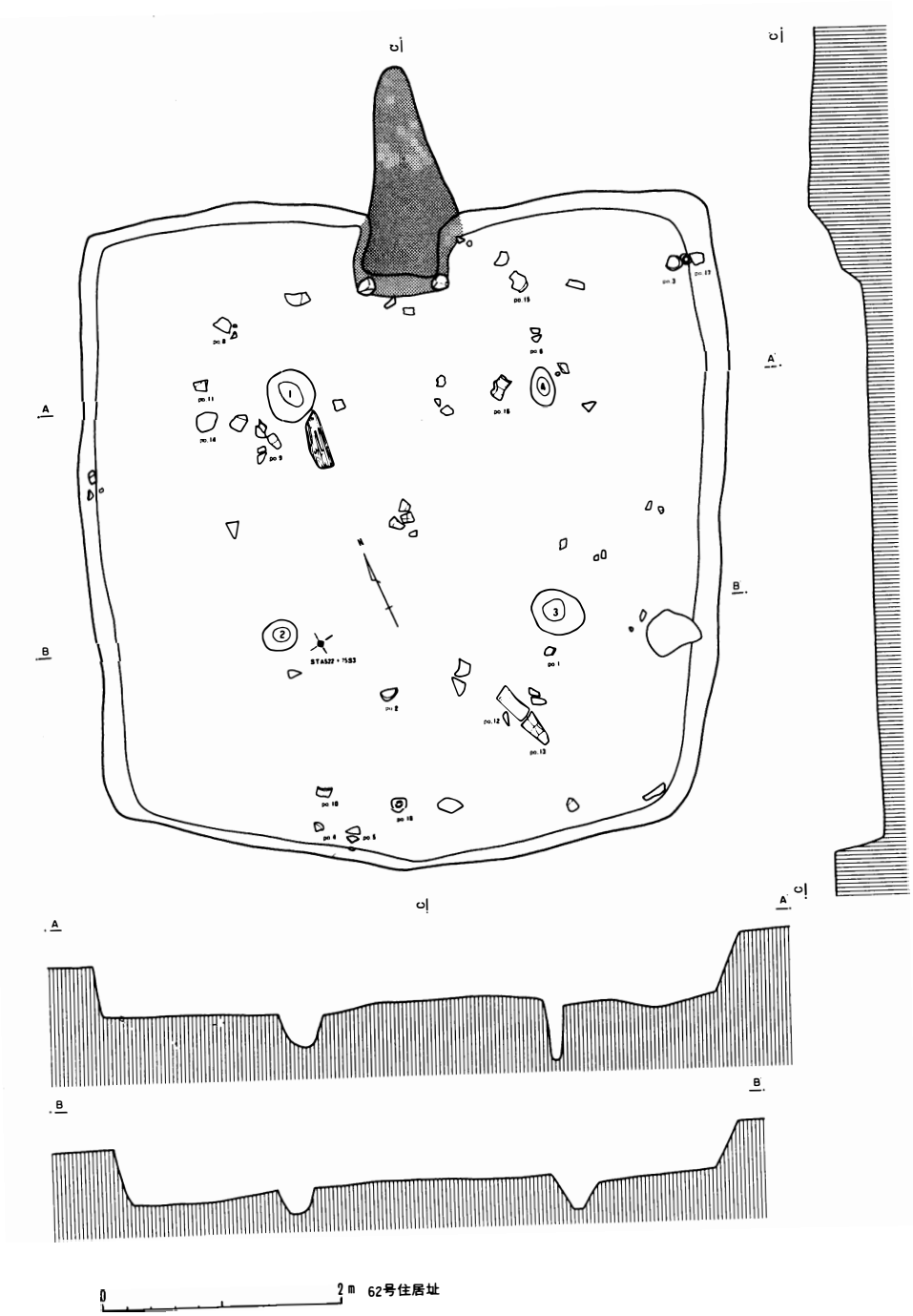




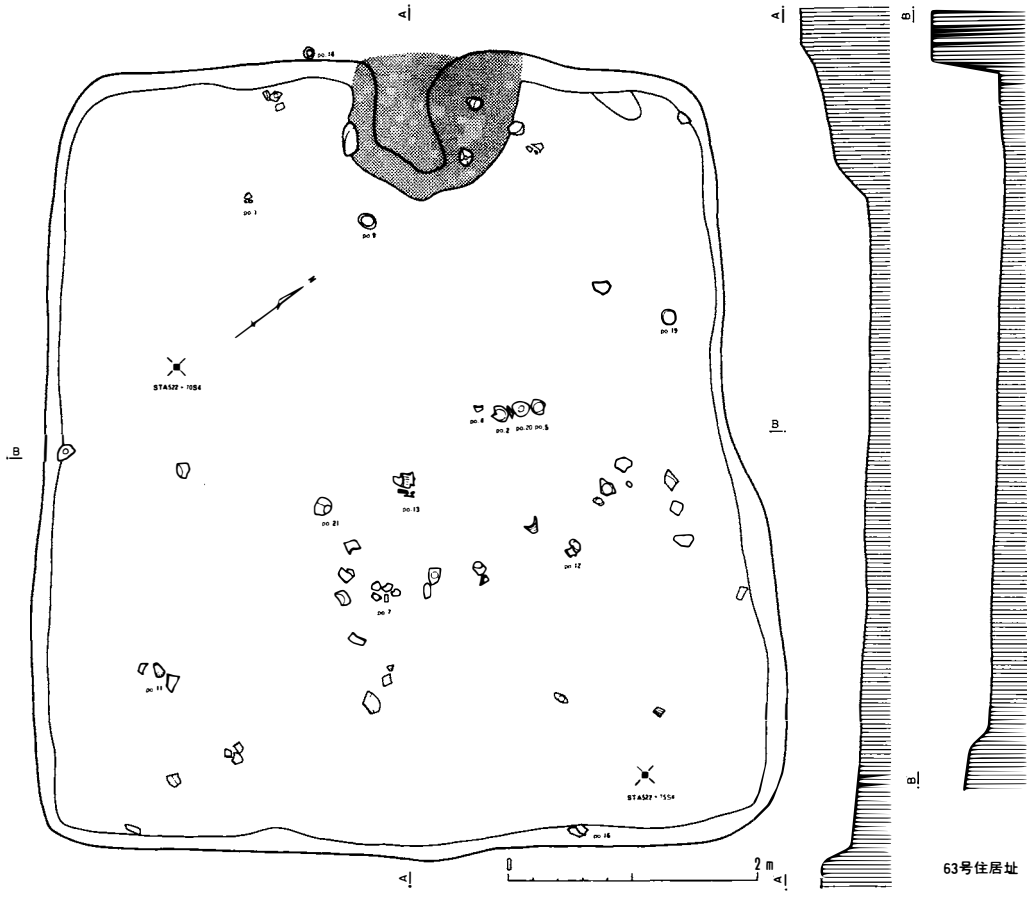
第47図　59号住居址平面図、62号住居址カマド実測図

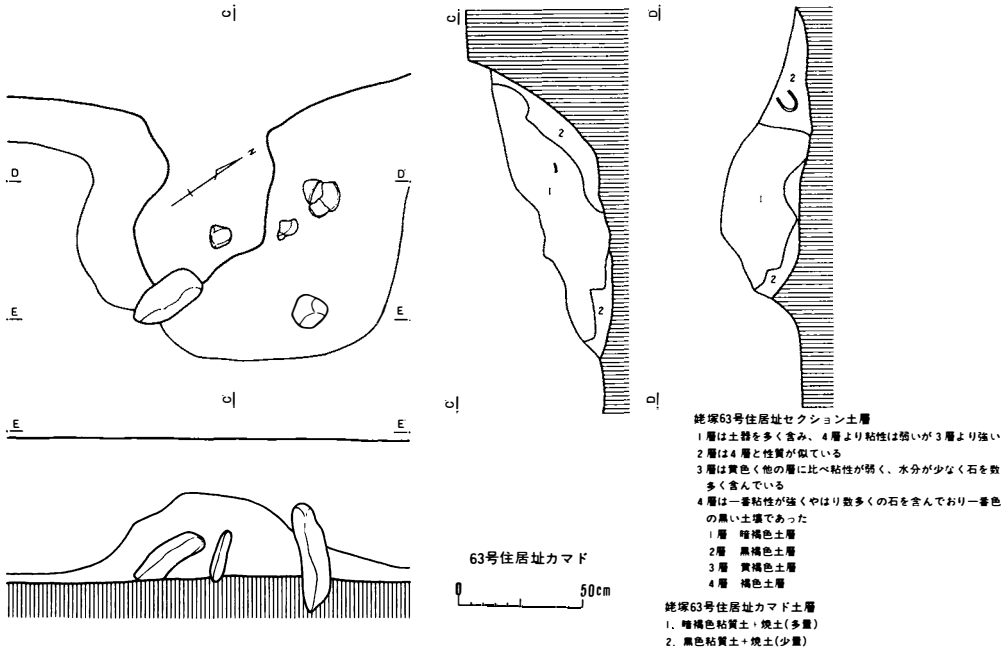


第48図　60号住居址平面図、60号住居址カマド実測図

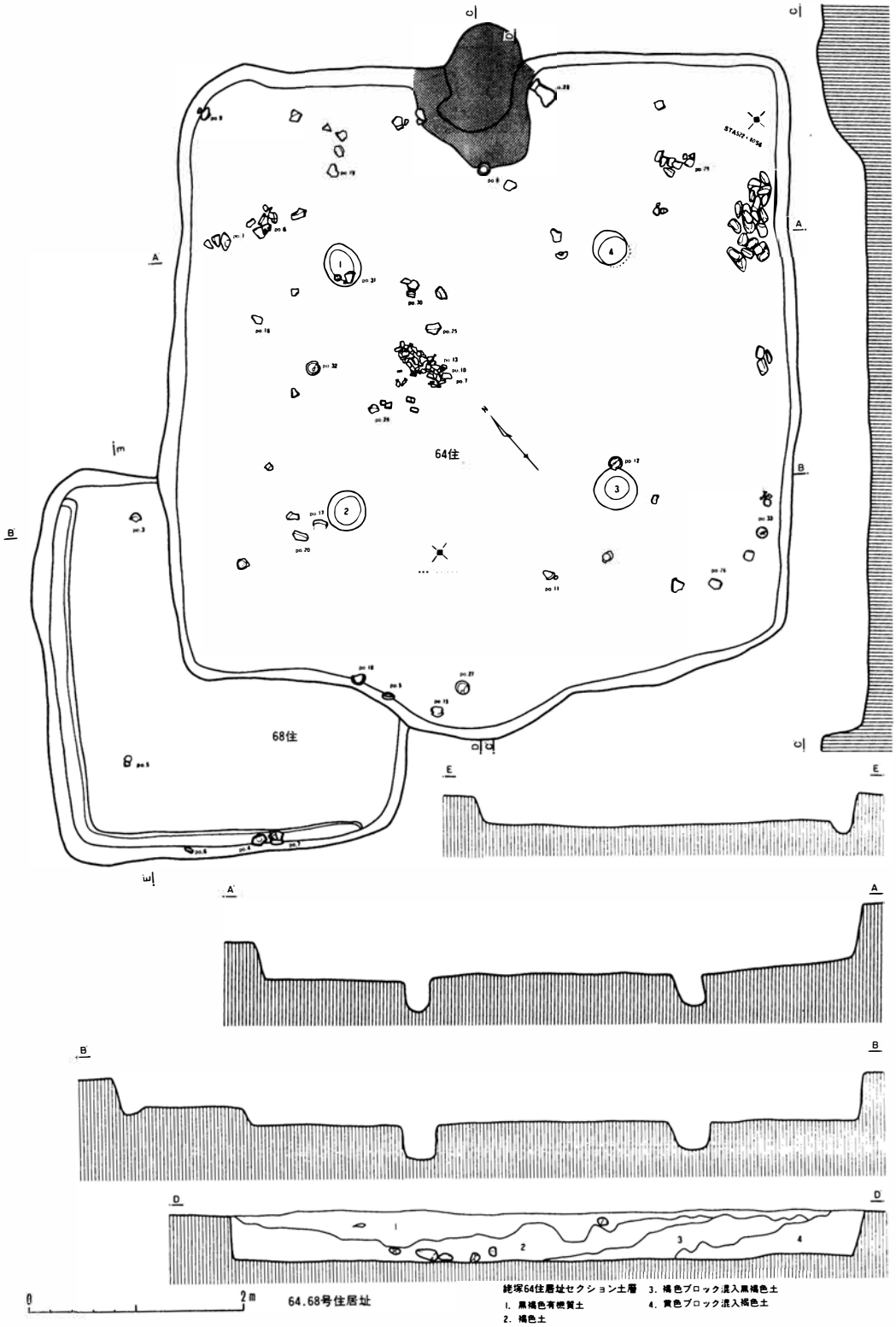


第49図　62号住居址平面図

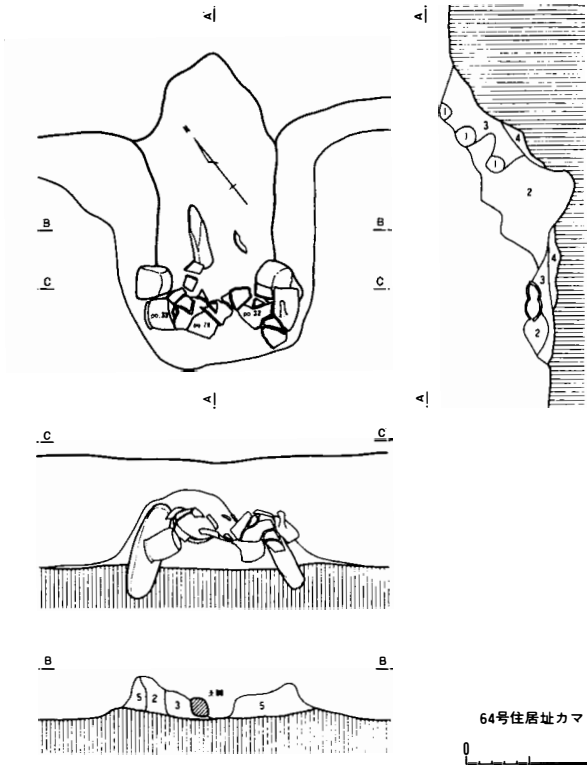




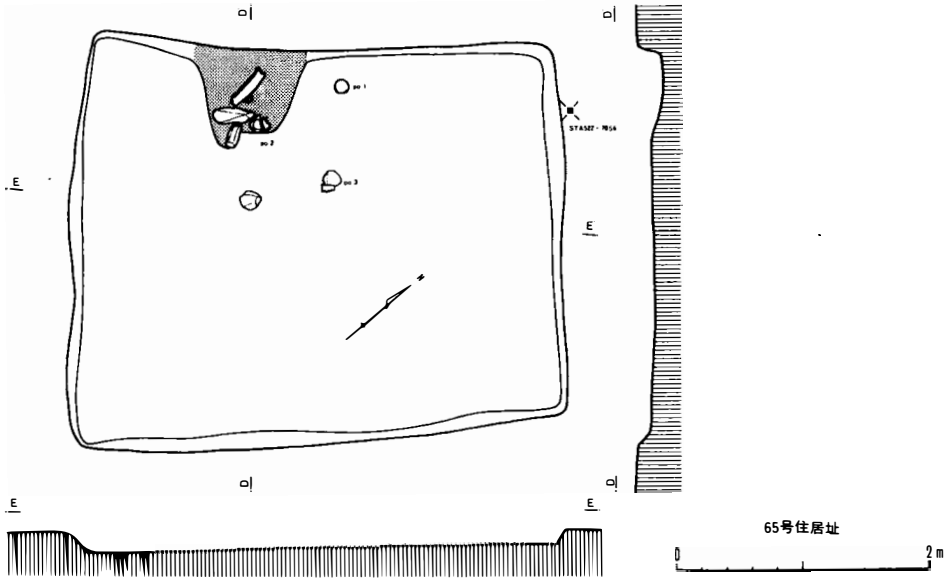
第50図　63号住居址平面図、63号住居址カマド実測図



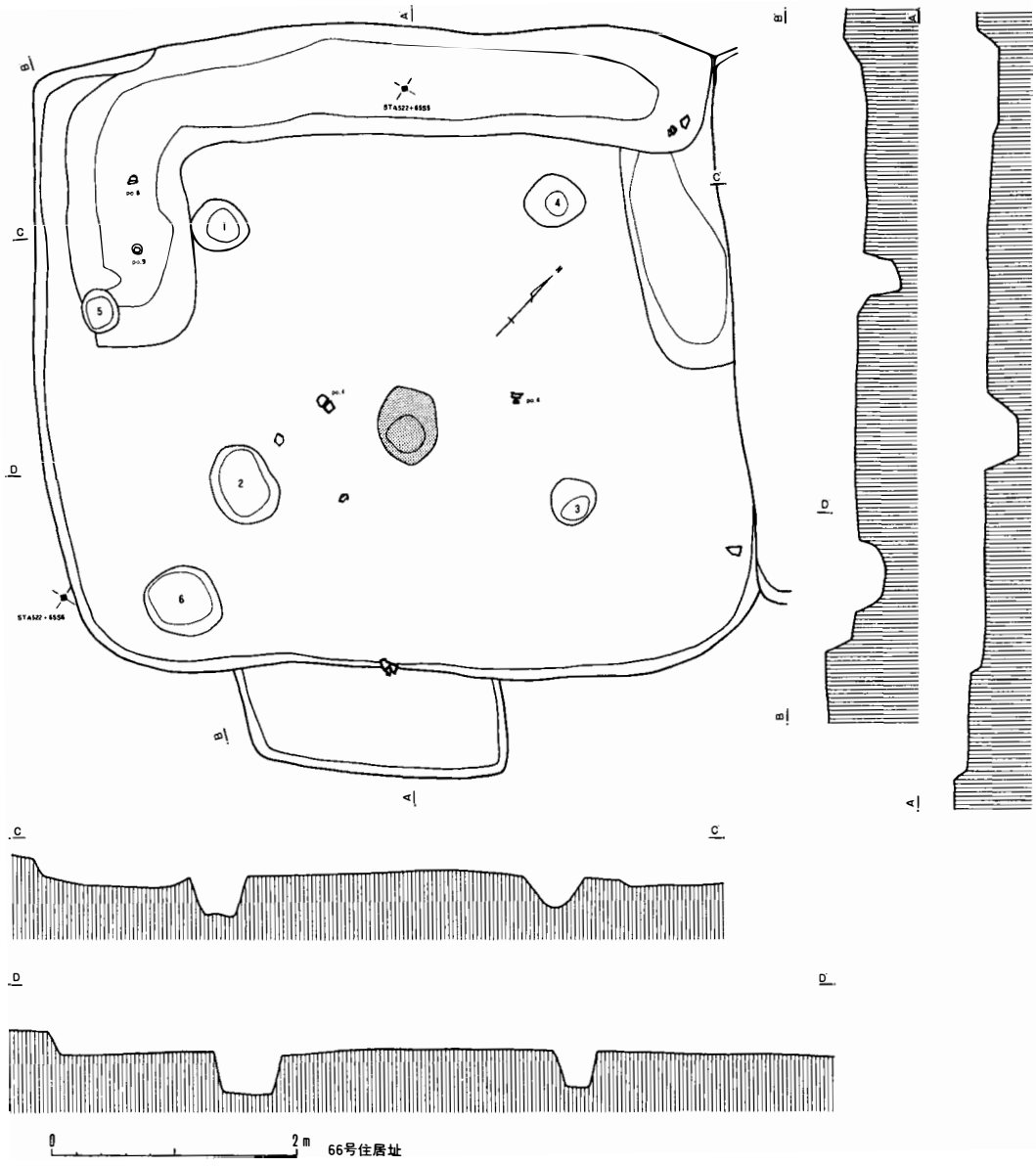
第51図　64、68号住居址平面図



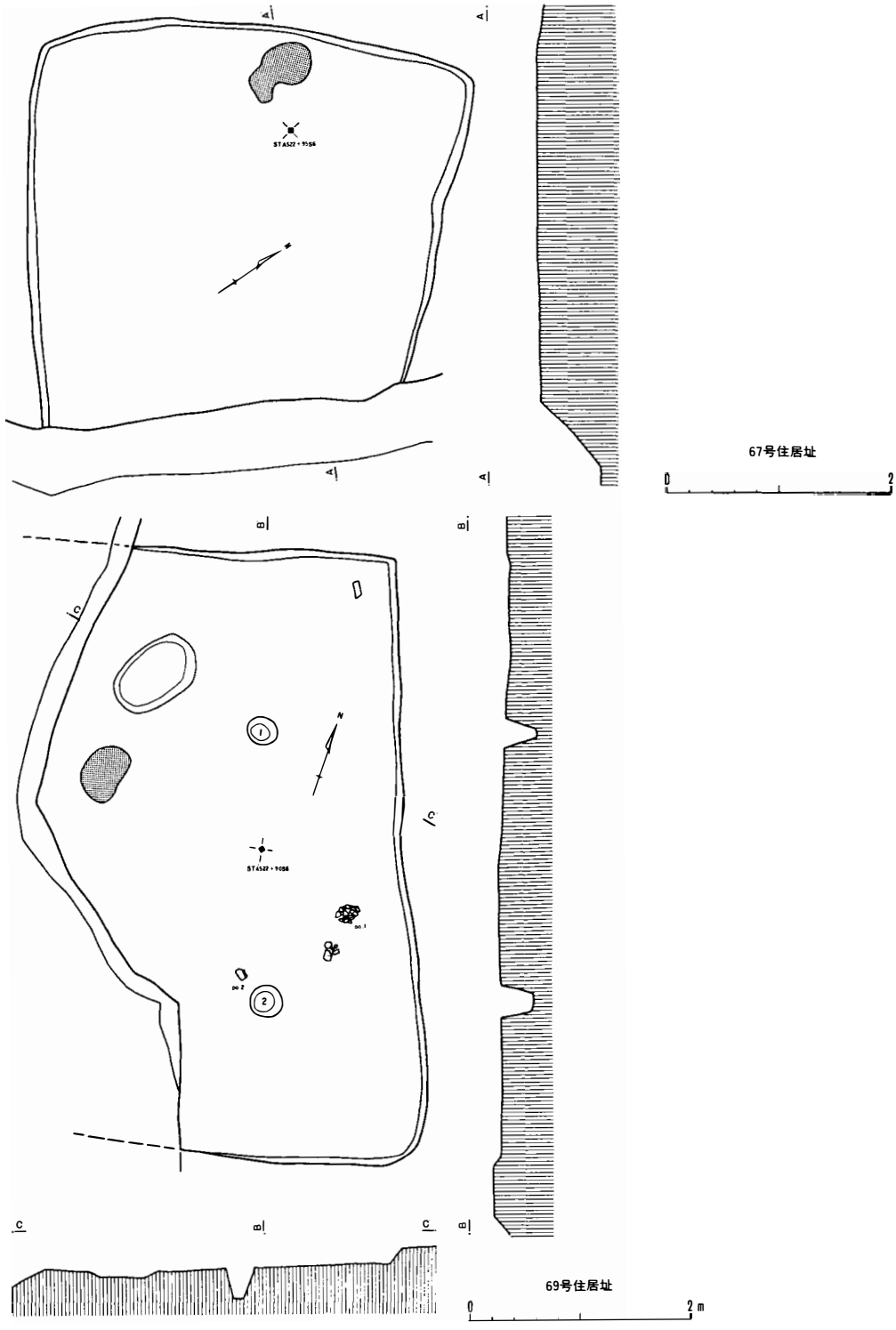
能塚64号住居址カマド土層
1. 焼土(礫を含むレンガ状の焼土)
2. 焼土(礫を含まず袖等の粘土が焼けたもの)
3. 黒色粘質土・焼土粒
4. 焼土(地山が焼けたもの)
5. 黄褐色粘土



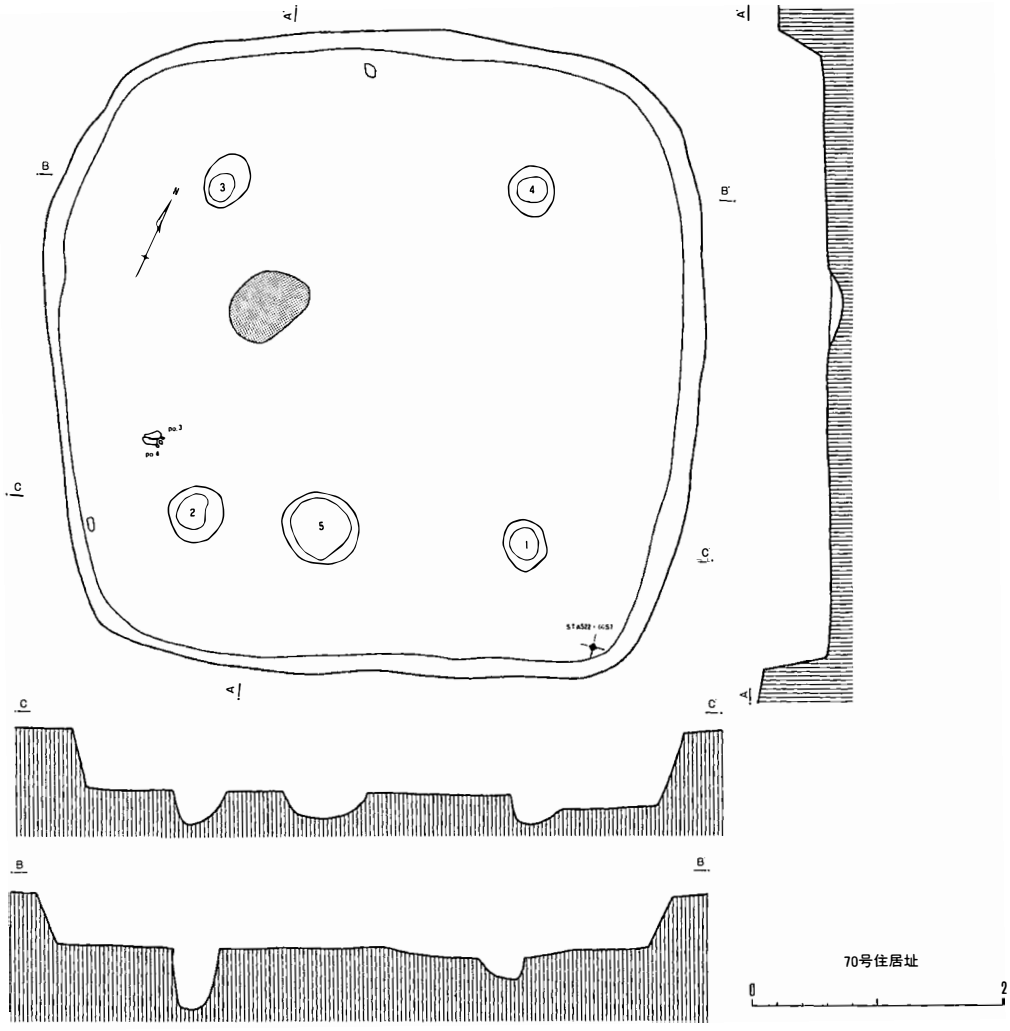
第52図　65号住居址平面図、64号住居址カマド実測図



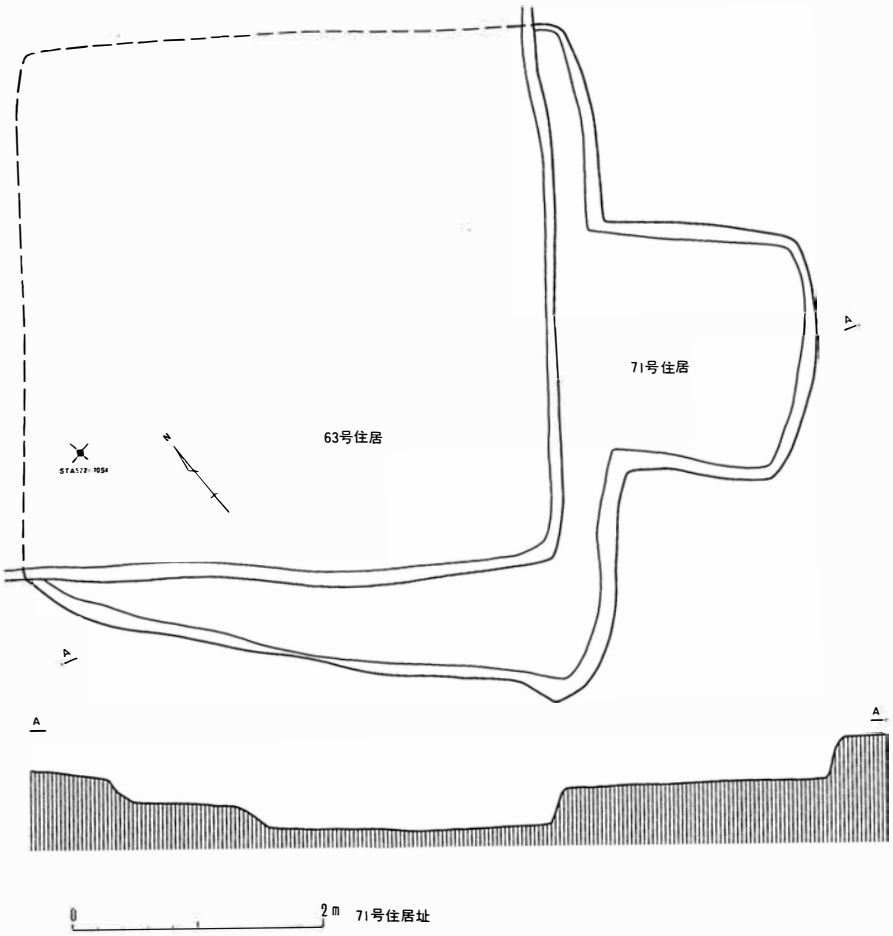
第53図　66号住居址平面図



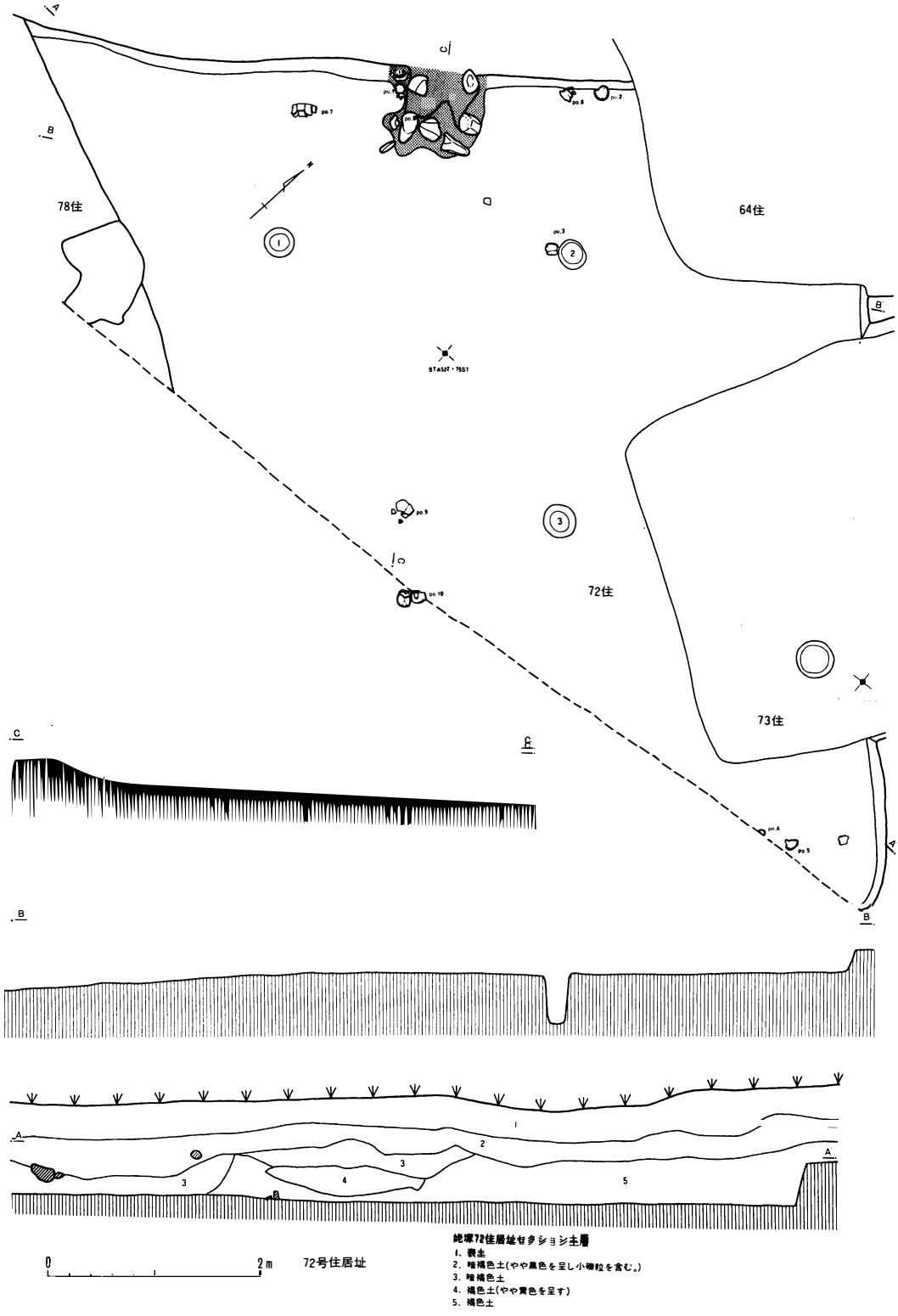
第54図　67、69号住居址平面図



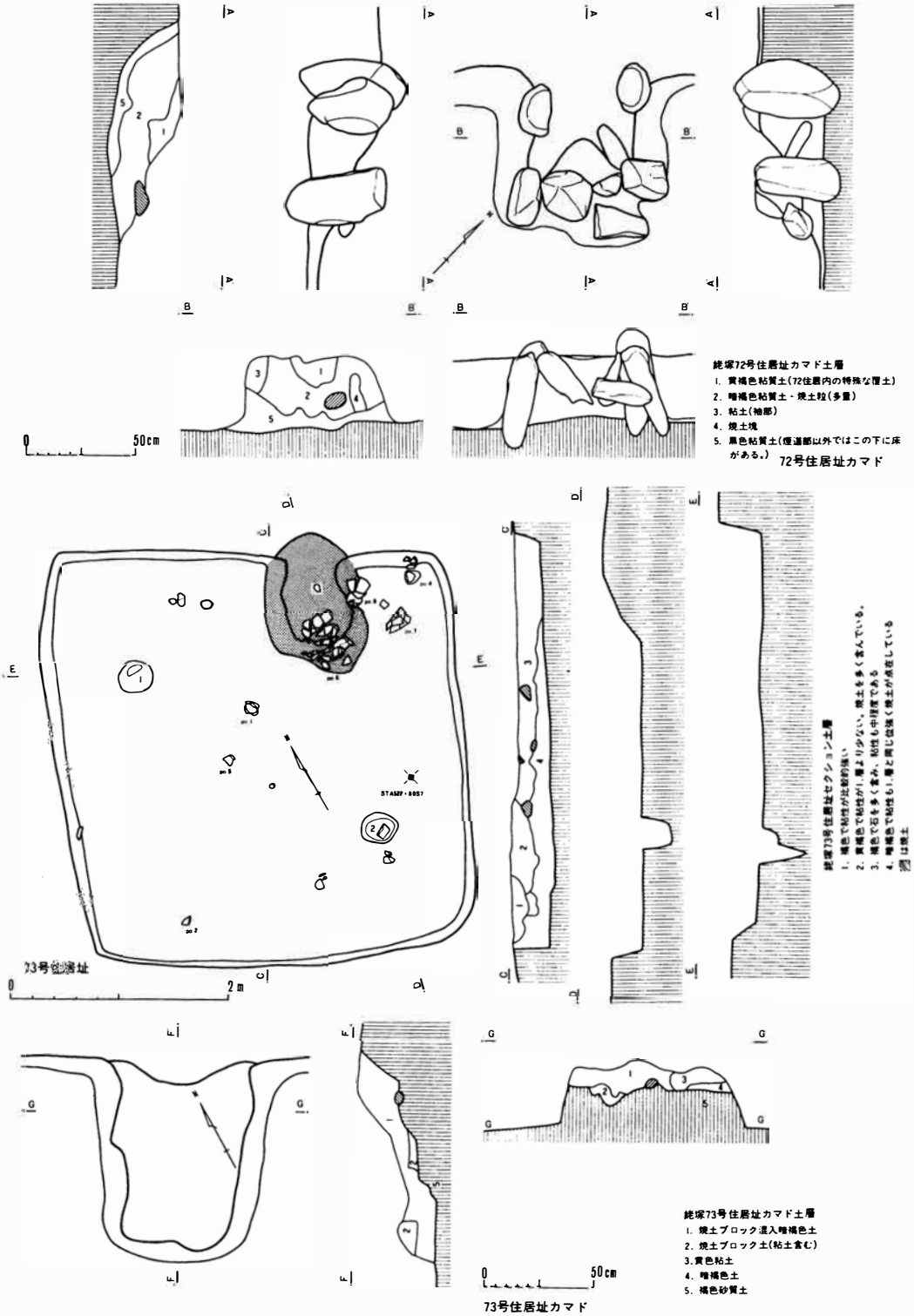
第55図　70号住居址平面図



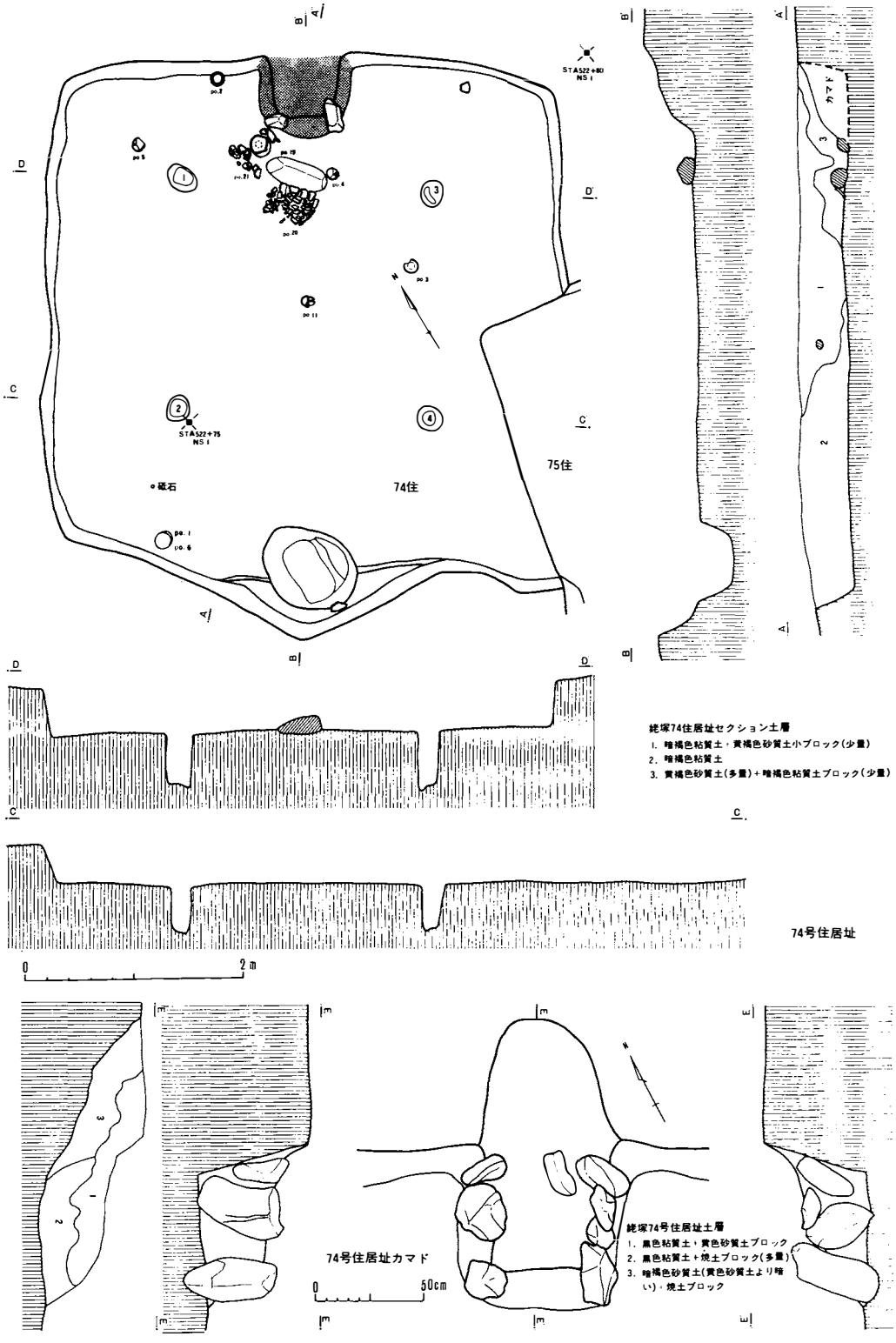
第56図　71号住居址平面図



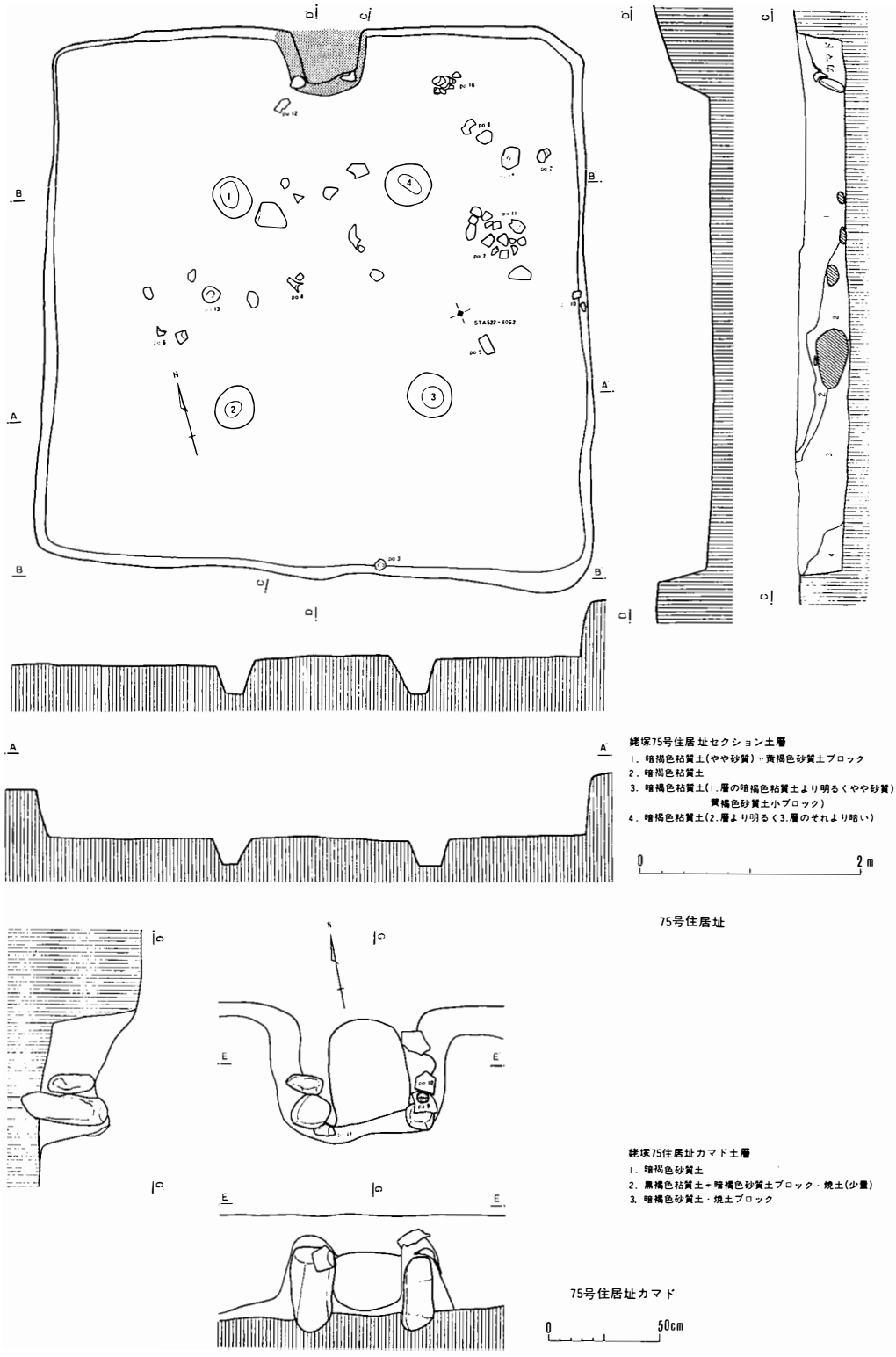
第57図　72号住居址平面図



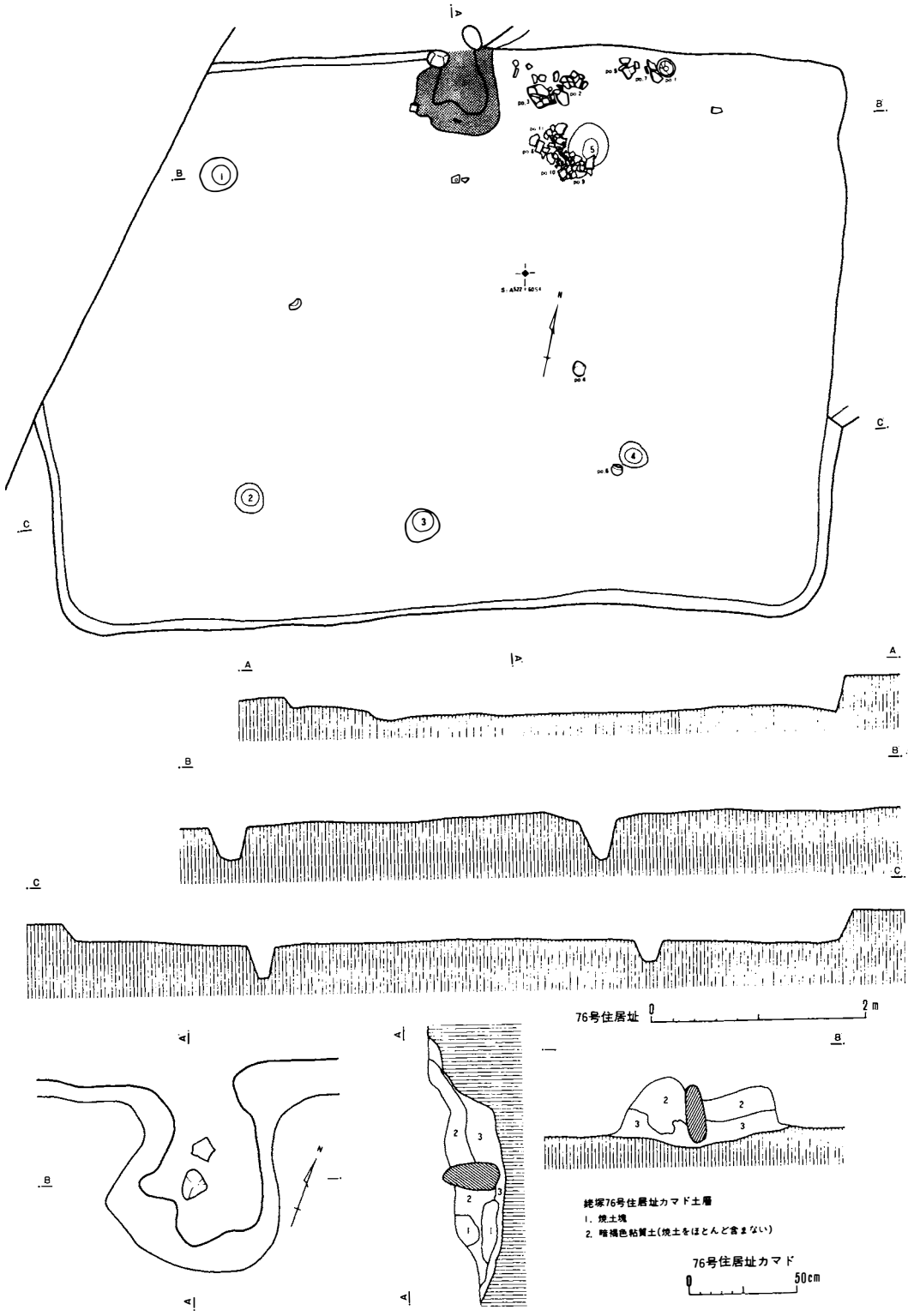
第58図　73号住居址平面図、72、73号住居址カマド実測図



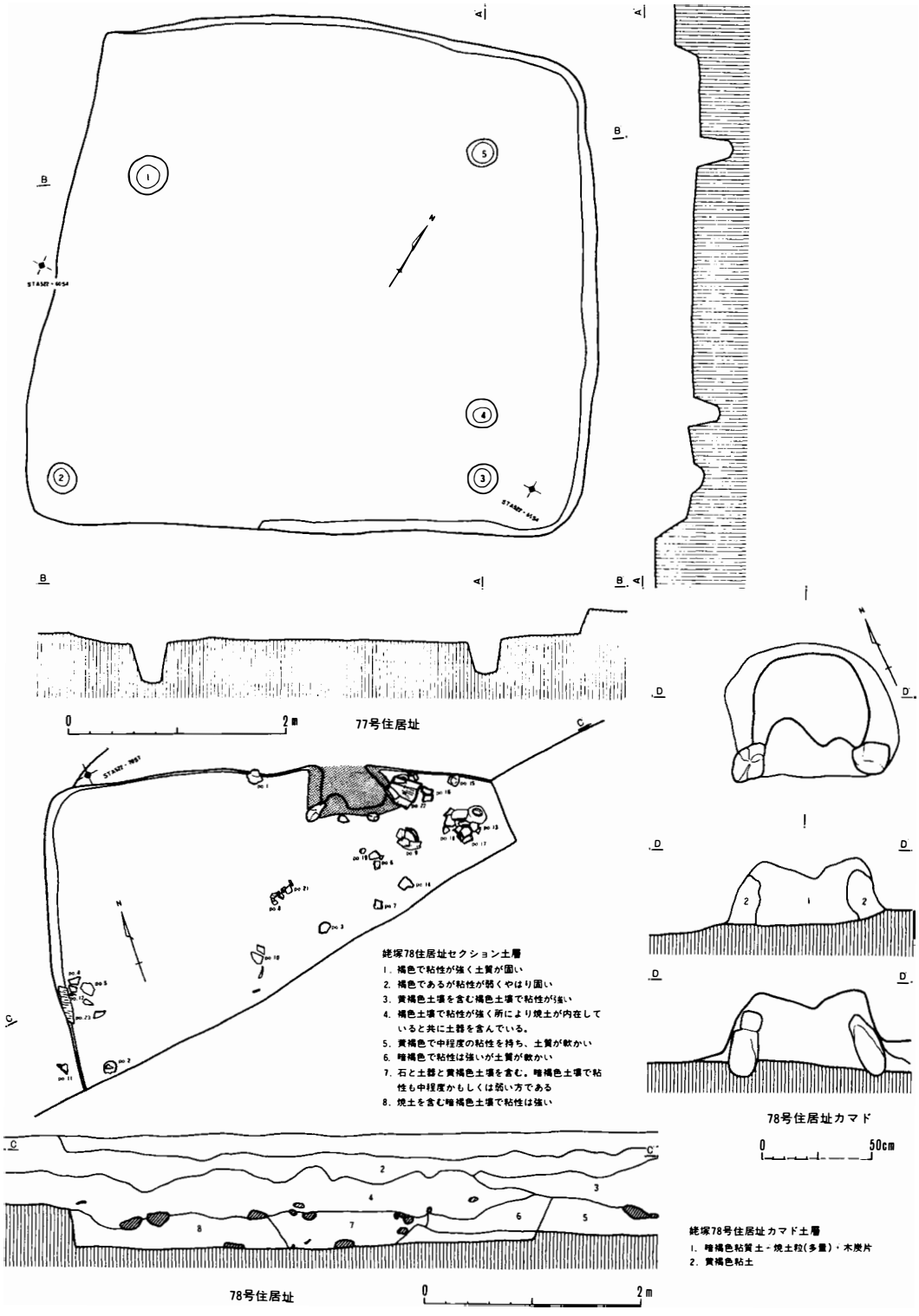
第59図　74号住居址平面図，74号住居址カマド実測図



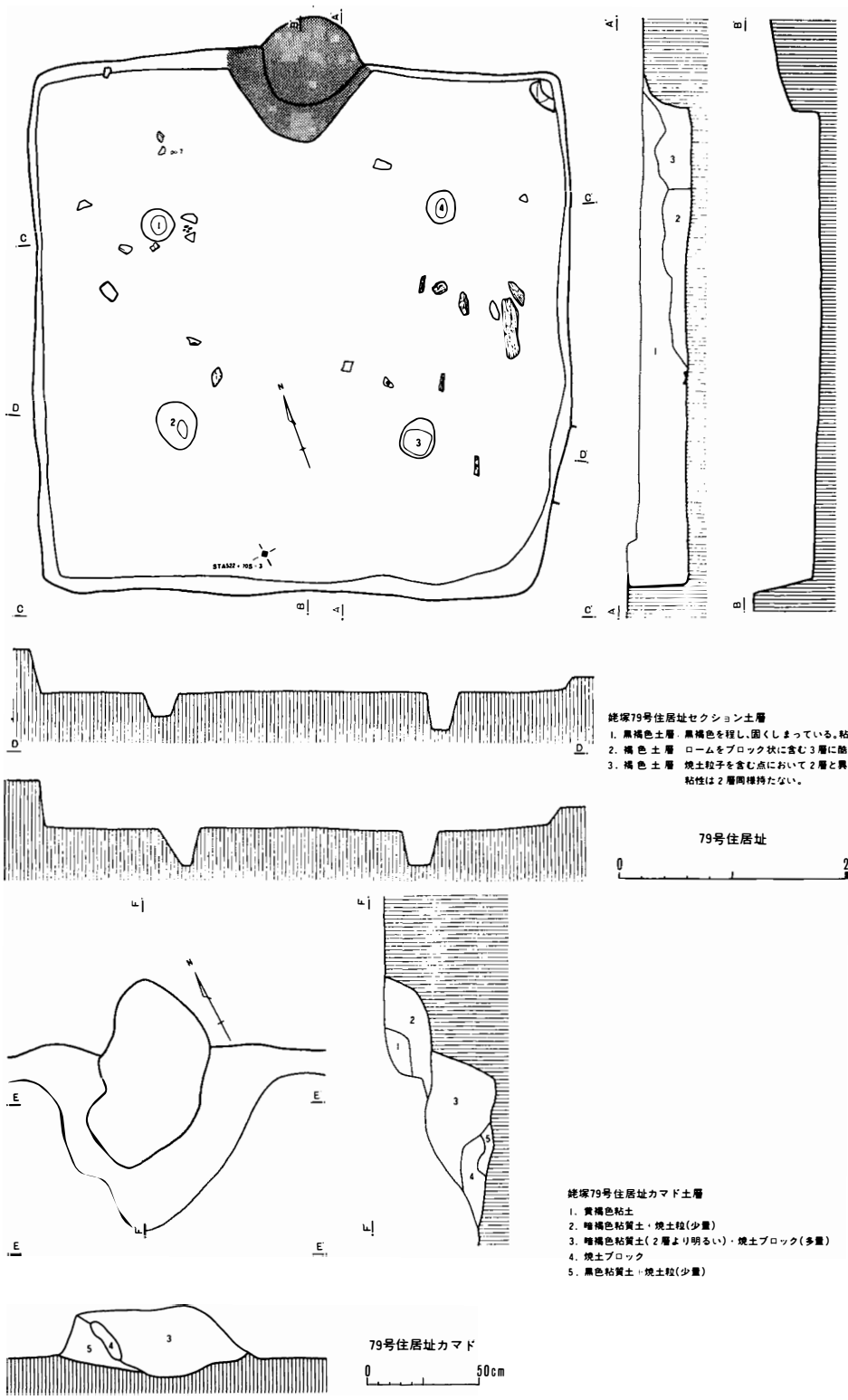
第60図　75号住居址平面図，75号住居址カマド実測図



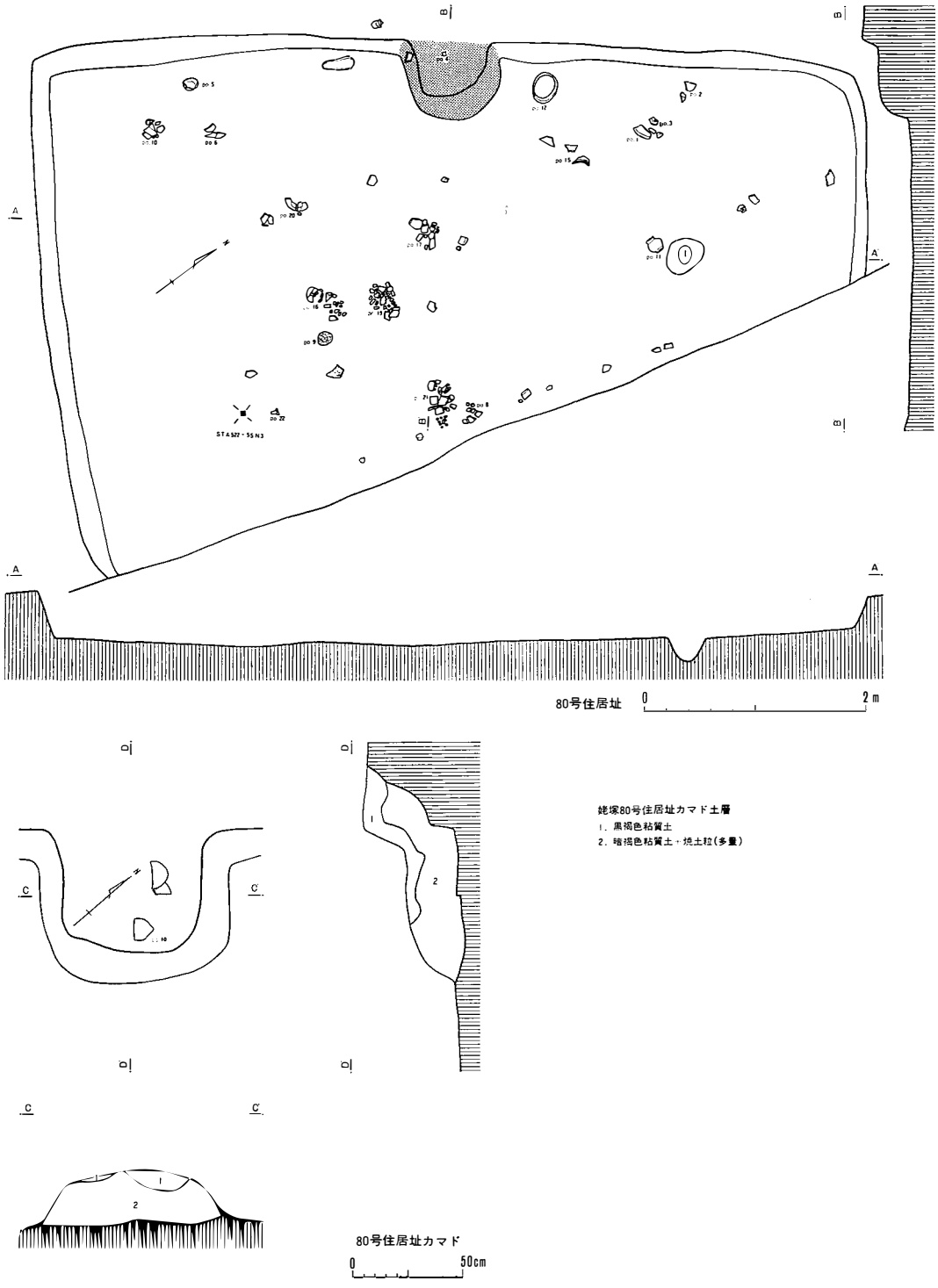
第61図　76号住居址平面図，76号住居址カマド実測図



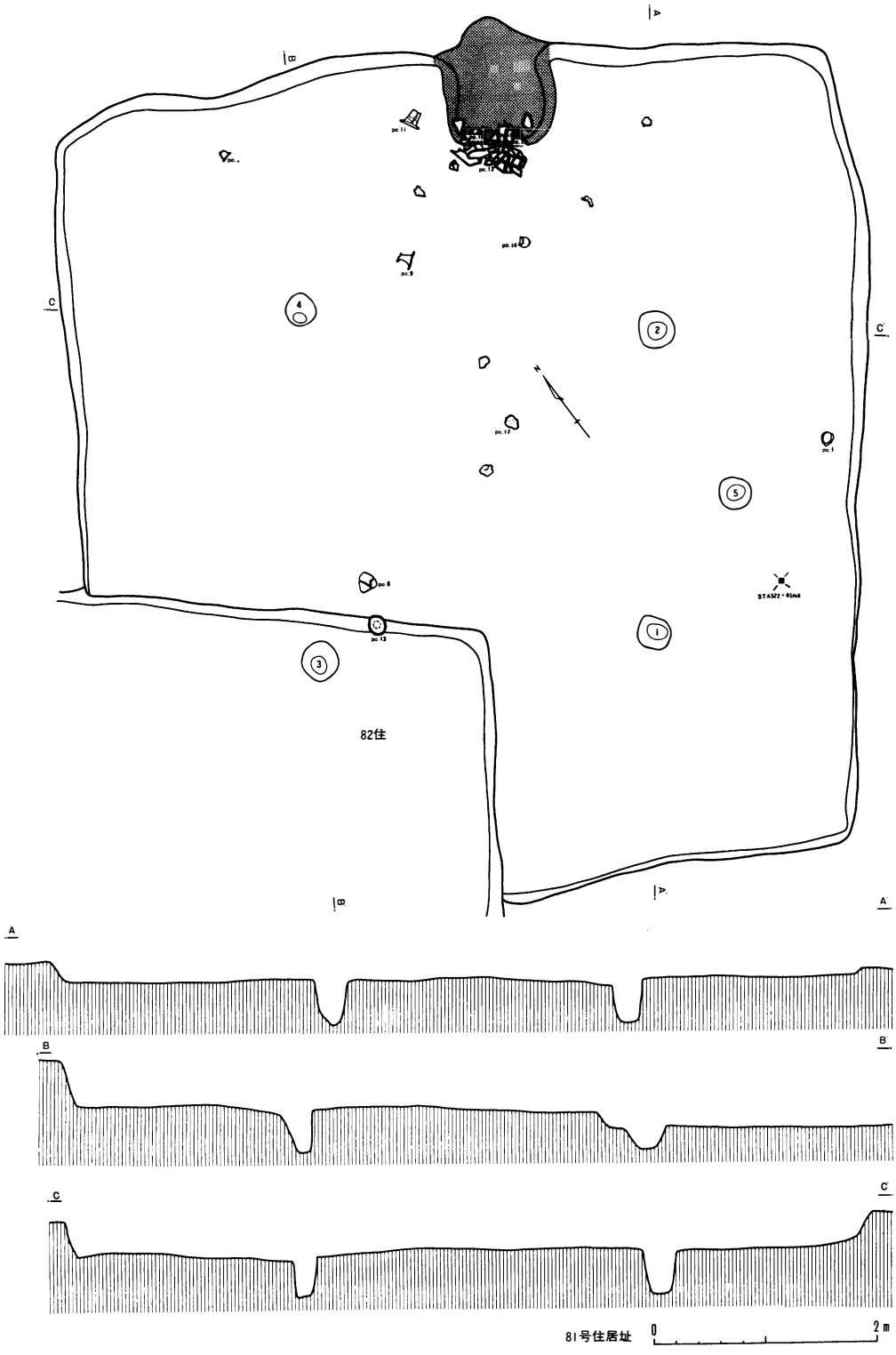
第62図　77，78号住居址平面図，78号住居址カマド実測図



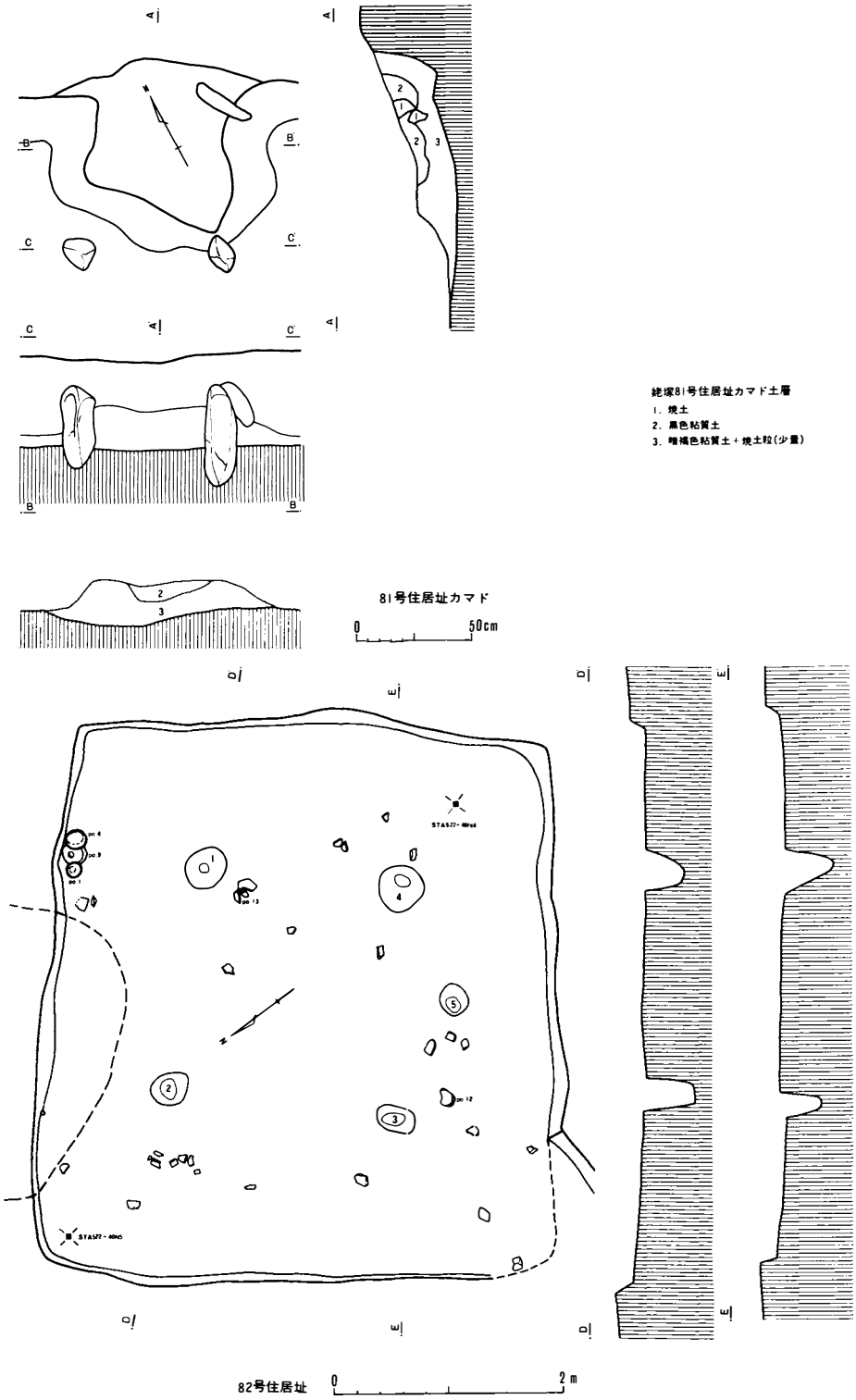
第63図　79号住居址平面図，79号住居址カマド実測図



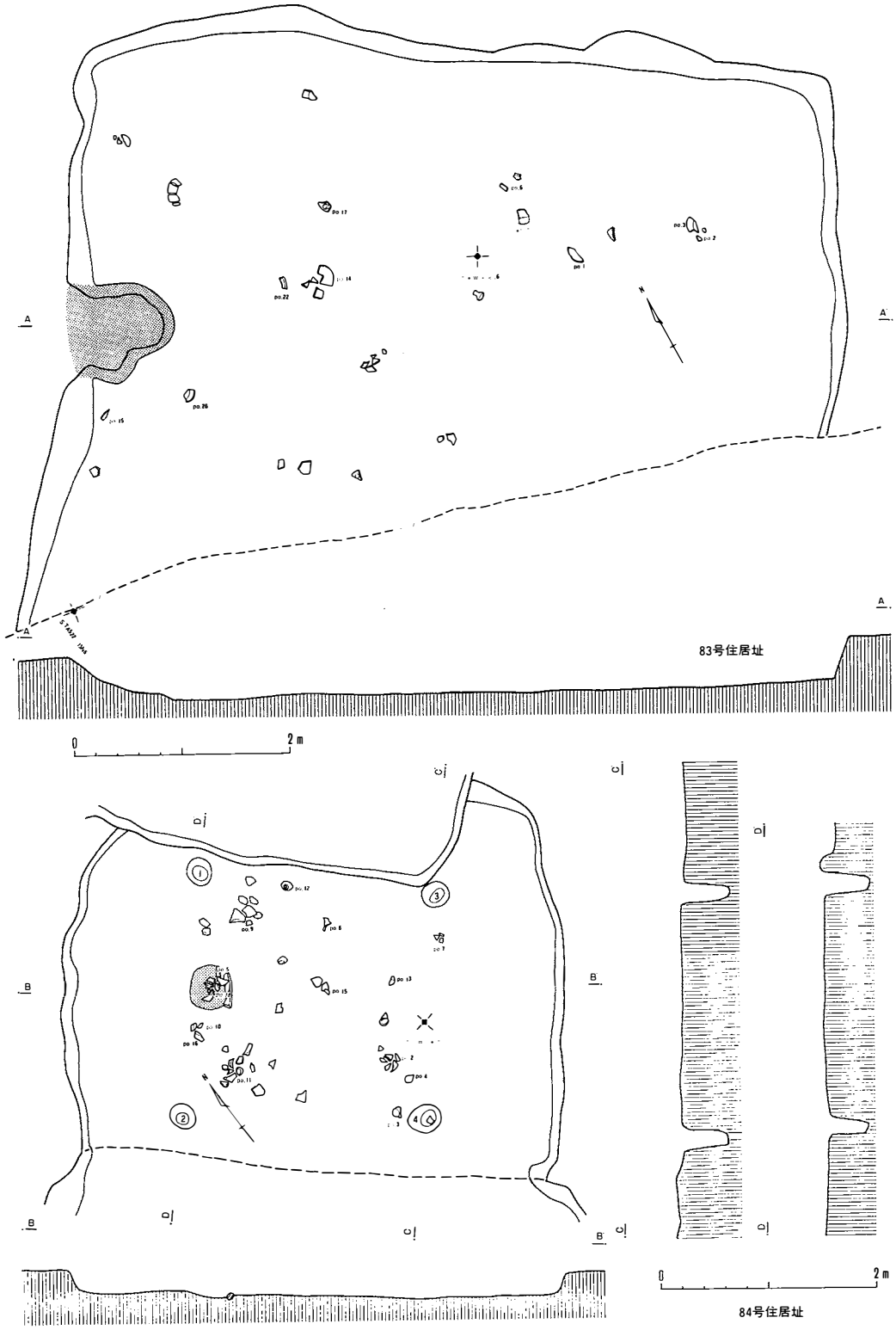
第64図　80号住居址平面図，80号住居址カマド実測図



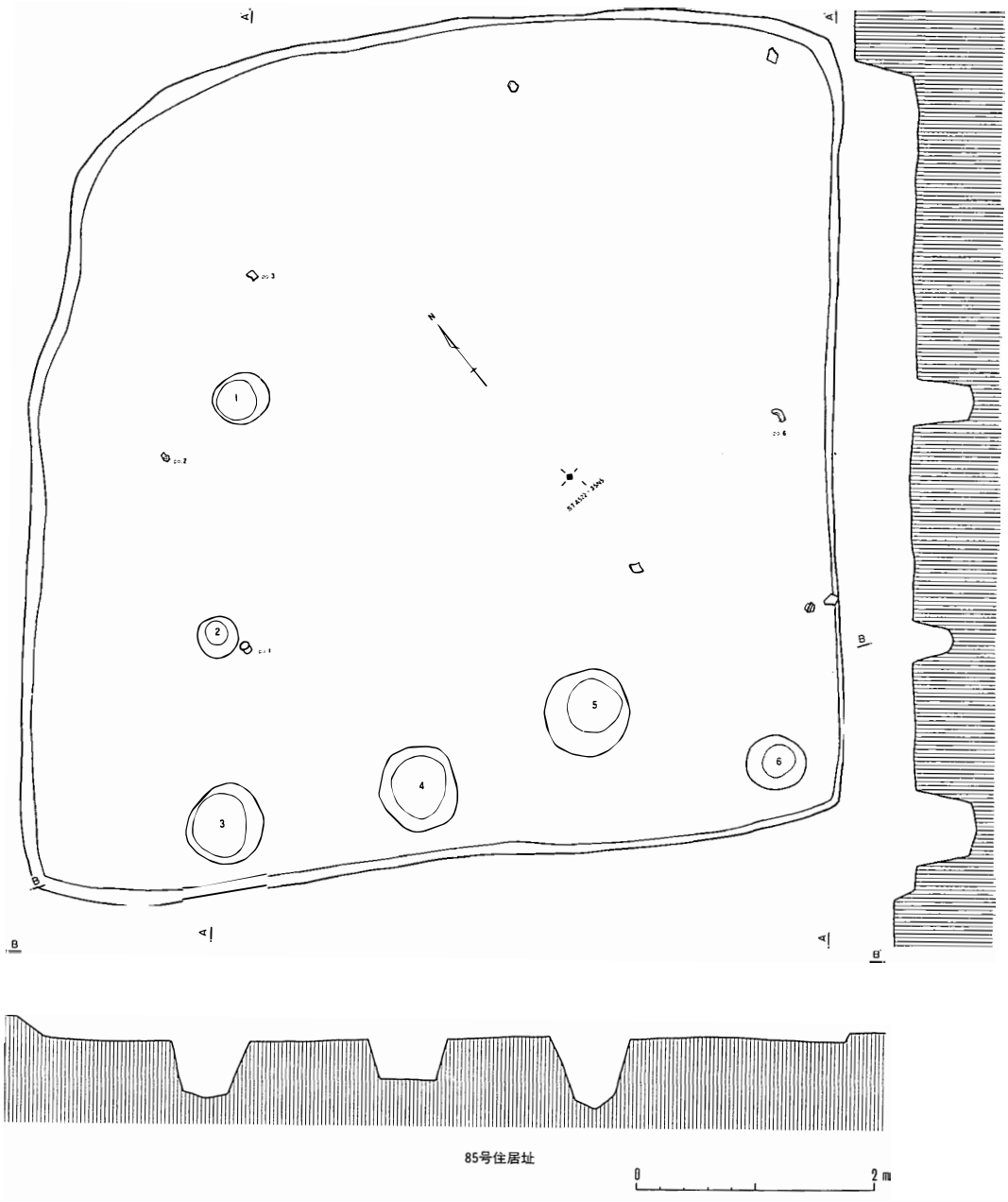
第65図　81号住居址平面図



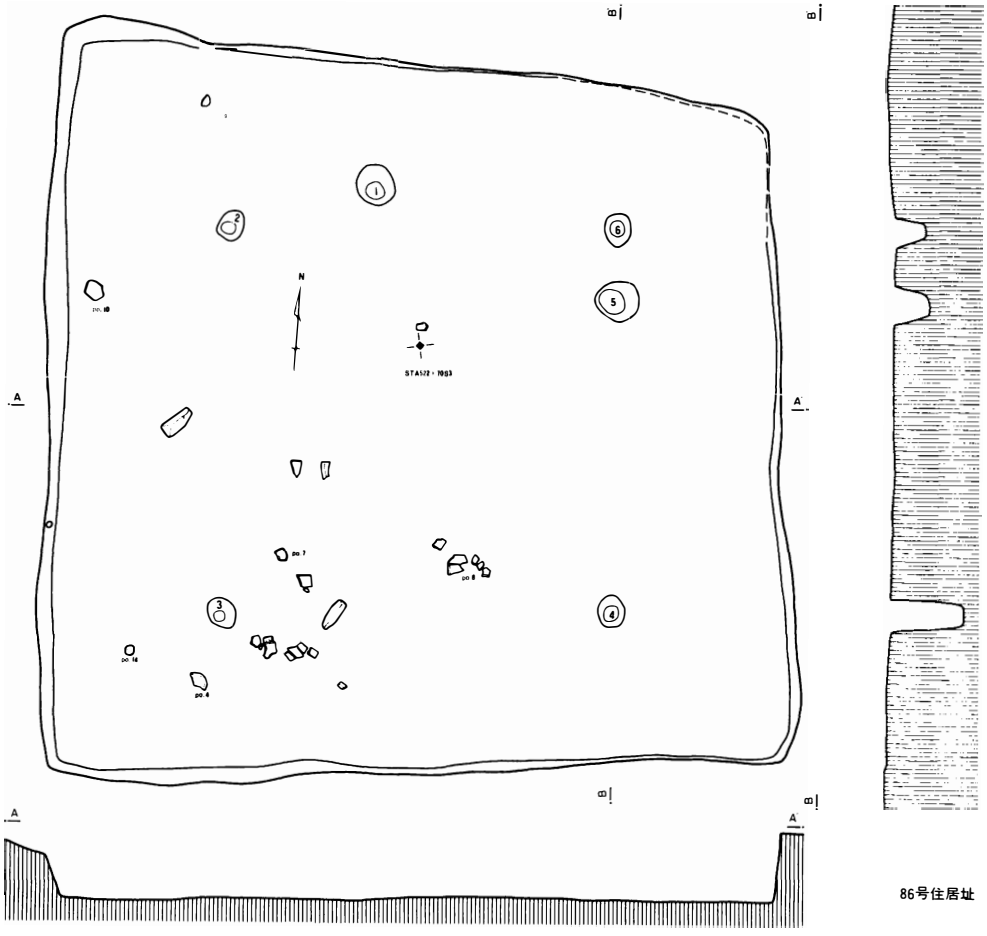
第66図　82号住居址平面図，81号住居址カマド実測図

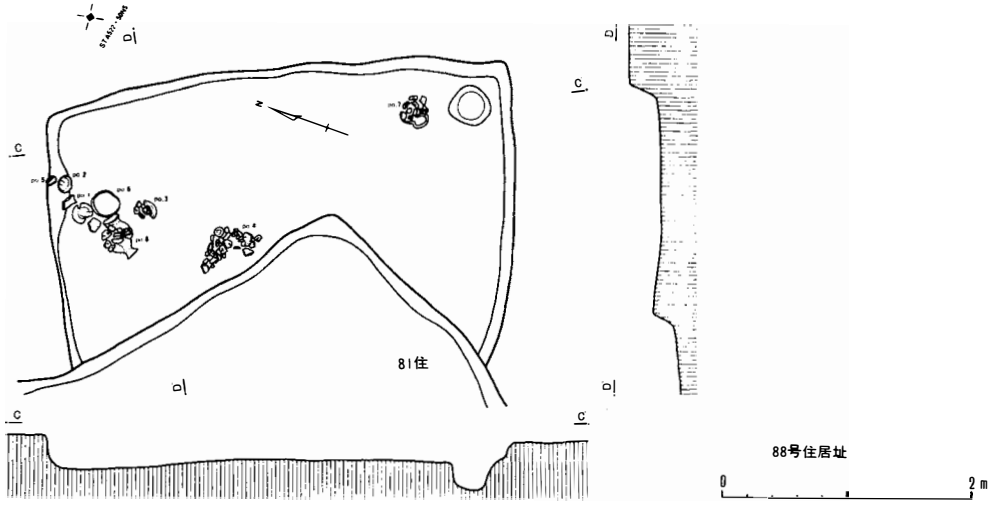


第67図　83，84号住居址平面図

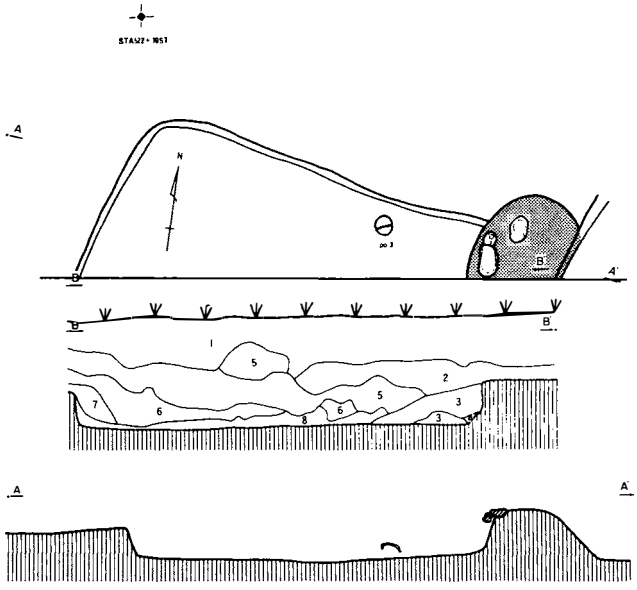


第68図　85号住居址平面図





第69図　86，88号住居址平面図

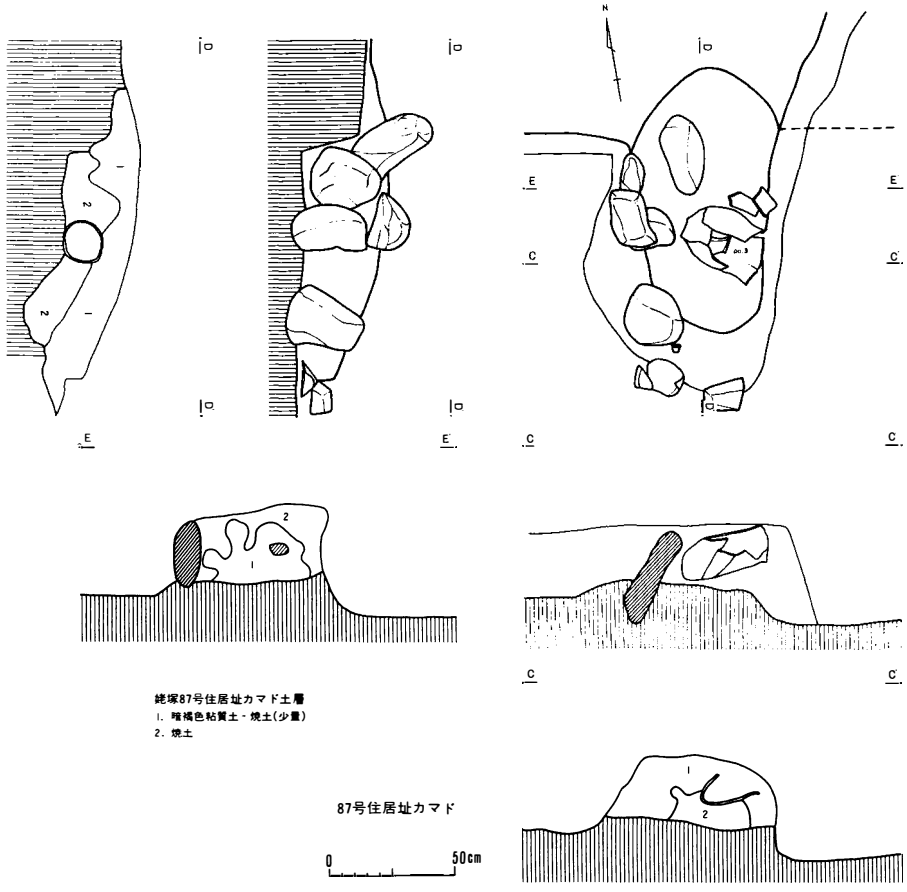


能塚87号住居址セクション土層

1. 表　土　層：(耕作土)である。粘性、しまりともに全くない
2. 暗褐色土層：土質は1層とほとんど同じであるが黒色土がわずかに含まれる
3. 黒　色　土　層：黒色を呈し、粘性しまりともになく、サラッとした感触の土である
3. 黒　色　土　層：3層同様に黒色であるが、粘性しまりの点ではこの層序中一番強い
4. 明褐色土層：カマドに使用された土の一部と思われる。明るい黄褐色を呈し、わずかに焼土を含む。粘性しまりetcは3.より少し弱い位である
5. 褐　色　土　層：やや粘性のある土で色調はいわゆる褐色を呈す
5　褐　色　土　層：5層とほぼ同一の土層であるが、1層の暗褐色土を含むため、色調にわずかな差が認められる
6. 明褐色土層：4層ほど明るくはないが少し黄色味を帯びた褐色土層である。粘性、しまりは4層とほぼ同じである。この層に遺物が多く含まれているのには注意すべきであろう
7. 黒　色　土　層：黒色土に黄褐色がわずかに含まれるため3層との間に色調の違いを認める。さらに粘性、しまりもほとんどない
8. 暗灰褐色土層：暗灰褐色の色調を呈し、粘性、しまりともにない。

87号住居址

0　2m



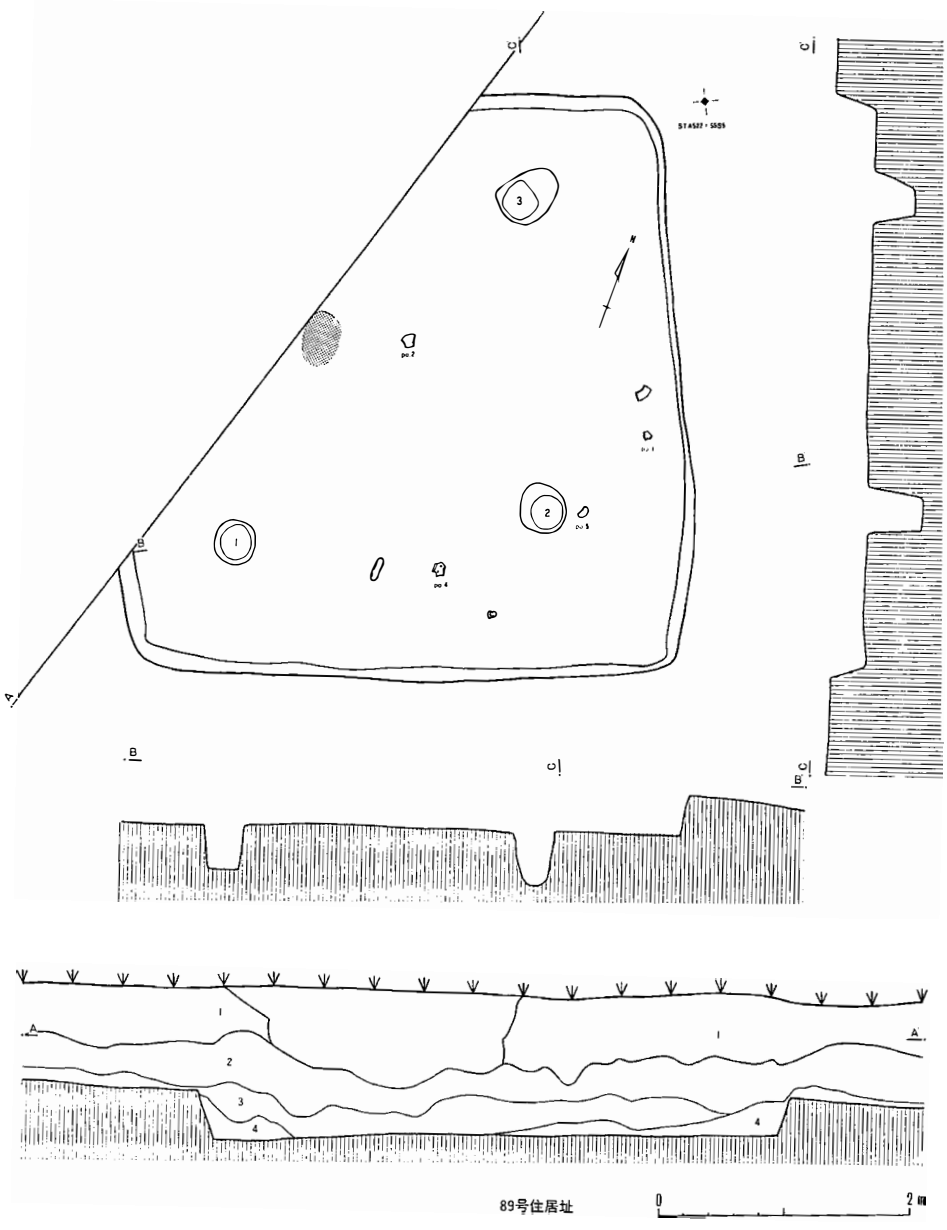
能塚87号住居址カマド土層

1. 暗褐色粘質土・焼土(少量)
2. 焼土

87号住居址カマド

0　50cm

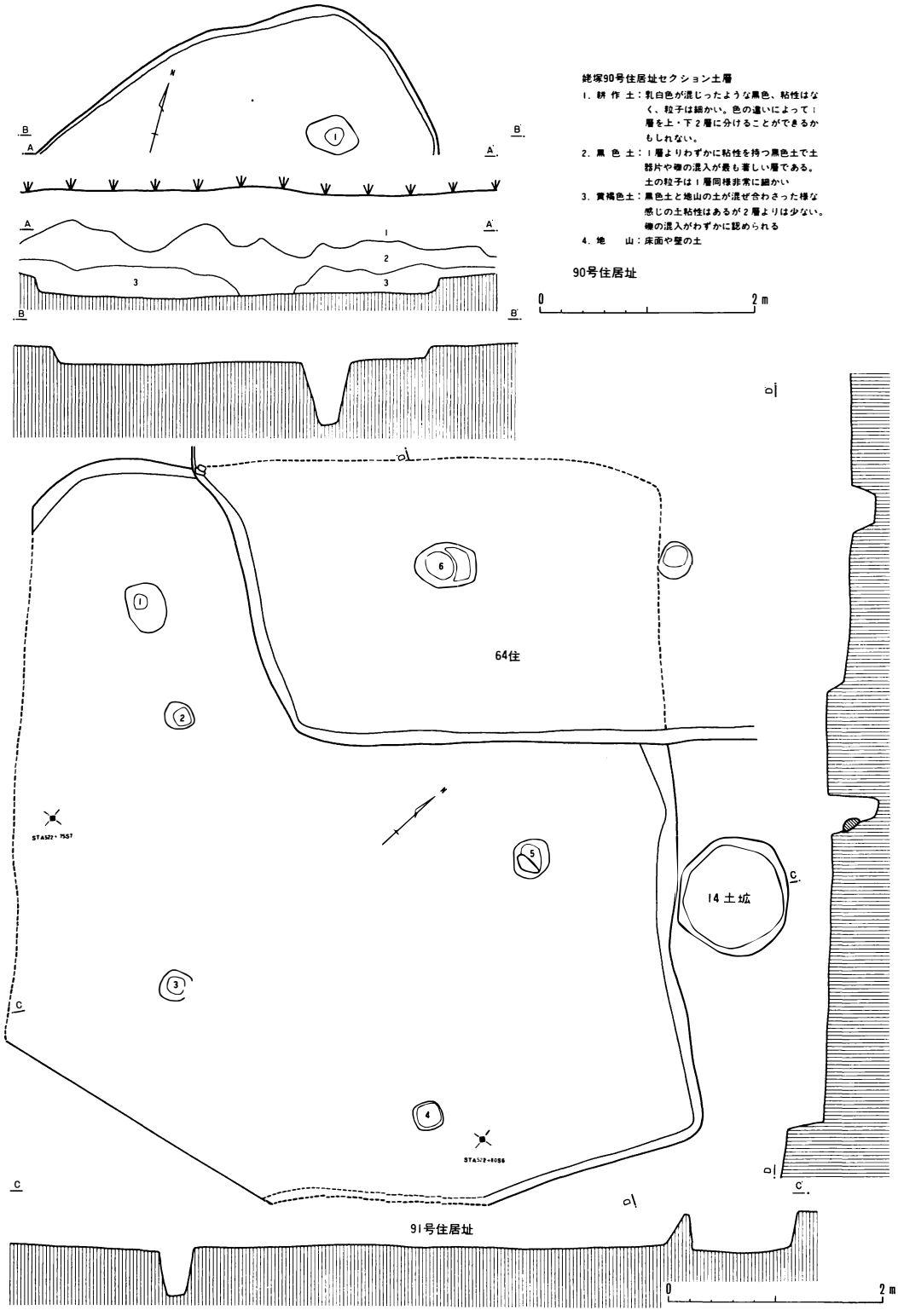
第70図　87号住居址平面図，87号住居址カマド実測図



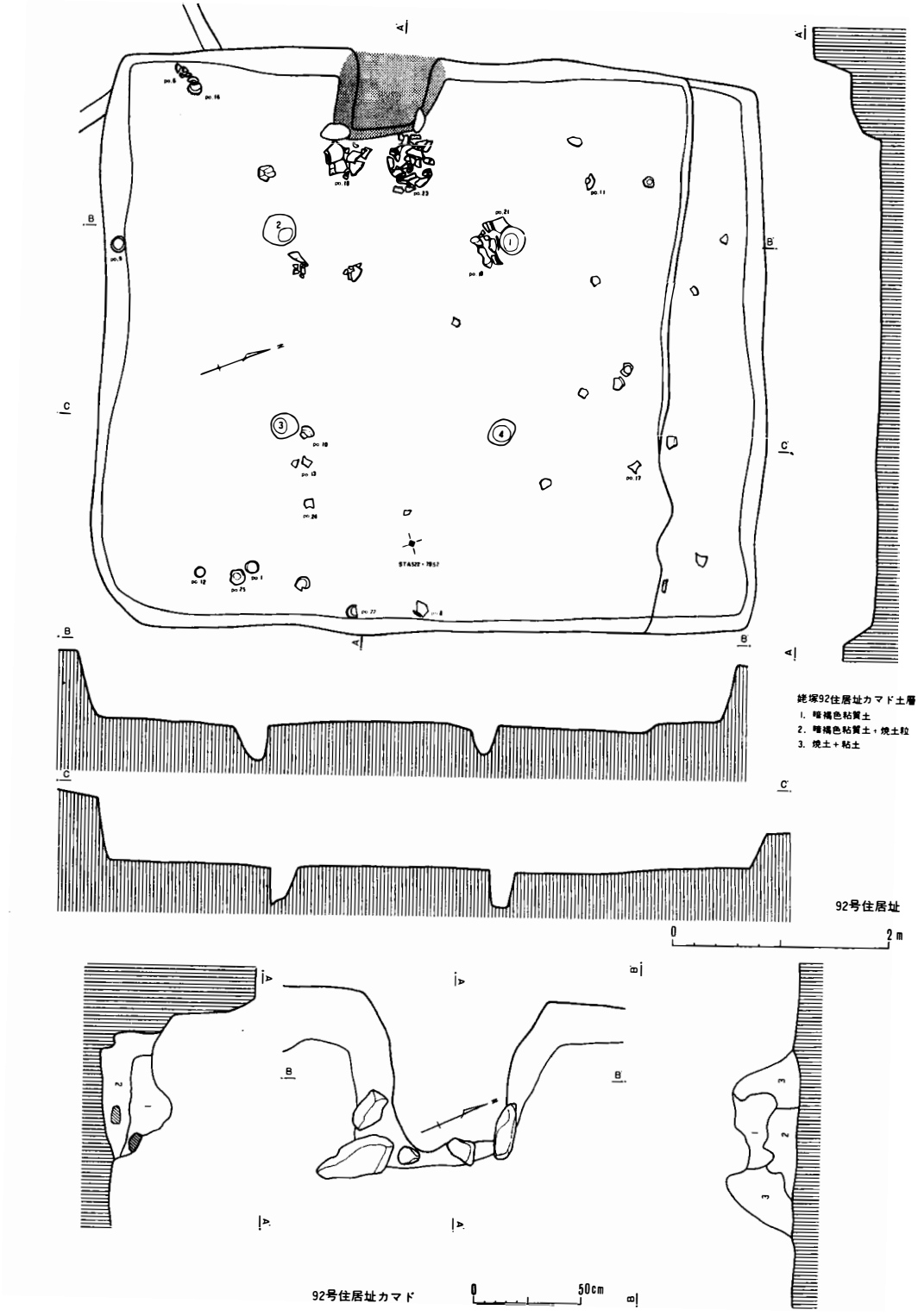
能塚89号住居址セクション土層

1. 暗褐色土層：いわゆる表土層であり、粘性しまり全くない
2. 黒褐色土層：黒褐色を呈し、若干粘性あり、ブロック状に黄褐色土を含むことはない
小礫を多く含むことは特徴的である
3. 褐 色 土 層：粘性しまりB1Cの点では2層とほぼ同じであるが黄褐色土の含む量の違いにより、色調に差が認められる
4. 明褐色土層：明褐色土を呈し、粘性はほとんどない
ブロック状に黄褐色土を含む

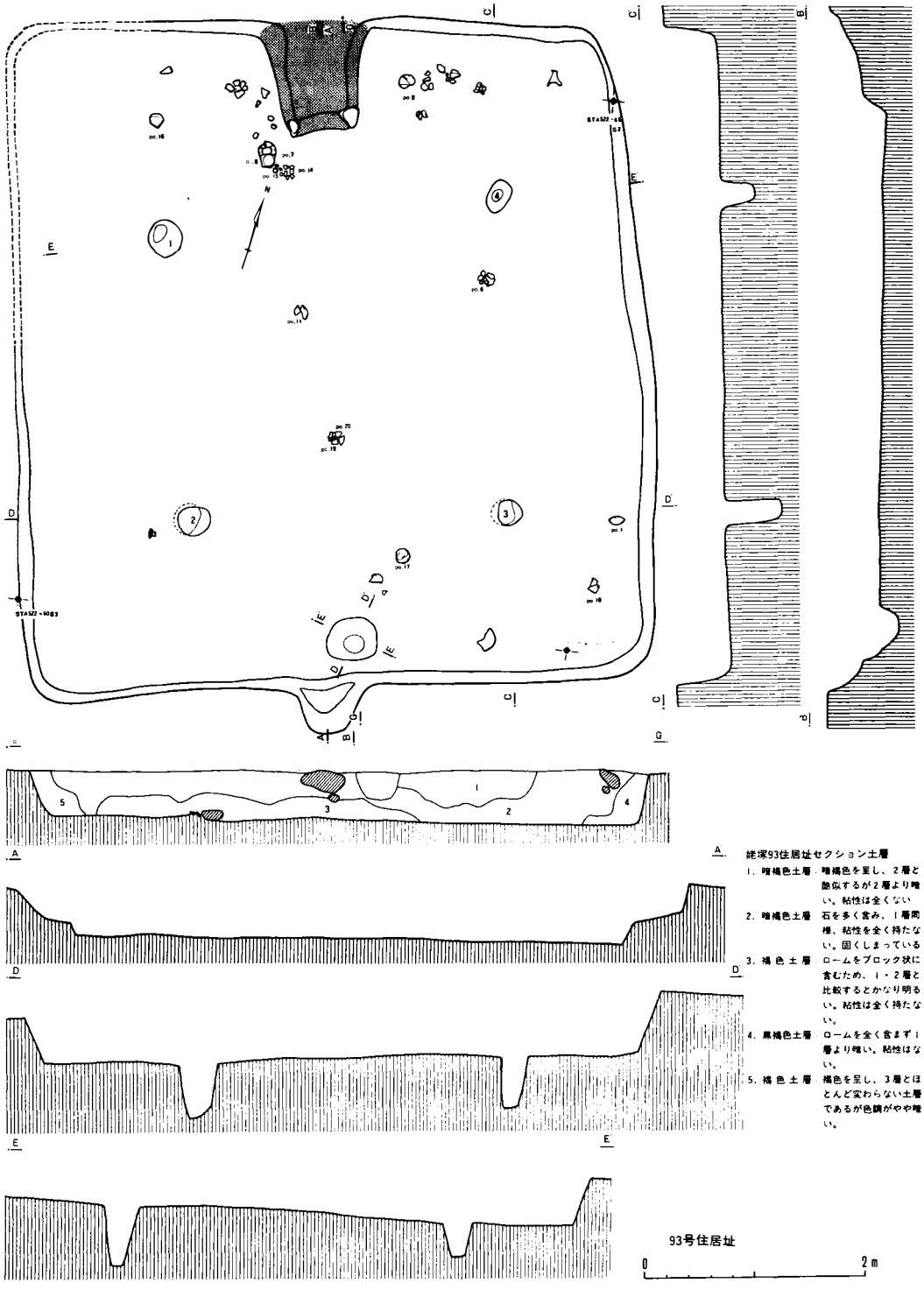
第71図　89号住居址平面図



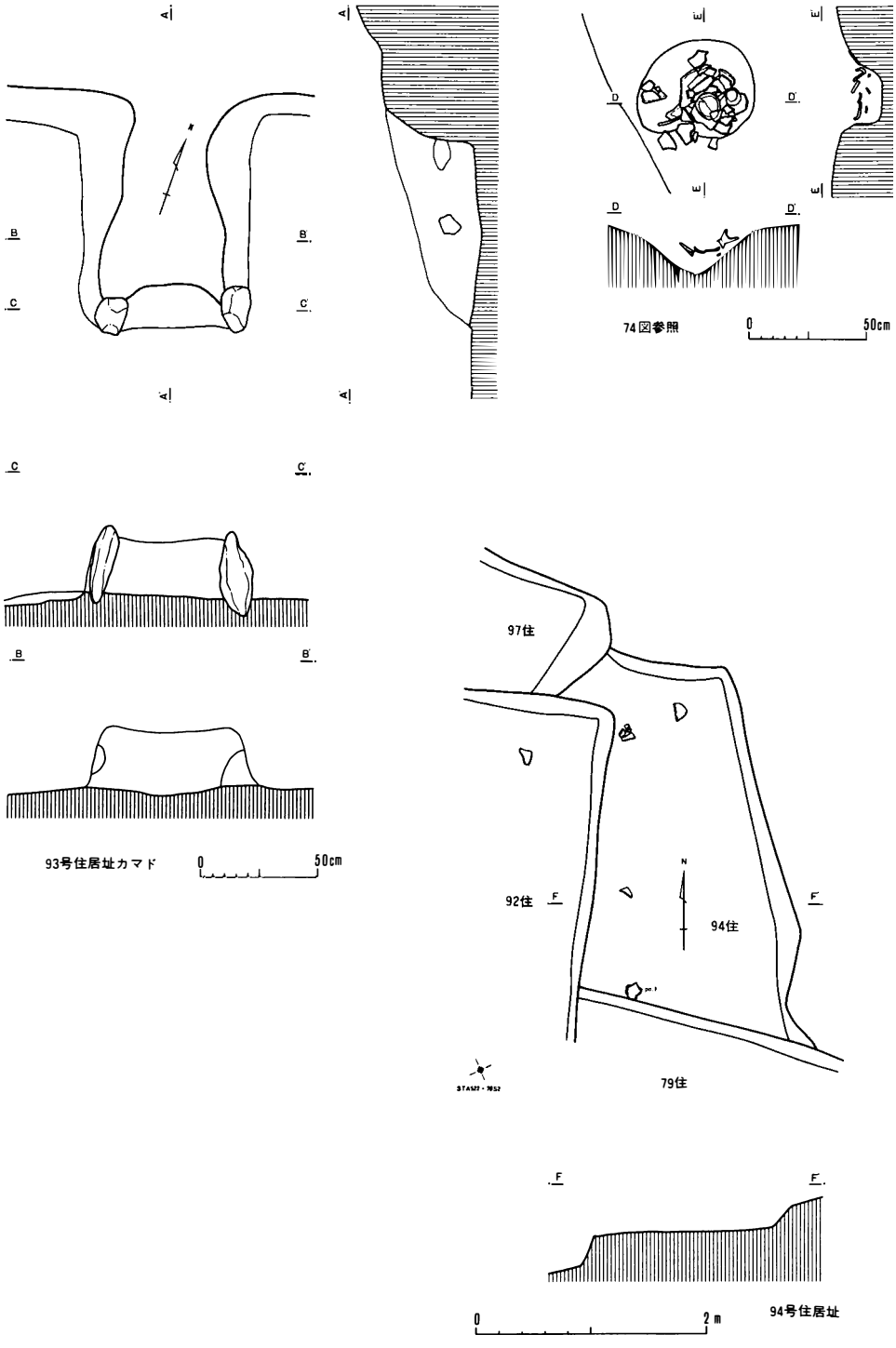
第72図　90，91号住居址平面図



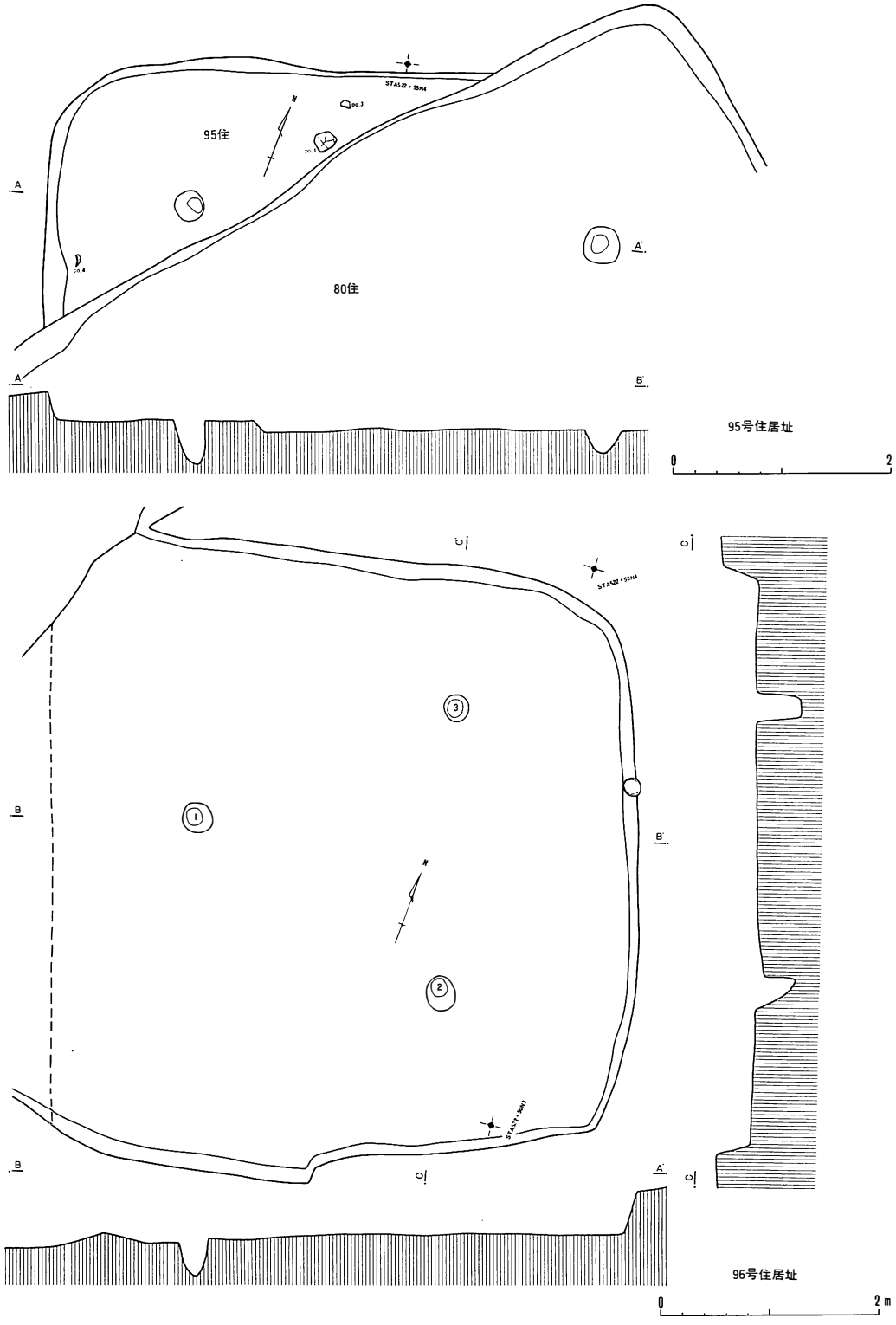
第73図　92号住居址平面図，92号住居址カマド実測図



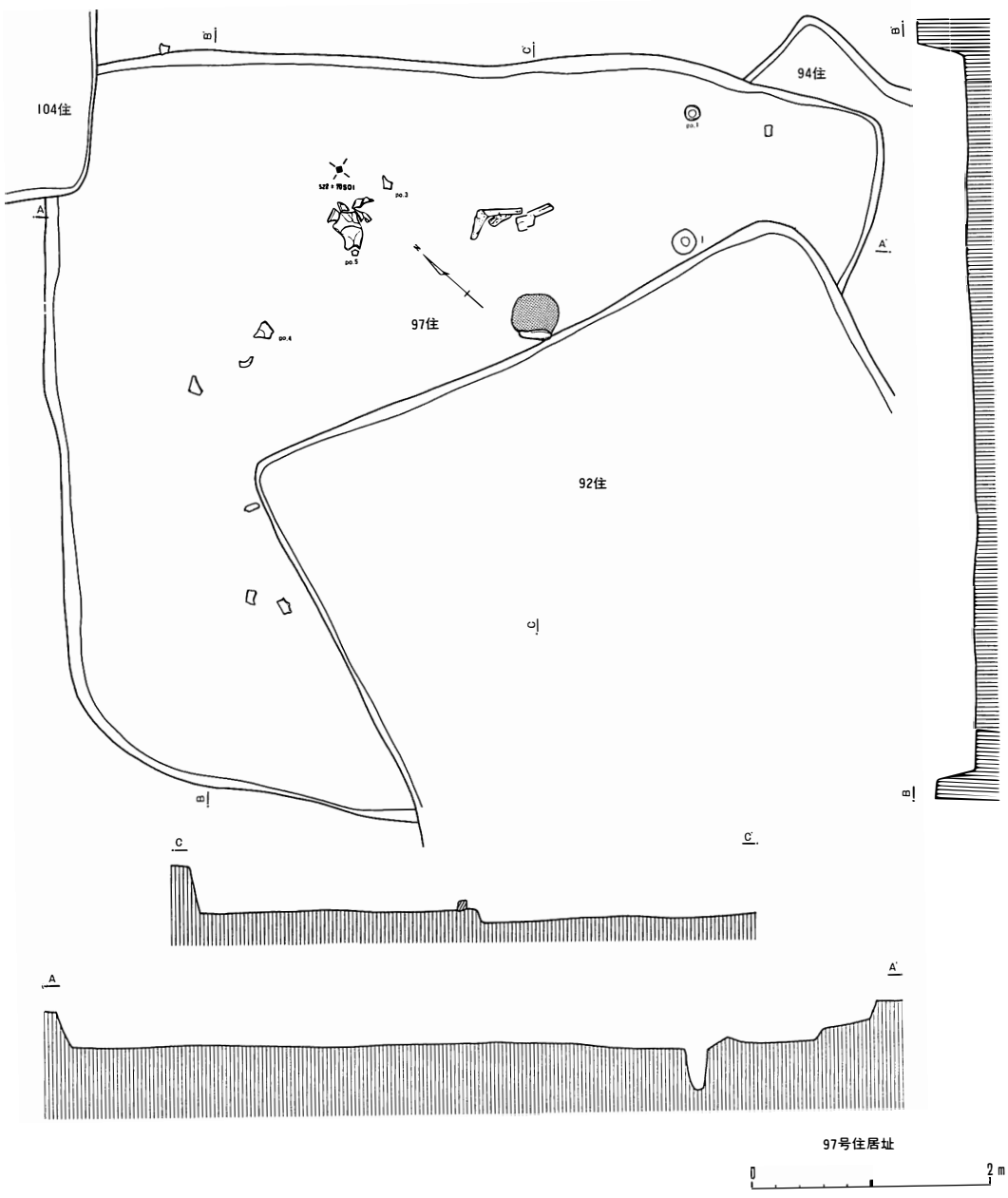
第74図　93号住居址平面図



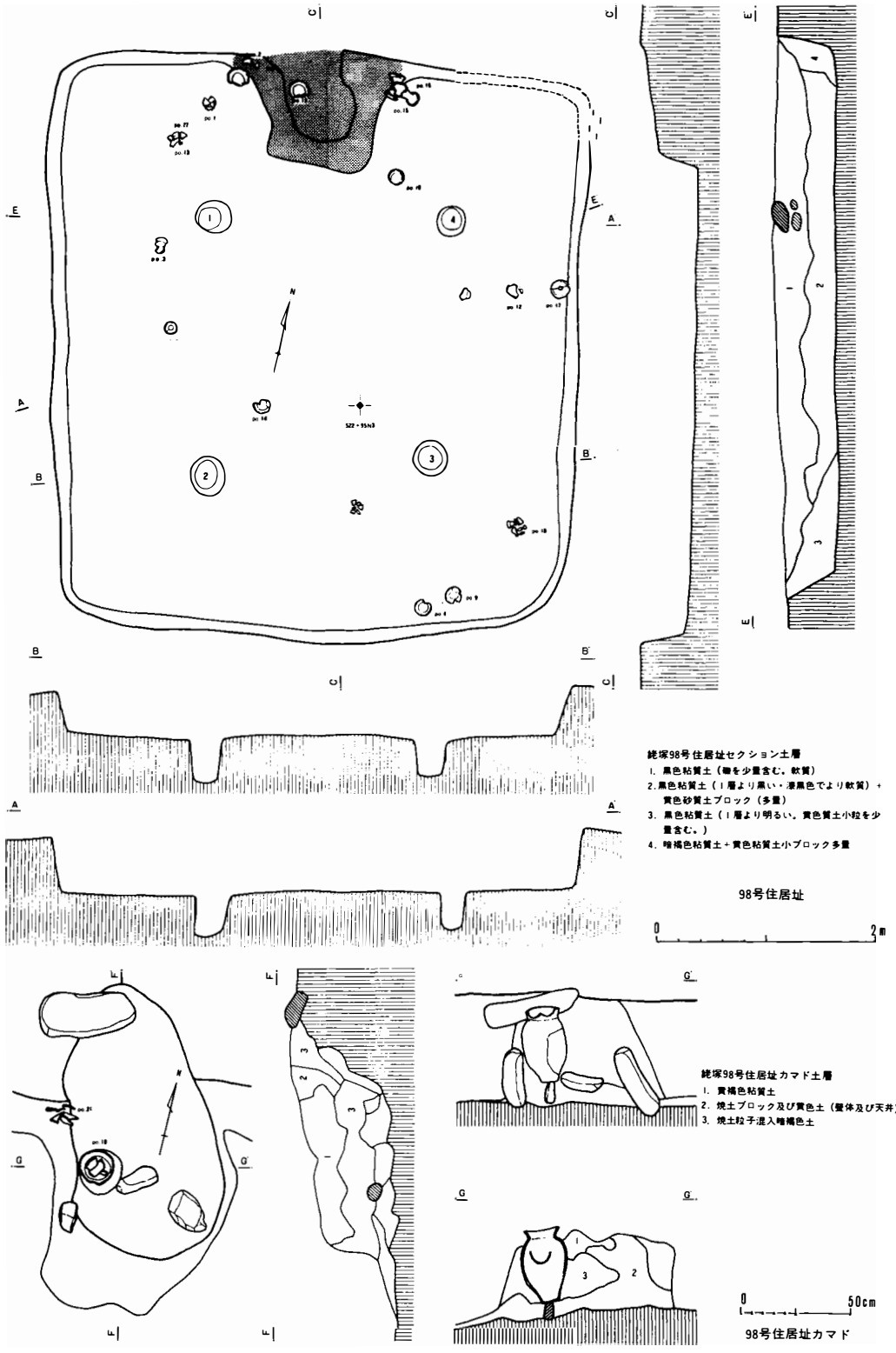
第75図　94号住居址平面図，93号住居址カマド実測図



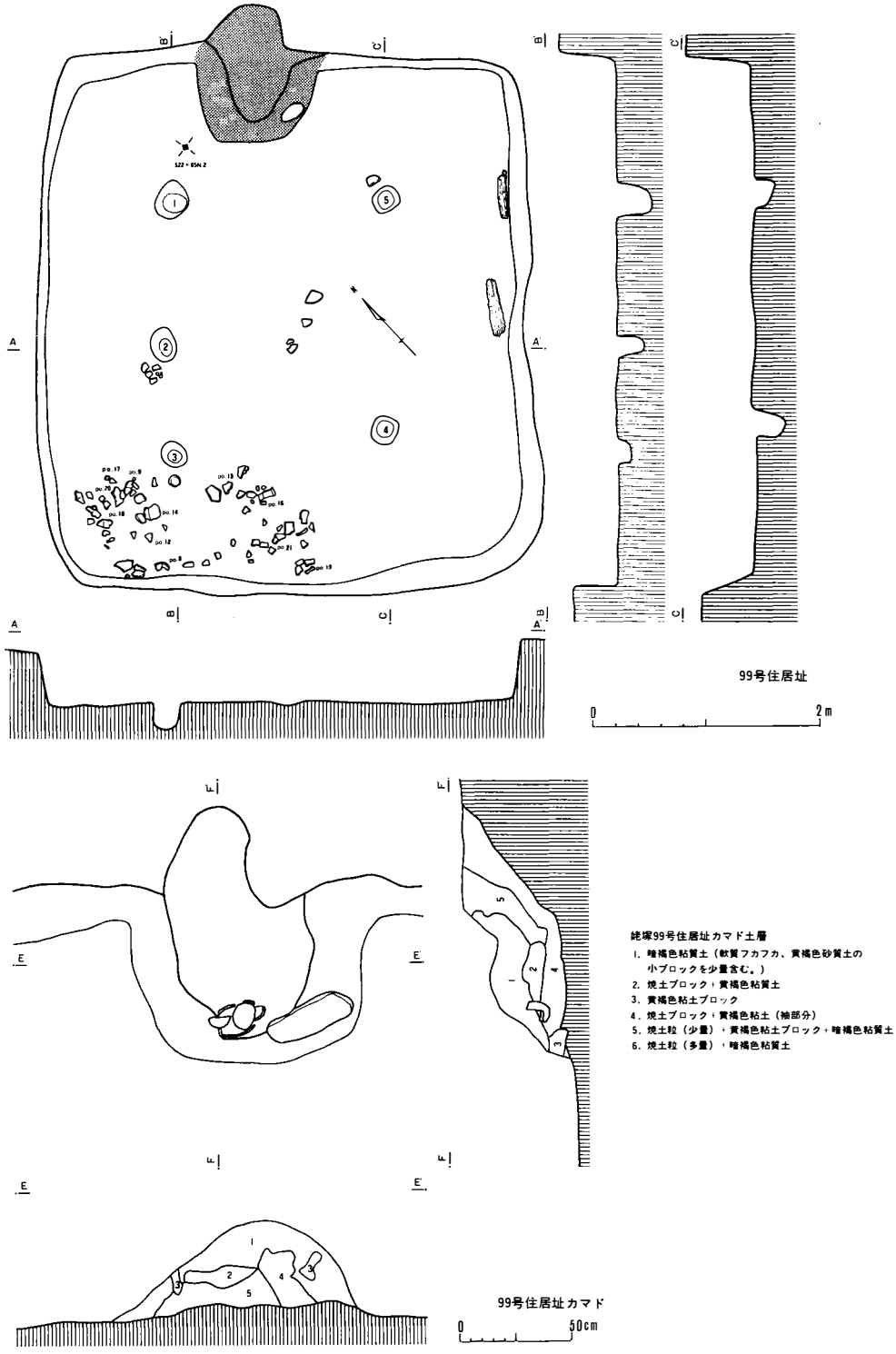
第76図　95，96号住居址平面図



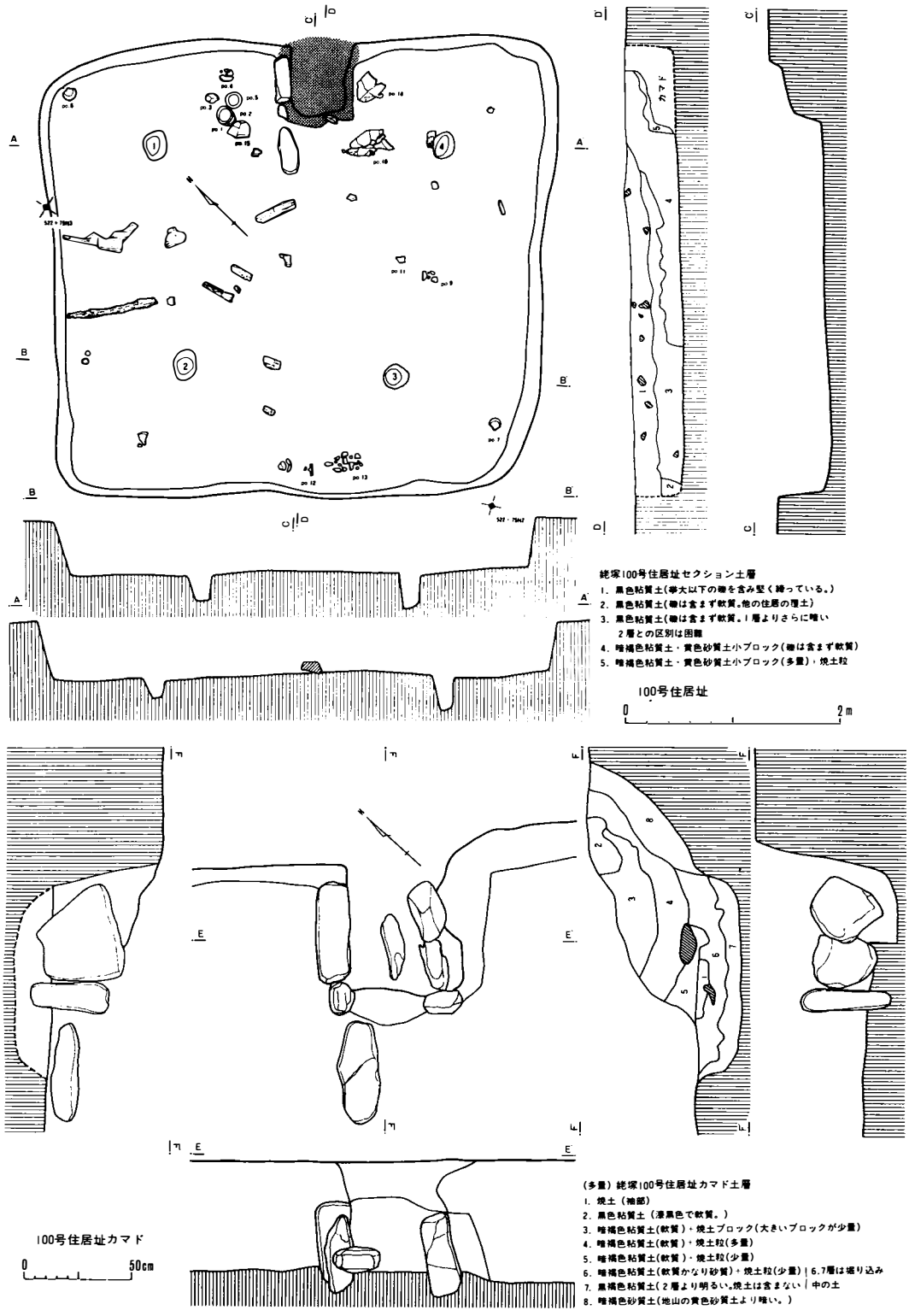
第77図　97号住居址平面図



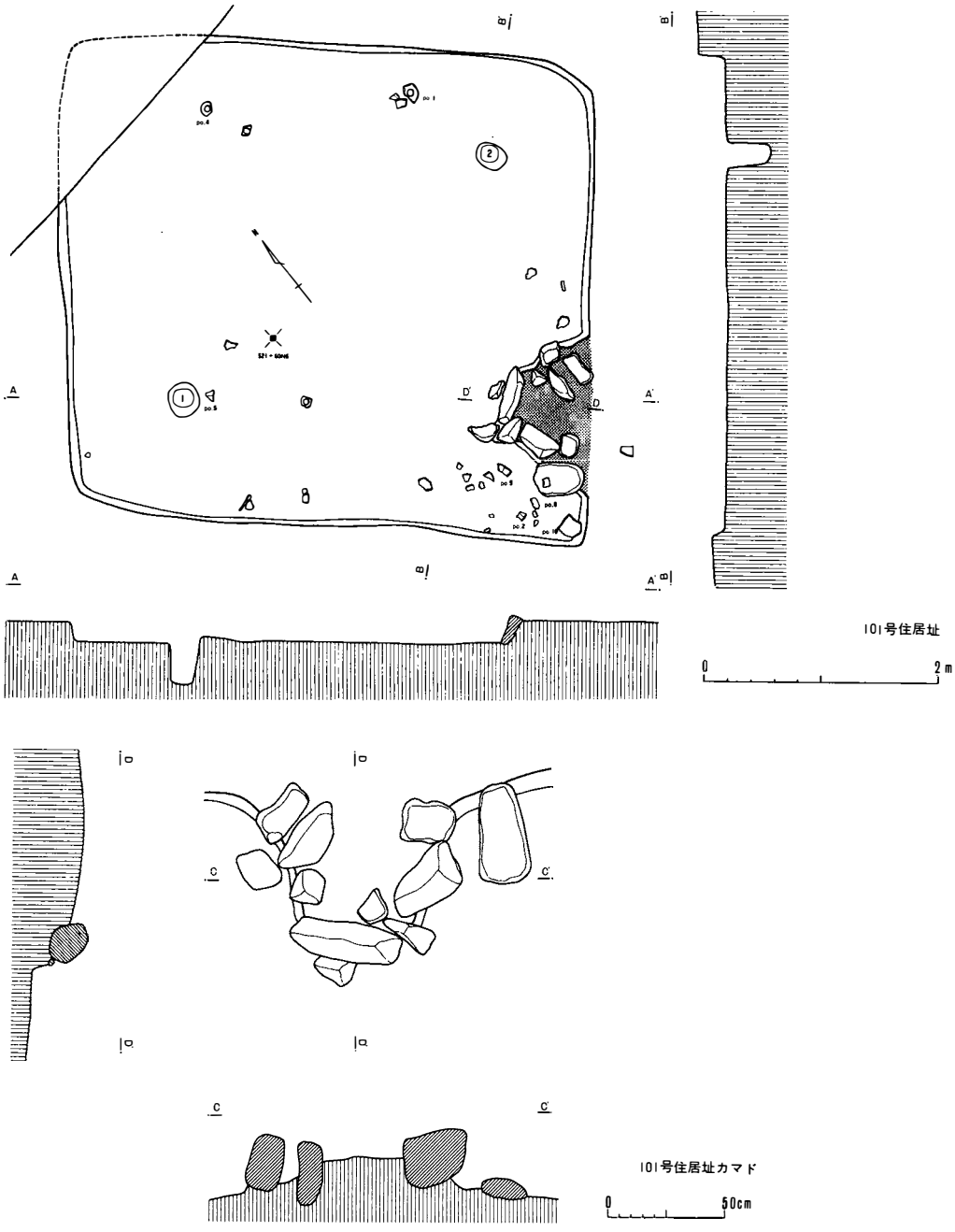
第78図　98号住居址平面図、98号住居址カマド実測図



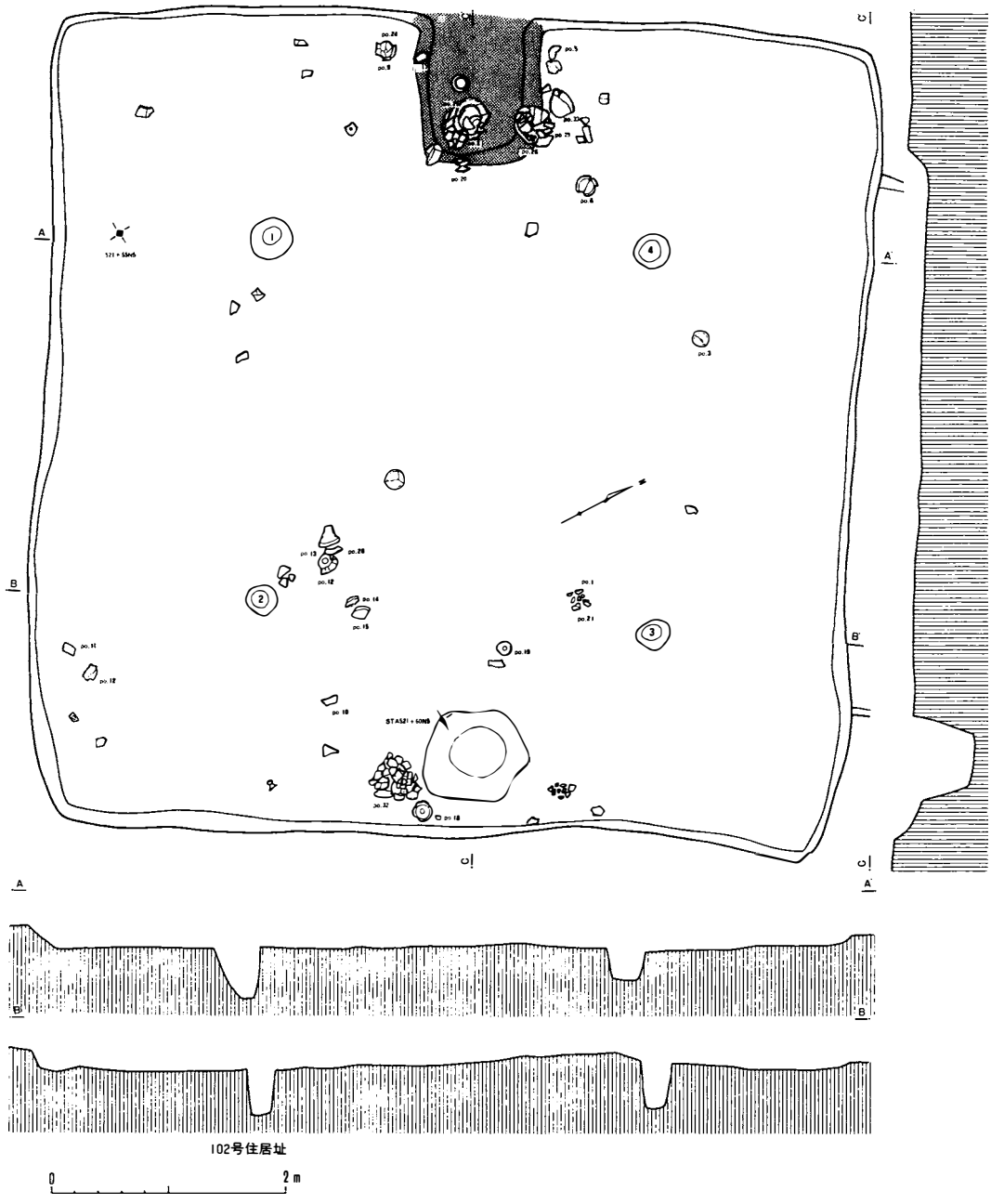
第79図　99号住居址平面図、99号住居址カマド実測図



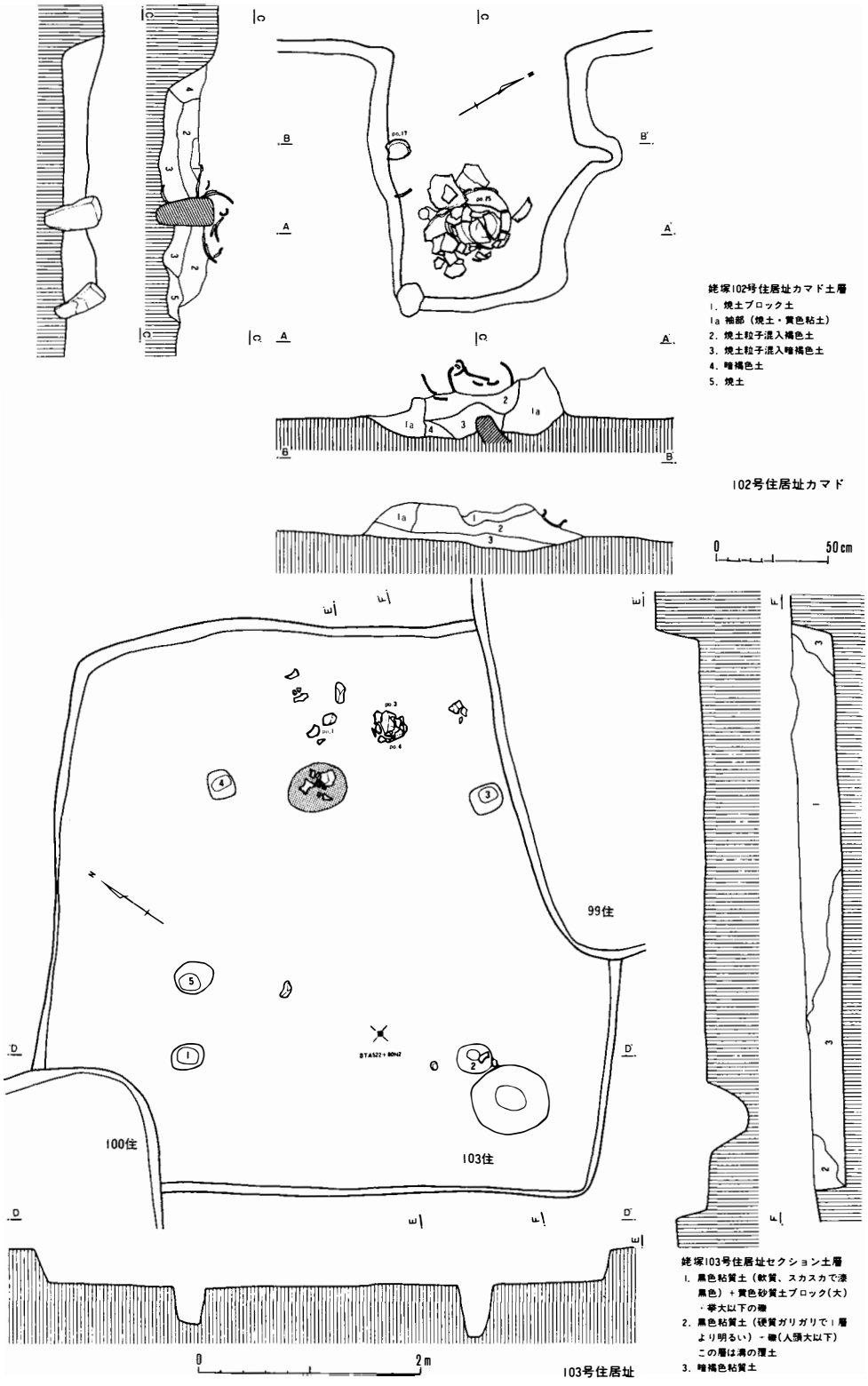
第80図　100号住居址平面図、100号住居址カマド実測図



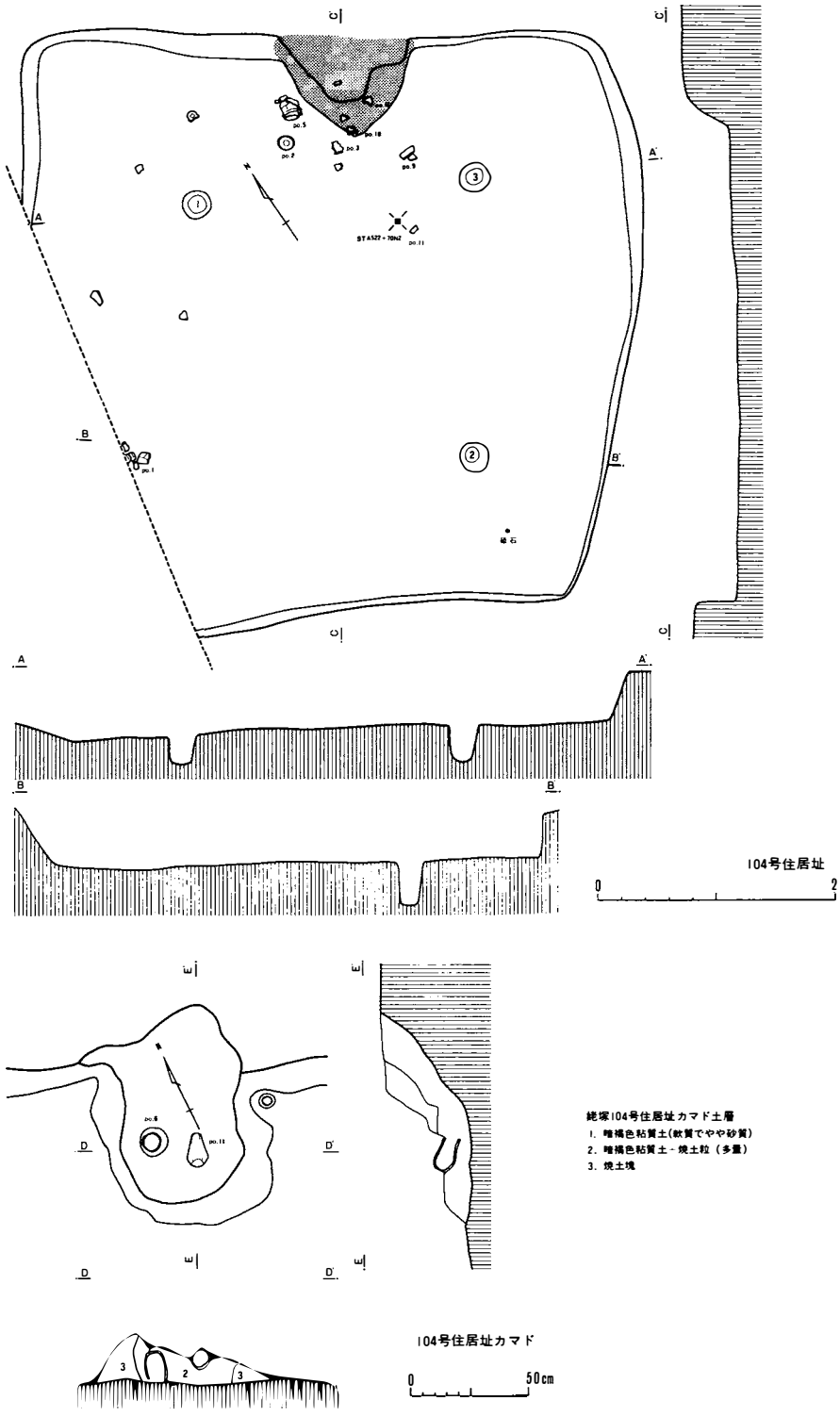
第81図　101号住居址平面図、101号住居址カマド実測図



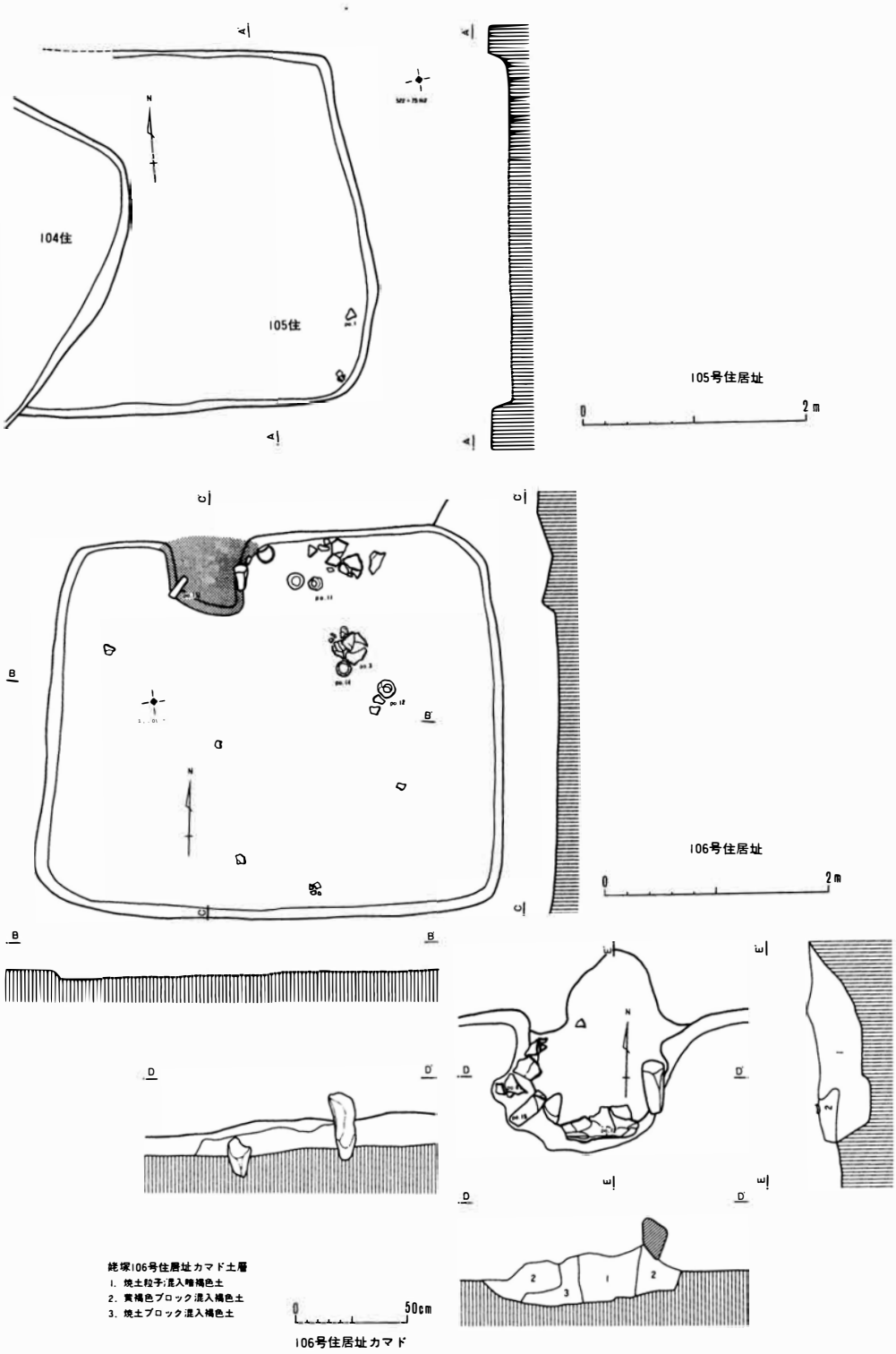
第82図　102号住居址平面図



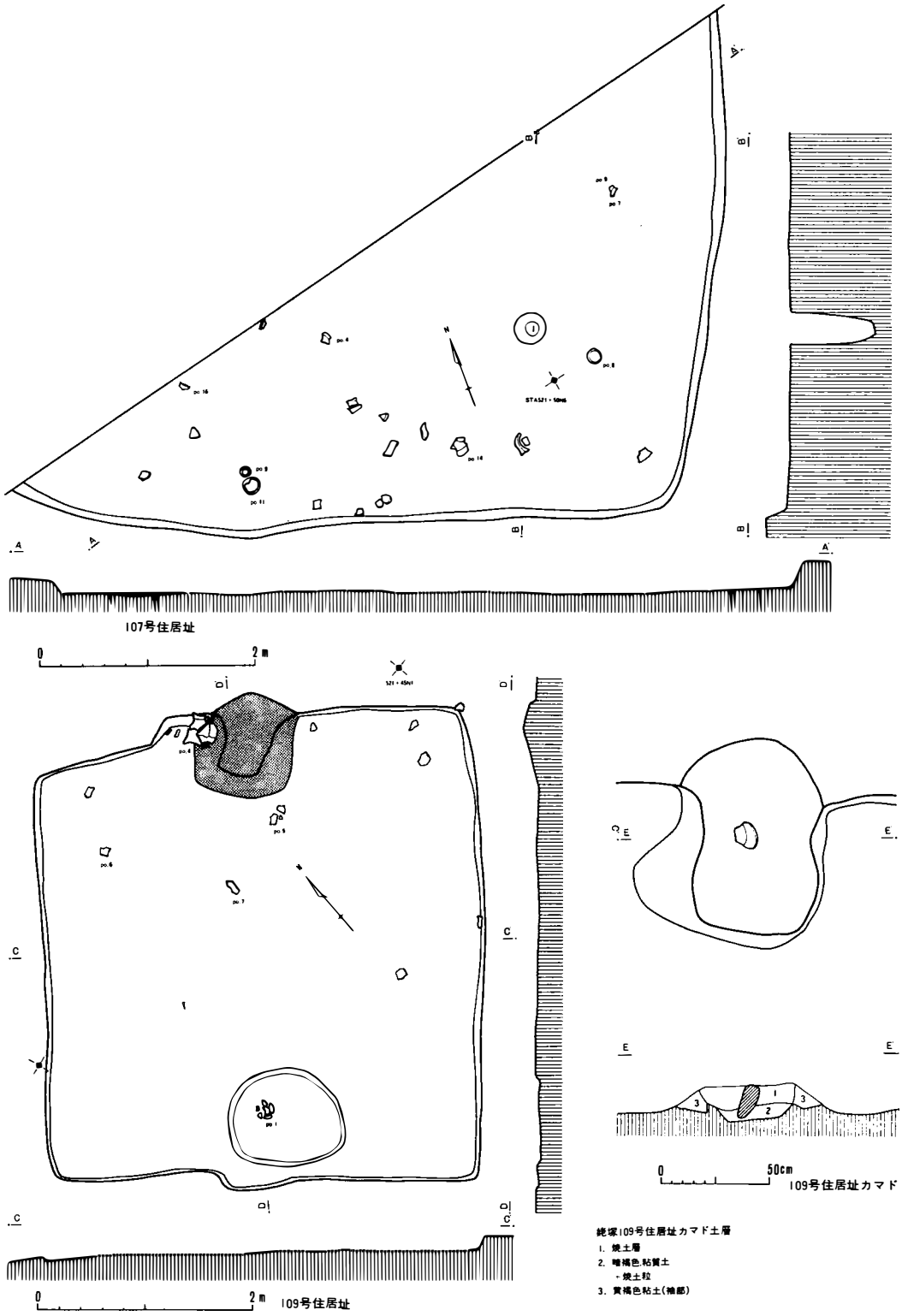
第83図　103号住居址平面図、102号住居址カマド実測図



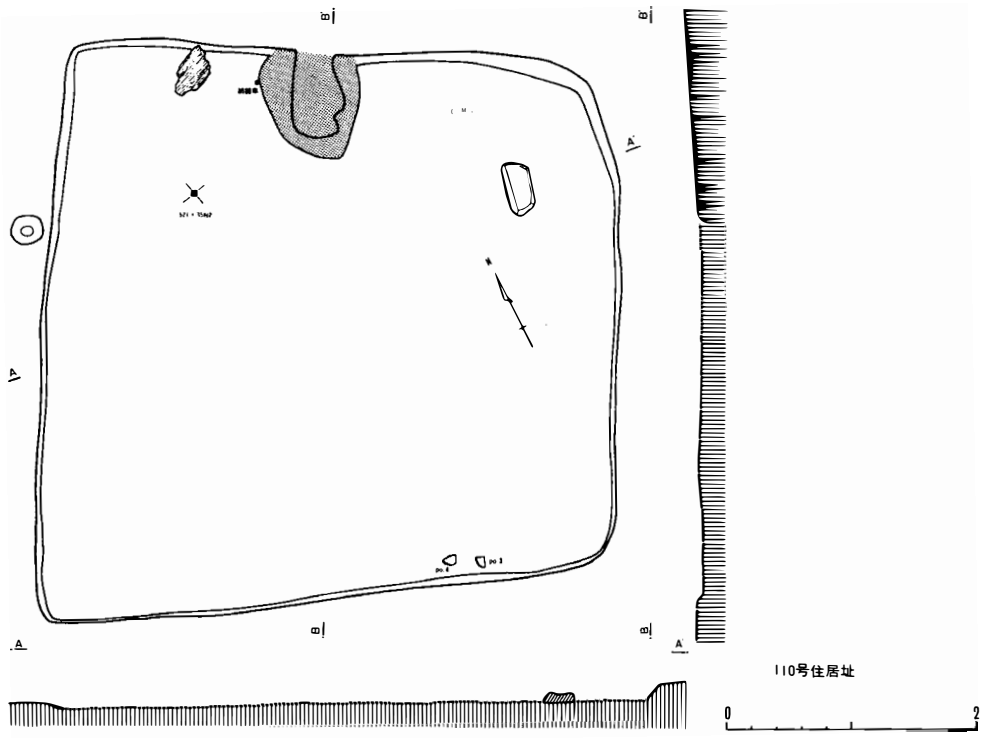
第84図　104号住居址平面図、104号住居址カマド実測図

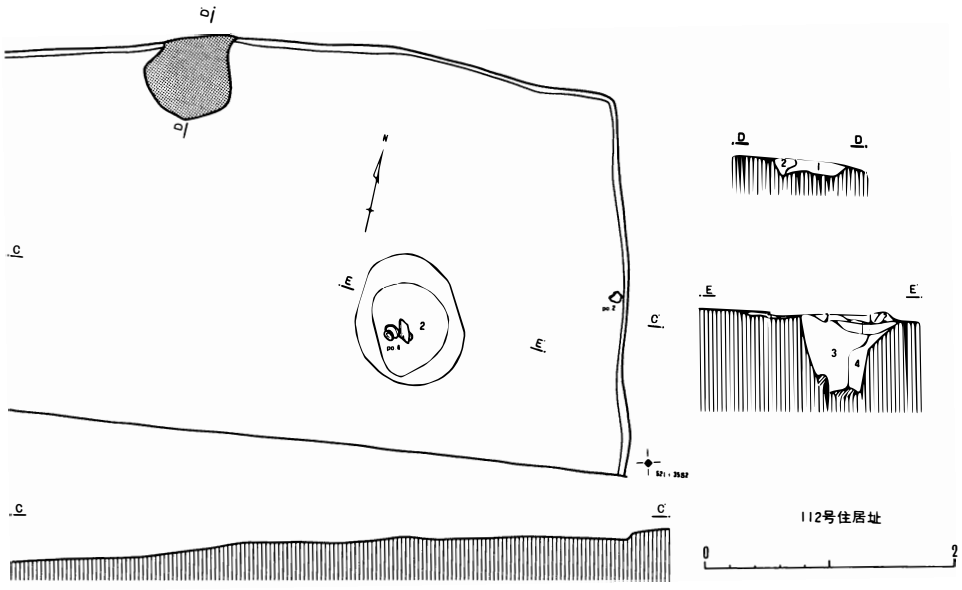


第85図　105、106号住居址平面図、106号住居址カマド実測図



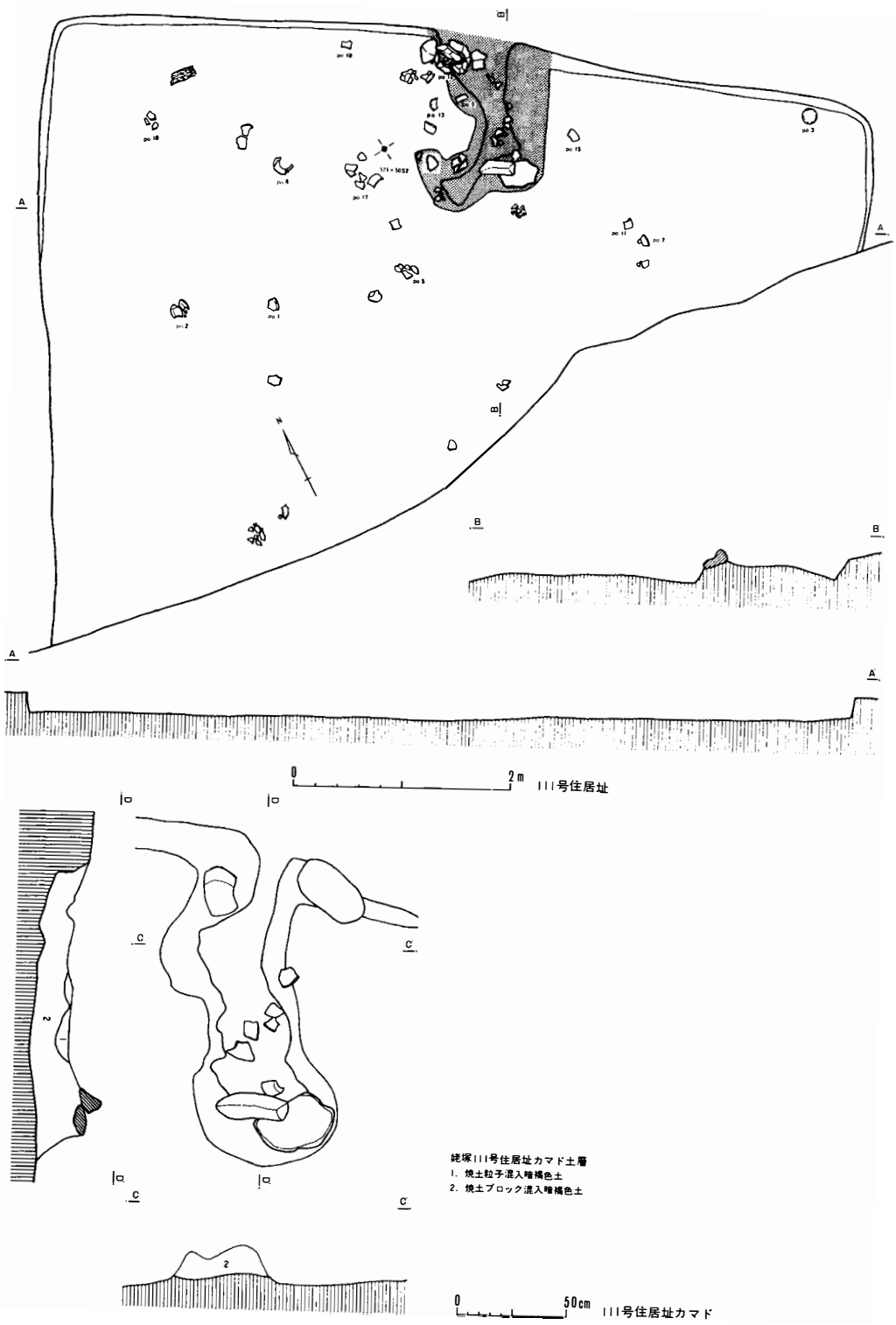
第86図　107、109号住居址平面図、109号住居址カマド実測図



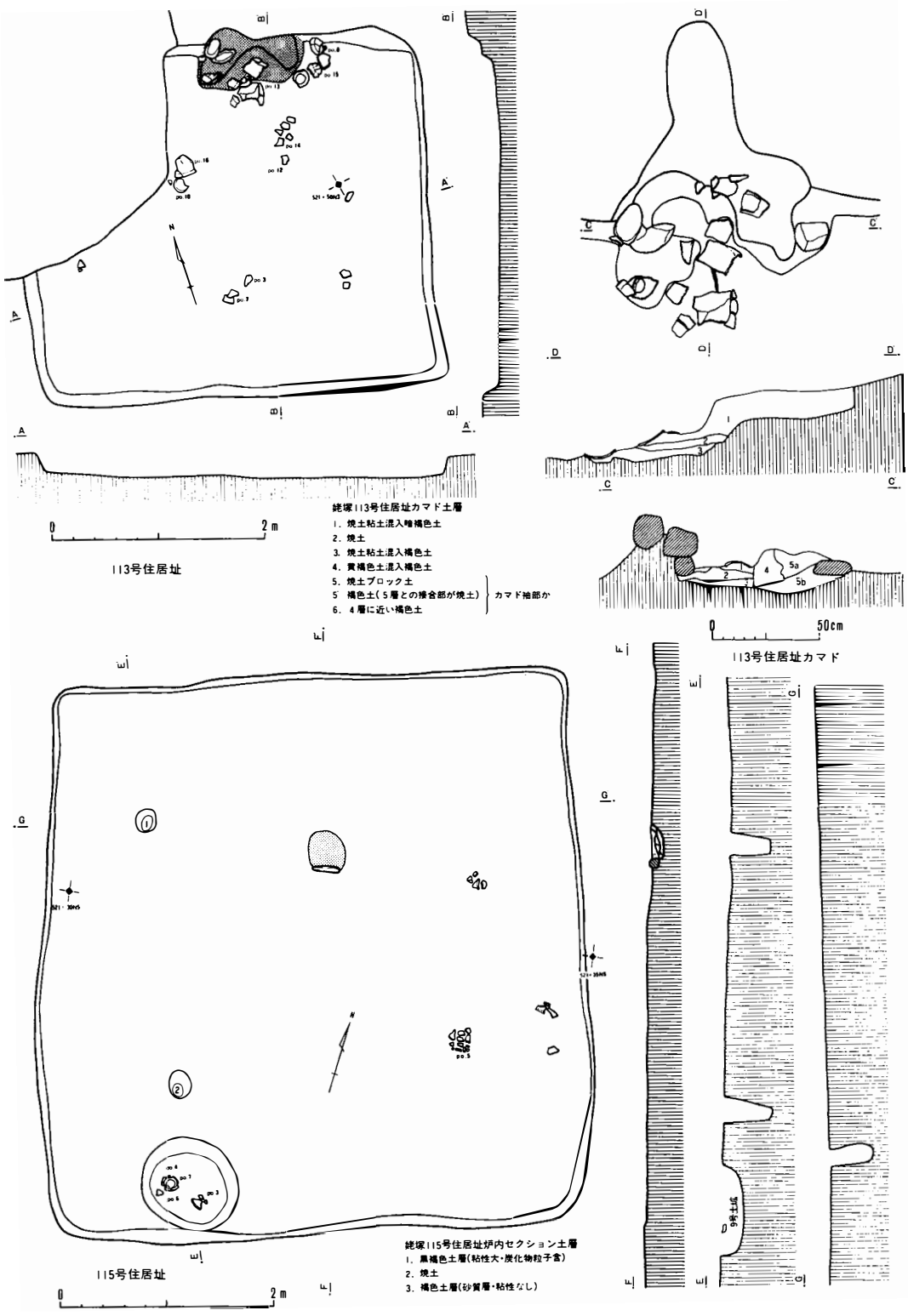


能塚112号住居址セクション土層
1. 焼土
2. 焼土粒(少量)・黒色粘質土(やや明るい黒色で粒土質で硬質。)
3. 黒色粘質土(2層の黒色粘質土と同じ)
4. 暗褐色砂(まったくの砂)
5. 黄褐色粘土

第87図　110、112号住居址平面図



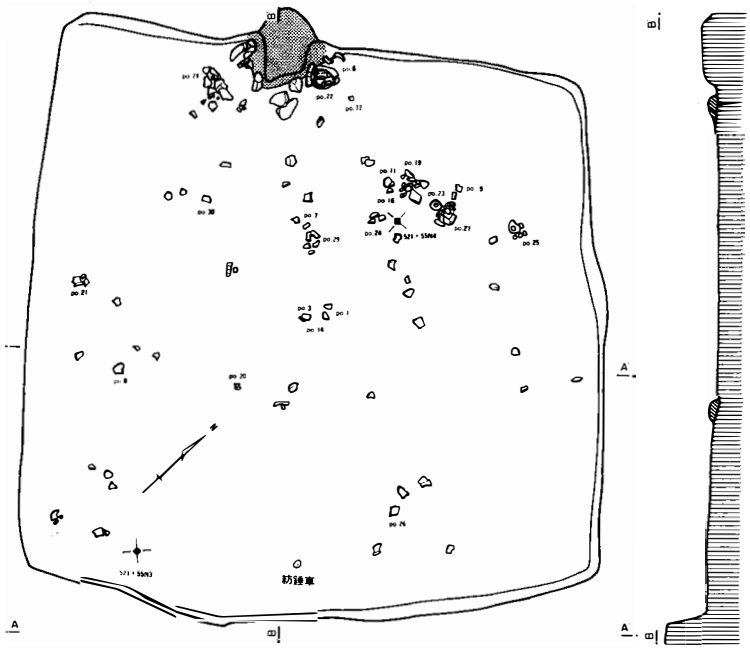
第88図　111号住居址平面図、111号住居址カマド実測図



経塚113号住居址カマド土層
1. 焼土粘土混入暗褐色土
2. 焼土
3. 焼土粘土混入褐色土
4. 黄褐色土混入褐色土
5. 焼土ブロック土
5' 褐色土(5層との接合部が焼土) } カマド袖部か
6. 4層に近い褐色土

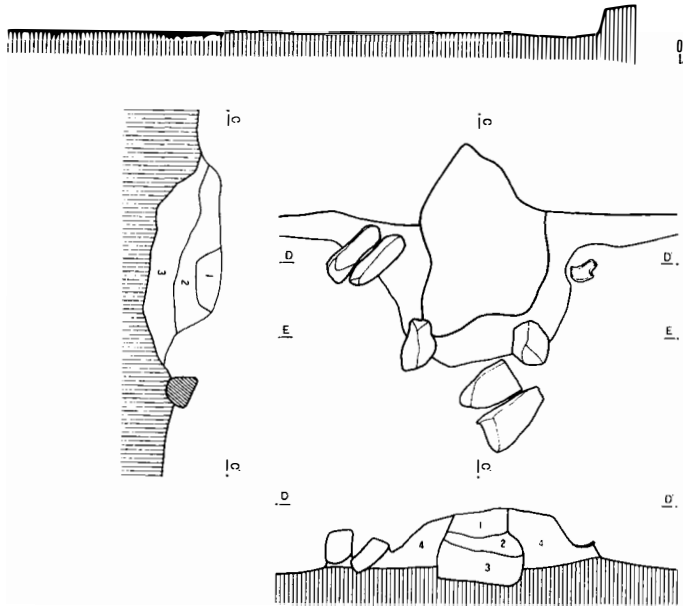
経塚115号住居址炉内セクション土層
1. 黒褐色土層(粘性大・炭化物粒子含)
2. 焼土
3. 褐色土層(砂質層・粘性なし)

第89図　113、115号住居址平面図

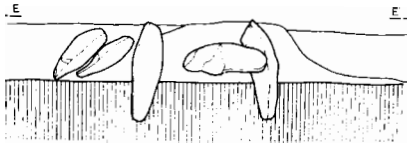


114号住居址

0 3m



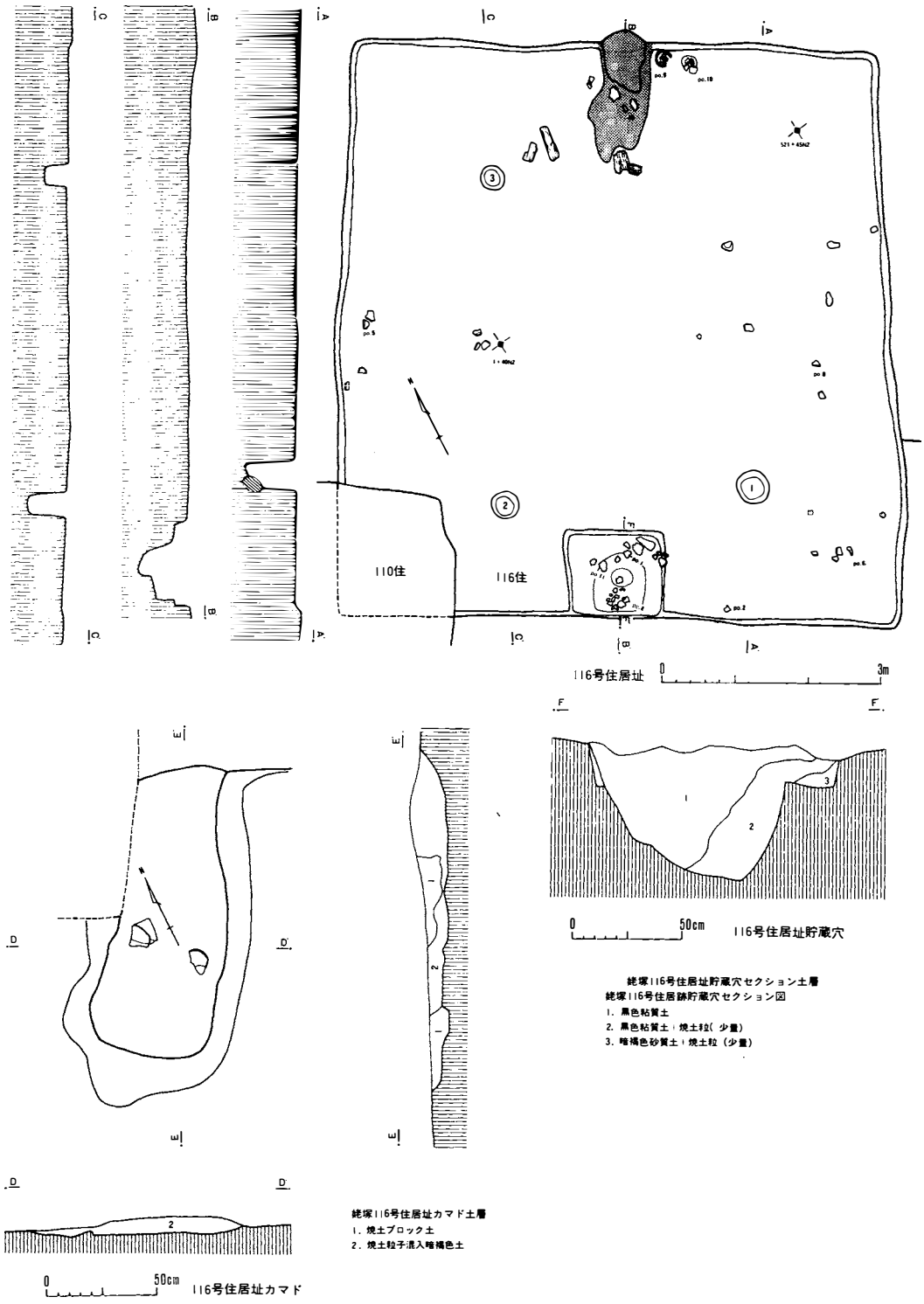
能塚114号住居址カマド土層
1. 黄褐色粘土粒子混入暗褐色土(天井の一部か)
2. 焼土ブロック混入暗褐色土
3. 焼土粒子混入暗褐色土
4. 黄褐色粘土、焼土ブロック混入褐色土(壁)



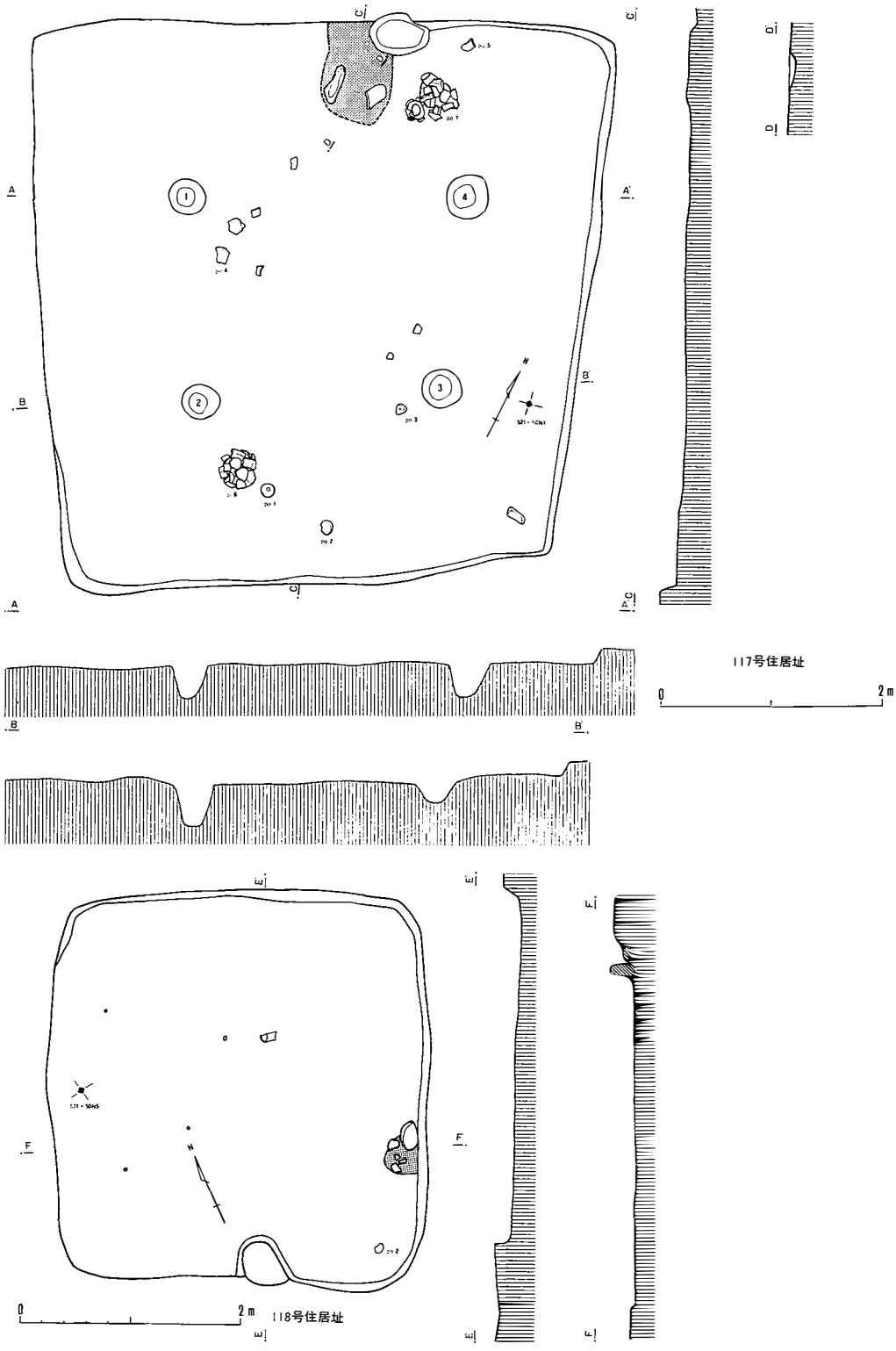
114号住居址カマド

0 50cm

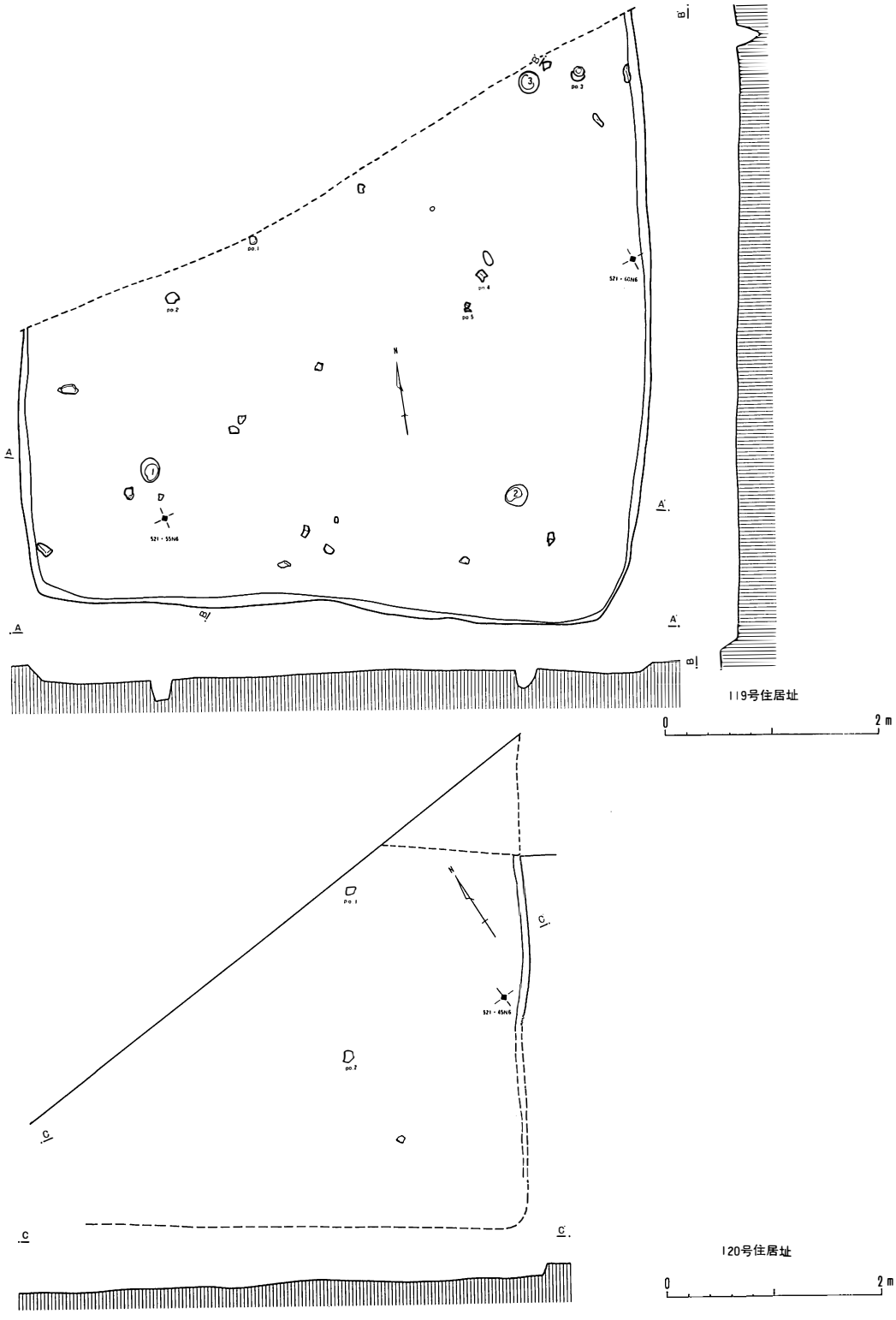
第90図　114号住居址平面図、114号住居址カマド実測図



第91図　116号住居址平面図、カマド実測図、貯蔵穴セクション図

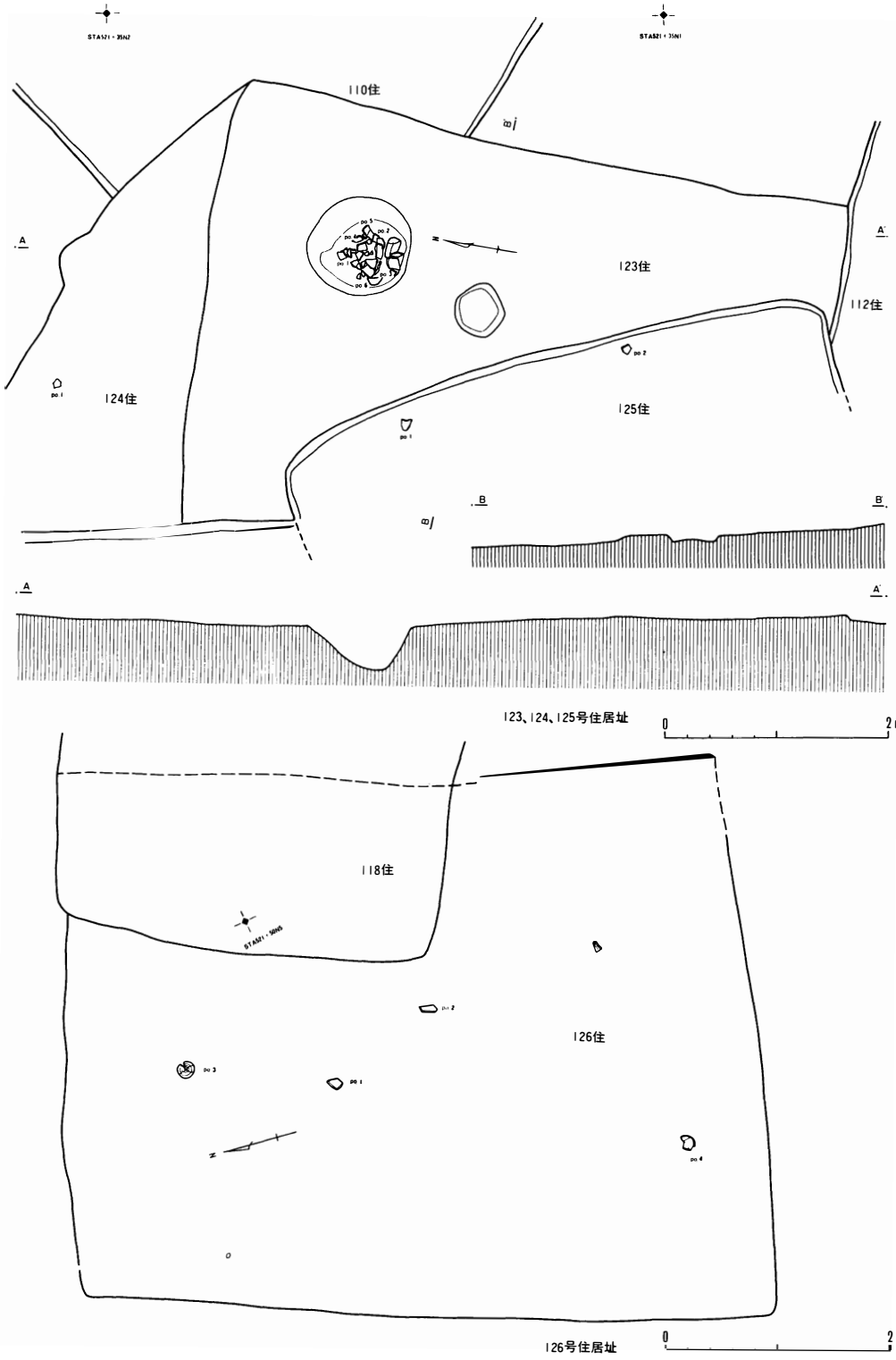


第92図　117、118号住居址平面図

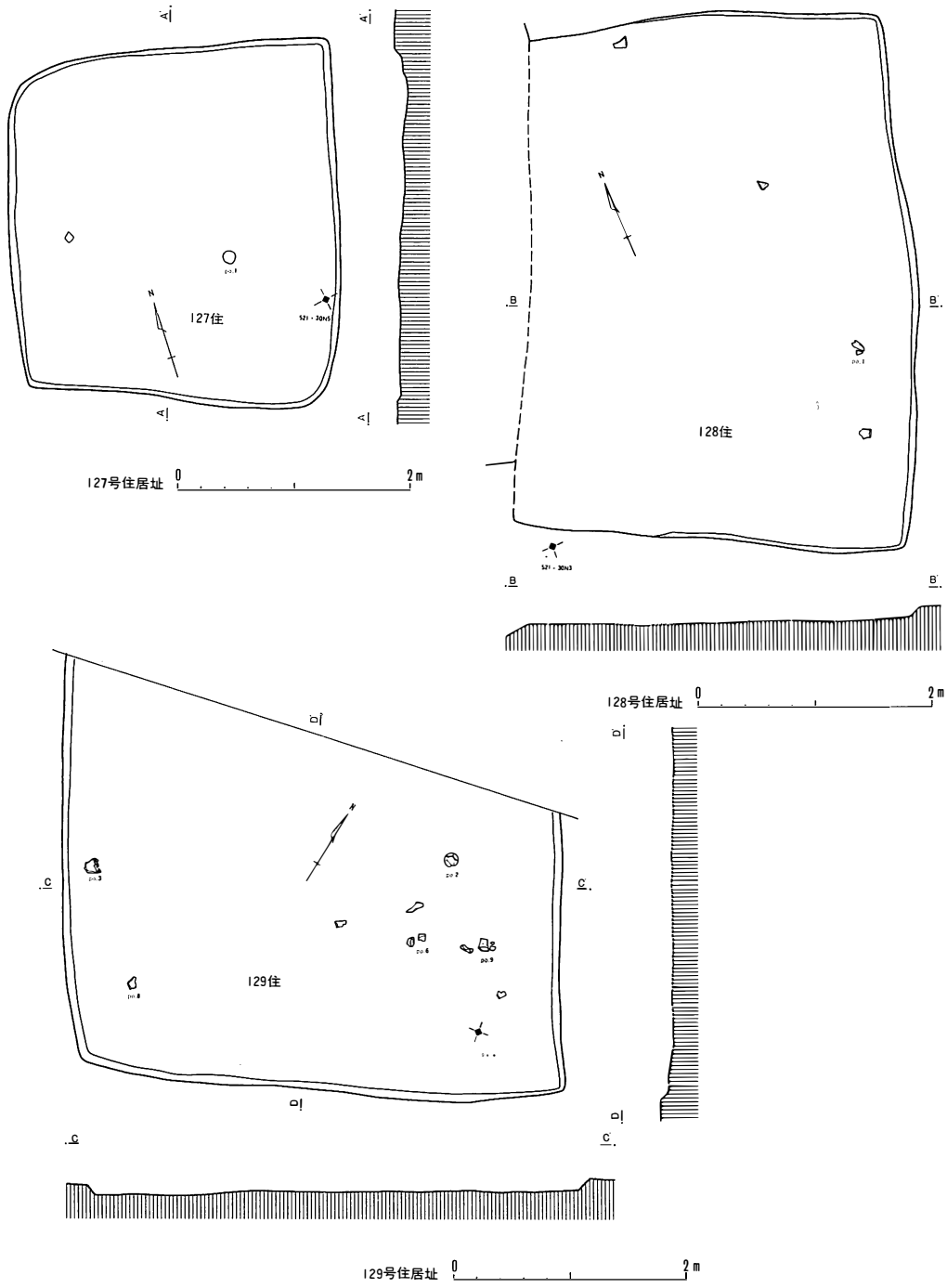


第93図　119、120号住居址平面図

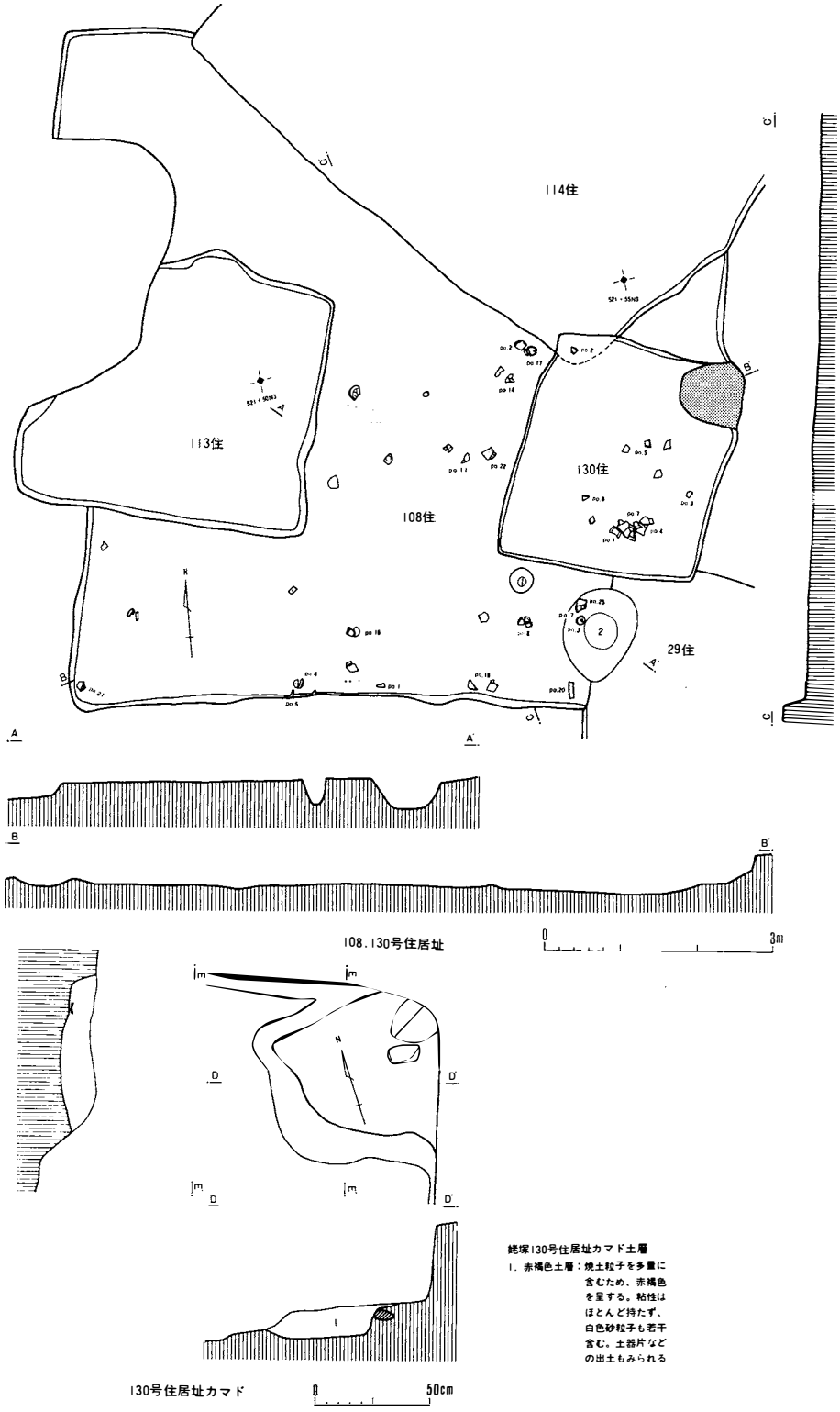
第94図　121、122号住居址平面図



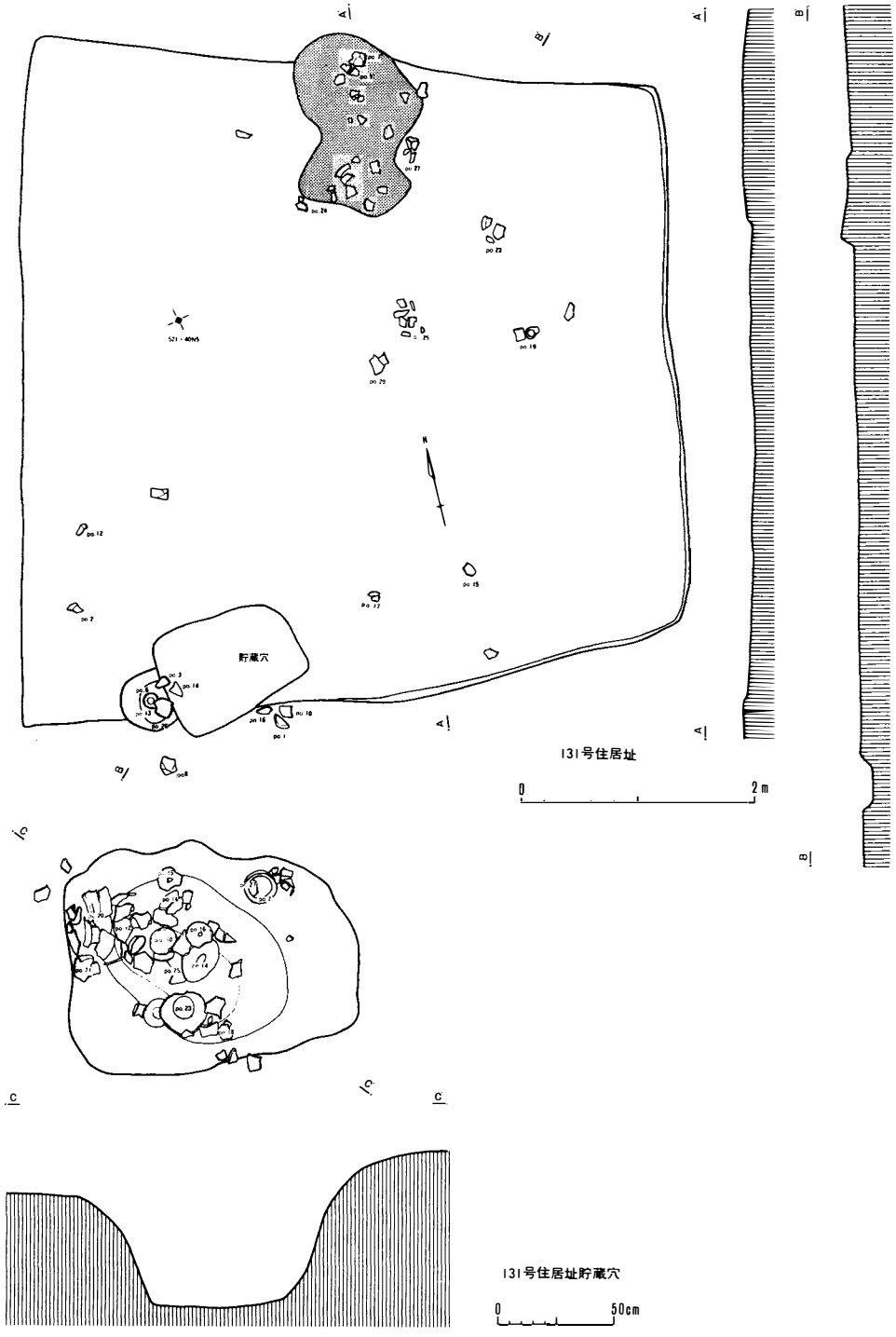
第95図　123、124、125、126号住居址平面図



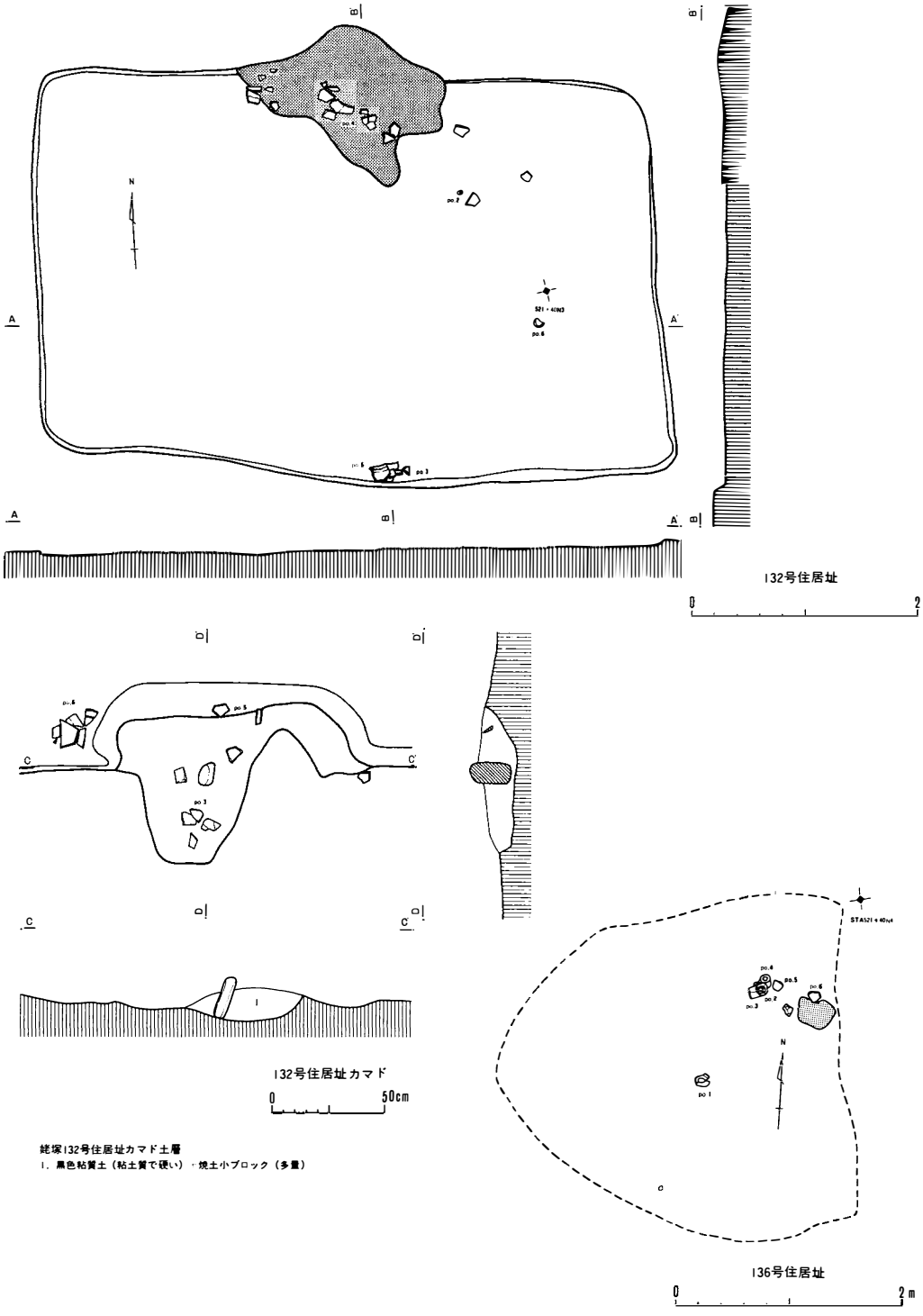
第96図　127、128、129号住居址平面図



第97図　108、130号住居址平面図、130号住居址実測図

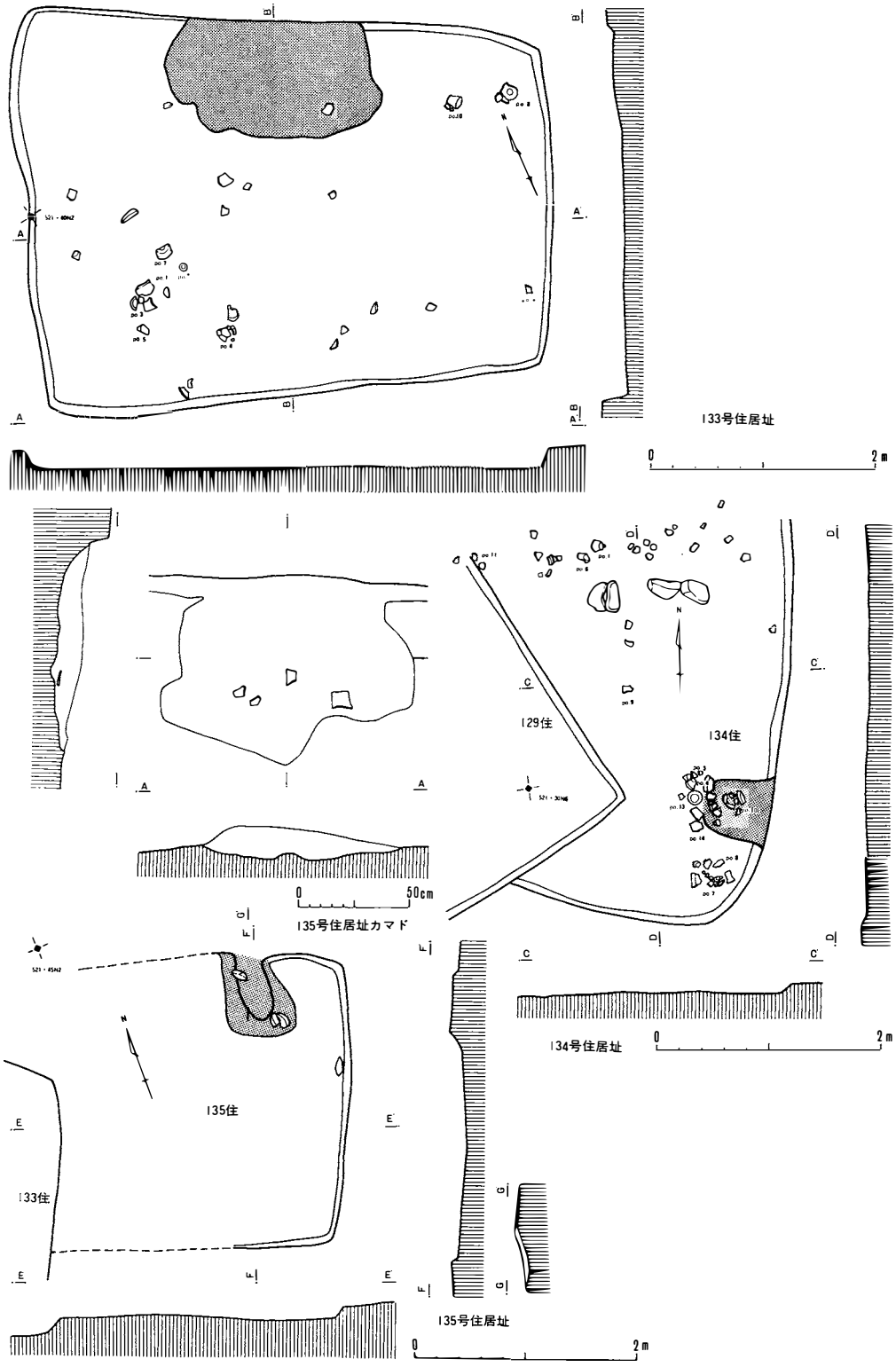


第98図　131号住居址平面図、131号住居址カマド実測図

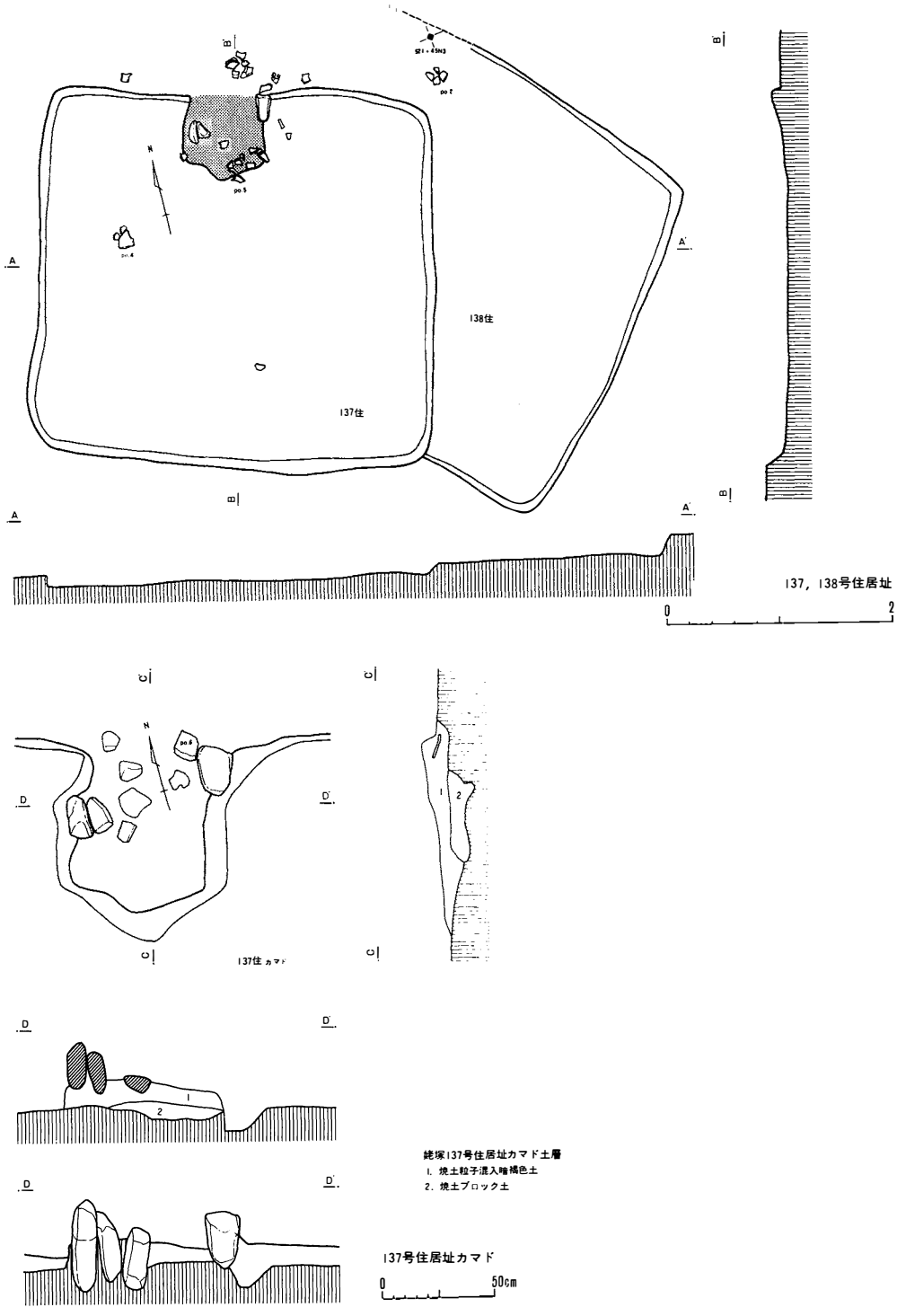


能塚132号住居址カマド土層
1. 黒色粘質土（粘土質で硬い）・焼土小ブロック（多量）

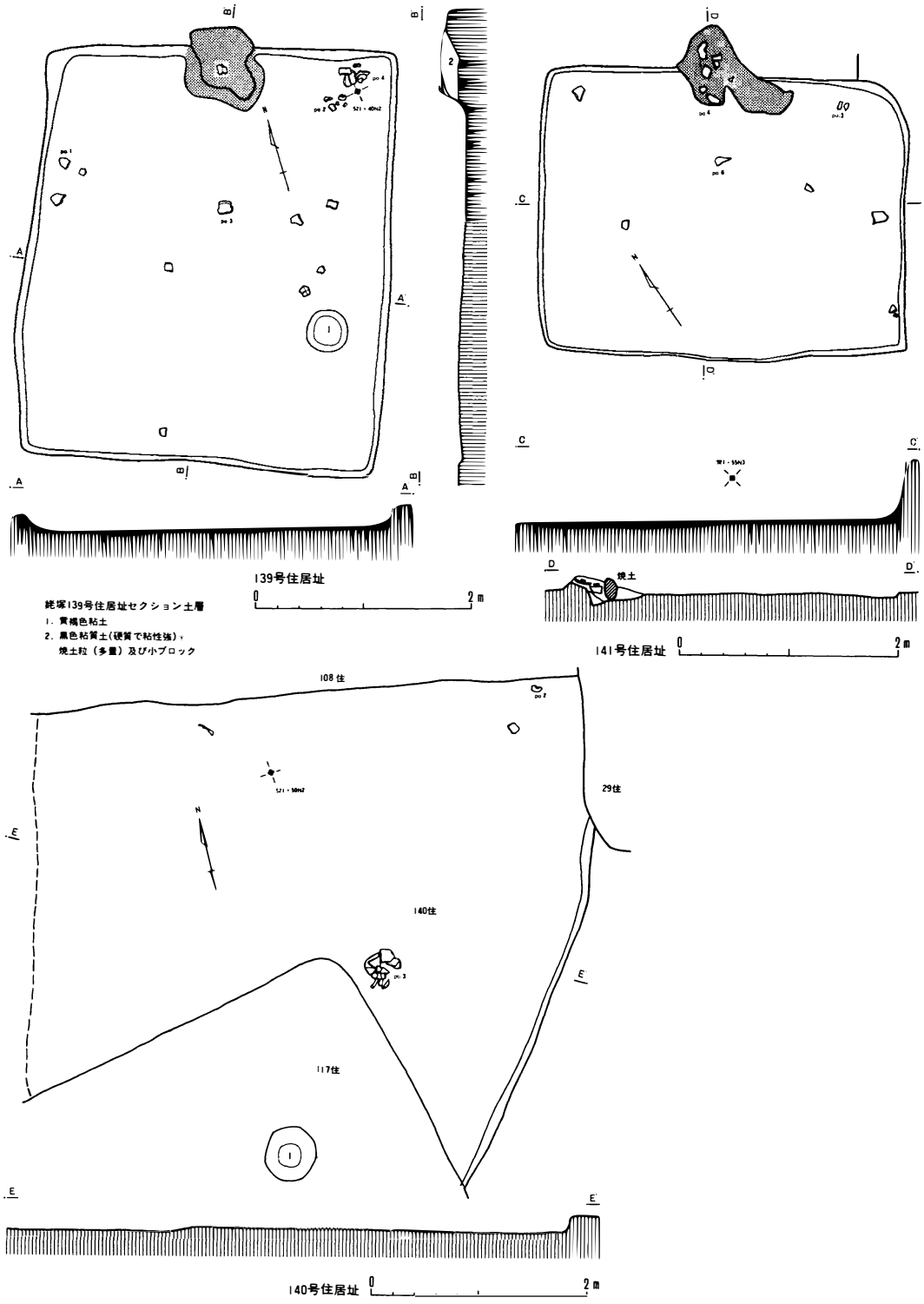
第99図　132、136号住居址平面図、132号住居址カマド実測図



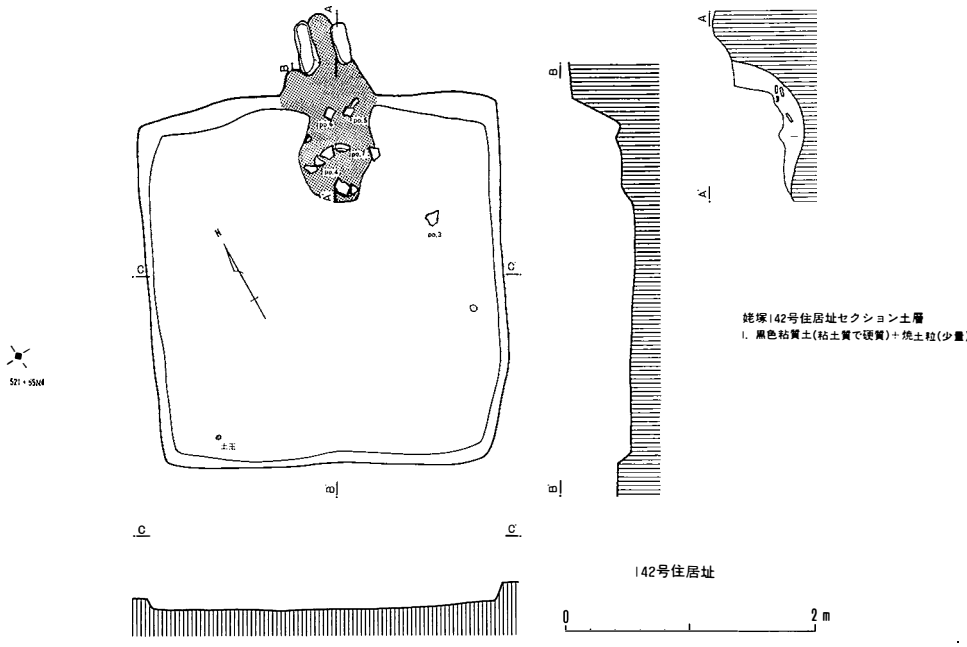
第100図　133、134、135号住居址平面図、135号住居址カマド実測図



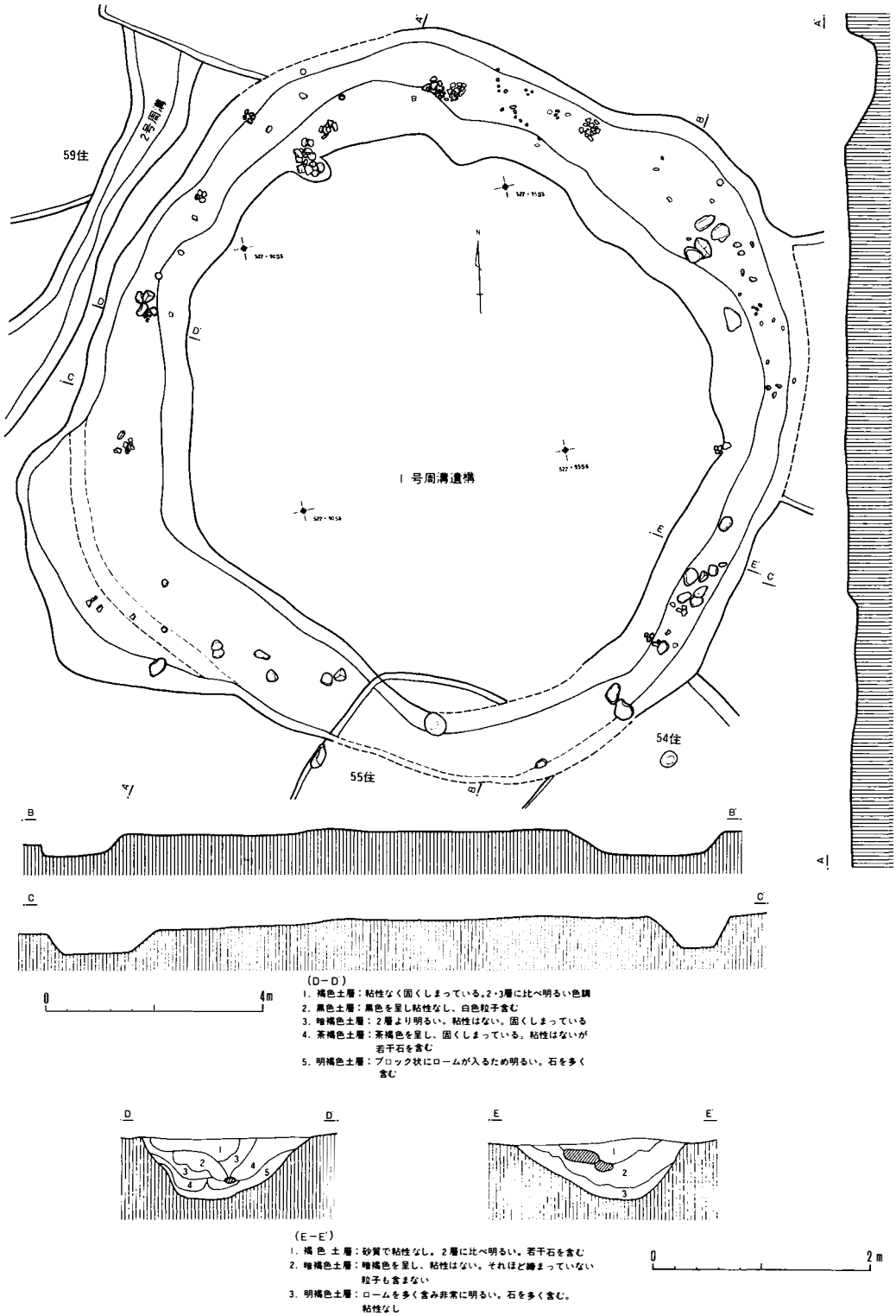
第101図　137、138号住居址平面図、137号住居址カマド実測図



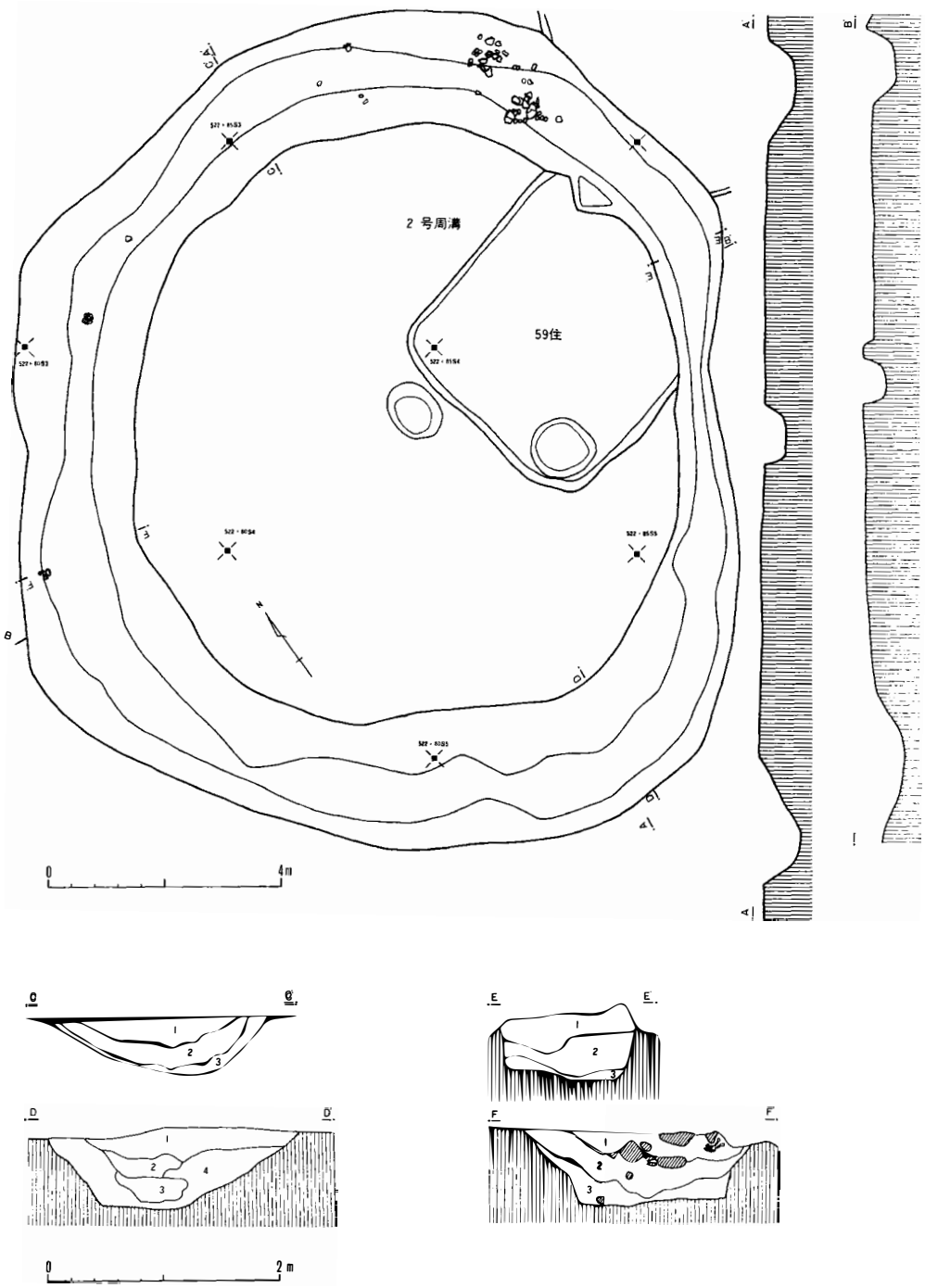
第102図　139、140、.141号住居址平面図



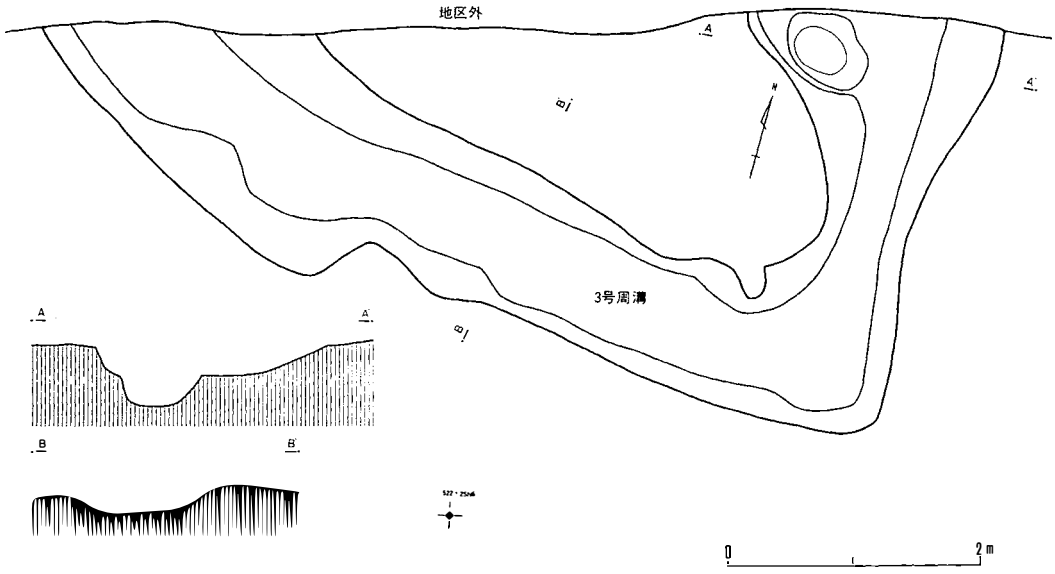
第103図　142号住居址平面図



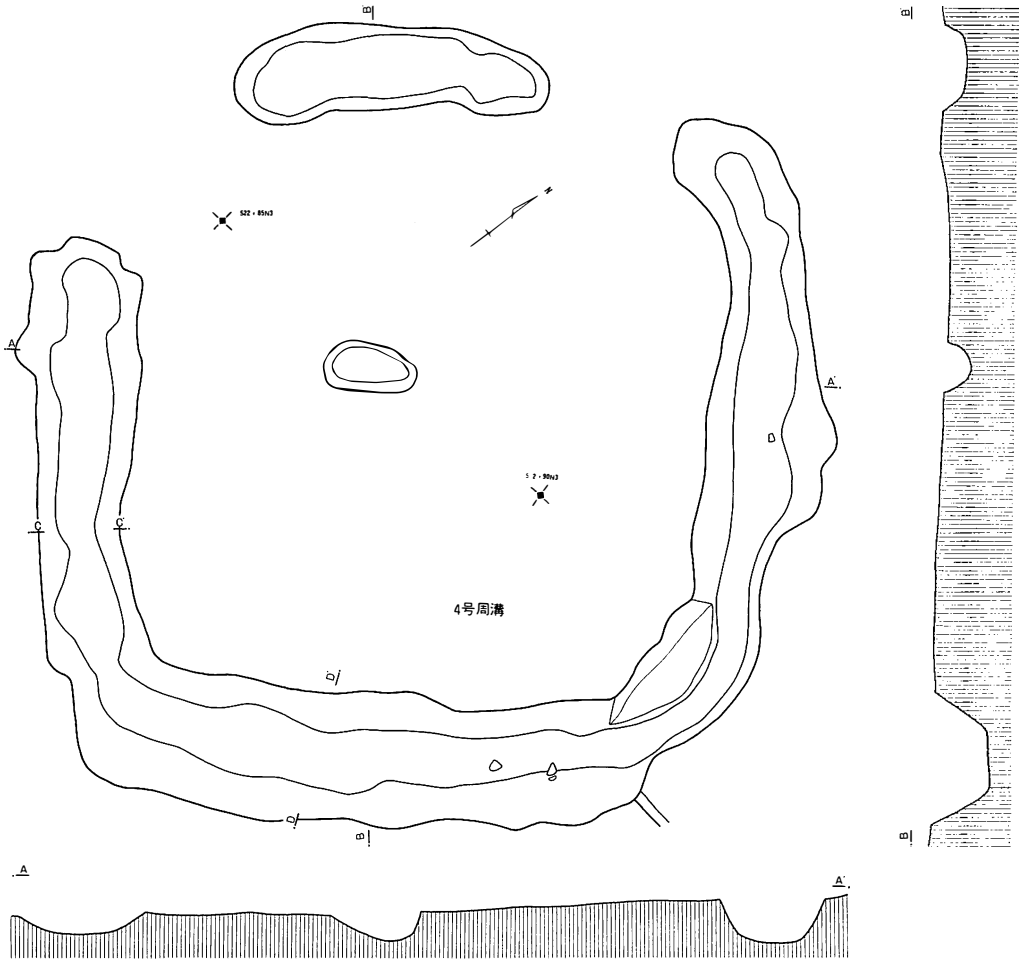
第104図　1号周溝遺構平面図

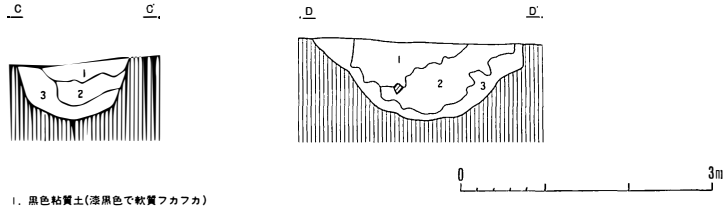


第105図　2号周溝遺構平面図



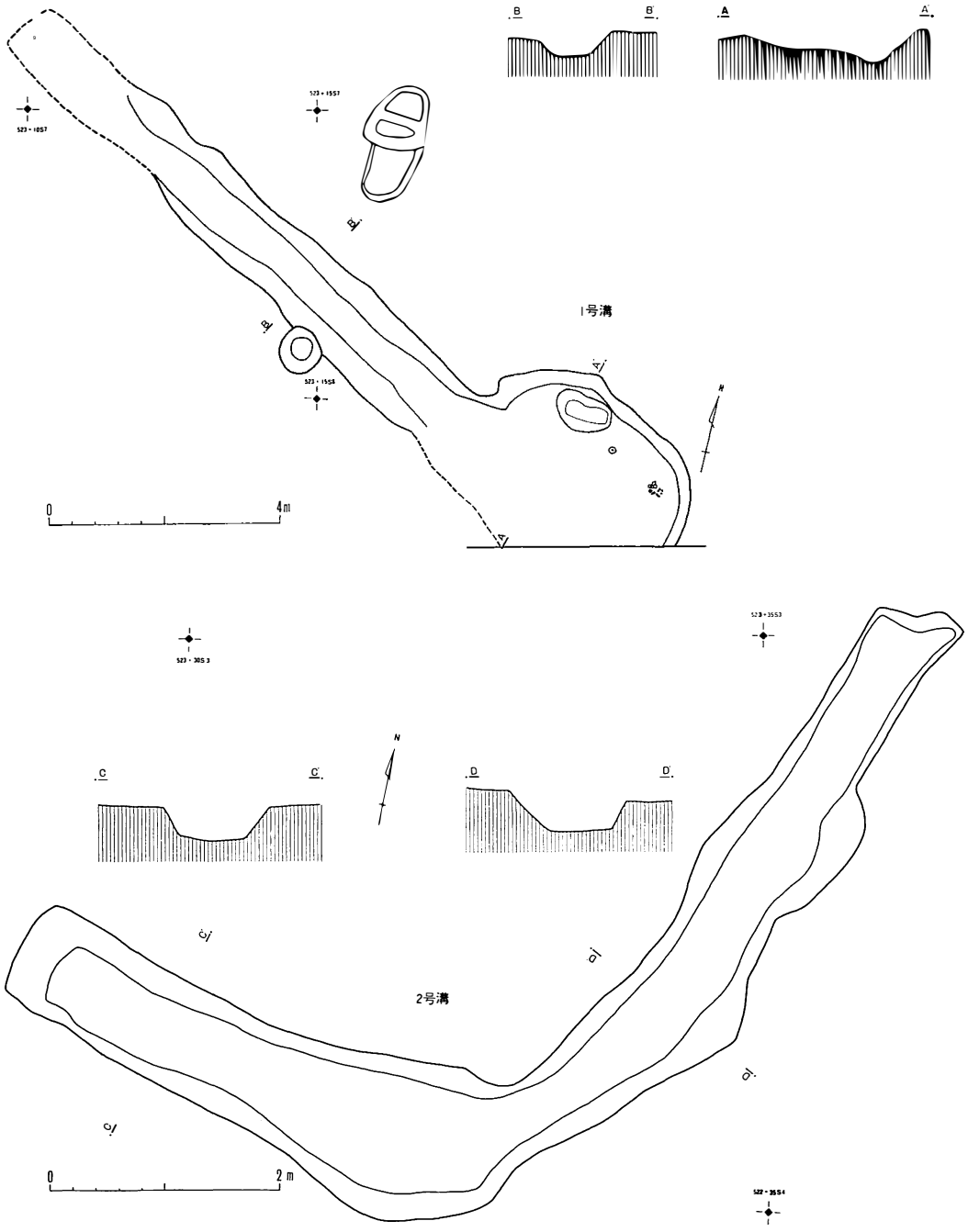
第106図　3号周溝遺構平面図



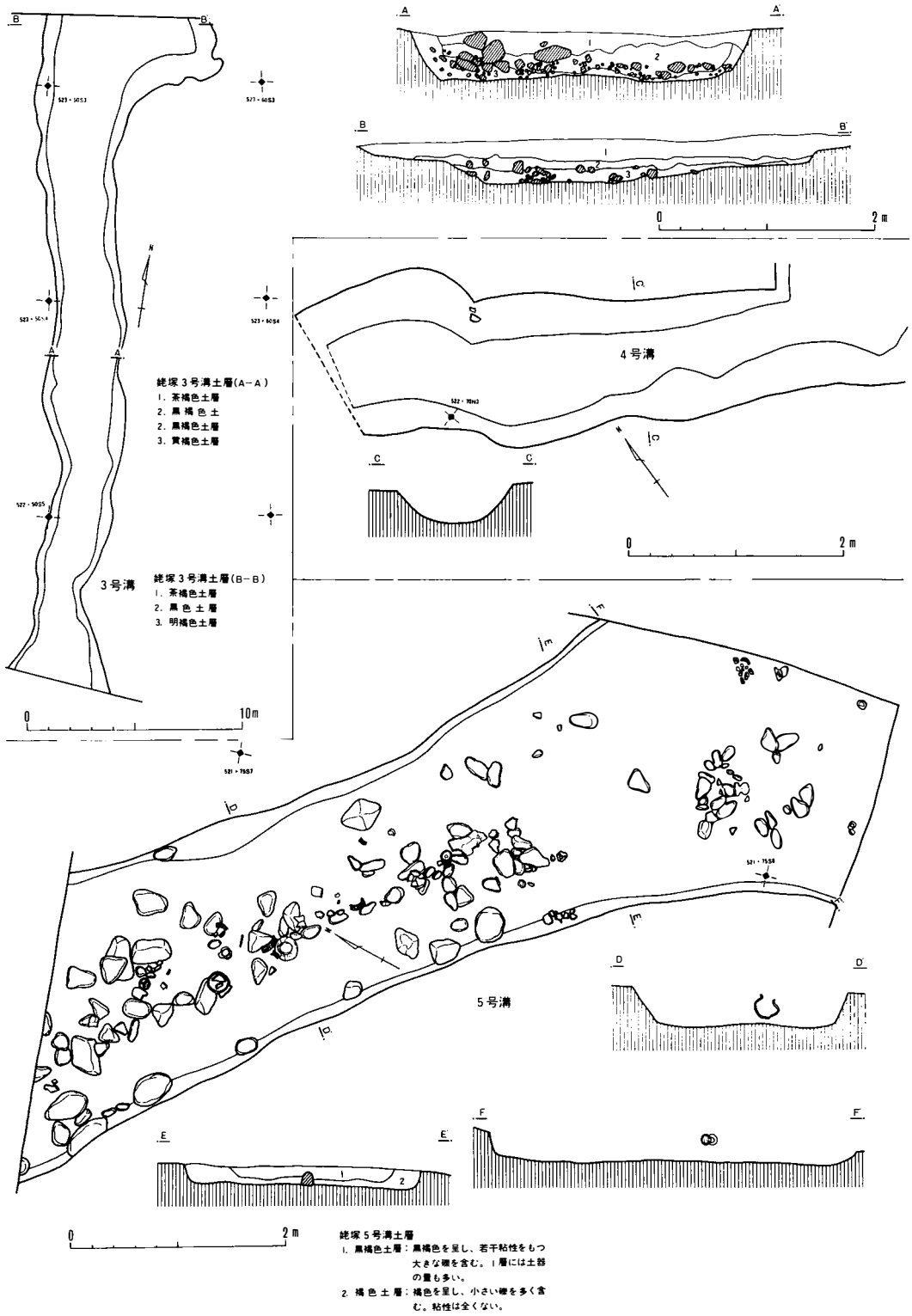


1. 黒色粘質土(溶黒色で軟質フカフカ)
2. 暗褐色粘質土(軟質サクサクでやや砂質)
3. 黄褐色砂質土ブロック＋暗褐色粘質土(2層)

第107図　4号周溝遺構平面図

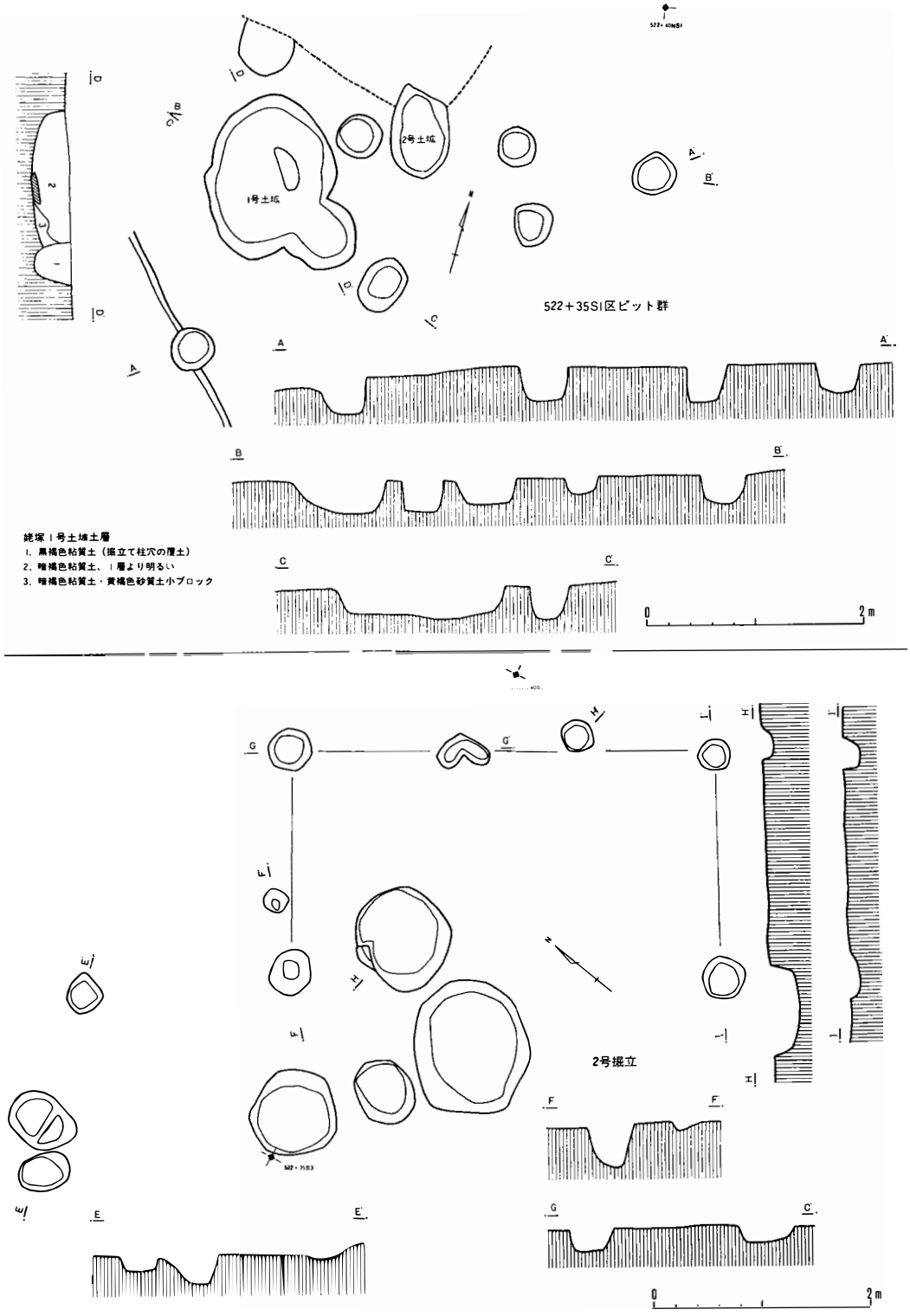


第108図　1、2号溝平面図

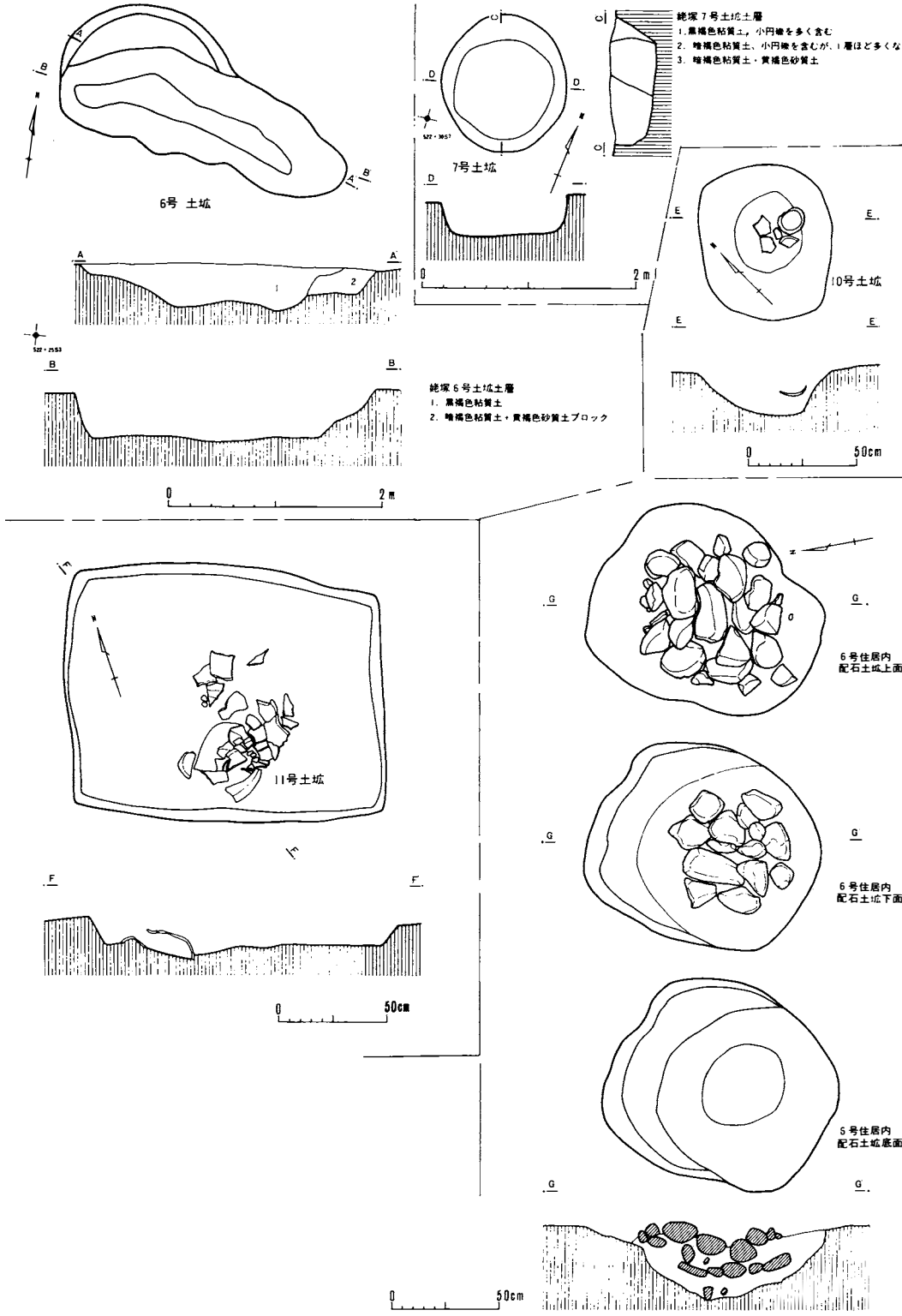


第109図　3、4、5号溝平面図

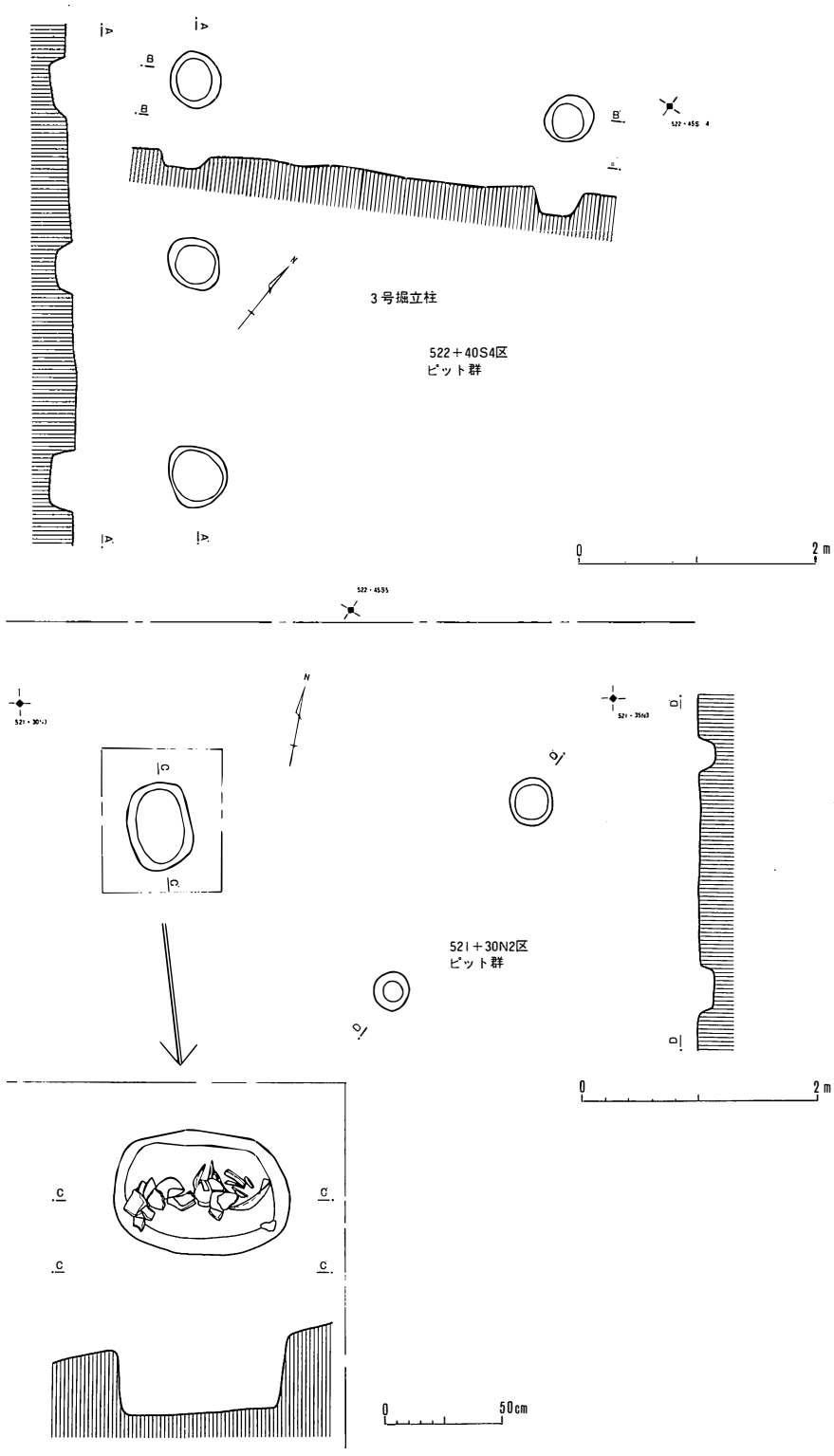
第110図　6号溝、1号水路平面図



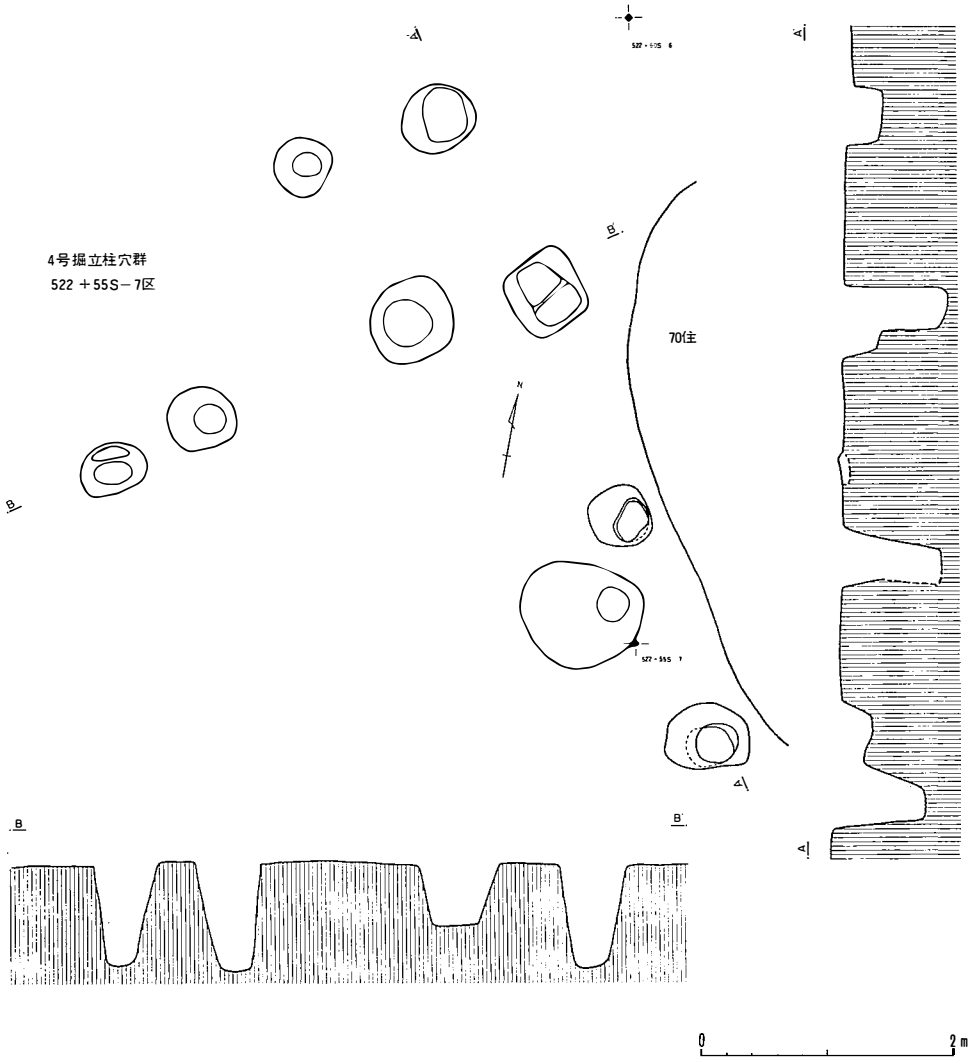
第111図　1、2号土壙、STA 522+35SI区ピット群、2号掘立柱建物址平面図



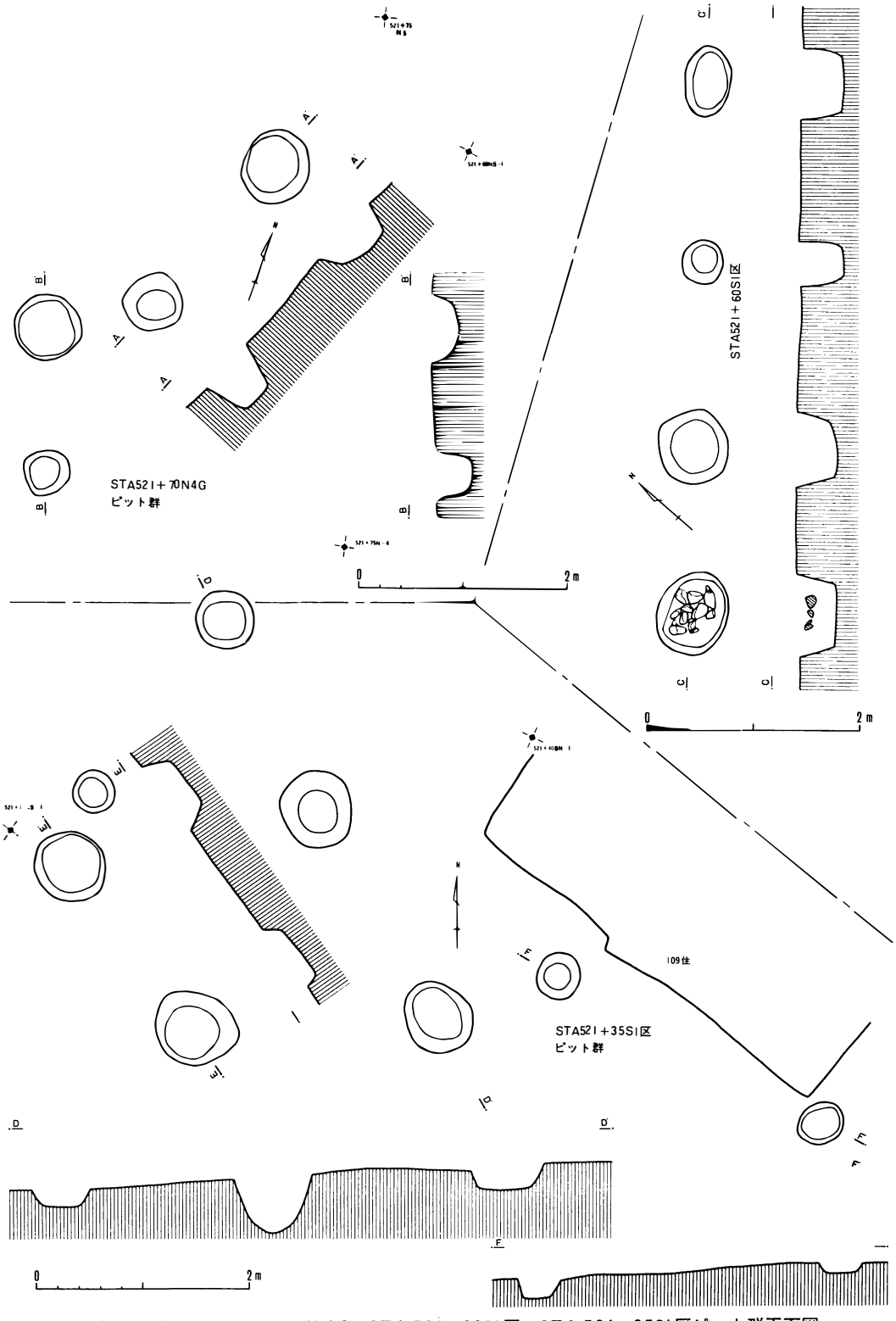
第112図　6、7、10、11号土壙、6号住居址内配石土壙平面図



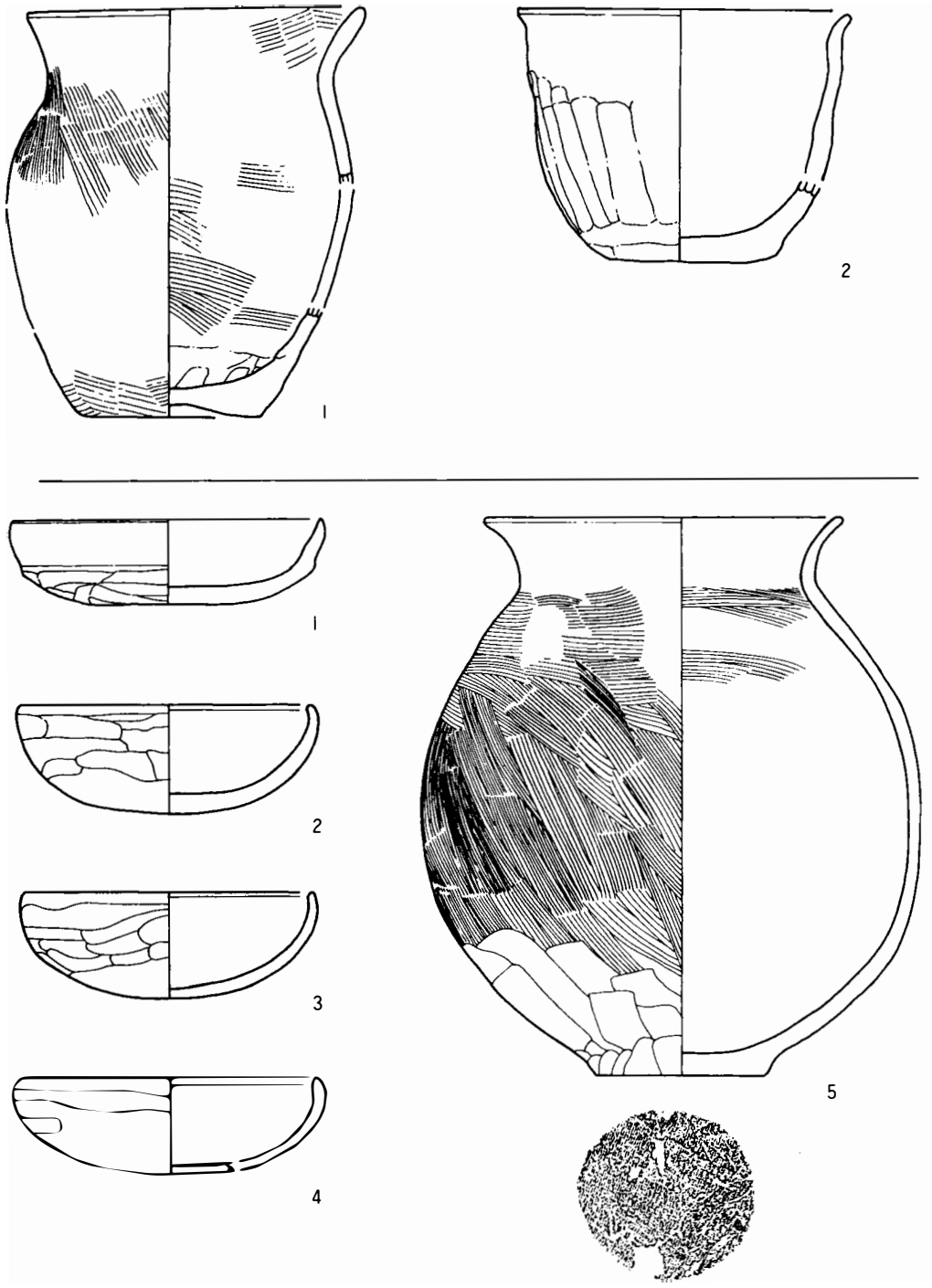
第113図　3号掘立柱建物址STA 522+40S4区ピット群



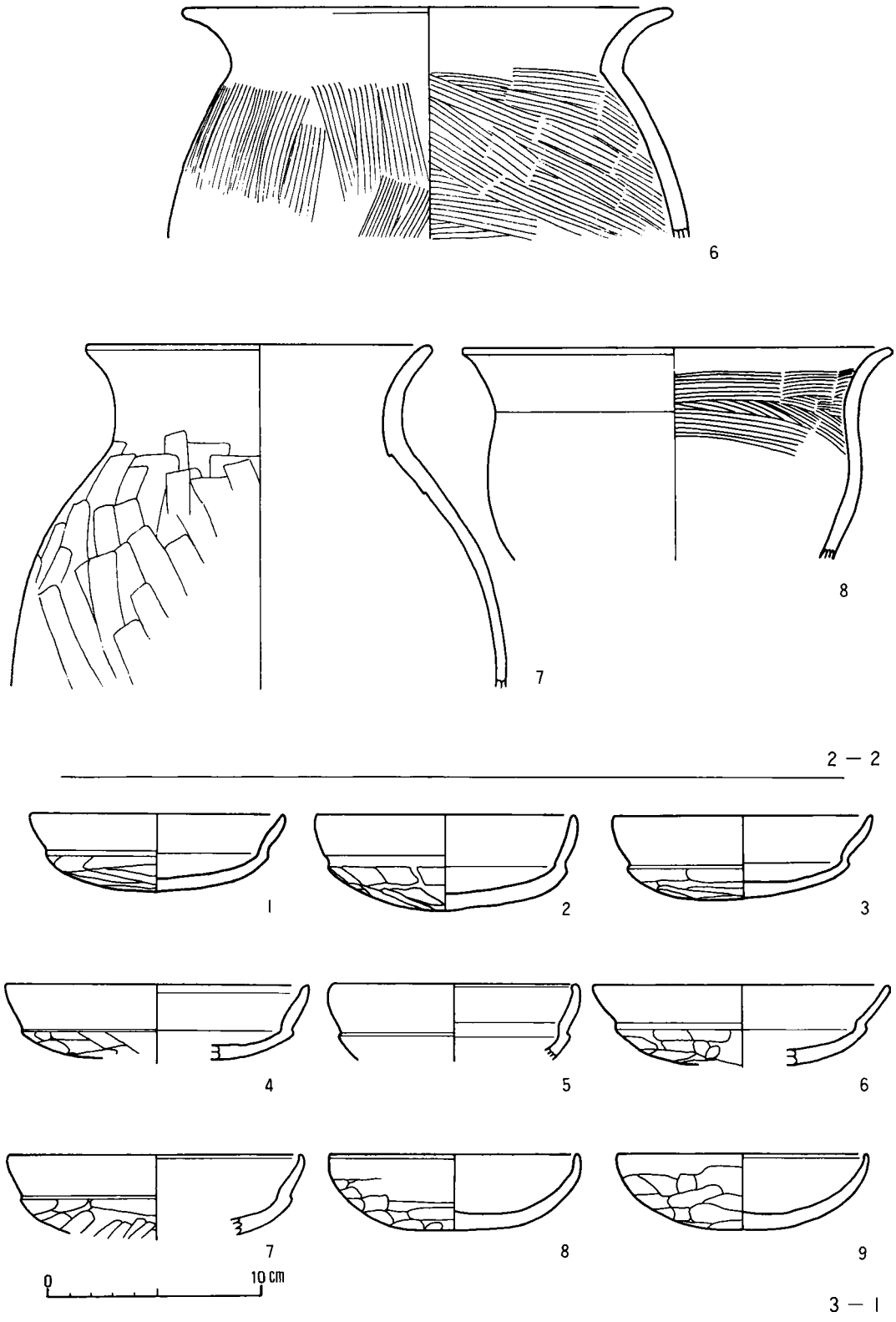
第114図　4号掘立柱建物址、STA 522+ 55S 7区ピット群平面図



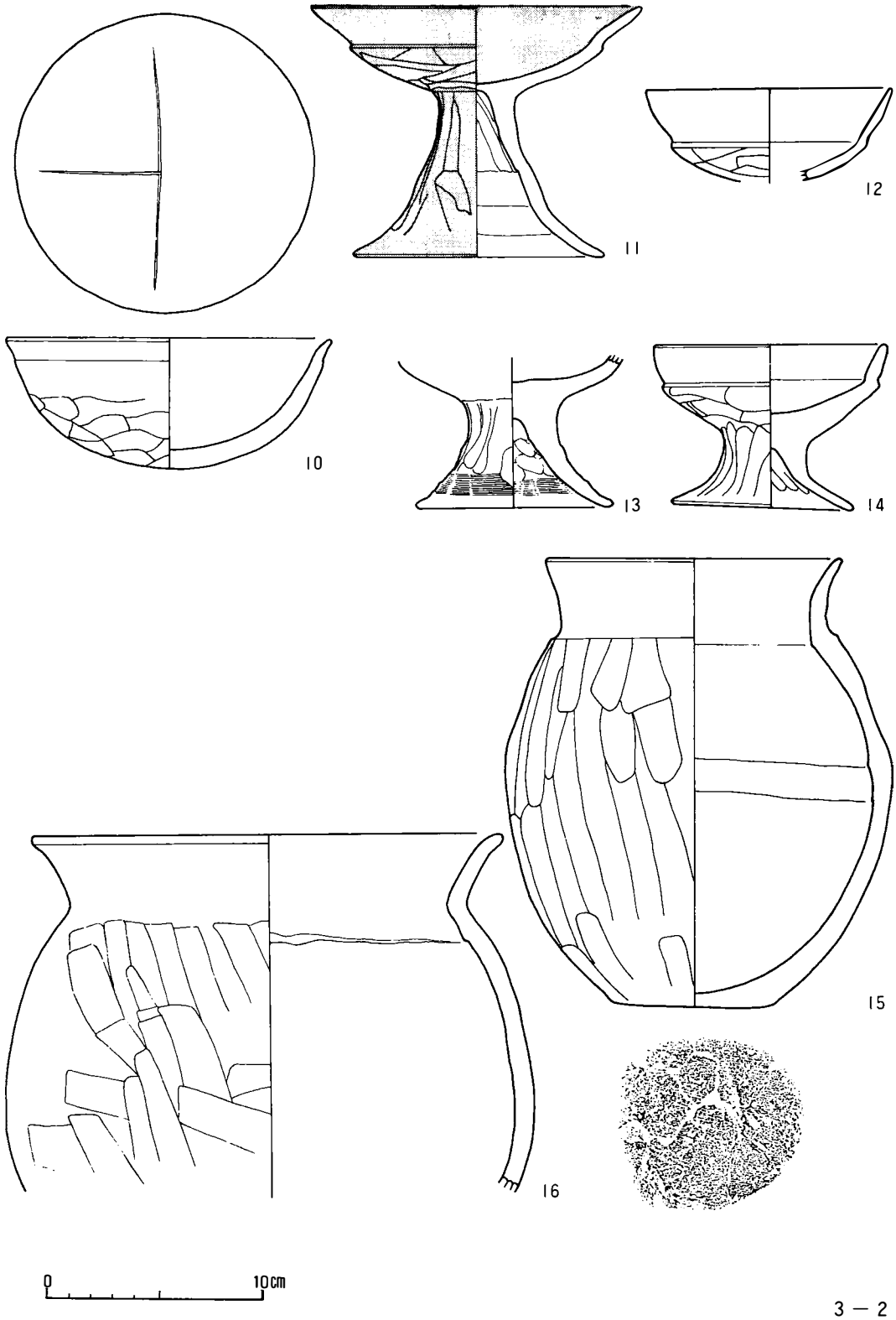
第115図　STA 521+70 N 4G、STA 521+60SI区、STA 521+35SI区ピット群平面図



第116図　1、2号住居址出土土器

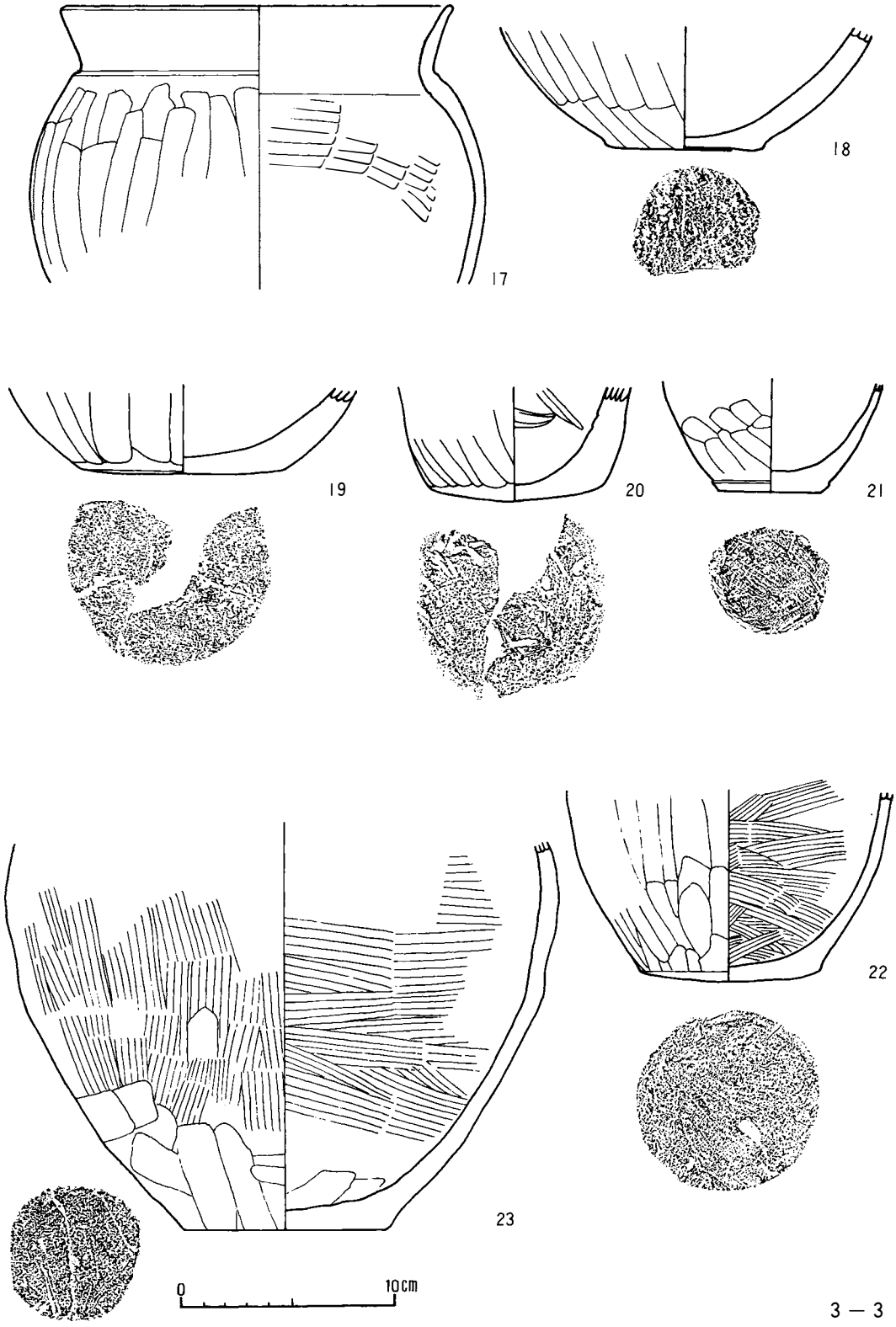


第117図　2、3号住居址出土土器

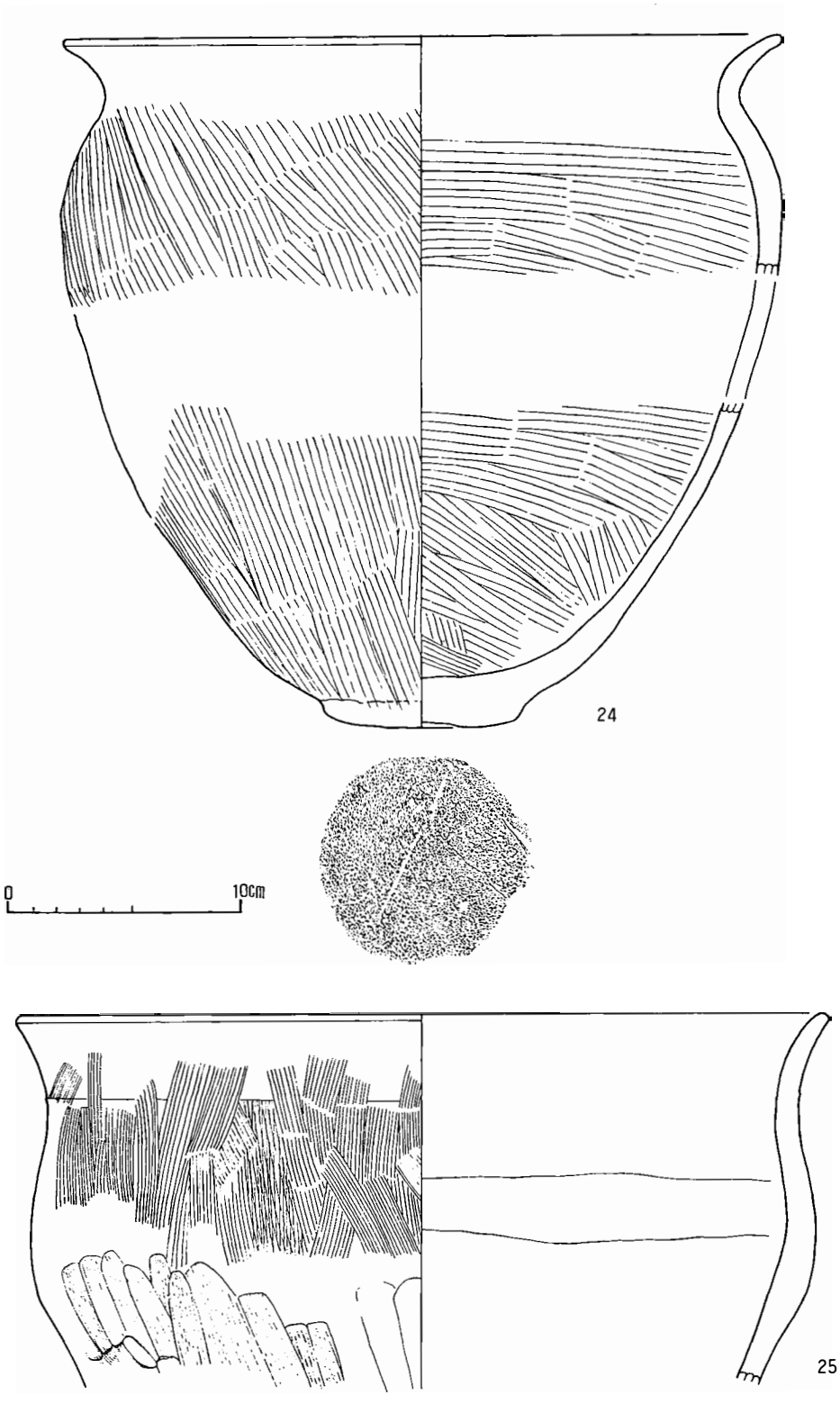


3 − 2

第118図　3号住居址出土土器 (2)

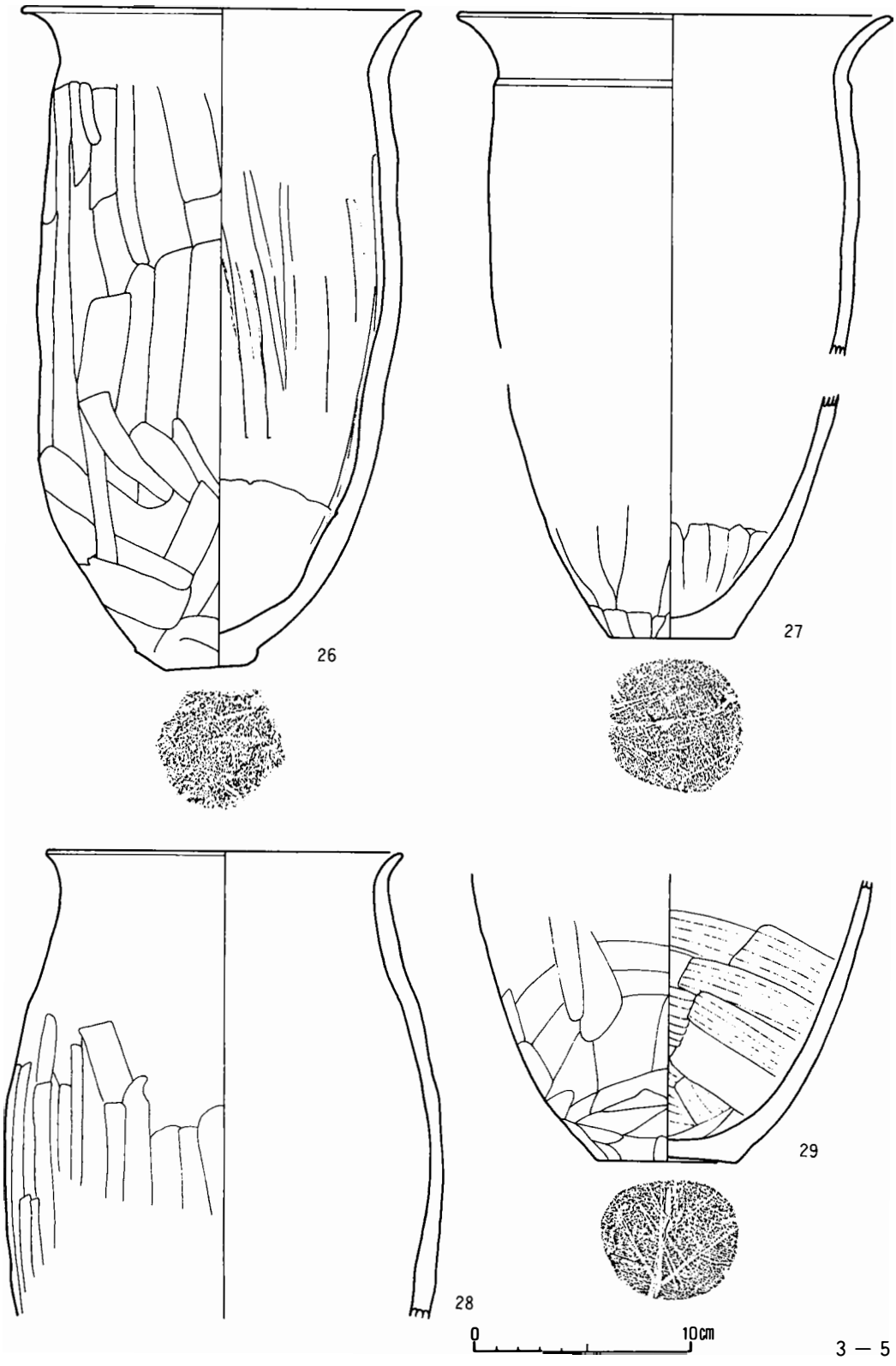


第119図　3号住居址出土土器 (3)

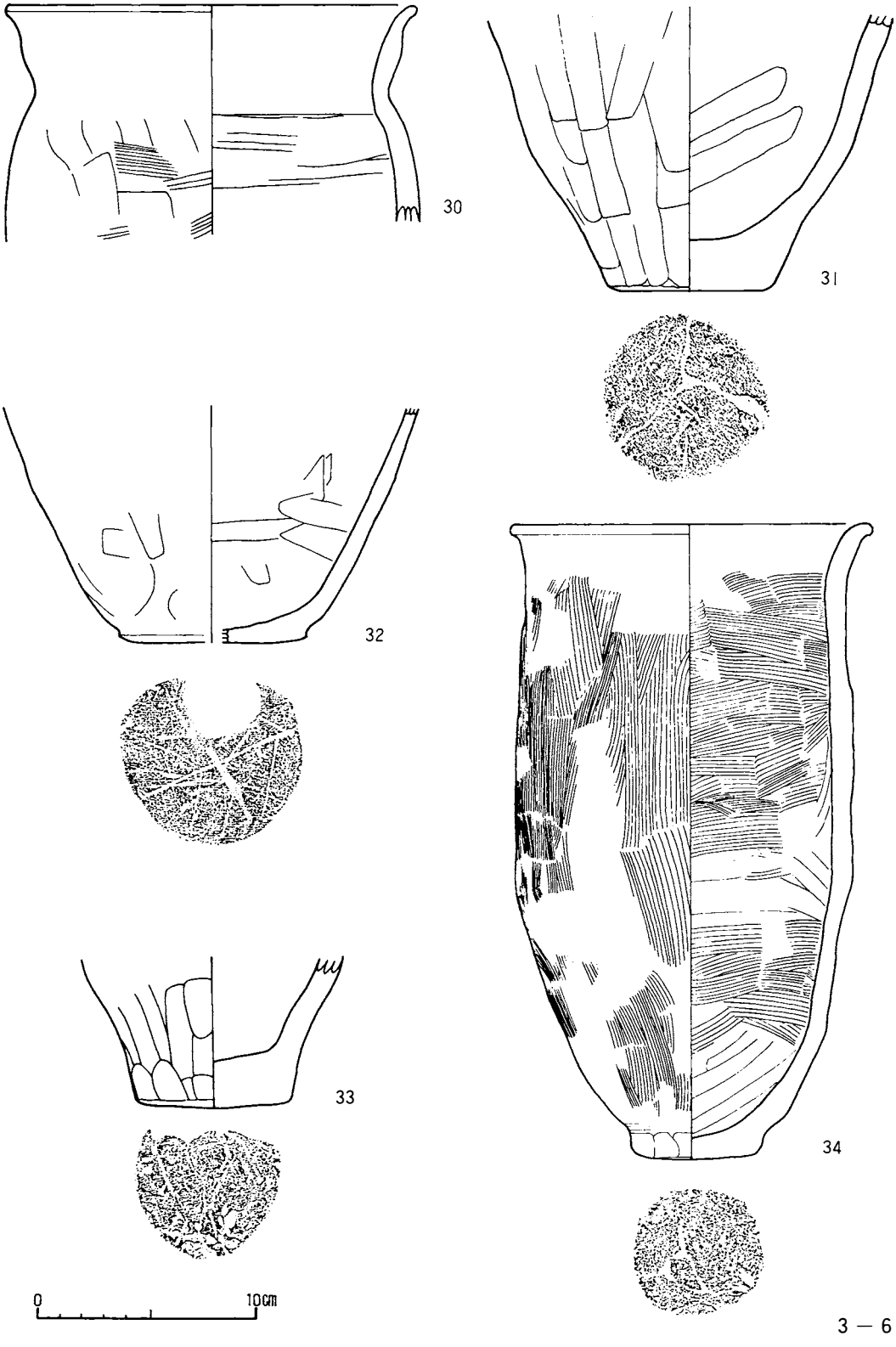


3 — 4

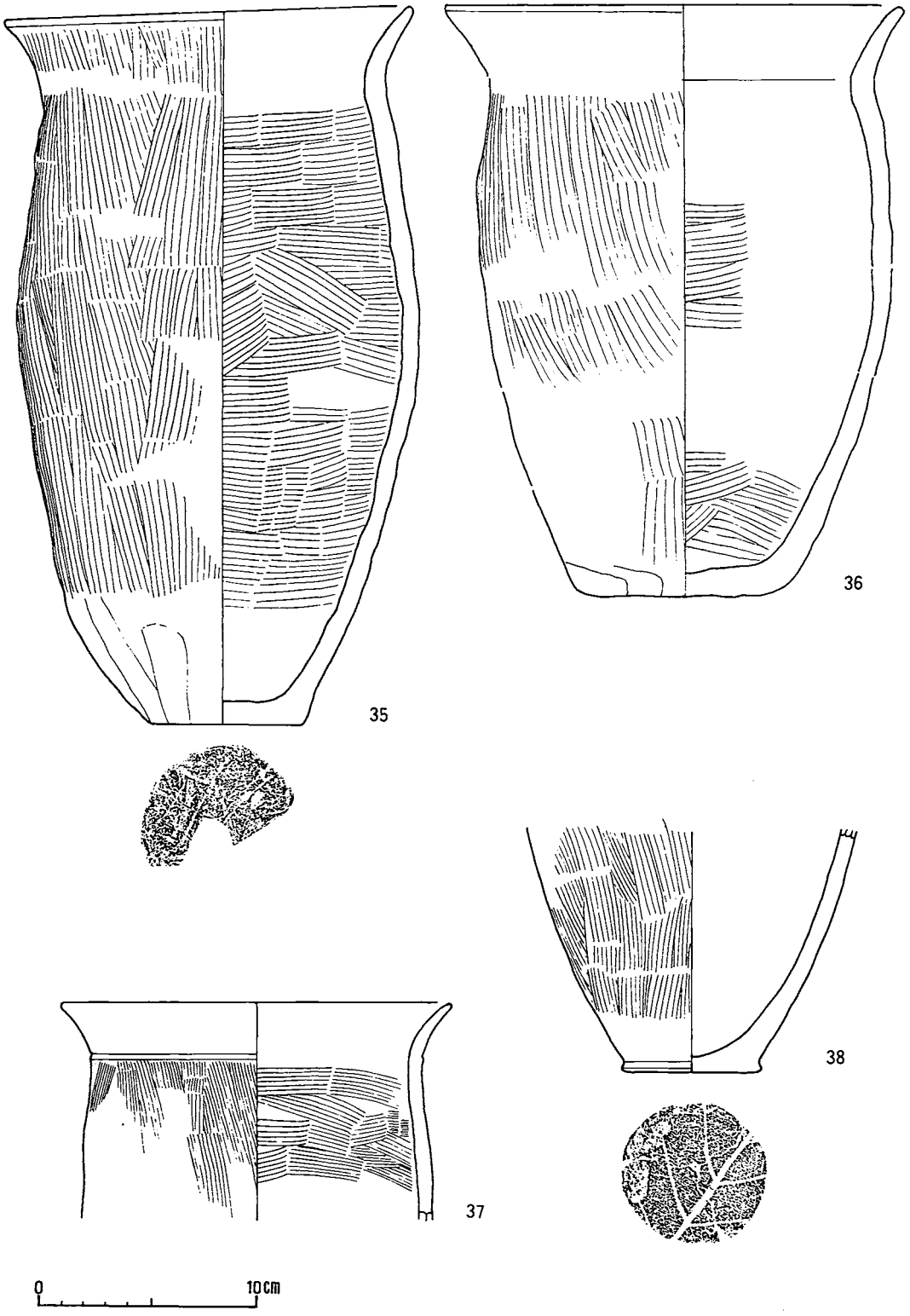
第120図　3号住居址出土土器 (4)



第121図　3号住居址出土土器 (5)

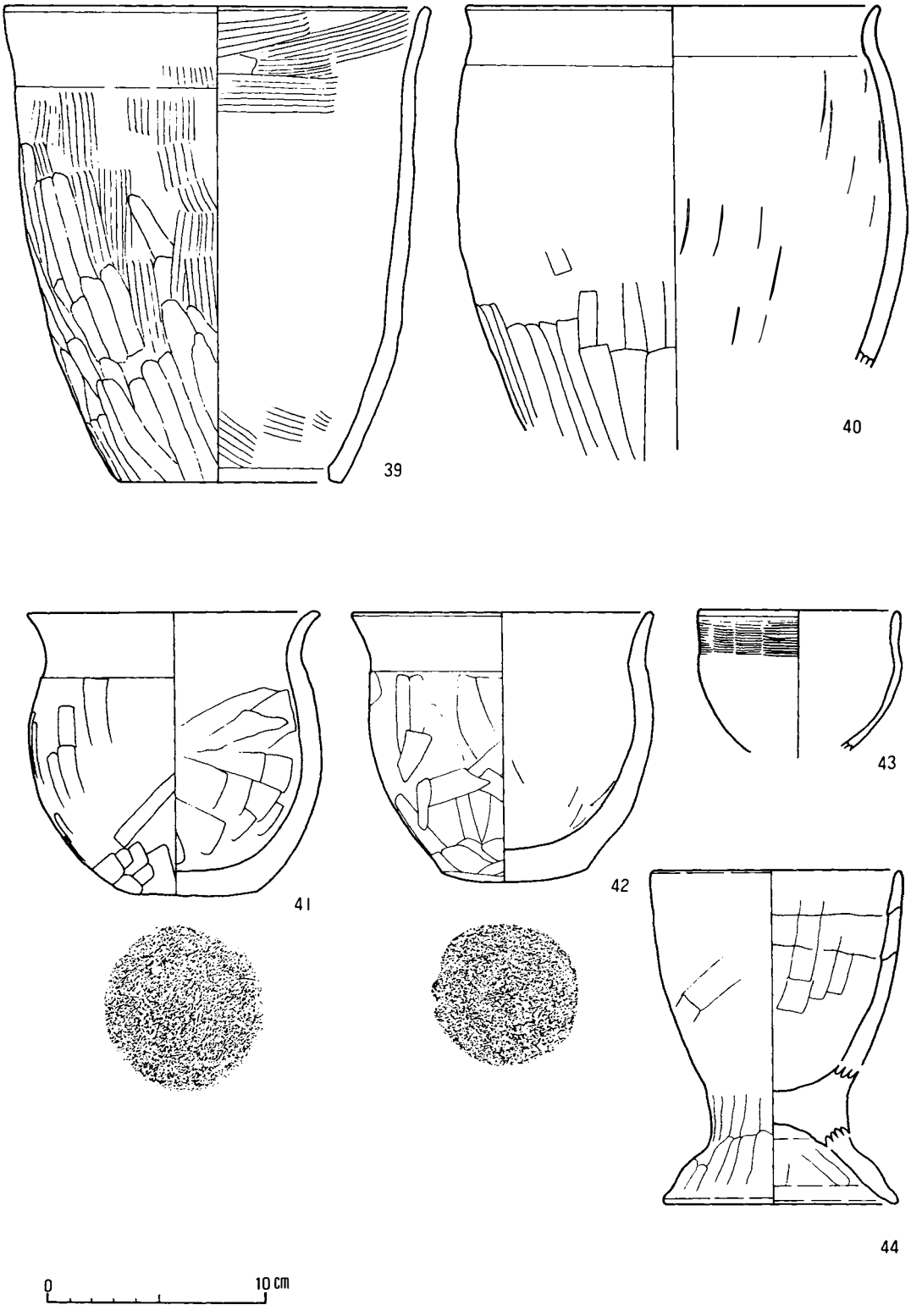


第122図　3号住居址出土土器 (6)



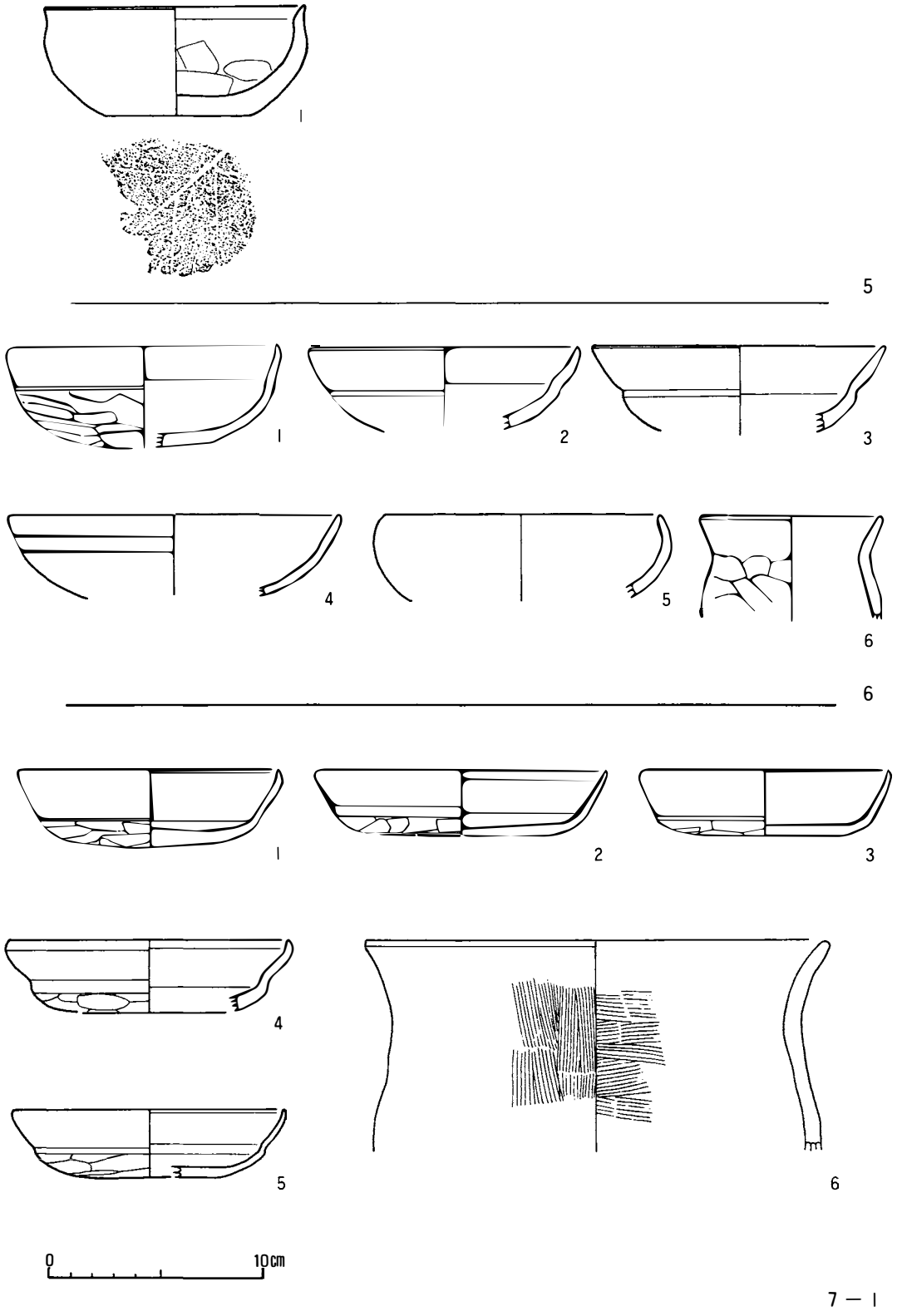
3 — 7

第123図　3号住居址出土土器 (7)

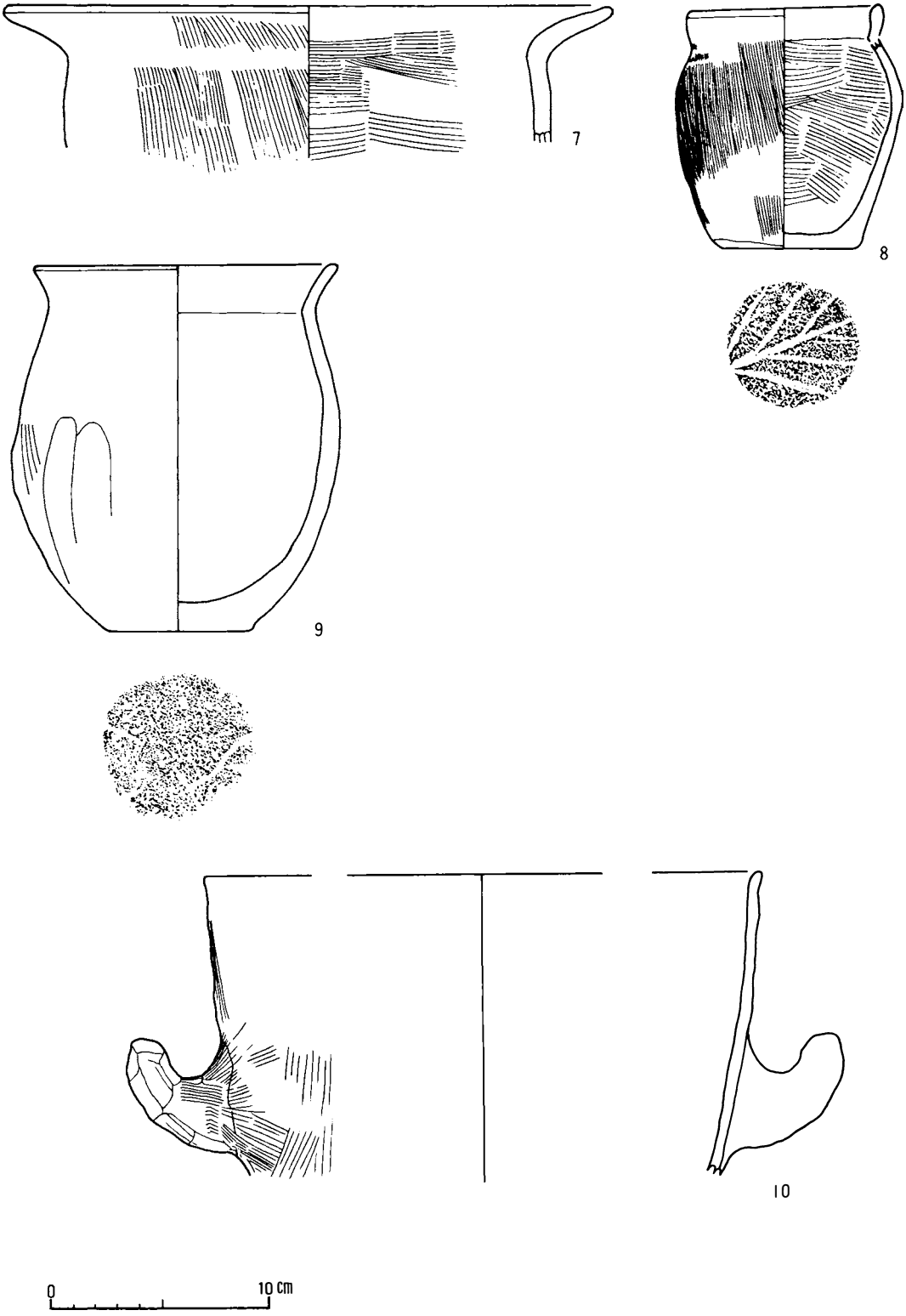


3 − 8

第124図　3号住居址出土土器 (8)

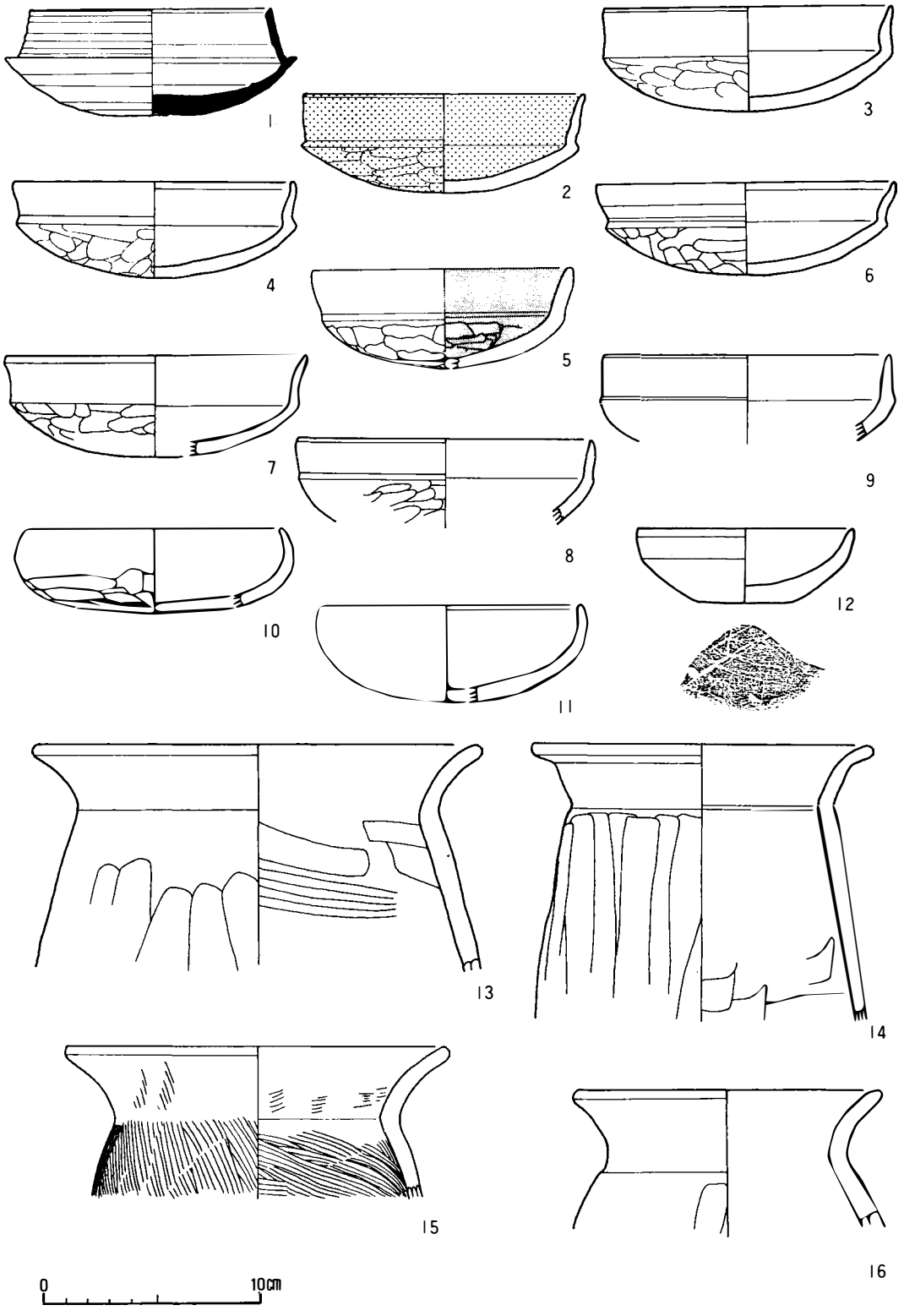


第125図　5、6、7号住居址出土土器

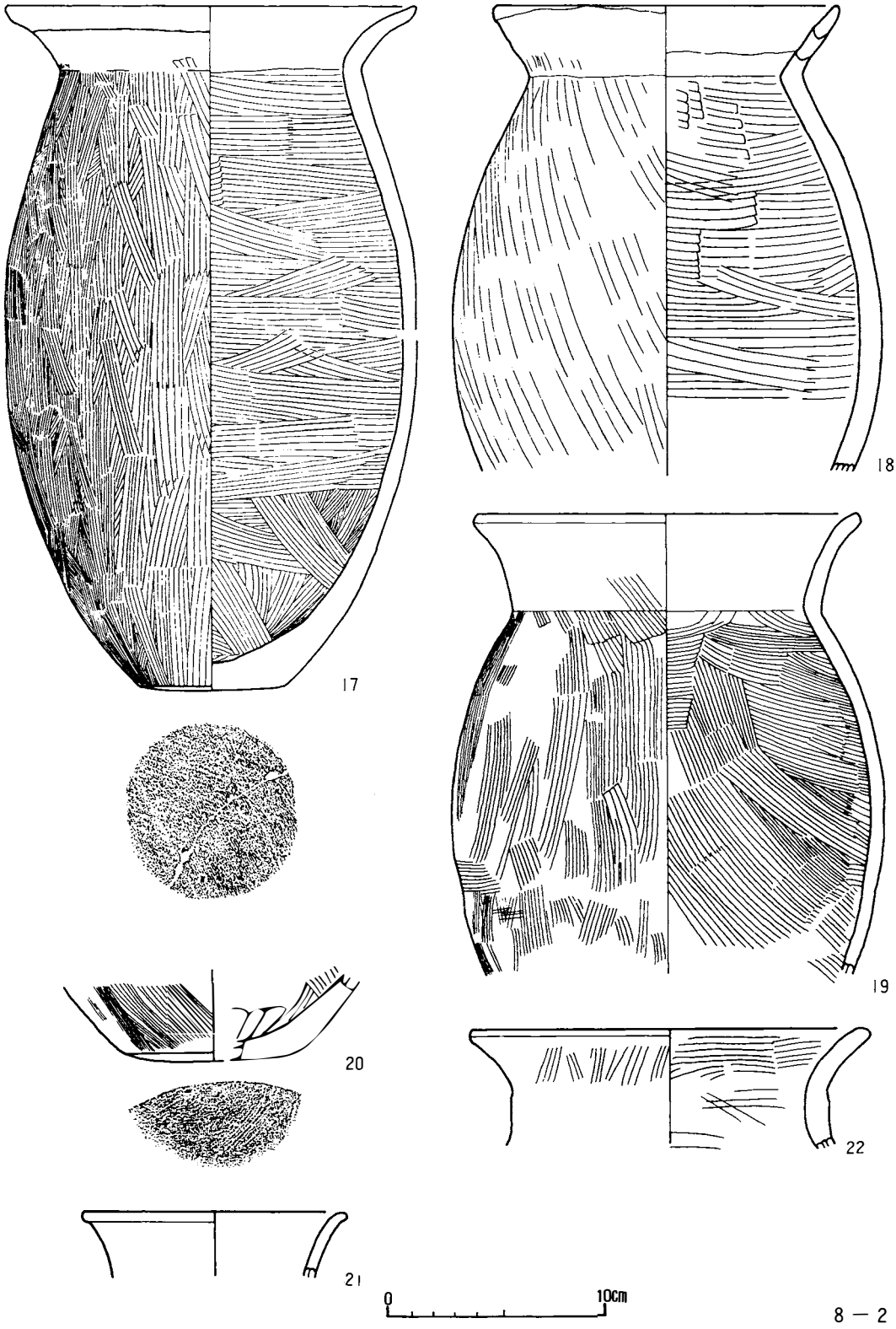


7 − 2

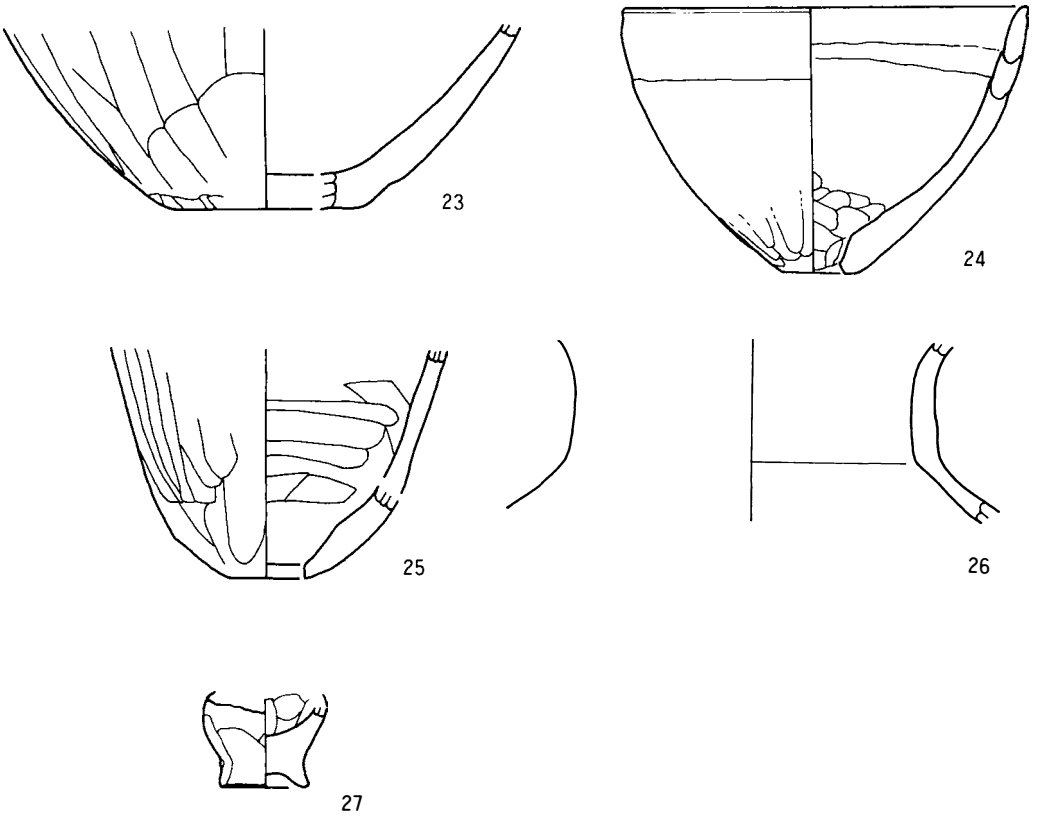
第126図　7号住居址出土土器 (2)



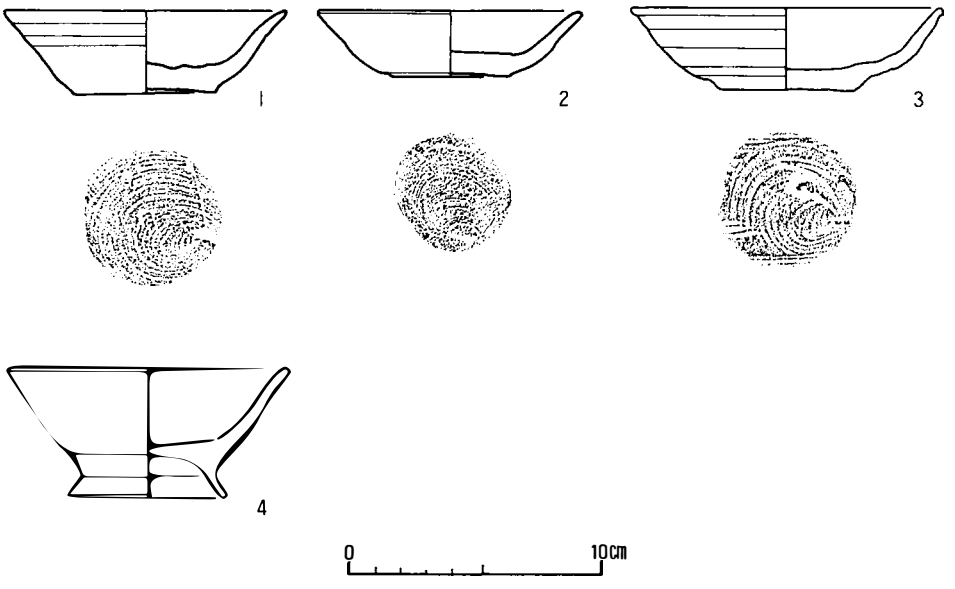
第127図　8号住居址出土土器 (1)



第128図　8号住居址出土土器 (2)

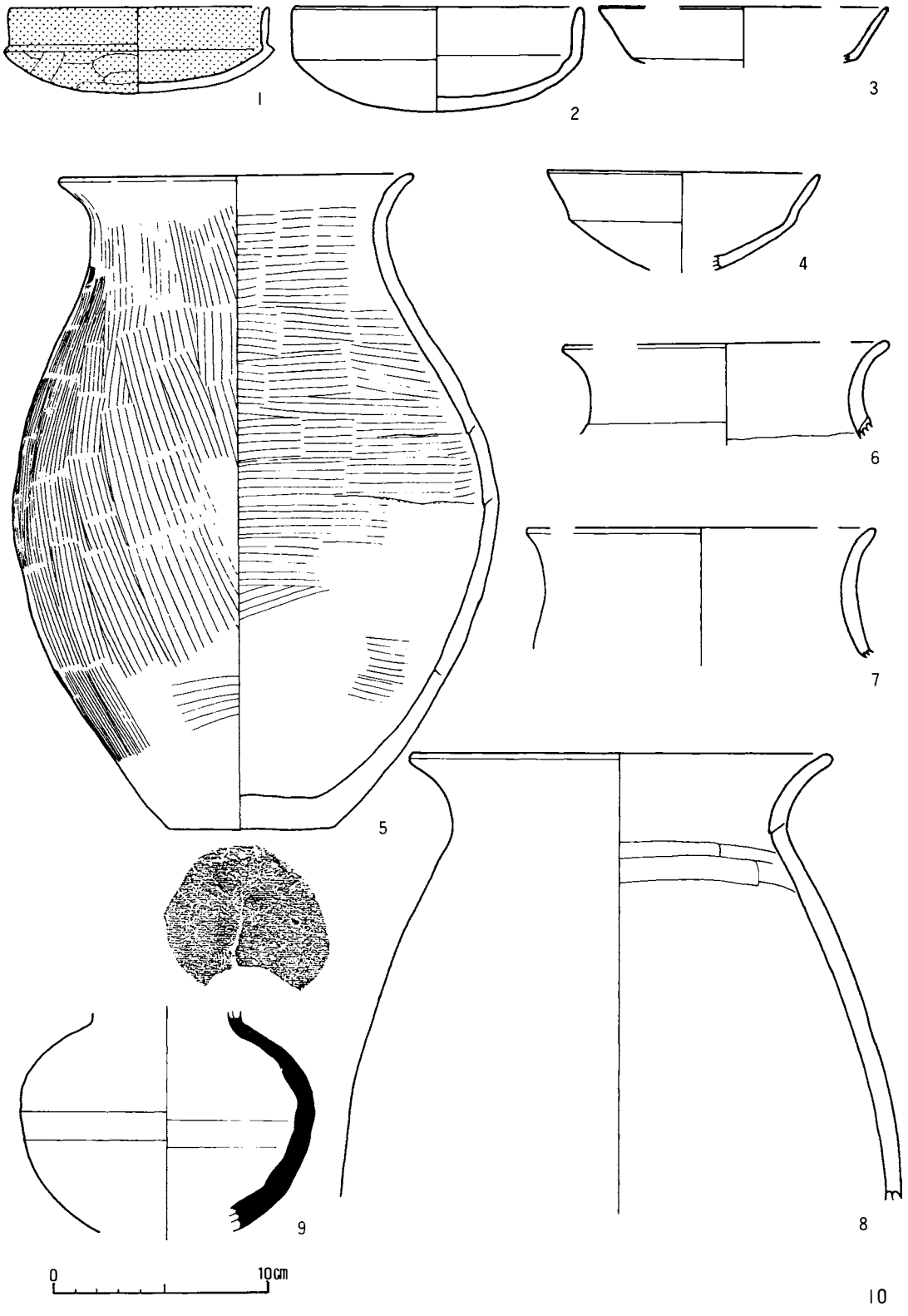


8 — 3

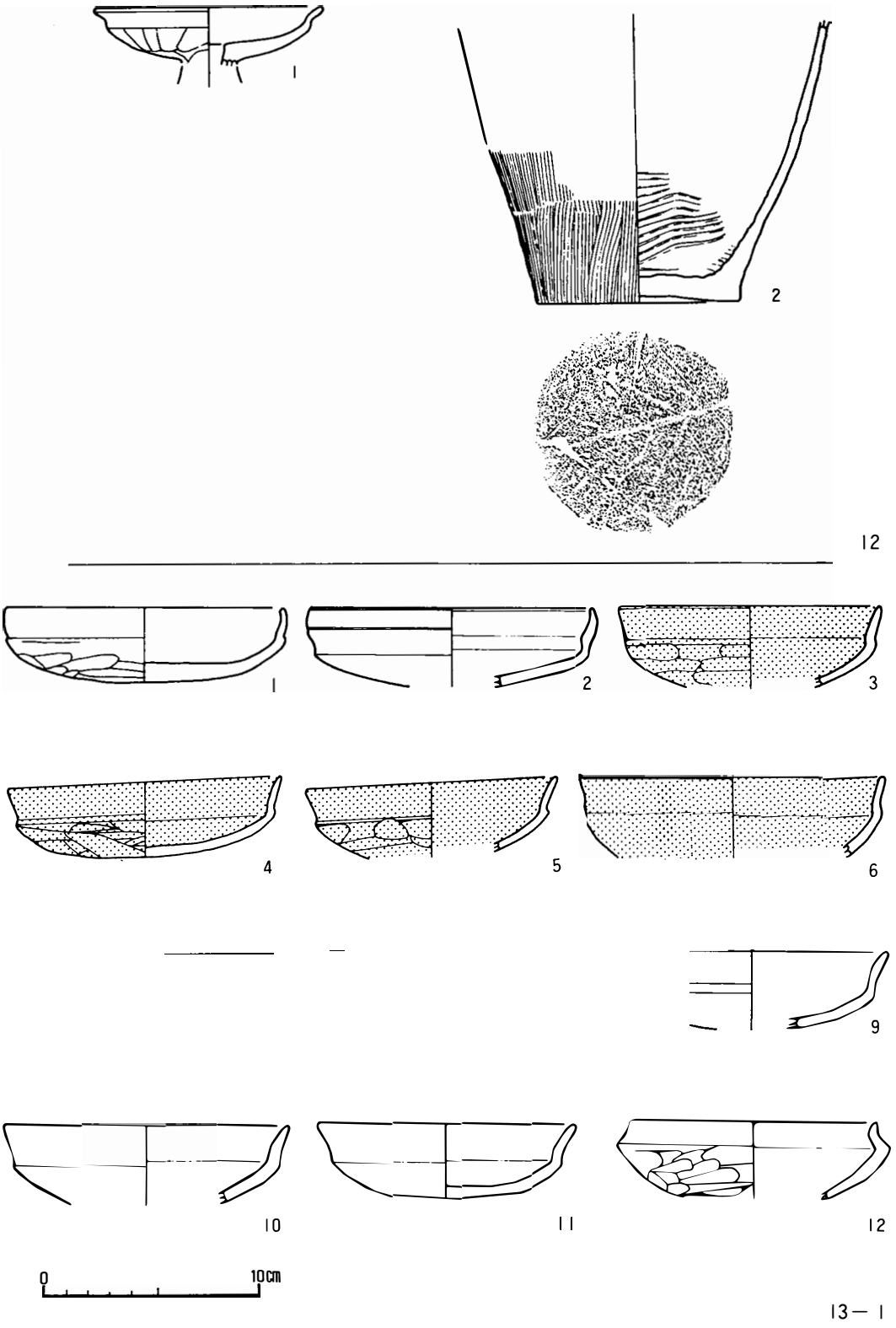


9

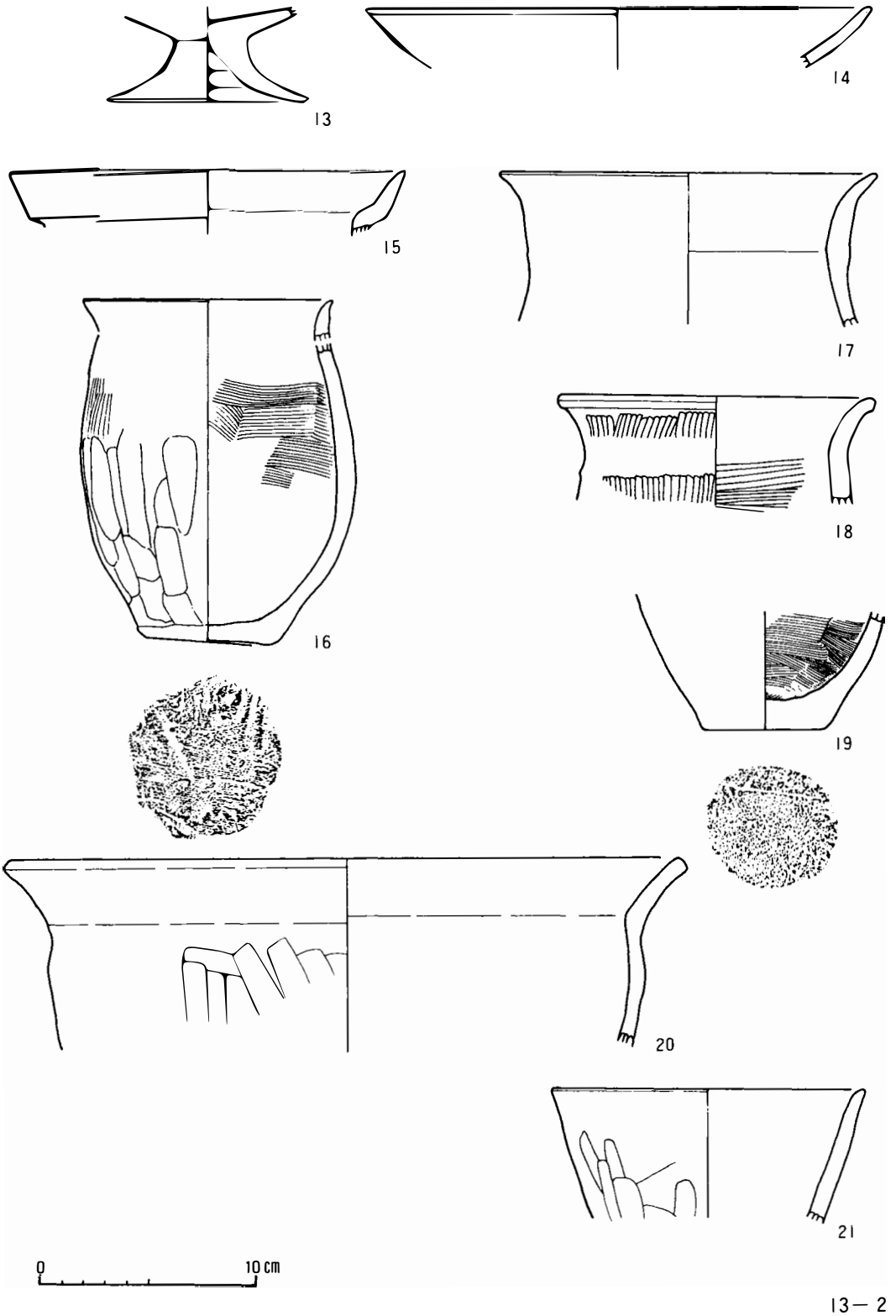
第129図　8、9号住居址出土土器



第130図　10号住居址出土土器

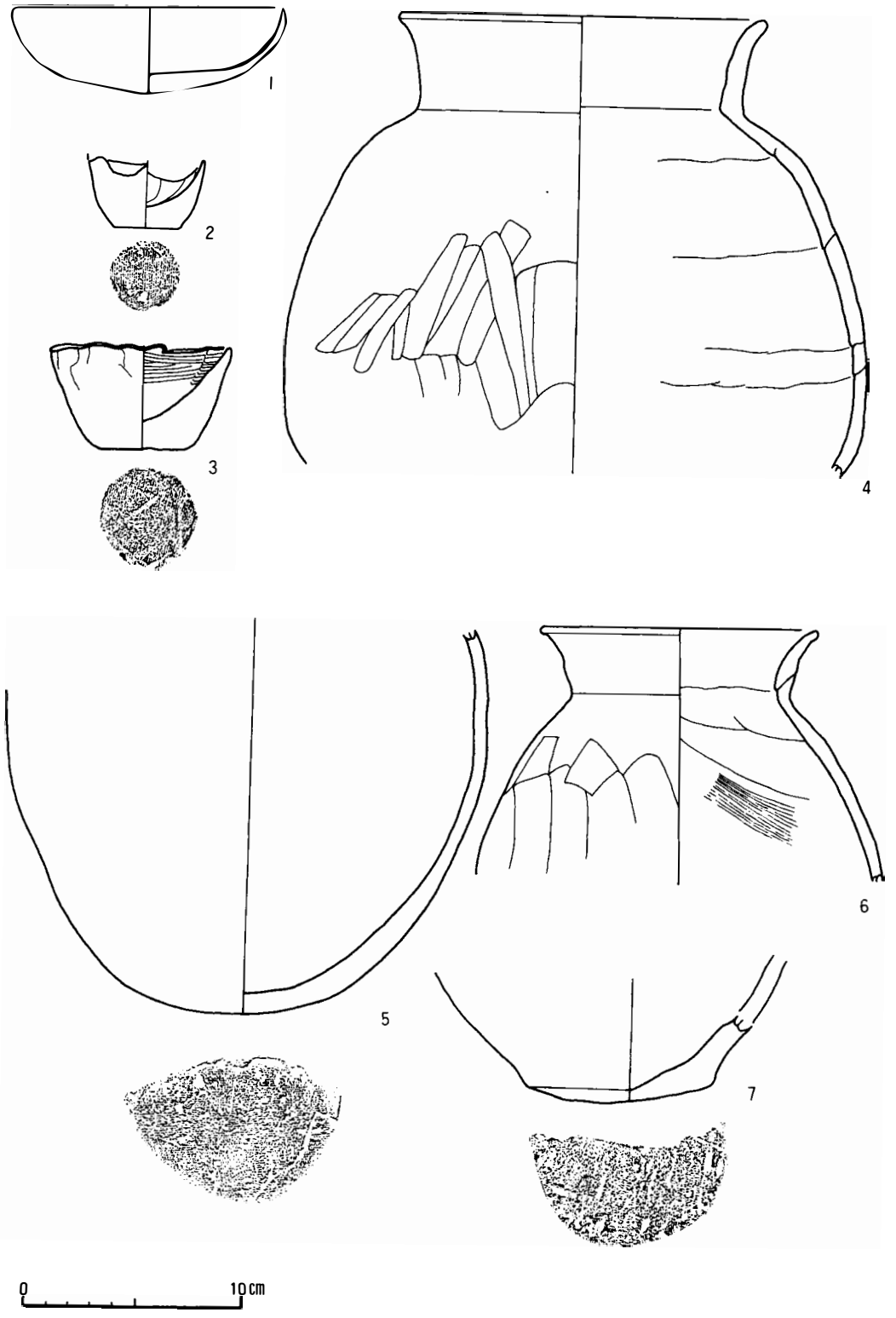


第131図　12、13号住居址出土土器



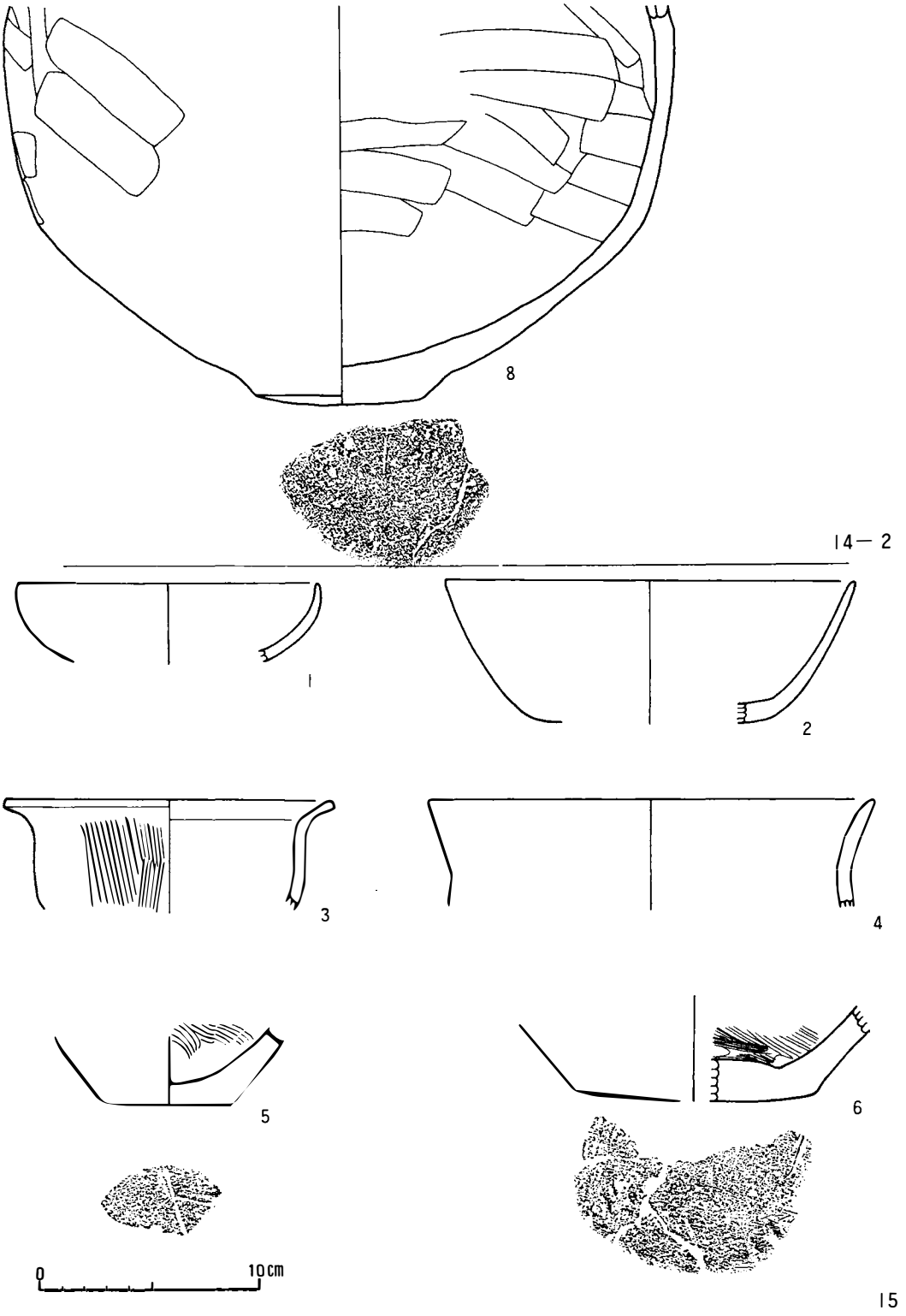
13－2

第132図　13号住居址出土土器（2）

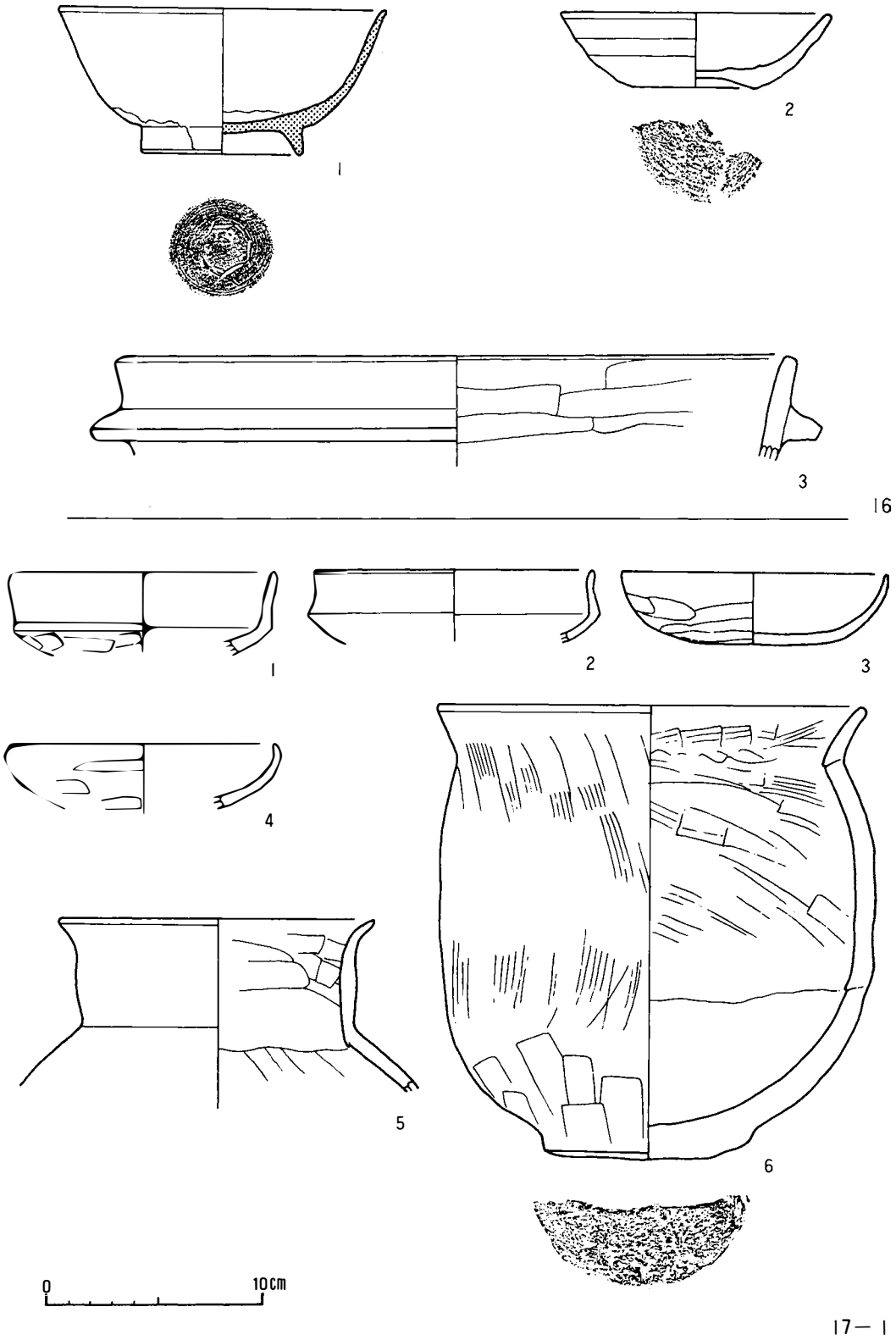


14－1

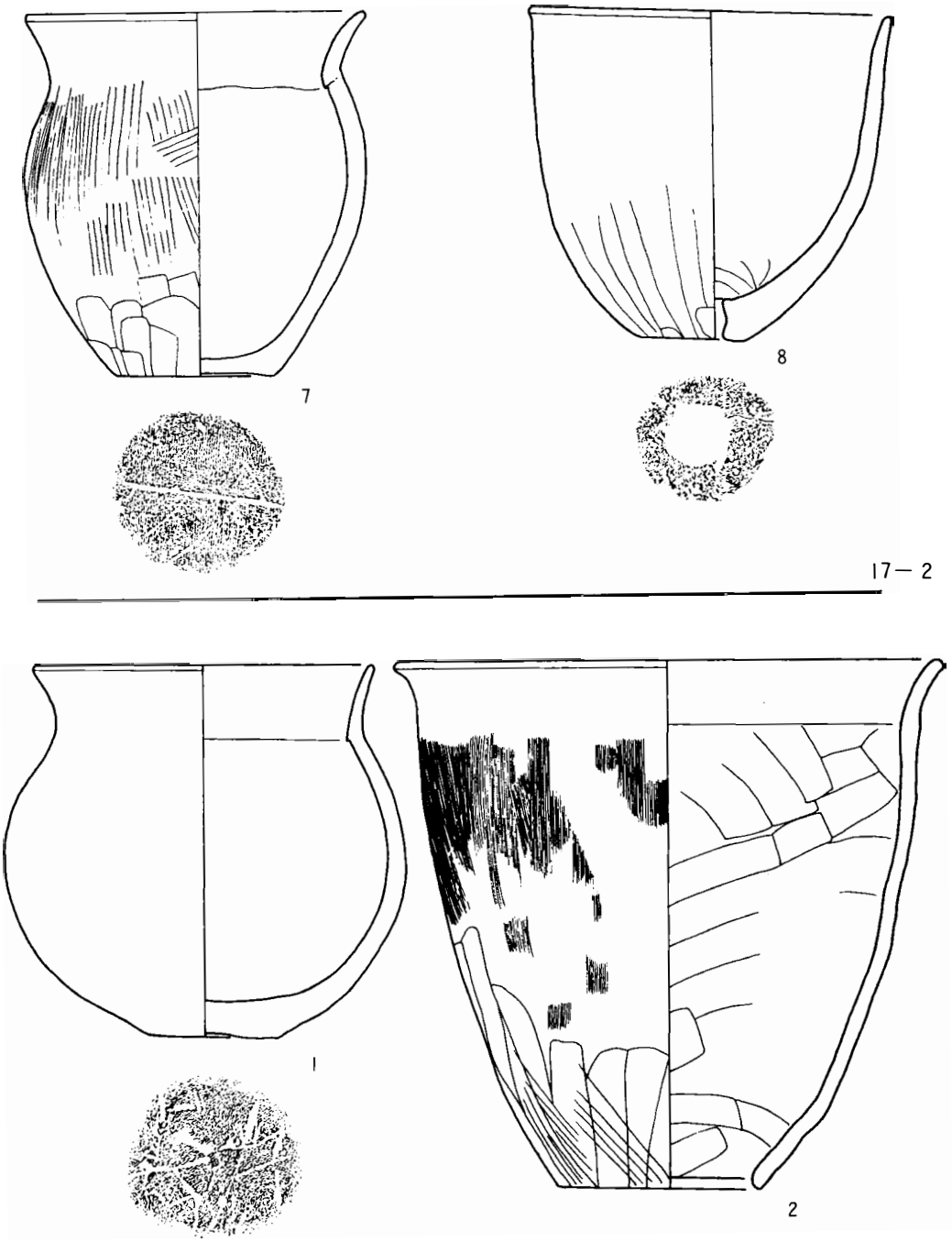
第133図　14号住居址出土土器（1）



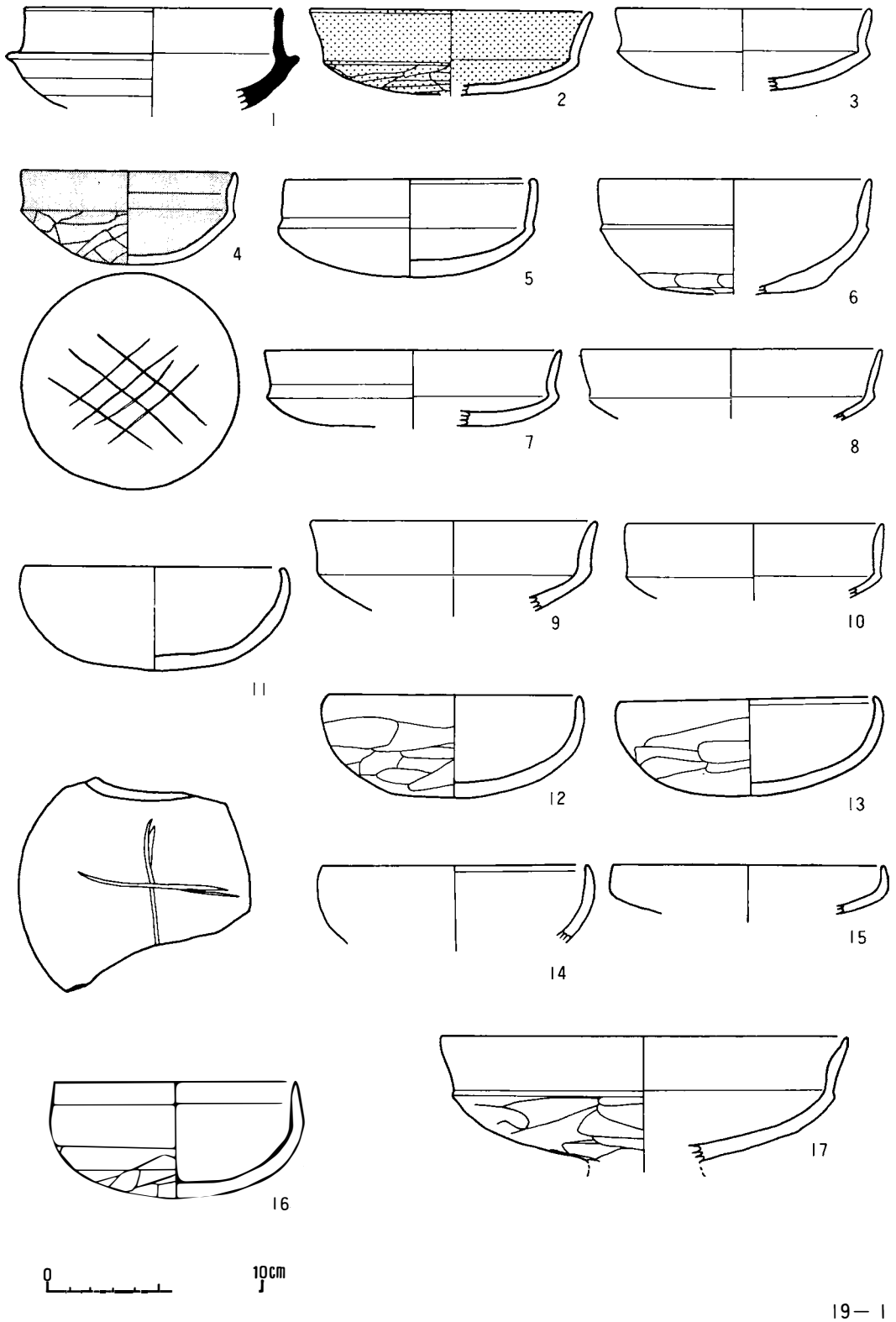
第134図　14、15号住居址出土土器



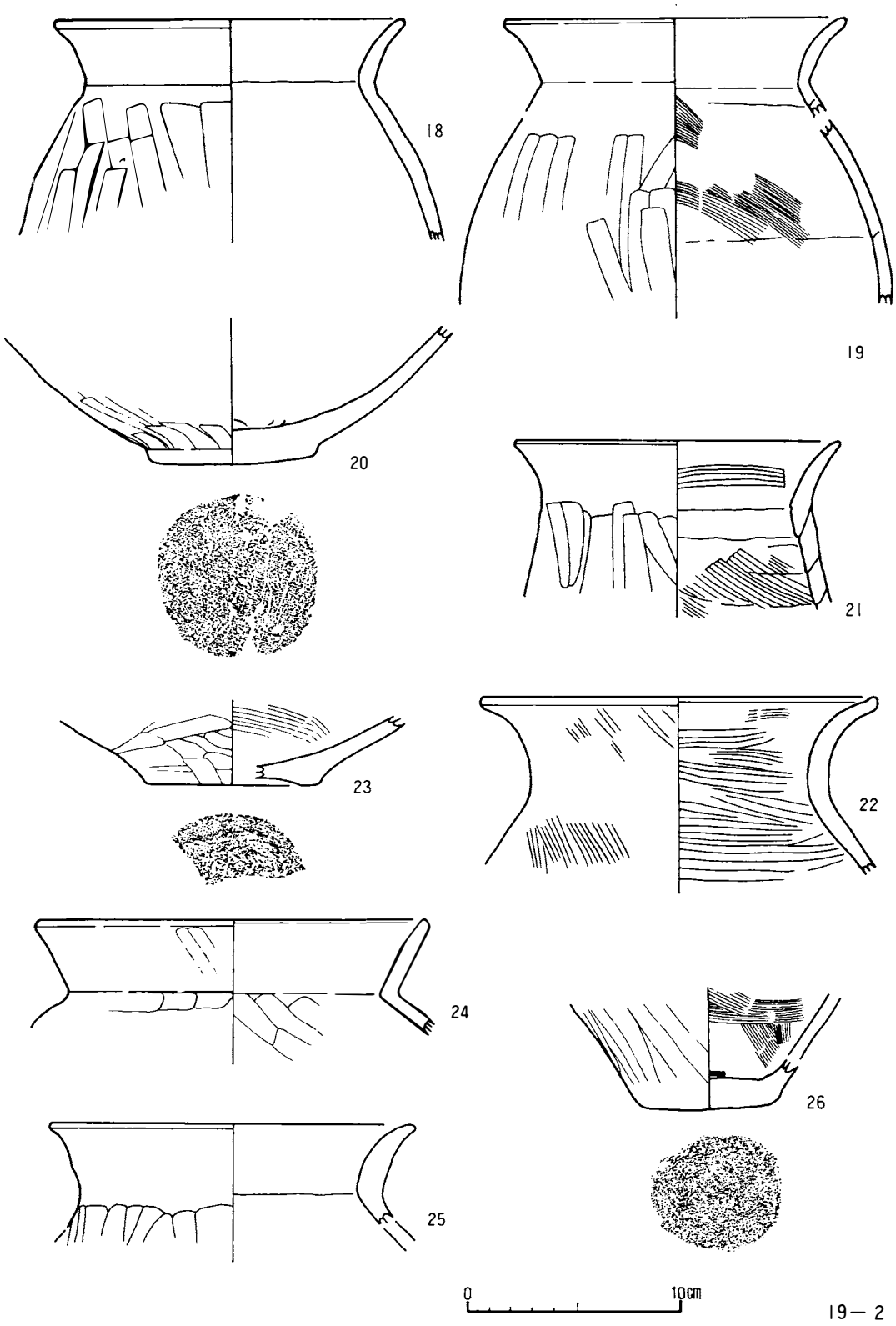
第135図　16、17号住居址出土土器



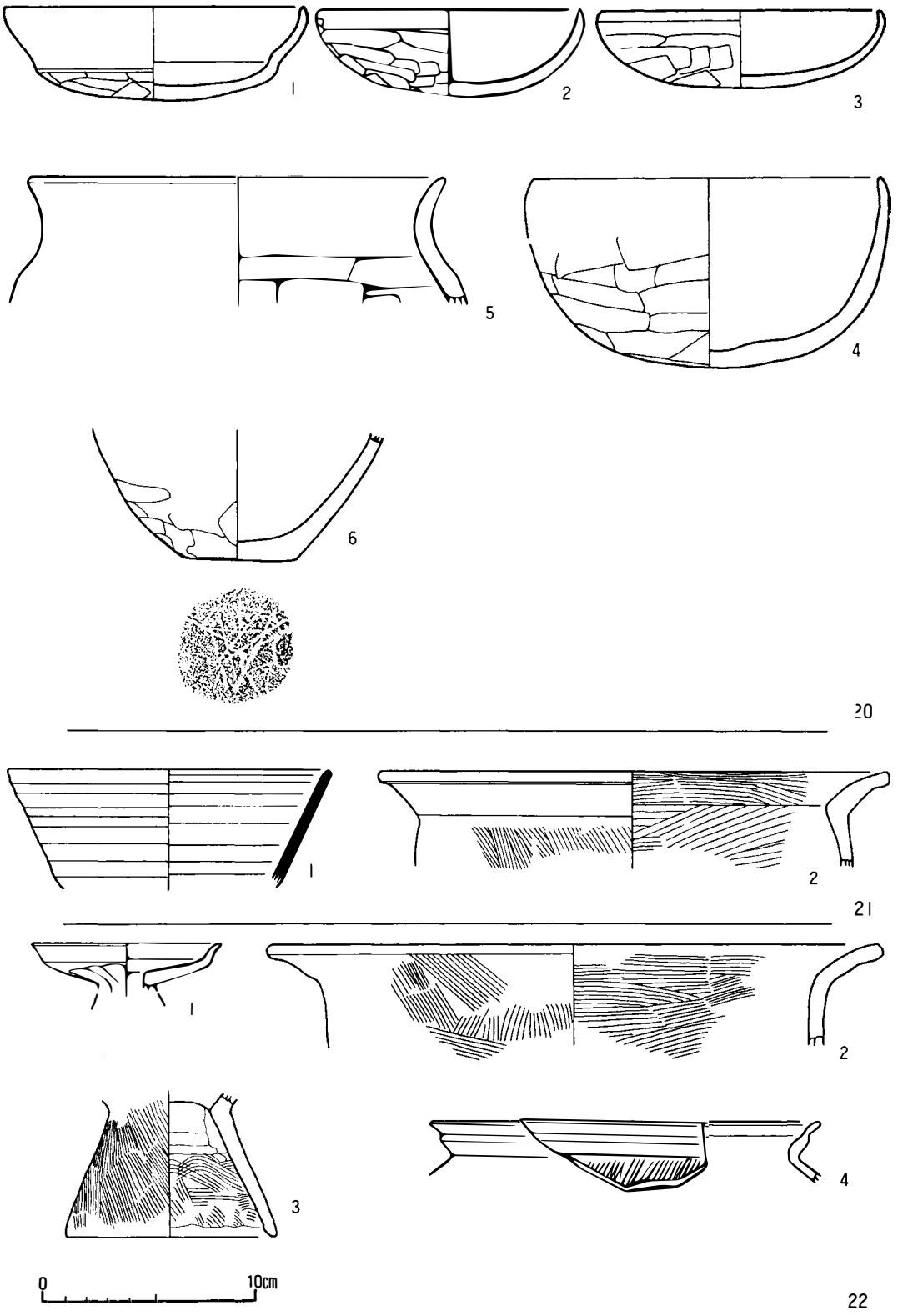
第136図　17、18号住居址出土土器



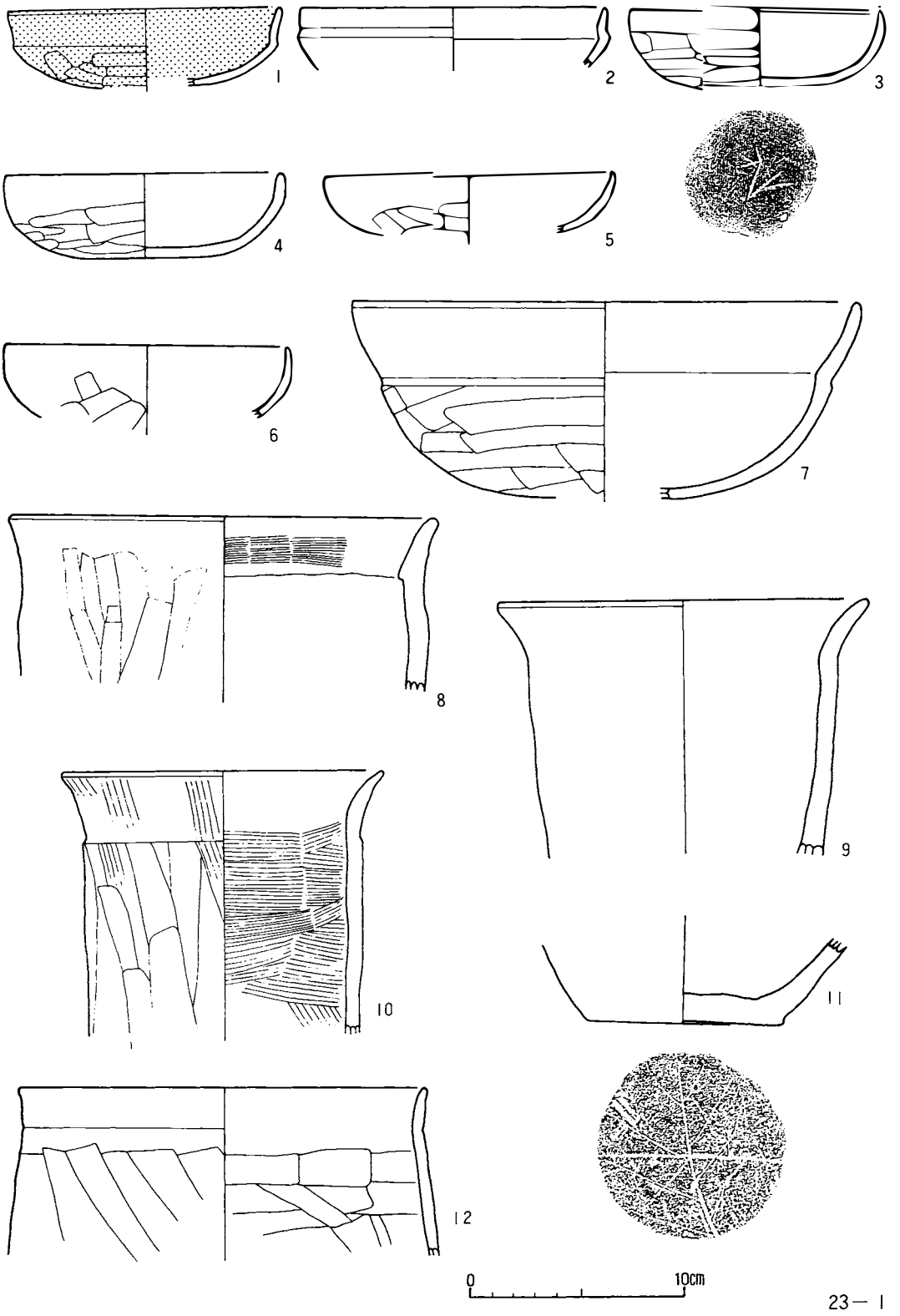
第137図　19号住居址出土土器（1）



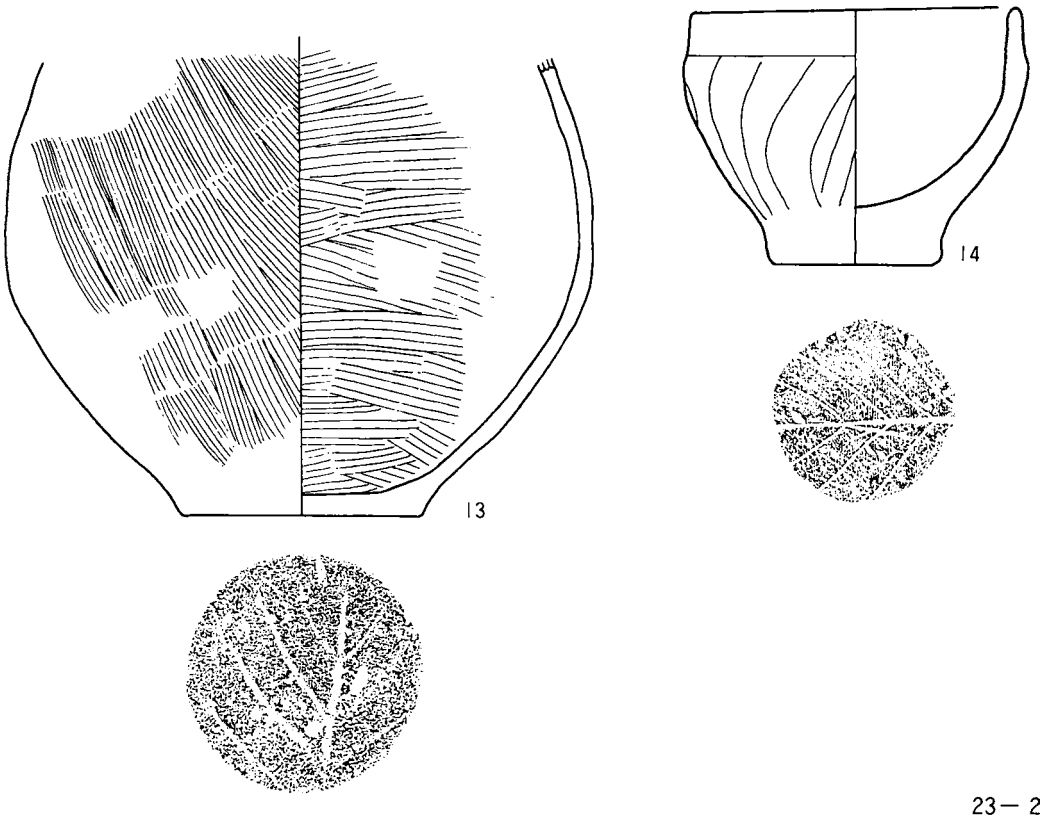
第138図　19号住居址出土土器（2）



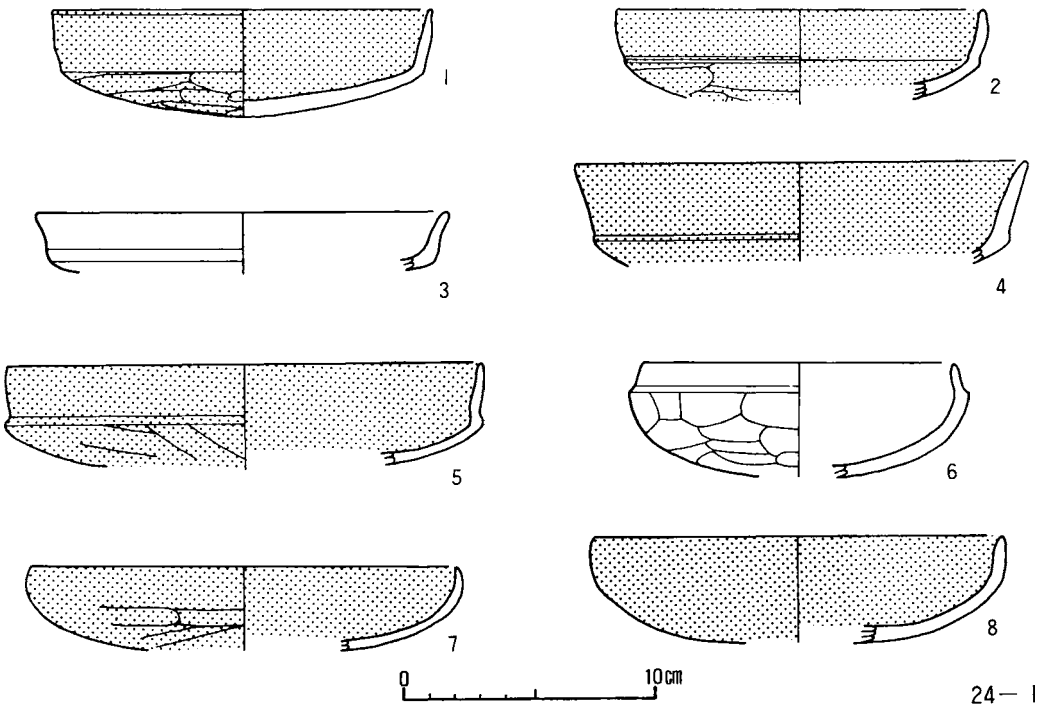
第139図　20、21、22号住居址出土土器



第140図　23号住居址出土土器（1）

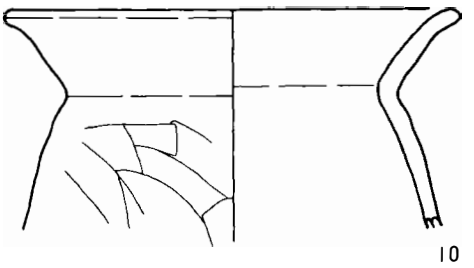


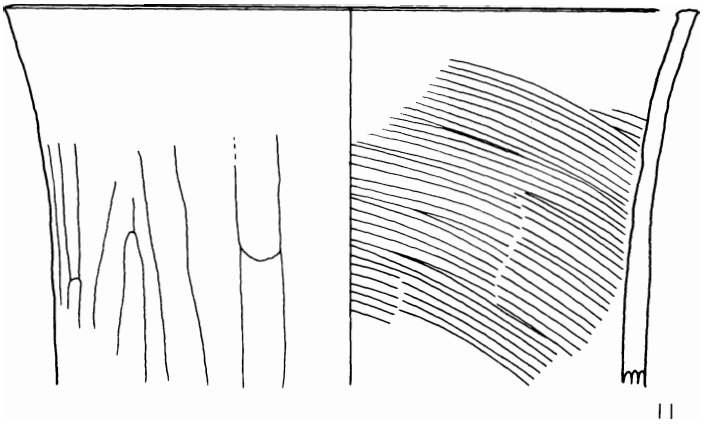
23－2

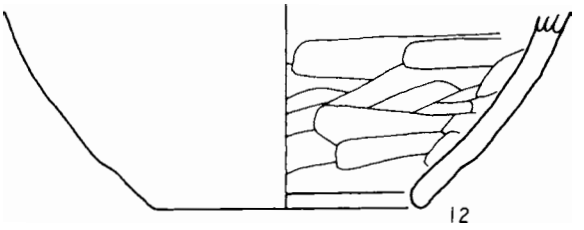


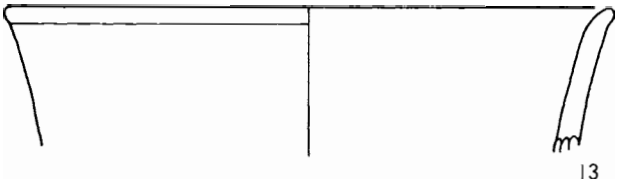
24－1

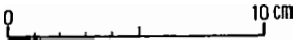
第141図　23、24号住居址出土土器





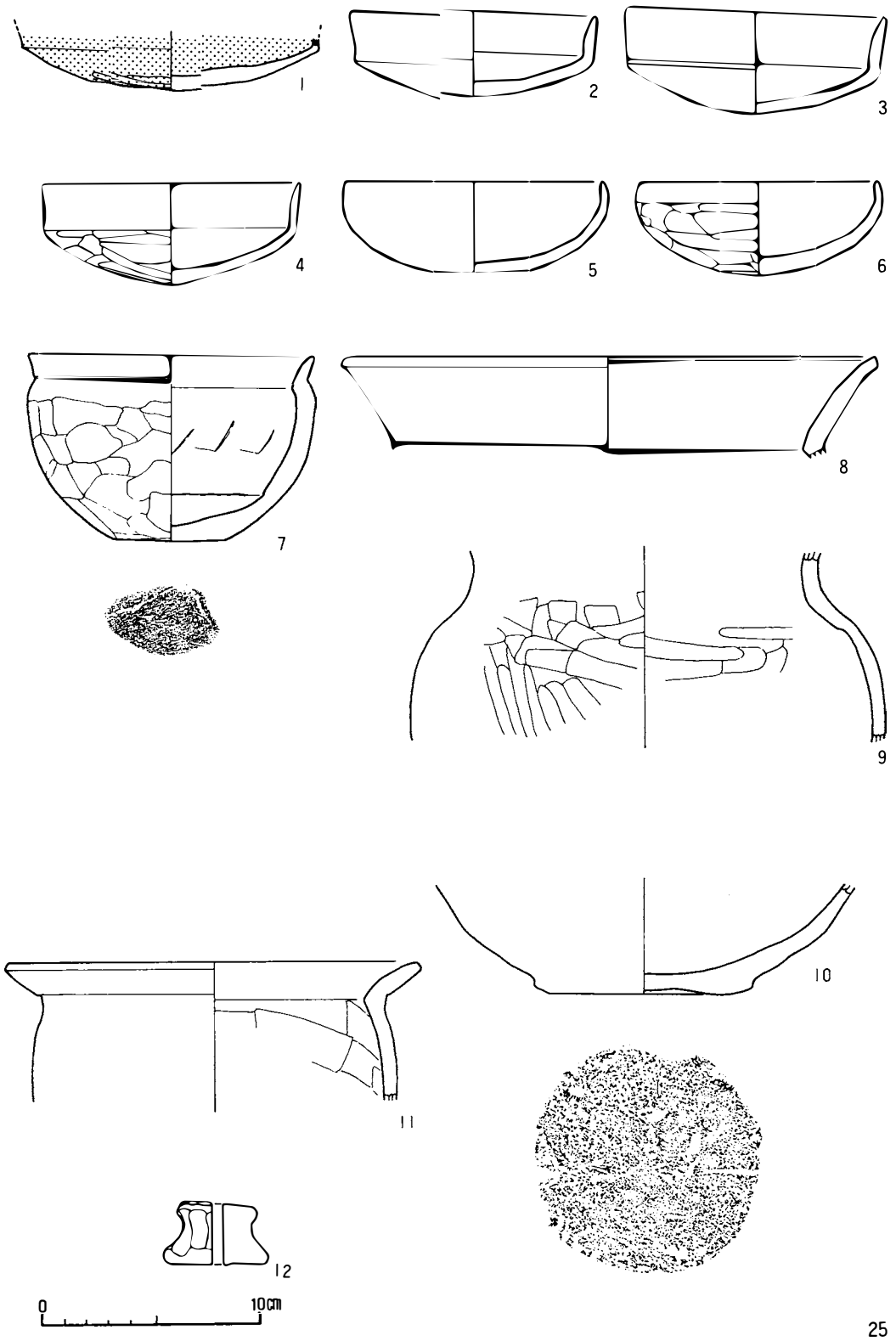




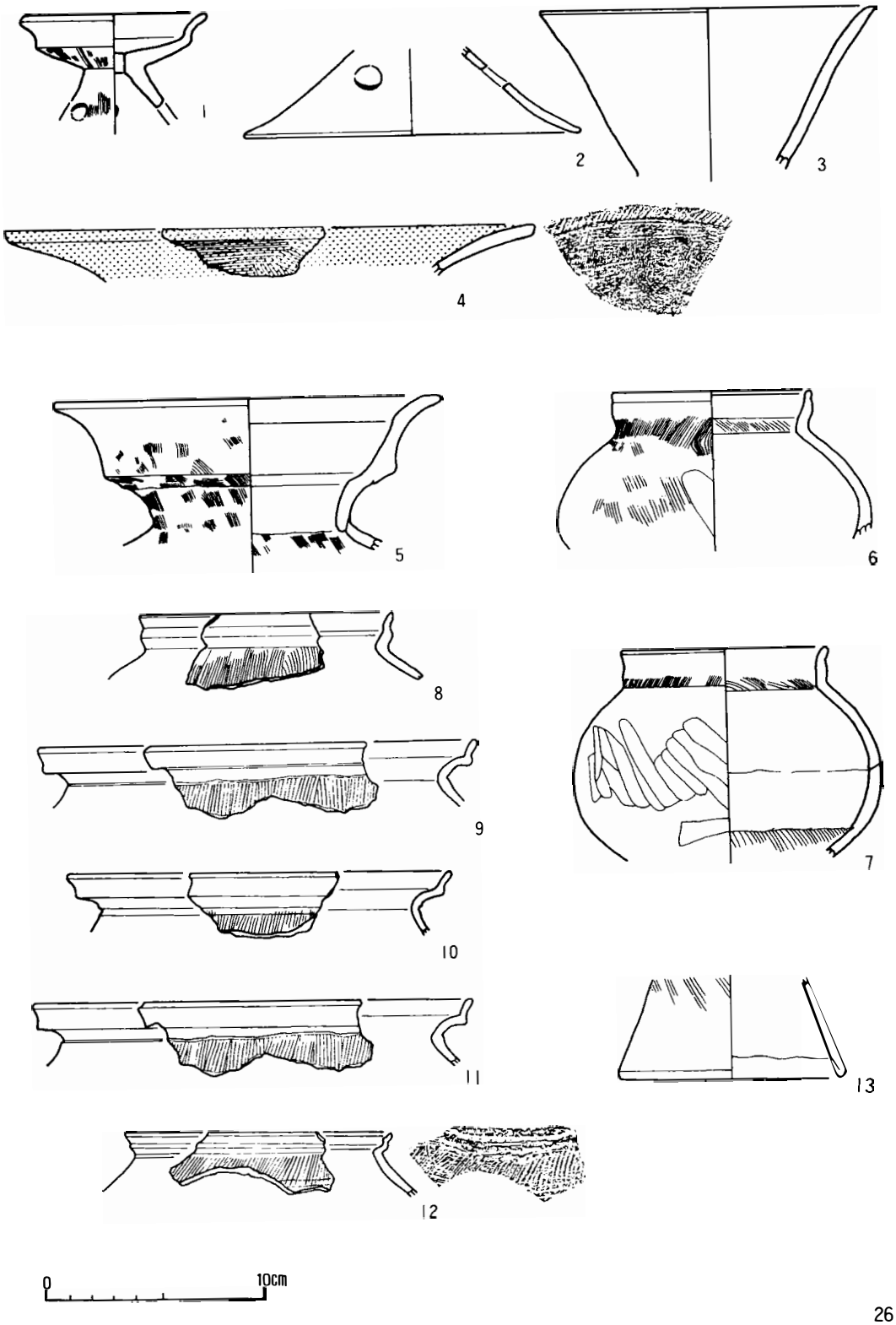


24－2

第142図　24号住居址出土土器（2）

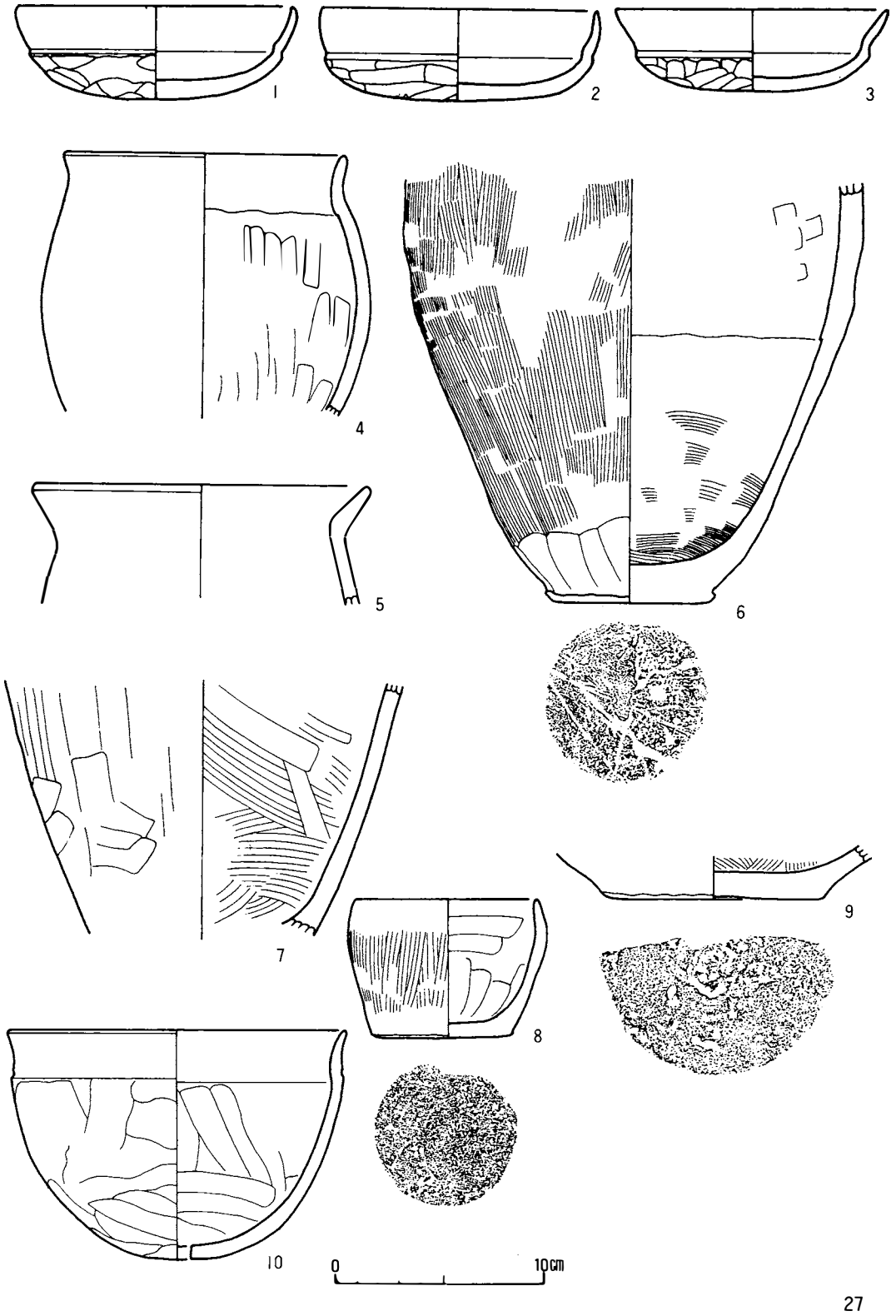


第143図　25号住居址出土土器

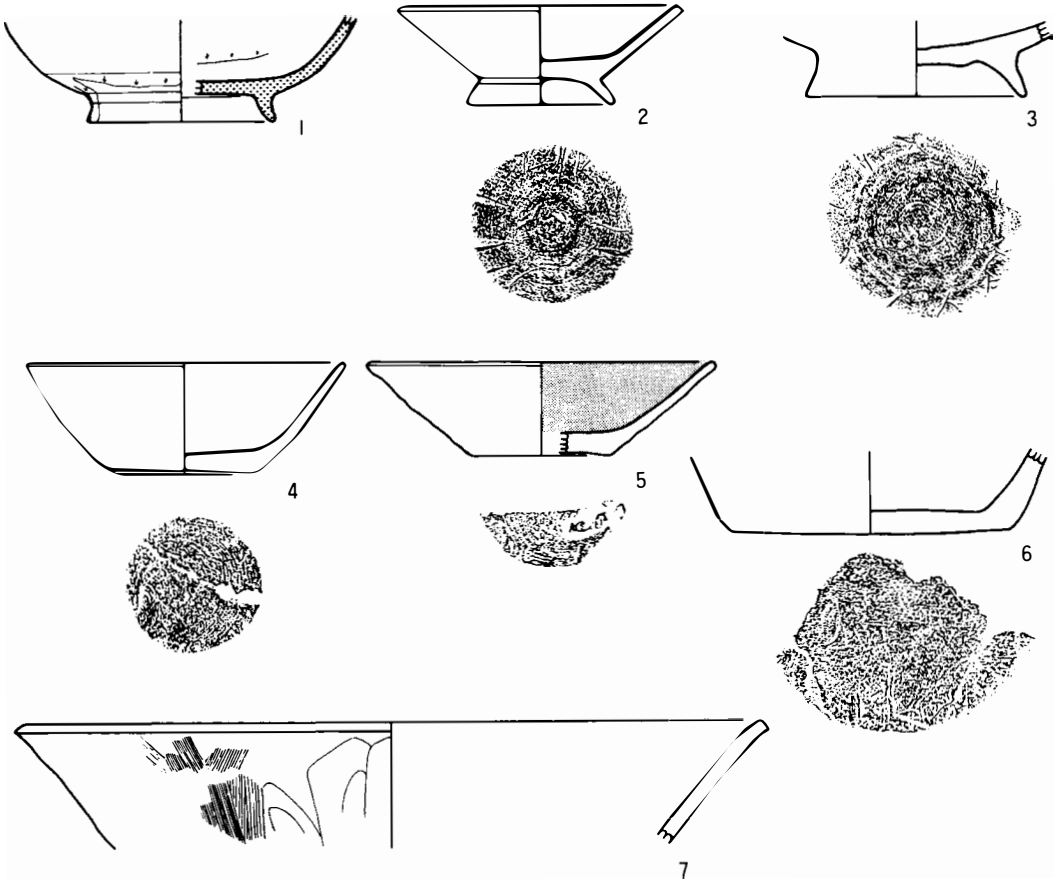


26

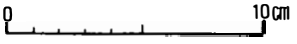
第144図　26号住居址出土土器



第145図　27号住居址出土土器

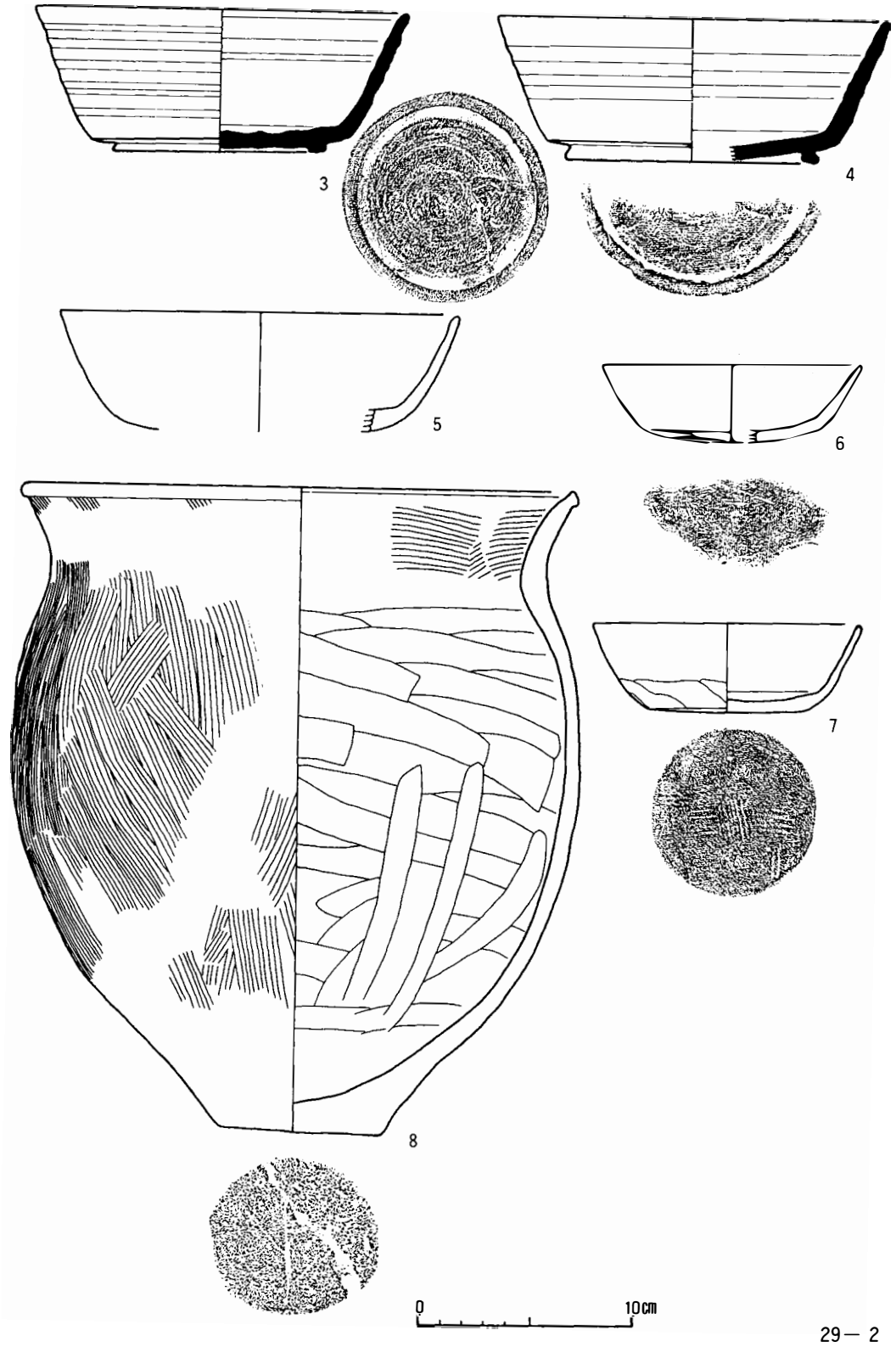


28

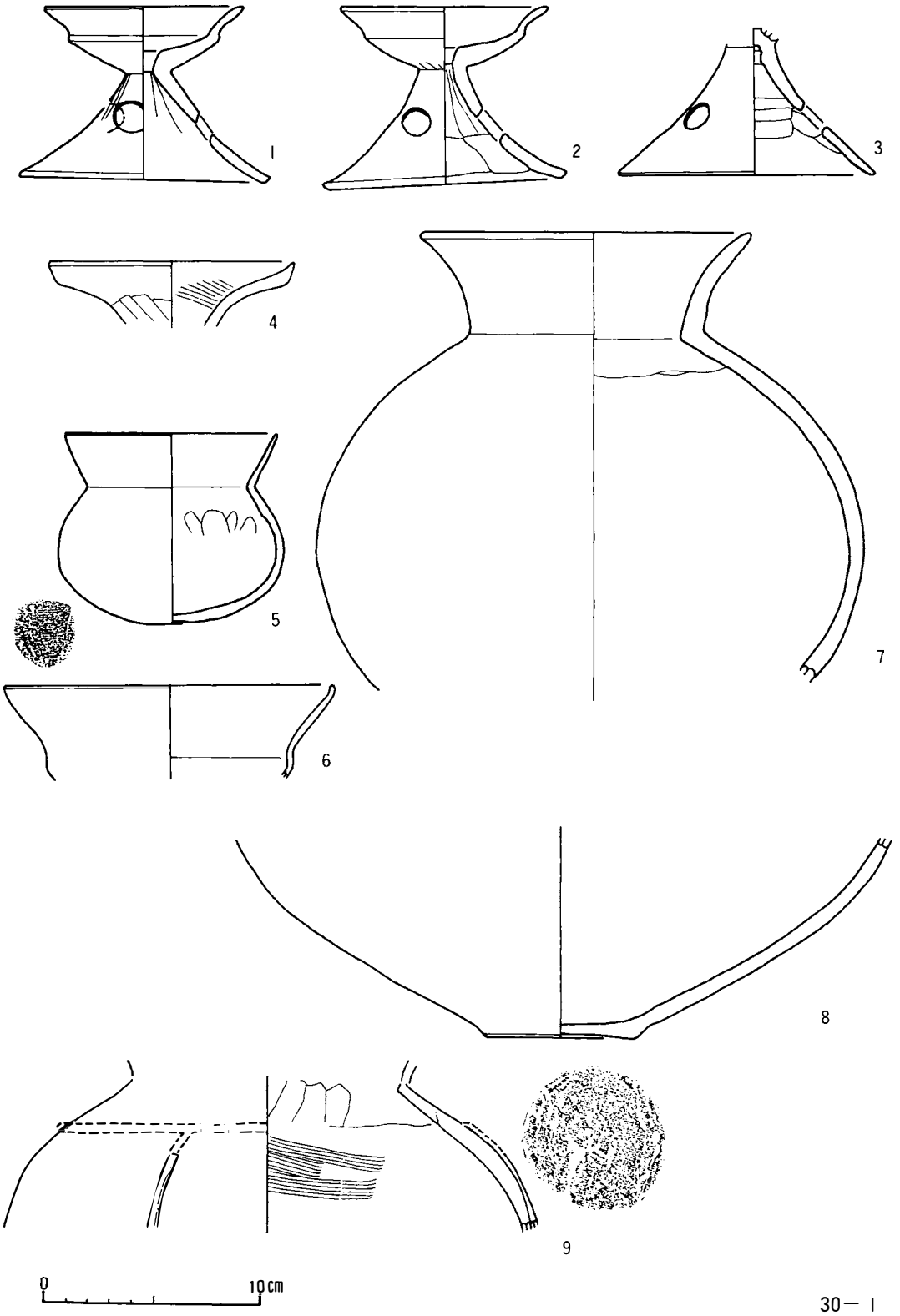


29－1

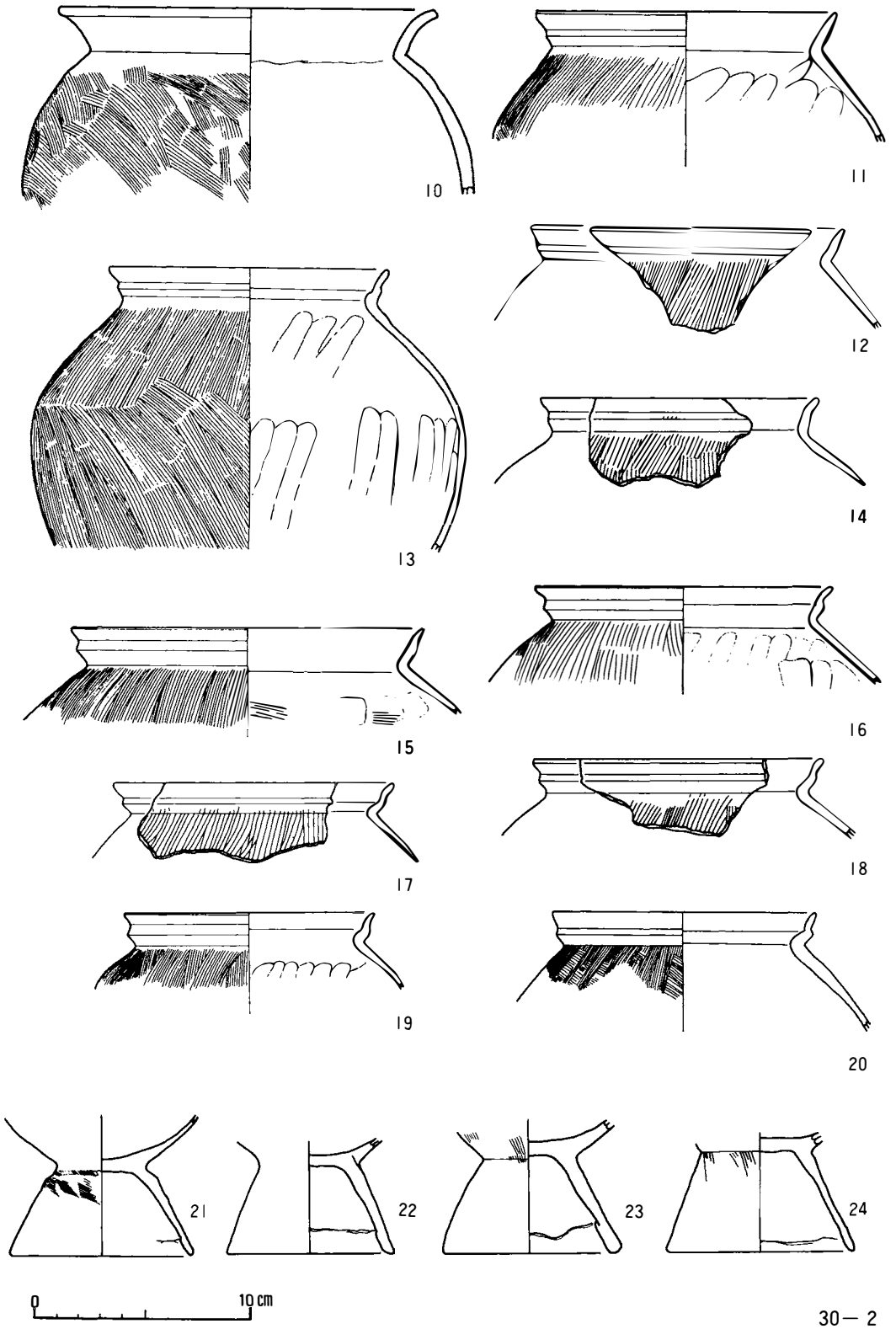
第146図　28、29号住居址出土土器



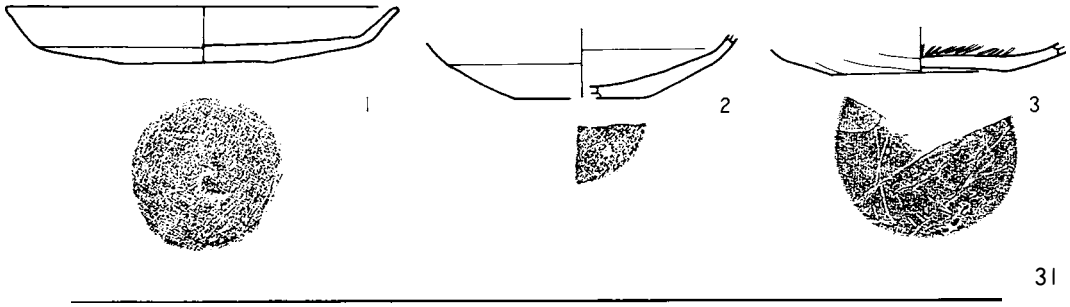
第147図　29号住居址出土土器（2）

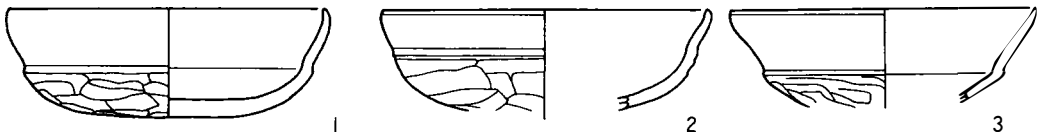


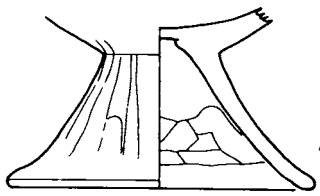
第148図　30号住居址出土土器（1）

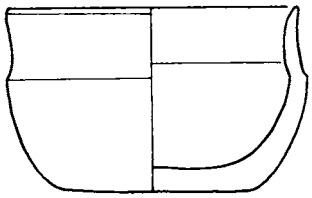


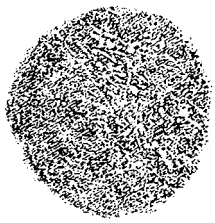
第149図　30号住居址出土土器（2）

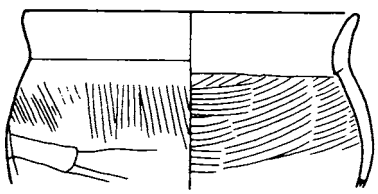


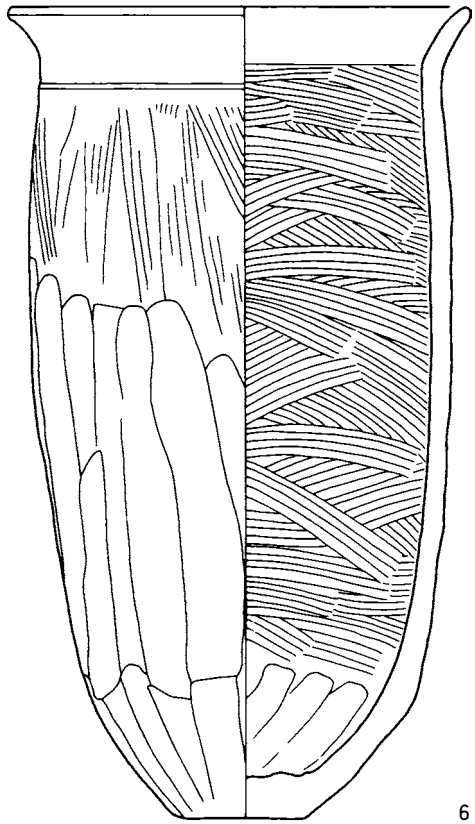


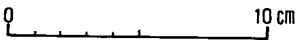






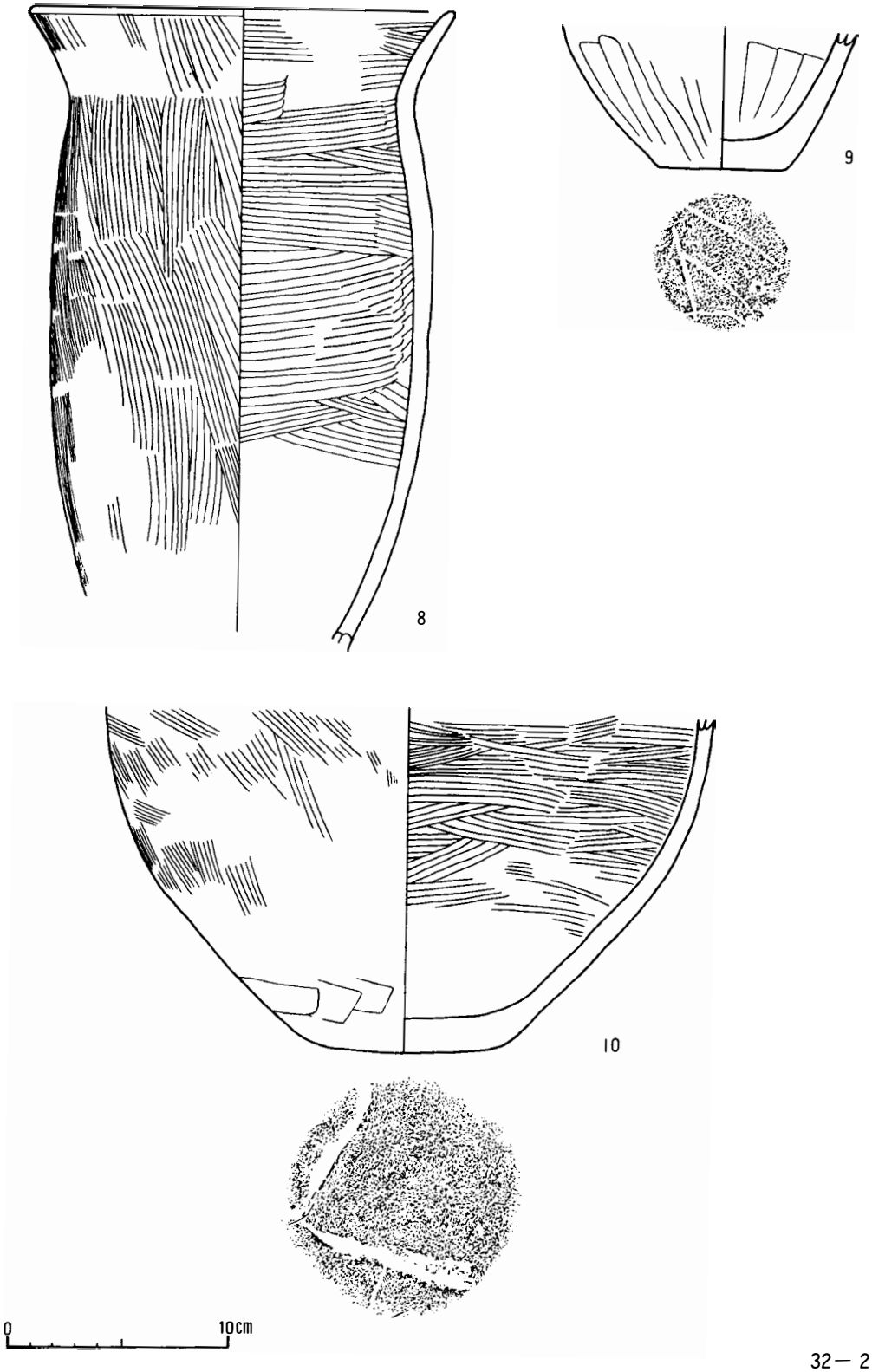






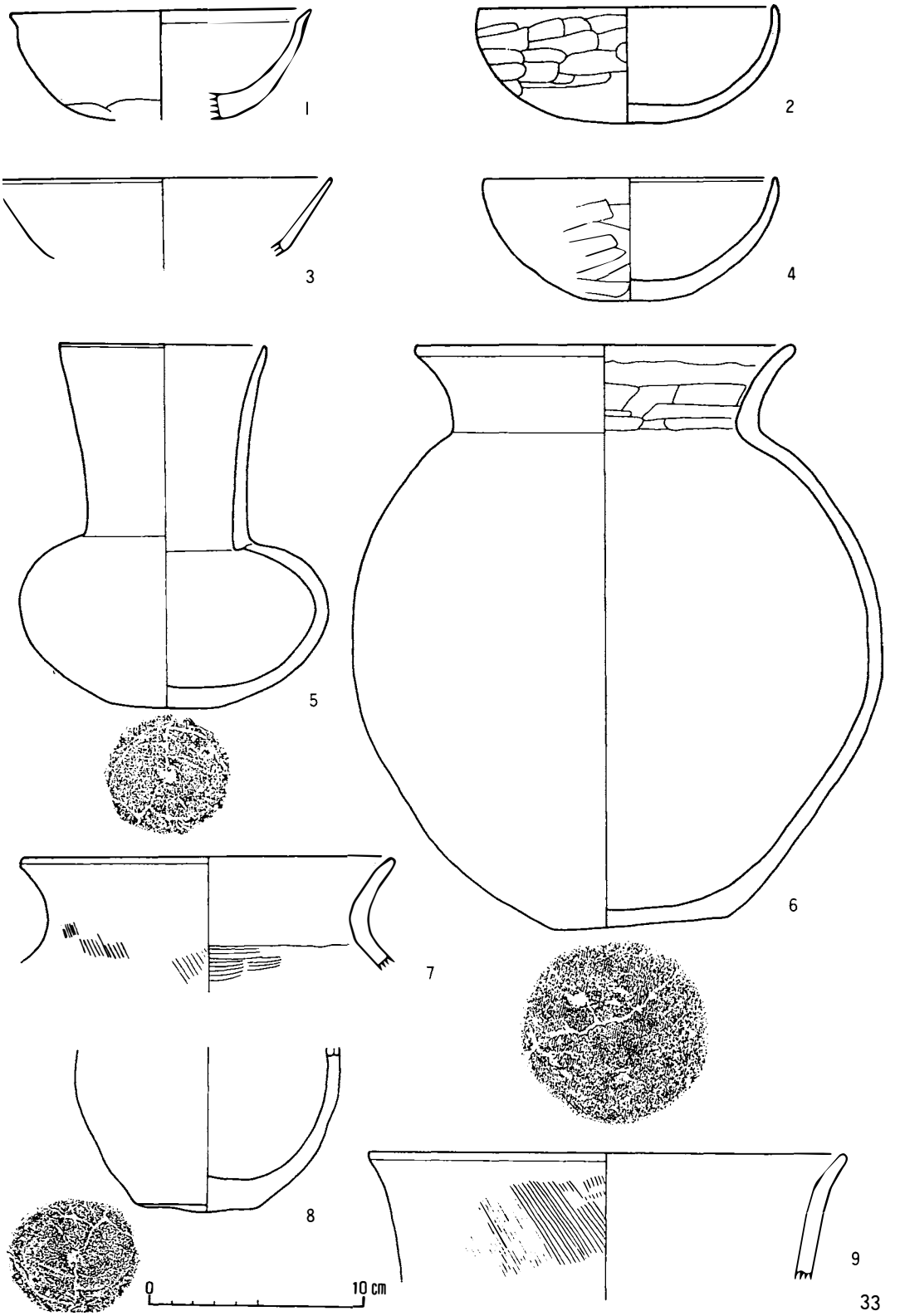
32－1

第150図　31、32号住居址出土土器

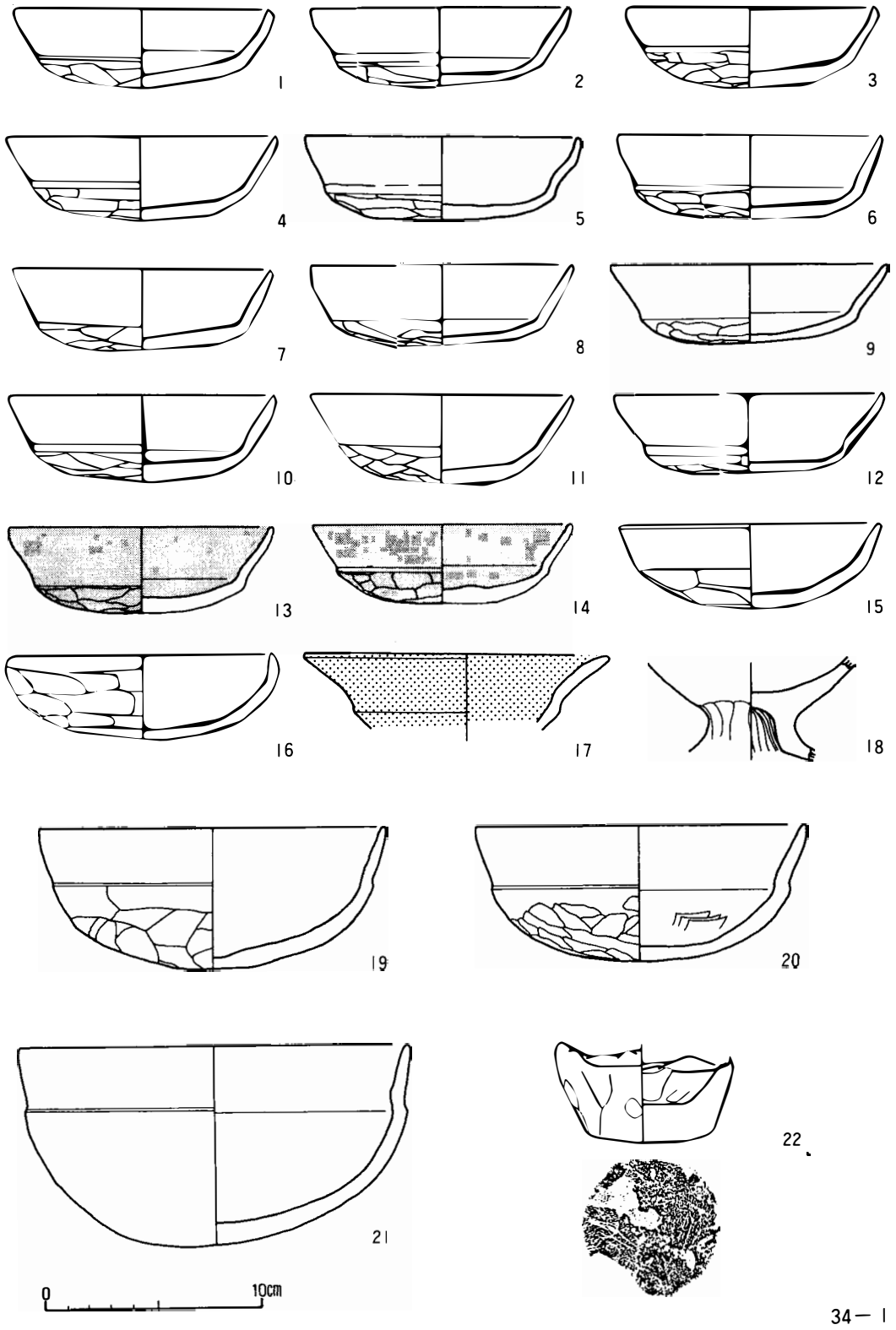


32－2

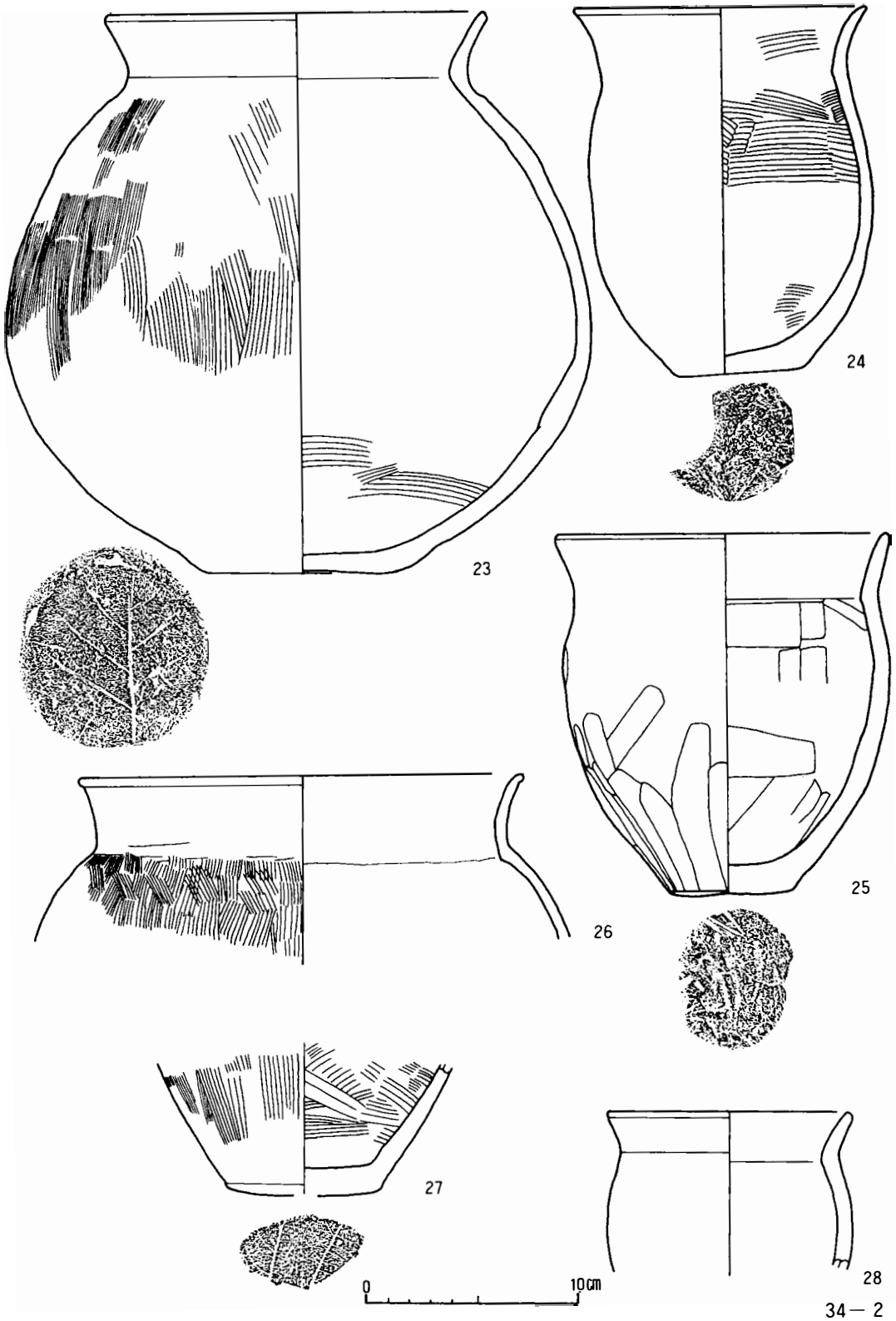
第151図　32号住居址出土土器（2）



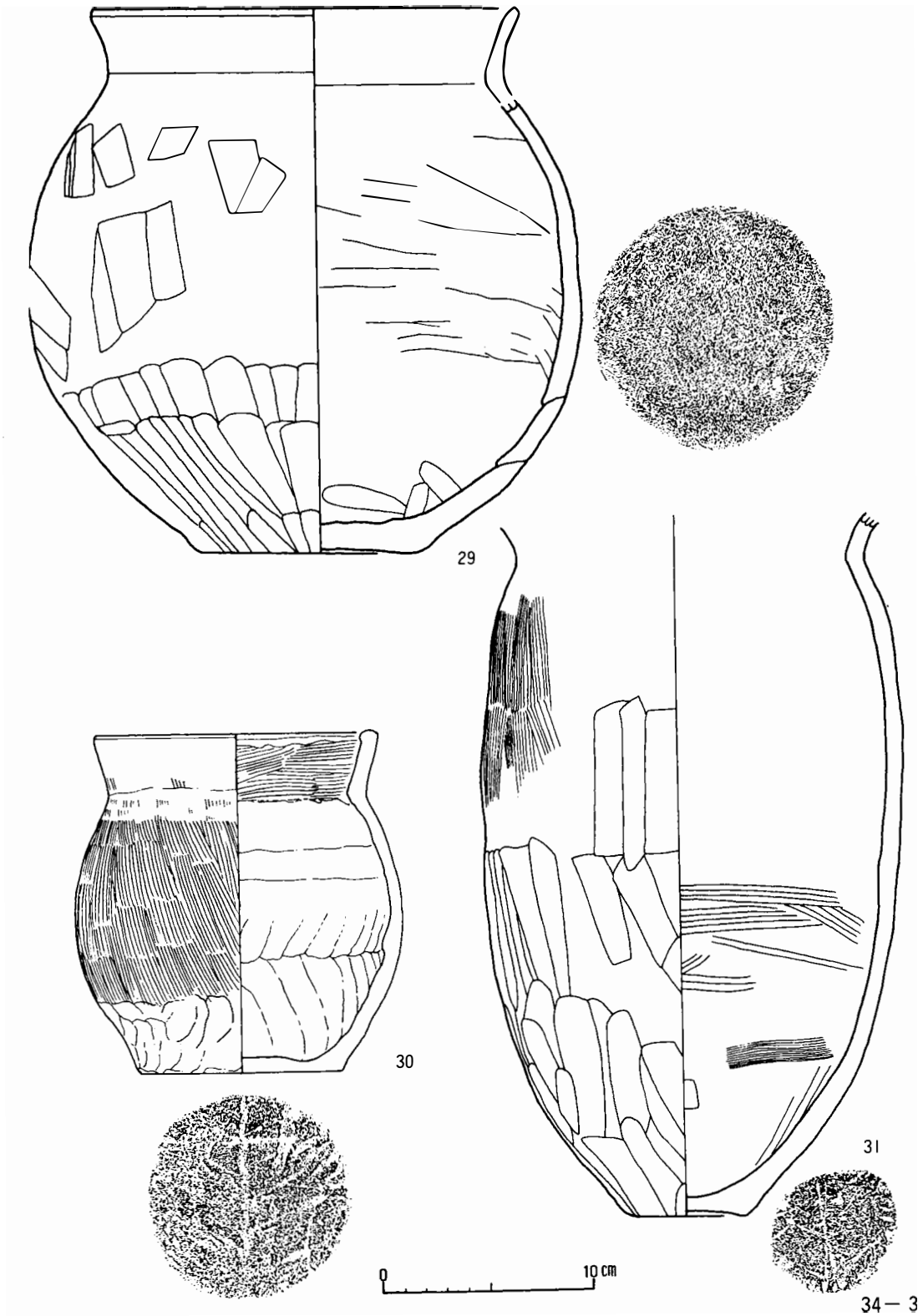
第152図　33号住居址出土土器



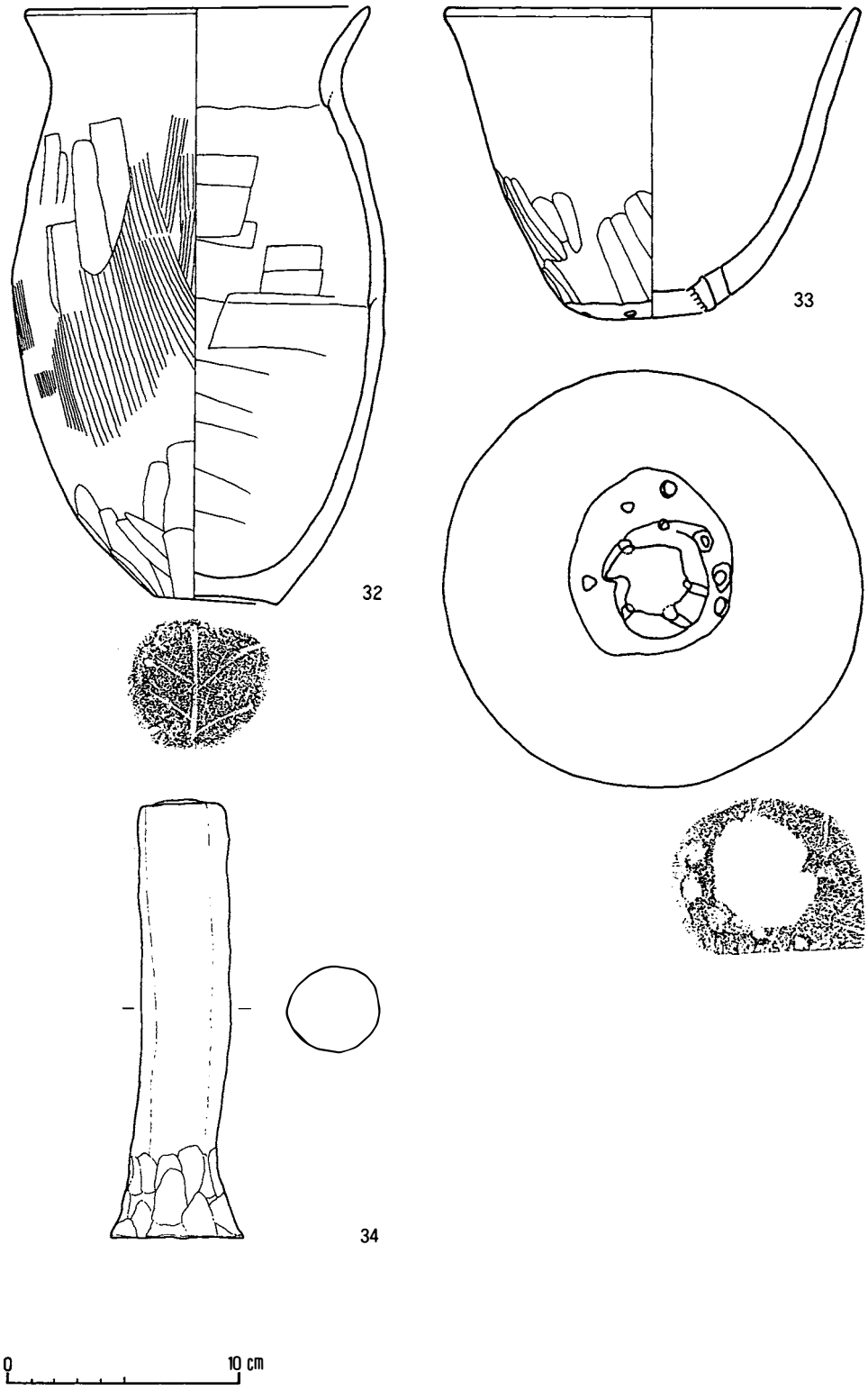
第153図　34号住居址出土土器（1）



第154図　34号住居址出土土器（2）

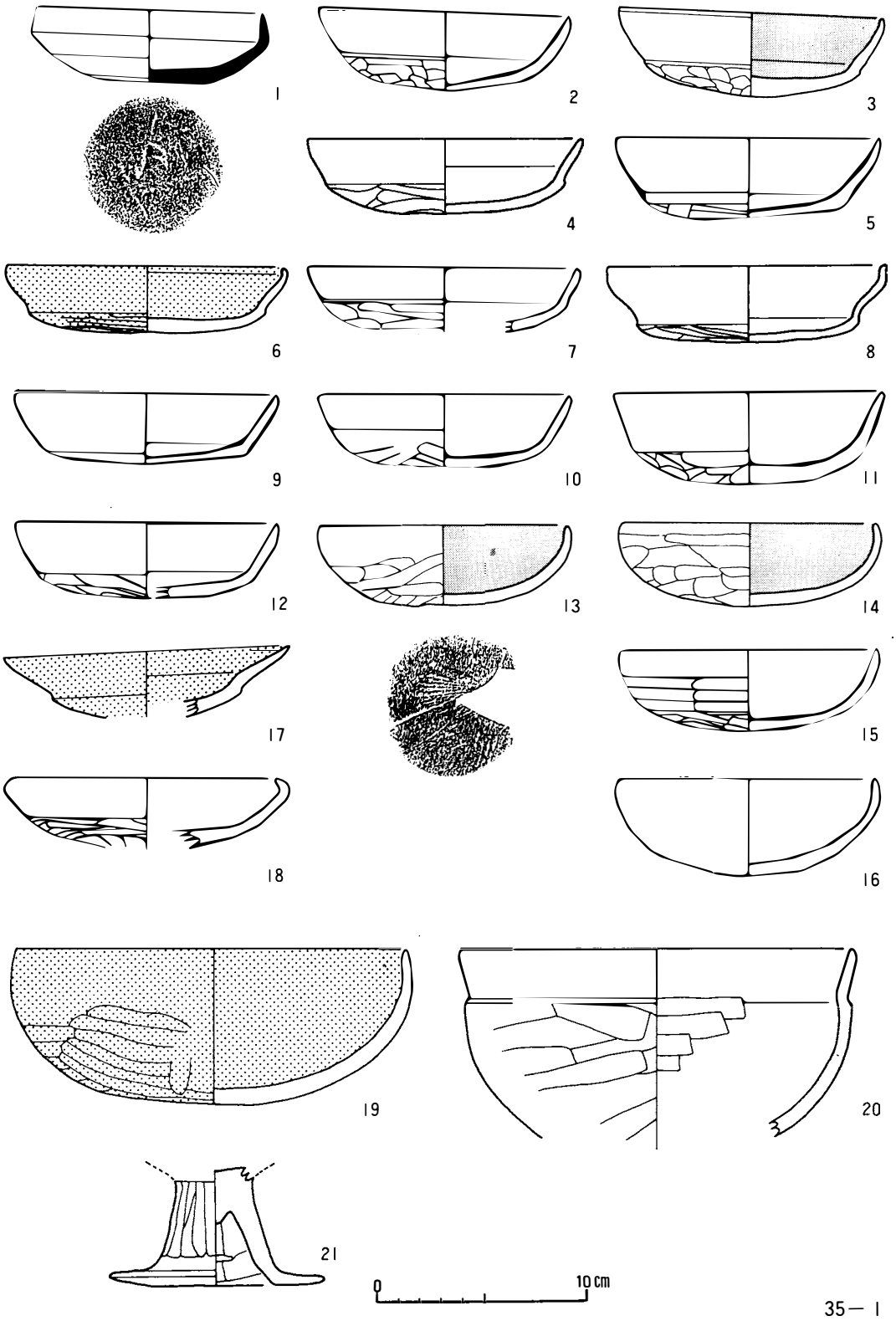


第155図　34号住居址出土土器（3）

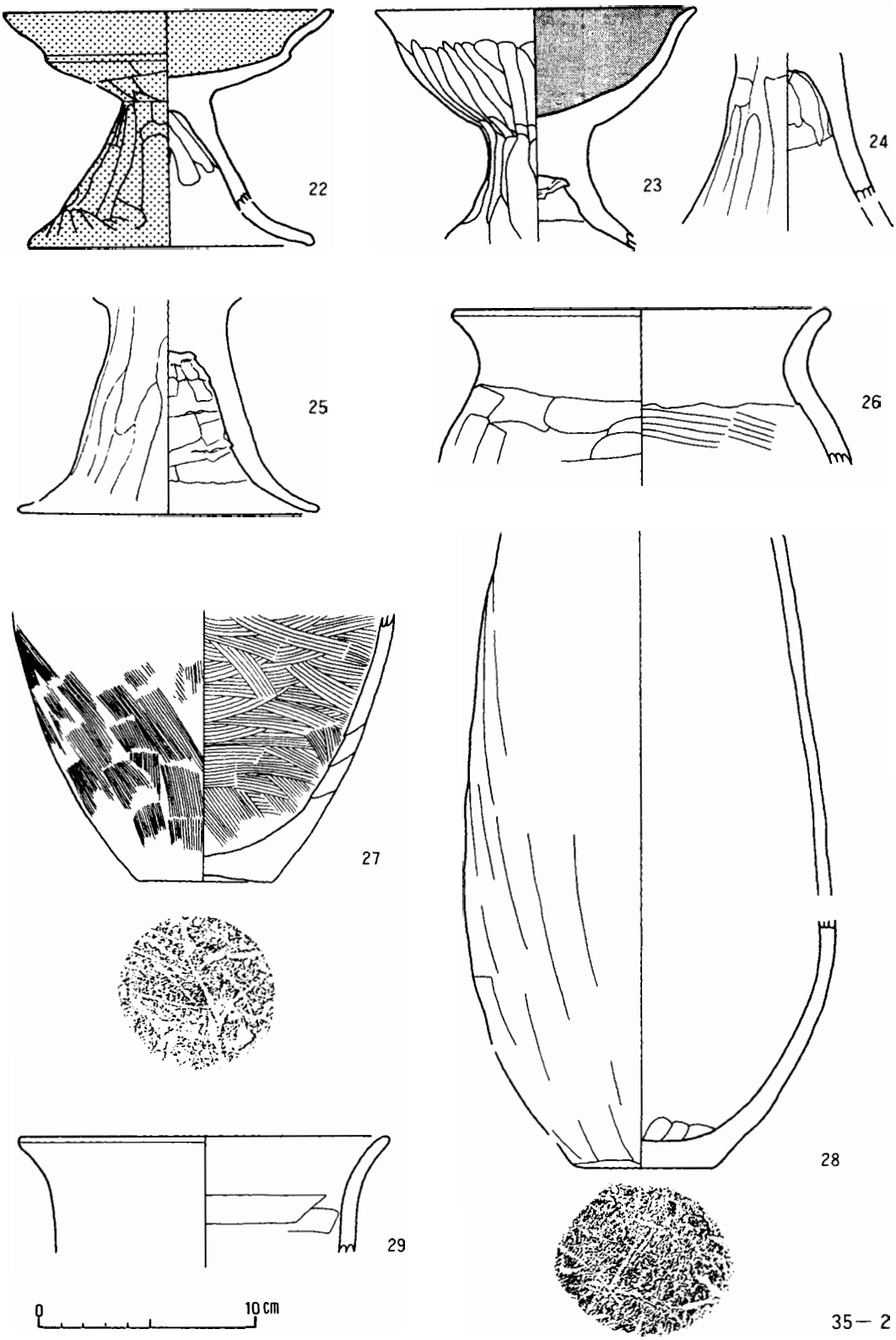


34－4

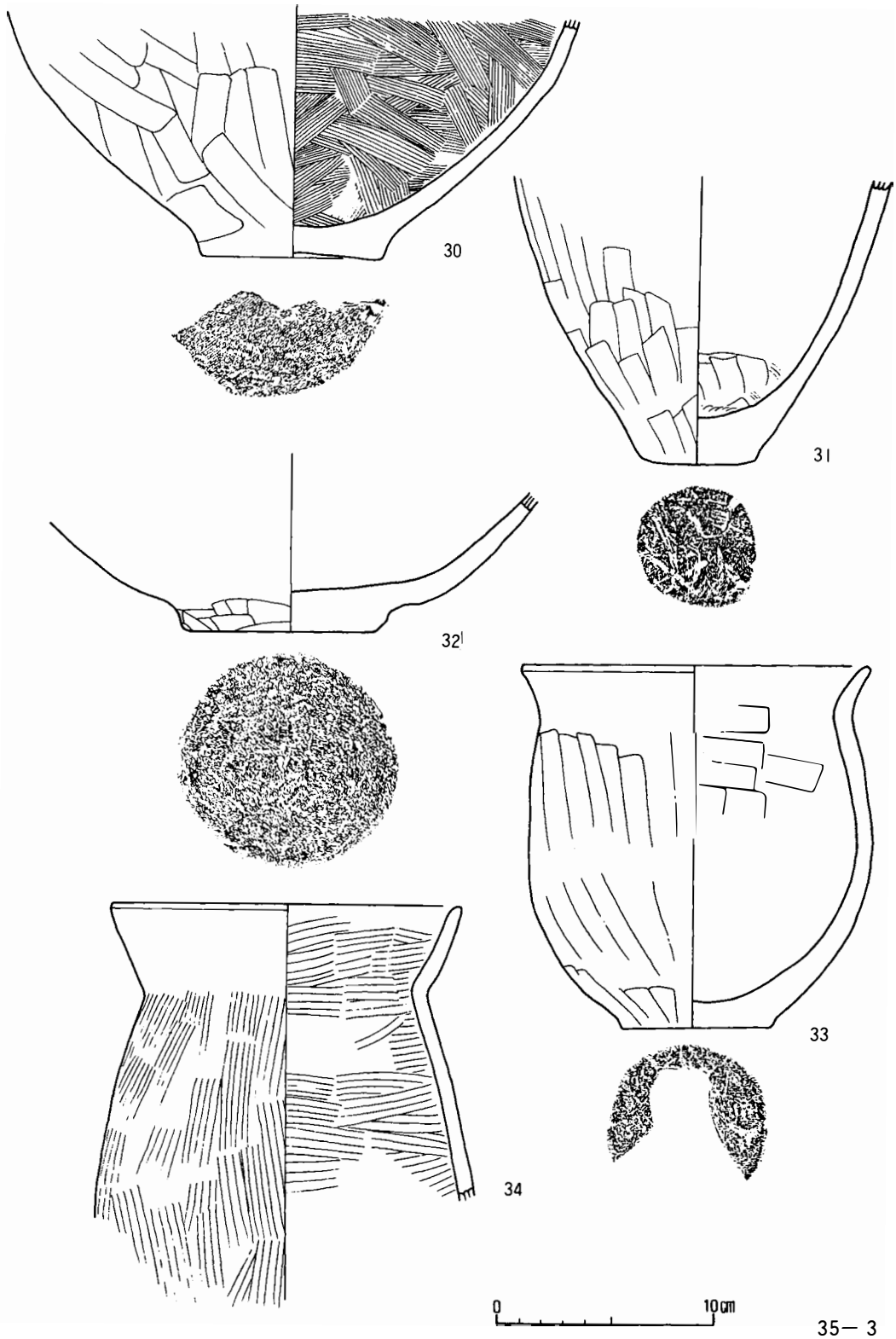
第156図　34号住居址出土土器（4）



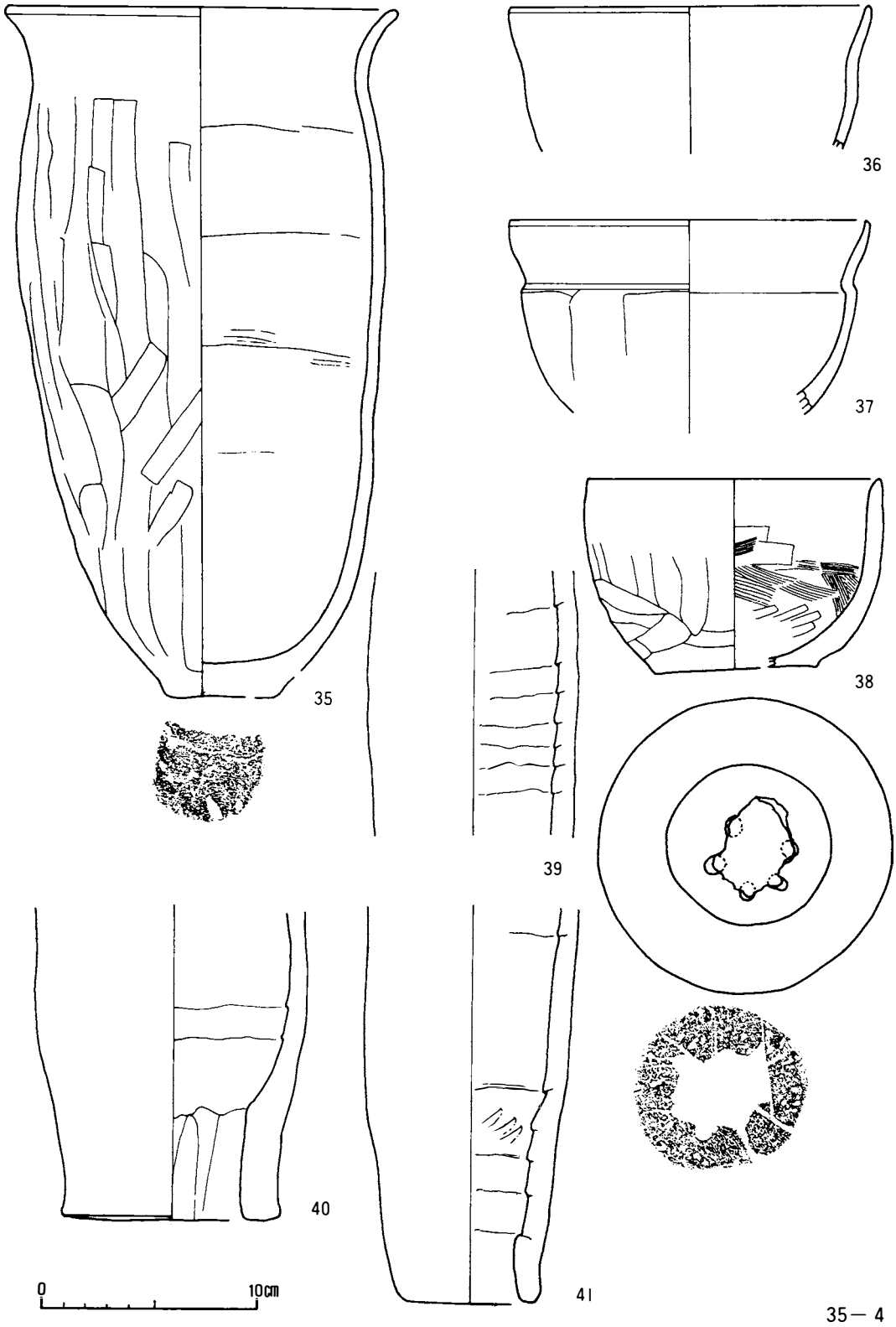
第157図　35号住居址出土土器（1）



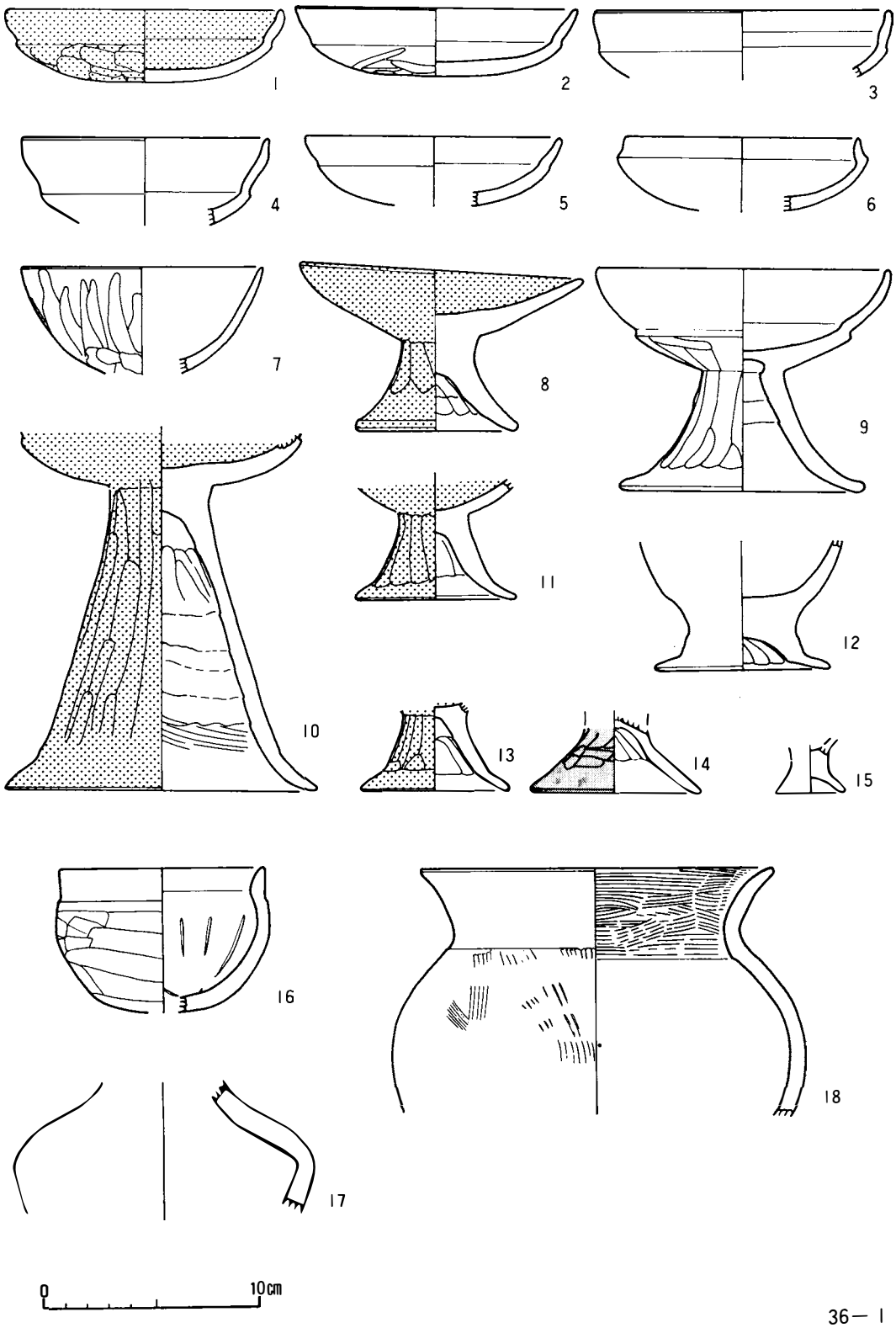
第158図　35号住居址出土土器（2）



第159図　35号住居址出土土器（3）

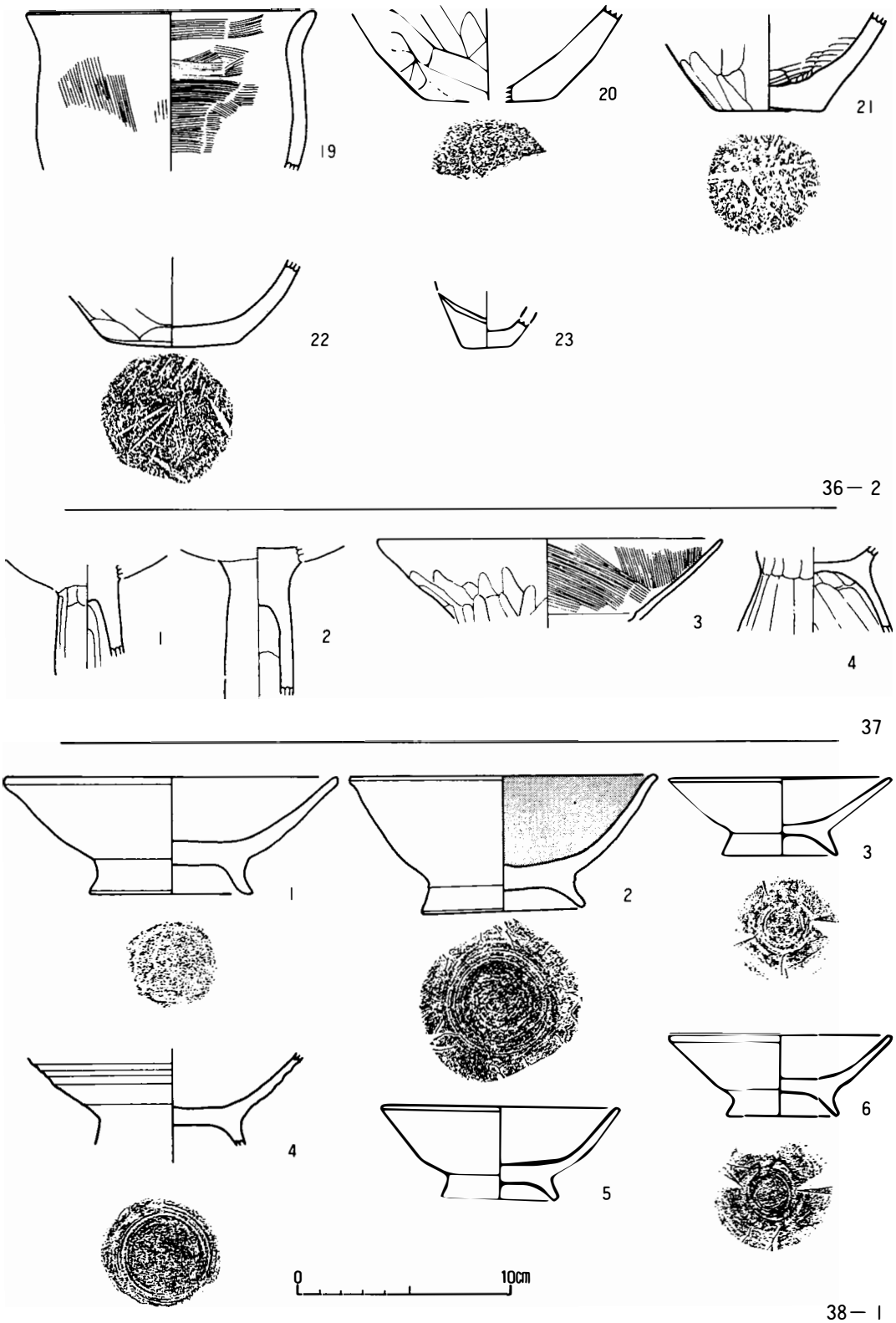


第160図　35号住居址出土土器（4）

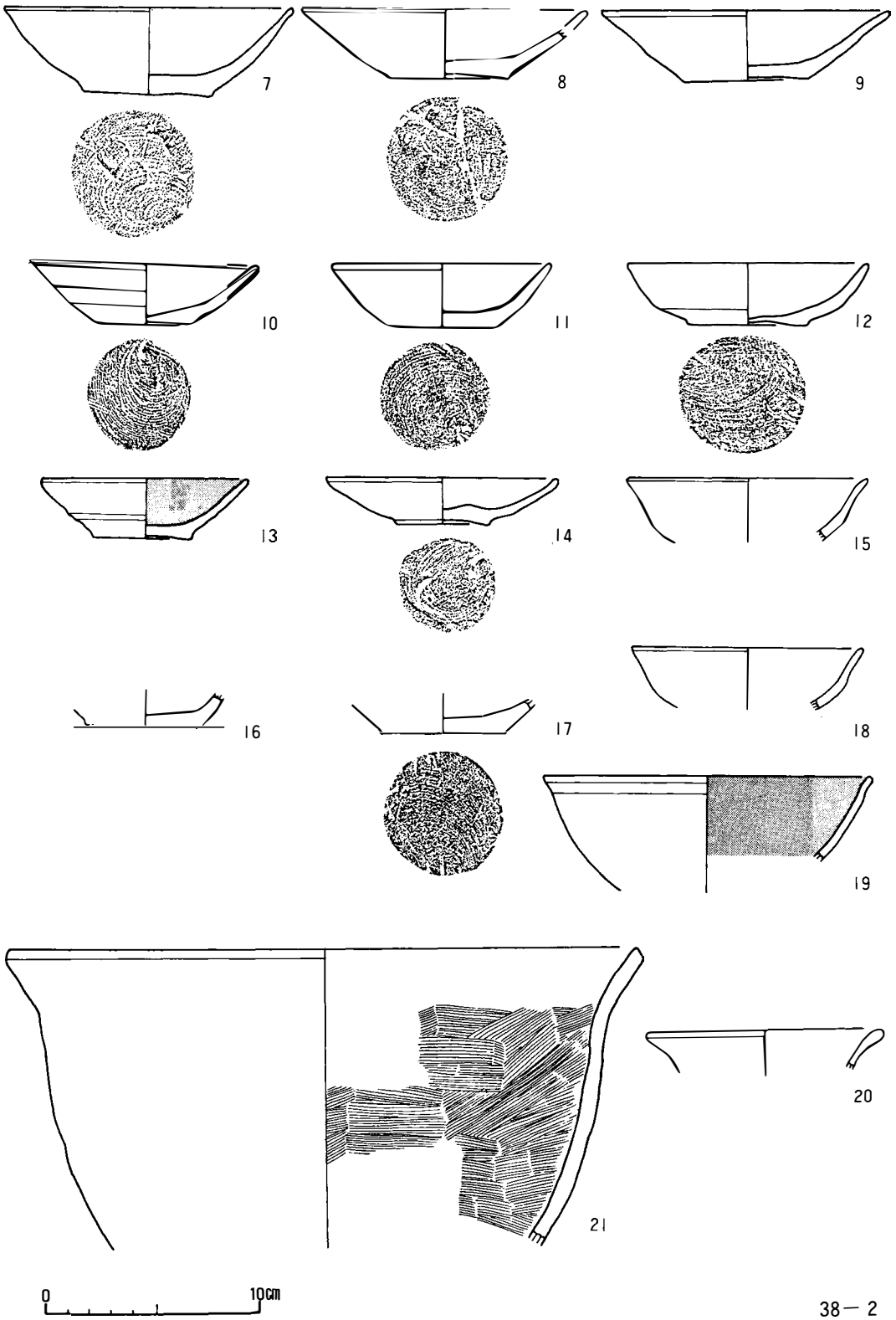


36－1

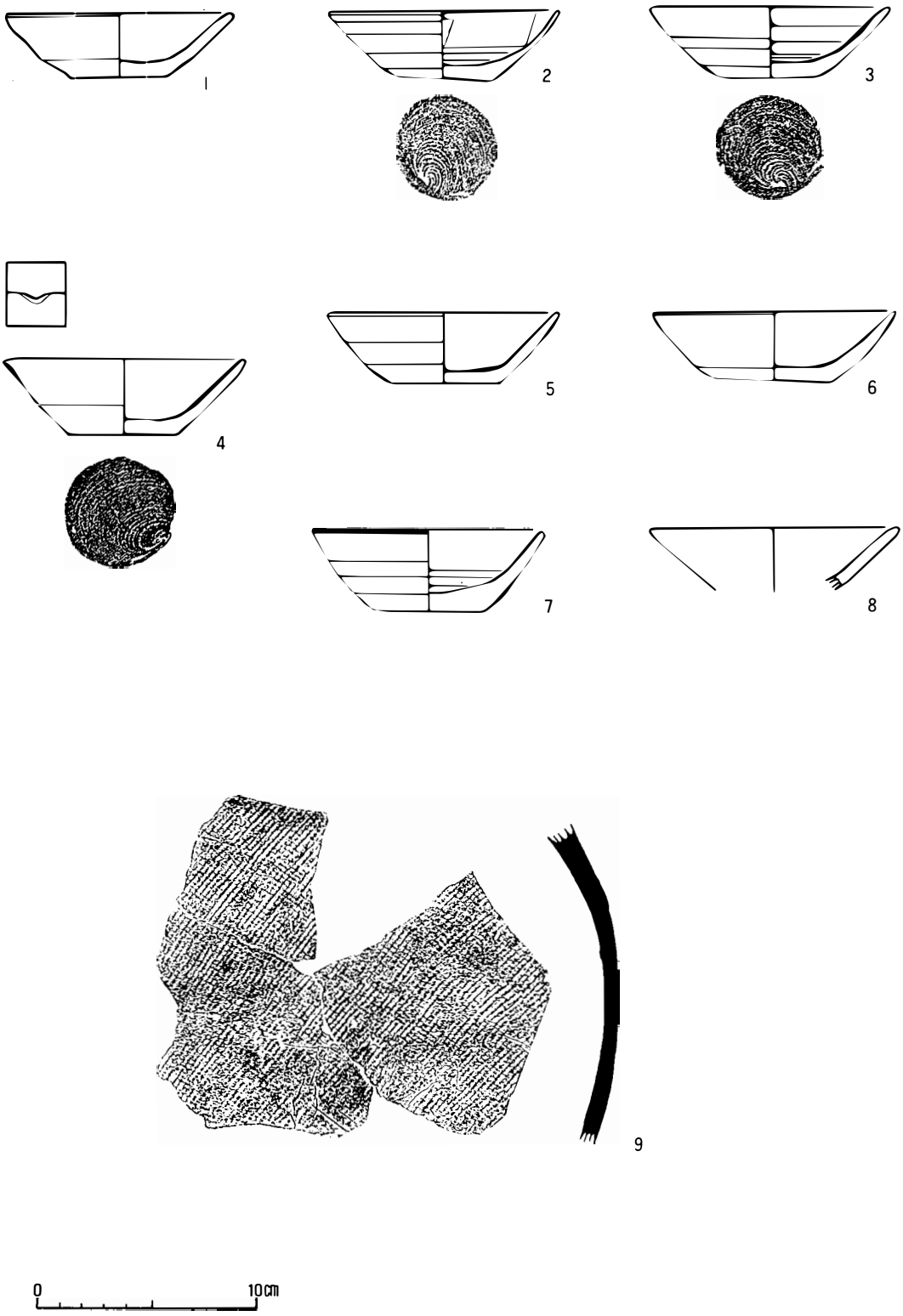
第161図　36号住居址出土土器（1）



第162図　36、37、38号住居址出土土器

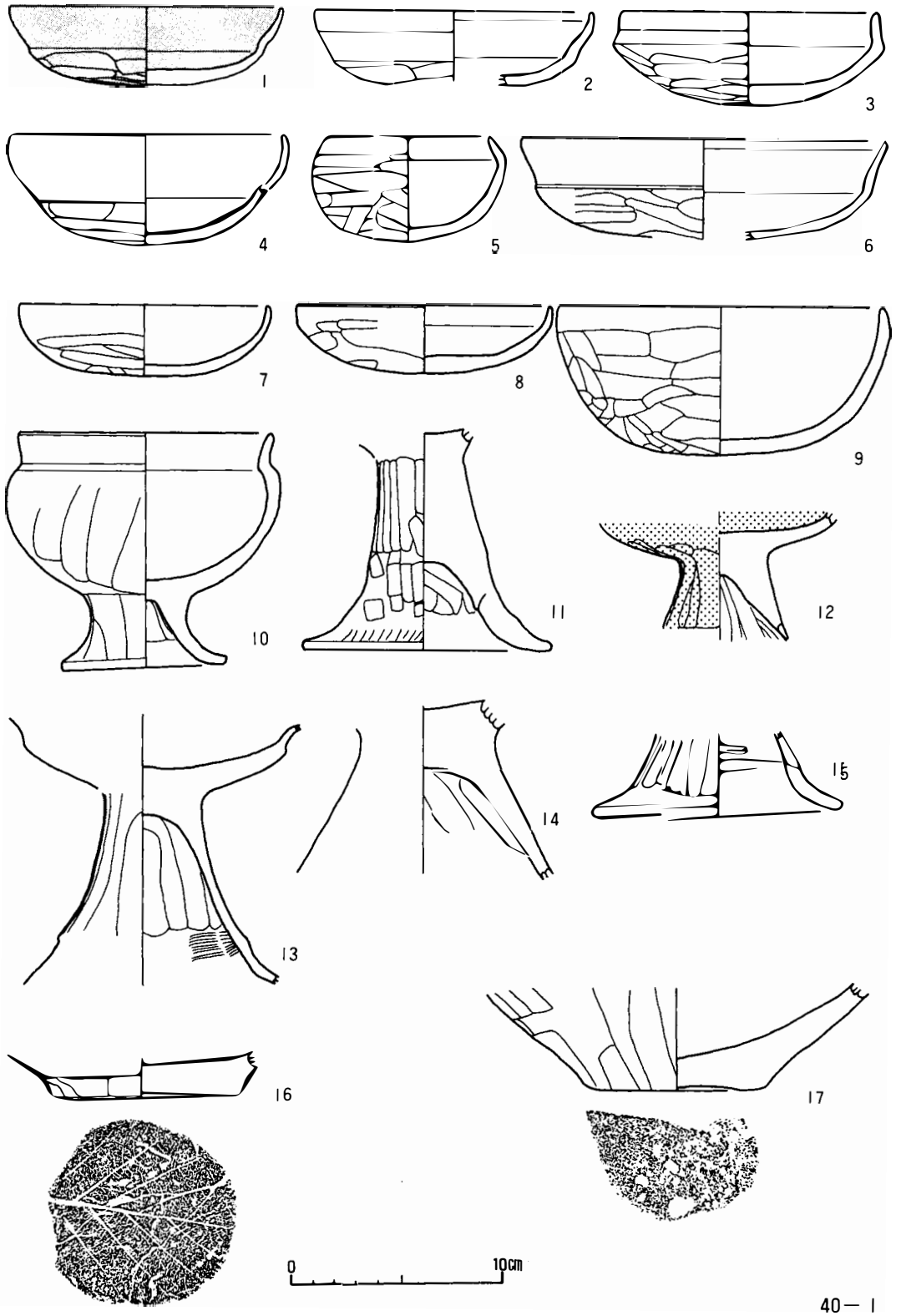


第163図　38号住居址出土土器（2）

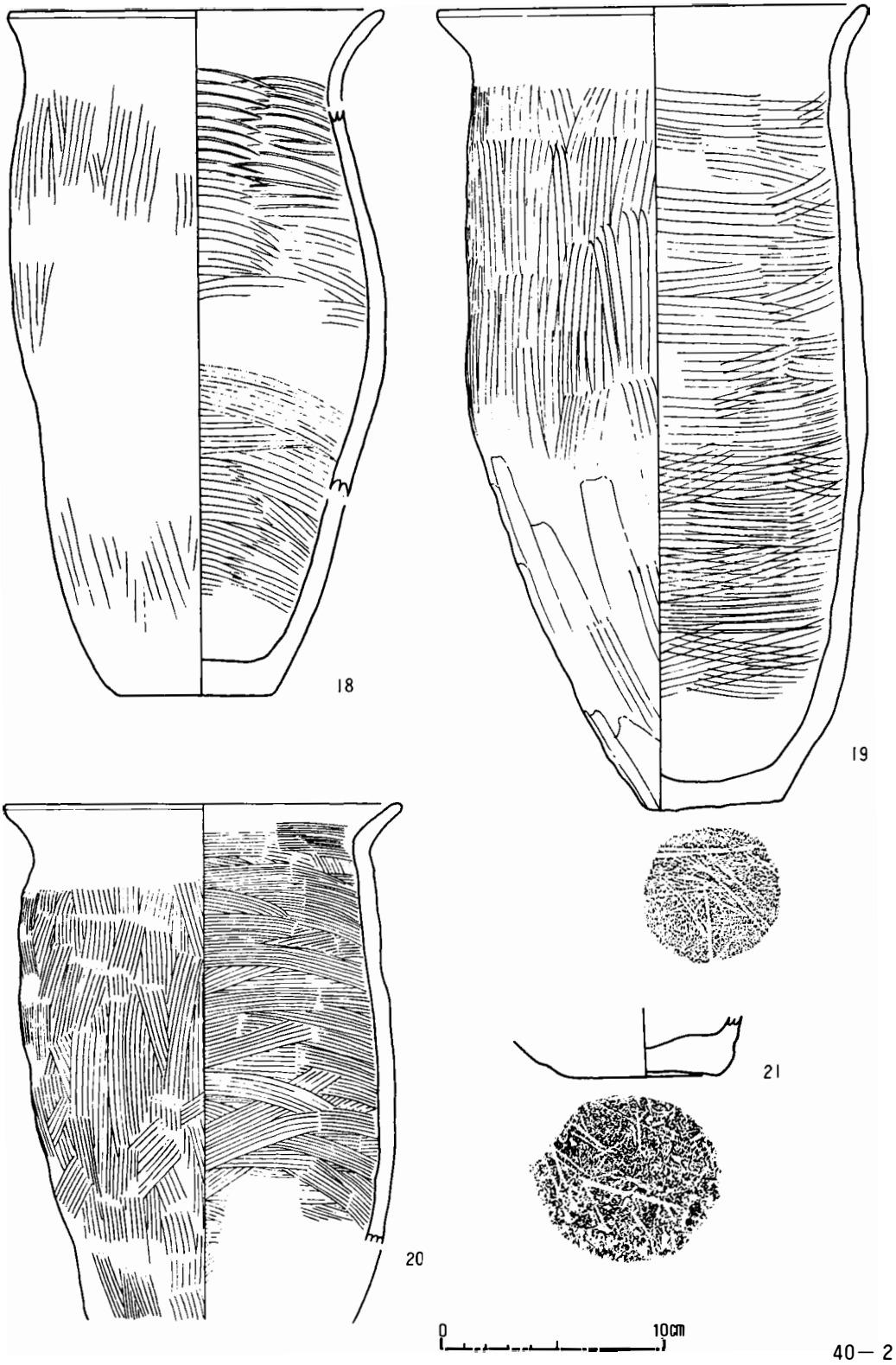


39

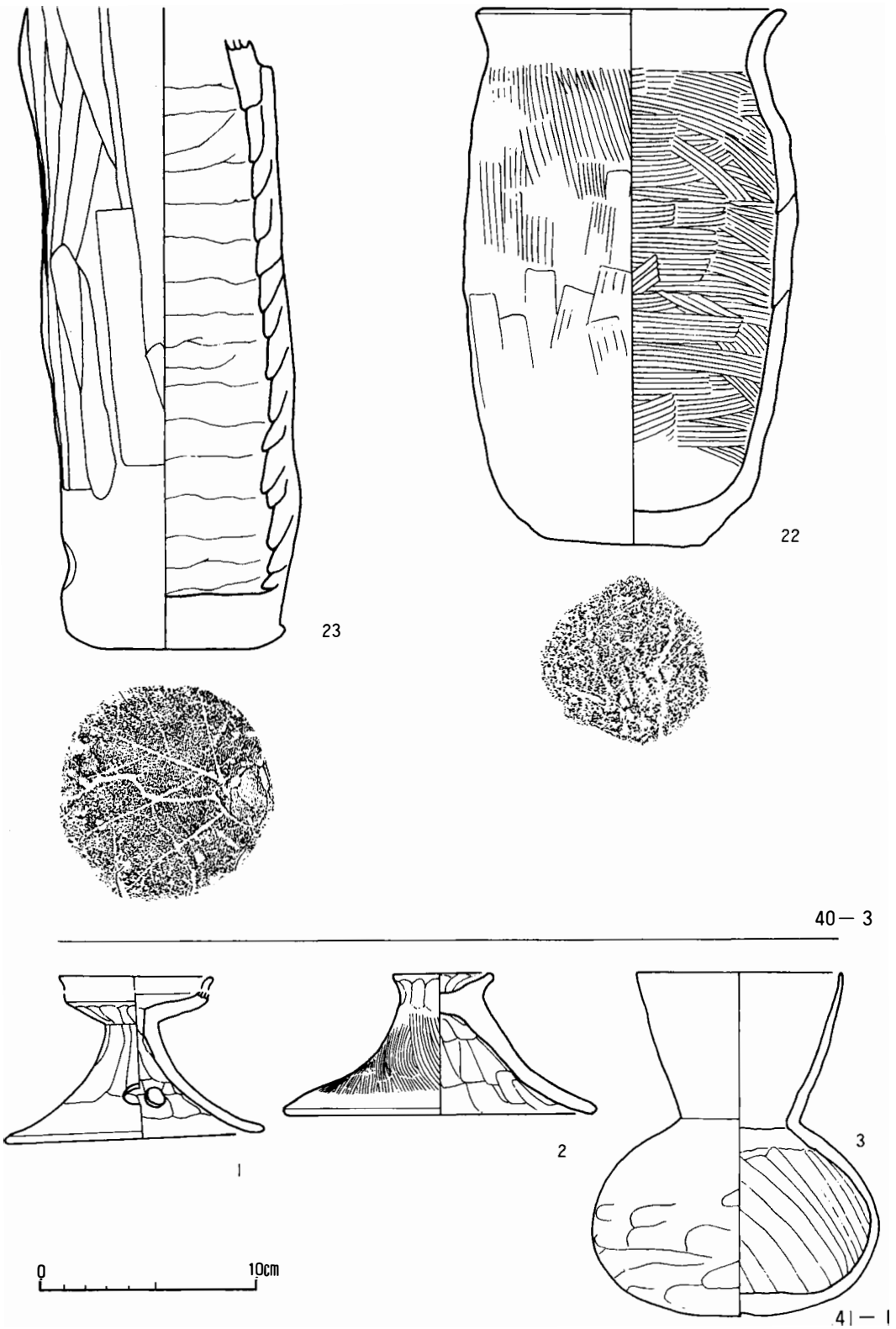
第164図　39号住居址出土土器



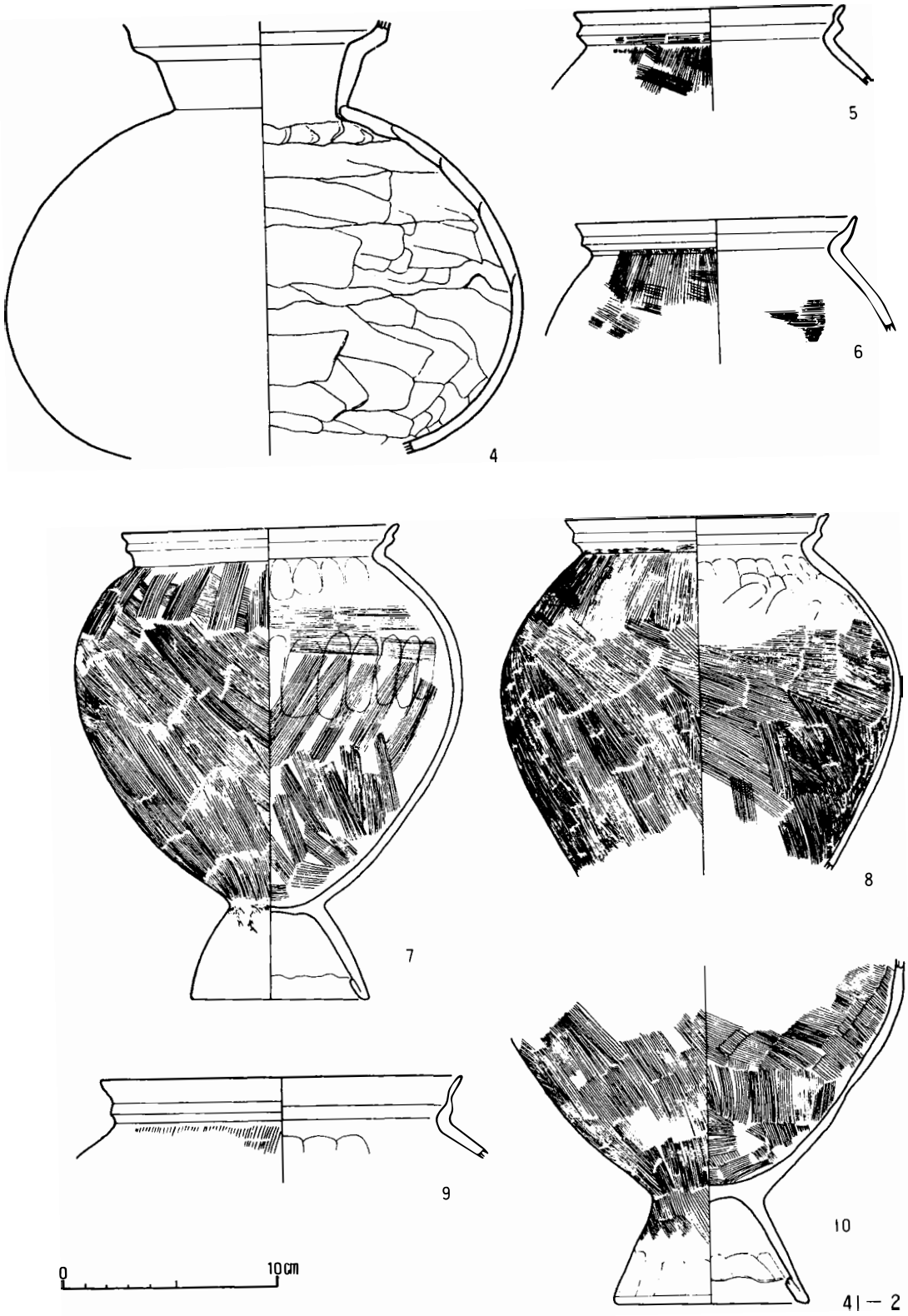
第165図　40号住居址出土土器（1）



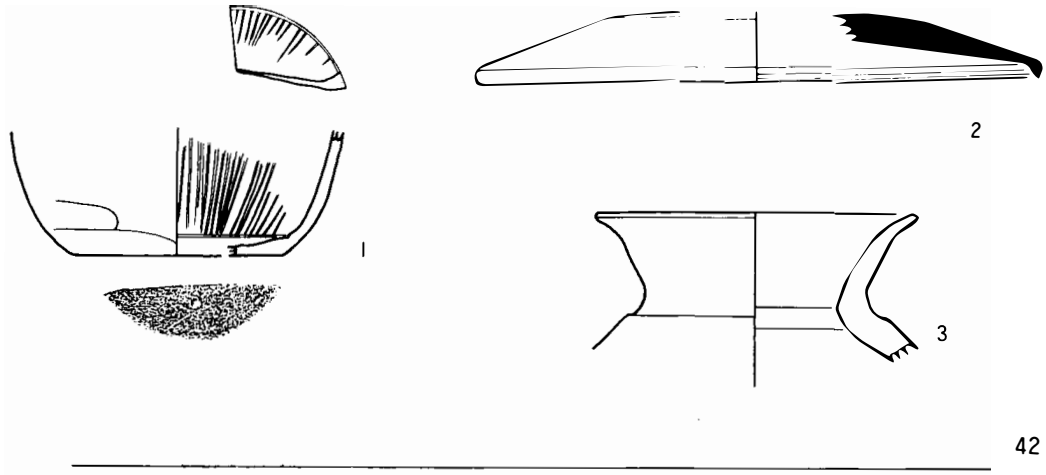
第166図　40号住居址出土土器（2）

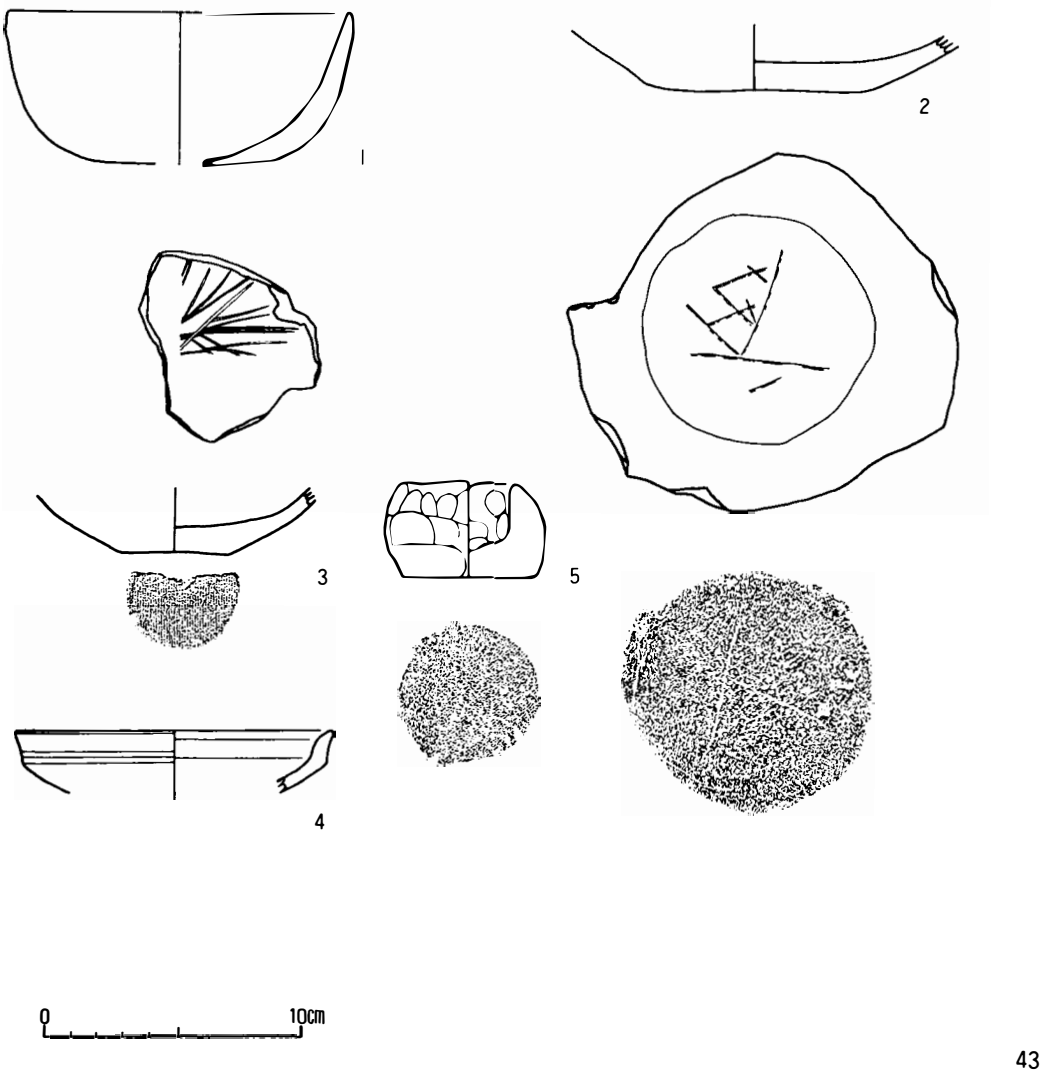


第167図　40、41号住居址出土土器

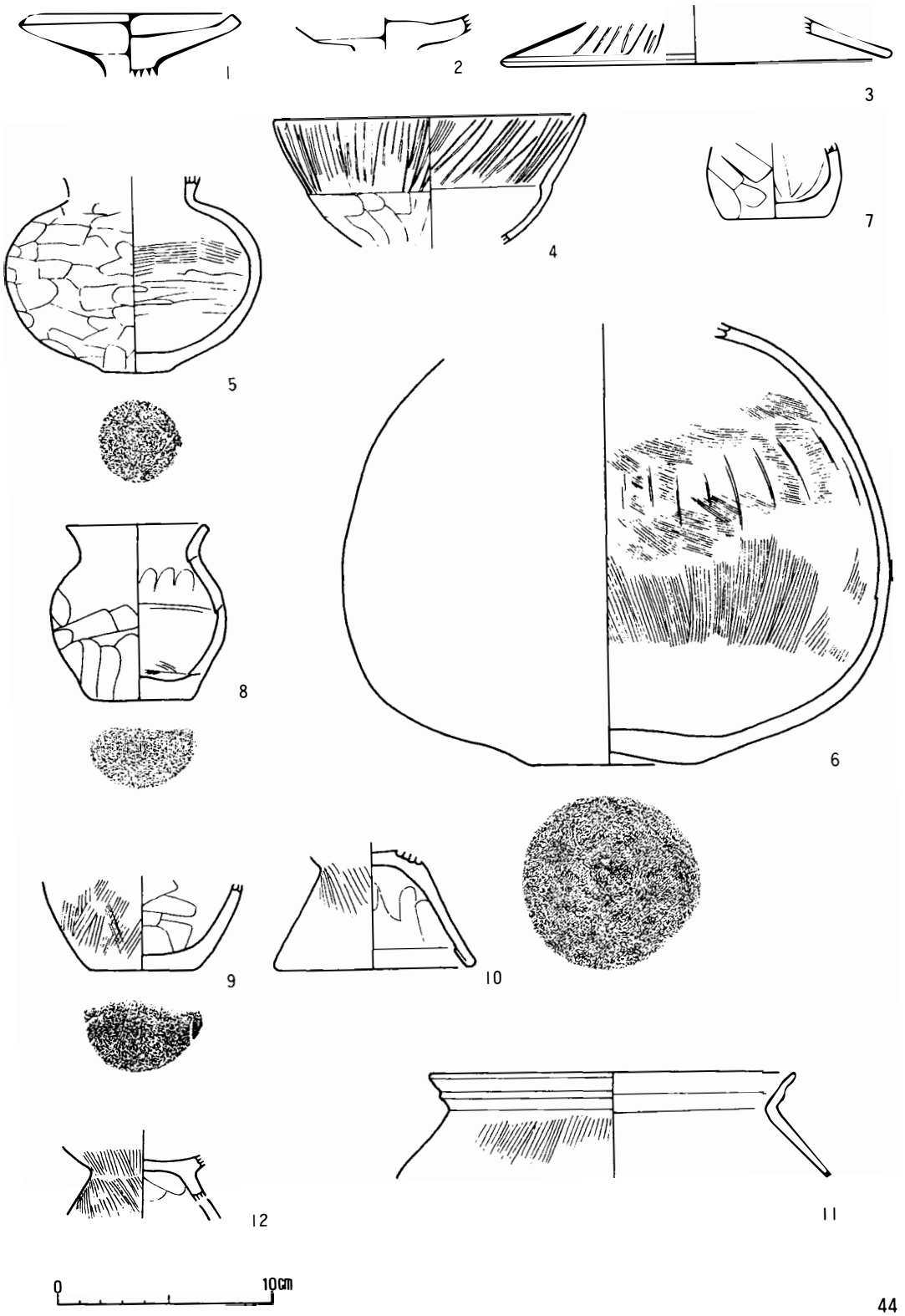


第168図　41号住居址出土土器（2）

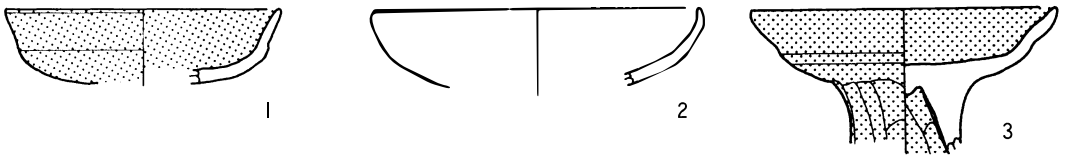




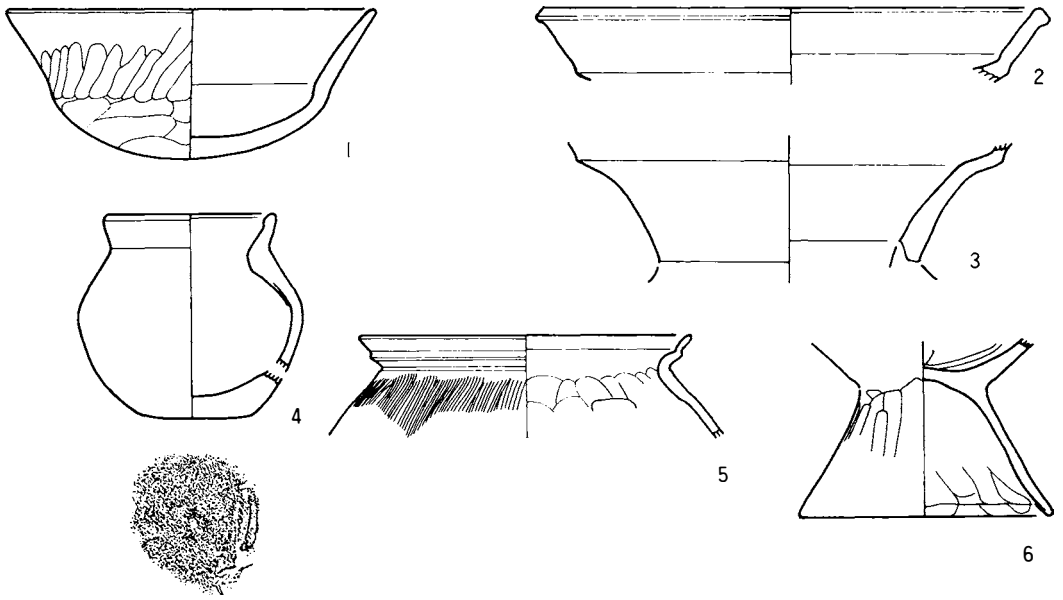
第169図　42、43号住居址出土土器



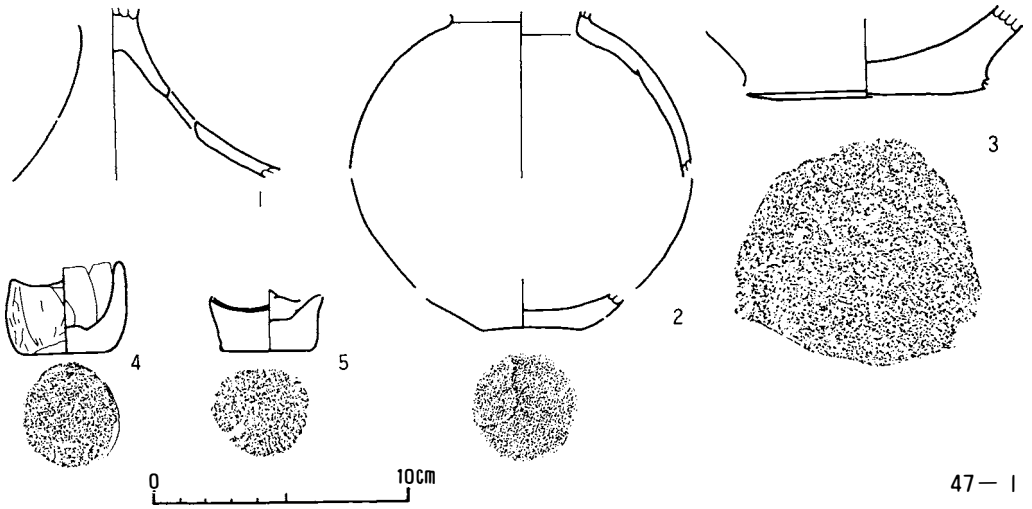
第170図　44号住居址出土土器



45

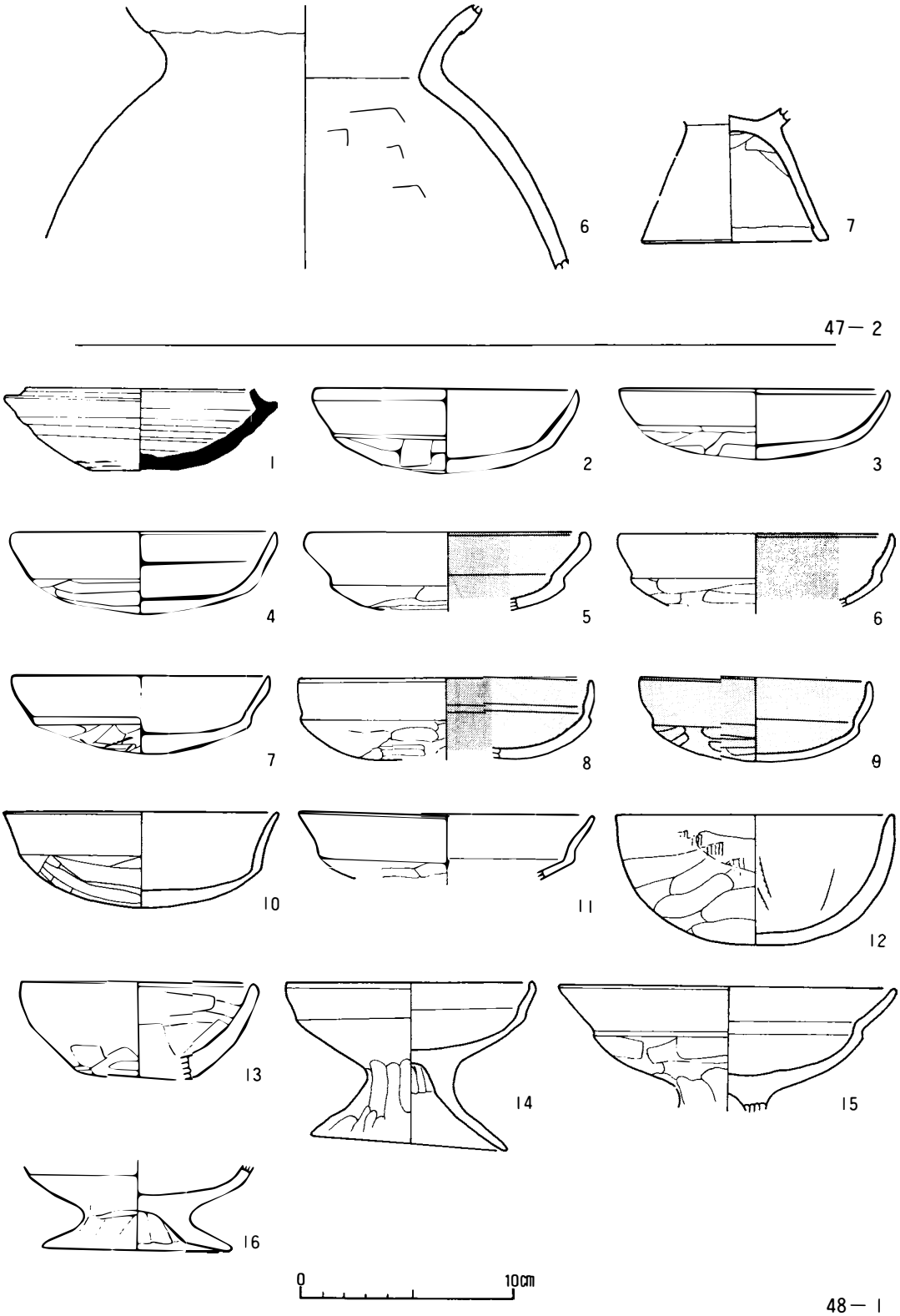


46

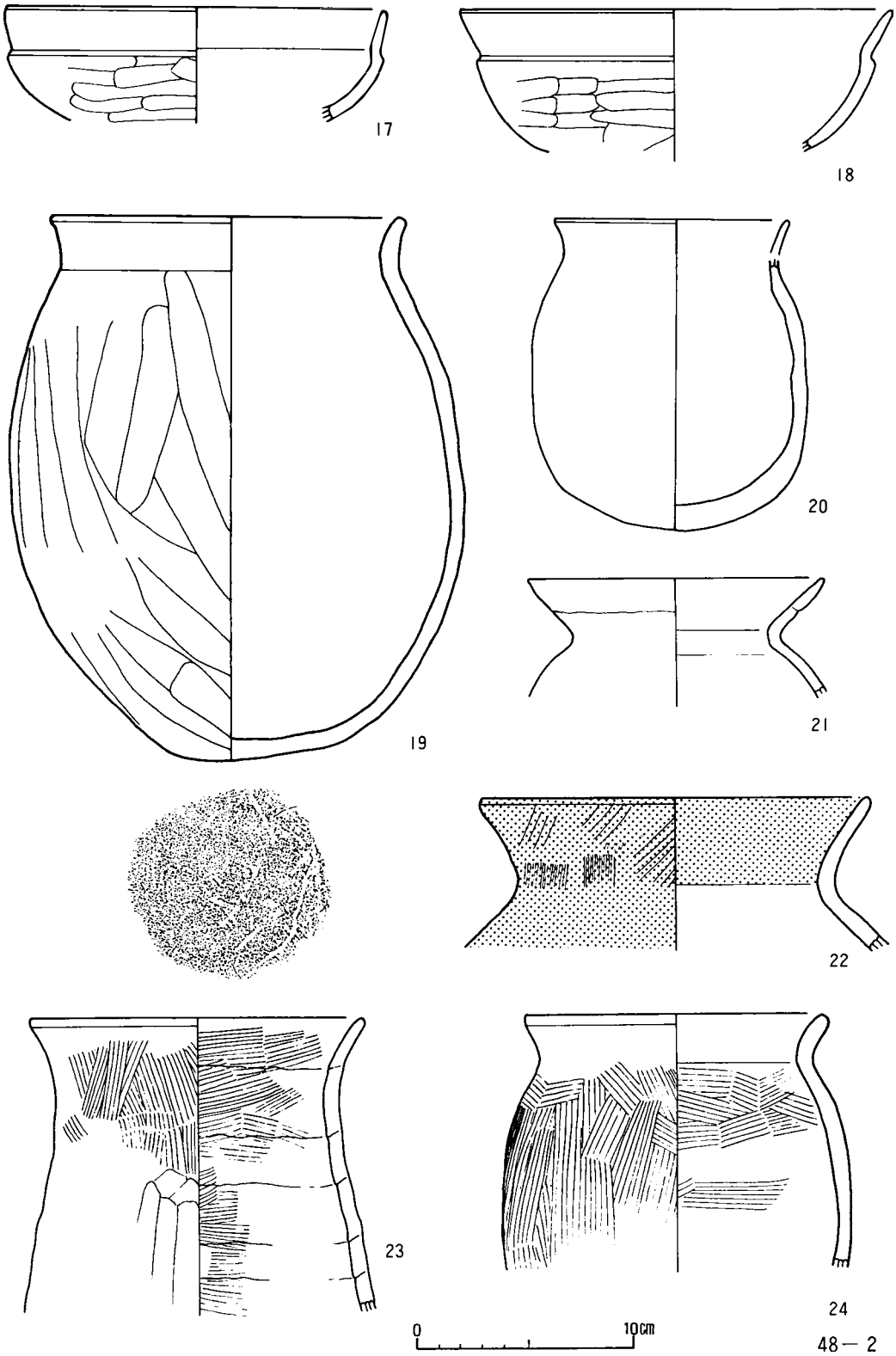


47－1

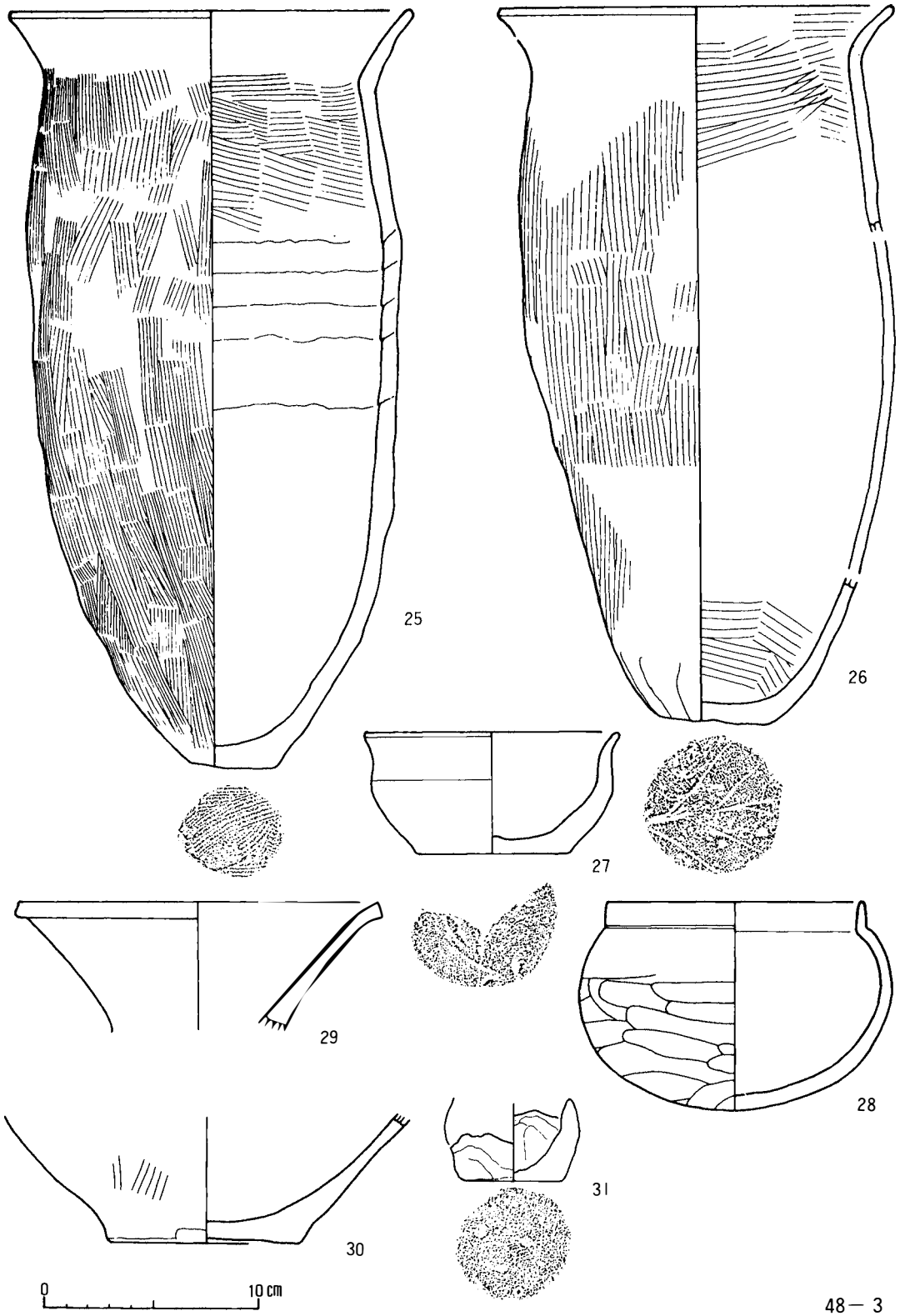
第171図　45、46、47号住居址出土土器



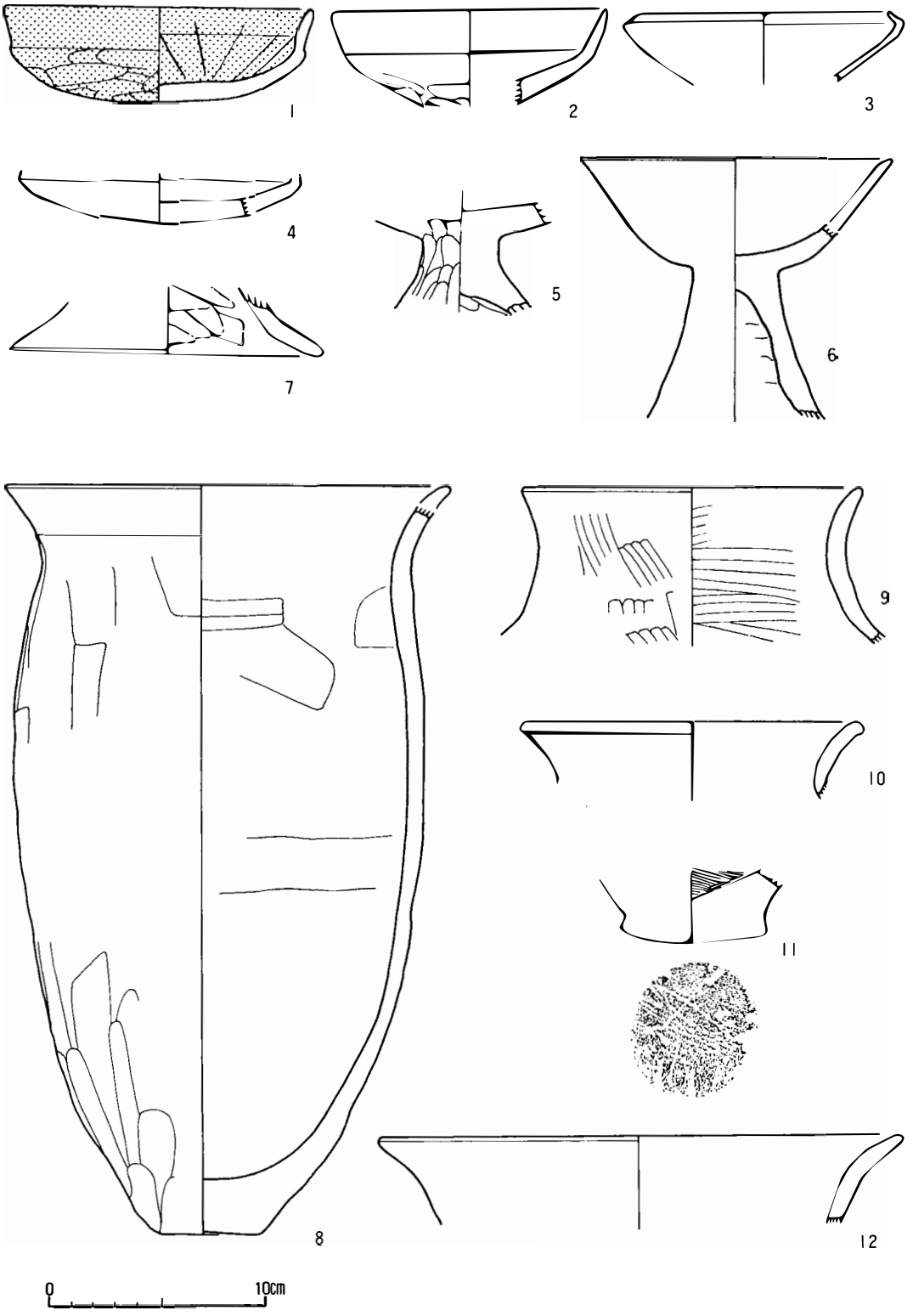
第172図　47、48号住居址出土土器



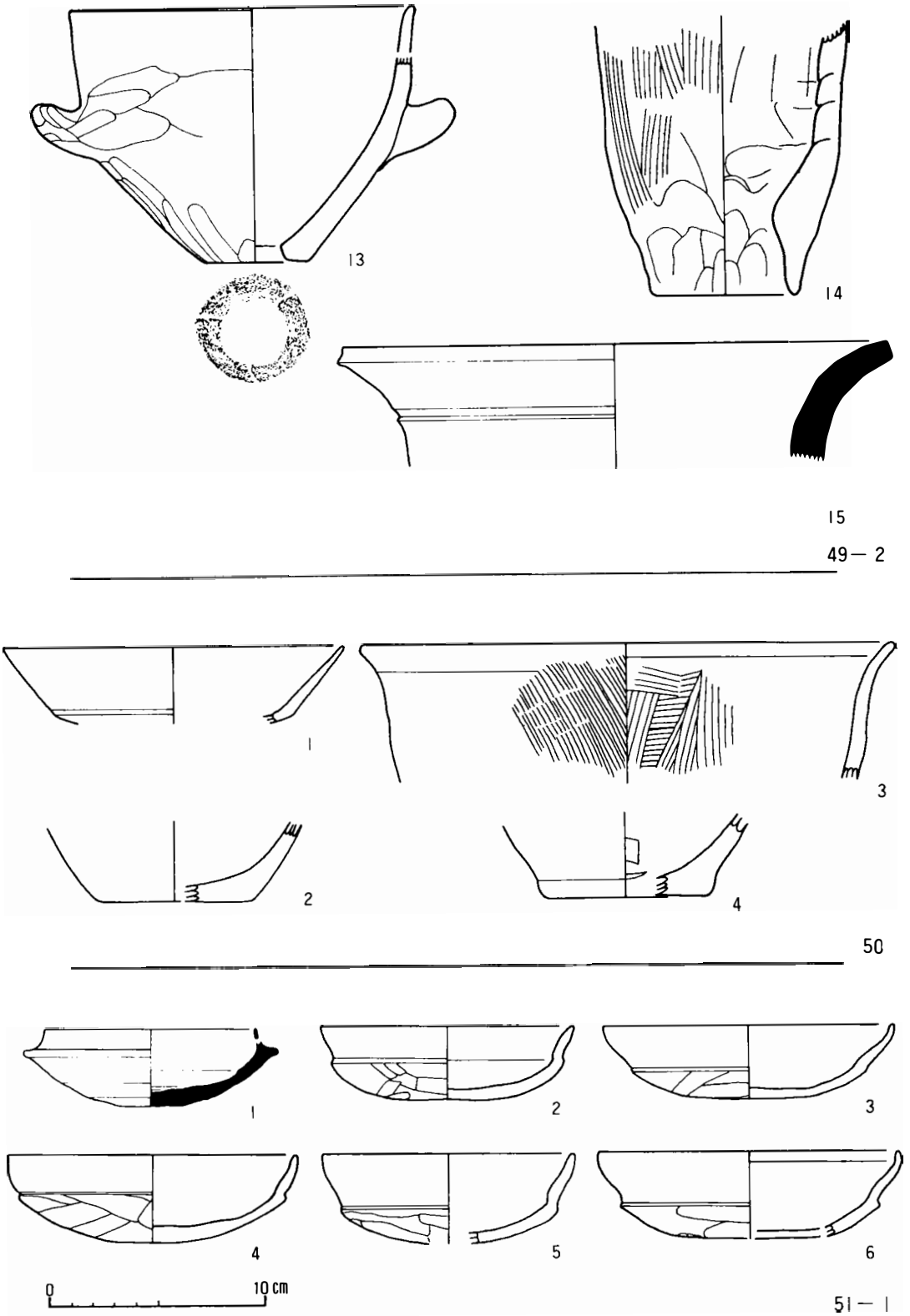
第173図　48号住居址出土土器（2）



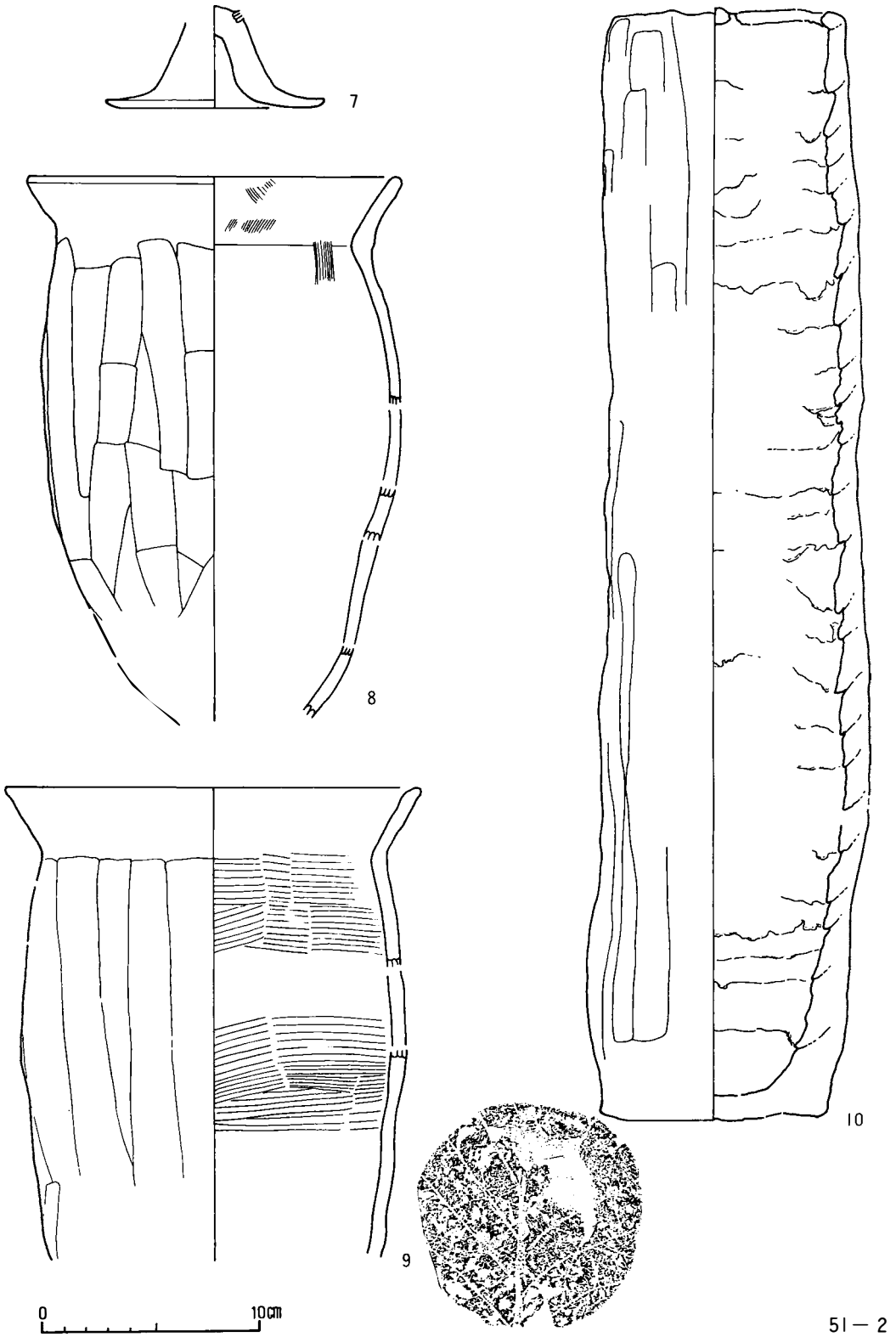
第174図　48号住居址出土土器（3）



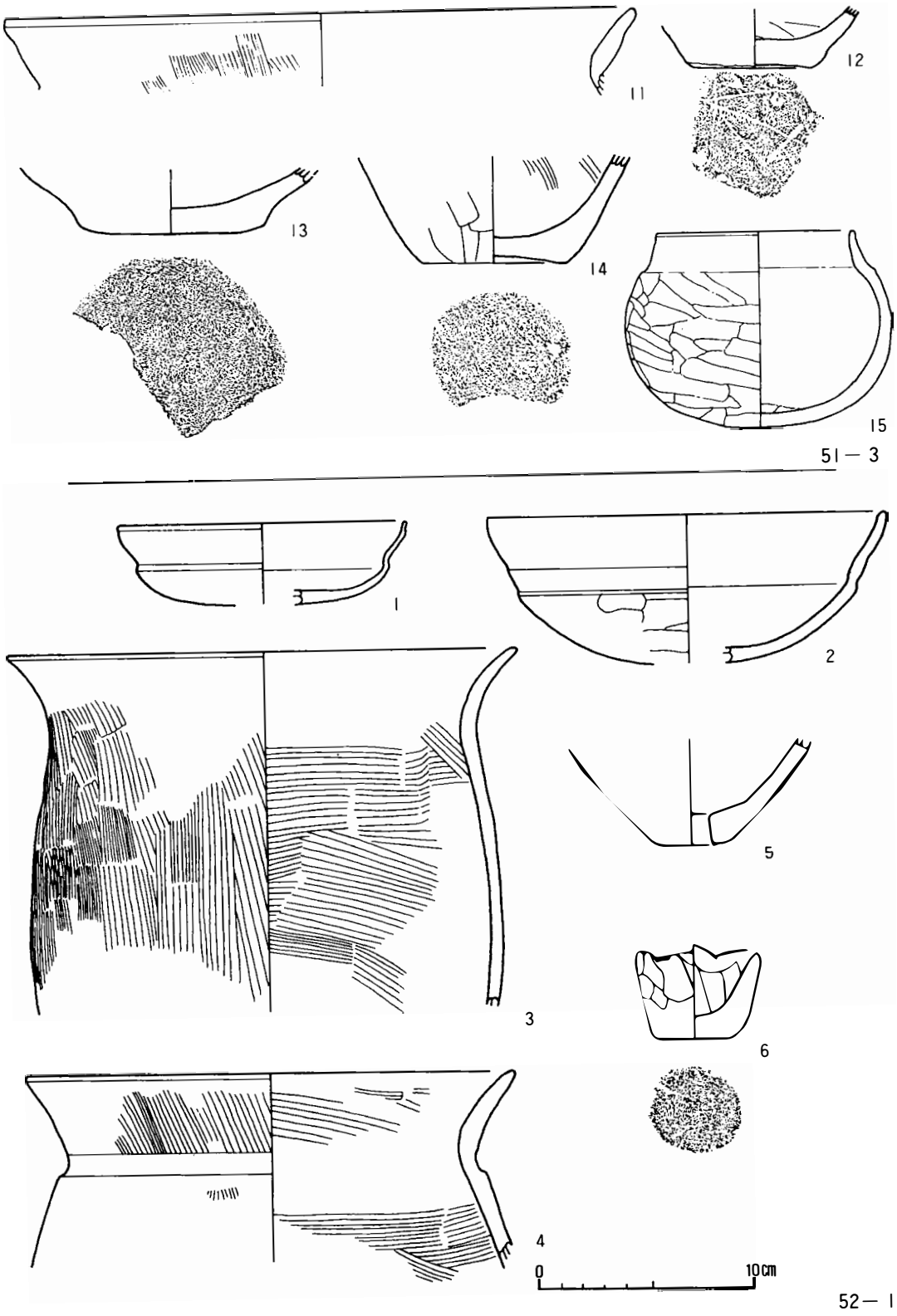
第175図　49号住居址出土土器（1）



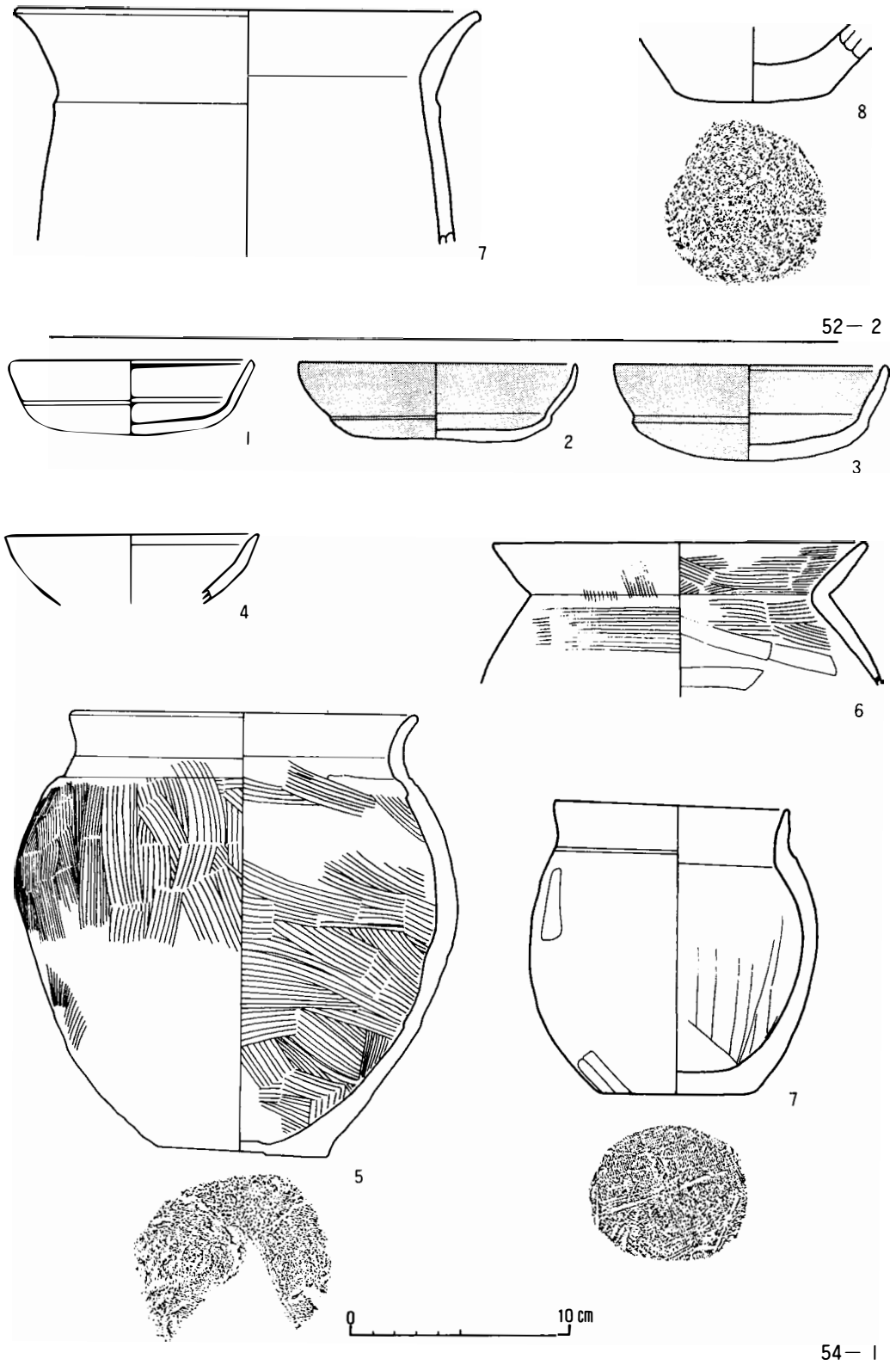
第176図　49、50、51号住居址出土土器



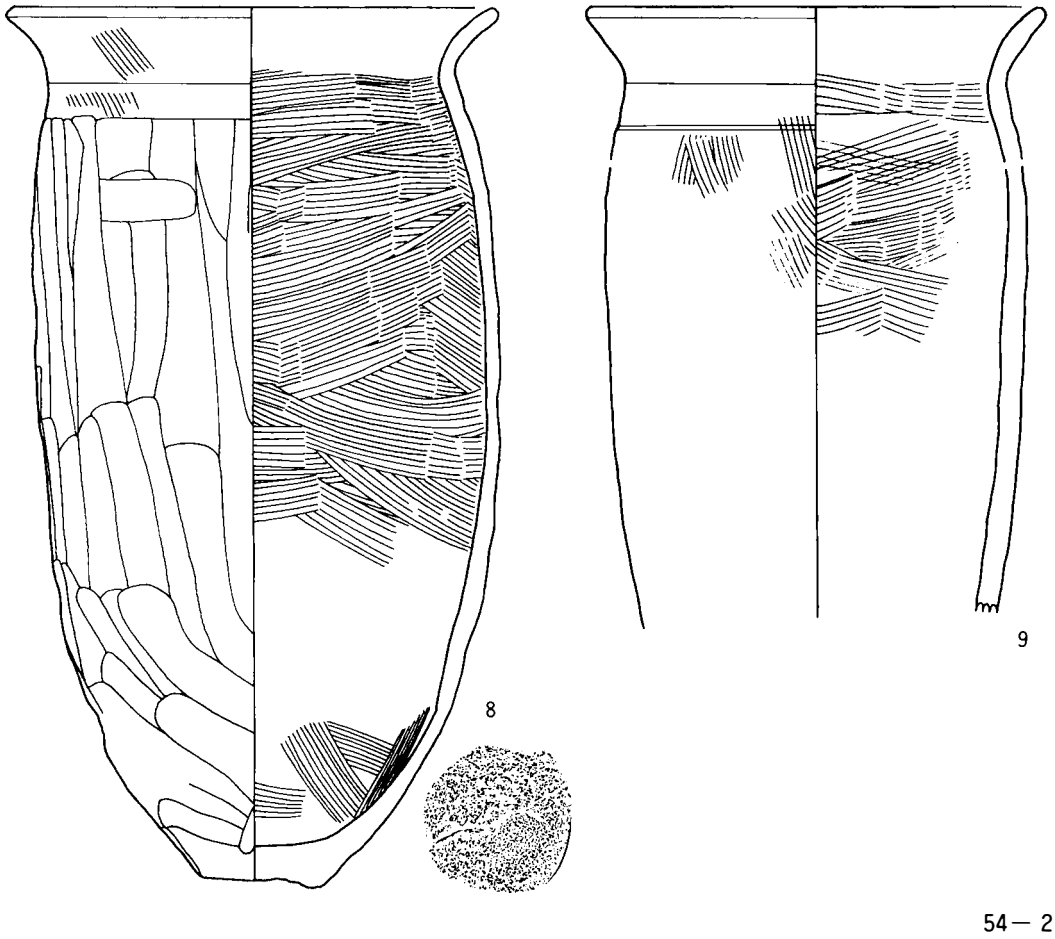
第177図　51号住居址出土土器（2）

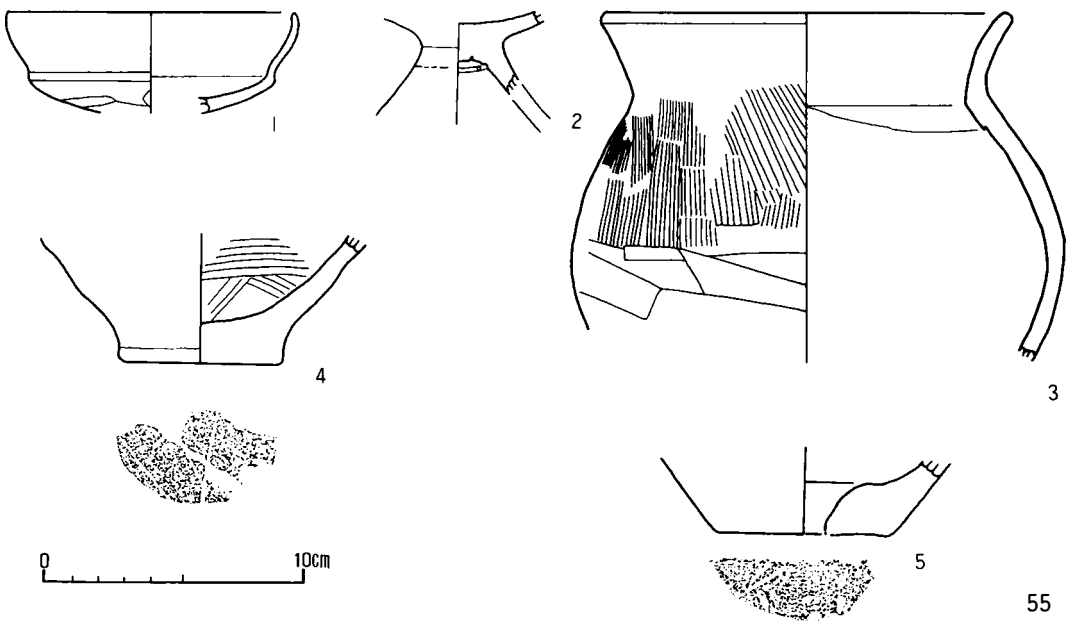


第178図　51、52号住居址出土土器

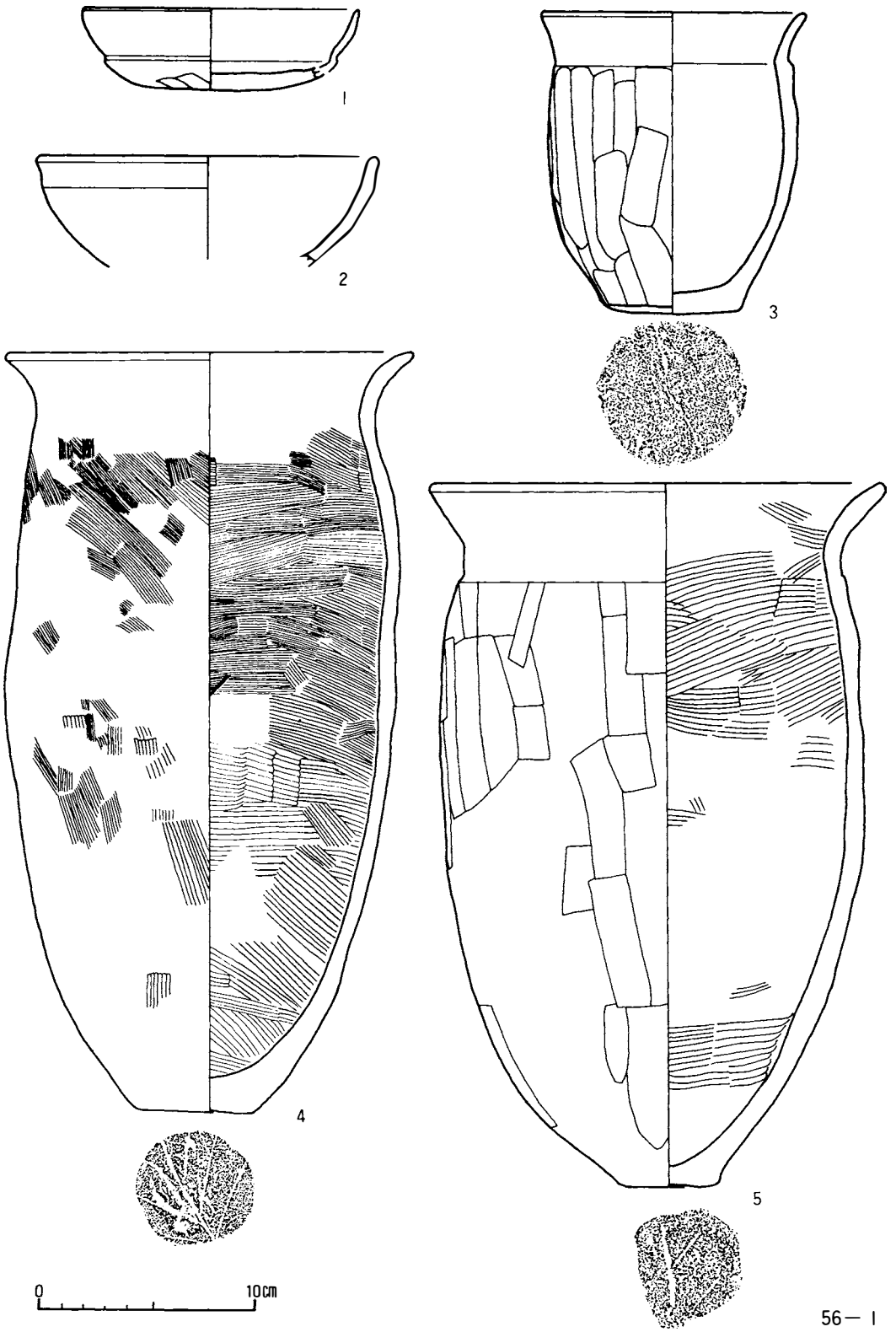


第179図　52、54号住居址出土土器

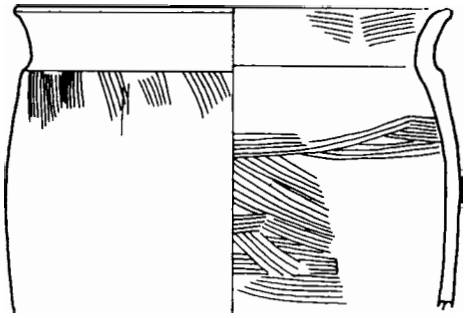




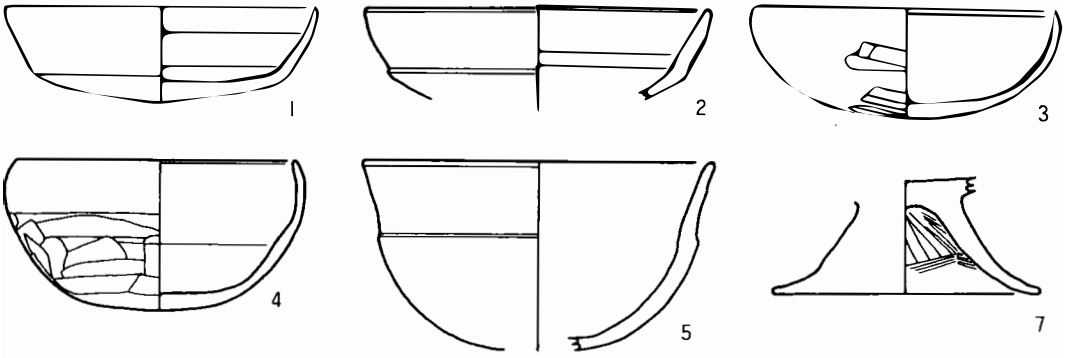
第180図　54、55号住居址出土土器

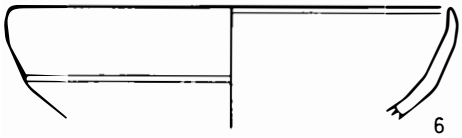


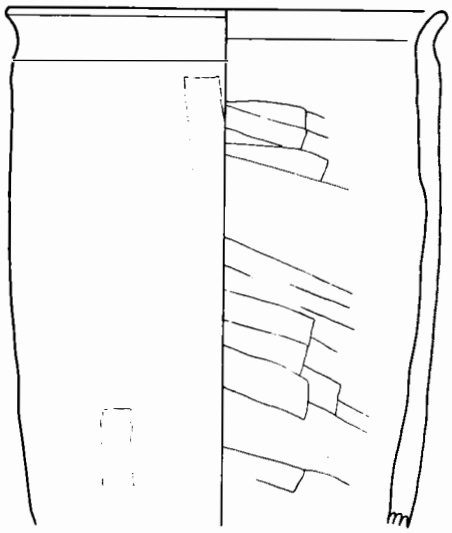
第181図　56号住居址出土土器（1）

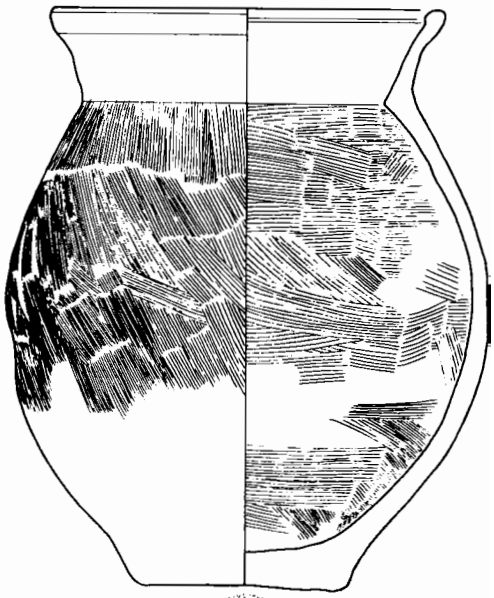


56－2





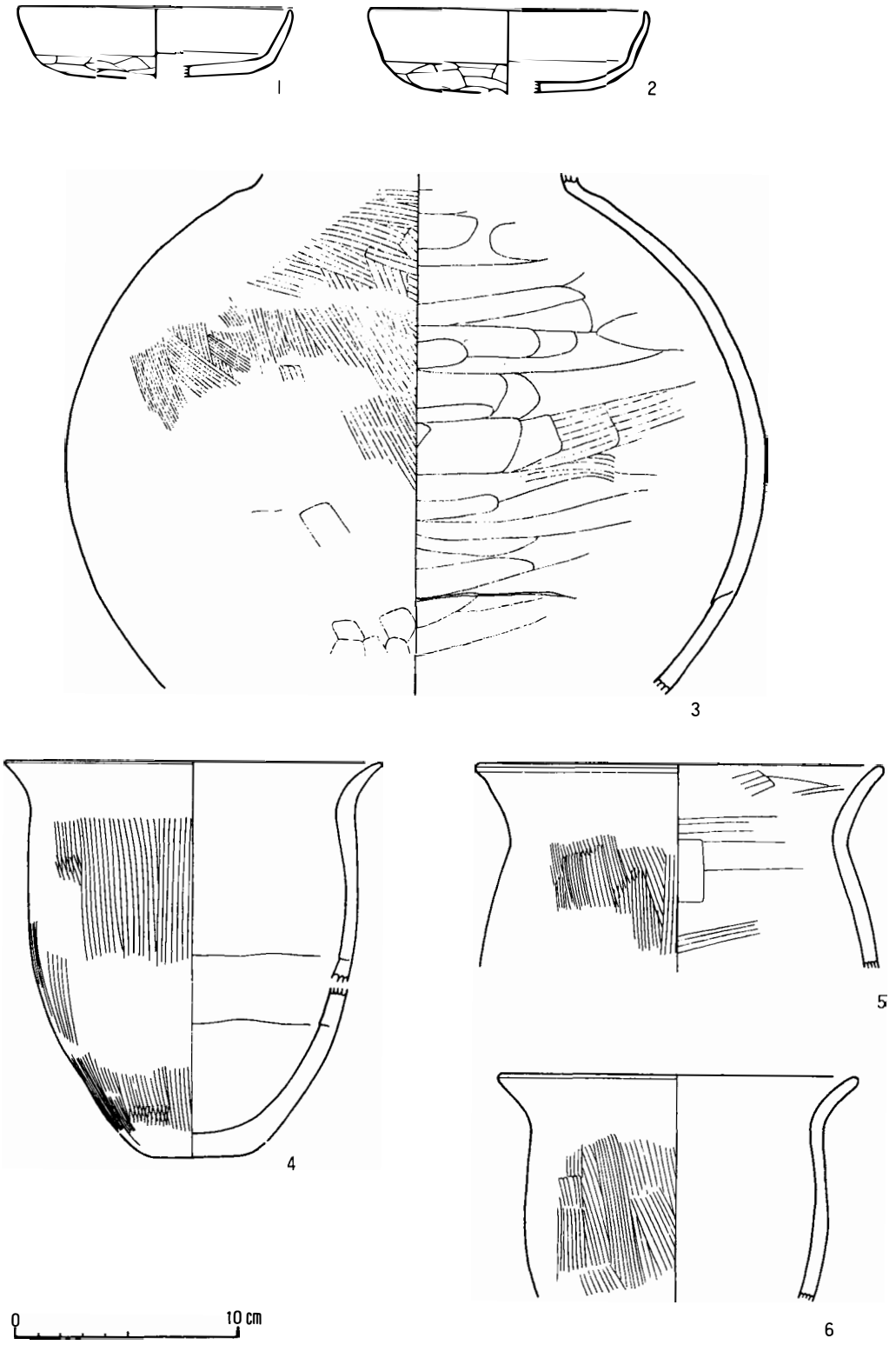




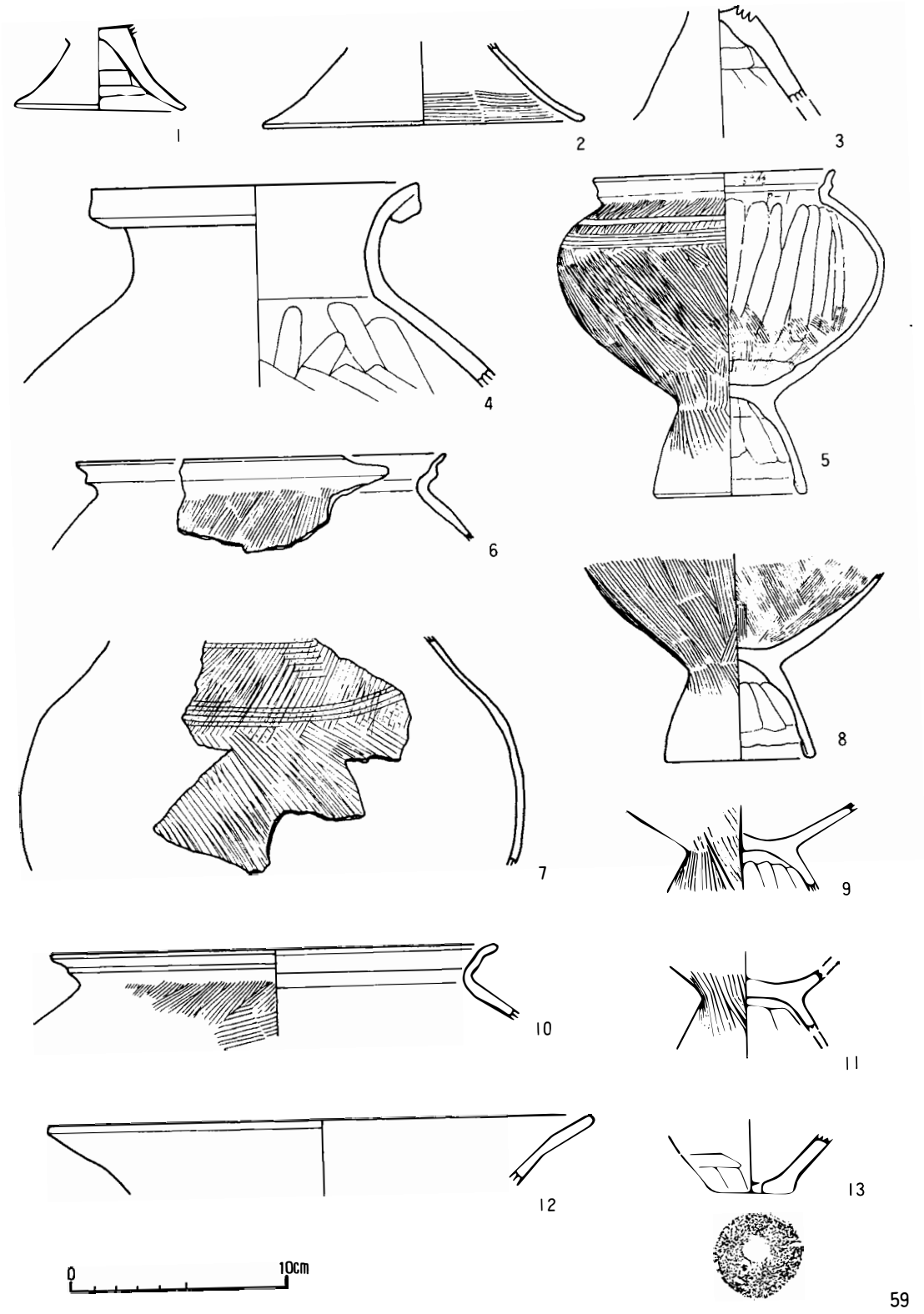
0　10cm

57

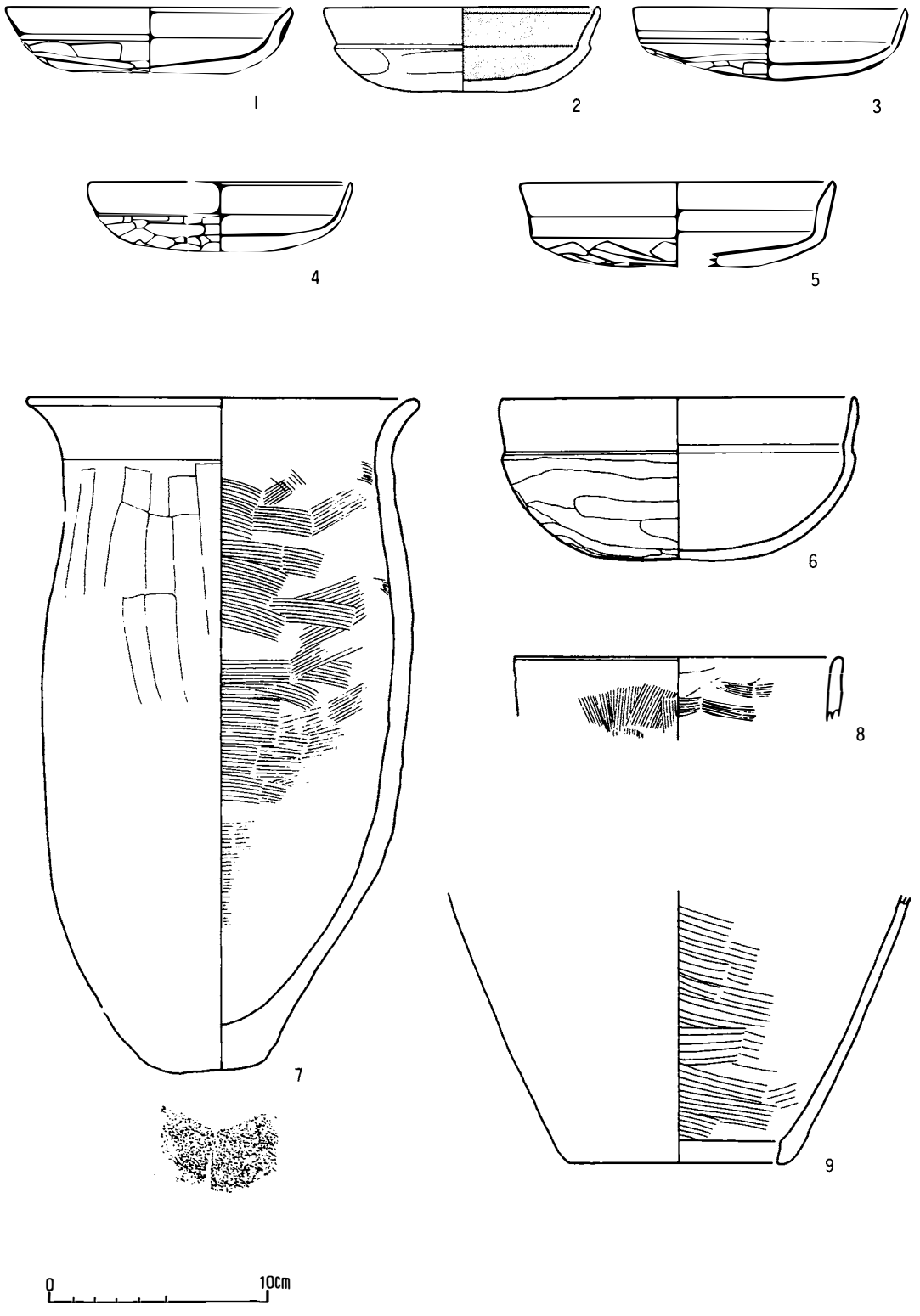
第182図　56，57号住居址出土土器



第183図　58号住居址出土土器

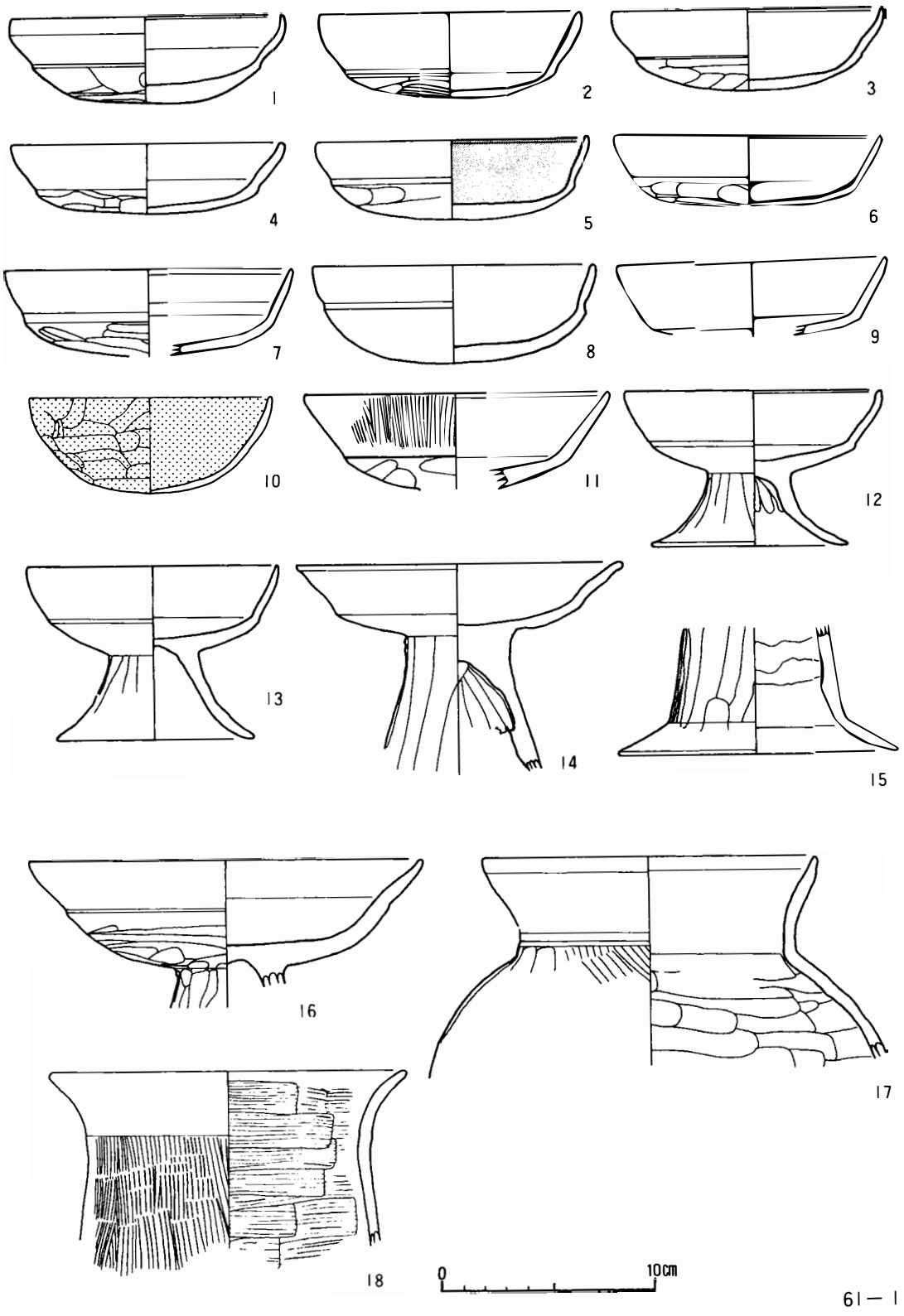


第184図　59号住居址出土土器

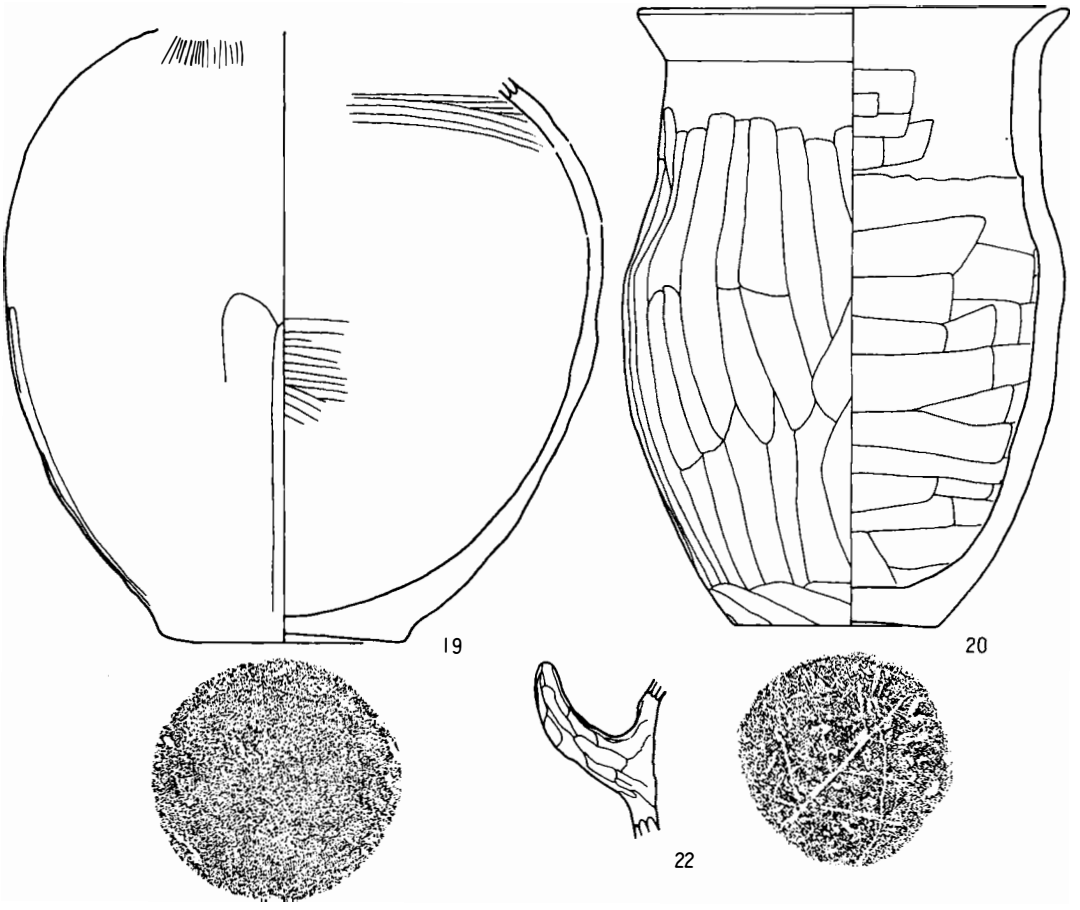


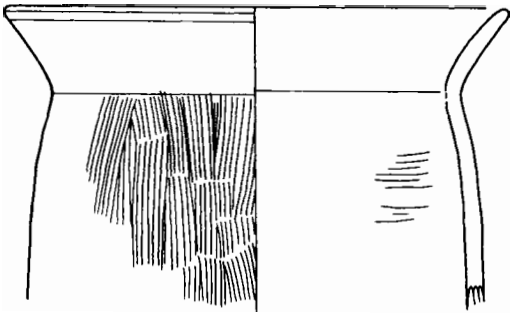
60

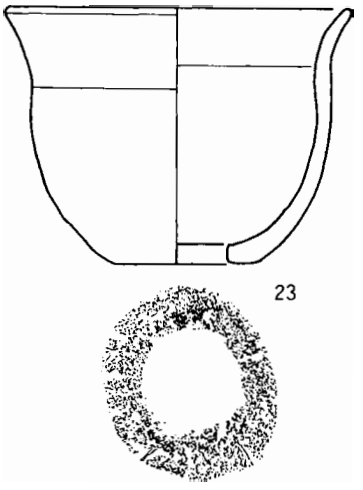
第185図　60号住居址出土土器



第186図　61号住居址出土土器（1）



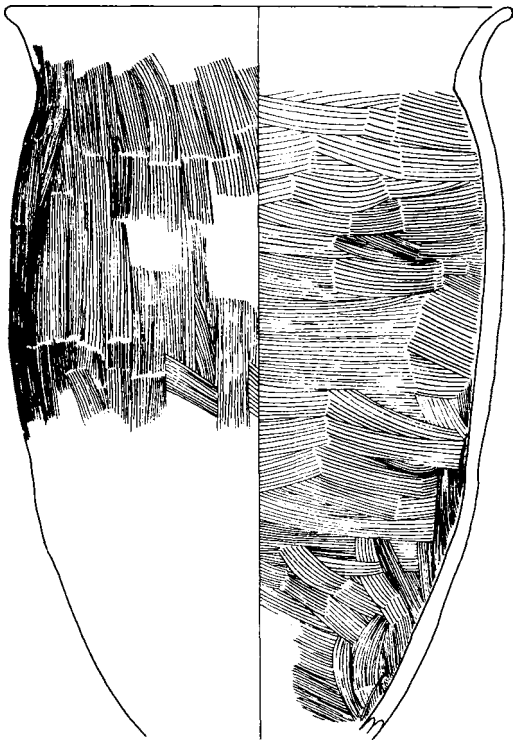




0 10cm

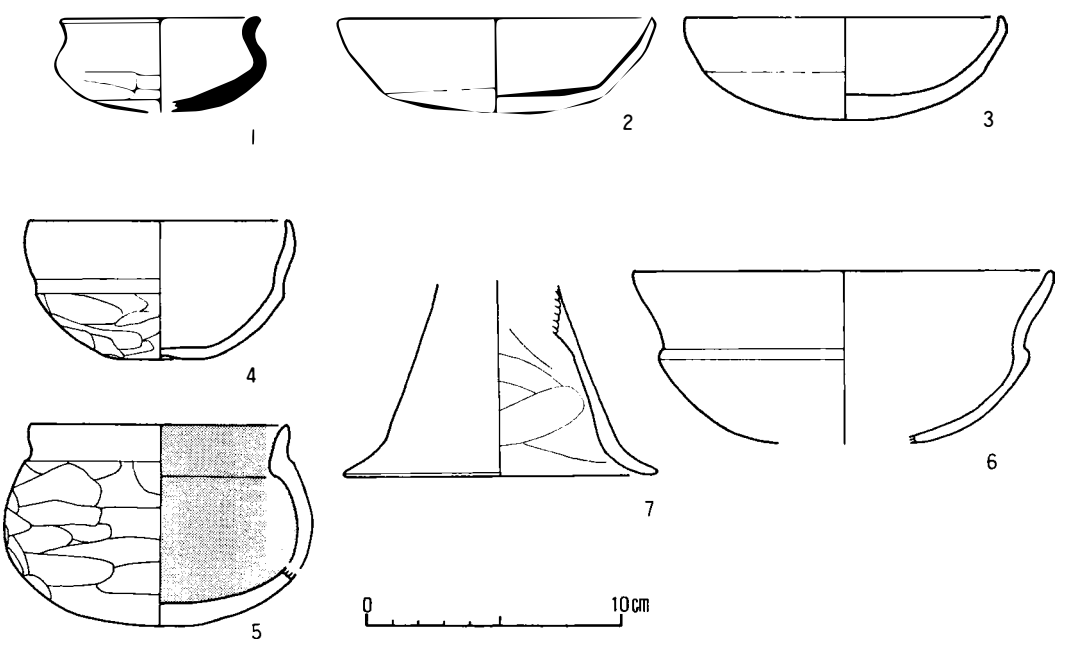
61－2

第187図　61号住居出土土器（2）



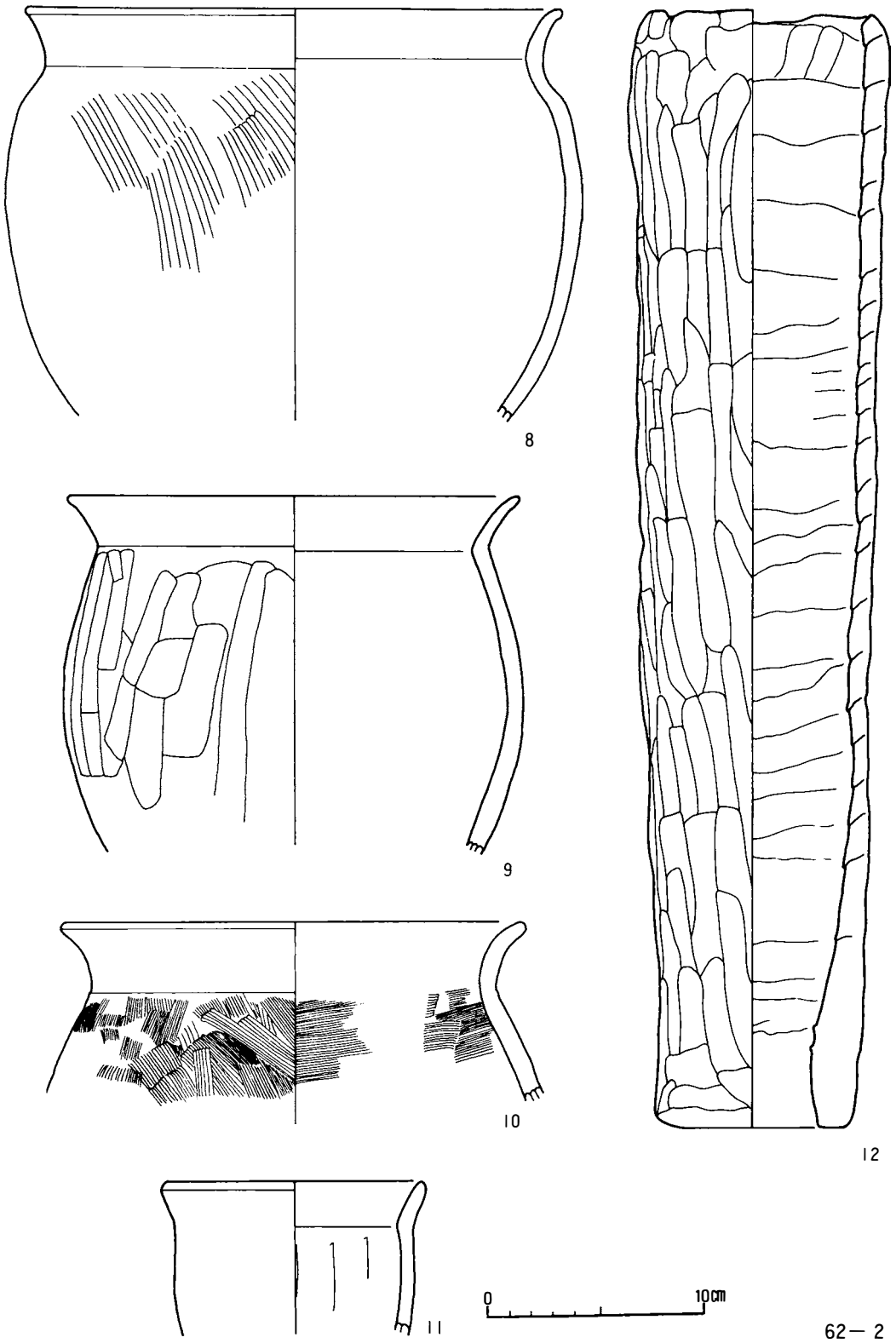
24

61－3

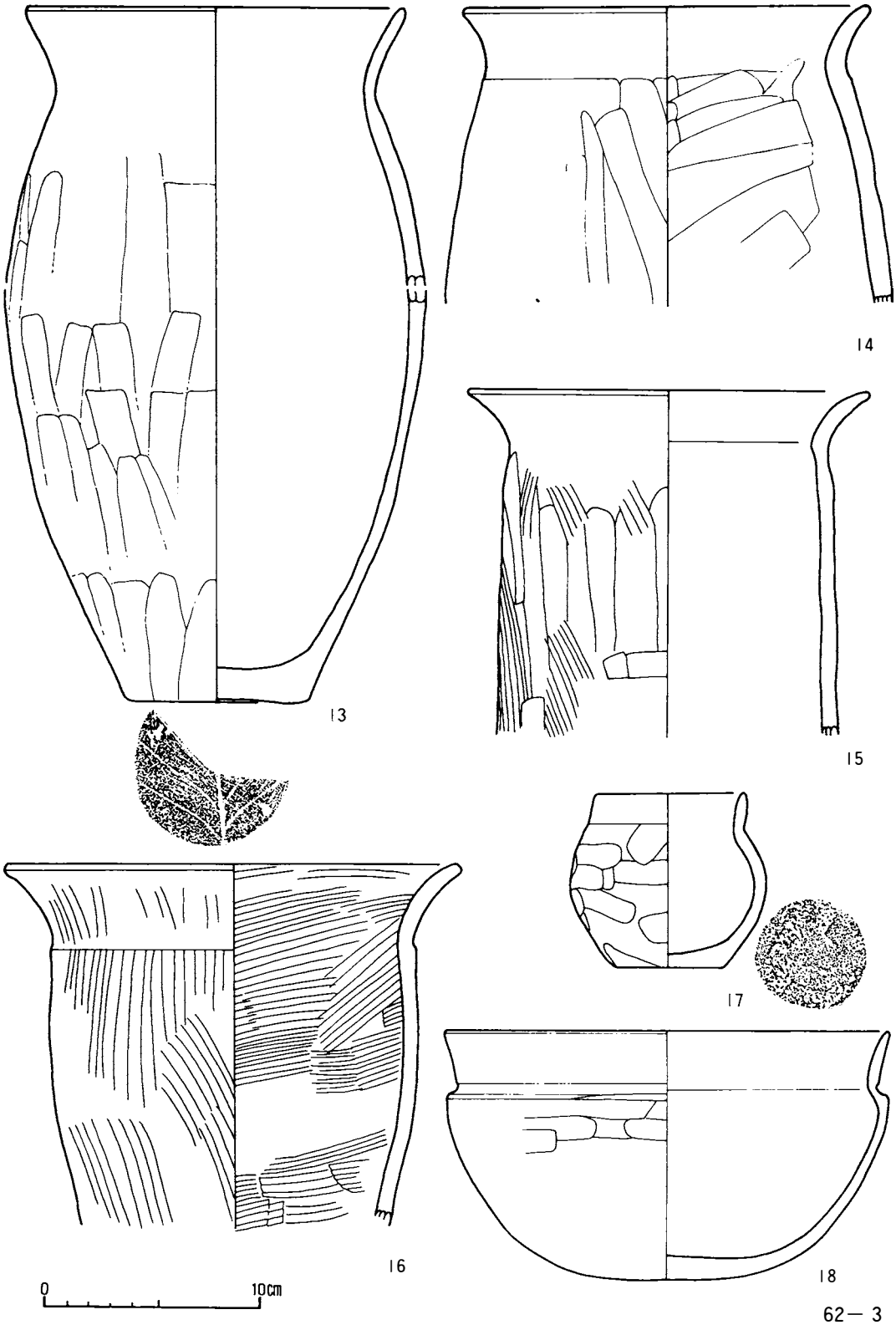


62－1

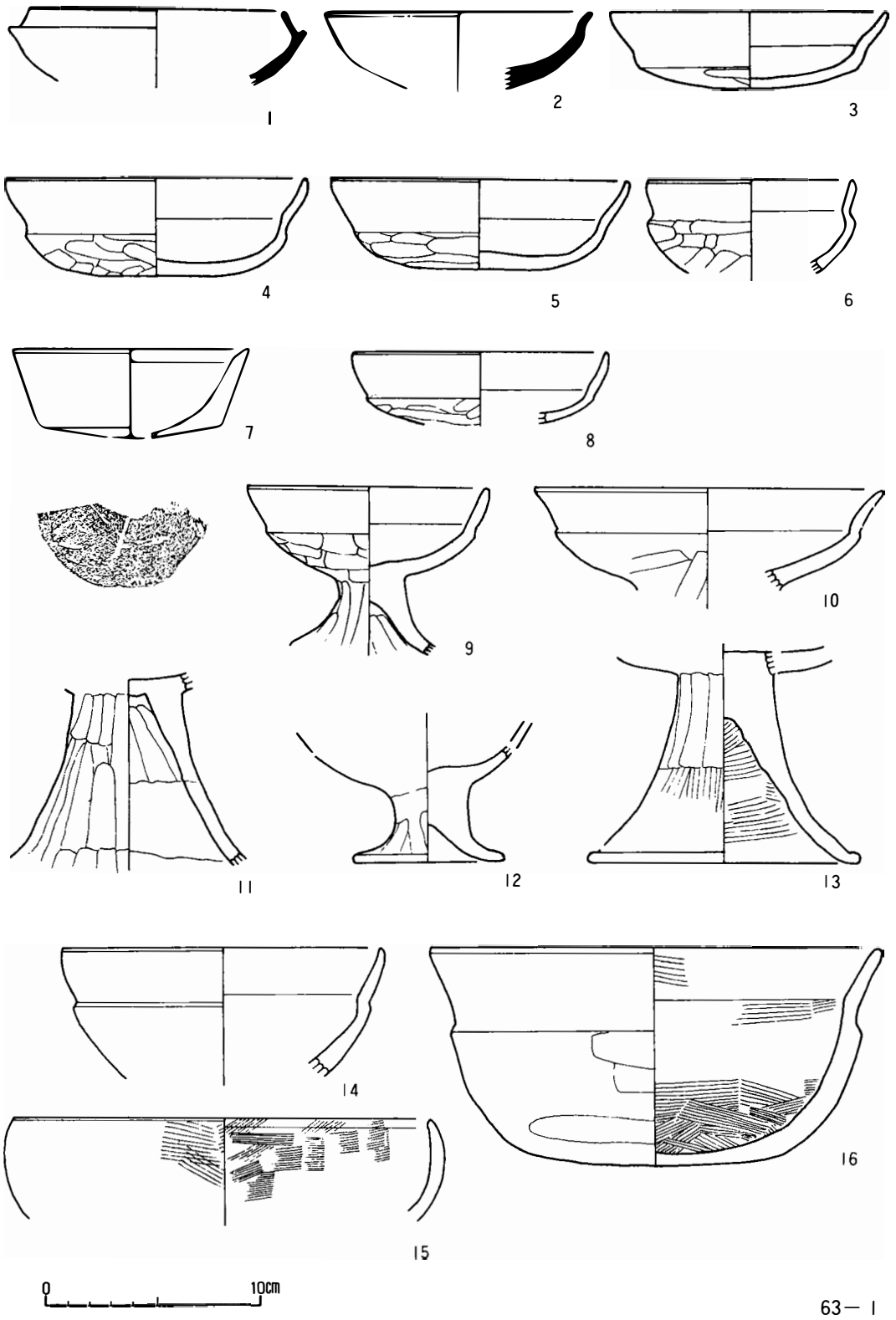
第188図　61、62号住居址出土土器



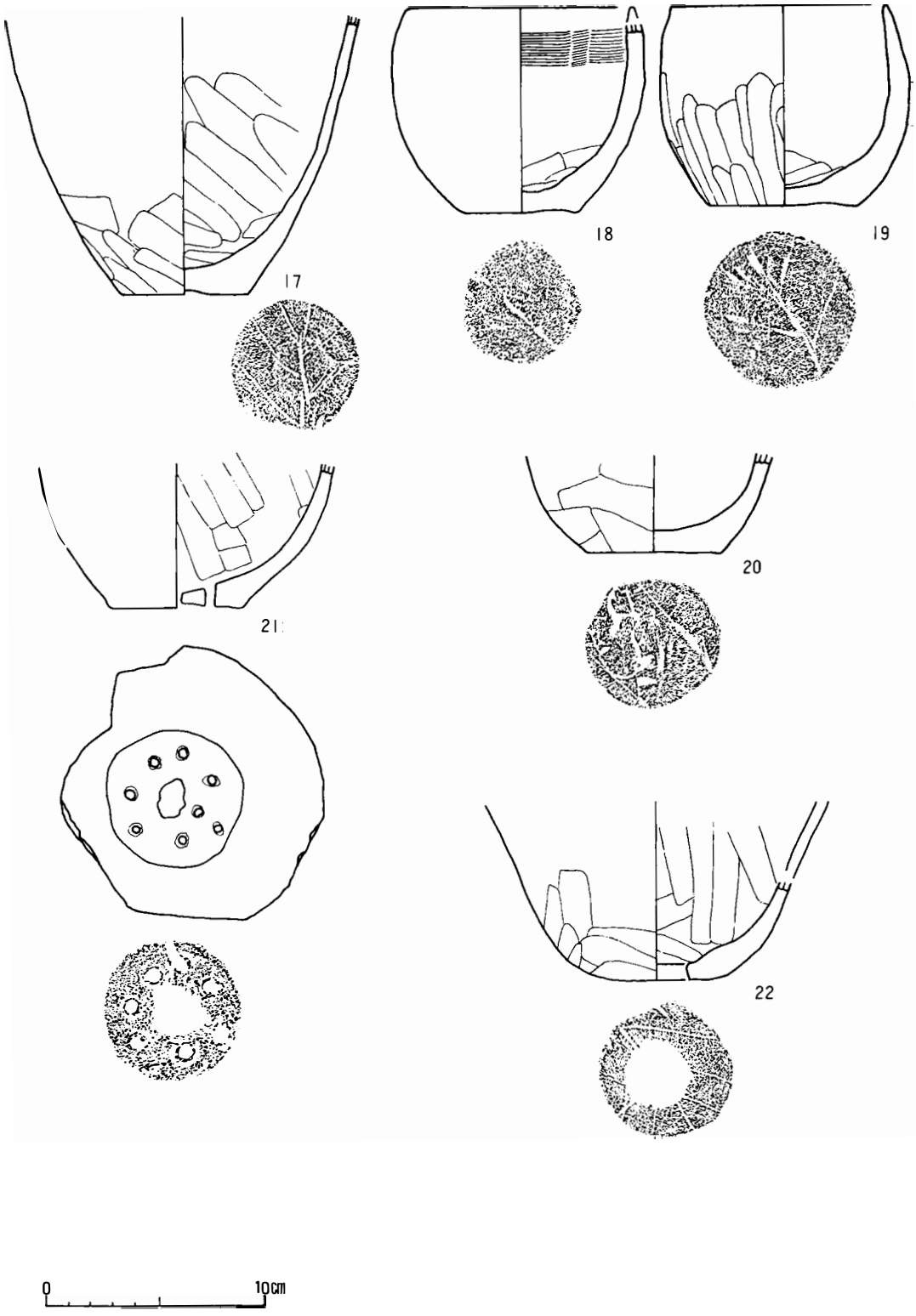
第189図　62号住居址出土土器 (2)



第190図　62号住居址出土土器（3）

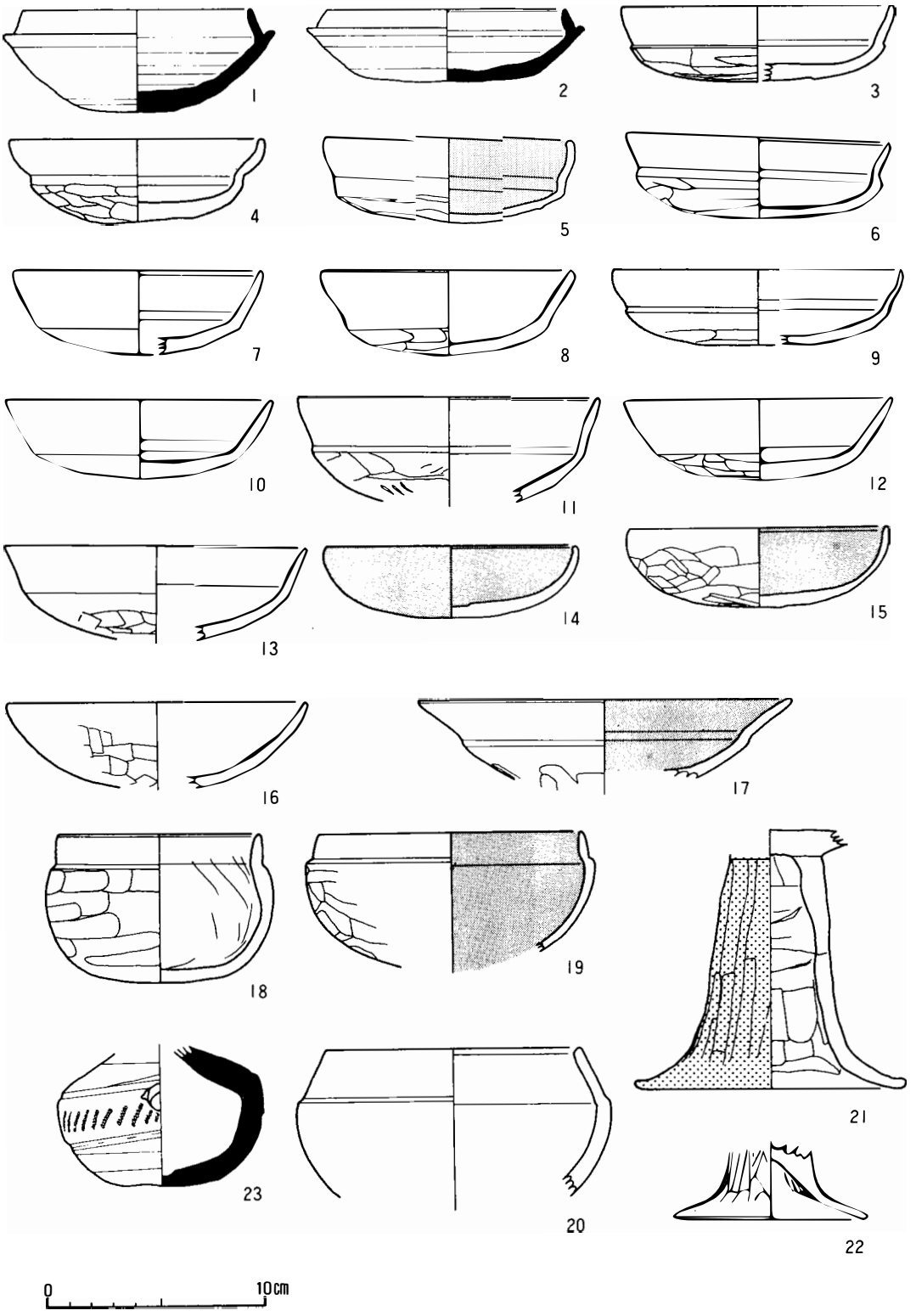


第191図　63号住居址出土土器（1）

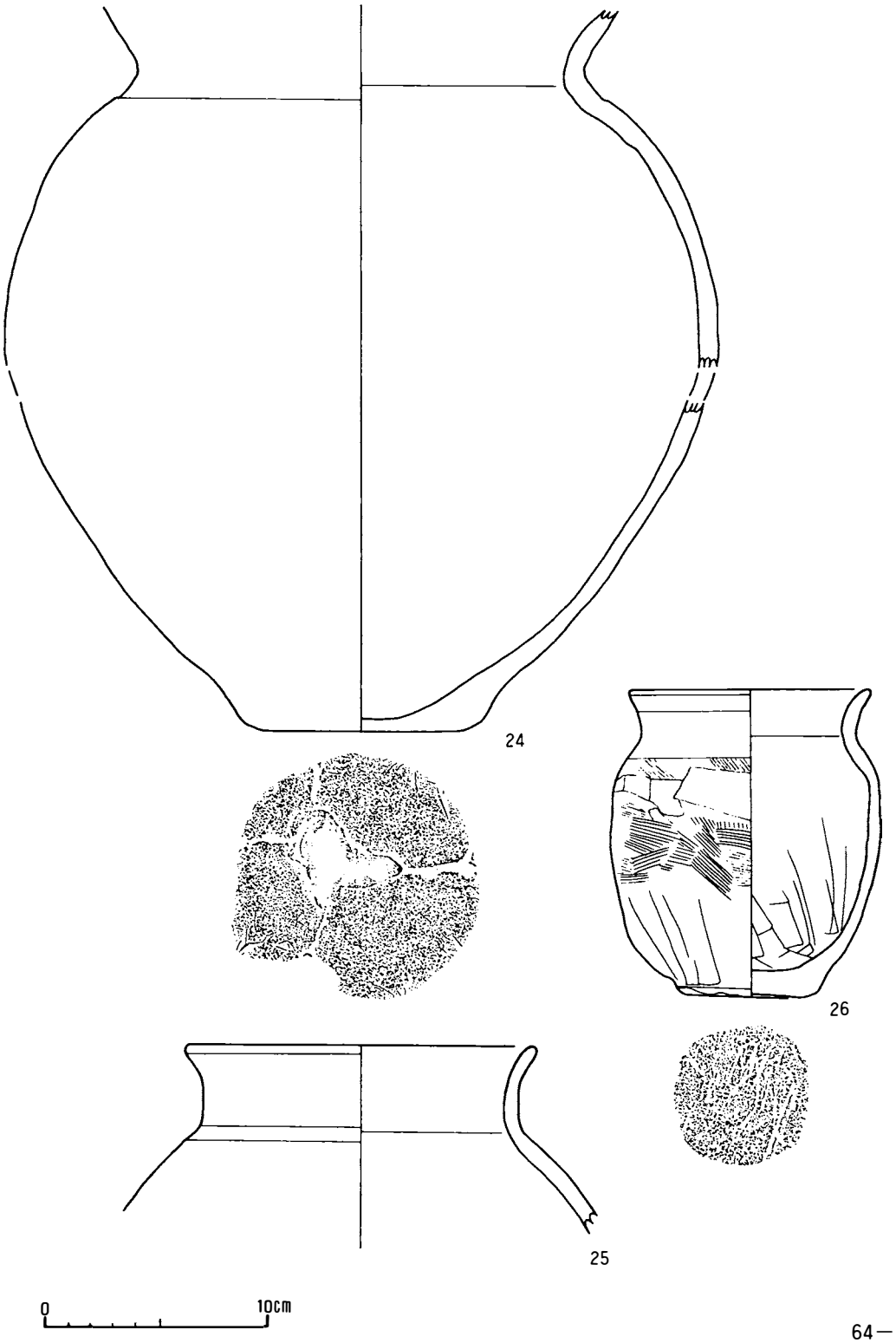


63－2

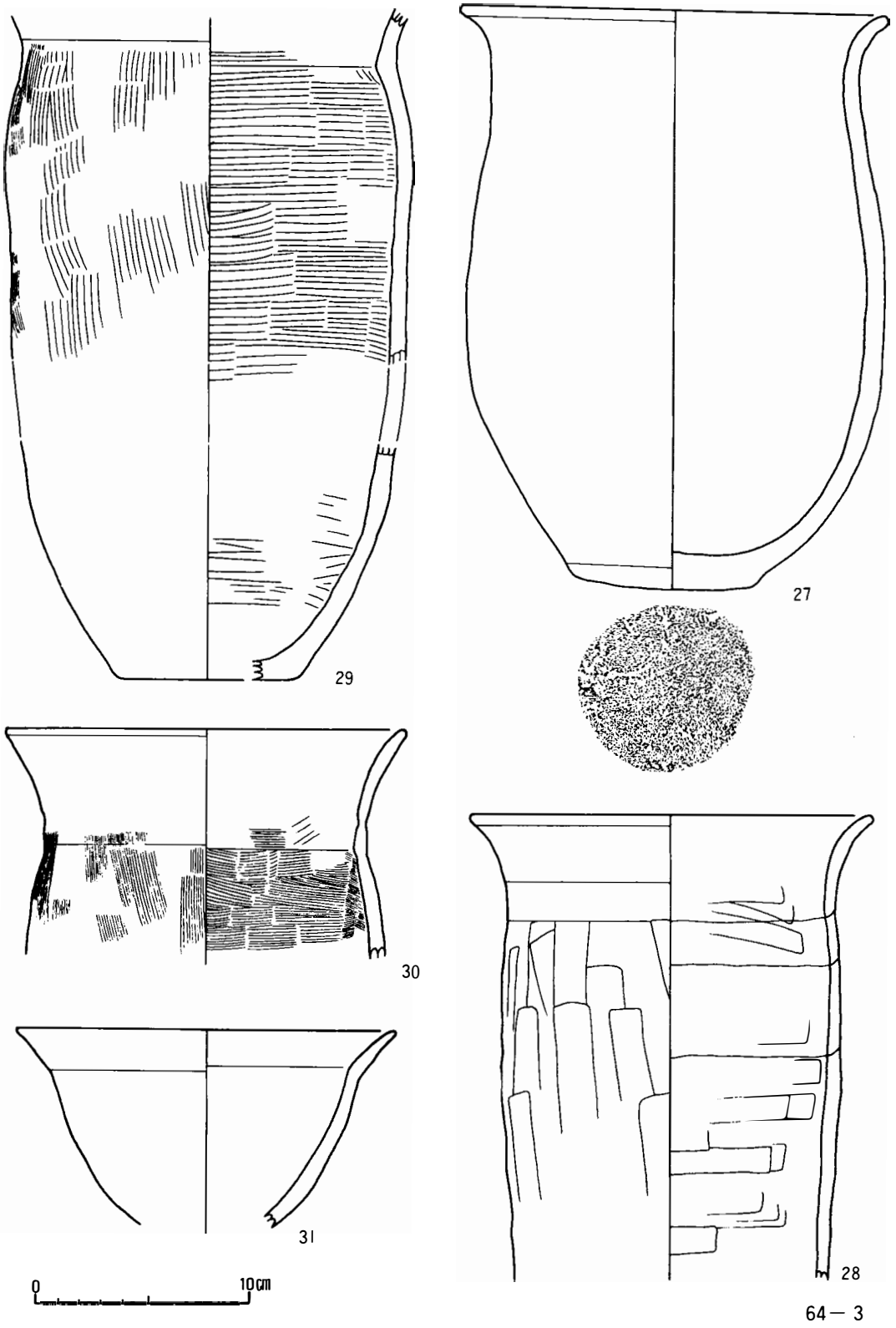
第192図　63号住居址出土土器（2）



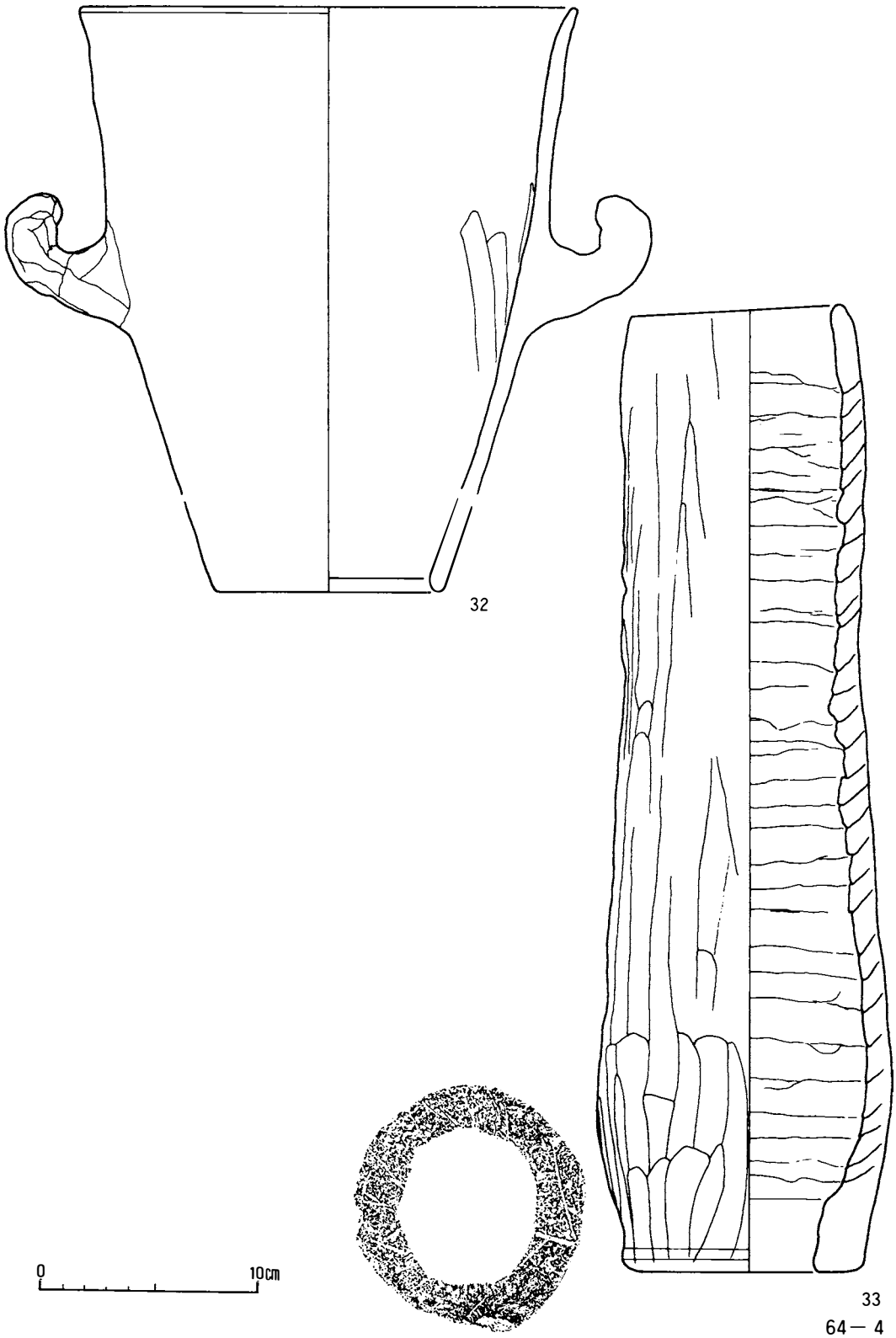
第193図　64号住居址出土土器（1）



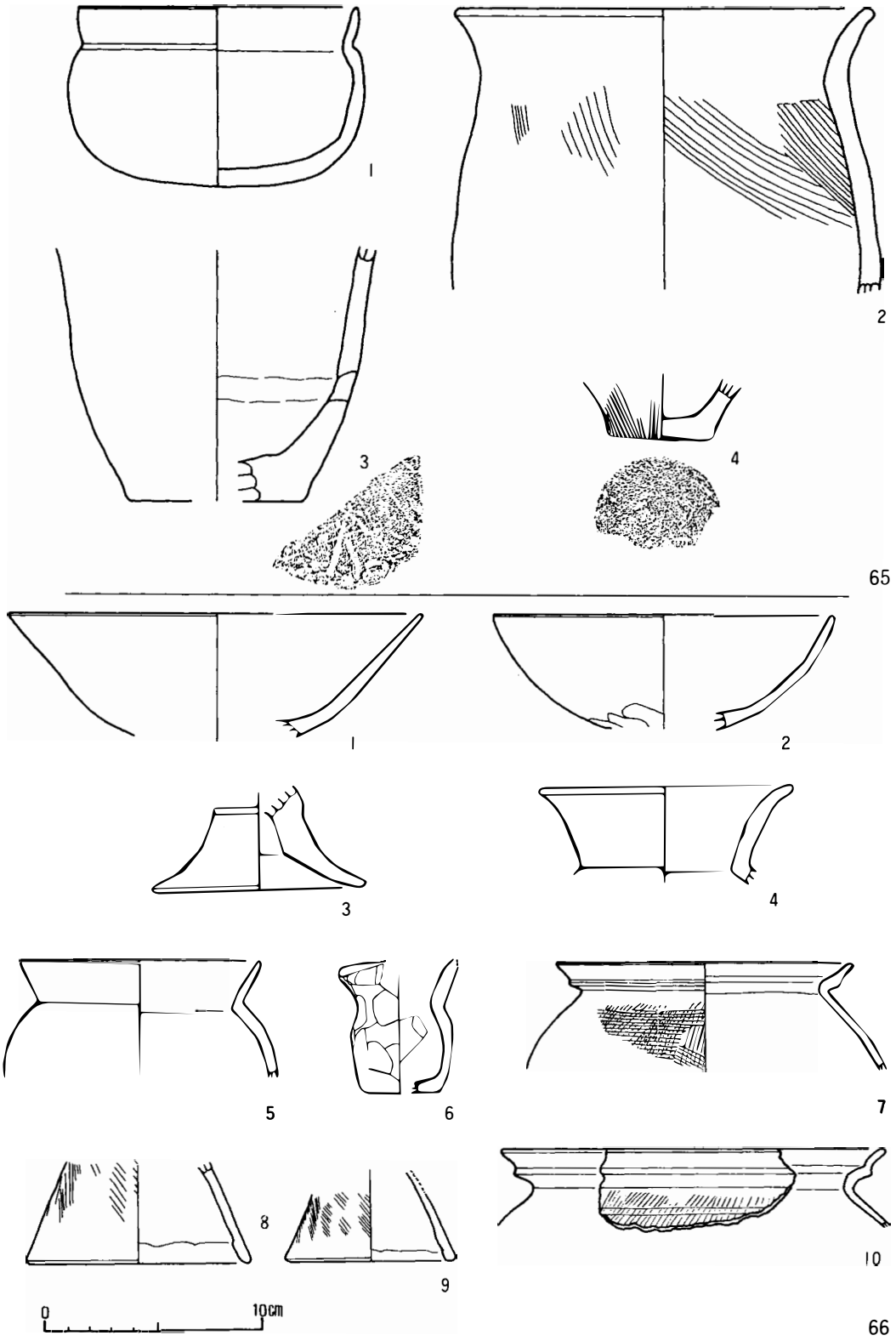
第194図　64号住居址出土土器（2）



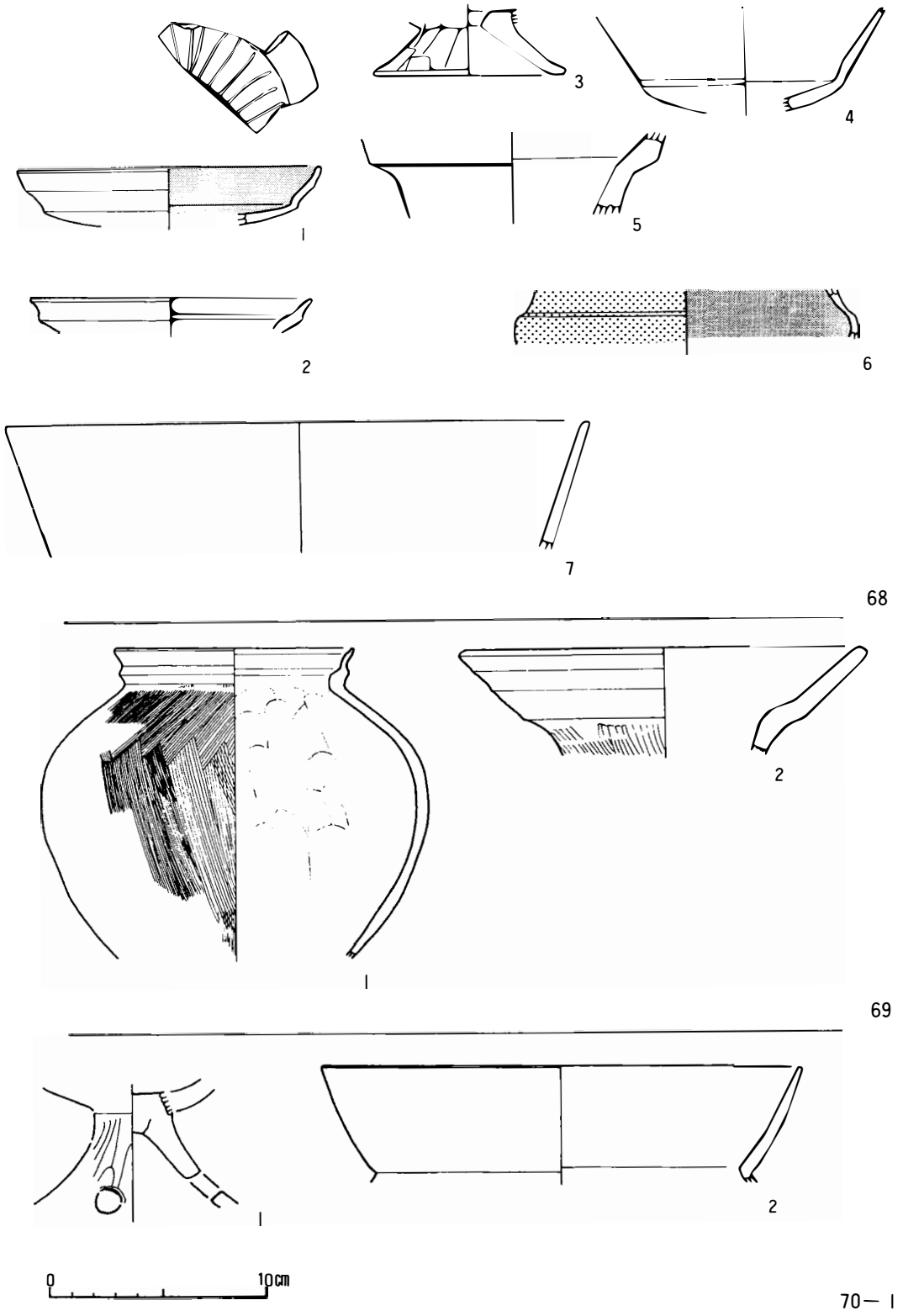
第195図　64号住居址出土土器（3）



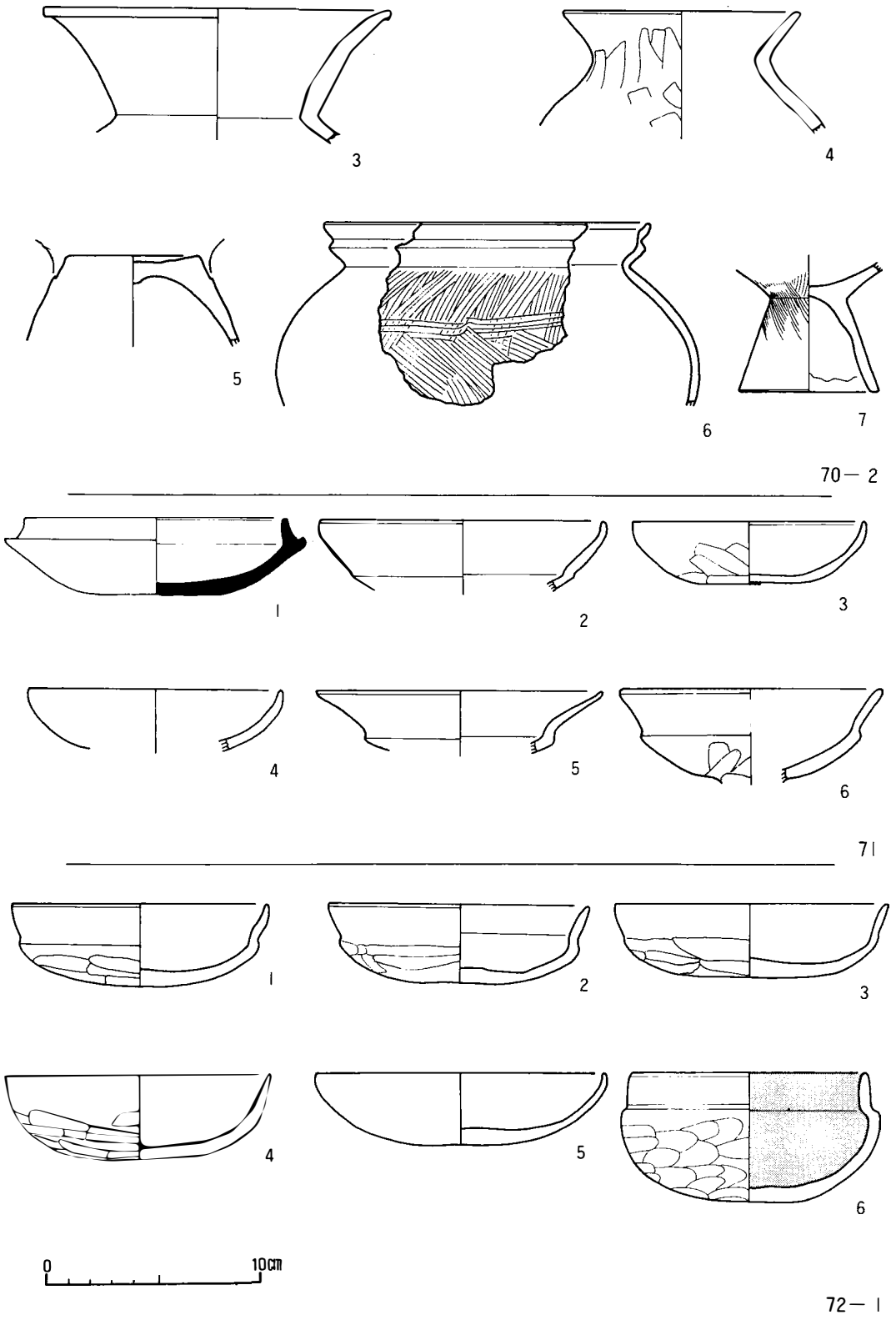
第196図　64号住居址出土土器（4）



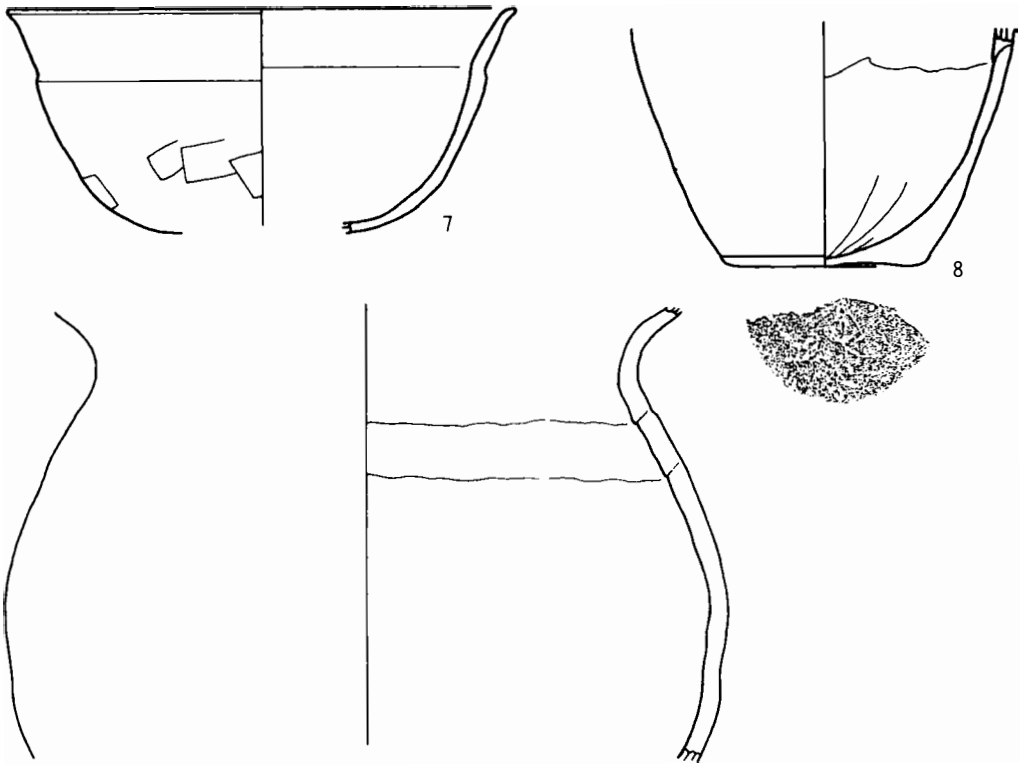
第197図　65、66号住居址出土土器

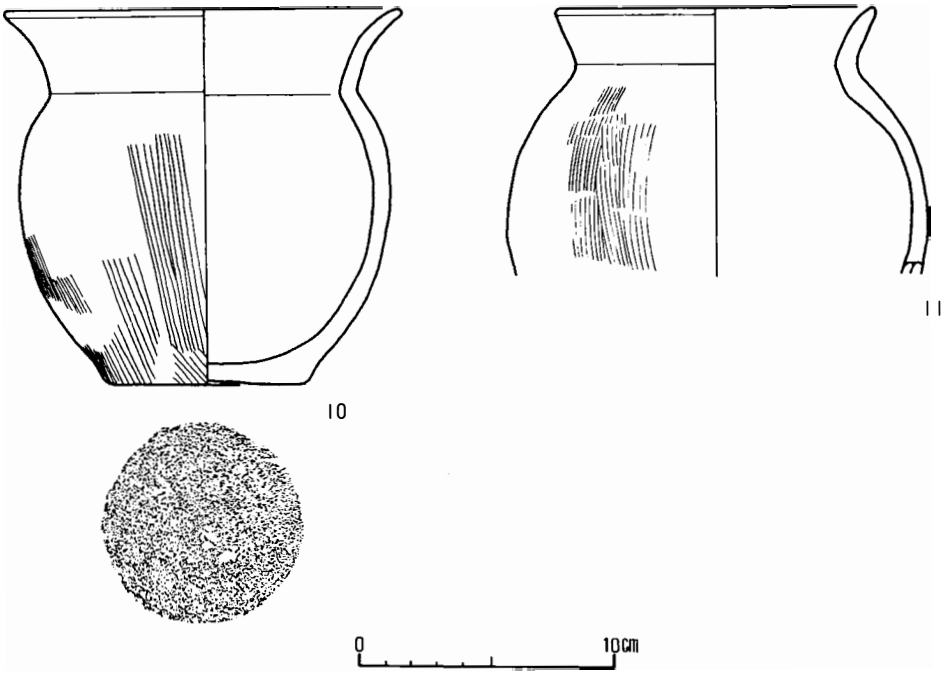


第198図　68、69、70号住居址出土土器



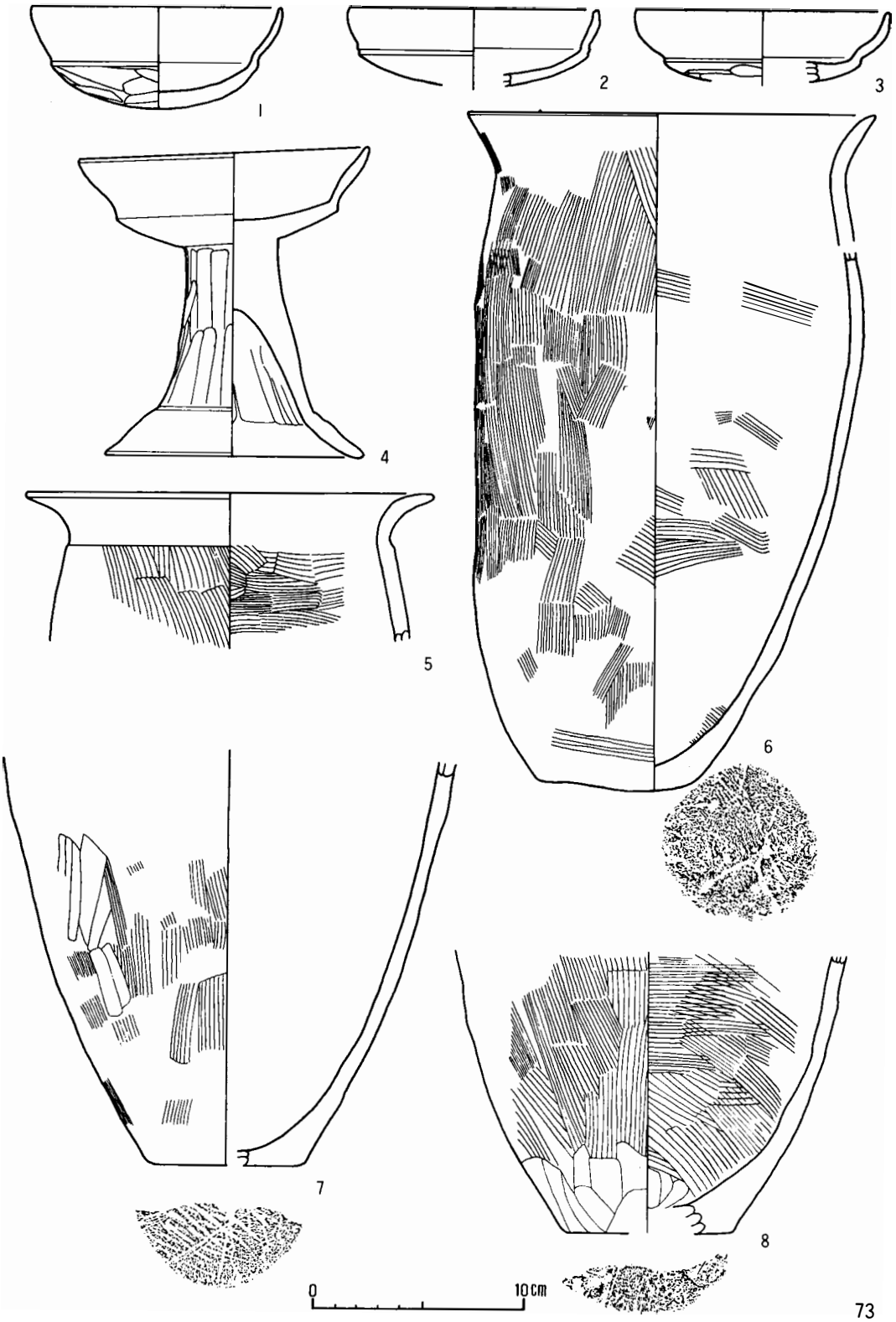
第199図　70、71、72号住居址出土土器



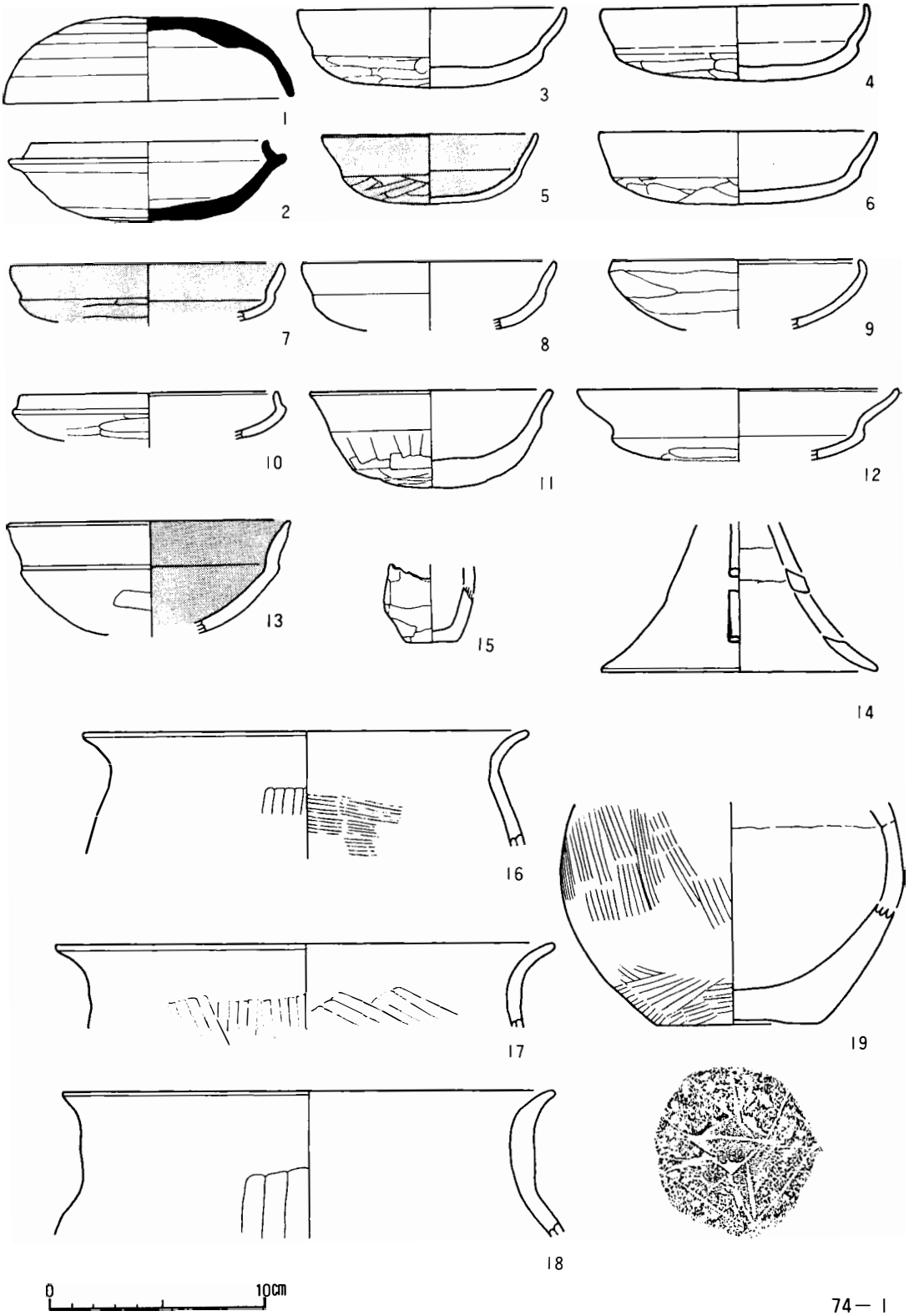


72－2

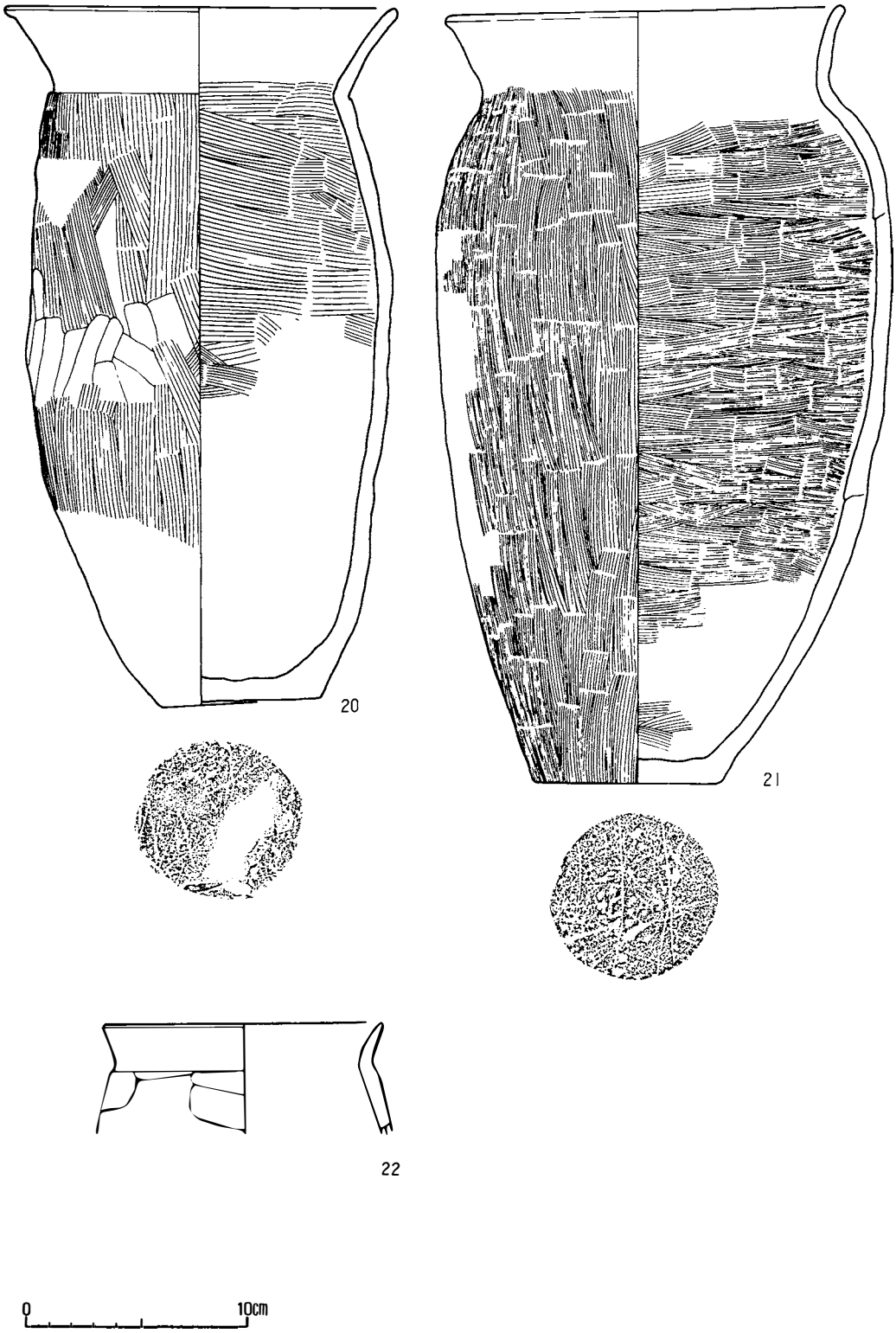
第200図　72号住居址出土土器（2）



第201図　73号住居址出土土器

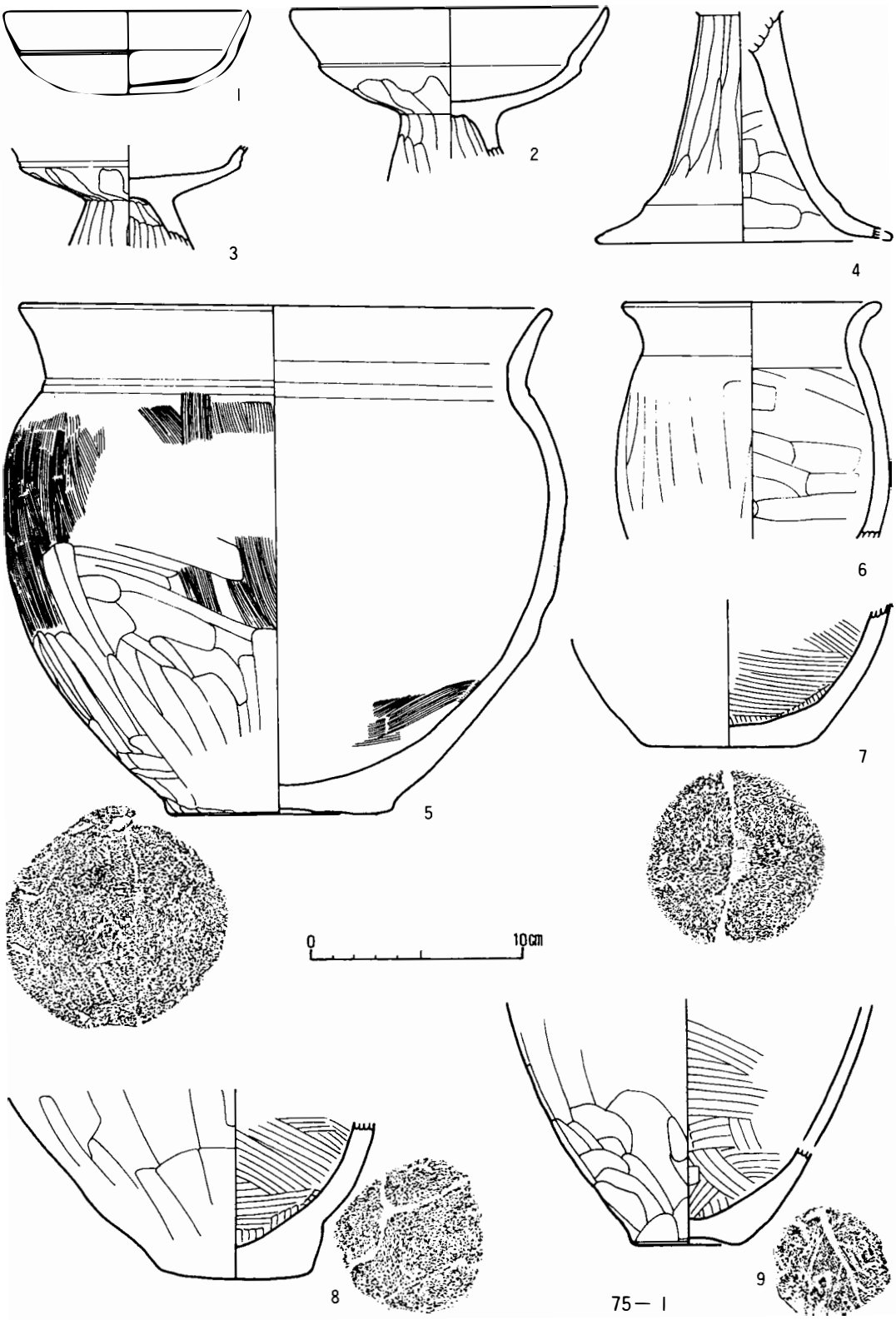


第202図　74号住居址出土土器（1）

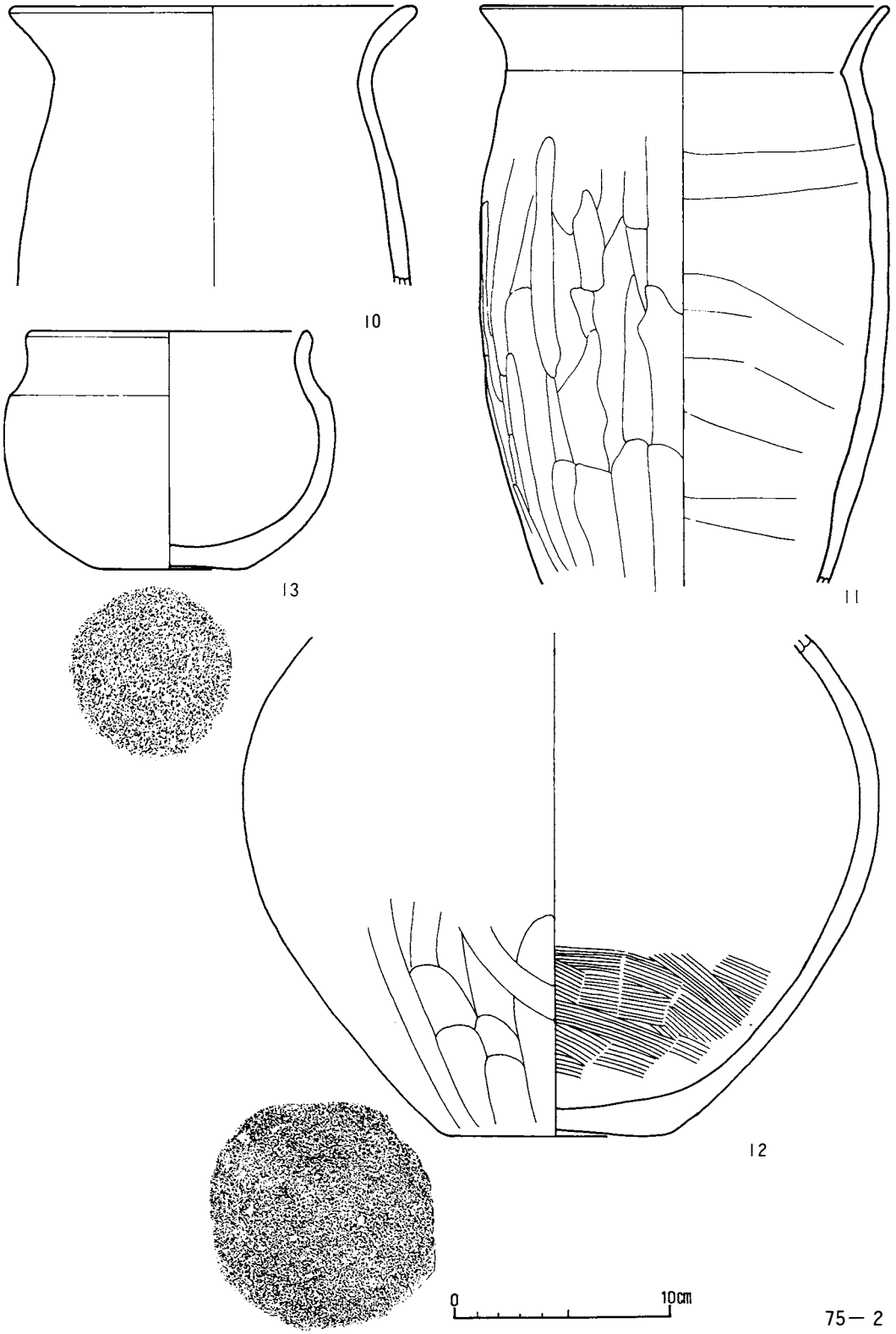


74－2

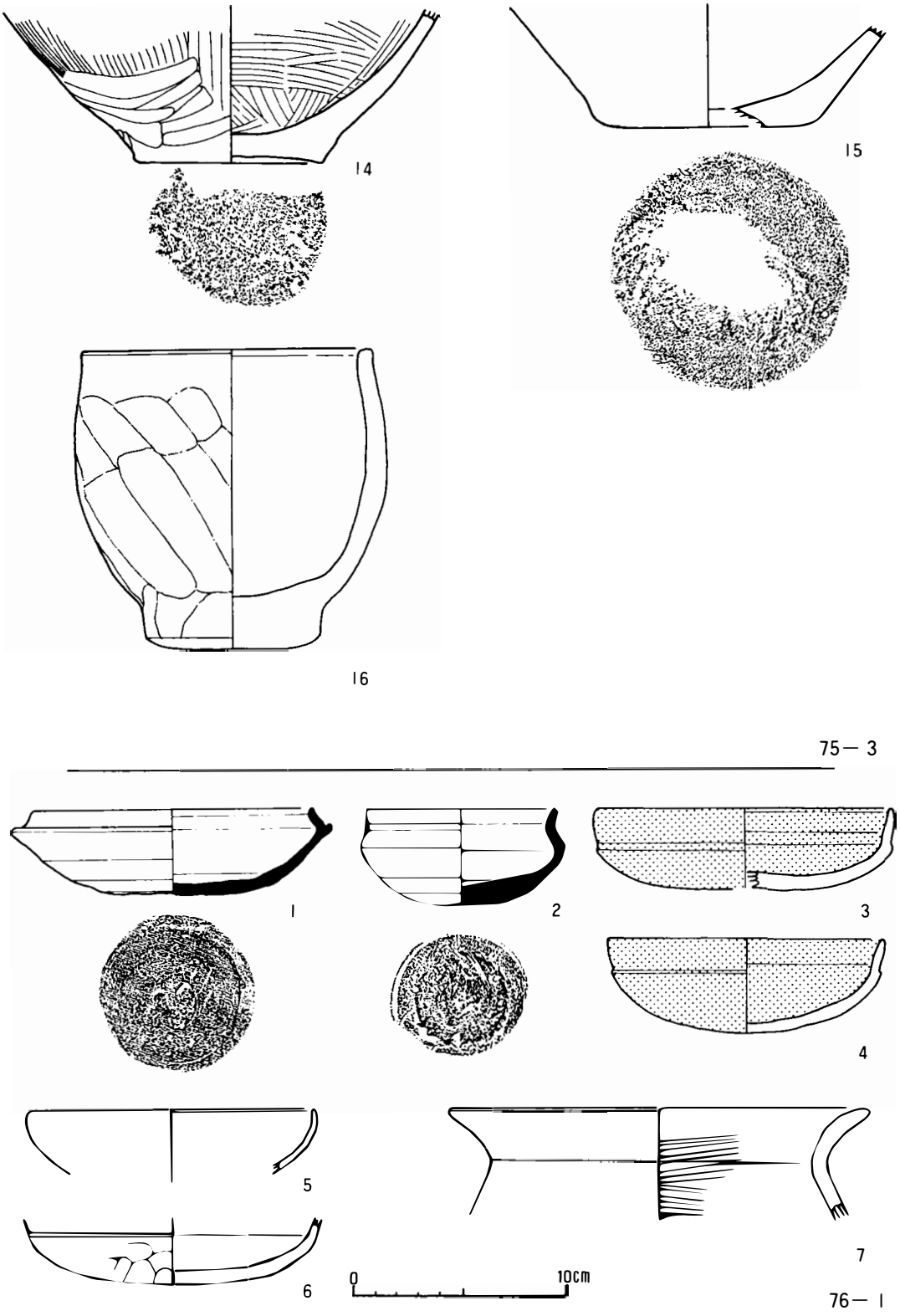
第203図　74号住居址出土土器（2）



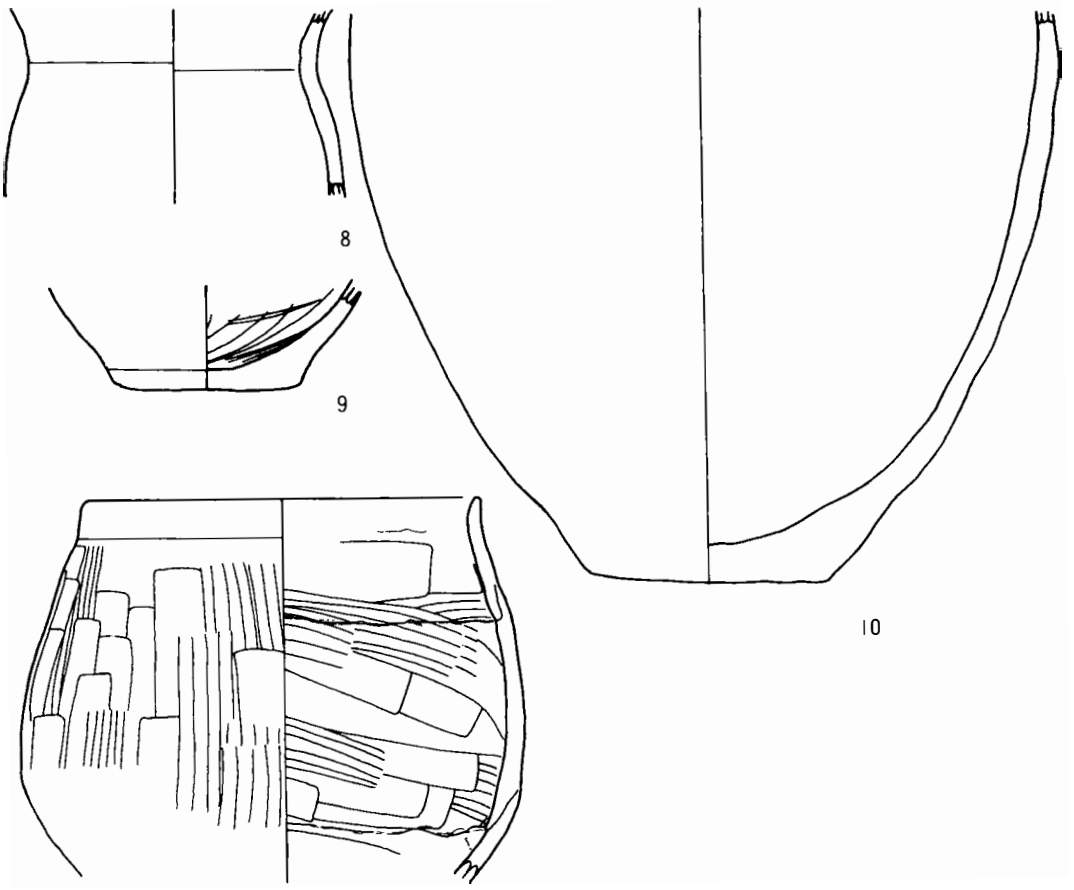
第204図　75号住居址出土土器（1）



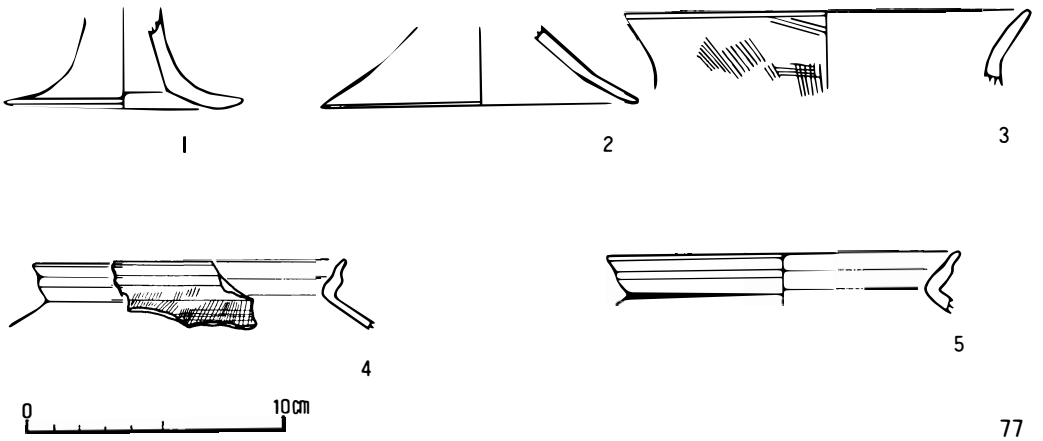
第205図　75号住居址出土土器（2）



第206図　75、76号住居址出土土器

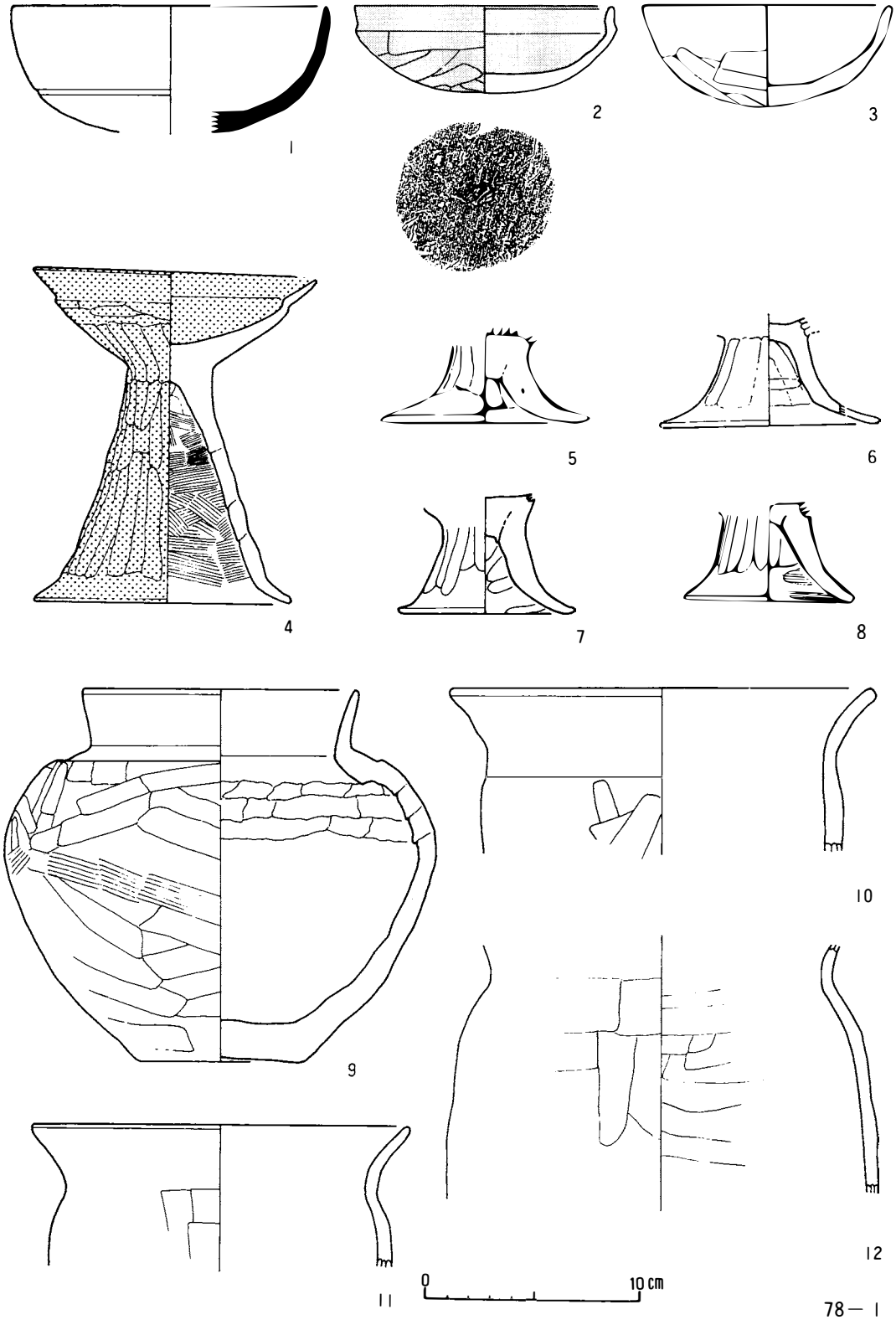


76－2

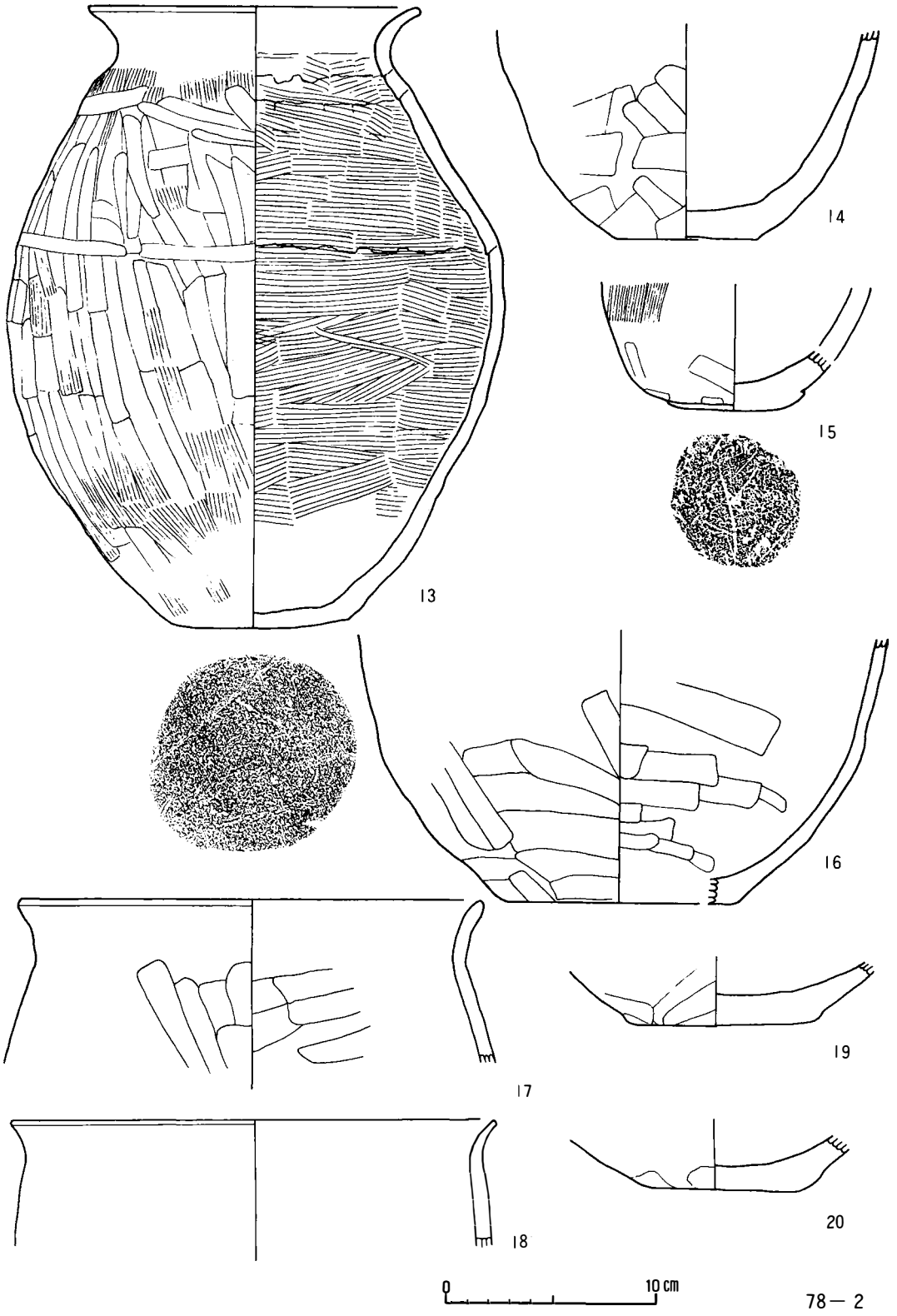


77

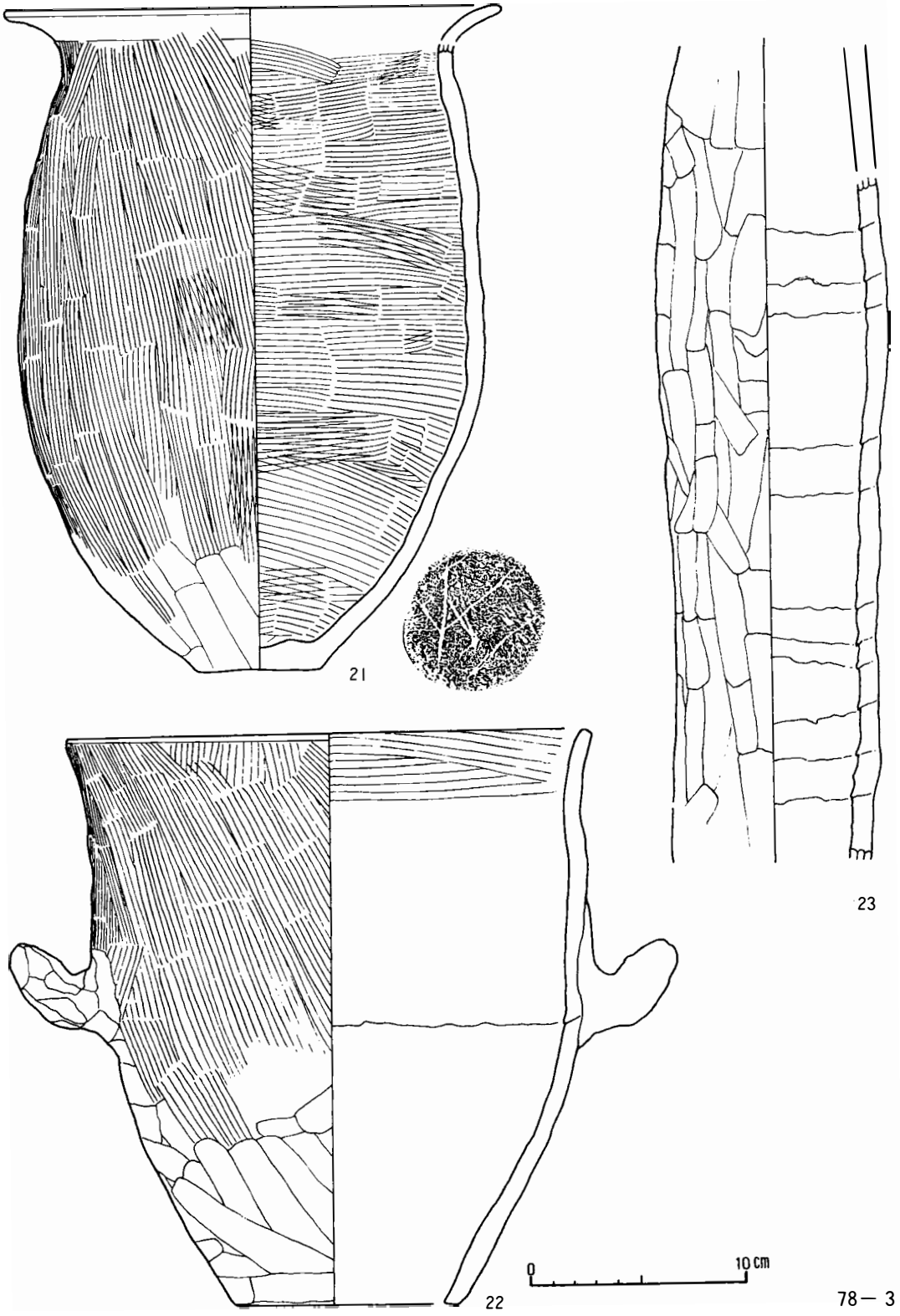
第207図　76、77号住居址出土土器



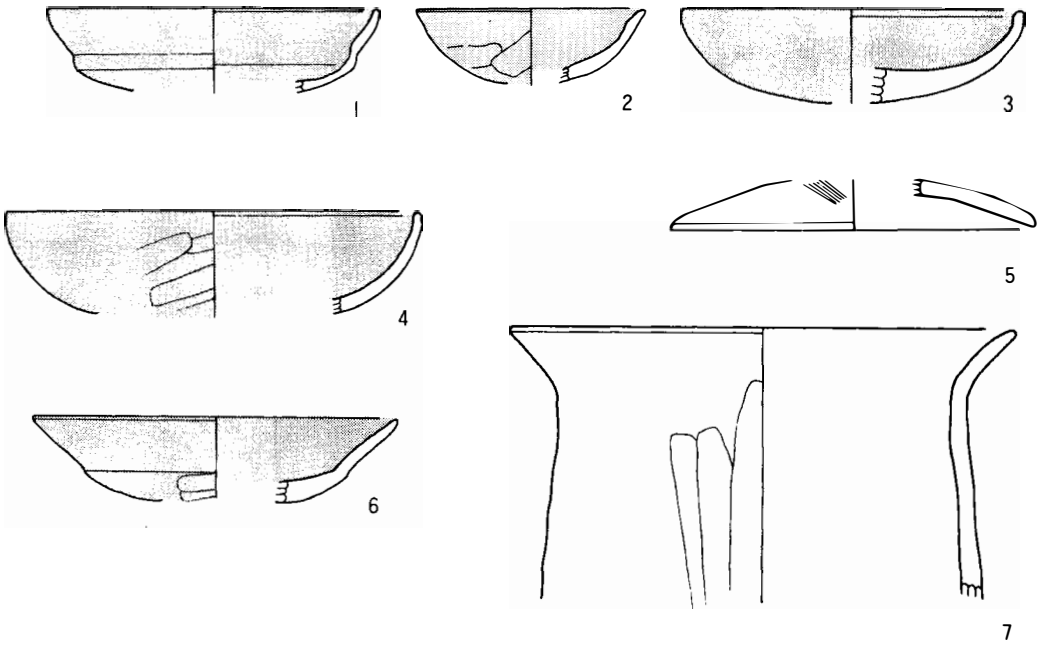
第208図　78号住居址出土土器（1）



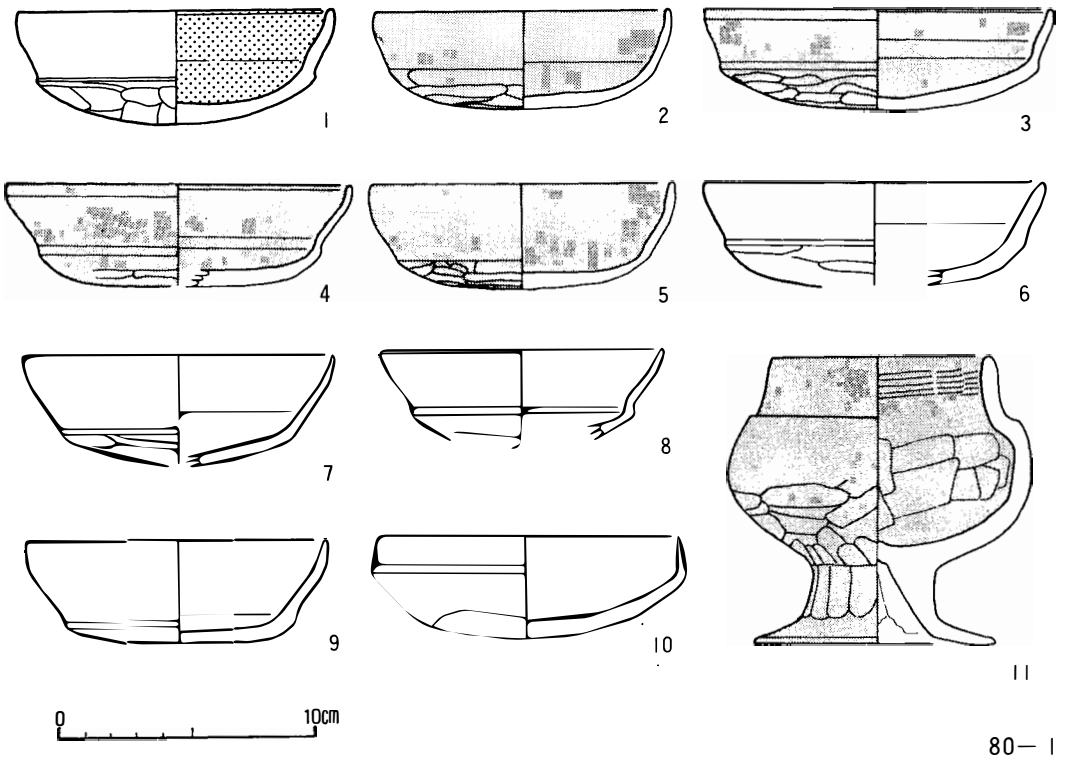
第209図　78号住居址出土土器（2）



第210図　78号住居址出土土器（3）

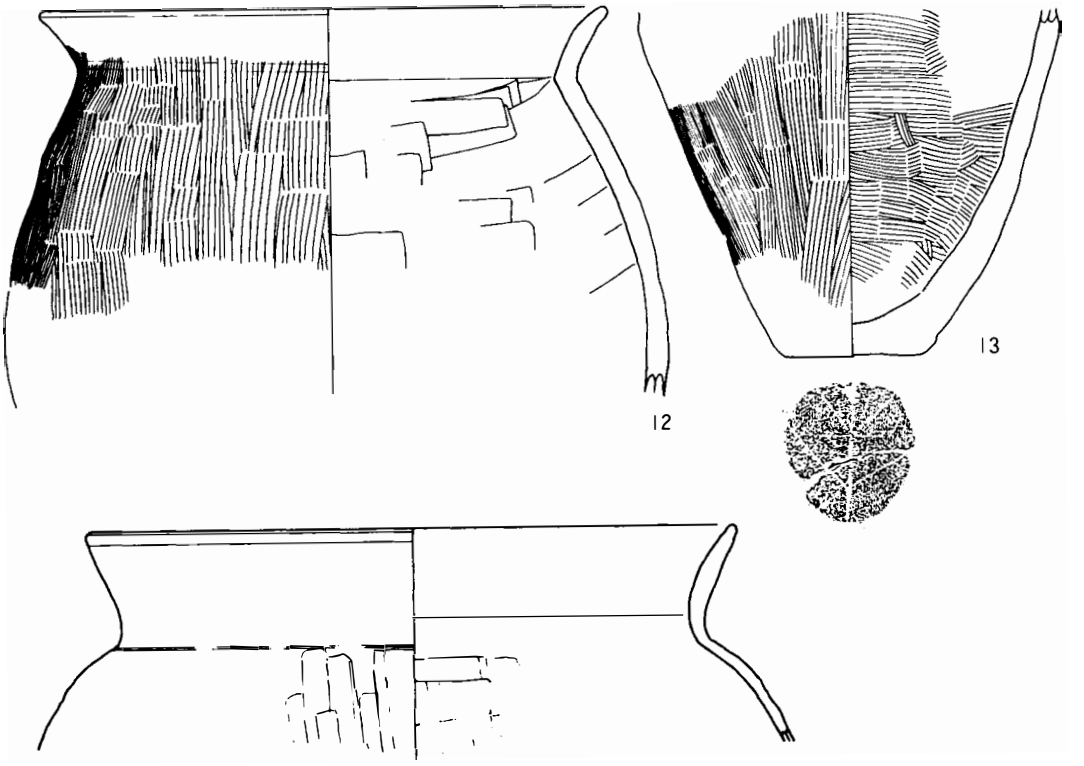


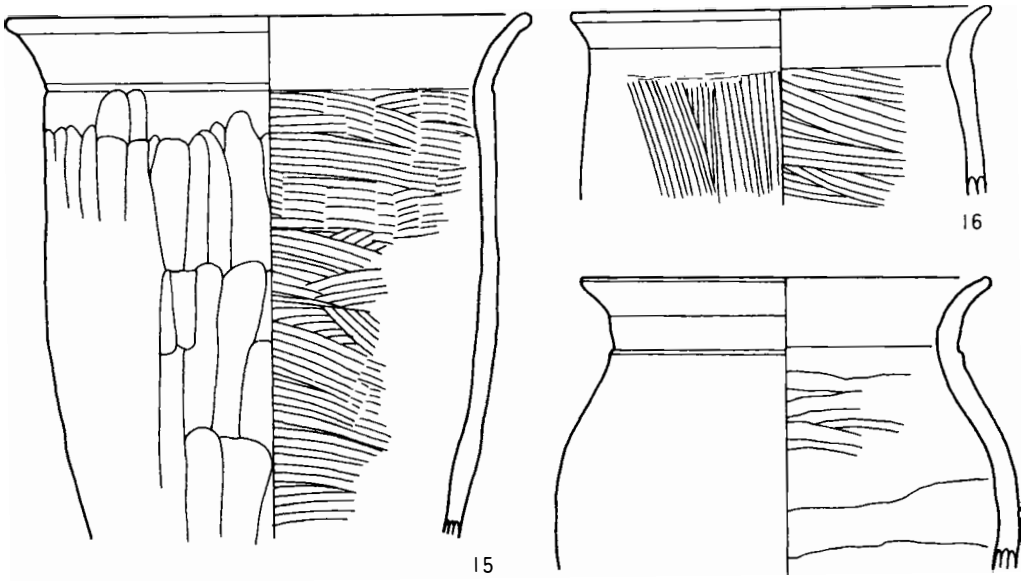
79



80－1

第211図　79、80号住居址出土土器

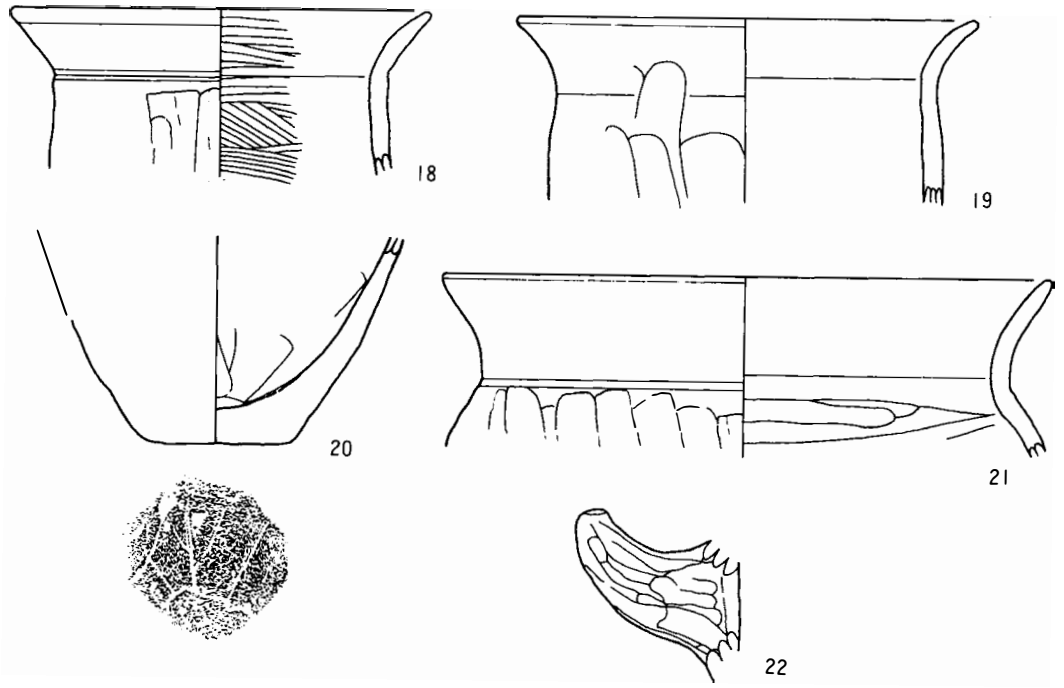




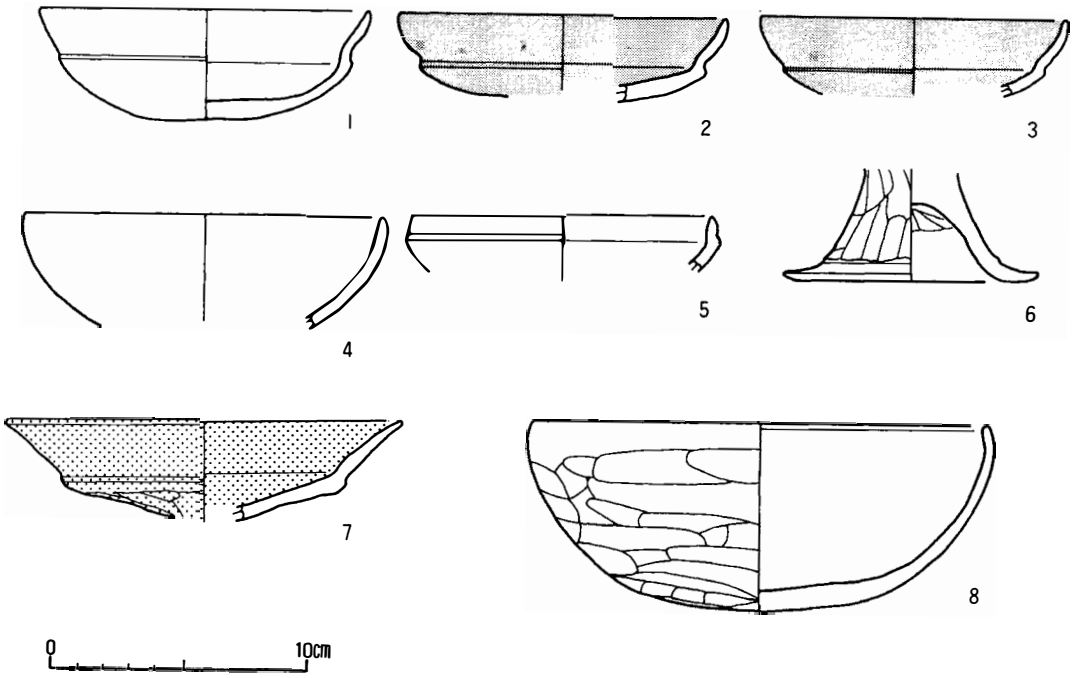
0 10cm

80－2

第212図　80号住居址出土土器（2）

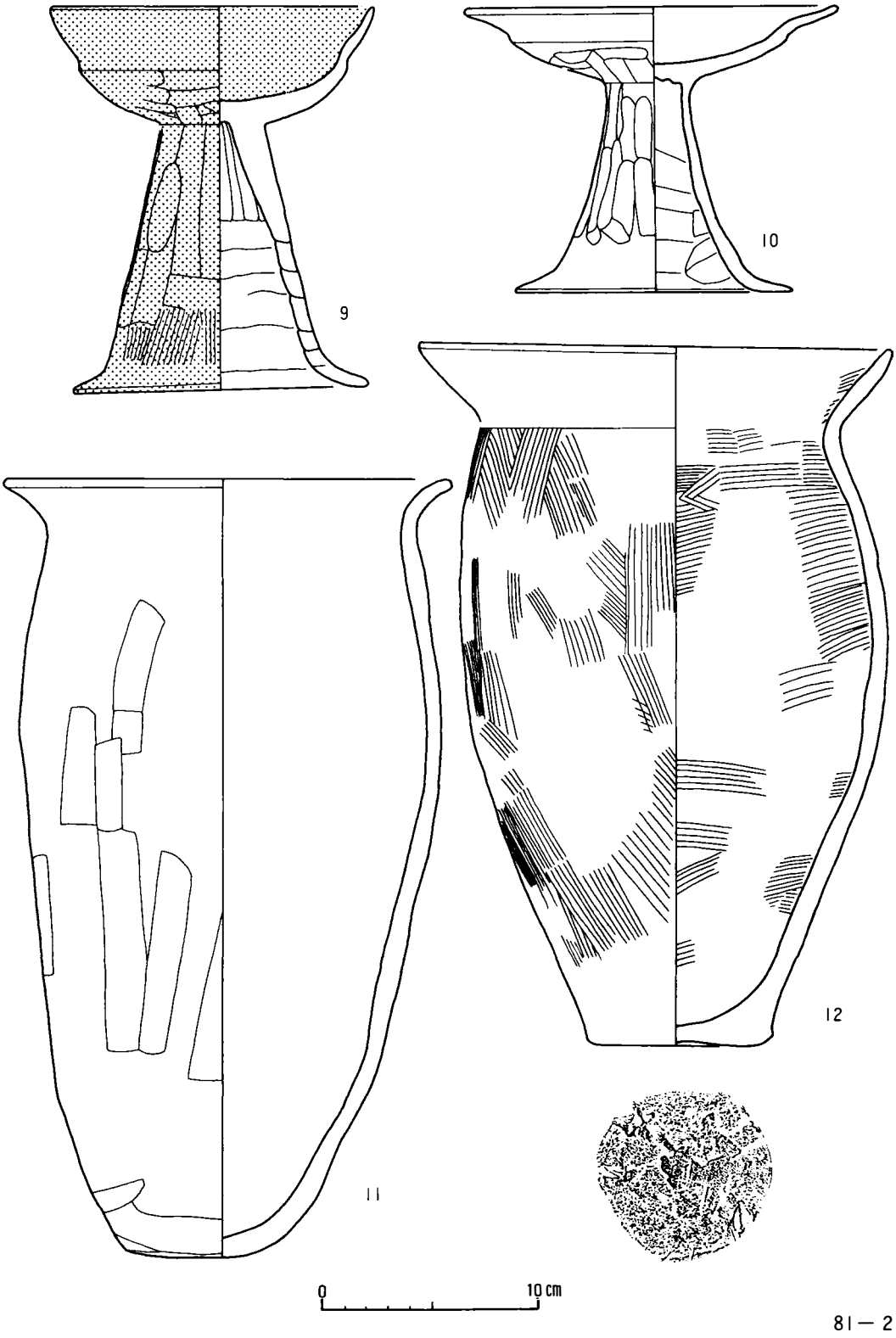


80－3

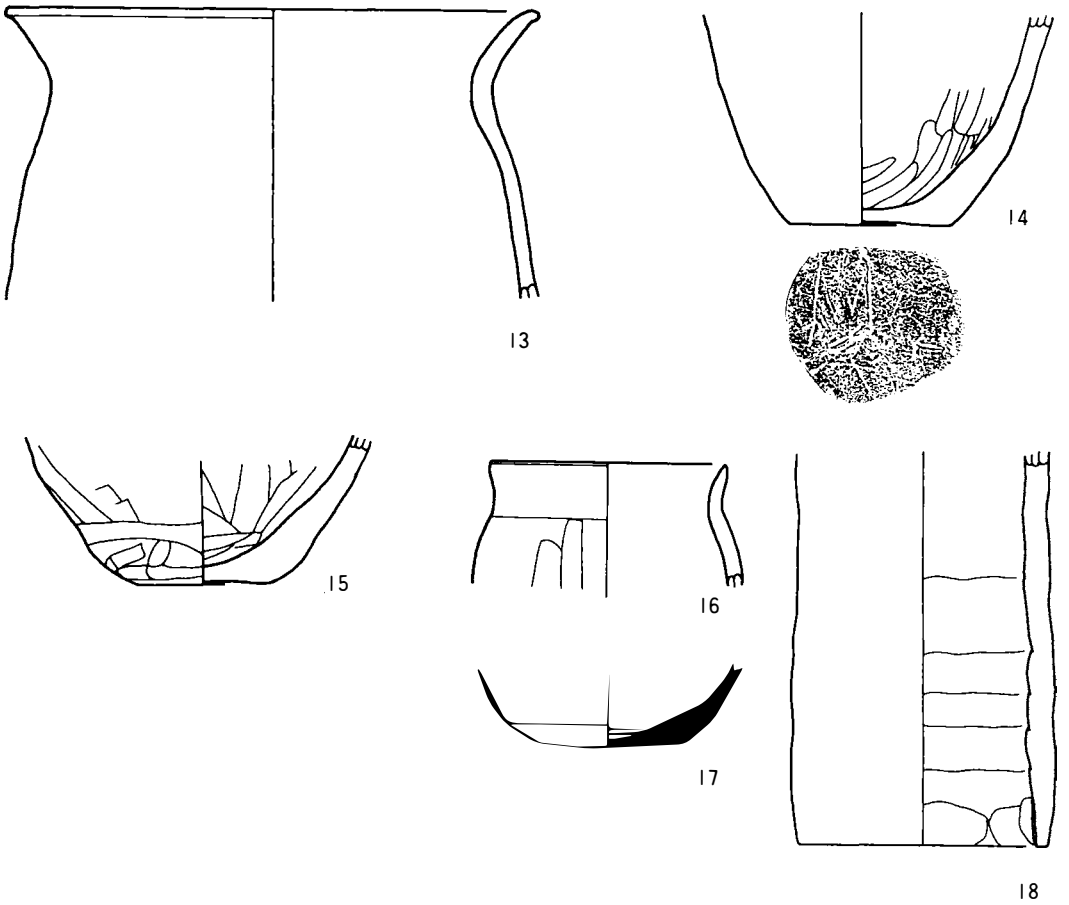


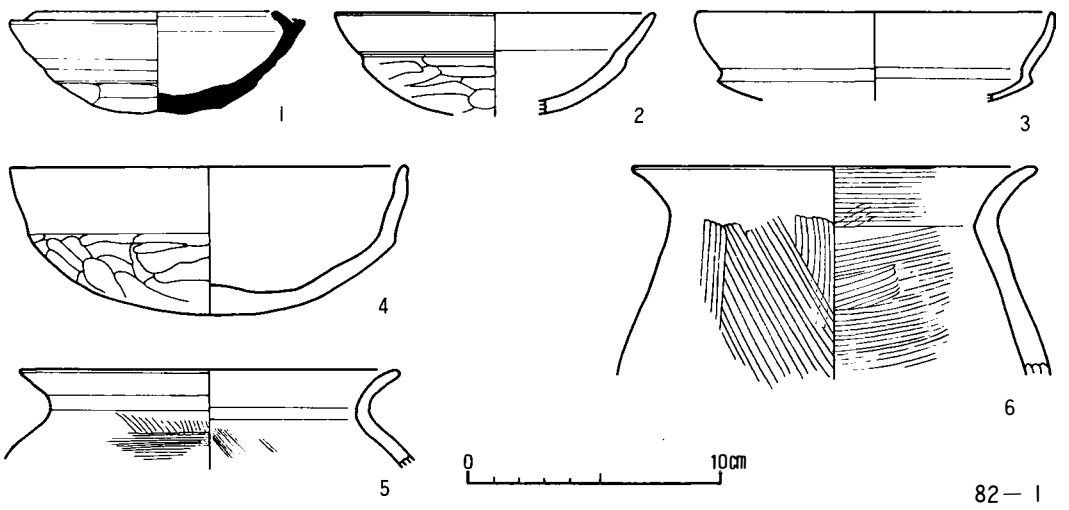
81－1

第213図　80、81号住居址出土土器

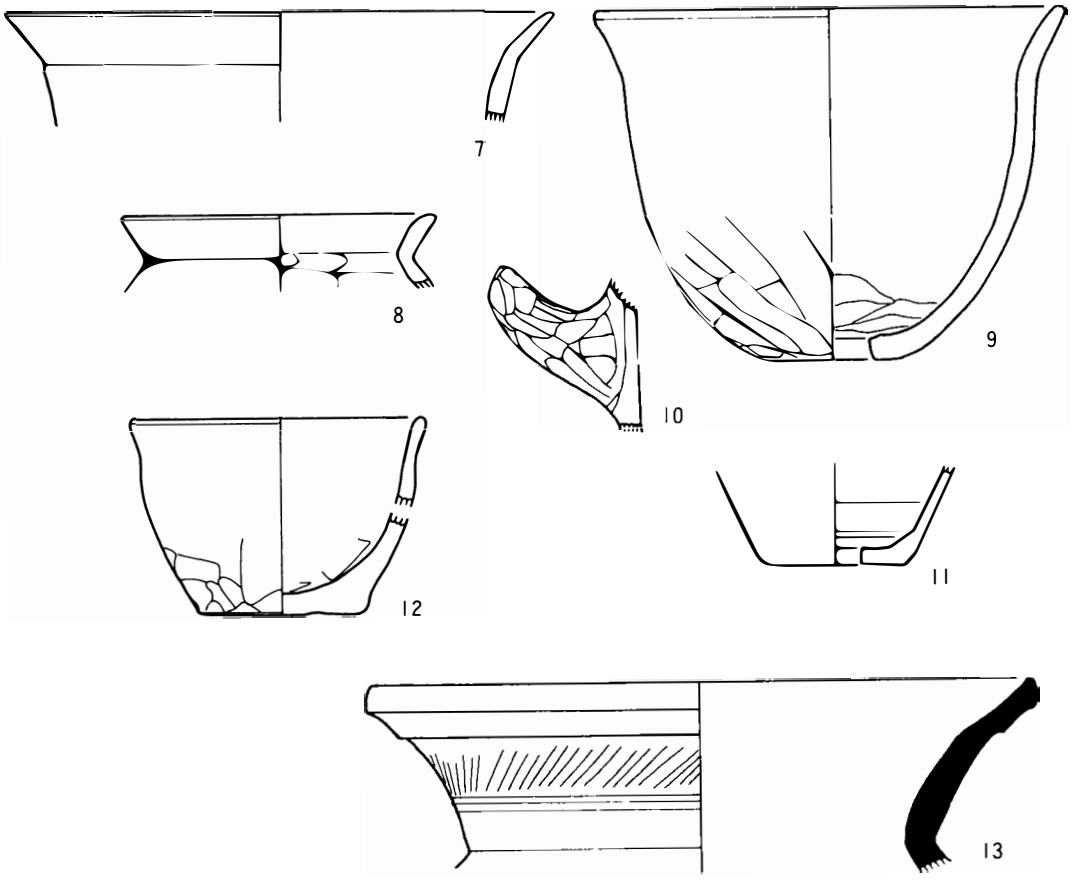


第214図　81号住居址出土土器（1）

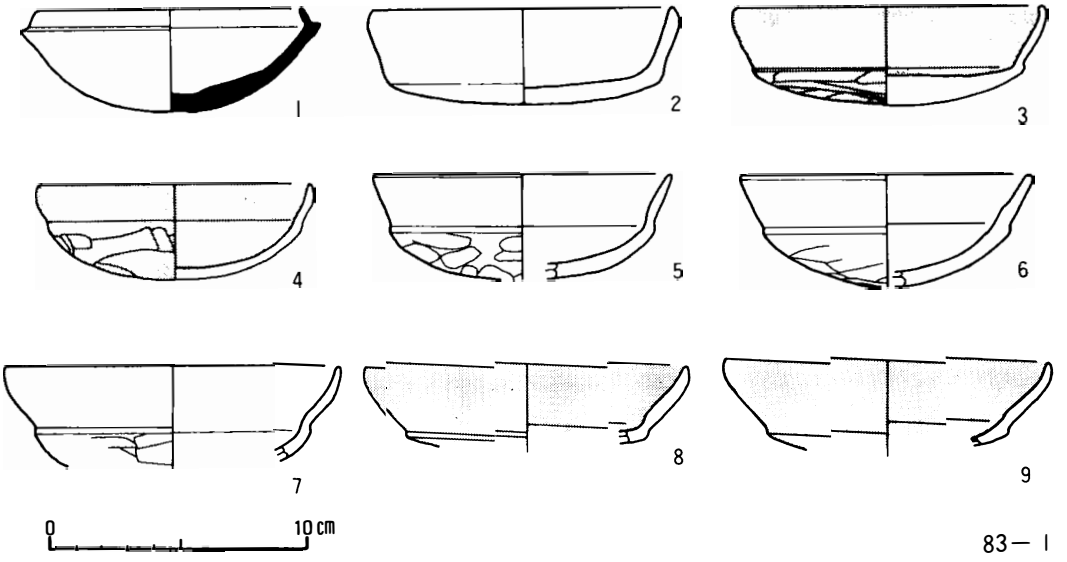




第215図　81、82号住居址出土土器

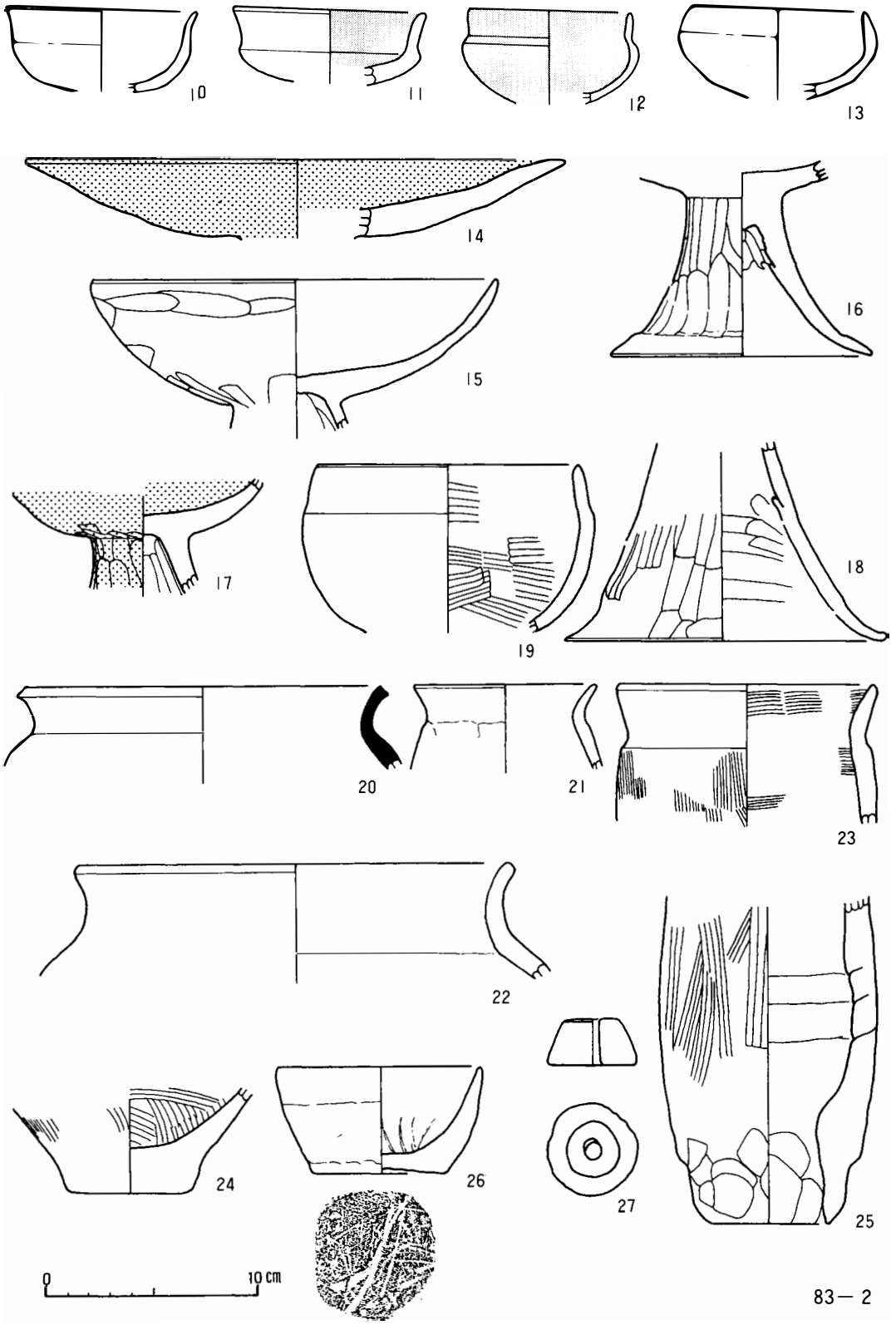


82－2

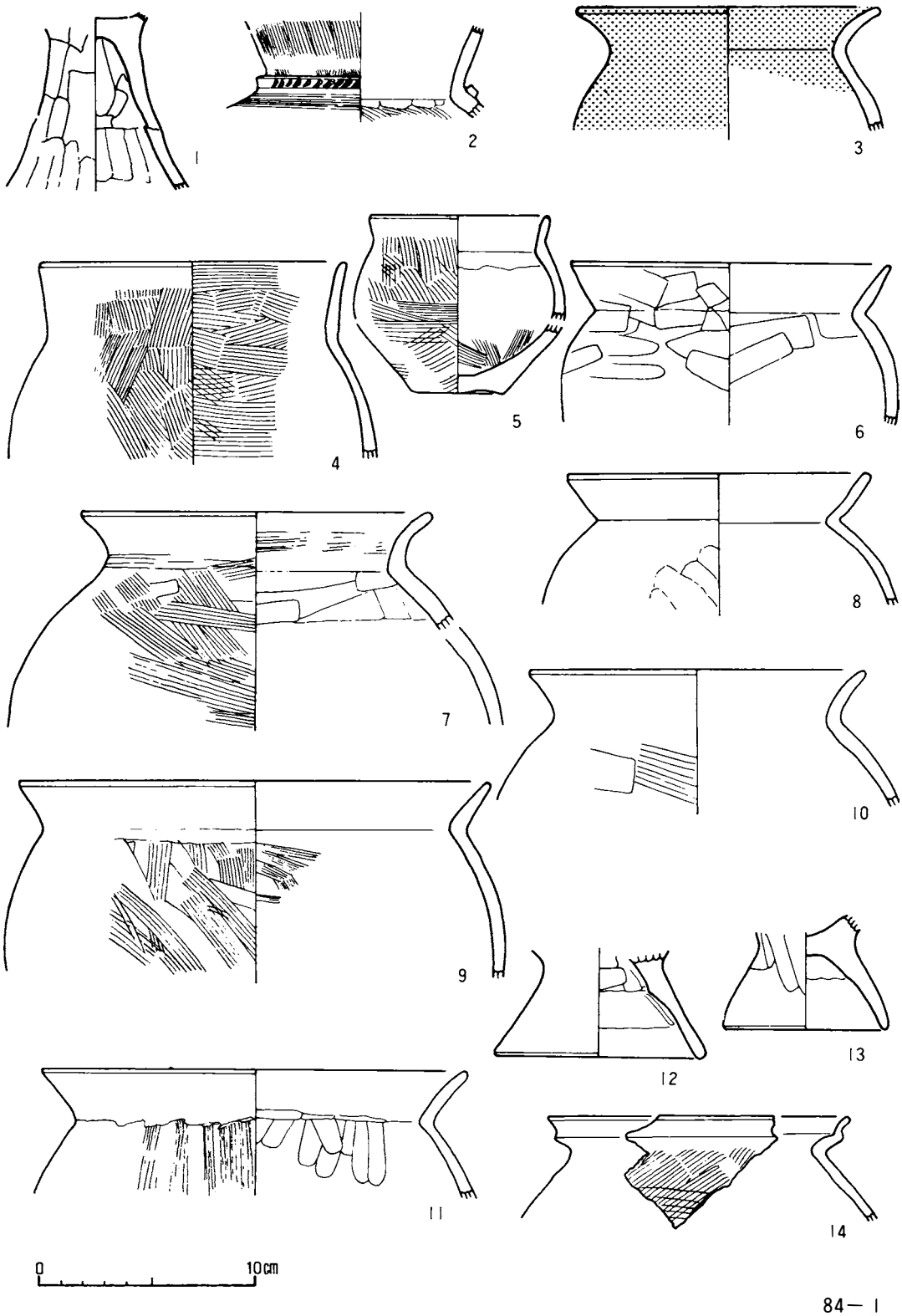


83－1

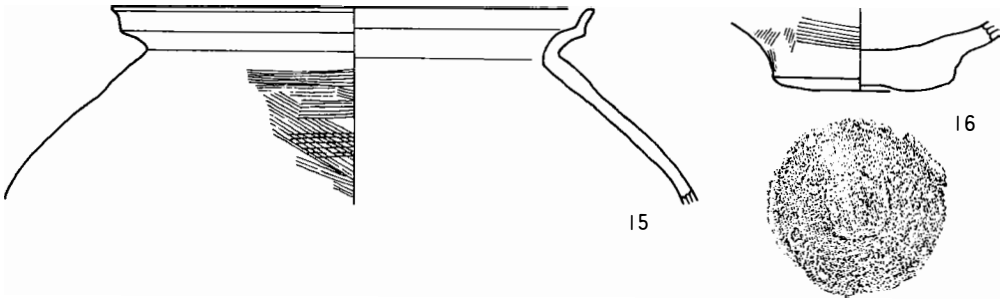
第216図　82、83号住居址出土土器



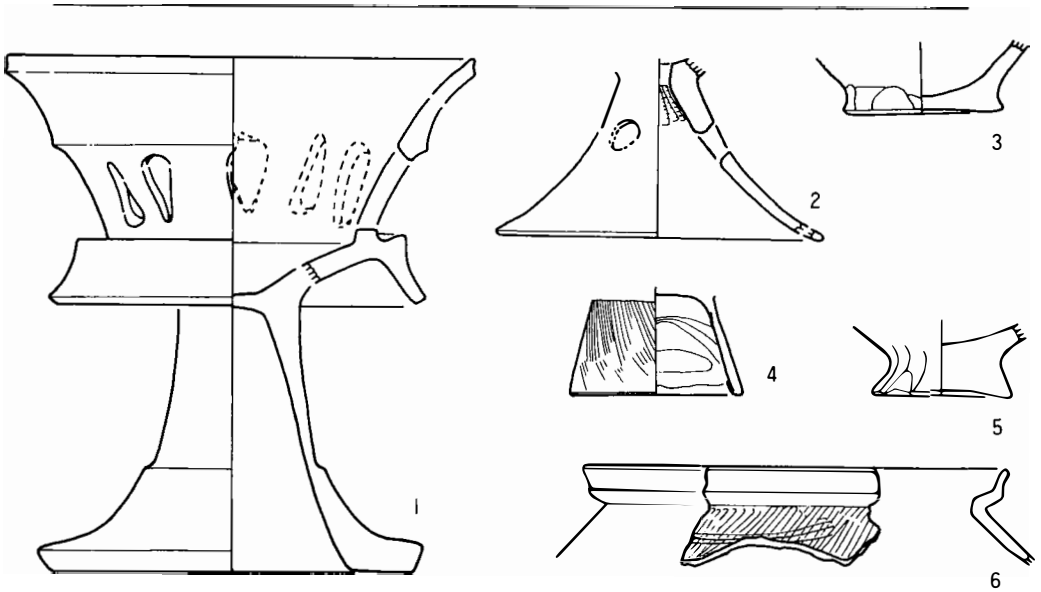
第217図　83号住居址出土土器（2）



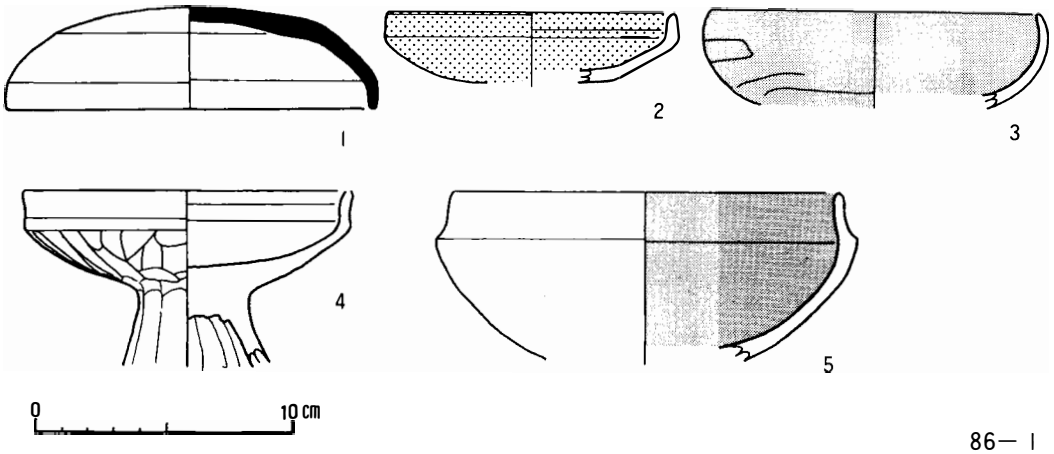
第218図　84号住居址出土土器（1）



84－2

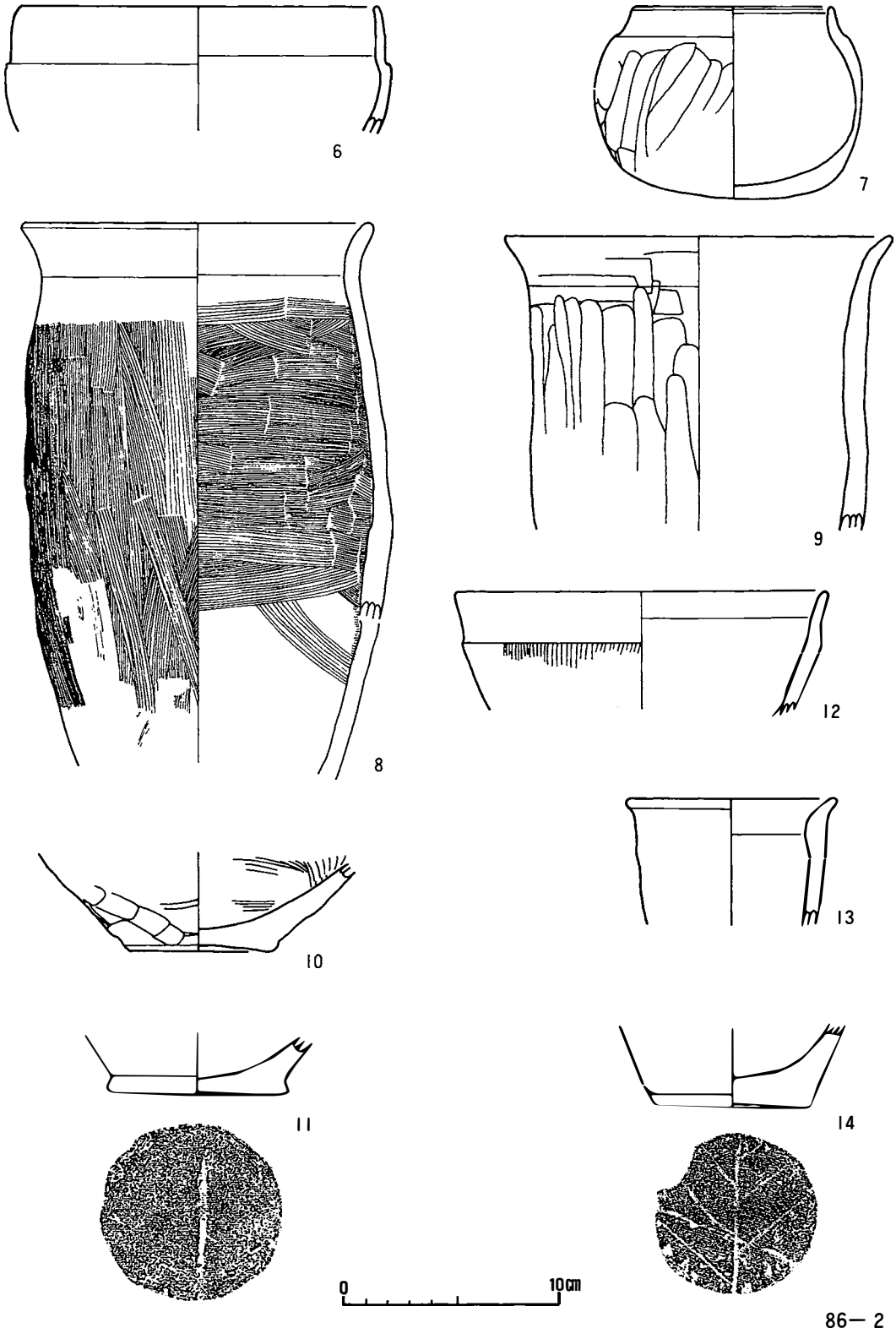


85

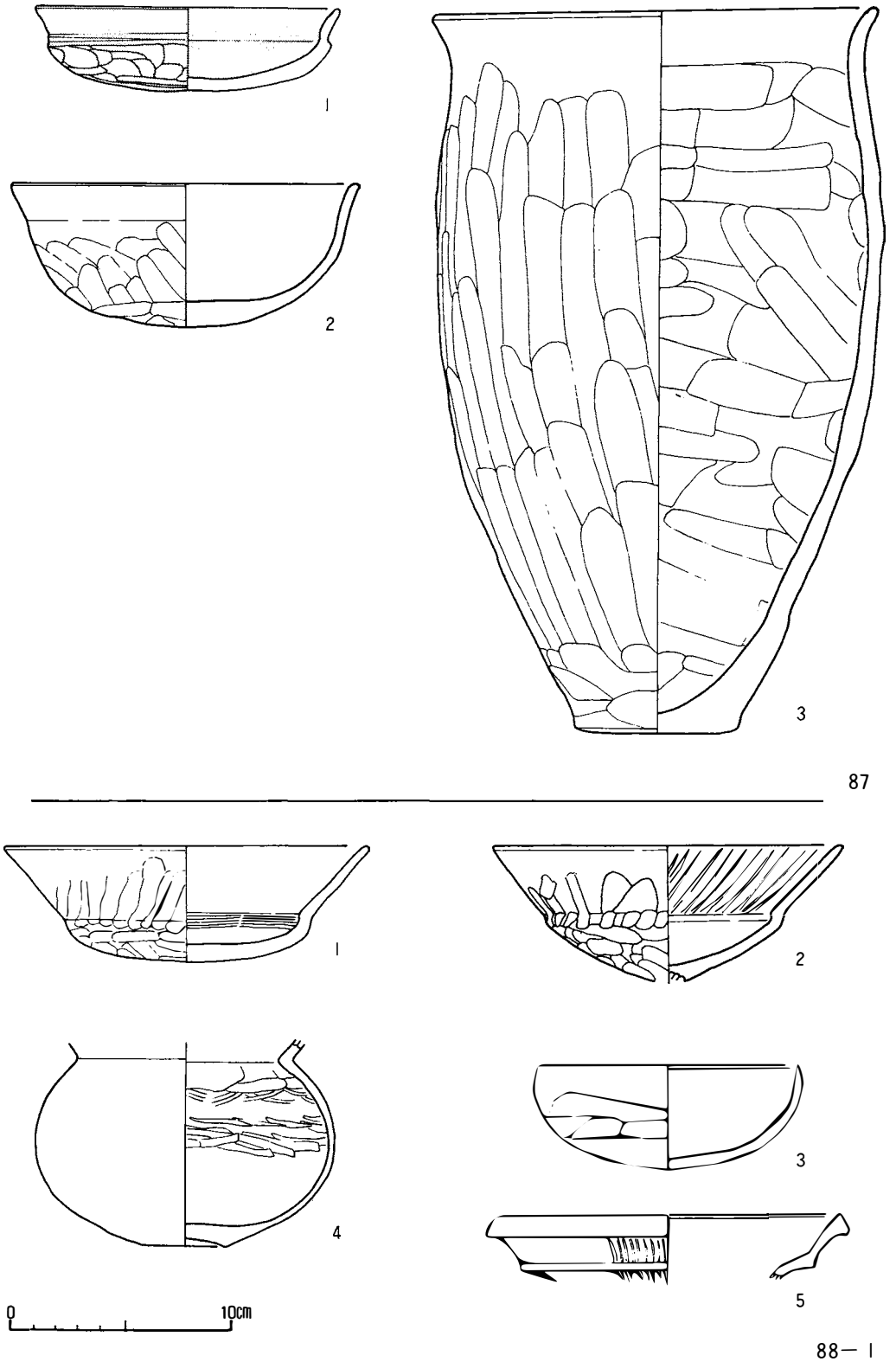


86－1

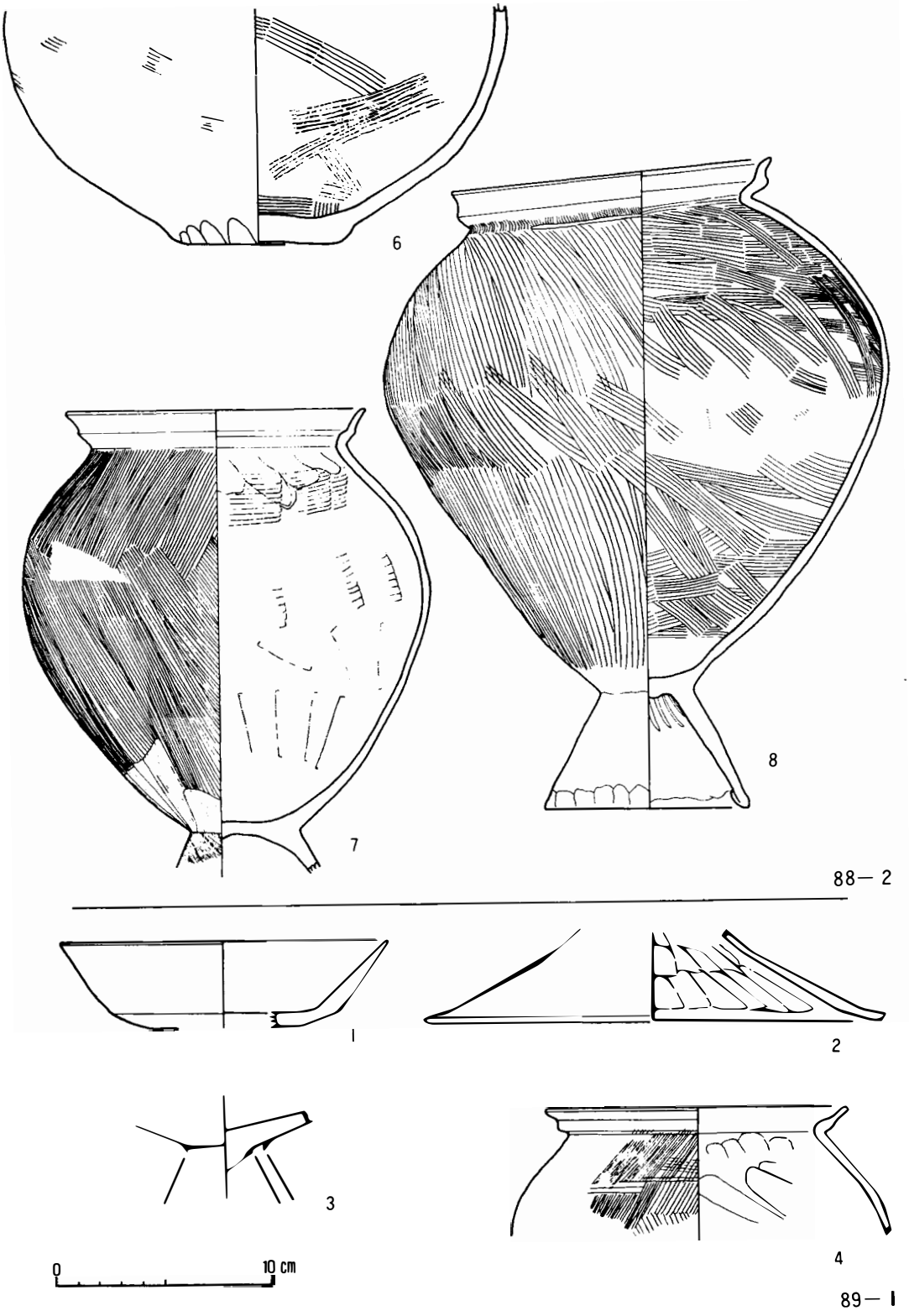
第219図　84、85、86号住居址出土土器



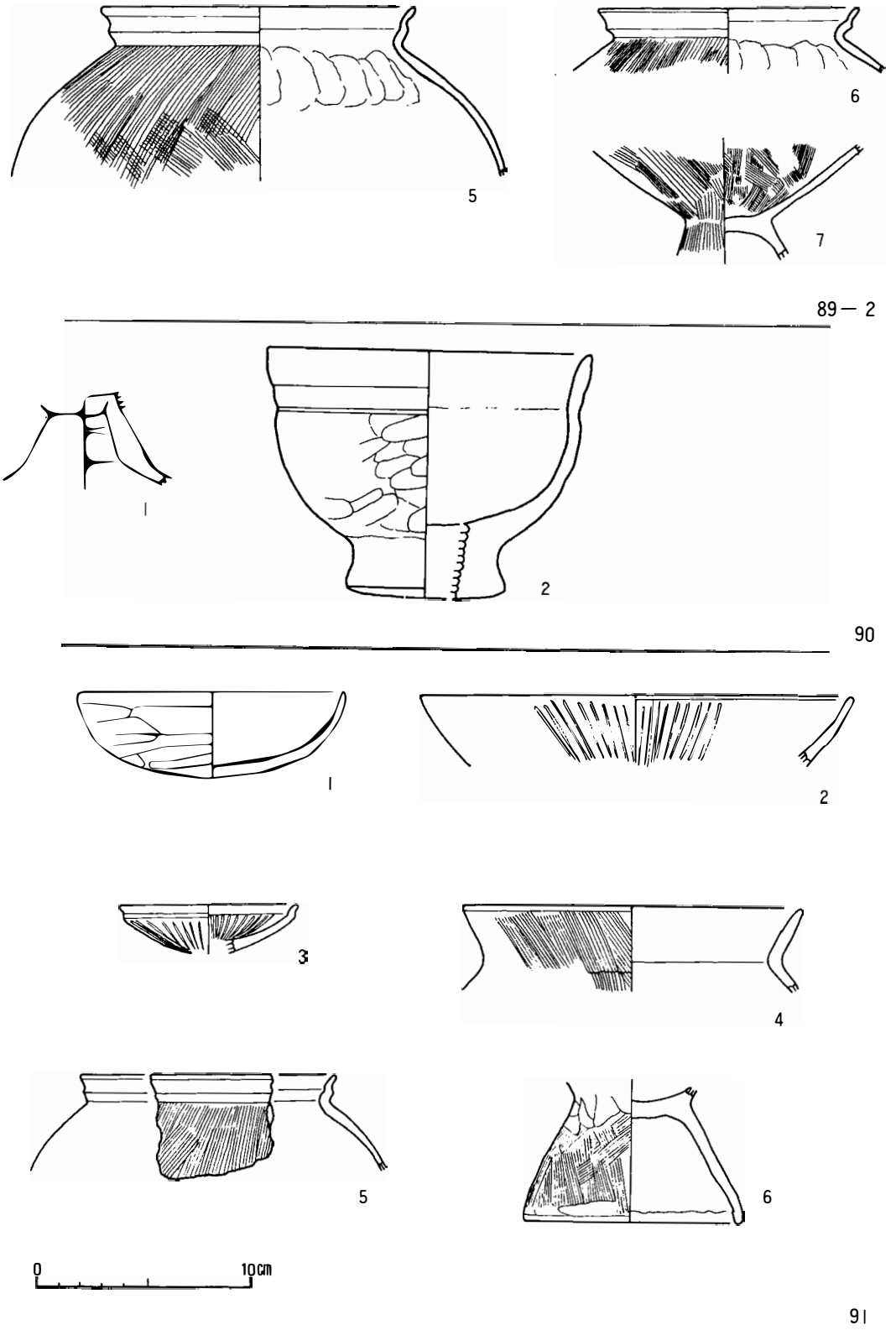
第220図　86号住居址出土土器（2）



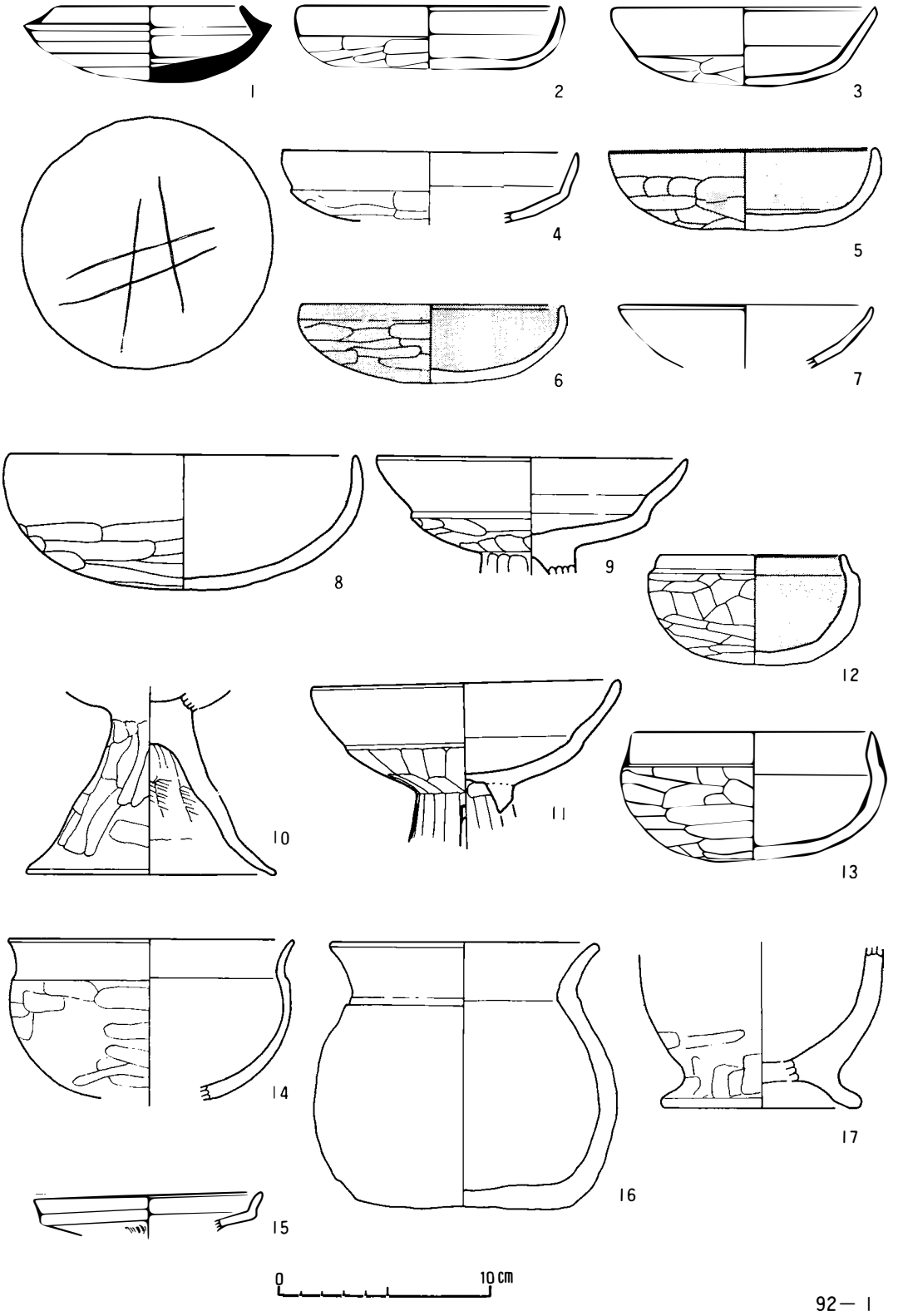
第221図　87、88号住居址出土土器



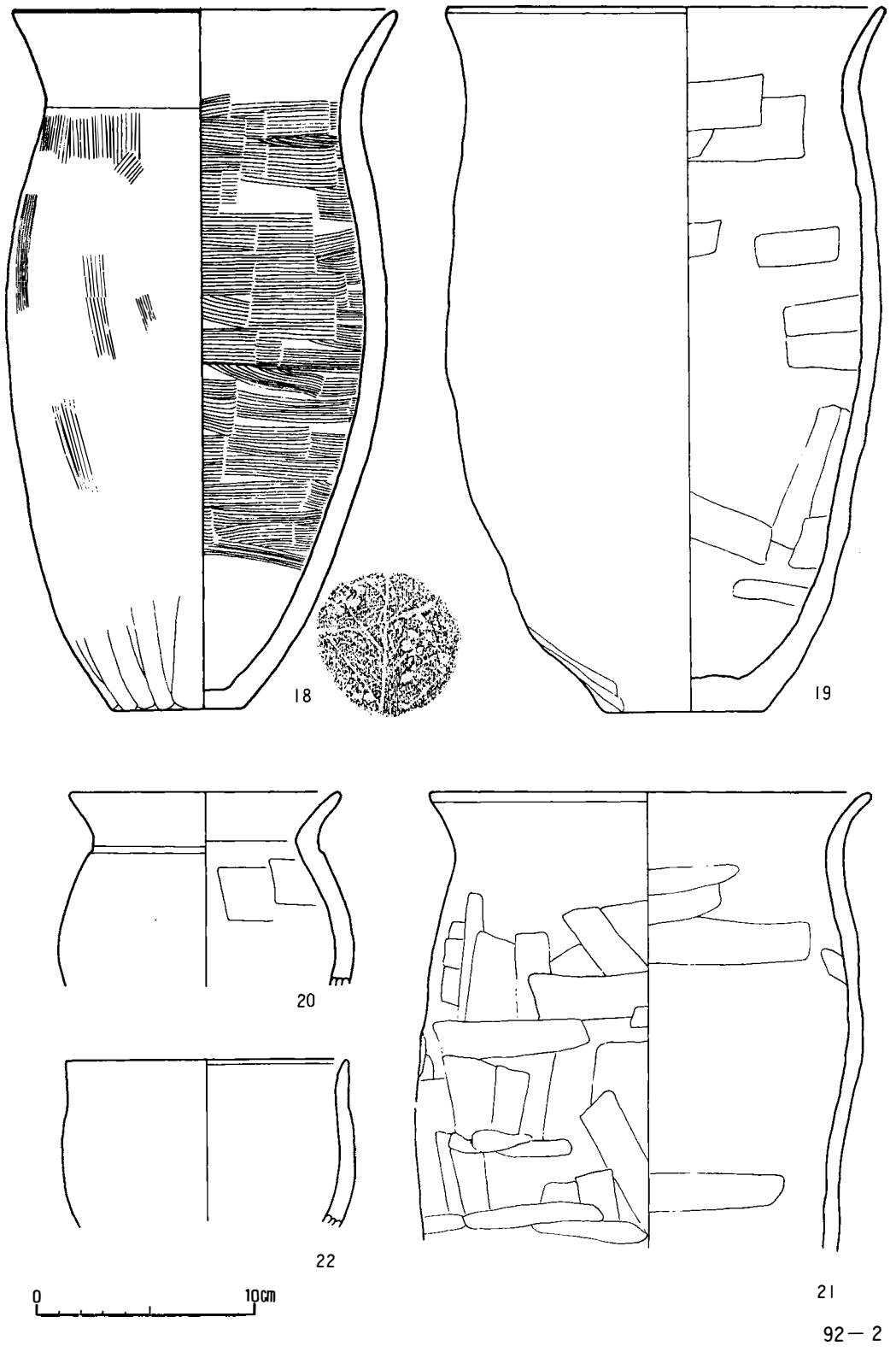
第222図　88、89号住居出土土器



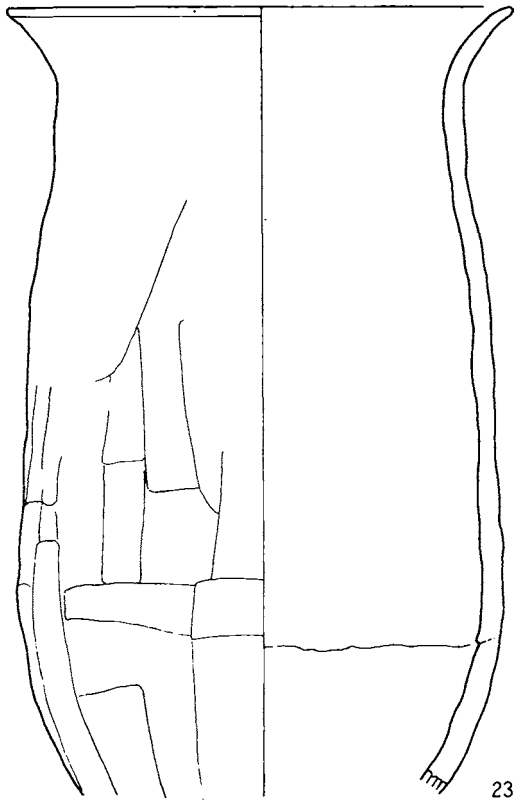
第223図　89、90、91号住居址出土土器

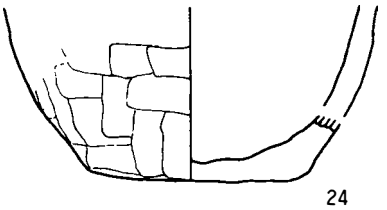


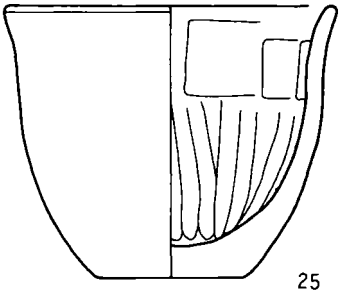
第224図　92号住居址出土土器（1）

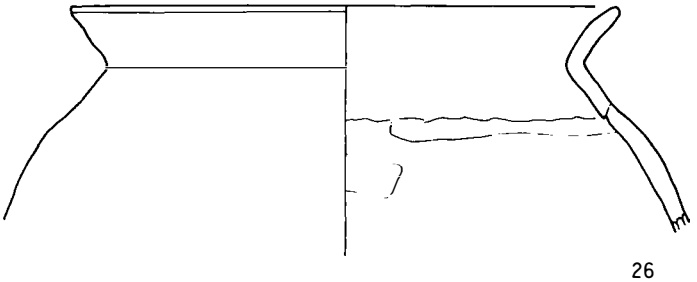


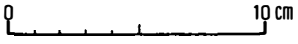
第225図　92号住居址出土土器（2）





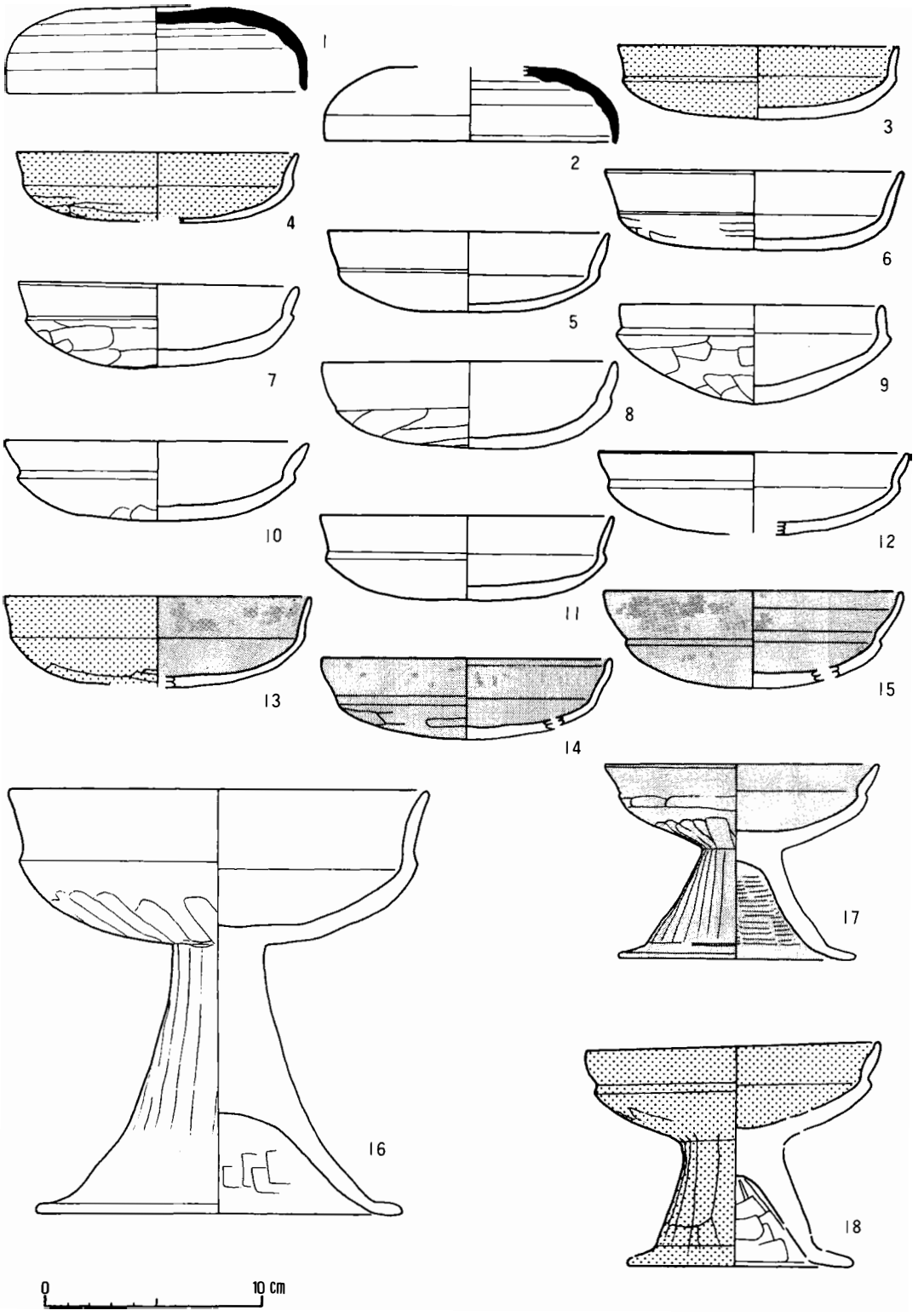






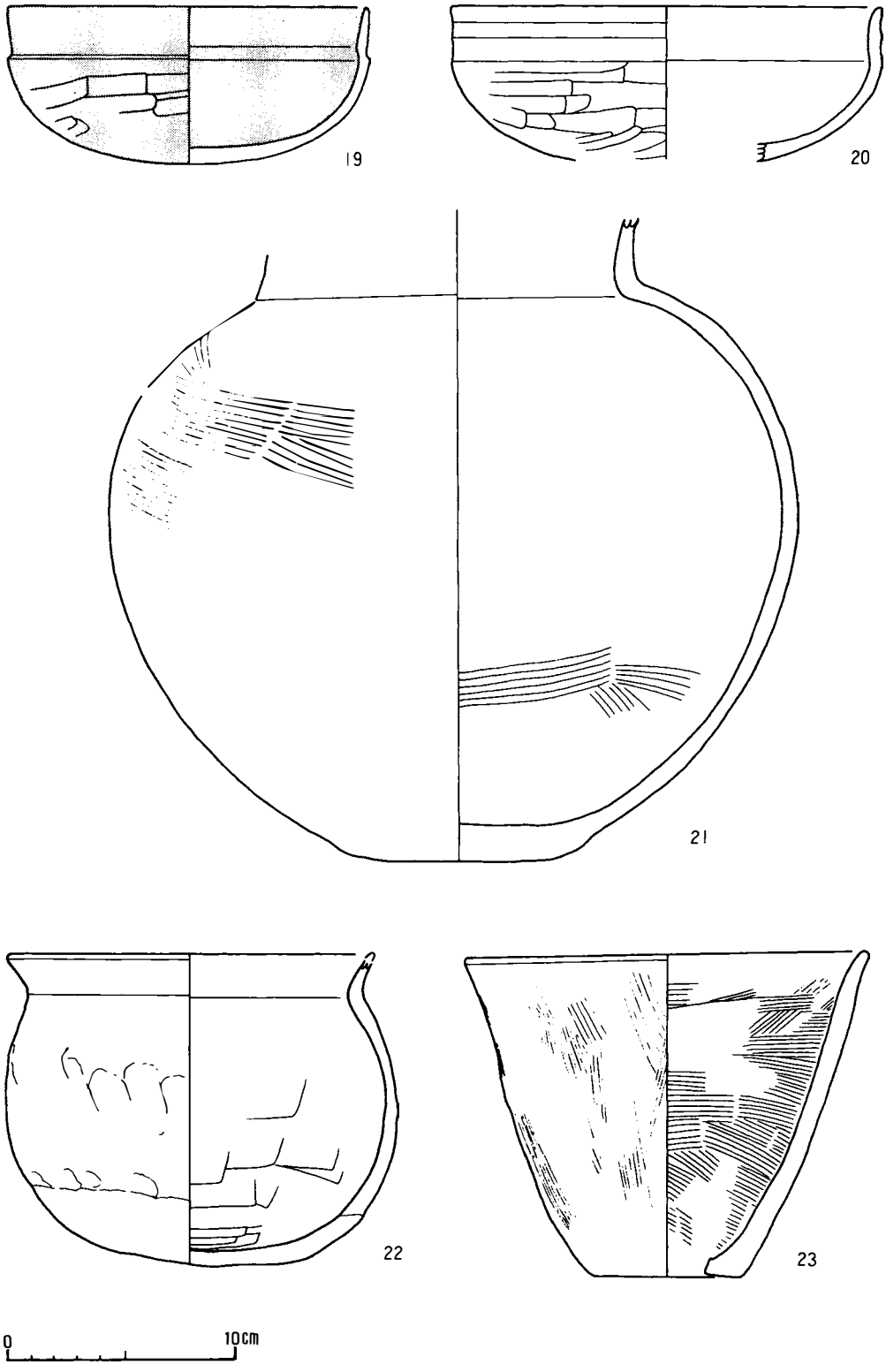
92－3

第226図　92号住居址出土土器（3）



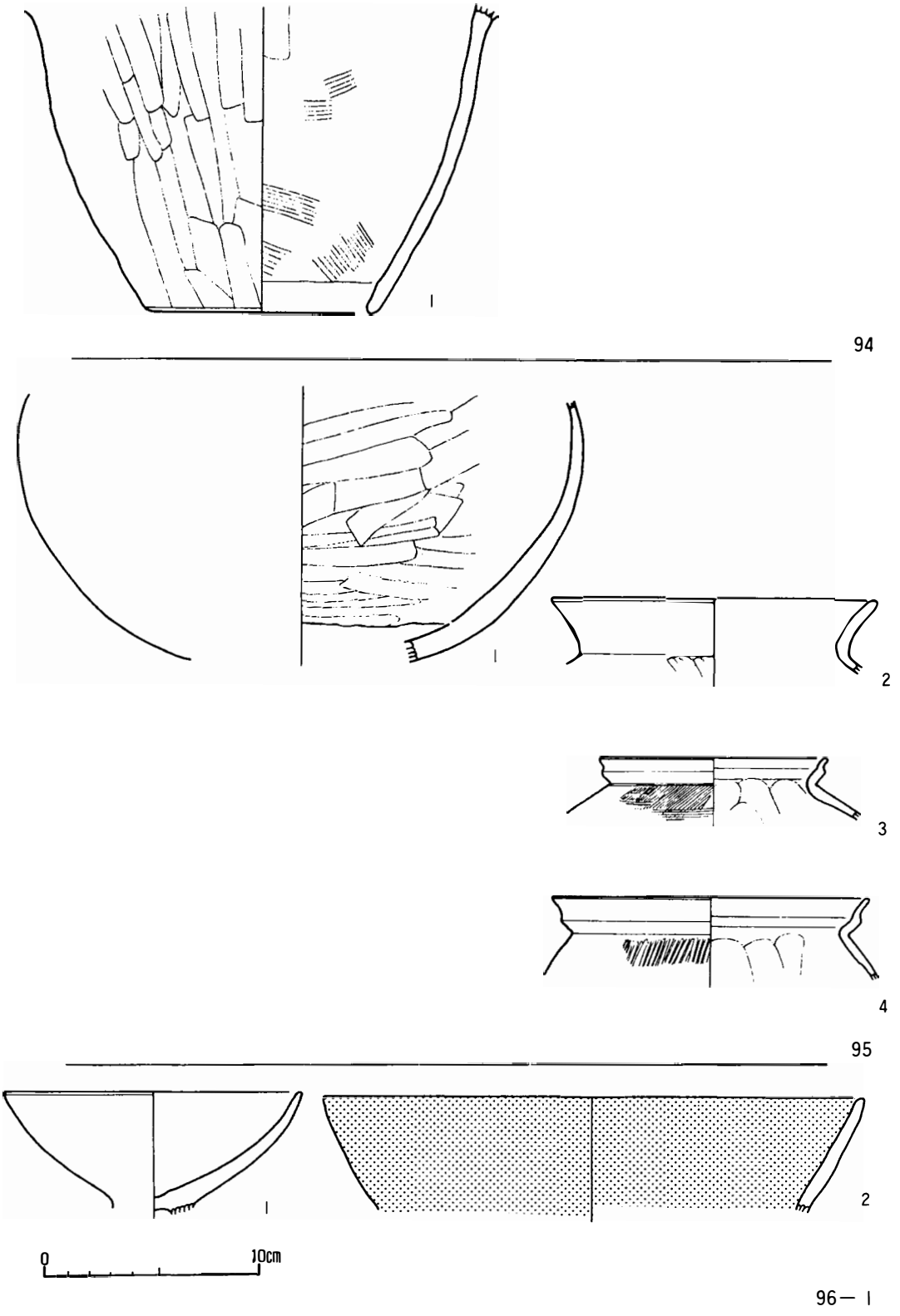
93－1

第227図　93号住居址出土土器（1）

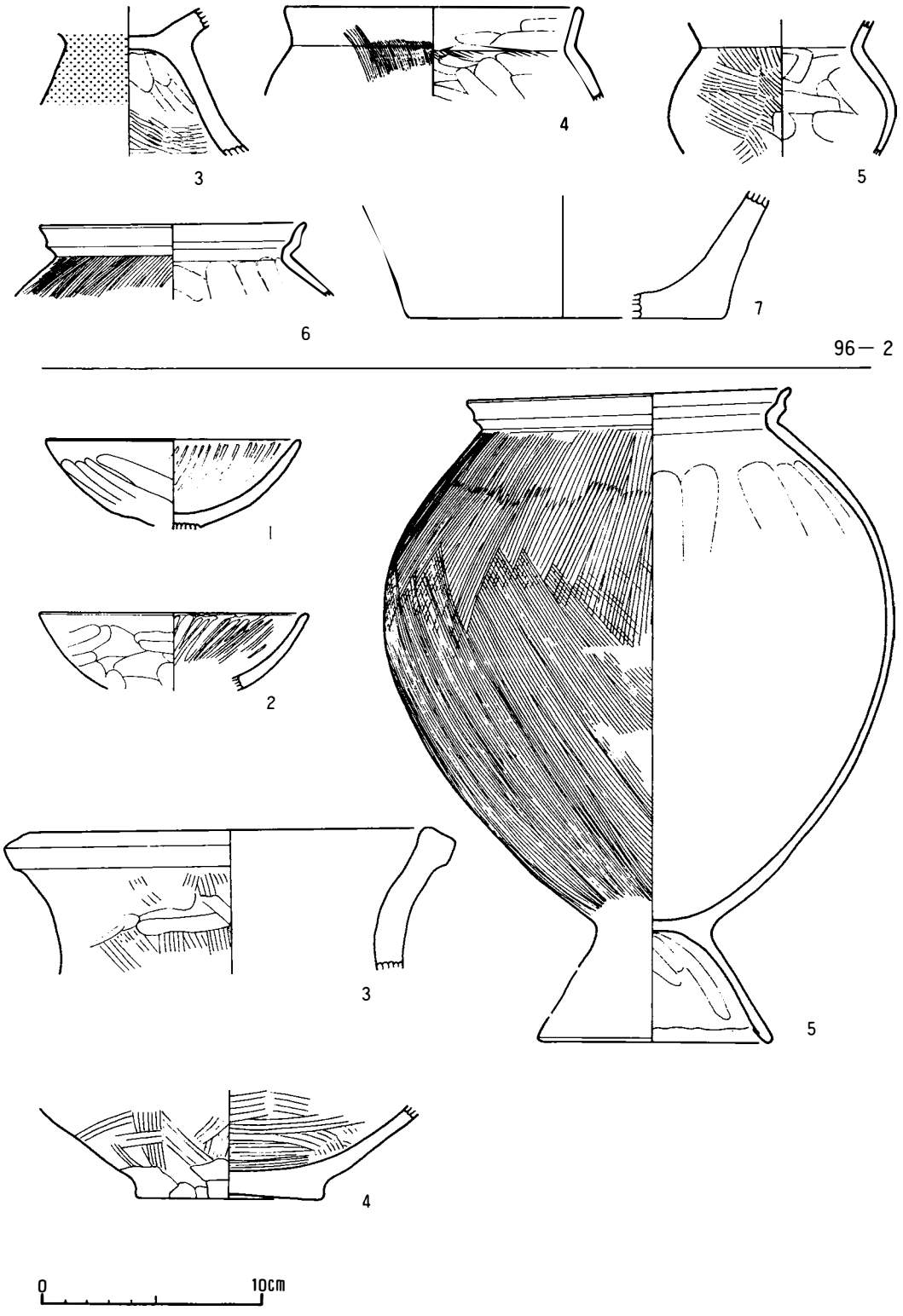


93－2

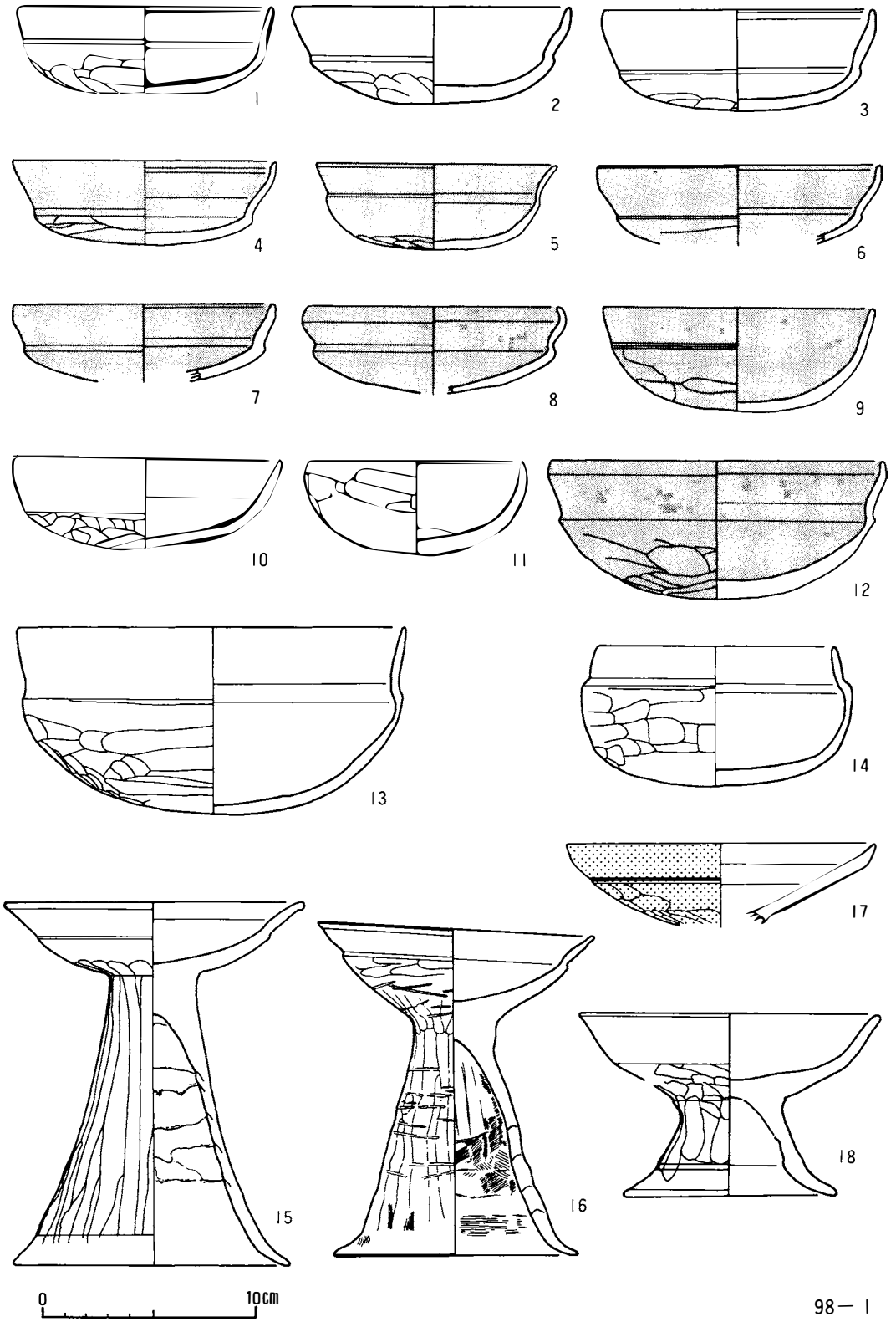
第228図　93号住居址出土土器（2）



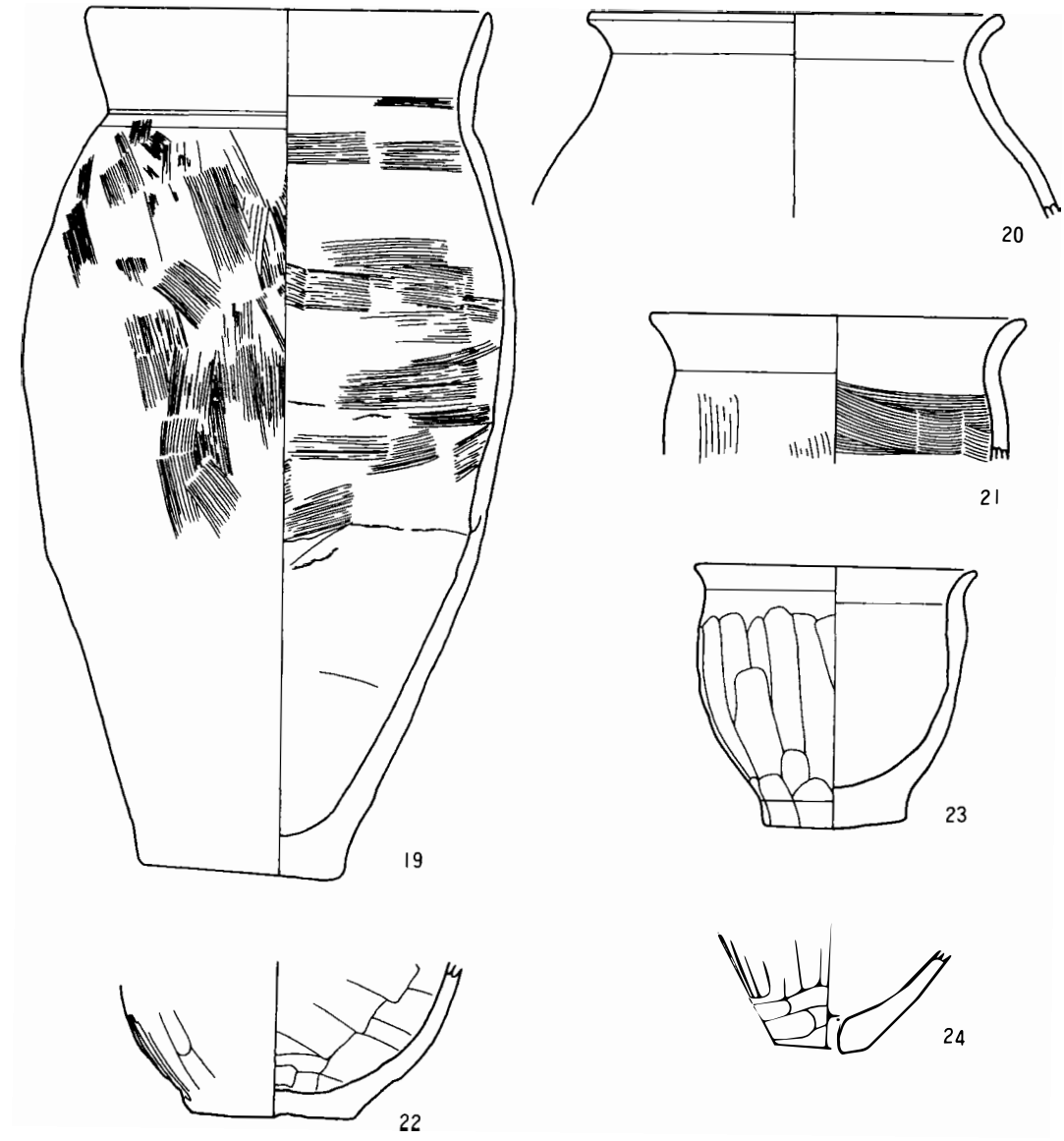
第229図　94、95、96号住居址出土土器



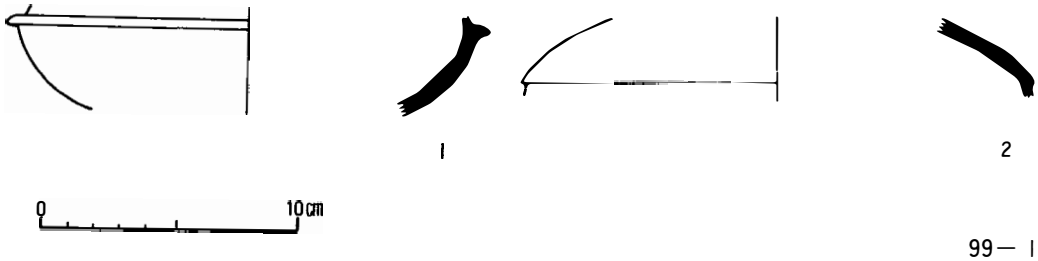
第230図　96、97号住居址出土土器



第231図　98号住居址出土土器（1）

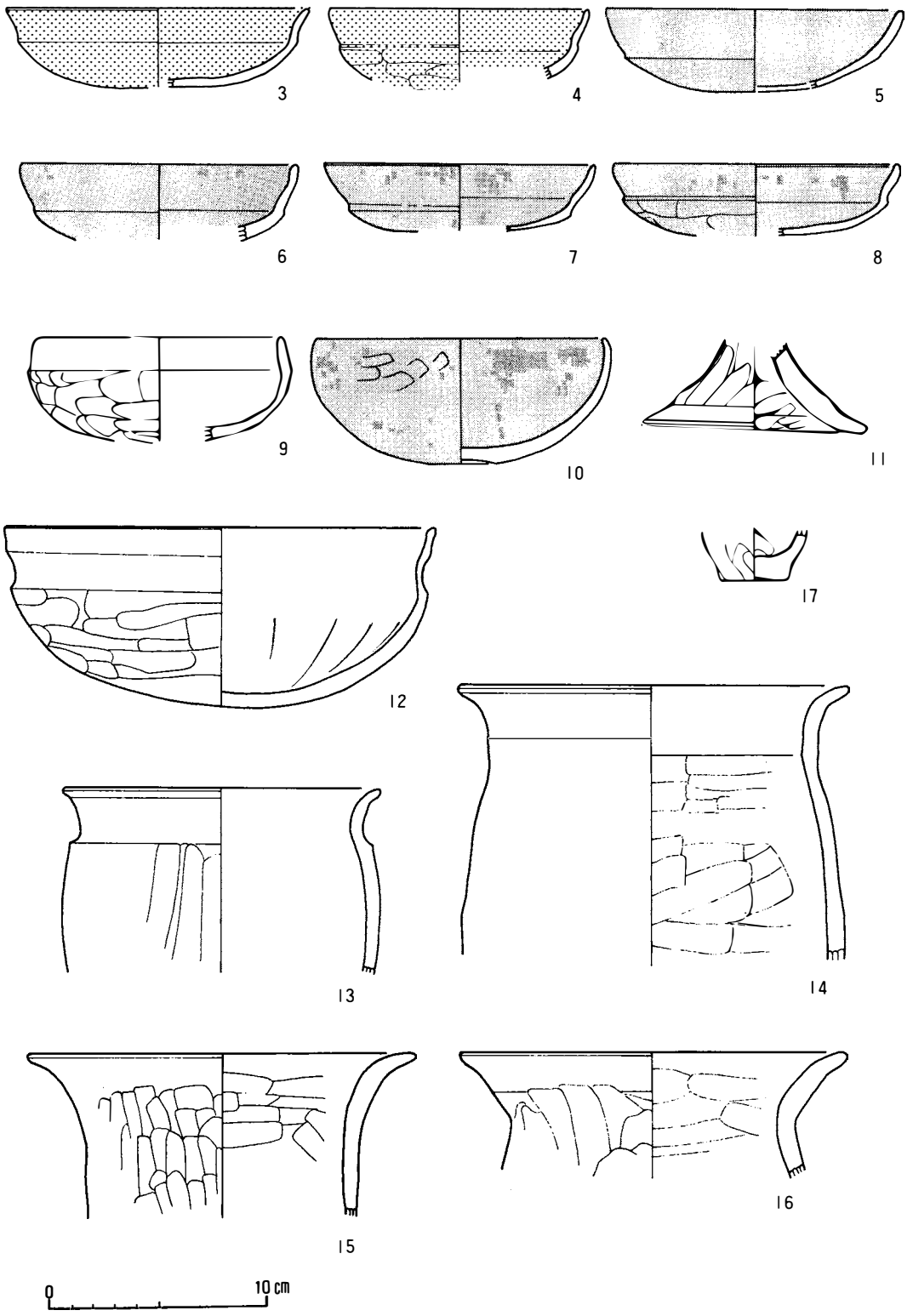


98－2



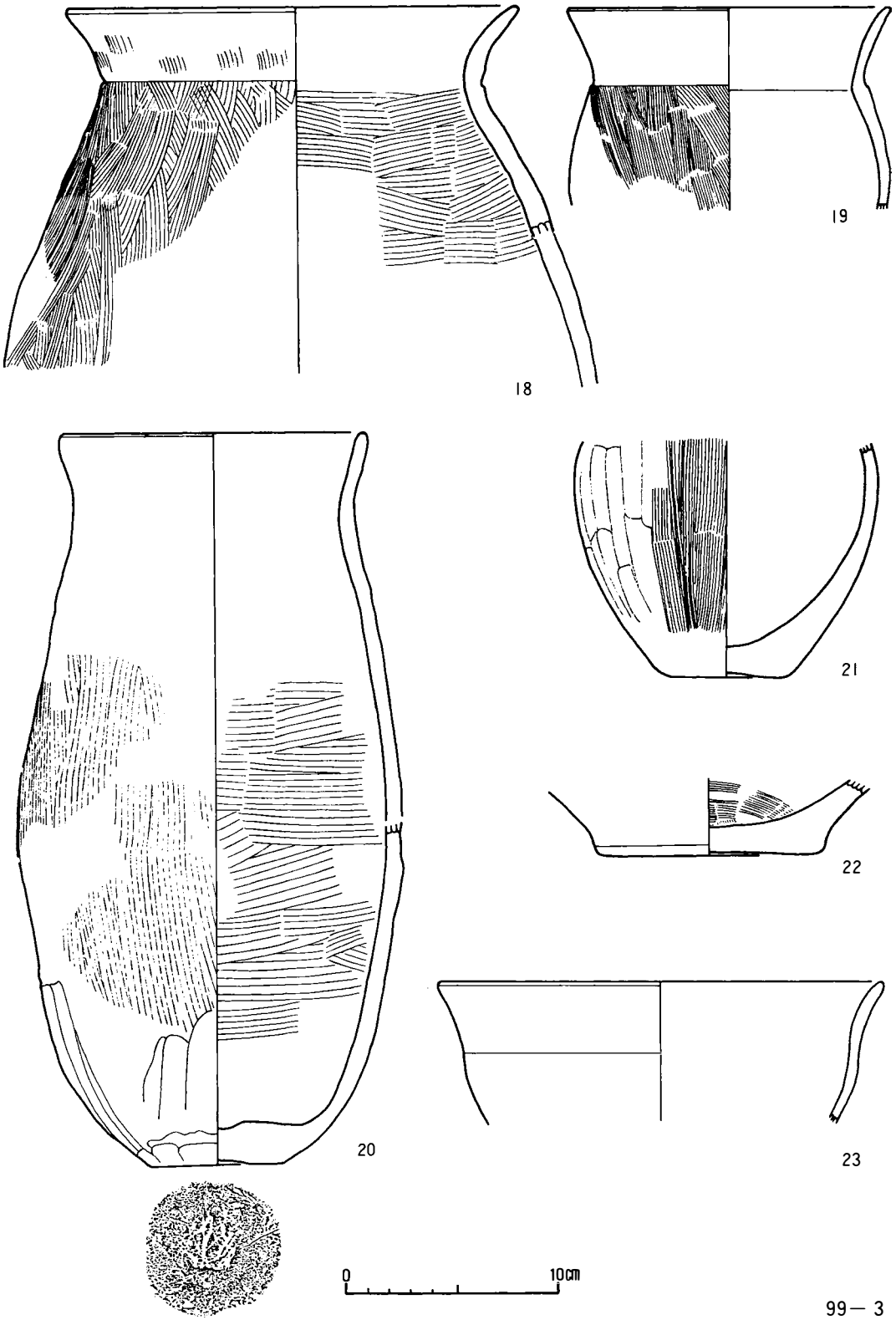
99－1

第232図　98、99号住居址出土土器

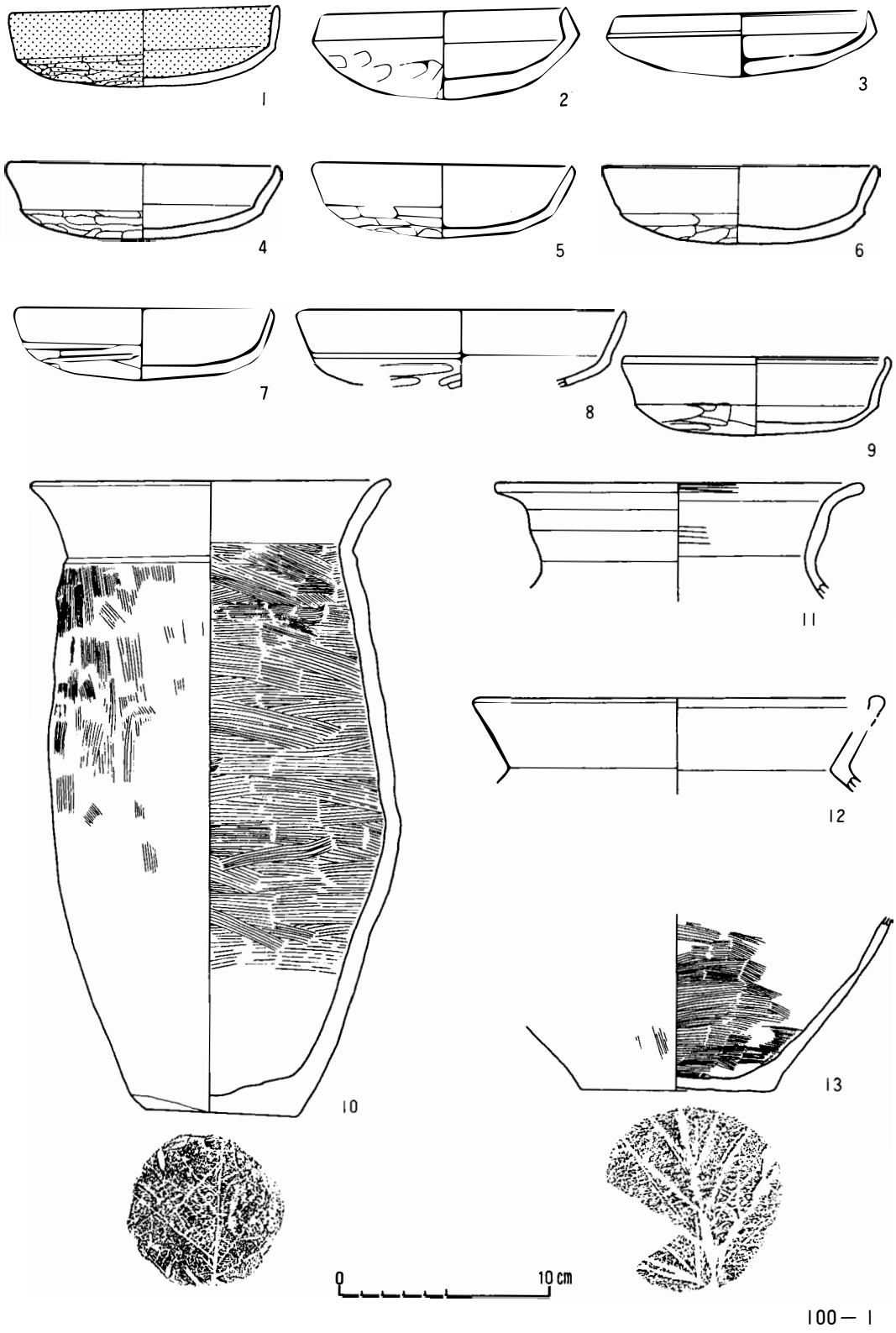


99－2

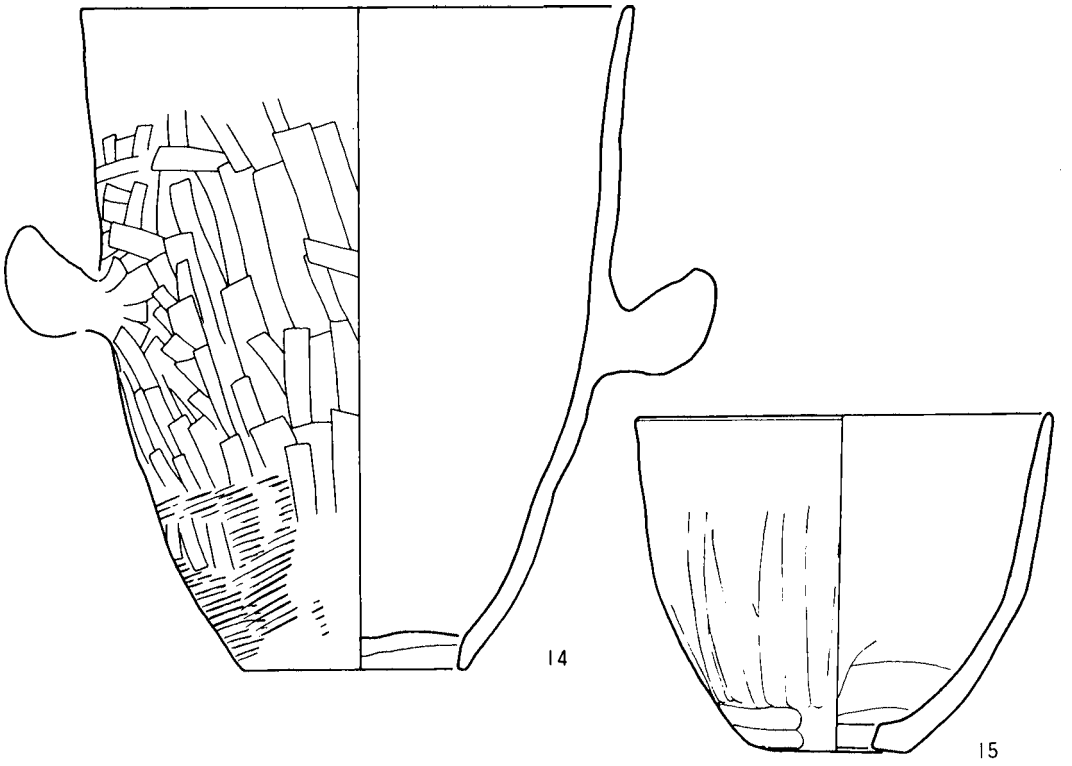
第233図　99号住居址出土土器 (2)

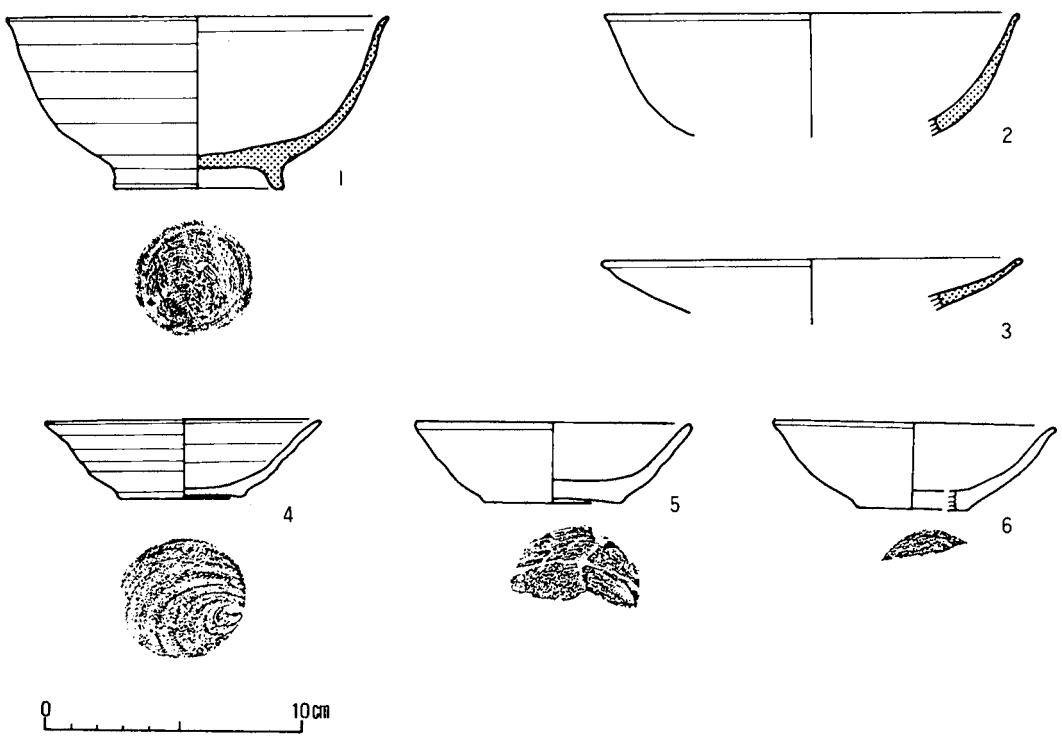


第234図　99号住居址出土土器（3）

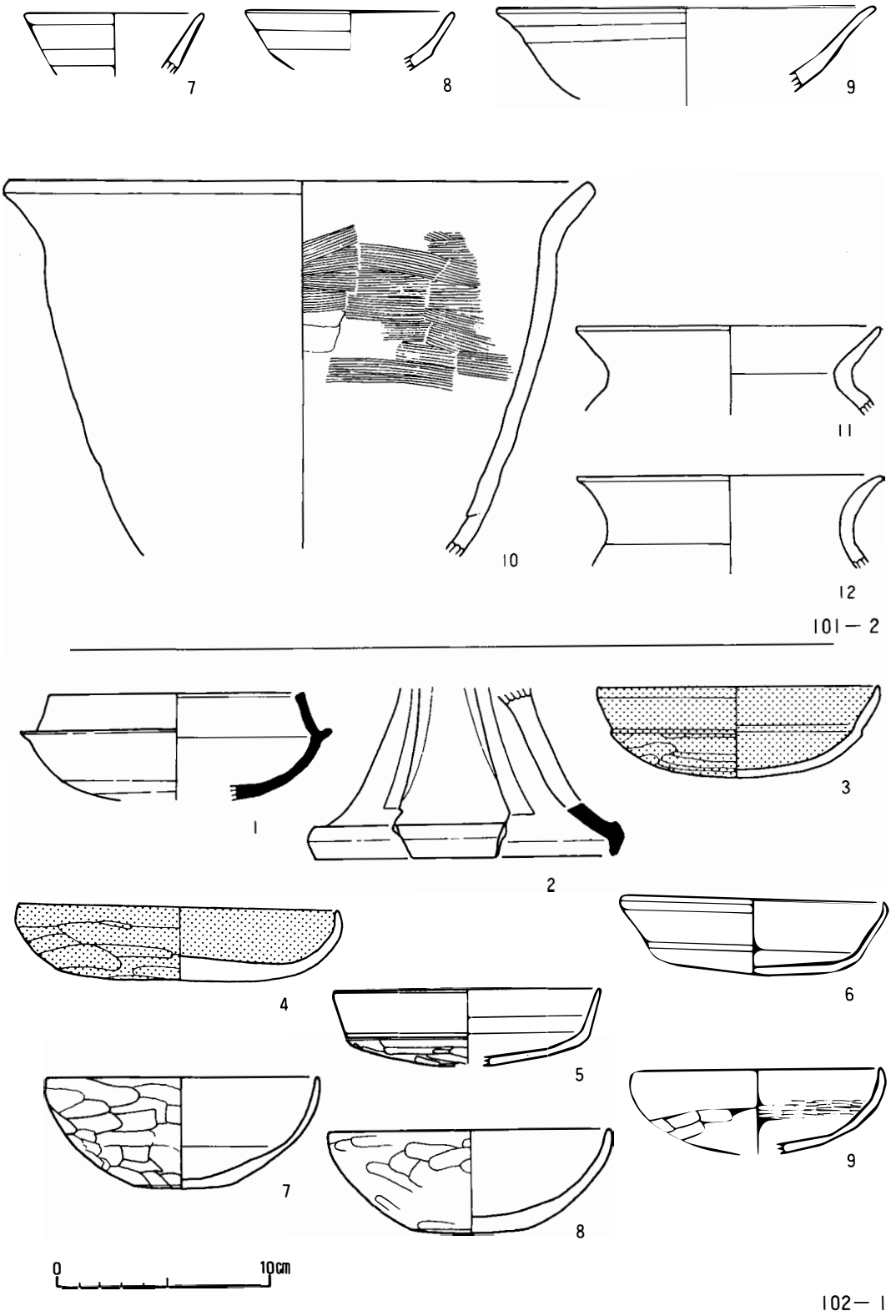


第235図　100号住居址出土土器（1）

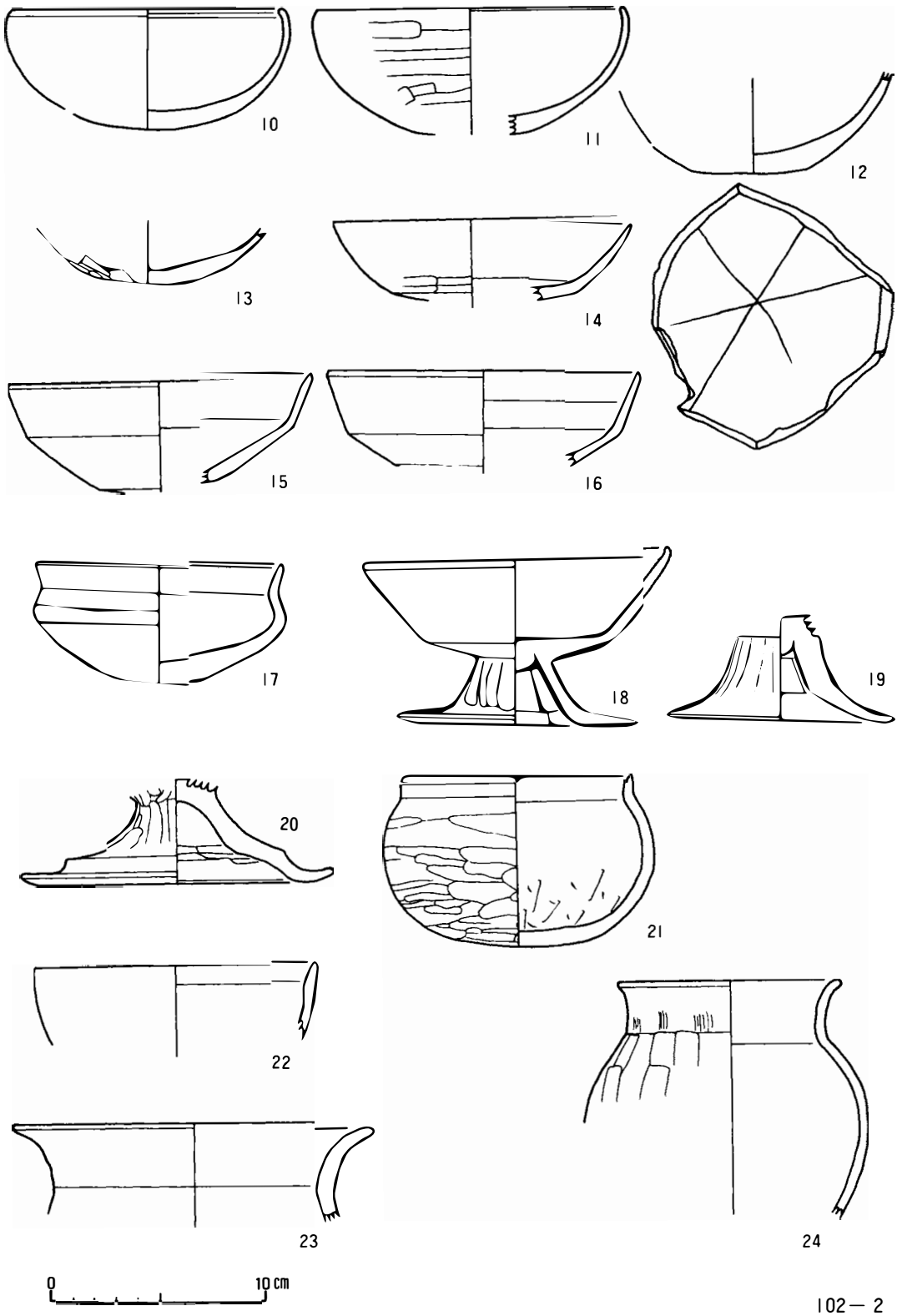




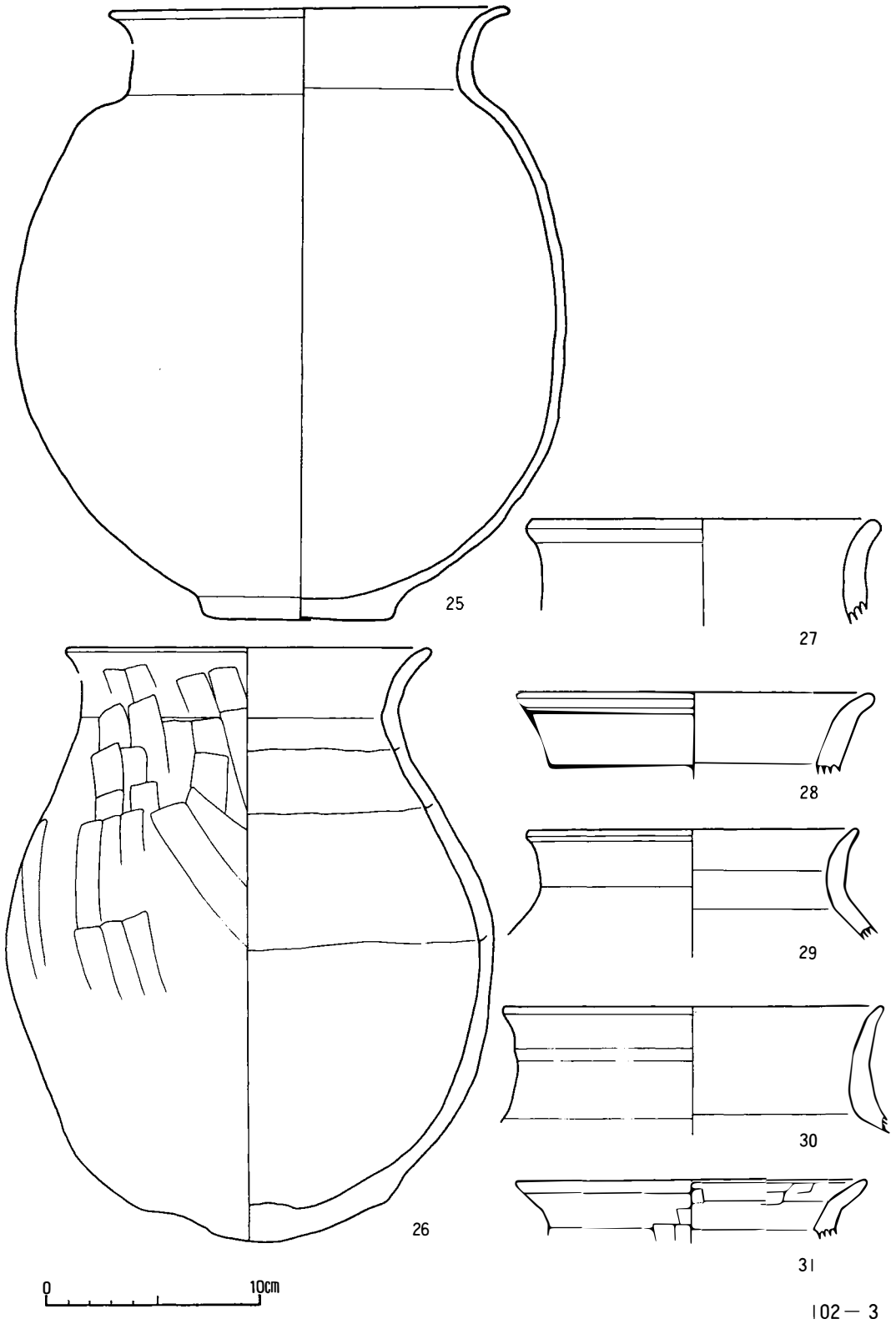
第236図　100、101号住居址出土土器



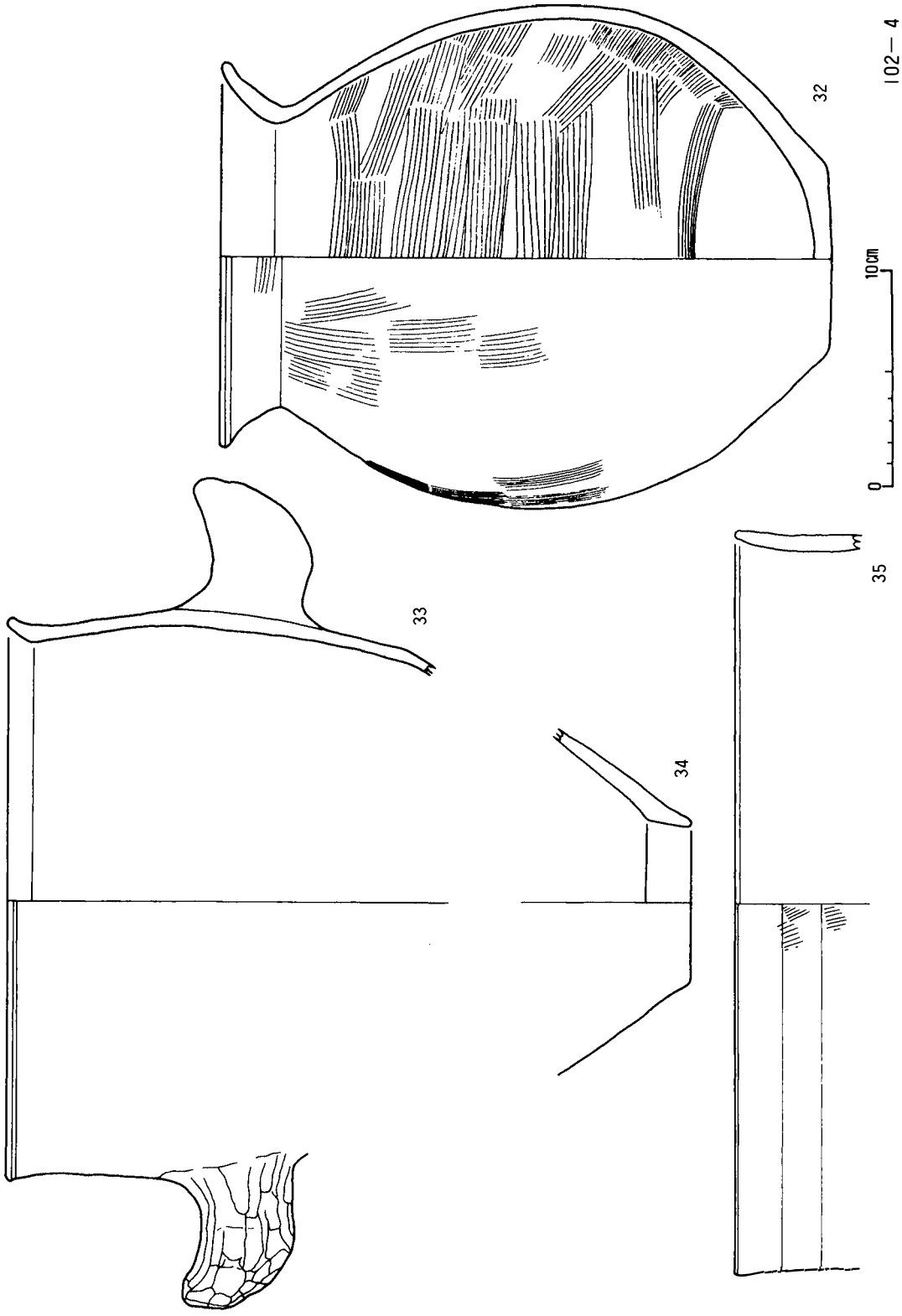
第237図　101、102号住居址出土土器



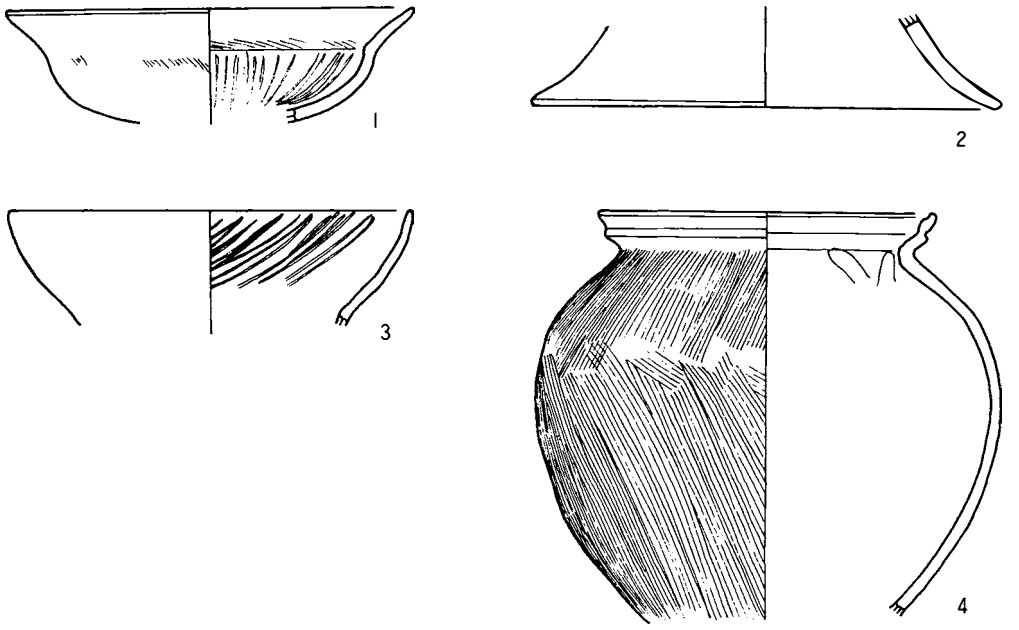
第238図　102号住居址出土土器（2）



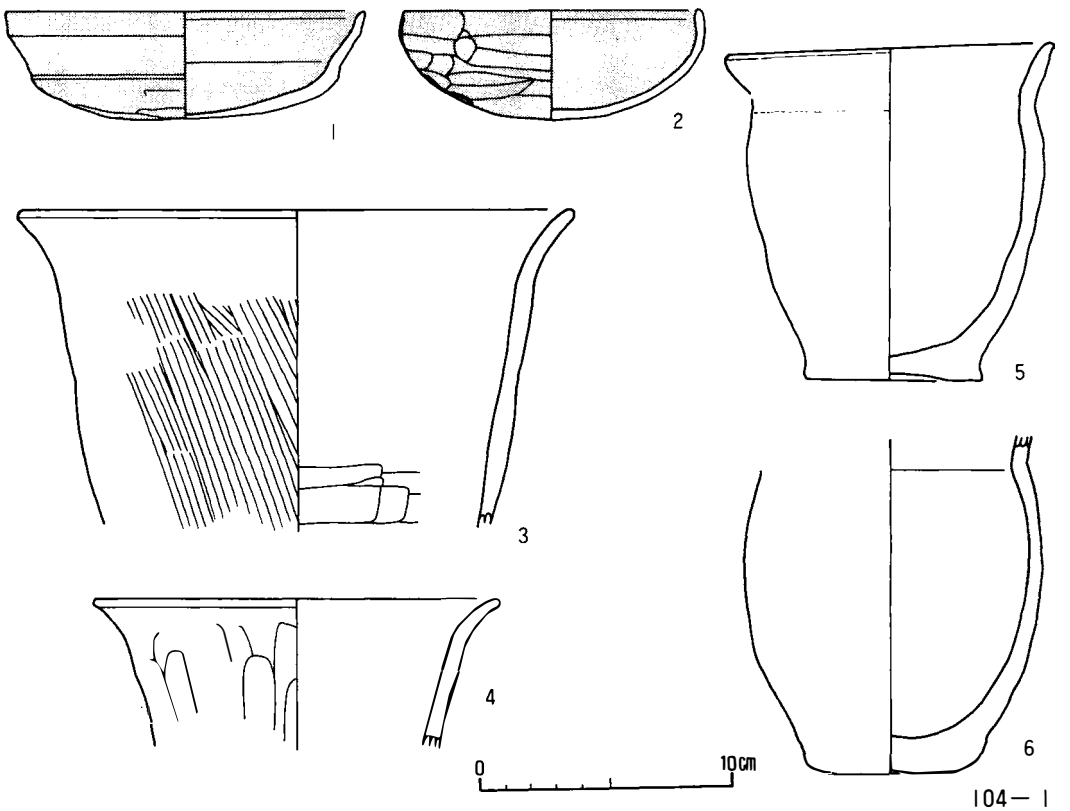
第239図　102号住居址出土土器 (3)



第240図　102号住居址出土土器（4）

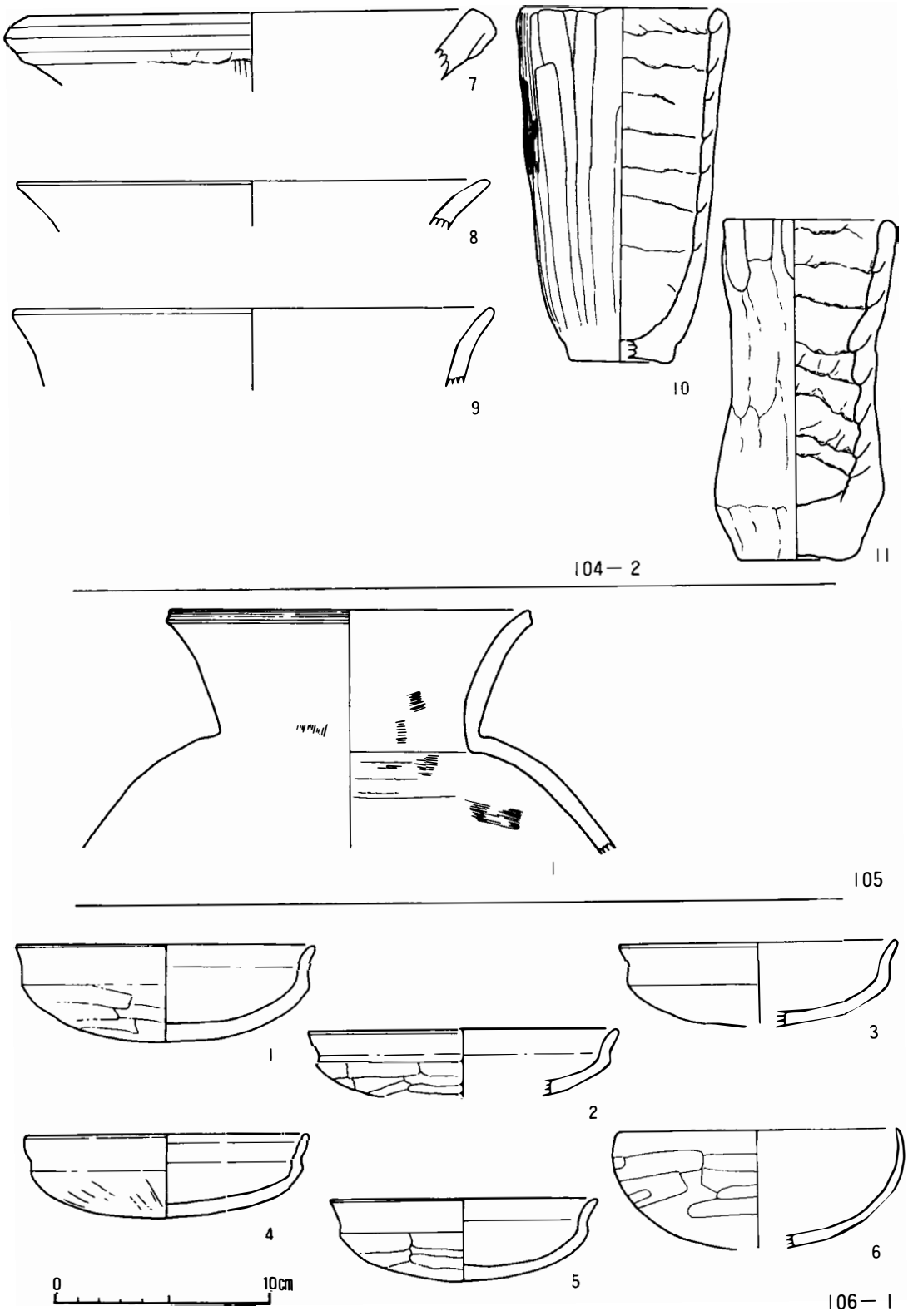


103

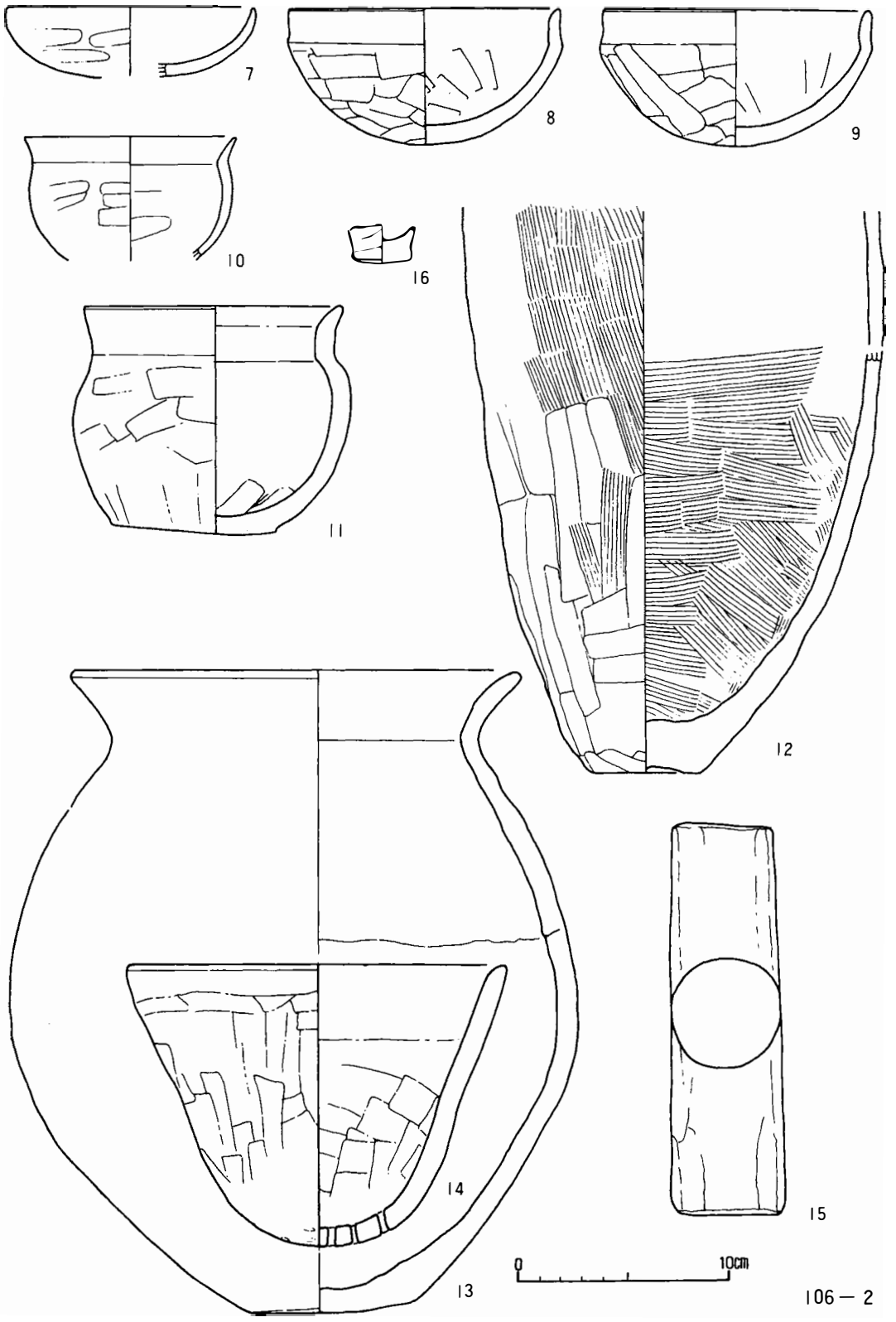


104－1

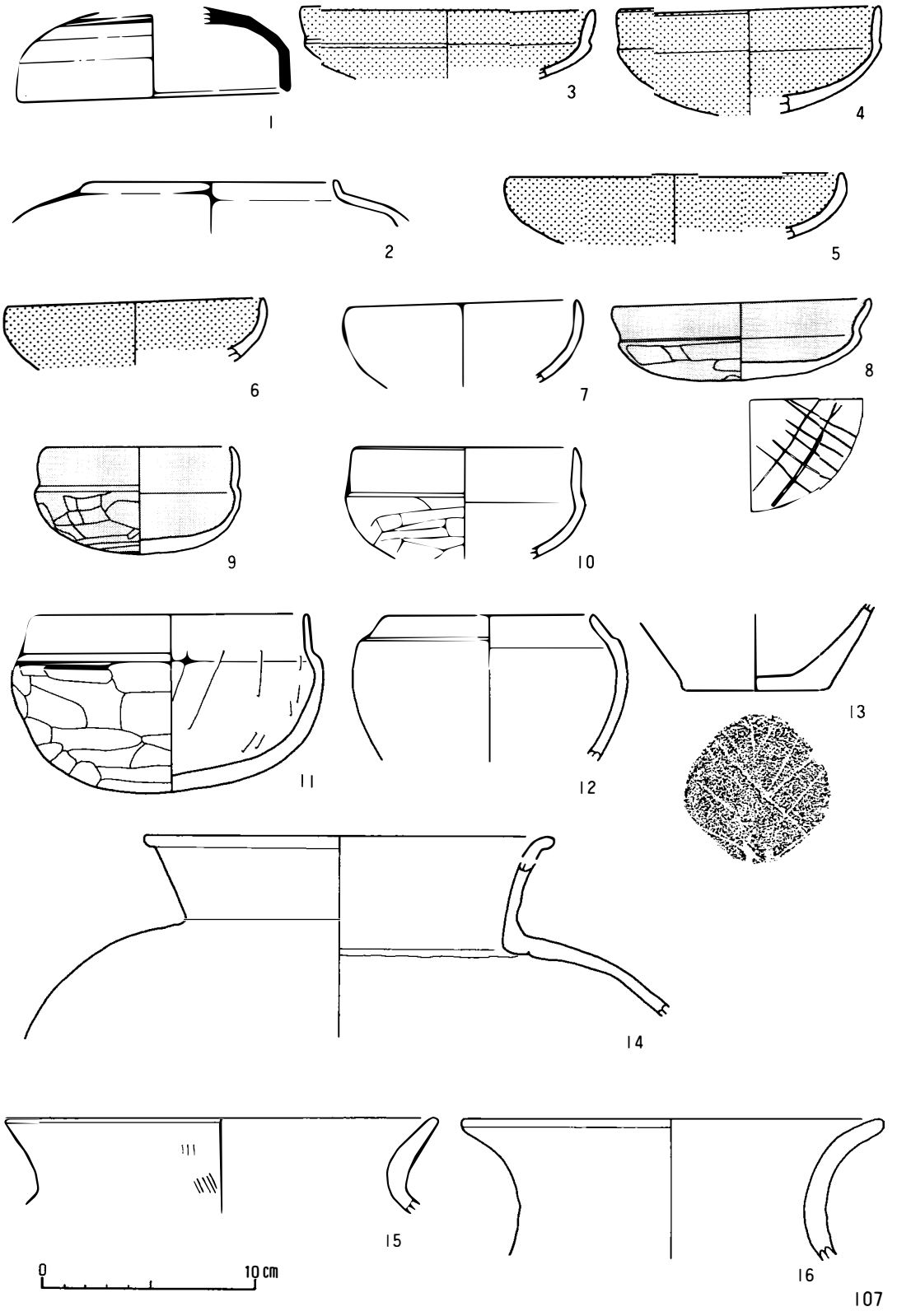
第241図　103、104号住居址出土土器



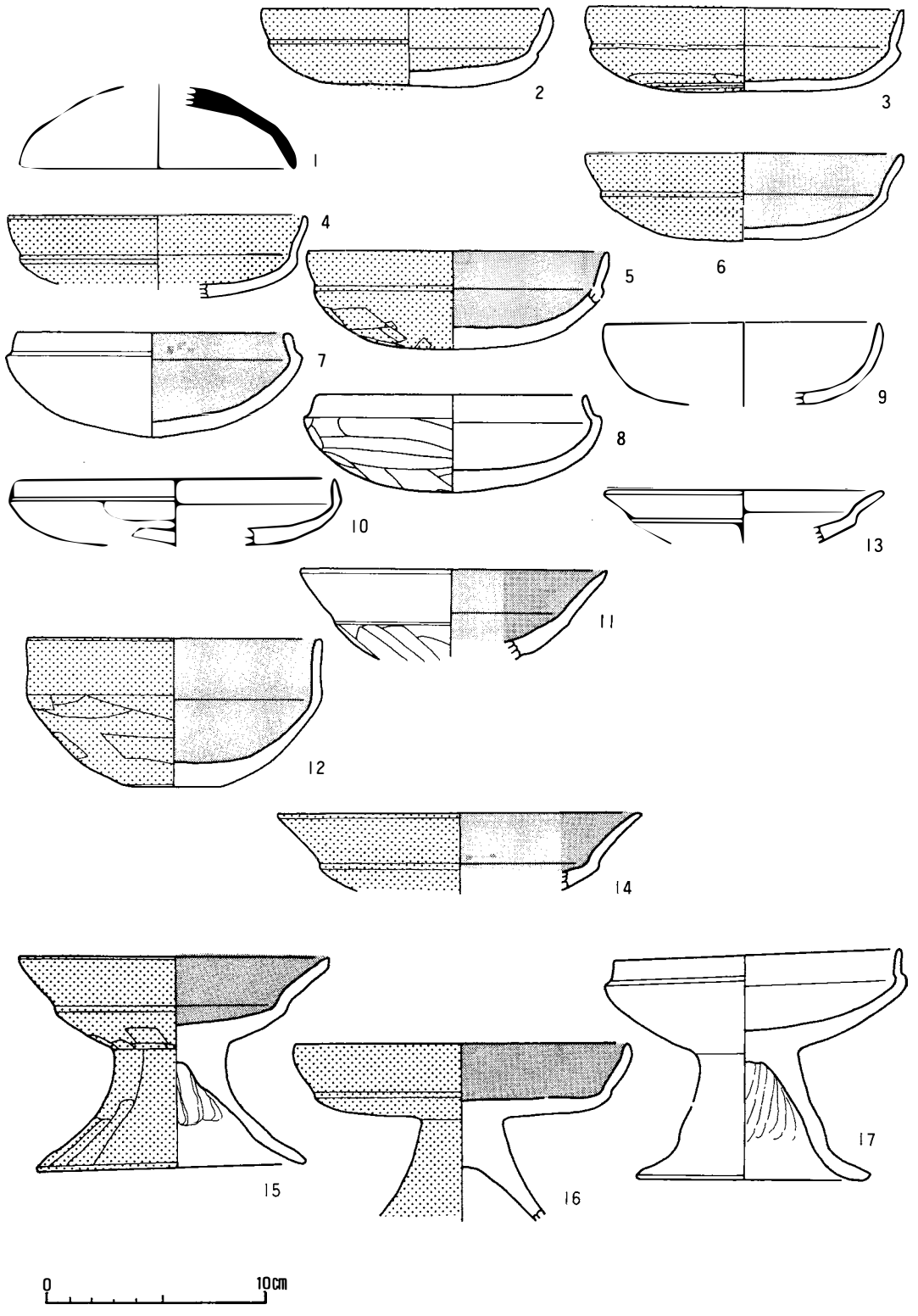
第242図　104、105、106号住居址出土土器



第243図　106号住居址出土土器 (2)

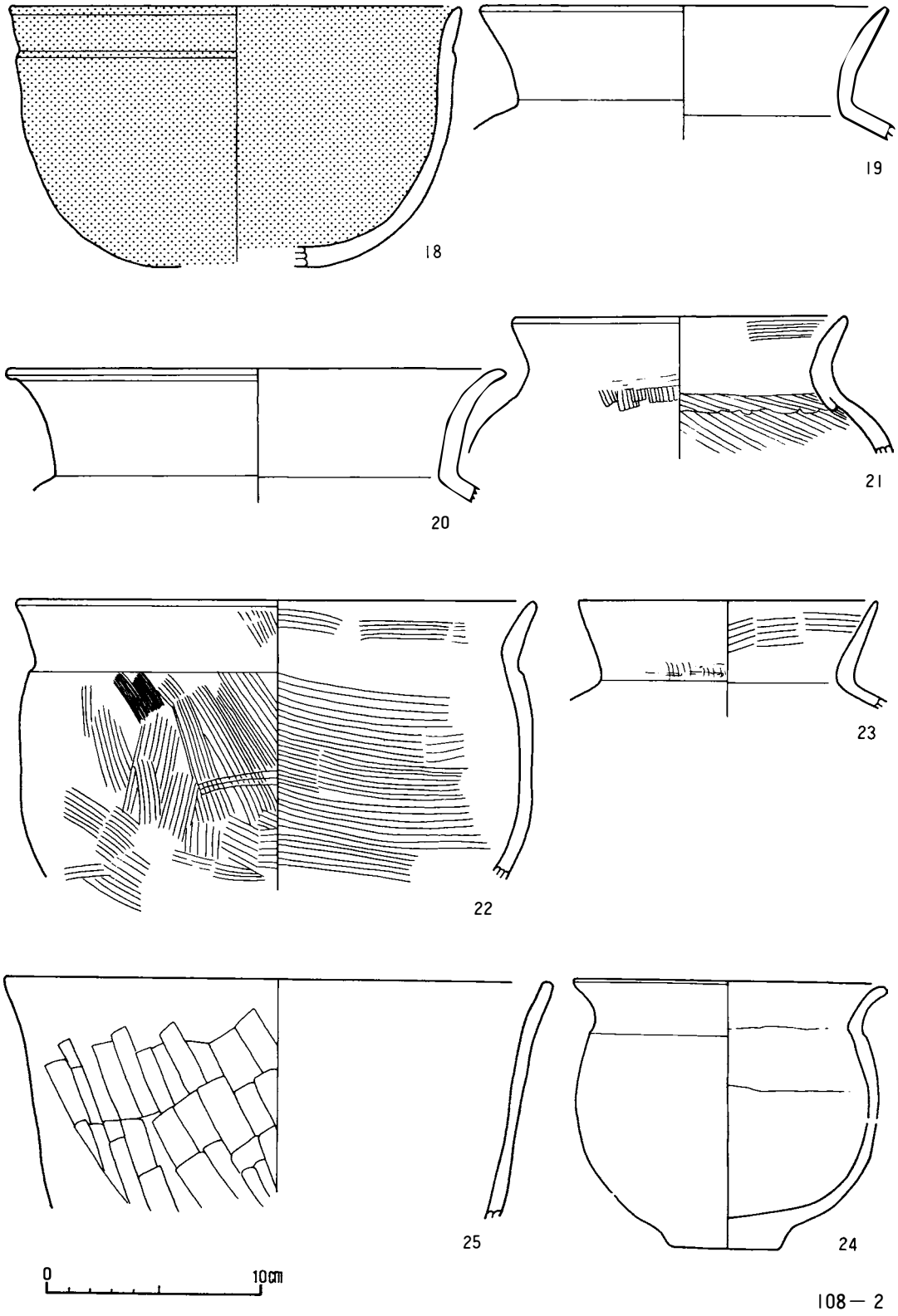


第244図　107号住居址出土土器

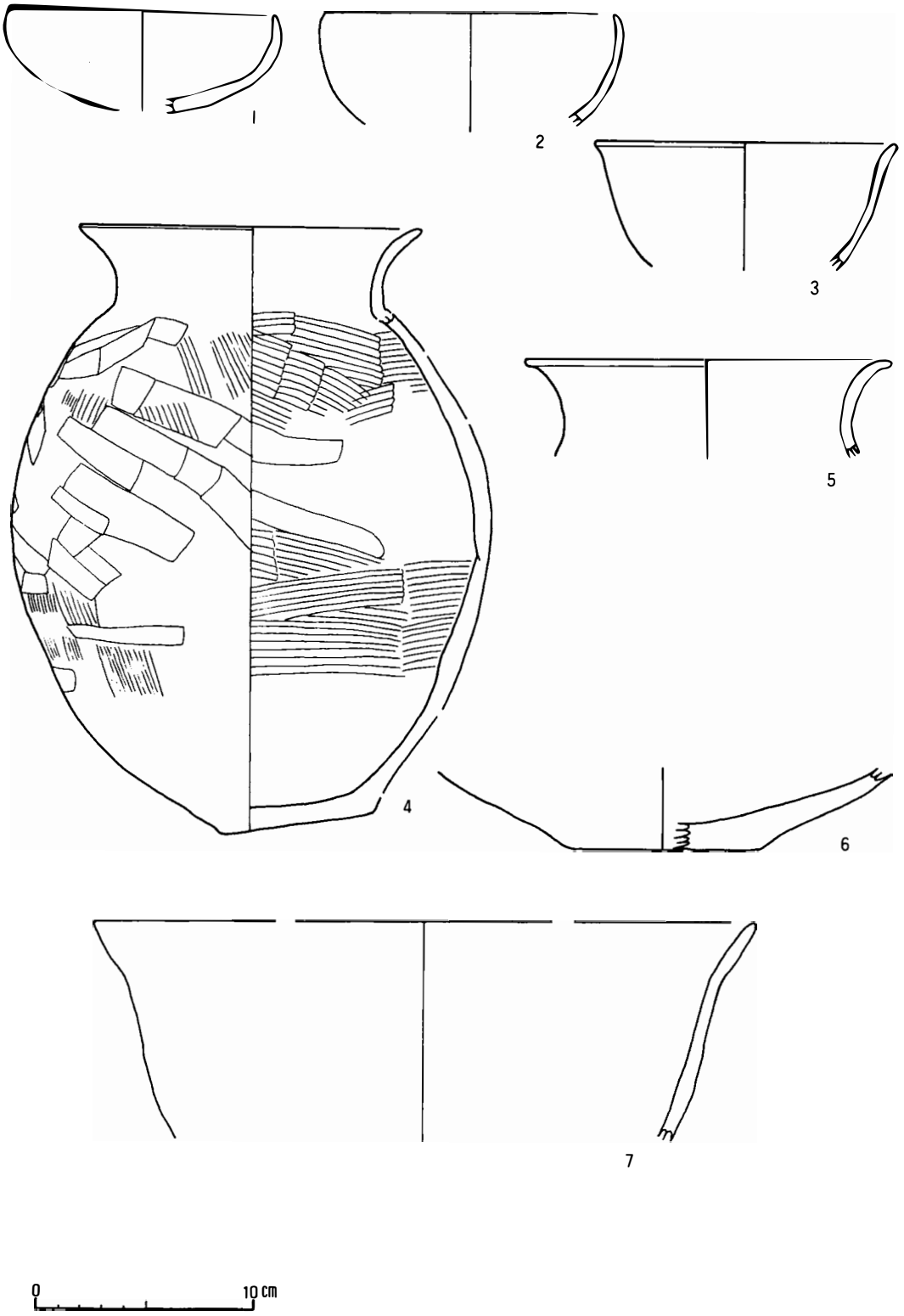


108－1

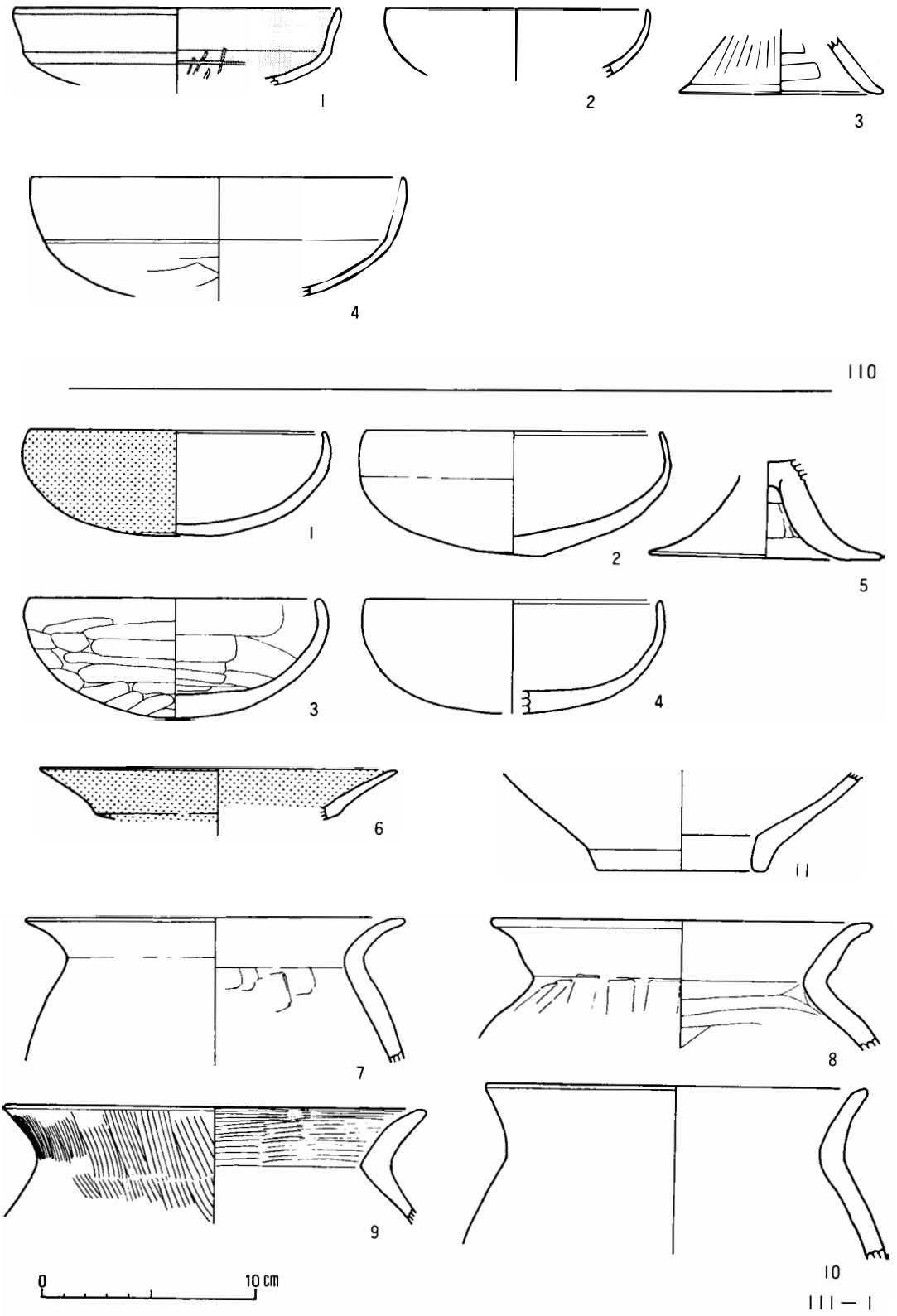
第245図　108号住居址出土土器（1）



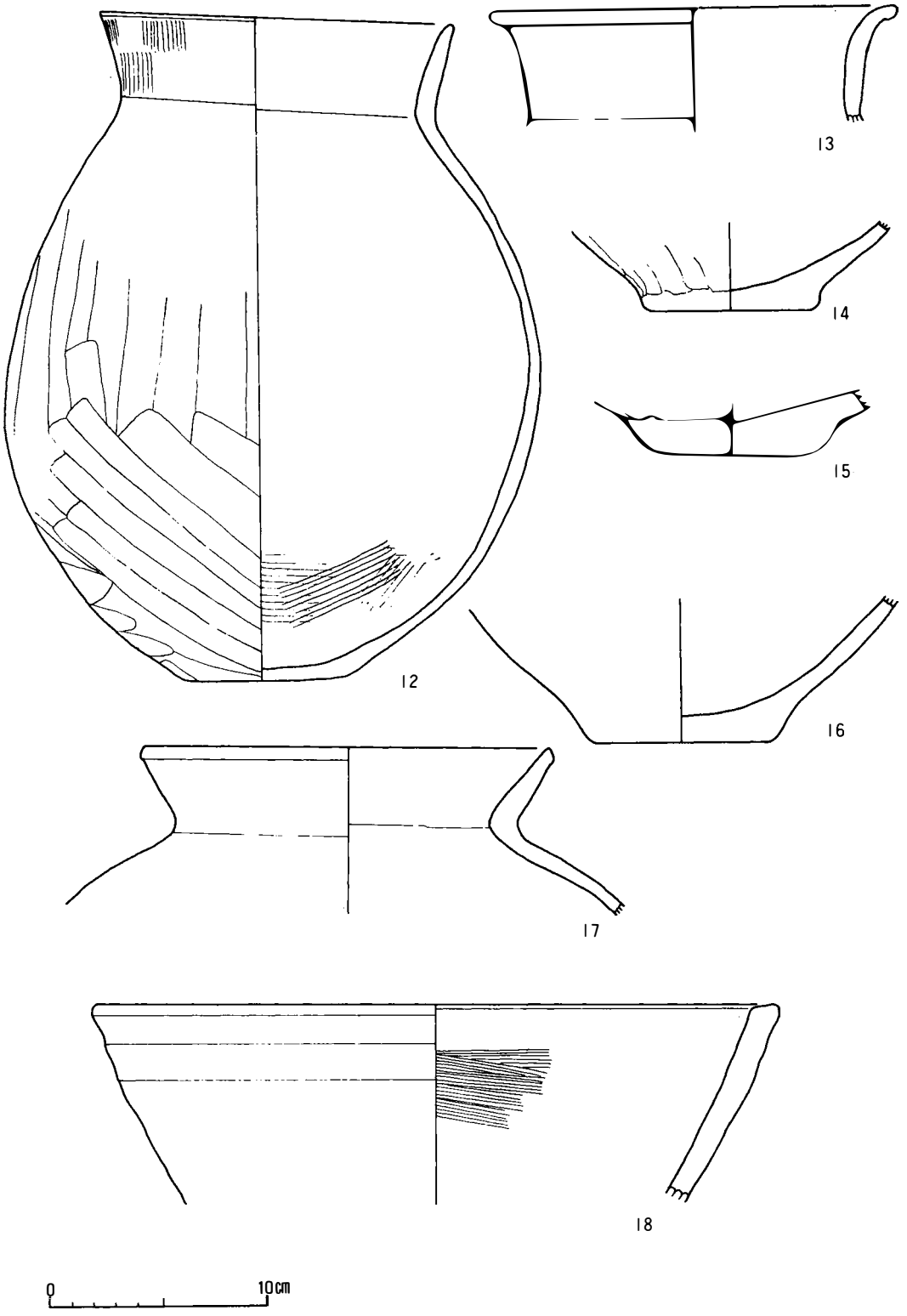
第246図　108号住居址出土土器（2）



第247図　109号住居址出土土器

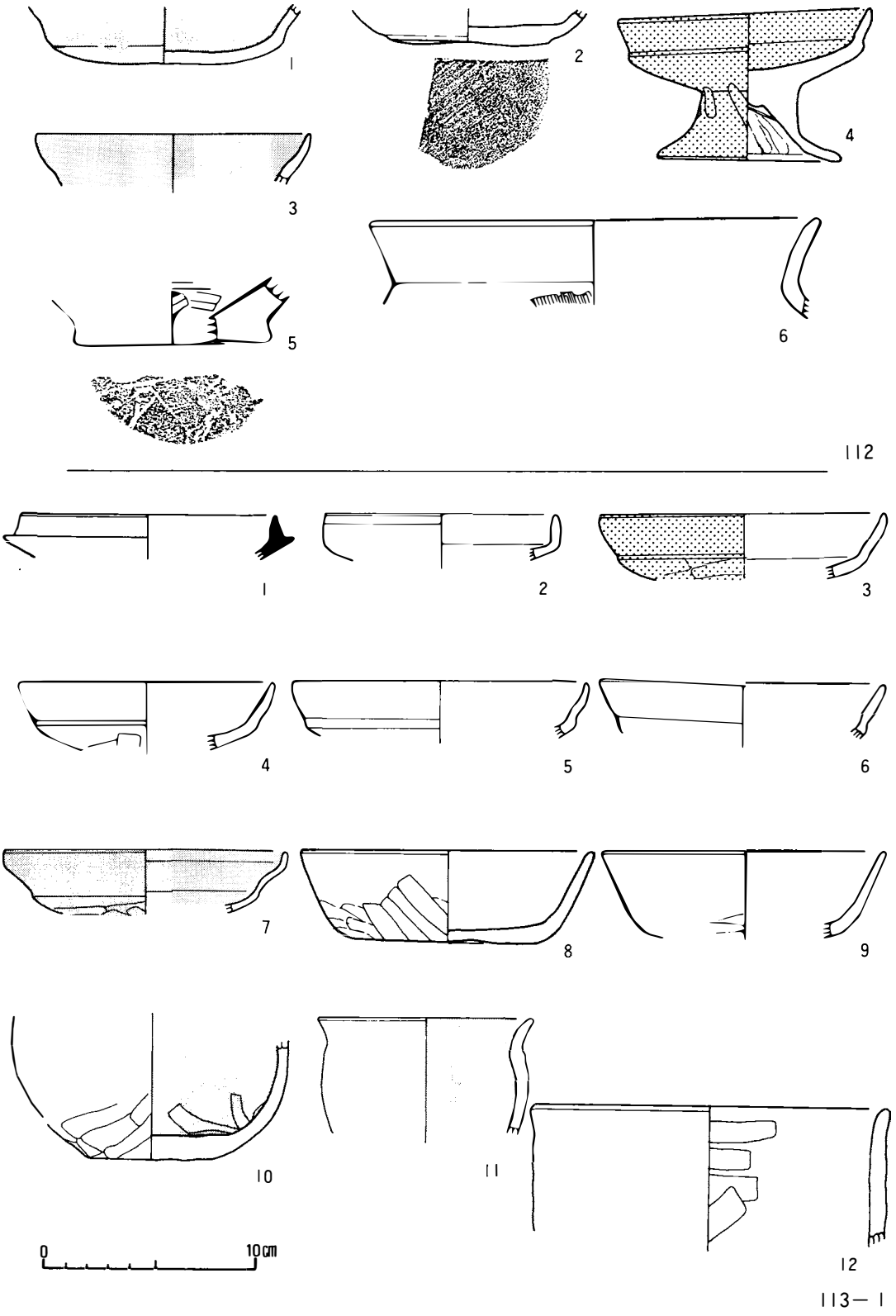


第248図　110、111号住居址出土土器

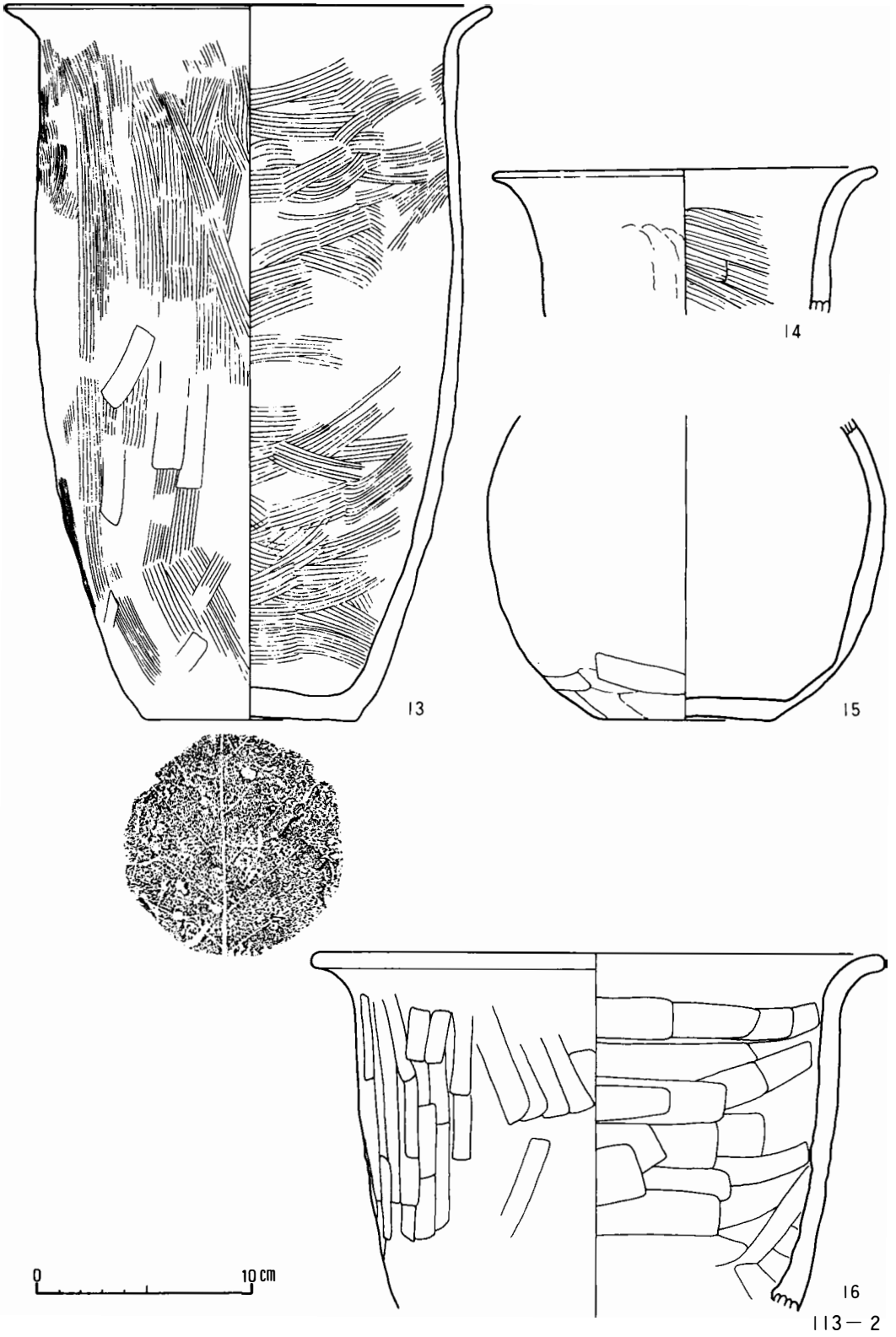


111－2

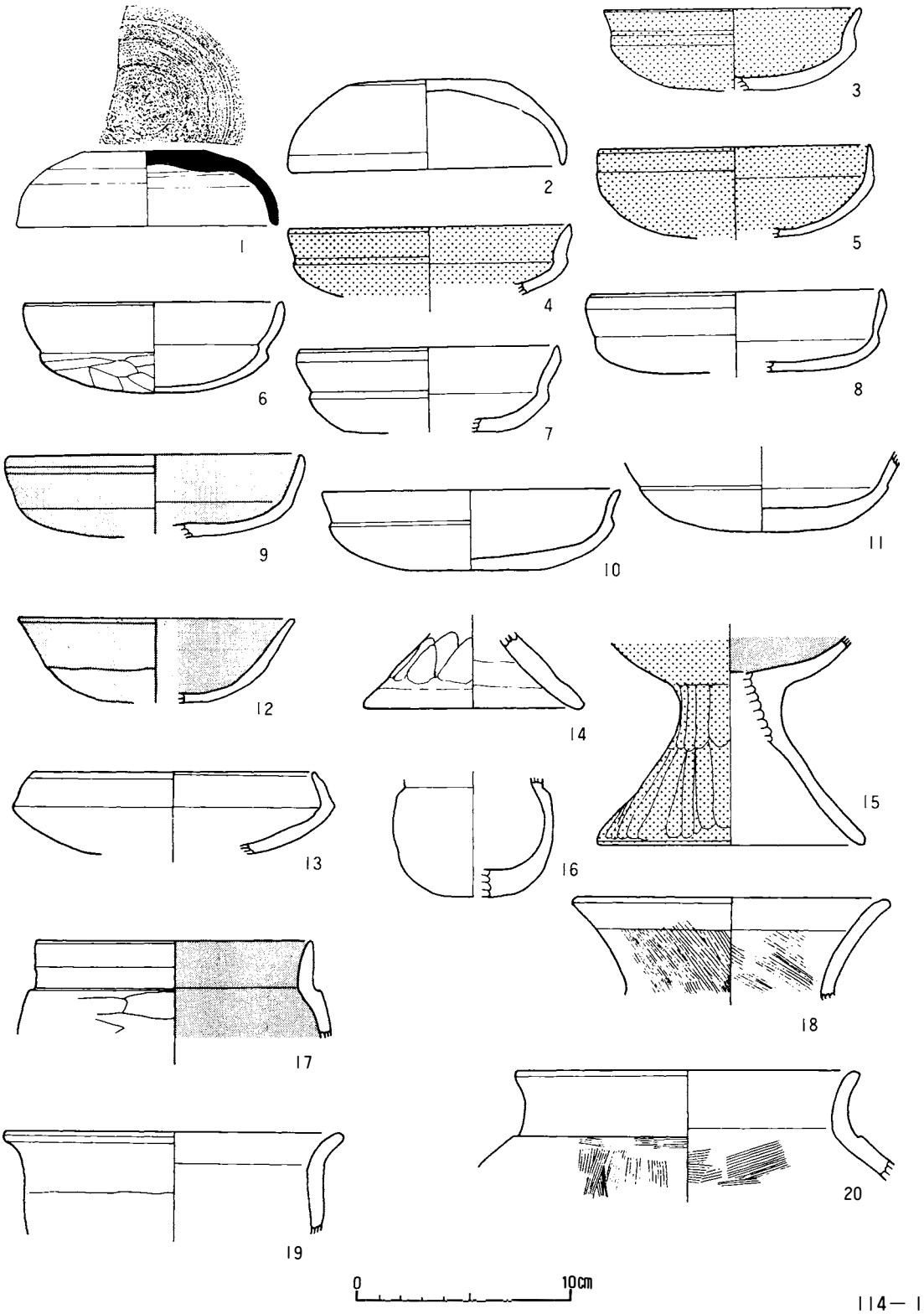
第249図　111号住居址出土土器 (2)



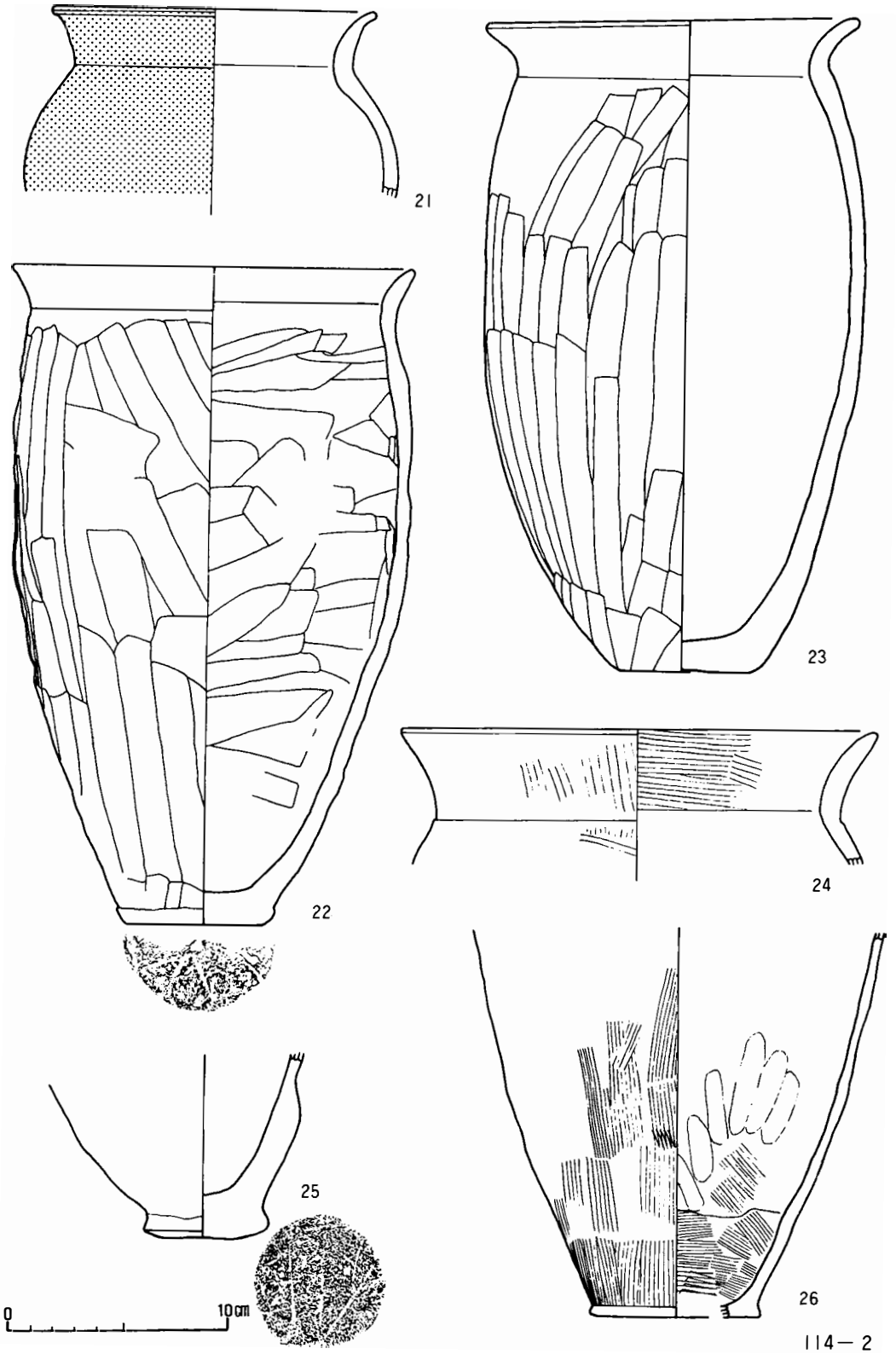
第250図　112、113号住居址出土土器



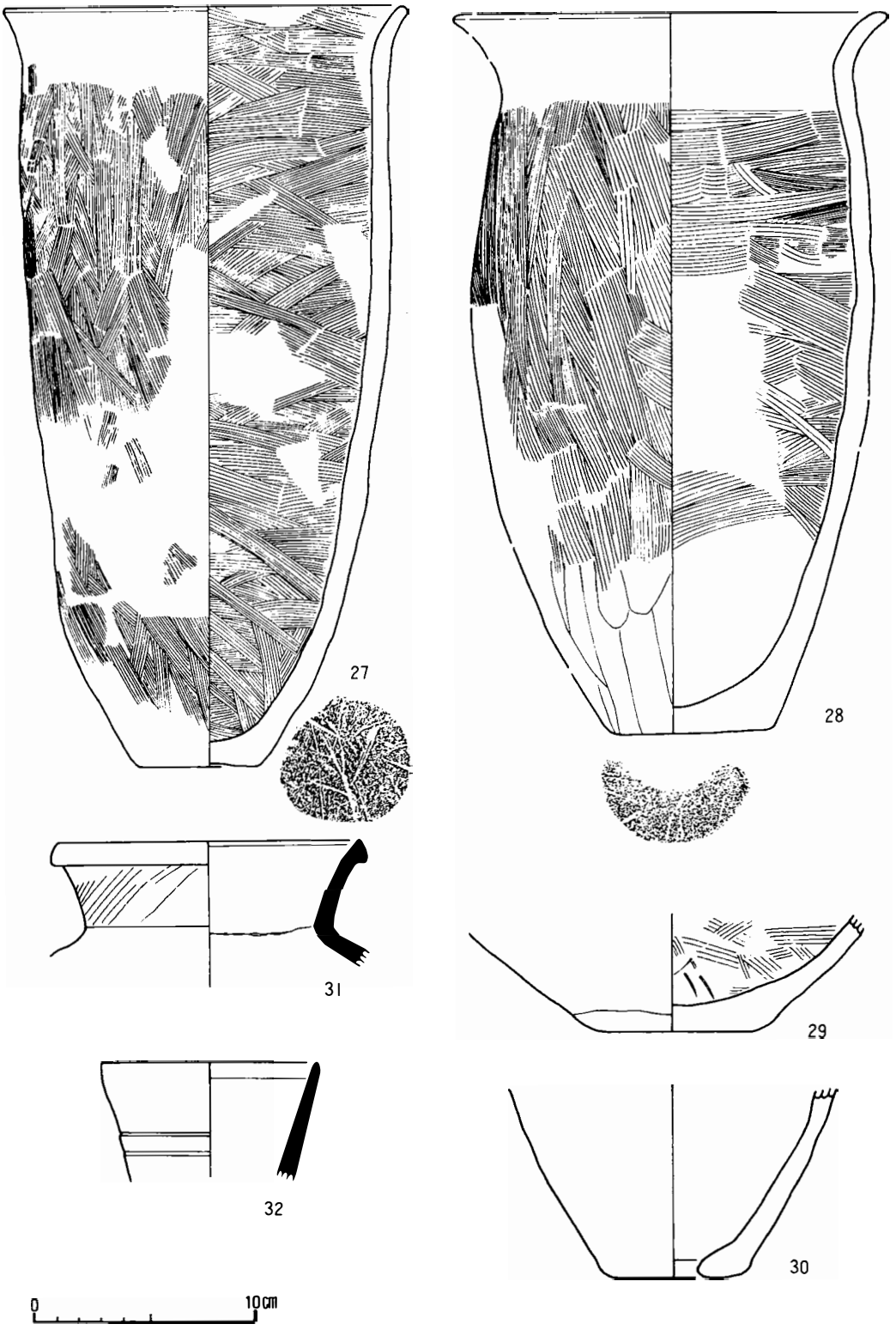
第251図　113号住居址出土土器（2）



第252図　114号住居址出土土器（1）

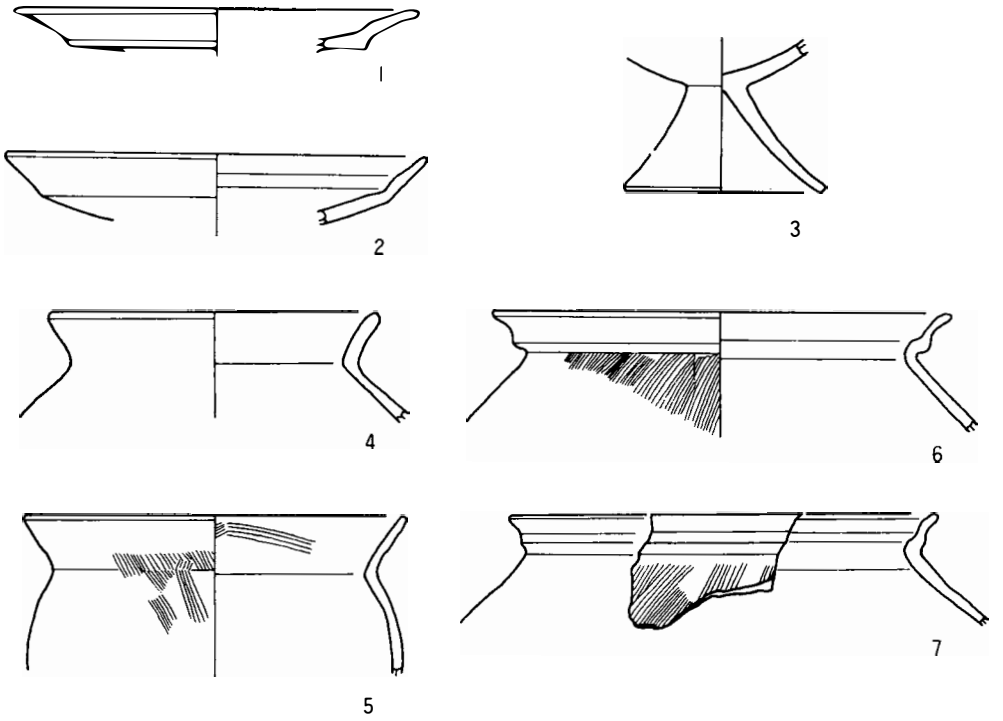


第253図　114号住居址出土土器（2）

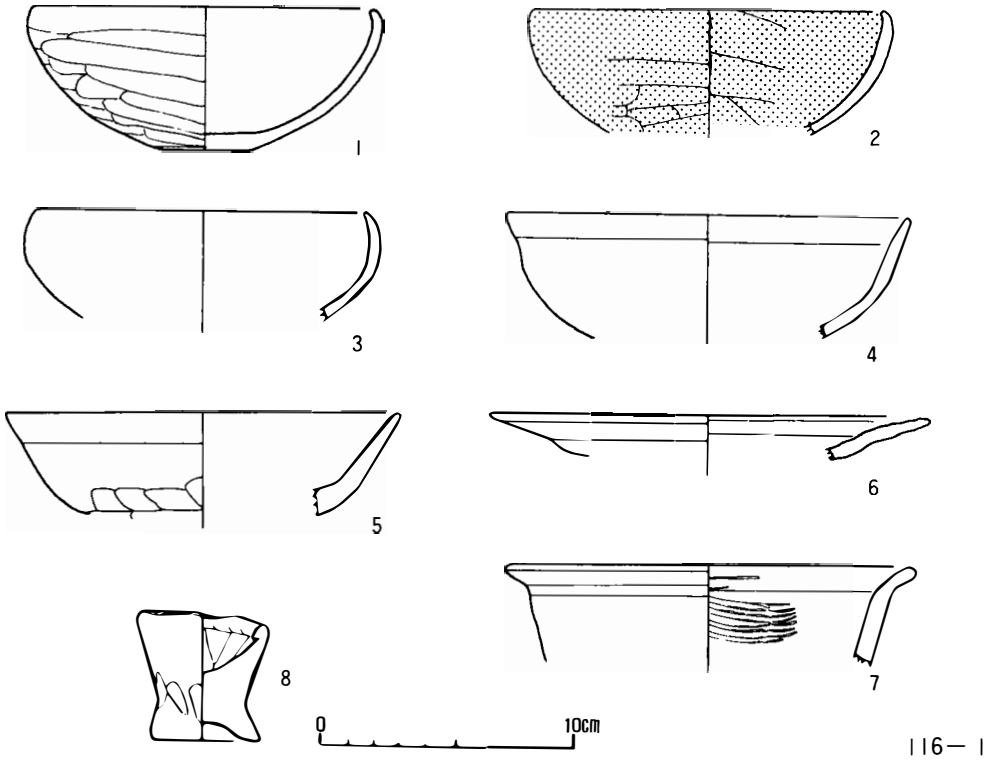


114－3

第254図　114号住居址出土土器（3）

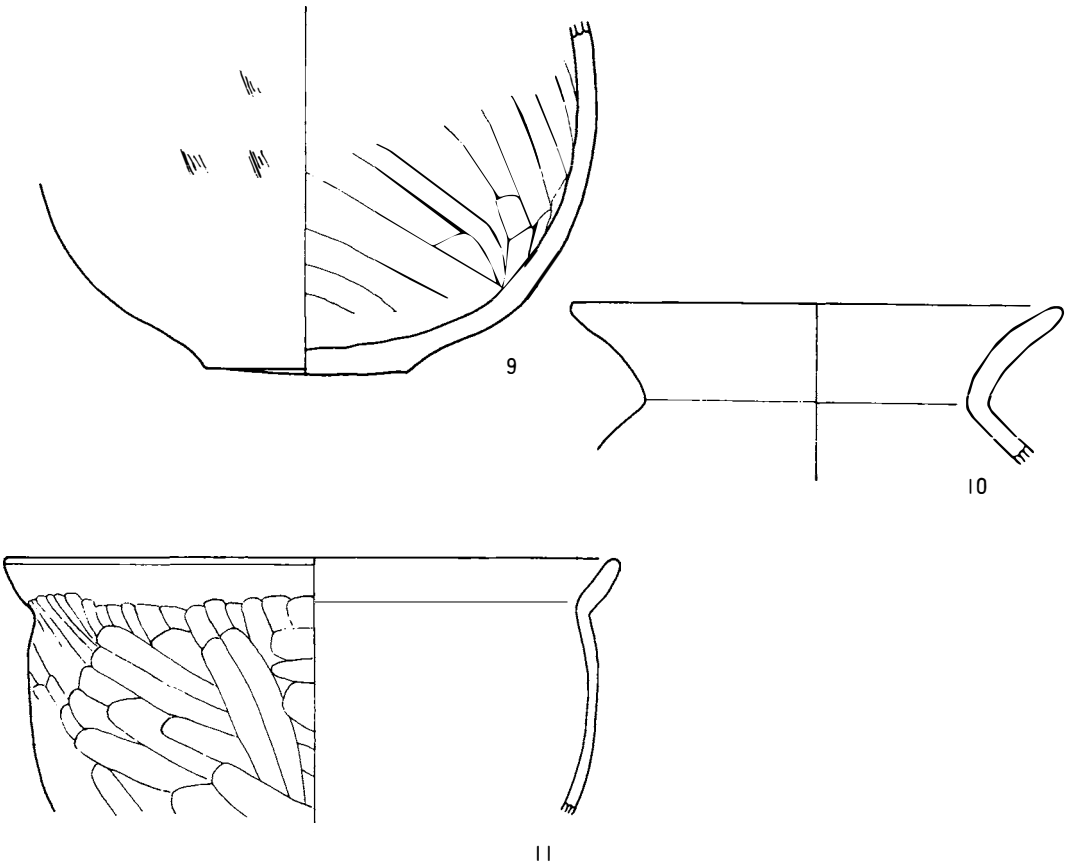


115

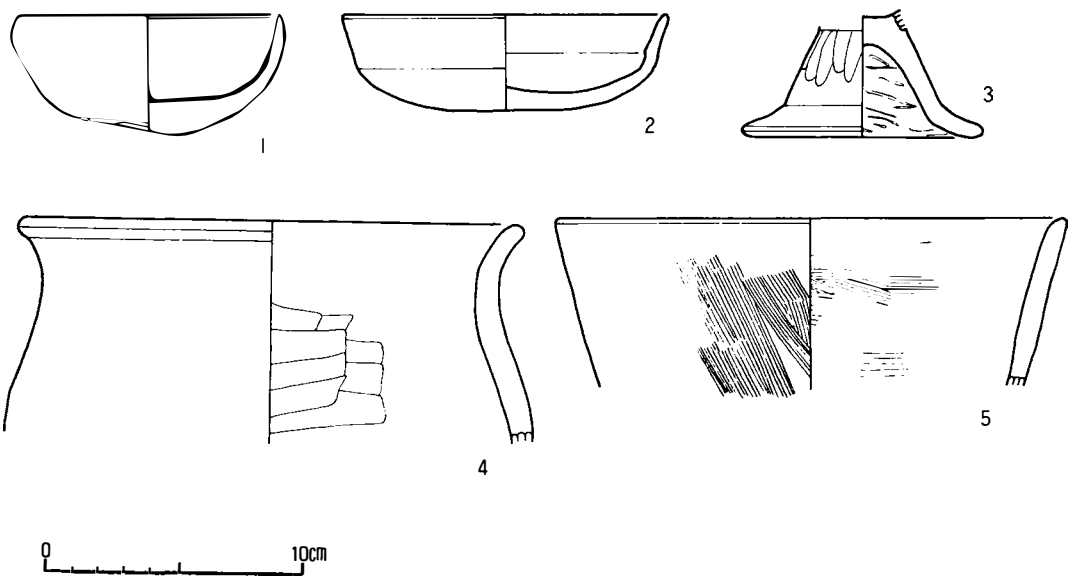


116－1

第255図　115、116号住居址出土土器

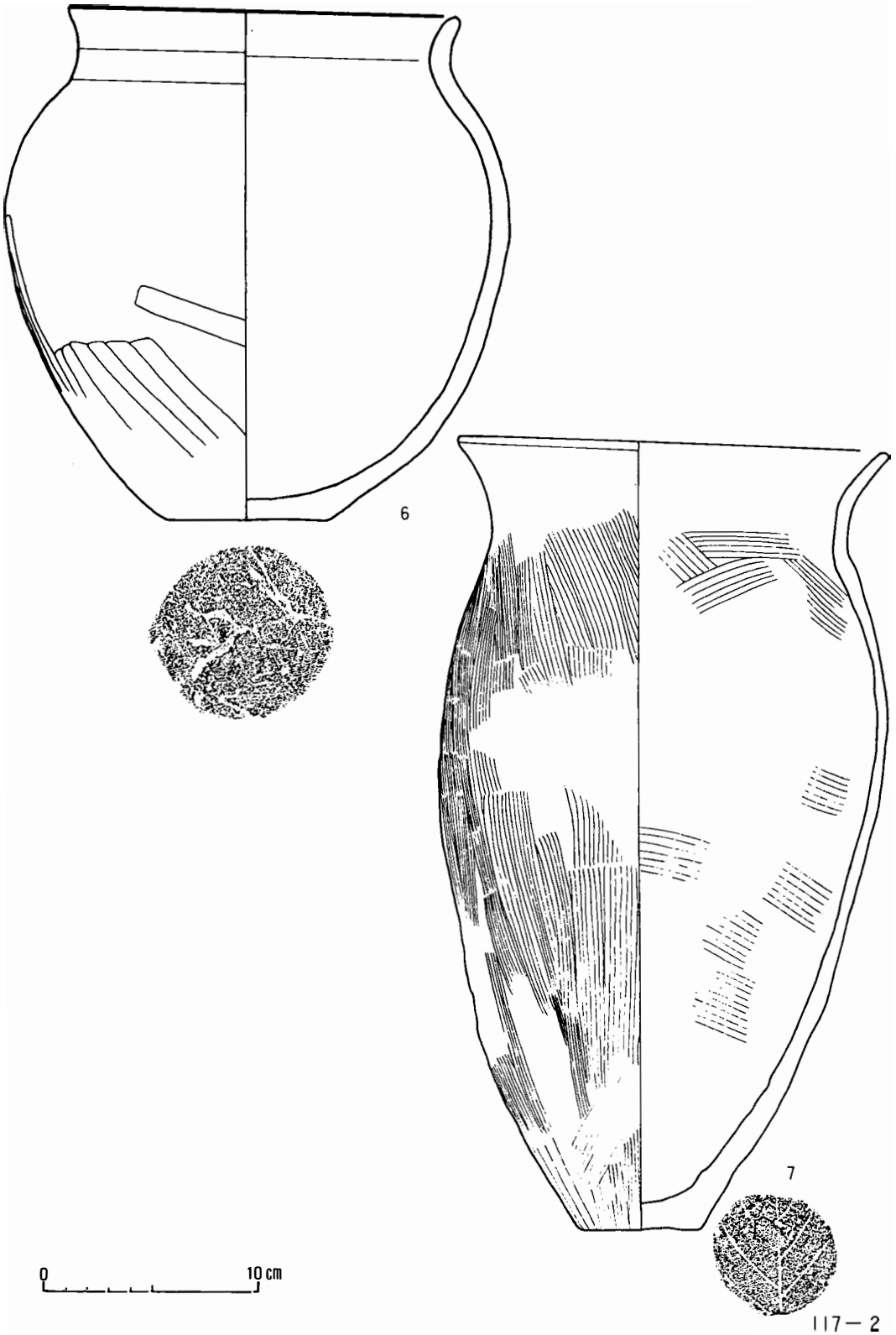


116－2

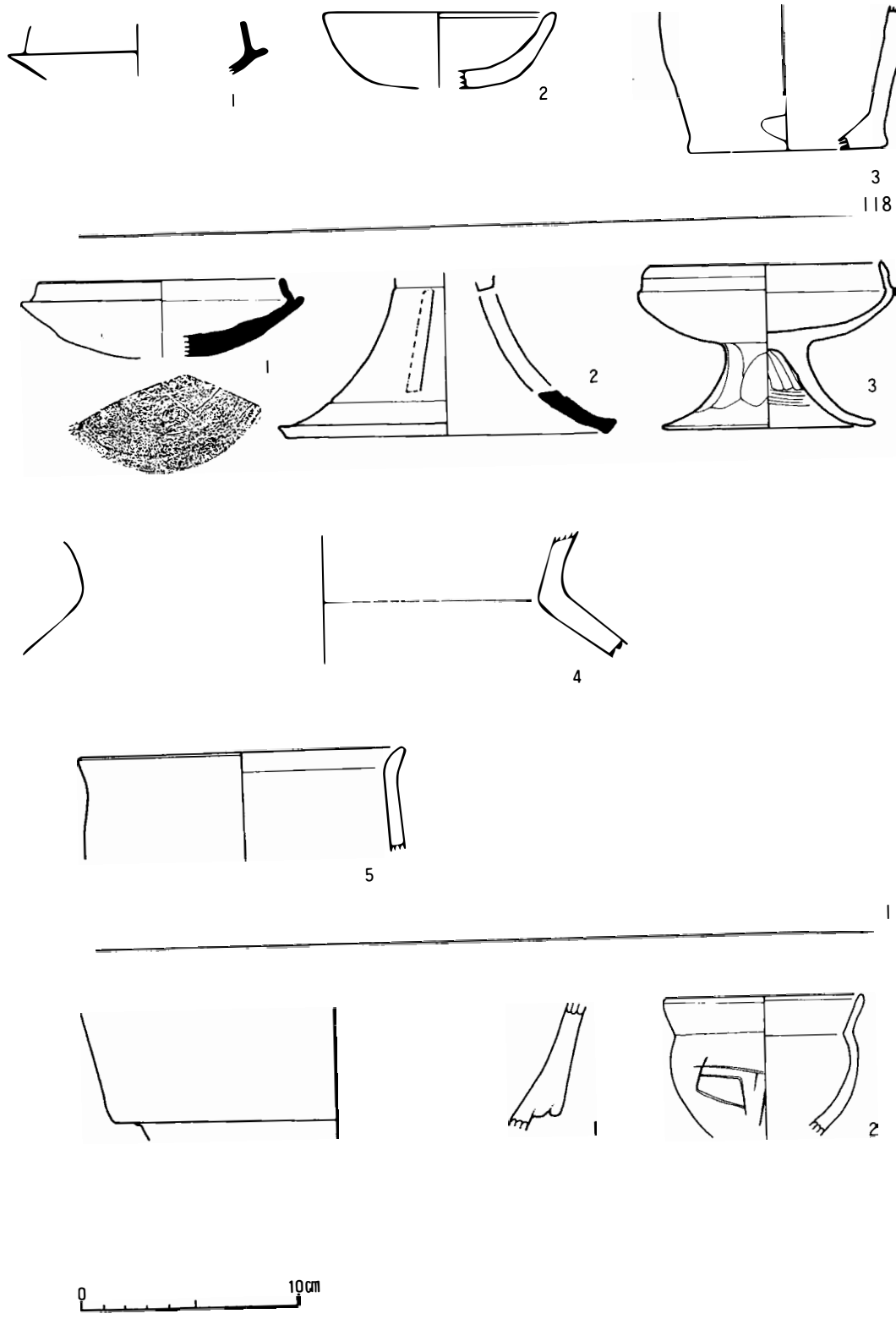


117－1

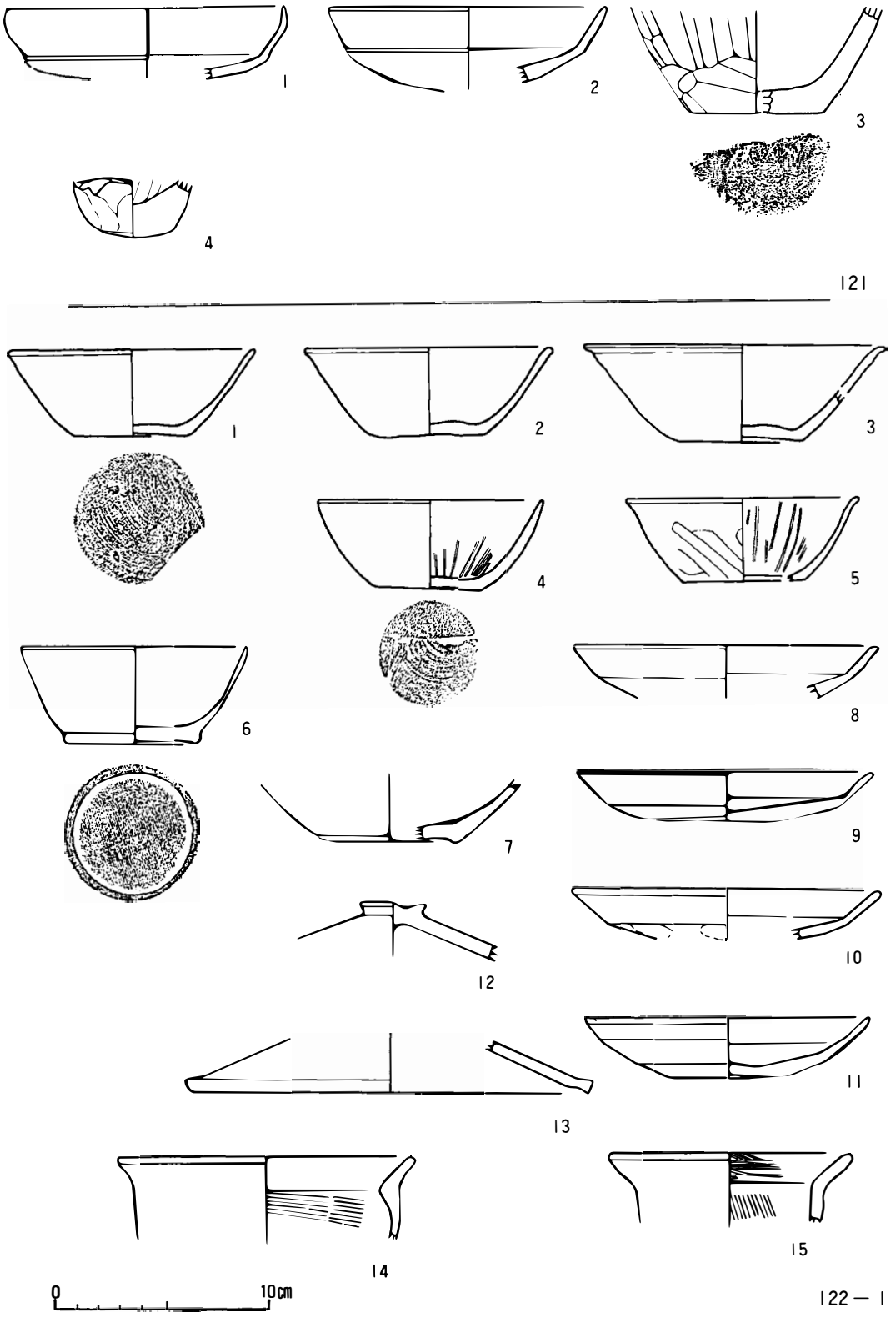
第256図　116、117号住居址出土土器



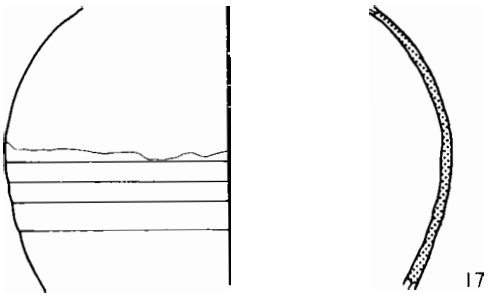
第257図　117号住居址出土土器（2）



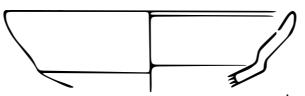
第258図　118、119、120号住居址出土土器

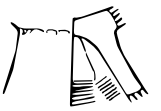


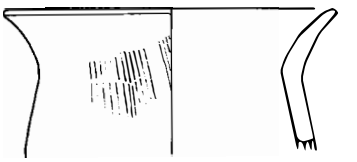
第259図　121、122号住居址出土土器

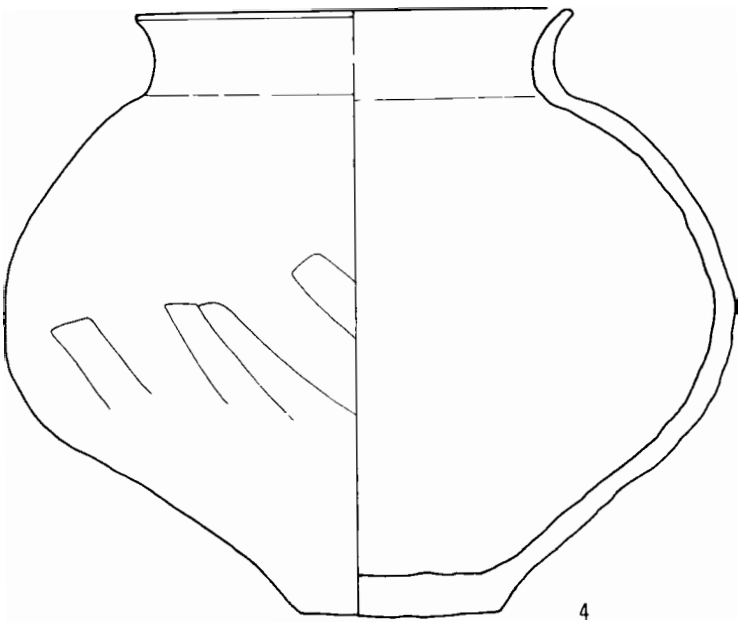


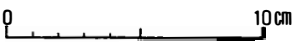
122－2





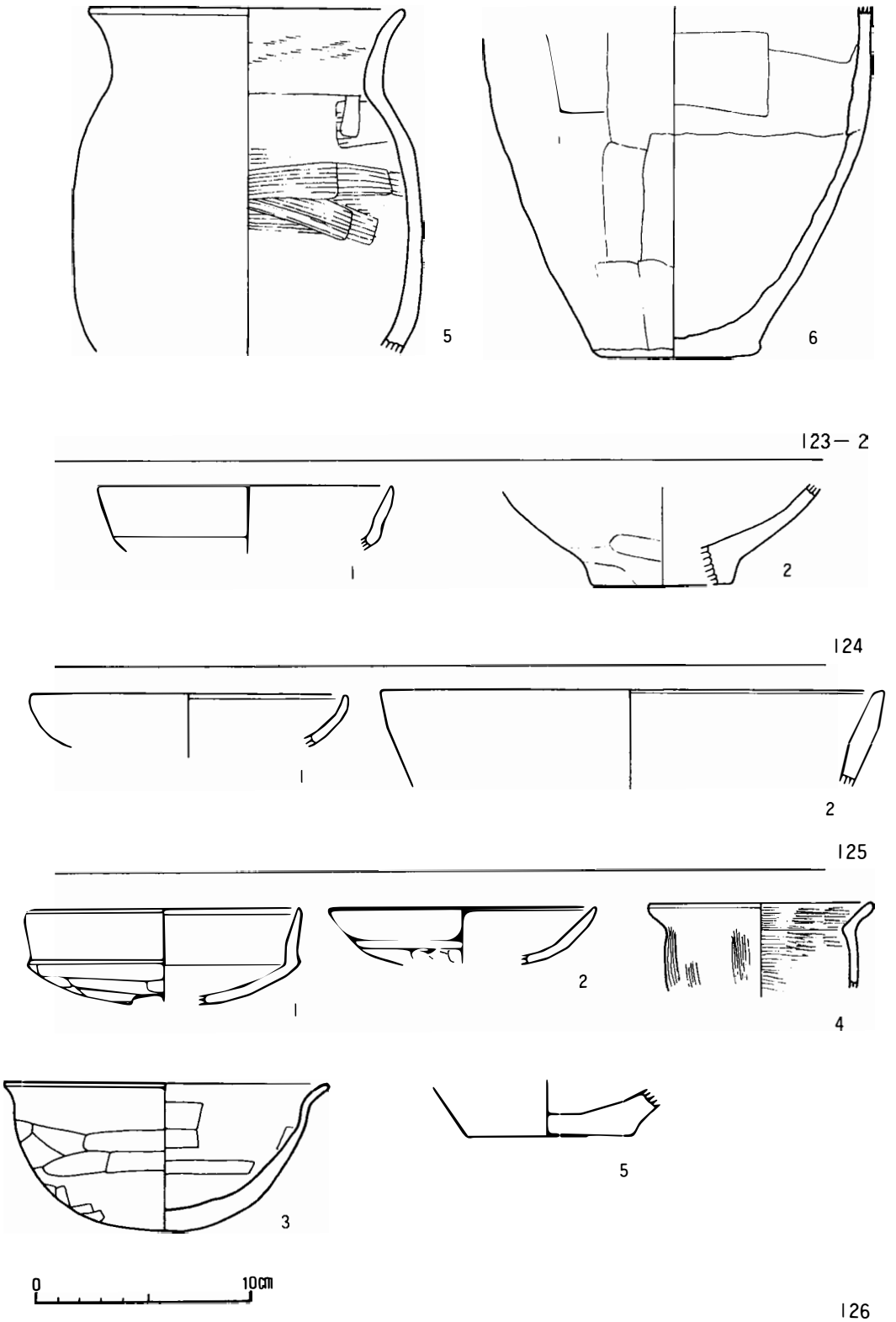




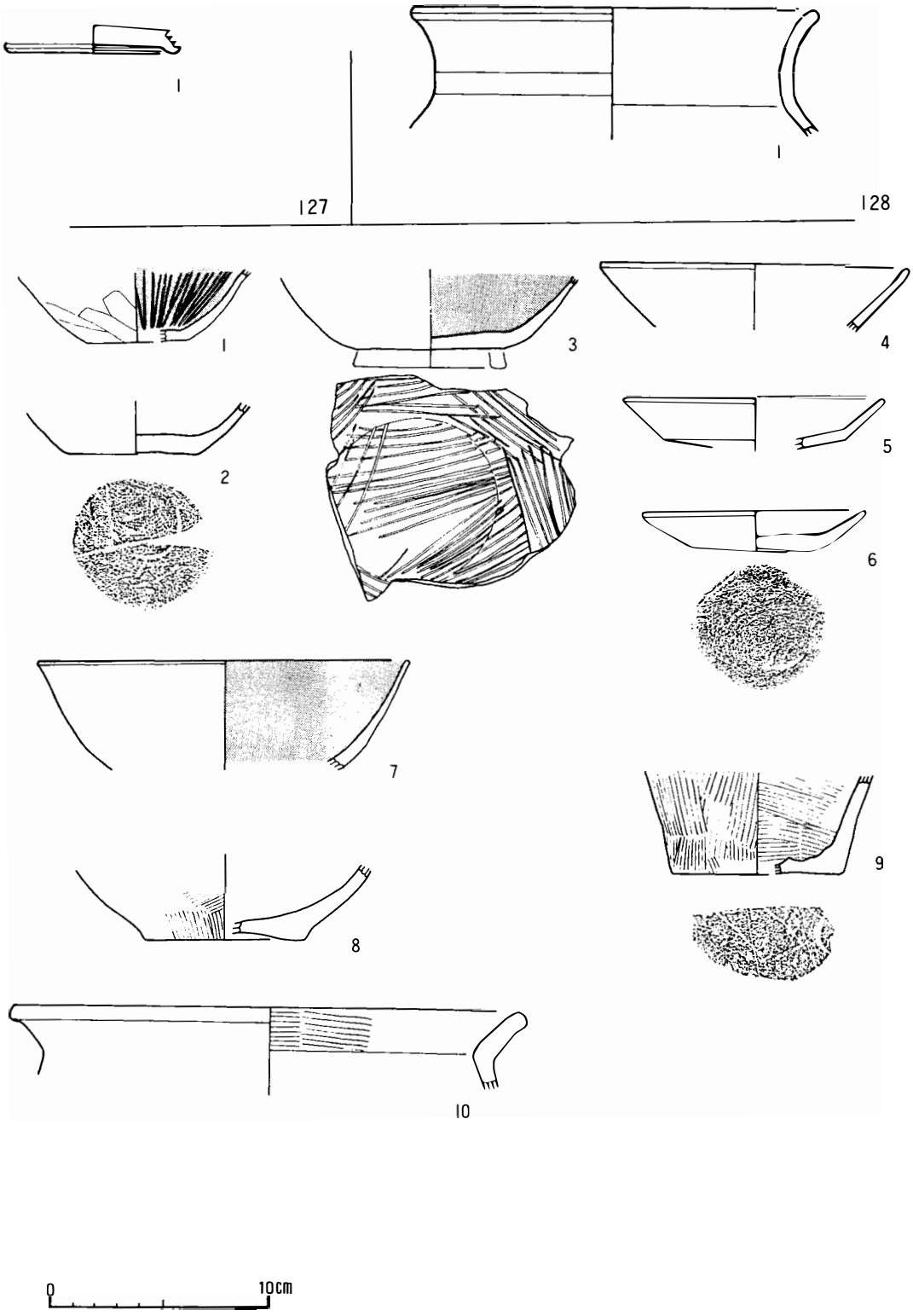


123－1

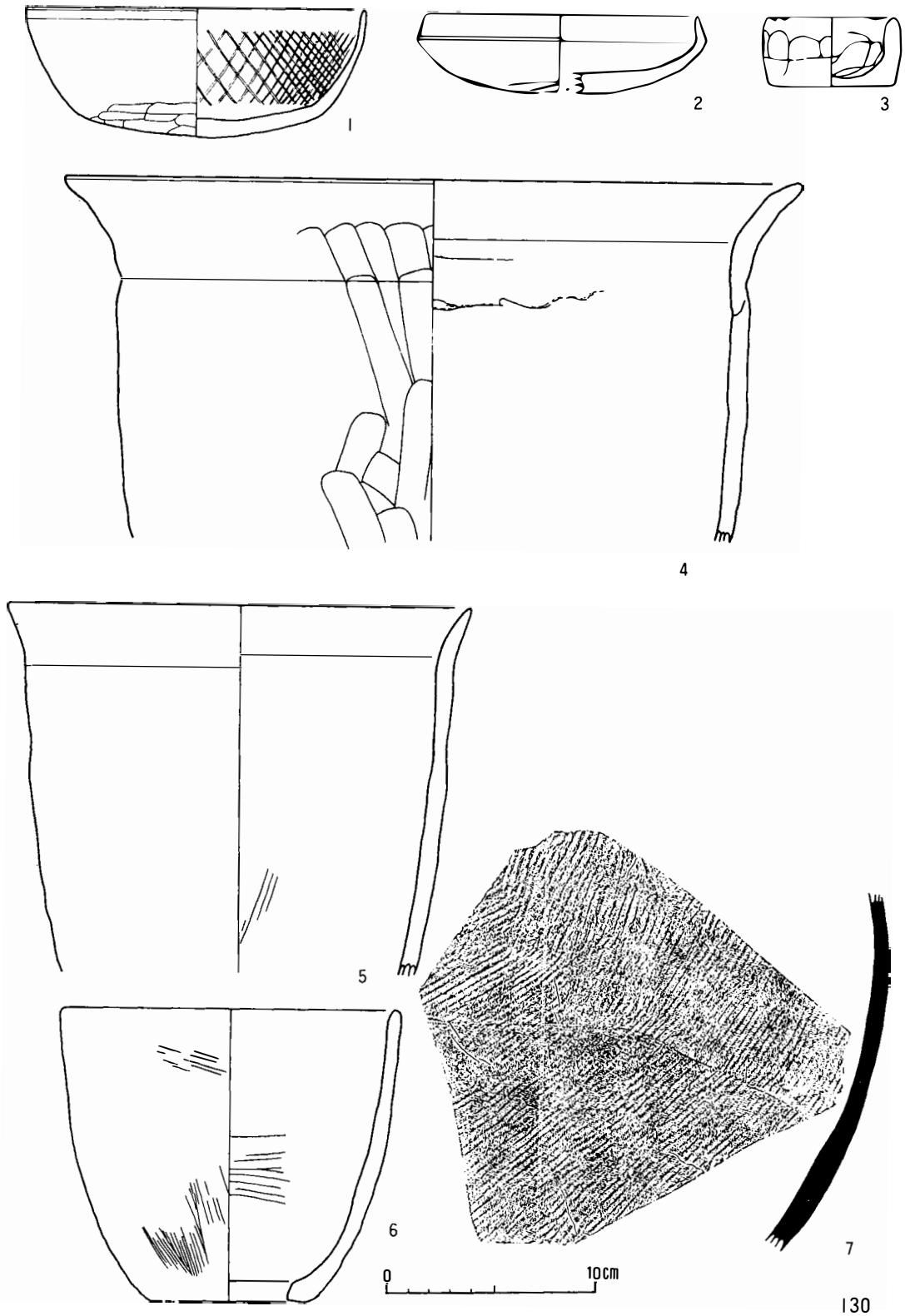
第260図　122、123号住居址出土土器



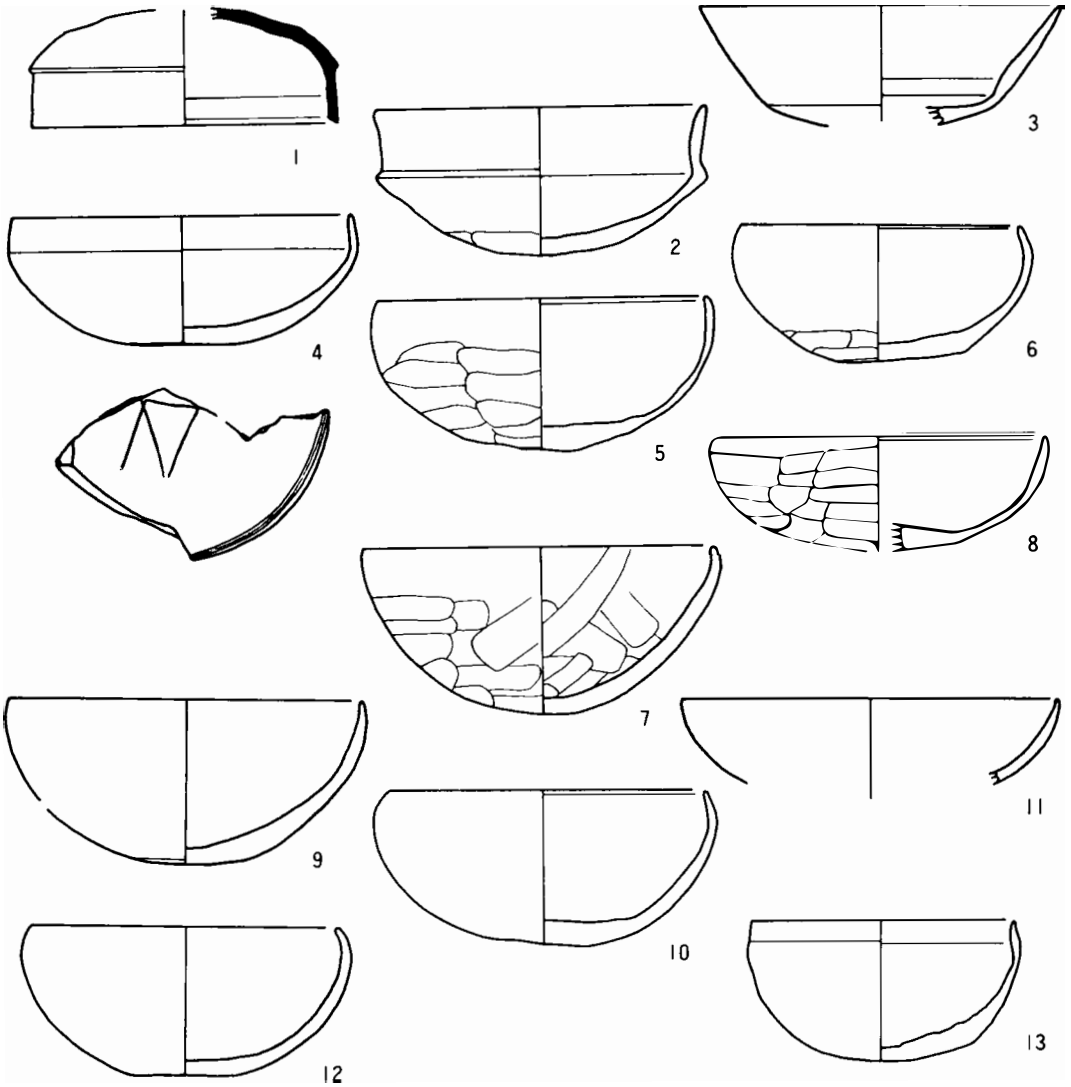
第261図　123、124、125、126号住居址出土土器

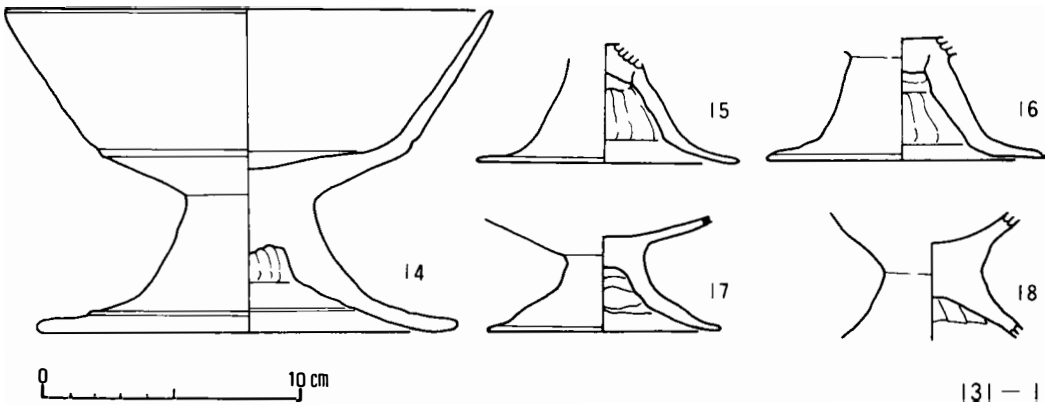


第262図　127、128、129号住居址出土土器

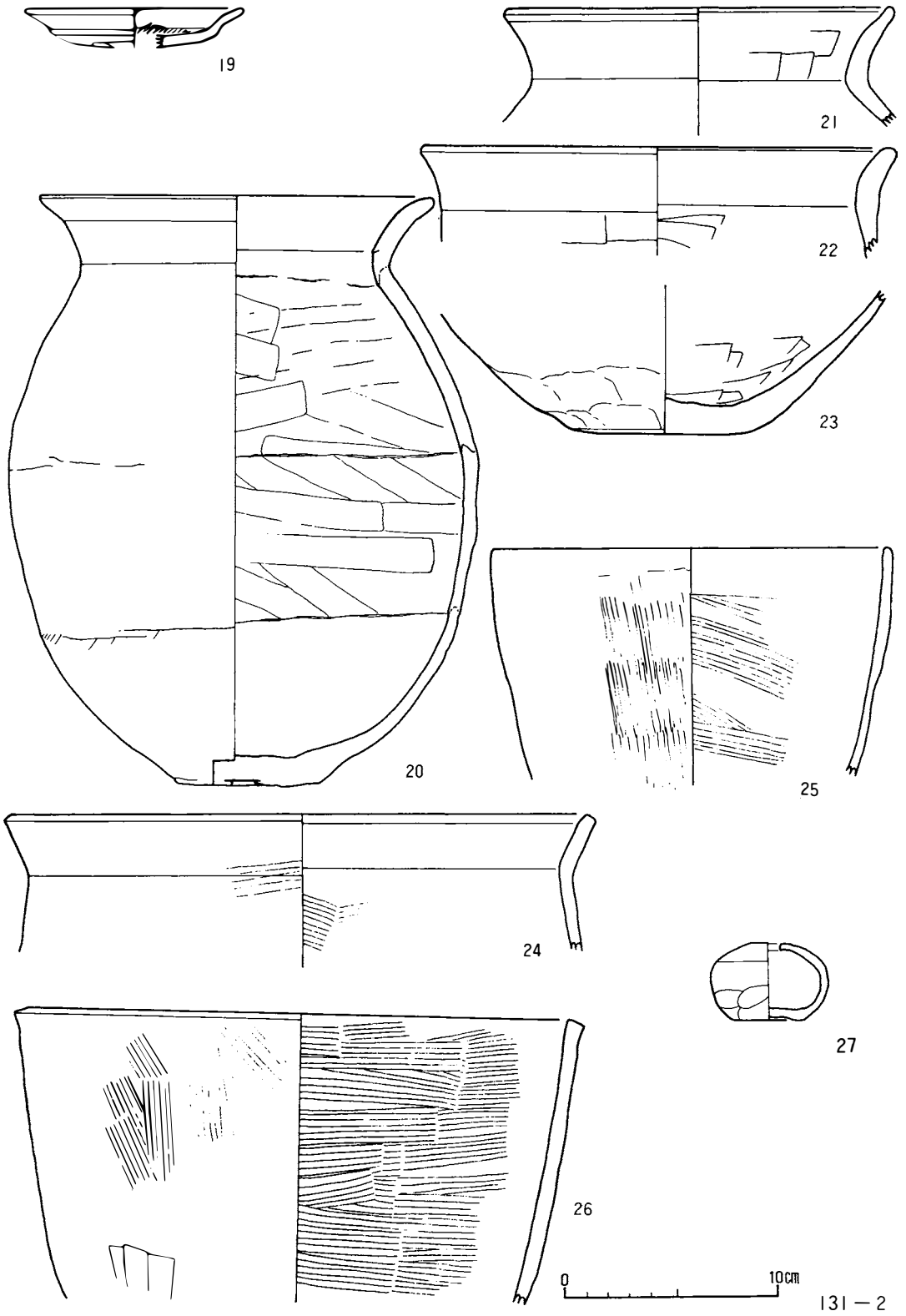


第263図　130号住居址出土土器

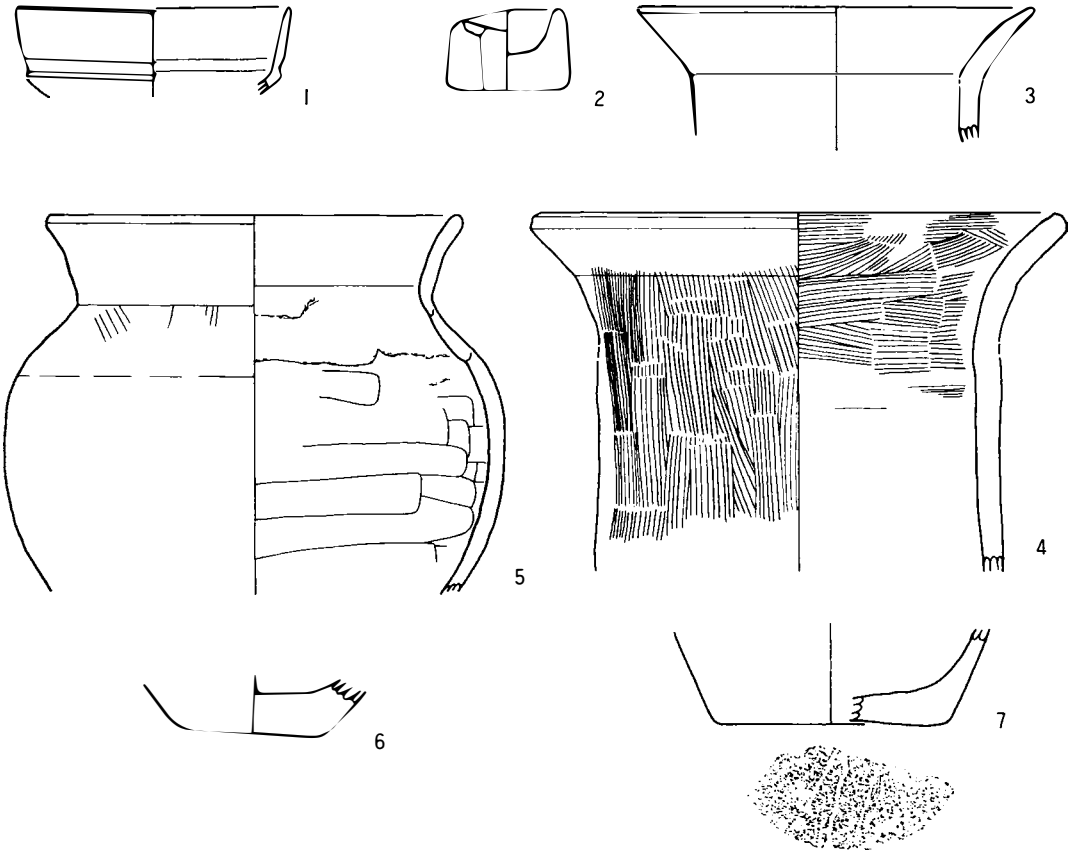




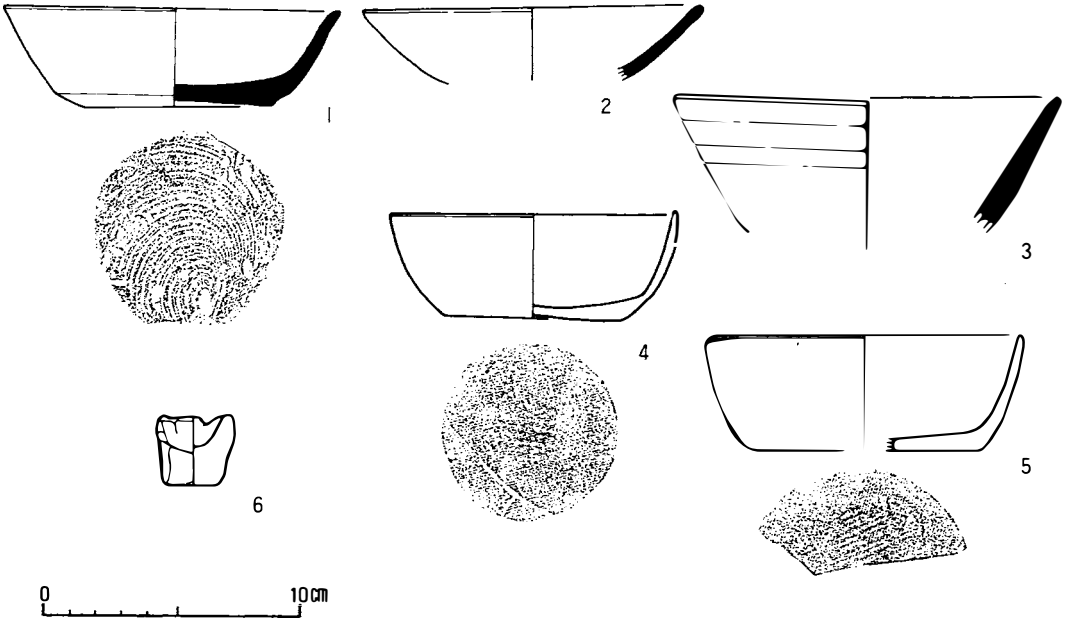
第264図　131号住居址出土土器（1）



第265図　131号住居址出土土器（2）

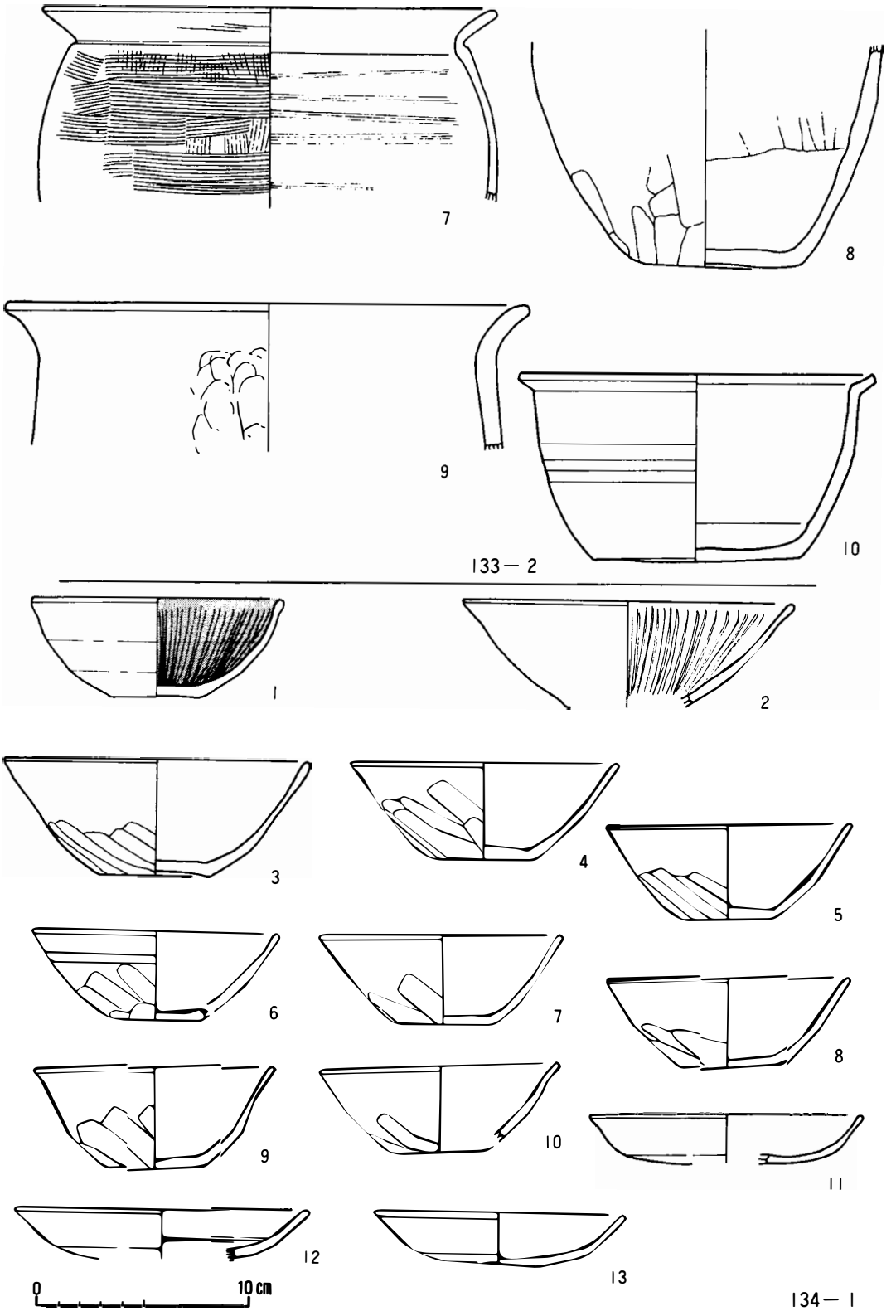


132

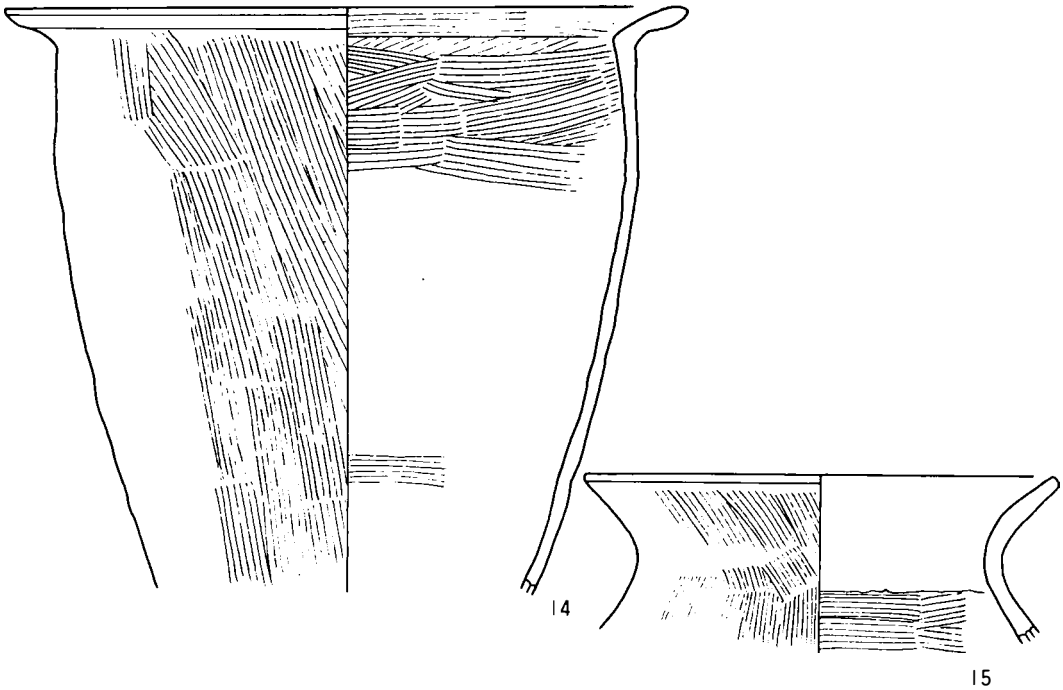


133－1

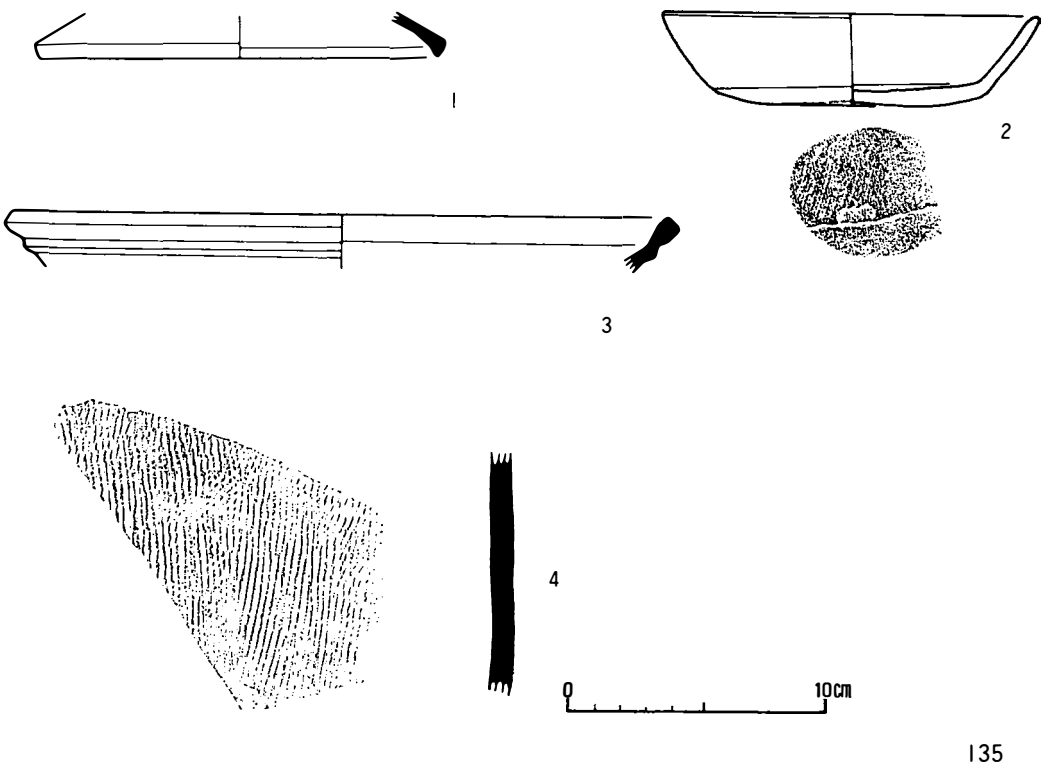
第266図　132、133号住居址出土土器



第267図　133、134号住居址出土土器

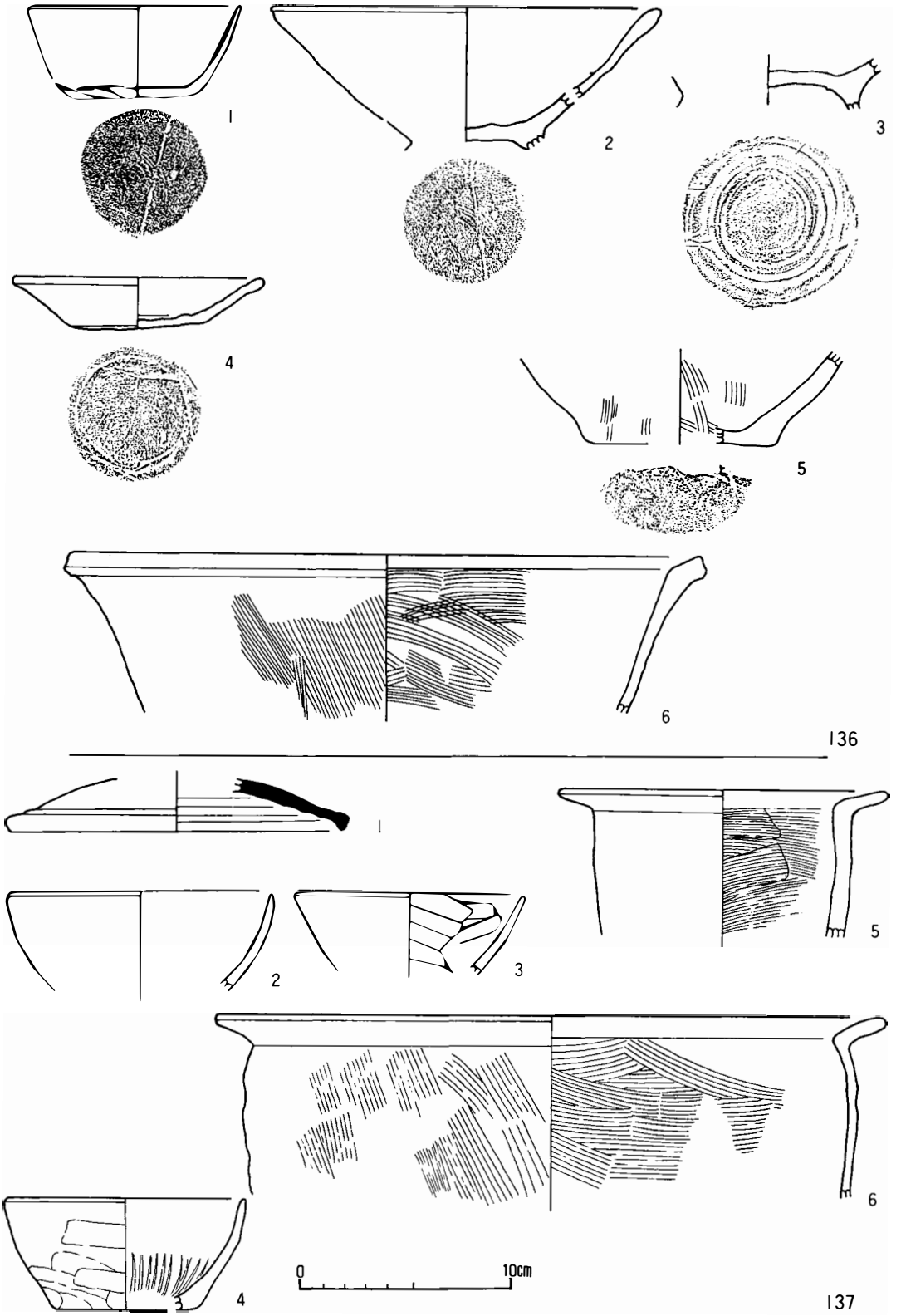


134－2

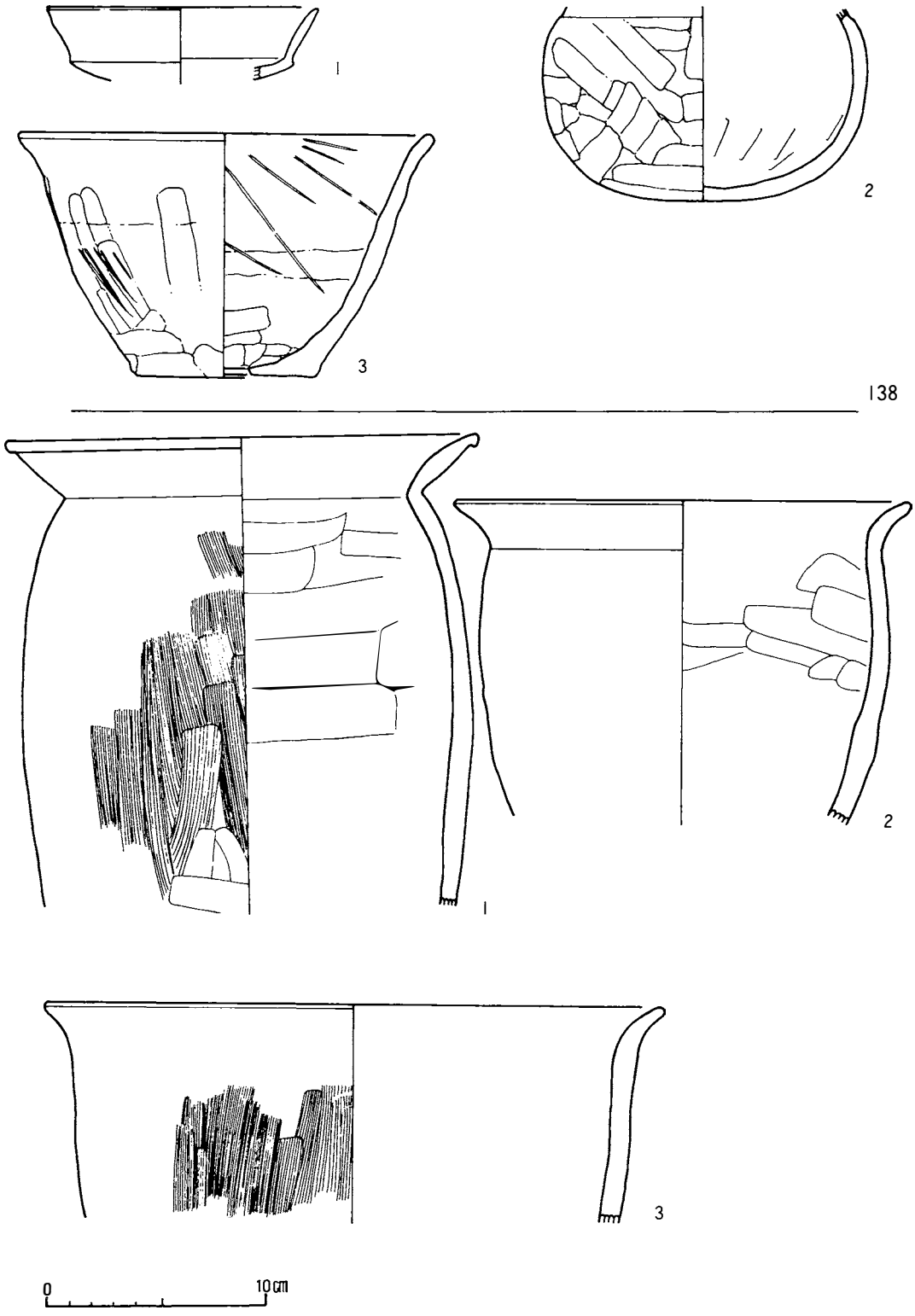


135

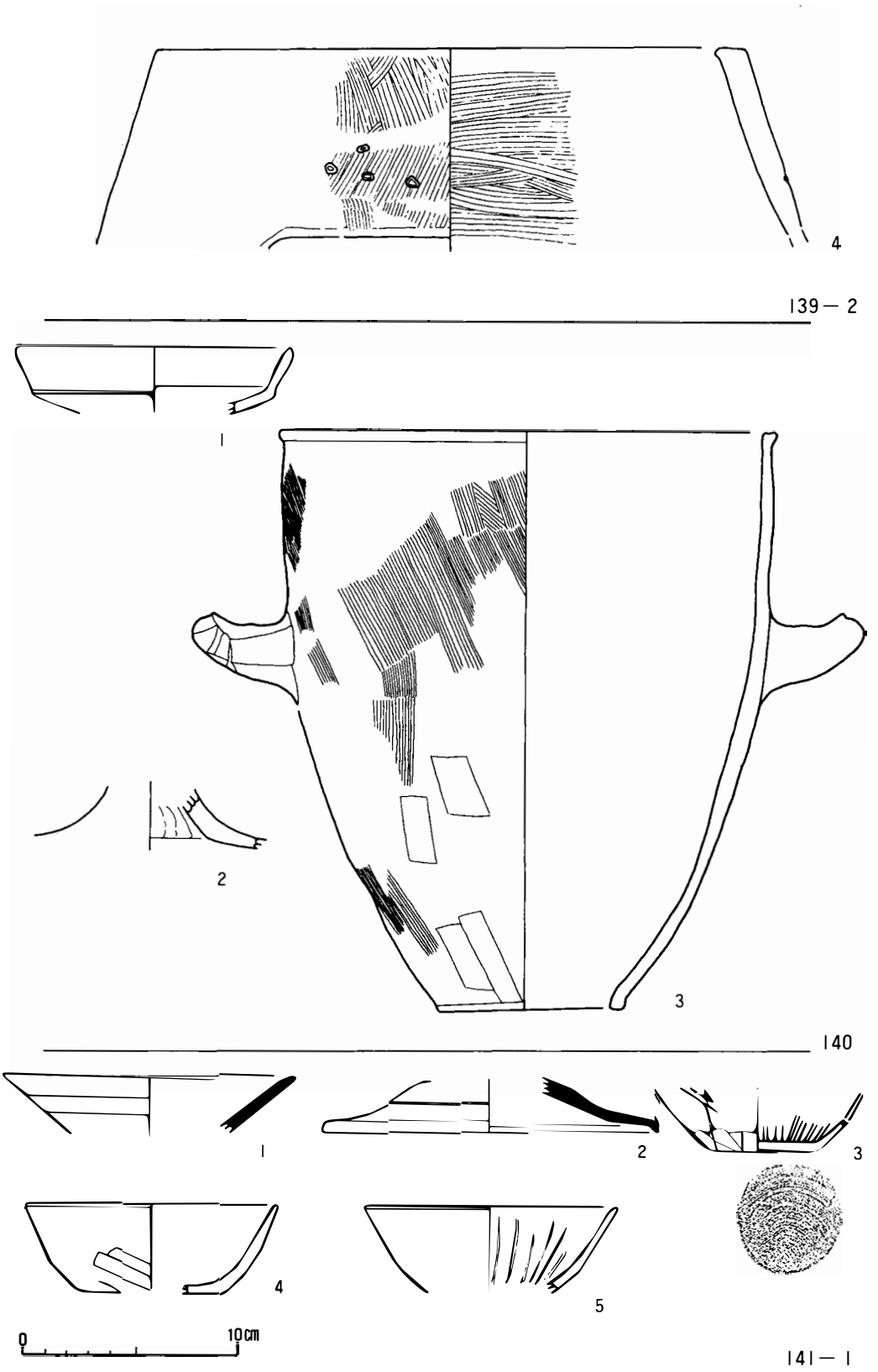
第268図　134、135号住居址出土土器



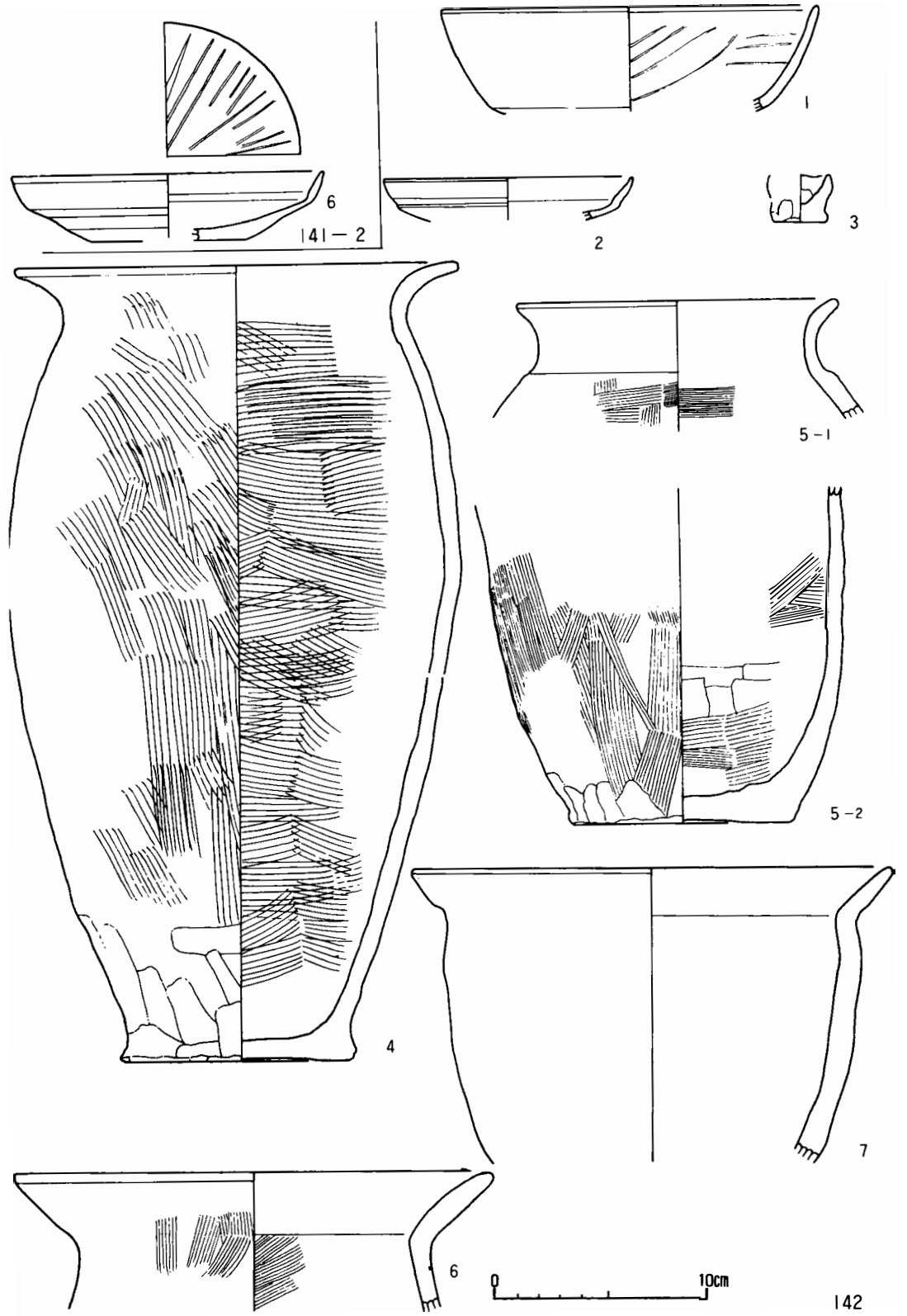
第269図　136、137号住居址出土土器



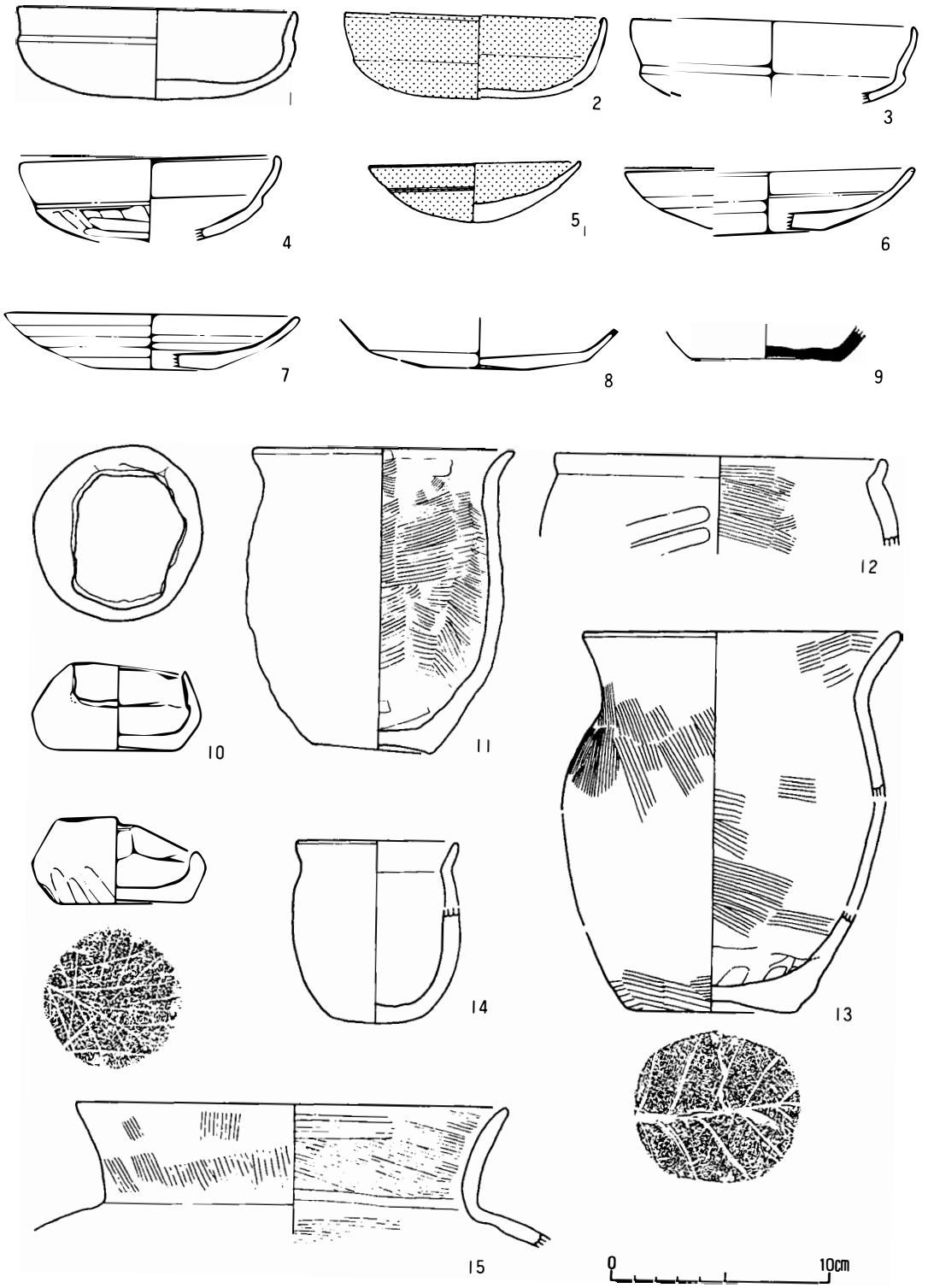
第270図　138、139号住居址出土土器



第271図　139、140、141号住居址出土土器

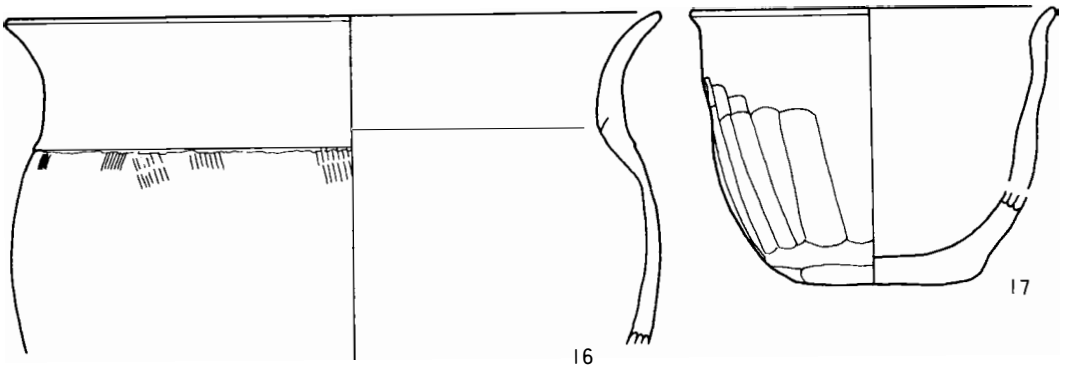


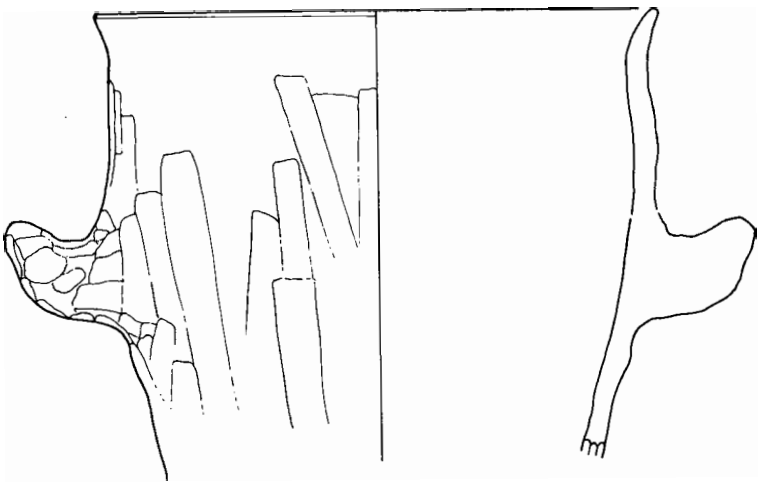
第272図　141、142号住居址出土土器



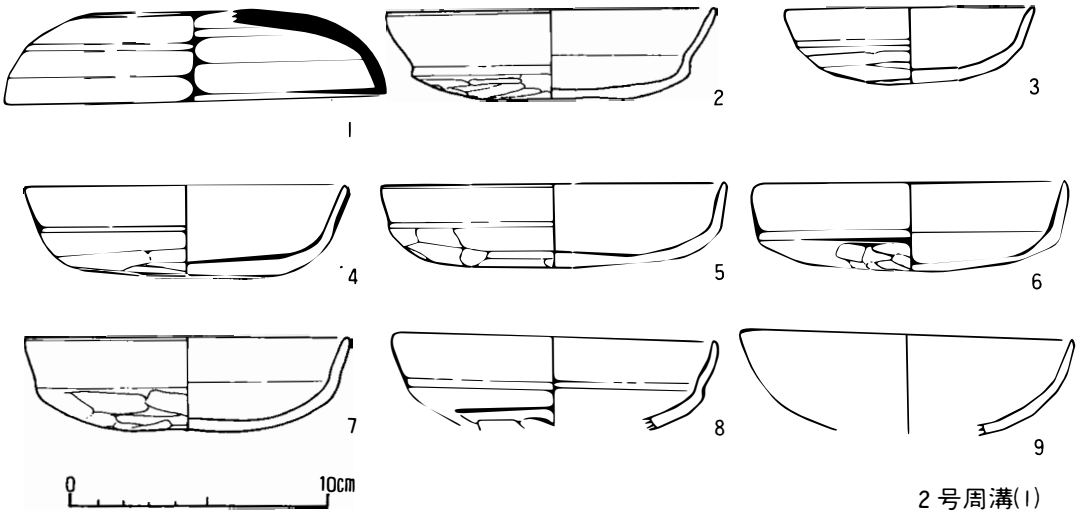
1号周溝

第273図　1号周溝出土土器 (1)



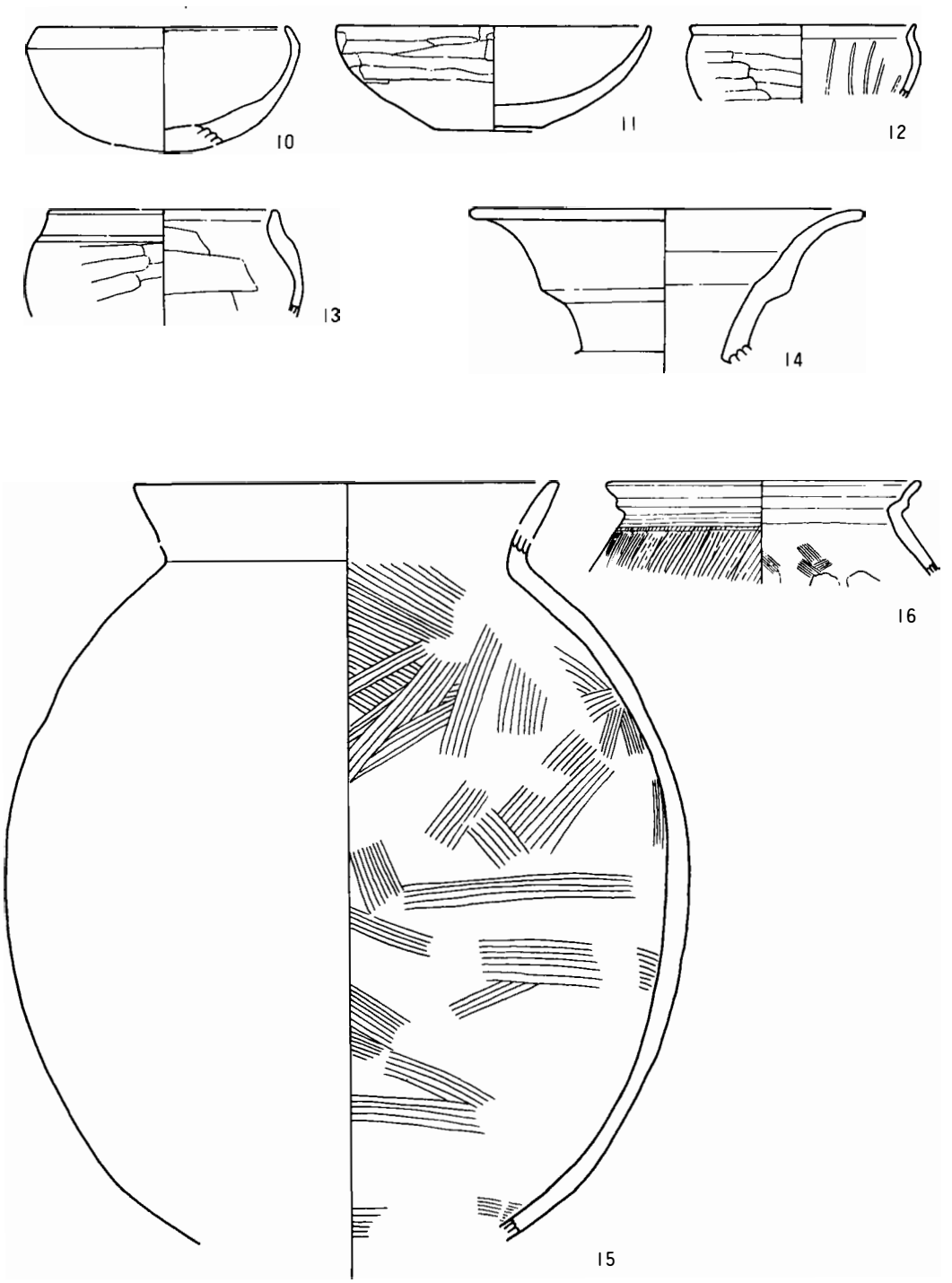


1号周溝(2)



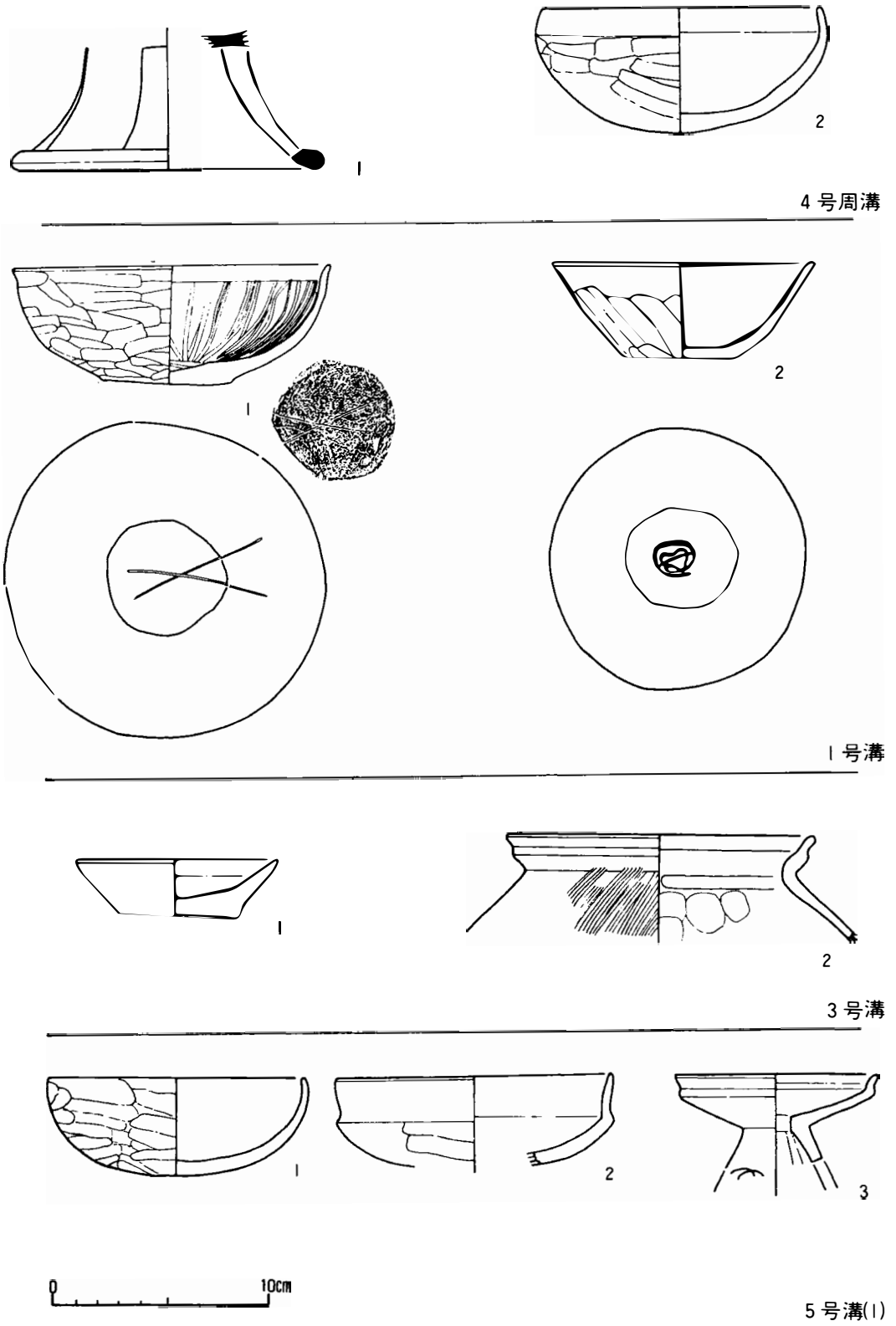
2号周溝(1)

第274図　1、2号周溝遺構出土土器

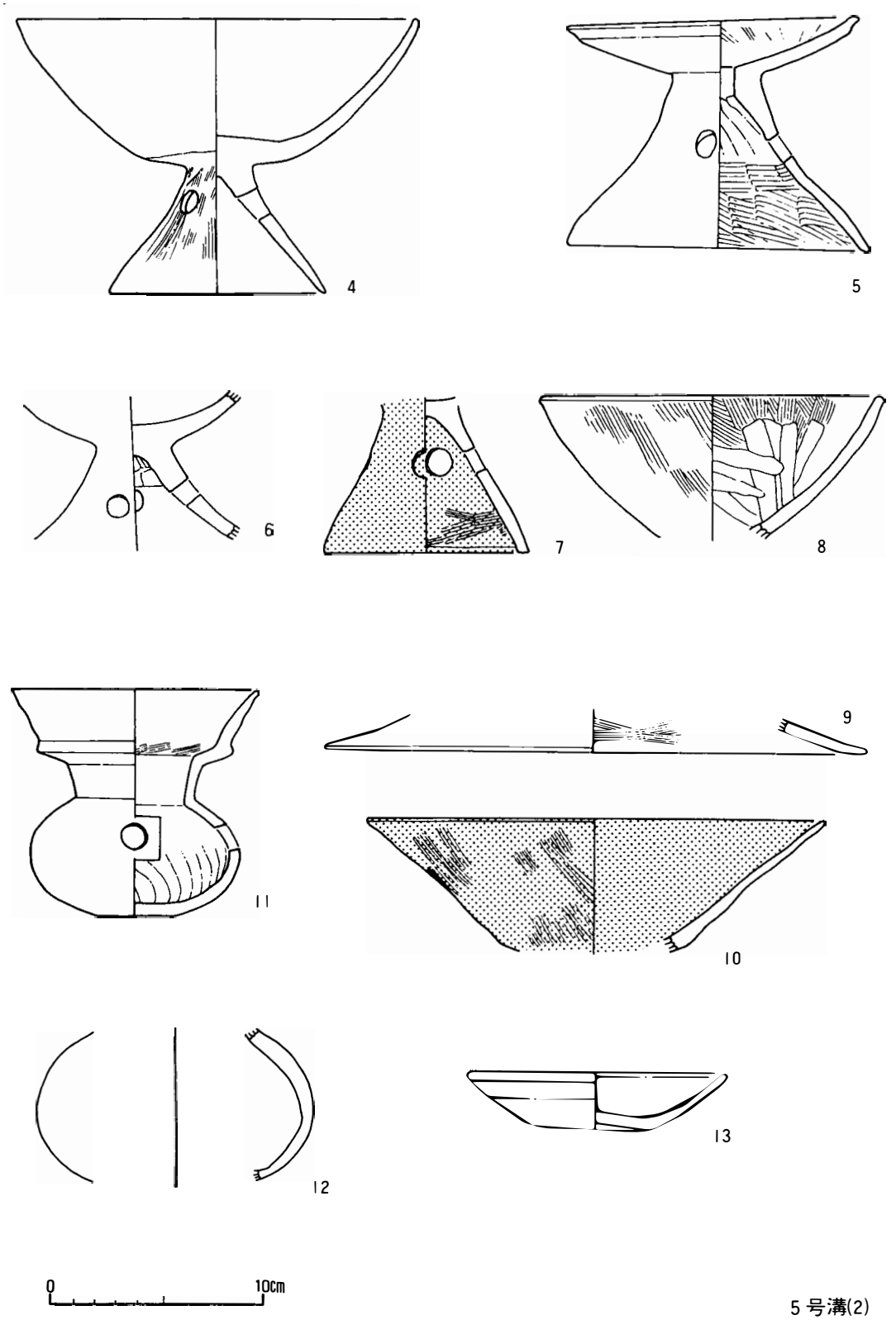


2号周溝(2)

第275図　2号周溝遺構出土土器 (2)

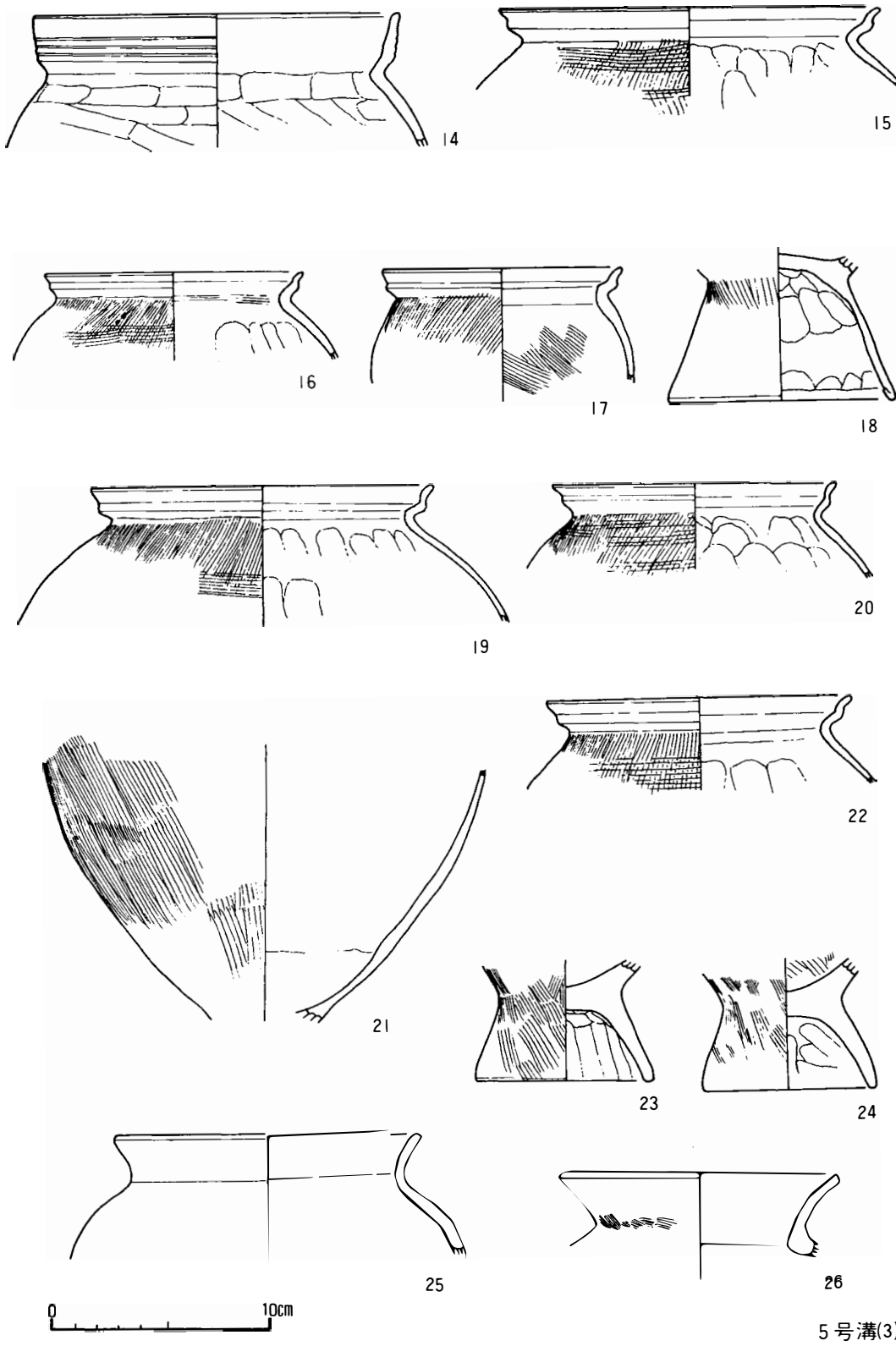


第276図　4号周溝遺構1、3、5号溝出土土器

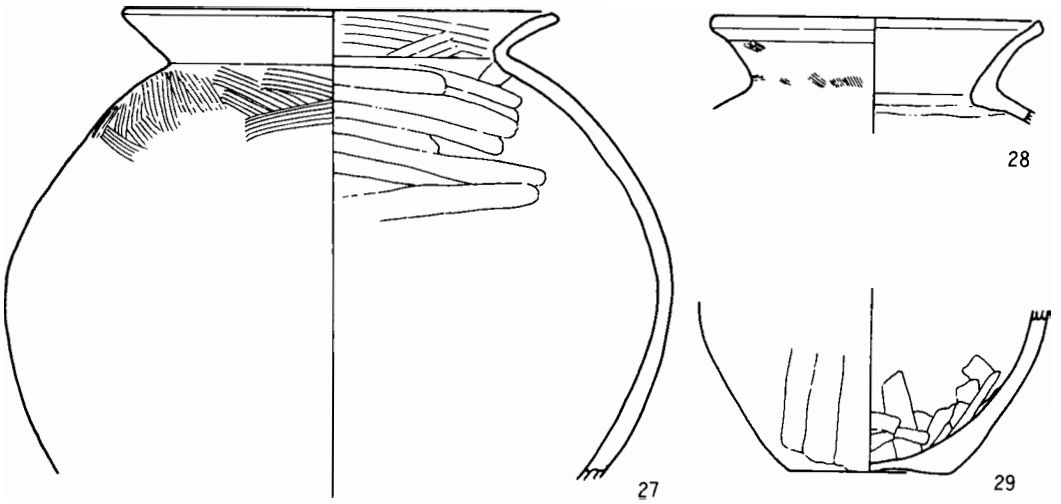


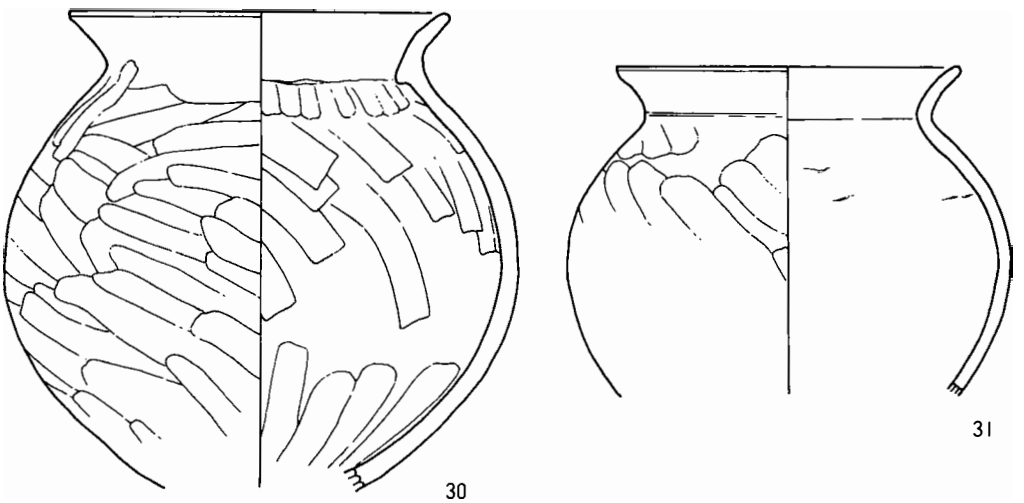
5号溝(2)

第277図　5号溝出土土器 (2)

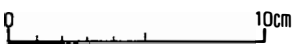


第278図　5号溝出土土器 (3)



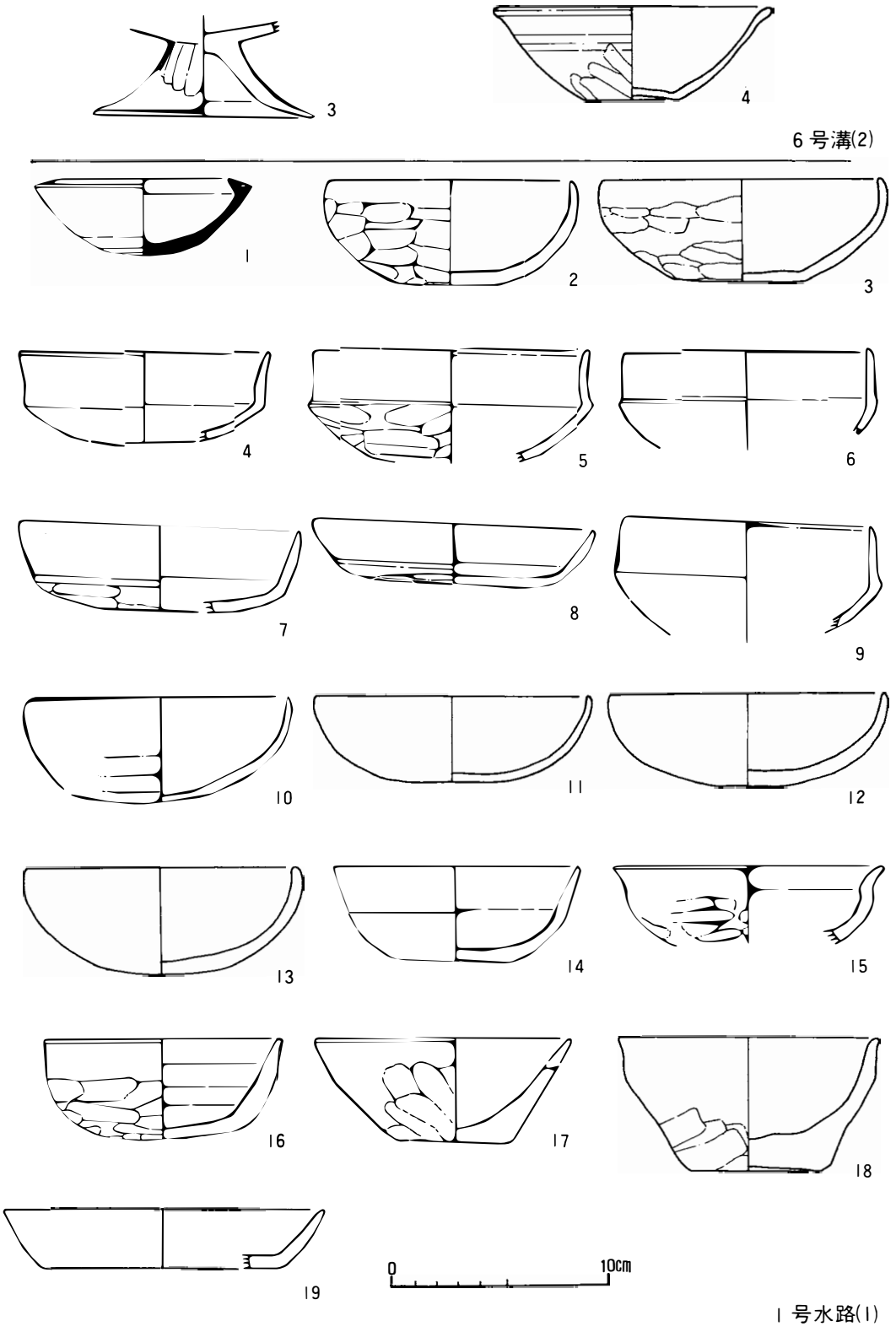


5号溝(4)

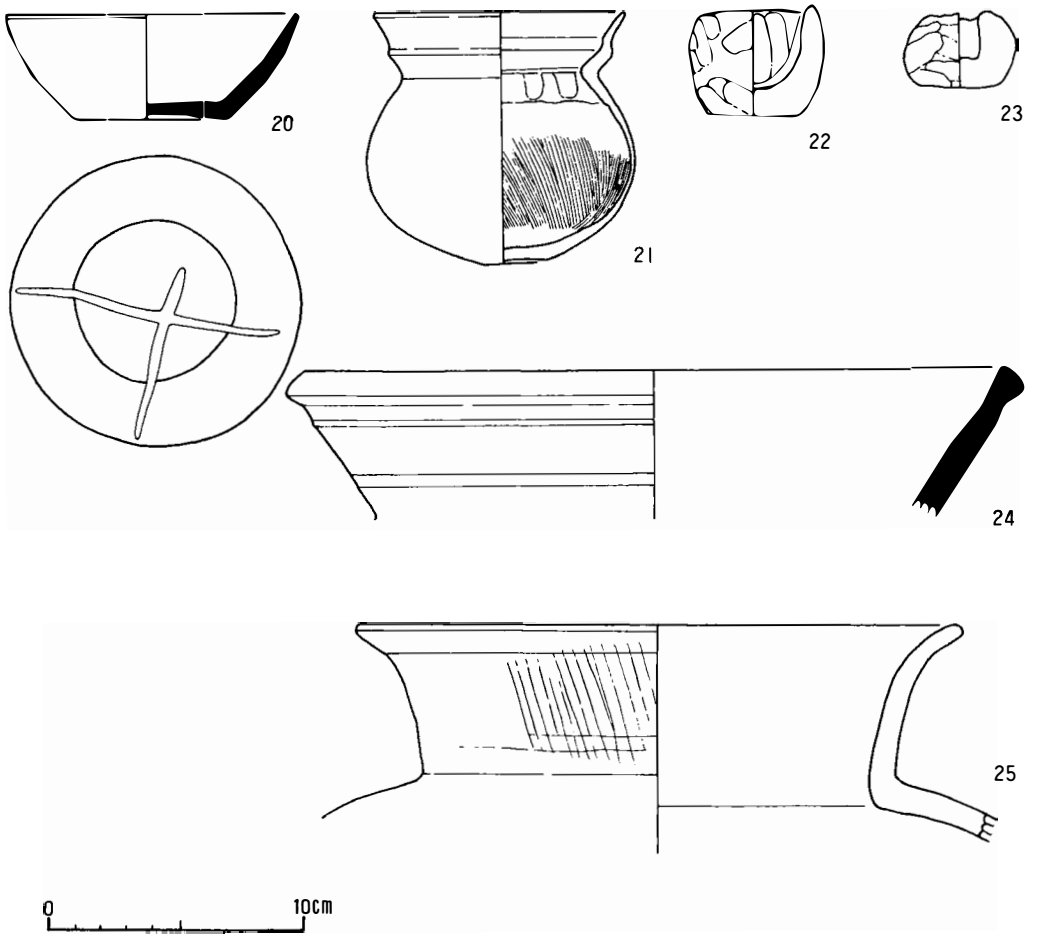


6号溝(1)

第279図　5、6号溝出土土器

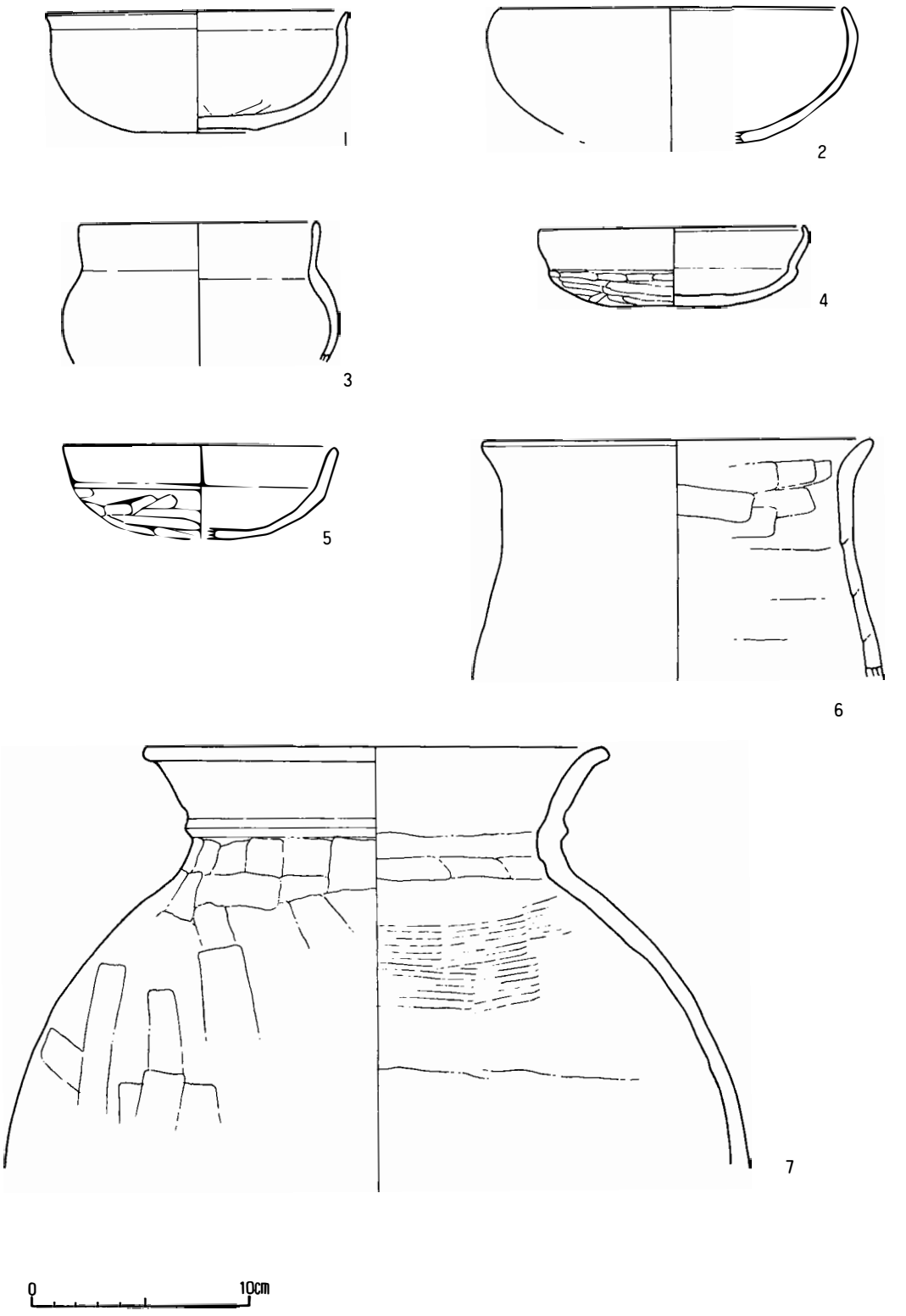


第 280 図　6 号溝、1 号水路出土土器

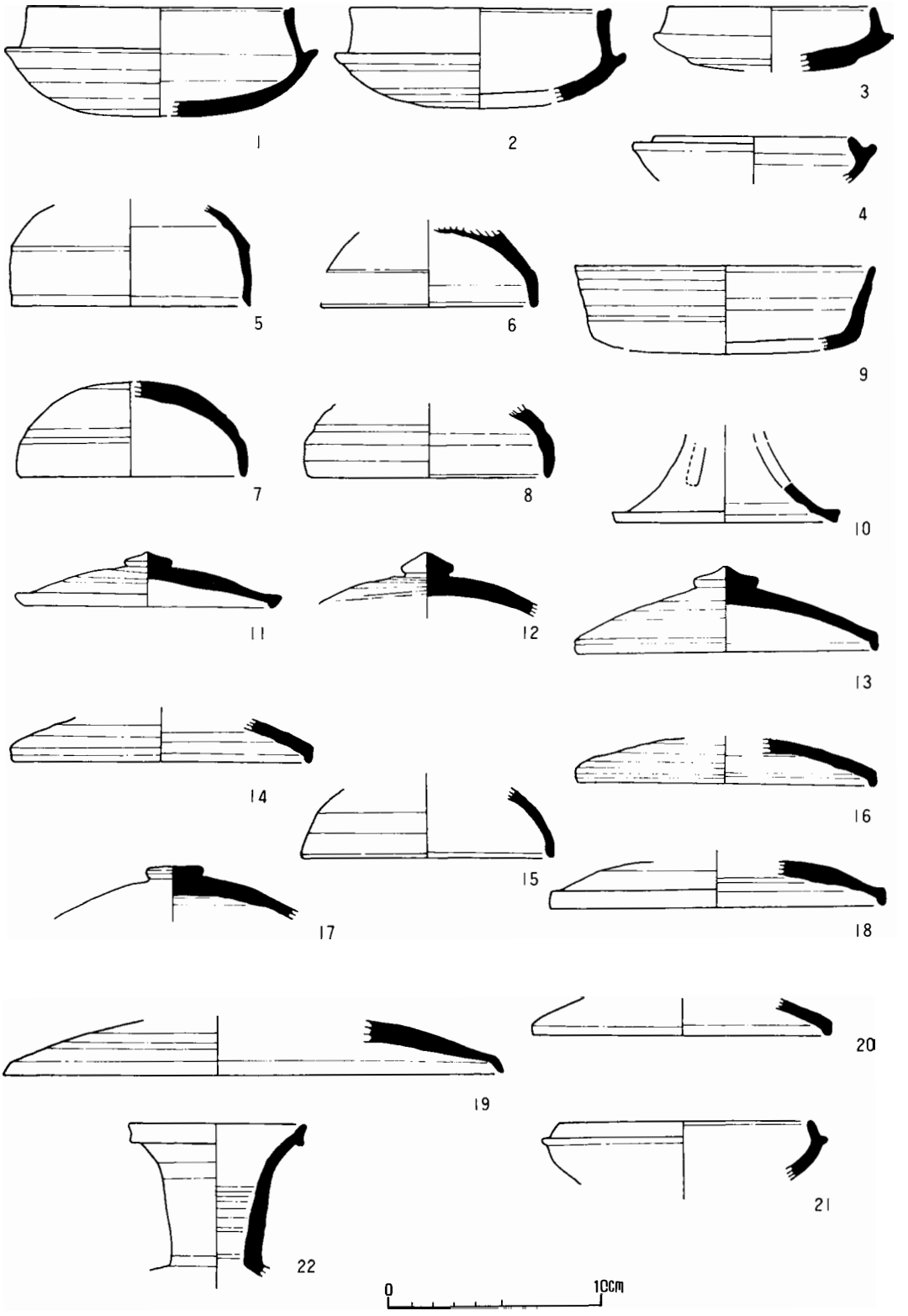


1号水路(2)

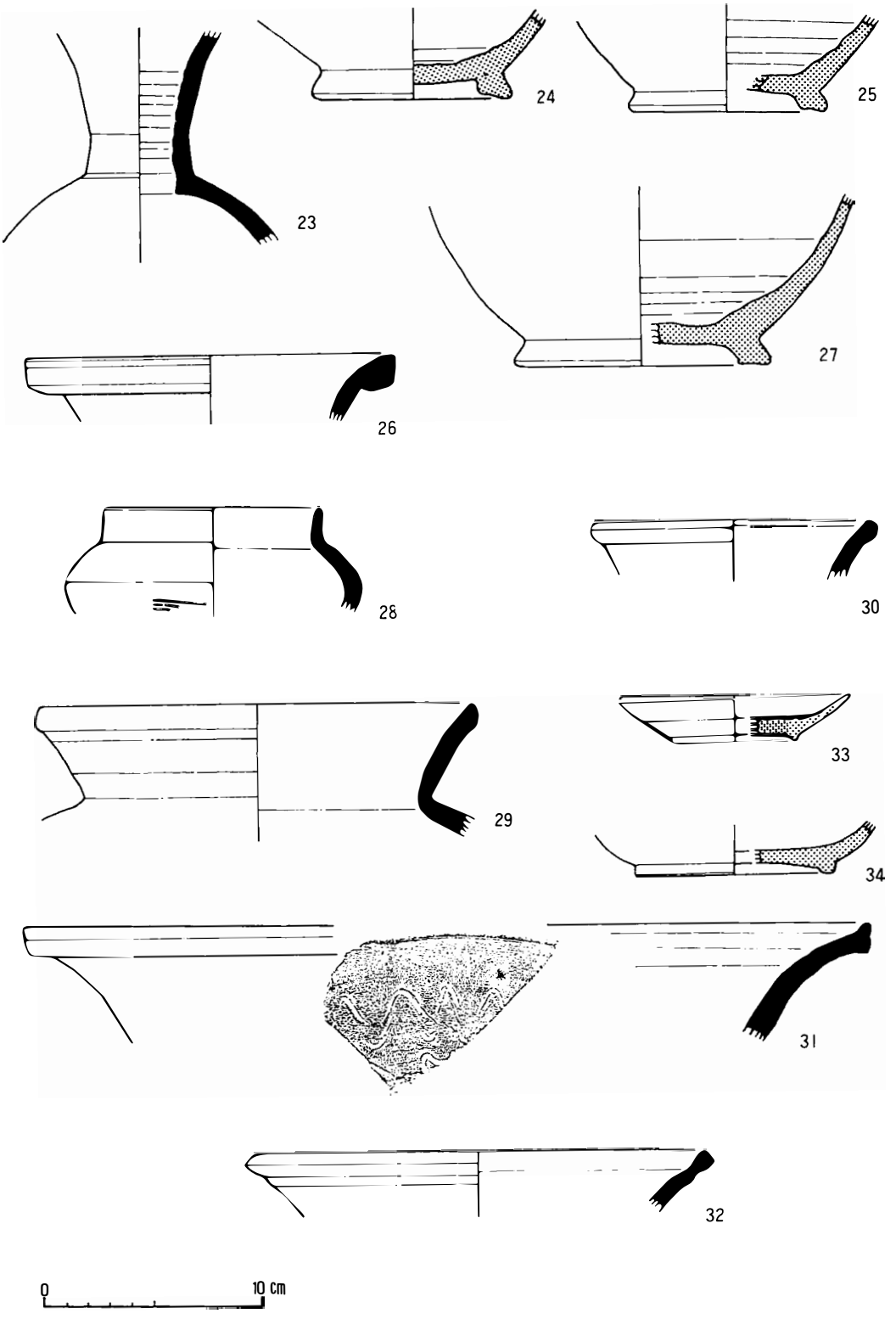
第281図　1号水路出土土器 (2)



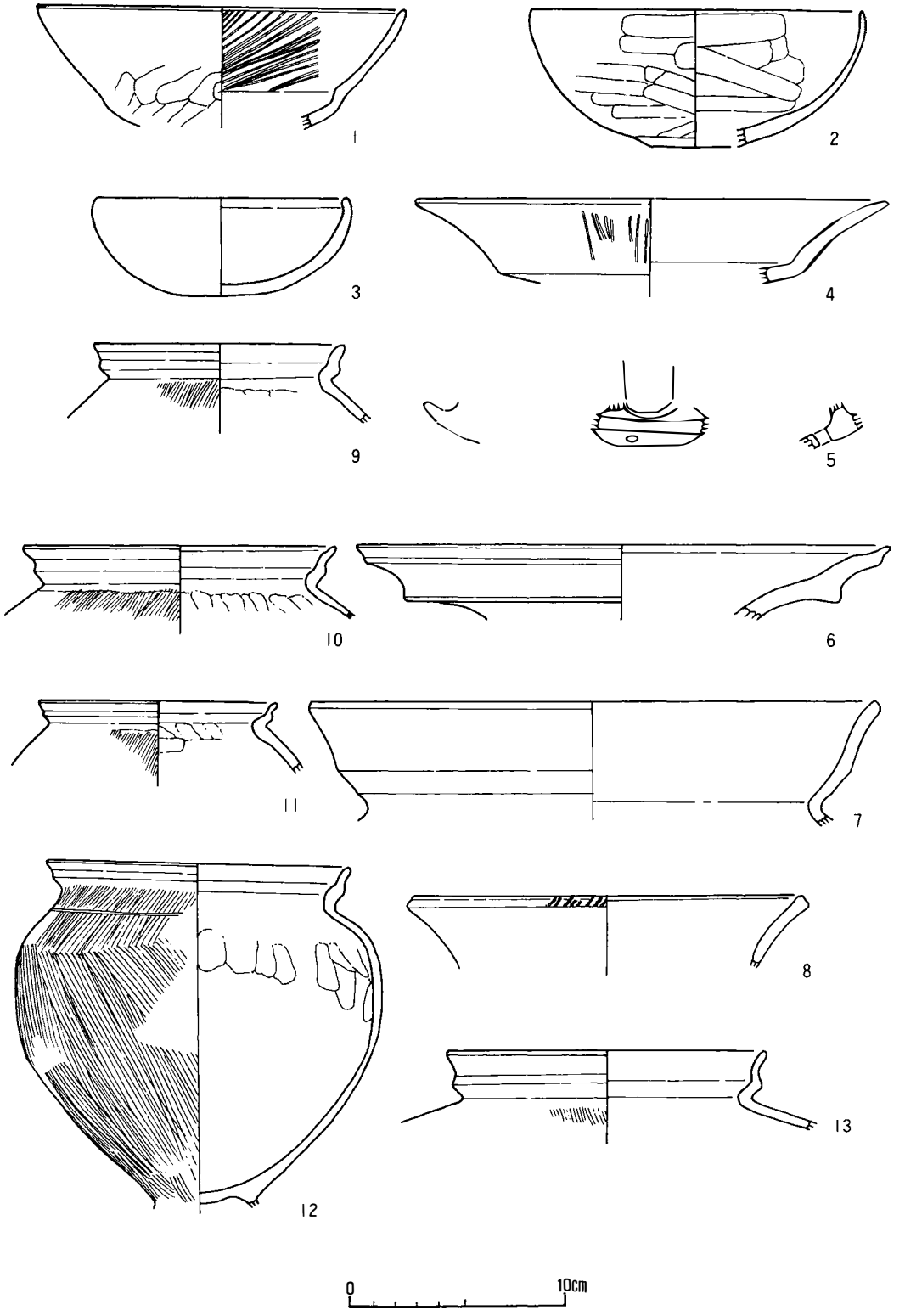
第282図　土壙出土土器



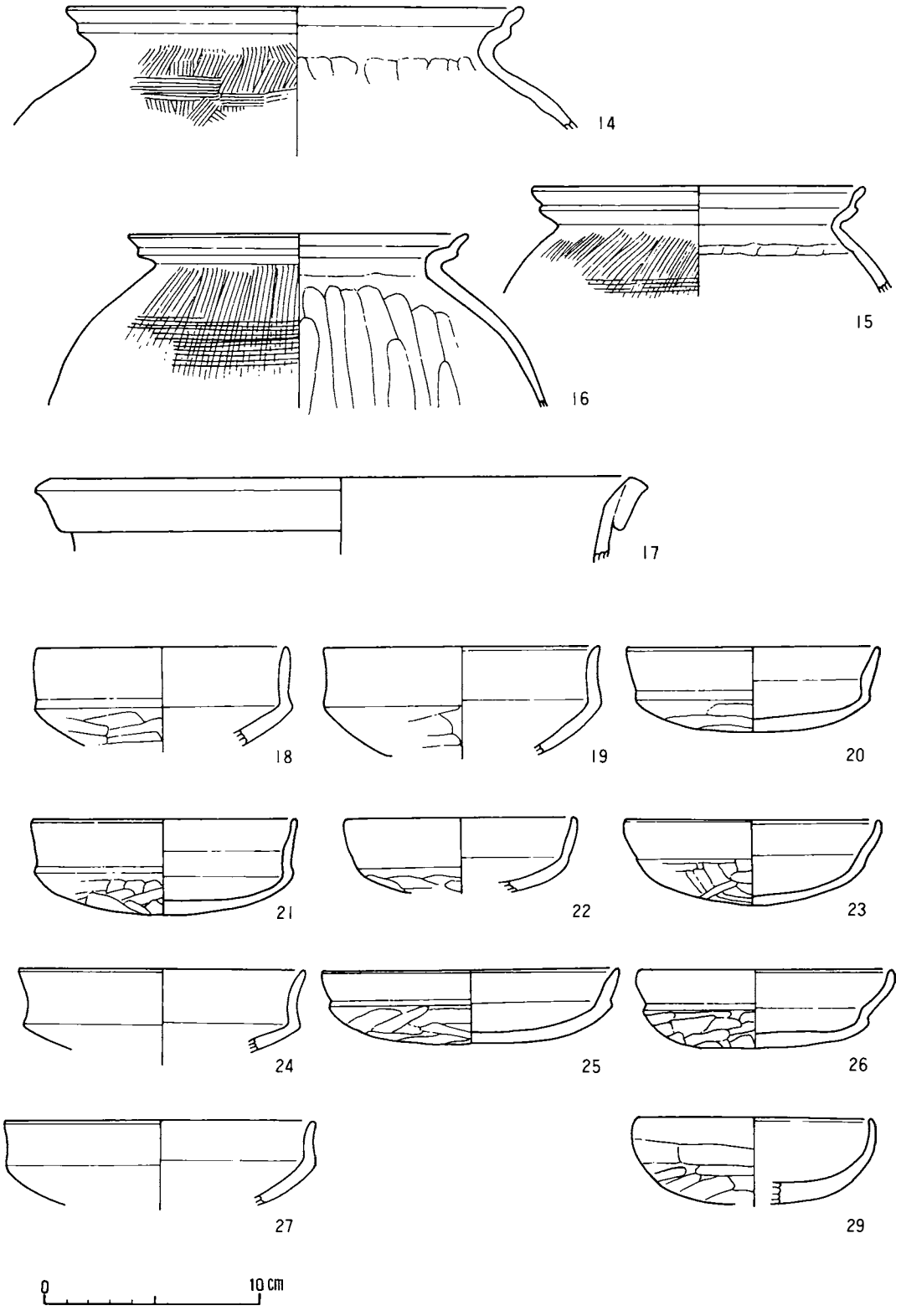
第283図　グリット出土須恵器



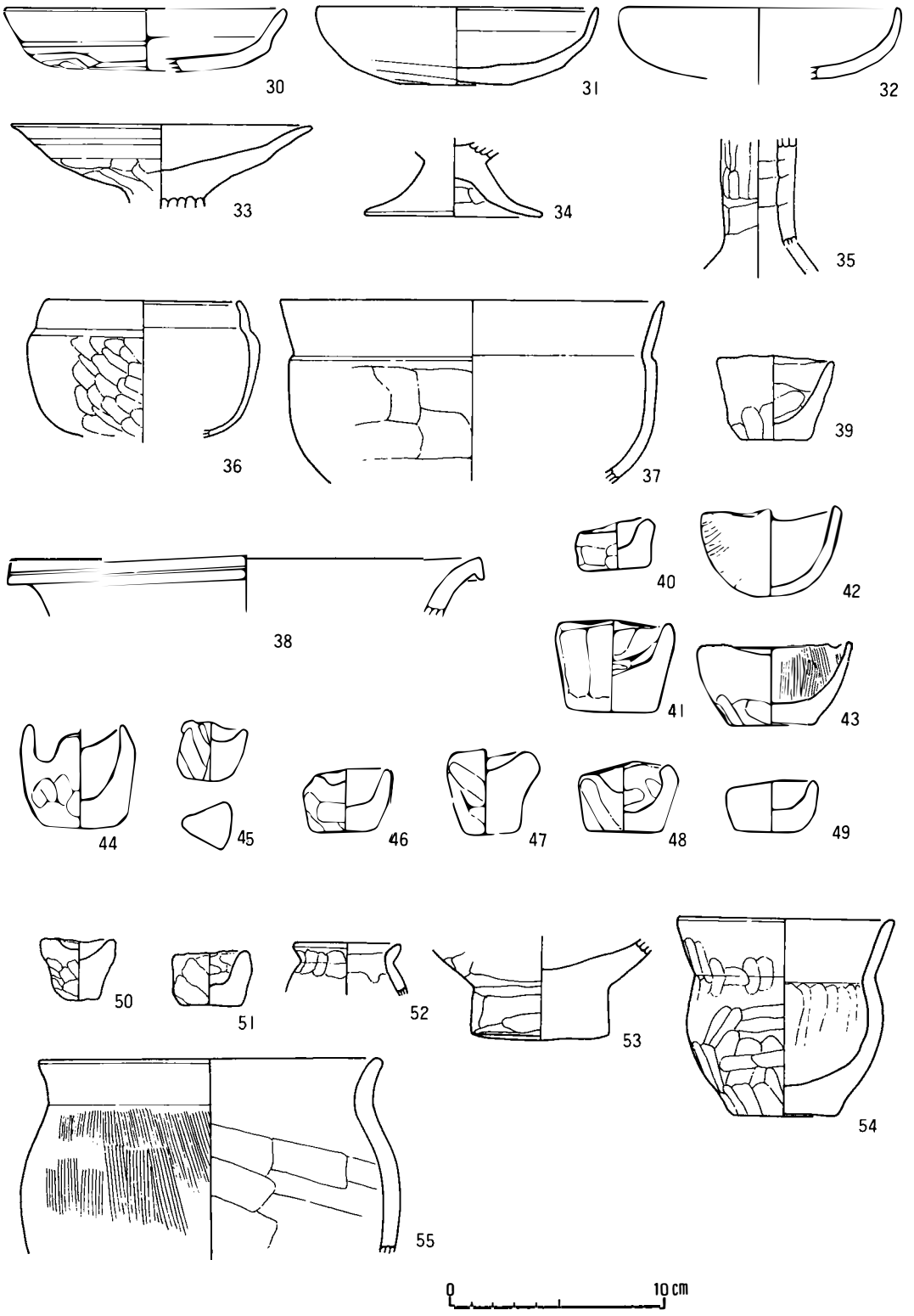
第284図　グリット出土須恵器、灰釉陶器



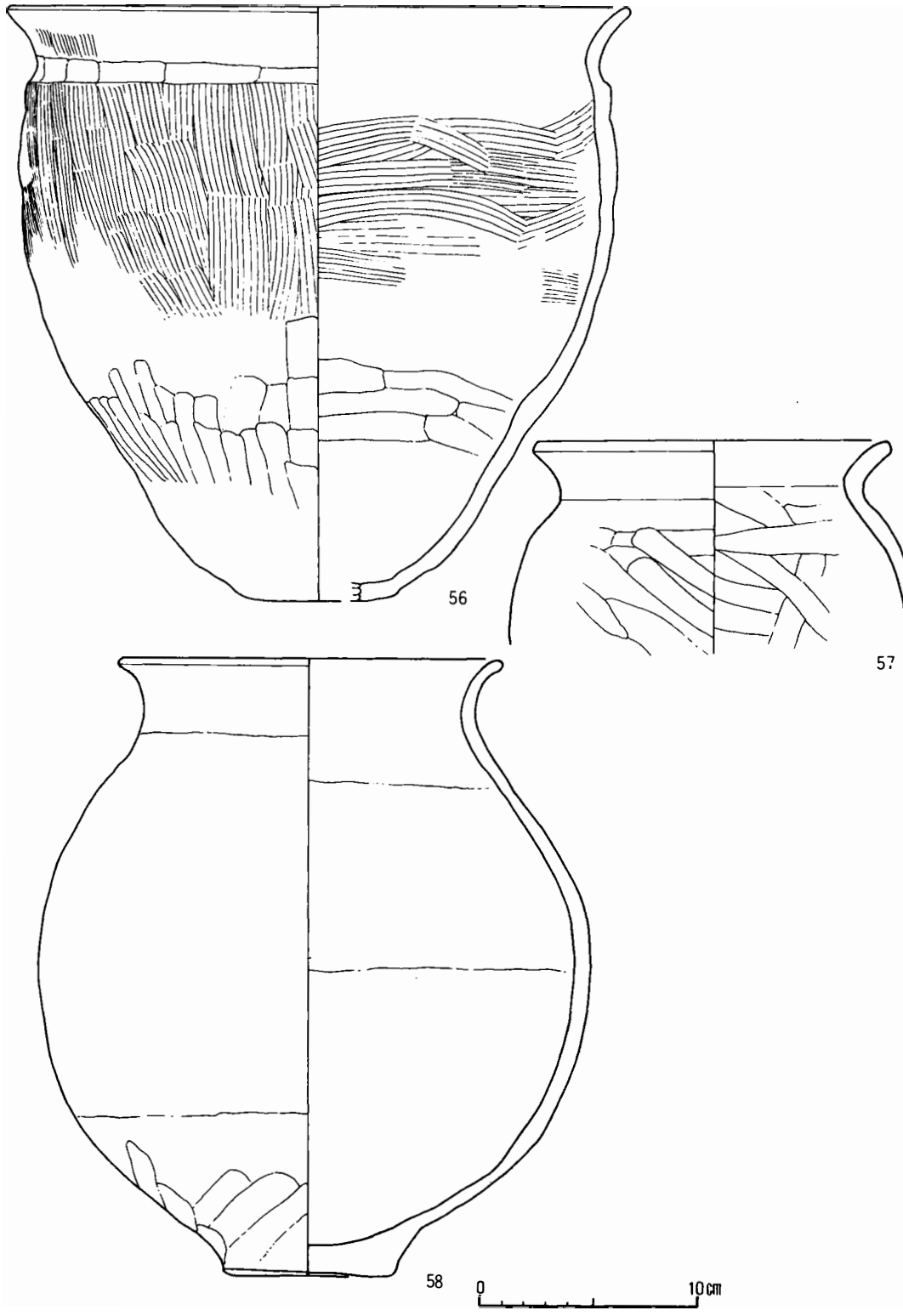
第285図　その他出土土器 (1)



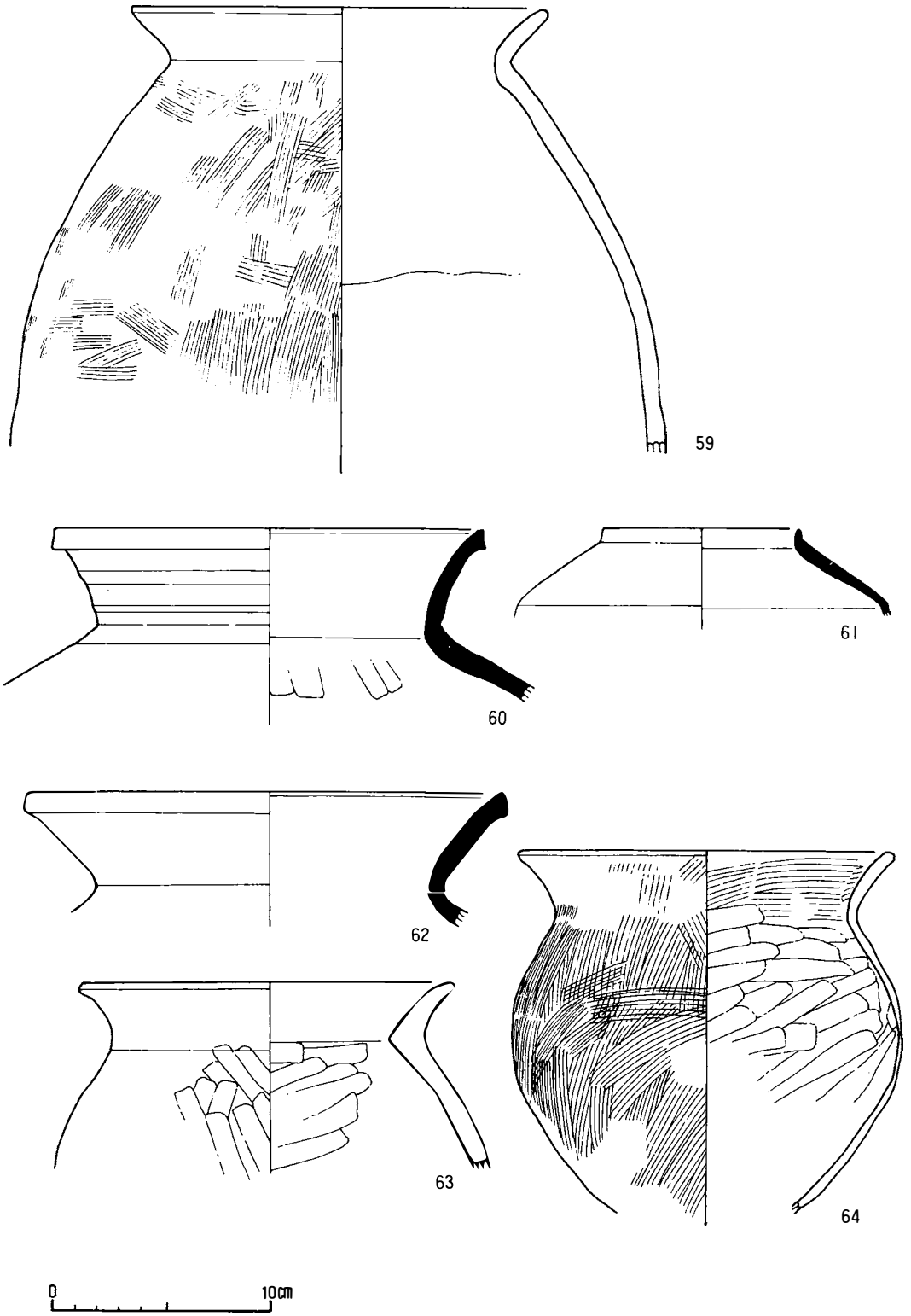
第286図　その他出土土器 (2)



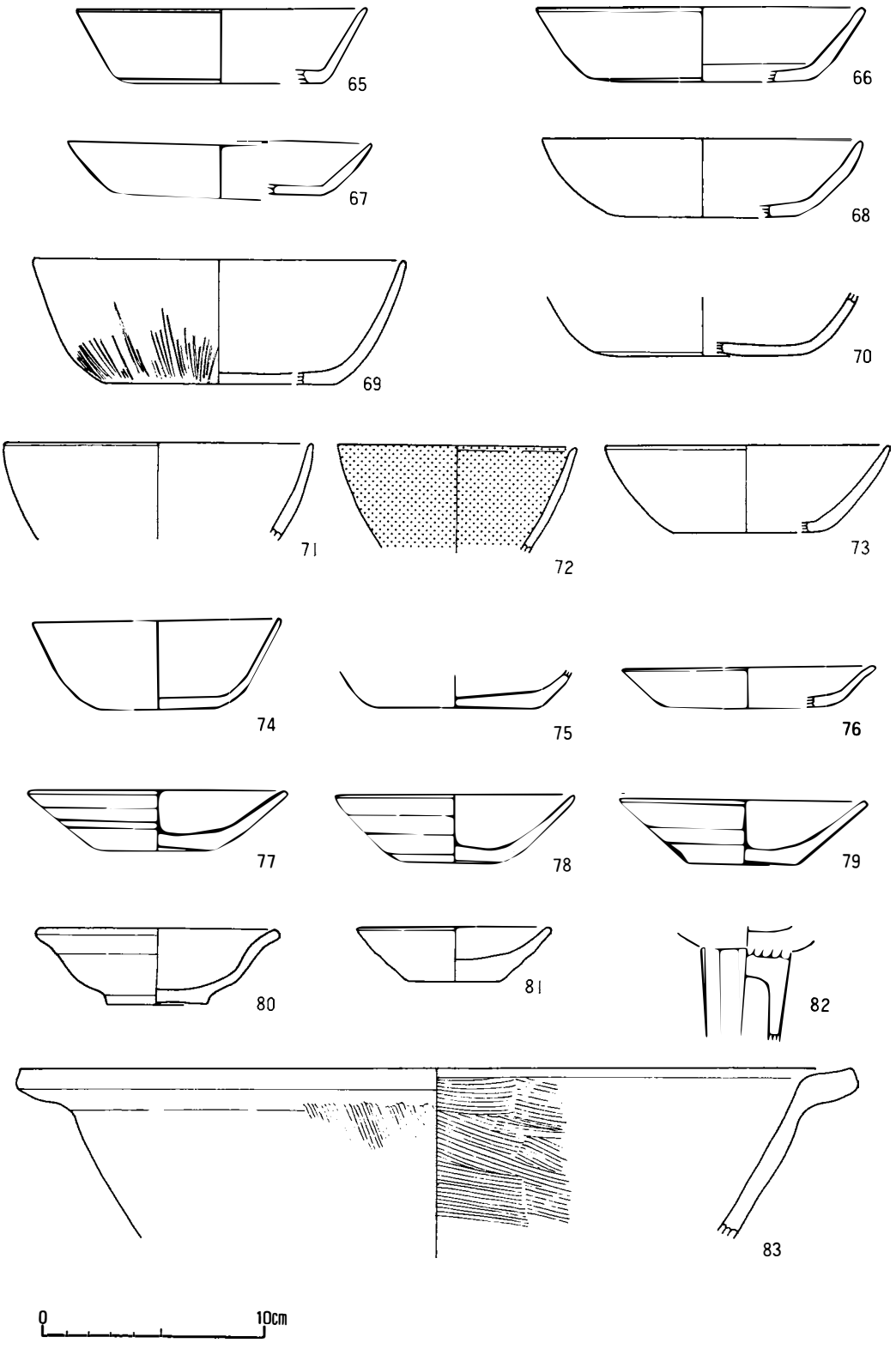
第287図　その他出土土器 (3)



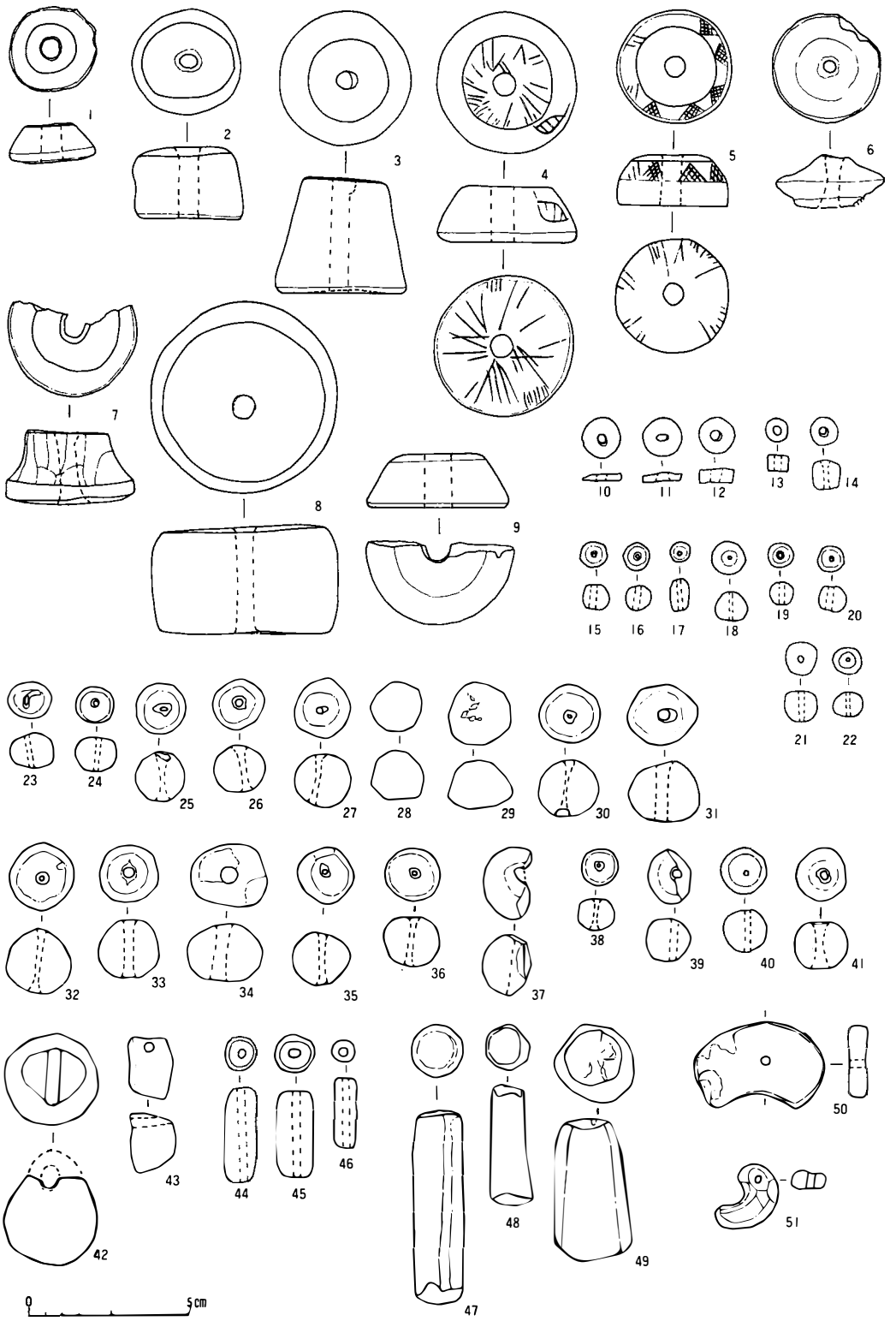
第288図　その他出土土器 (4)



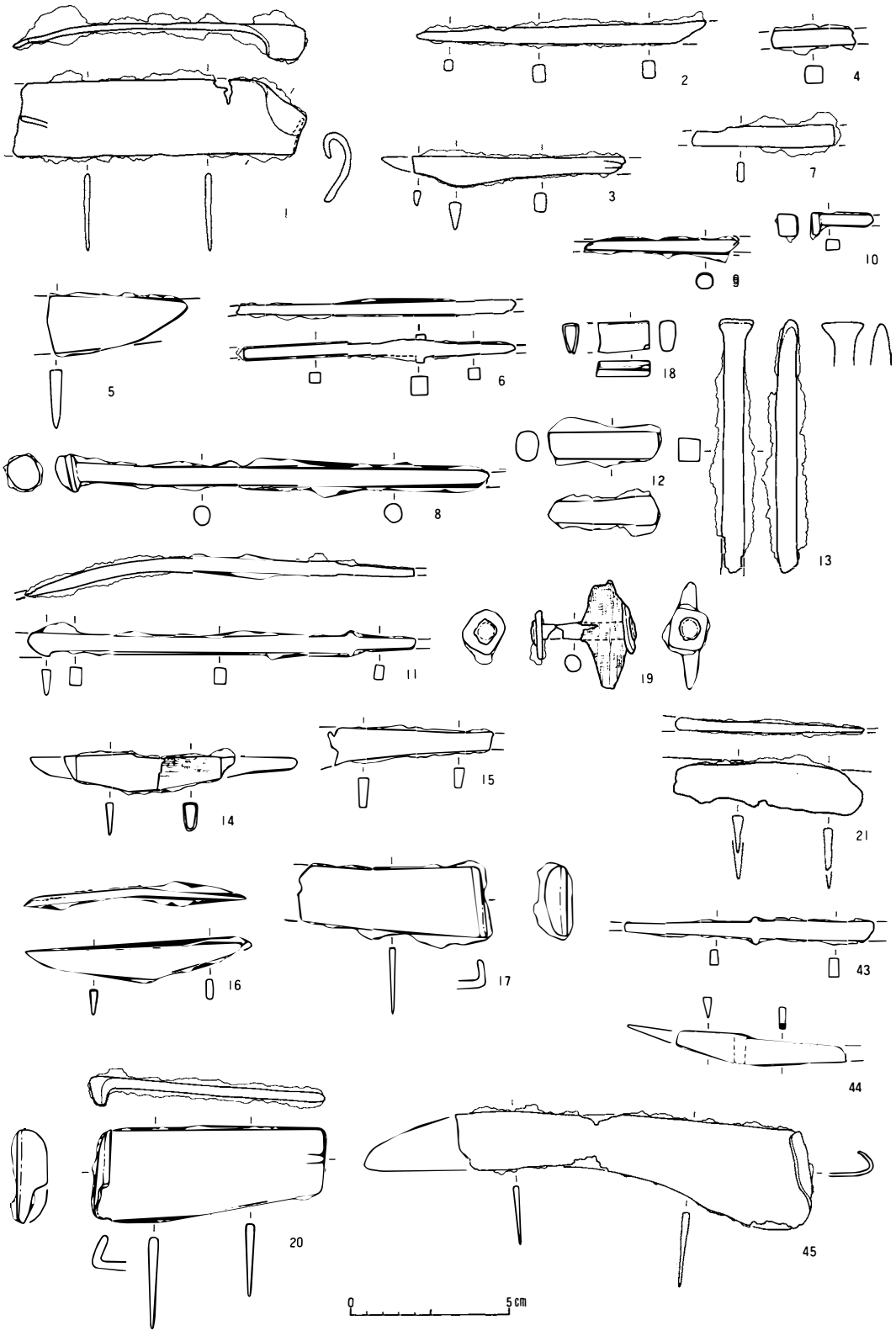
第289図　その他出土土器 (5)



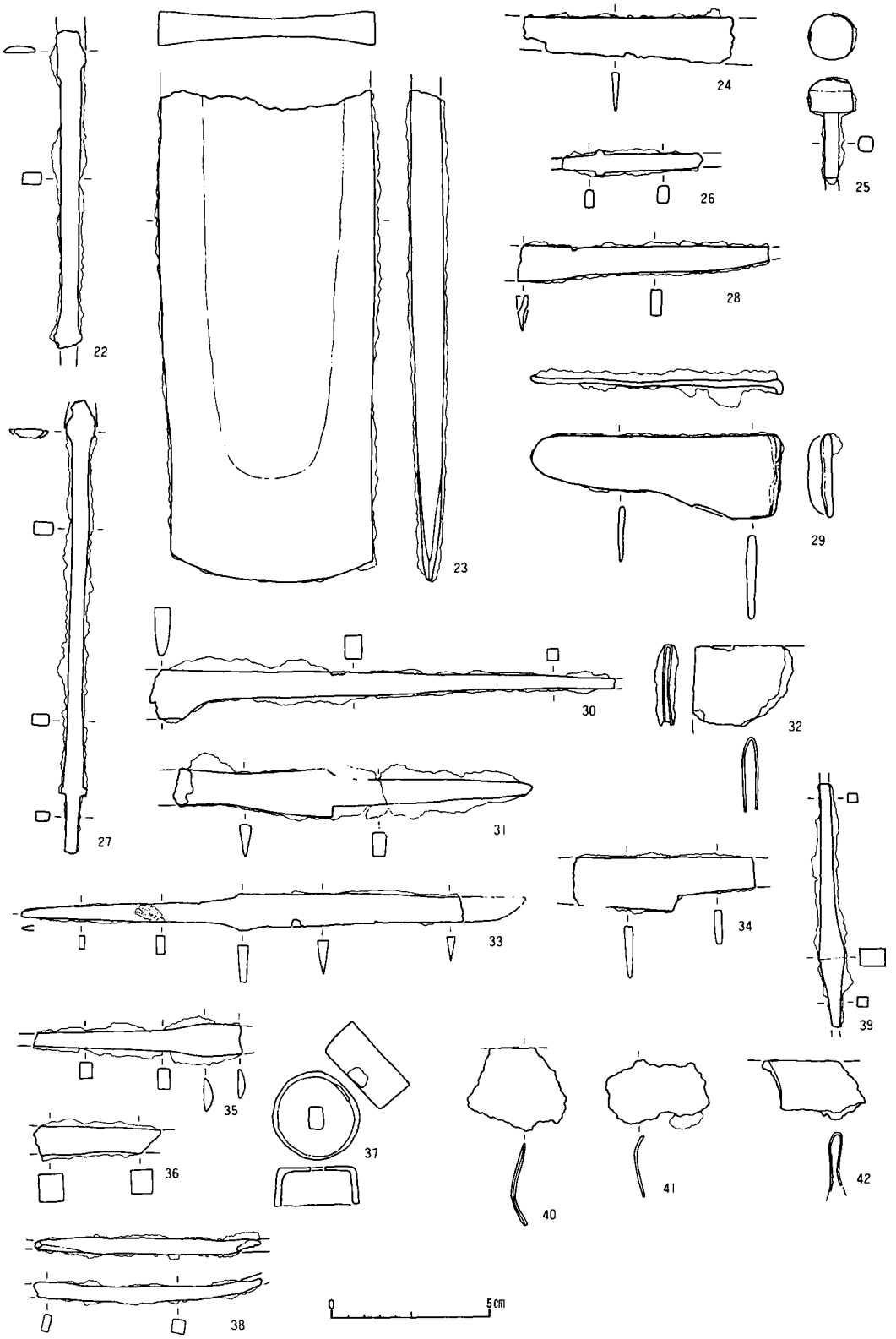
第290図　その他出土土器 (6)



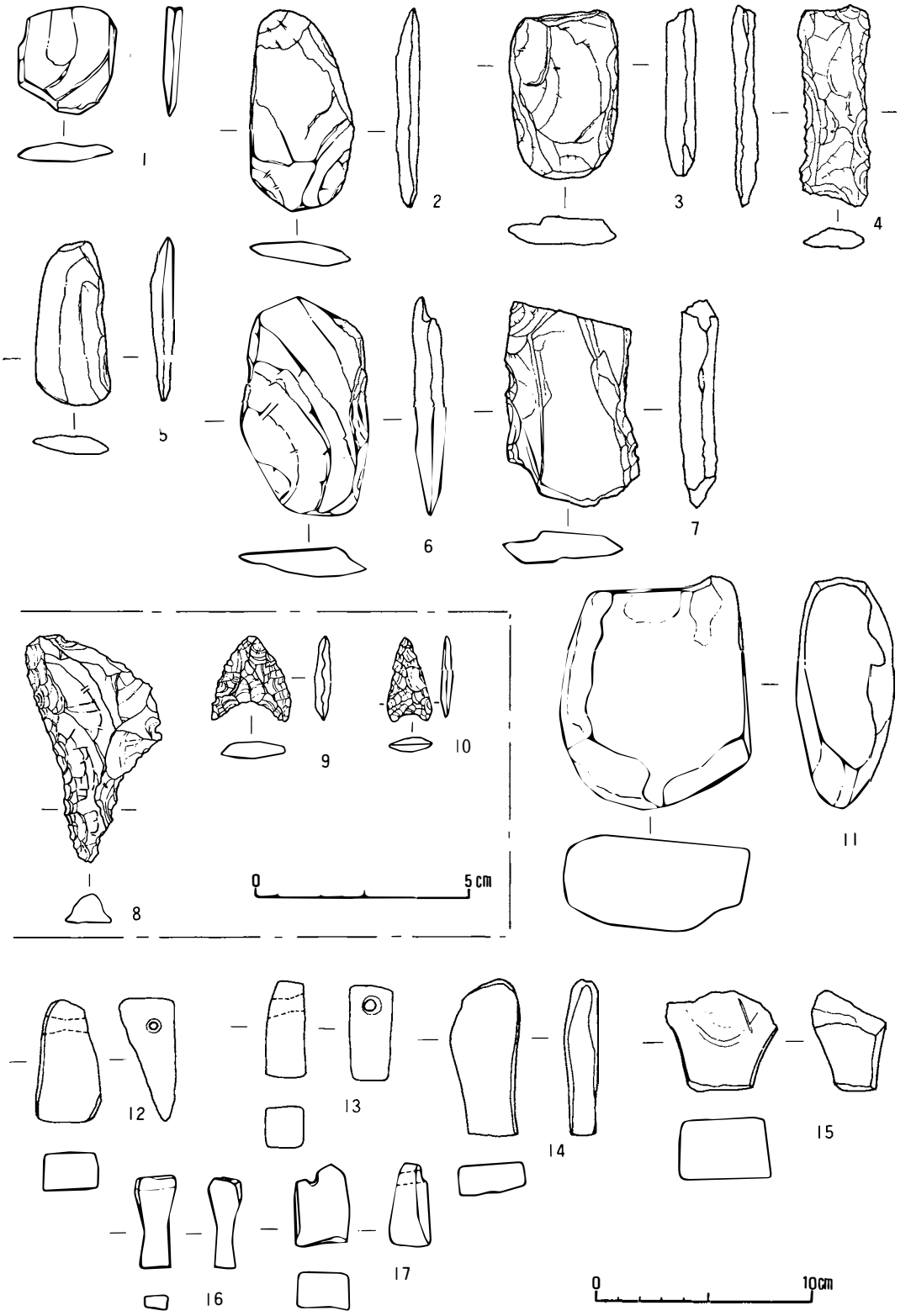
第291図　遺跡内出土紡錘車、玉、土錘、他



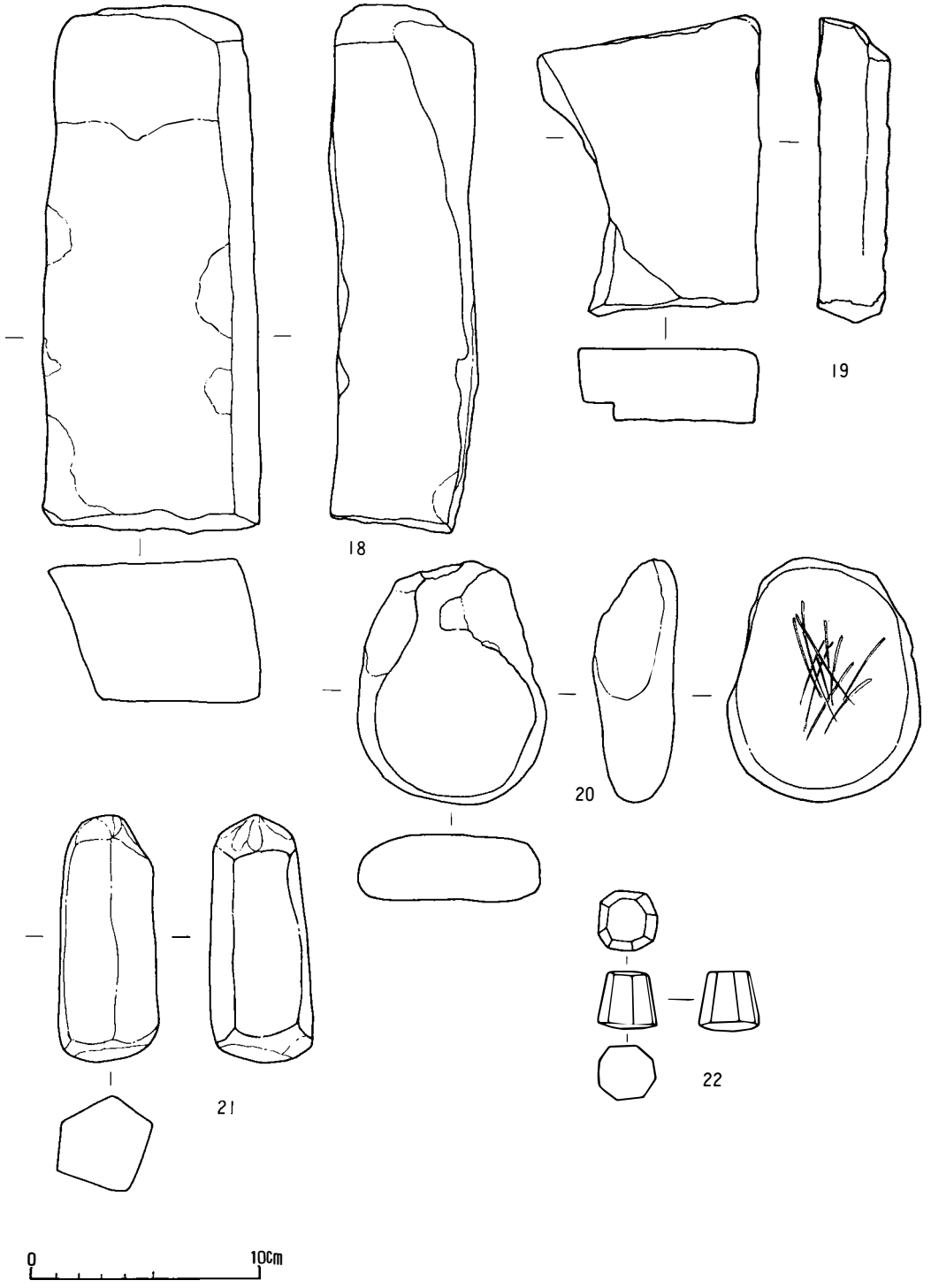
第292図　住居出土鉄製品 (1)



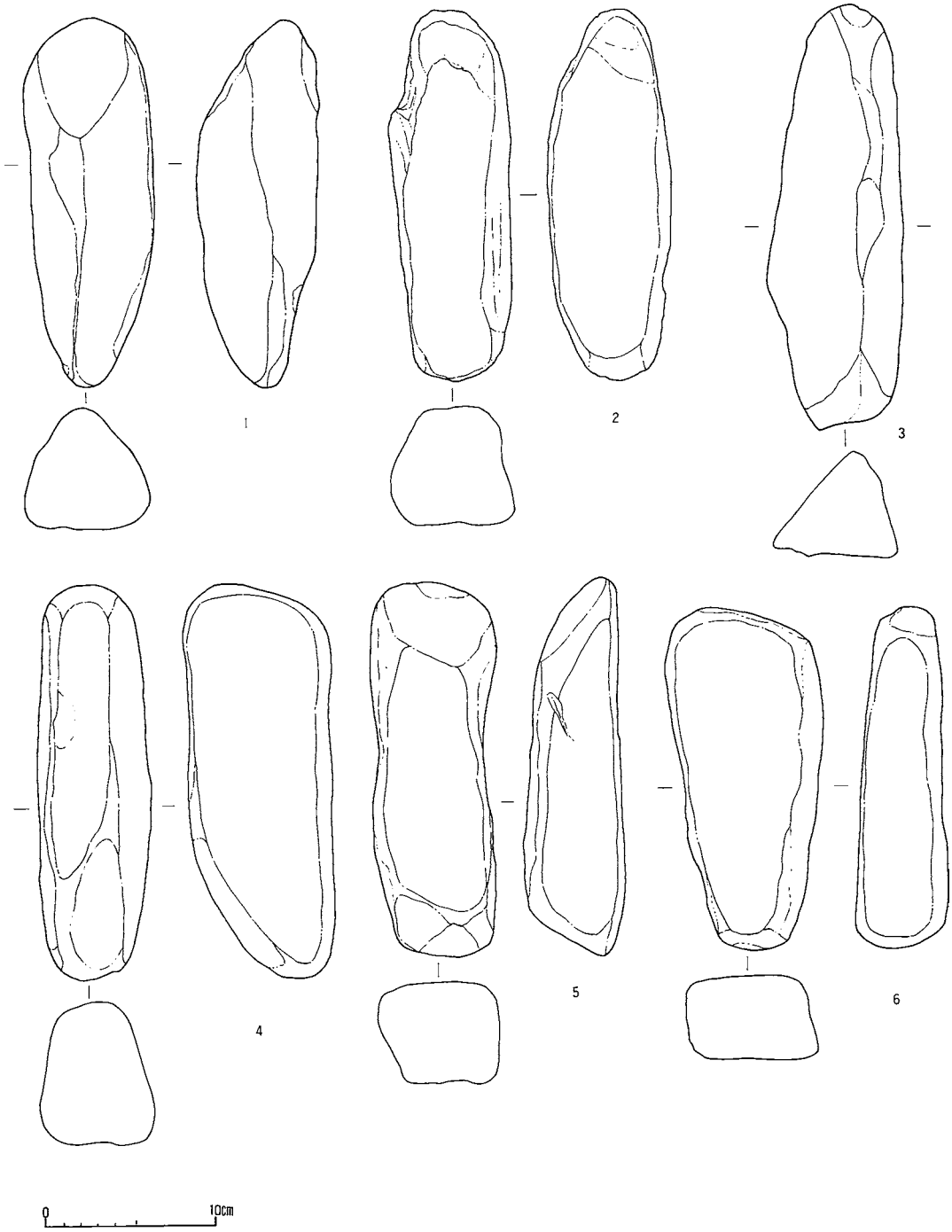
第293図　住居出土鉄製品 (2)



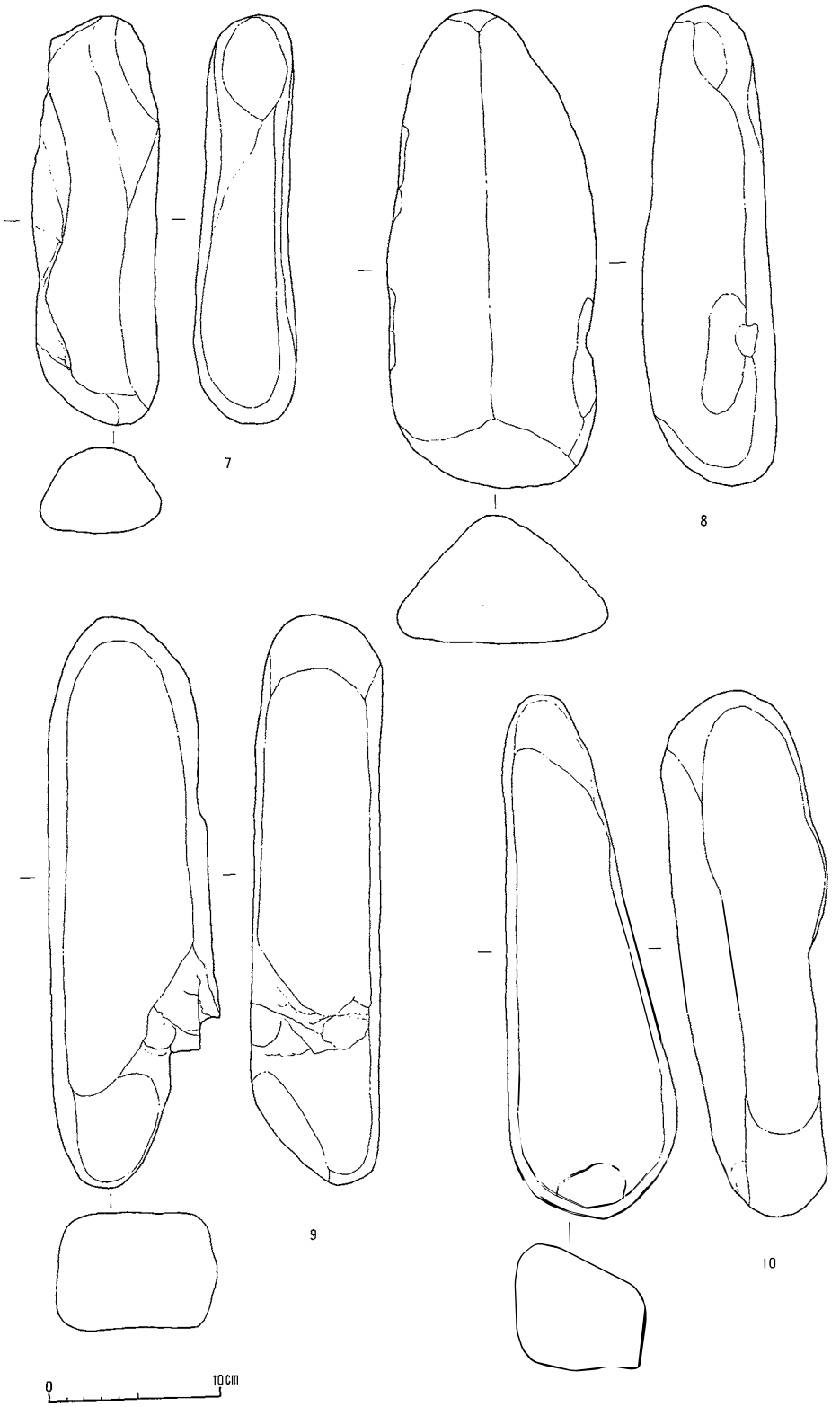
第294図　打製石斧、石鏃、砥石 (1)



第295図　砥石 (2)

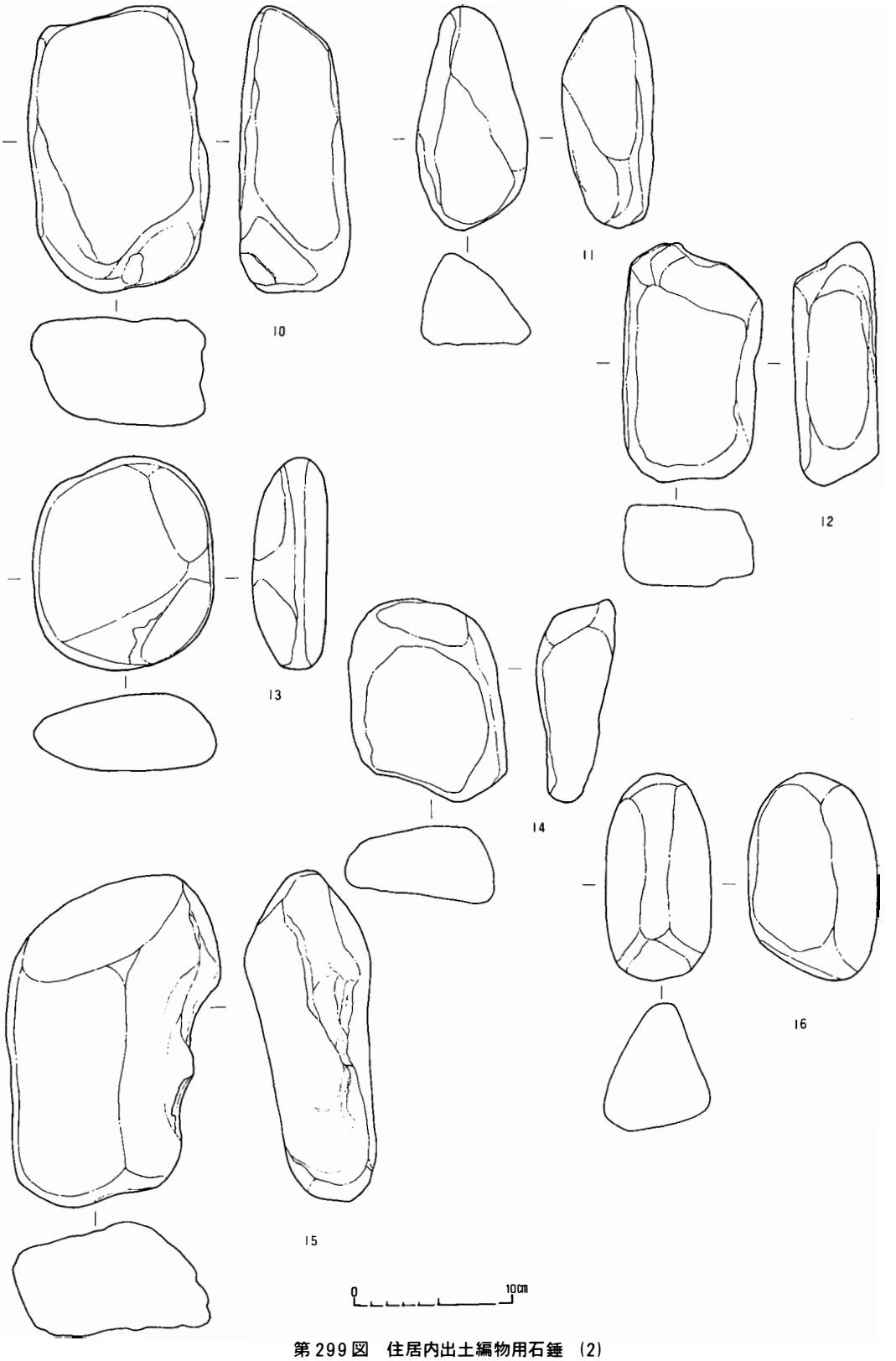


第296図　竈内出土石製支脚（1）

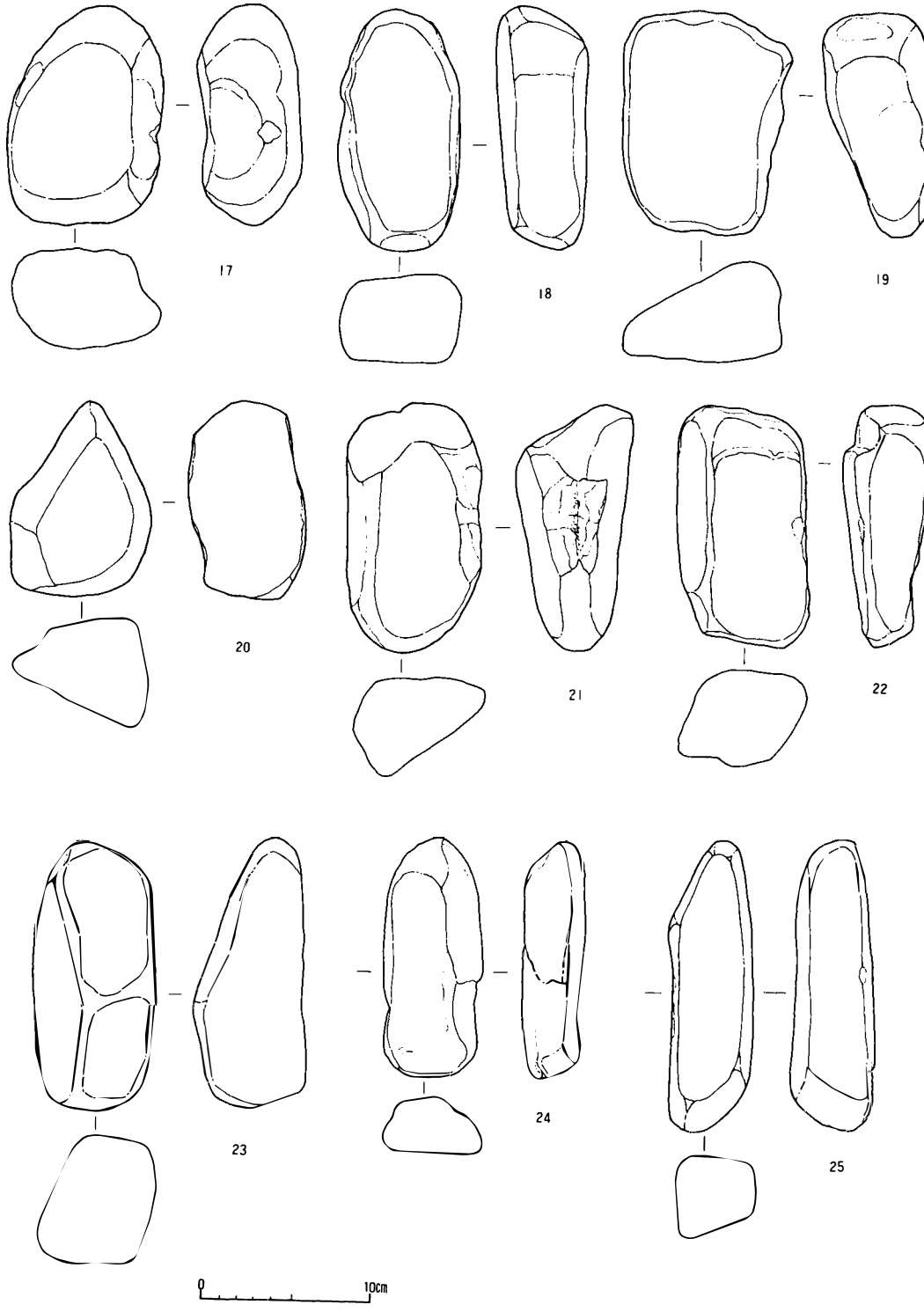


第297図　竈内出土石製支脚 (2)

第298図　住居内出土編物用石錘（1）

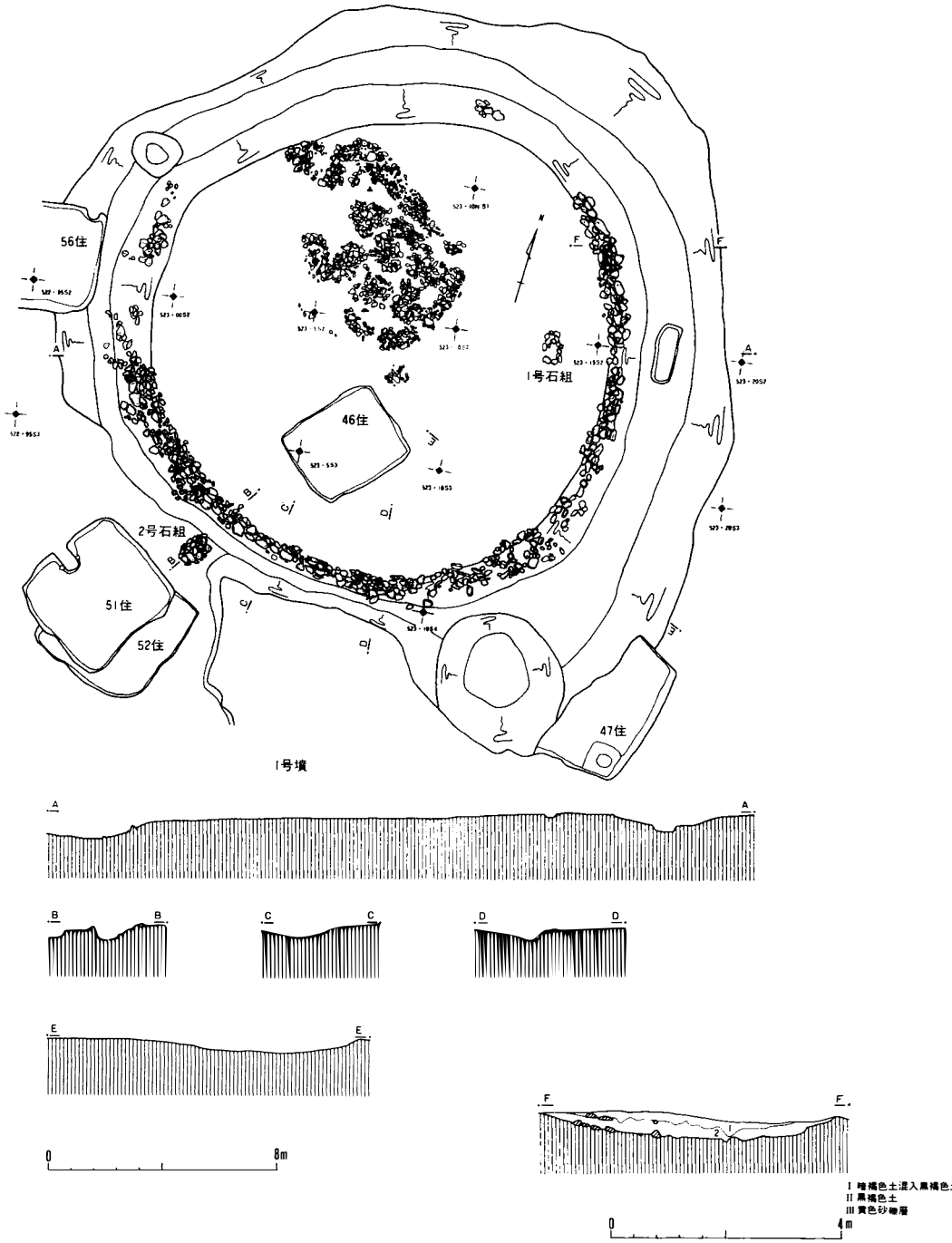


第299図　住居内出土編物用石錘 (2)

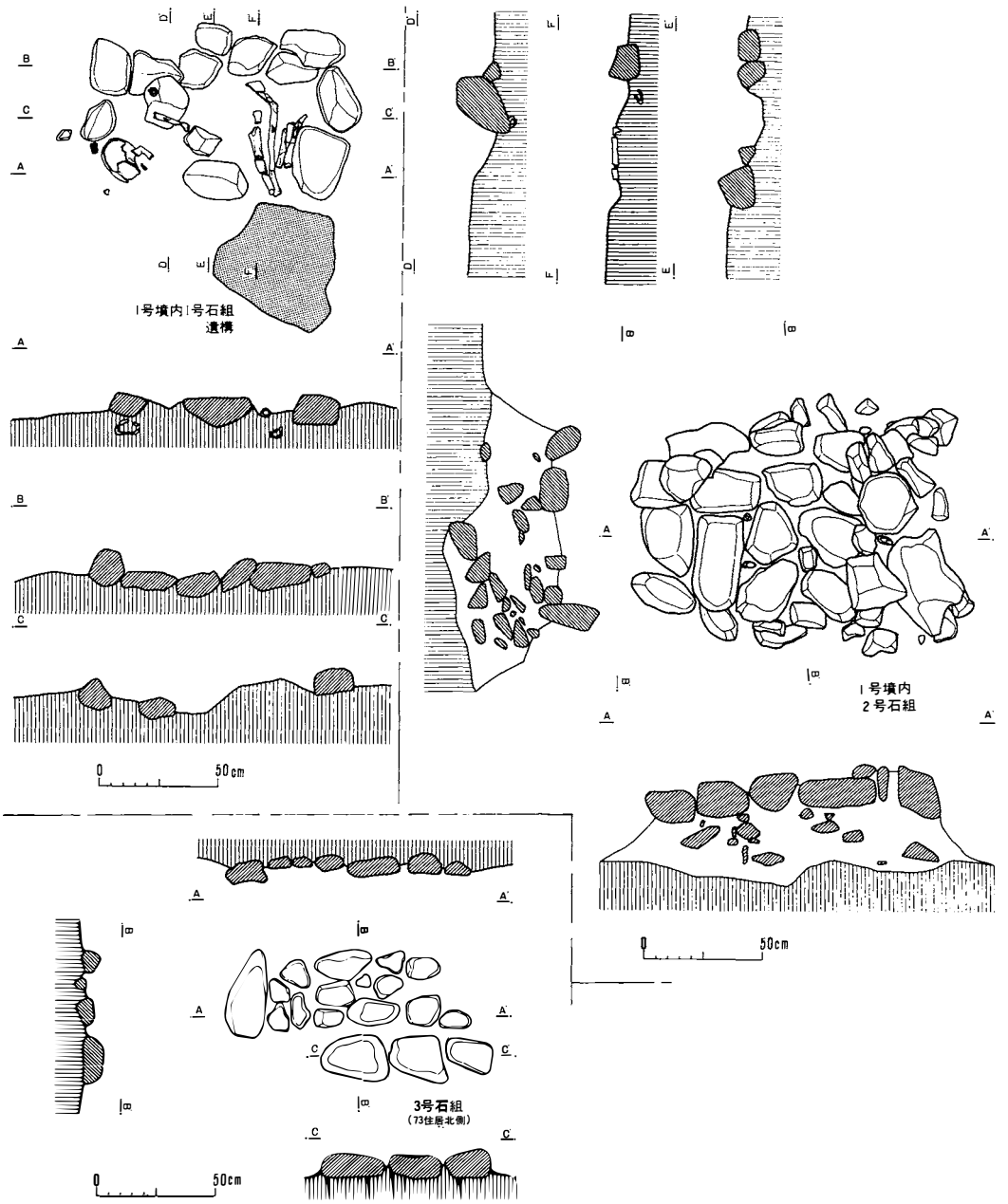


第300図　住居内出土編物用石錘　(3)

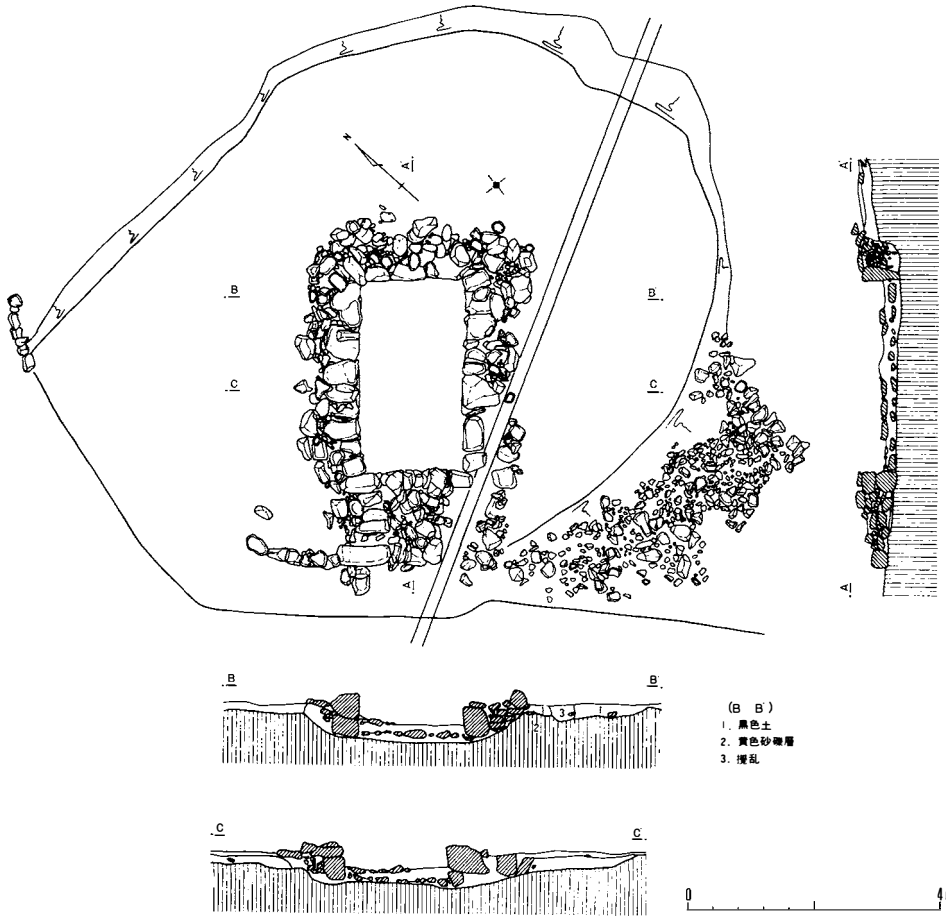
第301図　住居内出土編物用石錘（4）



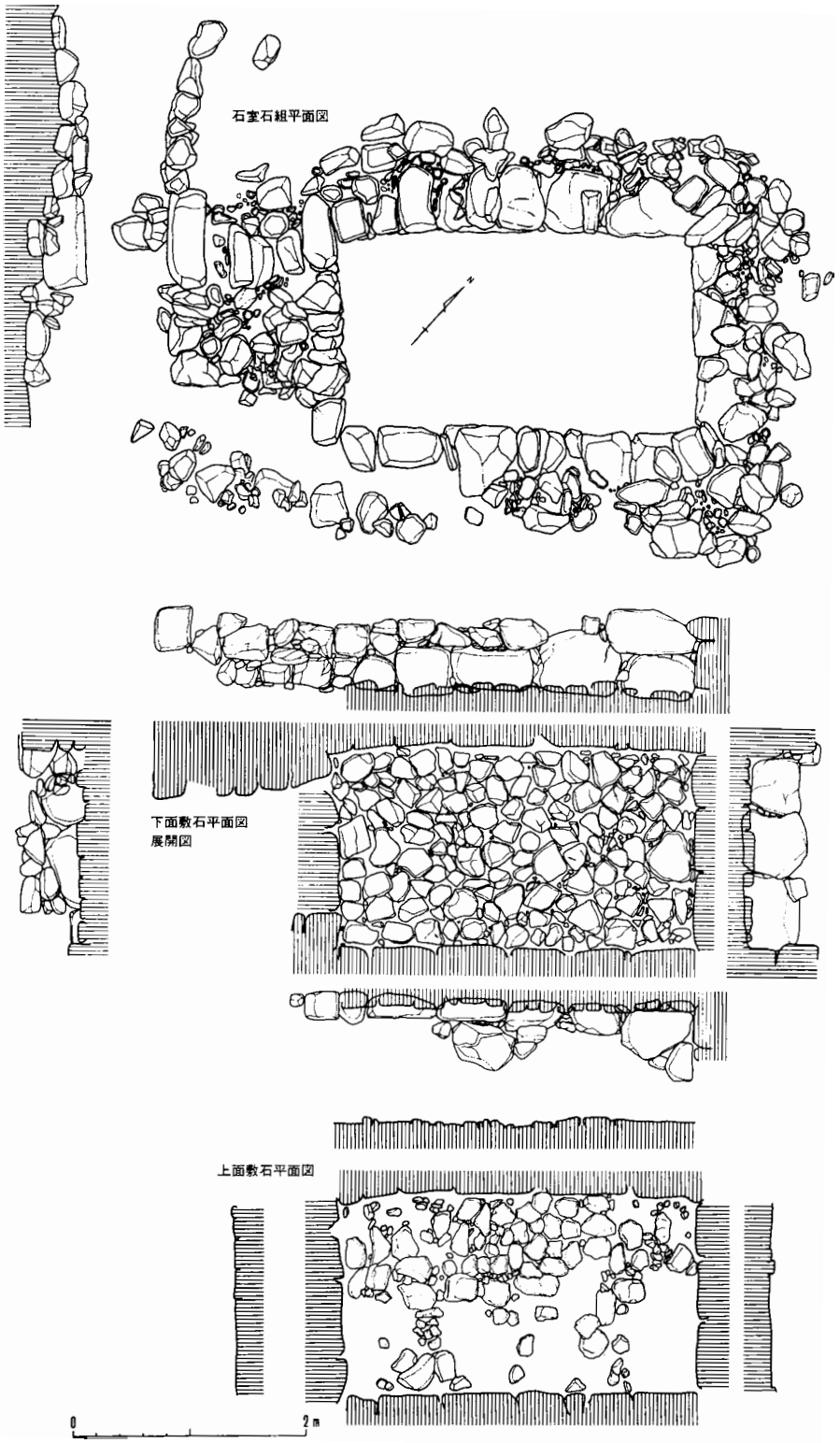
第302図　1号墳平面図



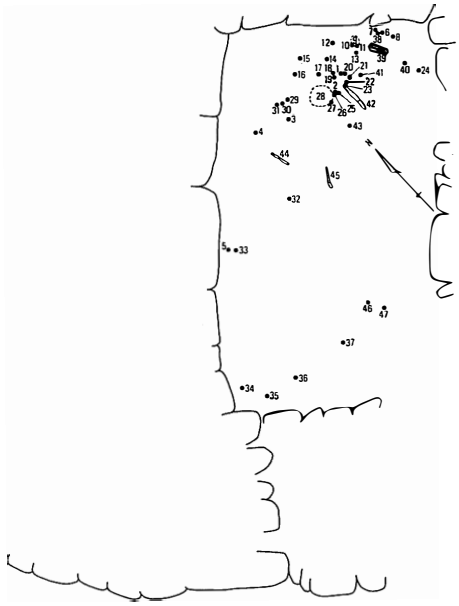
第303図　1号墳内1号石組遺構、1号墳丘2号石組遺構、3号石組遺構平面図



第304図　2号墳平面図



第305図　2号墳石室展開図

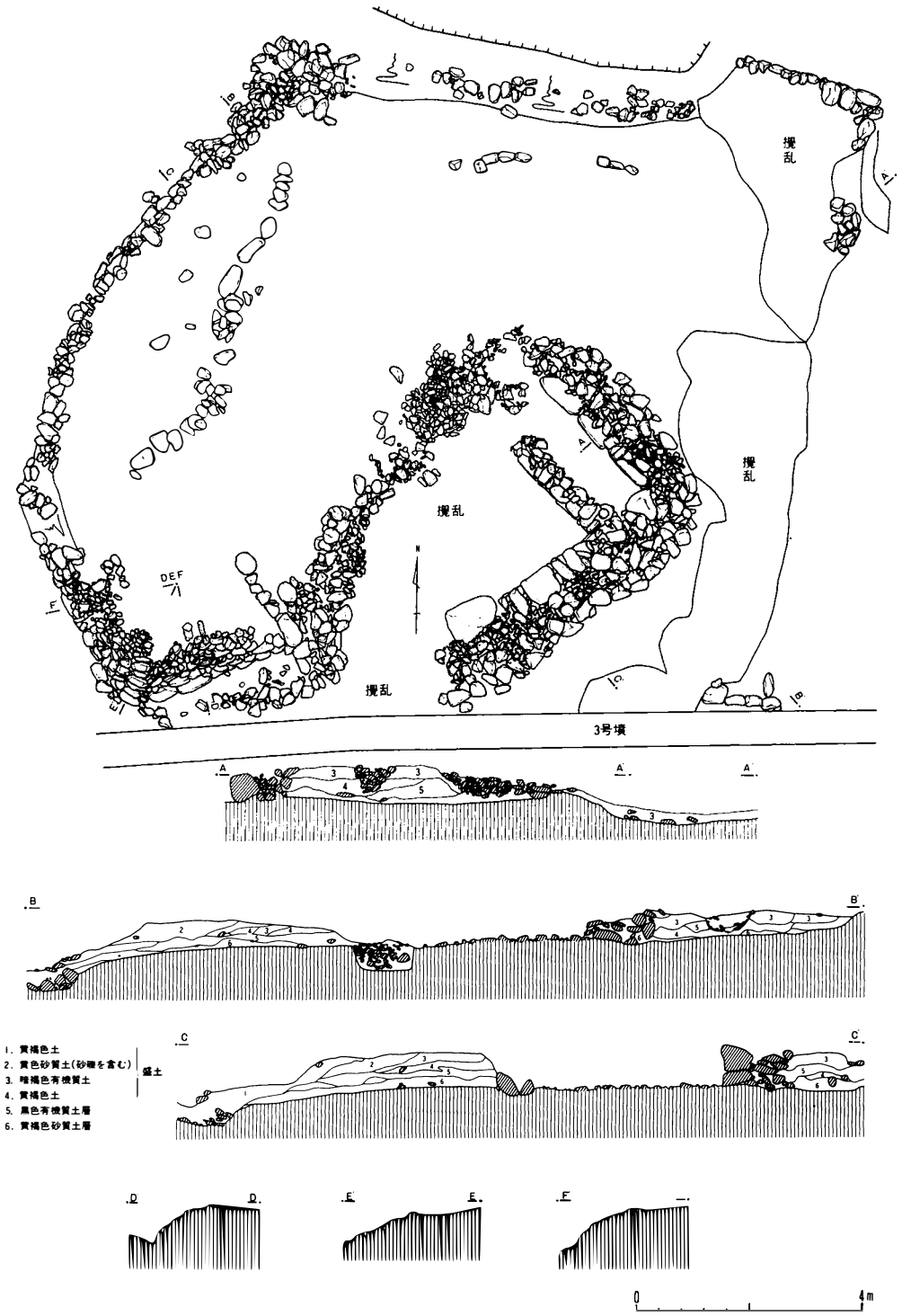


鉄製品、玉類出土位置図

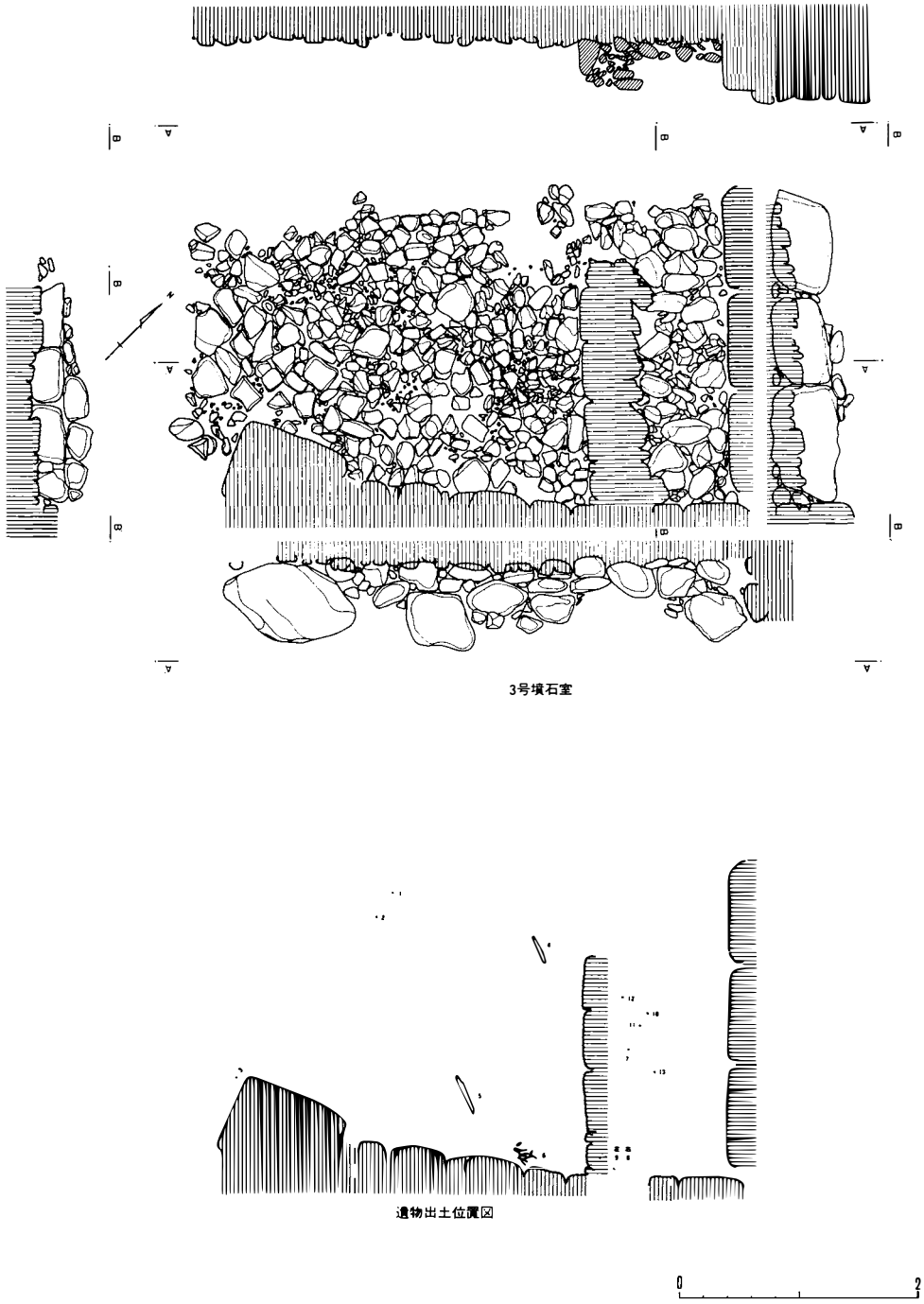
土器出土位置図

人骨出土位置図

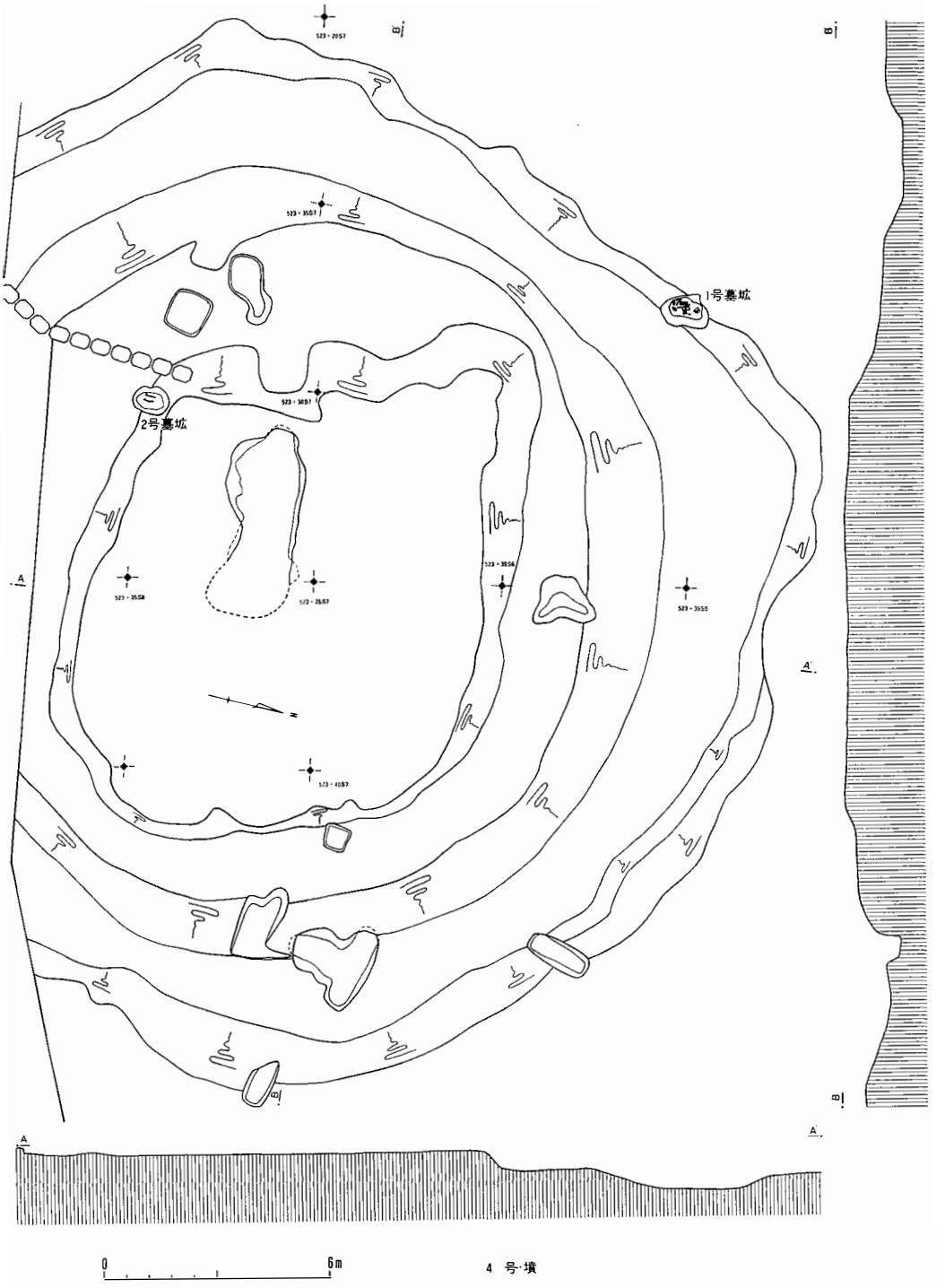
第306図　2号墳、鉄製品、玉類、土器、人骨出土位置図



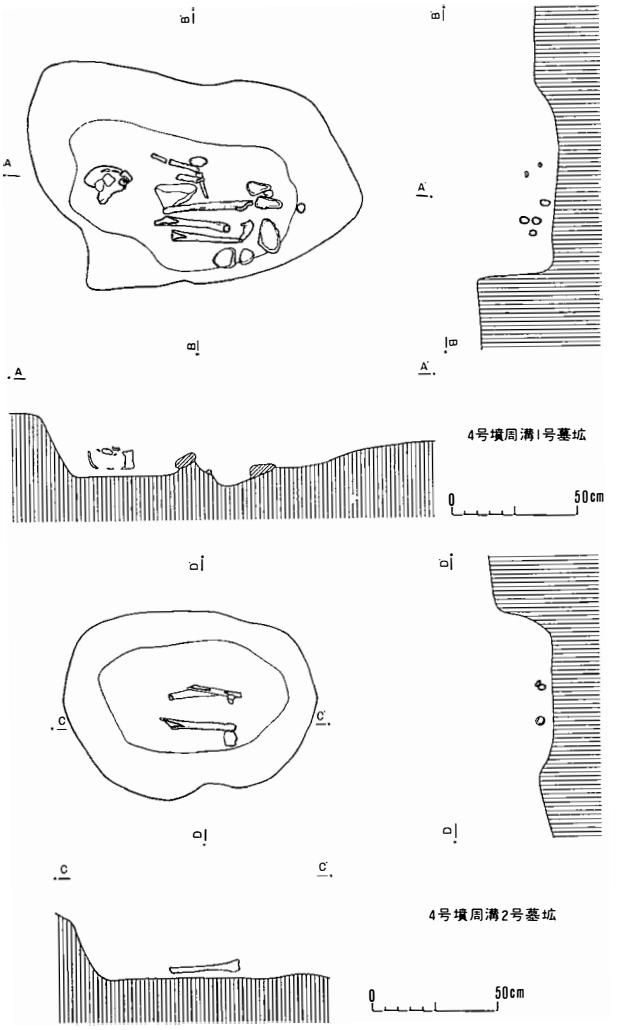
第307図　3号墳平面図



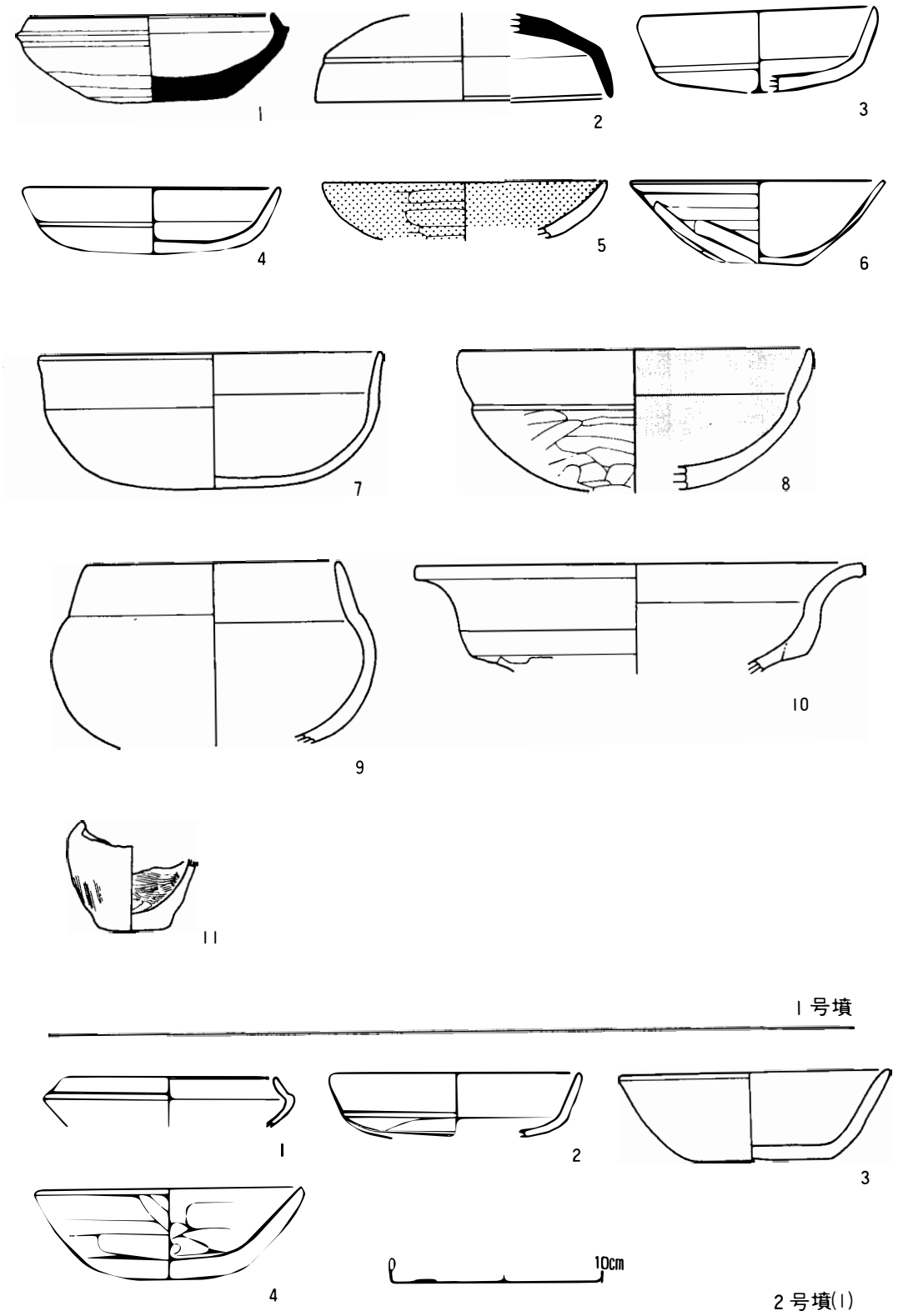
第308図　3号墳石室展開図、遺物出土位置図



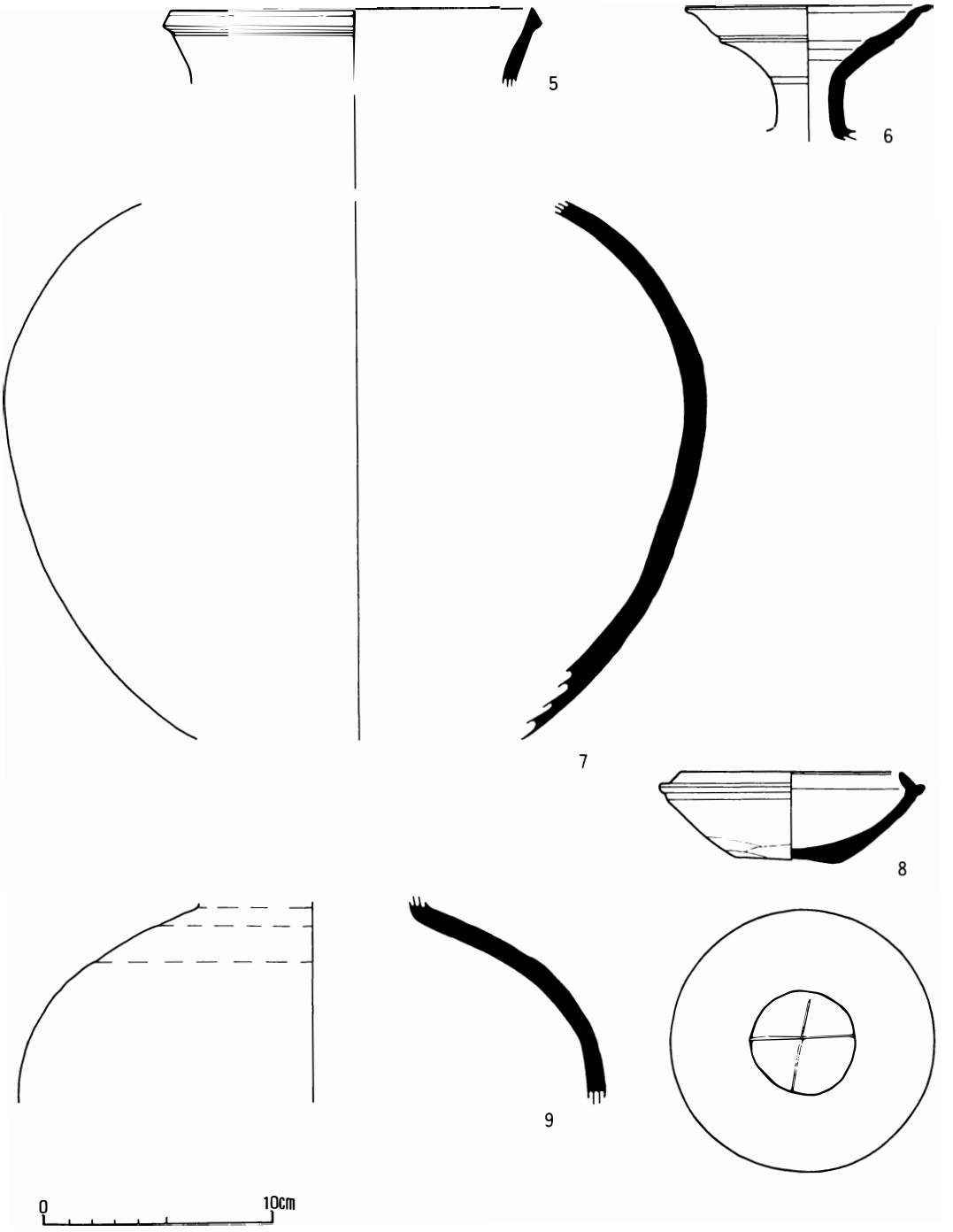
第309図　4号墳平面図



第310図　4号墳内、1、2号墓壙平面図

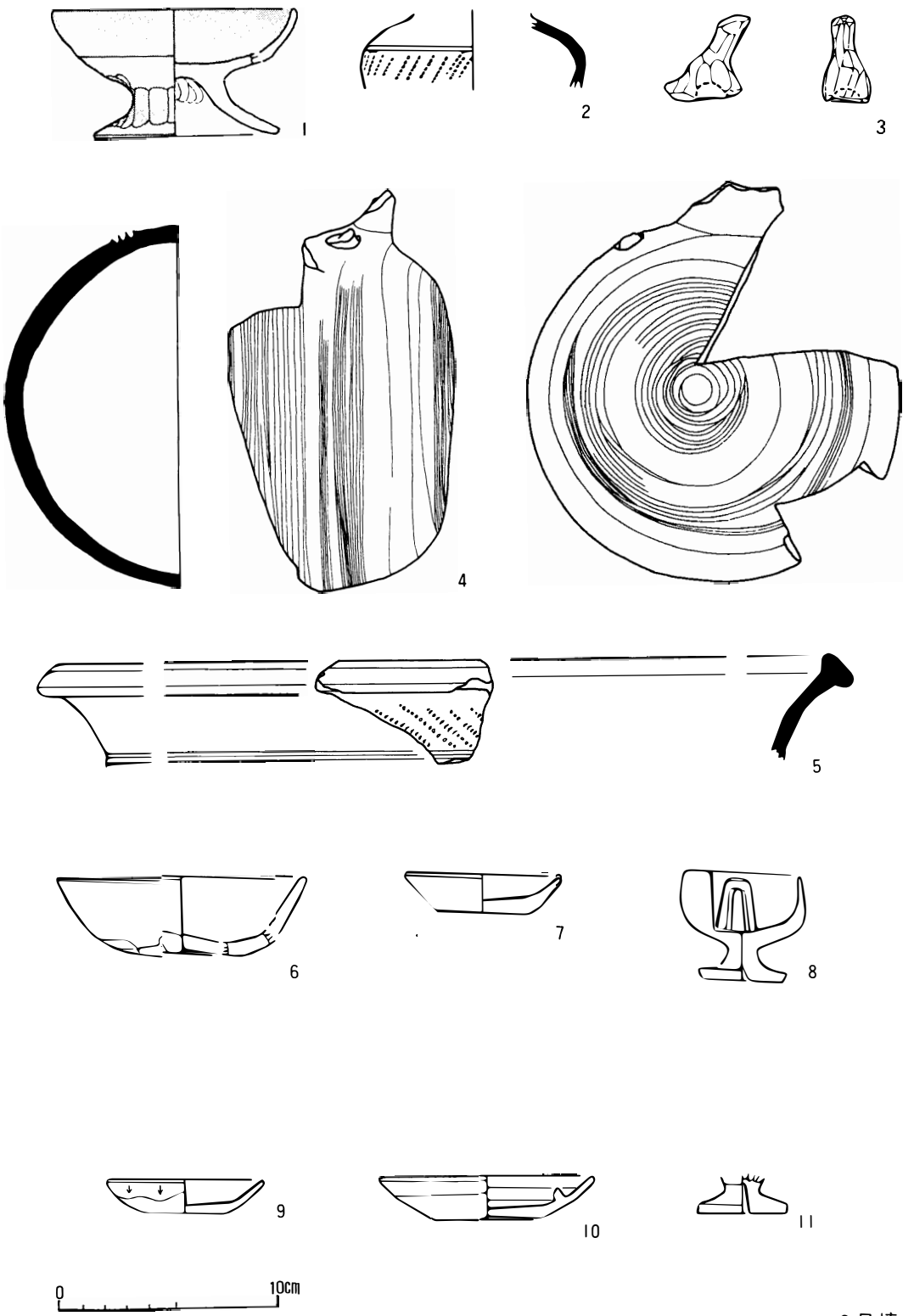


第311図　1、2号墳出土土器



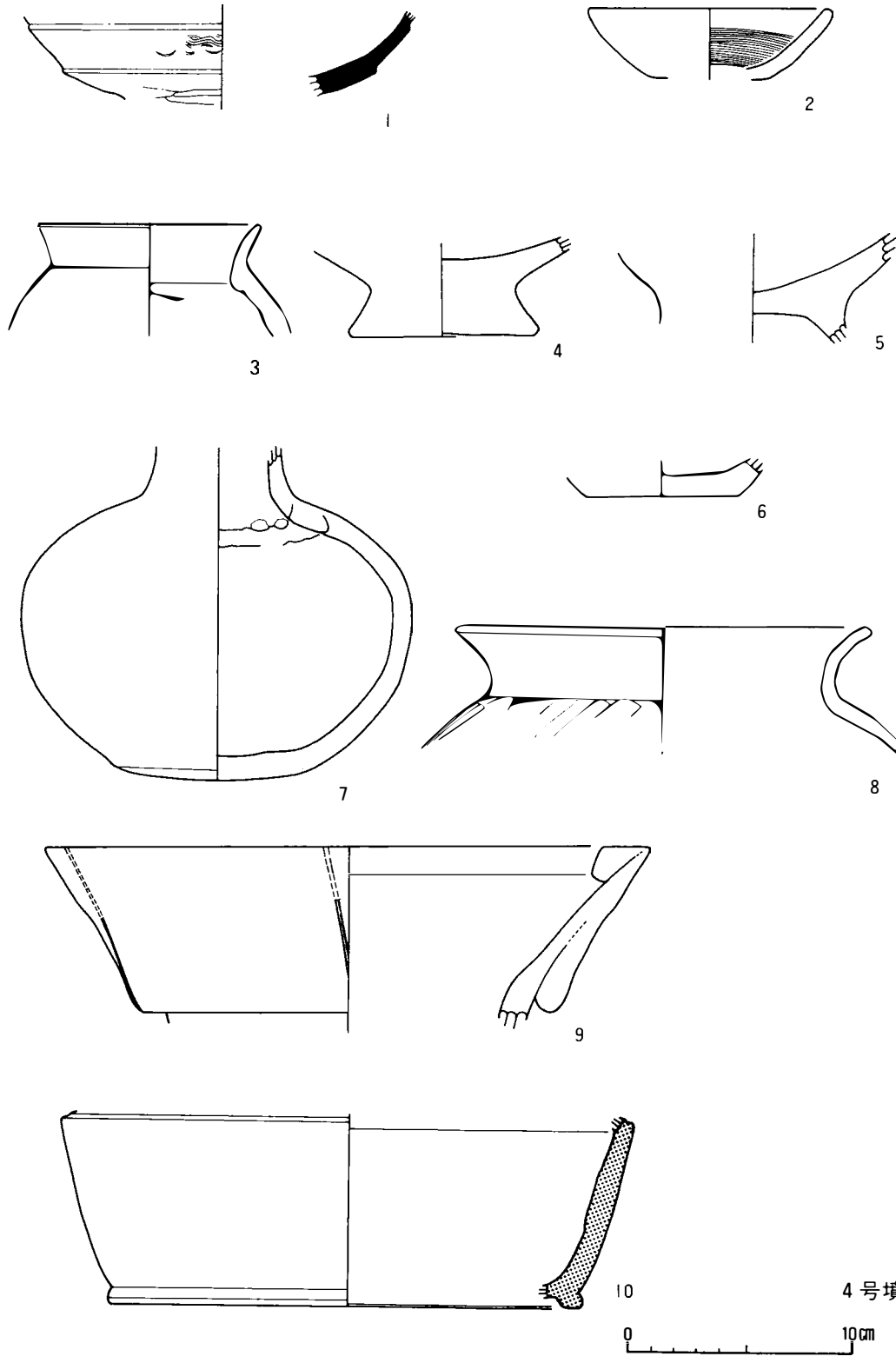
2号墳(2)

第312図　2号墳出土土器

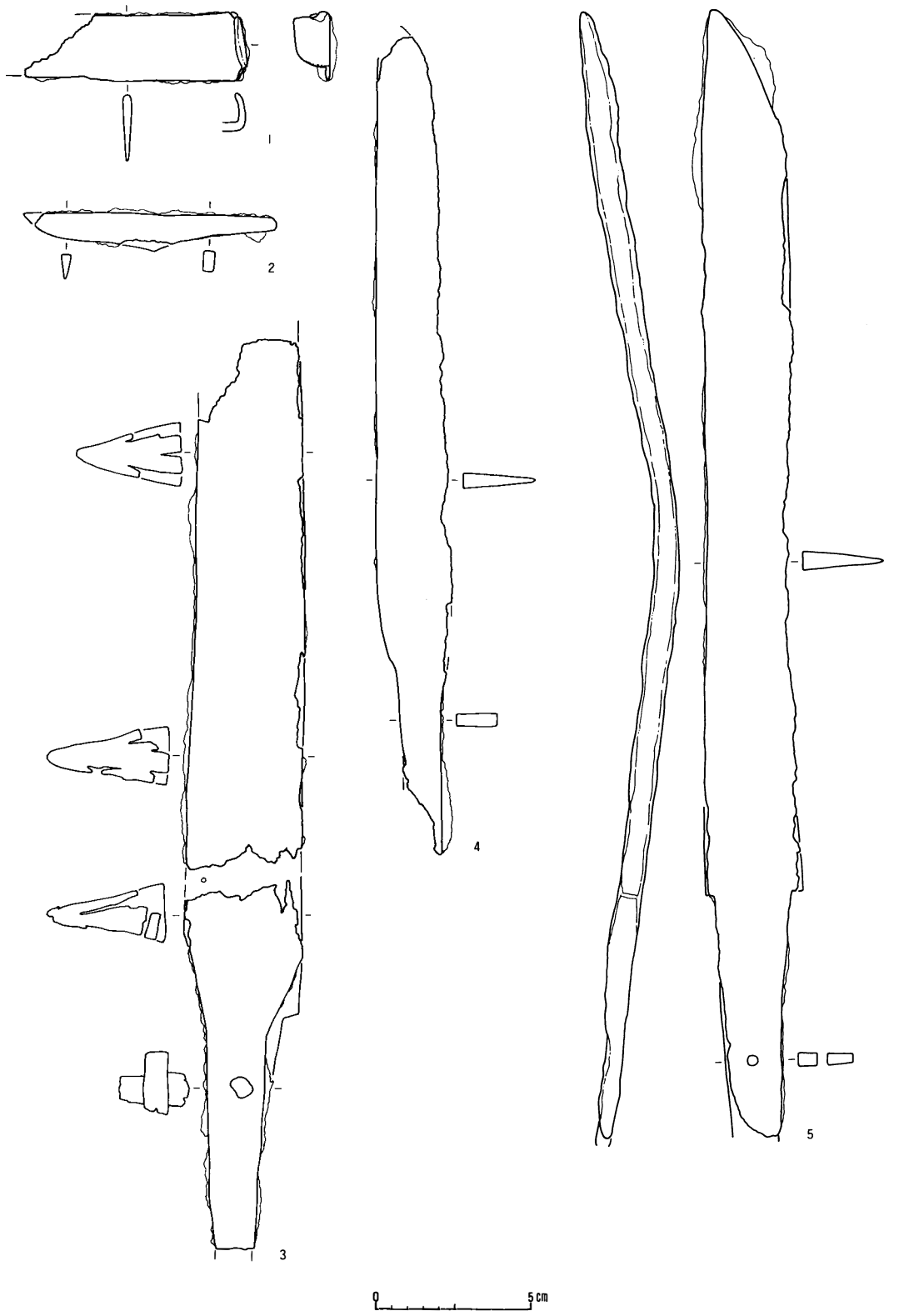


3号墳

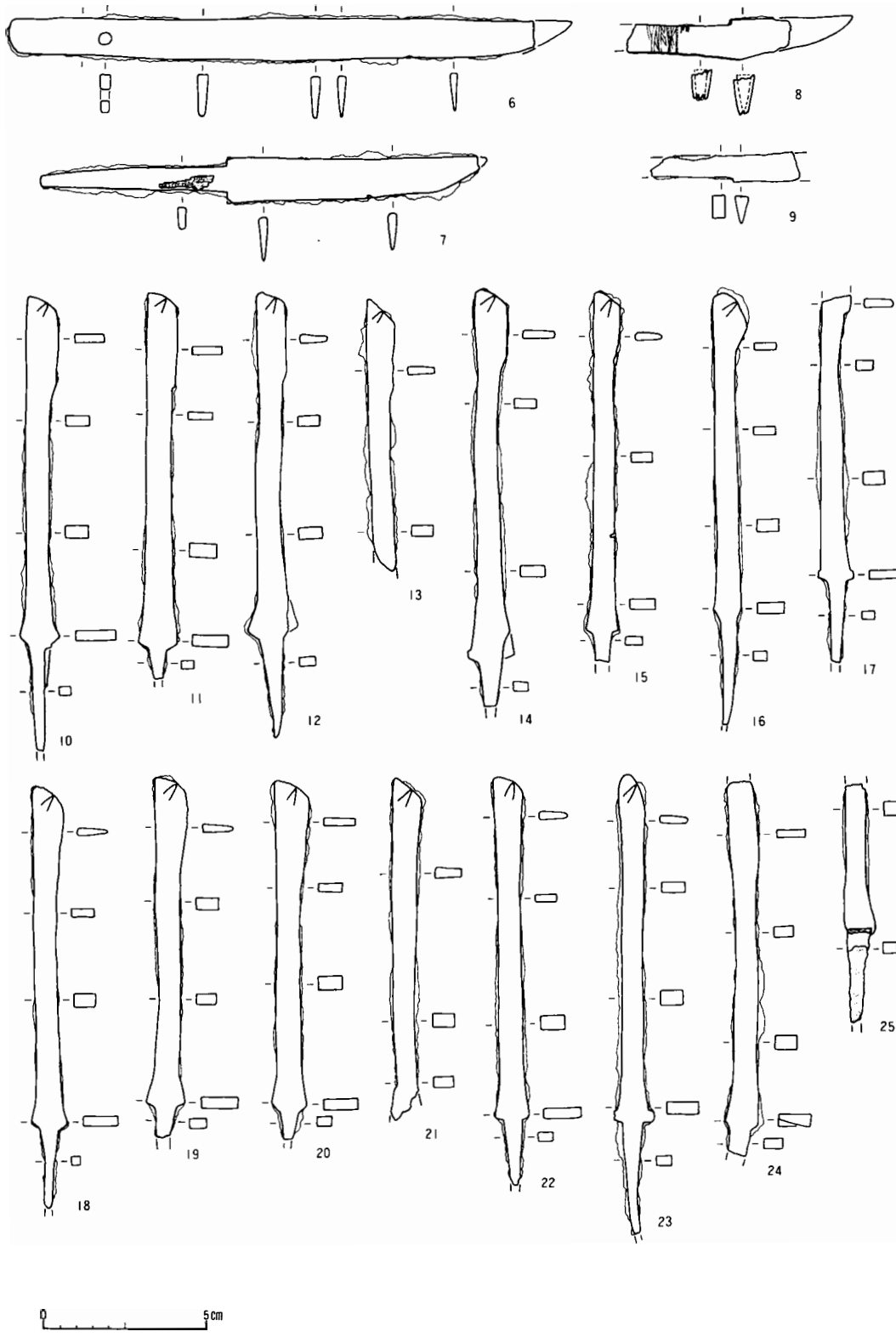
第313図　3号墳出土土器



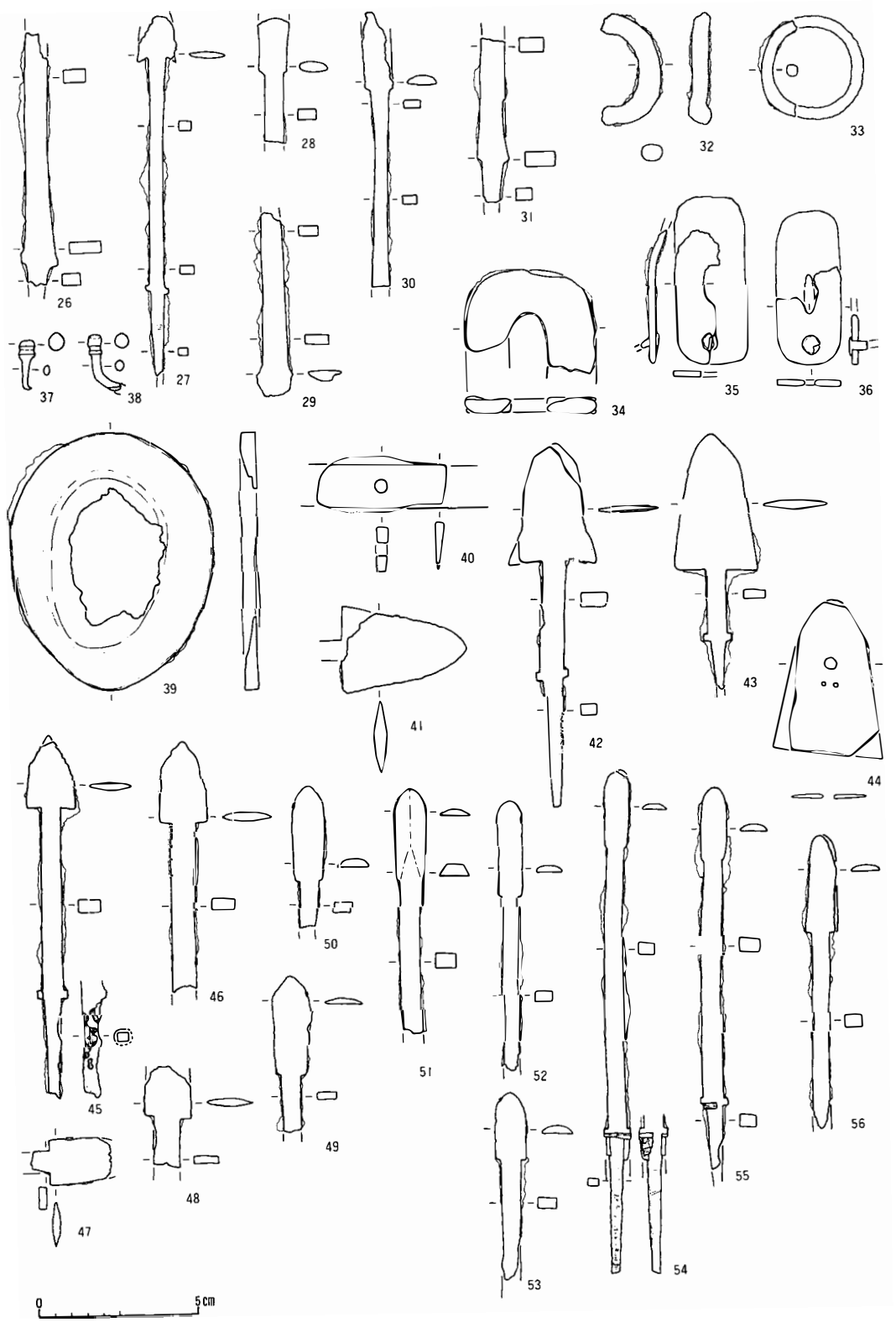
第314図　4号墳出土土器



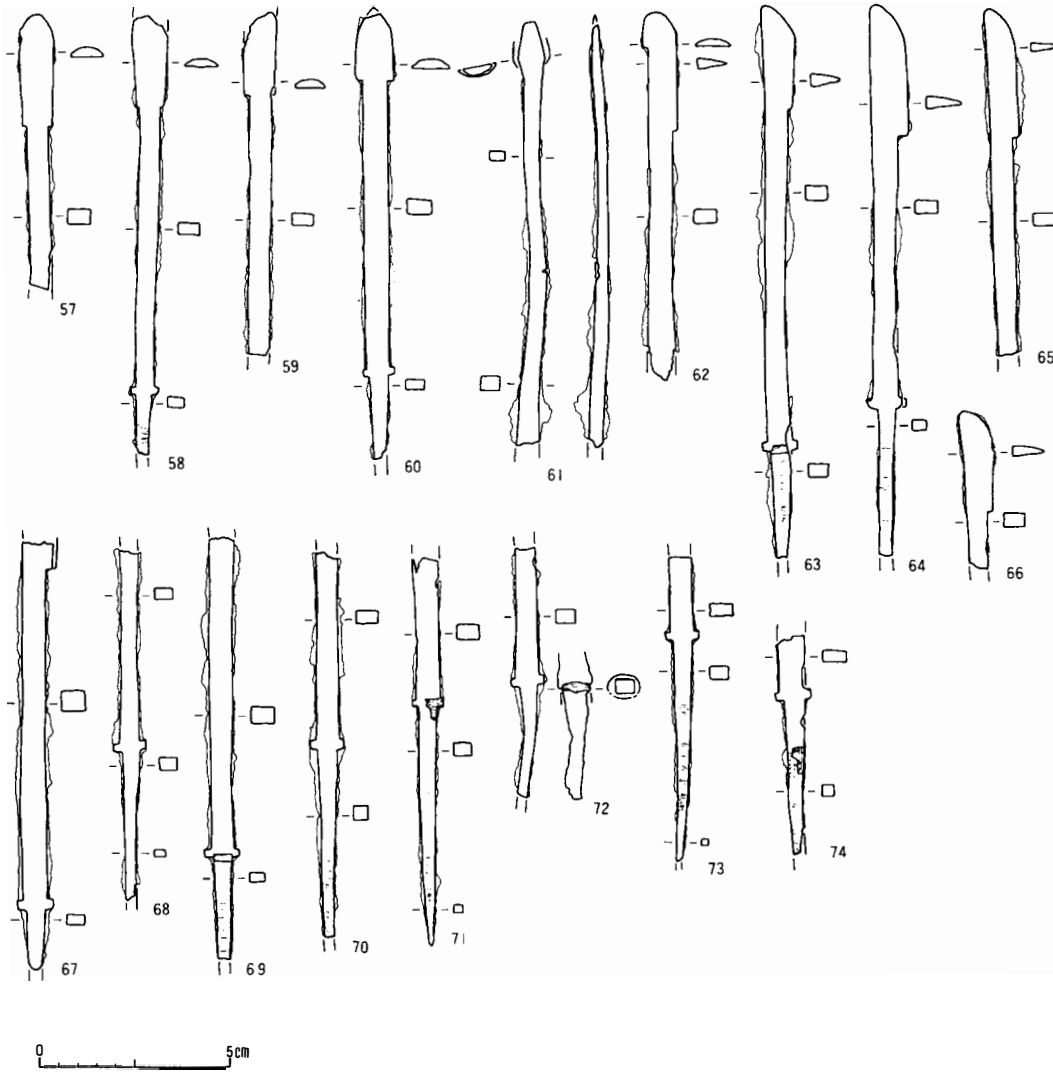
第315図　1、2号墳出土鉄製品（1）



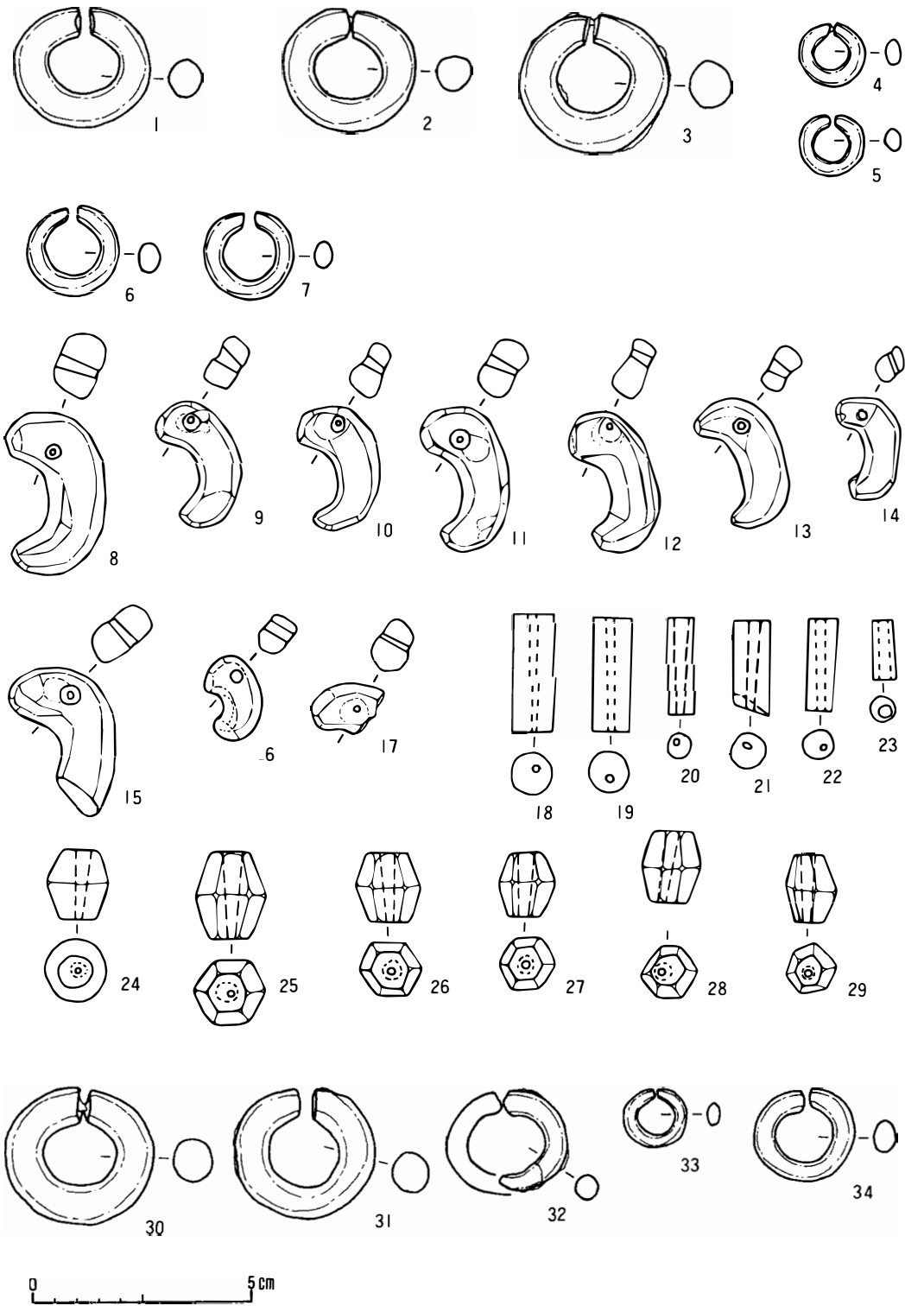
第316図　2号墳出土鉄製品 (2)



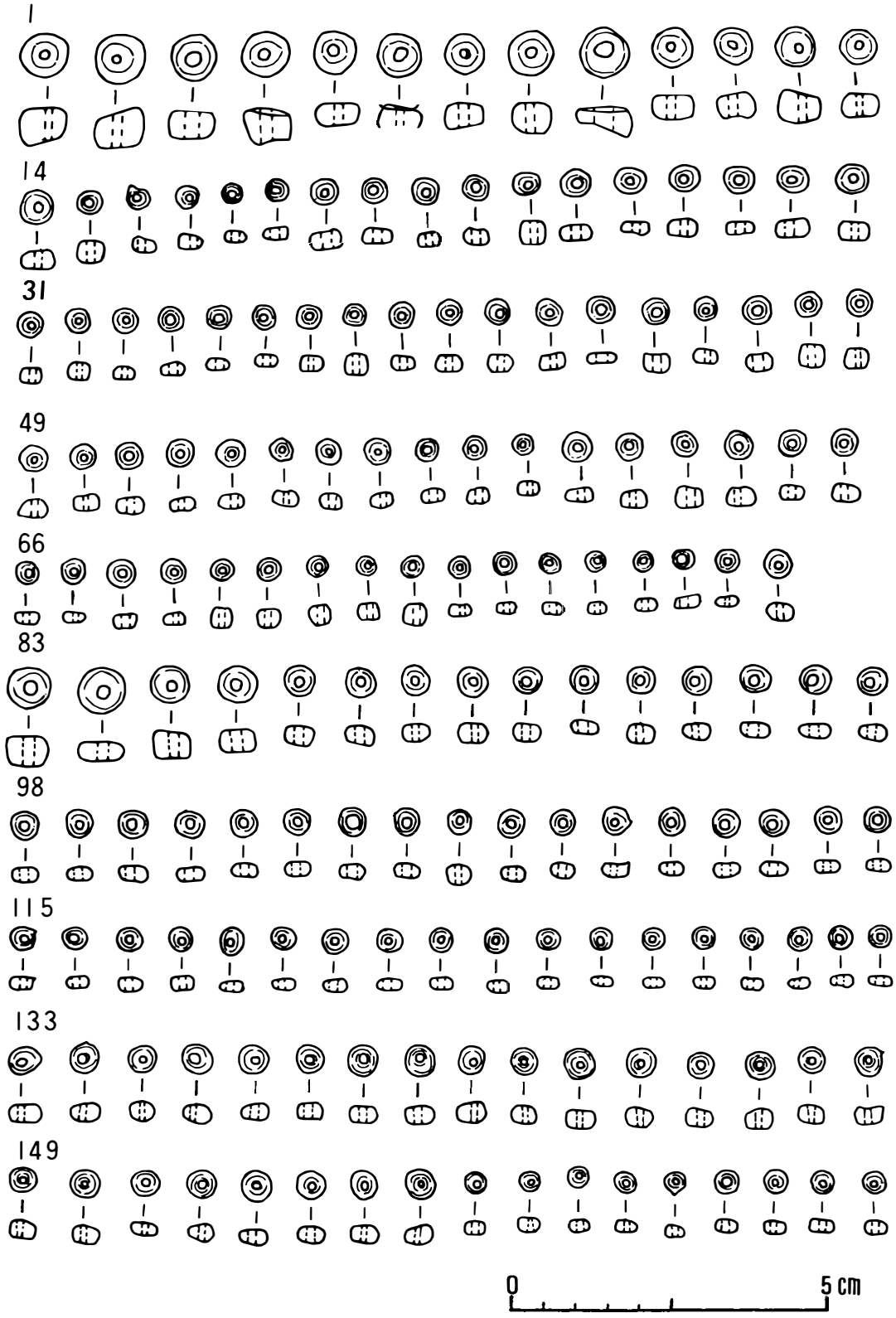
第317図　2、3号墳出土鉄製品 (3)



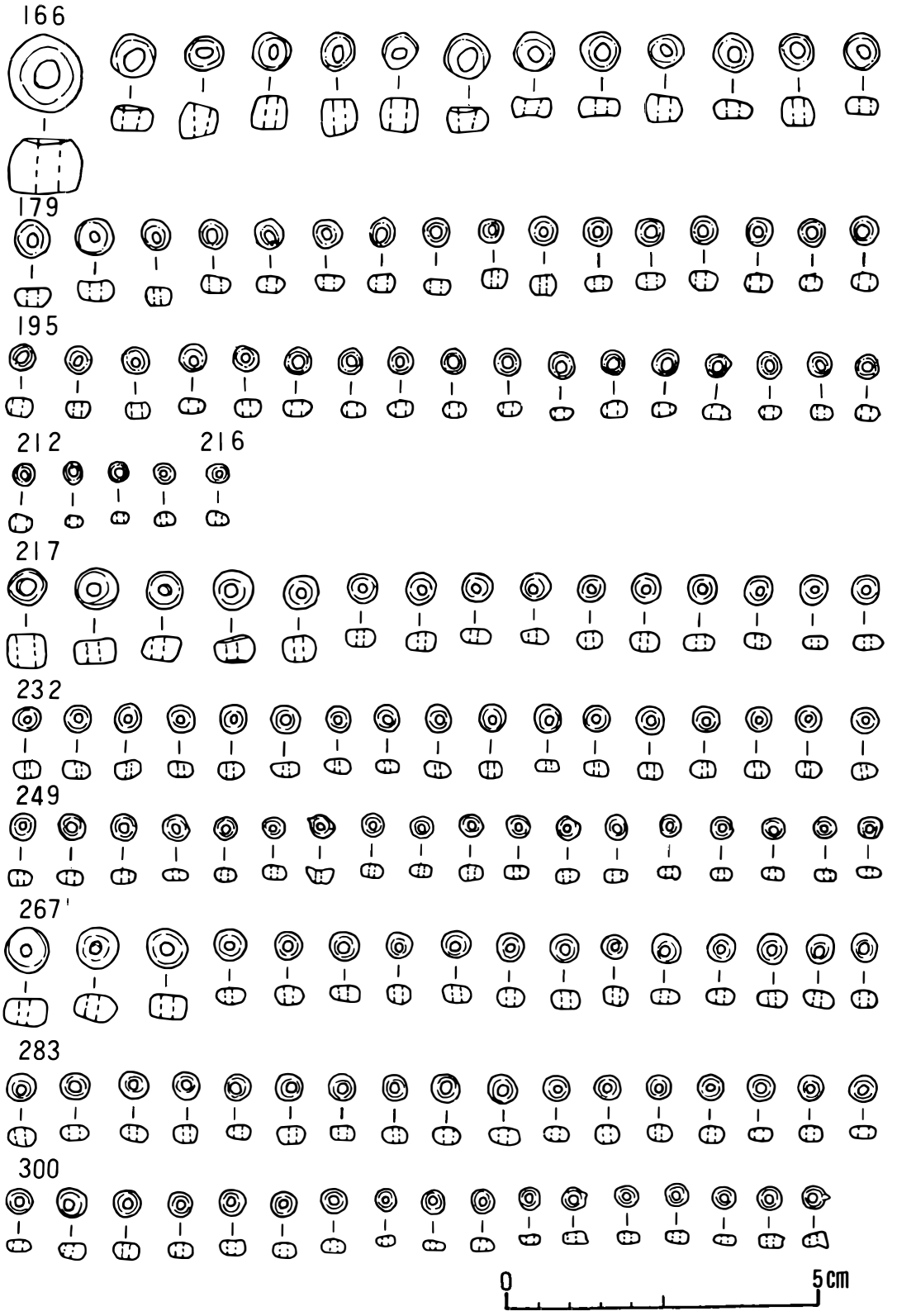
第318図　3号墳出土鉄製品 (4)



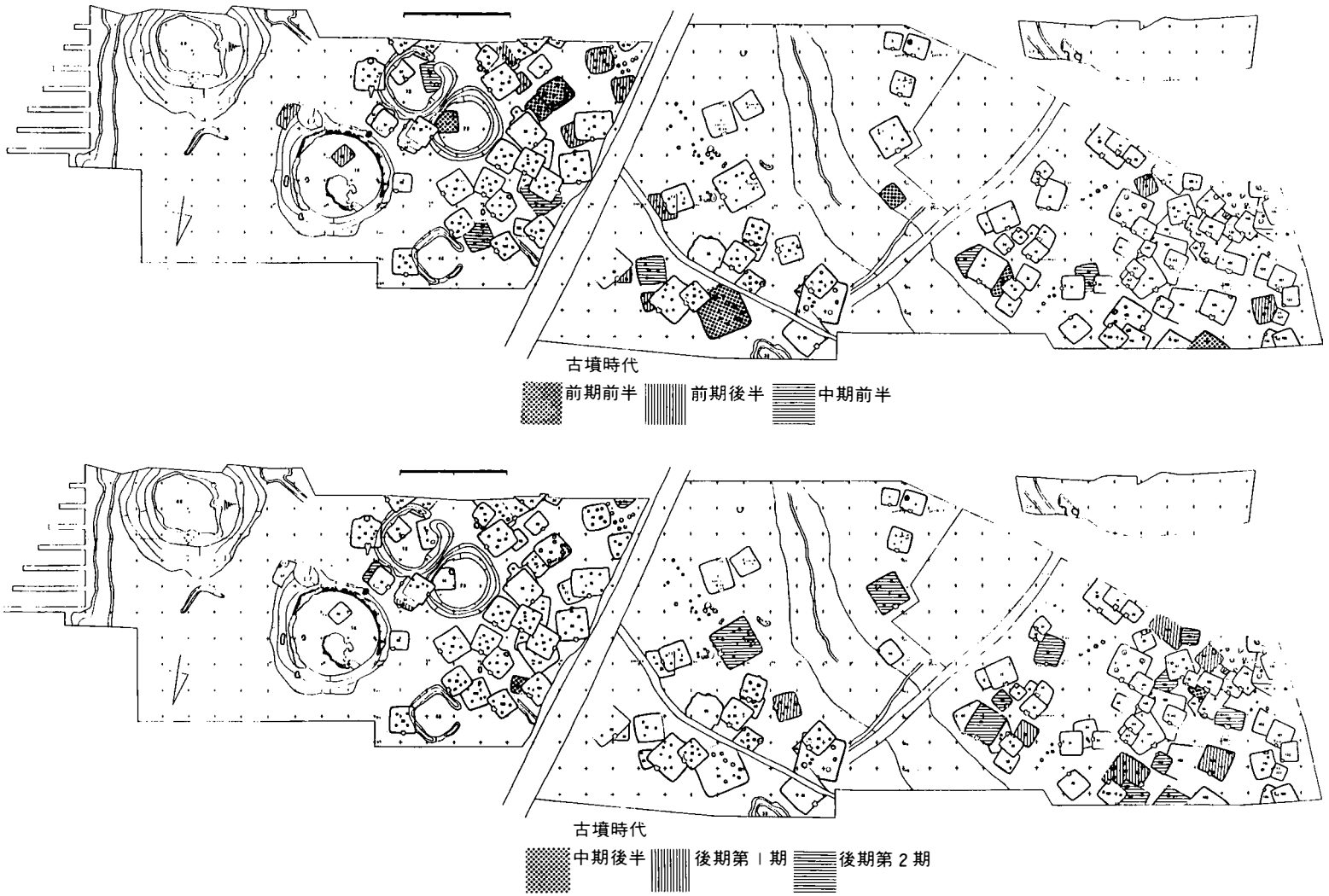
第319図　2号墳出土金環、玉類、3、4号墳出土金環



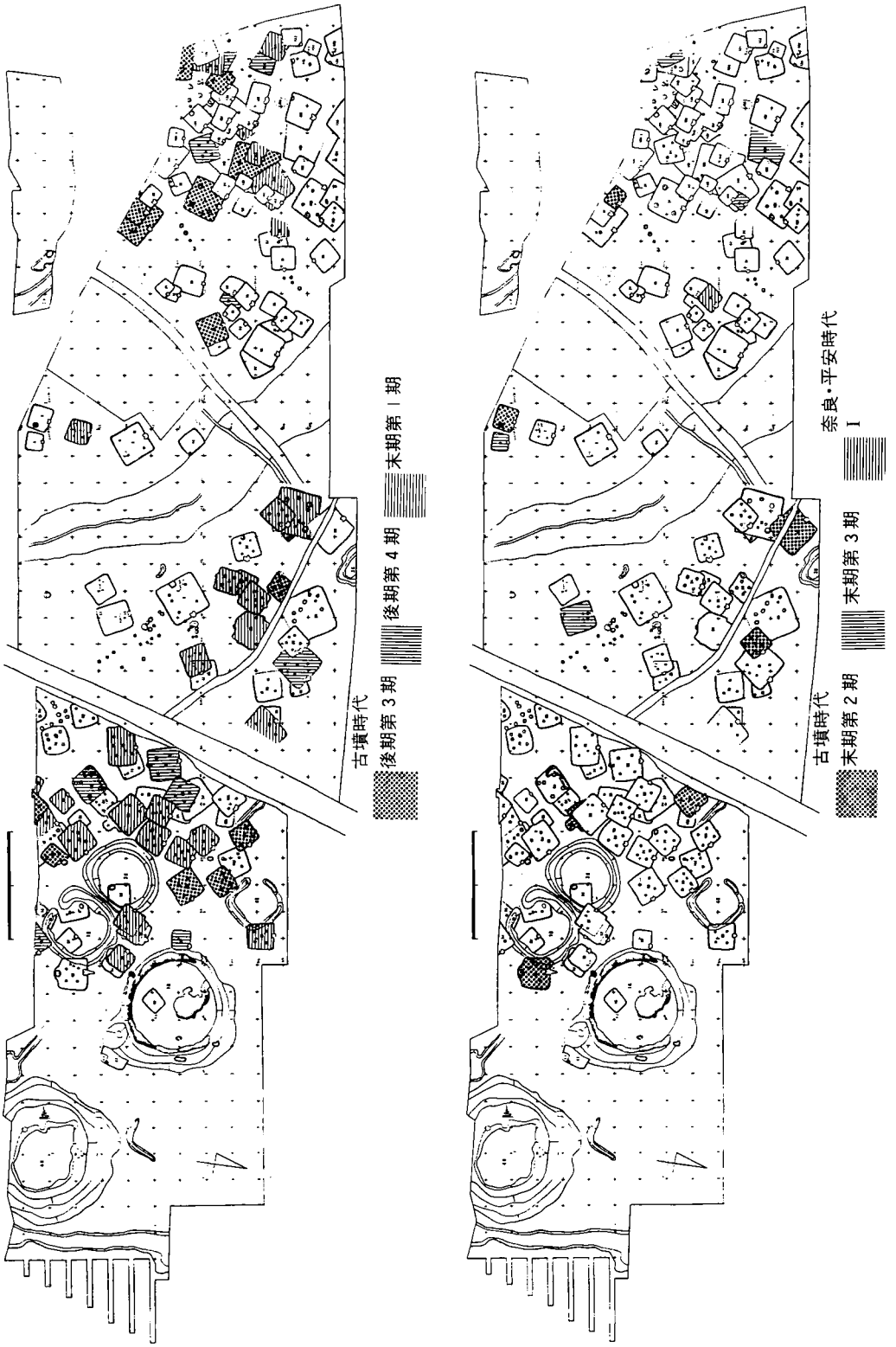
第320図　2号墳出土玉類 (2)



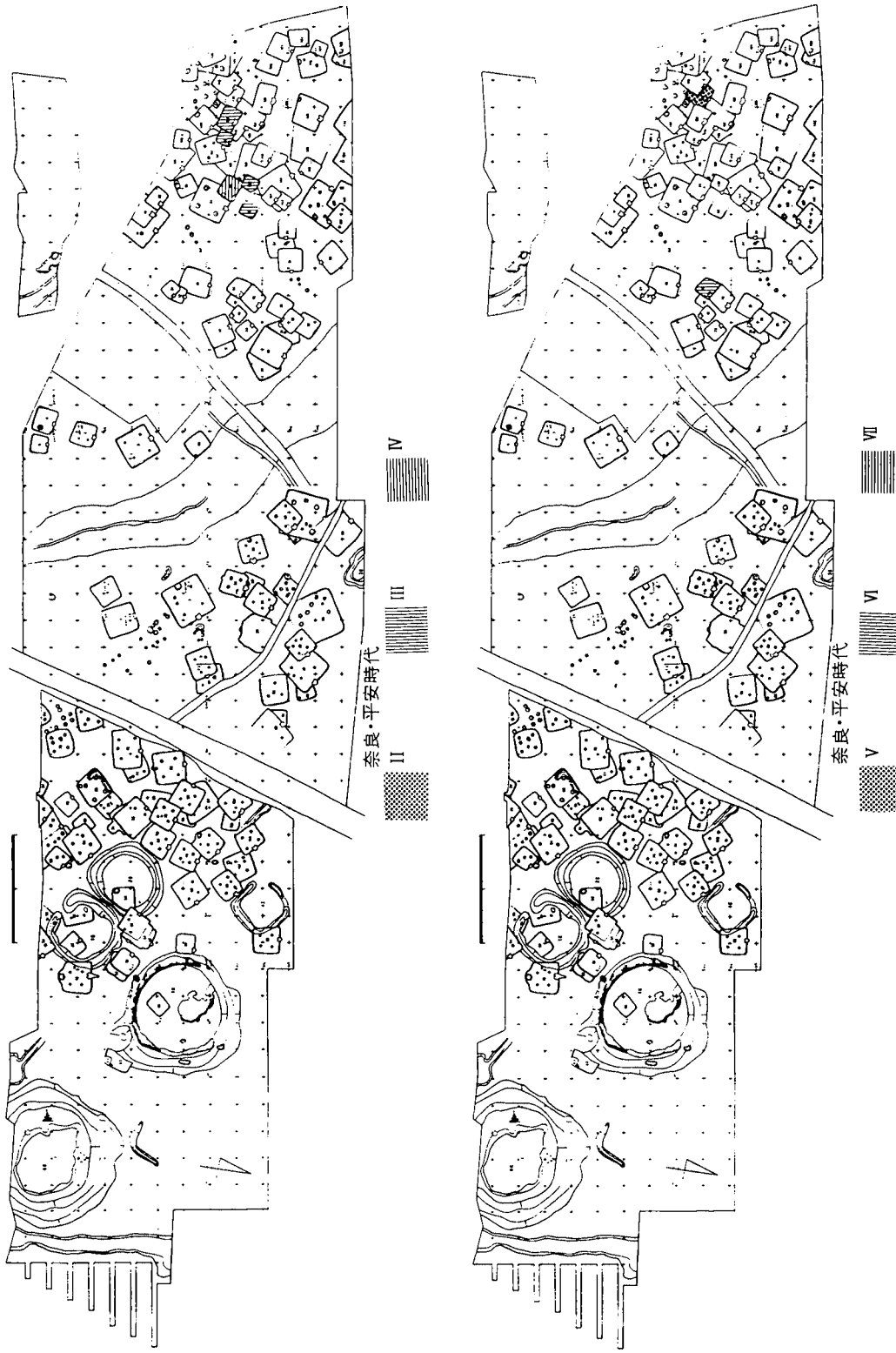
第321図　2号墳出土玉類 (3)



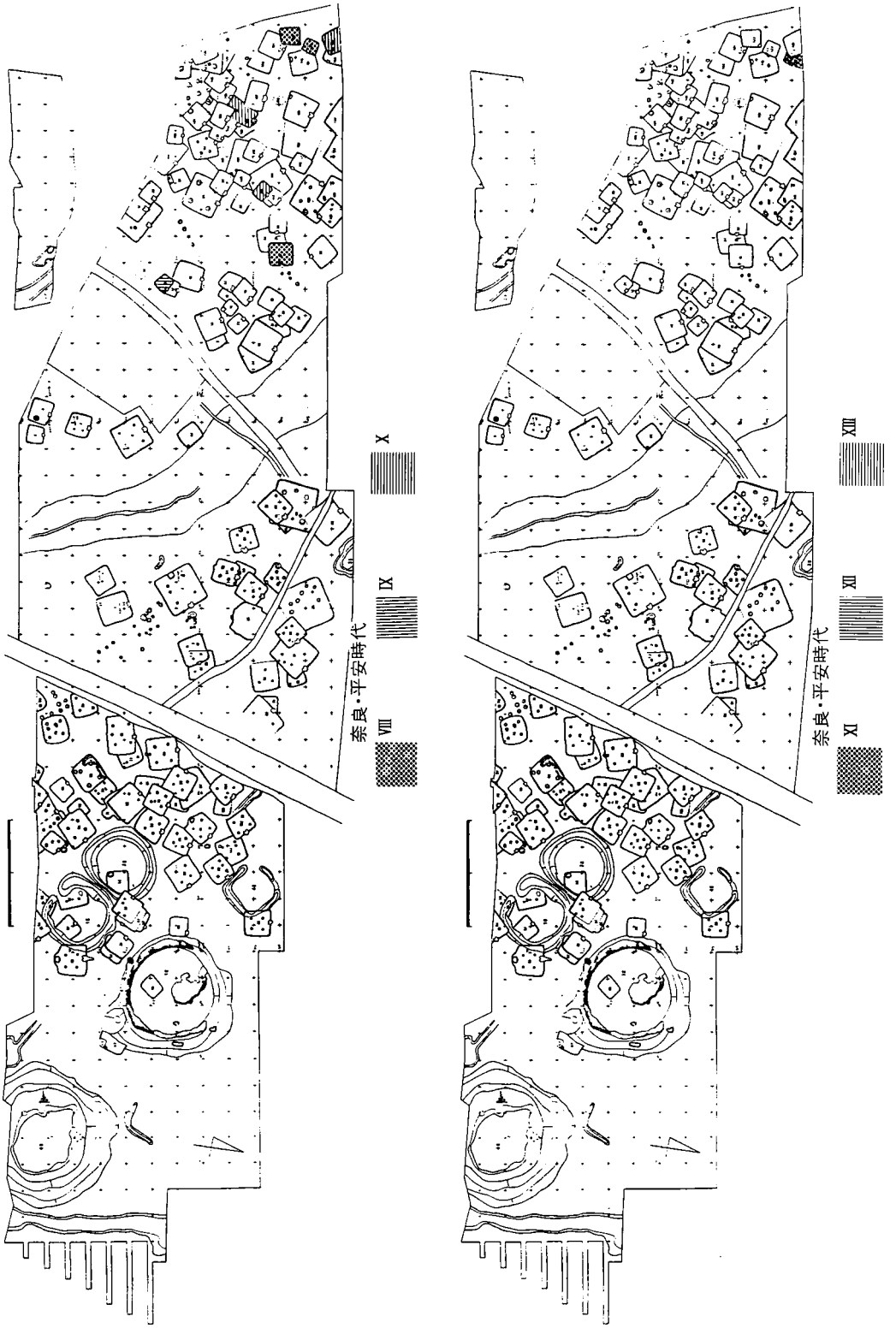
第322図　焼塚遺跡集落変遷図（1）



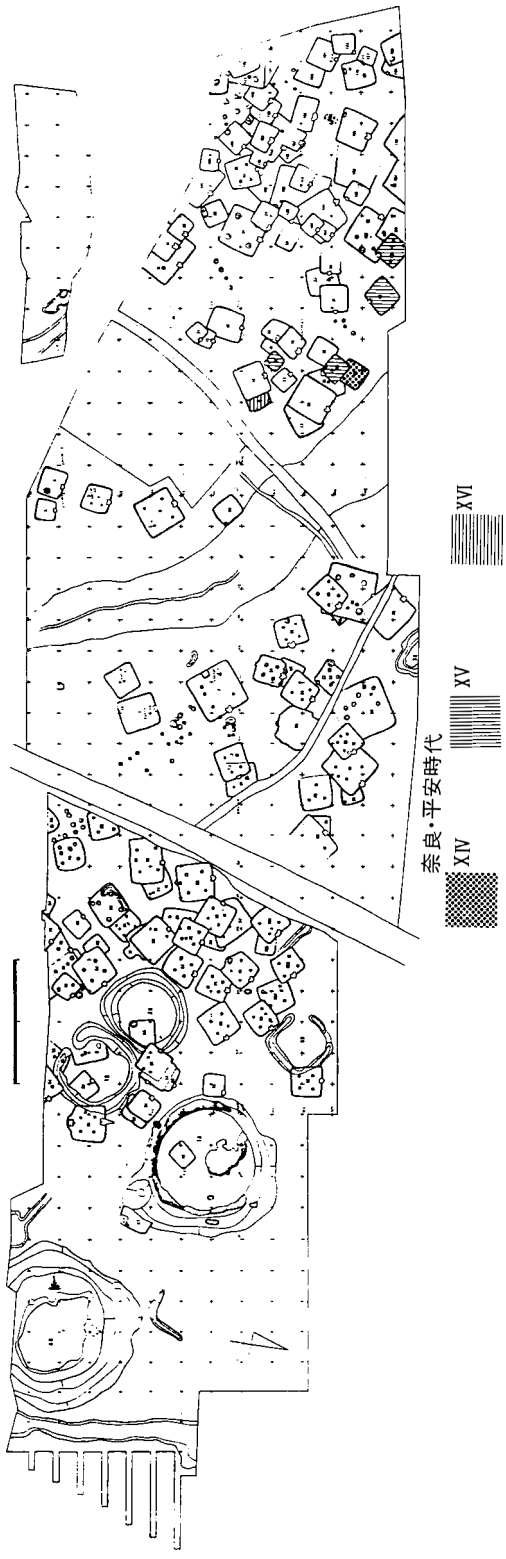
第323図　姥塚遺跡集落変遷図 (2)



第324図　姥塚遺跡集落変遷図 (3)



第325図　姥塚遺跡集落変遷図 (4)



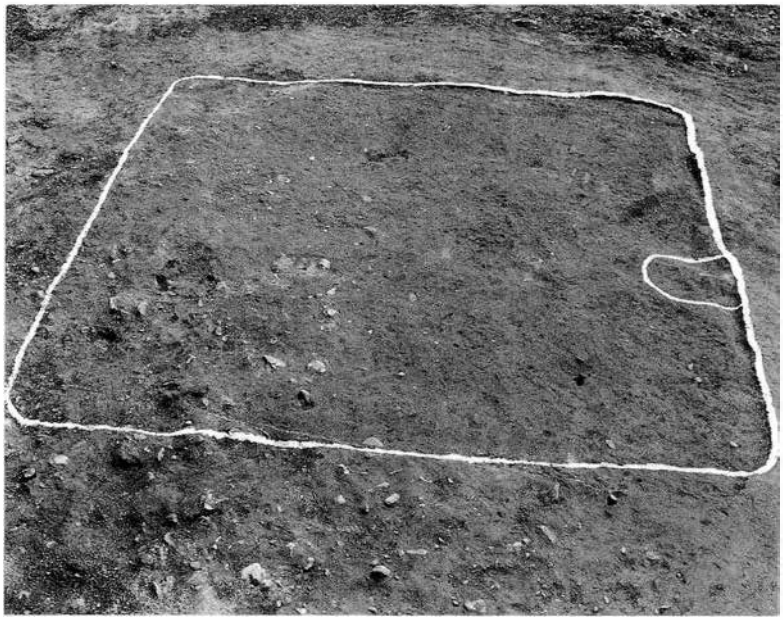
第326図　姥塚遺跡集落変遷図 (5)

遺跡全景

図版2

1号周溝遺構及び
周辺住居群

全景



1号住居址

2号住居址遺物出土状態

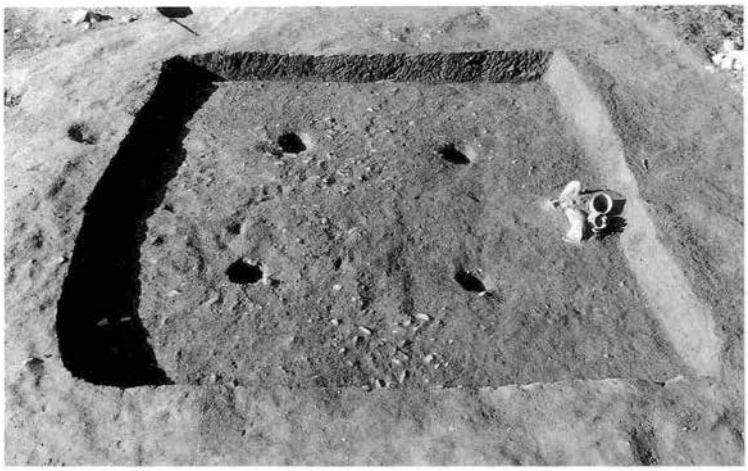
図版4

2号住居址

2号住居址カマド

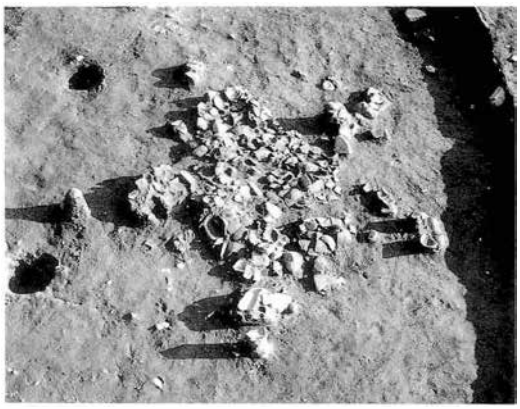
2号住居址貯蔵穴

3号住居址



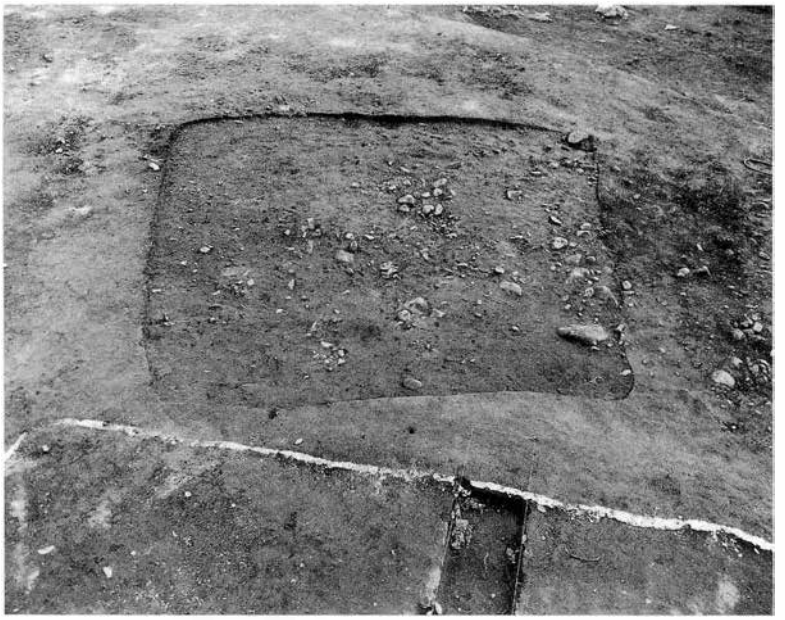
3号住居址

3号住居址カマド

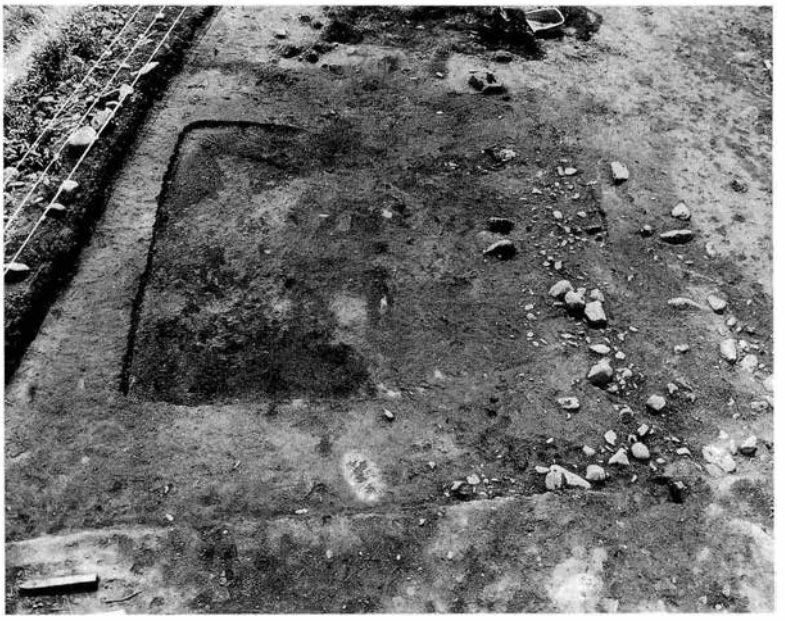


3号住居址

図版6

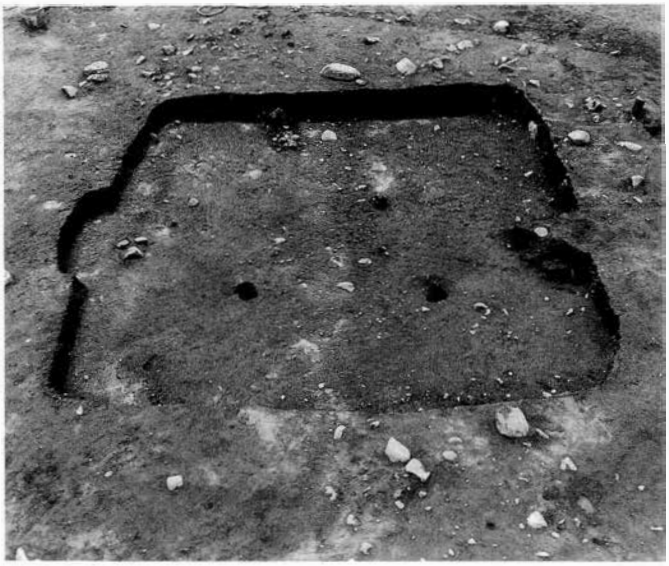


4号住居址

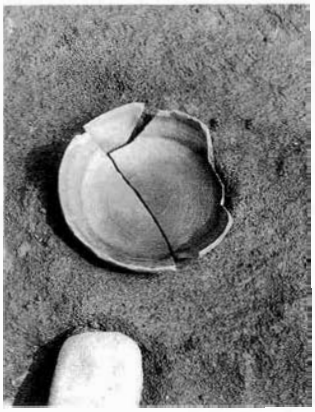


5号住居址

6 号住居址内配石土壙



7 号住居址



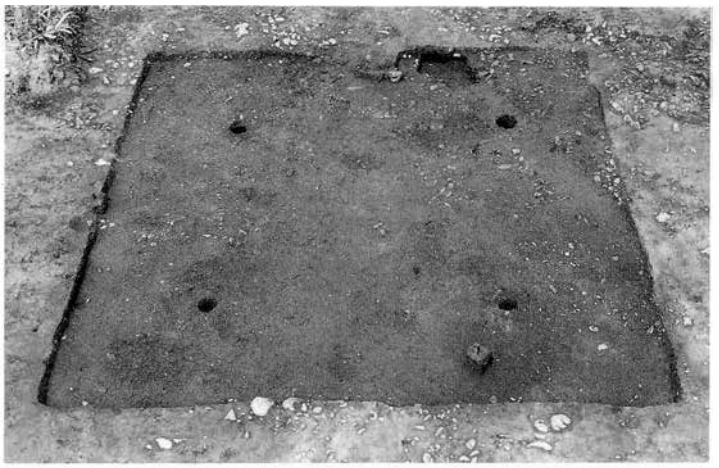
7 号住居址

7 号住居址カマド

7 号住居址

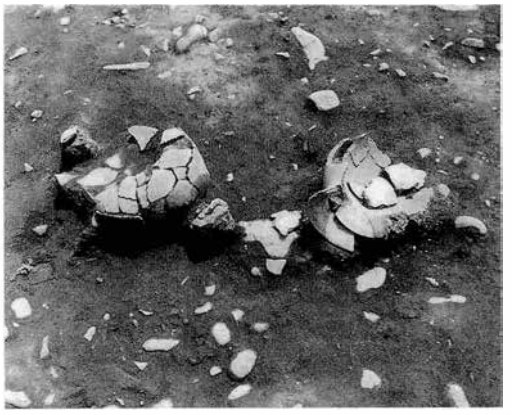
図版8

8 号住居址（遺物取上前）



8 号住居址（遺物取上後）

8 号住居址



8 号住居址

10号住居址

10号住居址カマド付近

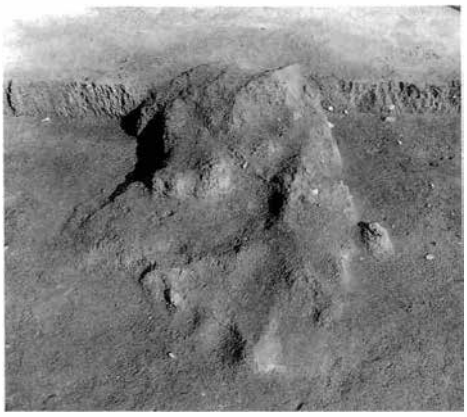
12号住居址

図版10

13号住居址

13号住居址遺物出土状態

14、17号住居址遺物出土状態



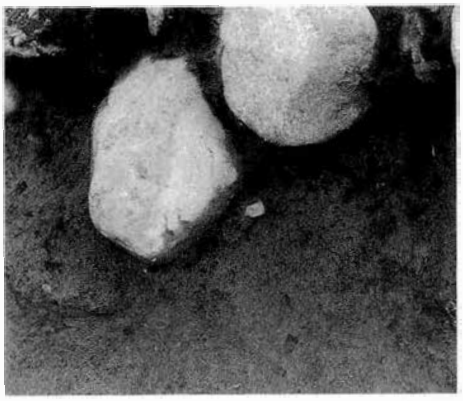
14号住居址カマド

15号住居址

16号住居址

16号住居址カマド

16号住居址カマド（北から）



16号住居址帯金具

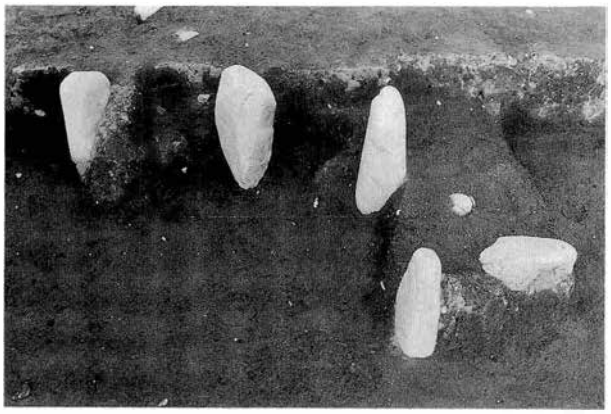
14、17号住居址

17号住居址カマド

17号住居址遺物

18号住居址

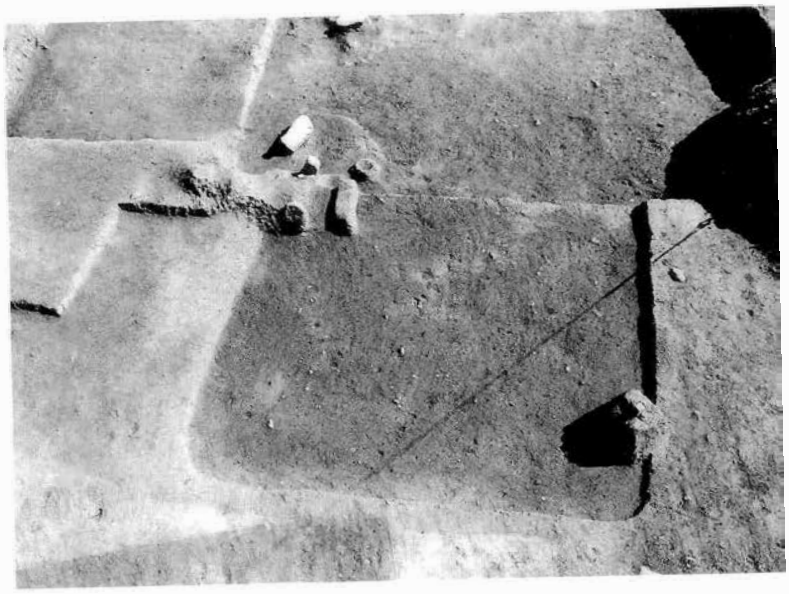
19号住居址



19号住居址カマド

19号住居址遺物出土状態

19号住居址



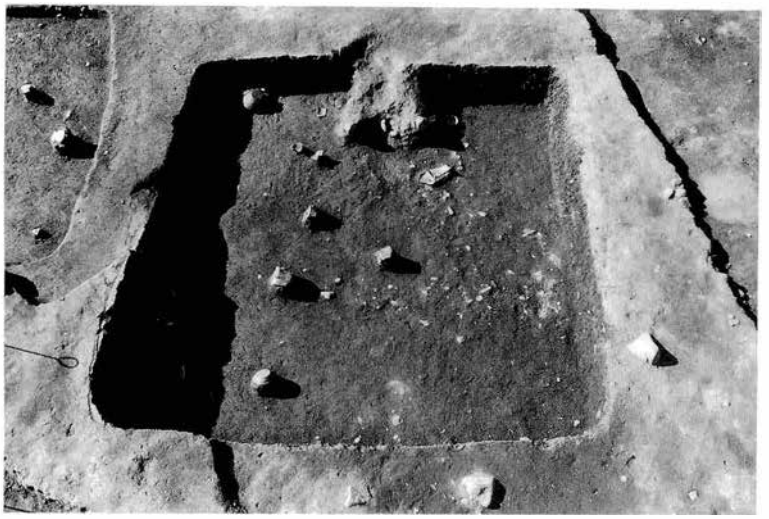
20号住居址

20号住居址

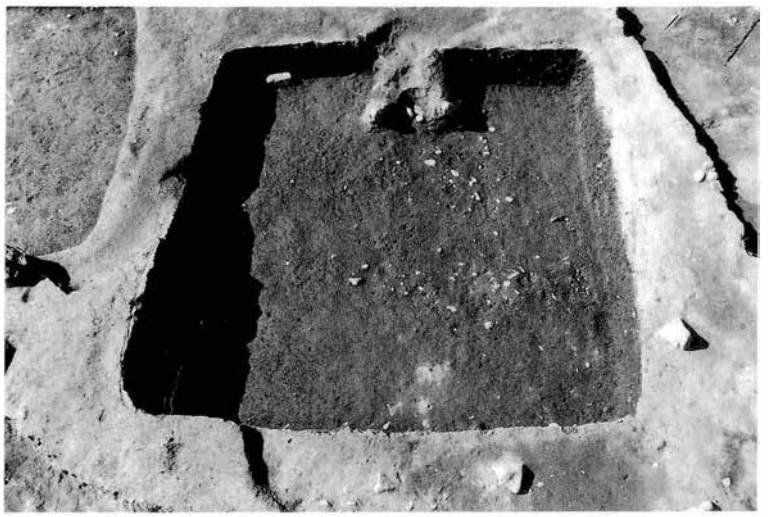
20号住居址

21号住居址

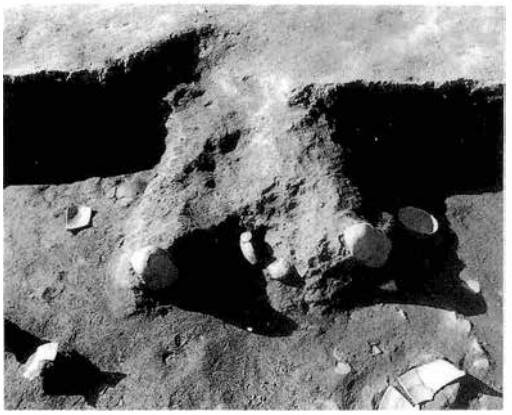
図版16



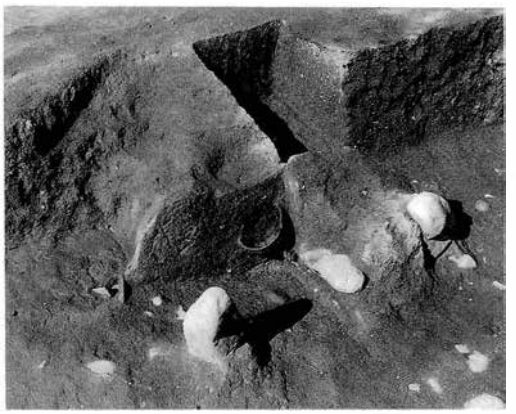
23号住居址



23号住居址



23号住居址カマド

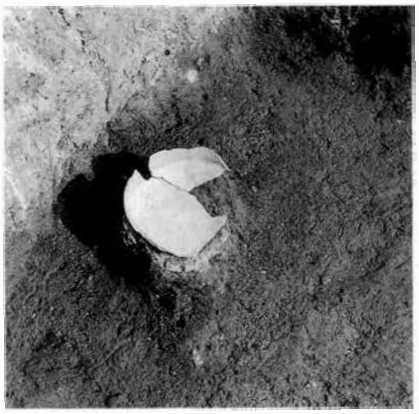


23号住居址カマド

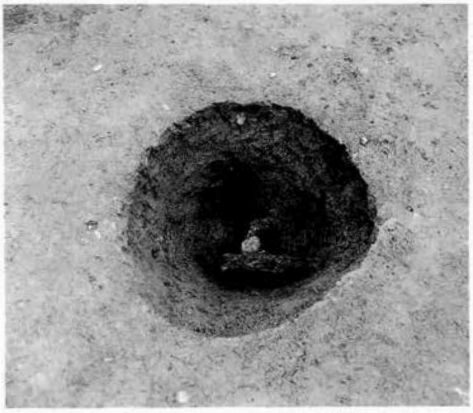
24号住居址

24号住居址カマド

24号住居址カマド

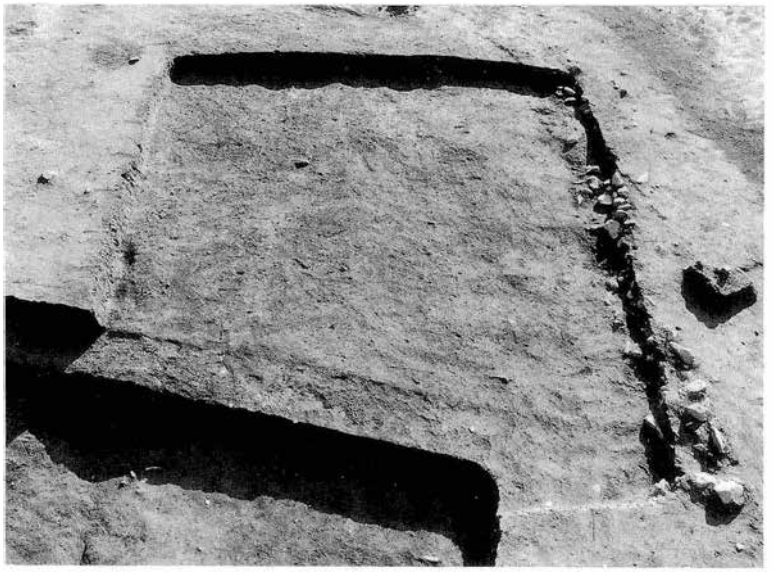


24号住居址



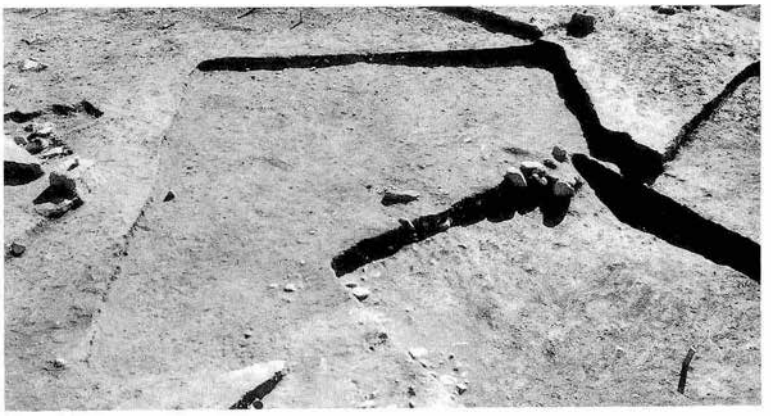
24号住居址柱穴内木炭

図版18



25号住居址

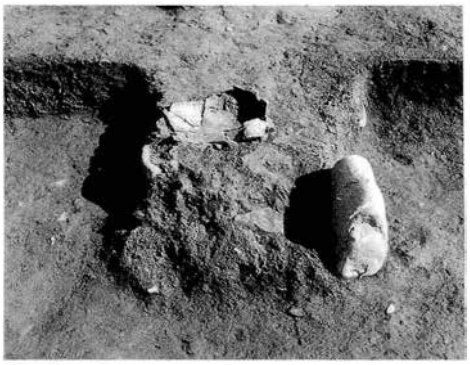
26号住居址



26号住居址

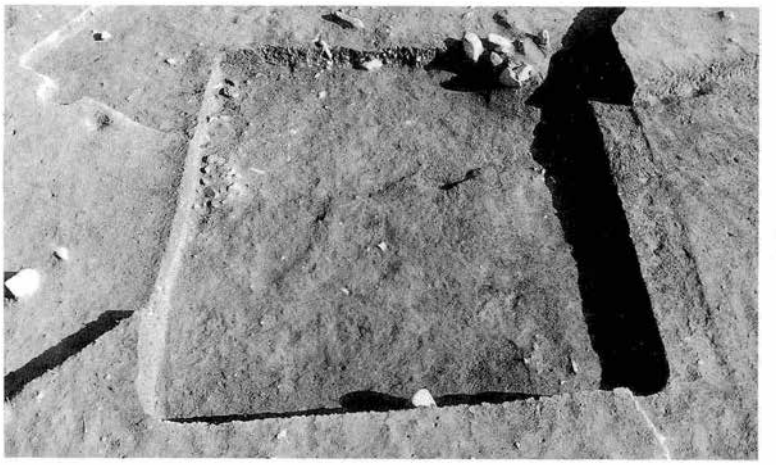
27号住居址

27号住居址



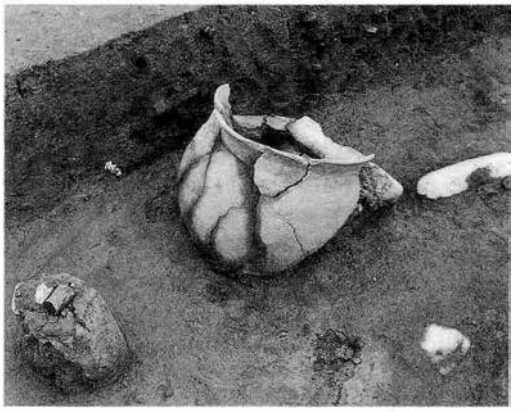
27号住居
址カマド

27号住居址



28号住居址

28号住居址カマド



29号住居址

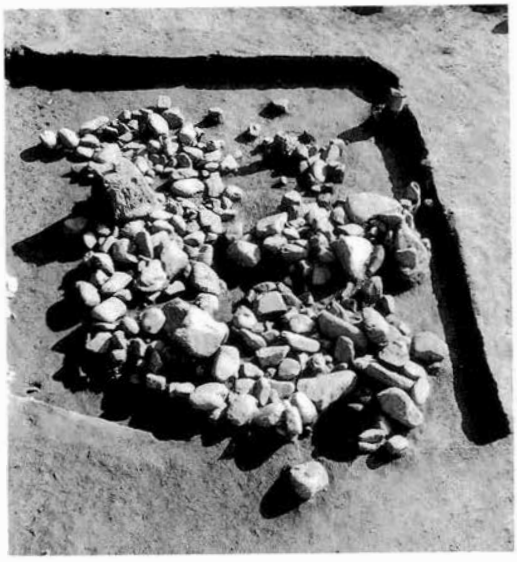
29号住居址

29号住居址

30号住居址

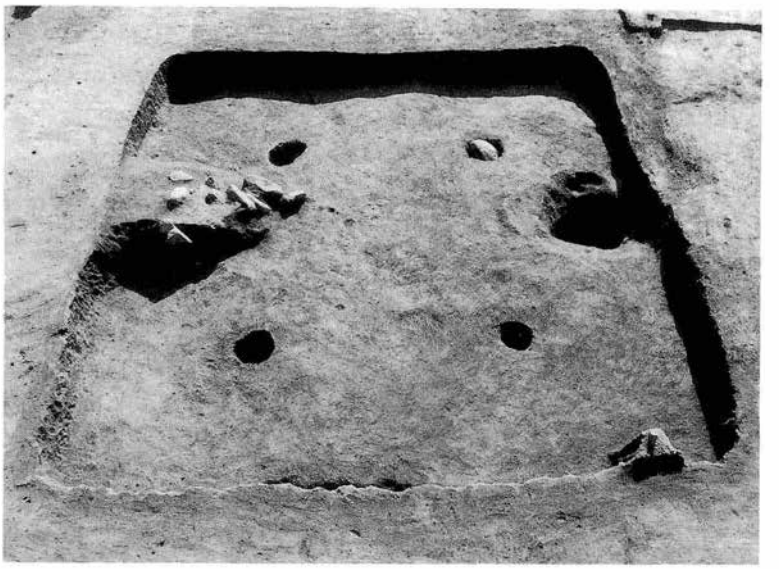
30号住居址

32号住居址



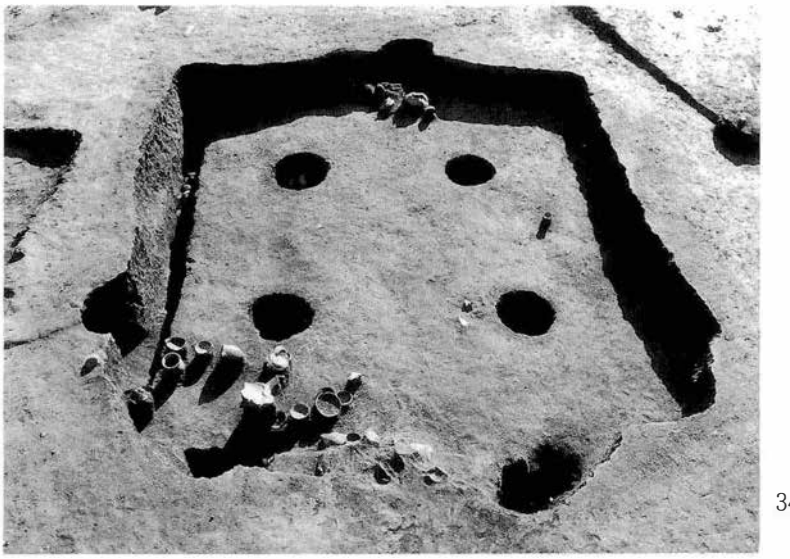
32号住居址

図版22

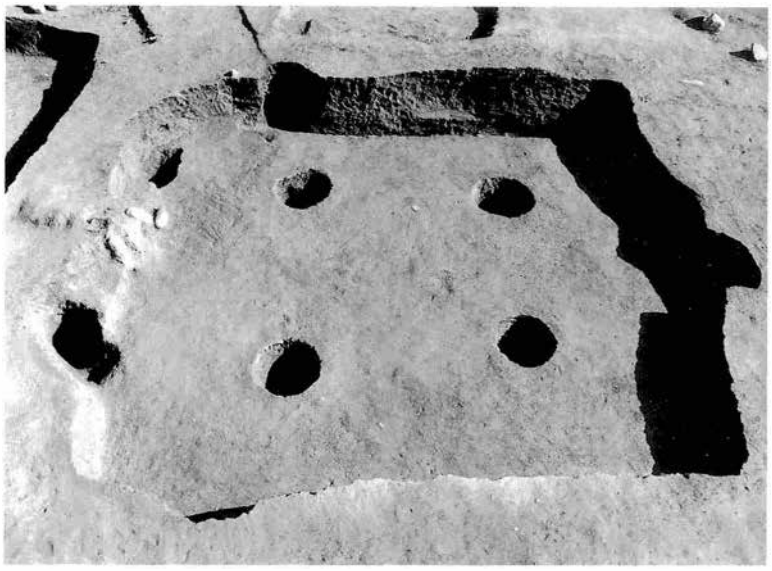


33号住居址

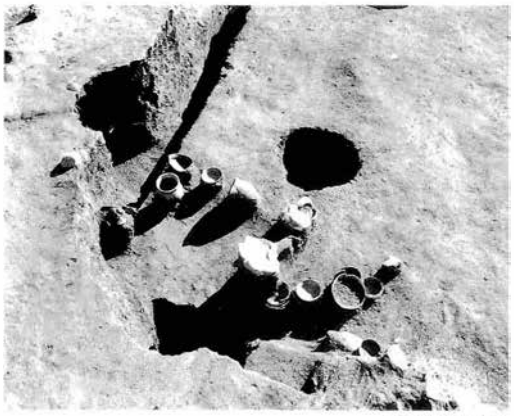
33号住居址カマド



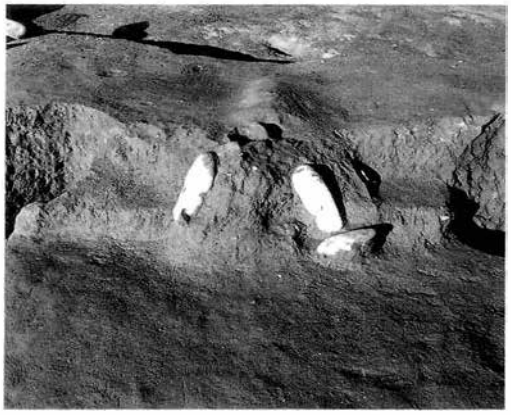
34号住居址



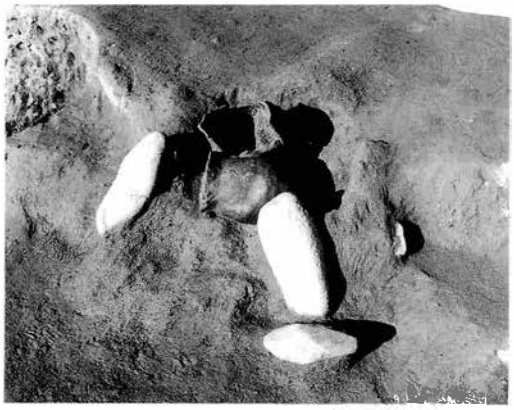
34号住居址



34号住居址



34号住居址カマド



34号住居址カマド

34号住居址カマド

35号住居址

35号住居址

35号住居址カマド

35号住居址

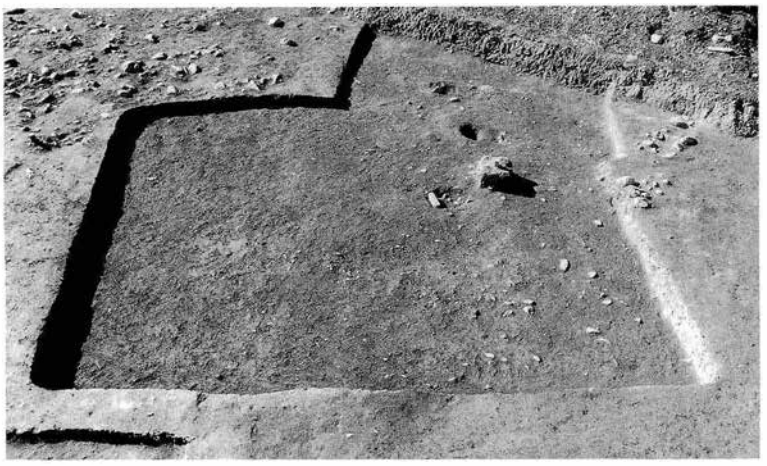
36号住居址

36号住居址

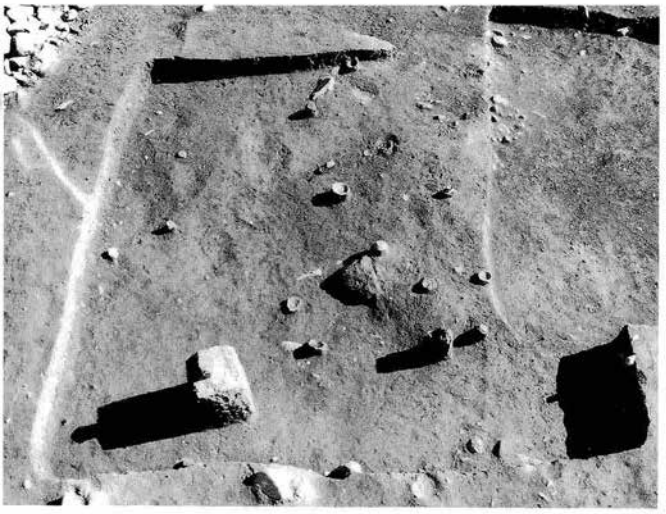
36号住居址

36号住居址

図版26

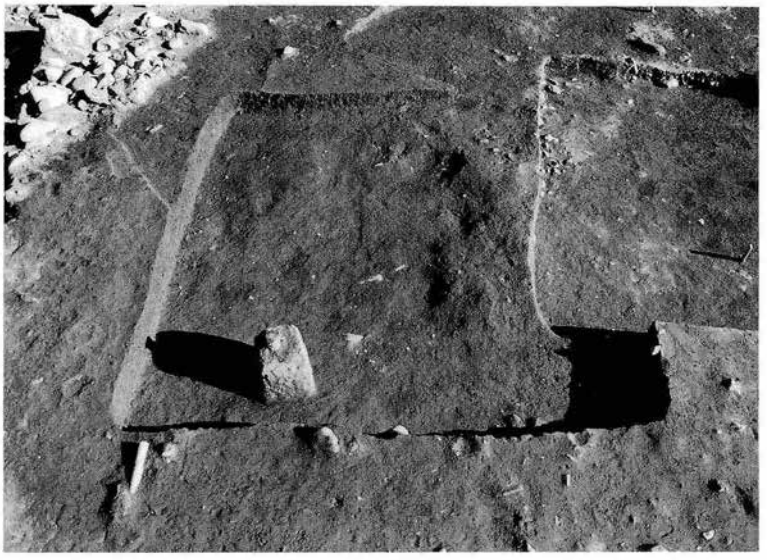


37号住居址



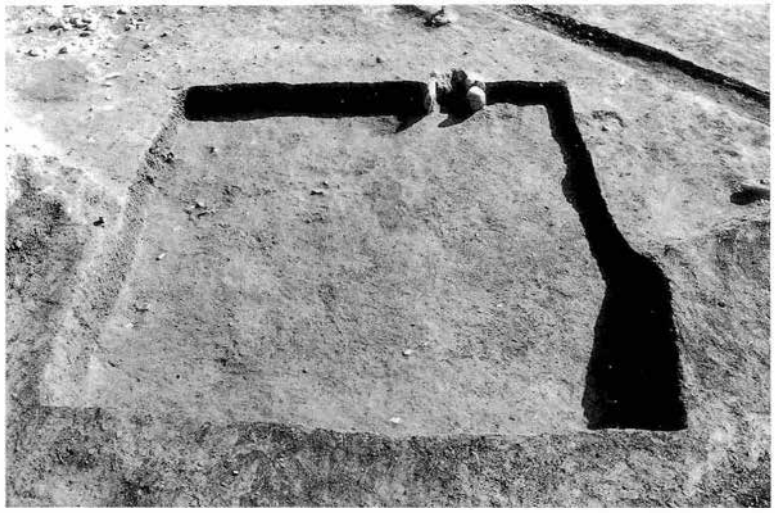
38号住居址

38号住居址

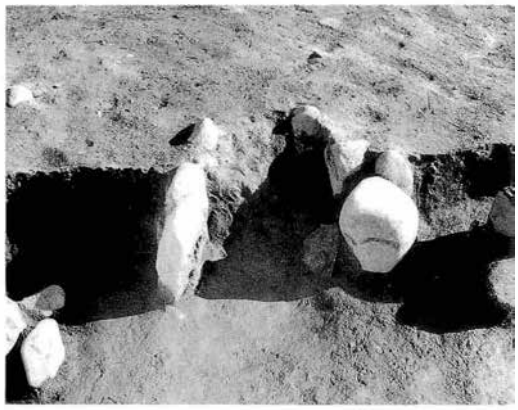


38号住居址

39号住居址



39号住居址

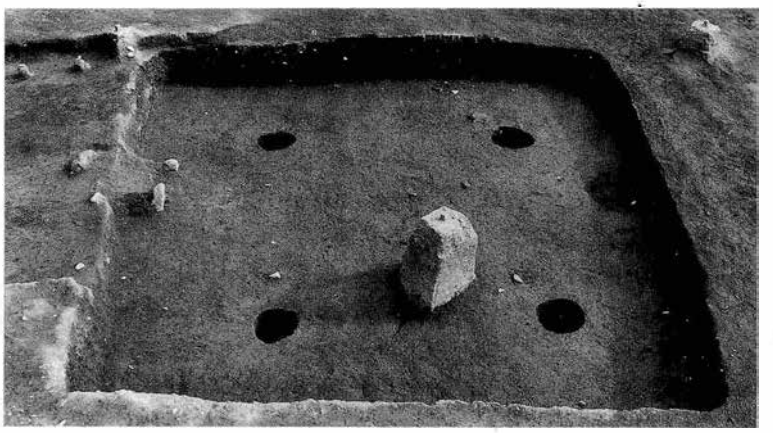


39号住居址カマド

39号住居址

図版28

40号住居址



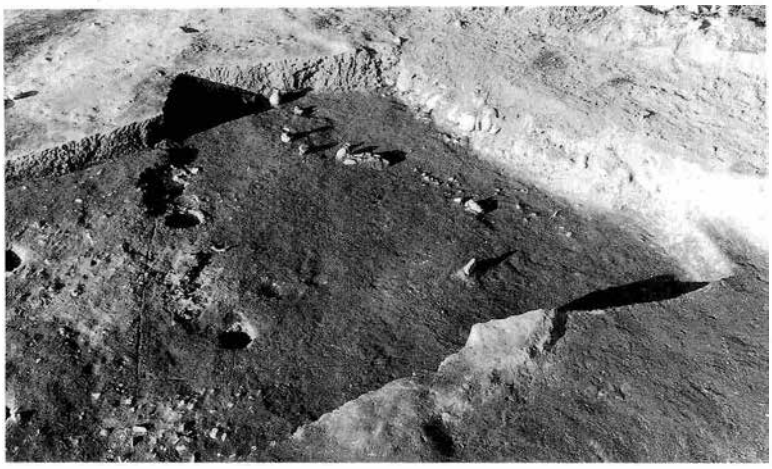
40号住居址

40号住居址

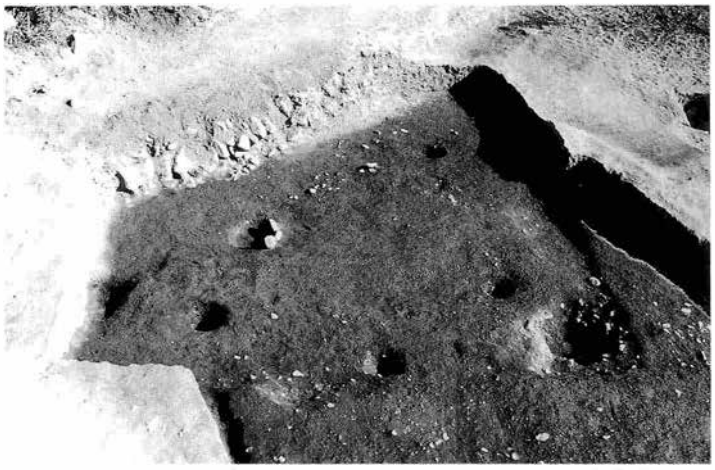
40号住居址カマド

40号住居址

40号住居址



41号住居址

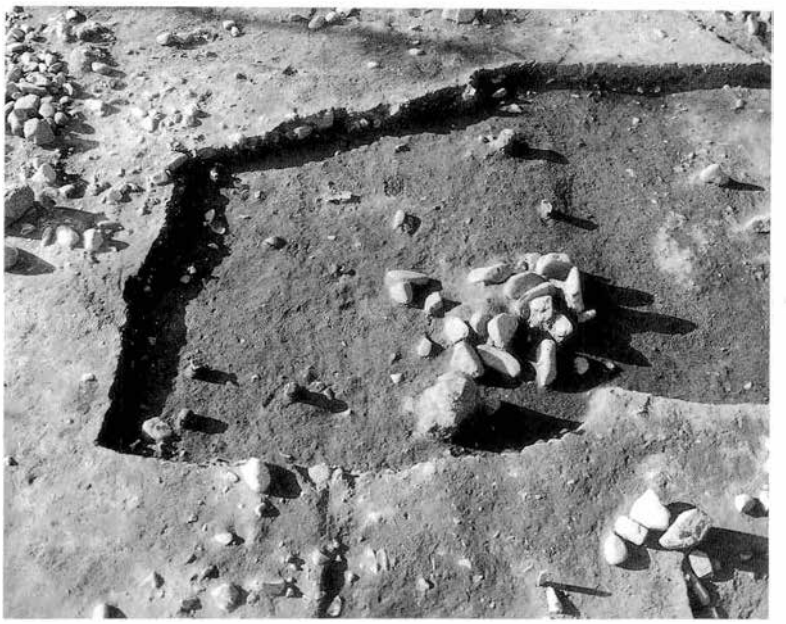


41号住居址

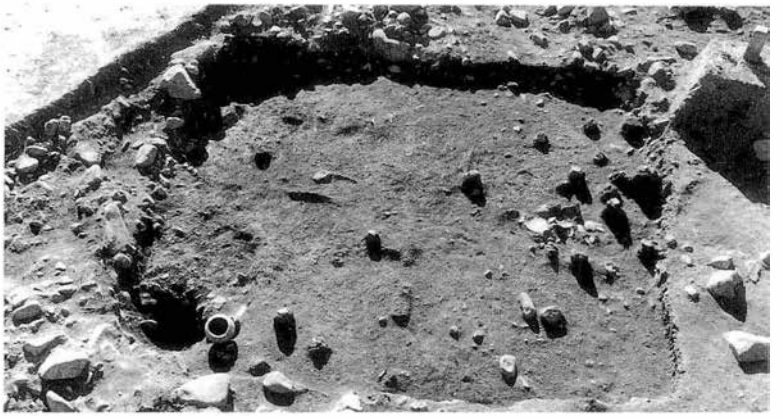
41号住居址

41号住居址

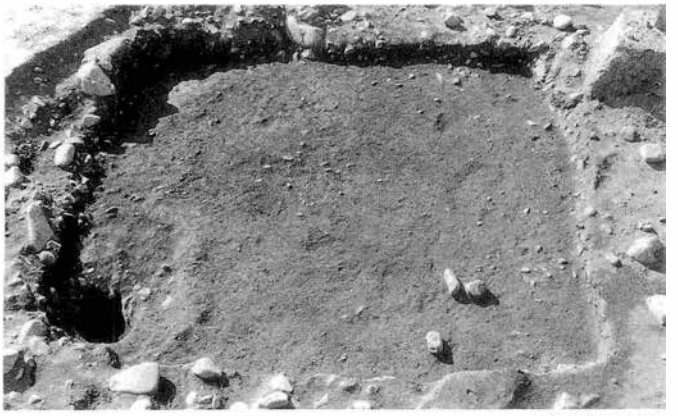
41号住居址内ピット



43号住居址



44号住居址



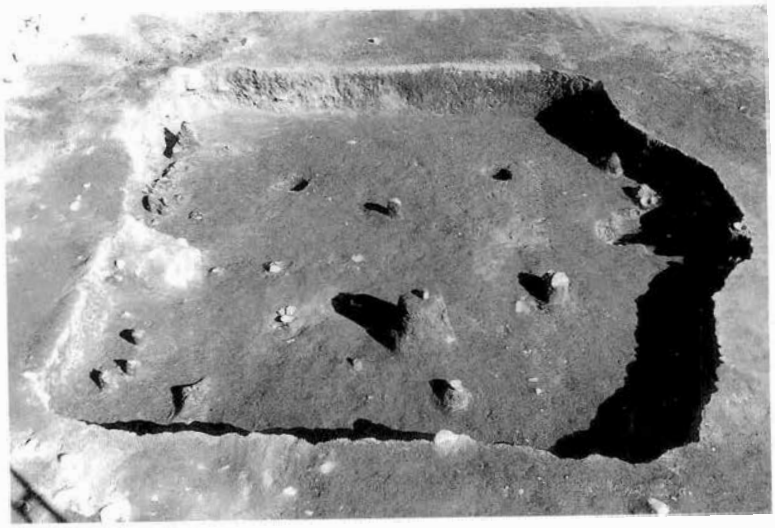
44号住居址

44号住居址

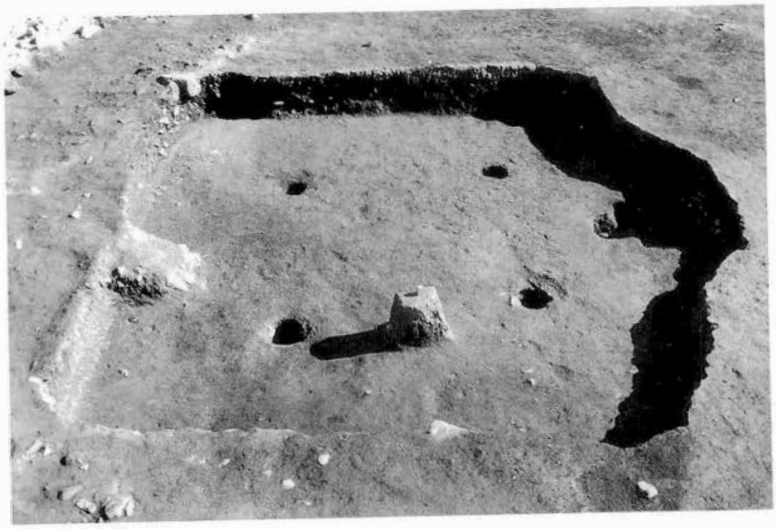
46号住居址

46号住居址

47号住居址、1号墳



48号住居址

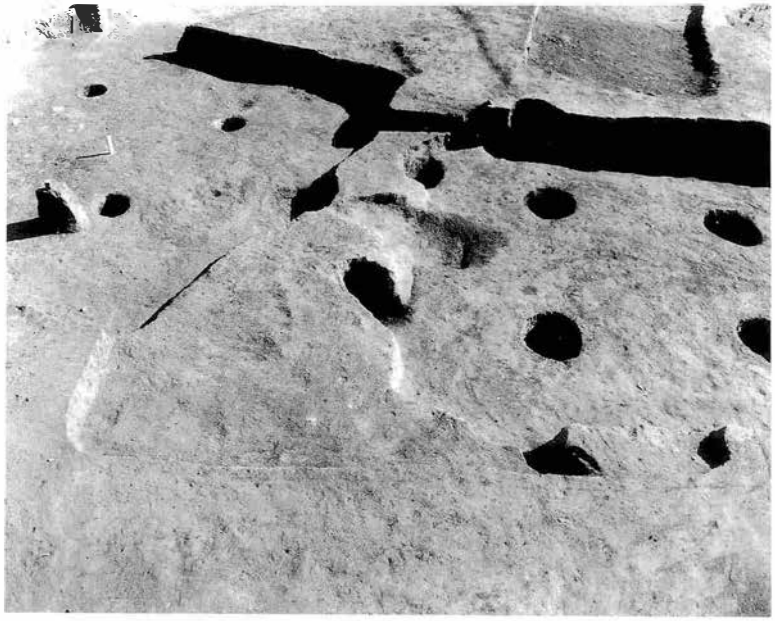


48号住居址

48号住居址カマド

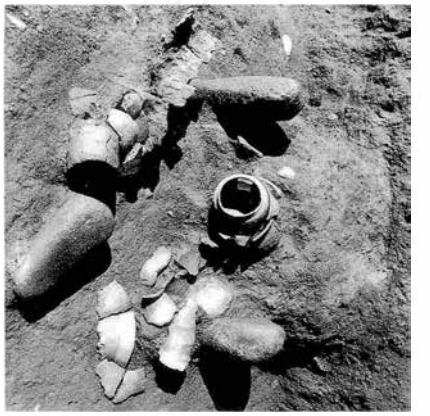
48号住居址

49号住居址



50号住居址

51、52号住居址

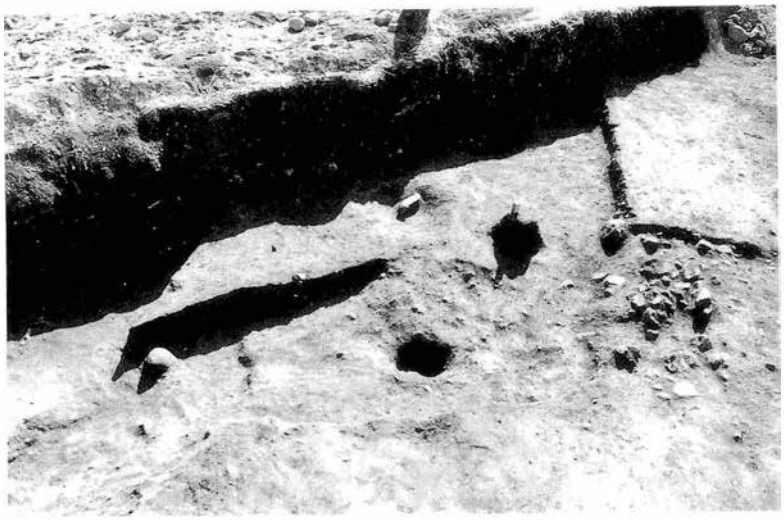


51号住居址カマド

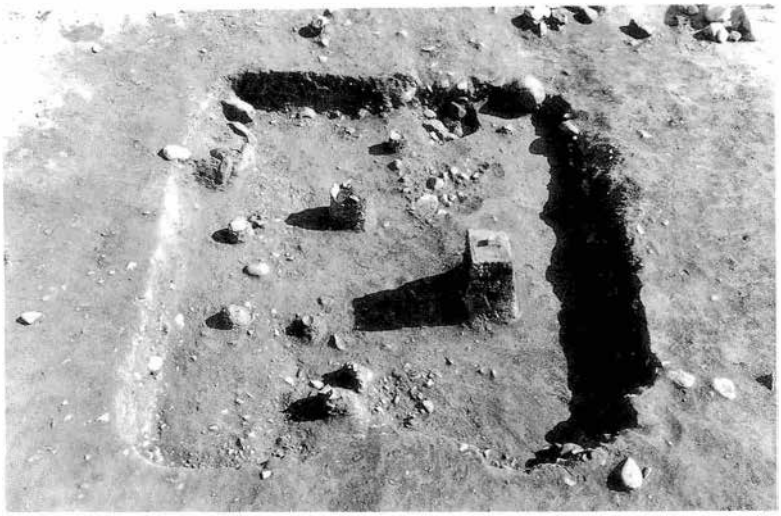
54号住居址

54号住居址カマド

54号住居址



55号住居址



56号住居址

56号住居址カマド

56号住居址カマド

図版36

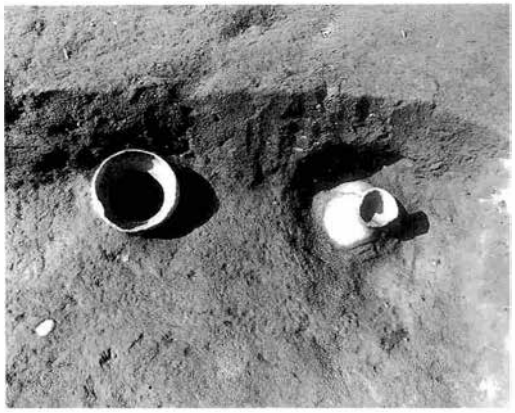
57、58、61号住居址

57号住居址カマド

58号住居址カマド

59号住居址

59号住居址



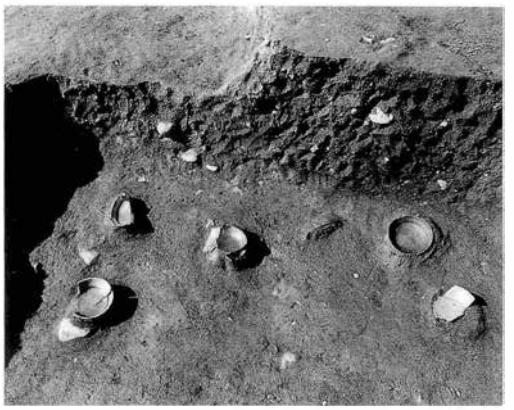
59号住居址

60号住居址カマド

60号住居址

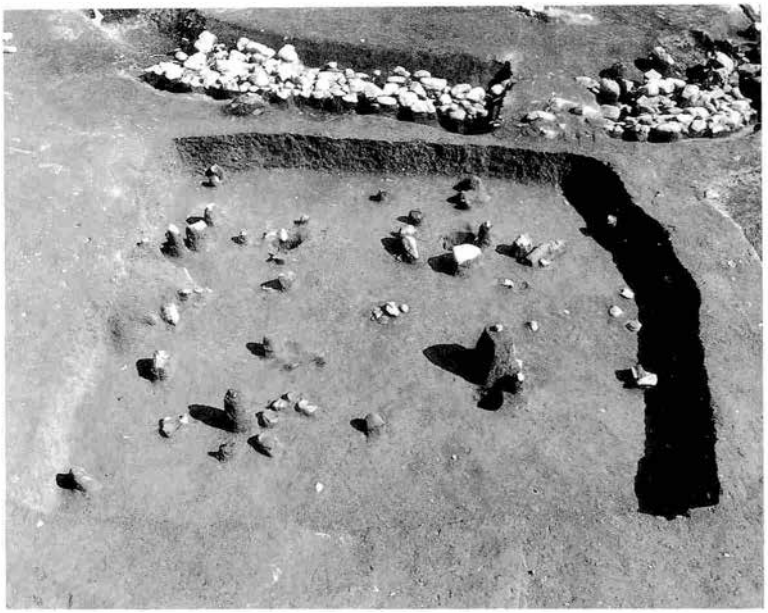
60号住居址

61号住居址カマド

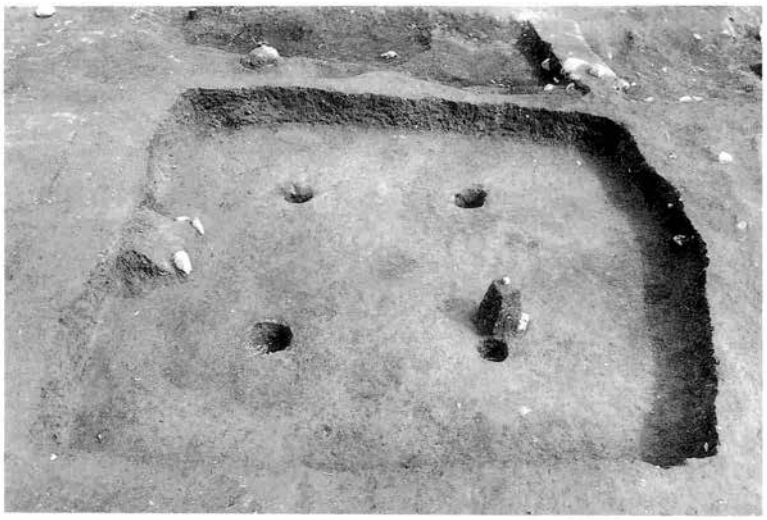


61号住居址

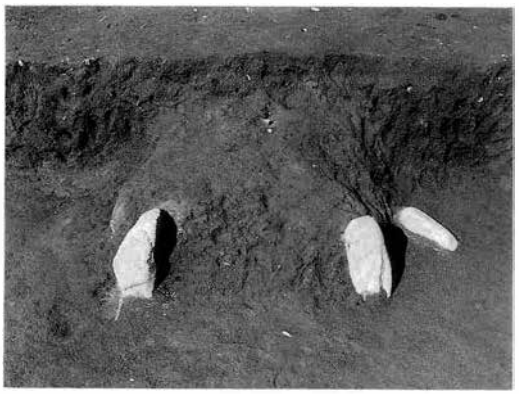
61号住居址



62号住居址



62号住居址

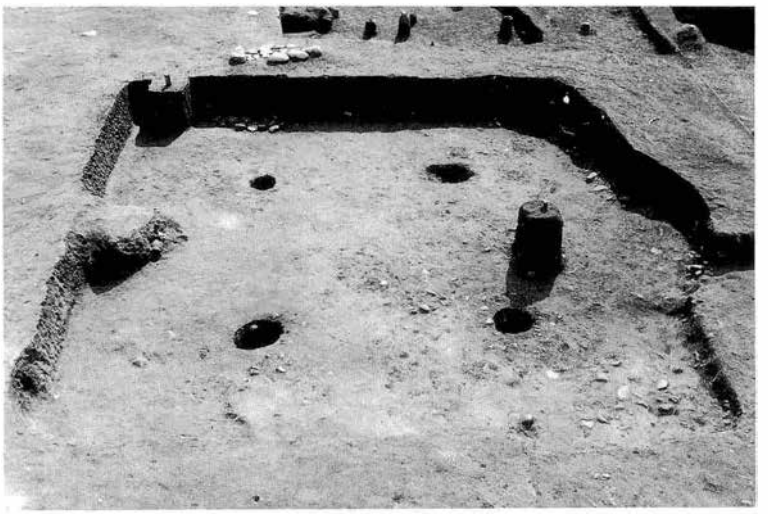


62号住居址カマド

図版40

63、71号住居址

63号住居址



64号住居址

64号住居址

64号住居址カマド

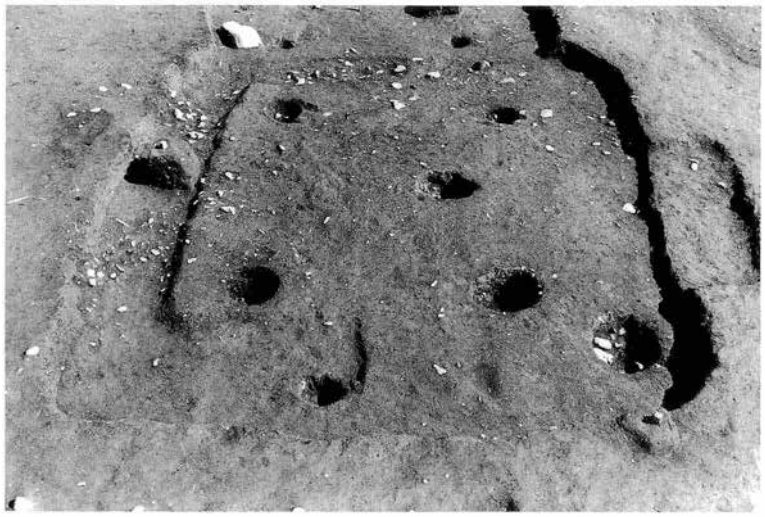
64号住居址カマド

64号住居址

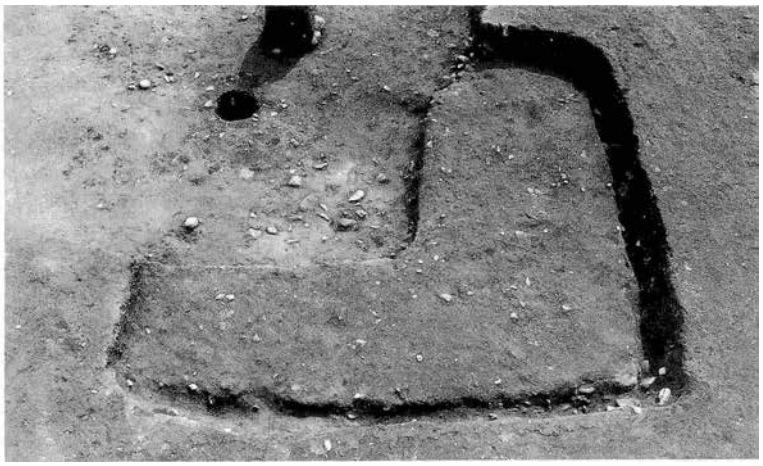
64号住居址

図版42

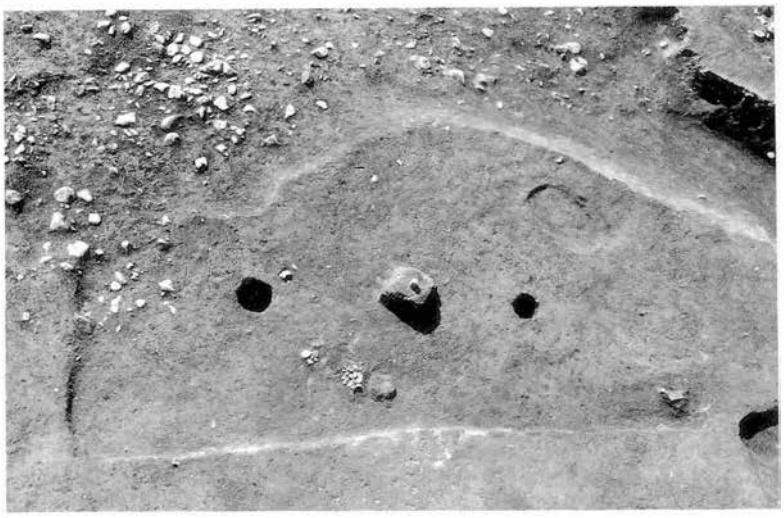
65号住居址



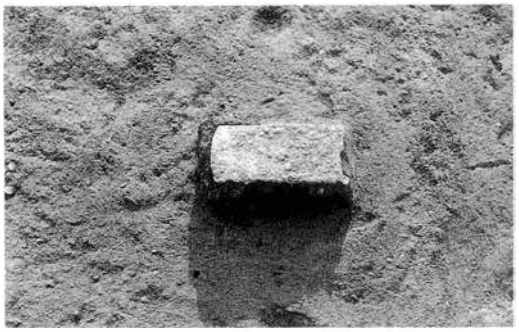
66号住居址



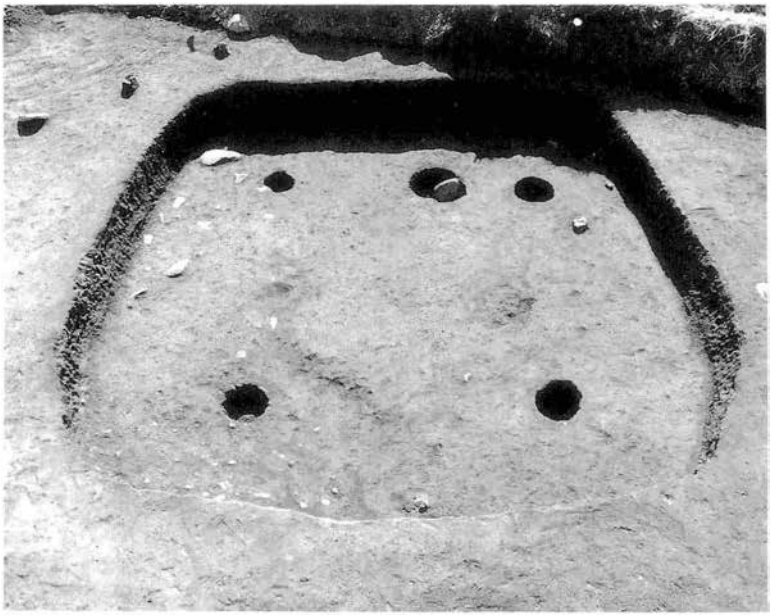
68号住居址



69号住居址



69号住居址鉄斧



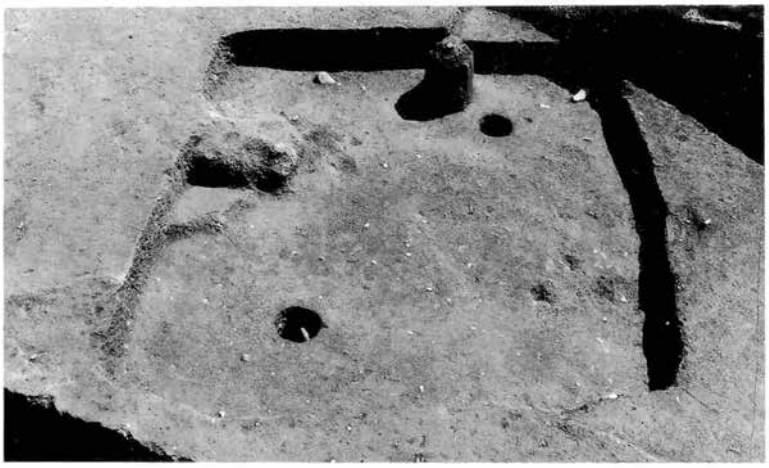
70号住居址

図版44

72号住居址

72号住居址カマド

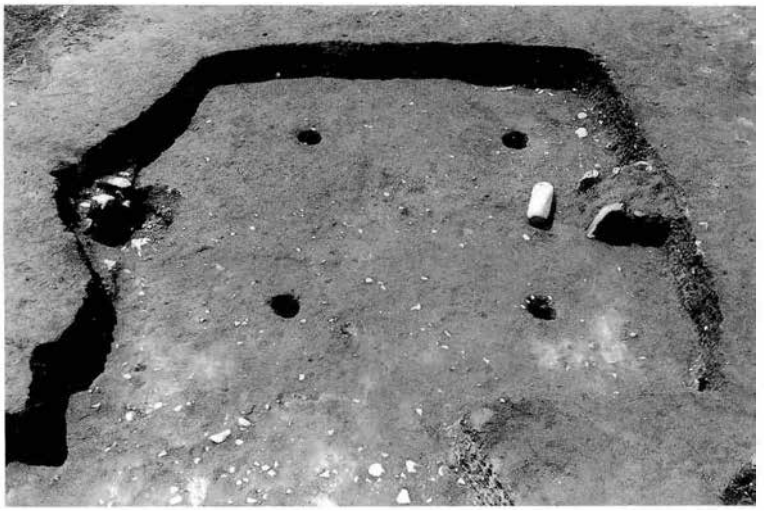
73号住居址



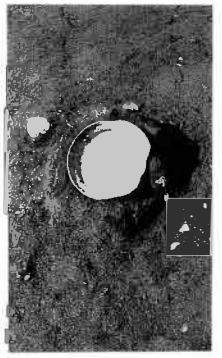
73号住居址

73号住居址カマド

74号住居址

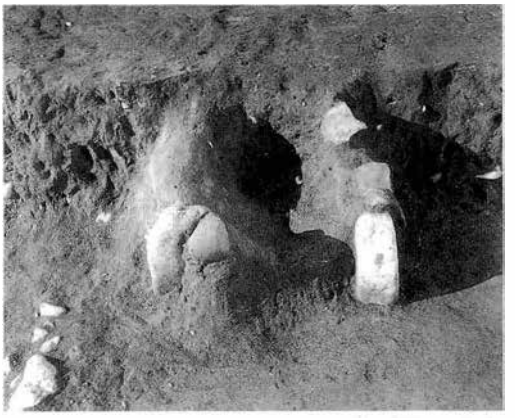


74号住居址

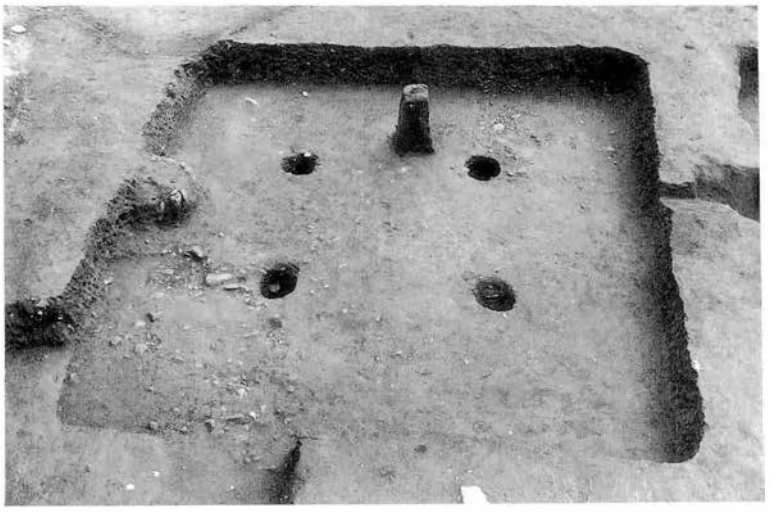


74号住居址

74号住居址

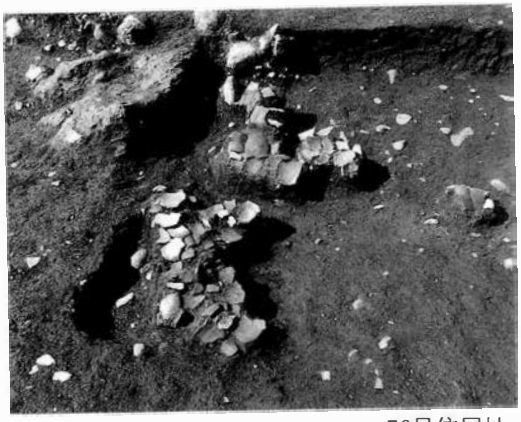


75号住居址カマド



75号住居址

76、77号住居址



76号住居址

78号住居址カマド

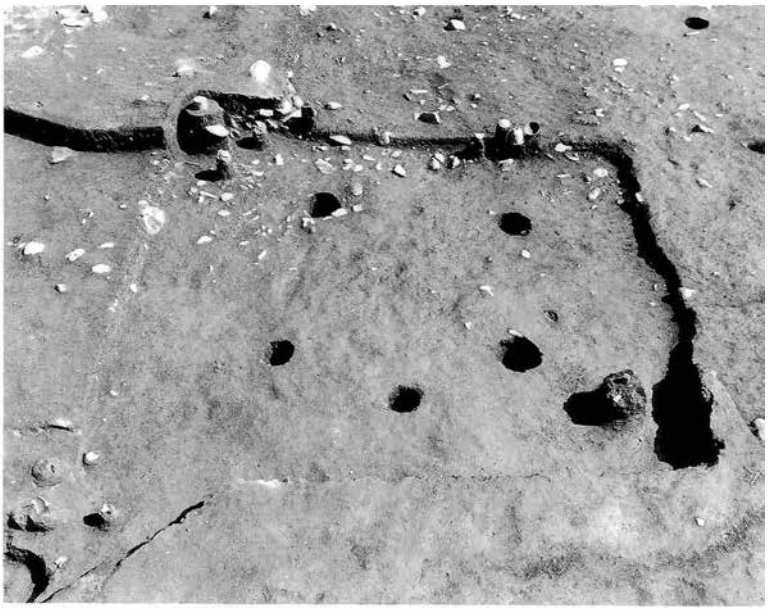
79号住居址

図版48

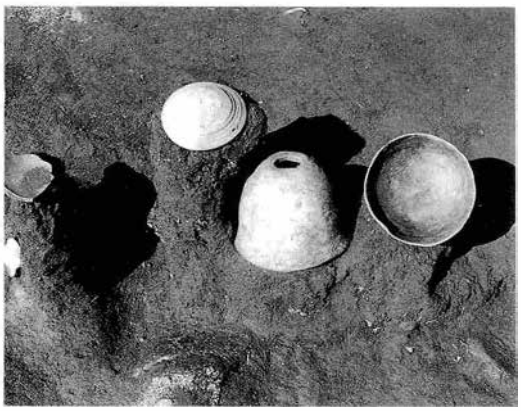
80号住居址

81号住居址

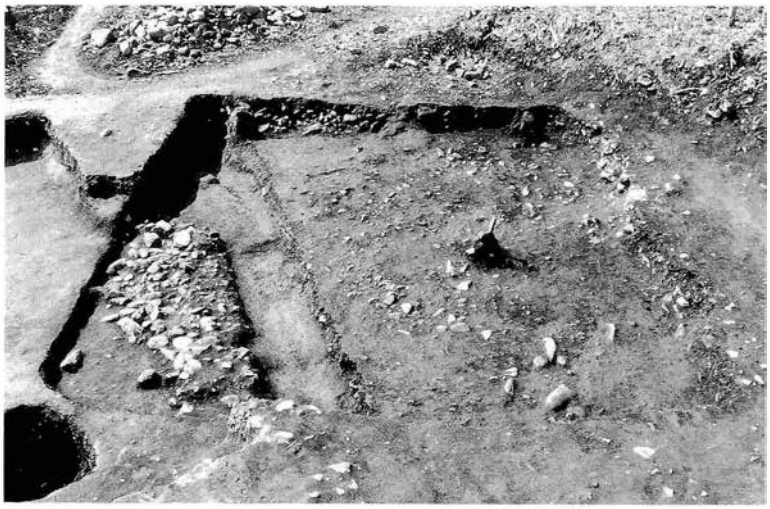
81号住居址



82号住居址

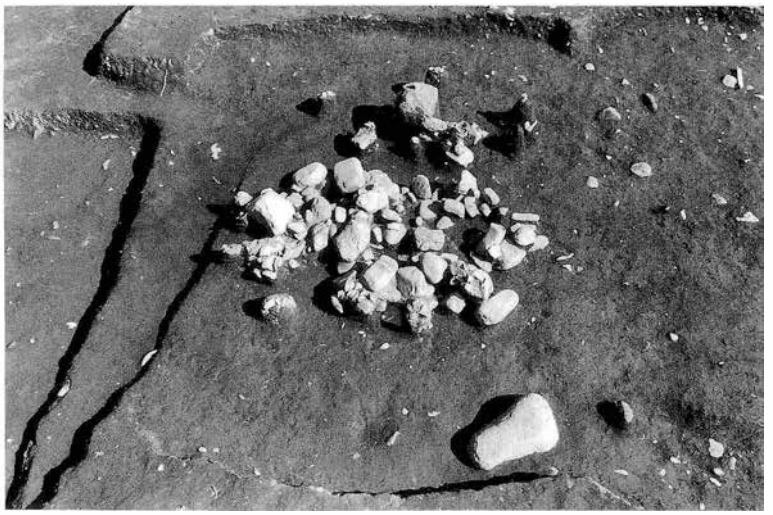


82号住居址

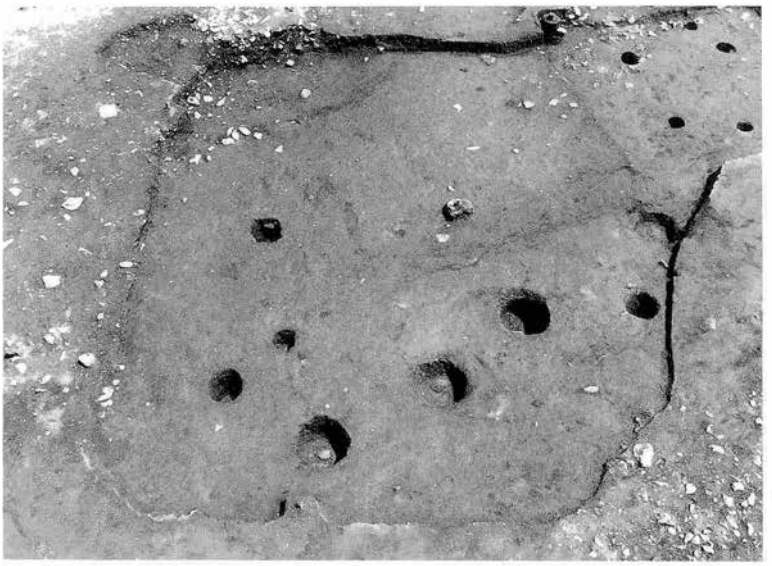


83号住居址

図版50



84号住居址



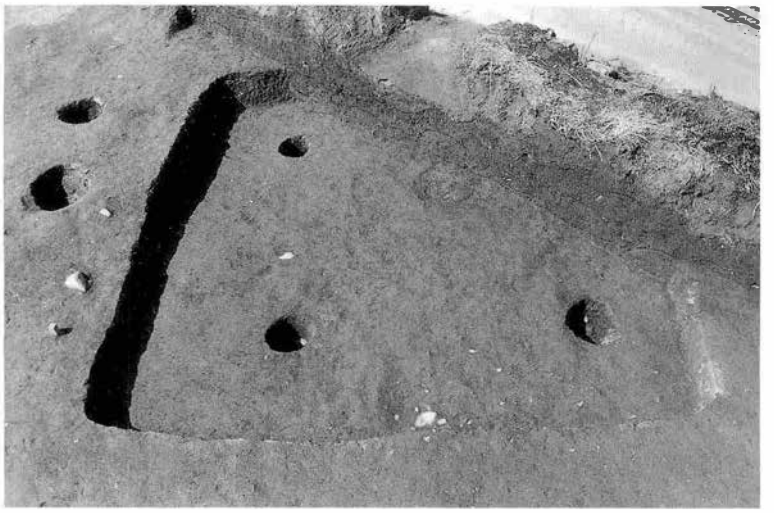
85号住居址

86号住居址

87号住居址カマド

88号住居址

88号住居址



89号住居址

92号住居址

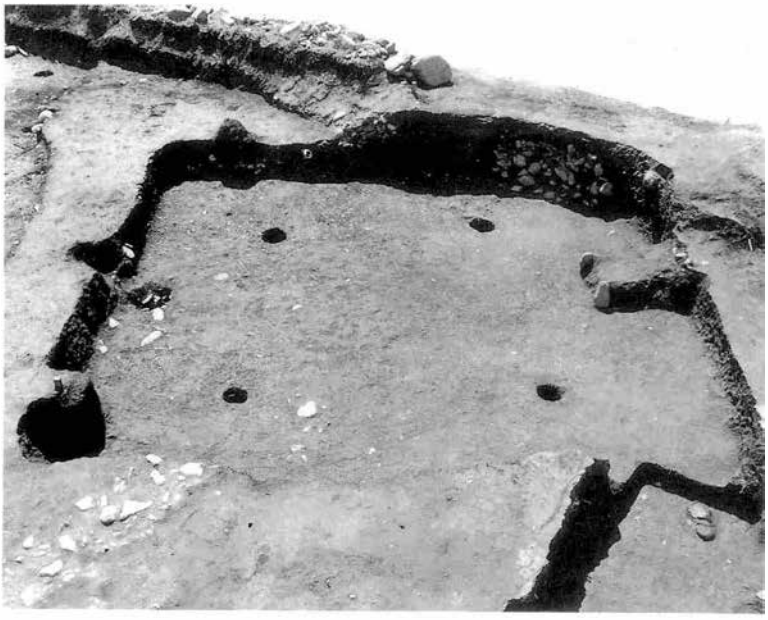
92号住居址

92号住居址カマド

92号住居址

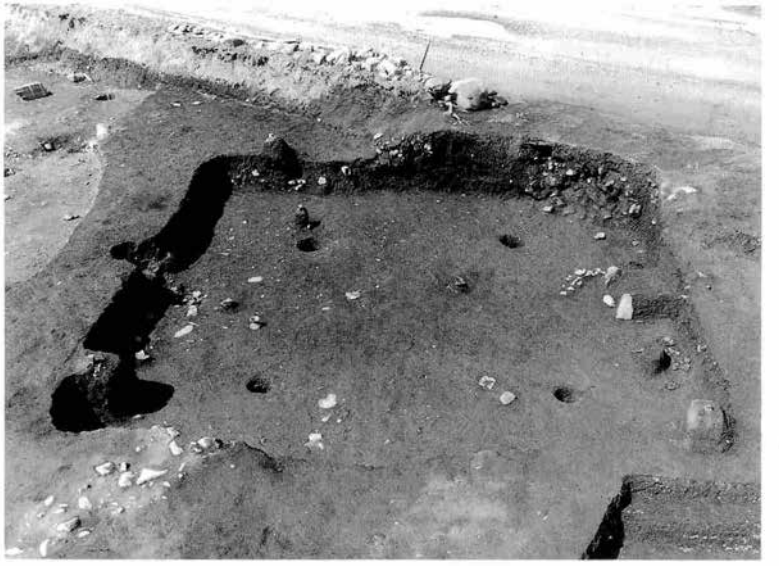
92号住居址

92号住居址

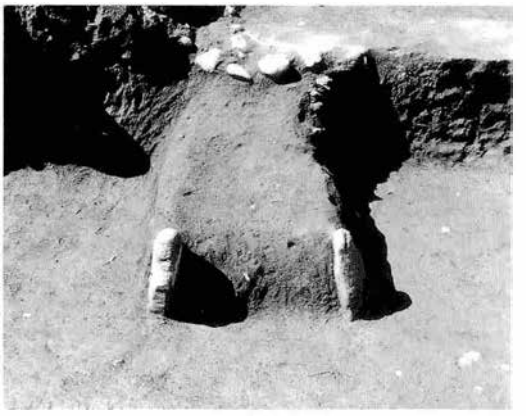


93号住居址

図版54

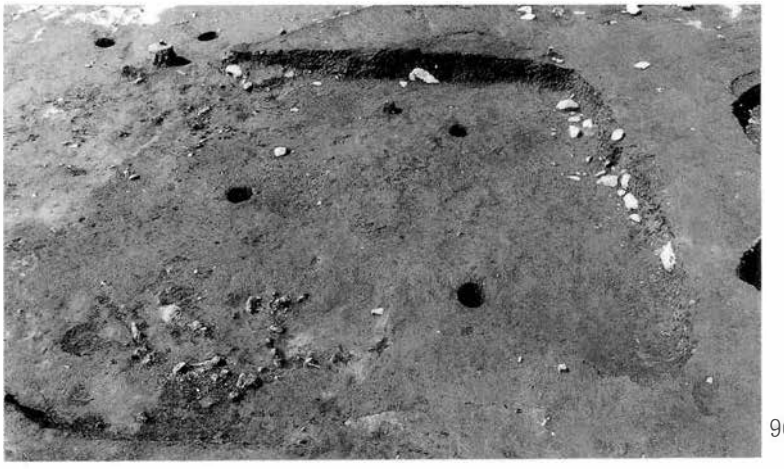


93号住居址



93号住居址カマド

93号住居址



96号住居址

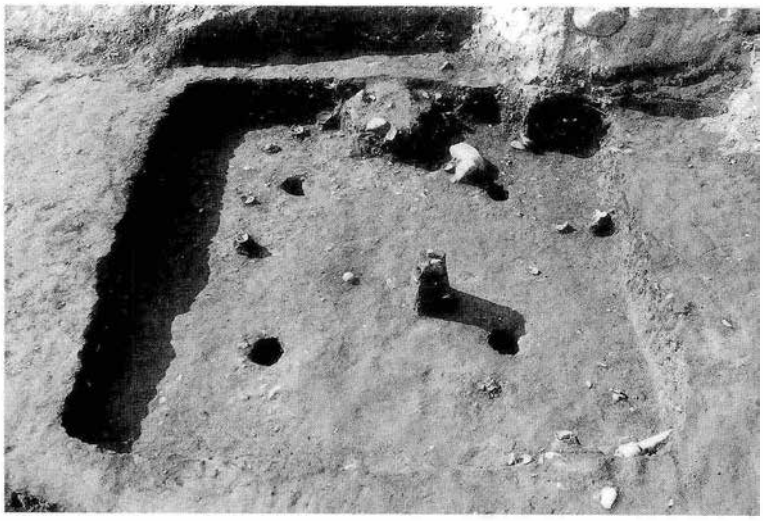
97、94号住居址

97号住居址炉枕石

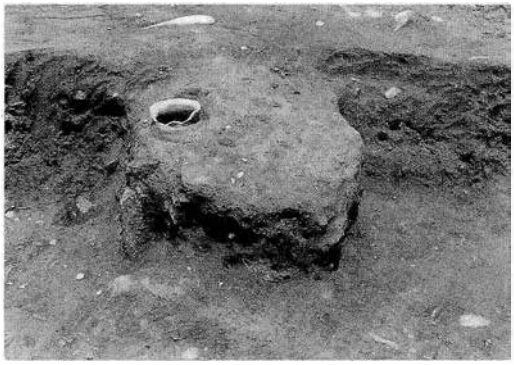
97号住居址

98号住居址

図版56



98号住居址



98号住居址

98号住居址カマド

98号住居址

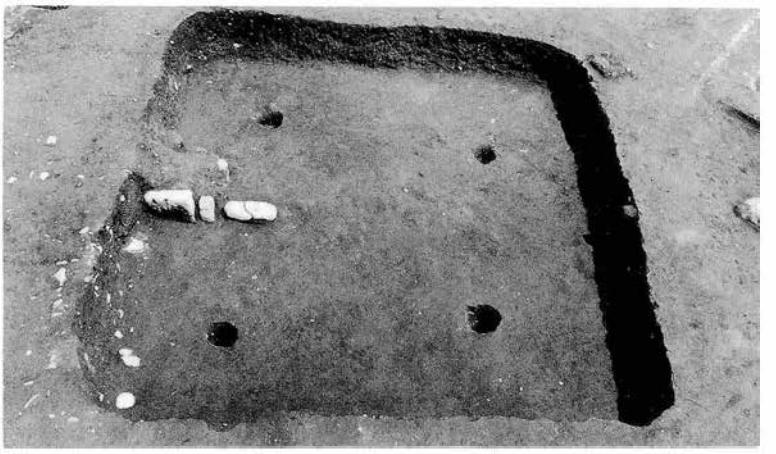
99号住居址

99号住居址

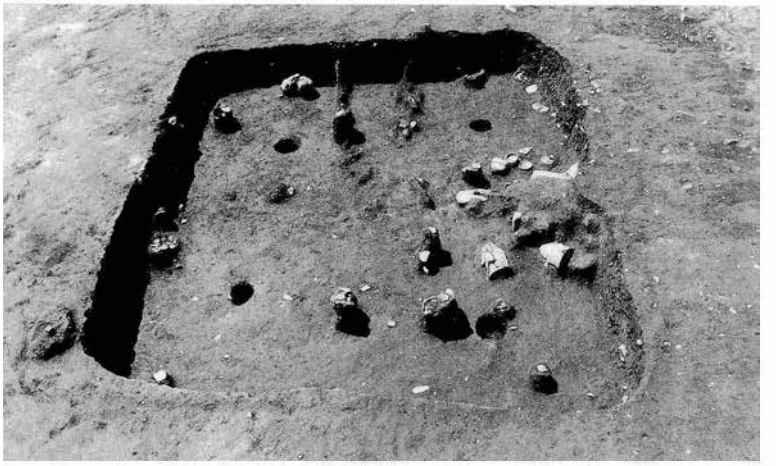
99号住居址

99号住居址カマド

図版58

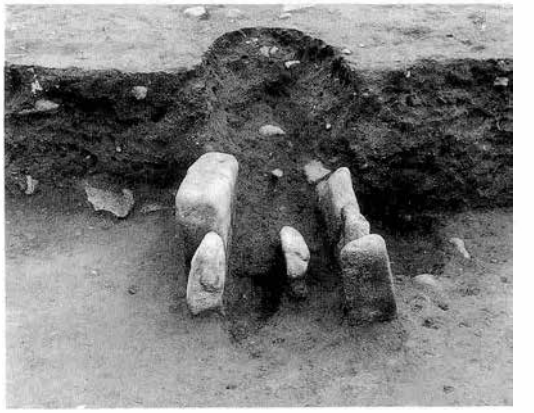


100号住居址

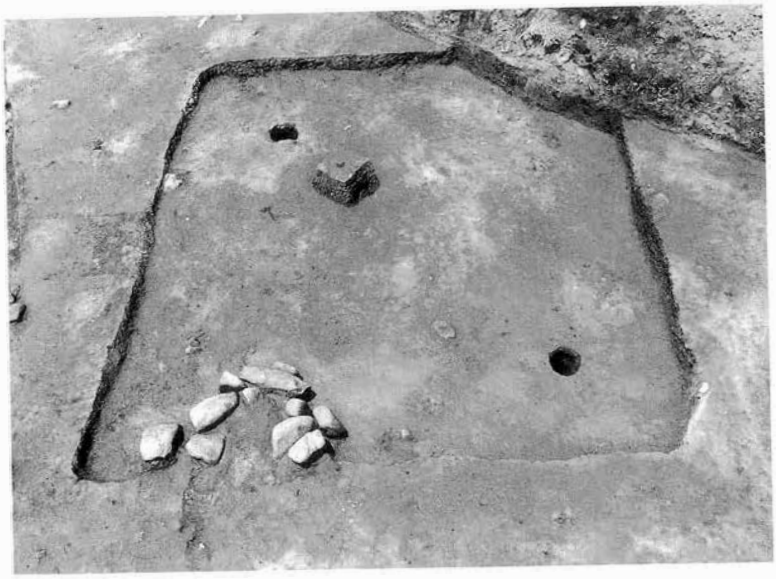


100号住居址

100号住居址



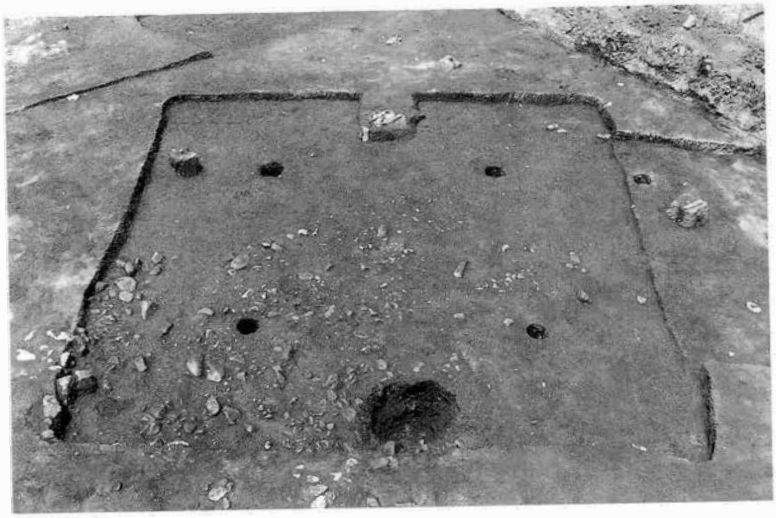
100号住居址カマド



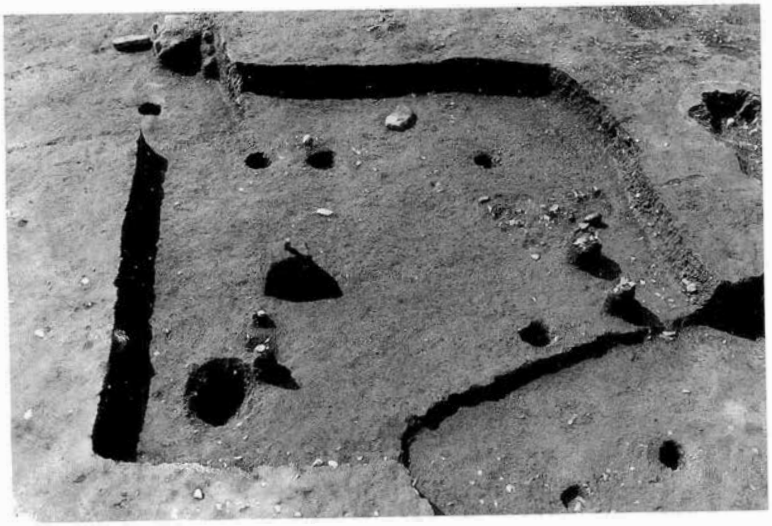
101号住居址

101号住居址カマド

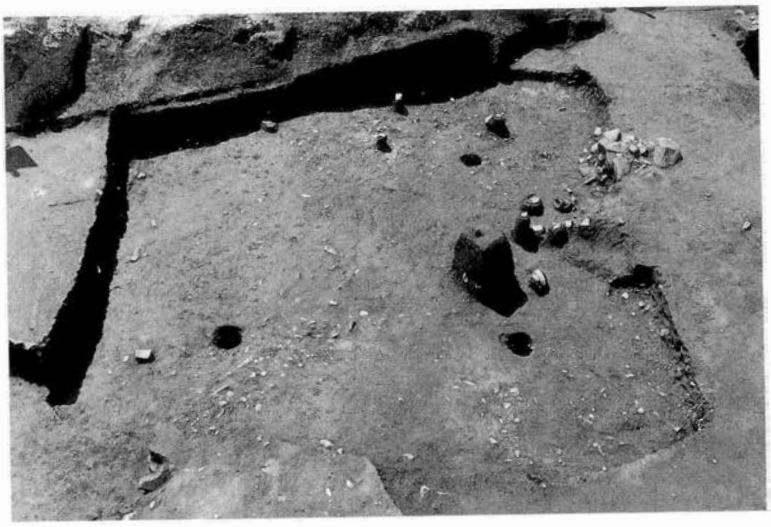
102号住居址



102号住居址



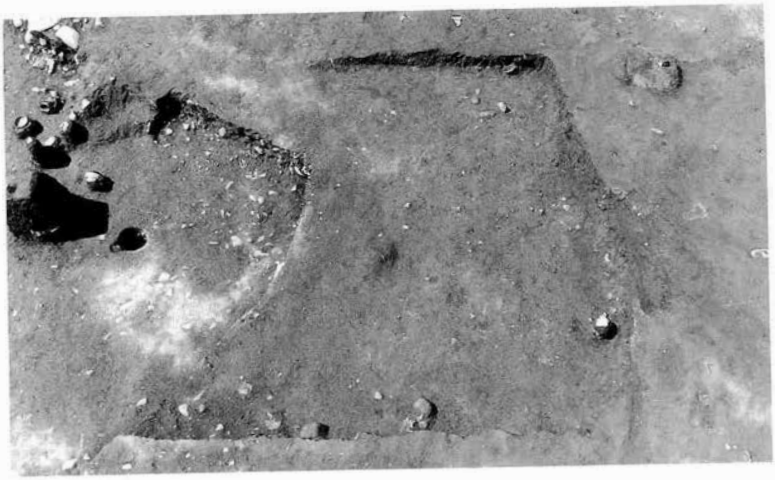
103号住居址



104号住居址

104号住居址カマド

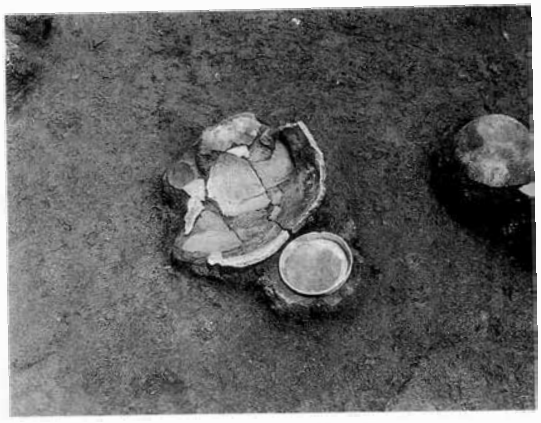
104号住居址



105号住居址

106号住居址

106号住居址カマド



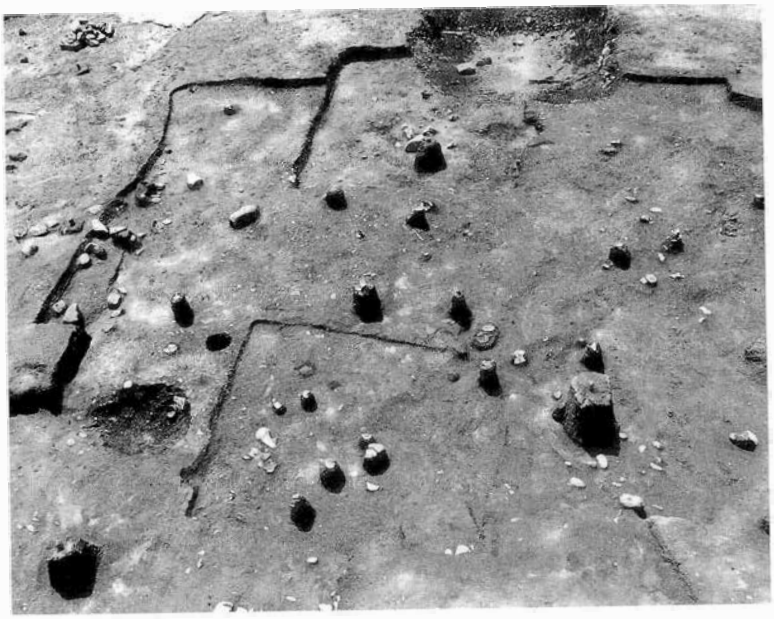
106号住居址

図版62

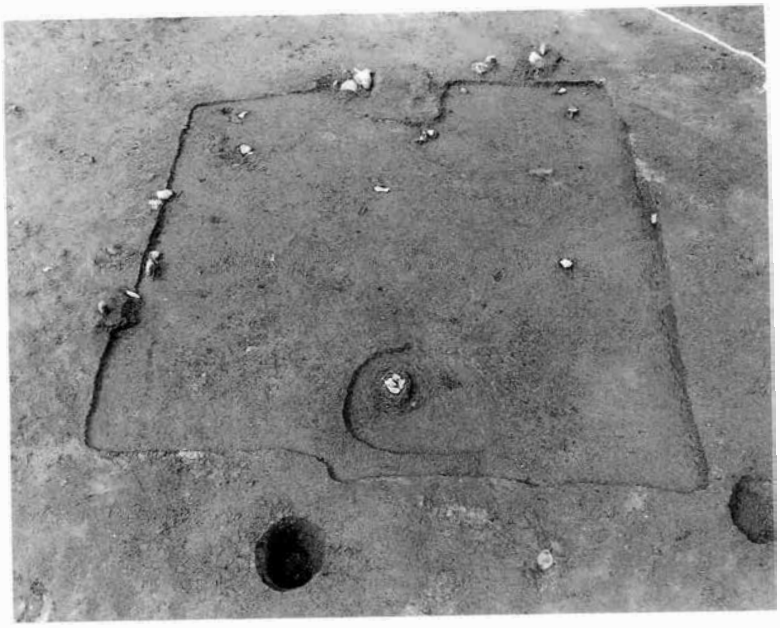
107号住居址

107号住居址

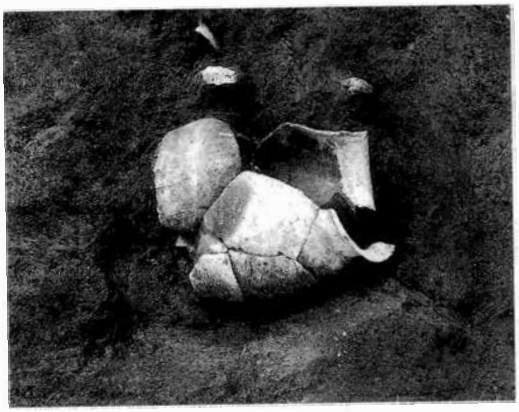
108号住居址内ピット



108号住居址



109号住居址



109号住居址

110号住居址

図版64

111号住居址

112号住居址

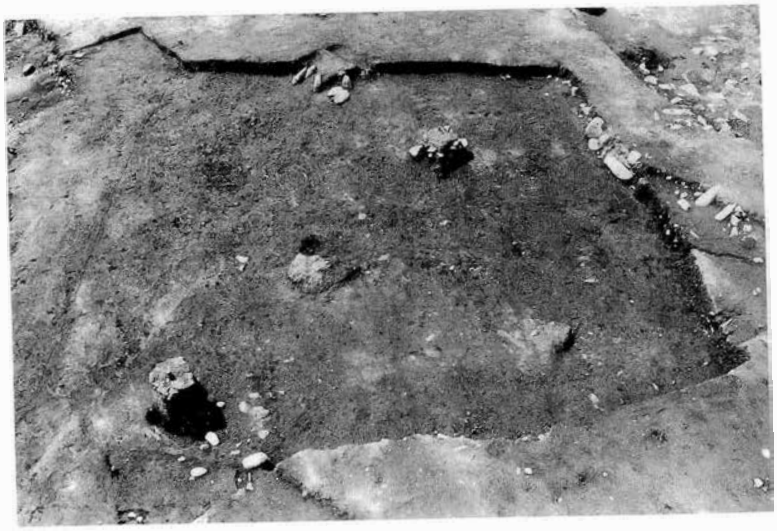
113号住居址

113号住居址

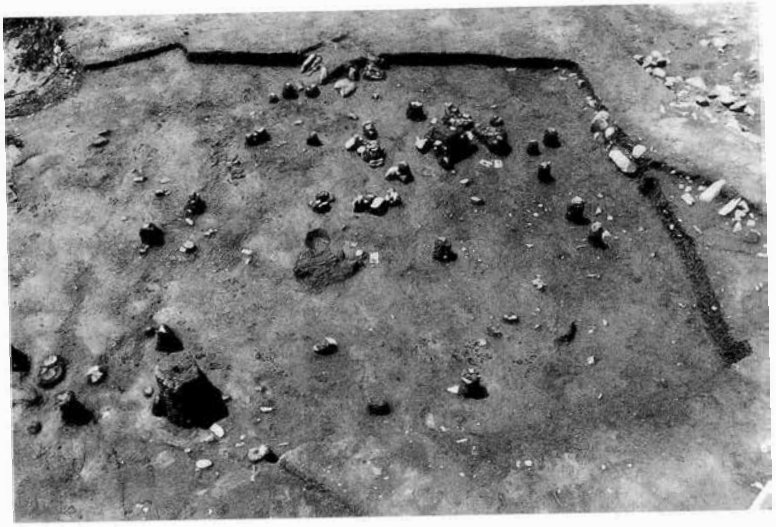
113号住居址カマド

113号住居址

図版66



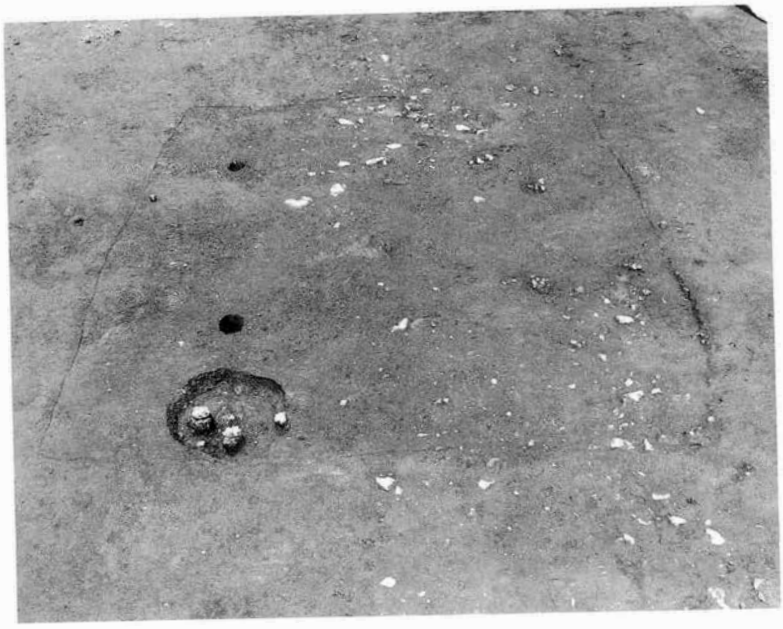
114号住居址



114号住居址

114号住居址

114号住居址

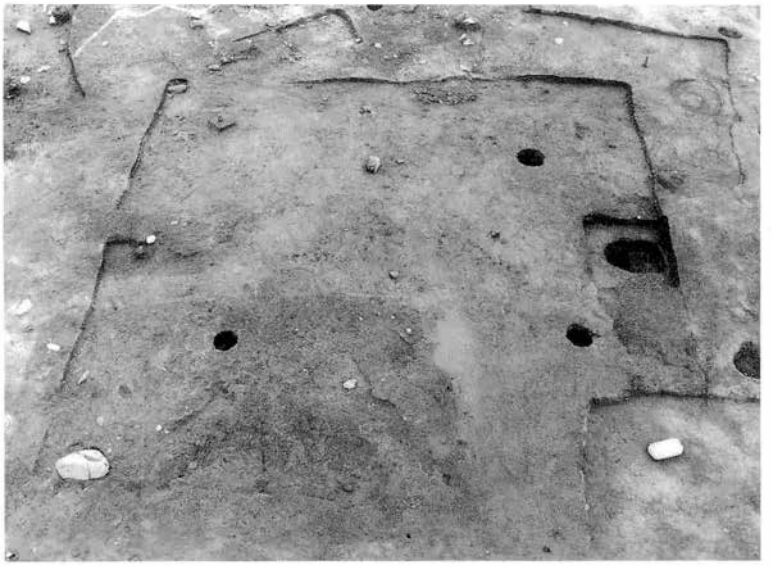


115号住居址

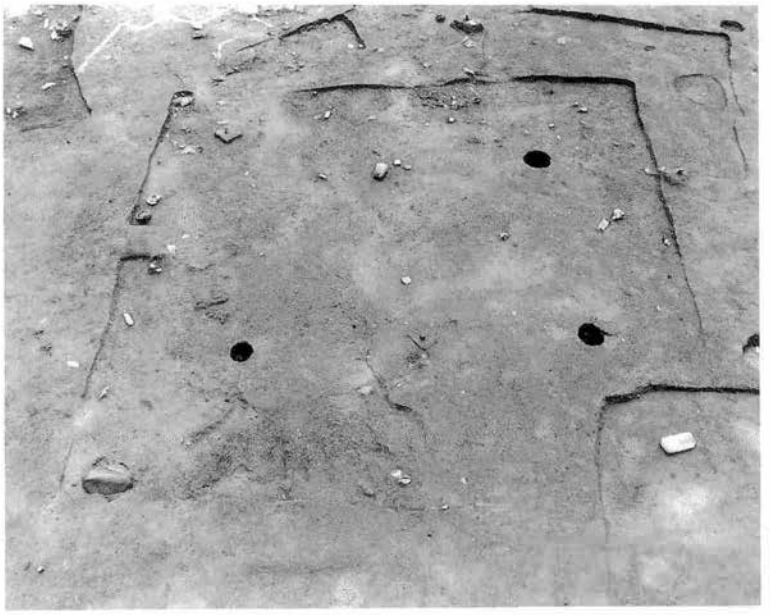
115号住居址炉

115号住居址内ピット

図版68



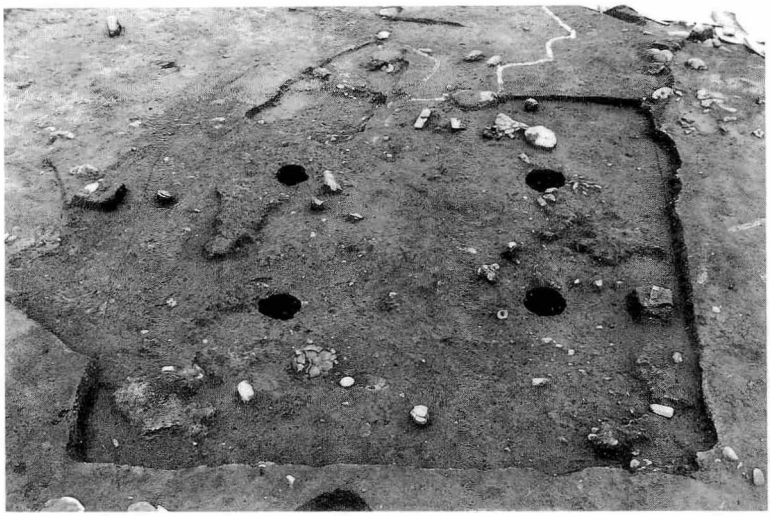
116号住居址



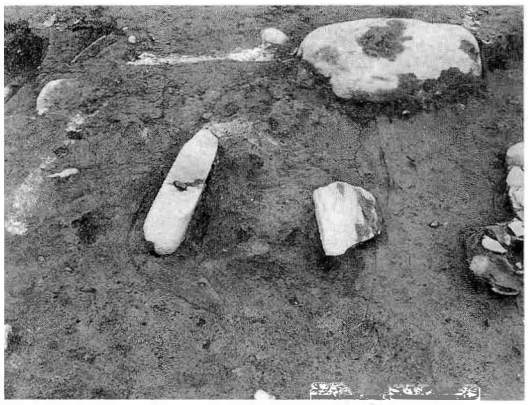
116号住居址

116号住居址貯蔵穴

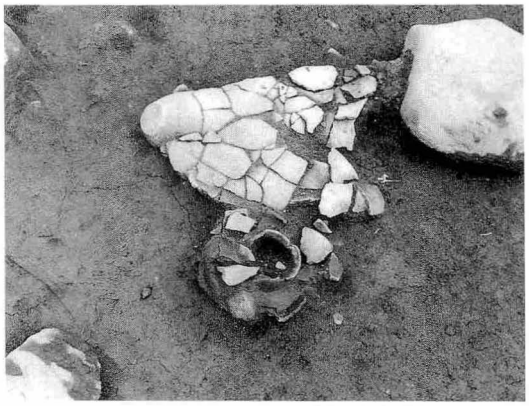
117号住居址



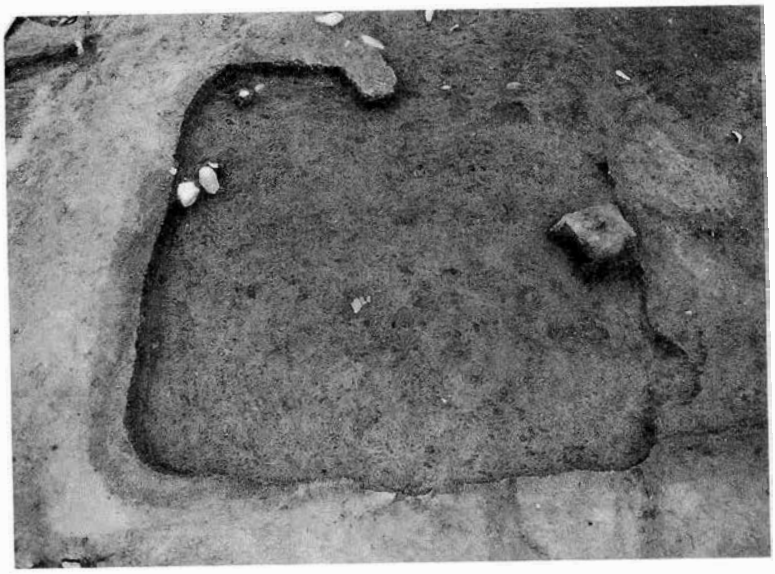
117号住居址



117号住居址カマド



117号住居址

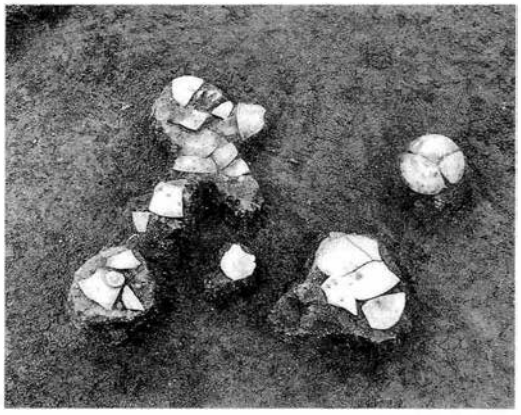


118号住居址

119号住居址

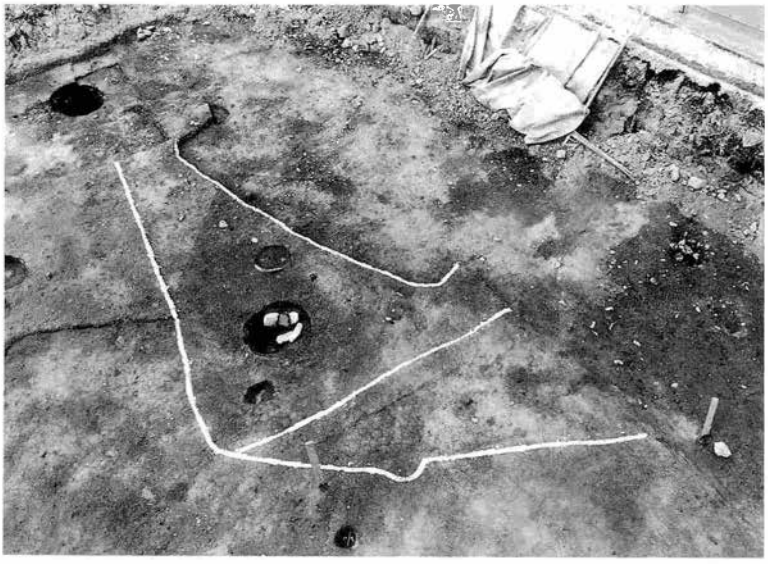
121号住居址

122号住居址



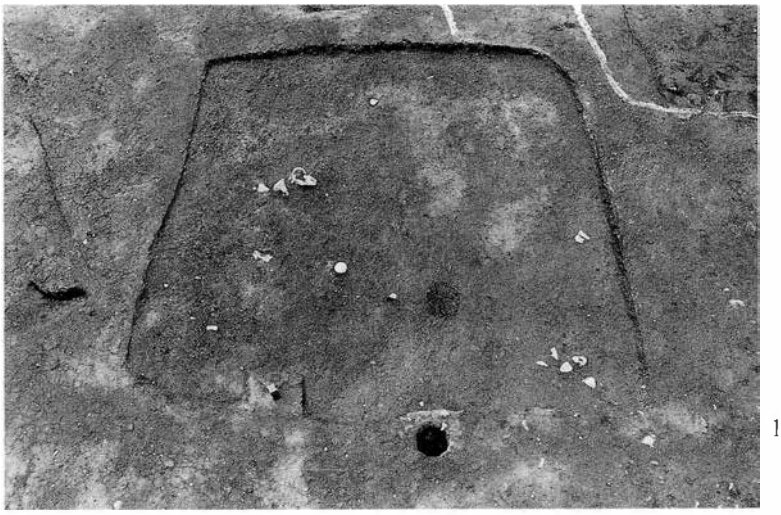
122号住居址

123号住居址内ピット

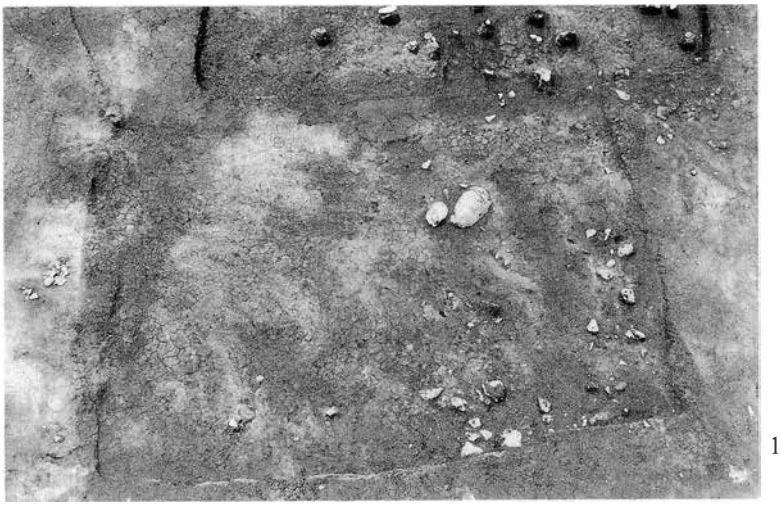


123、124、125号住居址

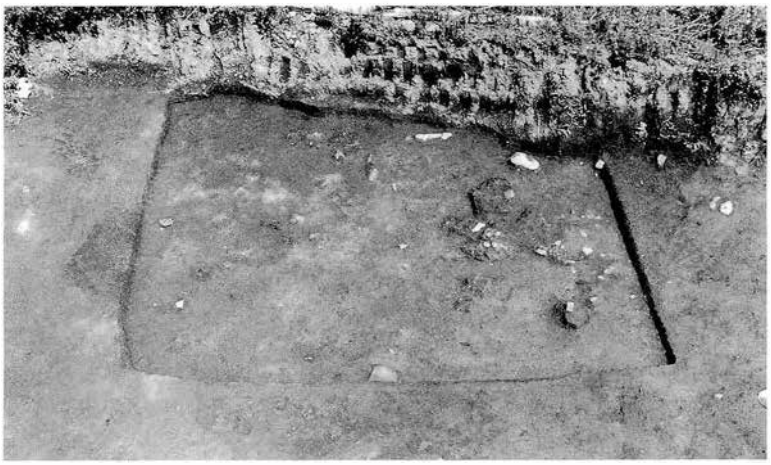
126号住居址



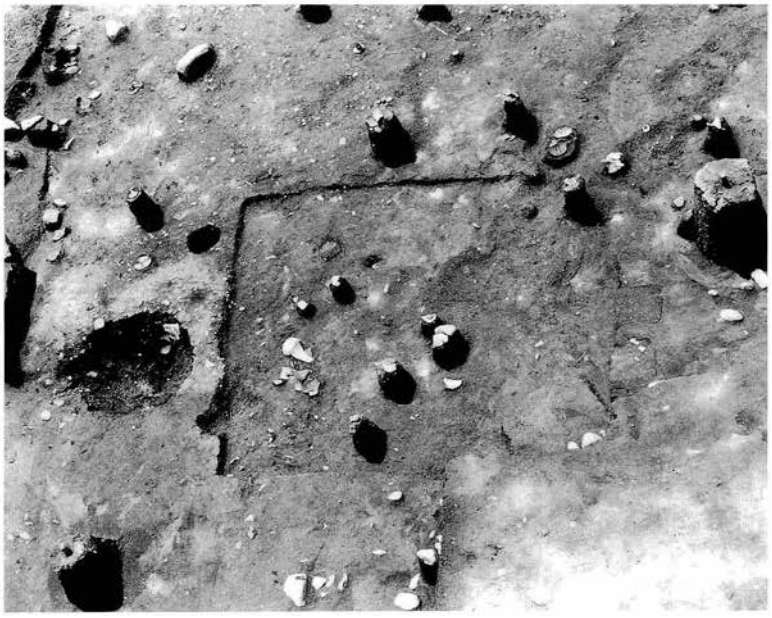
127号住居址



128号住居址

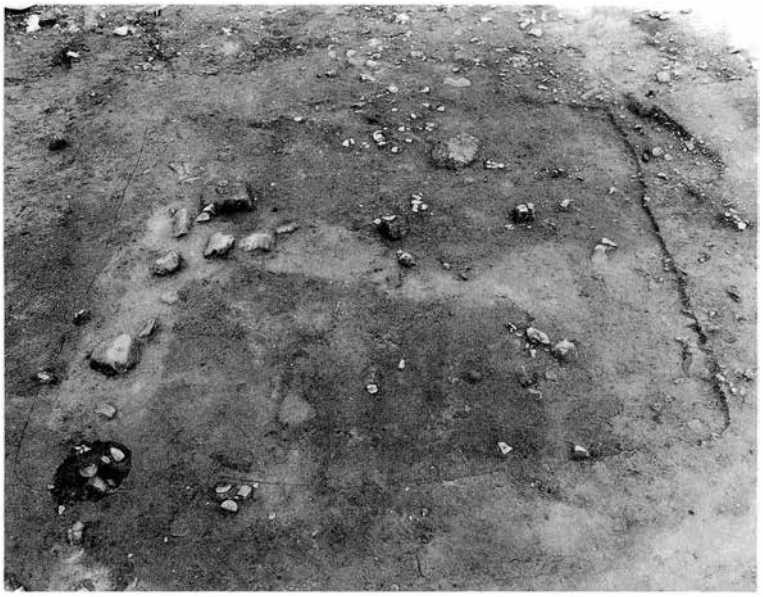


129号住居址



130号住居址

130号住居址



131号住居址

131号住居址内ピット

131号住居址

131号住居址内ピット

132号住居址

133号住居址

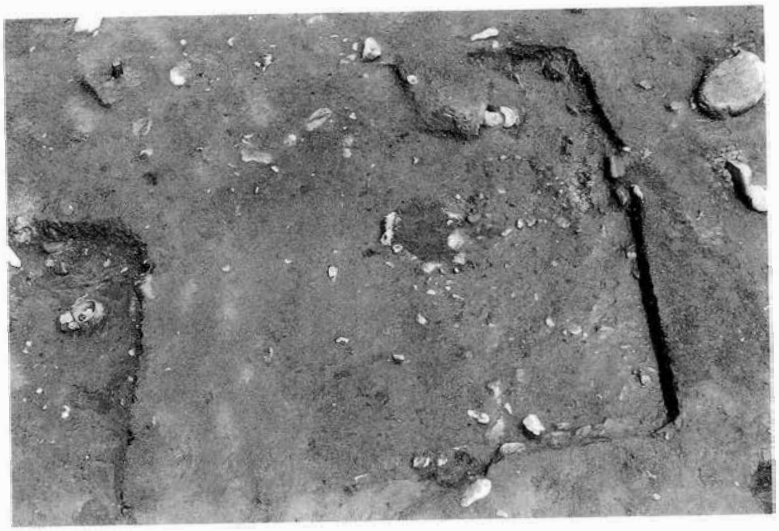
133号住居址

図版76

134号住居址

134号住居址

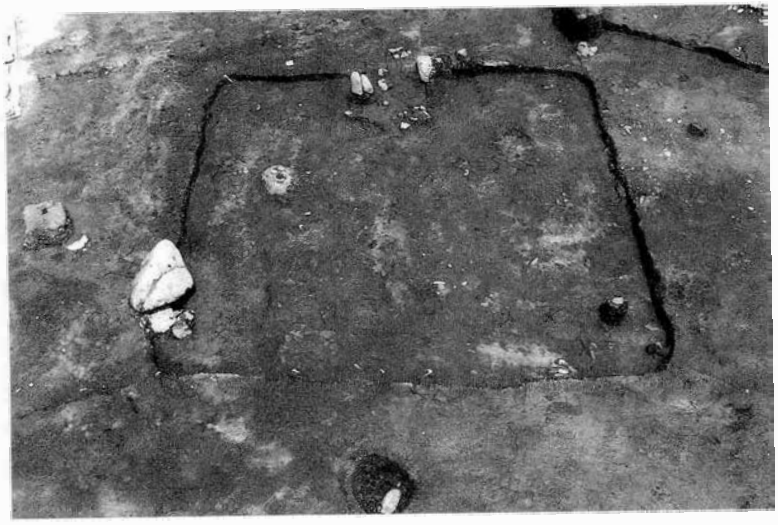
134号住居址



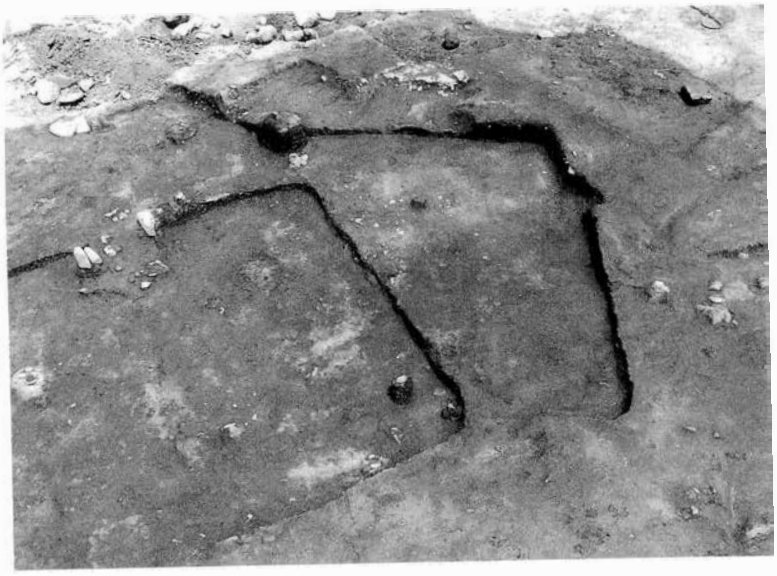
135号住居址

136号住居址

137号住居址カマド



137号住居址



138号住居址

139号住居址

139号住居址カマド

140号住居址

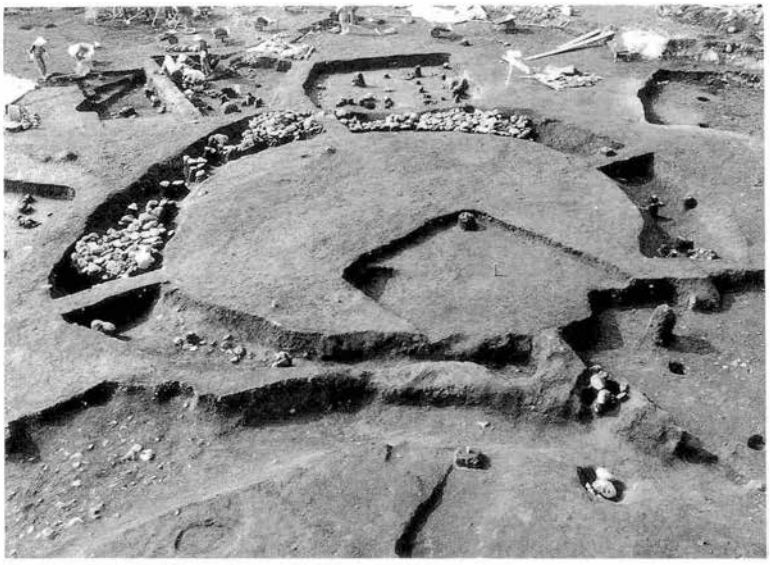
141号住居址

142号住居址

図版80

1号周溝遺構遺物出土状態

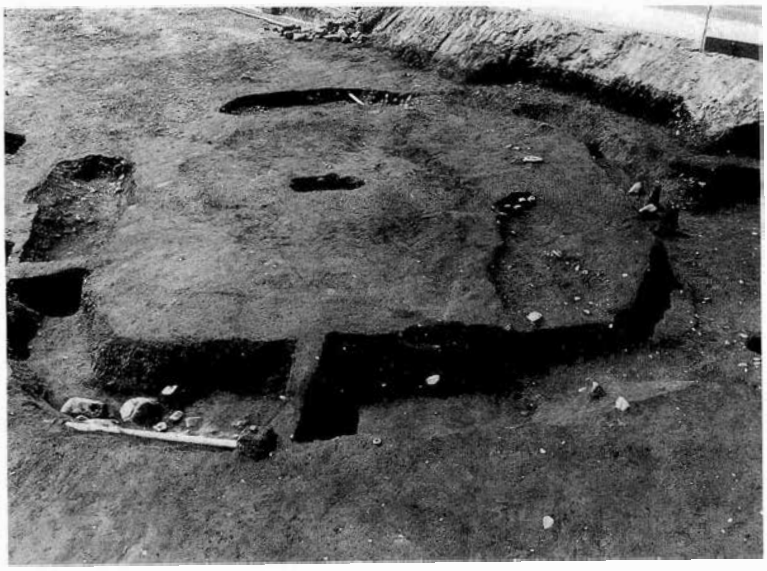
1号周溝遺構



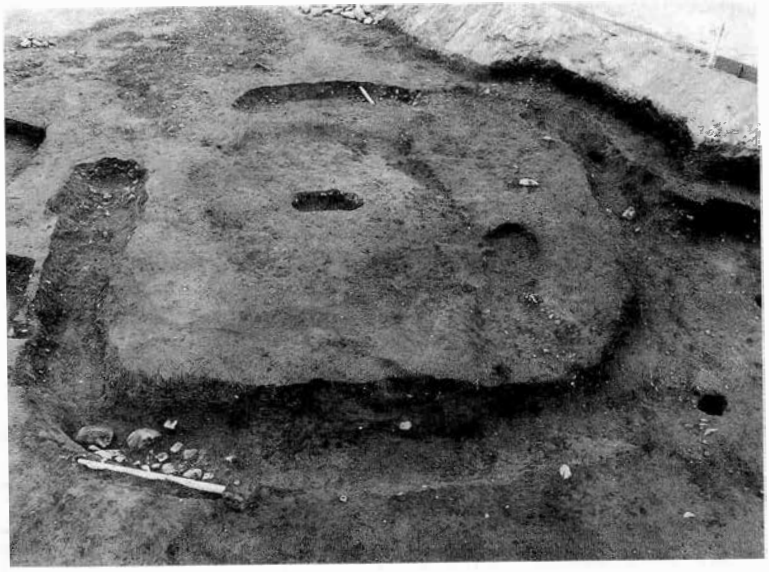
2号周溝遺構

2号周溝遺構

2号周溝遺構



4号周溝遺構

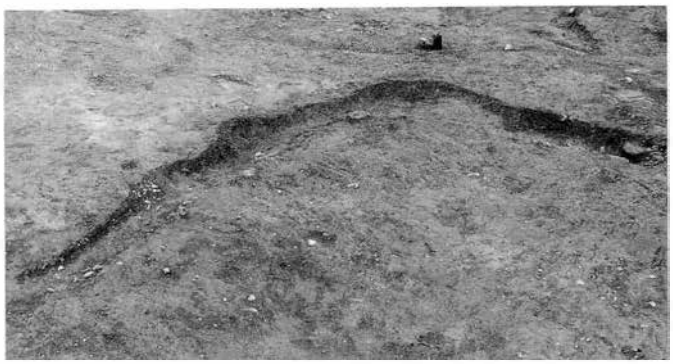


4号周溝遺構

4号周溝遺構セクション

4号周溝遺構

1 号溝



2 号溝

3 号溝

3 号溝

図版84

5号溝

5号溝

5号溝

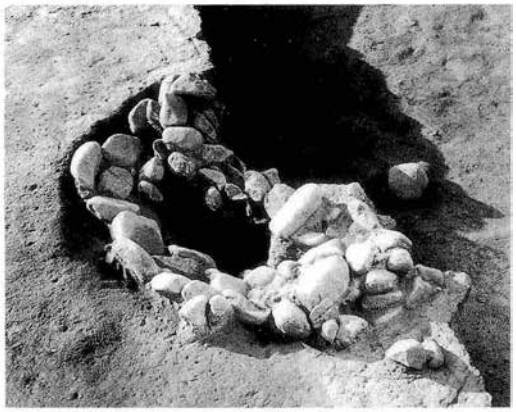
6号溝

1号水路

1号水路下層土器集中部

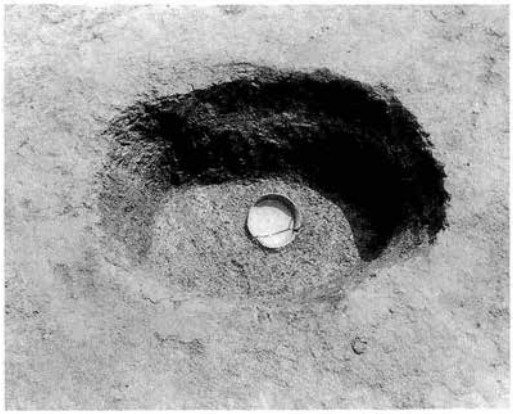
1号水路下層土器集中ブロック（C）

1号水路下層

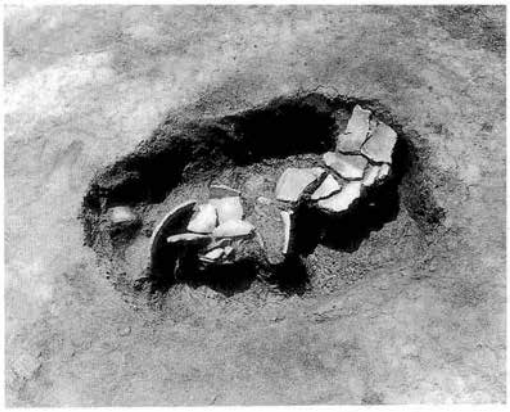


2号配石土壙

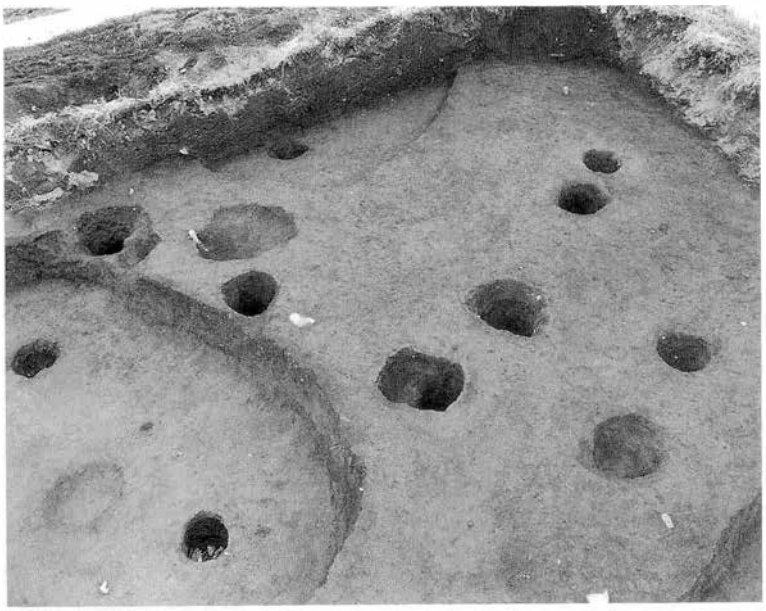
11号土壙（137号住居カマド下）



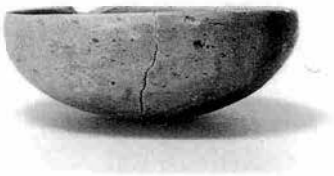
STA521+30N2（ピット群 pit 3）



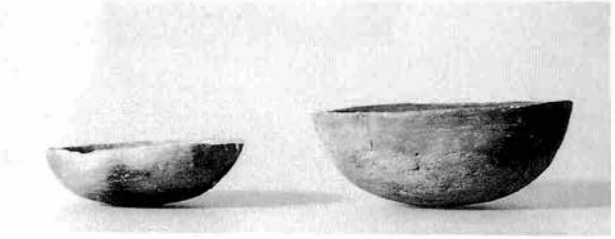
STA521+30N2（ピット群 pit3）



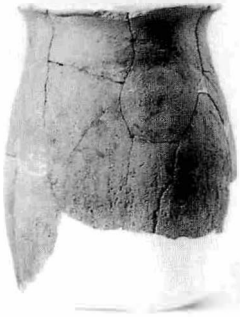
4号掘立柱群

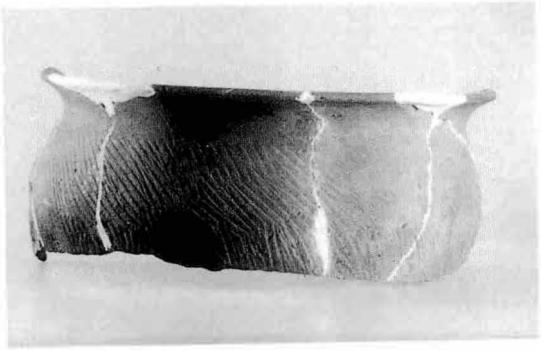
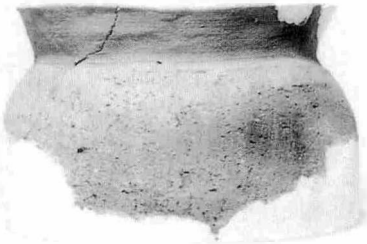


2号住居址遺物

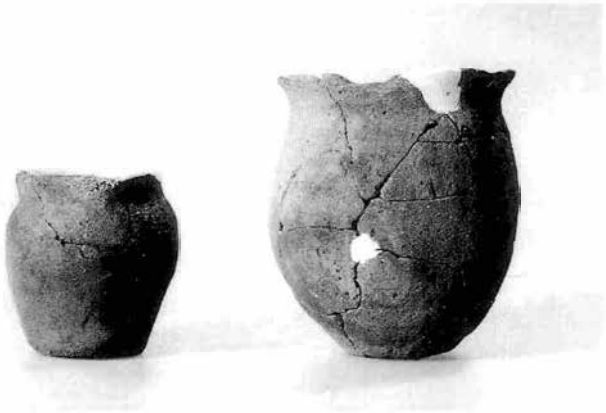


3号住居址遺物

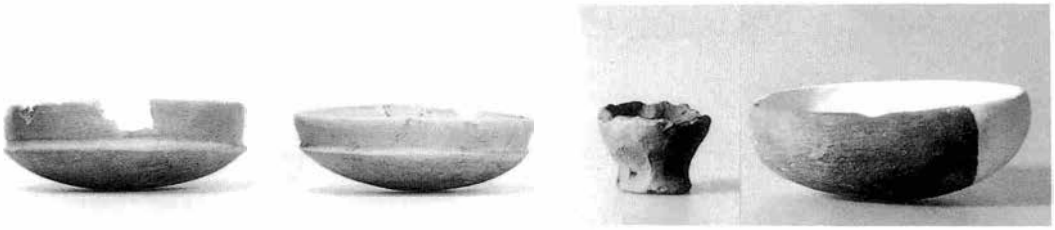


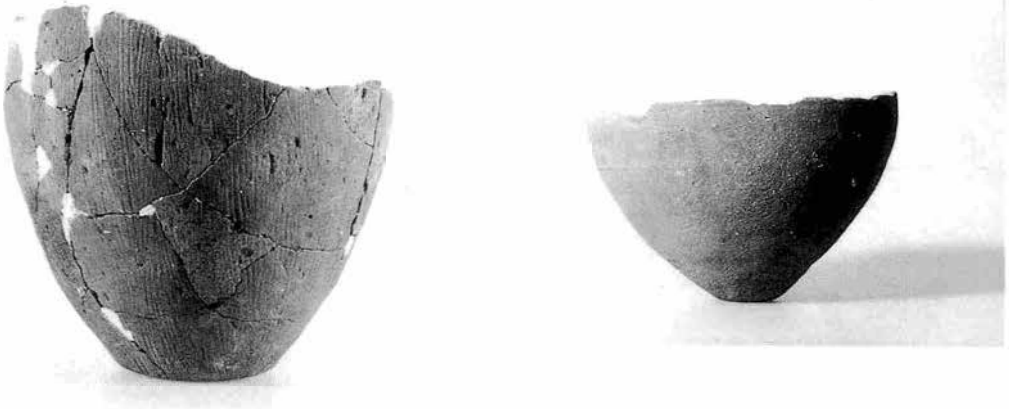



3号住居址遺物



7 号住居址遺物





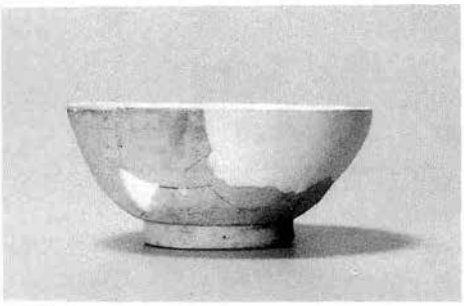
8 号住居址遺物

9 号住居址遺物

10号住居址遺物

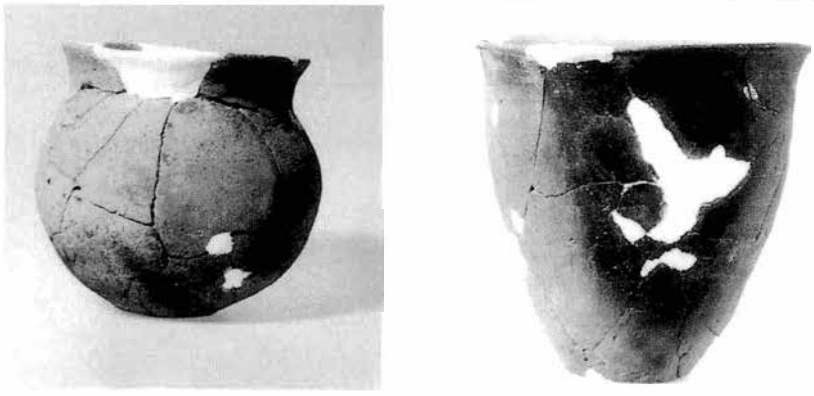
13号住居址遺物

14号住居址遺物



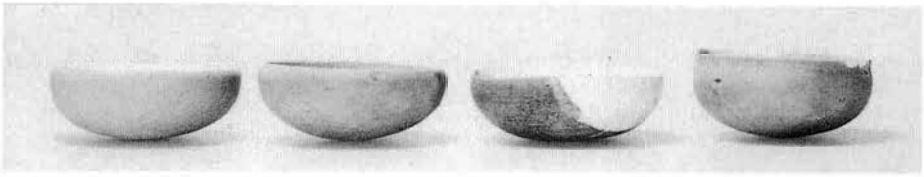
16号住居址遺物

17号住居址遺物

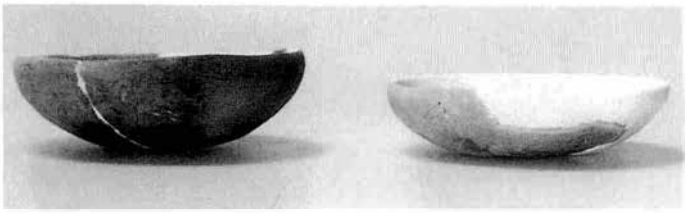


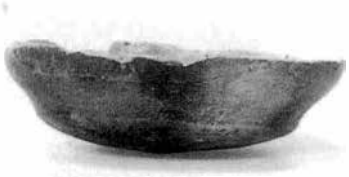
18号住居址遺物

図版92

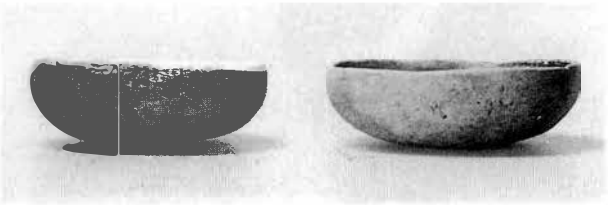


19号住居址遺物



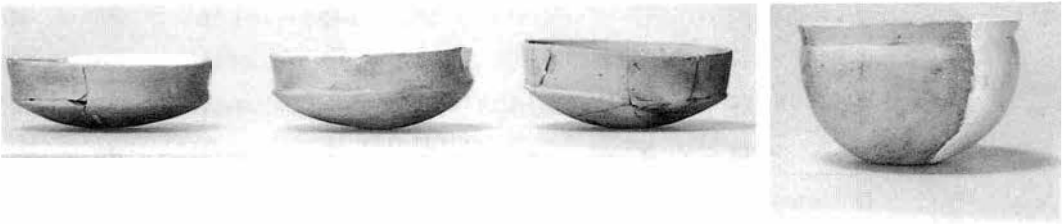


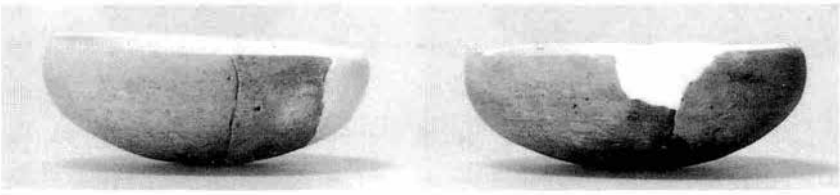
20号住居址遺物



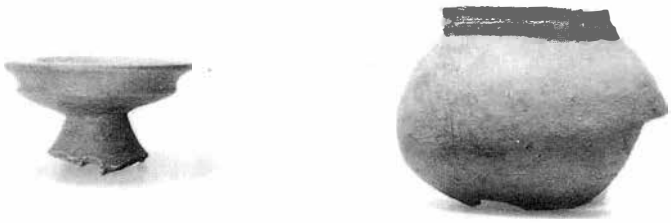
23号住居址遺物

24号住居址遺物

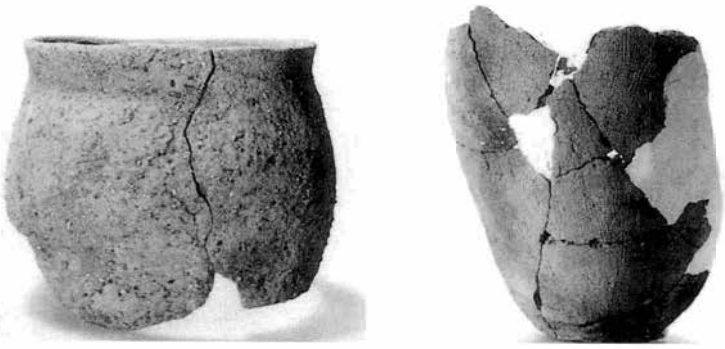




25号住居址遺物

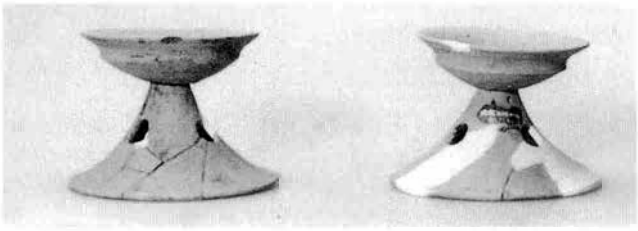


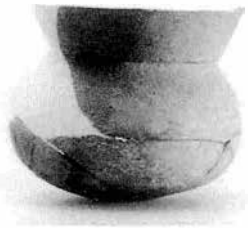
26号住居址遺物

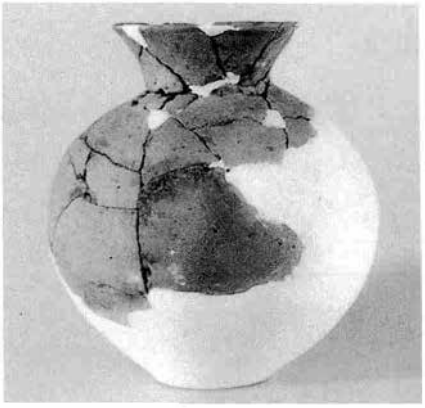


27号住居址遺物

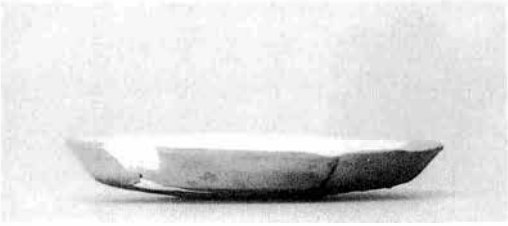
29号住居址遺物



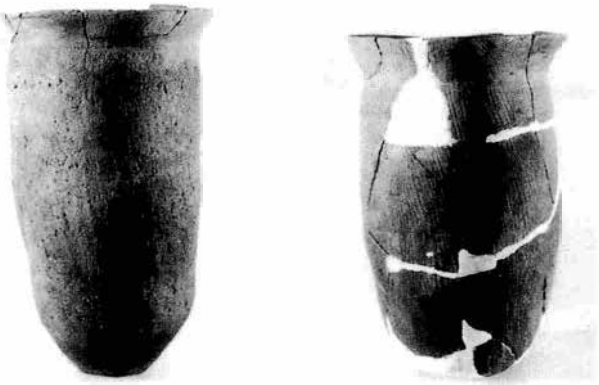




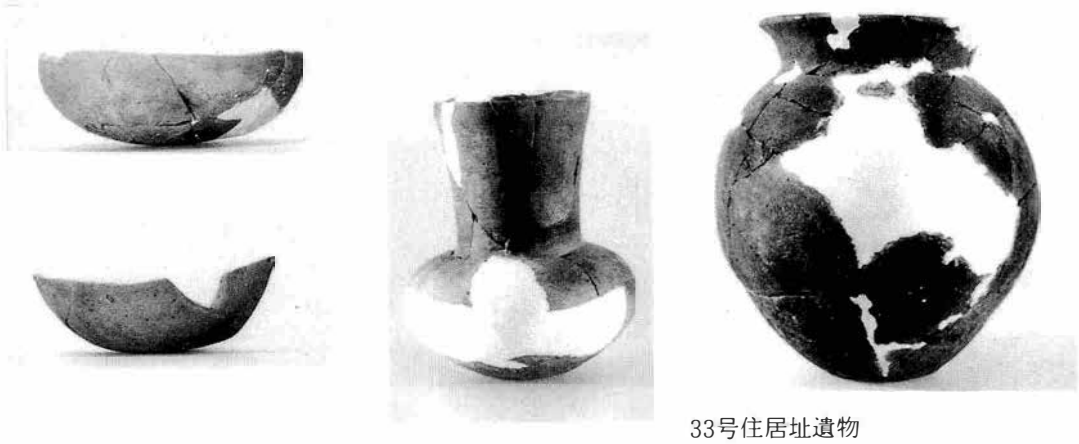
30号住居址遺物



31号住居址遺物

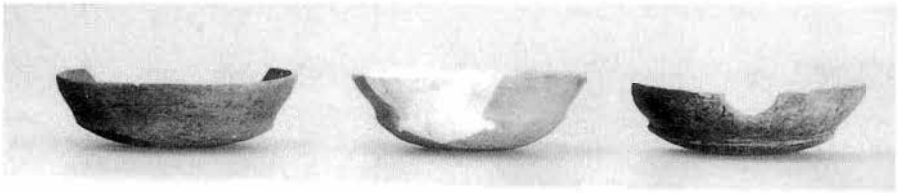


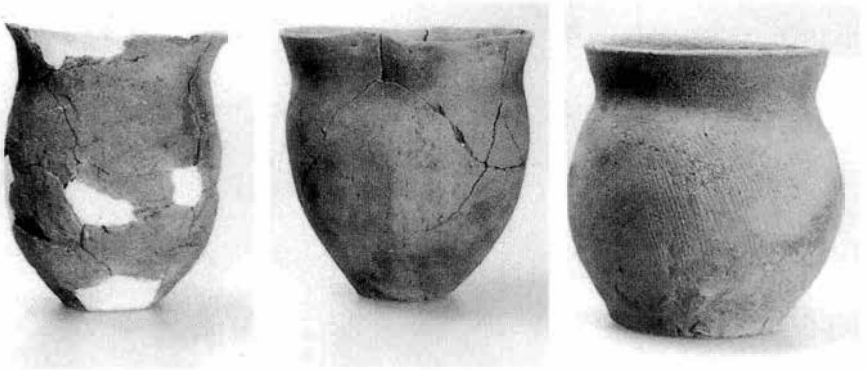
31号住居址遺物



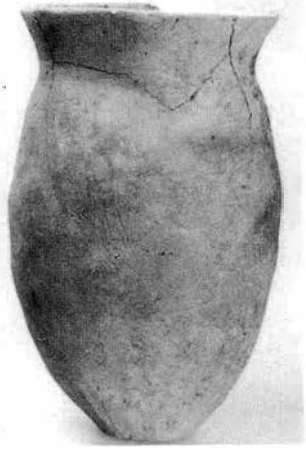
33号住居址遺物

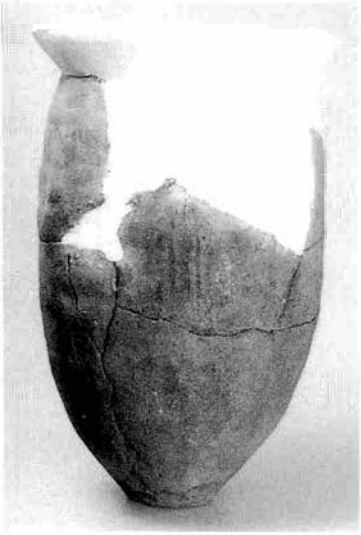
34号住居址遺物





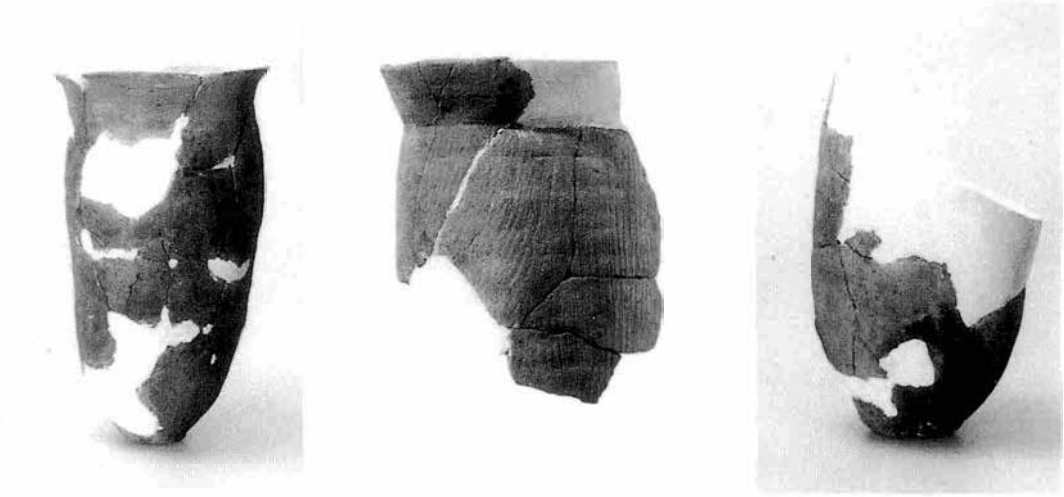
34号住居址遺物

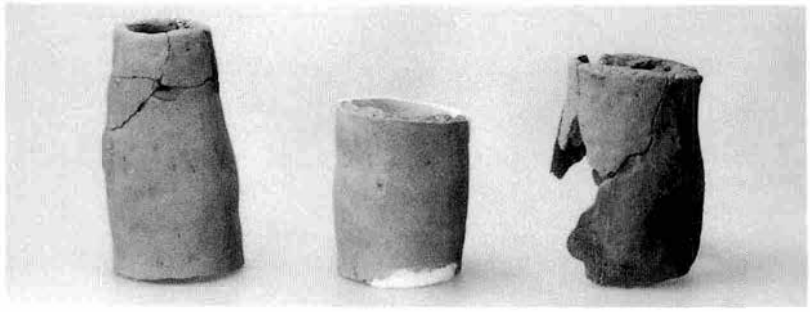




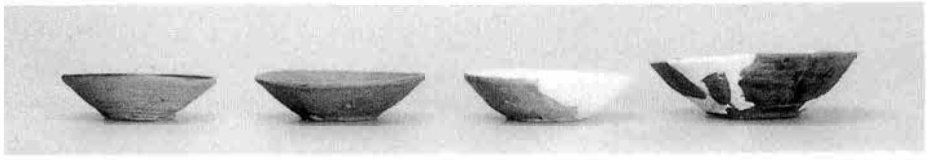
34号住居址遺物

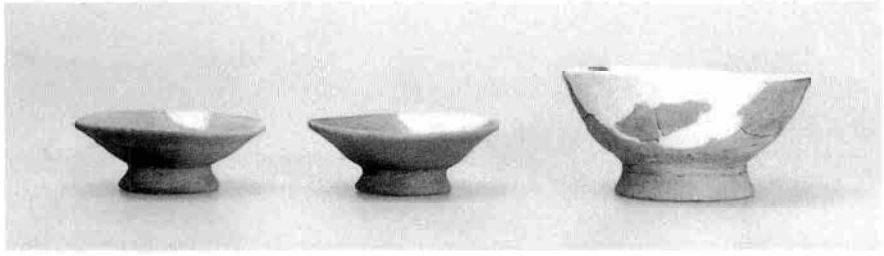
35号住居址遺物

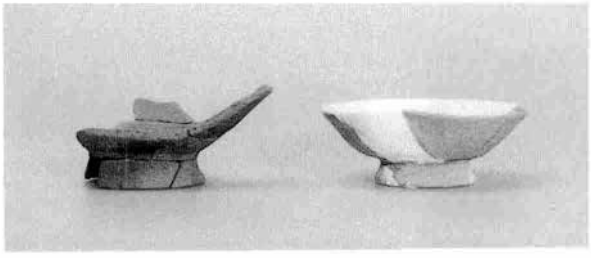




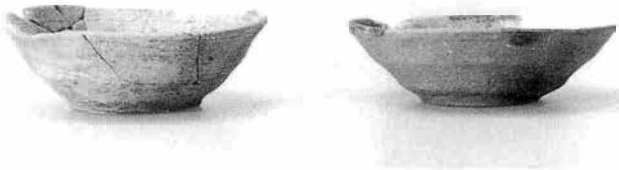
35号住居址遺物



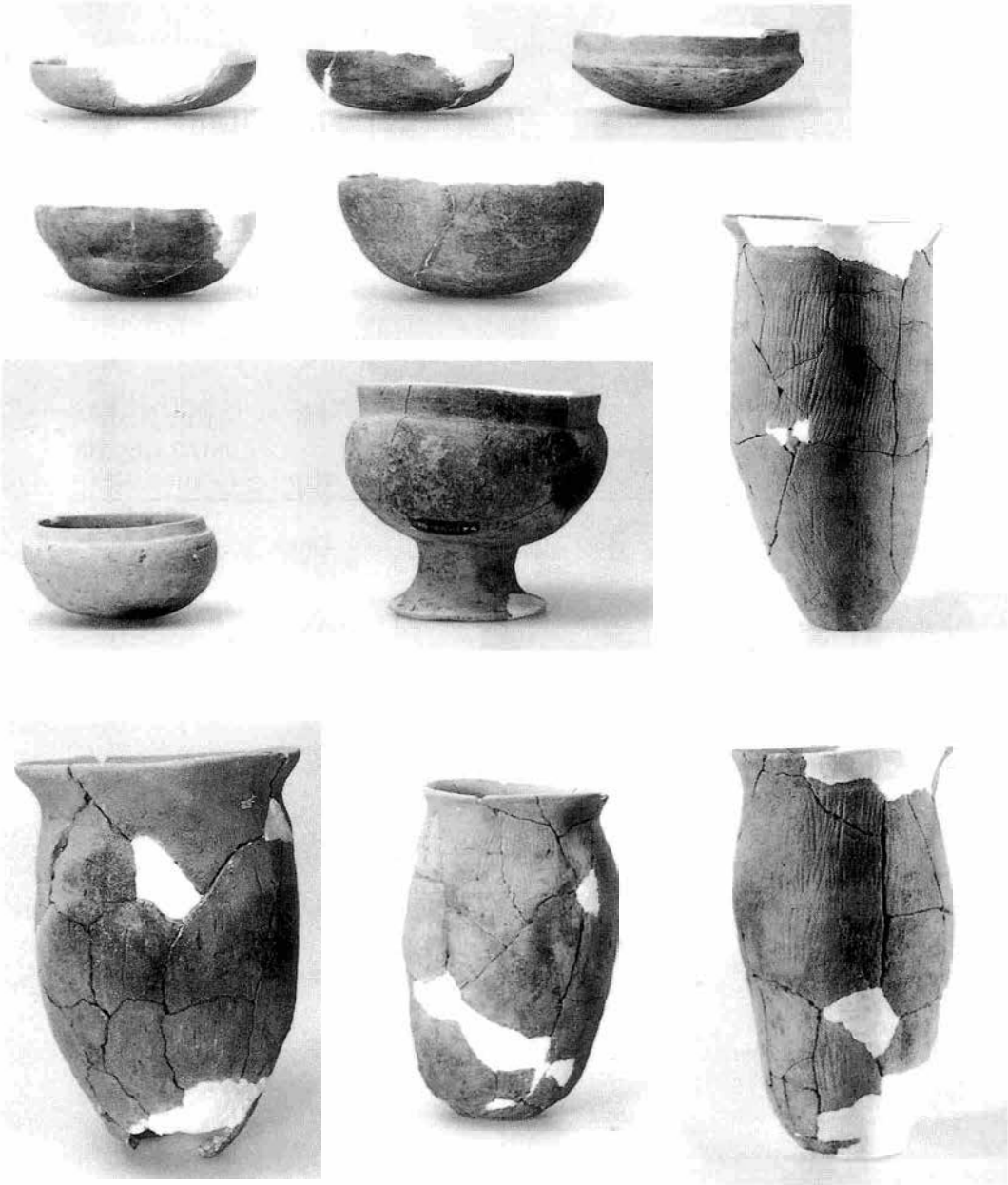




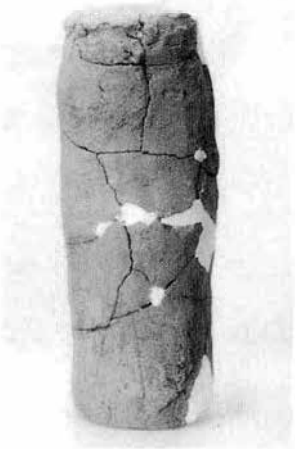
38号住居址遺物



39号住居址遺物



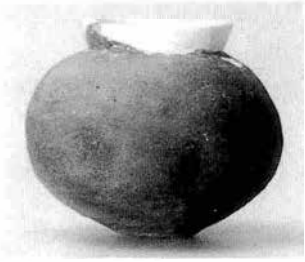
40号住居址遺物

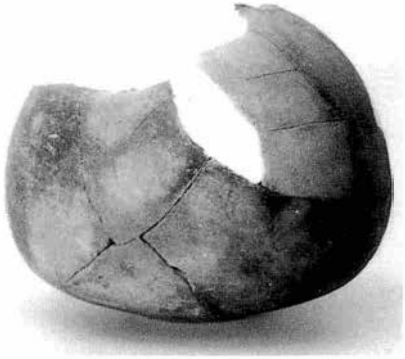


40号住居址遺物

41号住居址遺物

43号住居址遺物



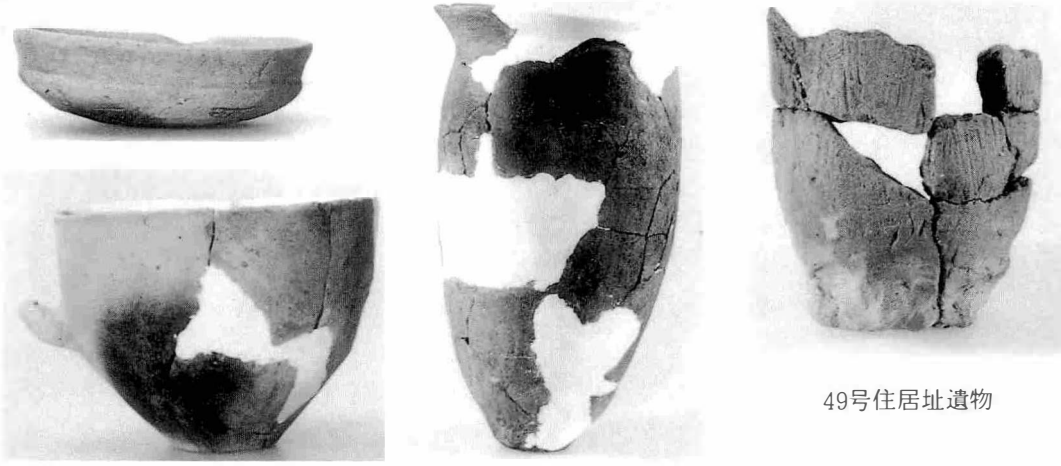


44号住居址遺物

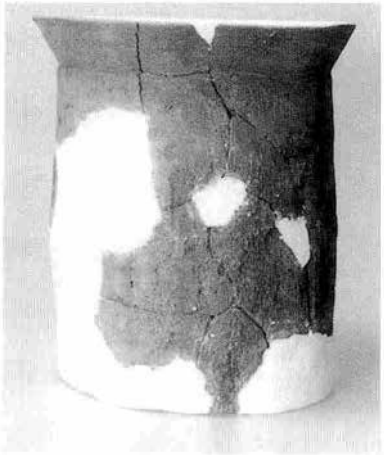
46号住居址遺物

47号住居址遺物

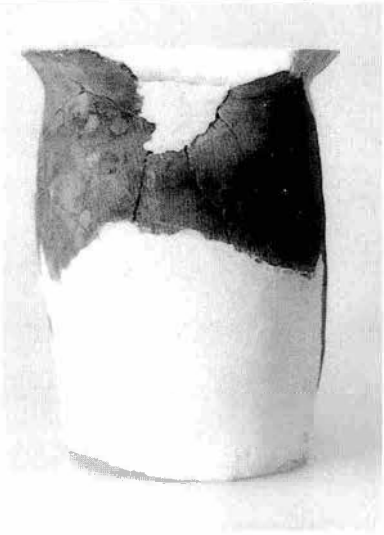
48号住居址遺物



49号住居址遺物

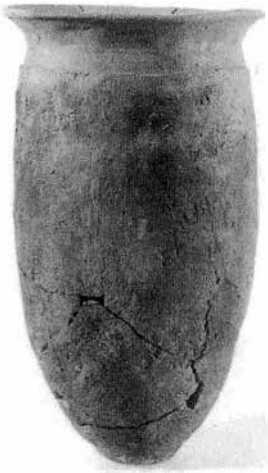


51号住居址遺物



52号住居址遺物

54号住居址遺物



54号住居址遺物

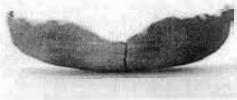
55号住居址遺物

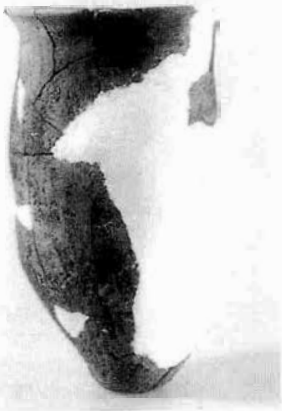
56号住居址遺物

57号住居址遺物

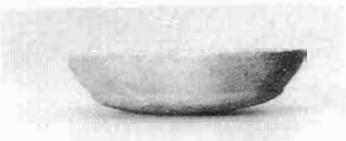
58号住居址遺物

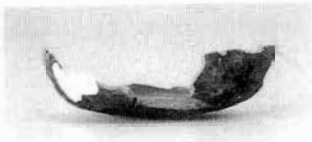
59号住居址遺物





60号住居址遺物

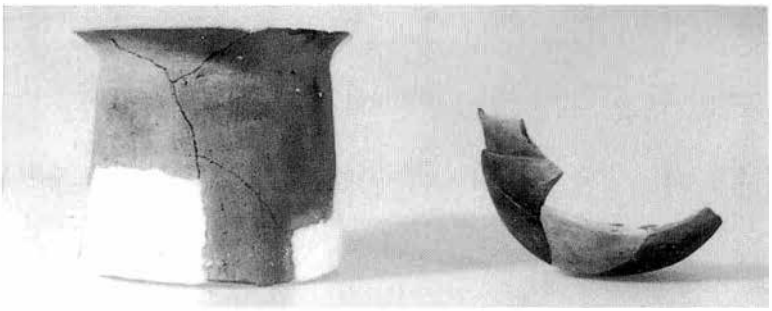


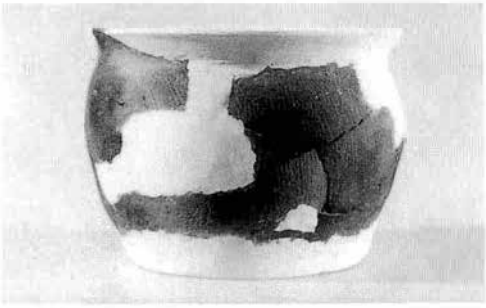


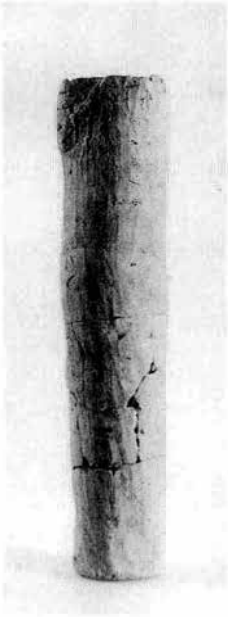
61号住居址遺物

61号住居址遺物

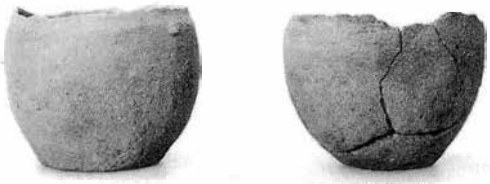
62号住居址遺物



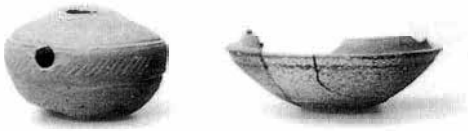




62号住居址遺物



63号住居址遺物



64号住居址遺物

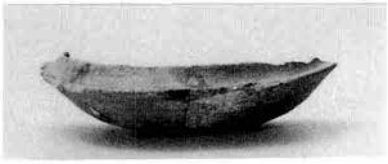
64号住居址遺物

65号住居址遺物

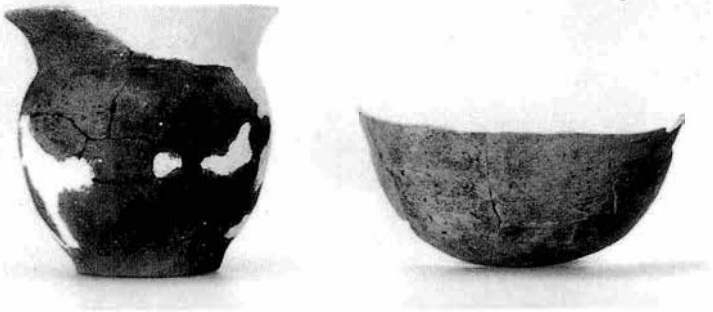
66号住居址遺物

69号住居址遺物

図版108



71号住居址遺物



72号住居址遺物

73号住居址遺物

74号住居址遺物

74号住居址遺物

75号住居址遺物

76号住居址遺物

76号住居址遺物

78号住居址遺物

80号住居址遺物

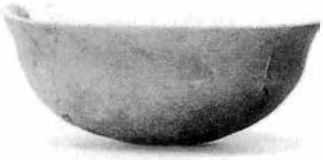
81号住居址遺物

82号住居址遺物

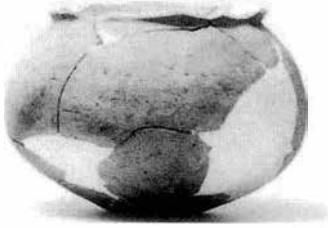
83号住居址遺物

85号住居址遺物

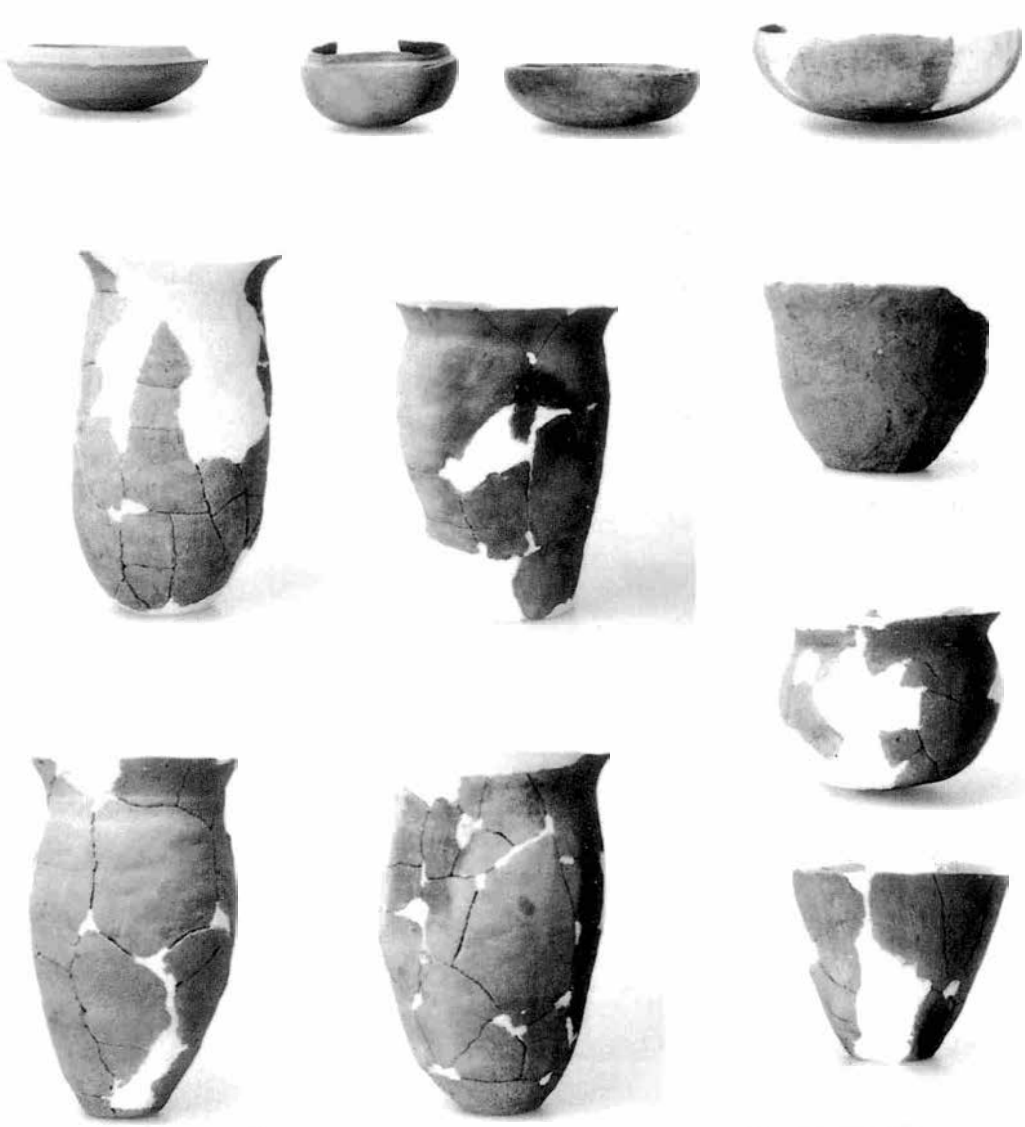
86号住居址遺物



87号住居址遺物



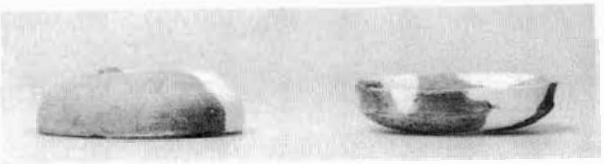
88号住居址遺物

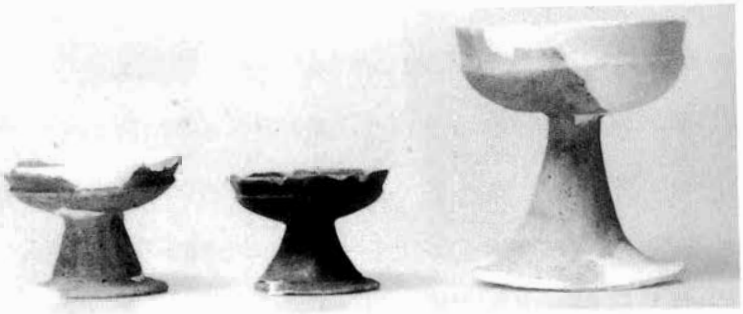


92号住居址遺物

93号住居址遺物

図版114





93号住居址遺物

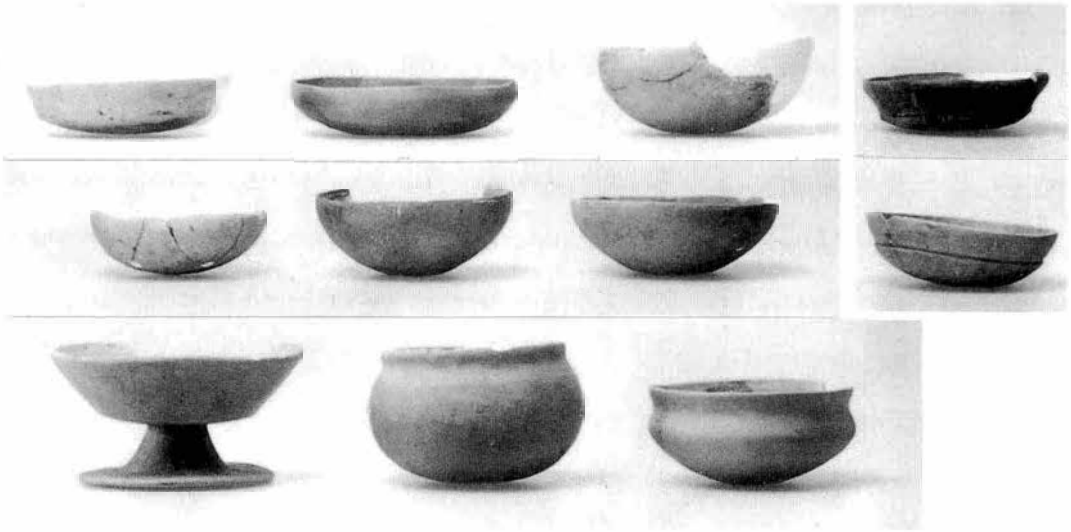
97号住居址遺物

98号住居址遺物

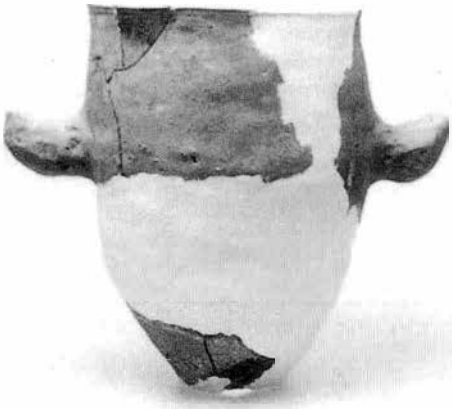
99号住居址遺物

100号住居址遺物

101号住居址遺物



102号住居址遺物



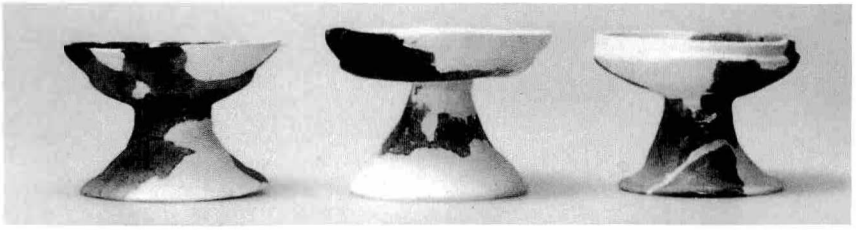
103号住居址遺物

104号住居址遺物

106号住居址遺物

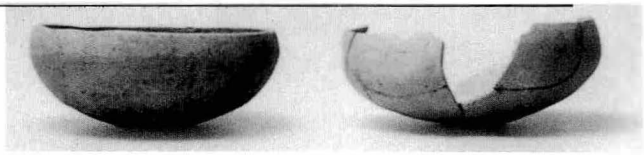
107号住居址遺物

108号住居址遺物

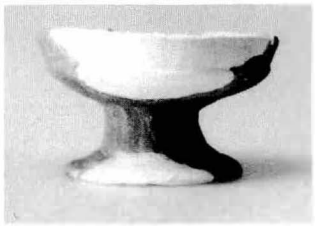


108号住居址遺物

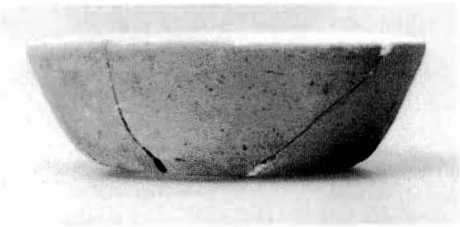
109号住居址遺物



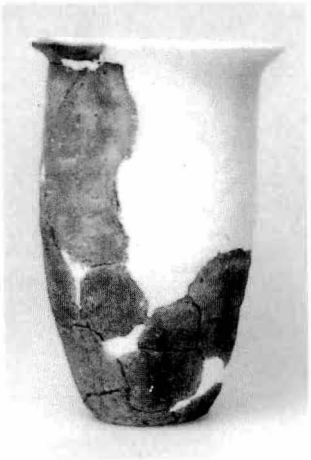
111号住居址遺物

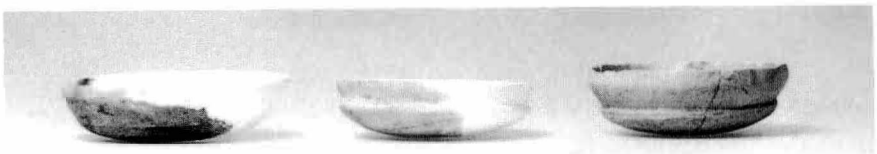


112号住居址遺物

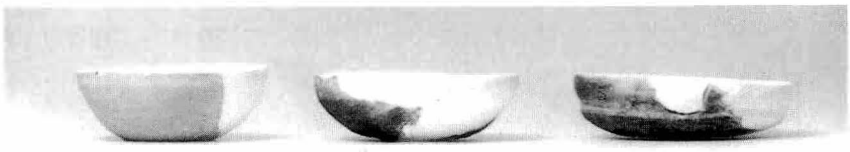


113号住居址遺物

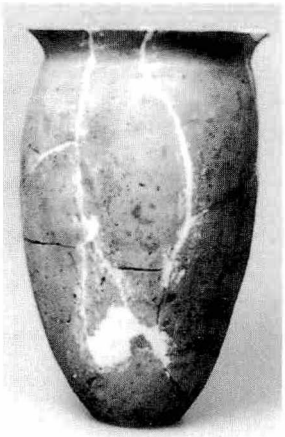


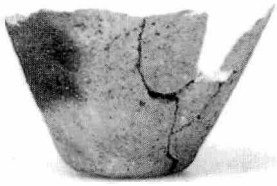


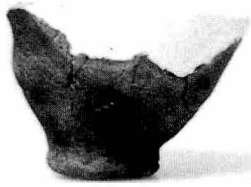
114号住居址遺物



114号住居址遺物





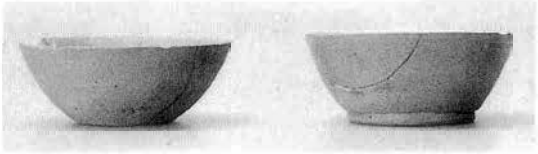


116号住居址遺物

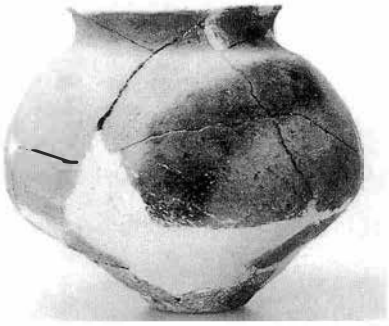
117号住居址遺物

図版120

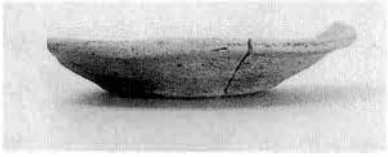
119号住居址遺物



122号住居址遺物

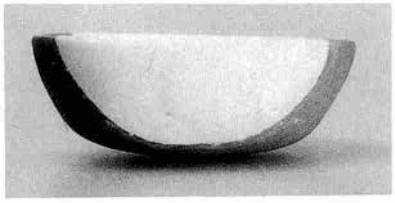


123号住居址遺物



126号住居址遺物

129号住居址遺物



130号住居址遺物

131号住居址遺物

133号住居址遺物

134号住居址遺物

134号住居址遺物

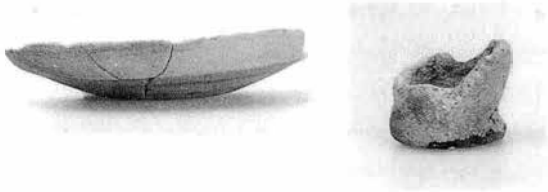
135号住居址遺物

136号住居址遺物

138号住居址遺物

139号住居址遺物

140号住居址遺物



141号住居址遺物

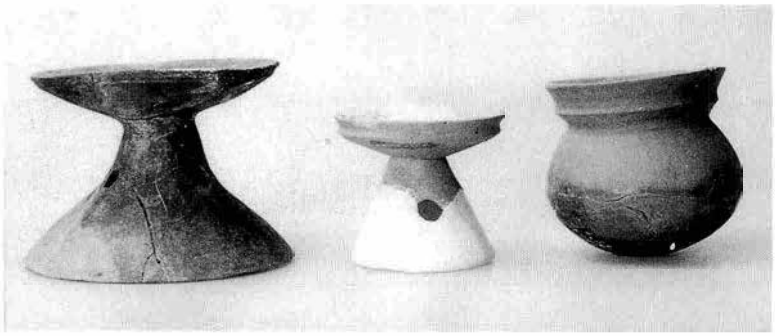
29号住居址遺物

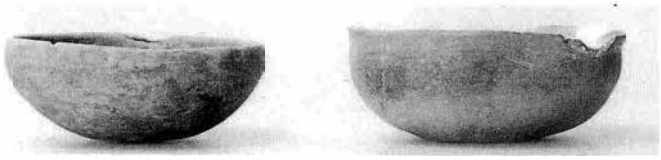
41号住居址遺物

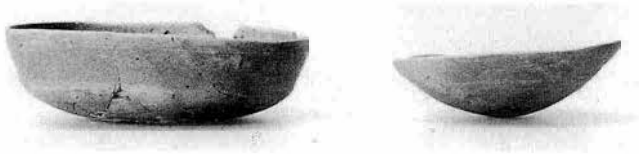
44号住居址遺物

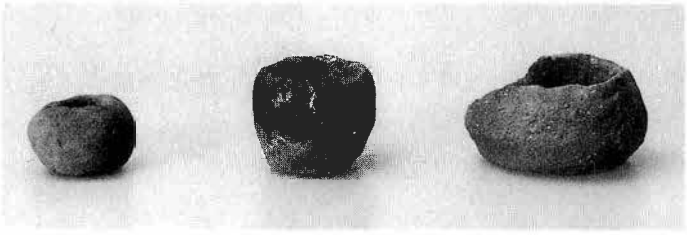
88号、47号住居址遺物

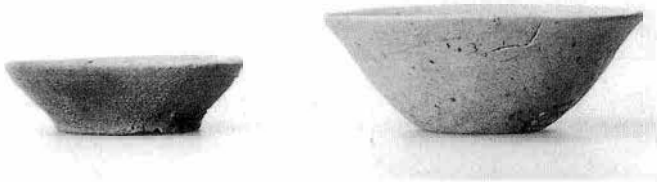
図版124



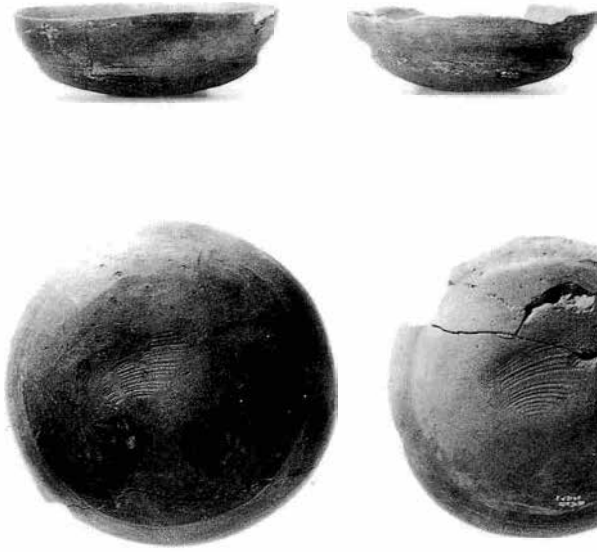






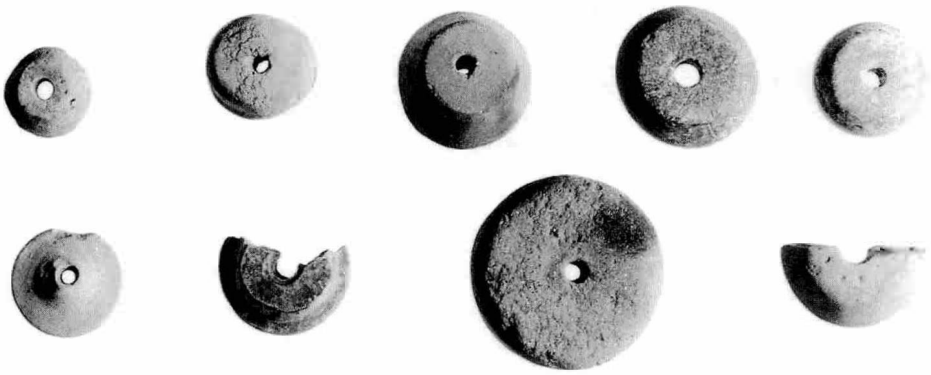


グリッド等出土遺物

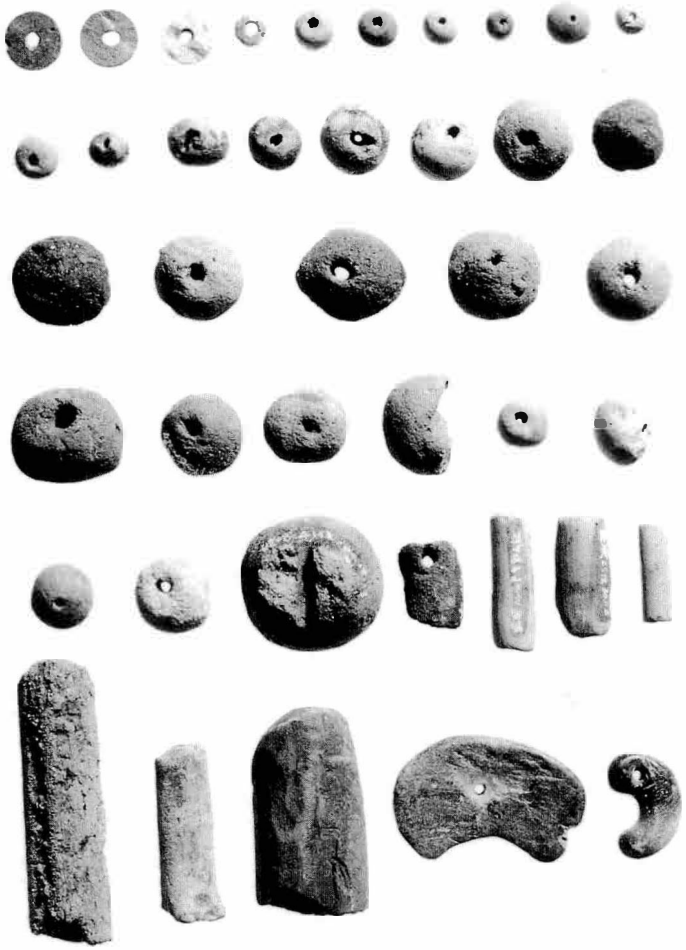


34号、36号出土土師器底部糸切
（底部に糸切痕に類似した整形痕がある）

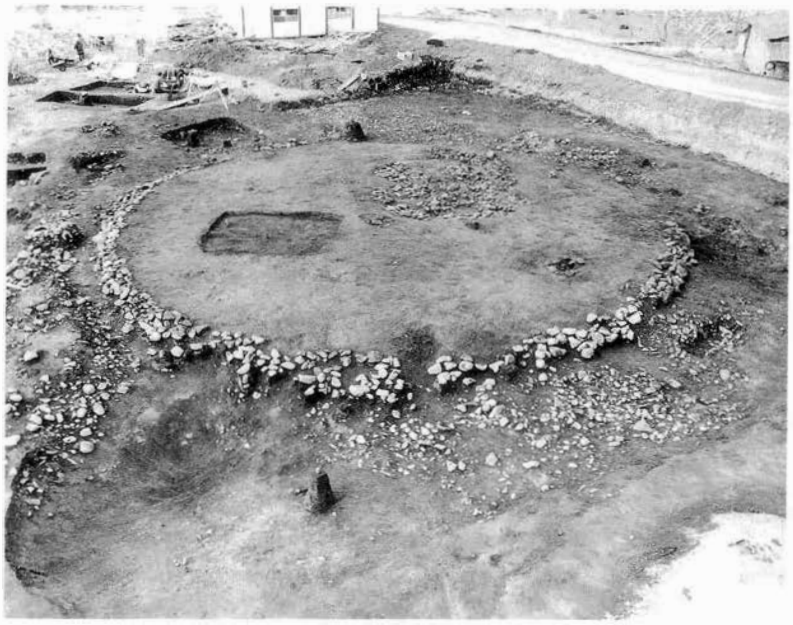
69号短冊形鉄斧



姥塚遺跡出土紡錘車



遺跡内出土臼玉、土玉、棒状土製品、勾玉



1号墳

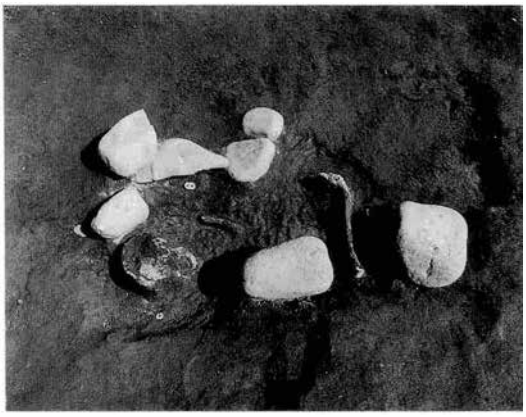
1号墳南西部

1号墳石室部？

1号墳周溝（馬の歯？）

図版128　姥塚遺跡無名1号墳

1号墳内1号石組遺構



1号墳内1号石組遺構

1号石組遺構出土人骨

2号石組遺構

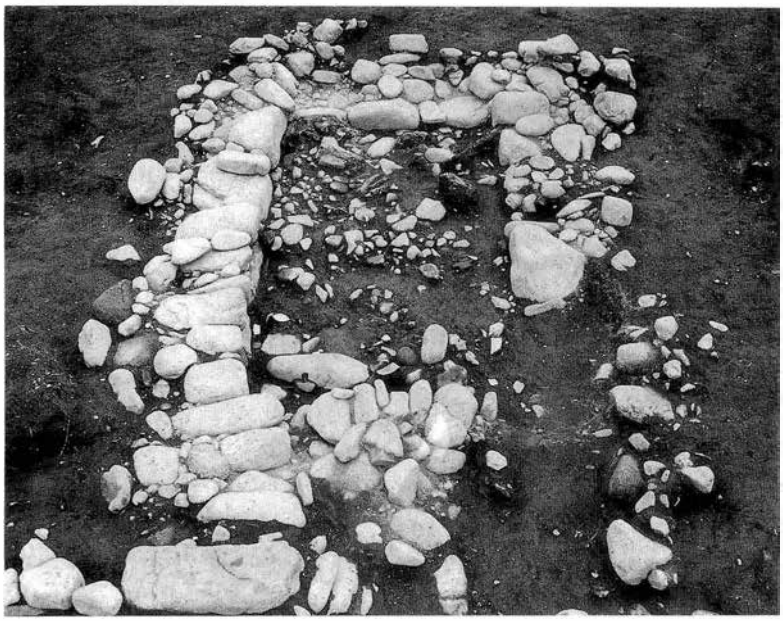
3号石組遺構

2号墳

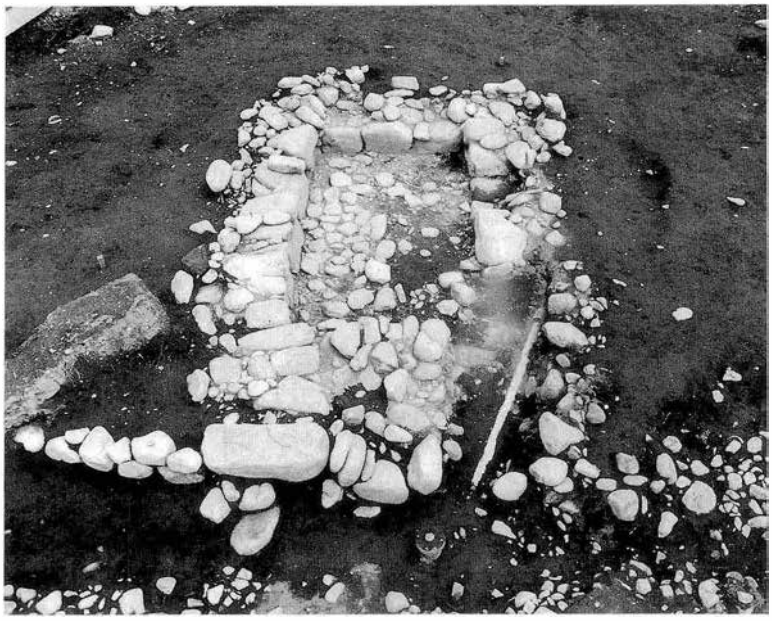
2号墳奥壁断面

2号墳

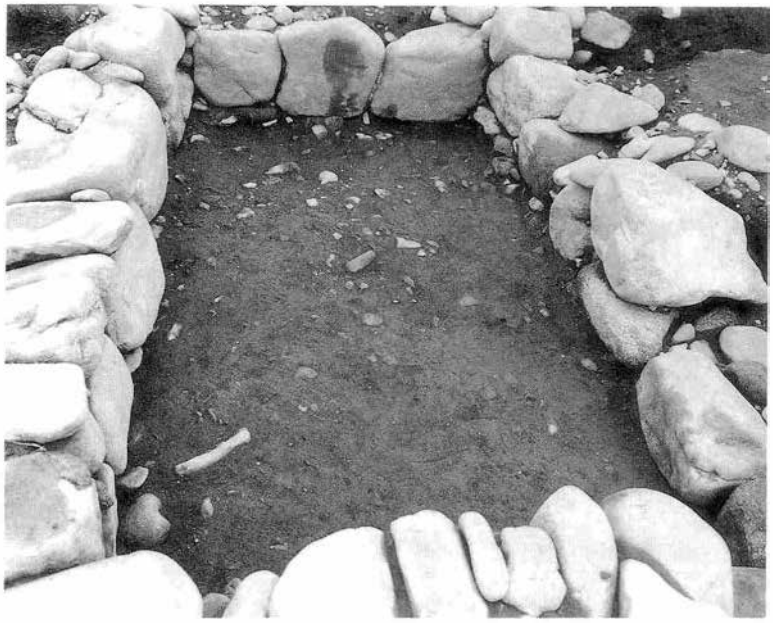
図版130　姥塚遺跡無名2号墳



2号墳遺物取上前



2号墳全景



2号墳

2号墳前庭部須恵器出土状態

2号墳 金環・管玉・勾玉・切子玉出土状態

2号墳 鉄鏃出土状態

2号墳 金環出土状態

図版132　姥塚遺跡無名3号墳

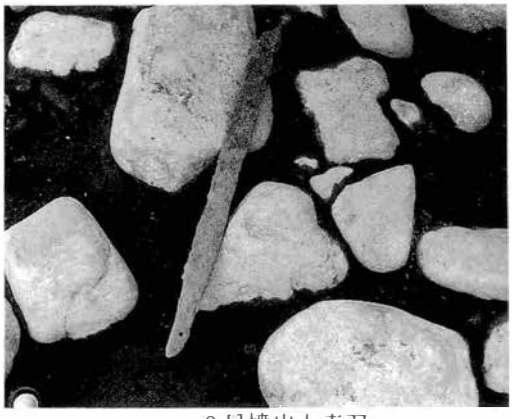
3号墳

3号墳石室

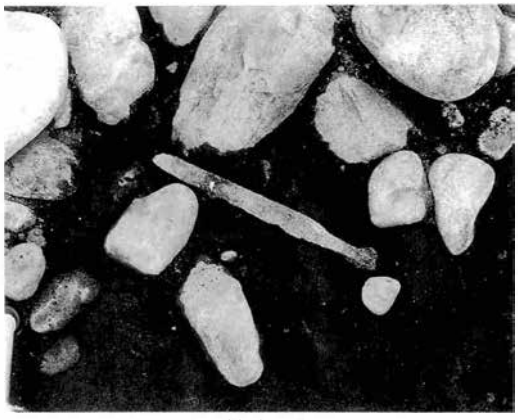
3号墳

3号墳調査風景

3号墳



3号墳出土直刀



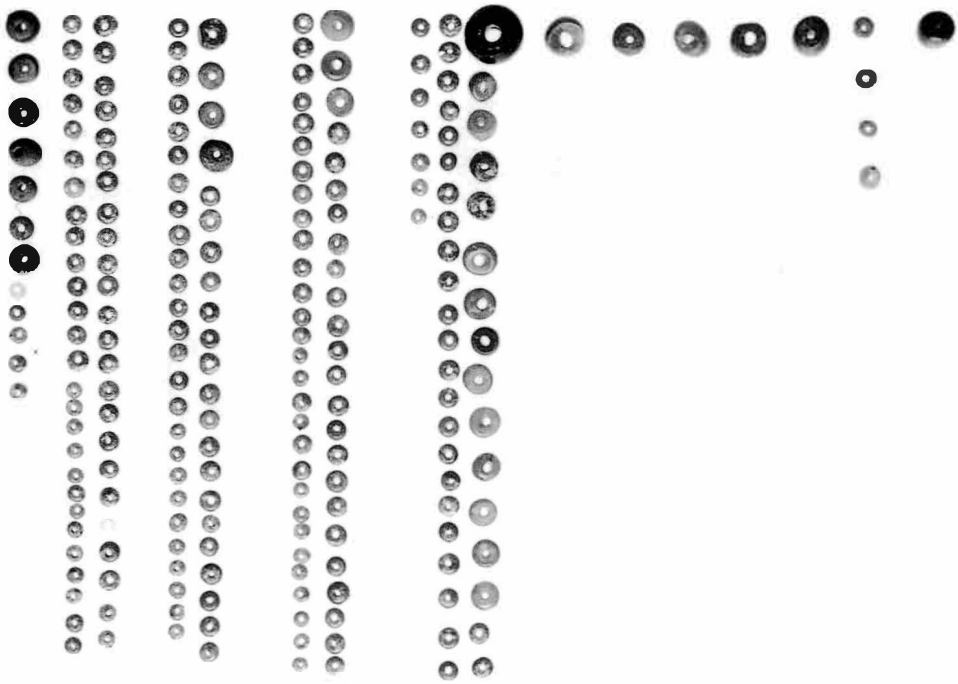
3号墳出土直刀

図版134　姥塚遺跡無名4号墳

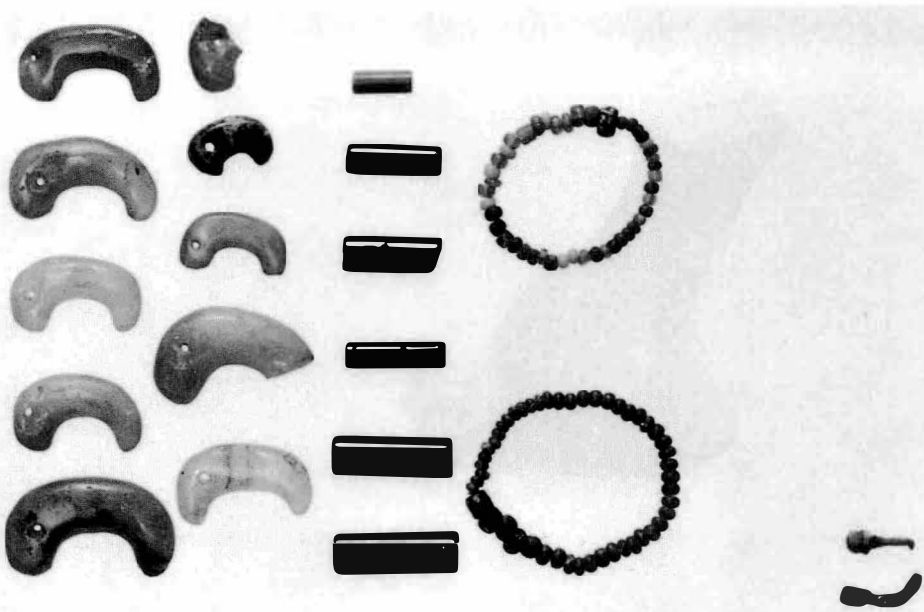
4号墳

4号墳出土人骨（A）

4号墳出土人骨（B）

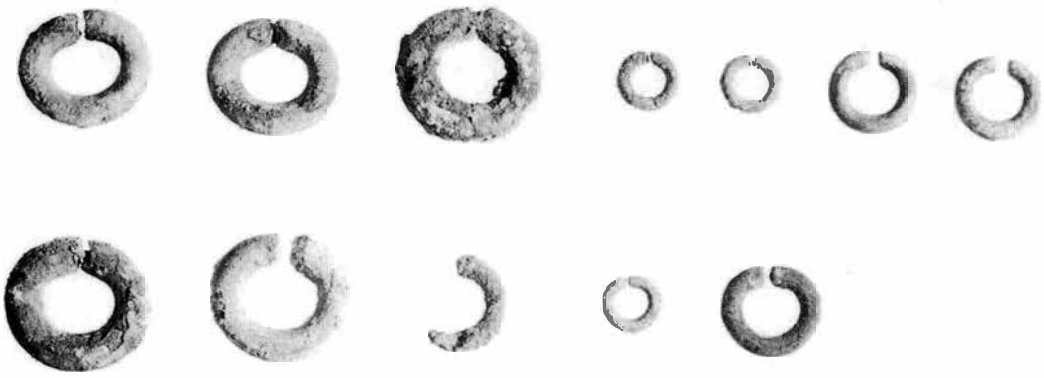


2号墳出土ガラス玉等



2号墳出土勾玉・管玉・ガラス玉他

図版136 姥塚遺跡無名2・3号墳出土遺物



2号墳出土金環

3号墳出土鳥形土製品

山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第24集

姥塚遺跡
姥塚無名墳

印刷日　昭和62年3月20日
発行日　昭和62年3月31日
発行所　山梨県教育委員会
印刷所　温故堂株式会社